

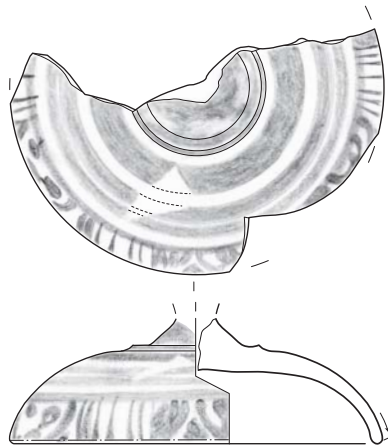
# い れ い ばる 伊礼原D遺跡

## は ん ざん ばる 平安山原A遺跡

— 桑江伊平地区原状回復事業に伴う発掘調査事業（平成18年度） —

〈付篇1〉平安山原A遺跡（HA④）出土のタカラガイ製品

〈付篇2〉平安山原B遺跡・平安山原A遺跡 出土石器



タイ産鉄絵

2017（平成29）年3月

沖縄県 北谷町教育委員会





い れ い ばる

# 伊礼原D遺跡

はんざんばる

## 平安山原A遺跡

— 桑江伊平地区原状回復事業に伴う発掘調査事業（平成18年度） —

〈付篇1〉 平安山原A遺跡（HA④）出土のタカラガイ製品

〈付篇2〉 平安山原B遺跡・平安山原A遺跡 出土石器



タイ産鉄絵

2017（平成29）年3月

沖縄県 北谷町教育委員会



## はじめに

北谷町字伊平に所在する「伊礼原D遺跡」と「平安山原A遺跡」は、平成7～9年度のキャンプ桑江北側地区返還に伴う文化財調査で発見され、平成18年度の油分土壌改良工事に伴い発掘調査が行われました。本書は18年度の調査成果をまとめた報告書です。

両遺跡が所在する「伊平」は、旧字「伊礼」「平安山」の頭文字から成り、1948年の地籍字再編に伴い誕生しました。戦後、伊平一帯は米軍基地として接収され、旧県道（現在の国道58号）に面していた集落は基地造成により埋没・消失を余儀なくされました。

平安山集落は1566年までに、伊礼集落は1670年代には成立していたことが古文書で確認でき、今回の発掘調査ではそれらを裏付ける遺物・遺構のほか、より古い生活址が見つかっています。

調査では、両遺跡が砂丘上に立地し、これを東西に分ける旧河川「ナガサ」が確認できました。ナガサは時代により位置や向きを変えていましたが、戦前と同様に「伊礼・平安山」の集落境であったと推測できます。ナガサ左岸の伊礼原D遺跡では、14～17世紀の建物址群、8世紀及び12世紀の埋葬遺構を検出し、これらは地形の発達とともに位置や形状を変化させている様子が看取されます。遺物では良品が多く出土し、一般集落とは異なる様相を呈していました。

平安山原A遺跡では、17世紀以降にナガサを石列で堰き止めた跡が発見されました。以後、付近は農地として利用していることから、耕地拡大のための土木工事跡と考えられます。出土遺物は僅かでしたが、近世の集落復元にとって大きな成果が得られました。

現在、一帯は区画整理事業により新たな町並みとなっておりますが、本書を手に取り、古人が見たであろう風景を想起頂ければ幸甚です。

末尾になりましたが、本書が文化財保護の一助となることを願うと共に、本報告にあたりご指導・ご協力を賜りました関係各位に深謝します。

平成29年3月  
北谷町教育委員会  
教育長 川上 啓一

# 例 言

1. 本報告書は、北谷町教育委員会が桑江伊平地区原状回復事業に伴い、平成 18 年度に実施した「伊礼原D遺跡・平安山原A遺跡」の発掘調査成果をまとめたものである。
2. 本報告書に掲載した地図は、国土地理院発行の 1/2, 500 地形図（昭和 54 年測量）を元に北谷町役場都市計画課が作成したものである。本書に掲載した緯度、経度の平面直角座標はすべて世界測地系にもとづくものである。
3. 遺物の同定等については、下記の方にご協力をいただいた。（敬称略）記して感謝申し上げる。

陶磁器	大橋 康二（佐賀県立九州陶磁文化館）
脊椎動物遺体	樋泉 岳二（早稲田大学教育学部）
貝類遺体	黒住 耐二（千葉県立中央博物館）
人骨	土肥 直美（琉球大学）藤田 祐樹（沖縄県立博物館・美術館）
	松下 孝幸（土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム）
石質	大城 逸朗（おきなわ石の会）
堆積学	松田順一郎（史跡鴻池新田会所管理事務所）

4. 樋泉岳二氏・黒住耐二氏・松下孝幸氏・松下真実氏・藤田祐樹氏・大城逸朗氏には玉稿を賜った。記して謝意を表す。
5. 放射性炭素年代測定は、パリノ・サーヴェイ（株）沖縄支店に委託した。
6. 金属製品の保存処理及び成分分析は、（株）文化財サービス沖縄営業所に委託した。
7. 本報告書の編集は、土岐耕司の協力を得て島袋春美が行った。執筆分担は下記のとおりである。

第 I 章 第 II 章 第 III 章	松原 哲志
第 IV 章 第 1・2・3 節（12～16）第 VI 章 第 1・2 節 第 VII 章	土岐 耕司
第 IV 章 第 3 節（1・4）第 VI 章 第 3 節	呉屋 広江
第 IV 章 第 3 節（2）第 VI 章 第 3 節	上地千賀子
第 IV 章 第 3 節（3・5・23）第 VI 章 第 3 節	島袋 春美
第 IV 章 第 3 節（6～11・24）	比嘉 優子
第 IV 章 第 3 節（17～22・25・26）	北條 真子
第 IV 章 第 3 節（27）	山城 安生

8. 本遺跡の遺物の注記及び、遺構、取上の凡例は次のとおりである。

・注記（伊礼原D遺跡・平安山原A遺跡 平成 18 年度調査）

遺跡名	記号	ID	大グリッド	グリッド	取上	層位	日付
伊D	台	3911	B5	K12	171	包砂	070822



伊D3911 B5K12 包砂 取171 070822
--------------------------------

・注記（遺構）

遺跡名	記号	ID	大グリッド	グリッド	遺構	層位	日付
伊D	台	3930	B5	Q17	1510SD	包砂	070822



伊D3930 B5Q17 1510SD 1層 070824
----------------------------------

9. 本報告の編年表記は沖縄編年を基本とするが、出土遺物には時代幅があり、その種類によって時代表記が異なる。（伊礼原D遺跡（第 35 集）例言「沖縄・九州時代区分対象表」参照）
10. 本書に掲載した発掘調査に関する写真、実測図などの記録および出土遺物全ては北谷町教育委員会が保管している。





伊礼原D遺跡・平安山原A遺跡 調査区遠景（北より）



伊礼原D遺跡（上）・平安山原A遺跡（下）調査区全景（北西より）





ガスク〜近世面 完掘全景（北より）



同上（北東より）





F ~ I13 ~ 15 遺構検出 (北西より)



K ~ N9 ~ 11 グリッド 遺構検出 (北東より)



K ~ N9 ~ 11 グリッド 遺構検出 (北東より)



L・M16 ~ 18 グリッド 遺構検出 (北西より)



N ~ Q17・18 グリッド 遺構検出 (西より)



遺構測量作業



巻首図版 3 伊礼原D遺跡 遺構掘削作業

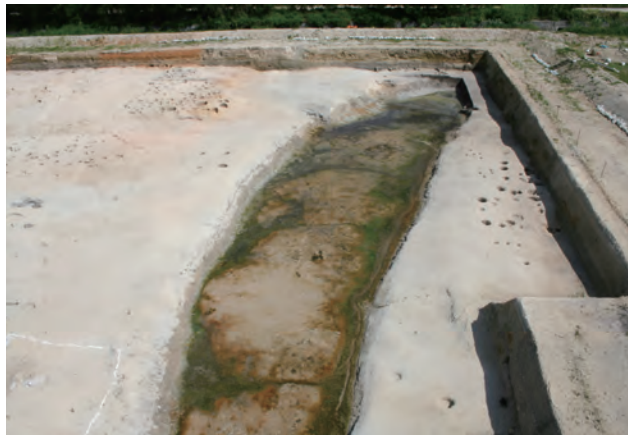


遺構掘削作業





1634SX 礫検出 (北より)



流路3 完掘 (北西より)



SB04・05 他 完掘 (南西より)



SB06 完掘 (南東より)



巻首図版 4 伊礼原D遺跡

西側拡張区 完掘全景 (南西より)





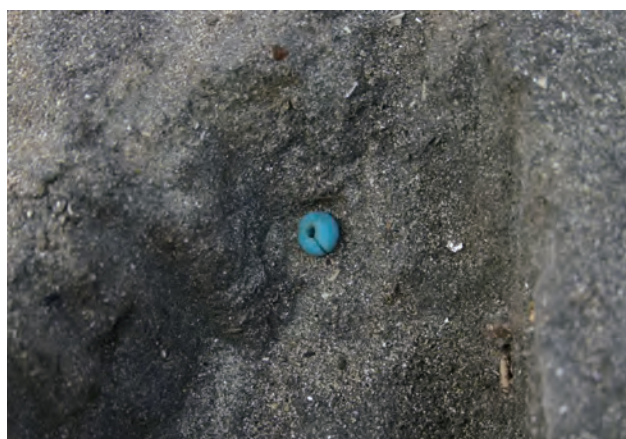
白磁皿片 出土 (流路3)



刀子 出土 (流路3)



ヤコウガイ貝匙 出土 (3772SK)



ガラス玉 出土 (3797SK)



第5号土壙墓 (壮年男性・北東より)





第1土壙墓 (壮年女性・南東より)



第2土壙墓 (成人女性・西より)





松下孝幸先生による現地説明（第1号土壙墓）



第2土壙墓 上位礫検出（西より）



人骨検出作業（第3号土壙墓）



第3号土壙墓 検出（南西より）



第3号土壙墓（少女・南西より）





第4号土壙墓 (イヌ・北東より)



4310SX (南より)



貝塚時代後期 壺型土器有文口縁部 出土 (V b層)



左と同一個体底部 出土 (V b層)



貝塚時代後期 壺型土器 出土 (V b層)



貝塚時代後期 土器 出土 (V b層)



貝塚時代後期 泥質土器 出土 (V b層)



開元通宝 出土 (V b層)





南側側面（北より）



ビーチロック近写（中央の茶色部分は土器片）





石列検出時 全景 (南東より)



完掘全景 (南東より)



卷首図版 11 貝塚時代後期土器・グスク土器 復元

(遺物番号は図番号と一致S ≡ 1/3)

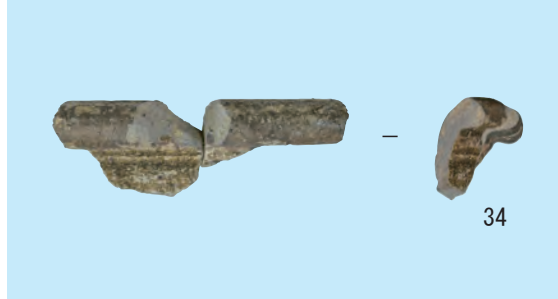
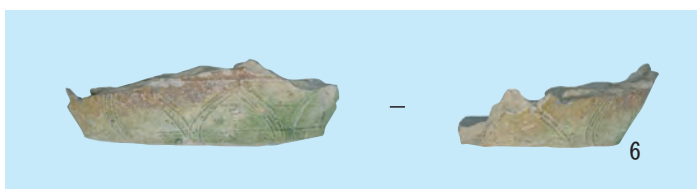
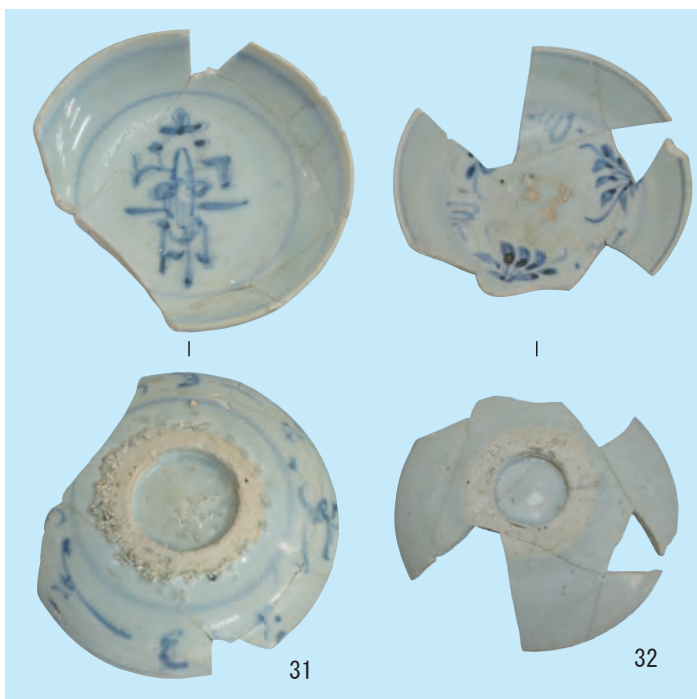
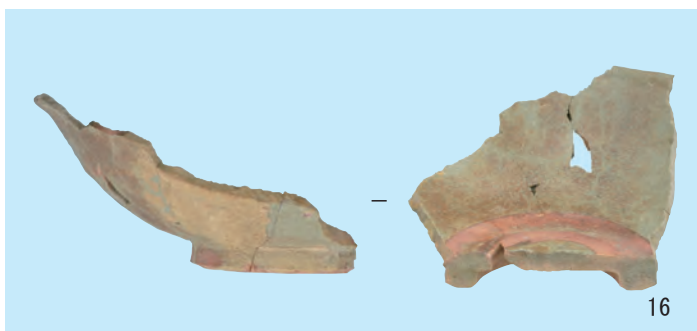




卷首図版 12 石器・貝製品

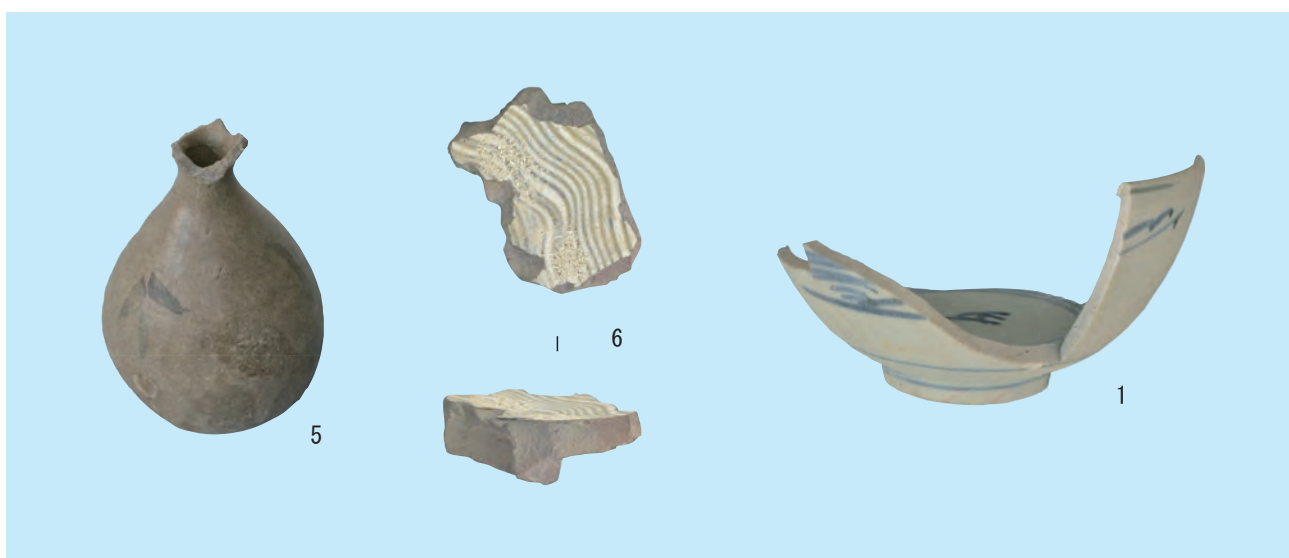
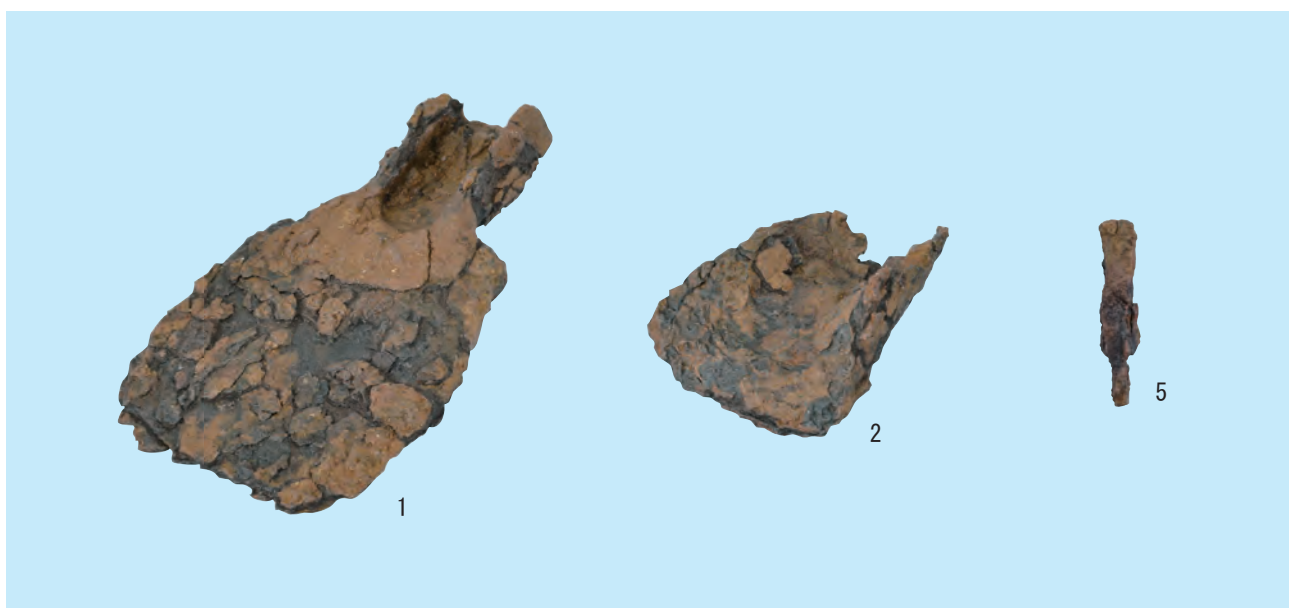
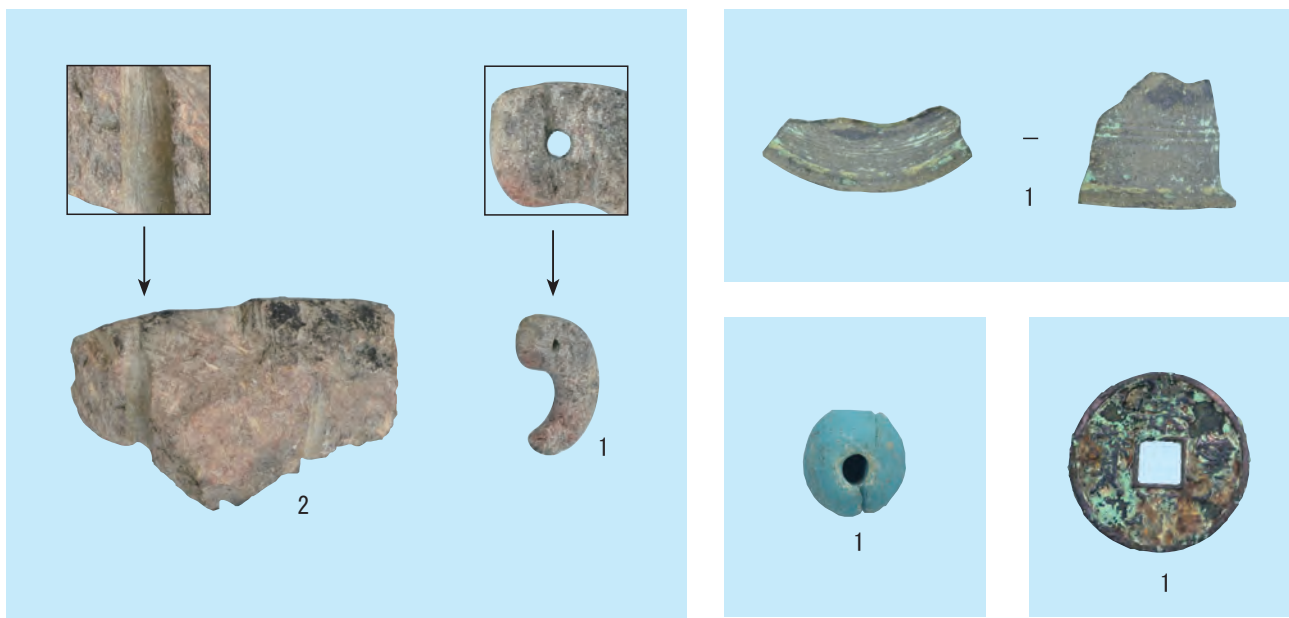
(遺物番号は図番号と一致)





卷首図版 13 白磁・青磁・染付・三彩・褐釉陶器・タイ産鉄絵・半練土器

(遺物番号は図番号と一致)



卷首図版 14 滑石製品・青銅製品・ガラス玉・銭貨・鉄製品・本土産陶磁器

(遺物番号は図番号と一致)

# 本文目次

はじめに

例言

巻首図版

第 I 章 調査経緯・経過	1
第 1 節 調査に至る経緯	1
第 2 節 調査体制	4
第 3 節 調査経過	6
第 II 章 位置と環境	11
第 III 章 調査の方法	18
第 IV 章 調査成果	21
第 1 節 層序	21
第 2 節 遺構	35
第 3 節 出土遺物	96
第 V 章 科学的分析	282
第 1 節 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体	282
第 2 節 伊礼原D遺跡から得られた貝類遺体（第 2 報）	351
第 3 節 異質岩片「赤鉄片岩」に関するコメント	376
第 4 節 沖縄県北谷町伊礼原D遺跡出土の貝塚時代後期人骨	377
第 5 節 伊礼原D遺跡 2 号、3 号、5 号土壙墓より出土した人骨について	398
第 6 節 伊礼原D遺跡、平安山原A遺跡の人骨の年代測定	405
第 7 節 金属製品成分結果	408
第 VI 章 まとめ	420
第 1 節 旧キャンプ桑江北側における年代測定結果	420
第 2 節 伊礼原D遺跡の遺物平面分布	425
第 3 節 「伊礼原」の変遷	431
第 VII 章 平安山原A遺跡の調査	441
第 1 節 層序	441
第 2 節 遺構	447
第 3 節 出土遺物	450
付 篇	
付篇 1 平安山原A遺跡（HA④）出土のタカラガイ製品	452
付篇 2 平安山原B遺跡・平安山原A遺跡 出土石器	459

## 図版目次

巻首図版1 伊礼原D遺跡・平安山原A遺跡  
巻首図版2 伊礼原D遺跡  
巻首図版3 伊礼原D遺跡  
巻首図版4 伊礼原D遺跡  
巻首図版5 伊礼原D遺跡  
巻首図版6 伊礼原D遺跡  
巻首図版7 伊礼原D遺跡

巻首図版8 伊礼原D遺跡  
巻首図版9 伊礼原D遺跡  
巻首図版10 平安山原A遺跡  
巻首図版11 貝塚時代後期土器・グスク土器 復元  
巻首図版12 石器・貝製品  
巻首図版13 白磁・青磁・染付・三彩・褐釉陶器・タイ産鉄絵・半練土器  
巻首図版14 滑石製品・青銅製品・ガラス玉・銭貨・鉄製品・本土産陶磁

図版1	事前調査状況	6	図版49	青磁4	221
図版2	発掘調査・資料整理状況	20	図版50	染付1	229
図版3	第1号土壙墓	37	図版51	染付2	231
図版4	第2号土壙墓	39	図版52	褐釉陶器1	239
図版5	第3号土壙墓	41	図版53	褐釉陶器2	241
図版6	第4号土壙墓	42	図版54	褐釉陶器3	243
図版7	イノシシ骨集積遺構 4310SX	42	図版55	その他の輸入陶磁器	247
図版8	第5号土壙墓	45	図版56	試掘・油分無し地区 白磁・青磁	247
図版9	不明遺構 1634SX	63	図版57	クチマ家の鉦	248
図版10	二枚具有孔製品出土土坑 2352SK	64	図版58	青銅製品	248
図版11	2352SK 出土の二枚具有孔製品	65	図版59	鉄製品1	249
図版12	廃棄土坑 2210SK・2523P	67	図版60	鉄製品2	250
図版13	土器1	119	図版61	滑石製品	251
図版14	土器2	121	図版62	ガラス玉	252
図版15	土器3	123	図版63	銭貨	252
図版16	土器4	125	図版64	瓦質土器	255
図版17	土器5	127	図版65	本土産陶器	259
図版18	土器6	129	図版66	本土産磁器	261
図版19	土器7	131	図版67	沖縄産施釉陶器	263
図版20	土器8	133	図版68	沖縄産無釉陶器1	267
図版21	土器9	135	図版69	沖縄産無釉陶器2	269
図版22	土器10	137	図版70	陶質土器	270
図版23	土器11(底部)	139	図版71	骨製品	272
図版24	土器12(底部)	141	図版72	円盤状製品	275
図版25	石器1	155	図版73	煙管	276
図版26	石器2	157	図版74	瓦	277
図版27	石器3	159	図版75	鍛冶関連遺物	281
図版28	石器4	161	図版76	脊椎遺体遺体1(魚類)	345
図版29	石器5	163	図版77	脊椎動物遺体2(上:イルカ、ウミガメ 下:ジュゴン、クジラ、ヘビ類)	346
図版30	石器6	165	図版78	脊椎動物遺体3(上:イヌ 下:イヌ、ネコ、ネズミ)	347
図版31	石器7	167	図版79	脊椎動物遺体4(ウマ)	348
図版32	ゴホウラ・アツソデガイ	169	図版80	脊椎動物遺体5(イノシシ、ブタ)	349
図版33	タケノコガイ製品(紐着装例)	175	図版81	脊椎動物遺体6(ウシ)	350
図版34	貝製品1	179	図版82	貝類遺体1(巻貝)	370
図版35	貝製品2	181	図版83	貝類遺体2(巻貝)	371
図版36	貝製品3	183	図版84	貝類遺体3(巻貝)	372
図版37	貝製品4	185	図版85	貝類遺体4(巻貝)	373
図版38	貝製品5	187	図版86	貝類遺体5(二枚貝)	374
図版39	タカラガイ製錘 民俗例	187	図版87	貝類遺体6(二枚貝)	375
図版40	土製品	189	図版88	赤鉄片岩	376
図版41	グスク土器	193	図版89	人骨出土状況	379
図版42	先島系土器	195	図版90	伊礼原D 第1号土壙墓人骨(女性・壮年)	395
図版43	カムイヤキ	197	図版91	SK-1(3619 B5L10. 取り上げ番号 178(女性・成年～壮年))	397
図版44	白磁1	203	図版92	FE-1(B5j10.HB-2(男性・年齢不明))	397
図版45	白磁2	205	図版93	左から3号人骨の正面、左側面、上面(上が前、下が後頭部)	399
図版46	青磁1	215	図版94	5号人骨全身	400
図版47	青磁2	217	図版95	左から5号人骨の正面、左側面、上面(上が前、下が後頭部)	400
図版48	青磁3	219			

図版96	作業工程写真1	411	図版105	石列004・005SL	448
図版97	作業工程写真2	412	図版106	溝 001SD 完掘	449
図版98	作業工程写真3	413	図版107	土坑 069SK 断面	449
図版99	処理後写真1	414	図版108	平安山原A遺跡 出土遺物	451
図版100	処理後写真2	415	図版109	タカラガイの割れ方(実験)	454
図版101	鉄製品の断面顕微鏡写真1	416	図版110	タカラガイ製品	458
図版102	鉄製品の断面顕微鏡写真2	417	図版111	平安山原B遺跡イ地区出土 石皿	459
図版103	X線画像1	418	図版112	平安山原A遺跡HA③地区出土 有孔製品	461
図版104	X線画像2	419	図版113	平安山原A遺跡HA④地区出土 石製品	461

## 挿図目次

第1図	土壌汚染調査場所	2	第36図	遺構出土遺物 分布	58
第2図	特定有害物質等が確認された場所	3	第37図	掘立柱建物 SB01	58
第3図	油臭土壌範囲	3	第38図	掘立柱建物 SB02～06他	59
第4図	事前調査地点	7	第39図	掘立柱建物 SB02	59
第5図	地下水の排水処理計画	8	第40図	掘立柱建物 SB03・04	59
第6図	北谷町の位置	11	第41図	掘立柱建物 SB05	60
第7図	北谷町全体	11	第42図	掘立柱建物 SB06	60
第8図	地形分類	12	第43図	掘立柱建物 SB07・08	60
第9図	表層地質	13	第44図	掘立柱建物 SB09・10	61
第10図	表層地質断面	13	第45図	掘立柱建物 SB11・12及び柵列 SA01	61
第11図	水理地質	13	第46図	掘立柱建物 SB13～15及び柵列 SA02	62
第12図	戦前～戦後の調査地周辺	15	第47図	不明遺構 1634SX	63
第13図	北谷町の位置と遺跡分布	16	第48図	二枚貝有孔製品出土土坑 2352SK	64
第14図	遺跡位置	19	第49図	廃棄土坑 2210SK	67
第15図	事業別調査区	19	第50図	土器 重量分布	97
第16図	グリッド配置	19	第51図	貝塚時代後期土器(分類別) 平面分布1	101
第17図	浜堤・流路略図	23	第52図	貝塚時代後期土器(分類別) 平面分布2	102
第18図	層序1	27	第53図	接合関係 平面分布(層序・遺構)	103
第19図	層序2	29	第54図	底部 器種別比率	113
第20図	貝塚時代後期 遺構配置	35	第55図	底部 地区別比率	115
第21図	第1号土壙墓	36	第56図	貝塚時代後期土器(底部) 平面分布	115
第22図	第2号土壙墓	38	第57図	土器1	118
第23図	第3号土壙墓	40	第58図	土器2	120
第24図	第4号土壙墓	41	第59図	土器3	122
第25図	イノシシ骨収積遺構 4310SX	42	第60図	土器4	124
第26図	グスク時代前半 遺構配置	43	第61図	土器5	126
第27図	第5号土壙墓	44	第62図	土器6	128
第28図	第5号土壙墓と他との比較	45	第63図	土器7	130
第29図	グスク時代後半～近世前半 遺構配置	46	第64図	土器8	132
第30図	グスク時代後半～近世前半 遺構配置①	47	第65図	土器9	134
第31図	グスク時代後半～近世前半 遺構配置②	49	第66図	土器10	136
第32図	グスク時代後半～近世前半 遺構配置③	51	第67図	土器11(底部)	138
第33図	グスク時代後半～近世前半 遺構配置④	53	第68図	土器12(底部)	140
第34図	グスク時代後半～近世前半 遺構配置⑤	55	第69図	Ⅲ下遺構出土の石器	143
第35図	掘立柱建物 想定	57	第70図	貝塚時代後期出土の石器	143



第71図	石器 平面分布	143	第118図	褐釉陶器2	240
第72図	石斧 長さとの幅の相関	144	第119図	褐釉陶器3	242
第73図	石器・石材・自然礫 岩石組成	152	第120図	その他の輸入陶磁器 平面分布	244
第74図	主要器種 重量比	153	第121図	その他の輸入陶磁器	246
第75図	石器1	154	第122図	試掘・油分無し地区 白磁・青磁	246
第76図	石器2	156	第123図	青銅製品	248
第77図	石器3	158	第124図	鉄製品1	249
第78図	石器4	160	第125図	鉄製品2	250
第79図	石器5	162	第126図	滑石製品	251
第80図	石器6	164	第127図	ガラス玉	252
第81図	石器7	166	第128図	銭貨	252
第82図	ゴホウラ・アソソデガイ 平面分布	169	第129図	瓦質土器 平面分布	255
第83図	ヤコウガイの蓋附刃分布	170	第130図	瓦質土器	255
第84図	ヤコウガイの部位名称と割れ方	171	第131図	産地別分布	256
第85図	ヤコウガイ製品 平面分布	172	第132図	本土産陶器	258
第86図	二枚貝有孔製品(貝種別)平面分布	173	第133図	本土産磁器	261
第87図	シャコガイ科 有孔製品(重量比較)	174	第134図	沖縄産施釉陶器	263
第88図	タカラガイ製品 平面分布	176	第135図	沖縄産無釉陶器1	266
第89図	貝製品1	178	第136図	沖縄産無釉陶器2	268
第90図	貝製品2	180	第137図	陶質土器 平面分布	270
第91図	貝製品3	182	第138図	陶質土器	270
第92図	貝製品4	184	第139図	沖縄産無釉陶器と褐釉陶器 分布比較	271
第93図	貝製品5	186	第140図	本土産磁器と沖縄産施釉陶器 分布比較	271
第94図	タカラガイ製品(貝種別)重量分布	186	第141図	骨製品 法量比較	272
第95図	タカラガイ製品 分類別構成	186	第142図	骨製品	272
第96図	タカラガイ製錘装着例	187	第143図	円盤状製品	274
第97図	土製品 平面分布	188	第144図	煙管	276
第98図	土製品	189	第145図	瓦 平面分布	277
第99図	グスク土器(口径・器高)比較	190	第146図	瓦	277
第100図	グスク土器	192	第147図	焼土 平面分布	279
第101図	先島系土器	194	第148図	鍛冶関連遺物	280
第102図	グスク・先島系土器・カムイヤキ・白磁玉縁口縁碗 平面分布	196	第149図	伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体組成の層位的変遷(NISP比)	343
第103図	カムイヤキ	197	第150図	伊礼原D遺跡から採集された魚類遺体組成の層位的変遷(NISP比)	343
第104図	白磁 平面分布	198	第151図	伊礼原D遺跡 貝類遺体分析地区	352
第105図	白磁1	202	第152図	伊礼原D遺跡から得られた優占種のサイズ組成変化	354
第106図	白磁2	204	第153図	赤鉄片岩 平面分布	376
第107図	青磁 平面分布	210	第154図	遺跡の位置	378
第108図	青磁1	214	第155図	人骨の残存図	386
第109図	青磁2	216	第156図	年代測定結果と関係年表	423
第110図	青磁3	218	第157図	遺物平面分布(貝塚時代後期)	428
第111図	青磁4	220	第158図	遺物平面分布(グスク時代～近世)	429
第112図	染付 平面分布	222	第159図	骨平面分布(脊椎動物)	430
第113図	染付 器種別年代比較	225	第160図	伊礼原D遺跡(町28・35・41)・伊礼原遺跡(町36) 土器重量と分類別 平面分布	431
第114図	染付1	228	第161図	くびれ平底土器の出土遺跡	432
第115図	染付2	230	第162図	貝塚時代後期 分類別法量比較	433
第116図	褐釉陶器 平面分布	235			
第117図	褐釉陶器1	238			

第163図	伊礼原D遺跡(町28・35・41)・伊礼原遺跡(町36)土器 変遷	434	第171図	浜堤上の溝・土坑	449
第164図	伊礼原D遺跡(町28・35・41)・伊礼原遺跡(町36)石器 平面分布	435	第172図	浜堤上の土坑	450
第165図	伊礼原D遺跡(町28・35・41)・伊礼原遺跡(町36)貝製品 平面分布	436	第173図	平安山原A遺跡 出土遺物	451
第166図	時代別出土遺物変遷	439	第174図	タカラガイ製品(貝種別)重量分布	453
第167図	平安山原A遺跡 層序1	443	第175図	タカラガイ製品(貝種別)平面分布	453
第168図	平安山原A遺跡 層序2	445	第176図	平安山原A遺跡 タカラガイ製品 平面分布	453
第169図	平安山原A遺跡 遺構配置	447	第177図	平安山原B遺跡イ地区出土 石皿	459
第170図	石列 004・005SL	448	第178図	平安山原A遺跡石器 平面分布	460
			第179図	平安山原A遺跡 HA③地区出土 有孔製品	461
			第180図	平安山原A遺跡 HA④地区出土 石製品	461

## 表目次

第1表	北谷町遺跡一覧	17	第35表	ゴホウラ・アツソデガイ 観察一覧	170
第2表	伊礼原D遺跡における過年度調査との層序対応	21	第36表	貝刃・利器 観察一覧	170
第3表	基本層序土層注記	24	第37表	螺蓋製利器 観察一覧	170
第4表	地点上げ遺物一覧	31	第38表	ホラガイ有孔・貝皿・貝匙 観察一覧	171
第5表	報告土壌墓一覧	45	第39表	ヤコウガイ製品(貝匙・杯・有孔)出土量	171
第6表	2532SK出土の二枚貝有孔製品 観察一覧	66	第40表	ヤコウガイ製品 観察一覧	172
第7表	伊礼原D遺跡(油分箇所)遺構一覧	68	第41表	ヤコウガイ分類(加工痕有り・自然貝)出土量	172
第8表	遺物 出土量	96	第42表	二枚貝有孔製品 出土量	173
第9表	貝塚時代早～中期土器 出土量	97	第43表	二枚貝有孔製品(孔位置・重量別)出土量	174
第10表	貝塚時代早～中期土器 観察一覧	99	第44表	二枚貝有孔製品 観察一覧	174
第11表	貝塚時代後期土器(口縁部・胴部)出土量	104	第45表	二枚貝有孔製品の属性	174
第12表	文様・施文部位別 出土量	106	第46表	二枚貝有孔製品遺跡別 出土比較	175
第13表	貝塚時代後期土器(口縁部・胴部)観察一覧	109	第47表	タケノコガイ・マガキガイ製品 観察一覧	175
第14表	貝塚時代後期土器(底部)出土量	113	第48表	ヤコウガイ製品 観察一覧	176
第15表	くびれ平底 底径と底厚の関係	114	第49表	タカラガイ製品 出土量	176
第16表	貝塚時代後期土器(底部)観察一覧	116	第50表	タカラガイ製品 観察一覧	177
第17表	石器 出土量	142	第51表	土製品 観察一覧	188
第18表	遺構出土石器 出土量	142	第52表	グスク土器 出土量	190
第19表	石斧形態分類 凡例	144	第53表	キャンプ桑江地区グスク・先島系土器 出土一覧	190
第20表	石斧 層序別形態分類	144	第54表	グスク土器 観察一覧	191
第21表	石斧 刃部形態	145	第55表	先島系土器 出土量	196
第22表	石斧 観察一覧	146	第56表	先島系土器 観察一覧	196
第23表	敲石 層序別形態分類	146	第57表	カムイヤキ 観察一覧	197
第24表	敲石兼磨石 層序別形態分類	146	第58表	白磁 出土量	198
第25表	磨石 層序別形態分類	148	第59表	白磁 観察一覧	200
第26表	砥石 使用面一覧	149	第60表	青磁(年代別)出土量	206
第27表	石器 観察一覧	151	第61表	青磁(碗)出土量	206
第28表	石器・石材・自然礫 組成	152	第62表	碗(口縁部)文様別 出土量	207
第29表	岩石凡例	152	第63表	青磁(皿)出土量	208
第30表	主要器種 重量	153	第64表	青磁(大皿・盤・香炉・壺・瓶・蓋・鉢)出土量	209
第31表	主要器種 出土量	153	第65表	青磁 観察一覧	211
第32表	貝製品 出土量	168	第66表	染付(碗)出土量	222
第33表	貝輪・貝符 観察一覧	168	第67表	染付(皿)出土量	224
第34表	大型イモガイ大きさ(殻径)別 出土量	169	第68表	染付(小碗・小鉢・杯・瓶・蓋)出土量	224

第69表	染付 観察一覧	226	第111表	伊礼原D遺跡出土 貝類遺体の詳細	358
第70表	褐釉陶器(中国産)出土量	232	第112表	出土人骨一覧	377
第71表	褐釉陶器(中国産・壺釉)出土量	233	第113表	資料数	379
第72表	褐釉陶器(タイ産・東南アジア産・不明)・タイ産半練土器 出土量	234	第114表	年齢区分	379
第73表	褐釉陶器 観察一覧	236	第115表	脳頭蓋計測値(女性、mm)	388
第74表	その他の輸入陶磁器 出土量	244	第116表	顔面頭蓋(女性、mm、度)	389
第75表	その他の輸入陶磁器 観察一覧	245	第117表	鼻根部(女性、mm、度)	388
第76表	青銅製品 観察一覧	248	第118表	上腕骨計測値(女性、右、mm)	390
第77表	鉄製品 観察一覧	250	第119表	尺骨(女性、右、mm)	390
第78表	滑石製品 観察一覧	251	第120表	大腿骨(女性、右、mm)	391
第79表	ガラス玉 観察一覧	252	第121表	脛骨(女性、右、mm)	391
第80表	銭貨 観察一覧	252	第122表	脳頭蓋(mm)	392
第81表	小字ごとの遺跡内容	253	第123表	顔面頭蓋(mm、度)	392
第82表	北谷町小字ごとの出土銭貨数集計	254	第124表	鼻根部(mm、度)	392
第83表	瓦質土器 出土量	255	第125表	下顎骨(mm、度)	392
第84表	本土産陶器 出土量	257	第126表	鎖骨(mm)	393
第85表	本土産陶器 観察一覧	257	第127表	上腕骨(mm)	393
第86表	本土産磁器(近世)出土量	260	第128表	橈骨(mm)	393
第87表	本土産磁器(近代)出土量	260	第129表	尺骨(mm)	393
第88表	本土産磁器 観察一覧	260	第130表	大腿骨(mm)	394
第89表	沖縄産施釉陶器 出土量	262	第131表	脛骨(mm)	394
第90表	沖縄産施釉陶器 観察一覧	262	第132表	腓骨(mm)	394
第91表	沖縄産無釉陶器 出土量	264	第133表	形態小変異	394
第92表	沖縄産無釉陶器 観察一覧	265	第134表	伊礼原D遺跡出土頭骨の計測値	402
第93表	陶質土器 出土量	270	第135表	伊礼原D遺跡出土人骨の四肢骨計測値	403
第94表	沖縄産陶器 遺跡別出土量比較	270	第136表	伊礼原D遺跡より出土した散乱人骨一覧	404
第95表	陶質土器 観察一覧	270	第137表	放射性炭素年代測定結果	406
第96表	骨製品 観察一覧	272	第138表	暦年較正結果	406
第97表	円盤状製品 出土量	273	第139表	放射性炭素年代測定結果	407
第98表	円盤状製品 観察一覧	273	第140表	暦年較正結果	407
第99表	キャンプ桑江北側 煙管出土量	276	第141表	保存処理工程	408
第100表	螺字煙管(雁首)観察一覧	276	第142表	脱塩処理・錆の安定化処理工程	409
第101表	瓦 出土量	277	第143表	旧キャンプ桑江北側における主な年代測定一覧	421
第102表	遺跡別瓦 出土量比較	277	第144表	くびれ平底土器出土遺跡の立地	432
第103表	鉄滓 出土量	278	第145表	遺跡別主な遺物 出土量	436
第104表	焼土出土量	278	第146表	基本層序土層注記	442
第105表	焼土 観察一覧	279	第147表	沖縄産無釉陶器 観察一覧	451
第106表	伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の種名一覧	285	第148表	青磁 観察一覧	451
第107表	伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果	286	第149表	簪 観察一覧	451
第108表	伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の組成(NISP)	338	第150表	タカラガイ製品 出土量	452
第109表	伊礼原D遺跡出土 貝類遺体の優占種出土状況	353	第151表	タカラガイ製品(重量)出土量	452
第110表	伊礼原D遺跡出土 貝類遺体の分類学的位置と生息場所 類型	355	第152表	タカラガイ製品 観察一覧	454



# 第I章 調査経緯・経過

## 第1節 調査に至る経緯

### 概要

先の大戦後、旧北谷村<sup>註1</sup>では米軍の基地建設が進められ地形は大きく変容した。戦後70年の間に基地は部分返還されてきたが、平成29年1月現在、未だ町域の約52%を占めている。伊礼原D遺跡及び平安山原A遺跡は、平成15年3月31日に返還された在沖米海軍基地「キャンプ桑江北側地区等（以下、本章において「桑江北側地区」という）」に位置し、基地返還に先立つ予備調査で発見された。本書は、周知の埋蔵文化財包蔵地に広がる汚染土壌の改良工事に伴い実施した緊急発掘調査成果をまとめたものである。緊急発掘調査までの主な流れは下図のとおり。



### 予備調査

平成5年8月、北谷町教育委員会（以下、本節において「町教委」という）は、桑江北側地区が平成13年に返還される情報を在沖米海兵隊関係者から得、返還後の跡地利用推進のため、平成7年度から3年間、文化庁補助を受け試掘調査を実施した。試掘調査の結果、伊礼原D遺跡及び平安山原A遺跡を含む9遺跡6遺物散布地が見つかり、以後、範囲確認調査を継続して行った。

### 土壌汚染問題

平成14年1月、本町美浜地区での工事中に、タール状物質の入ったドラム缶215本が見つかった。一帯は昭和56年に返還された米軍基地（メイモスカラー射撃場）の跡地に位置し、元基地従業員の証言等から、これらのドラム缶は米陸軍の指示で埋められたことが明らかとなった。返還の迫る桑江北側地区においては、関係者への聞き取りや文献資料等の調査により、同地が汚染されている可能性が高いと判断された。

2月、北谷町議会は、不発弾や有害物質等の調査と除去を日米両政府が責任をもって基地返還前に実施し、跡地利用の推進を図るよう意見書を提出したが、日米地位協定第4条第1項の規定（合衆国は、この協定の終了の際又はその前に日本国に施設及び区域を返還するに当たって、当該施設及び区域をそれらが合衆国軍隊に提供された時の状態に回復し、又はその回復の代りに日本国に補償する義務を負わない。）により、実現されなかった。

### 土壌等調査

平成14年5月29日に制定（翌年2月15日施行）された土壌汚染対策法に基づき、那覇防衛施設局（現沖縄防衛局。以下本章において「防衛局」という）は、返還された桑江北側地区において、「キャンプ桑江の一部返還土地における土壌等詳細調査業務」を平成15年8月から実施した。調査は土壌汚染状況の把握とその処理法を目的に、返還前に建物やバスターミナル等の米軍施設が存在した土壌汚染の蓋然性がある範囲で行われた（第1図）。調査の結果、基準値を超える特定有害物質や油分が検出された。また、同調査に前後して行われた返還跡地内の物件撤去作業中に油臭が確認されたため、防衛局は「キャンプ桑江の一部返還土地における油臭土壌等調査業務」（以下「油臭調

査」) を10月から実施した。12月、防衛局は、当該地主及び北谷町へ対し、土壌調査の状況や原状回復の手法等について説明会を設け、検出された特定有害物質含有土壌は県外へ搬出（土壌入れ替え）し、油分含有土壌は石灰を混ぜて熱により油分を蒸発させ再度埋め戻す（土壌改良する）ことで原状回復を行うと説明した。

平成16年2月、油臭調査で新たに検出された特定有害物質や油分の処理について、防衛局は前述の手法にて原状回復すると北谷町へ報告。防衛局が実施した2回の土壌調査の結果、当該地からは、鉛、六価クロム、ヒ素、PCBの特定有害物質が検出されたことになる（第2図）。



第1図 土壌汚染調査場所 (2003年地主説明会資料に一部加筆)

### 土地の引渡日延長

平成15年3月31日に返還された土地は、6か月間の特別管理期間（国有物件の撤去工事等に係る期間）を経て地主へ引き渡される予定であったが、土壌調査の結果多分の原状回復措置が不可欠となり引渡日は先送りされた。10月8日、桑江北側地区は「特定跡地」に指定され、地主への給付金の支給期間が従来の枠を超えて適用されることとなったが、土地の引渡し時期について見通しは立たない状況であった。

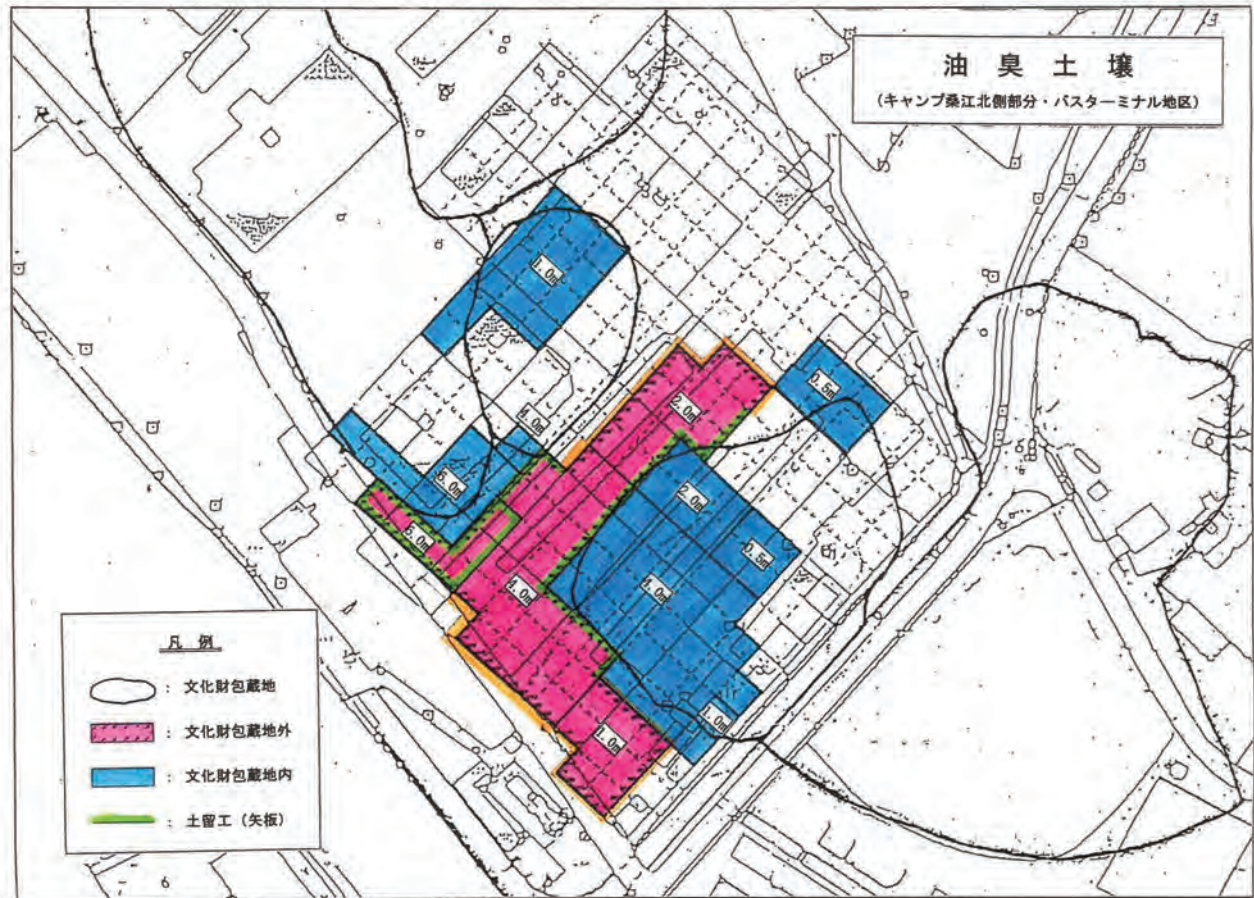
### 原状回復工事

土壌汚染は本報告の埋蔵文化財包蔵地にも及んでいたため、一先ず、防衛局による土壌改良工事は遺跡を除外して順次実施された（第3図桃色部分）。当初、油分含有土壌は土壌改良の予定であったが、作業場の確保が困難になったため土壌入れ替えが採られた。また、遺跡内の汚染土壌（第3図青色部分）で、検出深度0.5m（掘削が包含層にまで到達しないもの）についても土壌入れ替えが行われ、これらの原状回復は平成16年7月までに完了した。





第2図 特定有害物質等が確認された場所 (2003年地主説明会資料)



第3図 油臭土壤範囲

## 発掘の原因者

先述のとおり、防衛局による原状回復工事が遺跡の一部でも実施されたが、遺跡の下位で検出された油分の処理にはより多くの時間を要した。その理由として、油分範囲と遺跡が平面上で重複し、工事及び発掘に伴う掘削が不可分なため、遺跡発掘の原因者を明らかにする必要がある。当初、町と防衛局の見解は相違し、町は、土壤改良工事施工者（国）が原因者とする一方、防衛局は、区画整理事業の施行者（北谷町長）が原因者であるとの認識であった。協議に約1年を要した結果「国が行うべき原状回復には、返還土地における油分含有土壌の処理及びこれと密接不可分な文化財発掘調査を含む」との認識に至った。

### 確認書締結

防衛局は、埋蔵文化財包蔵地における油分含有土壌の処理工事及びこれと密接不可分な文化財発掘調査について、直ちに文化財発掘調査に着手することが困難であるため、これらに係る費用を返還財産補償費として地主会に支払う考えであること、土地の引き渡しを平成16年9月30日に行う予定であることを明示した（平成16年9月3日付 施那第3152号（AFD））。

9月13日、北谷町軍用地等地主会長、北谷町長、那覇防衛施設局長の3者は、返還された桑江北側地区のうち、原状回復措置が必要な一部の土地について確認書を締結。その内容は、①土地の引渡し②原状回復の内容③油分含有土壌の処理等④油分含有土壌の処理に関する費用の算定⑤油分含有土壌の処理等に要する費用の支払い⑥その他、に亘る。同締結により、油臭土壌の処理及び埋蔵文化財発掘調査に係る費用は防衛局が地主会に支払い、地主会が北谷町に委任し、町が実施することとなった。9月30日、原状回復が一部未着手の状態で桑江北側地区は引き渡され、以後、原状回復工事及び発掘調査の着手は基金繰入のための条例制定を待つこととなる。

### 発掘調査の実施

平成18年4月1日「キャンプ桑江北側返還跡地まちづくり基金条例」が施行された。これにより油分改良工事及び発掘調査に着手できる準備が整ったが、桑江北側地区では他の発掘調査や別事業が進捗中であったため、専門職員の配置が困難な状況であった。また、油分の処理や安全管理には特殊な技術・経験が不可欠であることから、油分処理及び発掘調査に係る安全管理、測量、発掘作業員の手配等を民間業者に委託することとした。北谷町は、8月28日付北区18第3521号「周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等について（通知）」を町教委経由で沖縄県教育委員会に提出、10月2日付教文第1034号で同回答を受理。発掘調査業務委託に係る入札は町建設経済部区画整理課が行い、同調査に係る技術指導及び管理を町教委に依頼した。12月12日、国際航業株式会社と委託契約を締結し（自：平成18年12月12日～至：平成20年3月31日）、伊礼原D遺跡3,300㎡、平安山原A遺跡1,000㎡、併せて4,300㎡の発掘調査に着手した。

註1 旧北谷村は1948年（S23）に北谷村と嘉手納村に分村。北谷村は1980年（S55）に町制施行し現在へ至る。

## 第2節 調査体制

発掘調査は平成18・19年度、資料整理は28年度に以下の体制で実施した。

### 平成18年度

事業受託者	北谷町長	野国 昌春
調査主体	北谷町教育委員会	
調査責任者	〃	教育長 瑞慶覧 朝宏

調査主管	〃	教育次長	阿波根 進
調査総括	〃	社会教育課長	大城 操
	〃	文化係長	中村 愿 (4-9月)
	〃	〃	嘉陽田 朝栄 (10-3月)
調査担当	〃	主任主事	東門 研治
	〃	主事	松原 哲志
委託業務	平安山原A・伊礼原D遺跡(油分箇所)埋蔵文化財発掘調査委託業務 国際航業株式会社 沖縄営業所(現場代理人 辻 広志、11/1～土岐 耕司)		

### 平成 19 年度

事業受託者	北谷町長 野国 昌春		
調査主体	北谷町教育委員会		
調査責任者	〃	教育長	瑞慶覽 朝宏
	〃	教育次長	謝花 良継
調査主管	〃	社会教育課長	大城 操
調査総括	〃	文化係長	嘉陽田 朝栄
調査担当	〃	主任主事	山城 安生
	〃	〃	東門 研治
	〃	主事	松原 哲志

### 発掘調査指導・助言(敬称略、所属五十音順)

沖縄県教育庁文化財課	島袋 洋(考古学)・知念 隆博(考古学)
沖縄県立博物館・美術館	藤田 祐樹(人類学)・山崎 真治(人類学)
沖縄国際大学総合文化学部	江上 幹幸(考古学)・横尾 昌樹(考古学)
沖縄市文化財調査審議会委員	比嘉 賀盛(考古学)
恩納村教育委員会	崎原 恒寿(考古学)
鹿児島大学法文学部	渡辺 芳郎(考古学)
樹昌院	喜瀬 了心(住職)
千葉県立中央博物館	黒住 耐二(貝類学)
北谷町文化財調査審議会委員	知念 勇(考古学)・大城 逸朗(地質・古生物学)
土井ヶ浜遺跡人類学ミュージアム	松下 孝幸(形質人類学)
琉球大学医学部	土肥 直美(形質人類学)
早稲田大学教育学部	樋泉 岳二(動物考古学)

### 平成 28 年度

事業受託者	北谷町長 野国昌春		
調査主体	北谷町教育委員会		
調査責任者	〃	教育長	川上 啓一
	〃	教育次長	佐久本 盛正
調査主管	〃	社会教育課長	池原 誠
調査総括	〃	文化係長	米須 健
調査担当	〃	主任主事	島袋 春美
	〃	〃	山城 安生



” ” 東門 研治  
 ” ” 松原 哲志  
 資料整理（嘱託職員） 大城 光、許田栄美、佐久間クリエ、知念栄子、照屋元子、上間真寿美、  
 曾木 菊枝、東 順子、小渡 直子、徳本加代子、西原美草、山城小百合  
 ” （臨時職員） 安座間悦子、大原祐子、富平砂綾子、山田政綺、與儀暁裕、  
 上地諒、米須久仁子  
 委託業務 金属製品保存処理業務委託  
 株式会社文化財サービス 沖縄営業所（主任技術者 安座間 奈緒）  
 伊礼原D遺跡等出土人骨の年代測定業務委託  
 パリノ・サーヴェイ株式会社 沖縄支店（主任技術者 上田 圭一）

資料整理指導・助言（敬称略、所属五十音順）

沖縄県立博物館・美術館	藤田 祐樹（人類学）・山崎 真治（人類学）
佐賀県立九州陶磁文化館	大橋 康二（陶磁器）
史跡鴻池新田会所管理事務所	松田 順一郎（堆積学）
千葉県立中央博物館	黒住 耐二（貝類学）
北谷町文化財調査審議会委員	知念 勇（考古学）・大城 逸朗（地質・古生物学）
土井ヶ浜遺跡人類学ミュージアム	松下 孝幸（形質人類学）
早稲田大学教育学部	樋泉 岳二（動物考古学）

### 第3節 調査経過

現場作業は、事前調査、油分土壌安全管理、雨水等水処理浄化対策、磁気探査、発掘調査の5つで構成される。以下にそれぞれの概要、経過を示す。

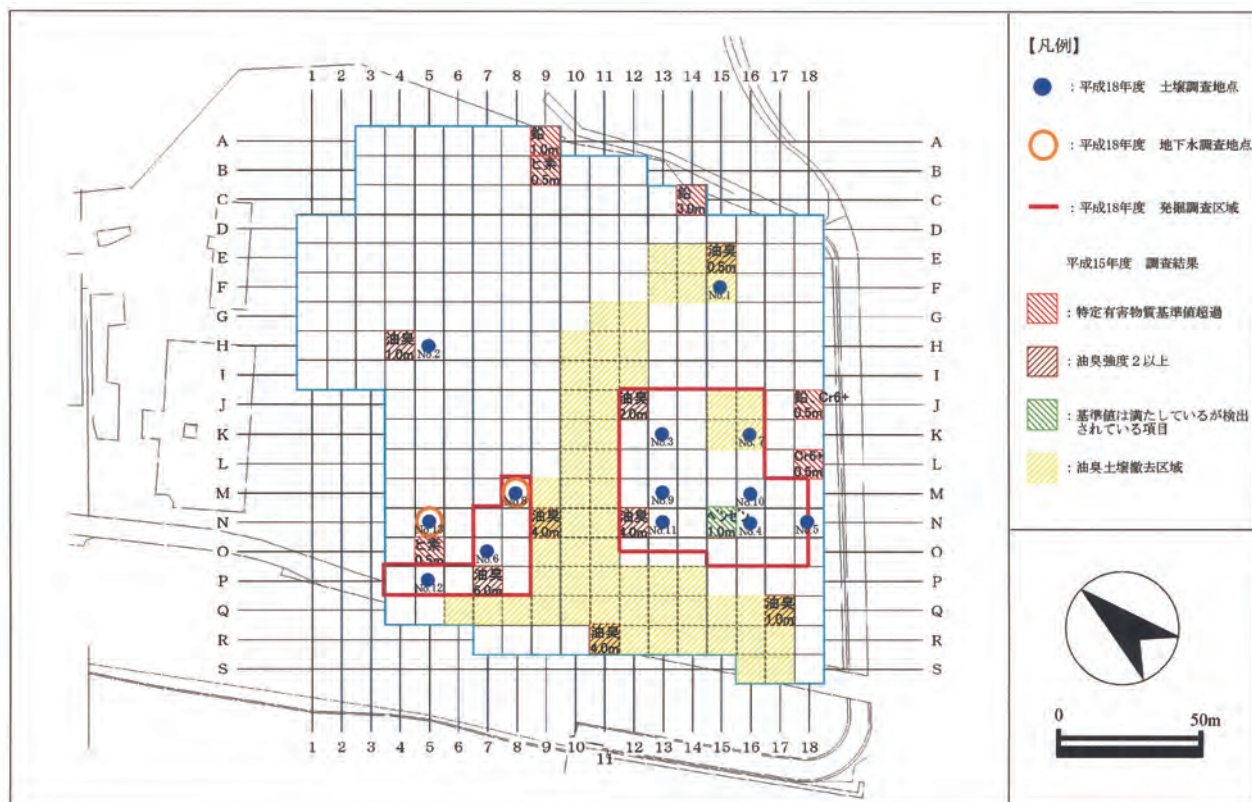
#### 1. 事前調査（平成19年2月8日～3月31日）

事前調査は、発掘調査時の安全管理策定を目的として、土壌と水質について実施した。調査地点の設定は下記①～③の観点から行った。

- ①平面的な汚染状況の推移を想定するため、発掘調査対象地及び対象地外から選定
- ②防衛局の調査でベンゼンの定量下限値を超えた区域や土壌未改良地から選定
- ③発掘調査対象地外については、防衛局の調査において油臭が確認された箇所付近（第4図内N01, 2）、重金属類溶出量試験の結果から土壌処理を実施した箇所付近（同図N013）を設定



図版1 事前調査状況（左：地中ボーリング、右：地下水採水）



第4図 事前調査地点

調査の結果、次の①～⑤の事象が確認された。

- ①防衛局の調査で定量下限値を上回ったベンゼンが全く検出されなかった。
- ②油臭はEL0.5～3.0mの範囲にあり、強い臭気は概ね包含層の下にある砂層で認められた。
- ③掘削した土壌は数時間放置しておくとも臭気が大きく低下した。
- ④地下水は油臭があるものの、曝気\*により臭気が感じられなくなった。
- ⑤各種検知管テスト及び地下水からヘキサンが検出された。

①は、防衛局の土壌調査以降に土壌改良が一部行われたことや、原状回復の一環でアスファルトなどの舗装構造体を除去した結果揮発した可能性がある。また、①～④より、依然として残っている油臭の原因はベンゼン以外の物質によるもので、揮発性が高いことを示唆していた。

\*曝気 (ばっき) : 水を空気にさらし、液体に空気を供給する行為。

## 2. 油分土壌安全管理

油分土壌安全管理及び雨水等水処理浄化対策は、事前調査の結果に基づいて、作業員の労働災害防止と周辺環境保全を確保することを目的に調査期間中継続実施した。油分土壌安全管理の主な内容は以下のとおり。

- ①表土掘削時、油分含有土壌は大気に暴露させ油分を揮発させる。
- ②表土掘削完了後は、人力掘削まで1ヶ月間放置（蒸散期間を設定）する。
- ③包含層掘削中は、日常地点及び臭気を感じた時点で検知管により測定を行う。

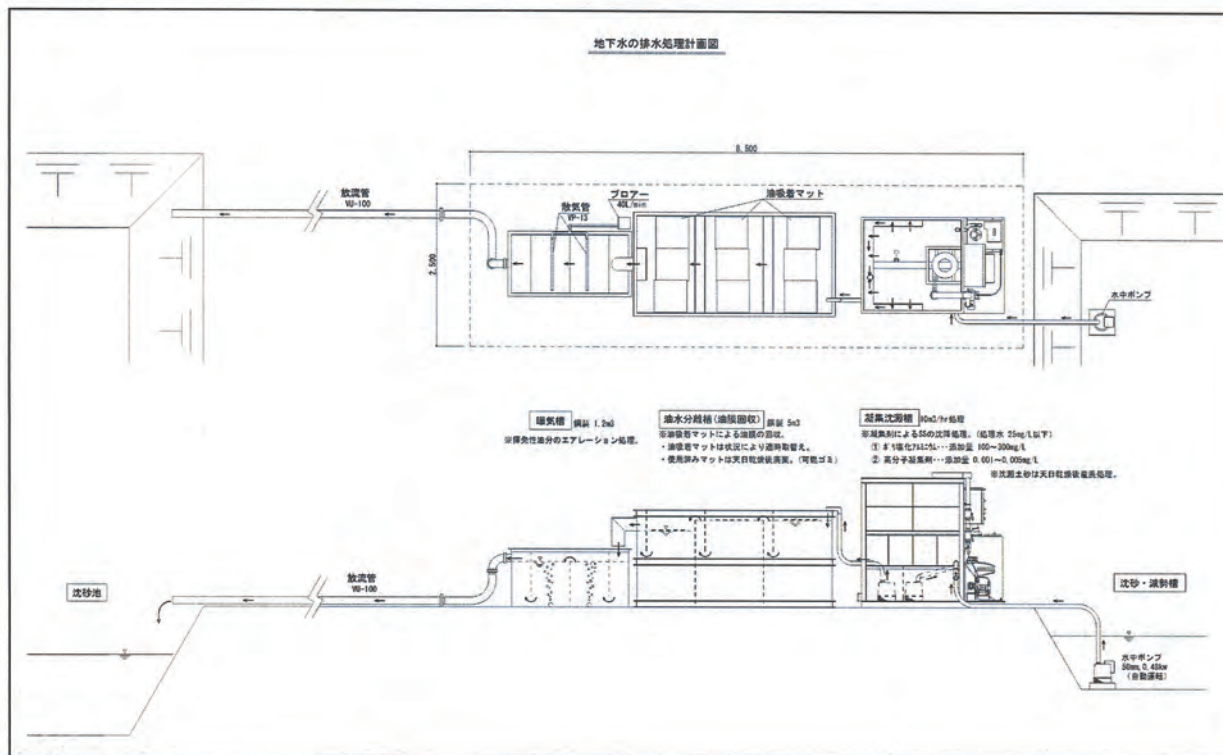
## 3. 雨水等水処理浄化対策

事前調査の結果、地下水は環境基準値\*をクリアしていたが油臭があったため、雨水等水処理浄化対策を策定した。主な内容は以下のとおり。

- ①雨水と地下水は別で揚水し、雨水は直接沈砂池へ排水する。

②地下水は、凝集沈殿→油水分離→曝気により油分・油臭の浄化処理を行い、処理水のみ沈砂池へ放流する（第5図）。

\*「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」及び「水質 TP 平成（全石油系炭化水素）」の項目



第5図 地下水の排水処理計画

#### 4. 磁気探査（第1期:平成19年2月19日～2月28日、第2期:平成19年11月1日～11月10日）

磁気探査は、発掘調査区域の地中に埋設する危険物の調査・確認・試掘を目的として行った。探査に先立つ事前調査（ボーリングによる垂直磁気測定）では、磁気反応（鉄筋・金属片）が確認されており、第1期の表層探査でも263箇所の異常点が認められた。表土下1mまでの米軍客土内で確認された異常点は、これまでの傾向として危険物である可能性が低いことから表土掘削時に確認することとし、1m以深で磁気量の大きい25箇所について確認探査を行った。結果、砲弾や爆弾等の危険物は無く、金属片・水道管・ガス管等が確認された。第2期の探査は調査面積拡張の改定契約に伴い実施し、表層経層併せて12箇所で異常点の反応があったが危険物は確認されなかった。

#### 5. 発掘調査（平成19年3月1日～平成20年2月29日）

油分含有土壌を暴露させると油分が揮発する事が事前調査で確認されていたことから、表土（基地造成土）掘削は蒸散期間を挟み段階的に行った。調査は伊礼原Dから着手し、調査終盤の9月からは平安山原Aへ移行。10月には両遺跡の調査（契約内容）が完了したが、伊礼原Dでは、調査完了面下層及び調査区外に遺構が展開する状況が確認されたことから、11月に下層調査1,325㎡、調査区拡張875㎡の改定契約を締結し追加調査を実施した。12月末には全ての現地調査が終了、1月から資料整理作業に専従し2月には完了した。

なお、両遺跡とも油分を含まない範囲があり、同範囲については区画整理事業に伴う緊急発掘調査\*を同時並行で実施している。

\*北谷町文化財調査報告書第35集（伊礼原D）、第38集（平安山原A）参照



## 現地調査日誌抄

### 【平成 18 年度】

3/1 伊礼原D表土掘削着手。掘削深度 50cm。0.7 バックホー 3 台、10 t ダンプ 2 台体制

3/8 伊礼原D重機掘削終了。3/13 には平安山原Aの重機掘削終了。

(蒸散期間)

3/19 伊礼原D調査区内に残る範囲確認調査時の埋め土を人力にて除去開始。

3/28 攪乱部分を掘り下げ、地下水の揚水試験を実施

3/30 隣接する別事業の調査区（伊礼原D油分無し）へ繋がる 0008SF の検出及び写真撮影

### 【平成 19 年度】

4/5 0019SL の検出作業、G10・H10 グリッド付近で途切れる状況を確認。翌日写真撮影

(蒸散期間)

5/15 表土掘削再開。地下水処理のための仮設水槽及び埋設管を設置

5/16 包含層掘削、遺構検出開始。遺構番号は伊礼原D油分無しを踏襲し、1200 番から開始

5/19 0P12～16 グリッド内の包含層掘削。層下の砂層面に流路跡（1510SZ）を検出

5/28 重機掘削中に不発弾（50kg 爆弾）を発見。現場で厳重保管し 6/11 自衛隊が処理

5/29 遺構検出時に近世陶磁器が目立つ。

5/31 遺構上面でウマの歯検出。

(雨天続く。屋外作業は遺構測量のみ実施)

6/20 遺構検出再開。遺構検出面である砂層上面から後期土器出土。遺構掘削開始

6/29 北谷中学生が職場体験で現場見学

7/2 NHK が発掘現場を取材。後日「伊礼原遺跡」として放映される

7/5 2352SKP から二枚貝有孔製品が一括出土

7/13 台風 4 号接近。那覇市で最大瞬間風速 56.3 m を観測

7/17 豪雨と側溝からの溢水により現場冠水。翌日には遺構掘削作業ができるまで復旧

8/1 1634SX から染付小碗出土。防衛局職員が調査区内の油臭土壌サンプルを採取。

8/9 遺構完掘全景写真撮影に向け調査区内の清掃開始

8/14 雨で洗われた砂面から下層遺物が露出

8/16 スカイマスターを用いて伊礼原D遺構完掘状況撮影

8/18 ラジコンヘリを用いて遺構完掘状況撮影。近隣住民から苦情があり作業中断

8/21 ラジヘリによる撮影終了。下層調査準備に着手。

8/22 伊礼原D南西隅の旧河道掘削。L10、K12 を下層調査。人工遺物が多数出土

8/23 I9、J10、L17 の下層調査。土器片が多く出土する L10 で頭蓋骨片（人？）出土

8/30 L11、I14 の下層調査。平安山原Aの表土掘削

8/31 L11 礫群下に人骨（頭蓋骨）出土。遺構（4309SG）と判断し写真撮影と平面図を作成

9/3 平安山原Aの遺構精査。溝 2 条、土坑 1 基、石列 2 列検出

9/5 K11 の下層調査。

9/6 旧河道の完掘状況撮影。平安山原Aの近世以降の水田上位層からジーファー出土

9/7 スカイマスターを用いて旧河道、平安山原A遺構完掘状況撮影。樹昌院住職出土人骨供養

9/12 M11、L12 の下層調査。L12 で列状に並ぶ礫を検出

9/13 松下孝幸氏により 4309SG（第 1 号人骨）の取上げ及び指導助言

- 9/14 4309SG 凶化、完掘、写真撮影。台風 11 号接近
- 9/19 下層確認調査完了。最後に L12 を掘り下げ人骨を検出 (4312SG)。追加調査の必要性浮上
- 9/25 平安山原A遺構検出 (2 面目)、旧河道掘削
- 10/10 旧河道の掘削中油臭強くなる
- 10/11 土肥直美氏来跡。4312SG (第 2 号人骨) について指導助言
- 10/16 大城逸朗氏来跡。地形について指導助言
- 10/19 平安山原A遺構完掘 (2 面目)
- 10/22 平安山原Aの遺構完掘状況撮影
- 10/23 平安山原Aの下層調査。人工遺物の出土無し。同遺跡の現地調査終了
- 10/26 NHK が発掘現場を取材
- 11/1 改定契約締結 (伊礼原D下層調査 1, 325 m<sup>2</sup>、伊礼原D調査区拡張 875 m<sup>2</sup>)。
- 11/5 下層調査着手。拡張部の表土掘削で強い油臭
- 11/8 L9、M9 境で土壙墓検出 (4314SG : 第 3 号人骨)
- 11/9 G10 で人骨? 検出 (4315SG)。拡張区の A15 で人骨検出 (4700SG : 第 5 号人骨)。
- 11/10 拡張区表土掘削終了。
- 11/15 拡張区で 1 間× 1 間の掘立柱建物跡検出
- 11/22 土肥直美氏と山崎真治氏来跡。出土人骨について指導助言
- 12/5 重機による下層断ち割り。調査中の白砂 1m 以下に川砂 0.2m、海砂層 2m 確認。海砂層に縄文前・中期の土器片あり。G12 ではビーチロックの東端確認。拡張区的全遺構の完掘測量完了
- 12/6 知念勇氏、大城氏、藤田祐樹氏、崎原恒寿氏来跡し指導助言
- 12/10 県文化課職員 2 名来跡。調査手法について指導助言
- 12/11 比嘉賀盛氏、江上幹幸氏、横尾昌樹氏来跡し指導助言。樹昌院住職による出土人骨の供養
- 12/12 知念氏、大城氏、土肥氏、藤田氏、山崎氏来跡。第 2・第 5 号人骨の上位部分取上げ
- 12/13 土肥氏、山崎氏来跡。第 2 号頭骨、第 3 号四肢骨、第 5 号の全て (頭部の土器含む) 取上げ完了。イモガイの集積遺構検出
- 12/14 大城氏、土肥氏、藤田氏、山崎氏来跡。第 2 号下顎・肋骨、第 3 号全取り上げ完了。拡張区完掘状況撮影
- 12/17 土肥氏、藤田氏来跡。第 2 号全て取上げ、全ての人骨取上げ完了。
- 12/21 イモガイ集積の取上げ。拡張区にて重機による下層断ち割り
- 12/26 L12 下層断ち割り。調査面下 -1.2m でビーチロック確認
- 12/27 全ての現地調査終了。

### 資料整理

#### 【平成 19、28 年度】

出土した総遺物量は遺物コンテナ 184 箱あり、内訳は伊礼原D 181 箱、平安山原A 3 箱である。出土遺物の整理作業は業務委託期間と報告書刊行年度に分けて実施し、前者では雨天時や現地調査終了後に行った。注記、接合、実測、トレース、原稿の執筆・編集等は平成 28 年度実施。現場作業中に採取した炭化物や出土遺物、人骨等の同定については、平成 27～28 年度に専門家へ分析、鑑定、原稿執筆を依頼した。

平成 28 年 12 月 27 日には印刷製本業務の入札を行い、翌 28 日、合資会社精印堂印刷と契約を締結。1 月に全ての原稿を入稿した。

## 第Ⅱ章 位置と環境

### (1) 地理的環境

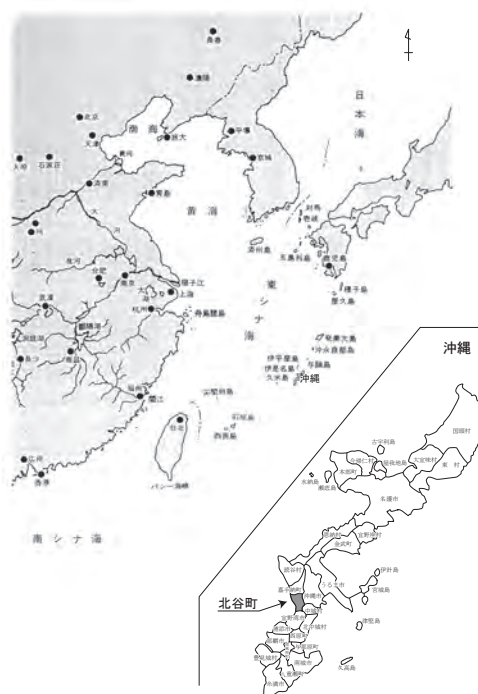
北谷町は沖縄島中部の西海岸、県都那覇市から北東約16kmに位置している。北に嘉手納町、東に沖縄市と北中城村、南に宜野湾市と接し、西に東シナ海が面し、彼方に慶良間諸島が眺望できる。町の総面積は13.93km<sup>2</sup>で、南北約6km、東西約4.3kmの長方形をなし、ほぼ中心(北緯26度18分58秒、東経127度45分55秒)に町役場は位置する。

本町は、米軍基地の多い沖縄県内においても基地占有率が3番目に高い自治体で、町総面積における軍用地の比率は52.9%を占める。そのため土地利用上大きな制約があり、丘陵台地からなる東部地域と主に海岸埋立地からなる西部地域の両居住域は基地により分断されている。

産業は西海岸地域を中心に第三次産業が盛んで、ハンビー地区やアメリカンビレッジなどでは国内外から訪れる観光客で賑わいをみせている。また、近年はフィッシャリーナ整備事業や自然海製塩事業など、地域特性を生かした新しい地場産業の創出に取り組んでいる。

交通の面では、国道58号が西海岸側を縦断し、県道23、24、130号線が国道以東へ延びる。現在は、国道58号の道路拡幅や県道24号バイパスの建設が進められているが、米軍基地の存在により部分的なものとなっている。

2016年11月末現在の人口は約29,188人で、現在進められている桑江伊平土地区画整理事業認可前(平成16年3月11日認可)に比べ2,830人、率にして1.10%増となっている。今後も公有水面埋立地の利用や返還軍用地の跡地利用に伴って、一層の人口増加が見込まれている。



第6図 北谷町の位置



第7図 北谷町全体



## (2) 自然的環境

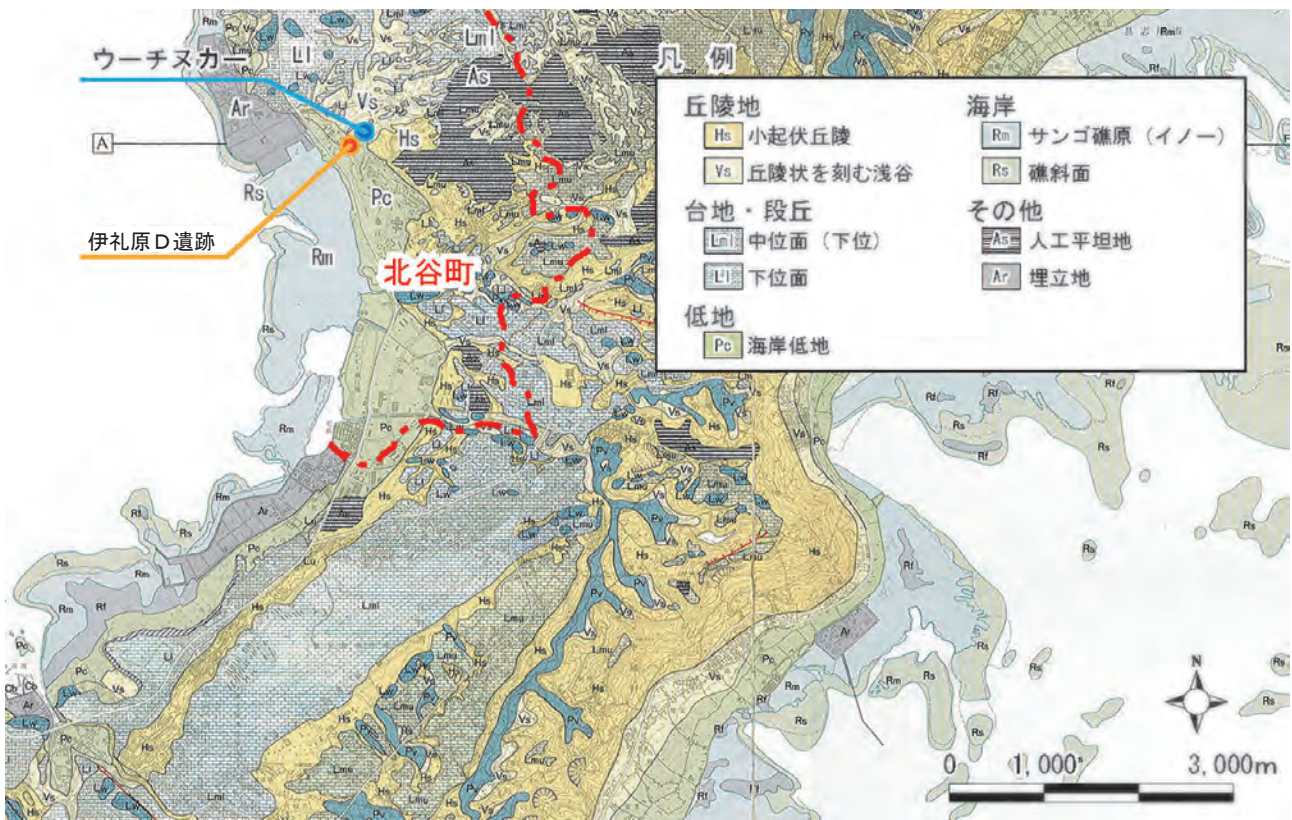
本町の気候は亜熱帯海洋性に属し四季を通して温暖である。年平均気温は22℃、年平均湿度は77%前後で冬期が短い。年降水量は2,000～3,000mmと多雨で、梅雨と台風期に集中する。

地形を概観すると、町の北西-南東方向に走る桑江断層を大きな境とし、東高西低を呈す。東部・南部では標高100m以上、100～50m、50～30mの段丘が見られ、侵食が進み起伏に富んだ地形となっている。北部では、洞穴やドリーネ、石灰岩堤、石灰岩丘等のカルスト地形が発達し、西部の海岸低地は、ほとんど埋立地や人工ビーチとなっており僅かに自然海浜が残る。

表層地質は、基盤の島尻層群を琉球層群が不整合に覆い、低地では琉球層群を沖積層が不整合に覆う。琉球層群は、砂礫堆積物の国頭礫層とサンゴ礁性堆積物の琉球石灰岩層からなり、前者は沖縄島北部、後者は中・南部に広く分布する。本町にも国頭礫層が分布しており、同層は基盤である名護層の影響を受けて酸性化し、風化した土壌（国頭マージ）にはイジュやヤマモモが生育する。

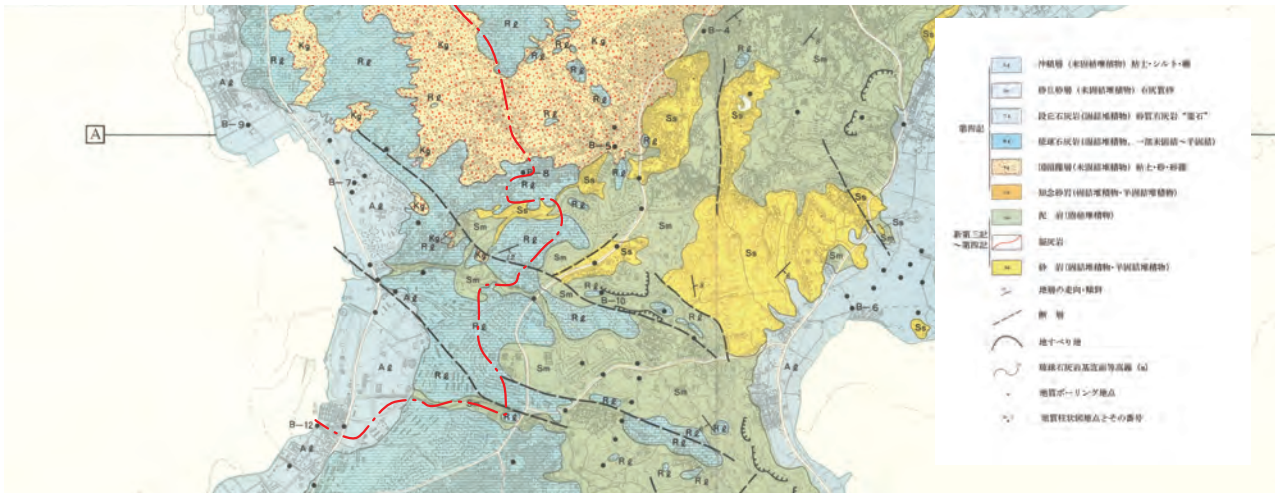
水理地質は、不透水層の基盤とこれを不整合で覆う帯水層（琉球石灰岩）との不整合部で湧出する。本報告の遺跡を横断するナガサヤ、国史跡伊礼原付近のウーチヌカーも同機構による。

植生では、先述のイジュ・ヤマモモ等と、中南部に広がるアルカリ化した土壌（島尻マージ）に生息するアカギ・オオバギ・ヤブニッケイ等が混生し、学術的にも貴重な地域である。嘉手納基地内やその周辺、庁舎北側の丘陵地、北谷城周辺、河川流域に森林が比較的良好に残るも、その割合は町土の7%と高くない。動物相は、良好な植生が残っている場所を中心に1,411種が確認され、2000年に行われた動物調査では、希少性の高い哺乳類のオリオオコウモリ、鳥類のミフウズラ、昆虫類のクロイワゼミ等を含む陸棲動物や、海域、汽水域、河川域で多様な水棲動物が確認されている。

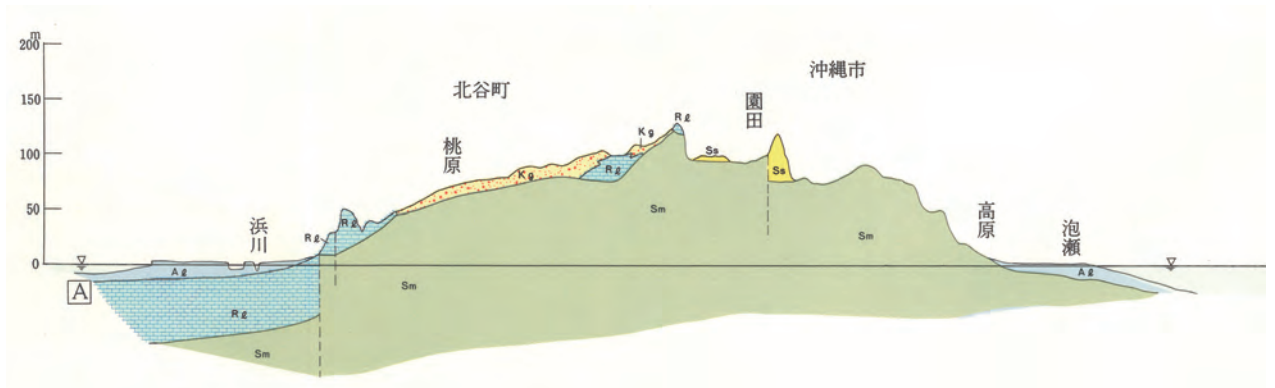


第8図 地形分類（「沖縄県地形分類図」に加筆）

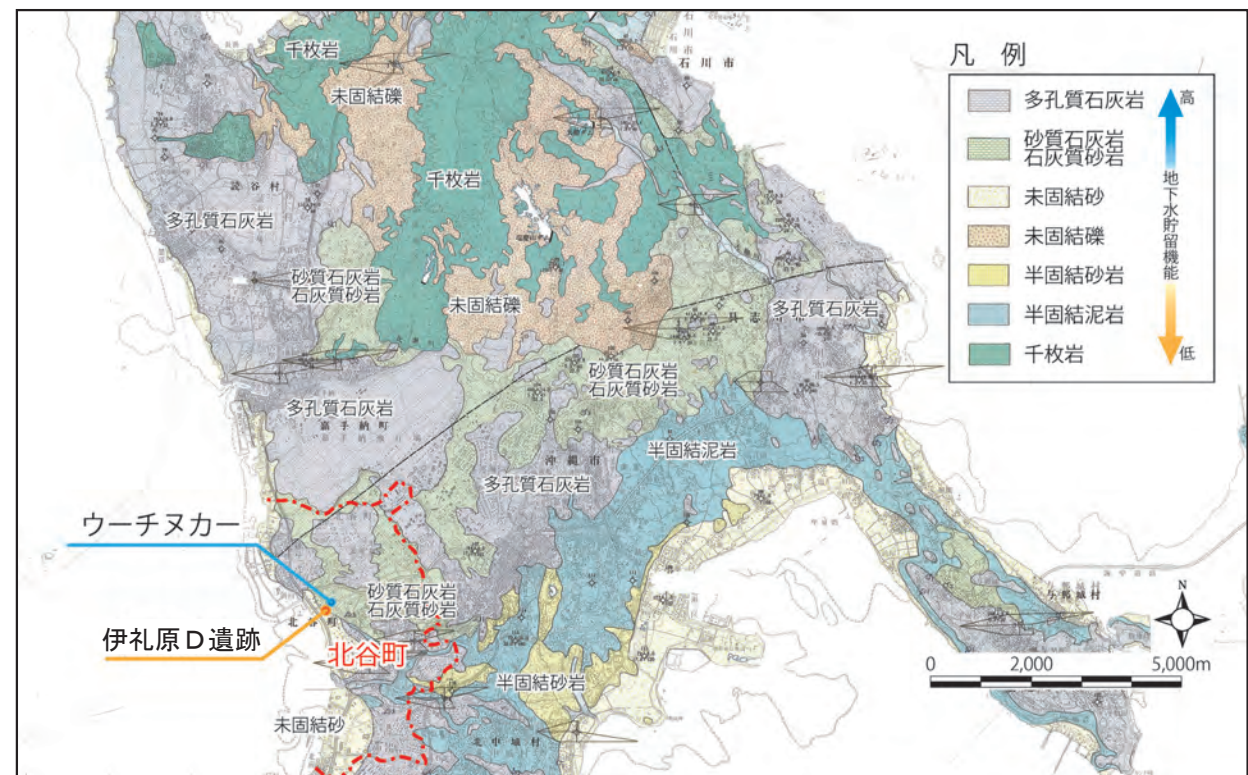




第9図 表層地質（「5万分の1都道府県土地分類基本調査」に加筆）



第10図 表層地質断面（「5万分の1都道府県土地分類基本調査」に加筆）



第11図 水理地質（「沖縄県水理地質図」に加筆）

### (3) 歴史的環境

#### 旧石器時代

現在、当該期の明確な遺跡は存在しない。1966年、多和田真淳によって発見された桃原洞穴遺跡から検出された約16,000年前の化石人骨は、近年の研究で中世に属すると考えられている。1983年施行の桃原土地区画整理事業の際には鹿化石が3点発見されたが、現在は宅地と化している。

#### 貝塚時代前期（縄文時代相当期）

本町最古の遺跡は、桑江断層下標高2～4mの沖積地に立地する伊礼原遺跡である。同遺跡は、縄文海進ピーク時にあたる前Ⅰ～Ⅱ期（縄文時代早期～前期）の頃は海食崖付近の低湿地に、海退によって陸地化が進む前Ⅲ期（同中期）以降は、Ⅰ～Ⅱ期の頃に無かった砂丘上に遺跡が形成される。一帯の砂丘は、前Ⅳ期のほか続く後Ⅰ期（弥生から古墳）にも侵食と再堆積を繰り返しており、地形の発達過程を良好に示す。低湿地からは滑石を含む曾畑式土器が出土し、九州との交流が窺える。

町北部に位置する前Ⅳ～Ⅴ期の砂辺貝塚は、標高33mの残丘カルストの台地上に住居跡を、崖下に貝塚を形成する。砂辺貝塚から南西に300m、標高7mの鍾乳洞内に前Ⅴ期の墓域を形成するクマヤ洞穴遺跡があり、洞内からは50数体分の改葬人骨とともに副葬品が発見された。貝塚前期の段階で地形の発達過程や、遺跡の立地と性格が一様でないことが判る。

#### 貝塚時代後期（弥生から平安時代並行期）

本期の遺跡はキャンプ桑江北側地区の標高3～5mに集中する。平安山や桑江の低地では砂丘や浜堤の発達に伴って後Ⅰ期の遺跡が増加する。遺跡からは燃焼遺構や貝塚、土壇墓などが検出されるが、住居跡は認められない。後Ⅱ期の終末からグスク時代の小堀原遺跡では、10～12世紀代の大麥・稲・アワや、カムイヤキ埋納土壇墓が発見されるなど、喜界島城久遺跡群との関連が注目される。その他、平安山原B遺跡からは10～14世紀に収まる可能性が高い風呂鍬が出土するなど、農耕を示唆する遺物が目立つ。また、小堀原遺跡に隣接する後兼久原遺跡からは、製鉄・鍛冶関連の遺物・遺構も検出されており、小堀原と共に次代の成立を考える上で重要な遺跡である。

#### グスク時代・古琉球

本町におけるグスク時代の代表的な遺跡に北谷城が挙げられる。北谷城は、町役場から南へ約1.3kmの石灰岩丘陵上に立地する本町で唯一残存するグスクである。発掘調査成果から、12世紀に始まり14世紀後半から15世紀中頃に石垣が構築され、15世紀後半に終焉したと考えられる。北谷城主に関する明確な記録はなく、金満按司や大川按司、北谷按司の3系統の興亡があったと伝えられているが伝承の域を出ない。「北谷」の文字は、嘉靖年間（1522～1566年）の愈姓大宗家家譜中に「北谷間切平安山地頭職」と見え、遅くとも16世紀半ばには存在していたようである。また、琉球国王が地方役人に給した辞令書（1577年）に「きたたんまきり」と見られることから、当時は北谷を「きたたん」と読んでいたようである。その後「きたたん」は「きちゃたん」から「ちちゃたん」へと変化し、現在の「ちゃたん」となる。なぜ「きたたん」というのか諸説あるが、定説には至っていない。

#### 近世（1609-1879）

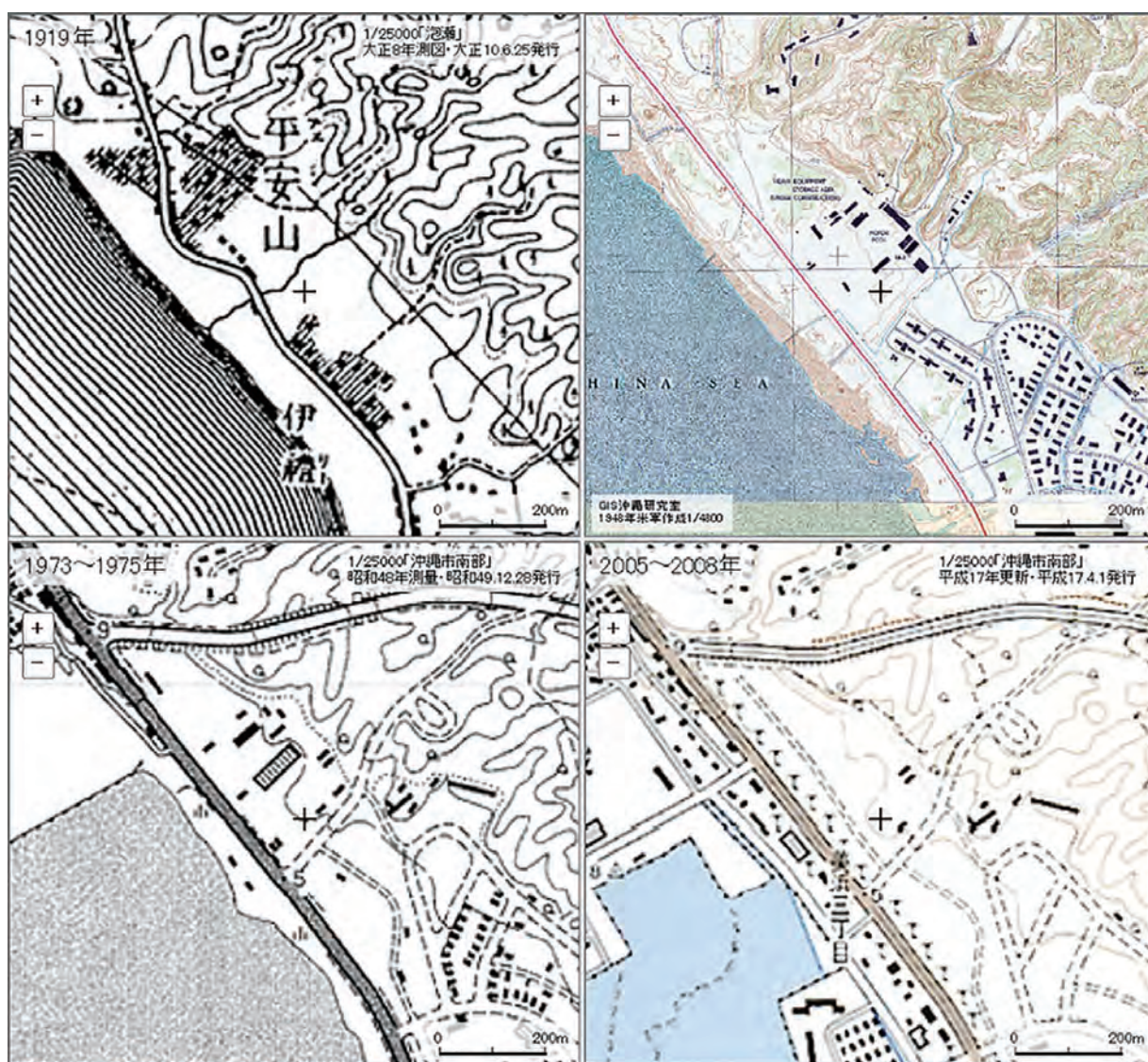
1649年に作成された『絵図郷村帳』をみると、近世の北谷間切には、北谷、くわい（現在の桑江）、平安山、すなへ（砂辺）、野国、屋郎（屋良）、賀手納（嘉手納）、山内、あきな（安仁屋）の9つの村があったことが分かる。1660～1670年代には、間切の分割・新設に伴って山内が越来間切に、あ



きなが宜野湾間切に割かれ、新たに玉代勢、伝道、伊礼、浜川、野里が誕生し、計12村となって近代まで引き継がれた。1700年代前半になると首里の士族層が地方へ下り、屋取（ヤードゥイ）として生活し始める。北谷は屋取が多い地域で、彼らは古集落と離れた未開地、概して高標高の地を開墾し集落を形成するが、急激な開墾により土砂流出が起きたことが下流域の伊礼原B遺跡で確認される。近世末期の1840年には、北谷沖にイギリス商船のインディアン・オーク号が座礁する事故が起こる。北谷間切の人々は同船の乗組員全員を救助・保護し、帰国の手助けをした。インディアン・オーク号座礁地では、当時の積み荷の一部が今も海底に残され、海底遺跡として位置付けられている。

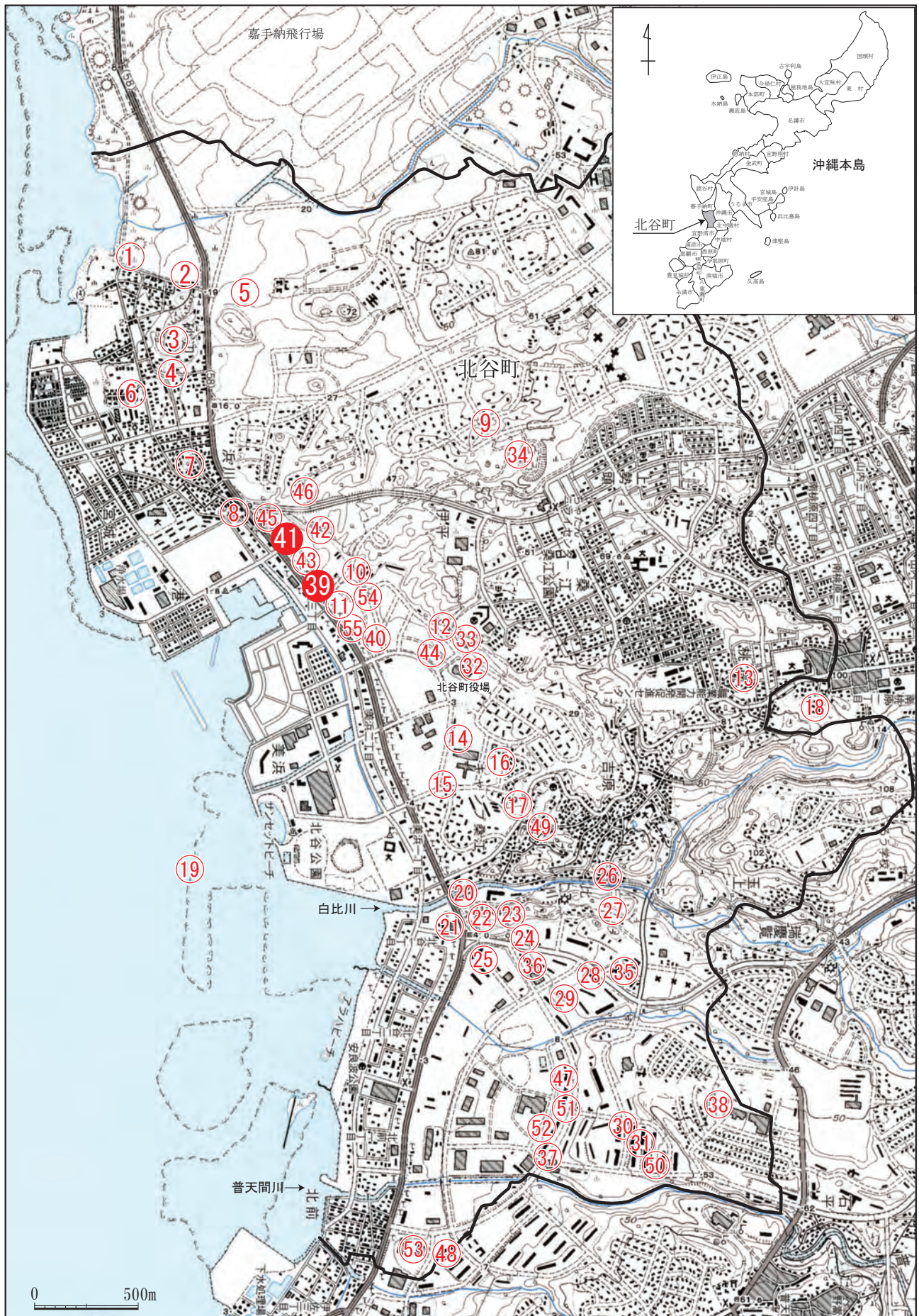
## 近代・現代

1908（明治41）年に施行された島嶼町村制以後、北谷間切は北谷村<sup>ムラ</sup>となった。戦前は水田の広がる農村として栄えていたが先の大戦で焦土と化し、沖縄戦や戦後の米軍基地建設により地形は大きく改変された。米軍上陸直前に守備隊が建設した特攻艇秘匿壕は、北谷城が立地する丘陵北側に現在も残されている。戦後は村全域が米軍の軍事占領下に置かれ、中でも嘉手納基地の存在は村を南北に二分し行政執行に支障をきたす要因となった。これらを受け、1948（昭和23）年には北谷村と嘉手納村<sup>ソン</sup>に分村し、1980（昭和55）年には北谷村から北谷町へと町制移行している。



第12図 戦前～戦後の調査地周辺（「今昔マップ on the web」より。図上+箇所が調査地）





第 13 図 北谷町の位置と遺跡分布



第1表 北谷町遺跡一覧

2017年3月現在

No.	遺跡名	時期	所在地
1	砂辺(すなべ)サーク原貝塚	貝塚後期	字砂辺差久原
2	砂辺サーク原遺跡	貝塚前IV期～近世	字砂辺加志原
3	砂辺貝塚	貝塚前IV期～グスク	字砂辺村内原
4	砂辺ウガン遺跡	貝塚後期	字砂辺加志原
5	カーシーノボントン遺物散布地	貝塚前V期	字砂辺加志原
6	クマヤー洞穴遺跡	貝塚前II期～戦前	字砂辺村内原
7	浜川千原岩山(はまがわせんぼるいわやま)遺物散布地	貝塚前V期	字浜川浜川千原
8	浜川ウガン遺跡	貝塚後期	字浜川浜川
9	上・下勢頭区古墓群(かみ・しもせどくこぼぐん)	近世	字上勢頭平安山伊森原・伊礼伊森原・下勢頭平安山下勢頭原
10	伊礼原(いれいばる)遺跡	貝塚前I期～戦前	字伊平伊礼原
11	伊礼原B遺跡	貝塚I～V期・晩期・近世・戦前	字伊平伊礼原
12	桑江ノ殿(くわえのどらん)遺物散布地	グスク～近世	字桑江小堀原
13	鹿化石出土地	旧石器	字吉原栄口原・桃原
14	前原古島(めーばるふるじま)A遺跡	近世	字桑江桑江原・前原
15	前原古島B遺跡	近世	字桑江前原
16	伊地差久原(いじさくばる)古墓	近世	字桑江伊地差久原
17	前原古墓群	近世	字桑江前原
18	桃原(とうばる)洞穴遺跡	旧石器	字吉原東新川原
19	インディアン・オーク号の座礁地	近世	字北谷地先
20	池(いち)グスク	グスク	字吉原東宇地原・西宇地原
21	白比川(しらひがわ)河口遺物散布地	貝塚前II期	字北谷西表原
22	北谷城(ちやたんぐすく)遺跡群	貝塚後期末～グスク	字大村城原
23	北谷城	貝塚後期末～近世	字大村城原
24	北谷城第7遺跡	貝塚後期～グスク	字大村城原
25	北谷番所址	近世	字北谷北谷原
26	吉原東角双原(よしほらあがりちぬまたばる)遺物散布地	グスク	字吉原東角双原・西角双原
27	山川原(やまがーばる)古墓群	近世	字大村山川原
28	玉代勢原(たまよせばる)遺跡	貝塚後期末～グスク	字大村玉代勢原
29	長老山(ちやうろうやま)遺物散布地	グスク～近世	字大村玉代勢原
30	大道原(うふどうばる)A遺跡	グスク	字北谷大道原
31	大道原B遺跡	貝塚前V期	字北谷大道原
32	後兼久原(くしかにくばる)遺跡	グスク	字桑江後兼久原・字桑江小堀原
33	ジョーミーチャー古墓	グスク	字桑江小堀原
34	伊礼伊森原(いりーいーむいばる)遺跡	グスク	字上勢頭伊礼伊森原
35	後原(くしばる)遺跡	グスク～近世	字大村玉代勢原
36	塩川原(すーがーばる)遺跡	グスク	字北谷塩川原
37	稲干原(んにふしばる)遺跡	貝塚後期	字北前稲干原
38	横嵩原(よこたけばる)遺跡	グスク	字北前横嵩原
39	<b>伊礼原D遺跡</b>	貝塚後期～近世	字伊平伊礼原
40	伊礼原E遺跡	貝塚前II期～近世	字伊平伊礼原
41	<b>平安山原(ほんざんばる)A遺跡</b>	貝塚後期～近世	字伊平平安山原
42	平安山原B遺跡	貝塚後期～近世・戦前	字伊平平安山原
43	平安山原C遺跡	貝塚後期～近世	字伊平平安山原
44	小堀原(くむいばる)遺跡	貝塚後期～近世	字桑江小堀原
45	千原(せんばる)遺跡	グスク	字伊平千原
46	大作原(うふさくばる)古墓群	貝塚後期・近世	字伊平大作原
47	東表原(あがりうむていばる)遺跡	貝塚前V期	字北谷東表原
48	新城下原(あらぐすくしちやばる)第2遺跡	貝塚前I期～近世	字北谷安仁屋原
49	東宇地原(あがりうじばる)古墓群	近世	字伝道原東宇地原
50	大道原C遺跡	近世	字北谷大道原
51	大道原D遺跡	グスク	字北谷大当原
52	高畔原(たかふしばる)水田跡	近世～戦前	字北谷高畔原
53	安仁屋原(あにやばる)遺跡	グスク～近世	字北前安仁屋原
54	伊礼原A遺跡	貝塚前III期～貝塚後期	字伊平伊礼原
55	蔵森(くらんもー)	弥生から平安並行期～戦後・近世～戦後	字伊平伊礼原

註:時代表記は概ね「グスク」→「10～17世紀前半」、「近世」→「17世紀後半～明治以前」、「戦前」→「1945年以前」

\*番号は第13図と一致

## 第Ⅲ章 調査の方法

### 調査区及びグリッド設定

調査地は、遺跡と油分・油臭が確認された範囲が重複する伊平伊礼原 160 番地、平安山原 118 番地一帯の標高 4.0～5.0 mの平坦地に位置する。グリッドの設定では、区画整理事業で発掘調査を行っている方法を準用した。区画整理事業地を 1 辺 100 mの大グリッドで覆い、大グリッドの中には 1 辺 5 mの小グリッドを設けるものである。事業地の形状に合わせて任意設定したため、東西南北の軸とは重ならない。グリッド名称は、大小ともグリッドの北東隅を基準に、南東へ 01～20、南西へ A～T とした（第 14 図）。本書での調査区は、大グリッド B4 と B5、C5 の範囲内に位置している。

### 表土掘削

事前調査及び磁気探査実施後表土掘削を行った。掘削時には砲弾葉莢や鉄屑等、米軍に帰属する金属類のほか、未撤去の基地建物の基礎も認められた。これらを重機掘削で除去しつつ、油臭の蒸散期間を設けながら基地造成土及び確認調査時の埋土を掘削した。

### 包含層掘削及び遺構検出

遺物包含層は、遺物量や出土状況に応じて小形のスコップや手鍬、ねじり鎌を用いて掘削した。出土遺物は層位・グリッド毎に取り上げ、特徴的な遺物や一括遺物については実測図作成と写真撮影を行った。遺構検出作業は基本的にジョレンを用いたが、より精査が必要な箇所についてはねじり鎌を用いた。排土はベルトコンベアを使用して場外搬出し、バケット容量 0.3 m<sup>3</sup>級のバックホウと 4t ダンプを用いて残土置き場へ運搬した。

### 遺構掘削

土坑や柱穴は基本的に長軸で半截し、溝は規模に応じて数箇所の土層観察用畦を残し掘削した。土墳墓は掘り込み部の確認に慎重を期し検出・掘削を行った。掘削には移植ごてやスプーン等を用いつつ、遺構内遺物を傷つけないよう必要に応じて竹串や竹べら等を用いた。一部の遺構埋土については、今後の分析資料用サンプルとして採取した。

### 記録作業

実測は平面図をトータルステーションで、壁面図を手実測で行った。写真撮影は、35mm（カラー）及び 6×7 のフィルムカメラ（カラー・モノクロ）と、800 万画素のデジタルカメラを使用した。遺構完掘時の全景撮影時は、ブーム式の高所作業車とラジコンヘリコプターを適宜使用した。

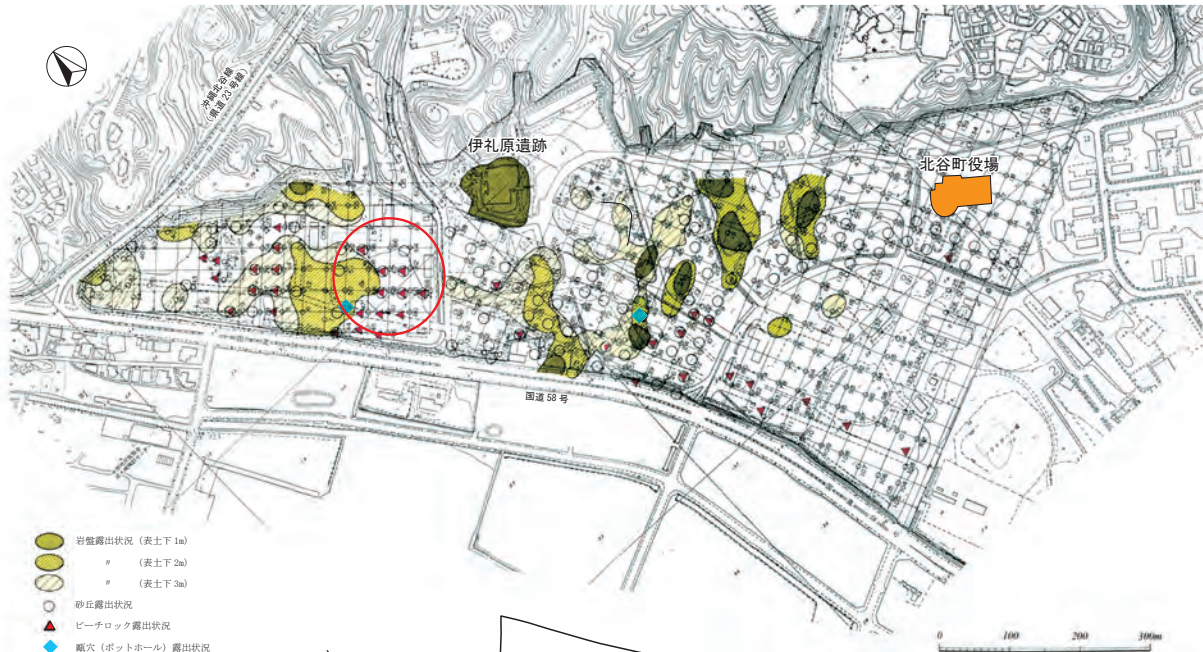
### 自然科学分析

自然科学分析では、伊礼原 D 遺跡で検出された 1 号人骨（脛骨）、3 号人骨（肋骨）、5 号人骨（左肋骨）の C14 炭素年代測定を専門機関に委託した。分析結果は第 V 章第 6 節を参照。

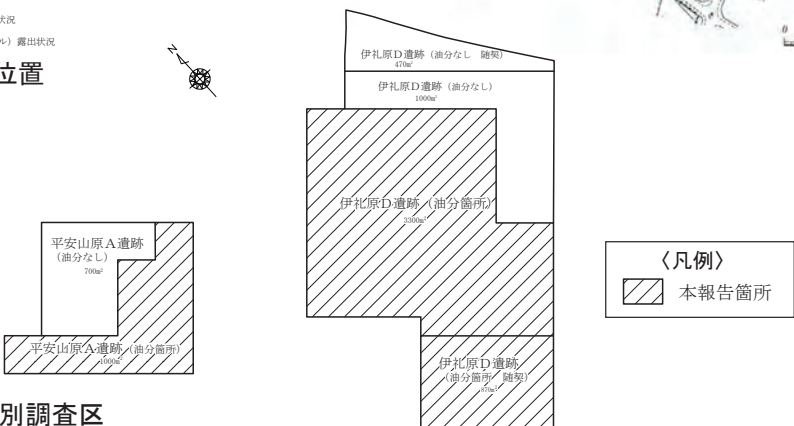
### 整理作業

洗浄済み遺物に注記後、分類、接合を行い、復元可能な資料については焼石膏を用いて復元を行った。復元した資料は土器 4 点、タイ産鉄絵の合子蓋 1 点の計 5 点である。実測は一部実測器を使用し、トレースは全てイラストレーターでデジタルトレースした。遺物写真はデジタルカメラ（1200 万画素）で撮影したものをフォトショップで編集、文字原稿はワードを、表はエクセルで作成した。全ての原稿は最終的にインデザインで編集し、印刷業者へデータ入稿した。

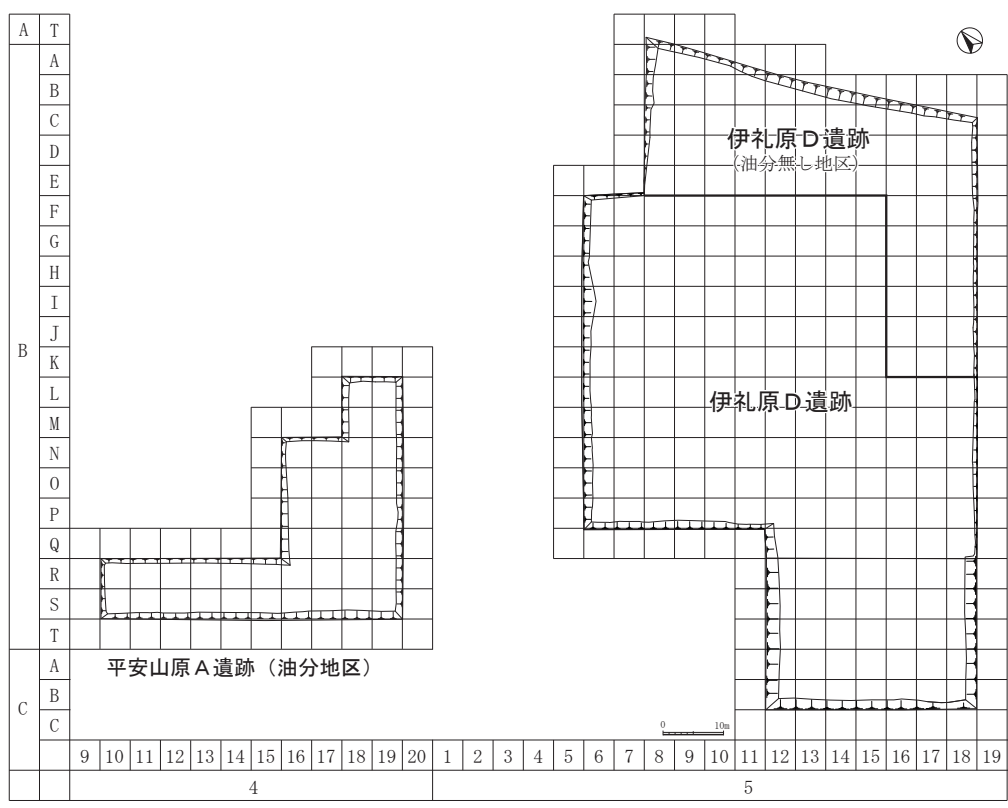




第 14 図 遺跡位置



第 15 図 事業別調査区



第 16 図 グリッド配置

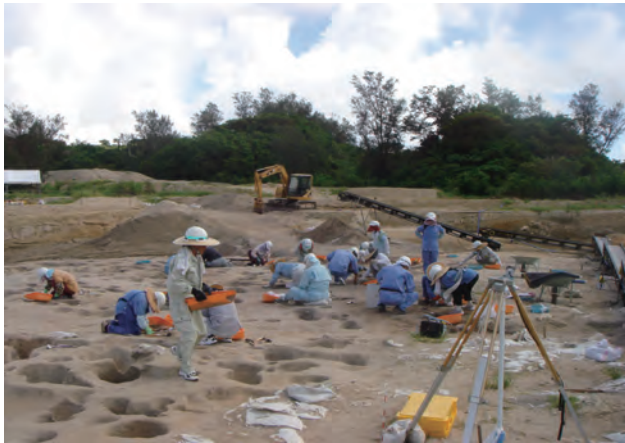




調査区設定と表土剥ぎ



石組遺構の検出



遺構調査



遺物洗浄



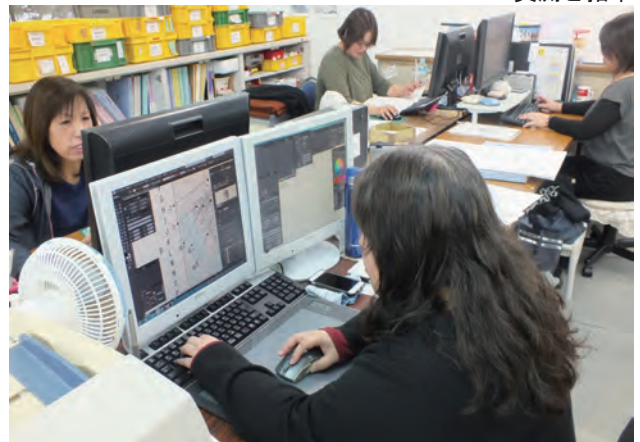
遺構図の整理



実測と拓本



遺物の復元



デジタル入力・トレース・編集など

図版 2 発掘調査・資料整理状況

## 第IV章 調査成果

### 第1節 層序

今回報告する調査区は、既刊『伊礼原D遺跡』（2008）及び『伊礼原D遺跡』（2013）の調査区と密接しているため、基本層序を理解するにあたっては、前書の内容と完全に切り離して考えることは不可能である。細分層の数は100を超えるものの、第18～19図に示した基本層序図にも掲載されない隣接区の土層が、遺跡内容の鍵層になっている場合もある。第2表には、各書における基本層序の対応を示した。

第2表 伊礼原D遺跡における過年度調査との層序対応

第28集(2008)	第35集(2013)	第40集(2017)	区分概念
4-①層	I層	I-B～D層	米軍接收以降
4-②層	II層イ・ハ	II層	戦前まで
4-③層	IIIa	IIIa層	近世耕作土(包含層1)
	IIIb	IIIb層	グスク時代(包含層2)
-	-	IV層	流路2・3他
4-④層	IV層	-	4409SX
	Va層	-	
4-⑤層	Vb層	Vb層	浜堤砂層
	VIa層	Vc層	
4-⑥層	VIb層	VI層	枝サンゴ層
4-⑦層			ビーチロック

#### I層：戦後の造成土

伊礼原D遺跡は、旧米軍キャンプ桑江・バスターミナル施設跡地に所在する。1945年4月に米軍が上陸し、当地を接收した後は大々的な造成工事が行われた。その後の長い基地施設の使用に伴って生じた土壌汚染が広範囲で確認されたため、基地返還に伴って沖縄防衛局による汚染土壌改良作業が実施された。このような経緯が調査区壁面においても明瞭に観察されており、以下のように4細別できたが、層序図が煩雑になることを避けるために記述のみとし、「I層」として一括する。その他、米軍施設に伴って多数構築された攪乱（埋設管等）も、同じくI層の範疇に含めた。

##### A層：汚染土壌の入替土

総じて赤褐色を呈し、判別は容易である。汚染の度合いによって厚さが異なる。

##### B層：米軍バスターミナル建設時の盛り土

傾斜の平坦化を行っており、箇所によっては転圧地盤が確認できる。

##### C層：ビーチコーラル層

戦後の大規模造成土と思われ、非常に硬く締まる。粗い平坦化がなされている。

##### D層：米軍による廃棄層

#### II層：近代（1～10層→流路1→11～63層）

戦前、伊礼・平安山両集落間を流れていたナガサ川そのものである可能性がある土層（流路1＝3508SD）が、西壁②に明瞭に表れた。内側には人頭大以上の礫による護岸の痕跡が認められ、外側には堤防のような高まりも看取される。また、この付近には上記IC層の堆積がみられなかった。これが本当に戦前のナガサ川であれば、米軍によって埋め戻されたことになるので、流路内埋土（流1-12～17層等）はI層の範疇として扱うべきかもしれない。しかし、戦前の空中写真と照合してみると、走行方向は完全に一致するものの、調査区外側に数mほどずれていた。戦前ナガサ川が調査区外にあったのであれば、この流路1はそれ以前のものということになる。また11～63層は、流路1構築以前からの農村風景を構成していた土層であると思われる。



### Ⅲ層：近世以前の遺物包含層

#### Ⅲ a 層：近世の遺物包含層（64 層＝包含層 1）

調査区に広く分布するシルト層で、均質で安定した土質であること、遺物を比較的多く包含することから、人力掘削調査の対象とした。近世の遺物を含み、調査現場では「包含層 1（包 1）」と呼称していた。『伊礼原D遺跡』（2013）における「Ⅱ層ロ（45 層）」と同一の層であり、後述するⅢ b 層上部で段畑状の様相を呈していることが確認されたため、Ⅲ b 層を母材とした耕作土であった可能性を想定した。

#### Ⅲ b 層：グスク時代の遺物包含層（包含層 2）

今回調査区の壁面には存在していないが、第一浜堤上に薄く散在しており、調査現場では「包含層 2（包 2）」と呼称していた。『伊礼原D遺跡』（2013）における「Ⅲ層ロ（78 層）」と同一のもので、出土遺物は 14～17c 初頭のもを主体としている。Ⅲ b 層の分布が全面に展開しないのは、Ⅲ a 層作出時或いは戦後の米軍による攪乱が考えられるが、広い範囲で検出された土坑・ピット群の埋土の大半は、このⅢ b 層に由来したシルト質土である。

### Ⅳ層：流路内堆積（流路 2・3、65～70 層）

自然流路内堆積土をⅣ層として一括したが、埋没時期が前述Ⅲ b 層より新しいものが含まれることは留意されたい。流路 2（3507SD）は、前述流路 1 と走行方向をほぼ同じくするが、相対的に底面幅が広い。流路 1 との間に 11～17 層を挟んでおり、ここにある程度の時間差が看取される。

この流路 2 から分岐した形で南東方向に走るのが流路 3（1510SD）である。この埋土からは近世陶磁器が出土している他、埋没後の流路上面からピット等の遺構も検出されているため、本流路の埋没時期は 17c 頃のことと考えられ、また今回検出された多くの土坑・ピット群は、グスク期と近世の 2 時期に大別されることになる。

65～70 層は調査区北隅にのみ確認された流路堆積であるが、1～10 層より古いという他には時期決定の根拠に欠ける。

### Ⅴ層：浜堤を形成する砂層

貝塚時代以降、旧ナガサ河口部にて発達していった浜堤砂層。流路 3 両岸においては、Ⅴ層とした砂層の質や出土遺物の内容が異なっており、既刊『平安山原 B・C 遺跡』（2016）における所見も加味すると、流路 3 としたものは浜堤間に長く走る窪地が起源となったことが考えられる。この点を考慮し、本書においては流路 3 より山側の砂地を「第一浜堤」、海側を「第二浜堤」と呼称する（第 17 図）。海側ほどその成立時期は新しく、遺物の平面分布から、第一浜堤は貝塚時代後期前半までに、第二浜堤は後半までにそれぞれ成立していたものと考えられる。

砂層自体は自然堆積層であるが、浜堤上で人間の活動がなされた結果、この砂層上位の遺物包含層化が進んでいった。明確な分層をした訳ではないが、この上位砂を「遺物包含砂層（包砂）」の名称を付し、遺物の取り上げ等を行っている。また、これよりレベルが明らかに低い部分から出土した遺物の層位名は「下位砂層（下砂）」とした。

隣接する既刊の『伊礼原D遺跡』（2013）での層序名称に則ると、同じ「遺物包含砂層」は「Ⅴ b 層」にあたる。本書ではこれを踏襲することとし、更にこれを準用する形で「下位砂層」は「Ⅴ c

層」として台帳整理を行っている。前書でのV a層は、今回調査区内では検出されていない。

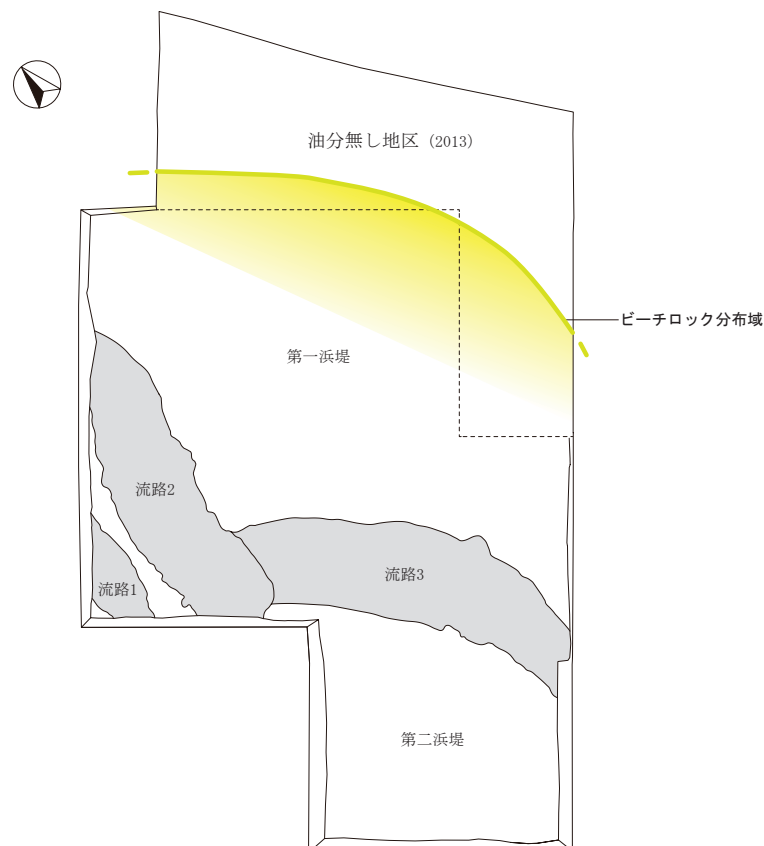
なお、上記IV・V層の形成・埋没については、隣接する『平安山原B遺跡』（2016）に詳しいので、そちらも参照されたい。

### VI層：ビーチロック以下

浜堤下部には、枝サンゴを多く含む砂礫層の上部が固結した「ビーチロック」があり、今回の調査範囲内のほぼ全面に広がっていると考えられる。この砂礫層は、縄文時代に伊礼原を襲った津波によってもたされたと考えられており、同時期の遺物を多く含んでいる。今回報告されている縄文遺物については、このビーチロック以下の掘削によって得られたものが殆どである。

### 浜堤・流路のまとめ

- 第一浜堤 大当原式期には既に形成されており、くびれ平底土器期までに更に発達。明代には非常に活発な土地利用がなされる。
- 第二浜堤 12c頃までに形成されるが、墓域以外の利用は認められない。近世に入ると、やや活発な土地利用がなされるようになる。
- 流路1 戦前のナガサ川か。そうであれば、その埋没は1945年以降の米軍による行為ということになる。
- 流路2 流路1の前身であったと考えられる旧ナガサ川。形成時期は不明であるが、近代までに埋没した。
- 流路3 第二浜堤の形成とともに誕生した浜堤間の窪地。埋没は17c頃で、以後第二浜堤上の利用が活発になる。



第17図 浜堤・流路略図 (S=1/1000)

第3表-1 基本層序土層注記

大別層名	図中番号	土色・土性	含有・混入物他
I 層	I		戦後の造成土。A～D層に細分可。
II 層	1	5Y5/1 灰色砂質シルト	砂礫。
	2	2.5Y5/3 黄褐色細砂	砂礫ブロック。
	3	5Y7/2 灰白色細砂	
	4	5Y6/3 オリーブ黄色砂質シルト	
	5	5Y6/3 オリーブ黄色細砂	砂礫・貝小片。
	6	5Y7/2 灰白色砂質シルト	
	7	7.5Y6/2 灰オリーブ色砂質シルト	
	8	10Y5/1 灰色砂質シルト	砂礫。
	9	10Y5/2 オリーブ灰色砂質シルト	砂礫。
	10	5Y6/3 オリーブ黄色砂質シルト	砂礫・貝。
	流路1-1	5Y5/2 灰オリーブ色細砂	粗砂。
	流路1-2	7.5Y8/1 灰白色シルト	砂礫・貝。
	流路1-3	7.5Y4/1 灰色砂質シルト	炭。
	流路1-4	10Y4/1 灰色砂質シルト	炭。細砂薄層あり。
	流路1-5	5Y6/1 灰色細砂	
	流路1-6	2.5GY4/1 暗オリーブ灰色砂質シルト	炭。
	流路1-7	7.5Y7/2 灰白色砂質土	
	流路1-8	7.5Y4/1 灰色砂質シルト	炭。
	流路1-9	5GY5/1 オリーブ灰色砂質シルト	
	流路1-10	2.5Y7/2 灰黄色細砂	砂礫。
	流路1-11	5Y5/2 灰オリーブ色中～細砂	
	流路1-12	5Y6/3 オリーブ黄色砂質シルト	有機物を多く含む。
	流路1-13	5Y4/2 灰オリーブ色細砂	有機物。
	流路1-14	2.5Y6/4 にぶい黄色砂質シルト	
	流路1-15	2.5Y6/6 明黄褐色砂質シルト	
	流路1-16	2.5Y7/2 灰黄色砂質シルト	
	流路1-17	10Y7/1 灰白色砂質土	石灰・コンクリート片・ガラス瓶。
	流路1-18	5Y7/4 浅黄色細砂	
	流路1-19	7.5Y6/2 灰オリーブ色砂質土	砂礫・貝。
	流路1-20	5Y5/1 灰色砂質土	砂礫・貝。
	流路1-21	5Y4/1 灰色砂質土	砂礫・貝・土器片。
	流路1-22	5Y7/1 灰白色砂質土	灰色シルトブロック。
	流路1-23	5Y5/1 灰色砂質シルト	
流路1-24	5Y6/3 オリーブ黄色砂質シルト		
11	5Y6/2 灰オリーブ色砂質土	灰白色砂。	
12	5Y6/4 オリーブ黄色砂質シルト	貝小片。	
13	7.5Y5/2 灰オリーブ色砂質土	砂礫・貝小片。	
14	5Y4/1 灰色砂質シルト	砂礫・貝小片。	
15	10Y8/1 灰白色中砂～粗砂	シルト。	
16	10Y6/1 灰色砂質土	砂礫・貝小片。	
17	7.5Y6/2 灰オリーブ色砂質シルト	貝小片。	
18	N8/ 灰白色粗砂～砂礫	貝。	
19	10Y8/1 灰白色砂質土	砂礫。	
20	2.5Y6/1 黄灰色砂質土		
21	5Y7/2 灰白色砂質シルト		
22	10YR5/1 褐灰色砂質土	砂礫・灰黄色砂ブロック・ガラス片。	
23	2.5Y5/2 暗灰黄色砂質土	砂礫・貝。	
24	2.5Y6/1 黄灰色砂質土		
25	10YR5/1 褐灰色砂質土	砂礫・灰黄色砂ブロック・ガラス片。	



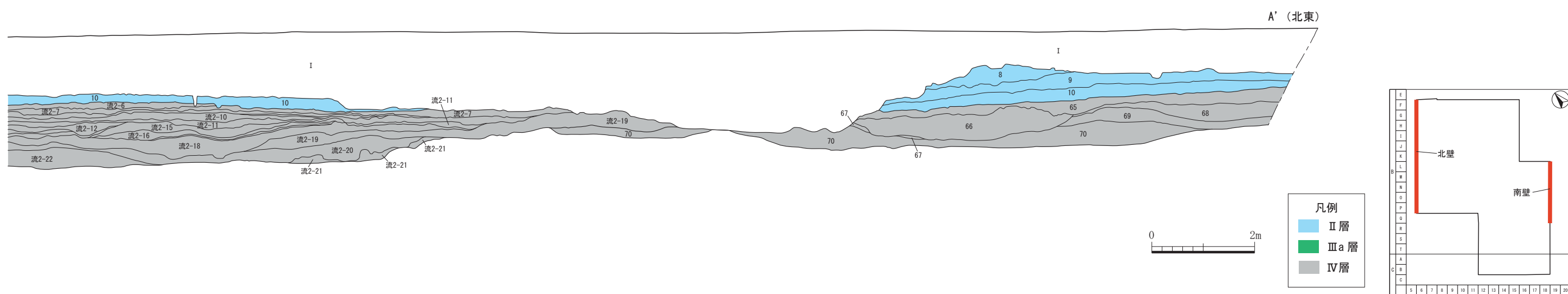
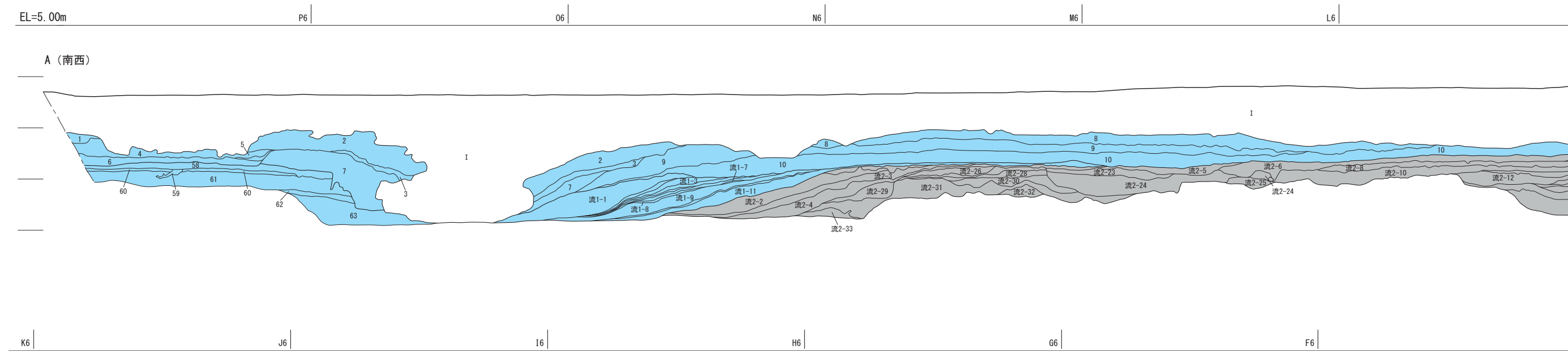
第3表-2 基本層序土層注記

大別層名	図中番号	土色・土性	含有・混入物他
II層	26	2.5Y5/2 暗灰黄色砂質土	砂礫・貝。
	27	2.5Y5/2 暗灰黄色砂質土	砂礫・貝小片。
	28	5Y3/1 オリーブ黒色シルト	
	29	5Y4/1 灰色砂質土	砂礫・貝小片。
	30	2.5Y4/1 黄灰色砂質土	砂礫・貝。
	31	5Y6/1 灰色砂質シルト	貝。
	32	2.5Y4/1 黄灰色砂質土	砂礫・貝。
	33	10YR6/1 褐灰色砂質土	砂礫。
	34	5Y5/1 灰色砂質土	粗砂・貝片。
	35	10YR4/2 灰黄褐色砂質シルト	
	36	10YR4/1 褐灰色砂質土	貝小片。
	37	2.5Y4/1 黄灰色粗砂～砂礫	シルト。
	38	2.5Y4/4 オリーブ褐色粗砂	貝片・コーラル。
	39	2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂質シルト	強い油臭。
	40	2.5Y3/2 黒褐色砂質シルト	少量の酸化鉄含む。強い油臭。
	41	5Y5/3 灰オリーブ色粗砂	貝片・枝サンゴを多く含む。
	42	5Y3/2 オリーブ黒色砂質シルト	油臭。
	43	2.5Y3/1 黒褐色砂質シルト	
	44	5Y2/1 黒色砂質土	炭・貝片・コーラル。
	45	2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂質シルト	貝片・コーラル。
	46	10YR4/3 にぶい黄褐色粘土	
	47	2.5Y5/4 黄褐色砂質シルト	貝片・コーラル。
	48	10YR4/3 にぶい黄褐色粘土	
	49	10YR3/3 暗褐色砂質シルト	貝片・コーラル。
	50	2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂質シルト	貝片・コーラル。
	51	2.5Y4/2 暗灰黄色砂質シルト	
	52	2.5Y4/2 暗灰黄色砂質シルト	炭・貝片・コーラル。
	53	2.5Y4/3 オリーブ褐色砂質シルト	炭。
	54	2.5Y3/2 黒褐色砂質シルト	
	55	5Y5/2 灰オリーブ色粗砂	
	56	2.5Y4/2 暗灰黄色粗砂	
	57	2.5Y5/3 黄褐色粗砂	
	58	5Y7/2 灰白色砂質シルト	
59	10Y4/1 灰色細砂	貝片。	
60	2.5Y5/1 黄灰色砂質シルト	砂礫・貝小片。	
61	5Y4/1 灰色砂質シルト	砂礫・貝。	
62	10Y5/1 灰色シルト	砂礫・貝・コーラル。	
63	7.5Y4/1 灰色砂質土	砂礫・貝。	
IIIa層	64	2.5Y4/3 オリーブ褐色砂質シルト	炭・貝片・コーラル。包含層1。
IIIb層	-	2.5Y3/2 黒褐色砂質シルト	炭・貝片・コーラル・礫・軽石。包含層2。
IV層	65	5Y6/2 灰オリーブ色中～細砂	砂礫・貝小片。
	66	5Y5/1 灰色砂質シルト	
	67	2.5Y5/1 黄灰色中～細砂	砂礫。
	68	10Y5/2 オリーブ灰色細砂	砂礫・貝小片・軽石。
	69	7.5Y4/1 灰色中～細砂	貝。
	70	10Y7/1 灰白色粗砂 7.5Y5/1 灰色砂質シルト	互層。砂礫・貝。
	流路2-1	7.5Y6/1 灰色粗～細砂	
	流路2-2	2.5Y5/2 暗灰黄色砂質シルト	貝小片。
流路2-3	5Y5/2 灰オリーブ色砂質シルト	貝小片。	
流路2-4	2.5Y5/1 黄灰色砂質土	砂礫・貝小片。	

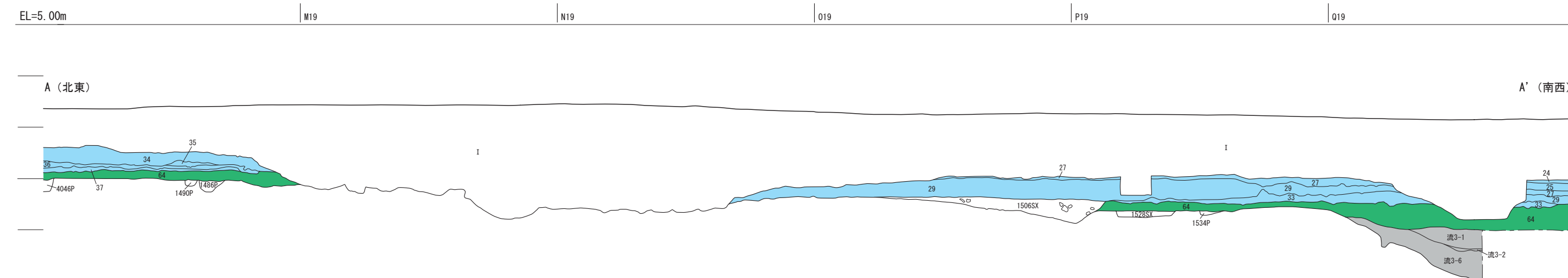
第3表-3 基本層序土層注記

大別層名	図中番号	土色・土性	含有・混入物他
IV層	流路2-5	5Y5/2 灰オリーブ色砂質シルト	貝小片。
	流路2-6	7.5Y5/1 灰色砂質シルト	砂礫・貝。
	流路2-7	5Y5/2 灰オリーブ色砂質土	砂礫・貝。
	流路2-8	2.5Y6/2 灰黄色砂質土	
	流路2-9	5Y5/2 灰オリーブ色砂質土	砂礫・貝。
	流路2-10	7.5Y5/1 灰色砂質土	砂礫・貝小片。
	流路2-11	7.5Y4/1 灰色砂質土	砂礫・貝小片。
	流路2-12	7.5Y4/1 灰色中砂質シルト	砂礫・貝小片。
	流路2-13	2.5Y3/1 黒褐色砂質土	砂礫・貝小片。
	流路2-14	2.5Y4/1 黄灰色砂質シルト	砂礫・貝片。
	流路2-15	2.5Y5/1 黄灰色砂質シルト	砂礫。
	流路2-16	7.5Y5/1 灰色砂質シルト	砂礫・貝小片。
	流路2-17	7.5Y7/1 灰白色粗～細砂	
	流路2-18	7.5Y7/1 灰白色砂質シルト	砂礫・貝・枝サンゴ。
	流路2-19	2.5Y4/1 黄灰色砂質シルト	
	流路2-20	10YR5/1 褐灰色砂質シルト	砂礫・貝小片・骨・土器片。
	流路2-21	10Y4/1 褐灰色砂質土	砂礫・貝。
	流路2-22	5Y8/1 灰白色シルト	砂礫・貝・枝サンゴ・土器片。
	流路2-23	5Y4/2 灰オリーブ色砂質シルト	貝小片。
	流路2-24	5Y4/1 灰色砂質シルト	貝小片。
	流路2-25	10Y7/1 灰白色砂質土	砂礫・貝小片・枝サンゴ。
	流路2-26	7.5Y5/2 灰オリーブ色砂質シルト	貝小片。
	流路2-27	7.5Y6/1 灰色砂質シルト	
	流路2-28	7.5Y7/2 灰白色細砂 7.5Y5/1 灰色シルト	互層。
	流路2-29	5Y5/1 灰色砂質土	砂礫・貝。
	流路2-30	2.5Y4/1 黄灰色砂質シルト	炭・貝。
	流路2-31	5Y3/1 オリーブ黒色砂質土	砂礫・貝小片。
	流路2-32	5Y4/1 灰色砂質土	砂礫・貝。
	流路2-33	7.5Y5/1 灰色砂質土	砂礫・貝小片。
	流路2-34	10Y4/1 灰色砂質土	砂礫・貝小片。
	流路2-35	N8/ 灰白色中砂～砂礫	貝・枝サンゴ。
	流路2-36	7.5Y4/1 灰色砂質シルト	砂礫・貝小片。
	流路2-37	N7/ 灰白色中～粗砂	砂礫・シルト・貝。
	流路2-38	10Y8/1 灰白色中～細砂	シルト・貝。
	流路2-39	7.5Y8/1 灰白色粗砂～砂礫	大型貝・土器片。
	流路2-40	10Y5/1 灰色中砂質土	
	流路2-41	10Y8/1 灰白色中砂～砂礫	貝・土器片。
	流路2-42	5GY4/1 暗オリーブ灰色砂質シルト	
	流路2-43	10Y4/1 灰色砂質シルト	砂礫・貝。
	流路2-44	2.5GY4/1 暗オリーブ灰色中～粗砂	
	流路2-45	7.5Y5/1 灰色砂質土	砂礫・大型貝。
	流路3-1	2.5Y3/2 黒褐色砂質シルト	オリーブ黒色粘土ブロック。
	流路3-2	10YR4/1 褐灰色砂質シルト	貝片を多く含む。
	流路3-3	2.5Y3/1 黒褐色粘質シルト	暗灰黄色砂ブロックを多く含む。
	流路3-4	5Y3/1 オリーブ黒色砂質シルト	
流路3-5	2.5Y5/3 黄褐色粗砂	貝片を多く含む。	
流路3-6	2.5Y7/3 浅黄色砂	黒褐色砂質土ブロック。	

<北壁>



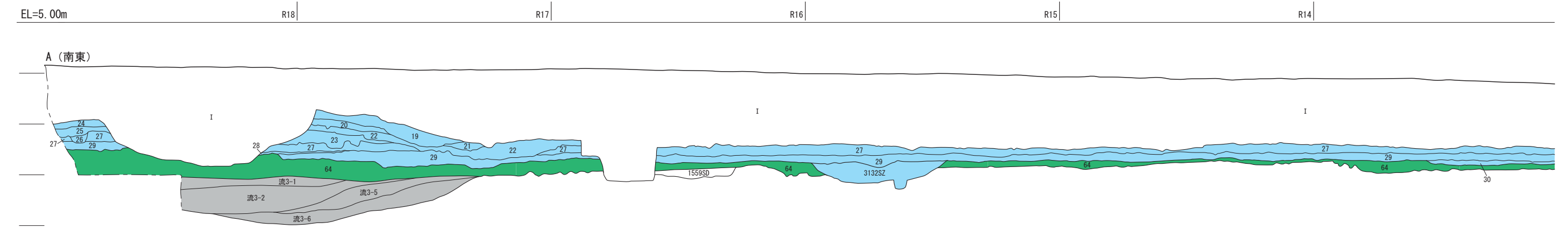
<南壁>



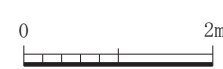
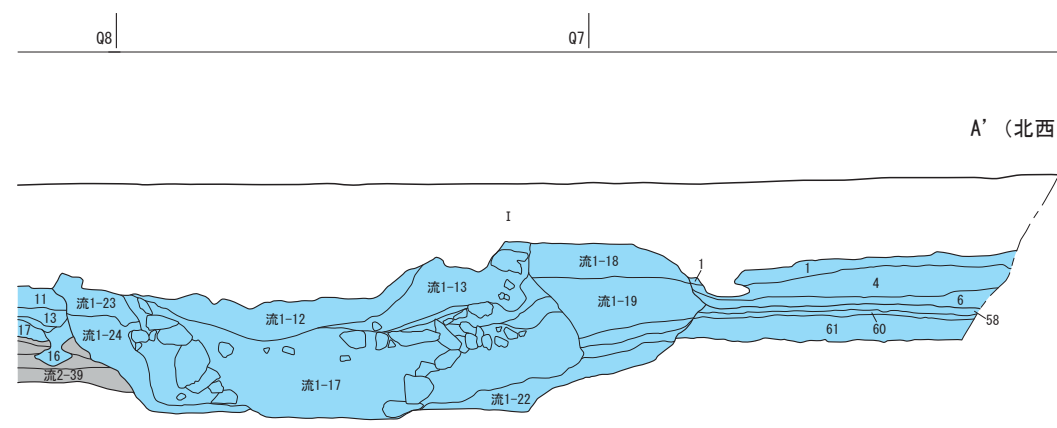
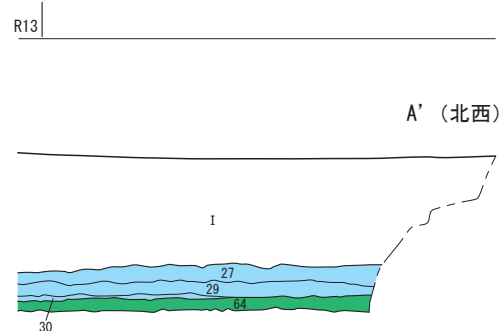
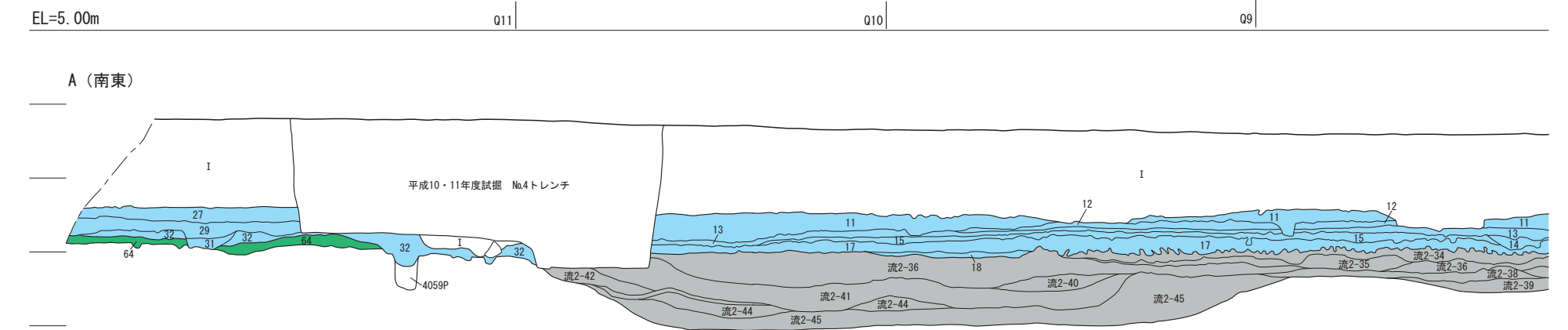
第 18 图 層序 1



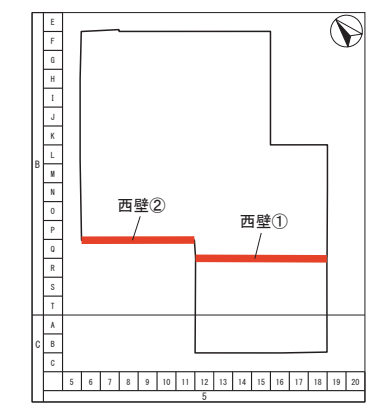
<西壁①>



<西壁②>



- 凡例
- II層
  - IIIa層
  - IV層



第19図 層序2

第4表-1 地点上げ遺物一覧

取上番号	種別	器種	グリッド	遺構名	層位	X	Y	Z	取上日	備考
100	貝製品	貝匙	B5L18	-	Ⅲa	35916.704	25725.668	2.931	07.05.22	
101	貝	-	B5K13	-	Vb	35937.190	25711.436	2.421	07.05.22	
102	貝製品	貝匙	B5K13	-	Vb	35939.184	25709.043	2.605	07.05.22	
103	貝製品	貝錘	B5K12	-	Ⅲa	35943.533	25707.165	2.820	07.05.22	
104	貝	ヤコウガイ	B5H14	-	Vb	35947.144	25723.641	2.761	07.05.28	
105	石器	石斧	B5J14	-	Vb	35939.248	25718.338	2.945	07.05.28	
106	貝製品	貝輪	B5G14	-	Vb	35949.941	25724.600	2.882	07.05.28	上
107	貝製品	貝輪	B5G14	-	Vb	35949.951	25724.617	2.893	07.05.28	下
108	石器	石斧	B5G6	-	Vb	35976.330	25699.009	2.164	07.05.30	
109	土器	鉢	B5K10	-	Ⅲb	35947.195	25697.302	2.690	07.05.31	
110	石製品	砥石	B5K10	-	Ⅲb	35947.929	25697.115	2.713	07.05.31	
111	骨(歯)	-	B5K10	-	Ⅲb	35948.213	25697.605	2.792	07.05.31	
112	骨	ヒト	B5J10	-	Ⅲa	35950.961	25701.104	2.695	07.06.05	HB-2
113	土製品	-	B5H9	3722P	-	35963.015	25707.775	2.666	07.06.15	
114	金属製品	-	B5I9	3820P	-	35958.608	25703.513	2.758	07.06.15	
115	磁器	皿	B5Q18	1543SK	(1層)	35899.830	25710.140	2.301	07.06.21	
116	土器	壺	B5L18	-	Vb	35920.234	25726.084	3.013	07.06.21	
117	石器	石斧	B5I10	3701P	-	35958.212	25704.967	2.805	07.06.21	
118	貝製品	貝錘	B5H9	3728P	-	35962.557	25706.662	2.672	07.06.21	
119	石製品	砥石	B5H7	-	Vb	35971.225	25699.800	2.374	07.06.25	
120	土製品	-	B5J14	2093P	-	35940.542	25717.869	2.641	07.06.28	
121	鉄製品	-	B5L17	4053P	-	35921.642	25722.652	2.956	07.06.28	
122	石器	敵石	B5I15	-	Vb	35942.092	25723.861	2.913	07.06.28	
123	鉄製品	-	B5O15	1510SZ	-	35914.437	25703.560	1.178	07.06.28	
124	石器	石斧	B5I15	-	Vb	35942.132	25723.706	2.921	07.07.02	
125	石製品	-	B5H12	2655P	-	35952.494	25718.168	2.662	07.07.06	
126-01	骨	ウマ	B5K10	-	Ⅲb	35948.212	25697.547	2.730	07.07.19	北
126-02	骨	ウマ	B5K10	-	Ⅲb	35948.137	25697.461	2.685	07.07.19	中央
126-03	骨	ウマ	B5K10	-	Ⅲb	35948.048	25697.379	2.723	07.07.19	南
127	土器	-	B5M9	-	Vb	35942.731	25686.698	2.399	07.07.19	
128	骨	ジュゴン	B5L12	-	Vb	35937.764	25704.215	2.503	07.07.19	
129	鉄製品	-	B5L13	-	Vb	35934.034	25706.421	2.227	07.07.19	
130	石器	凹石	B5J12	-	Vb	35945.049	25707.545	2.662	07.07.20	
131	骨	-	B5L10	3161P	-	35946.163	25693.739	2.305	07.07.20	
132	石	-	B5M13	1634SX	-	35930.510	25701.973	2.446	07.07.27	
133	石	-	B5M13	1634SX	-	35930.468	25702.062	2.417	07.07.27	
134	骨	-	B5M13	1634SX	-	35929.786	25702.213	2.372	07.07.27	
135	石	-	B5M13	1634SX	-	35930.513	25701.801	2.446	07.07.27	
136	石	-	B5M13	1634SX	-	35930.312	25701.987	2.420	07.07.27	
137	石	-	B5M13	1634SX	-	35929.788	25702.801	2.458	07.07.27	
138	石	-	B5M13	1634SX	-	35929.625	25702.800	2.422	07.07.27	
139	石	-	B5M13	1634SX	-	35928.477	25703.186	2.500	07.07.27	
140	石	-	B5M13	1634SX	-	35928.613	25703.103	2.501	07.07.27	
141	石	-	B5M13	1634SX	-	35929.713	25702.330	2.440	07.07.27	
142	磁器	-	B5M13	1634SX	-	35929.392	25701.641	2.414	07.07.30	
143	石	-	B5H13	-	Vb	35951.437	25718.052	2.658	07.07.27	
144	鉄製品	-	B5J9	-	Vb	35957.969	25698.179	2.609	07.07.27	
145	陶器	-	B5K10	3269SK	-	35948.748	25698.444	2.556	07.07.31	
146	磁器	小杯	B5M13	1634SX	-	35929.299	25701.828	2.297	07.08.01	
147	鉄製品	鉄釘	B5K9	3223SK	-	35949.249	25694.776	2.623	07.08.01	
148	土器	-	B5K9	-	Vb	35952.137	25698.195	2.571	07.08.01	
149	陶器	-	B5I9	3412P	-	35950.999	25695.390	2.557	07.08.02	
150	磁器	皿	B5I9	3915P	-	35959.896	25700.445	2.613	07.08.02	
151	磁器	碗	B5I9	3793P	-	35957.450	25703.101	2.573	07.08.02	
152	石製品	-	B5J10	3536SK	-	35952.368	25701.167	2.740	07.08.06	
153	貝製品	-	B5I10	3772SK	-	35956.666	25704.470	2.540	07.08.07	
154	貝製品	-	B5I9	3830P	-	35959.356	25702.173	2.604	07.08.07	
155	磁器	-	B5I10	3572P	-	35954.261	25704.725	2.554	07.08.07	
156	土器	-	B5J10	3537P	-	35957.919	25703.360	2.474	07.08.07	

第4表-2 地点上げ遺物一覧

取上番号	種別	器種	グリッド	遺構名	層位	X	Y	Z	取上日	備考
157	石器	-	B5I9	3815SK	-	35957.862	25703.448	2.451	07.08.07	
158	陶器	碗	B5J9	4017P	-	35953.022	25700.984	2.555	07.08.07	
159	鉄製品	-	B5I9	3905P	-	35961.275	25701.468	2.531	07.08.08	
160	ガラス	玉	B5I10	3797SK	-	35956.885	25703.931	2.670	07.08.08	
161	貝製品	貝匙	B5I10	4285SK	-	35957.821	25705.344	2.624	07.08.09	
162	磁器	青磁碗	B5H9	3676P	-	35961.059	25706.552	2.720	07.08.09	
163	土器	壺?	B5I10	4285SK	-	35958.060	25705.230	2.621	07.08.14	
164	石	-	B5I10	-	Vb	35954.177	25703.133	2.724	07.08.14	
165	骨	イヌ	B5J11	-	Vb	35945.686	25705.498	2.603	07.08.14	
166	骨	イヌ	B5J11	-	Vb	35945.543	25705.752	2.607	07.08.14	
167	陶器	蓋	B5I10	3764P	-	35955.890	25705.085	2.516	07.08.15	
168	骨	イヌ	B5H9	-	Vb	35963.683	25705.445	2.446	07.08.15	
169	土器	-	B5L10	-	Vb	35945.660	25696.465	2.597	07.08.22	
170	土器	-	B5L10	-	Vb	35945.499	25695.164	2.497	07.08.23	
171	土器	-	B5L10	-	Vb	35943.537	25707.817	2.547	07.08.22	
172	土器	-	B5L10	-	Vb	35946.213	25696.242	2.574	07.08.23	
173	土器	-	B5K12	-	Vb	35944.678	25694.942	2.451	07.08.22	
174	土器	-	B5L10	-	Vb	35944.818	25694.986	2.480	07.08.23	
175	土器	-	B5L10	-	Vb	35945.053	25695.872	2.581	07.08.23	
176	土器	-	B5L10	-	Vb	35944.314	25695.186	2.372	07.08.23	
177	土器	-	B5L10	-	Vb	35945.796	25696.162	2.589	07.08.23	
178	土器	-	B5L10	-	Vb	35943.228	25707.665	2.500	07.08.23	
179	骨	ヒト	B5L10	-	Vb	35944.288	25697.315	2.541	07.08.23	HB-3
180	石	-	B5K12	-	Vb	35942.128	25708.437	2.453	07.08.24	
181	土器	-	B5K12	-	Vb	35942.067	25709.208	2.434	07.08.24	
182	土器	-	B5L17	-	Vb	35920.238	25721.422	2.873	07.08.24	
183	土器	-	B5L17	-	Vb	35920.239	25721.022	2.824	07.08.24	
184	土器	-	B5L17	-	Vb	35920.379	25720.852	2.873	07.08.24	
185	土器	-	B5L17	-	Vb	35920.409	25720.781	2.910	07.08.24	
186	土器	-	B5L17	-	Vb	35920.250	25720.637	2.862	07.08.24	
187	土器	-	B5L17	-	Vb	35920.139	25720.329	2.821	07.08.24	
188	陶器	碗	B5Q16	1510SD	-	35905.446	25702.901	1.637	07.08.24	
189	土器	-	B5I9	-	Vb	35959.324	25703.035	2.561	07.08.29	
190	骨	-	B5I9	-	Vb	35961.297	25701.143	2.497	07.08.29	
191	陶器	徳利	B5Q18	1510SD	(1層)	35901.961	25706.829	1.871	07.09.03	
192	貝	ゴホウラ?	B5K11	-	Vb	35943.618	25703.479	2.476	07.09.07	
193	貝製品	貝匙	B5O17	-	Vb	35948.848	25701.734	2.482	07.09.14	
194	骨	-	B5J11	-	Vb	35945.582	25705.830	2.617	07.09.19	
195	骨	-	B5F3	4311SX	-	35955.117	25725.204	2.865	07.09.19	枝番～9まで
196	骨	イヌ?	B5J9	-	Vb	35954.838	25700.802	2.594	07.09.28	頭骨
197	石器	石斧	B5M10	-	Vb	35941.220	25692.101	2.353	07.11.05	
198	土器	-	B5K13	-	Vb	35941.584	25709.505	2.429	07.11.07	
199	骨	-	B5G13	-	Vb	35952.817	25726.088	2.661	07.11.07	
200	土器	-	B5J9	-	Vb	35954.433	25700.481	2.474	07.11.07	
201	銅製品	古銭	B5I8	-	Vb	35962.700	25697.109	2.591	07.11.07	
202	骨	-	B5I8	-	Vb	35964.083	25698.163	2.555	07.11.07	
203	土器	-	B5I8	-	Vb	35964.921	25698.459	2.430	07.11.08	
204	石	-	B5I8	-	Vc	35960.785	25696.429	2.464	07.11.12	
205	土器	-	B5G13	-	Vc	35950.579	25723.698	2.528	07.11.12	
206	土器	-	B5G13	-	Vc	35951.507	25722.611	2.503	07.11.12	
207	石	-	B5G13	-	Vc	35955.524	25724.543	2.610	07.11.12	
208	土器	-	B5I8	-	Vc	35964.663	25698.154	2.482	07.11.13	
209	貝	ヤコウガイ	B5J8	-	Vc	35958.503	25697.408	2.411	07.11.13	
210	土器	-	B5I8	-	Vc	35964.622	25698.066	2.455	07.11.13	
211	土器	-	B5I8	-	Vc	35964.920	25698.062	2.366	07.11.13	
212	土器	-	B5J8	-	Vc	35952.720	25699.466	2.350	07.11.13	
213	土製品?	煙管	B5J10	-	Vb	35951.049	25700.788	2.353	07.11.13	
214	土器	-	B5J10	-	Vb	35953.783	25700.945	2.388	07.11.13	
215	土器	-	B5J10	-	Vb	35952.565	25702.081	2.340	07.11.14	



第4表-3 地点上げ遺物一覧

取上番号	種別	器種	グリッド	遺構名	層位	X	Y	Z	取上日	備考
216	土器	-	B5I10	-	Vb	35955.983	25703.414	2.410	07.11.16	
217	土器	-	B5I10	-	Vb	35955.891	25702.043	2.394	07.11.16	
218	炭化物	-	B5J10	-	Vb	35952.847	25699.584	2.279	07.11.16	
219	土器	-	B5J9	-	Vb	35952.969	25698.033	2.342	07.11.16	
220	炭化物	-	B5K10	-	Vb	35948.907	25699.304	2.250	07.11.20	
221	土器	-	B5K11	-	Vb	35946.093	25704.892	2.316	07.11.20	
222	土器	-	B5K11	-	Vb	35945.500	25704.444	2.292	07.11.20	
223	土器	-	B5H9	-	Vb	35962.485	25703.822	2.510	07.11.21	
224	土器	-	B5H9	-	Vb	35962.576	25703.963	2.532	07.11.21	
225	土器	-	B5H9	-	Vb	35961.975	25704.327	2.508	07.11.21	
226	土器	-	B5H9	-	Vb	35961.937	25704.491	2.588	07.11.21	
227	土器	-	B5H9	-	Vb	35961.555	25704.200	2.543	07.11.21	
228	石	-	B5H10	-	Vb	35959.160	25708.471	2.513	07.11.21	
229	石器	敵石	B5H10	-	Vb	35958.451	25710.151	2.615	07.11.21	
230	石	-	B5H11	-	Vb	35954.195	25711.950	2.654	07.11.21	
231	土器	-	B5G15	-	Vb	35947.505	25729.195	2.762	07.11.21	
232	骨	-	B5H11	-	Vb	35953.247	25712.493	2.577	07.11.22	
233	土器	-	B5H9	-	Vb	35961.766	25703.944	2.351	07.11.22	
234	骨	-	B5H9	-	Vb	35963.156	25705.969	2.494	07.11.22	
235	骨	-	B5H9	-	Vb	35962.774	25705.746	2.483	07.11.22	
236	土器	-	B5H9	-	Vb	35963.257	25705.612	2.532	07.11.26	
237	土器	-	B5H9	-	Vb	35963.247	25705.690	2.479	07.11.26	
238	土器	-	B5H9	-	Vb	35962.605	25704.567	2.479	07.11.22	
239	石	-	B5H9	-	Vb	35963.291	25703.539	2.446	07.11.22	
240	石器	-	B5H9	-	Vb	35963.797	25705.679	2.448	07.11.22	
241	石	-	B5I10	-	Vb	35957.140	25703.116	2.389	07.11.30	
242	土器	-	B5I10	-	Vc	35956.924	25704.244	2.303	07.11.30	
243	骨	ヒト	B5K8	-	Vb	35955.232	25693.711	2.482	07.11.30	
244	骨	ヒト	B5I9	-	Vc	35960.724	25701.581	2.296	07.11.30	
245	骨	ヒト	B5L9	-	Vc	35949.340	25693.743	2.237	07.11.30	
246	土器	-	B5L9	-	Vc	35947.266	25693.903	2.187	07.11.30	
247	土器	-	B5I9	-	Vc	35959.775	25702.913	2.262	07.11.30	
248	土器	-	B5I9	-	Vc	35960.384	25702.485	2.267	07.11.30	
249	土器	-	B5J9	-	Vc	35953.343	25698.749	2.172	07.11.30	
250	土器	-	B5J9	-	Vc	35953.910	25698.229	2.195	07.11.30	
251	土器	-	B5J9	-	Vc	35955.852	25697.090	2.316	07.11.30	
252	土器	-	B5L9	-	Vc	35950.399	25692.940	2.151	07.11.30	
253	土器	-	B5J8	-	Vc	35957.757	25695.687	2.364	07.11.30	
254	土器	-	B5J9	-	Vc	35955.851	25695.339	2.287	07.12.03	
255	土器	-	B5K8	-	Vc	35952.033	25694.224	2.186	07.12.03	
256	土器	-	B5J8	-	Vc	35959.309	25696.388	2.337	07.12.03	
257	土器	-	B5I11	-	Vc	35952.222	25710.454	2.380	07.12.03	
258	骨	-	B5H12	-	Vb	35951.043	25716.097	2.717	07.12.03	
259	骨	-	B5H12	-	Vb	35951.124	25716.100	2.715	07.12.03	
260	石器	石斧	B5H12	-	Vb	35954.873	25716.728	2.667	07.12.03	
261	骨	カメ	B5G10	-	Vc	35958.980	25708.741	2.427	07.12.04	
262	土器	-	B5G10	-	Vc	35960.639	25708.271	2.512	07.12.04	
263	土器	-	B5H11	-	Vc	35956.641	25713.900	2.602	07.12.04	
264	石器	石皿?	B5H11	-	Vc	35957.749	25714.487	2.679	07.12.04	
265	石	-	B5K13	-	Vc	35939.473	25707.535	2.275	07.12.04	
266	土器	-	B5M9	-	Vc	35946.039	25690.105	2.156	07.12.04	
267	土器	-	B5H9	-	Vc	35963.943	25707.606	2.530	07.12.04	
268	土器	-	B5M9	4312SG	-	35946.502	25690.056	2.162	07.12.04	
269	土器	-	B5G10	-	Vc	35958.919	25708.777	2.429	07.12.04	
270	土器	-	B5K13	-	Vc	35937.669	25707.291	2.272	07.12.04	
271	土器	-	B5H9	-	Vc	35963.466	25704.560	2.359	07.12.05	
272	土器	-	B5G10	-	Vc	35957.484	25708.520	2.357	07.12.05	
273	土器	-	B5K12	-	Vc	35941.255	25708.270	2.360	07.12.05	
274	土器	-	B5L18	-	Vb	35919.500	25723.082	2.759	07.12.06	

第4表-4 地点上げ遺物一覧

取上番号	種別	器種	グリッド	遺構名	層位	X	Y	Z	取上日	備考
275	土器	-	B5L17	-	Vb	35920.039	25719.665	2.719	07.12.06	
276	骨	ヒト	B5L17	-	Vb	35922.793	25722.203	2.710	07.12.06	HB-9
277	土器	-	B5L16	-	Vb	35923.929	25715.966	2.748	07.12.07	
278	土器	-	B5L16	-	Vb	35923.928	25715.846	2.697	07.12.07	
279	土器	-	B5H15	-	Vc	35949.265	25711.027	2.402	07.12.07	
280	石	-	B5H12	-	Vc	35954.843	25715.665	2.523	07.12.07	
281	土器	-	B5F12	-	VI	35960.224	25723.066	1.364	07.12.10	ビーチロック中から出土
282	骨	クジラ	B5H12	-	Vc	35950.621	25717.174	2.450	07.12.10	
283	土器	-	B5H17	-	Vb	35934.947	25735.514	3.062	07.12.10	
284	鉄製品	鉄鏃	B5H17	-	Vb	35937.676	25735.901	3.046	07.12.10	
285	土器	-	B5H17	-	Vb	35937.540	25736.264	3.054	07.12.10	
286	骨	-	B5H17	-	Vb	35937.777	25735.177	2.892	07.12.10	
287	土器	-	B5H17	-	Vb	35938.707	25734.622	3.022	07.12.10	
288	土器	-	B5H17	-	Vb	35934.624	25735.029	3.002	07.12.11	
289	石器	石皿	B5H17	-	Vb	35935.166	25736.692	2.958	07.12.18	枝番～2まで
290	骨	-	B5L18	-	Vc	35918.139	25726.500	2.790	07.12.14	
291	具	シレナシジミ?	B5H17	-	Vb	35938.574	25734.195	2.791	07.12.17	枝番～5まで
292	石器	蔽石	B8H18	-	Vb	35933.030	25739.013	3.029	07.12.17	
293	土器	-	B5L12	-	Vc	35938.789	25702.288	2.160	07.12.17	
294	土器	-	B8H18	-	Vb	35934.606	25737.397	2.999	07.12.18	
295	貝	ヤコウガイ	B8H18	-	Vb	35934.732	25737.291	2.973	07.12.18	
296	石器	磨石	B8H18	-	Vb	35933.618	25737.089	2.914	07.12.18	
297	骨	イノシシ	B5G18	-	Vb	35936.278	25741.784	3.234	07.12.18	
298	土器	-	B5H18	-	Vb	35931.617	25736.901	2.781	07.12.18	
299	土器	-	B5J10	-	Vc	35950.850	25701.379	2.166	07.12.21	
400	陶器	播鉢	-	4534SK	-	35888.606	25691.965	2.300	07.11.19	
401	磁器	-	-	4500SK	-	35882.115	25690.545	2.300	07.11.20	
402	磁器	-	-	4529P	-	35886.368	25695.451	2.210	07.11.20	
403	陶器	碗	C5A17	4517SK	-	35887.863	25689.826	2.300	07.11.21	
404	磁器	碗	B5T18	4563SK	-	35890.116	25698.301	1.960	07.11.21	
405	石	根石	C5A18	4531SK	-	35886.567	25696.329	1.700	07.11.28	
406	木	柱材?	B5T18	4564P	-	35890.431	25698.819	1.940	07.11.22	
407	石器	磨石	B5R15	4627Sk	-	35905.465	25691.662	1.847	07.11.30	
408	石器	石皿	B5T17	-	Vc	35891.389	25693.759	2.399	07.11.30	
409	骨	-	B5R15	4639Sk	-	35907.808	25690.272	1.955	07.12.04	
410	骨	-	B5R14	4708Sk	-	35907.870	25693.709	1.943	07.12.04	
411	陶器	-	B5S14	4681Sk	-	35906.972	25682.116	1.450	07.12.05	
412	骨	-	C5A14	4681Sk	(1層)	35899.857	25679.871	1.619	07.12.06	
413	骨	-	C5A14	4681Sk	(1層)	35899.442	25680.971	1.685	07.12.07	
414	骨	-	B5T14	4681Sk	(1層)	35900.120	25682.077	1.466	07.12.07	
415	貝	ヤコウガイ	B5T13	4681Sk	(1層)	35905.741	25682.427	1.507	07.12.07	
416	磁器	青磁皿	B5S12	4681Sk	(1層)	35909.582	25678.841	1.590	07.12.07	
417	磁器	青磁皿	B5T13	4681Sk	-	35903.937	25681.534	1.419	07.12.10	
418	骨	ウシ	B5T14	4681Sk	(1層)	35899.984	25682.016	1.327	07.12.10	
419	骨	ウシ	B5T14	4681Sk	(1層)	35899.581	25681.811	1.329	07.12.10	
420	骨	ウシ	B5T14	4681Sk	(1層)	35899.539	25682.095	1.283	07.12.10	
421	骨	ウシ	B5T14	4681Sk	(1層)	35899.623	25682.283	1.267	07.12.10	
422	骨	-	B5T13	4681Sk	(1層)	35906.010	25681.044	1.384	07.12.11	
423	石器	蔽石	B5S12	4681Sk	(1層)	35911.325	25680.842	1.509	07.12.13	
424	陶器	-	B5S12	4681Sk	(1層)	35912.474	25680.797	1.476	07.12.13	
425	鉄製品	-	B5T14	4681Sk	(1層)	35903.999	25682.308	1.379	07.12.13	
426	鉄製品	鉄釘	B5T17	-	Vc	35892.042	25691.893	2.165	07.12.17	
427	鉄製品	-	B5T17	-	Vc	35891.298	25692.993	2.363	07.12.17	
428	骨	ウシ	C5A16	-	Vc	35889.128	25686.401	2.071	07.12.18	
429	土器	-	B5S15	-	Vc	35900.393	25691.658	1.756	07.12.20	
500	骨	-	B5H16	-	Vb	35939.795	25732.729	2.960	07.12.21	
501	骨	ヒト?	B5L14	-	Vc	35927.328	25711.098	2.460	07.12.27	

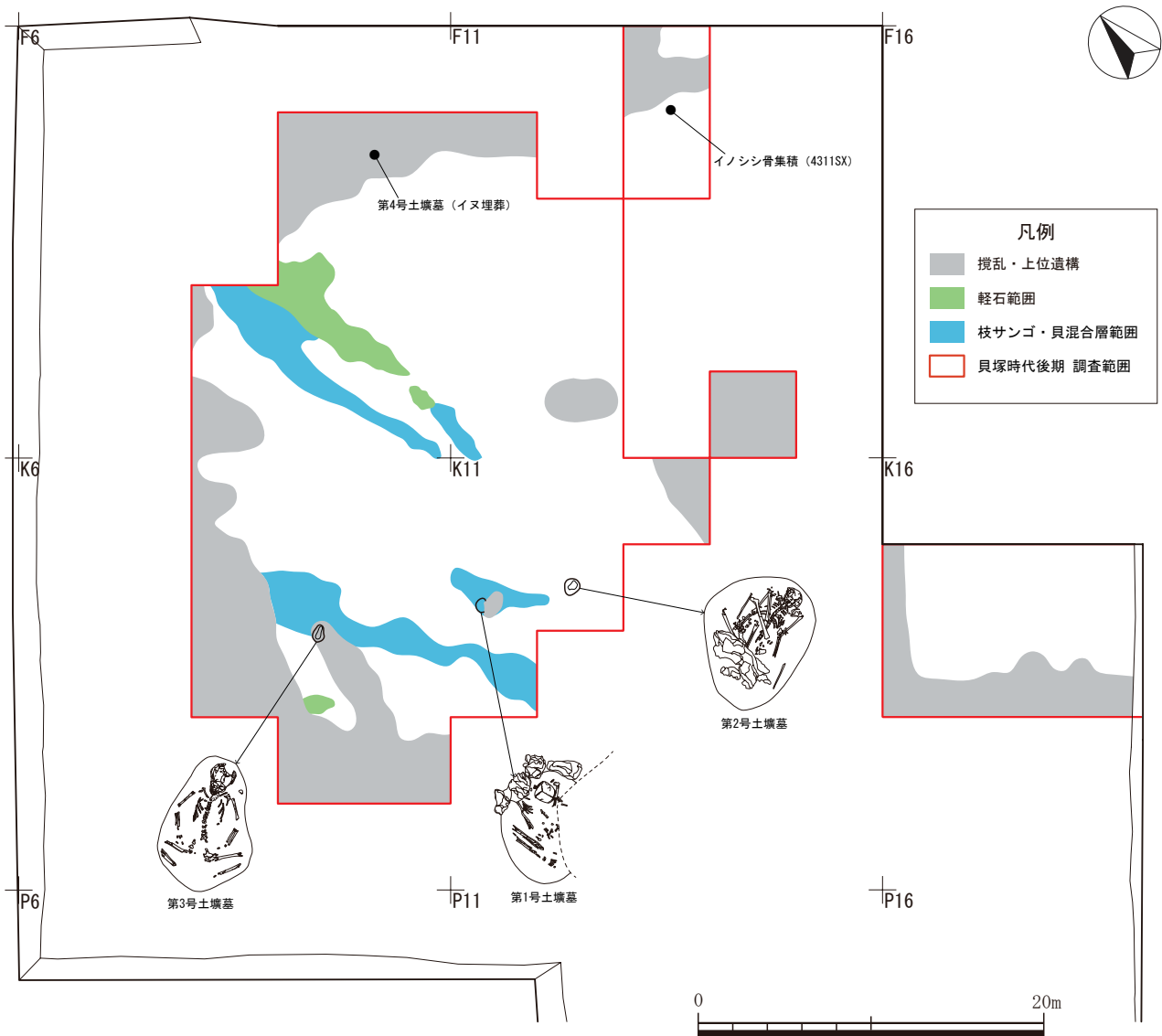


## 第2節 遺構

### 1. 貝塚時代後期の遺構（第20図）

第一浜堤においては、V b層（砂層）から貝塚時代後期の遺物が多く出土したため、同時期の遺構の存在が想定された。このため遺物の出土状況等から調査範囲を選定し、発掘調査を行ったところ、ヒト・イヌの埋葬遺構及びイノシシ骨集積遺構を検出した。

人骨が検出された第1号～第3号土壙墓は、立地や検出レベルに類似性が認められる他、被葬者は全て女性であり、総じて海側に足を向けていることも特記される。なお第20図によると、これらの土壙墓は、汀線の痕跡と考えられる軽石等の範囲上に構築されているように見えるが、これらの範囲はいずれも人骨検出作業等の掘り下げの結果検出されたものである。実際の生活面・掘り込み開始面は、これらより20～30cmは高いレベルであったとみなすことができる。従って、波の打ち寄せるような海岸に埋葬されたものではなく、その後の浜堤発達により、海岸線がある程度遠のいたところに埋葬の場所を求めたものと言えよう。



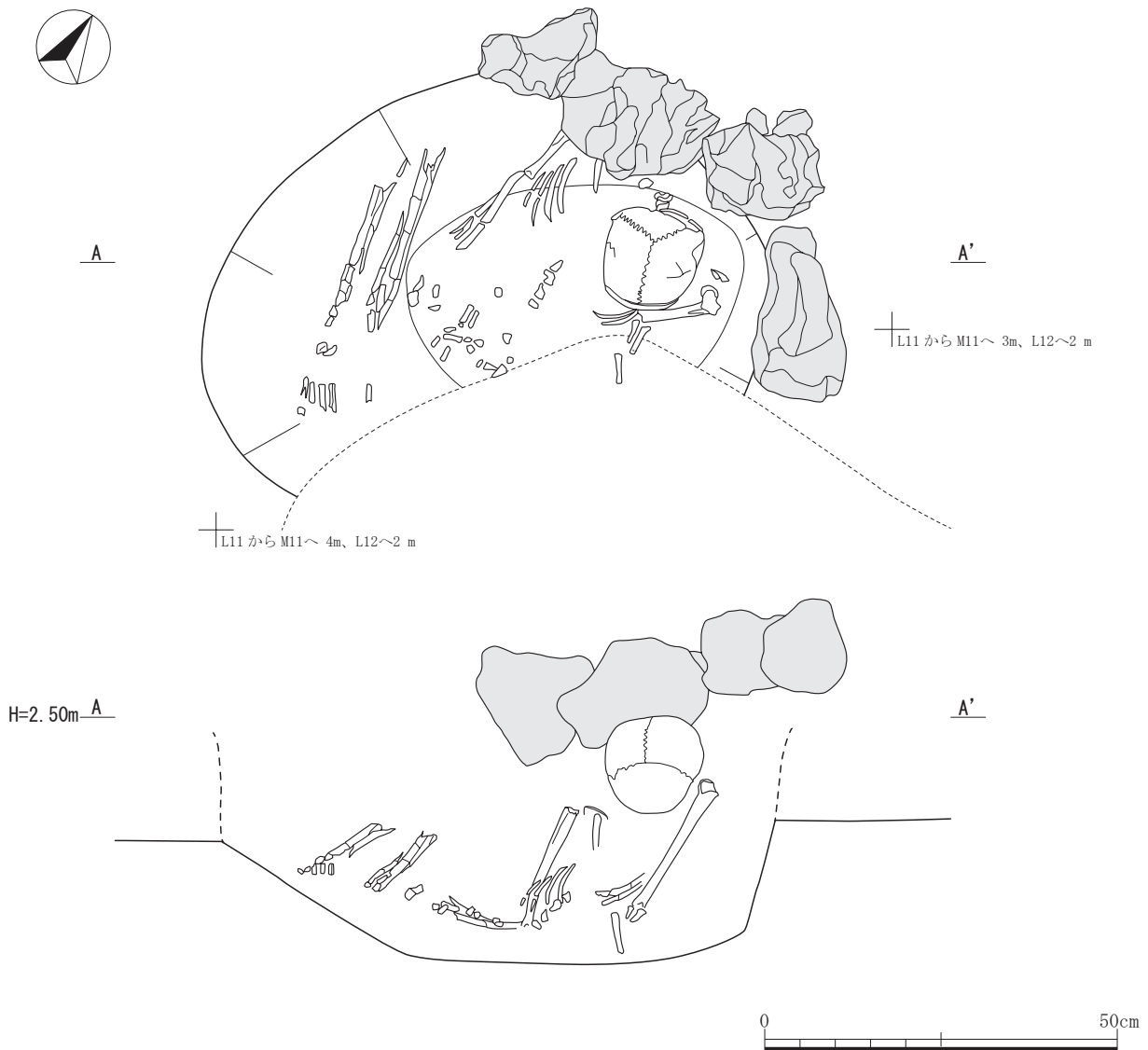
第20図 貝塚時代後期 遺構配置 (S=1/400)

### 第1号土壙墓（第21図、図版3）

L11 グリッドV b層掘削中に、ヒトの頭蓋骨を検出した。この頭蓋骨検出直前には、周辺で数個の大型サンゴ礫が検出されていた。これらは被葬者の頭部後ろ側にて整然と並んでいる感があり、本埋葬遺構に伴う可能性も十分に考えられるが、グスク時代の遺構群によって攪乱を受けていることもあり、詳細は不明である。

土壙墓の掘方プランは非常に不明瞭であった。しかし、本土壙墓を切っているグスク時代の土坑壁面の観察から、本土壙墓の掘方が、遺構構築面である砂層下部に堆積する混礫・サンゴ粗砂層を切っている様相が認められた。これを基に平面プランを再検討したところ、155×65cmの小型の楕円形を呈することが分かった。

被葬者の骨盤は水平上向きであるため仰臥屈葬に分類されるが、胸椎以上が土坑壁面にもたれかかっているため、一見「坐葬」とも思われるほど上半身が立つ。この「もたれかかる」というのは非常に珍しく、国内では同例皆無である<sup>註1</sup>。また、顔面は完全に下向きであったものの、頭部は原位置を完全に保っていたことからすれば、埋葬段階で土壙墓内は隙間なく砂で満たされていたことになる。頭蓋骨の形状から「短頭型」に分類され、全体に華奢で小柄な印象を受けた。壮年女性で、



第21図 第1号土壙墓(S=1/10)





頭蓋骨と周辺礫 検出 (南より)



全身骨格 検出 (南東より)



骨盤付近 検出 (南西より)



取り上げられた頭骨

### 図版3 第1号土壙墓

足先は概ね南西を向く。

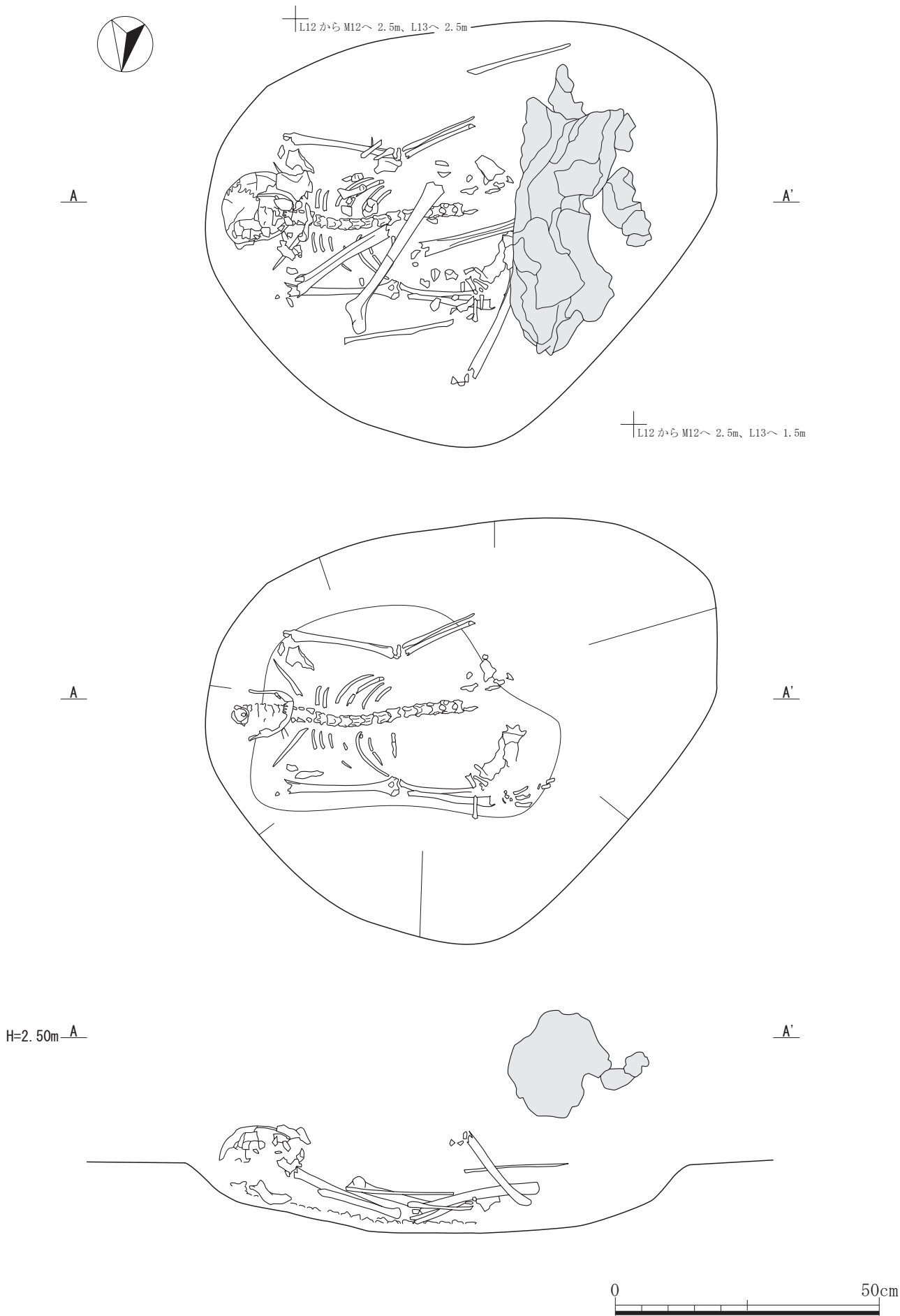
副葬品・着用品の類は検出されなかったため、本土壙墓の帰属時期は明確でないが、頭蓋骨検出直前に隣グリッドL10において、有文壺形くびれ平底土器を含む土器片の集中出土をみている（巻首図版8）。頭蓋骨はこれらの土器片より僅かに低いレベルであり、他にこれといった遺物も出土していないため、土壙墓構築面レベル付近にあったこれらの土器が、本土壙墓の構築年代に近いものと考えたい。人骨を試料とした年代測定を試みたが、年代値は得られなかった。

註1：松下孝幸氏のご教示による。

### 第2号土壙墓（第22図、図版4）

L12グリッドVb層掘削中に、ヒトの頭蓋骨を検出した。検出レベルは第1号土壙墓とほぼ同程度であった。図化はしていないが、頭部直上にはやや大型のサンゴ礫があり、この礫を除去後に頭部を検出した経緯がある。また、下肢直上にも大型礫が検出されており（第22図）、第1号同様に墓標のようなものであった可能性を窺わせる。掘方プランは比較的明瞭であった。遺構検出面は白色の細砂層で、掘方埋土には貝殻片や枝サンゴの混入が多かったためである。

全身の検出作業を進めていくと、相対的に高いレベルに位置する部位、即ち頭蓋骨（下顎骨は除く）や下肢骨が原位置を保っていないことが分かった。特に頭蓋骨は完全にひっくり返っていることから、埋葬の後に何らかの攪乱行為があったことが考えられる。しかし、上位で無数に検出されたグスク期の遺構・包含層に伴う有色のシルトの混入は一切認められないため、この攪乱行為は埋



第 22 図 第 2 号土墳墓 (S=1/10)





頭蓋骨と大型礫 検出（西より）



上位骨 検出（北より）



ひっくり返った頭蓋骨（北西より）



頭蓋骨と原位置を保った下位骨（西より）



下顎骨・椎骨 検出（西より）



頸椎の状況（竹串から右、東より）

#### 図版4 第2号土壙墓

葬されたのと同じ貝塚時代後期ごろになされたことも推定できる（但し、下顎が攪乱を受けてないことからすると、完全に骨化していたとは思われる）。それに対して、低レベルにある下顎・脊椎・肋骨・上肢・骨盤の位置については整然としており、仰臥屈葬であると判断できる。右大腿骨は寛骨に関節した状態で残っており、左腓骨もあまり動いていない感じがあるため、開脚気味の姿勢であったものと思われる。また第3頸椎までが完全に上を向いているため、埋葬段階では顎を引いた状態であったことが窺える。これらの姿勢は、後述する第3号土壙墓との共通点が多い。

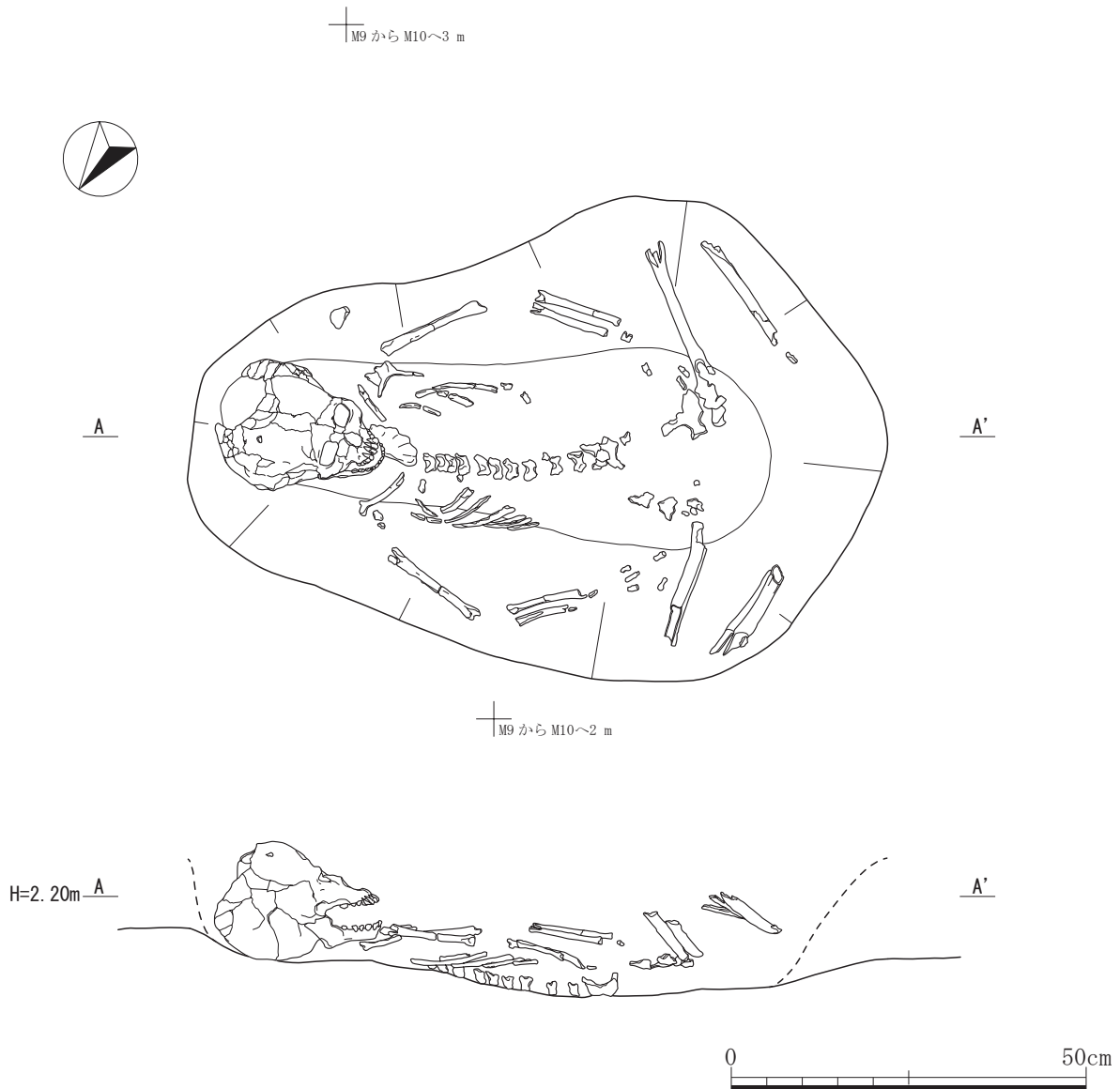
第1号同様、被葬者は「短頭型」に分類できる。成人女性であり、副葬品・着用品は認められなかった。

### 第3号土壙墓 (第23図、図版5)

L・M9 グリッドV b層掘削中に、顔面上向きの頭蓋骨及び両脛骨を検出した。検出レベルは第1・2号土壙墓とほぼ同程度であるが、上位レベルでの大型サンゴ礫は検出されていない。骨格を検出したのは、細砂と混枝サンゴ粗砂が平面的に互層状となっている面であったため、掘方も何とか判別することができた。

顔面は完全に上向きであり、下肢は完全に開脚している。掘方が「ダルマ形」を呈することからすると、埋葬段階で既に開脚気味であったことも考えられる。被葬者は12,13歳で、抜歯痕は認められなかった。額右上方に損傷が認められるが、生前に受けたものかは不明である。喉元では小型のシャコガイが内側を見せるような状態で見つまっている。頭部下にはサンゴ円礫が多く認められ、墓坑底面への敷石があった可能性も指摘された。足先は概ね西を向く。

墓坑底面付近から、磨滅の激しい平底土器片が出土している。また墓坑外ではあるが、すぐ近くからも同時期の土器片が見つまっている。これらのことから、本遺構はこれらの土器よりも古くはならないということが言えるであろう。人骨を試料とした年代測定によると、概ね8c前後という結果を得ている。



第23図 第3号土壙墓 (S=1/10)





頭骨・顎骨及び堀片 検出(南西より)



全身骨格 検出(南西より)



頭骨の状況(西より)

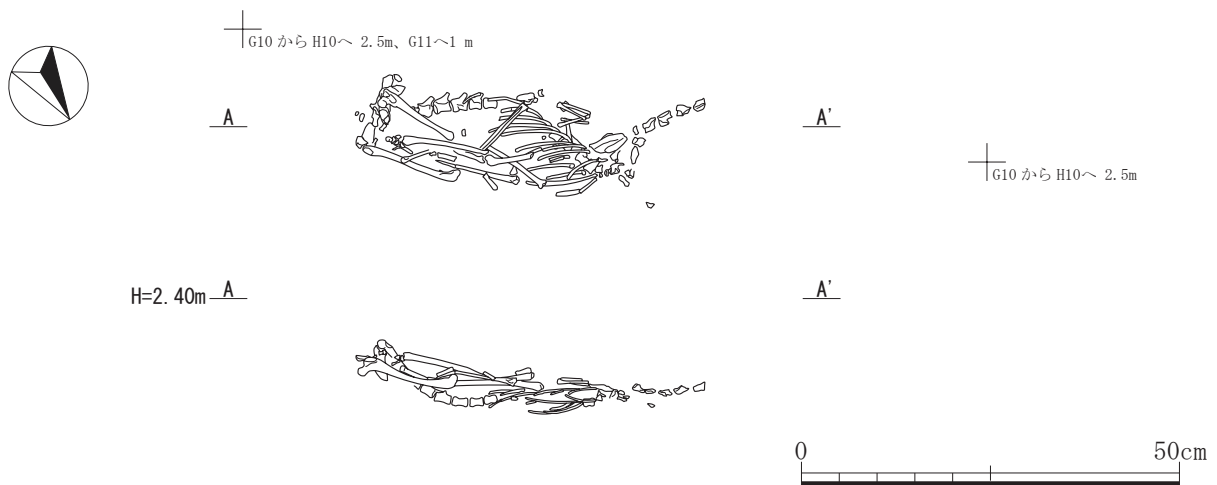


人骨周辺の土器出土状況(北より)

図版5 第3号土壙墓

第4号土壙墓(第24図、図版6)

G10グリッドの大規模な攪乱傾斜面のV b層砂層から、まとまった骨が検出された。小ぶりの骨であったため、当初はヒトの小児骨と考えたが、骨端が癒合していることから獣骨と判断、資料の見比べからイヌの骨であることが判明した。頭部と左前肢は失われていたが、その他の骨は原位置を保っていたため、埋葬遺構の1つとして取り扱った。なお、本遺構を欠失させていた大規模攪乱からはイヌの頭部(頭頂骨・後頭骨・上顎骨・下顎骨)が一個体分得られている。埋葬された個体と同一である可能性が高く、老獣であった。1回目の図化段階では主に四肢骨と頸椎が検出され、こ



第24図 第4号土壙墓 (S=1/10)





上位骨 検出 (北東より)



下位骨 検出 (北東より)

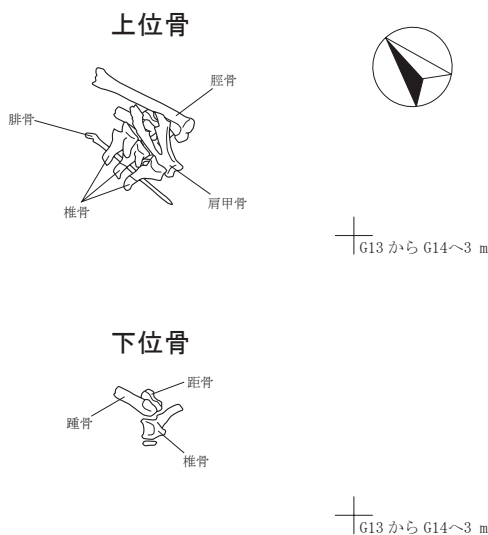
#### 図版6 第4号土壙墓

これらを除去後に骨盤・脊椎・肋骨等が検出された。四肢骨は関節したままのものが多く、これを基に埋葬姿勢を考えると、①仰臥でやや左に体をねじっている、②前肢が後肢の上にある、③後肢は右が上になるように交叉する、ということになる。

前述の土壙墓群からはかなり離れた場所で検出されており、共伴する遺物もないため、貝塚時代後期のものとする以外に帰属時期を決定する根拠を欠く。

#### イノシシ骨集積遺構 4311SX (第25図、図版7)

F13グリッドのVb層砂層中から、イノシシの骨がまとまって検出された。部位は、左肩甲骨・右後肢(脛骨・腓骨・踵骨・距骨)・椎骨(胸椎2・腰椎2)であり、椎骨のうち3つは関節した状態であった。後肢部位の揃い方からして、こちらも同一個体のものであった可能性が高いと思われる。このように関節したままの骨は『伊礼原D遺跡』(2013)でも2例見つかっており、いずれも大当原式期のものであった。本遺構はこれらの検出場所とはそれほど離れていないため、同時期のものと見て大過ないであろう。これらの骨が他の動物に食い散らかされることなく原位置を保っていたということは、砂中に埋納されていたことに他ならないが、その目的が後食のための貯蓄であったとは俄かには考えられない。骨角器素材を得るためとも想像するが、判然とはしない。

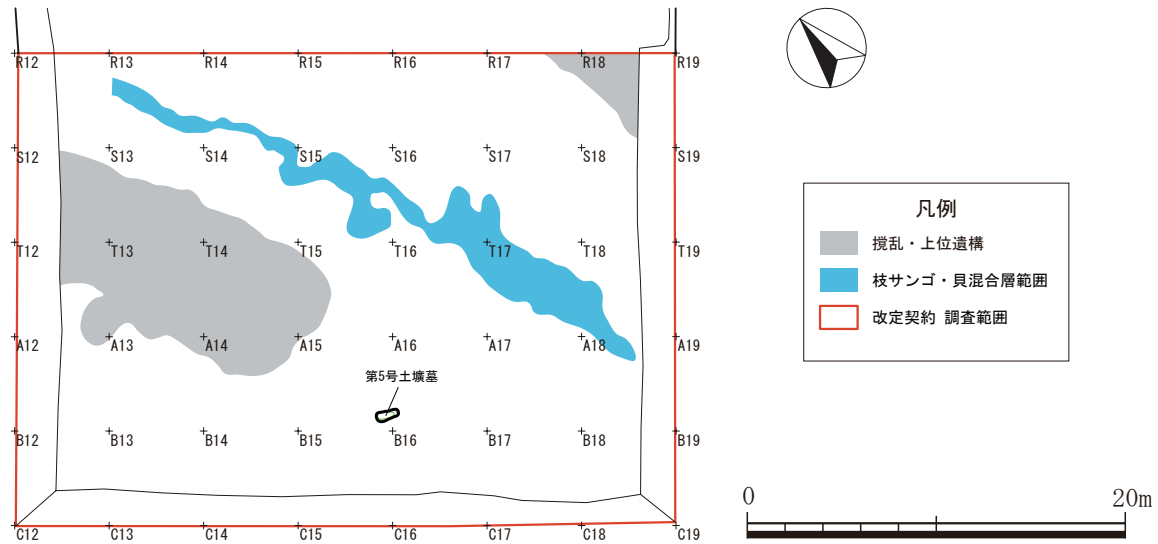


図版7 イノシシ骨集積遺構 4310SX (南より)

第25図 イノシシ骨集積遺構 4310SX (S=1/10)

## 2. グスク時代前半の遺構（第26図）

第二浜堤上にも遺跡範囲が広がることが確認されたのを受け、改定契約の上、調査区約875㎡を拡張した。この調査区のVb層砂層からグスク時代前半期の埋葬遺構を検出した。第二浜堤のVb層からは、貝塚時代後期の遺物出土が皆無であり、砂質もかなり異なるため、貝塚時代にはまだ形成されていなかった浜堤であると考えられる。検出された遺構は土壙墓1基のみであるが、帰属時期が比較的はっきりしているため、砂丘の形成時期を語る上でも非常に重要な事例となった。



第26図 グスク時代前半 遺構配置 (S=1/400)

### 第5号土壙墓（第27図、図版8）

A15グリッドでの表土・攪乱掘削中にヒトの全身骨格を検出した。骨格の直上までI層土が及んでおり、そのため墓標痕跡は認められなかった。頭蓋骨内には空洞が残り、骨質にも比較的生々しさを感じられたため、第1号～第3号土壙墓よりも新しいものである印象を受けた。

本土壙墓は、粗砂と混枝サンゴ粗砂が平面分層される面に構築されており、掘方プランが判別しやすい箇所とそうでない箇所があったが、概ね長方形の墓坑をもつものと考えた。木棺痕跡は認められず、また、周辺の様相から墓坑がそれほど深くはならないことも推定された。

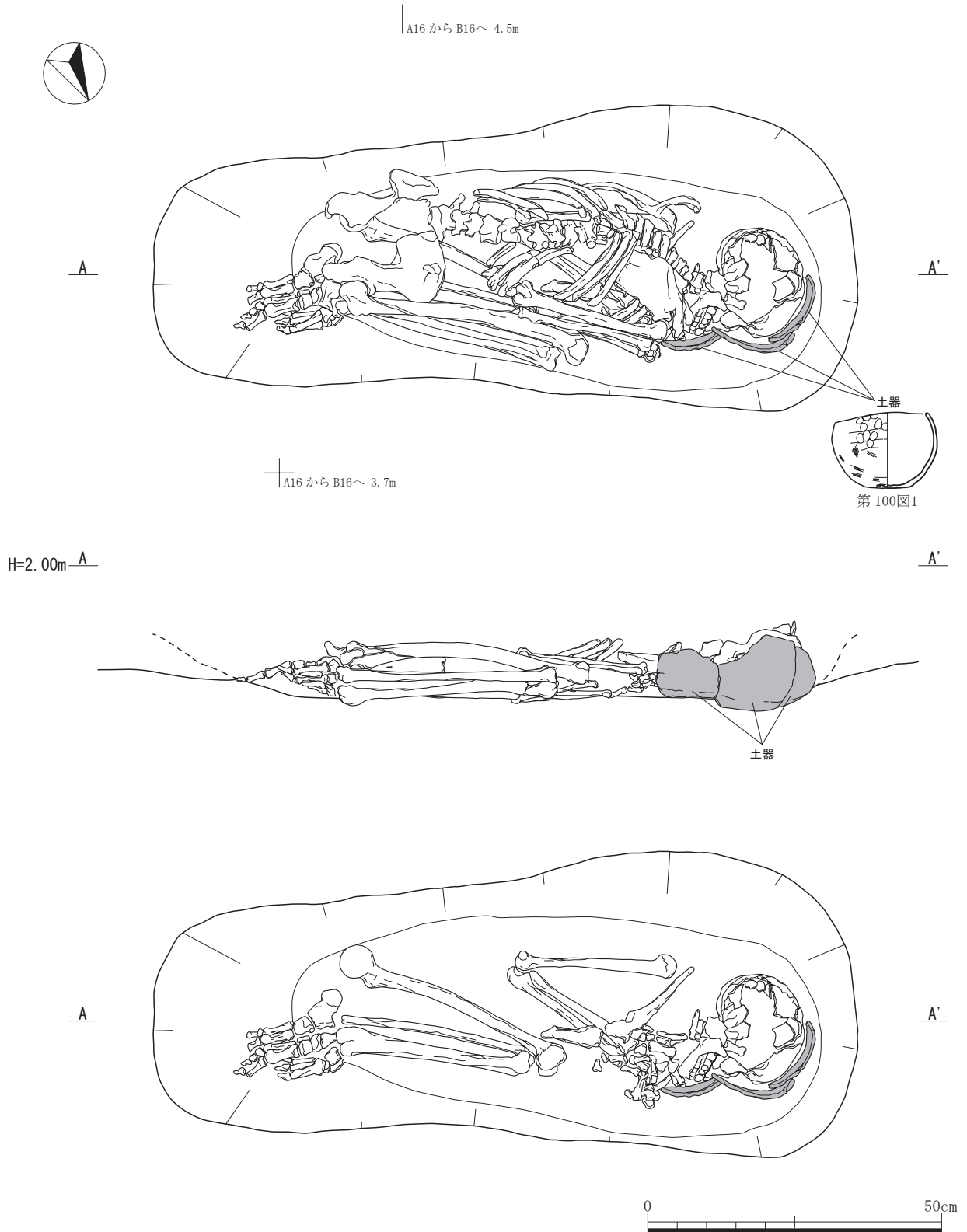
埋葬姿勢は、僅かに横を向く伏臥屈葬である。頭位は北西を向き、頭蓋骨はやや長頭である印象を受ける。右側を向く顔面を隠すように、検出時には3破片のグスク土器片が認められた。当初この土器は、頭に被せられたものと考えたが、土器の口唇部が上向きであったことから、先に配置されたのがこの土器であったことが分かる。土器接合作業の結果、ほぼ完形となる鍋形土器であった（第100図1）。

両手・両足はそれぞれきれいに揃っており、下肢も極端に屈折していることから、緊縛された状態で埋葬されたことも想像させる。これに加え、伏臥であること、顔面が土器で覆われていることからすると、通常の埋葬方法とは考えにくい。被葬者は壮年男性で、人骨を試料とした年代測定によると、12c後半～13c前半という結果を得ている。

頭部に土器を伴う例として、宜野湾市伊佐前原第一遺跡（2001 沖縄県埋文）の埋葬遺構4（成人後半女性）がある。この共伴土器は、口縁が内湾する鍋形土器である。しかし、埋葬姿勢が仰臥屈



葬と思われること、墓坑がかなり深いこと等の相違点も認められる。また、両足が揃う伏臥の事例として、平安山原A遺跡（2016 北谷町教委）の人骨 11（成人前半女性）がある。この人骨は上顎以上の頭部が欠失しているが、埋葬姿勢が酷似しており（第 28 図）、得られた年代測定値もほぼ同時期と言える結果となった。



第 27 図 第 5 号土坑墓 (S=1/10)



全身骨格 検出 (北東より)



頭骨下のグスク土器 (北より)

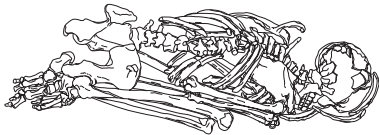


胸元に集まった手指骨 (北東より)

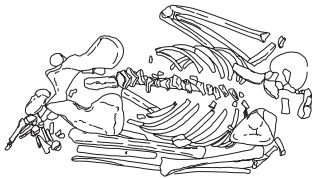


両足付近 (北東より)

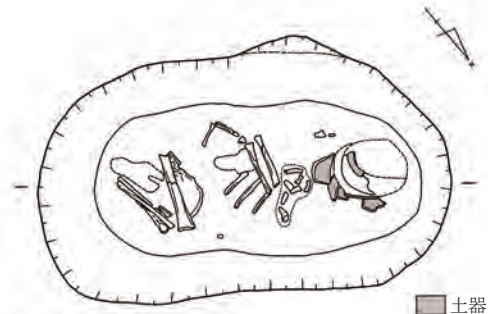
図版 8 第5号土墳墓



伊礼原D遺跡 第5号土墳墓



平安山原A遺跡 11号人骨



■ 土器



伊佐前原第一遺跡 埋葬遺構 4

第28図 第5号土墳墓と他との比較 (S=1/20)

第5表 報告土墳墓 一覧

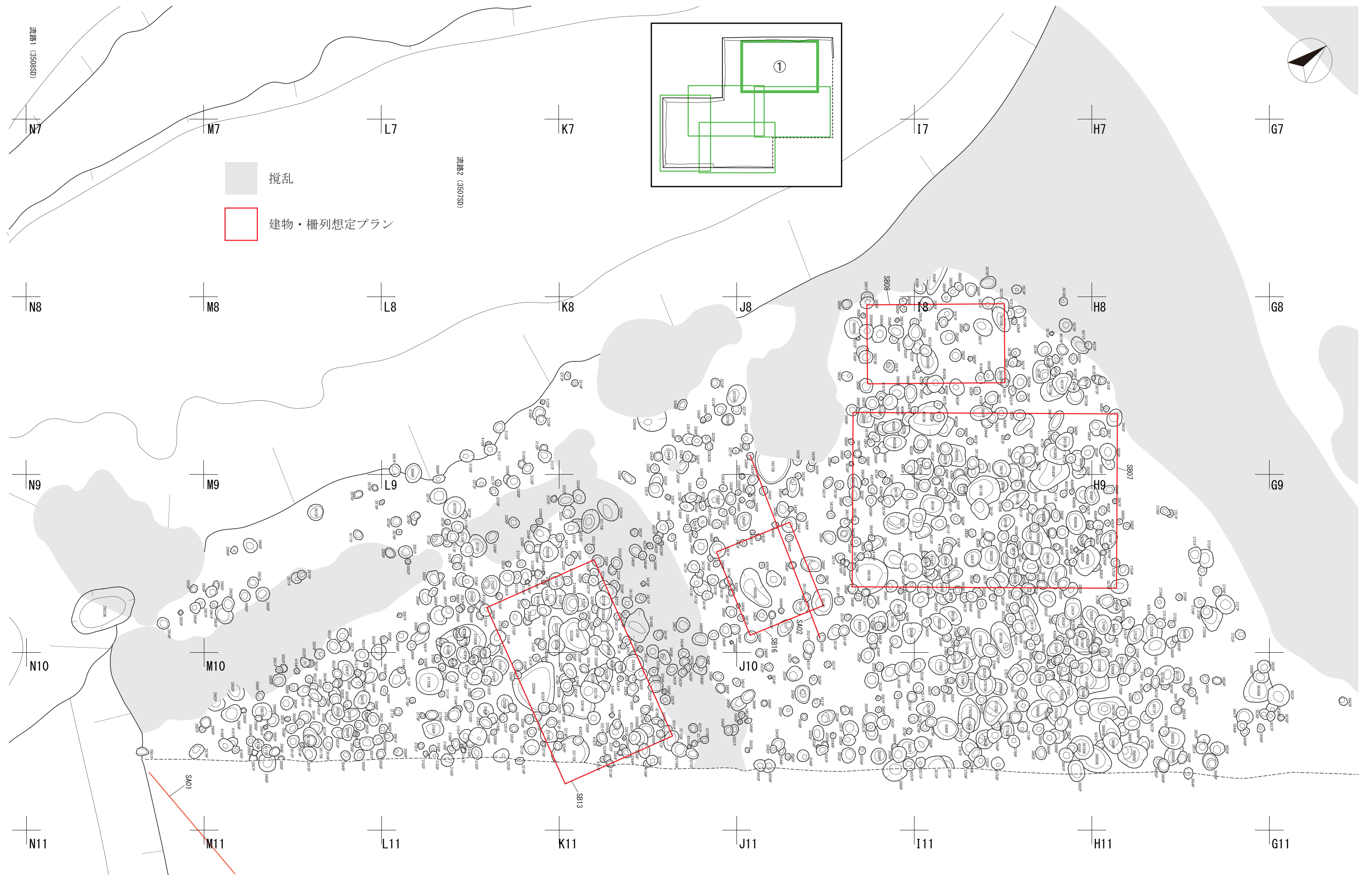
番号	旧番号	浜堤	グリッド	被葬者	頭位	埋葬姿勢	埋土	相伴遺物	残存状況	備考
第1号	4309SG	第一	L11	壮年女性	北西	坐葬に近い仰臥屈葬	砂	なし	グスク期遺構により僅かに欠失	短頭、墓標礫あり?
第2号	4312SG	第一	L12	成人女性	東	開脚?仰臥屈葬	砂	なし	後代攪乱にて頭部等が移動	短頭、墓標礫あり?
第3号	4314SG	第一	L・M9	12,3歳少女	北東	開脚仰臥屈葬	砂	首元にシャコガイ	良好	8c前後、短頭、額に損傷
第4号	4315SG	第一	G10	老犬か	北西	仰臥に近い	砂	なし	頭部・左前肢が欠失	
第5号	4700SG	第二	A15	壮年男性	北西	伏臥屈葬(緊縛?)	砂	頭部にグスク土器	良好	グスク時代前半、やや長頭



### 3. グスク時代後半～近世前半の遺構 (第29図)



第29図 グスク時代後半～近世前半 遺構配置 (S=1/400)



第 30 図 ガスク時代後半～近世前半 遺構配置① (S=1/100)

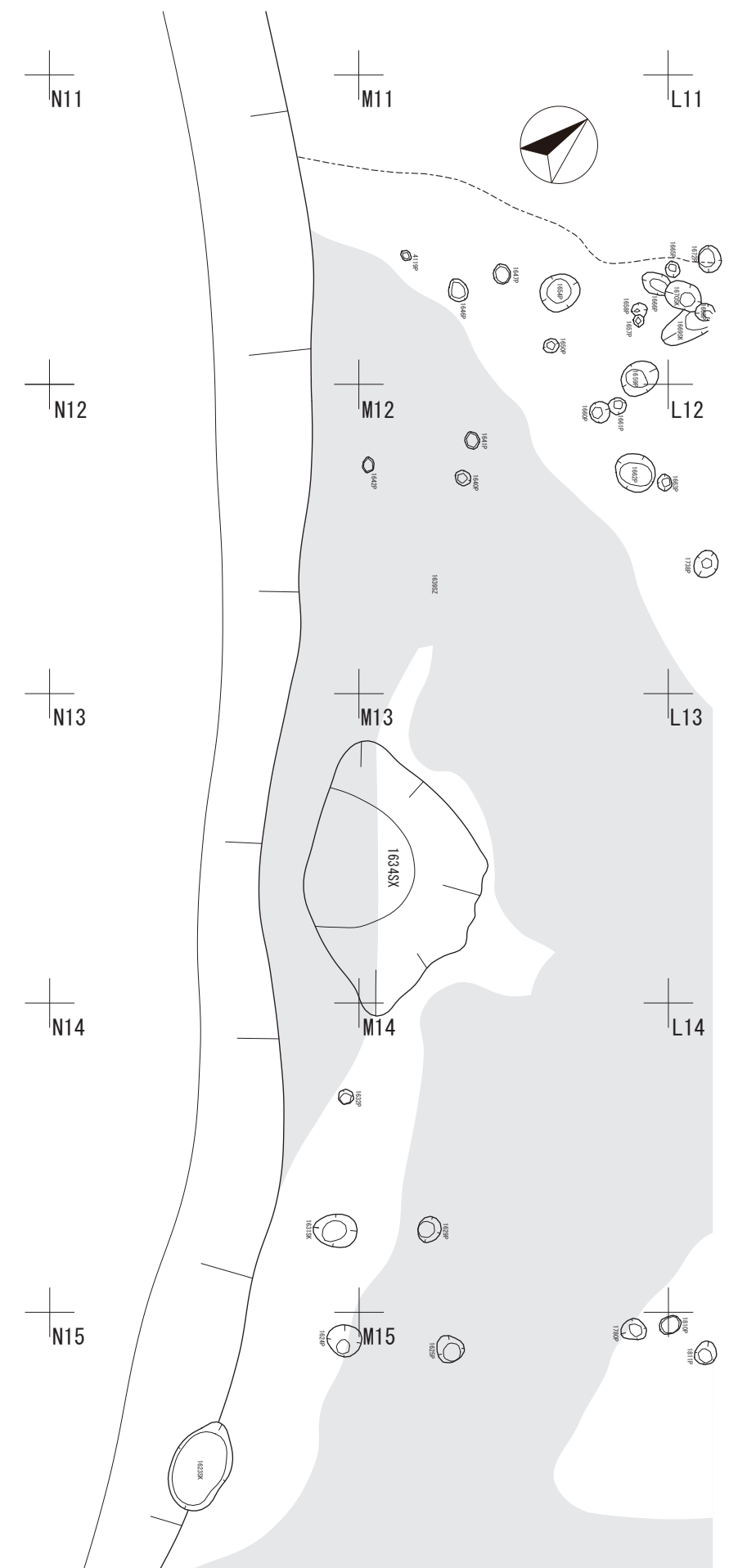




第31図 グスク時代後半～近世前半 遺構配置② (S=1/100)



遺跡3 (1510SD)

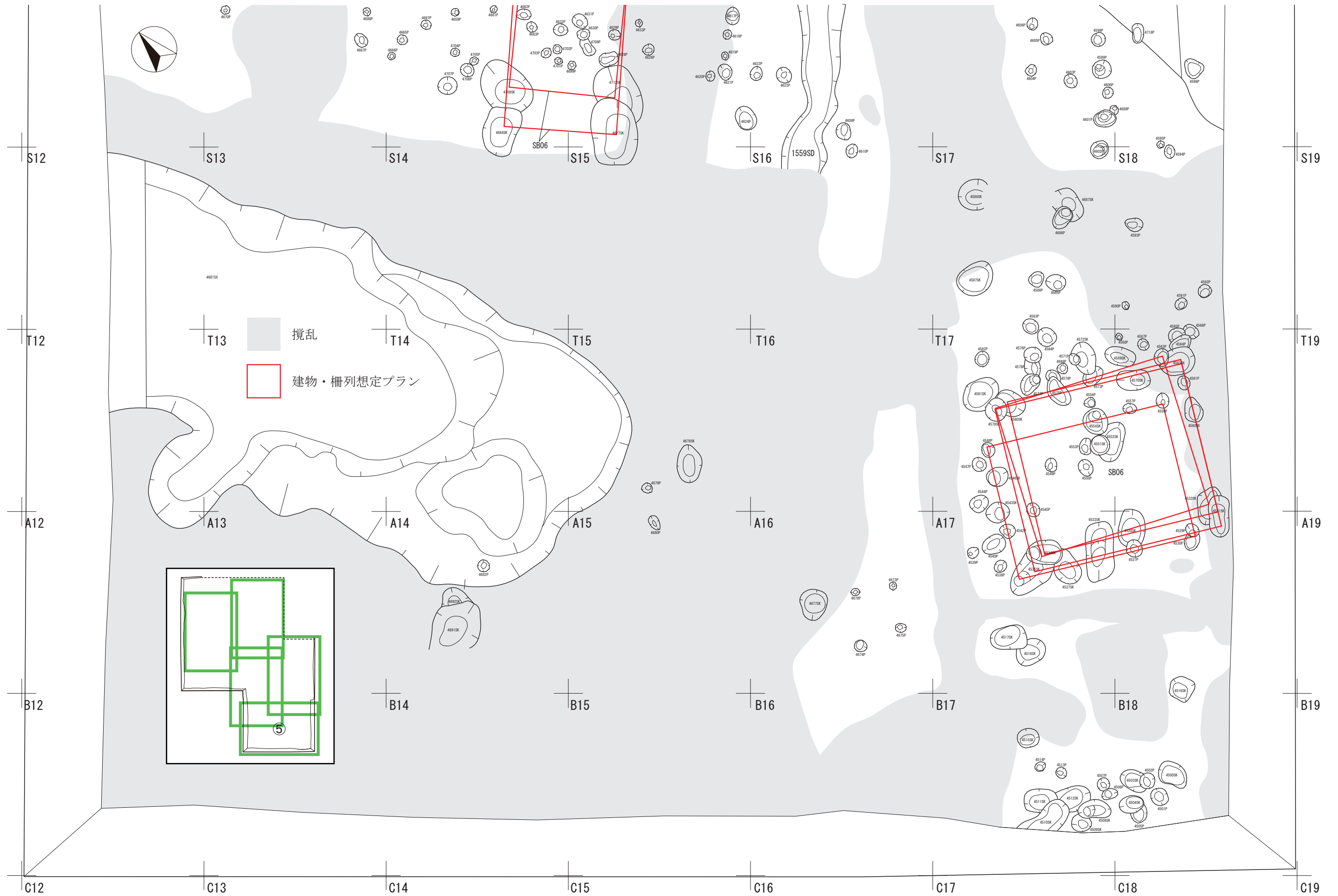


第32図 グスク時代後半～近世前半 遺構配置③ (S=1/100)





第33図 グスク時代後半～近世前半 遺構配置④ (S=1/100)



第34図 グスク時代後半～近世前半 遺構配置⑤ (S=1/100)



### 土坑・ピット群（第35図）

V b層上面において、土坑・ピットを主体とする2,777基の遺構を検出した。いずれもⅢ a・Ⅲ b層に類似した埋土を持ち、非常に激しく切り合った状況を呈していた。出土遺物から、殆どのものが14～17cに帰属し、僅かに18c代のものが含まれるものと考えられる。

これら土坑・ピットを基にした建物想定作業にあたっては、隣接する伊礼原D遺跡の諸区（2008・2013・2014北谷町教委）の成果も併置させ、なるべく広い範囲を対象とした。①隅柱となる遺構プランが建物をイメージした長方形枠にうまくはまること、②小さなもの以外においては長辺に間柱が認められること、③4本柱建物の1辺は180cm以上とすること、を要件として探したところ、柱穴が重複するものも含めて150棟超のプランを組むことができた（第35図）。しかしながら、大半の土坑・ピットは活用することができず、更に特殊或いは歪な柱配置や中柱・棟持柱等を考慮に入れると、想定できるプランは無限であるということは痛感させられた。比較的遺構密度の低かった『伊礼原遺跡・伊礼原D遺跡』（2014）で検出された建物には、長方形をなさない建物が含まれていることは、留保しておく必要がある。それでも何らかの発見があることを信じ、柱穴重複・出土遺物・建物方位を併せた検討を加えて絞り込みを進め、次項においてはごく一部ではあるが比較的確度の高いもの、或いは一定の傾向を示していると思われるものを報告することとした。また、この想定作業を通じては、辛うじて以下のような傾向を看取することができた。



- ・南側ほど新しい傾向があり、巨視的には、第一浜堤＝明代、第二浜堤＝清代という変遷を追うことができる（第36図）。

- ・第一浜堤においては、平面図上傾きを持つものの方がやや古い傾向にある。同様の方位軸をもつ柵列も認められており、何らかの区界（集落端部や通路）を示している可能性がある。

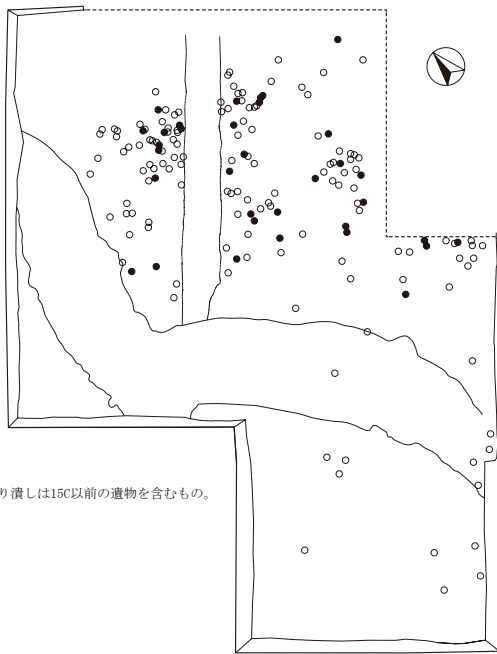
- ・平面規模の大きなものほど、側柱の間隔が不定である。中柱を想定できそうなものも多く、これらは非高倉、即ち居住性の建物であったと考えられる。

- ・『伊礼原D遺跡』（2008）でのみ検出された3基の炉跡については、配置的に整合しそうな建物プランは見つからなかった。

- ・明らかに総柱建物と言えるプランは、探し出すことができなかった。

第35図 掘立柱建物 想定 (S=1/800)

明代遺物を伴う遺構



清代遺物を伴う遺構

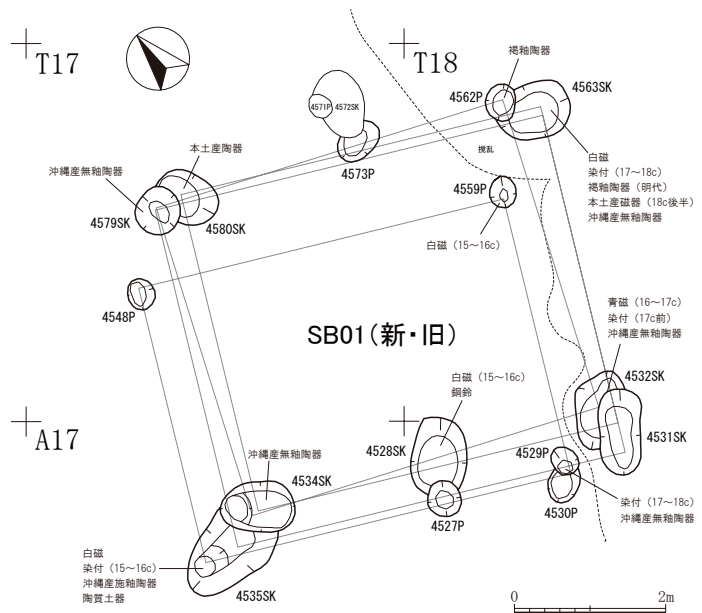


第 36 図 遺構出土遺物 分布 (S=1/1000)

### 掘立柱建物 SB01 (第 37 図)

第二浜堤上の T・A17・18 グリッドに所在する。15 基の土坑・ピットのうちのいずれかが、4 本柱或いは 6 本柱建物を構成するものと思われ、2 棟 4 パターンの構成案を示した。ほぼ同じ場所で主軸方位を殆ど変えない形での建て替えがあったと考えられる。

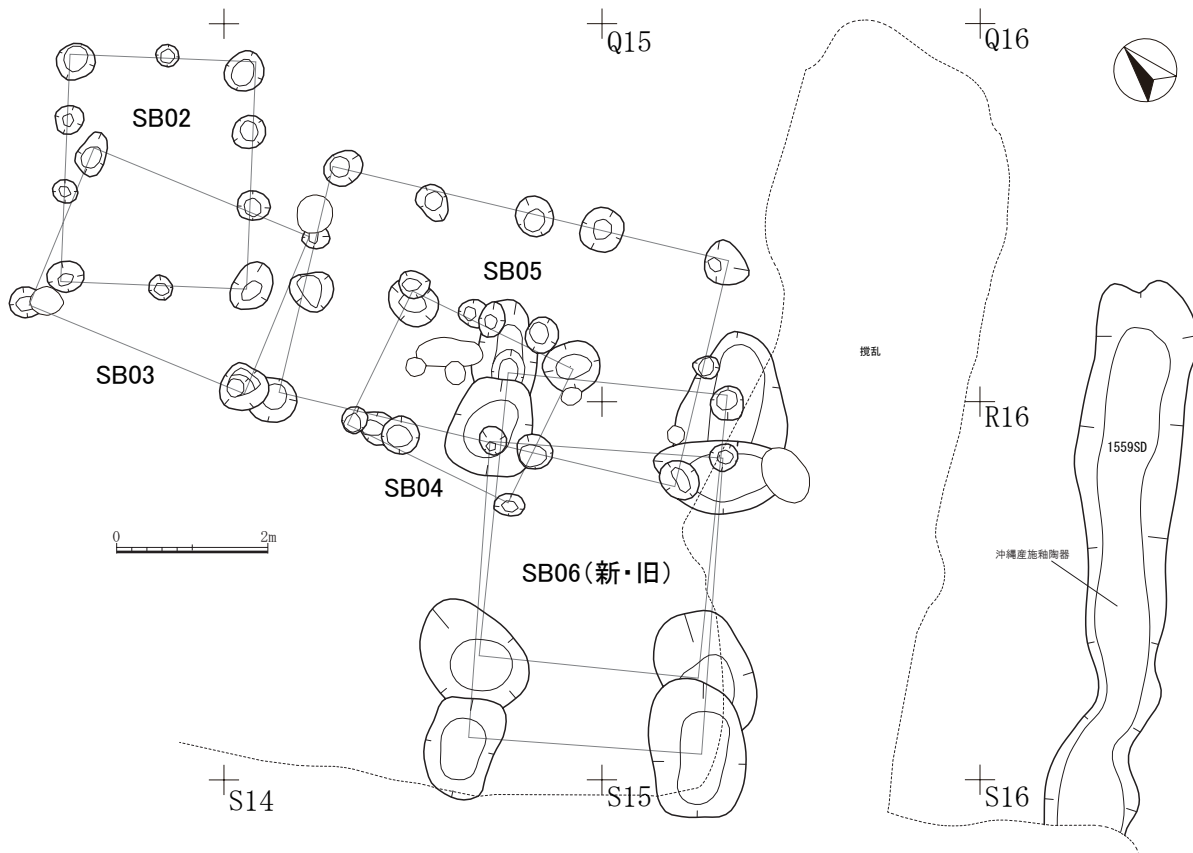
柱穴からの出土遺物には 17c 以降のものが目立っており、18c 後半の本土産磁器も 1 点混じっている。今回想定した多くの建物案の中でもかなり新しいものと捉えて大過なく、このような建物が最も海側に立地していることは重要であろう。



第 37 図 掘立柱建物 SB01 (S=1/100)

### 掘立柱建物 SB02 ~ 06 他 (第 38 図)

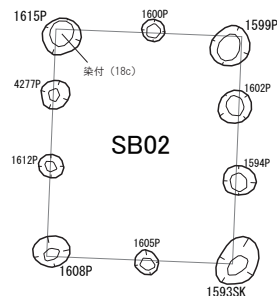
第二浜堤上にて、主軸方位の異なる複数の建物が切り合いをもって検出された。切合関係・配置・出土遺物から、新しい順に SB02 → SB03・04 → SB05 → SB06 という変遷を想定し、総じて 16 ~ 18c の構築であったことが考えられる。構成柱穴数・柱穴規模・柱間間隔にもそれぞれ差異がみられ、当該期における掘立柱建物の変遷を検討する上で、有意な事例となり得るであろう。以下、個別に報告する。



第 38 図 掘立柱建物 SB02 ~ 06 他 (S=1/100)

SB02 (第 39 図)

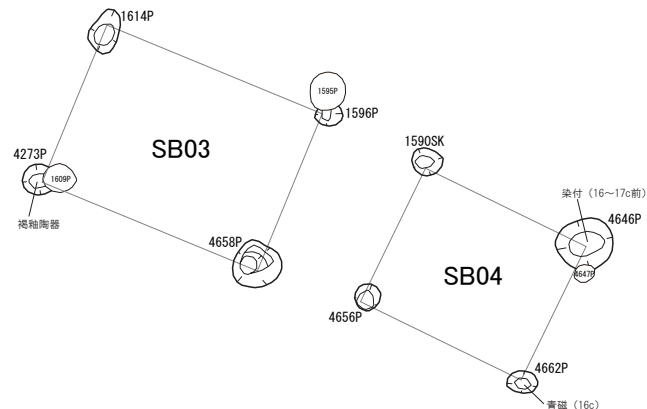
Q13・14 グリッドに位置する。2 間×3 間の側柱をもつ建物を想定した。隅柱の配置は僅かに歪むが、今回想定した建物の中では最も整然とした柱穴配置が認められる。主軸方位は SB06 とほぼ一致しているが、出土遺物からはもっと新しい時期のものであると考えられる。平面規模の割に柱穴数が多く、深い柱穴は隅柱に限られている。18c における事例として捉えておきたい。



第 39 図 掘立柱建物 SB02 (S=1/100)

SB03・04 (第 40 図)

Q・R13・14 グリッドに位置し、ともに長方形を呈する小規模な 4 本柱建物と考えた。両者は一定の間隔をもって整然と配置されているため、同時存在の可能性が極めて高く感じられる。少ないながらも 16 ~ 17c の青磁片・染付片等が得られている。SB03 隅柱は SB05 の隅柱を切っており、本遺構が新しいことが分かる。

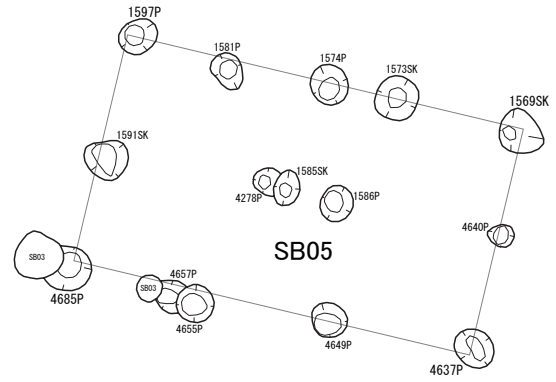


第 40 図 掘立柱建物 SB03・04 (S=1/100)



## SB05 (第41図)

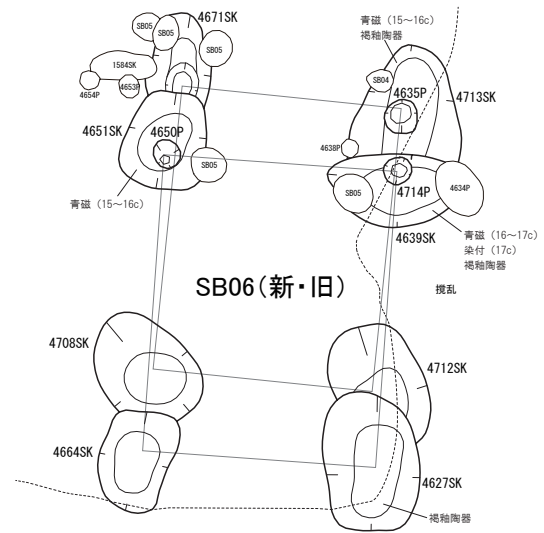
Q・R14・15グリッドに位置する。2間×3間の側柱をもつ建物を想定したが、桁の柱間は一定しない。中柱があった可能性もある。SB06を切っており、本遺構が新しいことが分かる。SB02とは平面的には重複してはいないが、主軸方位の違いや配置の近さからすると、同時存在した可能性は低い。遺物は得られていないが、近い主軸方位をもつ溝1559SDから沖縄産施釉陶器が出土している。



第41図 掘立柱建物 SB05 (S=1/100)

## SB06 (第42図)

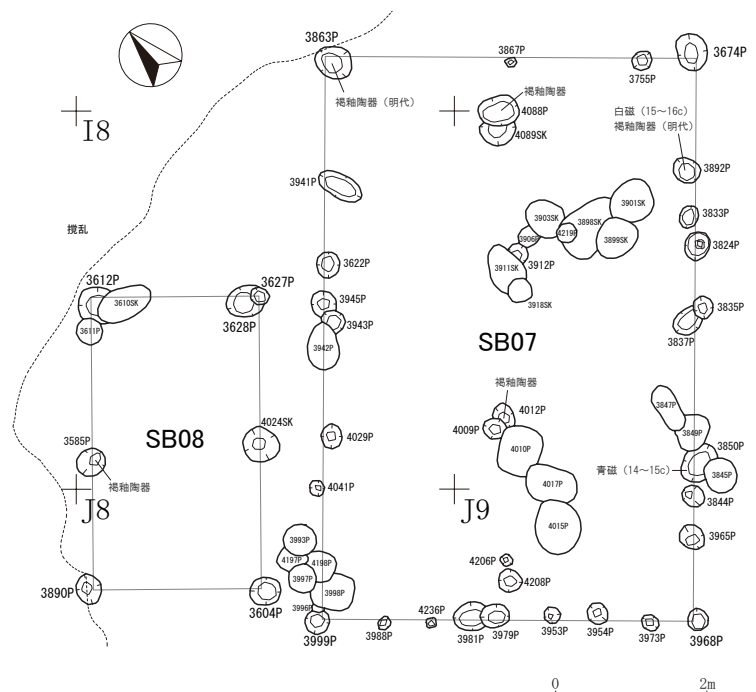
Q～S14・15グリッドに位置する。長方形を呈する4本柱建物であり、非常に大型の柱穴をもつことが特徴的である。建て替えがあったものと思われる。新旧それぞれから青磁片・褐釉陶器が出土している。第二浜堤における切合関係においては最も古い建物と言えるが、前述の溝1559SDとも主軸方位が近いため、同時性が感じられない訳でもない。この溝が本建物と同時存在していた場合、第二浜堤における建物展開は17cに入ってからであった、ということをも想定することができる。



第42図 掘立柱建物 SB06 (S=1/100)

## 掘立柱建物 SB07・08 (第43図)

第一浜堤上のH～J8・9グリッドにて、平面図上傾きを持たずに整然配置された2棟の建物案を図示した。両者の間隔はやや狭く感じられなくもないが、大型建物(SB07)とその付属的施設(SB08)として想定した。SB07は、今回の想定した大型建物プランの中では、最も妥当性が感じられたものである。側柱穴は候補として提示したに過ぎないが、柱穴規模が小さく柱間が短いという点は、『小堀原遺跡』(2012)における大型建物との類似性が認められる。中柱があった可能性もあり、居住性を窺わせる事例となっている。周辺ピットとの切合関係上、決して新しくはならないことも留意事項であろう(本建物柱穴に切られるピットは図示してい

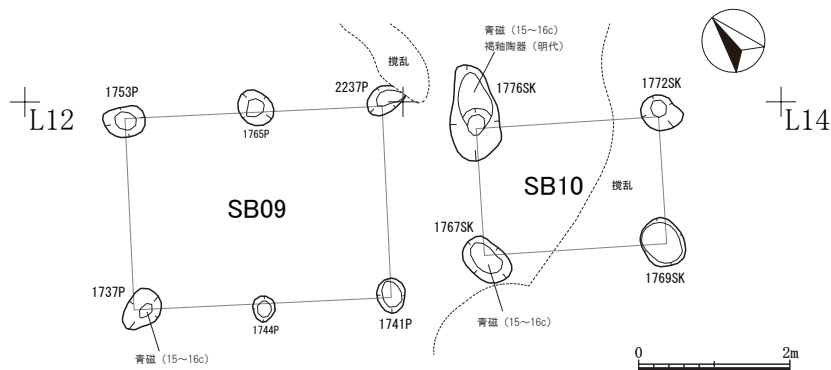


第43図 掘立柱建物 SB07・08 (S=1/100)

ない)。SB08 は長方形を呈する 6 本柱建物を想定している。両建物からは白磁片・青磁片・褐釉陶器片が出土しており、切合関係も加味し、明代中に帰属するものと考えたい。

### 掘立柱建物 SB09・10 (第 44 図)

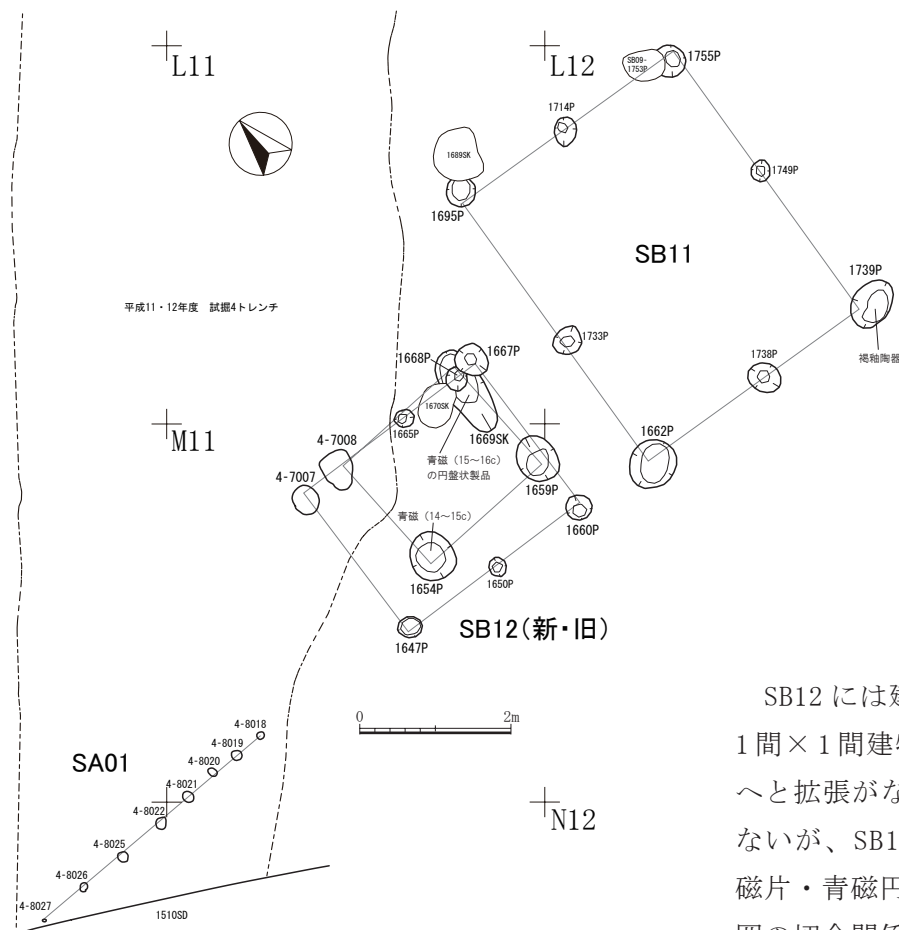
第一浜堤上の K・L12・13 グリッドにて、平面図上傾きを持たずに整然配置された 2 棟の建物案を図示した。いずれも平面図上横長長方形を呈し、6 本柱建物を SB09、4 本柱建物を SB10 とした。この 2 棟が並ぶ同軸上には、更に数棟の建物プランが想定されているが、確度の高い柱穴を選定するに至らなかったが、ある時期においてこの方位軸に基づいた建物配置がなされた可能性は高いものと思われる。柱穴から明代 (15～16c) の青磁片が得られている。



第 44 図 掘立柱建物 SB09・10 (S=1/100)

### 掘立柱 SB11・12 及び柵列 SA01 (第 45 図)

『伊礼原D遺跡』(2008) 試掘 4 トレンチにおける遺構配置図を合成した結果、柵をなすものと思われるピット列に辺を合わせるように配置された 2 棟の建物を探し出すことができた。柵列 SA01 は、



第 45 図 掘立柱建物 SB11・12 及び柵列 SA01 (S=1/100)

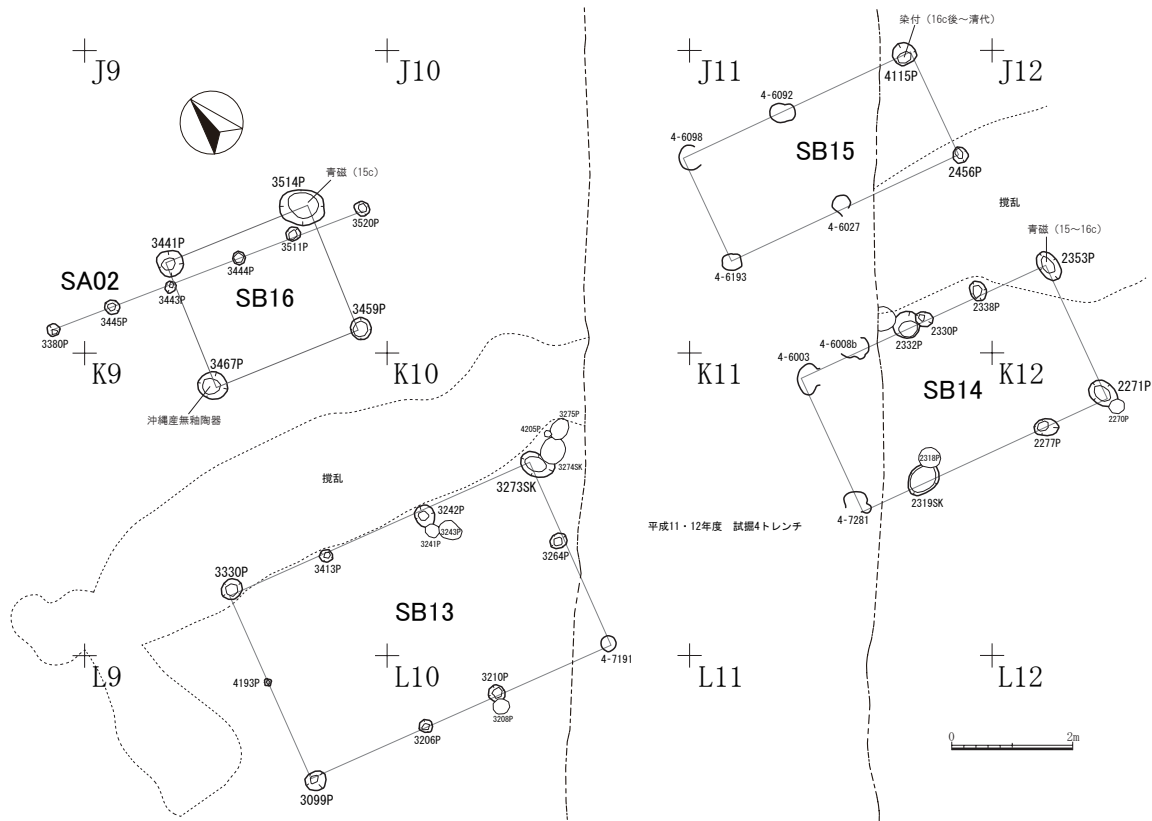
第一浜堤上の流路 3 付近に所在しており、これ以南において土坑・ピットが見つかっていないことから、当該期活動域の局所的南境を示しているものと考えられる。

SB11 は 2 間×2 間の長方形側柱建物を想定し、その長軸方向は真北(しんぼく)方向に近い。前述した SB09 に切られており、本建物が古いということになる。

SB12 には建て替えが認められ、小規模な 1 間×1 間建物(旧)から 1 間×2 間建物(新)へと拡張がなされている。出土遺物は多くないが、SB11 から褐釉陶器、SB12 から青磁片・青磁円盤状製品が得られている。周囲の切合関係から、15～16c ごろの構築であったと考える。

## 掘立柱 SB13～16 及び柵列 SA02 (第 46 図)

第一浜堤の J8・9 グリッドにて柵をなすものと思われるピット列と、その周辺にて調和的に配置される建物群を探し出すことができた。全体としての主軸の傾きは、SB07～10 と SB11・12 とのほぼ中間値を測る。柵列 SA02 と掘立柱建物 SB16 は平面的に重複しており、確実に非同時存在したものであるため、図示した施設だけで 2 時期あったことが分かる。出土遺物から考えて、17c 初頭前後の切り合いであったと推定する。



第 46 図 掘立柱建物 SB13～15 及び柵列 SA02 (S=1/125)

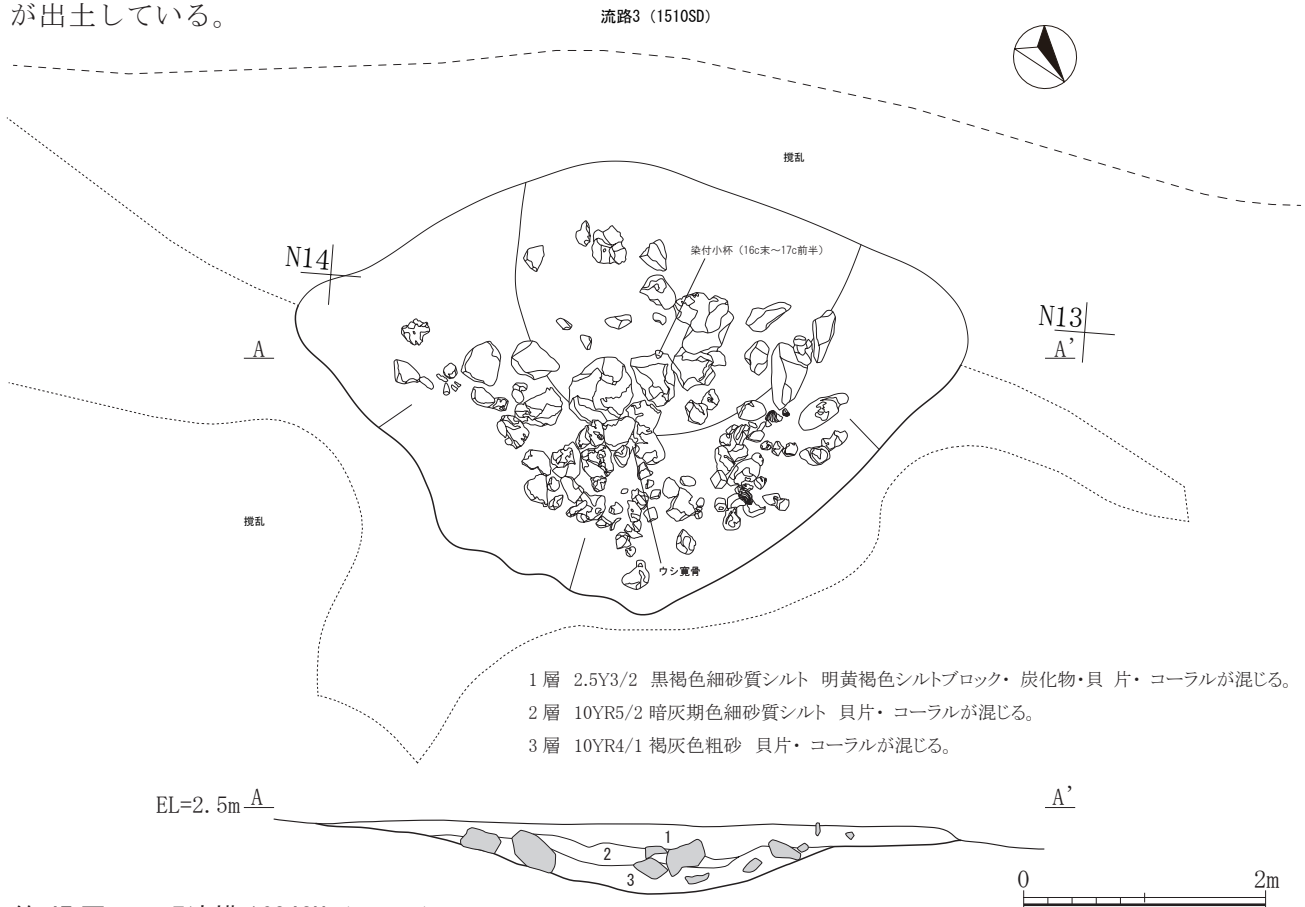
### 小結

提示した掘立柱建物の大半は、整理作業段階に至って認識されたものであり、机上想定した多くのうちのごく一部である。1つ1つの建物を長方形マスで組んでみたところで、説得力に欠けるものが多かった。そのため、2棟以上或いは柵列との配置関係において建物としての妥当性を見出し、ここから全体傾向を探っていく他なかった。建物抽出作業が難航した最大の原因が極めて高い遺構の密集性にあることは明らかで、隣接する平安山原A遺跡でも同時期の遺構検出状況は酷似していた(2016 北谷町教委)。この両遺跡に先行する小堀原遺跡(盛期は12c前後、2012 北谷町教委)では、これほどの遺構密集は認められず、それ故に掘立柱建物の想定は調査現場においても容易であった。穿った目で見れば、伊礼原D・平安山原A両遺跡におけるこの遺構密度の高さは、本地域における14～17c頃の掘立柱建物の特性だったのではなかろうか。短い耐用年数(建て替え)を前提とした建築概念があり、建て替えの際には建物の主軸方位に斉一性をもたせた、ということがあったのであれば、そこには権力者の存在と何らかの意図が見え隠れする。調査段階から本遺跡の出土品は、一般集落というには良品が多いということが指摘されていたこととも符合するものである。当該期における研究視点の1つになるであろうという、整理作業の感想をもって小結する。



性格不明遺構 1634SX (第 47 図、図版 9)

M・N13・14 グリッドで検出された、サンゴ礫を多量に含む平面規模の大きな遺構である。隣接する流路3 (1510SD) による浸食を受け、また攪乱の影響もあって西半を欠失している。流路3 自体は、遅くともグスク期前半までには形成されていたと考えられるため、そもそも流路に近い場所を選択して構築されたことが考えられる。検出当初は井戸かと思われたが、検出面から最深部まで約 50cm と浅く、湧水面に届いていない。サンゴ礫は人為的に集められたものと思われるが、その配置には特段の意図が認められない。礫は拳大～人頭大のものまで大小あり、中には磨面のあるものや、鞆の羽口のような円筒状のものもみられる。その他の出土遺物として、景德鎮産小杯 (図 39・16c 末～17c 前半)、福建・広東系の碗胴部 (17c 前半)、褐釉陶器 (中国・タイ、明代)、ウシ寛骨が出土している。



第 47 図 不明遺構 1634SX (S=1/50)



礫 検出 (北より)

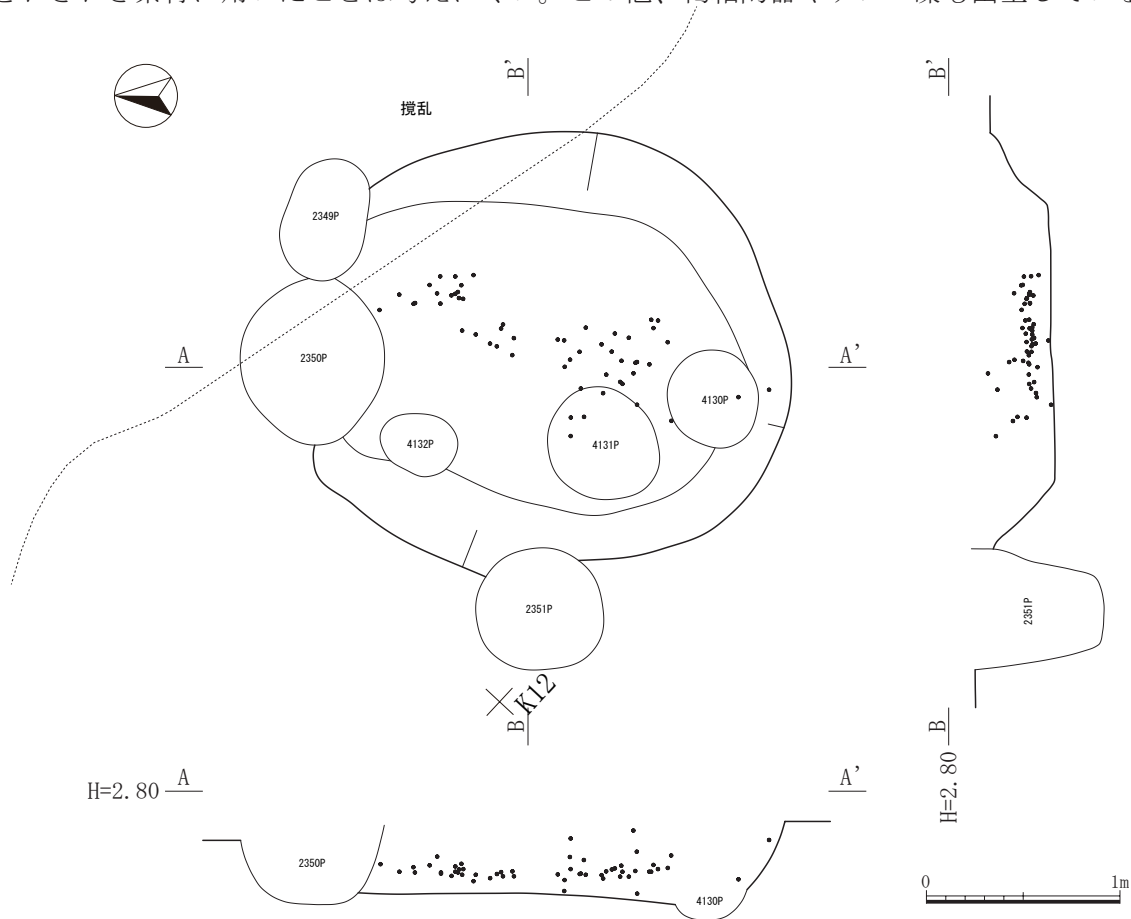


染付小碗 出土

図版 9 不明遺構 1634SX

## 二枚貝有孔製品出土土坑 2352SK (第 48 図、図版 10)

J・K12 グリッドに位置する、概ね 120 × 110cm の楕円形を呈する土坑である。複数のピットや攪乱により一部を欠失しており、且つ本土坑に切られる遺構は認められなかったため、周辺では最古相を示していることになる。土坑内からは、113 点の二枚貝有孔製品 (マスオガイ 55・リュウキュウマスオ 51・リュウキュウシラトリ 6・ヒメアサリ 1、図中ではこのうちの一部をドット分布で示している) が、底面から 5cm 程上にピークをもつ形で出土した。これらの貝種は軽くて脆いことから、貝錘としての利用は想定されないが、内側からの穿孔は確実に人為的であり、100 点以上の数が揃っていたことは特記される。左右貝が一致するか試してみたが、一致したのは 2 組のみであったため、生貝をわざわざ素材に用いたことは考えにくい。この他、褐釉陶器やサンゴ礫も出土している。



第 48 図 二枚貝有孔製品出土土坑 2352SK (S=1/20)

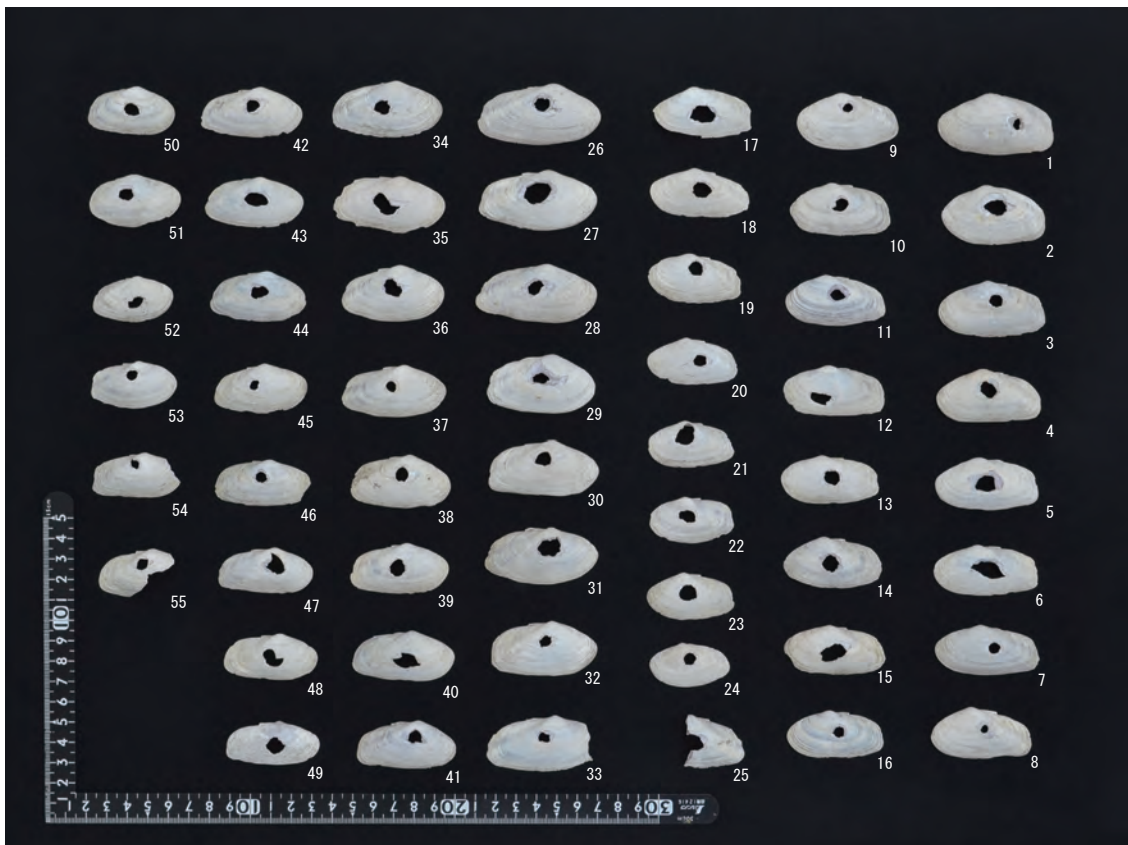


断面 (北より)



二枚貝有孔製品 出土 (西より)

図版 10 二枚貝有孔製品出土土坑 2352SK



1 (マスオガイ)



2 (リュウキュウマスオ・リュウキュウシラトリ・ヒメアサリ)

図版 11 2352SK 出土の二枚貝有孔製品



第6表 2532SK出土の二枚貝有孔製品 観察一覧

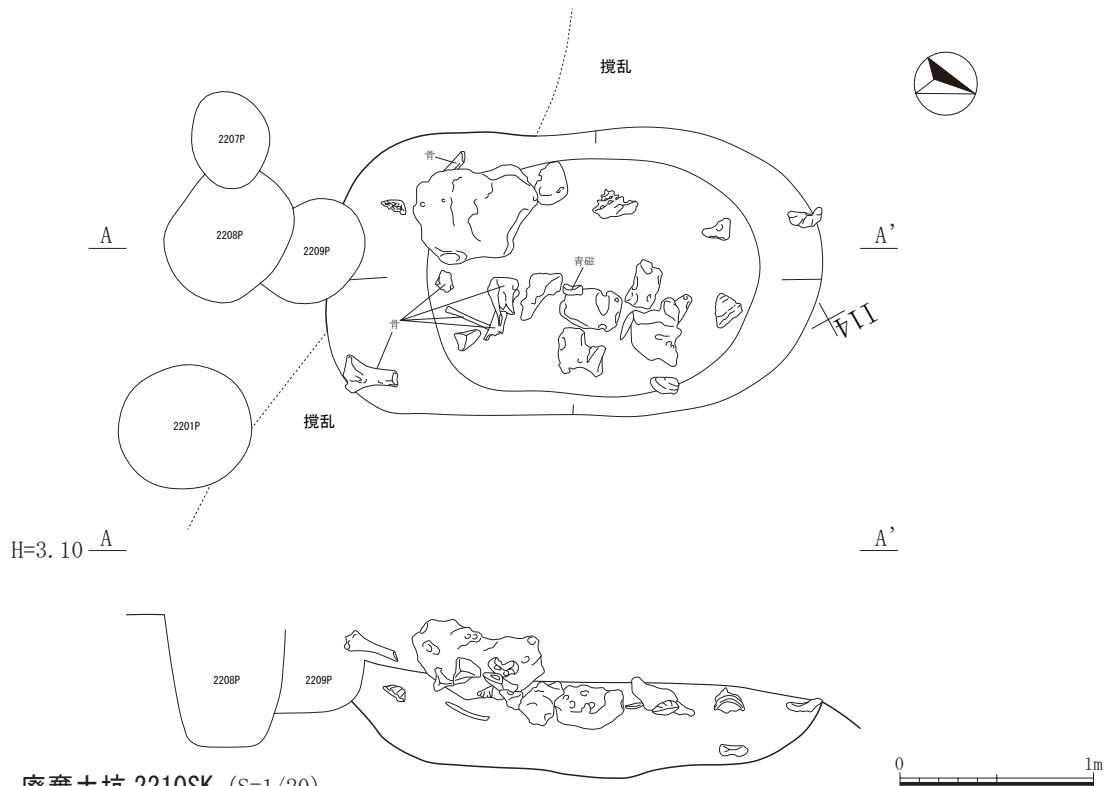
写真 番号	貝種	全体形(cm)		重さ (g)	貝殻 左右	孔 位置
		縦	横			
1-1	マスオガイ	2.9	5.6	7.3	右	中/後
1-2	マスオガイ	2.9	5.1	4.6	右	中/中
1-3	マスオガイ	2.8	5.3	3.1	右	中/中
1-4	マスオガイ	2.6	5.1	4.2	右	中/中
1-5	マスオガイ	2.6	5.1	4.2	右	中/中
1-6	マスオガイ	2.6	5.1	3.1	右	中/中
1-7	マスオガイ	2.5	5.2	3.3	右	中/後
1-8	マスオガイ	2.6	5.0	4.3	右	中/中
1-9	マスオガイ	2.8	4.9	3.3	右	上/中
1-10	マスオガイ	2.6	4.9	3.1	右	中/中
1-11	マスオガイ	2.5	4.8	3.3	右	中/中
1-12	マスオガイ	2.5	5.0	2.9	右	下/前
1-13	マスオガイ	2.4	4.8	2.4	右	中/中
1-14	マスオガイ	2.6	4.8	3.0	右	中/中
1-15	マスオガイ	2.5	5.0	2.7	右	中/中
1-16	マスオガイ	2.4	4.8	2.5	右	中/中
1-17	マスオガイ	2.5	-	2.6	右	中/中
1-18	マスオガイ	2.9	4.8	2.3	右	中/中
1-19	マスオガイ	2.4	4.6	2.5	右	上/中
1-20	マスオガイ	2.3	4.4	2.0	右	中/後
1-21	マスオガイ	2.3	4.2	1.7	右	中/中
1-22	マスオガイ	2.3	4.1	1.7	右	中/中
1-23	マスオガイ	2.4	4.3	1.5	右	中/中
1-24	マスオガイ	2.2	3.9	1.7	右	中/中
1-25	マスオガイ	-	-	1.6	右	中/中
1-26	マスオガイ	2.9	5.9	6.3	左	上/後
1-27	マスオガイ	2.9	5.7	5.1	左	上/後
1-28	マスオガイ	2.9	5.8	5.0	左	上/中
1-29	マスオガイ	2.9	5.3	7.0	左	上/中
1-30	マスオガイ	2.7	5.4	5.5	左	上/後
1-31	マスオガイ	2.8	5.5	4.0	左	上/中
1-32	マスオガイ	2.7	5.2	3.6	左	上/中
1-33	マスオガイ	2.8	-	3.8	左	上/後
1-34	マスオガイ	2.7	5.3	2.9	左	中/後
1-35	マスオガイ	-	5.3	2.7	左	中/中
1-36	マスオガイ	2.7	5.0	3.2	左	上/中
1-37	マスオガイ	2.5	5.0	3.2	左	上/後
1-38	マスオガイ	2.7	4.8	3.7	左	上/中
1-39	マスオガイ	2.5	4.7	2.5	左	中/前
1-40	マスオガイ	2.5	5.0	2.5	左	中/中
1-41	マスオガイ	2.4	4.8	3.4	左	上/中
1-42	マスオガイ	2.4	4.8	3.0	左	上/後
1-43	マスオガイ	2.4	4.7	2.1	左	中/中
1-44	マスオガイ	2.4	4.6	2.1	左	上/中
1-45	マスオガイ	2.4	4.5	2.3	左	上/後
1-46	マスオガイ	2.3	-	2.1	左	上/中
1-47	マスオガイ	2.2	4.6	2.8	左	上/中
1-48	マスオガイ	2.3	4.5	1.8	左	中/中
1-49	マスオガイ	2.1	4.6	2.8	左	中/中
1-50	マスオガイ	2.2	4.2	2.0	左	中/中
1-51	マスオガイ	2.6	4.4	2.4	左	上/中
1-52	マスオガイ	2.2	3.9	1.7	左	中/中
1-53	マスオガイ	2.3	4.1	1.6	左	上/中
1-54	マスオガイ	2.2	-	1.9	左	上/後
1-55	マスオガイ	-	-	1.4	左	上/後

写真 番号	貝種	全体形(cm)		重さ (g)	貝殻 左右	孔 位置
		縦	横			
2-1	R・マスオガイ	4.6	7.3	12.9	左	中/中
2-2	R・マスオガイ	4.3	6.5	12.6	左	中/中
2-3	R・マスオガイ	4.4	6.4	11.6	左	中/中
2-4	R・マスオガイ	3.8	6.0	6.6	左	中/中
2-5	R・マスオガイ	4.9	-	6.6	左	中/中
2-6	R・マスオガイ	3.8	5.7	7.8	左	中/前
2-7	R・マスオガイ	3.5	5.4	4.6	左	中/中
2-8	R・マスオガイ	3.6	-	5.3	左	中/中
2-9	R・マスオガイ	3.5	5.3	5.1	左	中/中
2-10	R・マスオガイ	3.0	5.2	4.8	左	中/中
2-11	R・マスオガイ	3.3	5.1	4.7	左	中/中
2-12	R・マスオガイ	-	5.1	3.7	左	中/中
2-13	R・マスオガイ	-	-	2.9	左	下/中
2-14	R・マスオガイ	3.2	4.8	4.8	左	中/中
2-15	R・マスオガイ	3.0	4.8	3.3	左	中/中
2-16	R・マスオガイ	-	-	3.4	左	中/中
2-17	R・マスオガイ	3.0	-	2.8	左	中/中
2-18	R・マスオガイ	3.0	4.5	2.8	左	中/中
2-19	R・マスオガイ	3.0	4.5	3.5	左	中/中
2-20	R・マスオガイ	2.7	4.3	2.8	左	中/中
2-21	R・マスオガイ	2.7	4.4	2.1	左	中/中
2-22	R・マスオガイ	2.7	4.2	2.2	左	中/中
2-23	R・マスオガイ	-	-	2.1	左	中/中
2-24	R・マスオガイ	2.5	4.0	1.8	左	中/前
2-25	R・マスオガイ	2.7	4.1	2.7	左	中/中
2-26	R・マスオガイ	2.8	-	3.7	左	上/中
2-27	R・マスオガイ	4.3	6.4	12.1	右	上/中
2-28	R・マスオガイ	4.2	6.1	9.6	右	中/中
2-29	R・マスオガイ	3.9	6.2	7.4	右	中/中
2-30	R・マスオガイ	3.9	6.0	6.4	右	中/中
2-31	R・マスオガイ	3.8	5.8	6.3	右	中/中
2-32	R・マスオガイ	3.7	-	7.1	右	中/中
2-33	R・マスオガイ	3.6	5.8	5.8	右	中/中
2-34	R・マスオガイ	3.6	5.7	5.1	右	中/中
2-35	R・マスオガイ	3.5	5.5	5.0	右	中/中
2-36	R・マスオガイ	3.4	5.5	5.3	右	中/前
2-37	R・マスオガイ	3.3	5.5	5.5	右	中/中
2-38	R・マスオガイ	3.4	5.2	5.2	右	中/中
2-39	R・マスオガイ	3.4	5.1	5.6	右	中/前
2-40	R・マスオガイ	2.9	4.8	3.5	右	中/中
2-41	R・マスオガイ	3.0	4.6	3.3	右	中/前
2-42	R・マスオガイ	-	4.7	3.2	右	中/中
2-43	R・マスオガイ	2.9	4.6	3.3	右	中/中
2-44	R・マスオガイ	2.9	4.4	2.6	右	中/中
2-45	R・マスオガイ	2.9	4.5	3.1	右	中/中
2-46	R・マスオガイ	-	4.2	2.0	右	中/中
2-47	R・マスオガイ	2.9	-	3.3	右	中/後
2-48	R・マスオガイ	2.6	4.2	2.6	右	中/後
2-49	R・マスオガイ	-	4.2	2.3	右	上/中
2-50	R・マスオガイ	2.7	-	2.3	右	中/中
2-51	R・マスオガイ	2.5	4.0	1.9	右	中/中
2-52	R・シラトリ	3.3	4.5	3.6	左	中/中
2-53	R・シラトリ	3.0	4.0	2.2	左	上/中
2-54	R・シラトリ	3.4	4.1	3.5	右	中/前
2-55	R・シラトリ	3.0	4.0	2.3	右	上/中
2-56	R・シラトリ	3.1	4.0	2.5	右	上/中
2-57	R・シラトリ	3.2	3.9	2.3	右	中/前
2-58	ヒメアサリ	2.7	3.5	2.9	右	中/中

※塗潰しは左右貝が一致したもの

廃棄土坑 2210SK (第 49 図、図版 12)

H・I13・14 グリッドにまたがって位置する。上面に攪乱を受けており、他の遺構にも切られている。サンゴ礫や貝殻に混じって青磁片・ウシ or ウマの骨片が認められ、これらは土坑底面から浮いた形で見つかったため、本土坑の構築目的は別にあった可能性もある。出土した青磁は 14～15c に帰属する。



第 49 図 廃棄土坑 2210SK (S=1/20)



2210SK 出土状況 (北より)



2353P 半裁状況 (南より)

図版 12 廃棄土坑 2210SK・2523P

廃棄土坑 2523P (図版 12)

I12 グリッドに位置する。検出面付近にのみ、貝殻の集積が認められた。貝種はその殆どがミドリアオリガイで占められ、リュウキュウマスオガイやイソハマグリが僅かに混じる。主体となるミドリアオリガイが食用とされたものかどうかは分からないが、グスク時代の遺構としては珍しい事例と思われる。本遺構も貝の廃棄目的で構築されたものではなく、埋没過程において生じていた僅かな窪みを廃棄に利用したものであろう。

第7表-1 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値(cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
1203 P		B5-L16	(楕円形)	(不明)	41	36	8	10YR2/1	○				褐釉
1204 P		B5-L16	(不整形)	(不明)	26	(21)	10	10YR2/2					
1205 P		B5-L16	楕円形	すり鉢	56	44	17	10YR2/1	○				
1206 P		B5-L16	(楕円形)	不整形	41	(33)	17	10YR2/2					
1207 SK		B5-L16	楕円形	逆台形	58	45	13	10YR2/2					
1208 P		B5-L16	楕円形	不整形	44	34	13	10YR2/1	○				
1209 P		B5-L16	楕円形	U	49	37	24	10YR2/2			●		青磁
1210 P		B5-L16	円形	逆台形	25	22	12	2.5Y3/2					
1212 SK		B5-K・L16	(円形)	すり鉢	81	78	25	2.5Y3/2	○				
1214 P		B5-L16	楕円形	逆台形	21	18	7	10YR3/1	○				
1217 P		B5-L16	円形	U	(24)	24	27	2.5Y3/1					
1218 P		B5-L16	円形	U	28	26	24	2.5Y3/1	○				
1219 P		B5-L16	(不整形)	(不明)	(38)	38	28	10YR3/1	○				
1220 P		B5-L16	楕円形	逆台形	28	24	13	2.5Y3/2					
1221 P		B5-L16	円形	不整形	46	46	22	2.5Y3/1					
1222 P		B5-L16	隅丸方形	逆台形	31	23	15	2.5Y3/1					
1223 P		B5-L16	(不整形)	(不明)	34	(18)	10	2.5Y4/2					
1224 P		B5-L16	楕円形	逆台形	58	43	26	10YR2/1	○				
1225 P		B5-L16	(楕円形)	(不明)	39	(30)	11	10YR3/1			●		青磁
1226 P		B5-L16	円形	逆台形	25	23	9	10YR2/2			●		青磁
1227 P		B5-L16	円形	U	28	27	26	10YR3/1					
1228 P		B5-L16	円形	逆台形	34	30	21	10YR3/1					
1230 P		B5-L16	円形	U	42	39	33	2.5Y3/1					
1231 P		B5-L16	(不整形)	(不明)	39	(27)	17	10YR3/2					
1232 P		B5-L16	(円形)	(不明)	35	(29)	27	2.5Y3/2					
1233 SK		B5-L16	楕円形	逆台形	63	47	41	2.5Y3/2					
1234 SK		B5-L16	(不整形)	逆台形	(69)	33	19	2.5Y3/3					
1235 P		B5-L16	楕円形	U	36	27	29	2.5Y4/2					
1236 SK		B5-L16	円形	U	51	49	33	2.5Y3/2	○		●		白磁
1237 P		B5-L16	(円形)	すり鉢	41	40	17	2.5Y3/2	○				
1238 P		B5-L16	円形	長台形	26	23	25	10YR3/2					
1239 SK		B5-L16	(不整形)	逆台形	63	(18)	10	10YR3/2	○				
1240 P		B5-L16	円形	U	26	23	25	2.5Y3/2					
1241 P		B5-L16	楕円形	長台形	47	38	26	10YR3/2	○				
1242 P		B5-L16	(円形)	(不整形)	26	(23)	28	10YR3/1	○				
1243 P		B5-L16	円形	U	37	36	32	2.5Y3/1	○				
1244 P		B5-L16	(円形)	(不明)	34	(34)	25	2.5Y3/2	○				
1245 P		B5-L16	(不整形)	(不明)	21	(18)	12	10YR4/1	○				
1246 P		B5-L16	円形	U	25	20	20	2.5Y3/2	○				
1247 P		B5-L16	(円形)	(不明)	20	(20)	11	10YR2/2					
1248 P		B5-L16	楕円形	U	23	18	24	10YR2/2					
1249 P		B5-L16	(円形)	(不整形)	(27)	26	26	10YR2/2					
1250 SK		B5-L16	(楕円形)	(不明)	64	29	17	10YR2/2	○				
1251 SK		B5-L16・17	隅丸方形	逆台形	86	71	29	2.5Y3/3	○				
1252 P		B5-L16	(不整形)	(不整形)	36	(25)	54	10YR2/1					
1253 P		B5-L16	円形	不整形	30	27	35	10YR2/2					
1254 P		B5-L17	(不整形)	(不整形)	36	(17)	11	2.5Y3/1	○				
1255 SK		B5-L16・17	(不整形)	(不明)	(126)	(56)	35	10YR2/2			●		青磁・褐釉
1256 P		B5-L16	円形	U	21	17	23	10YR3/1	○				
1257 P		B5-L16・17	楕円形	U	41	31	24	10YR2/1	○		●		青磁
1258 P		B5-K・L16	(不整形)	不整形	(19)	(14)	42	2.5Y3/2	○				
1259 P		B5-K・L17	楕円形	U	37	30	18	2.5Y3/1	○				
1261 P		B5-L17	不整形楕円形	逆台形	52	34	20	2.5Y3/1					
1262 P		B5-L16	(円形)	V	(28)	26	26	10YR3/2					
1263 P		B5-L16	円形	逆台形	40	36	28	10YR3/1	○				
1264 P		B5-L16	(不整形)	(不明)	(16)	(12)	18	10YR3/1					
1265 P		B5-L16	(円形)	逆台形	(33)	33	22	10YR3/3	○				
1266 P		B5-L16	(不整形)	(逆台形)	31	(29)	14	10YR3/1	○				
1267 P		B5-L16	楕円形	U	40	36	21	2.5Y3/2					
1268 SK		B5-L16・17	(不整形)	逆台形	26	(23)	15	10YR3/1	○				
1270 P		B5-L17	円形	すり鉢	50	45	21	10YR3/1					
1271 SK		B5-L16	円形	逆台形	50	45	15	10YR3/1	○				
1272 P		B5-L16	円形	不整形	29	28	40	2.5Y3/2	○				
1273 P		B5-L16	(不整形)	(不明)	(32)	22	15	2.5Y3/3					
1274 P		B5-L16	(隅丸方形)	U	48	41	42	10YR2/1					褐釉
1276 P		B5-L・M16	楕円形	すり鉢	31	22	11	10YR4/3					
1277 P		B5-L・M16	円形	すり鉢	25	23	11	10YR3/1					
1278 P		B5-L16	円形	U	33	29	22	2.5Y3/3					
1279 P		B5-L16	円形	長台形	20	16	18	2.5Y3/2					
1280 P		B5-L・M16	円形	逆台形	34	33	26	10YR5/4					
1282 P		B5-M16	円形	U	24	23	19	10YR3/2					
1283 P		B5-M16	不整形楕円形	逆台形	26	21	13	10YR4/4					
1284 P		B5-M16	不整形	2段状	106	32	75	10YR3/2	○				
1287 P		B5-M16	(不整形)	U	43	(39)	46	2.5Y3/2	○				
1288 P		B5-M16	(不整形)	(不整形)	(31)	(20)	48	2.5Y3/2			●		青磁
1289 P		B5-M16	(不整形)	U	24	(23)	17	10YR4/2					
1291 P		B5-M16	不整形楕円形	U	44	35	25	10YR3/1	○				
1292 SK		B5-M16	楕円形	逆台形	70	48	42	10YR3/1	○		●		青磁
1293 P		B5-M16	楕円形	U	50	37	30	10YR3/3	○				
1295 P		B5-M16	不整形楕円形	不整形	42	35	40	10YR3/1	○				
1296 SK		B5-M16	不整形楕円形	不整形	52	39	38	10YR3/4	○				
1297 P		B5-M16・17	楕円形	すり鉢	43	33	17	10YR3/4	○				
1298 P		B5-M16・17	(不整形)	(不明)	(22)	(15)	11	10YR3/3					
1299 P		B5-M16	楕円形	U	39	28	20	10YR3/1	○				
1303 SK		B5-M16	不整形楕円形	不整形	92	79	57	10YR3/2	○				
1304 P		B5-M16	楕円形	長台形	21	17	17	10YR4/2	○				
1305 P		B5-M16	(不整形)	(不整形)	34	(24)	42	10YR4/2	○				
1306 P		B5-M16	円形	U	49	43	38	10YR3/2	○				
1307 P		B5-M16	楕円形	U	21	19	17	10YR3/2	○				
1308 P		B5-L16・17	円形	U	20	18	16	2.5Y3/2					
1309 P		B5-M16・17	円形	不整形	34	33	45	10YR3/3					
1310 P		B5-M16・17	不整形	U	46	44	63	10YR2/2	○		●		白磁・青磁
1311 P		B5-M16・17	円形	逆台形	28	25	15	10YR3/2					
1312 SK		B5-M16・17	(不整形)	(不明)	52	(42)	20	10YR4/4	○				
1313 P		B5-M16・17	楕円形	U	35	25	23	10YR2/3					
1314 SK		B5-M17	不整形	不整形	128	57	69	2.5Y3/2					
1315 SK		B5-M17	(不整形)	(不明)	64	(41)	26	2.5Y4/1					
1316 SX		B5-M17	(不整形)	(不明)	128	(121)	39	2.5Y3/3	○		●	●	青磁・褐釉・本磁・沖無・鉄板
1318 SK		B5-M17	(不整形)	すり鉢	108	(85)	40	10YR4/3					
1319 P		B5-M17	楕円形	U	36	29	41	10YR4/3					



第7表-2 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値(cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
1320 P		B5-L・M17	不整楕円形	U	38	33	30	2.5Y3/2	○				
1322 P		B5-L17	(円形)	(不明)	47	(47)	32	2.5Y3/1	○				
1323 P		B5-L・M17	楕円形	逆台形	66	34	11	2.5Y3/1	○				
1324 P		B5-M17	(不整形)	(不明)	64	(35)	6	2.5Y3/1	○				
1325 P		B5-L・M17	(不整形)	V	42	(40)	46	2.5Y3/1	○				
1326 P		B5-L・M17	(不整形)	皿	47	(25)	11	2.5Y3/3	○				
1329 P		B5-M17	(不整円形)	U	40	36	22	2.5Y4/2	○				
1330 P		B5-M17	楕円形	逆台形	26	19	11	2.5Y3/2					
1331 P		B5-M17	楕円形	長台形	26	22	26	2.5Y3/2					
1332 P		B5-L17	楕円形	U	34	27	34	2.5Y3/1	○				
1333 P		B5-L17	(楕円形)	(不明)	25	(23)	17	2.5Y3/2					
1334 P		B5-L17	(不整円形)	逆台形	25	22	11	2.5Y2/1					
1335 SK		B5-L17	不整形	不整形	68	60	54	2.5Y3/2	○			●	褐釉
1336 SK		B5-L17	楕円形	U	42	37	38	10YR3/3	○				
1337 SK		B5-L17	楕円形	不整形	62	44	33	2.5Y3/2					
1338 SK		B5-L17	(不整形)	(2段状)	(54)	(45)	17	2.5Y4/3					
1339 P		B5-L17	楕円形	U	26	22	16	2.5Y3/2	○				
1340 P		B5-L17	(不整形)	(不明)	34	(30)	7	2.5Y3/2					
1341 P		B5-M17	円形	U	15	15	13	2.5Y3/3					
1342 P		B5-L・M17	(不整形)	(不整形)	(33)	(23)	22	2.5Y3/3					
1343 P		B5-L・M17	楕円形	すり鉢	30	26	17	2.5Y3/1					
1344 P		B5-L17	円形	逆台形	24	23	13	2.5Y3/1					
1345 P		B5-L17	(円形)	(不明)	26	33	6	2.5Y3/3					
1346 P		B5-L17	円形	逆台形	22	21	11	2.5Y3/3					
1347 P		B5-L17	楕円形	U	29	19	13	2.5Y3/3					
1348 P		B5-L17	楕円形	U	32	23	21	2.5Y3/3					
1349 P		B5-L17	不整楕円形	逆台形	36	22	11	10YR2/2					
1350 P		B5-L17	円形	U	32	28	23	2.5Y3/3	○				
1351 SK		B5-L17	不整形	不整形	59	52	40	2.5Y3/1	○				
1352 P		B5-L17	円形	すり鉢	21	20	8	2.5Y3/2					
1353 P		B5-L17	円形	逆台形	29	28	8	2.5Y3/2	○				
1354 P		B5-L17	(不整形)	(不整形)	22	(18)	19	10YR3/1	○				
1355 P		B5-L17	楕円形	不整形	24	16	10	10YR3/1					
1356 P		B5-L17	(円形)	(逆台形)	19	(15)	13	10YR3/1					
1357 P		B5-L17	円形	すり鉢	24	23	12	10YR3/1					
1358 P		B5-L17	隅丸三角形	U	20	19	13	2.5Y3/1					
1360 SK		B5-M18	(不整形)	不整形	(51)	29	29	2.5Y3/2	○				
1361 P		B5-L17	円形	U	25	23	16	2.5Y3/2	○				
1362 P		B5-L17	円形	長台形	34	34	32	10YR3/2					
1363 P		B5-L17	楕円形	長台形	20	16	16	10YR3/2					
1364 P		B5-L17	楕円形	U	31	23	24	10YR2/1					
1365 P		B5-L17	円形	長台形	26	24	10	2.5Y3/2	○				
1366 SK		B5-L17	不整楕円形	すり鉢	44	22	30	10YR3/2					
1367 SK		B5-L17	(不整形)	不整形	64	(44)	23	10YR3/2					
1368 P		B5-L17	(不整円形)	すり鉢	22	(20)	7	10YR3/3					
1370 P		B5-L17	隅丸三角形	すり鉢	27	24	13	10YR3/1	○				
1371 P		B5-L17	円形	U	22	20	19	2.5Y3/1					
1372 P		B5-L17	(円形)	(不整形)	24	(20)	21	2.5Y3/2	○				
1373 SK		B5-L17	隅丸方形	逆台形	101	80	26	2.5Y3/2	○				
1374 P		B5-L17	(不整形)	U	39	(20)	31	2.5Y3/2	○				
1375 P		B5-L17	(円形)	U	(35)	33	20	2.5Y3/3					
1376 SK		B5-L17	不整形	U	63	44	37	2.5Y3/1	○				
1377 SK		B5-L17	(不整楕円形)	(U)	73	(39)	32	2.5Y3/2	○				
1378 SK		B5-L17	(不整形)	すり鉢	(47)	(23)	19	10YR3/3					
1380 P		B5-L17	(不整形)	逆台形	29	(23)	14	10YR3/3					
1381 P		B5-L17	不整楕円形	すり鉢	49	34	23	10YR3/2	○				
1382 P		B5-L17	円形	長台形	19	16	16	2.5Y3/2	○				
1383 P		B5-L17	不整楕円形	逆台形	28	22	10	10YR3/2					
1384 P		B5-L17	楕円形	U	36	30	24	2.5Y3/1	○				
1385 P		B5-L17	不整楕円形	長台形	26	22	31	2.5Y3/1					
1386 P		B5-L17	楕円形	U	25	21	16	2.5Y4/1					
1387 P		B5-L17	楕円形	U	46	39	50	10YR3/2	○				
1388 P		B5-L17	不整楕円形	逆台形	43	27	16	10YR3/2	○				
1389 P		B5-K・L17	隅丸方形	U	36	28	39	2.5Y3/1	○				
1390 P		B5-L17	(楕円形)	(不明)	32	(25)	40	2.5Y2/1	○				
1391 P		B5-L17	楕円形	U	26	23	19	10YR2/2					
1392 SK		B5-L17	(不整形)	すり鉢	(77)	69	25	2.5Y4/1				●	染付(図34)
1393 P		B5-L17	楕円形	不整形	41	31	46	2.5Y3/3	○				
1395 P		B5-L17	隅丸方形	U	46	45	65	2.5Y3/1	○				
1396 P		B5-L17	(不整形)	(不明)	(25)	24	11	2.5Y3/3	○				
1397 P		B5-L17	楕円形	U	34	22	38	10YR3/2					
1400 P		B5-L17	円形	U	32	30	28	10YR3/2	○				
1402 P		B5-L17	楕円形	U	17	15	13	2.5Y3/1					
1403 SK		B5-L17	不整形	U	56	43	45	2.5Y3/1	○				
1404 SK		B5-L17	(隅丸三角形)	(皿)	(60)	46	9	2.5Y3/1	○				
1405 P		B5-L17	(円形)	U	50	36	54	2.5Y3/1				●	白磁・青磁・褐釉
1407 P		B5-L17	(不整形)	U	37	(21)	39	2.5Y3/2	○				
1408 P		B5-L17	(楕円形)	(不明)	34	(31)	26	2.5Y3/1	○				
1409 P		B5-L17	円形	U	28	(24)	35	2.5Y3/2	○				
1410 P		B5-L17	楕円形	逆台形	29	24	12	10YR3/1	○				
1411 P		B5-L17	楕円形	V	33	28	35	2.5Y3/1	○				
1412 SK		B5-L17	楕円形	すり鉢	68	49	19	2.5Y3/2	○				
1413 P		B5-L17	(不整形)	(不明)	(31)	(23)	40	2.5Y3/2					
1416 P		B5-L17	楕円形	U	39	29	39	2.5Y3/2					
1417 P		B5-L17	(不整円形)	(U)	41	(36)	60	2.5Y3/2	○			●	染付
1419 SK		B5-L17	(楕円形)	逆台形	73	26	31	2.5Y3/1	○			●	青磁
1420 P		B5-L18	円形	逆台形	34	34	15	2.5Y4/2	○				
1421 P		B5-L18	円形	長台形	33	30	28	2.5Y4/2					
1422 P		B5-L18	不整楕円形	不整形	47	40	14	10YR2/1					
1423 P		B5-L18	(不整形)	逆台形	30	(27)	16	2.5Y4/2	○				
1425 P		B5-L18	(不整形)	(不整形)	(44)	44	47	2.5Y4/2	○				
1426 P		B5-K・L17	不整楕円形	U	44	35	53	2.5Y3/2	○				
1427 P		B5-L17	(不整円形)	逆台形	36	32	15	2.5Y3/2					
1428 P		B5-K・L17	(不整形)	(不整形)	28	(21)	22	2.5Y3/2				●	染付
1429 P		B5-L18	不整円形	U	23	20	18	2.5Y3/2					
1430 P		B5-L18	(不整形)	(不明)	26	(21)	11	2.5Y4/2					
1431 P		B5-L18	楕円形	U	25	20	17	2.5Y4/2					
1432 P		B5-L18	円形	U	17	16	11	2.5Y4/2					
1433 P		B5-L18	(不整楕円形)	U	45	37	47	2.5Y3/2				●	青磁
1434 P		B5-L18	円形	U	22	18	13	2.5Y3/2					

第7表-3 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値(cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
1435 SK		B5-L18	不整形	不整形	85	54	53	2.5Y3/2	○				
1436 SK		B5-L18	(不整形)	(不明)	(90)	55	14	2.5Y3/2	○				● 青磁・褐釉
1437 P		B5-L18	楕円形	すり鉢	48	36	21	2.5Y3/2					● 染付
1438 P		B5-L18	円形	U	12	11	10	2.5Y3/2					
1440 P		B5-L18	(円形)	(不整形)	(37)	36	20	2.5Y3/2	○		●	●	青磁・染付
1441 P		B5-L18	(不整形)	(U)	48	(23)	36	2.5Y3/2	○				
1442 P		B5-L18	楕円形	U	42	28	24	2.5Y3/2	○				
1443 P		B5-L18	(不整形)	(不整形)	37	(20)	41	2.5Y3/2	○				
1445 P		B5-M17	(不整形楕円形)	不整形	24	(23)	18	10YR2/1					
1446 P		B5-M17	楕円形	すり鉢	22	21	8	10YR3/2					
1447 P		B5-M16・17	楕円形	V	32	24	19	10YR3/2	○				
1448 P		B5-L18	円形	逆台形	20	18	9	2.5Y3/2					
1449 P		B5-L18	円形	U	37	32	38	2.5Y3/2	○				
1450 P		B5-L18	(不整形)	(不明)	16	(15)	21	2.5Y3/2	○				
1451 P		B5-L18	(円形)	U	29	27	32	2.5Y3/2					
1452 P		B5-L18	楕円形	U	20	17	14	2.5Y3/2					
1453 P		B5-L17	不整形楕円形	すり鉢	39	32	16	10YR3/2	○				
1454 P		B5-L18	楕円形	U	40	32	25	10YR3/1					
1455 P		B5-L18	円形	長台形	24	21	18	10YR4/2					
1456 SK		B5-L18	不整形	2段状	55	53	45	10YR3/1	○		●		青磁
1457 P		B5-L18	円形	U	32	31	26	10YR3/1	○				
1458 P		B5-L18	(不整形)	(不明)	24	(19)	25	10YR3/1	○				
1459 P		B5-L18	(楕円形)	長台形	26	(21)	21	10YR4/2	○				
1460 P		B5-L18	隅丸三角形	長台形	22	21	14	10YR4/2	○				
1461 P		B5-L18	円形	長台形	33	31	49	10YR3/2	○		●		染付(図16)
1462 P		B5-L18	円形	逆台形	19	18	13	10YR3/2					
1463 P		B5-L18	不整形楕円形	長台形	31	24	22	2.5Y3/2	○				
1465 SK		B5-K-L18	隅丸方形	逆台形	65	42	37	2.5Y3/2					
1466 SK		B5-K-L18	(不整形)	(不整形)	52	(46)	34	2.5Y4/2	○				
1467 SK		B5-L18	不整形	逆台形	138	64	49	2.5Y4/2	○		●		白磁(図18)・褐釉(図41)
1468 P		B5-L18	(不整形)	(不整形)	(59)	(24)	14	2.5Y4/2	○	漏斗状			
1469 P		B5-L18	(円形)	(不整形)	37	(31)	24	2.5Y4/2	○				
1470 P		B5-L18	円形	U	36	33	48	2.5Y4/2	○				白磁
1471 P		B5-L18	(円形)	U	28	(26)	26	2.5Y4/2	○			●	染付
1472 P		B5-L18	円形	逆台形	24	21	11	2.5Y4/2					
1473 P		B5-L18	不整形	U	36	32	23	2.5Y3/2	○				
1474 P		B5-L18	(不整形)	長台形	21	(17)	17	10YR3/2					
1475 P		B5-L18	(隅丸方形)	不整形	36	(25)	26	2.5Y3/2	○				
1476 P		B5-L18	楕円形	逆台形	52	41	13	10YR3/2					
1477 P		B5-L18	(円形)	V	40	(30)	55	10YR2/2	○		●		褐釉(図37)
1478 P		B5-L18	(不整形)	(不明)	19	(12)	12	2.5Y3/2					
1479 P		B5-L18	円形	U	44	44	26	10YR3/2					
1480 P		B5-L18	楕円形	U	30	25	25	2.5Y3/2					
1481 P		B5-L18	楕円形	U	31	22	9	10YR3/2					
1482 P		B5-L18	円形	すり鉢	30	26	8	2.5Y3/2					
1485 P		B5-L18	楕円形	皿	40	25	8	10YR3/2					
1486 P		B5-L18	(不整形)	すり鉢	33	(8)	29	2.5Y3/2					
1489 P		B5-L18	円形	U	21	20	15	2.5Y4/2					
1490 P		B5-L18	(不整形)	U	(44)	(33)	18	10YR3/2					
1492 P		B5-N18	楕円形	皿	26	22	6	2.5Y4/2					
1493 P		B5-N18	楕円形	皿	18	15	3	2.5Y4/2					
1494 P		B5-N18	円形	皿	19	17	4	2.5Y4/2			●		白磁
1495 P		B5-O18	楕円形	不整形	35	28	11	2.5Y4/2					
1496 P		B5-O18	楕円形	すり鉢	28	21	11	10YR3/2					
1497 P		B5-O18	円形	皿	24	22	7	10YR3/2					
1498 P		B5-O18	楕円形	逆台形	49	40	9	10YR2/1	○				
1501 P		B5-O18	楕円形	すり鉢	31	23	10	2.5Y3/2	○				
1502 P		B5-O18	円形	U	25	23	23	2.5Y3/2					
1503 P		B5-O18	不整形	U	32	28	14	2.5Y3/2					
1504 P		B5-O17	楕円形	皿	31	25	4	2.5Y3/2					
1505 SX		B5-N-O17・18	不整形	不整形	624	277	27	2.5Y4/2			●	●	白磁(図4)・褐釉・沖無
1506 SX		B5-O-P18	(不整形)	不整形	290	248	14	10YR2/1	○				● 褐釉・本磁・本陶(図8)・不明陶器
1510 SD	流路3	B5-N~R10~18	-	-	-	-	-	-			●	●	土製品(図2)・白磁(図15)・青磁(図9・10・14・44・51・52)・染付・半練(図45)・本陶(図5)・本磁・沖無・沖無・瓦質(図1・2)・刀子(図3)
1511 P		B5-O18	楕円形	不整形	26	18	13	2.5Y3/2					
1515 P		B5-O18	楕円形	U	38	33	22	2.5Y3/2				●	本陶(図4)
1528 SK		B5-P18	(不整形)	すり鉢	105	88	21	2.5Y4/2	○				
1530 P		B5-P18	円形	逆台形	29	29	19	2.5Y4/2					
1534 P		B5-P18	(不整形)	(不整形)	49	(42)	13	2.5Y3/2	○				
1535 P		B5-P18	(楕円形)	(不整形)	47	(32)	54	2.5Y3/2		漏斗状			
1536 P		B5-P18	楕円形	不整形	38	29	27	2.5Y3/2					
1537 P		B5-P18	(不整形)	不整形	(45)	39	44	2.5Y3/2		漏斗状			
1538 P		B5-P18	円形	長台形	26	23	15	2.5Y3/2	○				
1539 P		B5-P18	円形	長台形	25	23	19	2.5Y3/2	○				
1540 P		B5-Q18	(楕円形)	U	51	41	46	2.5Y2/1	○				
1541 P		B5-Q18	楕円形	不整形	55	30	22	2.5Y3/2					
1542 P		B5-Q18	楕円形	U	31	24	31	10YR2/1	○				
1543 SK		B5-Q18	(不整形)	(不明)	(124)	(91)	47	10YR2/1	○		●	●	染付(図15)
1544 P		B5-Q18	楕円形	長台形	33	28	31	2.5Y3/2	○				
1545 SK		B5-Q18	(不整形)	不整形	63	30	52	10YR2/1	○	断面分層		●	本陶・沖無
1546 P		B5-Q18	円形	長台形	13	13	2	2.5Y3/2					
1547 P		B5-Q18	円形	長台形	20	17	34	2.5Y3/2	○				
1548 P		B5-Q18	円形	逆台形	27	25	21	2.5Y3/2	○				
1549 P		B5-Q18	楕円形	U	47	36	36	2.5Y3/2	○				褐釉
1550 P		B5-Q18	(不整形)	(不明)	43	(34)	15	2.5Y3/2	○				
1551 P		B5-Q18	楕円形	U	37	29	14	2.5Y3/2	○				
1552 SK		B5-Q18	楕円形	すり鉢	74	54	48	2.5Y3/2	○				
1553 P		B5-Q17	不整形楕円形	長台形	47	37	41	2.5Y3/2	○				
1554 SK		B5-Q17	楕円形	逆台形	68	45	34	2.5Y3/2	○				ウシorウマ骨片
1555 SK		B5-Q17	(不整形)	(不明)	53	(47)	36	2.5Y3/2	○				
1556 P		B5-Q18	円形	長台形	31	31	27	2.5Y3/2	○				
1557 P		B5-Q18	(不整形)	(不明)	30	(15)	10	2.5Y3/2			●		褐釉
1559 SD	1559SD	B5-Q16	(不整形)	すり鉢	139	(88)	19	2.5Y3/2	○			●	沖無
1560 P		B5-Q15	楕円形	U	50	50	29	2.5Y3/2					
1562 P		B5-Q15	円形	U	32	27	17	2.5Y4/2					
1563 P		B5-Q15	円形	U	26	23	13	2.5Y3/2					
1564 P		B5-Q15	円形	U	19	17	14	2.5Y3/2					
1565 P		B5-Q15	円形	U	18	18	13	2.5Y4/2					

第7表-4 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値(cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
1566 P		B5-Q15	楕円形	逆台形	23	17	9	2.5Y3/2					
1567 P		B5-Q15	楕円形	V	20	16	12	2.5Y3/2	○				
1568 P		B5-Q15	楕円形	すり鉢	31	23	12	2.5Y4/2					
1569 SK	SB05	B5-Q15	隅丸三角形	不整形	59	58	40	2.5Y3/2					
1570 P		B5-Q14	円形	逆台形	22	21	9	2.5Y3/2					
1571 P		B5-Q14	楕円形	皿	23	19	5	2.5Y4/2					
1573 SK	SB05	B5-Q14・15	円形	U	58	56	55	2.5Y4/2					
1574 P	SB05	B5-Q14	楕円形	U	55	49	57	2.5Y3/2					
1575 P		B5-Q14	楕円形	すり鉢	22	15	12	2.5Y4/2					
1576 P		B5-Q14	楕円形	逆台形	39	29	15	2.5Y4/2					
1578 P		B5-Q14	円形	U	21	20	13	2.5Y4/2					
1579 P		B5-Q14	楕円形	U	25	17	15	2.5Y3/2					
1581 P	SB05	B5-Q14	不整楕円形	不整形	52	38	28	2.5Y4/2					
1582 P		B5-Q14	円形	U	26	23	11	2.5Y4/2					
1583 P		B5-Q14	円形	U	31	31	28	2.5Y3/2					
1584 SK		B5-Q14	(不整形)	-	87	(26)	22	2.5Y3/2					
1585 SK	SB05	B5-Q14	楕円形	U	48	35	25	2.5Y4/2	○				
1586 P	SB05	B5-Q14	楕円形	不整形	48	43	34	2.5Y4/2					
1589 SK		B5-Q14	(円形)	不整形	63	(59)	32	2.5Y4/2		断面分層	●		青磁
1590 SK	SB04	B5-Q14	(不整円形)	U	40	39	23	2.5Y4/2	○				
1591 SK	SB05	B5-Q14	隅丸三角形	U	56	55	30	2.5Y3/2					
1592 P		B5-Q14	楕円形	すり鉢	27	23	11	2.5Y4/2					
1593 SK	SB02	B5-Q14	不整形	不整形	69	51	42	2.5Y4/2					
1594 P	SB02	B5-Q14	円形	逆台形	44	39	13	2.5Y4/2					
1595 P		B5-Q14	円形	U	50	47	41	2.5Y3/2					
1596 P	SB03	B5-Q14	(不整形)	(不明)	37	(21)	53	2.5Y4/2					
1597 P	SB05	B5-Q14	楕円形	不整形	53	44	51	2.5Y4/2					
1599 P	SB02	B5-Q14	円形	U	55	52	55	2.5Y4/2					
1600 P	SB02	B5-Q13	円形	すり鉢	31	30	8	2.5Y4/2					
1601 P		B5-Q13	隅丸三角形	不整形	45	34	9	2.5Y4/2					
1602 P	SB02	B5-Q14	円形	すり鉢	47	43	17	2.5Y4/2					
1603 P		B5-Q13	円形	逆台形	26	24	9	2.5Y4/2					
1604 P		B5-Q13	楕円形	U	35	30	9	2.5Y4/2					
1605 P	SB02	B5-Q13	楕円形	U	34	32	29	2.5Y4/2					
1608 P	SB02	B5-Q13	円形	U	49	41	35	2.5Y4/2					
1609 P		B5-Q13	円形	U	45	38	21	2.5Y4/2					
1610 P		B5-Q13	円形	U	40	34	25	2.5Y4/2					
1612 P	SB02	B5-Q13	円形	U	34	31	11	2.5Y4/2					
1613 SK		B5-Q13	楕円形	すり鉢	67	53	18	2.5Y3/2	○				
1614 P	SB03	B5-Q13	不整楕円形	U	55	40	33	2.5Y3/2					
1615 P	SB02	B5-Q13	円形	U	51	50	35	2.5Y4/2				●	染付
1616 P		B5-Q13	円形	すり鉢	27	23	6	2.5Y4/2					
1617 P		B5-Q13	円形	すり鉢	31	31	12	2.5Y4/2					
1618 P		B5-Q13	円形	すり鉢	26	23	12	2.5Y4/2					
1619 P		B5-Q12	楕円形	すり鉢	36	27	19	2.5Y4/2					
1620 P		B5-Q12	円形	すり鉢	22	18	8	2.5Y4/2					
1621 P		B5-Q12	不整楕円形	逆台形	33	29	13	2.5Y4/2					
1622 P		B5-Q12	楕円形	逆台形	30	23	10	2.5Y4/2					
1623 SK		B5-N15	楕円形	不整形	150	93	17	2.5Y3/2				●	青磁
1624 P		B5-N15	楕円形	U	56	52	51	2.5Y3/2		断面分層			
1625 P		B5-M15	隅丸三角形	逆台形	45	44	27	2.5Y4/2					
1629 P		B5-M14	円形	長台形	43	37	35	2.5Y3/2					
1631 SK		B5-N14	楕円形	U	71	53	61	2.5Y4/2		断面分層			
1632 P		B5-N14	円形	長台形	25	25	20	2.5Y3/2					
1634 SX	1634SX	B5-M・N13・14	不整形	皿	444	283	53	2.5Y3/2	○		●	●	青磁・染付(図39)・褐釉・ウシ骨
1640 P		B5-M12	円形	逆台形	27	24	10	2.5Y4/2					
1641 P		B5-M12	楕円形	逆台形	29	24	11	2.5Y3/2					
1642 P		B5-M12	楕円形	逆台形	26	19	9	10YR2/1	○				
1646 P		B5-M11	不整楕円形	U	39	33	25	10YR2/1	○				
1647 P	SB12(新)	B5-M11	円形	逆台形	33	29	14	10YR2/1					
1650 P	SB12(新)	B5-M11	楕円形	逆台形	27	23	10	10YR3/2	○				
1654 P	SB12(旧)	B5-M11	楕円形	すり鉢	66	58	15	2.5Y3/2				●	青磁
1657 P		B5-M11	円形	逆台形	21	18	11	10YR2/1					
1658 P		B5-M11	(不整形)	(不整形)	26	(19)	12	10YR2/1	○				
1659 P	SB12(旧)	B5-M11・12	楕円形	逆台形	63	52	38	2.5Y3/2					
1660 P	SB12(新)	B5-M12	円形	不整形	34	34	33	2.5Y4/2	○				
1661 P		B5-M12	(楕円形)	U	28	(28)	33	2.5Y4/2					
1662 P	SB11	B5-M12	楕円形	逆台形	67	60	26	2.5Y4/2					
1663 P		B5-L・M12	円形	U	28	24	38	2.5Y3/2					
1665 P	SB12(新)	B5-L11	円形	U	27	23	18	2.5Y3/2	○				
1666 P		B5-L・M11	(楕円形)	(不整形)	(42)	34	19	2.5Y3/2	○				
1667 P	SB12(新)	B5-L11	円形	すり鉢	46	40	23	2.5Y3/2	○				
1668 P	SB12(旧)	B5-L11	(楕円形)	(不明)	(30)	27	17	2.5Y3/2	○				
1669 SK	SB12(旧)	B5-L・M11	(不整形)	不整形	121	(40)	78	10YR2/1	○	断面分層	●		青磁
1670 SK		B5-L11	(楕円形)	(不整形)	61	43	36	2.5Y3/2	○		●		青磁
1672 P		B5-L11	円形	逆台形	44	37	18	2.5Y3/2	○				
1673 SK		B5-L11	(楕円形)	すり鉢	86	43	32	2.5Y3/2	○				
1674 P		B5-L11	円形	すり鉢	23	21	11	2.5Y3/2	○				
1676 P		B5-L11	円形	U	22	20	14	10YR2/1					
1677 P		B5-L11	(不整形)	(不明)	40	(23)	22	10YR2/1	○				
1678 P		B5-L11	楕円形	(不整形)	34	29	29	2.5Y3/2					
1680 P		B5-L11	楕円形	U	38	30	24	2.5Y3/2	○				
1681 P		B5-L11	(不整形)	(不明)	35	(21)	24	2.5Y3/2	○				
1682 P		B5-L11	円形	逆台形	32	32	22	2.5Y4/2					
1683 P		B5-L11	(楕円形)	不整形	80	(36)	42	2.5Y3/2	○	断面分層			
1685 P		B5-L11	円形	不整形	24	22	17	10YR2/1					
1686 P		B5-L11	楕円形	不整形	45	29	31	2.5Y3/2	○				
1688 P		B5-L11	円形	不整形	26	23	12	2.5Y3/2					
1689 SK		B5-L11	不整形	長台形	70	59	63	10YR2/1	○	断面分層	●		染付(図14)
1692 P		B5-L11	(楕円形)	すり鉢	(36)	20	10	2.5Y3/2	○				
1693 P		B5-L11	円形	逆台形	22	19	15	10YR2/1	○				
1695 P	SB11	B5-L11	(円形)	(不明)	38	(34)	26	10YR2/1					
1696 P		B5-L11	不整楕円形	不整形	42	24	27	10YR2/1	○	漏斗状			
1697 P		B5-L11	円形	不整形	36	30	27	2.5Y3/2	○	漏斗状			
1698 P		B5-L11	(不整形)	(不明)	35	(30)	11	2.5Y3/2	○	漏斗状			
1699 P		B5-L11	(不整円形)	U	22	19	14	10YR2/1					
1700 P		B5-L11	(不整形)	(不明)	20	(13)	11	10YR2/1					
1701 P		B5-K・L11	楕円形	不整形	39	32	16	2.5Y3/2	○				
1703 P		B5-L11	円形	逆台形	30	26	18	10YR2/1	○				
1704 P		B5-L11	(不整形)	(不明)	(14)	13	6	10YR2/1	○				



第7表-5 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値(cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
1706 P		B5-L11	楕円形	逆台形	33	27	18	2.5Y3/2	○				褐釉
1707 P		B5-L11	(不整形)	(不明)	28	(19)	19	10YR2/1	○				
1708 P		B5-L11	(楕円形)	(不明)	25	(17)	14	2.5Y3/2	○				
1709 P		B5-L11	楕円形	U	30	25	21	10YR2/1	○				
1710 P		B5-L11	楕円形	U	35	22	15	2.5Y3/2					
1712 P		B5-L12	不整形	U	34	31	34	2.5Y3/2					
1714 P	SB11	B5-L12	楕円形	U	39	29	34	2.5Y3/2					
1715 P		B5-L12	(不整形)	(不明)	19	(18)	11	2.5Y4/2	○				
1716 P		B5-L11・12	円形	U	28	26	23	2.5Y4/2	○				
1717 P		B5-L11・12	円形	逆台形	45	43	21	2.5Y3/2	○	根石			
1718 P		B5-L11	(楕円形)	(不明)	(35)	29	12	2.5Y3/2					
1719 P		B5-L12	(不整形楕円形)	(不整形)	(78)	59	59	2.5Y3/2	○				
1722 P		B5-L12	楕円形	すり鉢	29	25	12	2.5Y3/2					
1724 P		B5-L12	円形	U	27	26	34	10YR2/1					
1725 P		B5-L12	(楕円形)	U	51	(26)	34	2.5Y3/2					
1726 P		B5-L12	楕円形	U	30	21	32	2.5Y3/2					ヒト切歯
1727 P		B5-L12	(楕円形)	(不明)	37	(37)	35	2.5Y3/2					
1729 P		B5-L12	不整形楕円形	すり鉢	35	30	14	2.5Y3/2	○		●		青磁
1730 SK		B5-L11・12	(不整形楕円形)	不整形	104	69	50	2.5Y3/2			●		青磁
1732 SK		B5-L12	(不整形)	(U)	(46)	(43)	70	10YR3/2	○				
1733 P	SB11	B5-L12	不整形楕円形	逆台形	40	36	29	10YR2/1					
1735 P		B5-L12	楕円形	すり鉢	59	42	19	2.5Y3/2					
1737 P	SB09	B5-L12	不整形楕円形	すり鉢	59	44	15	10YR2/1	○		●		青磁
1738 P	SB11	B5-L12	楕円形	U	45	38	28	2.5Y3/2					
1739 P	SB11	B5-L12	楕円形	すり鉢	68	51	36	2.5Y3/2	○				褐釉
1741 P	SB09	B5-L12	楕円形	逆台形	46	37	13	2.5Y3/2					
1742 P		B5-L12	楕円形	V	24	19	21	2.5Y3/2					
1743 P		B5-L12	円形	U	23	23	17	2.5Y4/2					
1744 P	SB09	B5-L12	楕円形	長台形	35	30	25	2.5Y3/2					
1745 P		B5-L12	円形	U	15	13	12	2.5Y3/2					
1747 P		B5-L12	円形	U	23	22	18	2.5Y3/2					
1748 P		B5-L12	楕円形	逆台形	30	21	12	2.5Y3/2					
1749 P	SB11	B5-L12	楕円形	U	29	25	19	2.5Y3/2	○				
1750 P		B5-L12	(不整形)	(不明)	25	(14)	13	2.5Y4/2					
1751 P		B5-L12	不整形楕円形	不整形	46	39	34	2.5Y3/2					
1752 P		B5-L12	楕円形	U	30	26	22	2.5Y3/2					
1753 P	SB09	B5-L12	隅丸方形	U	54	41	35	2.5Y3/2					
1755 P	SB11	B5-L12	(不整形)	(不整形)	43	(28)	27	10YR2/1	○				
1756 P		B5-L12	(不整形)	逆台形	15	(15)	11	10YR2/1					
1757 P		B5-L12	楕円形	U	32	26	21	2.5Y3/2					
1758 P		B5-L12	楕円形	長台形	35	29	35	10YR2/1					
1759 P		B5-L12	不整形楕円形	U	26	22	14	2.5Y3/2					
1762 P		B5-L12	楕円形	V	57	48	38	2.5Y3/2	○				
1763 P		B5-L12	楕円形	不整形	50	32	36	2.5Y3/2	○	断面分層			
1765 P	SB09	B5-K・L12	楕円形	U	52	42	29	2.5Y3/2		断面分層			
1766 P		B5-L13	円形	U	25	25	20	2.5Y3/2					
1767 SK	SB10	B5-L13	楕円形	すり鉢	70	47	35	10YR2/1	○		●		青磁
1768 P		B5-L13	円形	すり鉢	53	48	22	10YR2/1	○				褐釉
1769 SK	SB10	B5-L13	楕円形	逆台形	65	55	25	2.5Y3/2					
1770 P		B5-L13	円形	逆台形	40	35	17	2.5Y3/2					
1772 SK	SB10	B5-K・L13	不整形	U	51	44	38	10YR2/1		断面分層			
1774 SK		B5-L13	不整形楕円形	すり鉢	105	61	50	10YR2/1	○	断面分層			
1776 SK	SB10	B5-K・L13	不整形楕円形	不整形	127	64	51	10YR2/1	○	断面分層	●		青磁・褐釉(図4)
1777 P		B5-K13	楕円形	不整形	35	25	16	2.5Y3/2					
1779 P		B5-K13	(円形)	(不明)	27	(26)	9	10YR2/1	○				
1780 P		B5-M15	不整形楕円形	不整形	42	35	21	10YR3/2		漏斗状	●		緑釉(図7)
1781 P		B5-L14	円形	長台形	39	35	36	2.5Y3/2					
1782 P		B5-L14	楕円形	長台形	33	25	19	10YR2/1			●		青磁
1785 P		B5-L14	不整形楕円形	逆台形	48	42	19	10YR2/1	○				
1786 SK		B5-L14	楕円形	不整形	72	48	33	2.5Y3/2	○				白磁
1787 P		B5-L14	(楕円形)	(不明)	(29)	25	12	2.5Y3/2					
1788 P		B5-L14	(不整形)	すり鉢	35	(15)	16	2.5Y3/2					
1789 P		B5-L14	円形	すり鉢	23	21	13	10YR2/1					
1790 P		B5-L14	円形	U	32	30	27	2.5Y3/2					
1791 P		B5-L14	楕円形	逆台形	29	25	12	2.5Y3/2	○				
1792 P		B5-L14	(円形)	皿	41	36	5	2.5Y3/2					
1793 P		B5-L14	不整形楕円形	U	30	21	11	2.5Y3/2					
1794 P		B5-L14	(円形)	(不明)	31	30	21	2.5Y3/2					
1795 P		B5-L14	円形	逆台形	31	31	15	2.5Y3/2					
1796 P		B5-L14	円形	U	22	20	17	2.5Y3/2					
1797 P		B5-L14	円形	U	40	38	24	2.5Y3/2	○				褐釉
1798 P		B5-L14	円形	U	25	24	23	2.5Y3/2					
1799 P		B5-L14	(楕円形)	(不整形)	(35)	35	22	2.5Y3/2					
1800 P		B5-K・L14	楕円形	皿	61	31	22	2.5Y3/2					
1801 P		B5-L14	(円形)	すり鉢	32	29	10	10YR2/1					
1802 P		B5-K・L14	円形	すり鉢	23	21	9	2.5Y3/2					
1803 P		B5-L14	楕円形	すり鉢	31	26	6	2.5Y3/2	○				
1805 P		B5-L14	不整形楕円形	U	59	51	49	10YR2/1	○				
1807 SK		B5-L14	(不整形)	(不明)	(63)	(12)	13	2.5Y3/2	○				
1808 P		B5-L14	円形	V	37	32	35	10YR2/1	○				
1809 P		B5-L14	(不整形)	逆台形	27	(23)	13	2.5Y3/2					
1810 P		B5-L15	楕円形	逆台形	37	28	14	10YR3/2					褐釉
1811 P		B5-L15	円形	U	39	35	18	2.5Y3/2					
1813 P		B5-L15	(不整形)	(不明)	(38)	34	21	2.5Y3/2					
1814 P		B5-L15	楕円形	逆台形	39	29	10	10YR2/1					
1815 P		B5-L15	円形	U	33	32	31	10YR2/1	○				
1816 P		B5-L15	(不整形)	(不明)	36	(27)	29	10YR2/1					
1818 P		B5-L15	楕円形	U	43	39	35	2.5Y4/2	○	断面分層			
1819 P		B5-L15	楕円形	不整形	62	47	32	2.5Y3/2	○				
1820 P		B5-L15	楕円形	すり鉢	52	33	19	10YR2/1	○				
1822 P		B5-L15	円形	U	22	20	14	10YR2/1					
1823 P		B5-L15	円形	すり鉢	29	28	18	10YR2/1	○				
1824 P		B5-L15	楕円形	U	33	30	34	10YR2/1					
1825 P		B5-L15	円形	長台形	37	35	34	10YR2/1					
1826 P		B5-L15	楕円形	(不明)	44	(24)	12	10YR2/1					
1827 P		B5-L15	(不整形)	皿	18	(14)	3	10YR2/1					
1829 P		B5-L15	(不整形)	(不明)	46	(29)	43	10YR2/1	○				
1831 P		B5-L15	(不整形)	(不整形)	(38)	32	41	10YR2/1	○				
1832 P		B5-L15	(不整形楕円形)	(不明)	39	33	23	10YR2/1					
1833 P		B5-L15	(不整形)	(不明)	25	(23)	13	10YR2/1					

第7表-6 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値 (cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
1834 P		B5-L15	(不整形)	(不明)	33	(20)	16	10YR2/1	○				
1835 P		B5-L15	楕円形	U	36	36	39	10YR2/1					
1837 SK		B5-L15	(不整形)	(U)	61	(44)	37	10YR2/1	○				ウシorウマ骨片
1838 P		B5-K-L15	円形	U	22	20	25	10YR2/1	○				
1841 P		B5-K15	(不整形)	(不整形)	37	(18)	25	10YR2/1	○				
1842 P		B5-K15	楕円形	U	33	26	23	10YR2/1					
1844 P		B5-K15	円形	U	15	13	21	10YR2/1					
1845 P		B5-K15	不整形楕円形	U	33	28	22	10YR2/1	○				
1846 P		B5-K15	隅丸方形	U	32	30	28	10YR2/1	○				
1847 P		B5-K15	(不整形)	(不明)	(10)	(7)	10	10YR2/1	○				
1851 SK		B5-K15	円形	不整形	51	50	25	2.5Y3/2					
1854 SK		B5-K15	不整形楕円形	逆台形	51	44	15	10YR2/1	○				
1855 P		B5-K15	円形	逆台形	22	19	9	10YR2/1					
1856 P		B5-K14・15	隅丸三角形	U	38	36	19	10YR2/1	○				
1857 SK		B5-K14・15	(不整形)	不整形	79	67	37	10YR2/1	○				
1858 P		B5-K14・15	不整形円形	V	26	24	24	10YR2/1					
1859 P		B5-K14	円形	V	32	28	37	2.5Y3/2					
1860 P		B5-K15	円形	逆台形	30	30	21	2.5Y3/2	○				
1861 P		B5-K15	楕円形	不整形	52	43	33	10YR2/1	○				
1862 P		B5-K15	不整形楕円形	U	44	43	21	2.5Y3/2	○				
1863 P		B5-K15	楕円形	逆台形	23	20	12	10YR2/1	○				
1864 SK		B5-K15	楕円形	U	77	57	47	10YR2/1	○				
1865 P		B5-K15	(不整形)	(不明)	31	(23)	14	10YR2/1	○				
1866 P		B5-K15	(不整形)	U	42	(20)	42	10YR2/1					
1867 SK		B5-K15	円形	すり鉢	64	57	26	2.5Y3/2	○				
1868 P		B5-K15	不整形円形	V	21	21	22	10YR2/1	○				
1869 P		B5-K15	楕円形	U	35	31	35	10YR2/1	○				
1870 SK		B5-J-K15	楕円形	逆台形	52	42	27	2.5Y3/2	○				
1872 P		B5-K14・15	楕円形	不整形	38	32	27	10YR2/1					
1873 P		B5-J14・15	隅丸方形	U	42	40	46	2.5Y3/2	○				
1874 P		B5-K14・15	不整形楕円形	U	45	34	21	2.5Y3/2					
1876 P		B5-K14・15	(不整形楕円形)	(U)	52	44	33	2.5Y3/2	○				
1877 SK		B5-K14・15	(不整形)	(不明)	71	(9)	12	2.5Y3/2	○				
1878 P		B5-J-K15	(不整形)	U	45	(43)	47	2.5Y3/2	○				
1879 P		B5-K-L14	不整形楕円形	U	38	31	30	2.5Y3/2	○				
1880 P		B5-K14	不整形楕円形	U	45	35	32	2.5Y3/2	○				
1881 P		B5-K14	円形	U	28	27	17	2.5Y3/2	○				
1882 P		B5-K14	(楕円形)	(U)	39	(26)	20	10YR2/1	○				
1883 P		B5-K14	(円形)	(不整形)	45	(40)	28	2.5Y3/2	○				
1884 SK		B5-K14	(不整形)	すり鉢	(51)	41	12	2.5Y3/2	○				
1885 P		B5-K14	(楕円形)	(不整形)	(45)	44	28	2.5Y7/2	○				
1886 P		B5-K14	(不整形)	不整形	44	(30)	30	2.5Y3/2	○				
1887 SK		B5-K14	(不整形)	不整形	(42)	41	28	2.5Y3/2	○				
1889 P		B5-K14	(楕円形)	V	33	(23)	17	2.5Y3/2					
1890 P		B5-K14	円形	すり鉢	23	20	9	2.5Y3/2					
1891 P		B5-K14	(楕円形)	逆台形	27	25	11	2.5Y3/2	○				
1893 P		B5-K14	不整形楕円形	逆台形	34	26	9	2.5Y3/2	○				
1894 P		B5-K14	楕円形	すり鉢	30	27	11	10YR2/1					
1895 P		B5-K14	円形	すり鉢	26	23	9	10YR2/1					
1897 P		B5-K14	楕円形	長台形	36	29	19	2.5Y3/2					
1899 P		B5-K14	(楕円形)	不整形	36	(29)	17	2.5Y3/2	○				
1900 P		B5-K14	(不整形)	(不明)	37	(14)	29	2.5Y3/2					
1901 P		B5-K14	(楕円形)	逆台形	20	(19)	8	2.5Y3/2					
1902 P		B5-K14	(楕円形)	U	23	17	8	10YR2/1					
1903 P		B5-K14	(楕円形)	U	32	26	10	2.5Y3/2					
1904 P		B5-K14	楕円形	皿	47	26	11	2.5Y3/2					
1905 P		B5-K14	楕円形	逆台形	47	40	9	2.5Y3/2	○				
1906 P		B5-K14	楕円形	逆台形	43	32	10	10YR2/1	○				
1907 P		B5-K14	(不整形)	(不整形)	39	(29)	23	2.5Y3/2	○				
1908 P		B5-K14	(楕円形)	(逆台形)	44	(40)	16	2.5Y3/2					
1910 P		B5-K14	円形	U	18	16	11	10YR2/1	○				
1911 P		B5-K14	楕円形	U	32	26	27	2.5Y3/2					
1912 P		B5-K14	(不整形楕円形)	(不明)	48	(29)	42	2.5Y3/2	○				
1913 P		B5-K14	円形	逆台形	31	28	9	2.5Y3/2	○				
1914 P		B5-K14	隅丸方形	すり鉢	27	25	9	2.5Y3/2	○				
1915 P		B5-K14	楕円形	不整形	32	28	12	10YR2/1					
1916 P		B5-K14	円形	逆台形	17	16	10	2.5Y3/2					
1917 P		B5-K14	楕円形	逆台形	38	35	15	2.5Y3/2					
1918 P		B5-K14	楕円形	すり鉢	42	34	24	2.5Y3/2	○				
1919 SK		B5-K14	不整形	すり鉢	45	36	22	10YR2/1	○				
1920 P		B5-K14	(不整形)	(不整形)	21	(18)	29	10YR2/1					
1922 P		B5-K14	不整形楕円形	不整形	58	46	34	10YR2/1	○				
1923 P		B5-K13	不整形楕円形	逆台形	36	32	8	2.5Y3/2					
1924 P		B5-K13	楕円形	逆台形	18	14	8	2.5Y3/2	○				
1925 P		B5-K13	円形	すり鉢	31	28	8	2.5Y3/2	○				
1926 P		B5-K13	円形	U	24	20	17	2.5Y3/2					
1927 P		B5-K13	楕円形	U	33	21	19	10YR2/1					
1928 P		B5-K13	不整形	不整形	38	26	29	2.5Y3/2					
1929 P		B5-K13	楕円形	U	24	22	12	2.5Y3/2					
1930 P		B5-K13	(不整形)	(不明)	40	(23)	14	2.5Y3/2					
1932 P		B5-K13	楕円形	すり鉢	19	15	10	10YR2/1					
1933 P		B5-K13	楕円形	すり鉢	16	13	7	2.5Y3/2					
1936 P		B5-K12・13	円形	U	20	18	14	2.5Y3/2					
1937 P		B5-K13	楕円形	すり鉢	20	16	13	2.5Y3/2					
1938 P		B5-K12・13	楕円形	すり鉢	24	24	11	2.5Y3/2					
1939 P		B5-K12・13	円形	2段状	32	30	40	2.5Y3/2					
1940 SK		B5-K13	隅丸三角形	逆台形	56	40	40	2.5Y3/2					
1941 P		B5-K13	(円形)	逆台形	35	30	23	2.5Y3/2					
1942 P		B5-K13	(楕円形)	(不整形)	37	(37)	30	2.5Y3/2					
1943 P		B5-K13	不整形	U	41	36	24	2.5Y3/2					
1945 P		B5-K13	(円形)	(不整形)	23	(18)	12	2.5Y3/2	○				
1946 P		B5-K13	不整形楕円形	すり鉢	31	26	12	2.5Y3/2	○				
1947 SK		B5-K13	(円形)	(不整形)	55	(37)	26	2.5Y3/2					
1948 P		B5-K13	楕円形	U	41	33	15	2.5Y3/2	○				
1949 P		B5-K13	(円形)	(不整形)	33	(27)	16	2.5Y3/2					
1950 P		B5-K13	円形	不整形	32	29	22	2.5Y3/2					
1951 P		B5-K13	円形	U	20	18	14	2.5Y3/2					
1953 P		B5-K13	楕円形	すり鉢	18	12	8	2.5Y3/2					
1954 P		B5-K13	楕円形	不整形	52	49	59	2.5Y3/2	○				
1958 P		B5-K13	楕円形	不整形	50	39	45	10YR2/1					

第7表-7 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値(cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
1959 P		B5-K13	不整形	不整形	31	31	15	2.5Y3/2					
1960 SK		B5-K13	偶丸三角形	不整形	53	53	38	10YR2/1			●		青磁
1961 SK		B5-K-L13	(不整形)	(不明)	45	(30)	11	10YR2/1	○				
1962 P		B5-J15	(不整形)	長台形	48	43	33	2.5Y3/2	○				
1963 P		B5-J15	不整形	U	37	35	20	2.5Y3/2					
1964 P		B5-J15	(不整形)	(不明)	47	10	12	2.5Y3/2					
1965 P		B5-J15	不整形	長台形	32	30	30	2.5Y3/2	○				
1966 SK		B5-J15	楕円形	(不明)	40	33	32	2.5Y3/2	○	漏斗状			
1967 P		B5-J15	(不整形)	すり鉢	56	33	14	2.5Y3/2	○				
1968 P		B5-J15	不整形	逆台形	37	28	14	2.5Y3/2					
1969 SK		B5-J15	(不整形)	(不整形)	72	(49)	23	2.5Y3/2	○		●		褐釉
1970 P		B5-J14	不整形	U	36	27	45	2.5Y3/2	○				
1971 P		B5-J14・15	(不整形)	(不明)	(24)	(18)	24	2.5Y3/2	○				
1972 P		B5-J14・15	(不整形)	逆台形	(34)	(26)	20	2.5Y3/2					
1974 P		B5-J15	(不整形)	(不明)	37	36	9	2.5Y3/2					
1977 P		B5-J15	円形	U	24	22	16	2.5Y3/2					
1978 P		B5-J14	楕円形	逆台形	36	31	16	10YR2/1					
1979 P		B5-J14	(不整形)	(不明)	28	(22)	13	2.5Y3/2					
1982 P		B5-J14	偶丸方形	U	33	30	33	10YR2/1	○				
1983 P		B5-J14	(円形)	(不明)	36	(30)	27	2.5Y3/2					
1984 P		B5-J14	不整形	U	45	44	28	2.5Y3/2					
1985 P		B5-J14	(不整形)	(逆台形)	22	20	12	2.5Y3/2					
1987 P		B5-J14	(不整形)	(不明)	37	(21)	13	2.5Y3/2	○				染付・褐釉
1988 SK		B5-J14	(不整形)	(U)	81	57	36	2.5Y3/2	○		●		染付・褐釉
1989 P		B5-J14	円形	不整形	49	44	28	10YR2/1					
1990 P		B5-J14	円形	U	15	14	8	2.5Y3/2					
1991 P		B5-J14	楕円形	逆台形	26	19	15	2.5Y3/2					
1992 P		B5-J15	楕円形	すり鉢	21	16	6	2.5Y3/2					
1993 P		B5-J15	不整形	長台形	24	22	25	2.5Y3/2					
1996 P		B5-J15	不整形	U	25	22	26	10YR2/1	○				
1997 SK		B5-J15	偶丸方形	逆台形	78	69	26	10YR2/1	○		●		青磁
1998 P		B5-J15	(楕円形)	(不明)	32	28	17	10YR3/2					
1999 P		B5-J15	(不整形)	逆台形	29	(16)	8	10YR2/1	○				
2002 P		B5-J15	(楕円形)	U	(29)	21	15	10YR2/1	○				
2004 P		B5-I・J15	(不整形)	不整形	28	14	16	10YR2/1					
2005 P		B5-I・J15	(不整形)	U	30	25	22	10YR2/1	○				
2006 P		B5-J15	不整形	U	37	23	26	2.5Y3/2	○				
2007 P		B5-J15	(不整形)	(不明)	25	(16)	26	2.5Y3/2	○				
2008 P		B5-J15	円形	逆台形	23	23	16	2.5Y3/2					
2010 P		B5-J15	不整形	長台形	33	29	31	10YR2/1	○				
2011 P		B5-J15	(不整形)	(不明)	28	(17)	19	10YR2/1	○				
2012 P		B5-J15	不整形	U	36	35	44	10YR2/1	○		●		白磁(図22)
2013 SK		B5-J15	(楕円形)	(不明)	(42)	36	23	2.5Y3/2	○				
2014 P		B5-J15	(不整形)	U	30	(24)	27	2.5Y3/2	○				
2015 P		B5-J15	(円形)	長台形	17	(17)	17	2.5Y3/2	○				
2016 P		B5-J15	(不整形)	(不整形)	38	(38)	30	2.5Y3/2	○				
2017 P		B5-J14・15	楕円形	長台形	32	29	28	10YR2/1	○	断面分層			
2018 P		B5-J14	円形	U	19	18	12	2.5Y3/2					
2019 SK		B5-J14	楕円形	不整形	81	43	45	10YR2/1	○	漏斗状	●		白磁・青磁・褐釉
2022 P		B5-J14	不整形	すり鉢	32	24	12	2.5Y3/2	○				
2023 P		B5-J14	楕円形	U	21	18	18	2.5Y3/2	○				
2024 P		B5-J14	円形	U	21	19	19	2.5Y3/2	○				
2026 P		B5-J14	円形	U	36	35	21	2.5Y3/2	○				
2027 P		B5-J14	(不整形)	(不明)	31	(24)	26	10YR2/1					
2029 P		B5-J14	円形	U	28	26	15	2.5Y3/2	○				
2030 P		B5-J14	楕円形	すり鉢	45	34	15	2.5Y3/2	○				
2031 P		B5-J14	(円形)	U	29	(27)	19	2.5Y3/2	○				
2032 P		B5-J14	円形	逆台形	24	(22)	9	2.5Y3/2					
2033 P		B5-J14	楕円形	すり鉢	40	31	19	10YR2/1	○				
2034 P		B5-J14	楕円形	すり鉢	37	29	8	10YR2/1	○				
2035 P		B5-J14	(不整形)	U	(30)	(21)	23	10YR2/1	○		●		青磁(図16)
2036 P		B5-J14	楕円形	不整形	55	31	30	2.5Y3/2					
2037 P		B5-J14	(楕円形)	(不明)	(39)	29	16	2.5Y3/2					
2038 P		B5-J14	楕円形	U	31	30	40	2.5Y3/2	○		●		青磁
2039 P		B5-J14	(不整形)	(不明)	39	(15)	40	2.5Y3/2					
2041 P		B5-J14	円形	すり鉢	18	17	7	2.5Y3/2					
2042 P		B5-J14	(円形)	U	40	(34)	62	2.5Y3/2	○				褐釉
2044 P		B5-J14	円形	皿	34	30	13	2.5Y3/2					
2045 P		B5-J14	(円形)	(すり鉢)	20	(14)	9	2.5Y3/2					
2046 P		B5-J14	円形	すり鉢	28	27	13	2.5Y3/2	○				
2047 P		B5-J14	(楕円形)	U	50	41	34	2.5Y3/2	○		●		青磁・褐釉
2048 P		B5-J14	(楕円形)	不整形	30	(25)	9	2.5Y3/2	○	漏斗状			
2049 P		B5-J14	(不整形)	(不明)	(27)	(17)	16	2.5Y4/2					
2050 P		B5-J14	(円形)	すり鉢	22	(20)	13	2.5Y3/2	○				
2053 P		B5-J14	円形	U	27	23	13	2.5Y3/2					
2054 P		B5-J-K14	円形	U	39	36	31	2.5Y3/2	○				
2056 P		B5-J14	楕円形	逆台形	56	43	25	2.5Y3/2					
2058 P		B5-J14	円形	逆台形	30	25	15	2.5Y3/2					
2059 P		B5-J14	楕円形	逆台形	39	27	11	2.5Y3/2					
2060 P		B5-J-K14	(楕円形)	(不明)	(19)	18	11	2.5Y3/2					
2061 P		B5-J14	円形	逆台形	38	36	15	2.5Y3/2					
2062 P		B5-J14	楕円形	逆台形	37	30	21	2.5Y3/2					
2063 P		B5-J14	(楕円形)	(不整形)	52	(25)	26	2.5Y3/2					
2066 P		B5-J14	楕円形	長台形	46	29	28	2.5Y3/2	○				
2068 SK		B5-J14	(不整形)	(不明)	65	47	24	2.5Y3/2					
2070 P		B5-J14	円形	すり鉢	26	24	11	10YR2/1	○				
2071 P		B5-J14	(円形)	(すり鉢)	52	48	29	2.5Y3/2					
2072 P		B5-J14	楕円形	すり鉢	42	32	16	2.5Y3/2	○				
2073 P		B5-J14	(不整形)	(不明)	(35)	(32)	14	2.5Y3/2					
2074 P		B5-J14	(不整形)	(不明)	38	(15)	21	2.5Y3/2	○				
2075 P		B5-J14	(楕円形)	すり鉢	(42)	39	19	2.5Y3/2	○				
2076 P		B5-J14	楕円形	すり鉢	69	47	25	2.5Y3/2					
2077 P		B5-J14	(円形)	(不明)	25	(22)	9	2.5Y3/2					
2079 P		B5-J14	(不整形)	(不明)	17	(13)	16	2.5Y3/2					
2080 P		B5-J14	(不整形)	U	34	(28)	21	2.5Y3/2					
2081 P		B5-J13	楕円形	皿	42	40	8	2.5Y3/2					
2082 SK		B5-I・J14	不整形	不整形	109	59	34	2.5Y3/2	○		●		褐釉(図18)
2083 P		B5-J14	(不整形)	不整形	(30)	25	14	2.5Y3/2	○				
2084 P		B5-J14	(不整形)	(不明)	(40)	(19)	12	2.5Y3/2	○				
2085 P		B5-I・J14	円形	U	27	26	26	2.5Y3/2	○				



第7表-8 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値(cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
2086 SK		B5-J14	不整形	不整形	76	49	34	2.5Y3/2	○		●		白磁(図7)・青磁・褐釉
2087 P		B5-J14	(不整形)	不整形	43	(29)	16	2.5Y3/2	○				
2088 SK		B5-H14	楕円形	U	56	52	50	2.5Y3/2	○				
2089 P		B5-H14	(不整形)	(不明)	21	(16)	12	2.5Y3/2	○				
2090 P		B5-H14	(楕円形)	U	(31)	29	38	2.5Y3/2	○				
2092 P		B5-H14	円形	U	38	37	17	2.5Y3/2	○	断面分層			
2093 P		B5-H14	(不整形)	(U)	43	37	42	2.5Y3/2	○				
2094 P		B5-H14	(不整形)	不整形	42	(42)	26	2.5Y4/2	○	断面分層			
2095 P		B5-H14	(円形)	U	34	33	35	2.5Y3/2	○				
2096 P		B5-H14	(不整形)	長台形	(45)	39	31	2.5Y3/2	○		●		染付(図27)
2098 P		B5-H14	円形	V	26	24	28	2.5Y3/2	○				
2099 P		B5-H14	円形	U	19	17	9	2.5Y3/2	○				
2100 P		B5-H14	円形	U	22	20	17	2.5Y3/2	○				
2102 P		B5-H14	円形	U	23	23	19	2.5Y3/2	○				
2104 P		B5-H14	楕円形	すり鉢	37	30	21	2.5Y3/2	○				
2105 P		B5-H14	楕円形	U	23	21	17	2.5Y3/2	○				
2106 P		B5-H14	楕円形	U	37	27	30	2.5Y3/2	○				
2107 P		B5-H14	楕円形	U	38	28	26	2.5Y3/2	○		●		褐釉(図18)
2108 P		B5-H14	楕円形	不整形	35	25	23	2.5Y3/2	○				
2109 P		B5-H14	(円形)	すり鉢	21	(20)	10	2.5Y3/2	○				
2110 P		B5-H14	円形	不整形	21	21	15	2.5Y3/2	○				
2111 P		B5-H14	不整形	U	34	34	40	2.5Y3/2	○				
2112 P		B5-H14	円形	U	29	26	37	2.5Y3/2	○				
2113 P		B5-H14	楕円形	すり鉢	52	34	12	2.5Y3/2	○				
2114 P		B5-H14	(楕円形)	不整形	44	37	17	2.5Y3/2	○				
2115 P		B5-H14	(不整形)	(不明)	(47)	30	12	2.5Y3/2	○				
2116 P		B5-H14	(不整形)	U	45	(39)	25	2.5Y3/2	○				
2117 P		B5-H14	楕円形	V	40	33	25	2.5Y3/2	○				
2118 P		B5-H14	(不整形)	(不明)	39	(25)	27	2.5Y3/2	○				
2119 P		B5-H14	(不整形)	(V)	38	(30)	31	2.5Y3/2	○				
2120 SK		B5-H14	楕円形	不整形	70	38	60	2.5Y3/2	○	漏斗状	●		青磁
2121 P		B5-H14	(不整形)	逆台形	18	(11)	11	2.5Y3/2	○				
2122 P		B5-H14	(不整形)	逆台形	(15)	(15)	12	2.5Y3/2	○				褐釉
2123 P		B5-H14	(楕円形)	逆台形	44	40	29	10YR2/1	○				
2124 P		B5-H14	楕円形	U	28	23	17	2.5Y3/2	○				
2125 P		B5-H14	円形	V	21	20	24	10YR2/1	○				
2126 P		B5-H14	楕円形	V	21	17	17	2.5Y3/2	○				
2127 P		B5-H14	楕円形	不整形	35	23	28	2.5Y3/2	○				
2129 P		B5-H14	楕円形	逆台形	21	17	11	2.5Y3/2	○				
2131 P		B5-H14	楕円形	不整形	32	22	10	2.5Y3/2	○				
2132 P		B5-H14	楕円形	U	32	24	24	2.5Y4/2	○				
2133 P		B5-H14	楕円形	逆台形	30	25	16	2.5Y3/2	○				
2134 P		B5-H14	楕円形	U	29	25	21	2.5Y3/2	○				
2135 P		B5-H15	円形	逆台形	21	20	10	2.5Y3/2	○				
2136 P		B5-H15	楕円形	すり鉢	30	27	20	10YR2/1	○		●		青磁
2137 P		B5-H15	(楕円形)	(不明)	18	16	14	10YR2/1	○				
2138 P		B5-H15	楕円形	不整形	56	44	42	10YR2/1	○		●		染付
2139 SK		B5-H14・15	(不整形)	(不明)	92	(60)	31	10YR2/1	○	漏斗状	●	●	青磁・染付
2140 P		B5-H14	(不整形楕円形)	(不明)	53	35	16	2.5Y3/2	○				褐釉
2143 SK		B5-H15	(不整形楕円形)	不整形	67	52	28	2.5Y3/2	○		●	●	染付
2144 P		B5-H15	(楕円形)	V	32	(20)	31	10YR2/1	○				
2145 P		B5-H15	(不整形楕円形)	U	32	25	27	2.5Y3/2	○				
2146 P		B5-H14・15	(楕円形)	(不明)	(25)	19	19	2.5Y3/2	○				
2149 P		B5-H14	円形	皿	23	21	7	2.5Y3/2	○				
2150 P		B5-H14	不整形	長台形	35	32	35	2.5Y3/2	○				
2151 P		B5-H14	円形	U	27	24	17	2.5Y3/2	○				
2152 P		B5-H14	楕円形	V	31	27	17	10YR2/1	○				
2153 P		B5-H14	楕円形	V	20	17	12	10YR2/1	○				
2154 P		B5-H14	楕円形	逆台形	25	21	8	2.5Y3/2	○				
2155 P		B5-H14	楕円形	不整形	60	45	24	2.5Y3/2	○				
2156 P		B5-H14	円形	逆台形	22	20	8	2.5Y3/2	○				
2158 P		B5-H14	楕円形	長台形	48	39	32	2.5Y3/2	○				
2159 P		B5-H14	円形	すり鉢	21	19	7	2.5Y3/2	○				
2160 P		B5-H14	円形	すり鉢	21	21	9	10YR2/1	○				
2162 P		B5-H14	楕円形	逆台形	25	21	9	2.5Y3/2	○				
2163 P		B5-H14	円形	逆台形	28	25	5	2.5Y3/2	○				
2164 P		B5-H14	(楕円形)	V	47	30	31	2.5Y3/2	○				
2165 P		B5-H14	(不整形)	(不明)	(30)	29	14	2.5Y3/2	○				
2166 P		B5-H14	楕円形	U	28	22	16	2.5Y3/2	○				
2167 P		B5-H14	楕円形	すり鉢	34	23	16	2.5Y3/2	○				褐釉
2169 P		B5-H14	楕円形	不整形	53	32	13	2.5Y3/2	○				
2170 P		B5-H14	(隅丸方形)	(不明)	(19)	18	9	2.5Y3/2	○				
2171 P		B5-H14・15	(不整形)	(不明)	18	(18)	5	2.5Y3/2	○				
2172 P		B5-H14	円形	逆台形	24	24	12	2.5Y3/2	○				
2173 SK		B5-H15	隅丸方形	逆台形	38	38	9	2.5Y3/2	○				
2174 P		B5-H15	楕円形	不整形	44	33	25	2.5Y3/2	○				
2175 P		B5-H14	円形	逆台形	24	23	13	2.5Y3/2	○				
2176 P		B5-H14	円形	逆台形	25	22	4	2.5Y3/2	○				
2177 P		B5-H14	不整形	すり鉢	25	22	8	2.5Y3/2	○				
2178 P		B5-H14	円形	逆台形	24	23	2	2.5Y3/2	○				
2179 P		B5-H14	楕円形	すり鉢	36	26	16	2.5Y3/2	○				
2180 P		B5-H14	円形	U	36	32	27	2.5Y3/2	○				
2181 P		B5-H14	(楕円形)	(不明)	37	23	24	2.5Y3/2	○				
2182 P		B5-H14	(楕円形)	(不明)	(43)	38	12	2.5Y3/2	○				
2183 P		B5-H14	楕円形	U	46	38	35	2.5Y3/2	○				
2184 P		B5-H15	楕円形	逆台形	52	30	15	10YR2/1	○				
2187 P		B5-H15	不整形	逆台形	48	36	21	2.5Y3/2	○				
2189 P		B5-H15	円形	U	16	14	14	2.5Y3/2	○				
2192 P		B5-H14	楕円形	U	33	22	22	10YR2/1	○				
2194 P		B5-H14	円形	U	23	22	15	2.5Y3/2	○				
2195 P		B5-H14	(楕円形)	(不明)	(19)	18	15	2.5Y3/2	○				
2196 SK		B5-H14	楕円形	不整形	64	53	60	2.5Y3/2	○				
2199 P		B5-H14	不整形	U	45	43	47	2.5Y3/2	○		●		青磁
2200 SK		B5-H14	(楕円形)	(不明)	(59)	57	35	2.5Y3/2	○				
2201 P		B5-H14	円形	U	26	25	24	2.5Y3/2	○				
2202 P		B5-H14	円形	U	35	34	28	2.5Y3/2	○				青磁
2203 P		B5-H14	楕円形	U	24	20	13	2.5Y3/2	○				
2204 P		B5-H14	(楕円形)	(U)	50	41	29	2.5Y3/2	○				
2205 P		B5-H14	楕円形	逆台形	24	21	12	2.5Y3/2	○		●		青磁(図1)
2206 P		B5-H14	楕円形	U	41	35	27	2.5Y3/2	○				

第7表-9 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値 (cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
2207 P		B5-I14	楕円形	逆台形	26	21	15	2.5Y3/2	○				
2208 P		B5-I14	楕円形	U	36	30	36	2.5Y3/2	○				
2209 P		B5-I14	(不整形)	(不明)	30	(20)	23	2.5Y3/2	○				
2210 SK	2210SK	B5-H・I13・14	(不整形楕円形)	すり鉢	(125)	75	10	2.5Y3/2	○				青磁・ウシorウマ骨複数
2211 SK		B5-K12	(不整形)	不整形	67	58	25	2.5Y3/2			●		青磁
2212 P		B5-K12	不整形	不整形	26	25	14	2.5Y3/2					
2213 P		B5-J・K12	(不整形)	不整形	(49)	43	25	2.5Y3/2			漏斗状		
2215 P		B5-K12	楕円形	長台形	35	30	29	10YR2/1			●		染付(図13)
2216 P		B5-K12	楕円形	U	44	36	33	2.5Y3/2					
2219 P		B5-K12	円形	U	39	37	47	2.5Y3/2					
2221 SK		B5-K12	(不整形)	(不整形)	67	(41)	41	10YR2/1			断面分層		
2222 SK		B5-K12	(不整形)	不整形	92	74	70	2.5Y3/2	○		断面分層	●	青磁・染付・褐釉
2223 P		B5-K12	楕円形	U	59	36	32	2.5Y3/2					
2225 P		B5-K12	楕円形	長台形	31	23	23	2.5Y3/2					
2226 P		B5-K12	不整形	逆台形	42	38	26	10YR2/1					
2227 P		B5-K12	(不整形)	(不整形)	36	(31)	37	2.5Y3/2	○				
2228 P		B5-K12	楕円形	U	23	22	20	2.5Y3/2					
2229 P		B5-K12	(円形)	逆台形	40	(34)	8	2.5Y3/2					
2230 SK		B5-K12	不整形	2段状	66	58	46	2.5Y3/2			断面分層		
2231 P		B5-K12	楕円形	U	48	34	26	10YR2/1					
2232 P		B5-K12	(楕円形)	(不明)	58	31	32	2.5Y3/2					
2233 P		B5-K12	不整形	U	37	37	29	10YR2/1			断面分層		
2234 P		B5-K12	(不整形)	(不明)	34	(29)	35	2.5Y3/2	○				
2235 P		B5-K12	円形	すり鉢	19	18	11	2.5Y3/2					
2236 P		B5-K12	不整形楕円形	不整形	50	34	25	2.5Y3/2					
2237 P	SB09	B5-K・L12	(不整形)	逆台形	(47)	36	24	10YR2/1					
2238 P		B5-K12	楕円形	U	19	13	15	10YR2/1					
2239 P		B5-K12	楕円形	不整形	35	29	29	2.5Y3/2			漏斗状		
2240 P		B5-K12	(楕円形)	(不整形)	40	(28)	34	2.5Y3/2	○				
2241 P		B5-K12	隅丸方形	すり鉢	51	47	20	10YR2/1					
2242 P		B5-K12	(不整形)	(不明)	33	(25)	24	2.5Y3/2			漏斗状		
2243 P		B5-K12	(楕円形)	(不明)	41	30	22	2.5Y3/2					
2244 P		B5-K12	円形	U	13	11	11	2.5Y3/2					
2245 P		B5-K12	円形	逆台形	21	18	9	10YR2/1					
2246 P		B5-K12	楕円形	すり鉢	22	19	13	2.5Y3/2					
2247 P		B5-K12	(不整形)	不整形	36	(33)	21	10YR2/1					
2248 P		B5-K12	楕円形	U	33	28	18	2.5Y3/2					
2249 P		B5-K12	楕円形	不整形	56	38	37	10YR2/1	○				
2252 P		B5-K12	円形	長台形	20	19	24	2.5Y3/2	○				
2253 P		B5-K12	楕円形	長台形	37	30	27	2.5Y3/2	○				褐釉
2254 P		B5-K12	楕円形	U	51	42	43	2.5Y3/2			根石	●	青磁(図46)・褐釉
2255 P		B5-K12	(不整形)	(不明)	18	11	30	2.5Y3/2					
2256 P		B5-K12	(不整形)	U	24	11	28	2.5Y3/2					
2257 SK		B5-K12	(隅丸方形)	(不明)	51	50	25	2.5Y3/2			●		青磁
2258 SK		B5-K12	隅丸方形	(不整形)	40	34	24	10YR2/1	○				
2259 SK		B5-K12	(不整形)	(不明)	69	(19)	22	2.5Y3/2					
2260 P		B5-K12	楕円形	逆台形	34	28	13	2.5Y3/2	○				
2261 P		B5-K12	円形	逆台形	19	19	6	2.5Y3/2					
2263 P		B5-K12	不整形楕円形	不整形	56	31	33	2.5Y3/2					
2264 P		B5-K12	円形	U	22	18	17	10YR2/1					
2266 SK		B5-K12	楕円形	U	59	49	31	2.5Y3/2	○		●		青磁
2267 SK		B5-K12	(不整形)	(2段状)	81	59	28	2.5Y3/2	○		漏斗状		褐釉
2268 P		B5-K12	(不整形)	(不明)	25	(21)	11	2.5Y3/2	○				
2269 P		B5-K12	(不整形)	(不明)	32	(28)	16	2.5Y3/2					
2270 P		B5-K12	円形	U	26	25	13	10YR2/1					
2271 P	SB14	B5-K12	(楕円形)	逆台形	(44)	38	28	2.5Y3/2					
2273 P		B5-J・K12	隅丸方形	U	36	35	35	2.5Y3/2	○		●		青磁
2274 P		B5-J・K12	楕円形	U	35	29	48	2.5Y3/2	○				
2275 P		B5-K12	楕円形	すり鉢	31	29	14	2.5Y4/2					
2276 P		B5-K12	楕円形	逆台形	30	25	11	2.5Y3/2					
2277 P	SB14	B5-K12	楕円形	U	41	26	30	2.5Y3/2					
2279 P		B5-K12	(不整形)	長台形	(26)	17	18	2.5Y3/2	○		●		青磁
2280 P		B5-K12	楕円形	U	28	24	20	2.5Y3/2	○				
2281 P		B5-K12	(不整形)	(不明)	15	(12)	12	10YR2/1					
2282 P		B5-K12	円形	逆台形	53	52	31	2.5Y3/2					
2283 P		B5-K12	(不整形)	(不明)	44	(30)	48	2.5Y3/2	○				
2284 P		B5-K11・12	楕円形	すり鉢	39	36	7	2.5Y3/2	○				褐釉
2285 P		B5-K11	円形	不整形	38	36	22	2.5Y3/2	○				
2287 P		B5-K12	円形	すり鉢	23	22	13	2.5Y3/2					
2288 P		B5-K12	円形	(不明)	22	19	6	10YR2/1					
2289 P		B5-K12	楕円形	U	51	29	29	10YR2/1	○				
2290 P		B5-K12	(不整形)	(不明)	23	(21)	10	2.5Y3/2					
2291 P		B5-K12	楕円形	皿	35	21	6	2.5Y3/2	○				
2292 P		B5-K12	円形	U	26	25	28	10YR2/1			●		褐釉(図13)
2293 P		B5-K12	(楕円形)	(不明)	33	(28)	34	2.5Y3/2					
2294 P		B5-K12	楕円形	U	24	20	19	2.5Y3/2					
2295 P		B5-K11・12	円形	U	31	30	32	2.5Y3/2	○				
2296 P		B5-K11	円形	U	27	24	35	2.5Y3/2	○				
2297 P		B5-K11・12	(不整形)	(不明)	33	(27)	23	2.5Y3/2	○				
2298 P		B5-K11	楕円形	不整形	37	27	19	2.5Y3/2	○		漏斗状		
2300 P		B5-K11	(不整形)	(不明)	(37)	35	23	2.5Y3/2	○				
2301 P		B5-K11	(不整形)	逆台形	37	(22)	20	2.5Y3/2					
2302 P		B5-K11	楕円形	すり鉢	26	23	8	2.5Y3/2					
2303 P		B5-K11	楕円形	長台形	41	25	20	2.5Y3/2	○				
2304 SK		B5-K11	(隅丸三角形)	不整形	57	43	27	2.5Y3/2	○				
2306 SK		B5-K11	(不整形)	(不明)	(58)	52	17	2.5Y3/2	○				
2307 P		B5-K11	楕円形	不整形	40	33	31	2.5Y3/2	○		漏斗状		
2308 P		B5-K11	楕円形	U	22	17	18	2.5Y4/2					
2309 P		B5-K11	楕円形	長台形	29	22	27	10YR2/1					
2310 P		B5-K11・12	(楕円形)	(不明)	30	(21)	19	2.5Y3/2	○				
2311 P		B5-K11	不整形楕円形	皿	39	30	5	2.5Y3/2	○				
2312 P		B5-K11	楕円形	不整形	27	22	14	2.5Y3/2					
2313 P		B5-K11	楕円形	U	43	35	21	2.5Y3/2	○				
2314 P		B5-K11	楕円形	(不明)	23	18	22	2.5Y3/2	○				
2315 P		B5-K11	(不整形)	不整形	16	(12)	18	2.5Y3/2			漏斗状		
2316 P		B5-K11	楕円形	不整形	25	19	13	2.5Y3/2	○				
2317 P		B5-K11	(不整形)	(不明)	24	(21)	23	2.5Y3/2	○				
2318 P		B5-K11	円形	U	37	34	19	10YR2/1	○				
2319 SK	SB14	B5-K11	(楕円形)	(不明)	(51)	47	15	2.5Y3/2					
2320 P		B5-K11	楕円形	V	26	22	22	10YR2/1	○				

第7表-10 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値 (cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
2321 P		B5-K11	(不整形)	(不明)	23	15	20	2.5Y3/2					
2322 P		B5-K11	(不整形)	逆台形	45	(22)	23	10YR2/1					
2323 P		B5-K11	(不整形)	(不明)	38	(23)	27	2.5Y3/2					
2324 P		B5-K11	円形	長台形	26	23	18	10YR2/1	○				
2325 P		B5-K11・12	(楕円形)	(不明)	36	33	33	10YR2/1					
2326 P		B5-K11	楕円形	長台形	52	34	28	10YR2/1	○				
2327 P		B5-J-K11	(不整形)	(不明)	28	(20)	16	2.5Y3/2					
2328 P		B5-J11	円形	U	34	31	32	10YR2/1			●		青磁
2330 P	SB14	B5-J11	楕円形	すり鉢	31	25	17	10YR2/1					
2331 P		B5-J11	(不整形)	不整形	41	(29)	26	10YR2/1	○				
2332 P	SB14	B5-J11	(円形)	U	44	37	43	2.5Y3/2					
2333 P		B5-J11	円形	U	18	18	13	2.5Y3/2					
2334 P		B5-J11	楕円形	逆台形	37	34	24	2.5Y3/2	○		●		青磁
2337 SK		B5-J11	不整形	U	76	45	34	2.5Y3/2	○		●		白磁(図12)
2338 P	SB14	B5-J11	楕円形	U	34	27	30	2.5Y3/2					
2339 P		B5-J11	楕円形	不整形	41	34	24	10YR2/1					
2341 P		B5-J11	(不整形)	(不整形)	44	(23)	21	2.5Y3/2	○				
2342 P		B5-J11	不整形楕円形	U	25	22	17	2.5Y3/2	○				
2343 P		B5-J11	円形	U	31	29	17	2.5Y3/2	○				
2344 P		B5-J11	円形	U	21	19	16	10YR2/1	○				
2345 P		B5-J11	隅丸三角形	すり鉢	45	45	14	2.5Y3/2	○				
2348 P		B5-J12	円形	U	30	26	21	2.5Y3/2	○				
2349 P		B5-J12	楕円形	不整形	33	21	20	2.5Y3/2					
2350 P		B5-J12	(楕円形)	U	44	38	22	2.5Y3/2	○		●		青磁
2351 P		B5-J-K12	円形	U	34	33	33	2.5Y3/2					
2352 SK	2352SK	B5-J-K12	(不整形)	すり鉢	118	108	20	2.5Y3/2	○				貝製品57点・褐釉
2353 P	SB14	B5-J12	楕円形	すり鉢	53	32	27	10YR2/1			●		青磁(15~16c)
2354 P		B5-J12	隅丸方形	すり鉢	38	38	11	2.5Y3/2					
2355 P		B5-J12	(楕円形)	(不整形)	52	34	36	2.5Y3/2			●		青磁
2356 P		B5-J12	楕円形	U	36	30	25	2.5Y3/2	○				
2357 P		B5-J12	(不整形)	(すり鉢)	43	(30)	20	10YR2/1	○				
2358 P		B5-J12	楕円形	V	22	14	33	2.5Y3/2					
2359 P		B5-J12	楕円形	U	37	31	39	10YR2/1					
2360 P		B5-J12	(不整形)	不整形	24	(16)	22	10YR2/1					
2361 P		B5-J12	(楕円形)	(不明)	54	(13)	40	2.5Y3/2	○				
2362 P		B5-J12	楕円形	U	30	26	31	2.5Y3/2					
2363 P		B5-J12	楕円形	不整形	42	34	28	2.5Y3/2	○				
2364 P		B5-J12	円形	逆台形	33	31	18	2.5Y3/2	○				
2365 P		B5-J12	(不整形)	(U)	36	(26)	32	10YR2/1					
2366 P		B5-J12	(楕円形)	長台形	19	(17)	16	10YR2/1					
2367 P		B5-J12	楕円形	U	30	26	21	10YR3/2					
2368 P		B5-J12	楕円形	すり鉢	21	17	7	10YR2/1	○				
2369 P		B5-J12	(不整形)	(不明)	35	28	18	2.5Y3/2	○				
2370 P		B5-J12	楕円形	すり鉢	46	42	27	2.5Y3/2					
2372 P		B5-J12	(不整形)	(不整形)	38	28	28	2.5Y3/2					
2373 P		B5-J12	円形	不整形	29	27	10	2.5Y3/2	○				
2374 P		B5-J12	円形	長台形	19	17	28	2.5Y3/2					
2375 SK		B5-J12	(不整形)	(不明)	75	(70)	13	2.5Y3/2	○				褐釉
2376 P		B5-J-K12	隅丸方形	すり鉢	37	34	17	2.5Y3/2	○				
2377 P		B5-J12	楕円形	U	45	27	16	10YR2/1					
2378 P		B5-J12	楕円形	U	45	33	23	10YR2/1	○				
2379 P		B5-J12	円形	皿	19	18	6	2.5Y3/2					
2380 P		B5-J12	楕円形	不整形	43	37	17	10YR3/2	○				
2381 P		B5-J12	(不整形)	(不明)	23	(21)	8	10YR3/2					
2383 P		B5-J12	(不整形)	(不明)	30	(27)	15	10YR2/1					
2384 P		B5-J12	(不整形)	(不明)	31	(25)	16	2.5Y3/2					
2386 P		B5-J12	隅丸方形	不整形	29	28	18	10YR3/2	○				
2388 P		B5-J12	楕円形	逆台形	33	26	8	10YR2/1					
2389 P		B5-J12	楕円形	U	17	14	12	2.5Y4/2					
2390 P		B5-J12	隅丸方形	U	29	29	18	2.5Y3/2	○				
2391 P		B5-J12	(不整形)	(不明)	33	(24)	20	2.5Y4/2					
2392 P		B5-J12	楕円形	逆台形	30	27	20	10YR2/1					
2393 P		B5-J12	楕円形	すり鉢	36	27	13	10YR2/1	○				
2394 P		B5-J12・13	円形	逆台形	27	24	12	2.5Y3/2					
2395 P		B5-J12・13	楕円形	すり鉢	36	30	13	2.5Y3/2					
2399 P		B5-J13	(楕円形)	(不明)	39	(27)	21	2.5Y3/2			●		青磁
2400 P		B5-J12・13	(不整形)	不整形	43	(33)	17	10YR3/2					
2401 P		B5-J13	円形	U	25	23	15	2.5Y3/2	○				
2402 P		B5-J13	(楕円形)	(不明)	28	(14)	14	2.5Y3/2					
2403 P		B5-J13	(不整形)	不整形	27	(18)	15	2.5Y3/2					
2404 P		B5-J13	(不整形)	(不明)	(27)	(20)	14	2.5Y3/2					
2405 P		B5-J13	楕円形	U	24	21	19	2.5Y3/2					
2406 P		B5-J13	楕円形	逆台形	24	21	7	2.5Y3/2					
2407 P		B5-J13	楕円形	すり鉢	22	19	11	2.5Y3/2	○				
2408 SK		B5-J13	円形	逆台形	63	63	10	2.5Y4/2	○				
2409 P		B5-J13	円形	逆台形	30	27	13	10YR2/1					
2410 P		B5-J13	円形	すり鉢	31	26	10	10YR2/1	○				
2413 P		B5-J12	楕円形	すり鉢	37	30	15	2.5Y3/2	○				
2414 P		B5-J12	楕円形	V	35	29	22	2.5Y3/2	○				
2415 P		B5-J12	(不整形)	U	32	30	26	2.5Y3/2	○				
2416 P		B5-J12	楕円形	U	38	23	20	10YR2/1	○				
2417 P		B5-J12	円形	不整形	23	22	16	2.5Y3/2	○				
2418 SK		B5-J12	(不整形)	(不明)	57	33	17	2.5Y3/2					
2419 P		B5-J12	(不整形)	皿	31	9	8	10YR2/1					
2421 P		B5-J12	(楕円形)	逆台形	40	37	19	2.5Y3/2	○		●		青磁
2422 P		B5-I・J12	(不整形)	(不明)	50	(32)	22	10YR2/1	○				
2423 P		B5-J12	(楕円形)	すり鉢	19	17	9	10YR2/1					
2424 P		B5-J12	楕円形	すり鉢	21	16	9	10YR2/1					
2425 P		B5-J12	(楕円形)	U	(36)	33	21	10YR2/1	○				
2426 P		B5-J12	(不整形)	U	46	13	28	2.5Y3/2					
2427 P		B5-J12	楕円形	U	23	19	17	2.5Y3/2					
2428 P		B5-I・J12	楕円形	逆台形	44	37	14	10YR2/1					
2431 P		B5-J12	円形	逆台形	16	15	8	2.5Y4/2					
2432 P		B5-J12	(不整形)	すり鉢	(34)	33	13	2.5Y3/2	○				
2433 P		B5-J12	(不整形)	すり鉢	(22)	18	10	2.5Y3/2					
2435 P		B5-J11	円形	不整形	19	17	7	2.5Y3/2					
2436 P		B5-J12	(円形)	(不整形)	31	30	19	2.5Y3/2					
2437 P		B5-J11	楕円形	すり鉢	39	27	18	2.5Y3/2	○				
2438 P		B5-J11	(不整形)	不整形	25	(16)	21	10YR2/1					
2439 P		B5-J11	楕円形	不整形	21	16	12	10YR2/1					



第7表-11 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値 (cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
2440 P		B5-111	(不整形)	(不明)	24	(17)	16	10YR2/1					
2441 P		B5-111	凹形	すり鉢	17	16	8	10YR3/2	○				
2442 P		B5-111	楕円形	長台形	31	23	14	10YR3/2	○				
2443 P		B5-111	(不整形)	U	20	(12)	13	10YR3/2					
2444 P		B5-111	(不整形)	U	21	(15)	15	2.5Y3/2	○				
2445 P		B5-111	(不整形)	すり鉢	61	26	18	2.5Y3/2	○	断面分層			
2446 P		B5-111	(不整形)	U	31	19	4	2.5Y3/2					
2447 P		B5-111	(不整形)	不整形	29	20	10	2.5Y3/2	○				
2449 P		B5-111	凹形	すり鉢	28	26	15	2.5Y3/2					
2450 P		B5-111	(不整形)	U	23	(15)	12	2.5Y3/2	○				
2451 P		B5-111	(不整形)	(不明)	(19)	(16)	12	2.5Y3/2					
2452 P		B5-111	楕円形	U	26	17	20	10YR2/1					
2453 P		B5-111	(不整形)	U	22	20	13	2.5Y3/2	○				
2454 P		B5-111	凹形	不整形	26	24	13	2.5Y3/2	○		●		青磁
2455 P		B5-111	(不整形)	(不明)	21	(13)	8	2.5Y3/2	○				
2456 P	SB15	B5-111	隅丸三角形	不整形	27	24	13	10YR2/1	○				
2457 P		B5-111	隅丸方形	U	38	36	28	2.5Y3/2	○				
2461 SK		B5-111	(楕円形)	U	46	42	38	2.5Y3/2	○		●		染付 沖無
2462 P		B5-111	(不整形)	(不明)	39	(18)	27	2.5Y3/2	○				
2463 P		B5-111	(楕円形)	(不明)	36	30	15	10YR2/1	○				
2464 P		B5-111	凹形	すり鉢	28	27	11	2.5Y3/2	○				
2465 P		B5-111	(不整形)	U	41	22	34	2.5Y3/2	○				
2466 P		B5-111	(不整形)	(不明)	43	34	18	2.5Y3/2	○				
2467 SK		B5-111	(不整形)	(不整形)	(81)	(58)	55	2.5Y3/2	○				
2468 P		B5-111	(不整形)	U	22	13	16	10YR2/1					
2469 P		B5-111	楕円形	U	28	17	18	10YR2/1					
2471 P		B5-111	凹形	すり鉢	27	24	7	2.5Y3/2					
2472 P		B5-111	凹形	逆台形	25	23	15	10YR2/1					
2473 P		B5-111	楕円形	すり鉢	17	14	6	2.5Y3/2					
2474 P		B5-111	楕円形	すり鉢	17	12	8	2.5Y3/2	○				
2475 P		B5-111	楕円形	U	34	27	16	2.5Y3/2	○				
2476 P		B5-111	(不整形)	(不明)	25	(22)	17	2.5Y3/2	○				
2477 P		B5-H・111	(不整形)	(すり鉢)	31	(26)	17	2.5Y3/2					
2478 P		B5-111	楕円形	不整形	46	37	41	2.5Y3/2	○		●		白磁・青磁
2479 P		B5-H・112	(楕円形)	(不明)	(37)	34	26	2.5Y3/2	○	漏斗状	●		白磁
2480 P		B5-111	楕円形	すり鉢	19	15	6	2.5Y3/2					
2481 P		B5-111	楕円形	逆台形	24	21	8	2.5Y3/2					
2482 P		B5-111	楕円形	逆台形	20	17	12	2.5Y3/2					
2483 P		B5-111	楕円形	皿	18	14	4	2.5Y3/2					
2484 P		B5-111	隅丸方形	すり鉢	30	29	13	2.5Y3/2	○				
2485 P		B5-111・12	凹形	逆台形	17	15	7	2.5Y4/2					
2486 P		B5-111	楕円形	長台形	45	30	25	2.5Y3/2	○				
2487 P		B5-111	楕円形	U	29	24	27	2.5Y3/2	○				
2488 P		B5-111	(不整形)	(不明)	17	(14)	12	2.5Y3/2					
2489 P		B5-111	凹形	U	37	36	26	2.5Y3/2	○				
2490 P		B5-111	楕円形	皿	40	33	4	2.5Y3/2	○				
2491 P		B5-111	(不整形)	すり鉢	20	(10)	10	2.5Y3/2			●		染付(図31)
2492 P		B5-111	楕円形	皿	16	13	4	2.5Y3/2	○				
2494 P		B5-111	楕円形	逆台形	33	19	12	10YR2/1	○				褐釉
2495 P		B5-111	(不整形)	不整形	27	(22)	28	2.5Y3/2					
2496 P		B5-111・12	楕円形	不整形	55	44	30	2.5Y3/2			●		褐釉(図22)
2499 P		B5-112	楕円形	U	23	20	17	10YR2/1					
2500 P		B5-112	楕円形	不整形	46	28	16	10YR2/1	○				
2501 P		B5-112	(楕円形)	(U)	39	27	19	10YR2/1	○				
2502 SK		B5-112	楕円形	U	67	45	16	2.5Y3/2	○				
2503 P		B5-112	楕円形	不整形	27	19	15	10YR2/1			●		青磁
2504 P		B5-112	(不整形)	(すり鉢)	24	(13)	7	10YR2/1					
2505 P		B5-112	隅丸三角形	すり鉢	53	42	16	10YR2/1	○				
2506 P		B5-112	凹形	逆台形	20	19	11	10YR2/1					
2507 P		B5-112	(不整形)	すり鉢	26	19	12	2.5Y3/2	○				
2508 P		B5-112	楕円形	逆台形	22	19	6	2.5Y3/2					
2509 P		B5-112	凹形	逆台形	13	13	9	10YR2/1					
2510 P		B5-112	(不整形楕円形)	すり鉢	18	(17)	8	2.5Y3/2			●		青磁
2511 P		B5-112	凹形	すり鉢	31	30	16	2.5Y3/2	○				
2512 P		B5-112	凹形	U	33	30	37	10YR2/1	○				
2513 P		B5-112	楕円形	すり鉢	21	19	11	10YR2/1					
2515 P		B5-112	(楕円形)	U	35	26	32	10YR3/2	○				
2516 SK		B5-112	楕円形	すり鉢	57	48	35	2.5Y3/2	○				
2517 P		B5-112	凹形	逆台形	37	35	17	2.5Y3/2	○				
2518 SK		B5-112	(不整形)	(不整形)	55	49	21	2.5Y3/2	○		●		白磁・青磁
2519 P		B5-112	凹形	逆台形	23	22	10	10YR2/1					
2520 P		B5-112	楕円形	不整形	40	31	18	2.5Y3/2					
2521 P		B5-112	凹形	すり鉢	20	18	11	2.5Y3/2					
2522 P		B5-112	楕円形	U	23	21	20	2.5Y3/2					
2523 P	2523P	B5-112	楕円形	不整形	56	43	13	10YR2/1					ミドリアオリガ多数
2524 P		B5-112	(不整形)	(不整形)	28	(21)	21	2.5Y3/2					
2525 P		B5-112	不整形凹形	U	32	29	43	2.5Y3/2	○				
2526 P		B5-112	(凹形)	U	43	(35)	42	2.5Y3/2					
2527 P		B5-112	(不整形)	(不明)	(27)	(23)	9	2.5Y3/2	○				
2528 P		B5-112	(楕円形)	U	55	40	22	2.5Y3/2	○		●		白磁
2529 P		B5-112	楕円形	逆台形	22	16	7	10YR2/1			●		青磁(図28)
2530 P		B5-112	凹形	逆台形	19	18	7	10YR2/1					
2531 P		B5-112	凹形	長台形	20	19	16	10YR2/1					
2532 P		B5-112	凹形	すり鉢	26	24	5	2.5Y3/2					
2533 P		B5-112	凹形	不整形	37	34	8	2.5Y3/2					
2534 P		B5-112	楕円形	逆台形	27	24	14	10YR2/1					
2536 P		B5-112	楕円形	U	17	14	10	2.5Y3/2					
2537 P		B5-112	楕円形	逆台形	24	19	9	2.5Y3/2	○				
2538 P		B5-112	不整形凹形	長台形	24	22	20	10YR2/1					
2539 P		B5-112	(不整形)	(不明)	17	(16)	16	10YR2/1					
2540 P		B5-112	楕円形	すり鉢	36	29	24	2.5Y3/2					
2542 P		B5-112	楕円形	長台形	18	15	16	2.5Y3/2					
2543 P		B5-112	楕円形	長台形	16	13	12	2.5Y3/2					
2544 P		B5-112	凹形	長台形	18	16	13	2.5Y3/2					
2545 P		B5-112	楕円形	すり鉢	27	25	9	2.5Y4/2					
2546 P		B5-112	凹形	V	31	28	23	10YR2/1					
2547 P		B5-112	(凹形)	(不明)	25	(22)	10	2.5Y3/2					
2548 P		B5-112	楕円形	U	44	35	39	2.5Y3/2	○				
2549 P		B5-112	楕円形	不整形	42	33	27	2.5Y3/2	○				
2551 P		B5-H・112	凹形	不整形	22	22	13	2.5Y3/2	○				

第4章 2

第7表-12 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値 (cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
2552 P		B5-H・113	楕円形	U	53	44	36	2.5Y3/2					
2553 P		B5-112・13	楕円形	U	43	39	36	2.5Y3/2	○				
2554 P		B5-113	隅丸方形	U	26	25	31	10YR2/1	○				
2555 P		B5-113	(不整形楕円形)	(不明)	60	44	29	2.5Y3/2	○				
2556 P		B5-113	円形	長台形	23	22	19	2.5Y4/2	○				
2557 P		B5-112・13	円形	U	47	40	28	2.5Y3/2					
2558 P		B5-112・13	(不整形)	(不明)	30	(20)	30	10YR3/2					
2559 P		B5-112・13	(不整形)	(不明)	39	26	15	10YR3/2					
2560 P		B5-113	楕円形	すり鉢	27	24	10	2.5Y3/2					
2561 P		B5-113	楕円形	不整形	37	32	41	2.5Y4/2	○				
2562 P		B5-113	楕円形	すり鉢	27	24	13	2.5Y3/2					
2563 P		B5-113	楕円形	長台形	20	15	16	2.5Y4/2					
2564 P		B5-113	楕円形	皿	20	19	15	2.5Y3/2					
2565 P		B5-113	楕円形	U	21	18	12	10YR2/1					
2566 P		B5-113	円形	U	20	19	15	2.5Y4/2					
2567 P		B5-113	円形	すり鉢	19	18	7	2.5Y4/2					
2568 P		B5-113	楕円形	(不整形)	28	20	19	2.5Y4/2					
2569 P		B5-112・13	楕円形	U	19	17	21	2.5Y3/2					
2570 P		B5-113	円形	U	27	26	14	2.5Y3/2					
2571 SK		B5-112・13	(不整形)	逆台形	(49)	44	32	2.5Y3/2					
2573 P		B5-112	楕円形	U	24	21	14	2.5Y3/2	○				
2574 P		B5-112	(不整形楕円形)	(不整形)	29	24	24	2.5Y3/2	○				
2575 P		B5-113	円形	U	21	19	14	2.5Y3/2					
2576 P		B5-112・13	楕円形	U	36	30	23	2.5Y3/2					
2577 SK		B5-112・13	(隅丸方形)	(不明)	56	48	33	2.5Y3/2	○				
2578 P		B5-113	不整形	U	21	(16)	21	10YR2/1					
2579 P		B5-H11	楕円形	U	36	22	11	2.5Y3/2	○				
2580 P		B5-H11	(不整形)	(不整形)	20	(16)	19	2.5Y3/2					
2581 P		B5-H11	円形	U	27	26	13	2.5Y3/2	○				
2582 P		B5-H11	円形	U	23	20	20	2.5Y3/2	○				
2583 P		B5-H11・12	楕円形	U	35	32	19	2.5Y3/2	○				褐釉
2584 P		B5-H11	不整形楕円形	逆台形	52	32	29	2.5Y3/2	○				
2586 P		B5-H11	楕円形	不整形	31	27	14	2.5Y3/2	○				
2587 P		B5-H11	(楕円形)	U	(19)	18	12	2.5Y3/2					
2588 SK		B5-H11	楕円形	U	73	44	34	2.5Y3/2	○		●		青磁
2589 P		B5-H11	楕円形	不整形	53	49	38	2.5Y3/2	○		●		染付
2590 P		B5-H11	(楕円形)	(不明)	(28)	(22)	24	2.5Y3/2					
2592 P		B5-H11	(楕円形)	U	26	(26)	18	2.5Y3/2					
2593 P		B5-H11	楕円形	U	36	35	30	2.5Y3/2					
2594 P		B5-H11	円形	U	24	24	16	10YR2/1	○				
2595 P		B5-H11	(不整形)	(U)	25	(13)	25	2.5Y3/2					
2596 P		B5-H11	(楕円形)	U	38	37	32	10YR2/1	○				
2597 P		B5-H11	(楕円形)	(すり鉢)	40	(40)	19	2.5Y3/2	○		●		染付(図3)
2598 P		B5-H11	楕円形	すり鉢	33	19	8	2.5Y3/2	○				
2599 P		B5-H11	(楕円形)	皿	35	26	7	2.5Y3/2	○				
2600 P		B5-H11	(不整形)	(不明)	26	(14)	10	2.5Y3/2					
2602 P		B5-H11	円形	U	28	28	17	10YR3/2	○				
2603 P		B5-H11	円形	U	48	41	35	10YR3/2	○				
2604 P		B5-H11	(不整形)	(不明)	34	18	20	2.5Y3/2	○				
2605 P		B5-H11	楕円形	U	45	36	21	10YR3/2					
2606 P		B5-H11	(楕円形)	U	34	21	24	2.5Y3/2					
2607 P		B5-H11	(楕円形)	(不明)	29	17	5	10YR2/1	○				
2608 P		B5-H11	(不整形)	(不明)	(16)	(12)	9	10YR2/1	○				
2609 P		B5-H11	(楕円形)	(不明)	(23)	(17)	10	10YR3/2	○				
2610 P		B5-H11	楕円形	不整形	21	16	10	10YR3/2					
2612 P		B5-H11	楕円形	すり鉢	24	17	7	10YR3/2	○				
2613 P		B5-H11	(不整形)	(不明)	27	21	16	10YR3/2					
2614 P		B5-H11	楕円形	U	33	25	20	10YR3/2					
2615 P		B5-H11	(楕円形)	逆台形	26	22	14	10YR3/2	○				
2616 P		B5-H11	(不整形)	(不明)	29	(10)	11	10YR3/2	○				
2617 P		B5-G11	楕円形	皿	18	17	5	2.5Y4/2					
2618 P		B5-G11	(不整形)	(不明)	16	(12)	6	2.5Y4/2					
2619 P		B5-G11	楕円形	逆台形	23	22	9	2.5Y3/2					
2620 P		B5-G11	円形	皿	18	17	3	2.5Y4/2					
2621 P		B5-G11	楕円形	逆台形	21	18	7	2.5Y3/2	○				
2622 P		B5-G11	楕円形	すり鉢	24	21	7	10YR2/1					
2623 SK		B5-G11	楕円形	すり鉢	58	43	27	2.5Y3/2	○		●		白磁・青磁
2624 SK		B5-G11	(不整形楕円形)	U	67	54	46	2.5Y3/2			●		染付
2625 SK		B5-G11	楕円形	不整形	77	44	22	2.5Y3/2	○				
2626 P		B5-G・H11・12	楕円形	不整形	55	44	48	2.5Y3/2	○		●		白磁(図6)
2627 P		B5-H12	楕円形	U	42	36	30	10YR3/2					
2628 P		B5-H11・12	(不整形)	(不明)	33	(12)	24	10YR3/2					
2629 P		B5-H12	楕円形	U	53	41	29	10YR3/2	○		●		白磁(図27)
2630 P		B5-H12	(不整形)	(不明)	46	(15)	26	2.5Y3/2	○				
2631 P		B5-H12	(不整形)	(不明)	19	(6)	8	10YR3/2					
2632 P		B5-H12	楕円形	皿	25	21	5	10YR2/1					
2633 P		B5-H12	円形	U	19	17	18	2.5Y3/2					
2634 P		B5-H12	楕円形	U	23	19	15	2.5Y3/2	○		●		青磁
2635 P		B5-H12	楕円形	逆台形	41	31	15	10YR3/2	○				
2636 P		B5-H12	楕円形	すり鉢	48	37	15	10YR3/2	○		●		青磁(図40)
2637 P		B5-H12	円形	(不明)	16	16	9	10YR3/2					
2638 P		B5-H12	(楕円形)	(U)	25	(22)	14	2.5Y3/2	○				
2639 P		B5-H12	楕円形	U	44	34	25	10YR3/2	○		●		青磁
2640 P		B5-H12	楕円形	U	33	29	19	10YR2/1	○				
2641 P		B5-H12	円形	U	30	28	20	2.5Y3/2	○				
2642 SK		B5-H12	(楕円形)	U	53	34	31	10YR2/1					
2643 SK		B5-H12	(不整形)	(不明)	34	19	8	2.5Y4/2					
2644 P		B5-H12	円形	U	20	18	14	2.5Y3/2					
2645 P		B5-H12	楕円形	逆台形	31	27	17	2.5Y3/2					
2646 P		B5-G12	楕円形	すり鉢	40	29	11	10YR2/1	○				
2647 P		B5-H12	楕円形	逆台形	32	26	15	2.5Y3/2	○				
2649 SK		B5-H12・13	楕円形	すり鉢	84	69	41	2.5Y3/2	○				
2651 SK		B5-H12	楕円形	U	68	43	31	10YR2/1					褐釉
2652 SK		B5-H12	(不整形)	(V)	58	(36)	29	10YR2/1	○				
2653 SK		B5-H12	(不整形)	(不整形)	48	(19)	26	2.5Y3/2	○				
2654 P		B5-H12	楕円形	U	48	38	33	10YR2/3					
2655 P		B5-H12	(不整形)	U	65	61	29	2.5Y3/2					
2656 P		B5-H12	円形	逆台形	21	20	10	2.5Y3/2					
2657 P		B5-H12	不整形円形	U	51	41	47	10YR2/1	○		●		青磁(図48)・染付・褐釉
2658 P		B5-H12	(不整形)	不整形	69	51	50	10YR2/1	○		●		青磁・染付(図6)

第7表-13 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値(cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
2660 P		B5-H12	(隅丸三角形)	逆台形	66	(47)	28	10YR2/1			●		青磁(図11)・染付
2661 P		B5-H12	円形	U	29	28	20	10YR2/1	○				
2663 P		B5-H12	(楕円形)	逆台形	(26)	25	16	2.5Y4/2					
2664 SK		B5-H12	楕円形	U	53	41	32	2.5Y3/2	○		●		青磁
2665 SK		B5-H12	(不整形)	(不整形)	77	(27)	37	2.5Y3/2	○		●		染付(図36)
2667 SK		B5-H12	楕円形	不整形	78	56	15	2.5Y3/2	○				
2668 P		B5-H12	(楕円形)	(U)	17	(16)	23	2.5Y3/2					
2669 P		B5-H12	円形	U	30	29	24	10YR2/1	○		●		染付
2670 P		B5-H12	(楕円形)	U	41	31	15	2.5Y3/2	○				
2671 SK		B5-H12	(隅丸三角形)	すり鉢	84	70	32	2.5Y3/2	○	断面分層	●		白磁
2673 P		B5-H12	不整形楕円形	逆台形	53	44	25	2.5Y3/2	○				褐釉
2674 P		B5-H12	(不整形)	(不明)	(21)	(21)	33	2.5Y3/2	○				
2675 SK		B5-H12	(不整形)	(すり鉢)	74	(23)	19	2.5Y3/2	○		●		青磁
2677 P		B5-H11・12	楕円形	すり鉢	42	27	9	2.5Y3/2	○				
2678 P		B5-H11	(円形)	(不明)	21	(18)	4	2.5Y3/2					
2679 P		B5-H12	(円形)	逆台形	(31)	28	18	10YR2/1	○				
2680 P		B5-H12	(円形)	(不明)	38	(26)	10	10YR2/1	○				
2681 P		B5-H12	(円形)	U	41	(38)	26	10YR2/1	○				崇寧通宝(図3)
2682 P		B5-H12	円形	U	33	31	17	10YR2/1	○				
2684 P		B5-H12	円形	すり鉢	45	40	11	2.5Y3/2	○				
2686 P		B5-H12	楕円形	長台形	21	19	18	2.5Y3/2	○				
2687 P		B5-H12	楕円形	すり鉢	36	30	12	2.5Y3/2	○				
2688 P		B5-H12	楕円形	U	34	28	19	2.5Y3/2	○				
2689 SK		B5-H・12	楕円形	U	51	47	38	2.5Y3/2	○				
2690 P		B5-H12	(楕円形)	すり鉢	44	(35)	14	2.5Y3/2	○		●		染付
2691 P		B5-H・12	(不整形)	(不明)	38	(16)	19	2.5Y4/2	○				
2692 P		B5-H12	円形	U	34	30	21	2.5Y3/2	○				
2693 P		B5-H12	円形	U	31	30	28	2.5Y3/2	○				
2694 P		B5-H12	楕円形	長台形	30	24	32	10YR2/1	○				
2695 P		B5-H12	楕円形	U	24	19	16	2.5Y3/2					
2696 P		B5-H12	(円形)	U	22	(17)	14	2.5Y3/2					
2697 P		B5-H12	楕円形	逆台形	28	22	18	2.5Y3/2					
2698 P		B5-H・12	楕円形	不整形	38	33	29	2.5Y3/2	○	漏斗状			
2699 P		B5-H・12	(不整形)	(不明)	24	(15)	35	10YR2/1	○				
2700 P		B5-H12	楕円形	不整形	32	27	22	2.5Y3/2					
2702 P		B5-H12	楕円形	逆台形	31	28	19	2.5Y4/2	○				
2703 P		B5-H12	円形	逆台形	20	19	11	2.5Y3/2	○				
2705 P		B5-H12	楕円形	すり鉢	28	17	8	2.5Y3/2	○				
2706 P		B5-H12	(楕円形)	U	(41)	32	36	2.5Y3/2	○				
2707 P		B5-H12	楕円形	U	34	30	30	2.5Y3/2	○				
2708 P		B5-H14	(隅丸方形)	すり鉢	24	21	10	2.5Y3/2	○				
2709 P		B5-H12	(隅丸三角形)	不整形	55	51	45	10YR2/1	○	漏斗状			褐釉
2710 P		B5-H12	(楕円形)	すり鉢	(42)	40	16	2.5Y3/2					
2711 P		B5-H12	円形	U	24	22	18	2.5Y3/2	○				
2712 P		B5-H12	(不整形)	(不整形)	41	(21)	26	2.5Y3/2	○				
2713 P		B5-H12	(不整形)	すり鉢	27	(18)	12	2.5Y3/2	○				
2714 P		B5-H12・13	楕円形	U	44	33	31	10YR2/1					
2715 P		B5-H12	(不整形)	すり鉢	28	(22)	13	2.5Y4/2					
2716 P		B5-H12	(不整形)	(不整形)	32	(31)	28	2.5Y3/2	○	漏斗状			
2717 P		B5-H13	楕円形	すり鉢	46	37	21	10YR2/1	○				
2718 P		B5-H13	円形	U	39	38	32	10YR2/1	○				
2719 P		B5-H13	楕円形	不整形	41	34	36	2.5Y3/2					
2720 P		B5-H13	(楕円形)	不整形	35	(35)	27	2.5Y3/2	○				
2722 P		B5-H13	楕円形	不整形	35	27	16	2.5Y3/2					
2723 P		B5-H13	(不整形)	(不明)	20	(16)	10	2.5Y3/2	○				
2724 P		B5-H13	楕円形	U	26	23	16	10YR2/1					
2725 P		B5-H13	(不整形)	(不明)	14	(11)	10	2.5Y3/2					
2726 P		B5-H13	楕円形	逆台形	34	32	14	2.5Y3/2	○				
2727 P		B5-F14	楕円形	U	36	28	20	2.5Y3/2					
2728 P		B5-F14	円形	U	36	33	28	10YR2/1	○		●		青磁(図22)
2730 P		B5-F14	円形	U	33	29	26	2.5Y3/2					
2731 P		B5-G14	円形	すり鉢	21	19	9	2.5Y3/2	○				
2732 SK		B5-F14	楕円形	不整形	59	42	30	10YR2/1	○				
2733 P		B5-G14	不整形円形	逆台形	27	24	10	10YR2/1					
2734 P		B5-F14	不整形円形	すり鉢	40	39	19	2.5Y3/2					
2736 P		B5-F14	(不整形)	(不明)	(12)	(12)	14	2.5Y3/2					
2737 P		B5-G14	不整形楕円形	逆台形	39	35	22	10YR2/1					
2741 P		B5-G12	(不整形)	長台形	17	(12)	15	2.5Y3/2			●		染付
2743 P		B5-G13	円形	不整形	36	35	13	2.5Y3/2					
2744 P		B5-G13	楕円形	皿	34	30	10	10YR2/1					
2745 P		B5-G13	楕円形	皿	18	13	6	2.5Y3/2					
2746 P		B5-G12・13	円形	皿	29	27	9	2.5Y3/2					
2748 P		B5-G12	隅丸方形	U	35	21	20	2.5Y3/2					
2749 P		B5-G12	(不整形)	(不明)	37	(12)	16	2.5Y3/2					
2751 P		B5-G13	不整形円形	不整形	46	42	25	10YR2/1			●		白磁・青磁
2753 P		B5-G13	楕円形	U	29	28	19	2.5Y3/2					
2754 P		B5-G13	円形	すり鉢	18	17	12	2.5Y3/2					
2755 P		B5-G13	円形	逆台形	31	30	20	2.5Y3/2					
2756 P		B5-G13	楕円形	U	18	15	12	2.5Y3/2					
2759 P		B5-G13	円形	U	36	34	25	2.5Y3/2	○				
2760 P		B5-G13	楕円形	すり鉢	29	22	14	10YR2/1	○				
2761 P		B5-G13	楕円形	すり鉢	40	34	17	10YR2/1	○				
2762 P		B5-G13	楕円形	逆台形	35	31	21	2.5Y4/2					
2763 SK		B5-G13	楕円形	U	54	40	28	2.5Y3/2	○				
2764 SK		B5-G13	(不整形円形)	(不明)	53	52	40	2.5Y3/2	○				
2765 P		B5-G13	(不整形)	U	42	42	28	10YR2/1	○				
2766 P		B5-G13	(不整形)	(不明)	36	(29)	18	2.5Y3/2	○				
2767 P		B5-G13	(不整形)	皿	(15)	14	4	2.5Y3/2					
2768 P		B5-G13	楕円形	U	31	26	29	2.5Y3/2	○				
2769 P		B5-G13	円形	U	28	27	23	2.5Y3/2	○				
2770 P		B5-G13	(円形)	(U)	25	(23)	22	10YR2/1	○				
2771 P		B5-G13	楕円形	すり鉢	38	35	15	2.5Y4/2					
2772 P		B5-G13	楕円形	逆台形	31	29	14	2.5Y3/2					
2774 P		B5-G13	楕円形	長台形	47	38	34	2.5Y3/2	○				
2775 P		B5-G13・14	楕円形	すり鉢	38	29	10	2.5Y3/2					
2776 P		B5-G13・14	(不整形)	(不明)	(21)	(18)	11	2.5Y3/2	○				
2777 P		B5-G13・14	楕円形	U	48	33	23	10YR2/1	○				
2778 P		B5-G14	円形	逆台形	36	32	19	2.5Y3/2					
2782 P		B5-G13	円形	逆台形	32	32	15	2.5Y3/2	○				
2783 P		B5-G13	楕円形	U	38	32	36	10YR2/1					

第4章 2



第7表-14 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値(cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
2784 P		B5-G13	楕円形	すり鉢	21	17	11	10YR2/1					
2785 P		B5-G14	楕円形	すり鉢	42	40	16	10YR2/1	○				
2788 P		B5-G13	円形	逆台形	34	29	17	10YR2/1					
2789 P		B5-G・H13	楕円形	V	34	31	19	2.5Y3/2	○				
2790 P		B5-H13	(楕円形)	(不明)	39	25	21	10YR2/1			●		染付
2791 P		B5-H13	(不整形)	(不明)	26	(20)	5	10YR2/1					
2792 P		B5-H13	楕円形	U	18	16	18	2.5Y3/2					
2793 P		B5-G13	円形	U	22	22	17	2.5Y3/2	○				
2794 P		B5-H13	不整形円形	U	22	22	13	10YR2/1	○				
2795 P		B5-H13	円形	不整形	25	22	13	2.5Y3/2					
2797 P		B5-G・H13	(楕円形)	(不明)	(31)	23	12	2.5Y4/2					
2798 P		B5-H13	楕円形	逆台形	39	37	23	10YR2/1					
2799 P		B5-H13	(不整形)	(不明)	26	(17)	11	2.5Y3/2					
2801 P		B5-H13	(不整形楕円形)	すり鉢	35	33	14	10YR2/1	○				
2802 P		B5-H13	楕円形	U	53	42	31	2.5Y3/2	○		●		褐釉
2803 P		B5-H13	(不整形)	すり鉢	20	(15)	7	2.5Y3/2					
2804 P		B5-H13	(楕円形)	V	27	(21)	12	2.5Y3/2					
2805 P		B5-H13	円形	すり鉢	36	32	14	2.5Y3/2					
2806 P		B5-H13	円形	U	36	32	27	2.5Y3/2					
2808 P		B5-H14	円形	皿	24	24	6	2.5Y3/2	○				
2809 P		B5-H14	円形	皿	18	17	4	2.5Y3/2					
2810 P		B5-H14	円形	U	22	21	19	10YR2/1					
2811 P		B5-H14	円形	逆台形	23	21	7	2.5Y3/2					
2812 P		B5-H14	円形	皿	18	17	5	2.5Y3/2					
2813 P		B5-H14	円形	すり鉢	25	24	12	2.5Y3/2					
2815 P		B5-H14	楕円形	不整形	48	37	41	10YR2/1			漏斗状		鉄斧(図2)
2818 P		B5-H14	楕円形	(すり鉢)	45	31	16	2.5Y3/2	○				
2819 P		B5-H14	(不整形)	不整形	47	(33)	21	2.5Y3/2			漏斗状		
2820 P		B5-H14	楕円形	すり鉢	29	25	13	10YR2/1					
2821 P		B5-H15	不整形	すり鉢	51	37	13	10YR2/1					
2824 P		B5-H15	(不整形)	すり鉢	29	29	12	2.5Y3/2					
2826 P		B5-H15	楕円形	すり鉢	18	14	10	2.5Y3/2					
2828 P		B5-H15	楕円形	すり鉢	39	29	12	10YR2/1					
2829 P		B5-H15	楕円形	U	33	28	5	10YR2/1	○				
2830 P		B5-H15	(楕円形)	(不整形)	33	27	19	2.5Y3/2					
2831 P		B5-H15	楕円形	すり鉢	72	54	34	2.5Y3/2			断面分層		
2833 P		B5-G15	円形	皿	16	16	6	2.5Y3/2	○				
2834 P		B5-H14	楕円形	すり鉢	26	21	6	2.5Y3/2					
2835 P		B5-H14	円形	すり鉢	22	20	12	2.5Y3/2					
2836 P		B5-H14	円形	V	31	29	14	10YR2/1					
2840 P		B5-H14	楕円形	U	29	28	28	10YR2/1					
2841 P		B5-H14	楕円形	逆台形	42	33	13	2.5Y3/2	○				
2843 P		B5-H14	楕円形	U	34	31	20	2.5Y3/2					青磁・染付
2844 P		B5-H14	(楕円形)	(不整形)	43	29	25	2.5Y3/2	○				
2846 P		B5-H14	(不整形)	(不明)	39	(37)	31	2.5Y3/2	○				
2847 P		B5-H14	円形	U	26	24	27	10YR2/1	○				
2848 P		B5-H14	(不整形)	(不明)	23	(18)	24	2.5Y3/2					
2849 P		B5-H14	楕円形	不整形	38	33	21	2.5Y3/2					
2850 P		B5-H14	楕円形	U	29	26	25	2.5Y3/2					
2852 P		B5-H14	楕円形	U	49	39	30	2.5Y3/2	○				
2854 P		B5-H14	(不整形)	(不明)	35	(27)	7	10YR2/1	○				
2856 P		B5-G・H14	円形	U	25	25	17	2.5Y3/2	○				
2857 P		B5-G・H14	(楕円形)	(不明)	25	(17)	15	10YR2/1	○				
2859 P		B5-H14	楕円形	逆台形	23	21	9	10YR2/1	○			●	本陶
2860 P		B5-H14	楕円形	すり鉢	24	22	14	2.5Y3/2	○				
2861 P		B5-H14	楕円形	すり鉢	18	15	9	10YR2/1					
2862 P		B5-H14	楕円形	U	25	20	6	2.5Y3/2					
2863 P		B5-H14	(楕円形)	U	(21)	19	16	2.5Y3/2					
2865 P		B5-G14	楕円形	すり鉢	59	33	19	2.5Y3/2	○				
2867 P		B5-G14	楕円形	すり鉢	18	13	8	2.5Y3/2	○				
2868 SK		B5-G14	楕円形	不整形	52	39	41	2.5Y3/2	○				
2869 P		B5-G14	(楕円形)	(不明)	29	24	9	2.5Y3/2	○				
2871 P		B5-G14	楕円形	逆台形	30	27	14	2.5Y3/2	○				
2872 P		B5-G14	(不整形)	不整形	56	47	35	10YR2/1	○		断面分層		
2873 P		B5-G14	(不整形)	(不明)	27	(17)	28	2.5Y3/2	○				
2877 P		B5-G14	円形	U	33	32	24	2.5Y3/2	○				
2879 P		B5-G・H14	隅丸三角形	逆台形	48	46	15	10YR2/1					
2882 P		B5-G14	楕円形	すり鉢	28	23	11	2.5Y3/2					
2883 P		B5-G14	不整形楕円形	U	41	34	27	10YR2/1	○				
2884 P		B5-G14	(不整形)	(不明)	36	(32)	23	10YR2/1	○				
2885 P		B5-G14	(不整形)	U	29	(24)	20	2.5Y3/2					
2886 P		B5-G14	(不整形)	逆台形	37	34	14	2.5Y3/2					
2887 P		B5-G14	楕円形	U	19	16	8	2.5Y3/2					
2888 P		B5-G14	(不整形)	(不明)	25	(21)	22	2.5Y4/2					
2889 P		B5-G14	隅丸方形	逆台形	32	32	11	10YR2/1					
2890 P		B5-G14	(不整形)	(不明)	(26)	(24)	27	2.5Y3/2					
2891 P		B5-G14	(楕円形)	不整形	58	38	30	2.5Y3/2	○		●		白磁・青磁 白磁
2892 P		B5-G14	(楕円形)	(不明)	49	44	30	10YR2/1	○				
2895 P		B5-G14	楕円形	不整形	33	22	19	2.5Y3/2	○				
2896 P		B5-G14	不整形円形	U	19	17	13	2.5Y3/2	○				
2897 P		B5-G14	(円形)	(不明)	24	(23)	16	2.5Y3/2					
2899 P		B5-G14	(隅丸方形)	(不明)	29	(25)	11	10YR2/1					
2900 P		B5-G14	不整形円形	すり鉢	32	29	17	2.5Y3/2					
2901 P		B5-G14	(隅丸方形)	U	28	(27)	24	2.5Y3/2					
2902 P		B5-G14	(楕円形)	(U)	36	27	17	2.5Y3/2					褐釉
2903 P		B5-G14	(楕円形)	U	27	(17)	18	2.5Y3/2					
2904 P		B5-G14	不整形	逆台形	51	45	23	2.5Y3/2					
2905 P		B5-G14	(不整形)	(不明)	35	(25)	20	2.5Y3/2					
2906 P		B5-G14	(不整形)	(不整形)	41	(25)	27	2.5Y3/2					
2907 P		B5-G14	楕円形	U	29	26	14	10YR2/1					
2908 SK		B5-G14	(不整形)	U	63	44	39	2.5Y3/2	○		断面分層	●	染付
2910 P		B5-G14	(不整形)	(不明)	27	(17)	4	10YR2/1	○				
2912 P		B5-G14	不整形	すり鉢	51	43	19	2.5Y4/2					
2916 P		B5-G14	隅丸方形	逆台形	35	34	15	10YR2/1	○		●		染付(図19)
2917 P		B5-G14	円形	すり鉢	35	34	19	2.5Y3/2					
2920 P		B5-G14	円形	不整形	26	23	23	10YR2/1					
2921 P		B5-G14	(円形)	(不明)	30	(18)	15	2.5Y3/2	○				
2922 P		B5-G14	不整形	皿	28	28	6	10YR2/1					
2923 P		B5-G14	不整形	不整形	29	21	6	2.5Y3/2					
2925 P		B5-G14	円形	U	36	32	25	10YR2/1	○				

第7表-15 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値 (cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
2926 P		B5-G14	隅丸三角形	U	30	26	21	2.5Y3/2					
2927 P		B5-G14	(不整形)	(不明)	28	(10)	12	2.5Y3/2					
2928 P		B5-G14・15	隅丸三角形	U	29	25	13	2.5Y3/2					
2929 P		B5-G15	円形	すり鉢	20	17	7	10YR2/1					
2930 P		B5-G15	楕円形	すり鉢	39	31	11	2.5Y3/2					
2932 P		B5-G15	(不整形)	(U)	34	(21)	18	2.5Y3/2					
2933 P		B5-G15	円形	すり鉢	24	23	8	2.5Y3/2					
2934 P		B5-G15	楕円形	すり鉢	16	12	11	2.5Y3/2					
2935 P		B5-G15	隅丸三角形	すり鉢	23	23	7	2.5Y3/2	○				
2936 P		B5-G15	円形	すり鉢	32	30	15	2.5Y3/2					
2937 P		B5-G15	(不整形)	(不明)	37	(23)	11	2.5Y3/2					
2938 SK		B5-G15	不整楕円形	U	60	40	36	10YR2/1	○		●		青磁
2939 P		B5-G15	楕円形	皿	17	16	5	2.5Y3/2					
2940 P		B5-G15	楕円形	皿	20	16	6	2.5Y3/2					
2941 P		B5-G15	楕円形	U	33	29	19	10YR2/1					
2942 P		B5-G15	円形	すり鉢	30	29	11	2.5Y3/2					白磁
2943 P		B5-G15	不整楕円形	すり鉢	46	38	21	2.5Y3/2					
2945 P		B5-G15	(不整形)	(不明)	23	(21)	16	2.5Y3/2					
2946 P		B5-G15	楕円形	すり鉢	35	31	11	2.5Y3/2					
2947 P		B5-G15	(不整形)	(不明)	34	(26)	14	10YR2/1					
2948 P		B5-G15	不整形	すり鉢	40	25	15	10YR2/1	○				
2949 P		B5-G15	(不整形)	(不明)	23	(12)	15	2.5Y3/2					
2950 P		B5-G15	円形	すり鉢	26	24	12	2.5Y3/2					
2951 P		B5-M10	(不整楕円形)	すり鉢	(36)	24	7	2.5Y3/2					
2952 SK		B5-N9	楕円形	すり鉢	189	115	43	10YR3/2	○				
2954 P		B5-N9	楕円形	すり鉢	36	32	10	10YR3/2	○				
2955 P		B5-N9	円形	すり鉢	16	15	8	2.5Y3/2					
2956 P		B5-N9	不整楕円形	U	31	31	23	2.5Y3/2	○				
2957 P		B5-M・N9	(不整形)	(不明)	31	(17)	24	2.5Y3/2					
2958 P		B5-N9	円形	U	24	22	34	2.5Y3/2					
2959 P		B5-M9	楕円形	不整形	33	29	23	2.5Y3/2	○				
2960 P		B5-M9	(楕円形)	すり鉢	(20)	18	12	10YR2/1					
2961 P		B5-M9	楕円形	U	25	21	15	10YR2/1					
2962 P		B5-M9	不整楕円形	U	43	35	37	2.5Y3/2	○				
2963 P		B5-M9	(不整楕円形)	U	56	(34)	42	10YR2/1					断面分層
2965 P		B5-M9	不整楕円形	U	35	30	29	2.5Y3/2					
2966 P		B5-M9	円形	すり鉢	40	39	14	10YR2/1					
2967 P		B5-M9	円形	逆台形	32	30	29	2.5Y3/2					
2968 P		B5-M9	楕円形	U	23	20	14	10YR2/1					
2969 P		B5-M9	楕円形	すり鉢	43	37	15	2.5Y3/2					
2970 P		B5-M9	円形	すり鉢	27	26	9	10YR2/1					
2971 P		B5-M9	(不整形)	(U)	32	(19)	18	10YR2/1					
2973 P		B5-M9	円形	逆台形	46	46	19	2.5Y3/2					
2974 P		B5-M9	楕円形	すり鉢	28	21	10	10YR2/1					
2976 P		B5-M9	楕円形	逆台形	21	18	7	2.5Y4/2					
2978 P		B5-L・M9	楕円形	U	19	14	11	2.5Y3/2					
2979 P		B5-M・N10	不整楕円形	U	45	31	48	10YR2/1	○				
2980 P		B5-M10	隅丸方形	長台形	32	31	44	2.5Y3/2					
2981 P		B5-M10	(円形)	(不明)	21	(15)	25	2.5Y3/2					
2982 P		B5-M10	(不整形)	すり鉢	48	(26)	23	2.5Y3/2					
2983 P		B5-M10	(不整形)	すり鉢	(47)	46	28	2.5Y4/2					
2984 P		B5-M10	楕円形	すり鉢	58	44	20	10YR2/1	○				
2985 P		B5-M10	(円形)	(不明)	17	(15)	5	2.5Y3/2	○				
2986 P		B5-M10	楕円形	長台形	30	23	23	2.5Y3/2					
2987 P		B5-M10	(楕円形)	不整形	56	(36)	41	2.5Y3/2	○				断面分層
2988 P		B5-M10	楕円形	長台形	22	19	20	2.5Y3/2	○				
2990 P		B5-M10	(楕円形)	(不明)	38	26	27	2.5Y3/2			●		染付(図25)
2991 P		B5-M10	円形	U	14	14	5	2.5Y3/2					
2993 P		B5-M10	隅丸方形	逆台形	26	22	18	2.5Y3/2					
2994 P		B5-M10	楕円形	逆台形	33	26	16	2.5Y3/2					
2995 P		B5-M10	(不整形)	U	18	(16)	17	2.5Y3/2	○				
2996 SK		B5-M10	(不整形)	(不明)	30	(21)	23	10YR3/2					
2997 P		B5-M10	(不整形)	U	23	(12)	10	2.5Y4/2					
2998 P		B5-M10	(不整形)	すり鉢	48	(40)	9	2.5Y4/2					
3000 P		B5-M10	(不整形)	逆台形	20	11	12	2.5Y4/2					
3001 P		B5-M10	楕円形	U	21	19	15	2.5Y4/2					
3002 P		B5-M10	(円形)	(不明)	24	(14)	22	2.5Y3/2					
3003 P		B5-M10	不整楕円形	不整形	40	37	23	2.5Y3/2	○				漏斗状
3004 P		B5-M10	円形	U	39	35	26	2.5Y3/2					
3006 P		B5-M10	楕円形	すり鉢	27	23	15	10YR2/1					
3007 P		B5-M10	楕円形	逆台形	19	16	10	2.5Y3/2					
3008 P		B5-M10	隅丸三角形	すり鉢	34	27	17	2.5Y3/2					
3009 P		B5-M10	(楕円形)	(U)	24	(22)	26	2.5Y3/2	○				
3010 P		B5-M10	(円形)	(不明)	37	(26)	31	2.5Y3/2	○				
3012 P		B5-M10	不整楕円形	長台形	37	34	39	10YR2/1	○				
3014 P		B5-M10	円形	U	15	14	12	2.5Y3/2					
3015 P		B5-M10	不整形	逆台形	44	36	23	2.5Y3/2					断面分層
3016 P		B5-M10	不整楕円形	U	39	25	22	10YR2/1					
3017 SK		B5-M10	(楕円形)	(不明)	62	(11)	27	2.5Y3/2	○				
3018 P		B5-M10	不整楕円形	逆台形	41	27	17	2.5Y3/2					
3019 P		B5-M10	(不整楕円形)	すり鉢	38	30	8	2.5Y3/2					
3020 P		B5-M10	(楕円形)	U	24	(17)	15	2.5Y4/2	○				
3021 P		B5-M10	不整形	皿	24	22	7	2.5Y3/2					
3022 P		B5-M10	隅丸三角形	V	30	26	26	2.5Y3/2					
3023 P		B5-M10	(隅丸方形)	逆台形	22	(10)	18	2.5Y3/2					
3024 P		B5-M9・10	不整楕円形	U	29	28	32	2.5Y4/2					
3025 P		B5-M9	不整楕円形	すり鉢	43	36	18	2.5Y3/2					
3026 P		B5-M9	楕円形	U	38	32	20	2.5Y3/2					
3027 P		B5-M9	(円形)	(不整形)	(32)	(26)	10	2.5Y4/2					
3028 P		B5-L・M9・10	不整楕円形	逆台形	43	40	22	2.5Y3/2	○				断面分層
3029 P		B5-L10	円形	U	23	22	16	2.5Y3/2	○				
3030 P		B5-M10	円形	U	14	14	12	2.5Y3/2					
3031 P		B5-M9・10	楕円形	U	40	35	29	2.5Y3/2					
3032 P		B5-M10	不整楕円形	すり鉢	40	29	18	2.5Y3/2					
3033 P		B5-M10	楕円形	逆台形	31	27	15	2.5Y3/2	○				
3034 P		B5-M10	不整楕円形	U	31	30	20	2.5Y3/2	○				
3035 P		B5-M10	不整楕円形	U	45	35	26	2.5Y3/2	○				
3036 P		B5-M10	楕円形	U	25	22	17	2.5Y3/2					
3037 P		B5-M10	楕円形	U	(45)	36	22	10YR2/1	○				
3038 P		B5-M10	楕円形	(不整形)	48	(22)	29	2.5Y3/2	○				

第7表-16 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値 (cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
3039 P		B5-M10	円形	(不整形)	33	(27)	19	2.5Y3/2					
3040 P		B5-M10	円形	(不明)	34	(11)	17	2.5Y3/2					
3041 P		B5-M10	不整楕円形	U	54	(36)	30	10YR2/1					
3042 P		B5-M10	(不整楕円形)	(不明)	(32)	25	16	2.5Y4/2					
3043 P		B5-M10	不整楕円形	(不整形)	(30)	(21)	17	2.5Y3/2					
3044 P		B5-M10	楕円形	(不整形)	45	35	24	2.5Y4/2					
3045 P		B5-L・M10	楕円形	逆台形	24	21	12	2.5Y4/2					
3046 P		B5-L10	楕円形	U	29	20	16	2.5Y3/2	○				
3047 P		B5-M10	楕円形	U	53	41	34	2.5Y3/2					
3048 P		B5-M10	楕円形	(不明)	(25)	22	12	2.5Y3/2					
3049 P		B5-M10	楕円形	すり鉢	30	26	17	2.5Y3/2					
3050 P		B5-M10	不整楕円形	すり鉢	45	32	14	10YR2/1	○				
3051 P		B5-M10	楕円形	(不明)	(17)	17	17	10YR2/1					
3052 P		B5-M10	楕円形	U	31	27	19	2.5Y3/2					
3053 P		B5-M10	楕円形	U	38	33	48	10YR2/1	○				本陶(図3)
3054 P		B5-M10	(円形)	(不明)	30	(18)	22	2.5Y3/2					
3055 P		B5-M10	楕円形	U	34	27	19	2.5Y3/2					
3056 P		B5-L・M10	不整楕円形	U	29	28	22	2.5Y3/2	○				
3057 P		B5-M10	楕円形	不整形	(38)	38	32	2.5Y3/2					
3058 P		B5-M10	円形	長台形	25	(18)	27	2.5Y4/2			●		青磁
3059 P		B5-L・M10	不整楕円形	逆台形	28	26	18	2.5Y3/2					
3060 P		B5-L10	楕円形	U	27	23	15	2.5Y3/2	○				
3061 P		B5-L10	楕円形	すり鉢	28	26	12	2.5Y3/2					
3062 P		B5-L10	不整楕円形	U	28	22	22	2.5Y3/2					
3067 P		B5-L8・9	円形	逆台形	34	33	17	10YR2/1	○				
3068 P		B5-L8・9	円形	不整形	54	48	25	2.5Y3/2					
3069 P		B5-L9	楕円形	U	36	22	20	10YR2/1			●		染付(図10)
3071 P		B5-L9	楕円形	すり鉢	49	45	17	10YR2/1	○				
3072 SK		B5-L9	楕円形	逆台形	64	57	41	2.5Y3/2					
3073 P		B5-L9	(不整形)	(不明)	21	(16)	9	10YR2/1					
3075 P		B5-L9	楕円形	不整形	18	16	9	2.5Y3/2					
3076 P		B5-L9	不整形	不整形	41	23	23	10YR2/1			漏斗状		
3078 P		B5-L9	楕円形	U	32	29	26	2.5Y3/2			●		青磁
3079 P		B5-L9	円形	すり鉢	17	17	9	2.5Y3/2					
3080 P		B5-L9	楕円形	逆台形	33	25	20	10YR2/1			断面分層		
3081 P		B5-L9	不整楕円形	不整形	40	36	26	10YR2/1					
3082 P		B5-L9	円形	逆台形	18	17	10	10YR2/1					
3083 P		B5-L9	不整楕円形	U	43	32	22	10YR2/1	○				
3084 P		B5-L9	(隅丸方形)	(不明)	(18)	(13)	11	2.5Y3/2					
3085 P		B5-L9	楕円形	U	31	22	35	10YR2/1					
3086 P		B5-L9	楕円形	不整形	45	(28)	27	10YR2/1			漏斗状	●	青磁
3087 P		B5-L9	楕円形	U	16	14	9	2.5Y3/2					
3088 P		B5-L9	楕円形	U	34	29	17	10YR2/1					
3089 P		B5-L9	楕円形	逆台形	35	30	21	2.5Y3/2					
3090 P		B5-L9	円形	すり鉢	28	26	14	2.5Y3/2					
3091 P		B5-L9	楕円形	(不明)	(50)	34	29	2.5Y3/2			●		青磁
3092 P		B5-L9	円形	U	35	31	35	2.5Y3/2					
3093 P		B5-L9	不整楕円形	逆台形	54	35	16	2.5Y3/2					
3095 P		B5-L9	楕円形	U	18	16	11	10YR2/1					
3096 P		B5-L9	楕円形	V	23	17	26	2.5Y3/2					
3097 P		B5-L9	不整楕円形	(不明)	20	(9)	12	2.5Y4/2					
3098 P		B5-L9	楕円形	逆台形	21	18	13	2.5Y3/2					
3099 P	SB13	B5-L9	不整楕円形	U	36	33	34	10YR2/1					
3100 P		B5-L9	楕円形	U	48	40	32	2.5Y3/2					
3101 P		B5-L9	楕円形	(不明)	26	(14)	13	2.5Y3/2					
3102 P		B5-L9	楕円形	不整形	58	52	41	2.5Y3/2			漏斗状		
3103 P		B5-L9	楕円形	U	21	20	16	2.5Y3/2					
3104 P		B5-L9	不整楕円形	U	36	32	27	2.5Y3/2	○				
3105 P		B5-L9	楕円形	(不明)	40	(19)	14	2.5Y3/2	○				
3106 P		B5-L9	楕円形	逆台形	27	21	14	10YR2/1					
3107 P		B5-L9	楕円形	U	32	(21)	12	2.5Y3/2	○				
3109 P		B5-L9	隅丸三角形	不整形	40	36	28	2.5Y3/2					
3110 P		B5-L9	不整楕円形	(不明)	65	(40)	19	2.5Y3/2			断面分層		
3112 P		B5-L9	楕円形	不整形	39	34	34	10YR2/1			漏斗状		
3113 P		B5-L9	不整楕円形	すり鉢	34	32	14	2.5Y3/2					
3114 P		B5-L9	楕円形	すり鉢	35	(32)	10	10YR2/1					
3115 P		B5-L9	(楕円形)	(逆台形)	50	(33)	21	2.5Y3/2			断面分層		
3116 P		B5-L9	楕円形	(不明)	54	(11)	6	2.5Y3/2	○				
3117 P		B5-G14	楕円形	U	28	28	13	10YR2/1					
3120 P		B5-L8	楕円形	すり鉢	41	35	11	2.5Y3/2					
3121 P		B5-L8	楕円形	U	37	32	30	10YR2/1					
3123 P		B5-L8	不整楕円形	逆台形	36	31	11	10YR2/1					
3124 P		B5-L8	不整楕円形	U	29	28	23	2.5Y3/2			●		褐釉
3125 P		B5-L8	楕円形	長台形	15	15	16	2.5Y3/2					
3127 P		B5-L8	不整楕円形	逆台形	38	32	22	2.5Y3/2					
3128 P		B5-L8	楕円形	(不明)	23	(16)	6	2.5Y3/2					
3129 P		B5-L8	不整楕円形	不整形	35	29	16	2.5Y3/2					
3130 P		B5-L8	円形	(不整形)	23	(17)	18	10YR2/1	○				
3133 P		B5-L9	楕円形	U	27	22	18	2.5Y3/2	○				
3134 P		B5-L9	楕円形	(不整形)	36	(20)	21	2.5Y3/2					
3135 P		B5-L9	(円形)	(不明)	16	(8)	18	2.5Y3/2					
3136 P		B5-L9	楕円形	(不明)	46	(29)	19	2.5Y4/2					
3138 P		B5-L9	隅丸三角形	U	28	34	35	2.5Y3/2					
3139 P		B5-K・L9	不整楕円形	長台形	46	43	42	2.5Y3/2					褐釉
3140 P		B5-K9	楕円形	(不明)	26	(23)	15	2.5Y3/2					
3143 P		B5-L9	楕円形	U	29	22	17	2.5Y3/2					
3144 P		B5-L9	楕円形	U	41	32	31	10YR2/1					
3146 SK		B5-K9	楕円形	(不整形)	60	45	67	2.5Y3/2	○		断面分層	●	染付
3147 SK		B5-L9	楕円形	(不整形)	(48)	35	34	2.5Y3/2	○		断面分層		
3148 P		B5-L9	不整楕円形	U	39	(38)	40	10YR2/1	○		断面分層		
3149 P		B5-L9	楕円形	逆台形	26	(14)	12	10YR2/1					
3150 P		B5-L9	楕円形	不整形	43	35	30	2.5Y3/2			漏斗状		
3151 P		B5-L9	不整楕円形	U	29	24	39	10YR2/1					
3152 P		B5-L9	不整楕円形	(不明)	20	(13)	15	2.5Y3/2					
3153 P		B5-L9	楕円形	U	21	18	12	2.5Y3/2	○				
3154 P		B5-L9	不整楕円形	U	48	40	45	10YR2/1			断面分層		
3155 P		B5-L10	楕円形	(不明)	31	(18)	16	2.5Y3/2					
3156 P		B5-L9・10	楕円形	(不明)	32	(18)	12	10YR2/1					
3157 P		B5-L10	(不整楕円形)	不整形	44	(24)	17	10YR2/1	○				
3158 SK		B5-L9	楕円形	すり鉢	140	(54)	11	2.5Y3/2	○				



第7表-17 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値 (cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
3159 P		B5-L10	不整楕円形	U	31	30	21	10YR2/1	○				
3160 P		B5-L10	楕円形	U	51	41	44	2.5Y3/2					
3161 P		B5-L10	(楕円形)	U	(38)	(35)	51	2.5Y3/2					
3162 P		B5-L10	円形	(U)	(28)	27	29	2.5Y3/2					
3163 P		B5-L10	楕円形	すり鉢	56	(31)	33	10YR2/1					ウシorウマ骨片
3165 P		B5-L10	楕円形	逆台形	51	(31)	30	2.5Y3/2					
3166 P		B5-L10	楕円形	長台形	31	28	26	2.5Y3/2					
3167 P		B5-L10	円形	すり鉢	22	22	9	2.5Y3/2					
3168 P		B5-L10	楕円形	U	24	18	12	2.5Y3/2					
3169 P		B5-L10	楕円形	U	19	14	13	2.5Y3/2					
3170 P		B5-L10	楕円形	不整形	35	30	14	2.5Y3/2					
3171 P		B5-L10	楕円形	U	20	(16)	16	2.5Y3/2					
3172 SK		B5-L10	隅丸方形	すり鉢	76	76	28	2.5Y3/2	○		●		青磁
3173 P		B5-L10	楕円形	すり鉢	24	21	12	2.5Y3/2					
3174 P		B5-L10	楕円形	U	25	18	16	2.5Y3/2					
3175 P		B5-L10	不整楕円形	すり鉢	(42)	42	22	2.5Y3/2					
3176 P		B5-L10	円形	不整形	18	18	11	2.5Y3/2					
3177 P		B5-L10	円形	逆台形	24	24	9	2.5Y3/2					
3178 P		B5-L10	楕円形	すり鉢	19	15	11	2.5Y3/2					
3179 P		B5-L10	不整楕円形	長台形	37	26	26	2.5Y3/2	○				
3180 P		B5-L10	隅丸方形	U	57	47	40	2.5Y3/2					
3181 P		B5-L10	円形	長台形	21	19	16	2.5Y4/2					
3182 P		B5-L10	楕円形	すり鉢	18	15	8	2.5Y3/2					
3183 P		B5-L10	不整楕円形	不整形	26	(22)	14	2.5Y3/2					
3184 P		B5-L10	(楕円形)	すり鉢	22	(17)	10	2.5Y4/2					
3185 P		B5-L10	円形	U	36	36	38	2.5Y3/2					
3186 P		B5-L10	不整楕円形	U	34	24	33	2.5Y3/2					
3187 P		B5-L10	楕円形	長台形	(17)	15	19	2.5Y3/2					
3188 P		B5-L10	楕円形	(不整形)	27	(19)	20	2.5Y3/2					
3189 P		B5-L10	不整楕円形	不整形	50	49	48	2.5Y3/2		漏斗状	●		青磁
3190 P		B5-L10	楕円形	すり鉢	23	(18)	11	2.5Y4/2					
3191 P		B5-L10	(楕円形)	(U)	(28)	(24)	43	2.5Y3/2					
3192 P		B5-L10	楕円形	逆台形	38	30	22	2.5Y3/2					
3193 P		B5-L10	不整楕円形	逆台形	39	37	28	2.5Y3/2				●	褐釉
3194 P		B5-L10	(楕円形)	U	(11)	(7)	19	2.5Y3/2					
3195 P		B5-L10	不整楕円形	U	37	24	19	2.5Y3/2	○				
3196 P		B5-L10	楕円形	不整形	39	31	24	2.5Y3/2					
3197 P		B5-L10	楕円形	逆台形	39	31	19	2.5Y4/2	○				
3198 P		B5-L10	楕円形	U	33	(22)	20	2.5Y3/2					
3199 P		B5-L10	楕円形	不整形	42	(36)	21	2.5Y3/2	○				
3200 P		B5-L10	楕円形	U	20	17	31	2.5Y3/2					
3201 P		B5-L10	円形	U	24	24	17	2.5Y4/2					
3202 P		B5-L10	円形	U	25	24	27	2.5Y3/2					
3203 P		B5-L10	不整楕円形	U	45	37	35	2.5Y3/2					
3204 P		B5-L10	楕円形	すり鉢	28	24	13	10YR2/1					
3205 P		B5-L10	円形	(不整形)	51	(36)	44	2.5Y3/2					
3206 P	SB13	B5-L10	不整楕円形	U	23	23	14	10YR2/1	○				
3207 P		B5-L10	楕円形	すり鉢	25	22	11	2.5Y3/2	○				
3208 P		B5-L10	円形	長台形	26	29	24	2.5Y3/2	○				
3209 SK		B5-L10	隅丸三角形	(不明)	152	119	20	10YR2/1	○				
3210 P	SB13	B5-L10	円形	(逆台形)	28	(24)	19	10YR2/1					
3211 P		B5-L10	楕円形	すり鉢	30	26	14	2.5Y3/2					
3212 P		B5-L10	不整楕円形	不整形	44	43	58	2.5Y3/2			断面分層		
3213 P		B5-L10	楕円形	不整形	31	29	22	2.5Y3/2					
3214 P		B5-K-L10	不整楕円形	U	23	23	17	10YR2/1					
3215 P		B5-L10	楕円形	U	18	14	18	2.5Y3/2					
3216 P		B5-L10	不整楕円形	U	52	(43)	52	2.5Y3/2	○				
3217 SK		B5-K-L10	隅丸方形	逆台形	105	84	13	2.5Y3/2	○				
3218 P		B5-L10	楕円形	U	27	20	17	10YR2/1					
3219 P		B5-K10	楕円形	不整形	24	21	31	2.5Y3/2	○				
3220 P		B5-K10	楕円形	(不明)	20	16	11	2.5Y3/2	○				
3221 P		B5-K10	不整楕円形	U	35	31	42	2.5Y3/2	○				褐釉
3222 P		B5-K10	円形	U	18	18	16	10YR2/1					
3223 P		B5-L9	(楕円形)	U	(52)	(31)	46	2.5Y3/2	○				鉄釘
3224 SK		B5-K-L9	隅丸三角形	U	60	45	41	2.5Y3/2	○	断面分層			
3228 P		B5-K9	楕円形	U	35	30	40	10YR2/1					
3229 P		B5-K9	楕円形	(U)	23	(18)	32	2.5Y3/2					
3232 P		B5-K9	楕円形	U	36	31	28	2.5Y3/2					
3233 SK		B5-K9	不整楕円形	逆台形	97	(62)	35	2.5Y3/2	○				
3234 P		B5-K9・10	(楕円形)	不整形	20	(14)	16	2.5Y3/2					
3236 P		B5-K9	楕円形	U	27	20	17	2.5Y3/2					
3237 SK		B5-K9	不整楕円形	すり鉢	54	46	19	2.5Y3/2	○		●		褐釉
3238 P		B5-K9	楕円形	U	30	15	16	2.5Y3/2					
3239 P		B5-K9	楕円形	(不明)	31	(17)	18	10YR2/1					
3240 P		B5-K10	不整楕円形	U	32	31	26	10YR2/1	○				
3241 P		B5-K10	楕円形	U	24	23	41	2.5Y4/2					
3242 P	SB13	B5-K10	楕円形	U	(34)	33	24	2.5Y3/2					
3243 P		B5-K10	不整楕円形	不整形	39	31	25	2.5Y3/2	○				
3244 SK		B5-K10	(楕円形)	(不明)	65	(54)	32	2.5Y3/2	○				
3245 P		B5-K10	楕円形	(不整形)	34	(26)	27	2.5Y3/2	○				
3246 SK		B5-K9・10	楕円形	不整形	(51)	32	30	10YR2/1					褐釉
3247 SK		B5-K9	(円形)	(不整形)	45	(43)	47	10YR2/1		漏斗状	●		青磁
3248 SK		B5-K9	(楕円形)	長台形	41	(37)	41	10YR2/1			●		青磁
3249 P		B5-K9	(円形)	(不整形)	(24)	(19)	19	2.5Y3/2					
3250 P		B5-K10	不整楕円形	長台形	29	26	25	10YR2/1					染付・褐釉
3251 SK		B5-K10	不整楕円形	不整形	73	52	55	10YR2/1	○	漏斗状			褐釉
3252 SK		B5-K10	(楕円形)	(不整形)	(42)	(45)	24	2.5Y3/2	○		●		青磁・褐釉
3253 P		B5-K10	(楕円形)	(不明)	(39)	-	8	2.5Y4/2					
3254 P		B5-K10	楕円形	不整形	47	32	42	10YR2/1	○				
3255 SK		B5-K10	不整楕円形	U	36	(35)	35	2.5Y3/2					褐釉
3256 P		B5-K10	楕円形	U	21	16	15	2.5Y3/2					
3257 P		B5-K10	不整楕円形	逆台形	28	24	11	2.5Y3/2					
3259 SK		B5-K10	楕円形	(不整形)	40	(29)	14	2.5Y3/2	○				
3260 P		B5-K10	不整楕円形	U	38	36	38	2.5Y3/2					
3261 SK		B5-K10	不整楕円形	逆台形	96	(63)	15	10YR2/1	○				染付
3262 P		B5-K10	楕円形	U	16	15	16	2.5Y3/2					
3264 P	SB13	B5-K10	楕円形	U	30	25	36	2.5Y3/2	○				
3265 P		B5-K10	楕円形	U	17	(14)	15	2.5Y3/2	○				
3266 P		B5-K10	(楕円形)	(不明)	21	(14)	26	2.5Y3/2					
3267 P		B5-K10	楕円形	U	15	12	12	10YR2/1					

第7表-18 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値(cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
3268 P		B5-K10	楕円形	U	43	31	32	2.5Y3/2					
3269 SK		B5-K10	楕円形	(V)	(48)	(18)	36	2.5Y3/2			●		青磁
3270 P		B5-K10	不整形	U	(31)	29	32	2.5Y3/2					
3271 P		B5-K10	楕円形	U	20	19	18	10YR2/1					
3272 P		B5-K10	不整形	U	24	23	30	10YR2/1	○				
3273 SK	SB13	B5-K10	楕円形	逆台形	58	38	34	10YR2/1	○				
3274 SK		B5-K10	楕円形	逆台形	(41)	39	24	10YR2/1					
3275 P		B5-K10	不整形	(不整形)	37	29	19	10YR2/1	○				
3276 P		B5-K10	楕円形	逆台形	24	21	10	2.5Y3/2					
3277 P		B5-K10	楕円形	U	22	19	16	2.5Y3/2					
3278 P		B5-K10	楕円形	U	22	(19)	19	2.5Y3/2	○				
3279 P		B5-K10	不整形	U	23	20	31	2.5Y3/2					
3280 P		B5-K10	楕円形	すり鉢	28	26	7	2.5Y3/2					
3282 P		B5-K10	楕円形	U	44	35	47	2.5Y3/2	○				
3283 P		B5-K10	楕円形	U	28	25	28	2.5Y3/2	○				
3284 P		B5-K10	楕円形	(不明)	36	(13)	30	2.5Y3/2	○				
3287 P		B5-K10	円形	U	30	29	27	2.5Y3/2	○				
3288 P		B5-K10	楕円形	U	16	15	12	2.5Y3/2					
3290 P		B5-K10	楕円形	U	20	17	13	10YR2/1					
3292 SK		B5-L9	隅丸三角形	不整形	56	54	52	2.5Y3/2	○	断面分層			
3293 P		B5-L9	不整形	U	46	40	27	10YR2/1	○		●		褐釉
3294 P		B5-L9	(楕円形)	(不明)	23	(16)	17	10YR2/1	○				
3296 SK		B5-K・L9	楕円形	(V)	40	(14)	37	2.5Y3/2					
3297 P		B5-K・L9	円形	逆台形	24	24	15	2.5Y3/2					
3298 P		B5-L9	楕円形	不整形	36	27	21	2.5Y3/2					
3299 P		B5-L9	楕円形	(不明)	24	(16)	9	2.5Y3/2	○				
3300 P		B5-L9	不整形	すり鉢	21	18	11	2.5Y4/2					
3301 P		B5-L9	不整形	すり鉢	45	42	16	2.5Y3/2					
3303 P		B5-L9	楕円形	逆台形	19	16	10	2.5Y3/2					
3304 P		B5-L9	楕円形	すり鉢	39	32	11	2.5Y3/2					
3306 P		B5-L9	楕円形	すり鉢	32	28	14	10YR2/1	○				
3308 P		B5-L9	不整形	U	37	37	22	2.5Y3/2	○				
3309 P		B5-L9	(円形)	(不明)	27	(13)	18	2.5Y3/2					
3310 P		B5-L9	楕円形	逆台形	28	23	13	2.5Y3/2					
3311 P		B5-L9	円形	すり鉢	19	19	11	2.5Y3/2					
3312 P		B5-L9	楕円形	U	30	25	22	2.5Y3/2					
3313 P		B5-K8	楕円形	U	24	19	11	10YR2/1					
3314 P		B5-K8	円形	U	20	20	16	10YR2/1					
3317 SK		B5-K9	楕円形	不整形	69	50	36	10YR2/1			●		青磁
3318 P		B5-K9	楕円形	U	43	34	31	10YR2/1					
3319 P		B5-K9	(楕円形)	(不明)	37	(8)	24	2.5Y3/2					
3320 SK		B5-K9	楕円形	すり鉢	70	52	21	10YR2/1					滑石勾玉(図1)
3321 P		B5-K9	楕円形	すり鉢	38	33	17	2.5Y3/2			●		白磁(図29)
3322 P		B5-K9	楕円形	逆台形	45	34	15	10YR2/1	○				
3324 P		B5-K9	楕円形	(すり鉢)	42	36	17	10YR2/1					
3325 P		B5-L9	楕円形	すり鉢	21	19	11	2.5Y3/2					
3327 P		B5-K9	不整形	U	30	30	19	10YR2/1	○				
3328 P		B5-K9	不整形	U	26	(19)	15	2.5Y3/2					
3329 P		B5-K9	楕円形	(不整形)	25	(21)	17	2.5Y3/2					
3330 P	SB13	B5-K9	楕円形	逆台形	37	32	27	10YR2/1					
3331 P		B5-K9	円形	逆台形	28	27	18	10YR2/1	○				
3332 P		B5-K9	楕円形	逆台形	36	31	20	10YR2/1					
3333 P		B5-K9	不整形	(不明)	28	(21)	10	2.5Y3/2					
3335 P		B5-K9	楕円形	すり鉢	30	26	14	10YR2/1	○				
3336 P		B5-K9	(円形)	(不整形)	21	(15)	11	10YR2/1					
3339 P		B5-K8	楕円形	(不整形)	(38)	(24)	19	2.5Y3/2	○				
3340 P		B5-K8	楕円形	U	32	27	22	2.5Y3/2	○				
3341 P		B5-K8	(楕円形)	U	22	(12)	15	2.5Y3/2					
3343 P		B5-K8	円形	逆台形	26	27	12	2.5Y3/2	○				
3344 SK		B5-K8	不整形	すり鉢	(52)	(39)	12	2.5Y3/2	○				
3349 P		B5-K8・9	不整形	すり鉢	47	23	12	2.5Y3/2					
3350 P		B5-K8	円形	逆台形	27	27	12	2.5Y3/2					
3351 P		B5-K9	不整形	すり鉢	43	42	26	2.5Y3/2	○				
3352 P		B5-K8・9	楕円形	(不明)	38	(28)	21	2.5Y3/2	○				
3353 P		B5-K9	楕円形	U	18	15	19	2.5Y3/2			●		青磁
3356 SK		B5-K8	(楕円形)	不整形	80	(40)	60	2.5Y3/2			●		染付(図31)
3358 P		B5-K8	円形	すり鉢	19	19	10	2.5Y3/2					
3360 P		B5-K8	円形	U	30	30	36	10YR2/1					
3361 P		B5-K8	楕円形	(不明)	32	(27)	33	2.5Y3/2					
3362 SK		B5-K8	不整形	逆台形	25	22	15	2.5Y3/2					
3365 P		B5-K8	不整形	U	17	17	20	2.5Y3/2					
3366 P		B5-K8	楕円形	(U)	20	(18)	15	2.5Y3/2					
3368 P		B5-K8	楕円形	U	33	25	16	10YR2/1					
3370 P		B5-K8	不整形	U	28	26	28	2.5Y3/2					
3372 SK		B5-J・K8	楕円形	逆台形	62	52	26	2.5Y3/2	○				
3373 P		B5-J・K8	(円形)	(不明)	29	(23)	11	2.5Y3/2	○				
3374 P		B5-K8	楕円形	逆台形	36	31	18	10YR2/1					
3375 P		B5-K8	楕円形	逆台形	36	32	12	2.5Y3/2					
3376 P		B5-K9	(不整形)	(不整形)	(10)	-	25	2.5Y3/2					
3377 P		B5-J・K8	楕円形	U	21	19	21	10YR2/1	○				
3378 P		B5-J8	不整形	すり鉢	33	29	24	2.5Y3/2					
3379 P		B5-J8	(円形)	U	20	(18)	21	2.5Y3/2					
3380 P	SA02	B5-J8	円形	U	20	21	27	2.5Y3/2					
3381 P		B5-J9	円形	逆台形	18	17	9	2.5Y3/2					
3382 P		B5-K8	楕円形	すり鉢	19	16	10	2.5Y3/2					
3383 P		B5-K9	楕円形	U	24	21	18	2.5Y3/2					
3384 P		B5-K9	楕円形	逆台形	37	30	19	10YR2/1	○				
3385 P		B5-K9	不整形	すり鉢	53	46	44	2.5Y3/2	○		●		染付(図46)
3386 P		B5-K9	楕円形	逆台形	35	27	16	2.5Y3/2	○				
3387 P		B5-K9	(楕円形)	(不明)	23	(11)	14	2.5Y3/2	○				
3388 P		B5-K9	楕円形	U	41	25	24	2.5Y3/2					
3390 P		B5-K9	不整形	U	30	30	22	2.5Y4/2					
3391 P		B5-K9	楕円形	U	23	19	12	10YR2/1					
3392 P		B5-K9	楕円形	すり鉢	26	22	10	2.5Y3/2					
3393 P		B5-K9	楕円形	U	29	26	25	2.5Y3/2	○				
3394 P		B5-K9	楕円形	U	32	27	38	2.5Y3/2	○				
3395 P		B5-K9	楕円形	V	23	15	27	10YR2/1	○				
3396 P		B5-K9	不整形	すり鉢	24	24	20	10YR2/1					
3397 P		B5-K9	(楕円形)	(不明)	35	(21)	26	10YR2/1					
3399 P		B5-K9	楕円形	U	25	21	19	2.5Y3/2					

第7表-19 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値 (cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
3400 P		B5-K9	楕円形	U	38	35	28	10YR2/1					
3401 P		B5-K9	(楕円形)	(不明)	27	(16)	12	2.5Y3/2	○		●		染付
3402 P		B5-K9	不整楕円形	U	26	21	19	10YR2/1	○				
3403 P		B5-K9	不整楕円形	U	24	22	15	2.5Y3/2					
3404 P		B5-K9	楕円形	U	26	24	15	2.5Y3/2					
3405 P		B5-K9	楕円形	(不整形)	33	(32)	20	2.5Y3/2	○				
3406 P		B5-K9	隅丸三角形	すり鉢	20	19	11	2.5Y3/2					
3410 P		B5-K9	楕円形	逆台形	16	14	7	10YR2/1					
3411 P		B5-K9	楕円形	U	32	27	22	2.5Y3/2					
3412 P		B5-K9	楕円形	すり鉢	34	29	22	2.5Y3/2			●		褐釉・緑釉(図6)
3413 P	SB13	B5-K9	不整楕円形	すり鉢	23	22	11	10YR2/1					
3414 SK		B5-K9	不整形	不整形	92	71	31	2.5Y3/2	○	断面分層			
3416 P		B5-K9	円形	U	21	21	20	10YR2/1					
3417 P		B5-K9	楕円形	U	20	17	14	2.5Y3/2					
3418 P		B5-K9	円形	すり鉢	18	18	9	10YR2/1					
3419 P		B5-K9	不整楕円形	すり鉢	31	29	10	2.5Y3/2					
3420 P		B5-K9・10	楕円形	不整形	44	32	22	2.5Y3/2		漏斗状			
3421 P		B5-K9・10	不整楕円形	すり鉢	43	34	22	2.5Y3/2	○				
3422 P		B5-K10	楕円形	長台形	35	29	25	2.5Y3/2					
3423 P		B5-K10	楕円形	(不整形)	29	(23)	16	2.5Y3/2					
3424 P		B5-K9・10	楕円形	(不整形)	31	(24)	17	2.5Y3/2	○				
3425 P		B5-K10	不整楕円形	U	26	23	28	10YR2/1			●		白磁
3426 P		B5-K10	楕円形	すり鉢	21	(18)	12	2.5Y3/2					
3427 SK		B5-J8・9	(楕円形)	(不明)	100	(77)	23	10YR2/1	○		●		青磁
3428 P		B5-J8	(楕円形)	V	26	(19)	32	2.5Y3/2	○				
3429 P		B5-J8	(楕円形)	U	22	(13)	13	2.5Y3/2	○				
3430 P		B5-J8	不整円形	(不整形)	24	(18)	15	2.5Y3/2					
3431 P		B5-J9	楕円形	U	34	25	21	10YR2/1	○				
3432 P		B5-J9	楕円形	U	25	23	15	2.5Y3/2					
3433 P		B5-J9	円形	U	18	17	15	10YR2/1	○				
3434 P		B5-J9	不整楕円形	不整形	57	36	43	2.5Y3/2	○	漏斗状			
3435 P		B5-J9	円形	U	19	18	15	10YR2/1					
3436 P		B5-J9	円形	U	17	16	12	2.5Y3/2					
3438 P		B5-J9	楕円形	すり鉢	46	32	24	10YR2/1	○				
3440 P		B5-J9	楕円形	U	29	26	15	2.5Y3/2					
3441 P	SB16	B5-J9	隅丸方形	逆台形	43	42	16	2.5Y3/2	○				
3442 P		B5-J9	楕円形	逆台形	24	21	14	2.5Y3/2	○				
3443 P	SA02	B5-J9	楕円形	U	20	18	17	2.5Y3/2					
3444 P	SA02	B5-J9	楕円形	長台形	23	21	22	2.5Y3/2	○				
3445 P	SA02	B5-J9	円形	逆台形	27	24	16	10YR2/1	○				
3446 P		B5-J9	(円形)	U	28	28	24	10YR2/1	○				
3447 P		B5-J8・9	(楕円形)	逆台形	33	28	21	10YR2/1	○				褐釉
3448 P		B5-J9	楕円形	U	25	21	25	10YR3/2	○				
3449 P		B5-J9	円形	すり鉢	17	17	10	2.5Y3/2					
3450 P		B5-J9	不整楕円形	逆台形	53	42	13	10YR3/2	○		●		瓦質
3451 P		B5-J9	円形	すり鉢	16	15	10	2.5Y3/2					
3452 P		B5-J9	円形	逆台形	20	18	11	2.5Y3/2					
3453 P		B5-J9	円形	U	22	20	18	2.5Y3/2					
3455 SK		B5-J9	不整形	不整形	123	55	21	10YR2/1					
3456 P		B5-J9	円形	U	14	12	13	10YR2/1	○				
3457 P		B5-J9	楕円形	U	21	19	16	2.5Y3/2	○				
3459 P	SB16	B5-J9	楕円形	逆台形	37	35	26	2.5Y3/2	○				
3460 P		B5-J9・10	円形	U	26	23	21	2.5Y3/2					
3462 P		B5-J9	円形	U	32	29	32	2.5Y3/2	○				
3463 P		B5-J9	円形	逆台形	24	20	15	2.5Y3/2	○				
3464 P		B5-J9	円形	U	17	17	15	2.5Y3/2					
3465 P		B5-K9	(不整形)	逆台形	15	(11)	7	2.5Y3/2					
3466 P		B5-K9	(不整形)	U	19	(14)	20	10YR2/1					
3467 P	SB16	B5-K9	円形	すり鉢	50	45	21	2.5Y3/2	○		●		沖無
3468 P		B5-K9	楕円形	U	23	19	18	10YR2/1					
3469 P		B5-K9	不整楕円形	不整形	43	40	27	2.5Y3/2	○	漏斗状			
3471 P		B5-K9	隅丸三角形	U	36	33	15	10YR2/1	○				褐釉
3472 P		B5-K9	(不整形)	(不整形)	24	(18)	15	10YR2/1					
3473 P		B5-K9	(不整形)	不整形	38	34	20	2.5Y3/2	○	漏斗状	●		白磁
3474 P		B5-K9	不整楕円形	すり鉢	33	26	11	2.5Y3/2	○				
3475 P		B5-K9	(不明)	(不明)	43	(17)	22	2.5Y3/2					
3476 P		B5-K9	楕円形	すり鉢	34	31	13	10YR2/1	○				
3477 P		B5-K9	楕円形	U	26	20	23	10YR2/1	○				
3478 P		B5-K9	円形	逆台形	20	17	10	2.5Y3/2	○				
3479 P		B5-K9	(不整形)	(不明)	23	(18)	15	10YR2/1	○				
3480 P		B5-K9	楕円形	すり鉢	34	30	19	2.5Y3/2					
3481 P		B5-K9	円形	不整形	41	39	21	2.5Y3/2	○				
3482 P		B5-K9	楕円形	不整形	45	36	15	10YR2/1					
3483 P		B5-K9	不整楕円形	すり鉢	30	28	15	2.5Y3/2	○				
3484 P		B5-K9	不整楕円形	逆台形	39	33	18	10YR2/1	○				
3485 P		B5-J・K9	(楕円形)	(不整形)	29	(25)	7	2.5Y3/2	○				
3486 P		B5-K9	円形	逆台形	11	11	9	10YR2/1	○				
3488 P		B5-K10	(不整形)	(不整形)	39	(17)	55	2.5Y3/2	○				
3489 P		B5-K10	楕円形	U	32	27	24	2.5Y3/2					
3490 P		B5-K10	円形	逆台形	30	25	15	2.5Y3/2					
3491 P		B5-J・K10	楕円形	逆台形	27	21	10	2.5Y3/2					
3494 P		B5-J10	楕円形	逆台形	44	29	37	2.5Y3/2	○				
3495 P		B5-J・K10	(不整形)	(不明)	36	(35)	32	2.5Y3/2			●		本陶(図11)
3496 P		B5-J10	円形	すり鉢	20	18	11	2.5Y3/2					
3497 P		B5-J10	円形	すり鉢	21	20	12	2.5Y3/2					
3498 P		B5-J10	楕円形	皿	21	14	7	2.5Y3/2	○				
3499 P		B5-J10	楕円形	すり鉢	17	14	9	2.5Y3/2	○				
3500 P		B5-K10	円形	U	30	25	27	2.5Y3/2					
3501 P		B5-J・K10	(不整形)	(不明)	33	(16)	22	10YR2/1	○				
3502 P		B5-J10	円形	すり鉢	16	14	8	2.5Y3/2					
3503 P		B5-J10	隅丸三角形	U	34	34	25	2.5Y3/2	○				
3507 SD	流路2	B5-I~P6~11	-	-	-	-	-	-			●	●	青磁(図29)・褐釉(図19・40)・沖無(図23)
3508 SD	流路1	B5-N~P6・7	-	-	-	-	-	-					
3509 P		B5-J9	楕円形	不整形	51	39	46	10YR2/1	○	断面分層			
3511 P	SA02	B5-J9	円形	U	25	23	17	10YR2/1	○				
3512 P		B5-J9	(円形)	(不整形)	(43)	43	39	10YR2/1		漏斗状			
3513 P		B5-J9	不整楕円形	逆台形	28	23	18	2.5Y3/2					
3514 P	SB16	B5-J9	隅丸方形	逆台形	73	59	24	10YR2/1			●		青磁(図50)
3515 P		B5-J9	楕円形	U	22	20	15	10YR2/1					
3516 P		B5-J9	不整楕円形	U	47	46	30	10YR2/1	○		●		染付(図33)

第四章 2



第7表-20 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値 (cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
3517 SK		B5-J9	(不整形)	(不明)	60	(32)	62	10YR2/1			●		青磁
3518 P		B5-J9	円形	逆台形	31	30	20	2.5Y3/2	○				
3519 P		B5-J9	(楕円形)	(不整形)	(37)	35	61	2.5Y3/2		漏斗状	●		青磁・染付・褐釉
3520 P	SA02	B5-J9	不整形円形	U	25	23	17	2.5Y3/2	○				
3521 P		B5-J9・10	楕円形	不整形	40	31	47	2.5Y3/2	○				
3522 P		B5-J10	楕円形	U	22	17	18	10YR2/1					
3523 P		B5-J10	円形	すり鉢	26	23	11	10YR2/1	○				
3524 P		B5-J10	楕円形	U	14	12	9	10YR2/1					
3525 P		B5-J10	隅丸方形	U	45	37	51	2.5Y3/2	○		●		青磁・褐釉
3526 P		B5-J10	楕円形	U	29	23	45	10YR2/1	○				
3527 P		B5-J10	円形	長台形	22	20	30	10YR2/1					
3528 P		B5-J9・10	円形	U	42	37	34	10YR2/1					
3529 P		B5-J10	楕円形	逆台形	44	38	30	10YR2/1	○		●		褐釉
3530 P		B5-J10	(不整形)	(すり鉢)	43	(39)	24	10YR2/1	○				
3532 P		B5-J10	円形	U	26	24	22	2.5Y3/2					
3533 P		B5-J10	隅丸方形	逆台形	44	39	25	10YR2/1					
3534 P		B5-I・J10	楕円形	U	41	37	24	2.5Y3/2	○				
3535 P		B5-J10	円形	U	29	31	33	2.5Y3/2	○		●		青磁
3536 P		B5-J10	円形	U	21	21	17	10YR2/1					
3537 P		B5-J10	円形	U	26	22	32	10YR2/1					
3538 P		B5-J10	楕円形	逆台形	51	41	29	2.5Y3/2	○				
3539 P		B5-J10	不整形円形	U	29	24	18	10YR3/2					
3540 P		B5-J10	隅丸方形	2段状	52	42	24	2.5Y3/2	○	断面分層			
3542 P		B5-J10	円形	U	23	21	15	2.5Y3/2					
3543 P		B5-J10	(楕円形)	(不明)	36	(27)	14	2.5Y3/2					
3544 P		B5-J10	(不整形)	皿	25	(16)	6	2.5Y3/2					
3545 P		B5-J10	円形	皿	20	18	7	10YR2/1	○				
3546 P		B5-J10	円形	U	35	29	41	2.5Y3/2	○		●		染付
3547 P		B5-J10	楕円形	U	34	25	35	2.5Y3/2	○				
3549 P		B5-J10	円形	U	18	17	19	10YR2/1					
3550 P		B5-J10	楕円形	U	38	32	32	10YR2/1	○				
3551 P		B5-J10	(円形)	(不整形)	48	(38)	37	10YR2/1	○				
3553 P		B5-J10	円形	U	41	40	29	2.5Y3/2					
3555 P		B5-J10	円形	すり鉢	24	20	11	2.5Y3/2					
3556 P		B5-J10	円形	逆台形	45	44	20	2.5Y3/2	○		●		青磁
3557 P		B5-J10	円形	U	27	25	32	2.5Y3/2	○				
3558 P		B5-J10	(不整形)	(不明)	35	(25)	31	2.5Y3/2	○				
3559 P		B5-J10	(不整形)	(不明)	(42)	(28)	42	2.5Y3/2	○				刀子(図4)
3560 P		B5-J10	円形	長台形	20	18	22	10YR2/1	○				
3561 P		B5-J10	円形	長台形	16	15	20	10YR2/1			●		青磁
3562 P		B5-J10	楕円形	U	44	45	40	10YR2/1					
3564 P		B5-J10	不整形円形	V	24	22	17	10YR2/1	○				
3565 P		B5-J10	隅丸方形	逆台形	46	40	32	2.5Y3/2	○		●		青磁(図67)
3566 P		B5-J10	(不整形)	U	(61)	61	34	2.5Y3/2	○				
3567 P		B5-I・J10	(不整形)	すり鉢	57	51	24	2.5Y3/2	○				
3568 P		B5-J10	(不整形)	(不明)	20	(11)	12	2.5Y3/2	○				
3569 P		B5-J10	不整形円形	U	45	41	29	2.5Y3/2	○				
3571 P		B5-J10	円形	U	29	26	41	2.5Y3/2	○				
3572 P		B5-J10	(不整形)	逆台形	71	(34)	55	2.5Y3/2	○		●		染付(図40)
3573 P		B5-J10	(不整形)	(不明)	42	(20)	19	2.5Y3/2	○		●		褐釉・本磁
3574 P		B5-J10	楕円形	U	19	17	40	2.5Y3/2					
3575 P		B5-I・J10	楕円形	U	29	26	30	2.5Y3/2					
3576 P		B5-I・J10	円形	逆台形	30	29	11	2.5Y3/2	○				
3577 P		B5-J10	円形	すり鉢	31	30	14	2.5Y3/2	○				
3578 P		B5-J10	楕円形	すり鉢	53	42	22	2.5Y3/2	○				
3579 P		B5-J10	楕円形	長台形	34	29	40	2.5Y3/2			●	●	染付(図11)・沖無・鉄釘
3580 P		B5-J10	(楕円形)	(不整形)	(70)	62	29	2.5Y3/2	○				
3581 P		B5-J10	円形	U	25	24	27	2.5Y3/2	○				
3582 P		B5-J10	楕円形	V	24	20	22	2.5Y3/2	○				
3583 P		B5-J10	(不整形)	(不明)	22	(10)	9	2.5Y3/2					
3584 P		B5-I7	(不整形)	U	(68)	38	23	2.5Y3/2	○		●		本陶
3585 P	SB08	B5-I8	円形	U	39	34	48	2.5Y3/2	○	断面分層			褐釉
3586 P		B5-I8	円形	すり鉢	31	27	12	10YR2/1	○				
3587 P		B5-I8	(楕円形)	(不整形)	47	35	32	10YR2/1		漏斗状			
3589 P		B5-I8	隅丸方形	U	42	38	37	10YR2/1					
3590 P		B5-I・J8	楕円形	逆台形	50	40	16	10YR2/1					
3591 P		B5-I・J8	(不整形)	U	27	(15)	17	2.5Y3/2					
3592 P		B5-I8	(不整形)	逆台形	33	(32)	21	2.5Y3/2					
3593 SK		B5-I8	(不整形)	(不明)	55	(52)	38	10YR2/1	○		●		青磁(図17)
3594 P		B5-I8	不整形楕円形	すり鉢	46	34	10	10YR2/1	○				
3595 P		B5-I8	(不整形)	(不明)	25	(20)	8	10YR2/1					
3597 P		B5-I8	隅丸三角形	不整形	33	32	22	10YR2/1		漏斗状			
3598 SK		B5-I8	(楕円形)	不整形	51	(39)	25	2.5Y3/2	○				
3599 SK		B5-I8	隅丸三角形	すり鉢	42	40	20	10YR2/1					
3600 SK		B5-I8	(隅丸方形)	(すり鉢)	57	52	20	2.5Y3/2	○		●		半練(図44)
3601 SK		B5-I8	楕円形	U	40	36	19	2.5Y3/2	○				
3603 P		B5-I8	楕円形	逆台形	33	27	12	2.5Y4/2					
3604 P	SB08	B5-I8	隅丸方形	U	41	37	32	2.5Y3/2	○				
3605 P		B5-I8	不整形円形	U	37	33	19	10YR2/1					
3606 P		B5-I8	円形	V	16	16	16	10YR2/1					
3607 P		B5-I8	楕円形	U	56	44	49	10YR2/1					
3609 P		B5-I8	円形	U	21	18	15	10YR2/1					
3610 SK		B5-I8	楕円形	すり鉢	75	40	12	10YR2/1	○				
3611 P		B5-I8	円形	不整形	35	34	22	10YR2/1	○				
3612 P	SB08	B5-I8	(不整形)	(不明)	(44)	(28)	21	10YR2/1	○				
3613 SK		B5-I8	(不整形)	(すり鉢)	(32)	(32)	14	10YR2/1	○				
3614 P		B5-I7	楕円形	U	29	26	20	2.5Y3/2	○				
3616 P		B5-I8	隅丸方形	不整形	64	50	24	2.5Y3/2	○	漏斗状	●	●	褐釉・鉄絵・沖施・不明陶器
3617 P		B5-I8	円形	U	26	22	16	10YR2/1	○				
3618 P		B5-I8	隅丸方形	U	39	38	30	10YR2/1	○				
3619 P		B5-I8	円形	すり鉢	28	23	11	10YR2/1	○				
3620 P		B5-I8	不整形円形	不整形	30	26	12	10YR2/1	○				
3621 P		B5-I8	(不整形)	皿	18	(11)	5	2.5Y4/2					
3622 P	SB07	B5-I8	楕円形	逆台形	35	30	12	10YR2/1					
3623 P		B5-I8	(楕円形)	不整形	71	35	22	2.5Y3/2					
3624 P		B5-I8	隅丸方形	U	29	28	27	2.5Y3/2					
3625 SK		B5-I8	(隅丸方形)	不整形	41	38	20	10YR2/1					
3626 P		B5-I8	隅丸方形	U	30	28	24	10YR2/1					
3627 P	SB08	B5-I8	円形	皿	25	24	5	10YR2/1	○				
3628 P	SB08	B5-I8	(楕円形)	すり鉢	42	(34)	18	10YR2/1	○				

第7表-21 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値 (cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
3629 P		B5-18	楕円形	U	47	39	26	10YR2/1					
3630 P		B5-18	円形	すり鉢	23	22	9	10YR2/1					
3631 P		B5-18	不整形	逆台形	41	38	15	10YR2/1	○				
3632 SK		B5-M10	(不整形)	(不明)	(30)	28	13	2.5Y3/2	○		●		青磁(図64)・褐釉
3633 P		B5-G10	不整形	U	64	61	43	10YR2/1	○				
3634 SK		B5-G・H10	(不整形)	(不明)	85	74	38	10YR2/1					
3635 P		B5-G・H10	円形	U	38	37	23	2.5Y3/2	○				
3636 P		B5-G・H10	(不整形)	(不整形)	28	(23)	16	10YR2/1					
3637 P		B5-G・H10	楕円形	長台形	29	24	19	2.5Y3/2					
3638 P		B5-G・H10	(不整形)	逆台形	28	(21)	9	10YR2/1					
3639 P		B5-G10	円形	逆台形	20	20	11	2.5Y3/2					
3640 P		B5-H10	隅丸三角形	U	25	23	21	10YR2/1	○				
3642 P		B5-G10	円形	U	26	22	22	10YR2/1					
3646 P		B5-H10	隅丸三角形	逆台形	30	28	9	10YR2/1					
3647 P		B5-H10	(楕円形)	すり鉢	47	33	10	10YR2/1					
3648 P		B5-H10	(不整形)	(すり鉢)	27	(17)	9	2.5Y3/2	○				
3649 P		B5-H10	円形	不整形	48	44	30	2.5Y3/2					漏斗状
3650 P		B5-H10	楕円形	長台形	43	38	33	2.5Y3/2					
3651 P		B5-H10	隅丸方形	U	34	33	22	10YR2/1					
3652 P		B5-H10	(不整形)	(不整形)	36	(23)	23	10YR2/1					
3654 P		B5-H10	楕円形	逆台形	28	22	9	10YR2/1					
3655 P		B5-H10	隅丸三角形	U	26	26	17	10YR2/1					
3656 P		B5-H10	(円形)	(不整形)	26	19	19	10YR2/1					
3657 P		B5-H10	円形	U	25	24	17	10YR2/1					
3658 P		B5-H9	不整形楕円形	U	49	41	24	10YR2/1					
3659 P		B5-H9	(不整形)	(不明)	21	(17)	21	10YR2/1					
3660 P		B5-H9	(隅丸方形)	(不明)	30	(20)	17	10YR2/1					
3661 P		B5-H10	(楕円形)	逆台形	(21)	18	13	10YR2/1					
3663 SK		B5-H10	楕円形	U	33	21	24	10YR2/1	○				
3664 P		B5-H10	楕円形	U	33	26	22	2.5Y3/2					
3665 SK		B5-H10	(楕円形)	不整形	58	(54)	63	10YR2/1	○				
3666 P		B5-H10	楕円形	長台形	40	33	31	10YR2/1	○				
3667 P		B5-H10	円形	U	28	27	20	10YR2/1					鉄鏝(図5)
3668 P		B5-H10	(不整形)	(不明)	(59)	(40)	39	10YR2/1	○				
3669 SK		B5-H10	(不整形)	(不明)	(68)	66	50	10YR2/1	○				漏斗状
3670 P		B5-H10	(不整形)	U	36	(25)	21	10YR2/1					
3671 P		B5-H10	楕円形	逆台形	55	45	30	2.5Y3/2					
3672 P		B5-H10	(不整形)	(不明)	(22)	(19)	31	10YR2/1					
3674 P	SB07	B5-H9	楕円形	U	50	39	29	10YR2/1	○				
3675 P		B5-H10	楕円形	U	25	19	17	10YR2/1					
3676 P		B5-H9・10	楕円形	U	64	50	26	2.5Y3/2	○				青磁(図26)
3678 P		B5-H10	(隅丸方形)	(不整形)	53	50	39	10YR2/1	○				漏斗状
3679 SK		B5-H・110	(円形)	すり鉢	67	(45)	34	10YR2/1	○				
3680 SK		B5-H・110	(不整形)	(不整形)	73	(64)	54	10YR2/1	○				白磁(図10) 白磁・染付(図35)・褐釉・不明陶器・鉄釘・無文銭(図4)
3681 P		B5-110	円形	U	42	40	30	10YR2/1	○				白磁(図31)・青磁・染付(図28)・褐釉
3682 P		B5-110	楕円形	逆台形	61	44	25	2.5Y3/2					
3683 P		B5-110	円形	逆台形	38	31	18	2.5Y3/2	○				
3684 P		B5-H10	楕円形	U	47	39	25	10YR2/1					青磁(図58)
3685 P		B5-H10	楕円形	すり鉢	63	45	34	10YR2/1	○				褐釉
3686 SK		B5-H10	(不整形)	(不明)	(44)	(15)	35	2.5Y3/2	○				白磁(図32)・褐釉
3687 SK		B5-H・110	(不整形)	(2段状)	(82)	(56)	59	2.5Y3/2	○				漏斗状
3688 P		B5-H10	(不整形)	(不明)	37	(18)	15	2.5Y3/2					
3689 P		B5-H10	円形	U	37	34	38	2.5Y3/2	○				
3691 P		B5-110	楕円形	U	43	39	30	10YR2/1	○				
3693 P		B5-110	円形	U	33	32	36	10YR2/1					
3694 P		B5-110	円形	U	40	35	36	10YR2/1	○				染付・褐釉
3695 P		B5-110	円形	U	39	36	26	2.5Y3/2	○				
3696 P		B5-110	(不整形)	(不明)	(38)	(24)	22	10YR2/1	○				褐釉(図7)
3697 P		B5-110	(不整形)	(不明)	(25)	(9)	20	10YR2/1					
3698 P		B5-110	円形	U	16	16	22	10YR2/1	○				
3699 SK		B5-110	(楕円形)	逆台形	77	56	31	10YR2/1	○				
3700 P		B5-110	楕円形	U	46	39	19	10YR2/1	○				白磁
3701 P		B5-110	(楕円形)	U	29	(25)	19	10YR2/1	○				青磁
3702 P		B5-H10	不整形楕円形	U	27	24	31	10YR2/1					
3703 SK		B5-110	(不整形)	(不明)	63	(28)	28	2.5Y3/2	○				
3704 P		B5-110	(不整形)	(不明)	25	(17)	15	10YR2/1					
3705 P		B5-110	(不整形)	長台形	74	(34)	73	10YR2/1					青磁・染付
3706 P		B5-110	円形	すり鉢	33	33	18	10YR2/1	○				
3707 SK		B5-110	(楕円形)	すり鉢	62	44	22	10YR2/1	○				
3708 P		B5-H10	円形	U	35	35	23	10YR2/1					
3709 SK		B5-H10	(楕円形)	逆台形	48	(35)	26	10YR2/1	○				
3710 SK		B5-H10	(不整形)	(不整形)	65	(47)	46	10YR2/1	○				漏斗状
3711 P		B5-H9・10	楕円形	長台形	30	26	31	10YR2/1	○				
3714 SK		B5-H・110	(不整形)	不整形	94	(68)	59	10YR2/1	○				漏斗状
3715 P		B5-110	(円形)	U	36	34	32	10YR2/1	○				
3716 P		B5-110	(不整形)	(不明)	35	(14)	19	10YR2/1	○				
3718 P		B5-H10	(不整形)	(不明)	(45)	39	24	10YR2/1					
3719 P		B5-H10	(不整形)	(不整形)	41	(31)	31	10YR2/1	○				
3720 P		B5-H9	円形	U	34	29	26	10YR2/1	○				
3722 P		B5-H9	円形	U	31	27	22	10YR2/1					染付・褐釉
3724 P		B5-H9	楕円形	逆台形	33	30	14	10YR2/1					
3726 P		B5-H9	隅丸方形	逆台形	29	25	18	10YR2/1					褐釉
3727 P		B5-H9	楕円形	逆台形	57	49	20	10YR2/1					
3728 P		B5-H9	円形	長台形	36	35	29	10YR2/1					青磁
3729 SK		B5-H9	(隅丸三角形)	(不明)	56	(31)	26	2.5Y3/2					
3730 P		B5-H9	円形	すり鉢	20	20	11	2.5Y3/2					
3731 P		B5-H9	不整形	U	47	36	34	10YR2/1	○				断面分層
3732 P		B5-H9	(隅丸方形)	(不明)	53	(35)	21	10YR2/1	○				青磁 褐釉
3733 P		B5-H9	(楕円形)	長台形	25	(25)	20	2.5Y3/2					
3734 P		B5-H9	円形	U	33	30	30	10YR2/1	○				
3735 P		B5-H9	円形	U	22	20	14	10YR2/1					
3738 P		B5-H9	円形	長台形	22	21	18	2.5Y3/2					
3739 P		B5-H9	隅丸方形	逆台形	41	49	20	10YR2/1	○				
3740 P		B5-H・110	楕円形	U	56	43	40	2.5Y3/2					褐釉
3741 P		B5-19	楕円形	長台形	62	47	61	10YR2/1	○				白磁・沖施
3742 P		B5-19・10	楕円形	逆台形	56	38	20	10YR2/1	○				
3743 P		B5-19・10	(円形)	(U)	25	(20)	26	10YR2/1	○				
3744 P		B5-110	楕円形	U	34	24	34	10YR2/1	○				鉄釘(図8)
3745 P		B5-110	(不整形)	(不整形)	25	(17)	41	10YR2/1					

第四章 2

第7表-22 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値 (cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
3746 SK		B5-19	(隅丸三角形)	不整形	80	67	46	2.5Y3/2	○		●	●	青磁・褐釉・沖無
3747 SK		B5-H9	(楕円形)	(不整形)	(39)	30	56	10YR2/1	○	漏斗状			
3749 P		B5-19	(不整形)	U	27	(14)	22	2.5Y3/2					
3751 P		B5-H9	(円形)	(U)	28	(28)	24	10YR2/1				●	染付
3752 SK		B5-H9	(不整形)	(不明)	(52)	(39)	32	2.5Y3/2					
3753 P		B5-H9	楕円形	不整形	64	(41)	42	2.5Y3/2	○	漏斗状			
3754 P		B5-H9	円形	U	34	31	23	2.5Y3/2					
3755 P	SB07	B5-H9	楕円形	U	29	25	21	2.5Y3/2	○				
3756 P		B5-H9	楕円形	逆台形	31	22	15	2.5Y3/2	○				
3757 P		B5-H9	(楕円形)	(不明)	23	(9)	15	10YR2/1	○				
3758 P		B5-110	隅丸方形	U	36	34	34	2.5Y3/2	○				褐釉
3759 P		B5-110	円形	V	21	21	12	10YR2/1					
3760 P		B5-110	不整形円形	U	44	33	24	10YR2/1	○				
3761 P		B5-110	(不整形)	(不明)	52	(32)	28	2.5Y3/2	○				
3762 SK		B5-110	(不整形)	不整形	62	(53)	25	10YR2/1	○		●		青磁
3763 P		B5-110	楕円形	U	36	30	21	10YR2/1	○				
3764 P		B5-110	(隅丸三角形)	U	42	36	39	10YR2/1	○		●		白磁(図36)
3765 SK		B5-110	(不整形)	(不整形)	53	(34)	36	10YR2/1	○	漏斗状	●		青磁
3766 SK		B5-110	(不整形)	(不明)	42	(24)	19	10YR2/1	○				
3767 P		B5-110	(不整形)	(不明)	43	(34)	36	10YR2/1	○				
3769 P		B5-110	円形	すり鉢	37	32	13	2.5Y3/2	○				
3770 P		B5-110	円形	不整形	31	28	35	10YR2/1			●		青磁
3771 P		B5-110	円形	不整形	35	35	37	10YR2/1	○		●		青磁・褐釉
3772 SK		B5-110	不整形	不整形	83	53	42	10YR2/1	○	漏斗状	●	●	青磁(図12)・染付
3775 P		B5-110	(不整形)	逆台形	25	(22)	11	10YR2/1	○				
3776 P		B5-110	(楕円形)	(すり鉢)	48	37	20	10YR2/1	○				
3777 P		B5-110	(楕円形)	U	31	28	26	10YR2/1	○				
3778 P		B5-110	楕円形	すり鉢	34	26	9	10YR2/1	○				
3779 P		B5-110	(不整形)	(不明)	40	(39)	42	10YR2/1	○		●		青磁
3781 P		B5-110	(不整形)	逆台形	48	(21)	39	10YR2/1	○	漏斗状			
3782 P		B5-110	楕円形	不整形	45	35	20	10YR2/1	○				
3784 P		B5-110	楕円形	U	21	17	15	2.5Y3/2					
3785 P		B5-110	(楕円形)	U	61	55	28	10YR2/1	○				
3786 P		B5-19-10	円形	U	24	19	18	10YR2/1	○				
3787 P		B5-19	円形	V	19	16	15	10YR2/1					
3788 P		B5-19	楕円形	(不整形)	16	15	6	10YR2/1					
3789 P		B5-110	楕円形	逆台形	47	37	18	10YR2/1	○				
3790 SK		B5-110	(不整形)	逆台形	(54)	(41)	28	10YR2/1	○		●		白磁(図34)・鉄製品(図9)
3793 P		B5-19-10	楕円形	U	44	38	25	10YR2/1	○				
3794 P		B5-110	(不整形)	(不明)	37	(26)	16	10YR2/1	○				
3795 SK		B5-19-10	(不整形)	(不明)	(79)	55	15	10YR2/1	○				
3796 SK		B5-19-10	(不整形)	逆台形	67	(46)	16	10YR2/1	○		●		青磁・染付
3797 SK		B5-110	(不整形)	U	59	(46)	51	10YR2/1	○				ガラス玉(図1)
3798 SK		B5-110	(不整形)	(不明)	44	(33)	40	10YR2/1	○				
3799 SK		B5-110	(不整形)	(不明)	64	(52)	22	10YR2/1	○				ウシorウマ骨片
3800 P		B5-19	円形	逆台形	28	25	10	10YR2/1	○				
3801 SK		B5-19	(不整形)	(U)	66	(40)	31	10YR2/1	○		●		褐釉・瓦質
3802 P		B5-19	楕円形	U	29	22	13	10YR2/1	○				
3803 SK		B5-19	(不整形楕円形)	U	71	(49)	32	2.5Y3/2	○				
3804 P		B5-19	(不整形)	長台形	26	(21)	32	2.5Y3/2	○				
3806 P		B5-1-19	隅丸三角形	すり鉢	59	55	20	10YR2/1	○				
3808 P		B5-110	円形	U	34	32	30	10YR2/1	○	根石			
3809 P		B5-19-10	(不整形)	(不明)	22	(9)	27	2.5Y3/2	○				
3810 P		B5-19	(不整形)	(U)	31	(23)	23	10YR2/1	○				
3812 P		B5-19	楕円形	U	32	24	30	2.5Y3/2	○				
3815 SK		B5-19-10	楕円形	すり鉢	103	45	24	10YR2/1	○		●		青磁
3817 P		B5-19	(楕円形)	不整形	(86)	(37)	36	10YR2/1	○		●		白磁・青磁・褐釉
3820 P		B5-19	円形	U	42	39	25	10YR2/1	○				銅製品(図2)
3821 P		B5-19	(不整形)	(不明)	29	(11)	17	10YR2/1	○				
3822 P		B5-19	円形	長台形	31	29	27	10YR2/1	○		●		青磁
3823 SK		B5-19	(円形)	(U)	32	(29)	25	10YR2/1	○		●		褐釉
3824 P	SB07	B5-19	楕円形	2段状	38	33	23	2.5Y3/2	○	漏斗状			
3825 P		B5-19	円形	すり鉢	35	31	16	2.5Y3/2	○				
3826 SK		B5-19	(不整形)	逆台形	(40)	(22)	22	10YR2/1	○				
3828 P		B5-19	(不整形)	(長台形)	30	(19)	20	10YR2/1	○				
3829 P		B5-19	(不整形)	U	31	(21)	27	2.5Y3/2	○				
3830 P		B5-19	円形	長台形	38	37	35	10YR2/1	○				
3832 P		B5-19	楕円形	U	49	45	33	10YR2/1	○				褐釉
3833 P	SB07	B5-19	楕円形	不整形	31	24	15	10YR2/1	○				
3834 P		B5-19	円形	すり鉢	22	21	9	2.5Y3/2	○				
3835 P	SB07	B5-19	楕円形	U	31	27	27	10YR2/1	○				
3836 P		B5-19	(不整形)	(不明)	47	(29)	19	10YR2/1	○				
3837 P	SB07	B5-19	(不整形)	U	(34)	30	30	10YR2/1	○				
3838 P		B5-19	楕円形	逆台形	24	19	11	10YR2/1	○				
3839 P		B5-19	(不整形)	(不整形)	34	18	27	10YR2/1	○				
3841 P		B5-19	楕円形	不整形	53	45	24	2.5Y3/2	○	漏斗状			ヒト四肢骨片
3842 SK		B5-19	(不整形)	逆台形	72	(52)	42	2.5Y3/2	○	断面分層	●	●	青磁・白磁(図2)・染付・褐釉・緑釉・本陶(図9)
3843 P		B5-19	円形	逆台形	25	23	11	10YR2/1	○				
3844 P	SB07	B5-19-10	楕円形	逆台形	31	29	13	10YR2/1	○				
3845 P		B5-19	楕円形	逆台形	47	42	29	10YR2/1	○				
3847 P		B5-19	楕円形	不整形	65	28	23	10YR2/1	○				
3848 P		B5-19	(不整形)	U	20	(13)	12	10YR2/1	○				
3849 P		B5-19	(不整形)	不整形	49	(40)	38	10YR2/1	○	漏斗状			
3850 P	SB07	B5-19	(不整形)	逆台形	55	(29)	30	2.5Y3/2	○		●		青磁
3851 P		B5-19	(不整形)	(不整形)	30	(29)	32	10YR2/1	○				
3852 P		B5-19	(不整形)	(不明)	40	(21)	17	10YR2/1	○				
3853 P		B5-19	円形	U	26	25	22	10YR2/1	○				
3854 P		B5-19	円形	逆台形	34	31	13	2.5Y3/2	○				
3855 P		B5-19	円形	すり鉢	29	28	12	2.5Y3/2	○				
3856 P		B5-19	(不整形)	(不明)	31	(17)	15	10YR2/1	○				
3857 P		B5-19	(不整形)	(不明)	29	(17)	12	10YR2/1	○				
3858 P		B5-19	円形	U	31	27	25	10YR2/1	○				
3859 P		B5-H8	円形	U	49	47	30	2.5Y3/2	○				
3860 P		B5-H8	(不整形)	(不明)	(28)	(24)	32	10YR2/1	○				
3861 P		B5-H8	円形	逆台形	25	22	12	10YR2/1	○				
3862 P		B5-H-18	(不整形円形)	(不整形)	41	(33)	30	2.5Y3/2	○				
3863 P	SB07	B5-H8	楕円形	長台形	50	45	40	10YR2/1	○		●		褐釉(図20)
3864 P		B5-H8	円形	長台形	19	18	21	10YR2/1	○				
3865 P		B5-H9	円形	逆台形	22	21	12	2.5Y4/2	○				
3866 P		B5-H9	円形	逆台形	19	17	10	10YR2/1	○				



第7表-23 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値 (cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
3867 P	SB07	B5-H9	隅丸方形	逆台形	16	13	8	10YR2/1					
3868 P		B5-H9	楕円形	逆台形	31	24	11	10YR2/1					
3870 P		B5-H8	円形	すり鉢	24	22	7	10YR2/1					
3871 P		B5-18	楕円形	逆台形	38	33	22	2.5Y3/2					
3872 P		B5-18	(円形)	(不明)	50	(34)	26	2.5Y3/2	○				
3873 P		B5-H・18	(不整形)	(不明)	26	(8)	15	2.5Y3/2					
3874 P		B5-18	円形	長台形	25	24	15	10YR2/1					
3875 P		B5-18	楕円形	逆台形	14	13	7	10YR2/1	○				
3876 P		B5-18	円形	U	39	36	30	10YR2/1	○				
3877 SK		B5-18	(不整形)	(U)	59	(43)	35	10YR2/1	○				
3878 P		B5-17	楕円形	逆台形	45	34	10	2.5Y3/2	○				
3880 P		B5-17	隅丸三角形	不整形	39	31	16	2.5Y3/2					
3882 P		B5-17	楕円形	すり鉢	28	22	12	2.5Y3/2	○				
3883 P		B5-17	(楕円形)	(不整形)	28	27	12	2.5Y3/2	○				
3884 P		B5-17・8	(円形)	(不整形)	28	28	15	2.5Y3/2					
3885 P		B5-18	楕円形	U	23	19	17	2.5Y3/2					
3886 P		B5-18	楕円形	U	22	19	17	2.5Y3/2					
3887 P		B5-18	楕円形	皿	16	13	6	2.5Y3/2					
3888 P		B5-18	円形	すり鉢	16	14	7	2.5Y3/2					
3889 P		B5-18	楕円形	不整形	31	29	21	2.5Y3/2	○				
3890 P	SB08	B5-18	楕円形	(不明)	42	34	22	2.5Y3/2	○				
3891 P		B5-17・8	(不整形)	(不明)	35	14	13	10YR2/1					
3892 P	SB07	B5-19	円形	U	38	32	28	10YR2/1	○		●		白磁・褐釉(図15)
3893 P		B5-19	(楕円形)	(U)	46	(29)	22	10YR2/1	○				
3894 SK		B5-19	(楕円形)	逆台形	72	(34)	31	2.5Y3/2	○		●		青磁(図72)・褐釉
3895 P		B5-19	不整形楕円形	逆台形	22	19	11	10YR2/1	○				
3896 P		B5-19	円形	すり鉢	37	34	20	10YR2/1	○				褐釉
3897 P		B5-19	楕円形	不整形	30	24	22	2.5Y3/2	○				
3898 SK		B5-19	(不整形)	不整形	77	47	33	10YR2/1	○				
3899 SK		B5-19	隅丸三角形	不整形	56	50	22	10YR2/1	○	漏斗状			
3901 SK		B5-19	(楕円形)	(不整形)	(57)	(56)	30	2.5Y3/2	○	漏斗状	●		青磁・褐釉
3903 SK		B5-19	(楕円形)	(不明)	(50)	46	29	10YR2/1		漏斗状			
3904 P		B5-19	楕円形	逆台形	36	25	15	10YR2/1	○				
3905 P		B5-19	(不整形)	(不明)	(26)	(26)	20	2.5Y3/2					鉄製品
3906 P		B5-19	(不整形)	U	(25)	23	17	2.5Y3/2					
3907 P		B5-18	楕円形	長台形	54	46	42	10YR2/1	○				褐釉
3908 P		B5-19	楕円形	U	34	27	15	2.5Y3/2	○		●		白磁(図3)
3909 P		B5-18・9	(不整形)	(不明)	(49)	(37)	18	2.5Y3/2	○				
3910 P		B5-19	(不整形)	すり鉢	(40)	(25)	13	10YR2/1					
3911 P		B5-19	(楕円形)	U	53	46	40	2.5Y3/2	○		●		青磁
3912 P	SB07	B5-19	(不整形)	(不明)	29	(16)	20	2.5Y3/2					
3913 P		B5-18	(不整形)	逆台形	38	33	17	10YR2/1	○				
3914 P		B5-19	隅丸方形	U	28	28	24	10YR2/1	○				
3915 P		B5-19	隅丸方形	U	56	26	48	10YR2/1	○		●		青磁(図42)
3917 SK		B5-19	(楕円形)	不整形	96	80	34	2.5Y3/2	○		●		青磁
3918 SK		B5-19	隅丸方形	U	34	33	38	10YR2/1	○				
3919 P		B5-19	楕円形	U	51	39	30	2.5Y3/2					開元通宝(図2)
3922 P		B5-19	(円形)	U	(34)	(32)	28	2.5Y3/2	○				
3923 P		B5-19	円形	U	21	20	26	2.5Y3/2					
3924 P		B5-19	(不整形)	U	18	(12)	38	10YR2/1	○				
3926 P		B5-19	(楕円形)	(不整形)	45	(38)	36	10YR2/1	○		●		青磁
3927 P		B5-19	楕円形	U	43	34	22	10YR2/1	○				
3928 P		B5-19	(楕円形)	不整形	51	(29)	39	10YR2/1	○	漏斗状			
3929 P		B5-18・9	(楕円形)	(不整形)	41	(19)	48	10YR2/1	○	断面分層			
3930 P		B5-H・18	楕円形	U	41	36	27	2.5Y3/2	○				
3931 SK		B5-18	隅丸三角形	すり鉢	52	51	25	2.5Y3/2	○		●		青磁(図23)
3932 P		B5-18	(不整形)	U	35	(23)	27	2.5Y3/2	○		●		青磁
3933 P		B5-18	(楕円形)	(不整形)	49	(26)	25	2.5Y3/2	○				
3934 SK		B5-18・9	(不整形)	(不明)	(101)	76	56	2.5Y3/2	○				
3935 P		B5-19	(不整形)	すり鉢	41	(21)	15	10YR2/1	○				
3936 P		B5-18	楕円形	U	48	41	30	2.5Y3/2	○		●		青磁(図23)
3937 P		B5-18・9	(不整形)	(不明)	32	(17)	19	10YR2/1					
3938 SK		B5-18・9	(楕円形)	不整形	59	(27)	56	10YR2/1	○	漏斗状	●		青磁
3939 SK		B5-18	(不整形)	(不明)	(63)	(43)	34	2.5Y3/2	○		●		青磁・染付・色絵(図5)
3940 P		B5-18	(円形)	U	19	(17)	17	10YR2/1					
3941 P	SB07	B5-18	楕円形	逆台形	64	31	20	2.5Y3/2					
3942 P		B5-18	楕円形	U	63	42	36	10YR2/1					
3943 P	SB07	B5-18	(円形)	すり鉢	32	(23)	11	10YR2/1	○				
3944 P		B5-18	(不整形)	(U)	(31)	(23)	26	10YR2/1					
3945 P	SB07	B5-18	(円形)	U	33	(29)	33	10YR2/1					
3946 P		B5-19	隅丸方形	不整形	58	41	51	2.5Y3/2	○	漏斗状			
3947 P		B5-19	円形	逆台形	27	25	20	10YR2/1					
3950 P		B5-19	楕円形	逆台形	41	33	21	10YR2/1	○				
3951 P		B5-19	隅丸三角形	U	29	23	18	10YR2/1	○				
3952 P		B5-19	(不整形)	2段状	46	41	28	10YR2/1	○	断面分層			
3953 P	SB07	B5-19	円形	U	23	23	14	10YR2/1	○				
3954 P	SB07	B5-19	円形	U	30	28	16	2.5Y3/2	○				
3955 P		B5-19	楕円形	U	21	16	18	10YR2/1					
3956 P		B5-19	(楕円形)	U	30	24	45	10YR2/1	○				
3957 P		B5-19	(不整形)	(不整形)	(34)	(24)	23	10YR2/1					
3959 P		B5-19	(隅丸三角形)	不整形	47	(46)	32	2.5Y3/2		断面分層			
3960 P		B5-19	(不整形)	U	21	(12)	19	10YR2/1					
3961 SK		B5-1・19	(円形)	不整形	69	67	49	10YR2/1	○	断面分層	●		青磁(図6)
3962 P		B5-19	(円形)	逆台形	41	(37)	21	10YR2/1	○	断面分層			
3963 P		B5-19	(不整形)	(不明)	(20)	(18)	18	10YR2/1	○				
3964 P		B5-19	(不整形)	(不明)	36	(16)	14	10YR2/1			●		青磁
3965 P	SB07	B5-19	円形	U	36	31	22	10YR2/1					
3966 P		B5-19	楕円形	U	36	24	28	10YR2/1	○				
3967 SK		B5-19	(不整形)	すり鉢	108	102	27	10YR2/1	○		●		青磁
3968 P	SB07	B5-19	楕円形	長台形	30	28	29	10YR2/1	○				
3969 P		B5-19	円形	U	24	21	16	10YR2/1	○				
3971 P		B5-19	(隅丸三角形)	(U)	28	(19)	30	10YR2/1	○				
3973 P	SB07	B5-19	楕円形	U	25	21	21	10YR2/1	○				
3974 P		B5-19	円形	U	24	21	21	10YR2/1	○				
3975 P		B5-19	(不整形)	U	38	(34)	40	10YR2/1	○				
3976 P		B5-1・19	楕円形	U	45	28	28	10YR2/1	○				
3977 P		B5-19	(不整形)	U	46	(45)	33	10YR2/1	○		●		青磁
3978 P		B5-19	円形	不整形	27	27	12	10YR2/1					
3979 P	SB07	B5-19	楕円形	U	41	30	22	10YR2/1	○				
3980 P		B5-19	(円形)	U	28	28	23	10YR2/1					



第7表-25 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値 (cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
4106 P		B5-J14	楕円形	すり鉢	53	39	12	2.5Y3/2					
4107 P		B5-J14	楕円形	皿	14	10	5	2.5Y3/1					
4108 P		B5-H12	楕円形	すり鉢	47	29	11	10YR2/2	○				
4109 P		B5-I12	楕円形	すり鉢	51	37	18	2.5Y3/3					
4110 P		B5-J12	円形	皿	17	17	5	2.5Y2/1					
4111 P		B5-I11	円形	U	18	16	11	2.5Y4/3					
4112 P		B5-I11	円形	長台形	33	28	44	2.5Y3/2					
4113 P		B5-I11	(不整形)	(不明)	(33)	(29)	8	2.5Y3/2	○				
4114 P		B5-I11	(不整形)	(不明)	35	(13)	4	2.5Y3/2					
4115 P	SB15	B5-I11	円形	U	38	37	20	10YR2/1	○			●	染付
4117 P		B5-J12	(円形)	U	47	45	23	2.5Y3/1					
4118 P		B5-J12	(楕円形)	(不明)	23	(23)	14	2.5Y3/2					
4119 P		B5-M11	楕円形	U	20	15	16	2.5Y3/2					
4120 P		B5-J11	(不整形)	(不明)	16	(16)	20	2.5Y3/1					
4121 P		B5-I12	(不整形)	(不明)	15	(9)	11	10YR3/1					
4122 SK		B5-K12	(不整形)	U	79	(29)	30	10YR3/2	○				
4123 P		B5-K12	(不整形)	(不明)	36	(16)	30	2.5Y3/2					
4124 P		B5-K12	(不整形)	(不明)	24	(17)	14	2.5Y3/2	○				
4125 P		B5-K12	円形	逆台形	27	24	16	2.5Y3/2	○				
4126 P		B5-K12	楕円形	(不明)	34	26	7	2.5Y3/2	○				
4127 P		B5-K12	(円形)	U	45	(35)	33	2.5Y3/2	○				
4128 P		B5-K12	(不整形)	(不明)	25	12	28	2.5Y3/2					
4130 P		B5-J11	円形	逆台形	26	24	10	10YR3/2					
4131 P		B5-J11	楕円形	すり鉢	31	26	10	10YR2/1					
4132 P		B5-J12	楕円形	すり鉢	20	15	12	2.5Y3/2					
4133 P		B5-K13	楕円形	すり鉢	60	51	18	2.5Y3/1					
4134 P		B5-M10	(不整形)	(U)	(30)	(24)	71	2.5Y3/3				●	沖無
4135 P		B5-M10	楕円形	長台形	39	32	35	2.5Y3/1				●	鉄釘
4136 P		B5-L9	楕円形	不整形	46	43	30	2.5Y3/2				●	本陶
4137 P		B5-L9	(楕円形)	(不明)	(22)	(15)	16	10YR3/2					
4138 P		B5-L9	(不整形)	U	36	16	24	2.5Y3/1					
4139 P		B5-L9	楕円形	U	34	30	25	2.5Y3/3					
4140 P		B5-L9	(不整形)	(不明)	38	(16)	19	2.5Y3/2					
4141 P		B5-L10	楕円形	すり鉢	46	36	10	10YR2/2			●		褐釉 青磁
4142 P		B5-L10	楕円形	U	31	26	38	10YR2/1					
4143 P		B5-L12	(不整形)	(不整形)	44	(35)	17	2.5Y3/1					
4144 P		B5-L12	(楕円形)	(不整形)	67	(36)	34	10YR2/1					
4145 P		B5-L11	楕円形	U	32	26	23	10YR2/2					
4147 P		B5-L10	楕円形	不整形	26	24	10	10YR3/3					
4148 P		B5-K12	楕円形	U	20	18	15	2.5Y3/2					
4149 P		B5-K12	楕円形	すり鉢	23	20	10	2.5Y3/1					
4150 P		B5-K12	楕円形	不整形	22	20	10	10YR3/3			●		染付(図26)
4151 P		B5-K12	楕円形	逆台形	32	31	15	10YR2/1					
4152 P		B5-K9	(不整形)	(不明)	51	(28)	37	10YR3/3					
4153 P		B5-K9	(不整形)	(不明)	54	(19)	22	10YR3/1					
4154 P		B5-L9	(不整形)	(不明)	(35)	(32)	13	2.5Y3/2					
4155 P		B5-L9	(不整形)	U	25	(12)	26	10YR3/3					
4156 P		B5-L8	(不整形)	(不整形)	40	(25)	27	2.5Y3/2					
4157 P		B5-M10	円形	すり鉢	21	21	9	2.5Y3/2					
4158 P		B5-L8	(不整形)	(不明)	20	(7)	17	10YR2/2					
4159 P		B5-18	(不整形)	逆台形	27	(10)	14	10YR3/2					
4160 P		B5-18	(不整形)	(不整形)	(15)	(12)	23	2.5Y3/1					
4161 P		B5-19	円形	すり鉢	28	28	14	10YR3/1					
4162 P		B5-19	(隅丸方形)	(不整形)	45	(21)	34	2.5Y2/1					
4163 P		B5-19	(楕円形)	(不明)	(32)	29	14	2.5Y3/1					
4164 P		B5-19	(不整形)	(不整形)	39	(15)	15	10YR3/1					
4165 P		B5-M10	不整形楕円形	U	24	22	20	2.5Y3/2					
4166 P		B5-M10	(楕円形)	U	41	33	28	2.5Y3/1					
4167 P		B5-M10	(不整形)	(不明)	29	(18)	15	2.5Y3/2					
4168 P		B5-K10	円形	U	29	25	30	2.5Y3/1					
4169 P		B5-K10	不整形	逆台形	35	(28)	27	2.5Y3/1					
4170 P		B5-L10	(円形)	長台形	13	12	12	10YR3/3					
4171 P		B5-M9	楕円形	すり鉢	32	25	18	10YR2/2					
4172 P		B5-H10	円形	U	29	28	30	2.5Y3/2					
4173 P		B5-Q13	(不整形)	U	31	(13)	20	2.5Y3/1					
4174 P		B5-Q14	(不整形)	長台形	26	(18)	25	2.5Y3/2					
4175 SK		B5-Q14	(不整形)	U	20	(17)	25	2.5Y3/1					
4176 P		B5-M10	(円形)	U	34	(28)	53	2.5Y3/1					
4177 P		B5-M10	(円形)	(不明)	35	(24)	11	2.5Y3/1					
4178 P		B5-K10	円形	U	14	13	12	10YR3/3					
4179 P		B5-K10	(不整形)	(不明)	(31)	(8)	19	2.5Y3/2					
4180 P		B5-K10	(不整形)	U	35	(30)	12	2.5Y3/2					
4181 P		B5-K10	(不整形)	(不明)	18	(9)	15	2.5Y3/3					
4182 P		B5-19	楕円形	U	25	22	18	2.5Y3/1					
4184 P		B5-M10	円形	U	18	16	20	2.5Y3/1					
4185 P		B5-19	円形	長台形	29	27	19	2.5Y3/1					
4186 P		B5-19	楕円形	U	24	21	36	2.5Y3/1					
4187 P		B5-K10	(不整形)	U	18	(11)	13	2.5Y3/2					
4188 P		B5-19	円形	長台形	17	15	13	10YR3/3					
4189 P		B5-19	(不整形)	(不明)	21	(11)	10	2.5Y3/1					
4190 P		B5-19	(不整形)	(不明)	(22)	(19)	16	2.5Y3/1					
4191 P		B5-M10	(不整形)	U	23	(19)	18	2.5Y3/2					
4192 P		B5-19	楕円形	長台形	32	26	30	2.5Y3/1					
4193 P	SB13	B5-L9	円形	U	15	13	15	2.5Y3/2					
4194 P		B5-L9	(不整形)	(不明)	12	(8)	8	2.5Y3/1					
4195 P		B5-L9	円形	U	15	12	8	2.5Y3/1					
4196 P		B5-18	(円形)	(U)	32	(25)	22	2.5Y3/1					
4197 P		B5-18	(不整形)	2段状	42	(16)	24	10YR2/1					
4198 P		B5-18	(不整形)	U	41	(34)	26	2.5Y3/1					
4199 P		B5-K10	(不整形)	(不整形)	(13)	(13)	30	2.5Y3/1					
4200 P		B5-K10	(不整形)	(不整形)	(58)	47	52	2.5Y3/1					
4201 P		B5-K10	円形	すり鉢	37	35	20	10YR3/3					
4202 P		B5-K10	楕円形	逆台形	31	24	17	2.5Y3/1					
4203 P		B5-K10	(不整形)	(不整形)	(24)	(20)	25	2.5Y3/1					
4205 P		B5-K10	円形	U	12	11	21	2.5Y3/2					
4206 P	SB07	B5-19	円形	U	18	15	10	10YR3/1					
4207 P		B5-19	楕円形	U	29	26	14	2.5Y3/1					
4208 P	SB07	B5-19	不整形楕円形	すり鉢	32	31	9	10YR3/2					
4209 P		B5-17	(不整形)	逆台形	33	(23)	19	10YR3/1					
4210 P		B5-18	(楕円形)	(不整形)	35	(20)	32	10YR3/1					

第四章 2



第7表-26 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値 (cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
4211 P		B5-I8	楕円形	U	35	32	45	2.5Y3/1					
4212 P		B5-I10	(楕円形)	(U)	45	34	52	2.5Y3/1					
4213 P		B5-H8	円形	U	15	14	17	2.5Y3/1					
4214 P		B5-I8	(不整形)	U	39	(24)	35	10YR2/1			●		青磁
4215 P		B5-I8	隅丸三角形	不整形	58	49	23	2.5Y3/1			●		青磁(図2)
4216 P		B5-I8	(円形)	(U)	31	(23)	22	2.5Y3/1					白磁
4217 P		B5-I8	(楕円形)	U	30	(24)	14	2.5Y3/2					
4218 P		B5-I9	円形	すり鉢	11	10	7	2.5Y3/1					
4219 P		B5-I9	円形	U	28	27	22	2.5Y2/1					
4220 P		B5-L10	(不整形)	U	16	(13)	13	2.5Y3/2					
4221 P		B5-I8	(不整形)	(不明)	31	(21)	19	2.5Y3/2			●		染付
4222 P		B5-I8	(不整形)	U	12	(9)	22	2.5Y3/1					
4223 P		B5-I8	(不整形)	(不明)	44	(20)	22	2.5Y3/1					
4224 P		B5-K10	(不整形)	U	31	(11)	36	2.5Y3/1					
4225 P		B5-K9	楕円形	すり鉢	21	17	8	2.5Y3/2					
4226 P		B5-K9	(不整形)	(不明)	16	(10)	11	10YR3/1					
4227 P		B5-K9	(不整形)	逆台形	21	(9)	14	10YR3/1					
4228 P		B5-K8	(円形)	(不整形)	(26)	(24)	19	10YR3/3					
4229 P		B5-I8	(不整形)	逆台形	(17)	(12)	8	2.5Y2/1					
4230 P		B5-I8	円形	逆台形	31	27	9	2.5Y3/1					
4231 P		B5-I8	楕円形	U	29	21	18	2.5Y3/1					
4232 P		B5-L10	(楕円形)	U	32	(30)	35	10YR3/1					
4233 P		B5-K9	(不整形)	(長台形)	(31)	(28)	32	2.5Y3/1					
4234 P		B5-I9	円形	すり鉢	23	20	11	2.5Y3/2					
4235 P		B5-I9	楕円形	逆台形	24	20	14	2.5Y3/1					
4236 P	SB07	B5-I8	円形	U	15	15	20	2.5Y3/2					
4237 P		B5-K10	円形	U	28	25	37	10YR3/3					
4238 P		B5-K9	(楕円形)	U	26	(18)	22	2.5Y3/1					
4239 P		B5-K9	(楕円形)	U	24	(13)	19	2.5Y3/1					
4240 P		B5-K10	円形	すり鉢	34	31	21	2.5Y3/1					
4241 P		B5-K10	楕円形	V	19	16	19	2.5Y3/1					
4242 P		B5-K10	楕円形	U	31	27	13	10YR3/2					
4243 P		B5-I8	(不整形)	すり鉢	(17)	(15)	12	2.5Y3/1					
4244 P		B5-K10	円形	U	26	23	20	10YR3/2					
4245 P		B5-I9	円形	U	36	31	22	2.5Y3/1					
4246 P		B5-K9	(不整形)	(不明)	19	(10)	10	2.5Y3/2					
4247 P		B5-K10	(不整形)	皿	16	(11)	5	2.5Y3/1					
4248 P		B5-K9	不整形	(不整形)	25	(21)	18	2.5Y3/1					
4249 P		B5-I9	(不整形)	(U)	20	(7)	18	2.5Y3/1					
4250 P		B5-I9	円形	逆台形	17	14	11	2.5Y3/2					
4251 P		B5-I10	(不整形)	(不明)	24	(17)	21	2.5Y3/1					
4252 P		B5-I10	円形	長台形	40	39	28	2.5Y3/1					
4253 P		B5-I9	(不整形)	(不明)	28	(5)	30	2.5Y3/1					
4254 P		B5-I10	(楕円形)	(U)	38	(27)	42	10RR3/1					
4255 P		B5-I10	(不整形)	U	20	(12)	17	10RR3/1					
4256 P		B5-I10	(不整形)	U	14	(6)	14	10RR3/1					
4257 P		B5-I10	円形	U	37	32	29	10YR2/1		断面分層			
4258 P		B5-H10	(円形)	U	30	(19)	22	2.5Y3/1					
4259 P		B5-I10	(隅丸三角形)	(不整形)	58	(51)	66	2.5Y3/1		漏斗状			
4260 P		B5-I10	(不整形)	U	29	(15)	60	2.5Y3/1		断面分層	●		褐釉
4261 P		B5-H10	(不整形)	U	25	(17)	26	2.5Y3/1					
4262 P		B5-H9	(楕円形)	(不明)	(43)	(43)	36	2.5Y3/2					染付・褐釉
4263 P		B5-I9	(不整形)	長台形	58	42	39	2.5Y3/2					褐釉
4264 P		B5-I9	(不整形)	長台形	21	(14)	16	2.5Y3/1					
4265 P		B5-H9	楕円形	すり鉢	34	27	23	2.5Y3/1					
4266 P		B5-H9	(楕円形)	(不明)	24	(14)	22	2.5Y3/1					
4267 P		B5-I9	(不整形)	長台形	20	(9)	16	2.5Y3/1					
4268 P		B5-I9	(円形)	逆台形	55	(22)	33	2.5Y2/1			●		青磁・褐釉
4269 P		B5-I9	(不整形)	(不明)	33	(19)	26	2.5Y3/1					
4270 P		B5-I8	(不整形)	すり鉢	32	(29)	15	10YR3/2					
4271 P		B5-I8	(不整形)	(U)	40	(22)	32	10YR3/2					
4272 P		B5-H10	(不整形)	(不明)	44	(28)	37	10YR3/2					
4273 P	SB03	B5-Q13	(不整形)	(不整形)	41	(27)	26	10YR4/4					褐釉
4274 P		B5-Q14	(隅丸三角形)	(U)	28	25	22	2.5Y4/3					
4275 SK		B5-Q14	(楕円形)	(不明)	70	57	30	2.5Y4/3					
4276 P		B5-I9	不整形楕円形	逆台形	48	42	19	2.5Y3/1					
4277 P	SB02	B5-Q13	円形	すり鉢	39	38	20	2.5Y4/3					
4278 P	SB05	B5-Q14	(不整形)	(不整形)	34	(30)	27	2.5Y4/2					
4279 P		B5-I10	(不整形)	(不明)	28	(19)	37	2.5Y3/1					
4280 P		B5-I9	円形	U	22	22	21	2.5Y3/1					
4281 P		B5-I9	円形	長台形	17	13	18	2.5Y3/1					
4282 P		B5-I9	(不整形)	(不明)	17	(6)	15	2.5Y3/1					
4283 P		B5-I9	(不整形)	(不明)	30	(22)	31	2.5Y3/1					
4284 P		B5-H9	楕円形	逆台形	20	17	9	10YR3/1					
4285 SK		B5-I10	(不整形)	不整形	(77)	(58)	70	2.5Y3/2		断面分層	●	●	白磁・染付(図9)・褐釉
4286 P		B5-I9	(楕円形)	U	19	16	20	10YR3/1					
4287 P		B5-I9	(不整形)	(不明)	23	(15)	22	10YR3/1					
4288 P		B5-H10	円形	U	34	30	21	2.5Y3/1					
4289 P		B5-I9	(不整形)	U	22	(12)	26	2.5Y3/1					
4290 P		B5-I8	円形	U	18	17	13	2.5Y3/3					
4292 P		B5-I9	円形	U	19	17	17	2.5Y3/1					
4295 P		B5-I9	(不整形)	(不明)	18	(8)	22	10YR3/1					
4297 P		B5-H9	(不整形)	U	31	28	23	2.5Y3/2					褐釉
4299 P		B5-H9	(不整形)	不整形	45	(32)	32	2.5Y3/1			●		青磁・ウシorウマ骨片
4300 P		B5-H9	(不整形)	(不明)	22	(12)	18	10YR3/1					
4301 P		B5-H9	(不整形)	(不整形)	30	(21)	30	2.5Y3/2					
4302 P		B5-I10	(楕円形)	逆台形	31	(21)	22	2.5Y3/1					
4303 P		B5-I10	楕円形	U	44	33	37	10YR3/3					
4304 P		B5-H9	楕円形	U	38	26	45	2.5Y3/2					
4305 P		B5-H9	(不整形)	(不明)	32	(15)	16	2.5Y3/1					
4306 P		B5-I10	楕円形	U	26	(15)	32	2.5Y3/1			●		青磁
4307 P		B5-I10	(不整形)	(不明)	36	(19)	35	10YR3/3					
4308 P		B5-H10	(楕円形)	(不整形)	46	(28)	39	2.5Y3/1					
4309 SG	第1号土壇墓	B5-L11	(不整形)	-	80	(53)	20	10YR6/2					
4311 SX		B5-F13	-	-	-	-	-	-					獣骨
4312 SG	第2号土壇墓	B5-L12	楕円形	-	96	78	15	2.5Y7/3					
4314 SG	第3号土壇墓	B5-L-M9	不整形楕円形	すり鉢	100	69	17	10YR7/4					ジャコガイ(副葬品?)
4315 SG	第4号土壇墓	B5-G10	-	-	-	-	-	-					
4318 SK		B5-H16	(不整形)	皿	(129)	119	23	2.5Y4/3					
4500 SK		C5-B18	不整形楕円形	すり鉢	84	56	41	2.5Y4/4			●		染付・本陶



第7表-28 伊礼原D遺跡（油分箇所） 遺構一覧

遺構名		グリッド	形状		測定値 (cm)			埋土			出土遺物		
遺構名	本書中報告名		平面	断面	長	短	深	土色	ブロック混入	柱痕跡	明代	清代	主な遺物
4618 P		B5-R15	円形	皿	28	24	5	2.5Y5/3					
4619 P		B5-R15	楕円形	皿	24	18	7	2.5Y5/3					
4620 P		B5-R15	楕円形	V	29	25	34	2.5Y4/2					
4621 P		B5-R15	楕円形	U	45	37	35	2.5Y4/2					
4622 P		B5-R16	楕円形	U	39	33	27	5Y3/1					
4623 P		B5-R16	円形	逆台形	46	41	20	2.5Y3/1					
4624 P		B5-R15・16	楕円形	逆台形	68	53	31	2.5Y3/1					
4625 P		B5-Q12	楕円形	皿	32	24	10	2.5Y4/2					
4626 P		B5-R15	円形	逆台形	31	31	14	2.5Y3/2	○				
4627 SK	SB06(新)	B5-R15	不整形	逆台形	179	124	69	2.5Y4/3					褐釉
4628 P		B5-R15	不整形楕円形	すり鉢	53	37	16	2.5Y4/3					
4629 P		B5-R15	円形	U	32	29	25	5Y3/2					
4630 P		B5-R15	円形	逆台形	36	30	12	2.5Y5/3					
4631 P		B5-R15	楕円形	逆台形	44	36	23	2.5Y5/3					
4632 P		B5-R14	円形	U	41	33	19	2.5Y5/3					
4633 P		B5-R15	円形	U	22	20	13	2.5Y4/2					
4634 P		B5-R15	楕円形	逆台形	79	55	37	2.5Y4/2					
4635 P	SB06(旧)	B5-Q・R15	円形	U	45	43	52	2.5Y4/2					
4637 P	SB05	B5-R15	楕円形	U	56	47	40	2.5Y4/2					
4638 P		B5-R15	円形	U	24	22	30	2.5Y3/2	○				
4639 SK	SB06(新)	B5-R15	(不整形)	逆台形	(144)	97	59	2.5Y3/2			●	●	青磁・染付・褐釉
4640 P	SB05	B5-Q15	円形	U	35	33	36	2.5Y3/2					
4642 P		B5-Q15	楕円形	逆台形	44	32	20	2.5Y4/3					
4643 P		B5-R15	円形	U	18	18	14	2.5Y3/2					
4644 P		B5-R15	不整形楕円形	長台形	60	42	34	2.5Y4/3					
4645 P		B5-R15	(円形)	U	29	(21)	20	2.5Y4/3					
4646 SK	SB04	B5-Q14	(円形)	すり鉢	76	(61)	20	2.5Y5/2			●		染付(図42)
4647 P		B5-Q14	楕円形	U	29	24	25	2.5Y4/2					
4648 P		B5-R14	円形	逆台形	49	48	37	2.5Y4/2					
4649 P	SB05	B5-R14	円形	逆台形	47	45	31	5Y3/1	○				
4650 P	SB06(新)	B5-R14	円形	U	37	34	35	2.5Y4/2					
4651 SK	SB06(新)	B5-Q・R14	(隅丸方形)	長台形	129	104	80	2.5Y4/2	○		●		青磁
4653 P		B5-Q14	楕円形	U	32	27	22	2.5Y4/2					
4654 P		B5-Q14	円形	すり鉢	27	26	11	2.5Y4/2					
4655 P	SB05	B5-R14	円形	逆台形	51	50	31	2.5Y3/2					
4656 P	SB04	B5-R14	円形	U	35	31	30	2.5Y3/2					
4657 P	SB05	B5-R14	(不整形)	(逆台形)	40	(21)	20	2.5Y3/2					
4658 SK	SB03	B5-Q14	不整形	不整形	62	58	67	2.5Y3/2	○	漏斗状			
4659 P		B5-R14	円形	U	23	21	14	2.5Y4/2					
4660 P		B5-R14	円形	U	31	29	22	2.5Y4/2					褐釉
4661 P		B5-R14	円形	皿	22	19	7	2.5Y4/2					
4662 P	SB04	B5-R14	楕円形	すり鉢	41	29	16	2.5Y3/2	○		●		青磁(図53)
4663 P		B5-R14	円形	すり鉢	30	29	16	2.5Y4/2					
4664 SK	SB06(新)	B5-R14	不整形楕円形	逆台形	134	93	54	2.5Y3/3					
4665 P		B5-R14	円形	皿	30	28	8	2.5Y3/2					
4666 P		B5-R14	円形	U	21	21	21	2.5Y4/2					
4667 P		B5-R13	楕円形	U	41	32	30	2.5Y4/2					
4668 P		B5-Q13	円形	U	34	33	30	2.5Y4/2					
4669 SK		B5-R13	隅丸三角形	皿	106	74	14	2.5Y4/2					
4670 P		B5-R13	円形	U	26	24	12	2.5Y3/2					
4671 P	SB06(旧)	B5-Q14	(不整形楕円形)	2段状	(105)	(78)	89	2.5Y4/2	○	漏斗状			
4673 P		C5-A16	円形	U	23	20	12	5Y3/2					
4674 P		C5-A16	円形	逆台形	37	32	10	2.5Y4/2					
4675 P		C5-A16	円形	すり鉢	31	23	10	2.5Y4/2					
4676 P		C5-A16	円形	不整形	35	19	10	5Y3/2					
4677 SK		C5-A16	不整形円形	逆台形	84	73	25	5Y3/2					
4678 SK		B5-T15	楕円形	皿	100	68	14	2.5Y3/1					
4679 P		B5-T15	円形	V	30	29	15	2.5Y3/2	○				
4680 P		C5-A15	楕円形	すり鉢	45	25	18	2.5Y4/2					
4681 SX		B5-S・T12~15 C5-A14	不整形	逆台形	1504	750	89	2.5Y3/2			●	●	カムイヤギ(図3)・青磁(図39・47)・染付(図12・32・35・46)・褐釉(図6・24・25・28・34・39)・沖無(図11)・不明陶器・鉄製品・鉄釘(図7)・ウソ骨
4682 P		C5-A14	円形	V	34	33	19	2.5Y4/3					
4685 SK	SB05	B5-Q・R14	(円形)	(逆台形)	59	(39)	53	2.5Y3/3					
4686 P		B5-S17	楕円形	2段状	65	43	58	10YR3/2		漏斗状			
4687 SK		B5-S17	(不整形楕円形)	逆台形	97	70	64	2.5Y5/2					
4688 P		B5-T17	円形	長台形	31	29	39	2.5Y4/2					
4689 P		B5-R17・18	(円形)	U	25	(19)	40	10YR3/1					
4691 SK		C5-A14	(不整形)	逆台形	151	135	44	5Y3/1					褐釉
4692 SK		C5-A14	(不整形)	(すり鉢)	75	(47)	22	2.5Y4/4					
4694 SK		B5-Q17・18	不整形	逆台形	136	59	30	10YR3/2					
4695 P		B5-R14	円形	すり鉢	23	22	20	2.5Y3/2					
4696 P		B5-R14	円形	すり鉢	26	22	10	2.5Y3/3					白磁
4697 P		B5-R14	円形	皿	28	24	8	2.5Y3/2					
4698 P		B5-R13	円形	皿	24	20	7	2.5Y4/2					
4699 P		B5-R15	円形	すり鉢	99	75	11	2.5Y4/3					
4700 SG	第5号土壇墓	C5-A15	隅丸方形	逆台形	120	42	13	2.5Y4/2					ガラス土器
4701 P		B5-R14	円形	すり鉢	23	19	11	2.5Y4/2					
4702 P		B5-R14	円形	すり鉢	27	26	12	2.5Y5/3					
4703 P		B5-R14	楕円形	すり鉢	31	27	12	2.5Y3/2					
4704 P		B5-R14	円形	すり鉢	26	24	11	2.5Y4/2					
4705 P		B5-R14	円形	すり鉢	26	20	9	2.5Y4/2					
4706 P		B5-R14	円形	すり鉢	38	37	19	2.5Y4/2					
4707 P		B5-R14	円形	U	53	49	35	2.5Y3/2					
4708 SK	SB06(旧)	B5-R14	(不整形楕円形)	U	162	121	89	10YR3/3					
4709 P		B5-R15	(不整形楕円形)	逆台形	(46)	28	25	2.5Y5/3					
4712 SK	SB06(旧)	B5-R15	(不整形)	逆台形	(94)	(58)	80	2.5Y3/2					
4713 SK	SB06(旧)	B5-Q・R15	(不整形楕円形)	逆台形	(146)	(144)	56	2.5Y3/1			●		青磁・褐釉(図27)
4714 P	SB06(新)	B5-R15	(不整形楕円形)	すり鉢	38	36	31	2.5Y4/3					
4716 P		B5-R18	不整形	すり鉢	31	(14)	13	10YR3/2					
4717 P		B5-R18	楕円形	U	42	31	19	10YR3/2					
4718 P		B5-R18	楕円形	すり鉢	55	29	16	2.5Y3/3					



### 第3節 出土遺物

出土した遺物は自然遺物（脊椎動物遺体・貝類遺体）と人工遺物に分けられる。人工遺物は30種5,474点で、その所属時期は貝塚時代早期～後期、グスク時代、近世、近代～戦前と広い範囲に跨がる。第8表に示した様にⅢ下遺構の出土が多く、次にⅢa・Ⅴb層と続く。出土層位はこれまで報告したキャンプ桑江地区の遺跡同様、貝塚時代後期から戦前まで活動の場であったため、人為的攪乱を受けている。主な文化層は出土遺物からみると、貝塚時代後期とグスクⅡ期～近世が想定される。

以下、貝塚時代後期から近代へとほぼ時代順に遺物を報告する。各々の遺物については出土量と平面分布、主なものを図化し観察一覧を示した。

第8表 遺物 出土量

年代 遺物 層	貝塚時代					グスク時代～近世・近代																	近代～戦前				合 計					
	早期～ 中期土器	後期 土器	石器	貝製品	土製品	グスク・先島土器	カムイヤキ	白磁	青磁	染付	褐釉陶器・半練	輸入陶磁器	その他の	青銅製品	鉄製品	瓦質土器	瓦	円盤状製品	滑石製品	ガラス玉	銭貨（中国銭）	煙管	貝製品	骨製品	鉄滓・焼土	本土産陶器		本土産磁器	沖縄産施釉陶器	沖縄産無釉陶器	陶質土器	本土産磁器
I	1	82	8	4		6		3	19	8	24	1		2	1	7									5	3	2	6	22	5	6	215
II		45	1	4		5		1	7	5	9					2							1		2	1	1	7	1	2	94	
III		4						1	6		1													4		1					17	
IIIa	1	476	14	41	2	18	1	35	104	38	113	3		1		5	3	1				1	4	1	93	7	4	7	63	7	9	1,052
IIIb		250	11	15	2	4		16	71	24	78	2			2								4		25	2	2	5			513	
Ⅲ下遺構	6	509	22	150		29	1	53	177	100	172	3	2	17	2		4	1	1	3	1	48		209	12	7	5	28	1	1	1,564	
IV		48	6	4	1	8		1	30	1	30				2	2							3		3	1		6		1	147	
Va				1																											1	
Vb	9	936	13	40		10		2	8	2	12				4	1												7			1,049	
Vc	18	445		16	2	5	2				1														1						491	
VI(B.R.)	6																														6	
VI	160	54	14	1																											229	
不明		7		16		1		4	9	9	10	1		1		2											1				5	96
合計	201	2,856	89	292	7	86	4	116	431	187	450	10	2	27	8	16	7	2	1	4	3	62	2	372	25	15	22	139	14	24	5,474	

#### (1) 土器

本遺跡は、油分無し地区（2013年度報告）と油分地区に区分され、今回は「油分地区」を報告する。編年表記は、油分無し地区で示した沖縄・九州の時代区分対照表に準じている。

油分地区の土器は総数3057点の出土である。遺物整理の指標のために注記時に重さを量り、平面分布（第50図）に示した。貝塚時代後期の土器が大半で、接合作業によって4個の土器が復元出来た。いずれもくびれ平底系土器である。土器の集中部が見られることから、第50図に出土量の多いグリッドを中心とする区割りを行い、油分無し区に続いてF～I区とした。L10では土器がまとまって出土し、隣のL11で検出された第1号土壇墓との関連も考えられることから、隣接するグリッドも含めてH区とした。区割りの詳細は下記の通りである。

F区：F～H13～15

G区：H9・10、I8～10、J9・10

H区：K・L9～12

I区：L・M16～18

第51・52図に分類別の平面分布を示したところ、上記で示したF～I区において分類別の出土状況に違いが見られた。

F区は大当原式土器、G・H区はくびれ平底系の土器（アカジャンガー式土器・フェンサ下層式土器）、I区は大当原式土器とアカジャンガー式土器を中心とする出土傾向を示した。I区では尖底系

とくびれ系が混在して出土するなど、隣接する油分無し地区のC区と同じ様相を見せた。

また、Vc層以下を確認のために掘り下げたところビーチロックが検出され、VI層から貝塚時代早～中期の土器が得られた。それらの遺物は、隣接する国指定史跡の伊礼原遺跡（砂丘区）に関連するものと考えられる。

なお、分類の対象は2.0 cm以上とし、集計を行った。以下、貝塚時代早～中期の土器、次に貝塚時代後期の土器を記述する。

### 1. 貝塚時代早～中期の土器

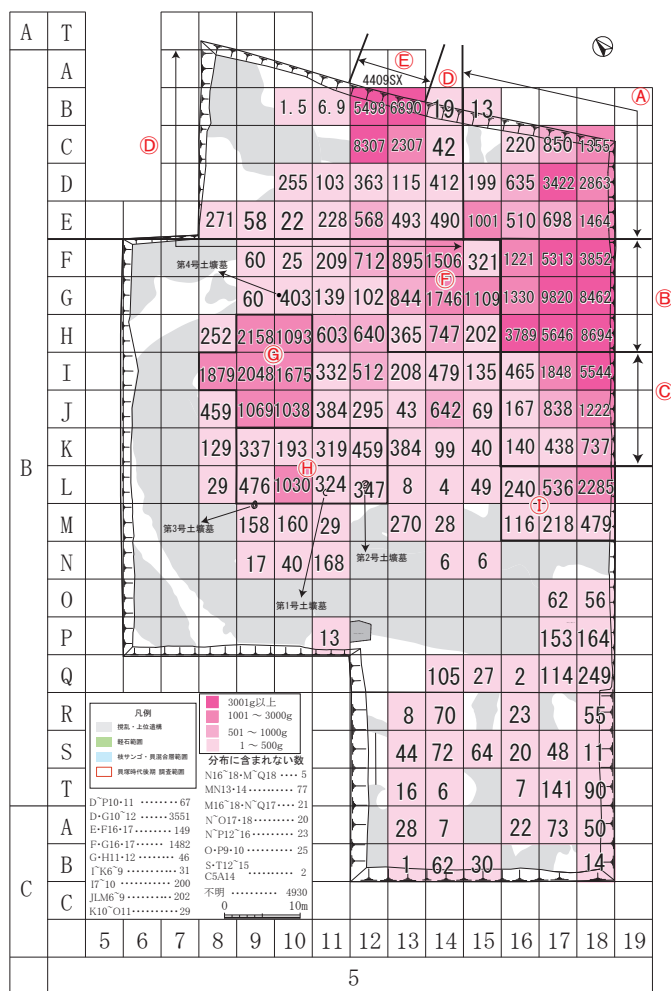
総数 201 点の出土である。殆どがVI層から得られたが、中には攪乱の故か、VI層より上位の層から出土した遺物もある。在地、搬入土器が得られ、型式が分かるものから記述し、不明な遺物は最後にまとめて記述する。第9表に出土量、第10表に観察一覧を示した。

#### (1) 曾畑式土器

曾畑式土器は4点の出土で、第57図1～4に図示した。口縁部、底部は出土せず、全て胴部破片である。図1は滑石が多量に混入しており、手触りが滑らかである。外面には3 mm程の条痕が縦位に施されている。両面とも石灰が付着している。図2・3は、胎土に多量の石英と粗い砂岩が混和され、前者は斜位、後者は縦位の条痕が施される。図4の胎土には僅かに火山ガラスが含まれている。外面の条痕は縦位と横位に施されるが、内面には見られない。条痕の凹みには石灰が付着している。

#### (2) 室川下層式土器

室川下層式土器は胴部67点、底部2点で計69点と最も多く出土したが、大半が小破片である。主な遺物を図5～10・34に図示した。図5は器厚が9 mmと厚手の胴部で、外面には斜位の羽状文が施されている。図6は両面に斜位の沈線文が施されるが、内面は不明瞭である。図7は他に比べて器厚が7 mmと薄く、外面には縦位の沈線文と羽状文が施される。図8は胎土に角閃石が含まれ、外面には二枚貝の腹縁部を使用した弧状文が施される。図9は胴径が推算出来るもので、その形状から胴下半部が考えられる。外面には幅3 mm弱の沈線文が横位に施され、外面には石灰が付着している。



第50図 土器重量分布

第9表 貝塚時代早～中期土器 出土量

分類 層/部位	曾畑		室川下層		面縄前庭		仲泊		面縄東洞		形式不明		合計
	胴	底	胴	底	口	胴	口	胴	口	胴	底		
I												1	1
IIIa			1										1
III下遺構						2				1	3		6
Vb									1		8		9
Vc	1					1				1	15		18
VI	3	62	2	8	51	2	4	3	2	19	4		160
VI(B.R.)		4			1				1				6
合計	4	67	2	8	55	2	4	5	4	46	4		201

図 10 は上部に比べて下部の器厚が厚く、底部近くの可能性がある。図 34 は、同型式土器の底部と考えられることからここで記述する。器厚 1.0 cm、底厚 2.0 cm と厚手の尖底で、外面には条痕が残る。その他、図示は省略したが、もう 1 点底部が得られた。

### (3) 面縄前庭式土器

面縄前庭式土器は口縁部 8 点、胴部 55 点の 63 点が得られ、図 11～20 に 10 点を図示した。中には古我地原式土器に類似するものも見られるが、破片が小さいことから、面縄前庭式土器の範疇で捉えた。胎土に金雲母を混入するものとしめないものがあり、後者は概して器面の調整等が雑で、在地で作られた土器の可能性も有りうる。器種は鉢、壺が得られ、前者が大半を占め、後者は図示した 1 点のみである。口縁部、胴部を合わせて記述する。

口縁部は図 11～14・20 の 5 点、頸・胴部は図 15～19 の 5 点を図示した。図 20 は壺、他は鉢形で、頸部は締まり胴部が膨らむ。大半の遺物が外面に凸帯文を横位に貼付し、その上下に沈線文が施される。凸帯文の文様には刻目文（図 11・15）、刺突文（図 12～14・17）、羽状の沈線文（図 16・18）がある。刺突文の中で図 13 はやや三角状、図 12・14 は弧状と施文具が異なる。図 16 には、横位の凸帯文の上に縦位の凸帯文が 2 本貼付される。図 18 の凸帯文は他に比べて薄く、幅広である。沈線文の施文方向には斜位（図 11・14・17～19）や縦位（図 12）、斜位+縦位（図 16・18）がある。図 19 の内面には 8 mm 程の粘土を積んだ痕が明瞭に残る。

壺形は図 20 の 1 点である。無文で、口縁部は直状、肩部から張り出す。

### (4) 仲泊式土器

仲泊式土器は 6 点の出土で、図 21・22 の 2 点を図示した。a タイプは貝殻文・沈線文の組み合わせ、b タイプは斜沈線文のみの文様である。a タイプは図 21 で、口唇部に凸帯文を貼付し、その上に貝殻文、その直下には斜位の沈線文が施される。b タイプは図 22 で、外面に斜沈線文が施され、胎土等から仲泊式土器に含めた。

### (5) 面縄東洞式土器

面縄東洞式土器は 5 点が得られ、図 23～27 に図示した。大半が小破片で、全体の文様構図は不明である。5 点とも口縁部で、流水状に文様が施される。図 23 は、棒状工具による連点文が横位に施される。図 24・25 は三角刺突文、図 26 は叉状工具による刺突文と斜位の短沈線文が施される。短沈線文は施文途中から破損しており、文様構図は不明である。図 27 は外面が破損しているが、刺突文が微かに残る。

### (6) その他

型式が不明な遺物をここにまとめた。特徴的な口縁部 3 点、胴部 3 点、底部 3 点の計 9 点を図示した。口縁部から記述する。

図 28・29 の口縁部は縄文時代中期相当期の土器と考えられ、県内では那覇市鏡水箕隅原遺跡（2008）で同時期の遺物が出土している。

図 28 はやや波状の口縁部で、逆「ハ」字状に外反する。外面には、細い三角状凸帯文が横位に 3 条貼付され、凸帯文間はナゲ調整により指頭痕が明瞭に残る。胎土等は本町の伊礼原遺跡（国指定外・2014）や平安山原 B 遺跡（2015）などで出土した搬入の船元系土器に類似するが、口縁部の形状が丸みを呈するなど、若干の違いも見られる。

図 29 は外反する口縁部で、頸部はやや締まり胴部が若干張るものと考えられる。口縁部の右側が一端下がり、その途中から破損しているために全体の形状は不明である。文様は外面と口唇部に見られ、外面には鋸歯状の凸帯文が口唇部に沿って規則的に貼付され、その上には刺突文が施される。



口唇部には等間隔で凸帯文上と同じ文様が施され、双状突起も貼付される。双状突起は外面に貼付された鋸歯状の凸帯文の凹部分に配置される。凸帯文下には径8mm弱の孔も見られ、外面→内面へ穿たれる。器面のナデ調整を見ると、外面では縦位、内面下部では横位に施されているが、両面ともナデ消しが行われており、滑らかである。口縁部形態や文様構図が縄文時代中期の春日式土器にも類似することから搬入土器に含めたが、胎土等は在地土器にも近く、模倣土器の可能性もある。

図30は壺の口縁部で、無文である。口唇部はやや丸みを呈し、口縁部は僅かに外反する。短頸で肩部は「ハ」字状に大きく開く。胎土は砂質で、器色が赤褐色を呈することからカヤウチバンタ式土器が考えられるが、本町のキャンプ桑江北側返還に伴う試掘調査(2005)で出土した大山式土器(第58図64)にも類似する。

図31～33は胴部である。図31は器厚が1.1cmと厚く、外面には3mm弱の幅広沈線文が横位・縦位に施され、文様は曾畑式土器、胎土は室川下層式土器、或いは条痕文土器に近い。図32は胎土に細かい石英・砂粒が多量に含まれ、幅3mm弱の押し文が縦位に2条、細沈線文で文様を区画している。図33は外面に弧状の刺突文が横位に2条施され、上下で向きが異なる。胎土に細かい石英やチャートが多量に含み、器厚は5mmと薄手である。

形式不明な底部を3点図示した。図35はやや丸底的で、器厚・底厚とも1.0cmと厚い。胎土に僅かな金雲母が含まれる。図36は薄手でやや丸底を呈する。胎土に金雲母は含まれないが、面縄前庭式土器か、仲泊式土器が考えられる。図37は径4.8cmを測る平底である。胎土に細かい石英等を含み、器色、器厚等から面縄東洞式土器の底部にも類似する。図示は省略したが、他にも型式の不明な平底が得られている。

第10表-1 貝塚時代早～中期土器 観察一覧

(質量単位:cm, g)

第IV章 図版	図番号	分類	部位	形態 (口縁・胴部・底部形状、文様、他)	法量		胎土	混和材								器色		器面調整		クワッド・層・遺構 台帳(取上)番号
					口径 底径	器厚 底厚 重量		粒度 含量	石英	輝石・ 角閃石	金雲母	チャ ート	赤 色 粒	白 色 粒	砂 粒	そ の 他	外 面 内 面	外 面 内 面		
第57 図・ 図版 13	1	曾畑 胴		滑石混入(滑らか)、外:条痕文 (幅2mm・斜位)、石灰付着	— —	0.6 — 15.9	砂	粗粒 多量								滑石◎ 黒粒△	外:灰茶褐色 内:灰褐色	両:不明	不明 VI(深掘排土) 台5048	
	2			外:条痕(2mm幅・斜位) 内:条痕(2mm幅・斜位)	— —	0.9 — 13.7	砂	中粒 多量	◎								砂岩△ 粗粒	両:暗茶褐色	両:不明	I12 Vc(下砂) 台4784
	3			外:条痕(1~2mm幅・縦位) 内:条痕(2mm幅・縦位)	— —	0.9 — 12.5	砂	細粒 多量	◎								砂岩△ 粗粒	両:暗茶褐色	両:不明	不明 VI(深掘排土) 台5048
	4			外:条痕(1.5~2mm幅・縦+横位) 石灰付着	— —	1.0 — 13.3	砂	中粒 多量	◎	△					△	火山が ラス△	外:橙茶褐色 内:黄茶褐色	両:ナデ・指頭痕	不明 VI(深掘排土) 台5048	
	5	室川 下層 胴		外:羽状文(斜位)、焼成悪	— —	0.9 — 76.4	砂強	粗粒 多量	◎								両:暗褐色	両:ナデ・指頭痕	不明 VI(深掘排土) 台5048	
	6			外:斜位の短沈線文(幅2mm・長さ8mm 弱)、焼成悪	— —	1.0 — 13.3	砂強	中粒 多量	◎								外:茶褐色 内:暗茶褐色	両:不明	F12 VI(B.R.)東端 台4998	
	7			外:斜位の羽状文(その間に縦位の沈線 文)、焼成悪	— —	0.7 — 8.3	砂強	中粒 多量	◎								外:茶褐色 内:暗茶褐色	両:ナデ・指頭痕	不明 VI(海砂層) 台5078	
	8			外:弧状文(縦位・二枚貝の復縁部使用・ 深い)	— —	0.9 — 21.2	砂強	中粒 多量	◎	△					△		両:暗茶褐色	両:ナデ	不明 VI(深掘排土) 台5048	
	9			外:斜位の短沈線文(幅3mm・長さ1cm)、 (外面全体に石灰付着)	— —	0.8 — 21.1	砂	中粒 多量	◎			△	△				外:不明 内:暗茶褐色	外:不明 内:ナデ(ヘア?)	不明 VI(深掘排土) 台5048	
	10			胴下半部の器厚:上部厚い、下部薄い (底部近く)	— —	0.8 — 31.0	砂強	中粒 多量	◎						△		両:茶褐色	両:ナデ・指頭痕	I13 IIIa(包1) 台2244	
	11			面縄 前庭	口	外反、口唇丸、外:斜位の沈線文+幅7mm の凸帯文・その上に刻目文)	— —	0.6 — 5.6	砂	細粒 中量	○							両:茶褐色	両:ナデ	不明 VI(深掘排土) 台5048

凡例(◎=非常に多い ○=多い △=少ない ▽=僅少)

第10表-2 貝塚時代早～中期土器 観察一覽

(法量単位:cm, g)

第 図 版	図 番 号	分 類	部 位	形 態 (口縁・胴部・底部形状・文様、他)	法量		胎 土	混和材								器色		器面調整		ク リ ト ・ 層 ・ 遺 構 台 帳 (取上)番号
					口 径 底 径	器 厚 底 厚 重 量		粒 度 含 量	石 英	輝 石 ・ 角 閃 石	金 雲 母	チ ャ ー ト	赤 色 粒	白 色 粒	砂 粒	そ の 他	外 面 内 面	外 面 内 面		
第 57 図 ・ 図 版 13	12	面 縄 前 庭	口	外反、口唇丸、外:幅5mmの薄い凸帯文(その上に弧状の刺突文)+縦位の沈線文	— —	0.7 — 26.3	砂	中粒 多量	◎			△	△			両:茶褐色	両:ナデ	不明 VI(深掘排土)台5048		
	13			外反強、口唇やや丸、外:幅6mmの横位の凸帯文(その上にやや先端三角状の刺突文)	— —	0.6 — 7.7	砂	細粒 多量	◎			○		△		外:黄茶褐色 内:暗茶褐色	両:ナデ、指頭痕	不明 VI(深掘排土)台5048		
	14			外反強、口唇丸、外:幅5mmの横位の凸帯文(その上に弧状の刺突文+斜位の沈線文)	— —	0.4 — 7.4	砂	細粒 多量	◎			△		△		両:茶褐色	両:ナデ	不明 VI(深掘排土)台5048		
	15			外:横位の凸帯文(5mm幅・その上に刻目文)、石灰付着	— —	0.5 — 9.3	砂	中粒 多量	◎						△		外:赤褐色 内:黄茶褐色	両:ナデ	不明 VI(海砂層)台5078	
	16			外:横・縦位の凸帯文(上に羽状文)+縦・斜位の沈線文	— —	0.5 — 24.1	砂	細粒 中量	○			△					両:暗灰褐色	両:ナデ、指頭痕	不明 VI(深掘排土)台5048	
	17			外:横位の凸帯文(5mm幅・その上に弧状の刺突文)+斜位の沈線文	— —	0.5 — 7.8	砂	中粒 多量	◎			△					両:灰黄褐色	両:ナデ	F12 VI(B.R.)東端台14704	
	18			外:横位の薄い凸帯文(幅1cm・上に羽状文)+鋸歯状・縦位の沈線文	— —	0.4 — 9.1	砂	中粒 多量	◎								両:黄茶褐色	両:ナデ	不明 VI(深掘排土)台5048	
第 58 図 ・ 図 版 14	19	胴	口	外:鋸歯状沈線文 内:粘土積痕明瞭(約8mm幅)	— —	0.5 — 11.1	砂	中粒 中量	○						△	外:黄茶褐色 内:茶褐色	両:ナデ	F13 Vc(下砂)台4139		
	20			壺、直状、口唇丸、無文	5.6 —	0.4 — 11.7	砂	中粒 多量	◎							砂岩△	両:黄茶褐色	両:指頭痕	不明 VI(深掘排土)台5048	
	21			仲泊a	口	外反、口唇やや丸、外:横位の凸帯文(幅1.2cm・貝殻文)+斜位の沈線文	— —	0.5 — 11.3	砂強	細粒 中量	○					△	両:茶黄褐色	両:不明	不明 VI(海砂層)台5078	
	22			仲泊b	胴	外:斜位の沈線文(綾杉状)	— —	0.7 — 5.7	砂	中粒 多量	◎			△			両:茶褐色	両:不明	不明 VI(深掘排土)台5048	
	23			面 縄 東 洞	口	逆「ハ」字状外反、口唇丸 外:流水文(3又1組の刺突文)	— —	0.5 — 13.5	砂	粗粒 多量	◎			△				両:黄茶褐色	外:不明 内:ナデ丁寧	H10 Vb(包砂)台4435
	24					直状、口唇やや丸、外:流水文(弧状)	— —	0.7 — 4.3	砂強	細粒 多量	◎							外:赤褐色 内:黄茶褐色	両:不明	不明 VI(深掘排土)台5048
	25					外反、口唇角、外:流水文(三角状)石灰付着	— —	0.4 — 3.2	砂	粗粒 中量	○							両:灰茶褐色	両:不明	F12 VI(B.R.)東端台14704
	26					直状、口唇舌、外:流水文?	— —	0.5 — 3.3	砂	中粒 中量	○			△			△	両:赤茶褐色	両:不明	不明 VI(深掘排土)台5048
	27					外反、口唇やや丸、外:流水文(上面ハガレで不明瞭)	— —	0.6 — 6.7	砂	粗粒 中量	○			△				両:赤褐色	両:不明	不明 VI(深掘排土)台5048
	28			不明	口	外反、口唇丸、外:三角状凸帯文(細・3条・横位)	— —	0.6 — 21.1	砂	粗粒 多量	◎	○					△	両:暗褐色	両:ナデ、指頭痕	不明 VI(深掘排土)台5048
29	外反、口唇丸、口唇:角状突起+刺突文、外:鋸歯状凸帯文(幅7mm・上に刺突文)+有孔(径8mm・外→穿つ)	— —	0.7 — 46.1			砂	細・粗粒 中量	○			○		△	黒色片岩△	外:暗茶褐色 内:暗褐色	両:ナデ、指頭痕	S・T17 III下(4583P)台4890			
30	壺、口唇やや丸、外反(短頸・肩部張り出す)、無文	4.4 —	0.6 — 25.0			砂強	細粒 多量	◎					△	○	両:赤褐色	両:ナデ、指頭痕	H10 Vc(下砂)台14702			
31	外:3mm幅の沈線文(横・縦位)焼成やや悪	— —	1.1 — 13.3			砂	中粒 多量	◎						△	外:茶褐色 内:暗褐色	両:ナデ、指頭痕	不明 VI(深掘排土)台5048			
32	胴	口	外:押し引き文(縦位に2条)+沈線文(縦位)	— —	0.8 — 14.8	砂強	細粒 多量	◎					△	両:茶褐色	両:ナデ、指頭痕	不明 VI(深掘排土)台5048				
33			外:横位に刺突文(弧状・2条・逆向き)	— —	0.5 — 5.7	砂	細粒 多量	◎			△		△	外:赤褐色 内:暗灰褐色	外:ナデ 内:指頭痕	不明 VI(深掘排土)台5048				
34	室川下層	底	尖底(やや尖る)、器厚・底厚とも厚い	— —	1.0 2.0 64.9	砂	多量 粗粒	◎				△		砂岩△	両:黄茶褐色	両:ナデ	不明 VI(深掘排土)台5048			
35	不明	底	外底やや丸み、摩耗、底厚・器厚がやや厚い	— —	0.9 1.0 22.3	砂強	中粒 多量	◎			△				両:暗灰褐色	外:摩耗で不明 内:ヘラナデ?	不明 VI(深掘排土)台5048			
36			やや丸、外底やや丸み、底厚・器厚が薄い	— —	0.6 0.8 9.9	砂強	中粒 中量	○					△		外:黄茶褐色 内:灰茶褐色	両:ヘラナデ?	不明 VI(深掘排土)台5048			
37			平底、薄手	— —	0.4 0.7 44.7	砂強	中粒 中量	○			△		△		外:黄茶褐色 内:赤褐色	両:ナデ、指頭痕	不明 VI(深掘排土)台5048			

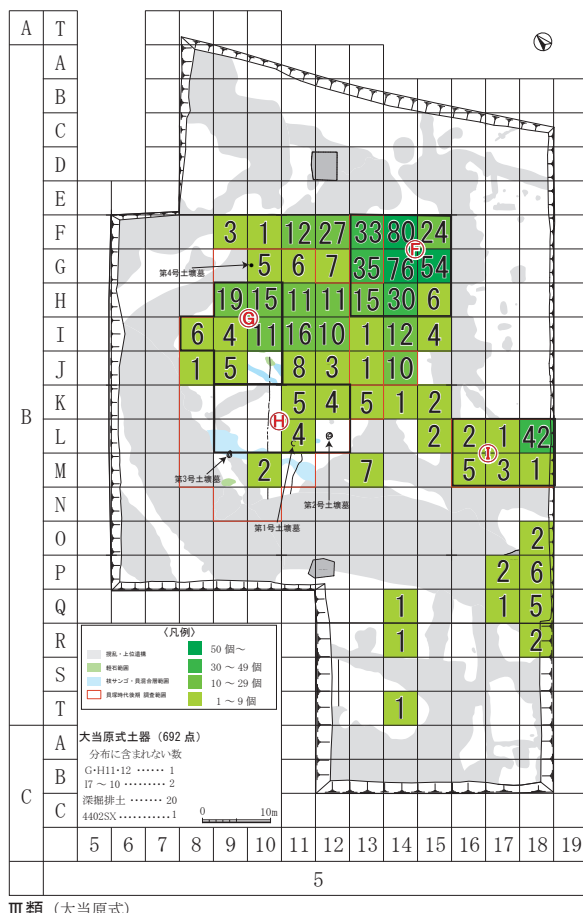
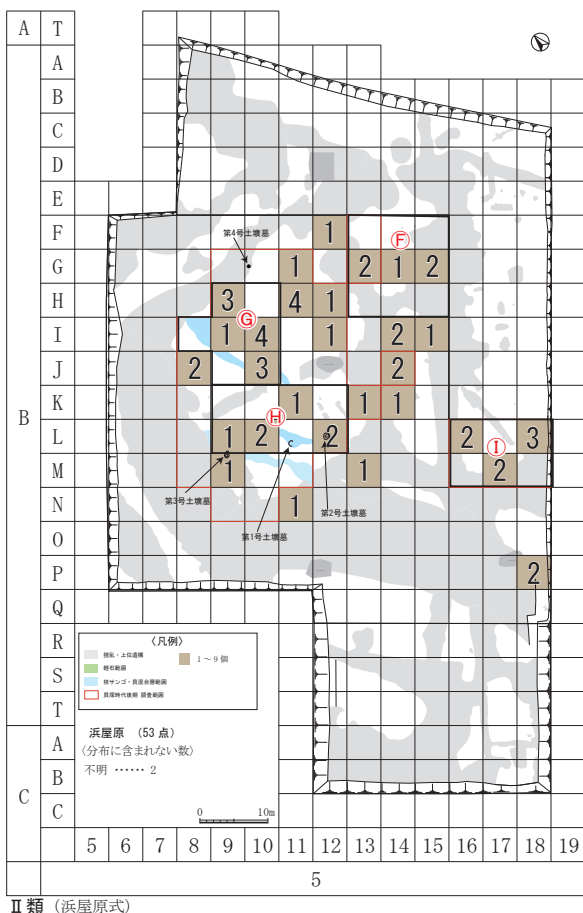
凡例(◎=非常に多い ○=多い △=少ない △=僅少)

## 2. 貝塚時代後期の土器

貝塚時代後期の土器は在地の土器が主流で、搬入土器は僅かである。在地の土器は尖底系の大当原式土器とくびれ平底系土器が大半で、その他に阿波連浦下層式土器、浜屋原式土器が僅かに得られた。第51・52図の平面分布で見ると、G区から多量に出土し、次いでF区が多い。口縁部、胴部を合わせて記述する。

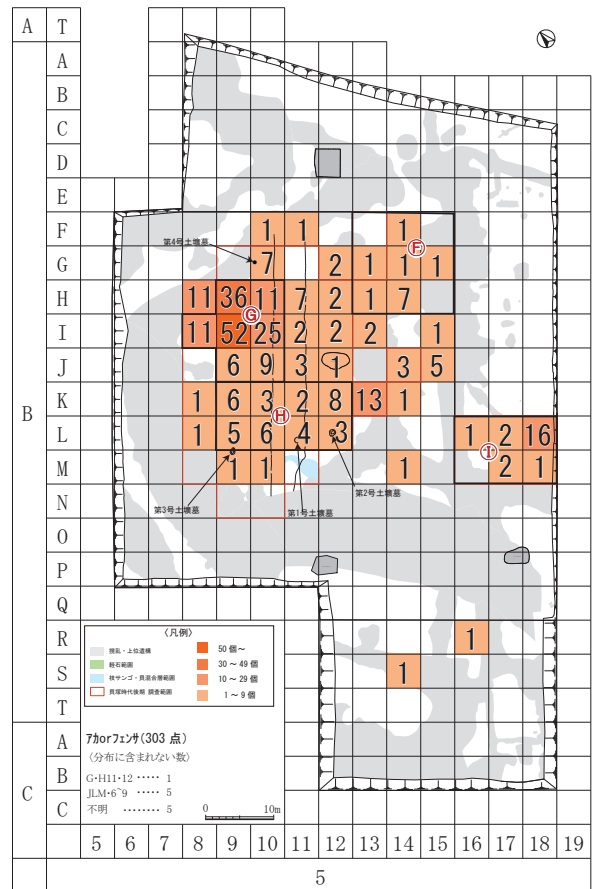
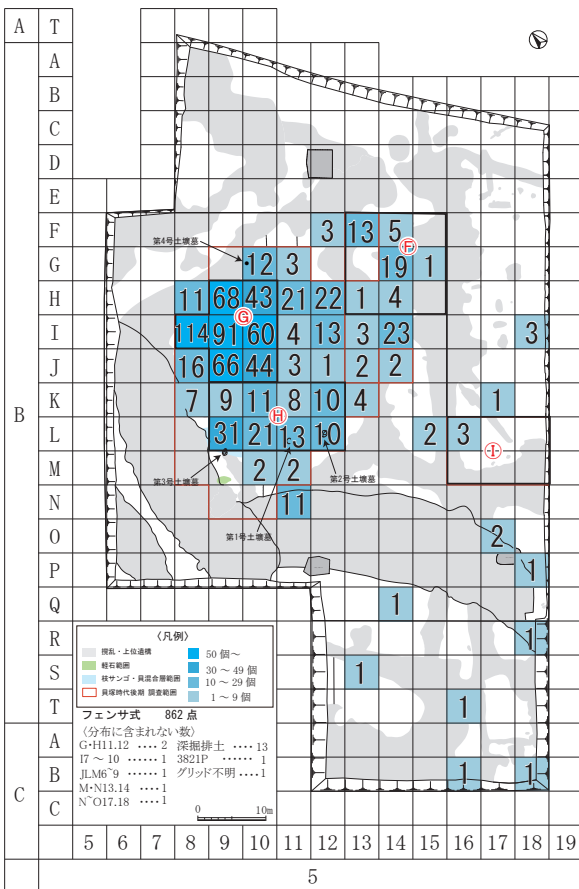
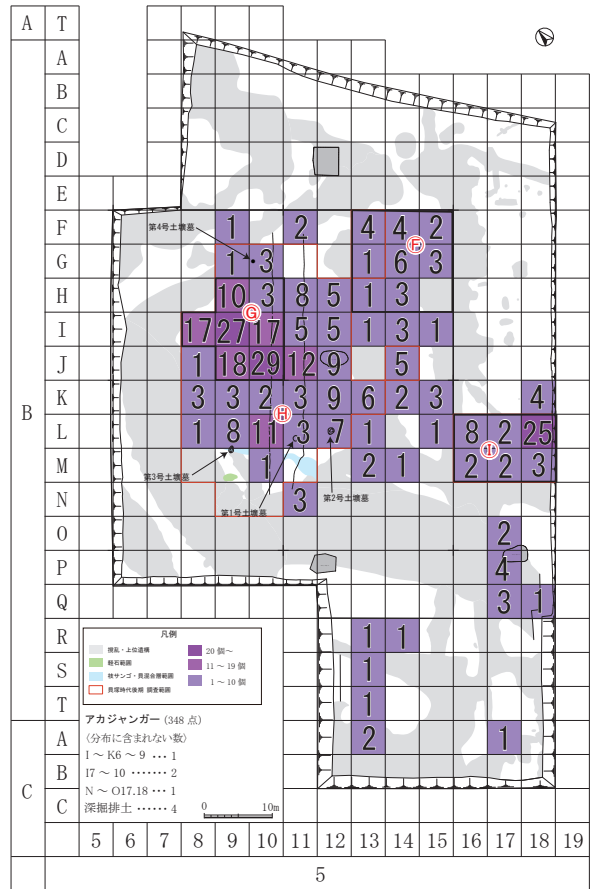
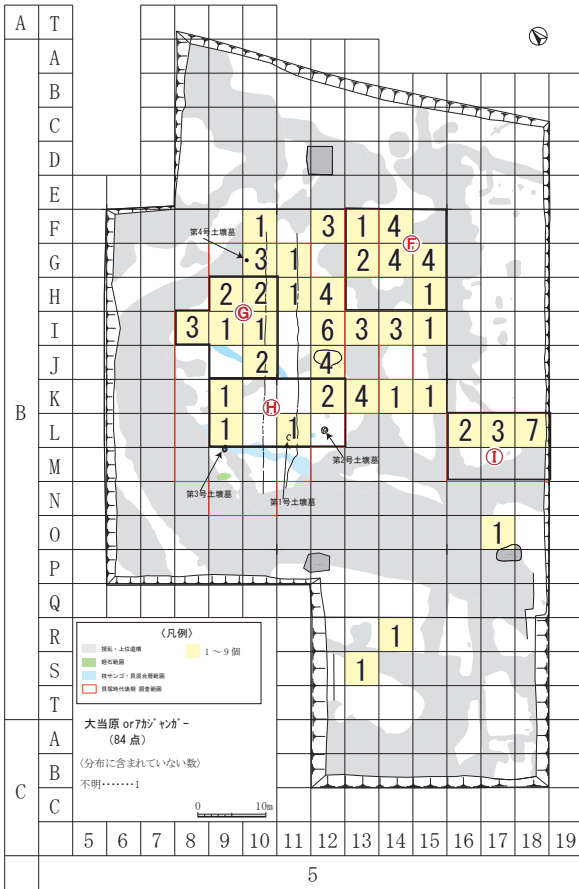
### (1) 口縁部・胴部

口縁部・胴部の出土量を第11表に示した。在地土器は型式別にⅠ類：阿波連浦下層式土器、Ⅱ類：浜屋原式土器、Ⅲ類：大当原式土器、Ⅳ類：Ⅲ・Ⅴ類の中間タイプ、Ⅴ類：アカジャンガー式土器、Ⅵ類：フェンサ下層式土器、Ⅶ類：Ⅴ・Ⅵ類のいずれかに相当するものに分類し、それ以外はその他でまとめた。第51・52図の平面分布においてそれぞれの出土状況に違いが見られることから、接合関係等を示した第53図の平面分布に主な遺物も併せて図示した。Ⅲ類は油分無し地区のB区に近いF区で多く、それを取り囲む様にG・H区でⅤ・Ⅵ類が多量に出土する。I区はⅢ・Ⅴ類の出土が多く、前者は小破片のため図示は省略したが、後者には壺形も割と多く出土している。油分無し地区のC区でもⅢ・Ⅴ類が多く出土する状況が見られた。このように、平面分布では型式別に違いが見られるが、層位的にはいずれも同層出土で時期差が不明である。第53図を見ると、Ⅲ層・Ⅲ層下遺構とⅤ層出土の遺物が接合できる資料が数点あり、グスク期において攪乱があったことが窺える。有文土器も少量が出土しており、それぞれの型式で扱った。個々の遺物の詳細は第13表の観察一覧に示し、搬入土器、在地土器の順に記述する。

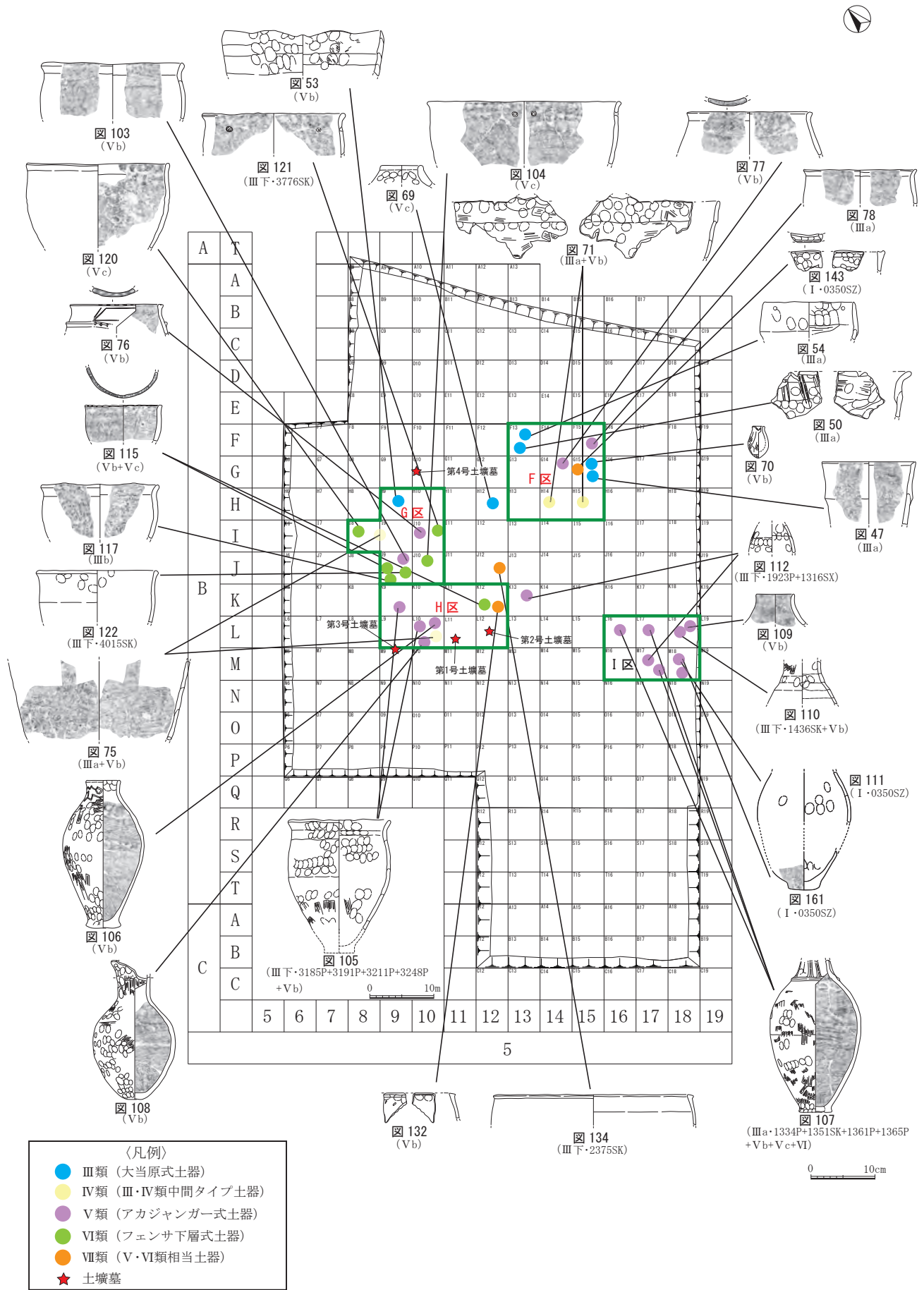


第51図 貝塚時代後期土器（分類別）平面分布1





第 52 図 貝塚時代後期土器 (分類別) 平面分布 2



第53図 接合関係 平面分布 (層序・遺構)

<搬入土器>

搬入土器は4点が出土し、図38～40に3点を図示した。いずれも混和材に特徴が見られる。図38は在地土器かとも考えられたが、胎土に金雲母が混入されていることからここで扱った。口縁部が外反し、頸部は若干締まり気味で胴部は張る。両面に弧状、鋸歯状の沈線文が規則的に施され、両面から穿孔されている。3507SD出土で在地土器との関係が掴めないが、器形や胎土、文様等からV類に近い。図39も外反する口縁部で、口径より胴径が大きくなる形状を呈する。口径は計測出来ないが、小型の土器が想定され、形状から壺形の可能性も考えられる。外面には指頭痕、縦位のナデ調整痕が見られ、胎土には火山ガラスが含まれる。図40は胴部で、胎土に金雲母等の混和材が含まれる。混和材は粗く、図38に比べると、手触りはざらつく。

第11表 貝塚時代後期土器(口縁部・胴部) 出土量

分類	-		I		II		III		IV		V		VI		VII		-		合計
	搬入(奄美)		阿波連浦下層		浜屋原		大当原		大当原orアカシヤンガー		アカシヤンガー		フェンサ下層		アorフェンサ下層		形式不明		
	口	胴	口	胴	口	胴	口	胴	口	胴	口	胴	口	胴	口	胴	口	胴	
I						6	37	2	2	1	7		4		7	2	7	75	
II						1	32	2		1	1	2	2		1		1	43	
III							1											2	
IIIa		1	1		4	17	187			19	6	27	14	91	1	37	2	45	
IIIb			2		2	6	84	1	5	4	13	13	70	2	12	3	19	236	
III下遺構			1		6	3	62	3	9	9	49	24	174	1	59	5	62	467	
IV	1				1	1	13	1		1	9	1	3		5		9	45	
Vb	1	1	2	4	22	25	145	5	20	37	110	27	265	14	105	8	103	894	
Vc			1	1	11	3	49	3	11	14	55	16	143	9	44	4	60	424	
VI				1	1	1	19			1	3	2	11		2		10	51	
不明									1				1		4		1	7	
合計	2	2	7	6	47	63	629	17	67	74	274	99	764	27	276	24	318	2696	
分類別計	4		7		53		692		84		348		863		303		342		

<在地土器>

在地土器はI～VII類に分類し、その順で記述する。

・I類(阿波連浦下層式土器)

I類は僅か7点の出土で、全て胴部の小破片であり、図示は省略した。

・II類(浜屋原式土器)

II類は口縁部6点、胴部47点の計53点が得られ、図41～45の5点を図示した。第51図における分類別の平面分布を見ると、まばらな出土状況を示す。図示した口縁部は逆「ハ」字状に外反或いは直状を呈するものが殆どで、小破片のために全体の形状が把握できる資料は得られていない。II類の特徴は胎土が砂質で、石英や角閃石を多量に含む。外面は丁寧なナデ調整を行い、内面は雑仕上げで指頭痕が残るものが多い。図45の胴部には径8mmの孔が見られ、両面より穿たれている。

・III類(大当原式土器)

III類は口縁部63点、胴部629点の計692点が得られ、VI類に次いで多い。主な遺物を図46～70に図示した。第51図の分類別の平面分布ではF区・I区で多量に出土しており、層的的にはF区がIII層、I区はV層出土が多い。油分無し地区でもIII層出土が多く見られたが、近世やグスク時代の集落・耕作等によって攪乱を受けており、今回も同様な状況と考えられる。器種は鉢形が殆どで、僅かに壺形、ミニチュア土器、有文の土器が得られた。全形を窺える資料は検出されず、鉢形は油分無し区や平安山原B・C遺跡(2016)を参考に、下記のように分類した。壺形はDとし、有文の土器もそれぞれ形状で分類した。分類出来ないものは最後に記述する。

- A: 鉢形、粘土積痕の隆起が明瞭、厚手と薄手有り      ア: 内湾
- B: 鉢形、粘土積痕の隆起がやや明瞭、厚手と薄手有り      イ: 直状
- C: 鉢形、粘土積痕の隆起が不明瞭、薄手      ウ: 外反
- D: 壺形

Aは図46～52に7点を図示したが、アタイプは小破片のために図示は省略した。イタイプは図46



の1点で、隆起痕が明瞭である。今回はウタイプが多く、図47は口径が14.6cmと小型で、胴部まで直線的に移行する。口唇部の内面はナデによって平らな面を持ち、本来のⅢ類には見られない調整の仕方であるが、隆起帯が明瞭なことからⅢ類に含めた。図50は有文で、外面には幅2mmの沈線文が2本1組で縦位に施されており、文様間には1.5cm程の間隔が見られる。図51は全体的に摩耗が著しい。図52は胴部で、粘土積痕の隆起がより明瞭であることから、Aに分類した。

Bは図53～61の9点を図示した。アタイプは図53～57で、口唇部が波状を呈するものが多く、薄手と厚手がほぼ同じ割合である。図54は小型で口径が16.8cmを測る。穿孔が見られるが、半分は破損している。イタイプは図58の1点を図示した。厚手の口縁部である。ウタイプは図59の1点で、残存部から30cm前後の口径が推算され、大型が想定される。図60・61は口唇部が破損しており、ア～ウのタイプに分類出来なかったものである。文様を見ると、前者の外面に鋸歯状の沈線文、後者は両面に斜位・横位の沈線文が施される。

Cは図62・63の口縁部2点を図示した。逆「ハ」字状の形状を呈し、いずれも口縁部の上端は外反する。残存する口縁部から、口径30cm前後の大きさが想定され、いずれも指頭痕が明瞭に残る。

Ⅲ類に相当するが、口縁部の第1粘土帯以下が破損しているために、上記の分類に含められないものをここにまとめた。図64～68の5点を図示した。大半は波状口縁で、図64は内湾、図65は口縁部がやや外反し、頸部から張り出す。図66・67は小破片で、形状は不明である。2点とも外面に沈線文が施され、前者は鋸歯状、後者は弧状である。胎土や器厚の不揃い、口唇部が舌状を呈すること等からⅢ類に含めた。図68は逆「ハ」字状に外反する。

Dとした壺形は僅か1点の出土で、図69に図示した。口縁部から胴部にかけて「ハ」字状に開き、無頸の無文壺である。口唇部は丸みを呈し、器厚が8mmと厚い。

その他に、ミニチュア土器が1点出土し、図70に図示した。口縁部は外反し、頸部は若干締め気味で胴部が張る。底部は尖底で、器面はナデ調整が行われている。口縁部には穿孔されているのか、凹み部分が見られるが、半分が破損しているために形状が不明である。底部形態からⅢ類に含めた。G15 V b層出土である。

#### ・IV類(Ⅲ・V類の中間タイプ)

Ⅲ類とV類の両方の特徴を併せ持つ土器をまとめた。出土数は84点と少なく、図71～75の5点を図示した。第52図の平面分布を見ると、全体的にまばらな出土であるが、若干F区が多い。

図71は逆「ハ」字状に外反する口縁部で、口径は30.0cm内外の大型が想定される。第1粘土帯は隆起し、積痕が明瞭である。胎土は堅致で、薄手である。口唇部には突起部を持つが、上部が破損しており詳細は不明である。口唇部に突起を持つものはV・VI類に多いが、本資料は粘土接合面の隆起が明瞭で、両者の特徴を持つことからここに含めた。図72・73の口縁部も逆「ハ」字状に外反し、口唇部は波状を呈する。前者の胎土は泥質で赤色粒が多量に含まれ、外面には粘土積痕と考えられる隆起帯が明瞭に残る。図73の内面には粘土積痕が見られるが、全体的に摩耗が著しい。

図74・75は胴部で、後者は図71と胎土や器面調整の仕方が類似する。

#### ・V類(アカジャンガー式土器)

V類は口縁部74点、胴部274点の計348点が出土し、主な遺物を図76～114に図示した。器種は鉢・甕形と壺形があり、他の型式に比べて壺形の出土も目立つ。第52図に図示した分類別の平面分布では、くびれ平底を有するV・VI類ともG・H区において集中するが、V類はI区でも出土するなど、若干の違いが見られる。復元土器や口径が推定出来る資料等から、今回出土のV類は小型化し、I区では壺形の出土が多いことも特徴の一つである。図105～108は接合作業により復元が出来

た資料である。図 107 は I 区の L17 から得られた壺形土器で、図 105・106・108 の 3 点はいずれも H 区の L10 V b 層から出土し、図 105 が甕形、図 106・108 は壺形である。隣接するグリッド (L11) で検出された第 1 号土壇墓とは 5m 前後離れているが、3 点とも近くで出土することから何らかの関連が窺える。渡名喜島の西底原遺跡 D 地点 (1981) では、人骨と共伴して壺形の土器が出土している。同土器は、西底原遺跡 A～C 地点から貝塚時代後期終末のフェンサ下層式土器が得られていることから同時期と考えられているが、本遺跡で出土した 3 点は、形状や胎土等からアカジャンガー式土器の範疇で捉えた。

また、全体では 61 点の有文土器が得られたが、V 類の有文は 31 点と半数を占めた。V 類の出土量における有文の割合は 8.9% である。有文土器における施文部位と文様との関係を、型式別に第 12 表に示した。主な施文部位を見ると、口唇部のみと外面のみが 13 点と多く、他は少ない。口唇部の文様は刻目文、刺突文が多く、外面は沈線文が主流である。

鉢・甕形には様々な形状が見られることから以下のように A～C に分類し、壺形は D とした。

- A: 口縁部上端は外反または直状、直線的に胴部へ移行、口径 < 胴径
- B: 口縁部外反か直状、胴部僅かに張る
- C: 口縁部外反、頸部縮まる、胴部張る
- D: 壺形

A は図 76～87 の 12 点を図示した。いずれも口径より胴径が大きい。図 76・77 は口唇部 + 外面に施文されるもので、前者は外面に三角状凸帯文を圍繞させ、凸帯の上と口唇部に刺突文が施される。他の有文土器と比べて凸帯文の貼付等が丁寧で、奄美の兼久式土器にも類似する。後者は口唇部に刻目文、外面に横位やラフな鋸歯状沈線文が施される。外面のみの施文は図 78 で、外面に弧状の沈線文が施される。口唇部のみに施文されるものは 7 点で、図 79 は三角刺突文、図 80 は叉状工具による刺突文、図 81・82 は指圧文である。無文は 4 点で、図 83 は外面にはハケ目が 4 本 1 組と明瞭に残る。図 87 は厚手の頸部で、外面に沈線文と刺突文が施されている。

B は図 88～97 の 10 点を図示した。口唇部のみに施文されるものは 6 点で、図 88 は指圧文、図 89・90 は刺突文である。両者とも叉状工具による文様が施されるが、前者は横位、後者は縦位と施文方向が異なる。A の図 80 の刺突文も図 89 に類似する。図 92 は角状突起、図 96・97 は刻目文である。後者は口唇部の粘土が折り曲げられ、僅かに肥厚帯が作られる。図 95 は外面に単篋工具による方形の刺突文が施される。図 91・93・94 は無文で、図 94 の内面には明瞭なハケ目が残る。

C は図 98～105 の 8 点を図示した。図 105 は壺形の図 106・108 と一緒に L10 から出土し、関連性を考慮して D の項でまとめて記述する。図示した中で文様が施されるものは 5 点で、図 98 は口唇部・内面とも同じ施文具による刺突文が見られる。図 99 は外面に竹管状工具による径 4 mm の円形文が施される。形状は異なるが、同様な文様には、伊礼原遺跡 (国指定外・2014) の第 52 図 98、平安山原 B・C 遺跡 (2016) 第 85 図 184 がある。

図 100 は両面に鋸歯状沈線文、図 101 は口唇部に叉状工具による刺突文・外面には斜・横位の沈線文が施される。図 104 は径 7 mm の孔が両面より穿たれ、内面にはハケ目が明瞭に残る。

D は図 106～114 の 9 点を図示した。第 53 図の接合関係を示した平面分布を見る

第12表 文様・施文部位別 出土量

部位 文様	口唇のみ					外面のみ					口唇+外			口唇+内	外+内	合計	
	刻目文	刺突文	指圧文	鞍状凸帯文	角状	沈線文	凸帯文	刺突文	有孔	沈+刺	他	刻+沈	刺+沈	刺+凸帯・沈	刻+刺		沈+沈
分類																	
III		1		1		4	1		1							1	9
V	4	5	3		1	6	1	1	2	2	1	1	1	1		1	31
VI	6			1		1	1		2			2					14
その他				1			2	1	1		2						7
合計	10	6	3	3	1	11	5	2	6	2	3	3	1	1	1	3	61
部位別計	23					29					5			1	3		

と、I区では壺形の出土が目立ち、中には図107のように復元が出来た遺物もある。図105は甕形であるが、図106・108と同じH区のL10 V b層出土で、関連性を考慮してここで記述する。いずれも口縁～底部まで一括で出土し、接合作業により復元が出来た。

図105は口縁部が外反し、頸部で一端締めながら胴部は張る。底部は破損しているが、くびれ平底が想定されることから推定で復元を行った。胴部数点は攪乱により同グリッドとK9のⅢ層下遺構(3211P・3185P・3191P・3248SK)から得られている。

図106は口縁部がやや直状を呈し、肩部はナデ肩、胴上部に最大径を持ちながら底部へ直線的に移行する。底部はくびれ平底で、底面は径5.4×4.9cmの楕円形を呈する。口縁部の外面には、不規則な鋸歯状沈線文が二重に圍繞する。内面の胴部以下にはハケ目が明瞭に残り、全面的に黒褐色を呈する。接合作業前に断面を観察すると、内面と同様な器色を呈する。

図108は、注ぎ口が残存する片口土器である。頸部は直状でナデ肩を呈し、胴部から底部まで膨らみを持ちながらそのまま移行する。底部は丸底で、据わりが良いように外底の中央部は指ナデにより円形に凹ませる。他に比べてより砂質で器厚も厚い。このように、2点とも出土地は近いが、底部形態は異なる。器面調整はいずれも同じで、外面のナデは丁寧、内面にはハケ目が明瞭に残る。

図107はI区のL17 V b層出土の一括資料である。他に、M17のV b層、L16のⅢ a層、L17のⅢ層下遺構(1365P・1354P・1361P・1351SK)、VI層からも破片が出土する。口唇部は破損するものの、頸～底部まで器形が窺える。頸～胴部にかけてはナデ肩で、胴上部に最大径があり、膨らみを持ちながら底部へ移行する。底部は径4.8cmのくびれ平底で、若干外底が上げ底状を呈する。本資料の底部は最初に平らな円形の粘土を作り、その上に帯状の粘土を貼付していく製作技法が用いられている。外面の頸部には無文の凸帯文を横位に1本、縦位に2本貼付し、全体的な文様構図としては、縦位に2本1組の凸帯文が4本貼付されたことが想定出来る。内面のハケ目を見ると、底部から一段目の粘土帯には縦位、それ以上は横位、斜位に施されている。図109・110は無文の壺で、2点ともL18 V b層出土である。図111は、底部の図161と出土地が同じで(M18 0350SZ)、胎土や調整痕等から同一個体と考えられる壺の頸胴部である。接合が出来ずに別個に掲載したが、推定で図上復元を行い、形状を知る手がかりとした。底部から胴部への立ち上がりは左右で異なり、全体の形状は歪みを呈する。図112も無文の壺で、口唇部は破損している。15m以上も離れたK13 1923PとM17 1316SX出土のものが接合出来た。図113は頸部付近で、外面に弧状や横位の沈線文が施されているが、全体的に摩耗が著しい。図114は無文で、ほぼ底部に近い。くびれ平底が想定されるが、底面が破損していることからここで扱った。

#### ・VI類 (フェンサ下層式土器)

VI類は油分無し区の4409SX (E区)で多量に出土した泥質のくびれ平底土器を基本とする。口縁部99点、胴部764点の計863点と最も多く得られ、図115～131に図示した。第52図に示した分類別の平面分布を見ると、G区で多量に出土し、次いでH区を含むその周辺から得られる。出土数は最も多いが、口～底部まで全形の窺える資料は検出されなかった。器種を見ると鉢・甕形、壺形が得られ、前者が多い。VI類にも僅かに有文が見られ、第12表に詳細を示した。

鉢・甕形は図115～128の14点を図示した。口縁部が外反し、頸部で一端窄まりながら胴部が張り出すものが大半で、V類にも同様な形状が見られる。

口径が推定出来た資料は6点で、図115は12.0cmと小振り、図117・122は20.0cm以下、図119～121は20.0～25.0cm間に収まる。

第12表の施文部位と文様の関係を見ると、口唇部のみに施文されるものが多く、図115・116・123・



124 は刻目文、図 118 は鞍状凸帯文が施される。前者の刻目文は工具の違いによるものか、或いは同工具を使用しての角度の差によるものか、図 123 以外は刻目文の幅が広く、刺突文にも見える。図 125 は両面に弧状の細沈線文が施されるが、内面は不明瞭である。図 126・127 は口唇部・外面に文様が施され、前者は口唇部に幅広の刻目文、外面には弧状の幅広沈線文、後者は口唇部に刻目文、外面に横・斜位の細沈線文が施される。図 128 は胴部で、外面に横位と縦位の沈線文が施される。

壺形は図 129・130 の 2 点を図示した。両者とも小振りで、前者の口唇部には刺突文が施される。いずれも口縁部は直状を呈し、短頸で胴部が大きく張り出す形状を呈する。後者は粘土の積痕が明瞭で、屈曲部が作られる。

図 131 は現存する破片が小さく、器種は不明である。器厚は 3 mm と薄く、口径が推定 7.4 cm を測る。無文で、小型が想定される。

#### ・VII類 (V・VI類のいずれかに相当)

VII類はくびれ平底系土器 (V・VI類) の範疇に含まれるが、小破片のため V類、VI類のどちらにも分類が出来ないものである。口縁部 27 点、胴部 276 点と計 303 点が得られ、図 132～139 の 8 点を図示した。第 52 図の分類別平面分布からすると G・H・I 区で出土し、V類の出土傾向に近い。G 区からは V・VI類、I 区は V類が大半を占めることから、I 区出土の VII類は V類の可能性が高いと考えられる。様々な形状が見られ、それぞれ A～C に分けた。

A は口縁部が内湾し、胴部が張る形状を呈するもので図 132～134 に 3 点を図示した。胎土や器面調整等は V類と類似するが、形状に特徴が見られることから今回は VII類とした。口唇部は 3 点とも 0.9 cm と幅広く、断面形は三角状を呈する。今後の資料の追加を待ちたい。器厚は薄く、図 132・134 は 4 mm、図 133 は 6 mm である。図 132 の外面には弧状の刺突文が斜位方向に施されている。図 134 は口径が 29.4 cm と、本分類の中では大型である。

B は図 135・136 の 2 点で、口縁部は外反し、頸部が湾曲する。図 135 は頸部の湾曲が強く、それ以下は膨らむ形状を呈し、口唇部には鞍状凸帯文が貼付される。図 136 は外面に円形の凸帯文が貼付され、胎土はきめ細かい。

C は逆「ハ」字状に外反するが、頸部の湾曲がないものである。図 137～139 の 3 点を図示した。図 137 は口唇に沿って凸帯文を圍繞させ、縦位に同様の凸帯文を方形に貼付する。金雲母が僅かに見られ、在地外土器の可能性も考えられる。図 138・139 は口唇部直下に 2 cm 以上の肥厚帯があり、VI類に多く見られるが、胎土は V類に近いこともあってここに含めた。

#### ・その他

上記の分類から外れるものをまとめた。大半は形状が不明で、特徴的な遺物について下記の 4 点を図示した。

図 140 は直状で、厚手の口縁部である。胎土はやや粗く、器面を見ると外面はナゲ調整、内面には指頭痕が残る。くびれ平底系土器より古手と考えられる。

図 141・142 の 2 点は III類にやや近い胎土を示す。図 141 には孔が見られ、円錐状に外面→内面に穿たれている。図 142 は口縁部の上端が外反し、以下は直線的である。器厚は 0.7 cm とやや厚手で、全体的に摩耗している。口唇部に径 5 mm の円形状の凹みが見られるが、貫通はしていない。穿たれた痕跡は見られず、人為的或いは混和材抜けか不明なことから上面観も図示した。

図 143 は直状の口縁部で、胎土や混和材、調整等は III類にやや類似する。口唇部は 1.2 cm と幅広く形成され、幅広の施文工具 (幅 5 mm) を用いた沈線文が施される。詳細に見ると、僅かに押し引きの痕跡が残る。前回も同様な資料が型式不明として検出されている (2013・第 25 図 67)。

第13表-1 貝塚時代後期土器(口縁部・胴部) 観察一覧

(法量単位:cm, g)

第 図 版	図 番 号	分類		部位	形態 (口縁~胴部形状・文様・他)	法量		胎土	混和材						器色		器面調整		クワッド・層・遺構 台帳(取上)番号
		大	小			口径 器高 底径	器厚 底厚 重量		粒度 含量	石 英	輝 石 ・ 角 閃 石	赤 色 粒	白 色 粒	砂 粒	そ の 他	外 面 内 面	外 面 内 面		
第 59 図 ・ 図 版 15	38	-	口	外反、口唇丸、均一、両:沈線文 (外:鋸歯状+弧状+横位、内:鋸 歯状)+孔(径4mm・両→穿つ)	20.8 — —	0.7 — 60.0	砂	細粒 多量	◎						金雲 母 △	外:暗茶褐色 内:茶褐色	両:ナデ、指頭痕	JLM、6~9 IV (3507SD)台2251	
	39	搬入	口	外反、口唇破損、胴部張る、無 文、壺形?	— — —	0.7 — 22.6	砂	中粒 中量	○	△	△			火山ガ ラス△	両:橙茶褐色	両:ナデ	H13 Vb(砂) 台3998		
	40	-	胴	無文、均一、混和材多量で手触 りざらつく	— — —	0.7 — 25.0	砂	中粒 多量	◎					○	金雲 母 ○	外:茶赤褐色 内:暗茶褐色	外:ナデ 内:指頭痕(雑)	I9 Vb(包砂) 台3984	
	41	-	口	やや外反、口唇丸、無文	— — —	0.6 — 24.8	砂強	細粒 多量	◎	◎						両:茶黄褐色	外:ナデ丁寧 内:指頭痕明瞭	H9 Vb (下層調査前清掃) 台4384	
	42	-	口	やや外反、口唇丸、無文	— — —	0.7 — 17.1	砂強	細粒 多量	◎	◎						両:茶黄褐色	外:ナデ丁寧 内:指頭痕明瞭	G15 Vb(砂) 台3874	
	43	II	口	やや外反、口唇角、無文	— — —	0.6 — 6.3	砂強	細粒 多量	◎	◎						両:茶黄褐色	外:ナデ丁寧 内:指頭痕明瞭	不明 VI(深掘排土) 台5048	
	44	-	口	やや外反、口唇やや丸、無文	— — —	0.7 — 13.5	砂強	細粒 多量	◎	◎				△		両:赤橙褐色	外:ナデ丁寧 内:指頭痕明瞭	K14 Vb(包砂) 台5071	
	45	-	胴	孔(径8mm・両面より穿つ)	— — —	0.8 — 11.3	砂強	細粒 多量	◎	◎						外:橙灰褐色 内:淡橙褐色	外:ナデ丁寧 内:指頭痕明瞭	J14 Vb(包砂) 台5018	
	46	Af	口	やや直状、口唇舌、無文、粘土 積痕隆起明瞭	— — —	0.6~0.9 — 37.6	砂	粗粒 中量	△		○			△		両:茶褐色	両:ナデ、指頭痕	F13 IIIa(包1) 台2212	
	47	Af	口	逆「ハ」字状外反、口唇舌、無文 小型、粘土積痕明瞭	14.6 — —	0.8~1.0 — 44.3	砂泥	細粒 少量	△					△		両:橙茶褐色	両:ナデ、指頭痕	G15 IIIa(包1) 台2204	
	48	Af	口	逆「ハ」字状外反、口唇舌、無文 粘土積痕明瞭	— — —	0.5~1.0 — 36.4	砂	中粒 中量	○	△	△					両:茶褐色	両:指頭痕明瞭	G15 I(0350SZ) 台1032	
	49	Af	口	逆「ハ」字状外反、口唇舌(波状) 粘土積痕明瞭	— — —	0.5~0.8 — 35.0	砂泥	細粒 少量	△					△		両:茶褐色	両:ナデ、指頭痕	K11 Vb(包砂) 台4036	
	50	Af	口	外反強、口唇丸、無文、粘土積 痕明瞭、外:縦位に沈線文(2本1 組・幅2mm)	— — —	0.6~1.3 — 60.0	泥砂	粗粒 少量	△		△			△		両:橙茶褐色	両:ナデ、指頭痕	F13 IIIa(包1) 台2212	
	51	Af	口	外反、頸部屈曲、口唇丸、無文 摩耗、粘土積痕明瞭	— — —	0.6~1.0 — 23.4	砂泥	細粒 少量	△	△				△		外:赤茶褐色 内:黄茶褐色	両:指頭痕(摩耗)	H9 Vb(包砂) 取237 台14507	
	52	A-	胴	無文、厚手、粘土積痕明瞭	31.4 (最大 胴径)	0.7~1.1 — 117.2	砂泥	細粒 少量	△		△			△		両:茶褐色	両:ナデ、指頭痕	G14 IIIb(包2) 台2271	
第 60 図 ・ 図 版 16	53	B7	口	やや内湾、口唇舌(波状)、無文、 粘土積痕やや明瞭	24.4 — —	0.7~0.9 — 66.0	砂	細粒 少量	△					△		外:暗茶褐色 内:茶褐色	両:指頭痕明瞭	H9 Vb(包砂) 取240 台14508	
	54	B7	口	やや内湾、口唇舌、孔(径5mm)、 粘土積痕やや明瞭	16.8 — —	0.5~0.8 — 34.2	砂	粗粒 中量	△		○			△		両:赤茶褐色	両:ナデ、指頭混	F13 IIIa(包1) 台2212	
	55	B7	口	やや内湾、口唇丸、無文、粘土 積痕やや明瞭	— — —	0.7~1.0 — 33.8	砂泥	細粒 中量	○					△		両:灰茶褐色	両:ナデ、指頭痕	L18 Vb(砂) 台3737	
	56	B7	口	やや内湾、口唇舌(波状)無文、 粘土積痕やや明瞭	— — —	0.7~1.0 — 31.8	砂	粗粒 少量	△		△			△		両:暗茶褐色	両:ナデ、指頭痕	G13 IIIb(包2) 台2297	
	57	B7	口	やや内湾、口唇舌、無文、粘土 積痕やや明瞭	— — —	0.5~0.7 — 22.5	泥	中粒 少量	△		△			△		外:橙茶褐色 内:橙灰褐色	両:指頭痕 内:粘土貼付明瞭	H9 Vb(包砂) 台4493	
	58	Bf	口	やや直状、口唇舌、無文、粘土 積痕やや明瞭	— — —	0.6~1.1 — 37.6	砂	細粒 少量	△		△			△		両:灰茶褐色	両:指頭痕	G14 IIIb(包2) 台2210	
	59	Bf	口	逆「ハ」字状外反、口唇丸、薄手 無文、粘土積痕やや明瞭、大型	— — —	0.6~0.8 — 74.3	砂泥	細粒 中量	△	△	○					両:茶褐色	両:ヘラナデ、指頭痕	F13・14 IIIa(包1) 台2202・2212	
	60	B-	口	口唇破損、外:沈線文(鋸歯状) 粘土積痕やや明瞭	— — —	0.5~0.8 — 6.7	砂	細粒 少量	△		△			△		両:茶褐色	両:指頭痕	Q17 IV(1510SD) 台4015	
	61	B-	胴	両面:沈線文(縦・横位)粘土積 痕やや明瞭	— — —	0.6~0.8 — 35.87	砂泥	中粒 少量	△					△		両:暗灰褐色	両:ヘラナデ、指頭痕	F14 IIIa(包1) 台2202	
	62	Cf	口	逆「ハ」字状外反、口唇やや角 粘土積痕不明瞭、無文、大型	— — —	0.5 — 57.2	砂	粗粒 中量	○		△	△				外:暗茶褐色 内:灰茶褐色	両:ナデ、指頭痕	I15 Vb(砂) 台2266	
	63	Cf	口	外反強、胴部直、口唇丸(波状) 薄手、粘土積痕不明瞭、無文	— — —	0.4~0.7 — 22.5	砂	中粒 少量	△	△	△			△		外:茶褐色 内:灰茶褐色	両:ナデ、指頭痕	K12 Vb(包砂) 台3282	
	64	-f	口	内湾、口唇丸(波状)、無文	— — —	1.1 — 21.8	砂	細粒 中量	△		○			△		外:暗茶褐色 内:赤褐色	外:ヘラナデ? 内:指頭痕	G13 IIIb(包2) 台2217	

凡例(◎)=非常に多い ○=多い △=少ない ▽=僅少)

第13表-2 貝塚時代後期土器(口縁部・胴部) 観察一覧

(法量単位:cm, g)

第図 図版	図 番号	分類		部位	形態 (口縁~胴部形状・文様・他)	法量		胎土	混和材					器色		器面調整		グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号
		大	小			口径 器高 底径	器厚 底厚 重量		粒度 含量	石 英	輝 石・ 角閃 石	赤 色 粒	白 色 粒	砂 粒	そ の 他	外面 内面	外面 内面	
第60図・ 図版16	65	Ⅲ	ウ	口	外反、口唇丸(やや波状)、無文 粘土積痕不明瞭	— —	0.8 — 39.8	砂泥	細粒 少量	△				△	両:茶褐色	両:ハラナデ、指頭痕	G15 I (0350SZ) 台1032	
	66	Ⅲ	一イ	口	直状、口唇舌、外:沈線文(横位+ 鋸歯状)	— —	0.6 — 6.3	砂泥	細粒 少量	△		△		△	両:赤褐色	両:ナデ、指頭痕	G13 Vb (砂1) 台4194	
	67	Ⅲ	一イ	口	直状、口唇丸(波状)、外:沈線文 (横+弧状、円?)、薄手	— —	0.3 — 5.0	砂泥	細粒 少量	△				△	両:茶褐色	両:ナデ、指頭痕	F13 IIIa (包1) 台2212	
	68	Ⅲ	ウ	口	外反(逆「ハ」字状)、口唇舌(波状) 無文、粘土積痕不明瞭	— —	0.5~0.7 — 27.0	泥砂	粗粒 少量	△		△			両:茶褐色	両:ナデ、指頭痕	I10 III下(3758P) 台3763	
	69	Ⅲ	D	口	無頭、「ハ」字状に外反、厚手、口 唇やや玉縁、無文	5.8 —	0.8 — 24.6	砂	粗粒 中量	△		○		△	両:赤茶褐色	両:ナデ、指頭痕	H12 Vc (下砂) 台4788	
	70	Ⅲ	ニ チュア	口	外反、頸部窄まる、底部:尖底、 孔?(半分破損)	2.0 5.0 —	0.4 — 25.2	砂	細粒 少量	△				△	両:茶褐色	両:ナデ	G15 Vb(砂) 台5133	
	71	Ⅳ	A	口	逆「ハ」字状外反、口唇丸(角状 突起?)、薄手、粘土積痕明瞭、大 型	— —	0.4~0.6 — 101.0	砂泥	細粒 少量	△		△		△	両:暗茶褐色	両:ナデ、指頭痕	H15 Vb (砂) 台2252 H14 IIIa (包1) 台2260	
	72		B	口	逆「ハ」字状外反、口唇丸、無文、 大型、粘土積痕隆起明瞭	— —	0.5~0.8 — 81.5	泥	粗粒 多量	△		◎			両:灰茶褐色	両:ナデ、指頭痕	R14 III下(4708SK) 台14668	
	73		B	口	逆「ハ」字状外反、口唇丸、無文、 均一、焼成悪	— —	0.6 — 39.7	泥	中粒 中量	△		○		△	両:橙茶褐色	外:ナデ、指頭痕 内:ハケ目	L9 Vc (下砂) 台4206	
	74		A	胴	粘土積痕僅かに隆起、無文	20.2 (胴径)	0.5 — 81.5	砂	細粒 少量	△	△			△	両:茶褐色	両:ナデ、指頭痕	L18 Vb (砂) 台3737	
75	A		胴	無文、やや薄手、僅かに不揃い	28.2 (最大 胴径)	0.5~0.7 — 132.8	砂泥	細粒 少量	△		△		△	両:暗茶褐色	外:指頭痕 内:ハケ目	I7~10 IIIa (包1) L10 Vb (砂) 台2277・3900		
第61図・ 図版17	76	Ⅴ	A	口	やや外反、胴張る、口唇角(刺突 文)、外:凸帯文(上に刺突文・叉 状工具)+沈線文(斜・横)	14.5 —	0.5 — 16.0	砂	細粒 少量	△		△		△	両:橙茶褐色	外:ナデ 内:ハケ目	I10 Vb(包砂) 取217 台4338	
	77		A	口	外反、胴張る、口唇やや角(刻目 文)、外:鋸歯状沈線	19.6 —	0.5 — 37.4	砂	細粒 少量	△				△	両:橙茶褐色	外:ナデ丁寧 内:指頭痕・ハケ目	G14 Vb (下層調査清掃) 台3967	
	78		A	口	外反、胴張る、口唇舌、外:沈線 文(弧状)	17.0 —	0.6 — 29.6	砂	細・粗粒 少量	△		△		△	両:暗茶褐色	両:ハラナデ 指頭痕	F15 IIIa (包1) 台2224	
	79		A	口	外反、口唇丸(三角刺突文)	— —	0.4 — 14.4	砂	中粒 多量	△		○	◎		両:灰茶褐色	両:ナデ、指頭痕	L18 III下(1471P) 台2547	
	80		A	口	やや外反、口唇丸(刺突文・先端 叉状工具)	— —	0.5 — 15.4	砂泥	細粒 少量	△	△			△	両:橙茶褐色	外:ハケ目・指頭痕 内:摩擦(ハケ目?)	J14 Vb (砂) 台3899	
	81		A	口	やや外反、口唇丸(指圧文)	— —	0.5 — 7.6	砂	細粒 少量	△				△	両:暗灰褐色	両:ナデ、指頭痕	J9 Vb (砂1) 台4175	
	82		A	口	やや外反、口唇丸(指圧文)、薄 手	— —	0.5 — 8.5	砂泥	中粒 中量	△		○		△	外:暗茶褐色 内:茶褐色	両:ナデ、指頭痕	L9 Vc(下砂) 取252 台14605	
	83		A	口	外反、口唇角、無文、均一、焼成 良	25.2 —	0.5 — 11.8	砂	細粒 少量	△			△	△	両:橙褐色	外:ハケ目 内:ハケ目、指頭痕	H9 III下(4094SK) 台3670	
	84		A	口	外反弱、口唇丸、無文、均一、焼 成良	17.0 —	0.6 — 12.2	砂泥	細粒 少量	△		△		△	両:橙褐色	両:ナデ、指頭痕	I9 Vb (包砂) 台3984	
	85		A	口	やや外反、口唇丸、均一、無文	13.8 —	0.6 — 14.5	砂	細粒 少量	△		△		△	両:茶褐色	両:ハケ目、指頭痕	I11・12 III下(2496P) 台3121	
	86		A	口	直状、口唇角(強調)、無文、均一	— —	0.4 — 12.1	砂	中粒 中量	○		△		△	両:橙茶褐色	両:ナデ、指頭痕	L18 III下(1463P) 台2469	
	87		A	頸	口唇破損、外:縦位に沈線文+刺 突文	— —	0.8 — 9.8	砂	細粒 少量	△		△		△	両:赤褐色	両:ナデ、指頭痕	G14 IIIb (包2) 台2271	
	88		B	口	逆「ハ」字状外反、口唇丸(指圧 文)	— —	0.6 — 13.4	砂泥	粗粒 中量	△				△	両:橙褐色	両:ナデ、指頭痕	J12 Vb (包砂) 台4091	
	89		B	口	逆「ハ」字状外反、口唇丸(叉状 工具による刺突文・横位)	— —	0.5 — 15.9	砂	中粒 中量	○				△	両:茶褐色	両:指頭痕	K11 Vb(包砂) 取221 台4387	
	90		B	口	外反、口唇角(刺突文・幅3mm・深 目・先端単錐工具)	— —	0.5 — 14.1	砂泥	中粒 中量	○		△		△	両:橙茶褐色	両:ナデ、指頭痕	K12 Vb (包砂) 台3282	
91	B	口	外反弱、口唇丸、無文、均一、焼 成良	— —	0.6 — 15.3	砂	細粒 少量	△				△	両:灰茶褐色	両:ナデ、指頭痕	L16 Vb(包砂) 取278 台4778			

凡例(◎=非常に多い ○=多い △=少ない ▽=僅少)

第IV章  
3(1)



第13表-3 貝塚時代後期土器(口縁部・胴部) 観察一覧

(質量単位:cm, g)

第 四 章 ・ 図 版 18	図 番 号	分類		部位	形態 (口縁~胴部形状・文様・他)	質量		胎土	混和材					器色	器面調整		グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号
		大	小			口径 器高 底径	器厚 底厚 重量		粒度 含量	石 英	輝 石・ 角閃 石	赤 色 粒	白 色 粒		砂 粒	そ の 他	
第 63 図 ・ 図 版 19	92	B	口	逆「ハ」字状外反、口唇丸(角状突起)、均一	— — —	0.4 — 7.1	砂	細粒 少量			△		△		両:赤茶褐色	両:ナデ、指頭痕	I10 Vb (下層調査清掃) 台4197
	93	B	口	逆「ハ」字状外反、口唇丸、無文、均一、焼成悪	— — —	0.6 — 39.7	泥	中粒 中量	△		○		△		両:橙茶褐色	外:指頭痕 内:ハケ目、指頭痕	H9 Vb(砂1軽) 取224 台4444
	94	B	口	外反、口唇舌、胴部張り弱、無文、均一	— — —	0.5 — 28.6	砂泥	細粒 中量	△		○		△		両:橙茶褐色	外:ナデ、指頭痕 内:ハケ目明瞭(横)	H9 Vb(砂1混軽) 取227 台4447
	95	B	口	外反、口唇角、胴部張り弱、外:刺突文(先端平工具)	— — —	0.5 <sup>0.7</sup> — 20.6	砂泥	中粒 中量	△		○		△		両:灰橙褐色	両:指頭痕	J9 III下(3959P) 台3626
	96	B	口	やや外反、口唇丸(刻目文・弧状+斜位)、胴部の張り弱	— — —	0.6 — 20.7	砂	中粒 中量	△		○		△		両:橙茶褐色	両:ナデ、指頭痕	I9 IIIb(包2) 台3374
	97	B	口	逆「ハ」字状外反、口唇丸(刻目文)外:折り曲げ肥厚帯	— — —	0.5 — 26.9	砂	中粒 中量	○		△		△		両:茶褐色	両:ナデ、指頭痕	I13 III下(2561P) 台2816
	98	C	口	外反強、口唇丸(刺突文)、内:刺突文(不規則に施文)	— — —	0.4 — 5.4	泥砂	細粒 少量	△		△		△		両:灰茶褐色	両:ナデ	J10 Vb(包砂) 台4320
	99	C	口	外反、口唇丸、外:円弧文(竹管状工具・径4mm)	— — —	0.6 — 6.0	砂	細粒 少量	△		△		△		両:赤茶褐色	両:ナデ、指頭痕	F13 IIIa(包1) 台788
	100	C	口	外反、頸部縮まる、胴部張る、口唇丸、両:沈線文(鋸歯状)	— — —	0.7 — 11.2	砂泥	細粒 少量	△				△		両:赤茶褐色	両:ナデ、指頭痕	G14 IIIb(包2) 台2210
	101	C	口	外反、頸部縮まる、口唇角(刺突文・叉状工具)、外:沈線文(横+弧状)	— — —	0.7 — 8.5	砂	細粒 少量	△				△		外:暗茶褐色 内:茶褐色	両:ナデ、指頭痕	N11 Vb(砂) 台4065
102	C	口	外反、頸部縮まる、胴部張る、口唇角、無文	— — —	0.6 — 25.8	砂泥	細粒 少量	△		△		△		両:黄茶褐色	両:ハケ目、指頭痕 (内:雑仕上げ)	J10 Vb(包砂) 台4101	
103	C	口	外反、頸部縮まる、胴部張る、口唇やや丸み、均一、無文	22.2 — —	0.5 — 54.4	砂	細粒 中量	○	△	△		△		外:暗茶褐色 内:橙茶褐色	両:ヘラナデ、指頭痕	J9 Vb(砂1混軽) 取200 台4150	
104	V	C	口	外反、胴部張り弱、口唇角、均一有孔(両一穿孔・径7mm)	30.2 — —	0.6 — 93.8	砂泥	細粒 中量	△	△	○		△		外:暗茶褐色 内:橙茶褐色	両:ヘラナデ、指頭痕	J10 Vc(下砂) 取299 台4996
第 64 図 ・ 図 版 20	105	C	口~胴	外反、頸部縮まる、胴部張る、小型、無文	16.0 (20.6) (4.7)	0.5 — 230.5	砂泥	細粒 少量	△					外:黄茶褐色 内:黄茶褐色	内外:指・ヘラナデ、指頭痕	K9 III下(3248SK) L10 III下(3211P) 台3348他 L10 Vb(砂) 取172 <sup>1</sup> 174・176 台3912 <sup>2</sup> 3914他	
	106	D	口~底	やや直状、口唇丸、胴部膨らむ、底部はくびれ平底、有文(頸-鋸歯状沈線文、横位)	5.2 23.1 5.4×4.9	0.5 1.0 370.3	砂	細粒 少量	△				△		外:暗茶褐色 内:黒灰褐色	外:指・ヘラナデ、指頭痕 内:ハケ目(横+縦)	L10 Vb(砂) 台3909・3915・3917 取上169.175.177
	107	D	頸~底	頸部やや直状、胴部膨らむ、底部はくびれ平底、有文(頸部に凸背文縦位2条1組・横位に囲繞)	(4.5) (24.0) 4.8	0.7 0.8 286.5	砂	細粒 少量	△				△		外:茶褐色 内:茶褐色	外:指・ヘラナデ、指頭痕 (ミカキ?)指頭痕 内:ハケ目(横+縦)	L16 IIIa(包1)台2065 L17 III下 台2464他 L17・M17 Vb(砂) 取182 <sup>1</sup> 187・275 台4752他
	108	D	口~底	片口、口唇丸、長頸、胴部膨らむ、平底(上げ底)、無文	6.2 21.7 2.2	0.7 0.9 298.4	砂	細粒 少量	△				△		外:茶褐色 内:茶褐色	外:ナデ、指頭痕 内:ハケ目(横+縦)	L10 Vb(砂) 取170 台3910
	109	D	口	直状、口唇丸、ナデ肩、無文	5.8 — —	0.5 — 16.4	砂	細粒 少量	△				△		両:淡橙褐色	両:ナデ、指頭痕	L18 Vb(包砂) 取274 台4751
	110	D	頸	頸は直状、ナデ肩、無文、均一	5.8 (頸径)	0.4 — 23.0	砂	細粒 少量	△				△		両:橙茶褐色	両:ナデ、指頭痕	L18 Vb(砂) III下(1436SK) 台3737・2502
	111	D	胴	無文、均一、図161と同一個体の可能性	14.6 (最大胴径)	0.4 — 42.9	砂	細粒 少量	△		△		△		両:茶褐色	外:ナデ、指頭痕 内:ハケ目、指頭痕	M18 I (0350SZ) 台2089
	112	D	胴	胴膨らむ、頸縮まる、無文、均一	8.2 (最大胴径)	0.5 — 20.2	砂	細粒 少量	△				△		両:茶褐色	両:ナデ、指頭痕	K13 M17 III下 (1923P) (1316SX) 台2621・2669
	113	D	胴	外:沈線文(横位+弧状・不規則)、胴膨らむ、摩耗	— — —	0.5 — 13.5	砂泥	細粒 少量	△		△		△		外:灰褐色 内:赤茶褐色	外:ナデ 内:ハケ目明瞭	I8 III下(3907P) 台3519
	114	D	胴	胴下半部(底部に近い)、無文、均一	— — —	0.6 — 46.4	砂泥	細粒 少量	△		△				両:茶褐色	両:ナデ、指頭痕	L16 Vb(包砂) 取277 台4777
第 65 図 ・ 図 版 21	115	VI	—	口	外反、胴部張る、口唇丸(やや幅広刻目文)、小型、均一	12.0 — —	0.5 — 65.5	泥	細粒 少量	△		△			両:橙灰褐色	外:ナデ、指頭痕 内:ハケ目(横)	J9 Vc(下砂) 取254 K12 Vb(包砂) 取171 台14654・3911

凡例(◎=非常に多い ○=多い △=少ない ▽=僅少)

第13表-4 貝塚時代後期土器(口縁部・胴部) 観察一覧

(法量単位:cm, g)

第 図 版	図 番 号	分類		部位	形態 (口縁~胴部形状・文様・他)	法量		胎土	混和材					器色	器面調整		クリッド・層・遺構 台帳(取上) 番号
		大	小			口径 器高 底径	器厚 底厚 重量		粒度 含量	羅 石・ 角閃 石	赤 色 粒	白 色 粒	砂 粒		そ の 他	外面 内面	
第 65 図 ・ 図 版 21	116	-	口	外反、胴部張る、口唇丸(波状?・幅広刻目文)、全体的に摩耗	-	0.4 - 29.6	泥	細粒 少量	△	△			外:灰褐色 内:茶褐色	両:ナデ、指頭痕	J9 Vb (砂1) 台4175		
	117	-	口	外反、胴部張る、口唇玉縁(波状)無文、均一	17.6 - -	0.6 - 35.1	泥	細粒 少量	△		△		外:橙褐色 内:灰橙褐色	両:ナデ、指頭痕	J9 IIIb (包2) 台2358		
	118	-	口	外反、胴部張る、口唇丸(波状・鞍状凸帯文)、無文、均一	-	0.4 - 23.4	泥	細粒 少量	△		△		外:橙褐色 内:灰茶褐色	両:ナデ、指頭痕	I8 IIIb (包2) 台2369		
	119	-	口	外反強、胴部張る、口唇丸、波状、無文、均一	21.6 - -	0.5 - 22.1	泥	細粒 少量	△	△	△		外:橙褐色 内:橙茶褐色	両:ナデ、指頭痕	I8 Vc (下砂) 台4260		
	120	-	口	外反、口唇丸、胴部張る、無文	22.2 - -	0.4 - 146.4	泥	中粒 中量	△	○	△		両:灰褐色	両:ナデ、指頭痕	I8 Vc (砂2) 取208 台4261		
	121	-	口	外反、胴部張る、口唇玉縁、無文、孔(径7mm)、外→内へ穿つ	22.0 - -	0.5 - 41.5	泥	細粒 少量	△	△	△		両:灰茶褐色	外:ナデ、指頭痕 内:ハケ目	I10 III下(3776SK) 台3858		
	122	-	口	外反、口唇玉縁、無文、均一、焼成悪	19.0 - -	0.5 - 33.3	泥砂	細粒 少量	△	△	△		外:灰褐色 内:橙灰褐色	両:指頭痕	J9 III下(4015SK) 台3685		
	123	-	口	外反、口唇角(刻目文)	-	0.5 - 8.8	泥	細粒 少量	△	△	△		両:橙灰褐色	外:ナデ、指頭痕 内:ハケ目	I10 III下(3572P) 台3772		
	124	-	口	外反、口唇角(幅広刻目文)	-	0.4 - 8.3	泥	細粒 少量	△		△		両:橙灰褐色	外:ナデ、指頭痕 内:ハケ目	J8 IIIb (包2) 台3883		
	125	-	口	外反、口唇丸、均一、両:沈線文(外:弧状+斜位、内:斜位)	-	0.4 - 8.5	泥	細粒 少量	△		△		外:橙灰褐色 内:灰褐色	両:ナデ、指頭痕	H10 III下(3665SK) 台3815		
	126	-	口	外反、口唇丸(幅広刻目文)外:沈線文(曲)	-	0.4 - 7.3	泥	細粒 少量	△		△		外:灰茶褐色 内:灰褐色	両:ナデ、指頭痕	J9 Vb (砂1) 台4175		
	127	-	口	外反、口唇丸(刻目文)外:沈線(細・不規則)	-	0.5 - 11.5	泥	細粒 少量	△	△	△		両:橙灰褐色	外:ナデ、指頭痕 内:ハケ目	I9 Vc (下砂) 取247 台14600		
	128	-	胴	外:沈線文(横位+斜位)	-	0.7 - 20.7	泥	中粒 少量	△	△	△		両:橙灰褐色	両:ナデ、指頭痕	J9 IIIb(包2) 台3871		
129	-	口	壺、直状、口唇丸(刺突文)、短頸、小型	7.2 - -	0.5 - 5.0	泥	細粒 少量	△		△		両:茶褐色	両:ナデ、指頭痕	I8 Vb (砂1) 台4185			
130	-	口	壺、直状、口唇丸、無文、小型	6.4 - -	0.4 - 5.7	泥	細粒 少量	△	△	△		外:灰褐色 内:橙灰褐色	両:ナデ、指頭痕	I9 Vb (包砂) 台3984			
131	-	口	やや外反、口唇角、無文、薄手、小型	7.4 - -	0.3 - 3.7	泥	中粒 少量	△		△		両:灰褐色	両:ナデ、指頭痕	G10 III下(3633SK) 台3804			
第 66 図 ・ 図 版 22	132	A	口	内湾(直線的)、口唇角(強調・幅9mm)、外:刺突文(斜位)、均一	-	0.4 - 11.1	砂	細粒 少量	△	△	△		外:茶褐色 内:灰茶褐色	両:ナデ、指頭痕	K12 Vb (包砂) 台3282		
	133	A	口	内湾(直線的)、口唇角(内側に丸み)、無文、均一	-	0.6 - 13.4	砂	細粒 少量	△	△	△		両:灰橙褐色	両:ナデ	I9 Vc (下砂) 台14587		
	134	A	口	内湾(直線的)、口唇角(断面三角状)、薄手、無文、均一	29.4 - -	0.4 - 23.2	砂	細粒 少量	△		△		両:暗茶褐色	両:ナデ、指頭痕	J12 III下(2375SK) 台3080		
	135	B	口	外反強、口唇丸(鞍状凸帯文)頭部縮まる	32.0 - -	0.5 - 25.0	砂泥	細粒 少量	△	△	△		外:橙灰褐色 内:淡灰褐色	両:ナデ、指頭痕	I8 III下(3931P) 台3413		
	136	B	口	外反、口唇やや角、外:凸帯文(円形状)貼付	-	0.6 - 11.5	泥砂	細粒 少量	△		△		外:黄茶褐色 内:淡橙褐色	両:ナデ、指頭痕	G15 Vb (砂) 台3874		
	137	C	口	やや外反、口唇丸、外:凸帯文(方形状・縦位に2個)	-	0.5 - 10.1	砂	粗粒 少量	△		△	金雲母 △	両:黄茶褐色	両:ナデ	L18 Vb (包砂) 台4283		
	138	C	口	外反、口唇破損、外:肥厚帯(薄い、幅2.5cm)	-	0.6 - 14.5	砂	細粒 少量	△	△	△		両:茶褐色	両:ナデ、指頭痕	I9 Vb (包砂) 台3984		
	139	C	口	口唇破損、外:肥厚帯(薄い、口唇破損で現存幅2.0cm)	-	0.5 - 31.8	砂泥	細粒 少量	△		△		外:暗褐色 内:茶褐色	両:ナデ、指頭痕	H10 IIIb (包2) 台3882		
	140	-	口	直状、口唇丸、無文	-	0.8 - 40.5	砂	細・粗粒 中量	○	△			両:暗茶褐色	両:ナデ、指頭痕 (内:雑仕上げ)	H14 IIIa (包1) 台2260		
	141	-	口	逆「ハ」字状外反、口唇やや角、孔(径4mm・両面より穿つ)	-	0.7 - 23.1	泥砂	細粒 少量	△	△	△		両:灰茶褐色	両:ナデ、指頭痕	K13 Vb (砂1) 取198 台4148		
142	-	口	逆「ハ」字状外反、口唇丸、内:径5mmの孔?混和材抜け?	-	0.7 - 32.0	砂泥	細粒 少量	△		△		両:黄茶褐色	両:摩耗(指頭痕)	I12 IIIa (包1) 台2301			
143	-	口	やや直状、口唇幅広(1.2cm・5mm幅の凹み線文)、やや波状	-	0.5 - 17.5	砂泥	細粒 少量	△		△		両:茶褐色	両:指頭痕明瞭	G15 I (0350S2) 台1032			

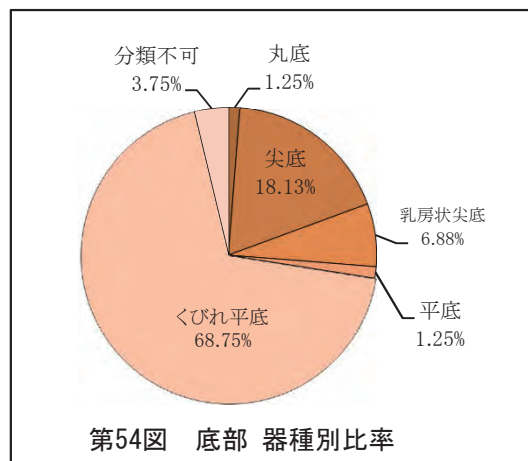
凡例(◎=非常に多い ○=多い △=少ない ▽=僅少)

(2) 底部

貝塚時代後期の底部が160点得られ、底部まで復元が出来たものは口縁部の項で扱った。全体の出土状況を把握するために第14表に出土量、第56図に分類別の平面分布を示し、第50図の重量分布と合わせて整理作業の指標とした。A：丸底、B：尖底、C：乳房状尖底、D：平底、E：くびれ平底に分類し、くびれ平底(E)が110点と最も多く出土した。第54図の円グラフにおいて、それぞれの出土量の比率を示した。層位的にはⅢ・Ⅴ層出土が多く、近世・グスク期に耕作等の攪乱を受けていることが窺える。貝塚時代後期層に相当するⅤ層(b・c)出土の底部を見ると、くびれ平底が61.9%、尖底系(B・C)が30.2%と前者が多い。第56図に示した底部の平面分布で見ると、F区は尖底系、G～I区ではくびれ平底の出土が多く、口縁部や油分無し地区の出土状況とも一致する。G区においては特に顕著な出土状況を示し、E区との関連が考えられる。参考までに、第55図に油分無し地区も合わせて尖底系(尖底・乳房上尖底)とくびれ平底の比率を棒グラフで示した。

第14表 貝塚時代後期土器(底部) 出土量

分類層	丸底	尖底	乳房状尖底	平底	くびれ平底	分類不可	合計
I		2		2	3		7
II		1	1				2
III			1		1		2
IIIa		3			20	1	24
IIIb		2	1		11		14
III下遺構		7	1		33	1	42
IV		1	1		1		3
Vb		9	5		26	2	42
Vc	2	4	1		13	1	21
VI					2	1	3
合計	2	29	11	2	110	6	160



くびれ平底を有する型式にはアカジャンガー式土器(V類)やフェンサ下層式土器(VI類)があるが、I区出土のくびれ平底は、第52図の口縁・胴部における分類別の平面分布や油分無し区の分布状況からV類の可能性が高い。

以下、個々の遺物の詳細を第16表の観察一覧に示し、特徴的な遺物について種類別に記述する。

**A：丸底**

丸底は僅か2点の出土で、第67図144に1点を図示した。2点ともVc層出土である。尖底のcタイプ(外底がやや平ら)にも類似するが、底径が3.0cmと大きいことから丸底とした。外底はやや丸みを呈し、胎土や混和材等から大当原式土器の底部が考えられる。

**B：尖底**

尖底は29点の出土で、図145～155に11点を図示した。くびれ平底に次いで多い。胎土等から大当原式土器の底部が想定され、口縁部の出土量ともほぼ一致する。様々な外底が見られることから、a～cタイプに分けた。今回、出土量の違いにより油分無し地区の分類と若干異なる。

- a：外底が尖り気味のもの
- b：外底がやや丸みを呈するもの
- c：外底がやや平らなもの

aタイプは図145～150の6点を図示した。図145は外底の尖りが明瞭で、図146は内面に放射状のハケ目が残る。図147・150は摩耗が目立ち、図148は他に比べて器厚が厚く、重量感がある。図149は器厚が4mmと薄い、外反がやや大きく、開き気味の形状となる。

bタイプは図151～153の3点を図示した。図151は器面調整が雑で、混和材も多量に含まれる



ために手触りがざらつく。図 152 は角閃石や赤色粒を多量に含み、器面に指頭痕は僅かに残るものの、他に比べると丁寧な作りである。

c タイプは図 154・155 の 2 点を図示した。前者は外底の幅が大きく、やや平らなことから c タイプに含めた。後者も外底が平らで、2.4 cm と小さい。胎土等から大当原式土器の底部が想定できる。

### C：乳房状尖底

乳房状尖底は 11 点の出土で、図 156 ～ 159 に 4 点を図示した。出土数は少ないが、形状が様々で、油分無し地区に準じて記述する。外底の形状は平安山原 B・C 遺跡（2016）を参考にした。

- a：乳頭部が小振り                      ア：外底が丸み
- b：乳頭部が中振り                    イ：外底が凹み
- c：乳頭部が大振り                    ウ：外底が平ら

a タイプは図 156 の 1 点で、外底の形状はアタイプに分類出来る。外底、立ち上がり部に 1 ～ 2 mm の刻目文らしき沈線が「コ」字状に施される。

b タイプは図 157・158 の 2 点を図示した。前者は外底の形状がアタイプ、後者はイタイプで、方形の凹みを呈する。

c タイプは図 159 の 1 点で、外底の形状はイタイプ、凹みは円形状を呈する。底厚も 0.8 cm と薄い。

### D：平底

平底は図示した 2 点が得られた。

図 160 は外底が平ら、図 161 は外底が不安定でやや丸みを呈するが、内底はいずれも尖底と同じく斜めである。図 161 は外底が不安定でやや丸みを呈し、内底は斜位である。いずれもくびれは見られず、内底が斜位であることから、平底とした。後者は M18 0350SZ 出土で、同じ土器と想定される胴部破片（図 111）との接合が出来ず、別個に記載した。同資料は、乳房状尖底の流れを汲みながらくびれ平底へ変化する過程のものと想定されるが、くびれがないことから平底に分類した。

### E：くびれ平底

くびれ平底は 110 点と最も多く出土した。

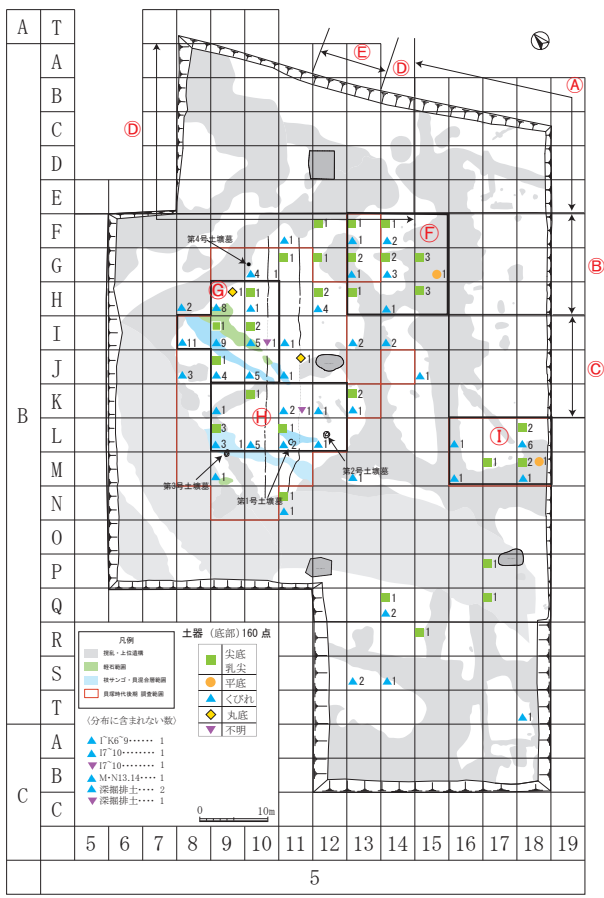
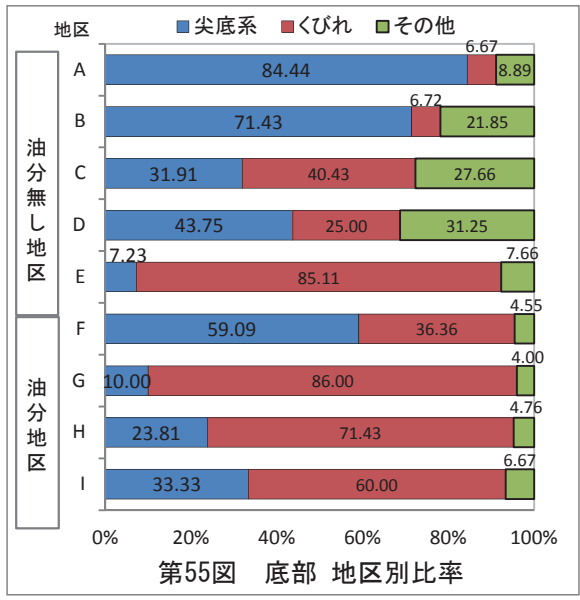
図 162 ～ 200 に 39 点を図示した。くびれ平底の分類は基本的に油分無し地区の分類に準じながら平安山原 B・C 遺跡（2016）の分類も参考にし、下記のように分けた。b ～ d タイプが同数程度の出土で、a タイプが最も少ない。底厚は多数がウタイプで、次いでイ・エタイプと続く。第 15 表に底径と底厚の関係を示した。今回は底径が 5.1 ～ 6.0 cm が 31 点、6.1 ～ 7.0 cm が 34 点と両者が多い。復元土器や口径の推定が出来た資料を参考にすると、甕・壺形とも 5.0 cm 弱と小型化している傾向が窺える。底厚はウタイプの 0.6 ～ 0.9 cm が 67 点と最も多く、油分無し地区では底厚の厚手（1.4 cm 以上）が出土しているが、今回は得られていない。

第15表 くびれ平底 底径と底厚の関係

底厚	底径 (cm)					不明	計
	4.1～5.0	5.1～6.0	6.1～7.0	7.1以上			
1.0～1.3	1	8	4	1		14	
0.6～0.9	10	18	24	3	12	67	
0.5以下	5	5	4		9	23	
不明			2		4	6	
計	16	31	34	4	25	110	

- a：くびれがより明瞭（鏢状）              ア：底厚が厚い（1.4 cm 以上）
- b：くびれが明瞭                              イ：底厚がやや厚い（1.0 ～ 1.3 cm）
- c：くびれが弱                                  ウ：底厚がやや薄い（0.6 ～ 0.9 cm）
- d：くびれがより弱                          エ：底厚が薄い（0.5 cm 以下）

a タイプはくびれがより明瞭なもので、図 162 ～ 168 の 7 点を図示した。いずれもナデ調整により、立ち上がりの角が鏢状を呈する。図 162 ～ 164・167 は外底が僅かに上げ底を呈する。図 162 は内底



第56図 貝塚時代後期土器（底部）平面分布

が盛り上がり、底厚は1.2 cmとやや厚く、図165は底厚が0.4 cmと薄い。

bタイプは図169～179の11点を図示した。いずれも外底は上げ底を呈し、図170の胴部は外反が強い。図171・172の内面にはハケ目が明瞭に残る。底厚はほとんどがやや薄く、図170・178の2点は0.5 cmと薄い。図179は他のくびれ平底と若干形状が異なるが、今回はここに含めた。立ち上がり部の角は丸みを呈し、外反が強い。底面は粘土を貼付している。底厚もやや厚い。

cタイプは図180～191の12点を図示した。図180・181は底径が5.0 cm以下と小振りな底部である。図181・187・188は外底が上げ底で内底が盛り上がる。図185は外底が雑で、底面が粘土接合面から剥がれた可能性もあり、底厚は不明である。底厚がやや厚いものは図183・190の2点、薄いものは図189の1点、他はやや薄い。

dタイプは図192～200の9点である。立ち上がりやや急なものが多く見られることから、小振りな形状を呈していたと思われる。図197の外底は粘土を貼付して制作されている。図194・198は外面、図199は内面にハケ目痕が明瞭に残る。図192・193は内底が盛り上がる。底厚はやや厚いものが図192・199の2点、薄いものは図200の1点で、他はやや薄い。図200は底面が破損しているが、胎土等を考慮すると、くびれ平底と思われる。底径も5～6 cm内には収まるものと想定される。

その他、底面が破損するなど、分類が出来なかった底部が6点得られた。

<小結>

本遺跡出土の土器を油分無し地区と合わせて見ると、Ⅲ類（大当原式土器）、Ⅴ類（アカジャンガー式土器）、Ⅵ類（フェンサ下層式土器）が多量に出土した。油分無し地区でも記述したように、貝塚時代後期の包含層であるⅤ層は近世・グスク期の攪乱を受けており、今回もⅢ層出土が目立つ。層位的にはいずれの土器も同層から出土しているが、第51・52・56図の平面分布や第55図の帯グラフから、尖底系（尖底・乳房状尖底）はA・B区（油分無し地区）・F区（油分地区）、くびれ平底は4409SXのE区（油分無し地区）・G～I区（油分地区）で多いなど、平面分布では出土状況に違いが見られた。Ⅴ類はI区、隣接する油分無し地区のC区でも得られ、Ⅲ類の出土状況と重なる。

IV類とした中間タイプは若干F区で多い。それらを既存の型式の範疇に含めていいのか、今後の課題である。

また、最近の研究においては、くびれ平底系土器を一つの様式でまとめた検討がなされており（伊藤 1994）、油分無し地区はくびれ平底系土器をまとめて分類したが、油分地区ではこれまでの本町の発掘調査の結果等を考慮し、従来の分類に従ってアカジャンガー式土器（V類）とフェンサ下層式土器（VI類）に分けた。G・H区では両者、I区はV類の出土と若干の違いが見られたが、中には両者の区別が出来ないもの（VII類）もあり、課題を残す。

その他、VI層より貝塚時代早～中期の土器が出土し、隣接する伊礼原遺跡に関連する遺物と考えられる。その中には縄文時代中期相当期の土器と考えられるものが出土している。春日式土器に類似する資料は胎土や調整の仕方から模倣土器の可能性も考えられるが、文様や口縁部の形状等より搬入土器としたものである。類例が待たれる資料である。

第16表-1 貝塚時代後期土器(底部) 観察一覧

(法量単位:cm, g)

第図版	図番号	分類		形態	法量		胎土	混和材						器色		器面調整		グリップ・層・遺構・台(取上)番号	
		大	小		底径重量	器厚底厚		粒度含量	石英	角閃石・石	赤色粒	白色粒	砂粒	その他	外面内面	外面内面			
第67図	144	丸	—	外底やや丸立ち上がり丸み・緩やか	3.0 57.9	0.4 1.4	砂	粗粒中量	○		○		△		外:赤褐色内:	外:ナデ、指頭痕内:	H9 Vc 砂2 台14701 取271		
	145	尖	a	外底尖る、底厚やや厚い立ち上がりやや急	— 6.8	0.4 1.0	泥砂	粗粒多量	△		◎		△		両:灰茶褐色	両:ナデ、指頭痕	I9 III下遺構(3746P) 台3774		
	146		a	外底尖る、底厚薄い立ち上がりやや緩やか	— 7.8	0.5 0.8	砂	中粒少量	△		△		△		両:暗褐色	外:ナデ内:ハケ目明瞭	M17 IIIa(包1) 台2060		
	147		a	外底尖る、底厚やや薄い全体的に摩耗	— 11.7	0.3 0.9	砂	粗粒中量	○	△	△		△		両暗:茶褐色	摩耗で不明	L9 Vc(砂2) 台14592		
	148		a	外底やや尖る、底厚厚い立ち上がり緩やか	— 32.2	0.6 1.5	砂泥	細粒中量	△		○		△		両:赤褐色	両:ナデ	I10 III下遺構(3779P) 台3405		
	149		a	外底やや尖る、底厚厚い立ち上がり緩やか	— 29.6	0.4 1.4	砂	粗・細粒中量	△	○	△		△		外:茶褐色内:黄茶褐色	両:ナデ、指頭痕	L9 Vc(下砂) 台14599 取246		
	150		a	外底やや尖る、底厚やや厚い、立ち上がりやや緩やか	— 13.1	0.5 1.1	砂泥	中粒少量	△		○		△		両:茶褐色	両:ナデ、指頭痕	L9 Vc(下砂) 台4206		
	151		b	外底やや丸み、底厚より厚い立ち上がり急、雑仕上げ	— 102.3	0.7 2.1	砂	中粒多量	◎	△			△		外:茶褐色内:暗茶褐色	外:ヘラナデ内:ナデ、指頭痕	L18 Vb(砂) 台3737		
	152		b	外底やや丸み、底厚厚い立ち上がりやや急	— 54.9	0.6 1.5	砂	粗粒多量		◎	◎		△		両:橙褐色	両:ナデ、指頭痕	H12 Vb(包砂) 台4658 取258		
	153		b	外底やや丸み、底厚厚い	4.0 50.0	0.8 1.3	泥砂	細粒少量	△	△			△		両:灰茶褐色	外:ナデ、指頭痕内:ナデ	F14 IIIa(包1) 台1032		
	154		c	外底やや平ら、底厚より厚い立ち上がりやや緩やか	— 37.6	0.6 2.2	砂	細粒少量	△				△		外:茶褐色内:暗灰褐色	外:雑、指頭痕内:ナデ	L11・12 III下遺構(1730SK) 台3180		
	155		c	外底やや平ら、底厚厚い立ち上がり急	2.4 28.1	0.5 1.7	砂	細粒少量	△				△		外:黄茶褐色内:暗褐色	両:ナデ、指頭痕	L18 Vb(砂) 台3737		
	第68図		156	乳尖	a <sup>ア</sup>	乳頭部小振り・低い、外底丸み、外底に沈線文	2.0 24.6	0.6 1.6	砂	中粒中量	△	△			△	粘板岩? ○	外:橙褐色内:暗灰褐色	外:ヘラナデ、指頭痕内:指頭痕	P17 IV(1510SD) 台3957
			157		b <sup>ア</sup>	乳頭部中振り・やや高い外底丸み、全体的に摩耗	1.2 52.0	0.7 1.9	不明	細粒少量	△				△		外:橙褐色内:黄茶褐色	摩耗で不明	G15 Vb(包砂) 台4451 取231
158			b <sup>イ</sup>		乳頭部中振り・高い、外底中央部粘土貼付・凹み(方形)	3.4 29.1	— 2.0	砂	中粒少量	△		△				両:茶褐色	外:ヘラナデ内:不明	H15 Vb(砂) 台2252	
159		c <sup>イ</sup>	乳頭部大振り・低い、外底中央部粘土貼付・凹み(円形)		3.8×4.5 36.0	— 0.9	砂	中粒多量	◎				○		両:茶褐色	両:ナデ	F12・13(0586SZ) 台976		
第69図	160	平底	—	外底平ら、内底は斜位立ち上がりは直・外反強	4.0 50.0	0.8 1.8	砂	細粒少量	△		△		△		両:赤褐色	両:ナデ、指頭痕	G15 I(0350SZ) 台1032		
	161		—	外底やや平ら、内底斜位立ち上がりは直	4.6×5.2 117.1	0.4 1.3	砂	細粒少量	△		△		△		両:茶褐色	外:ヘラナデ内:指頭痕	M18 I(0350SZ) 台2089		
第70図	162	くびれ平	a <sup>イ</sup>	くびれより明瞭、底径やや小底厚やや厚い、内底中央盛り上がる(やや上げ底)	5.5 53.4	0.4 1.2	砂	中粒中量	○				△	△	外:茶褐色内:灰褐色	外:ナデ、指頭痕内:ハケ目	H10 III下遺構(3665SK) 台3815		
	163		a <sup>ウ</sup>	くびれより明瞭、底径やや小底厚やや薄い	5.6 10.8	0.5 0.7	泥砂	細粒少量	△		△		△		両:橙茶褐色	外:ナデ丁寧内:ハケ目	J10 Vc(下砂) 台14504		
	164		a <sup>ウ</sup>	くびれより明瞭、底径やや大底厚やや薄い	6.2 18.9	0.4 0.8	砂	中粒少量	△		△		△		両:暗灰褐色	両:ナデ、指頭痕	I9 III下遺構(3898P) 台3650		
	165		a <sup>エ</sup>	くびれより明瞭、底径やや大底厚薄い	6.2 19.2	0.5 0.4	砂	細粒少量	△		△		△		両:灰茶褐色	両:ナデ、指頭痕	Q14 III下遺構(1589SK) 台3704		
	166		a <sup>ウ</sup>	くびれより明瞭、底径やや大底厚やや薄い	6.6 33.6	0.5 0.8	砂泥	細粒少量			△		△	黒色粒△	外:茶褐色内:灰茶褐色	外:ナデ丁寧内:ナデ、指頭痕	I9 IIIb(包2) 台2377		
	167		a <sup>ウ</sup>	くびれより明瞭、底径やや大底厚やや薄い、内底中央盛り上がる(上げ底)	6.8 60.9	0.5 0.6	砂泥	細粒少量	△		△	△			灰色粒○	外:黄茶褐色内:暗灰褐色	外:ナデ丁寧内:ナデ(ヘラ?)	I10 Vb(包砂) 台4337 取216	

凡例(◎=非常に多い ○=多い △=少ない △=僅少)

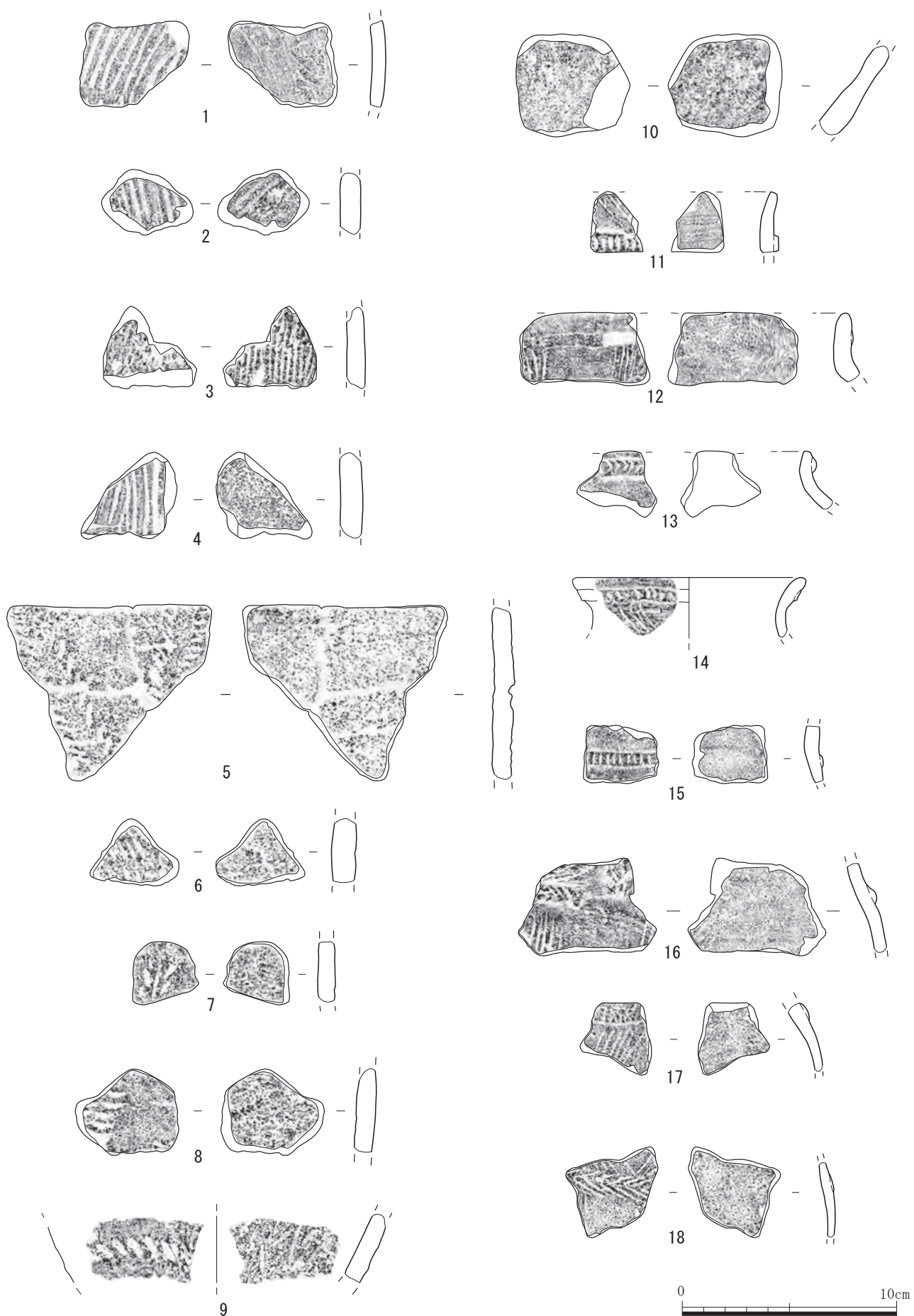


第16表-2 貝塚時代後期土器(底部) 観察一覧

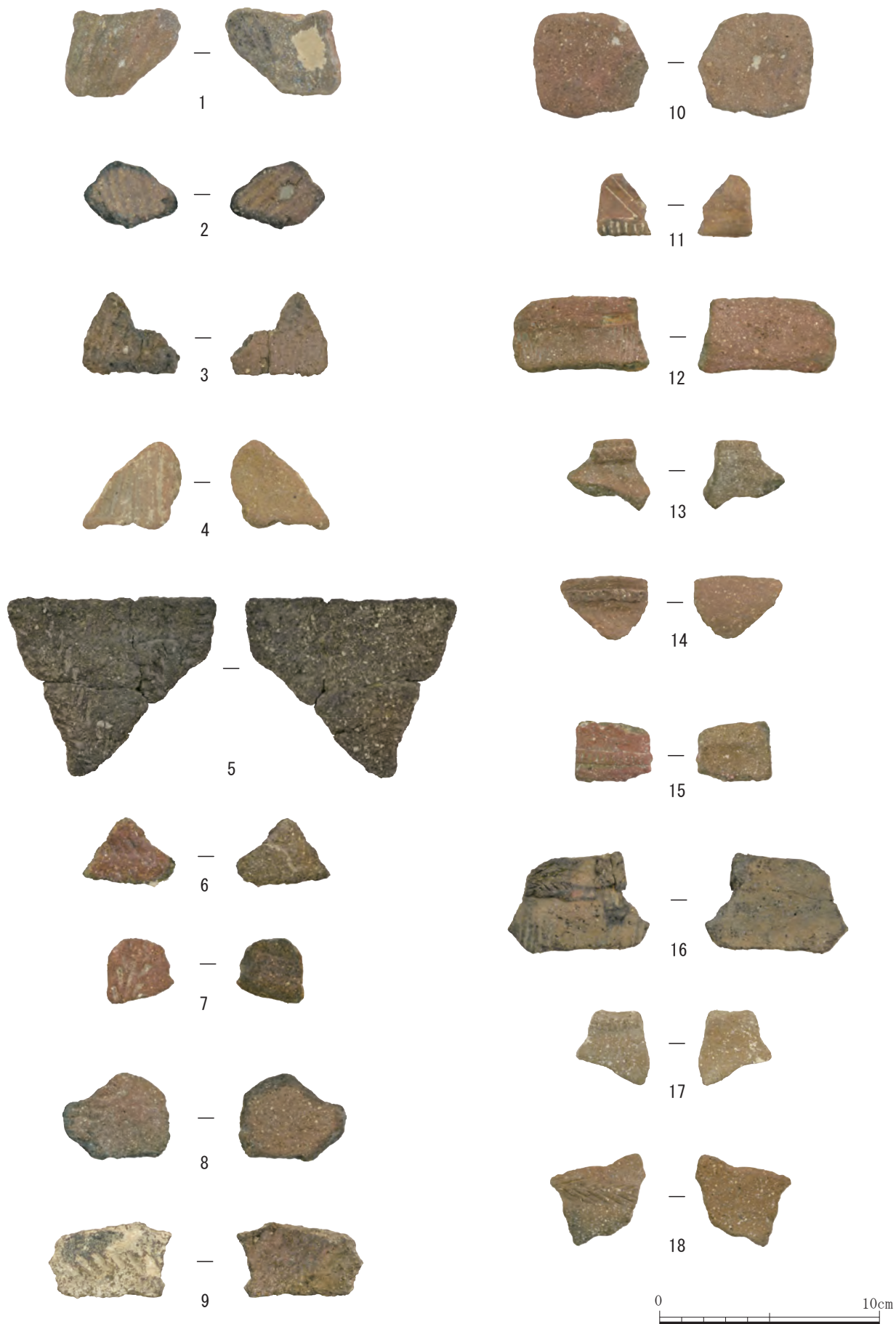
(法量単位:cm, g)

第図 図版	図 番号	分類		形態	法量		胎土	混和材						器色	器面調整		グッド・層・遺構・ 台(取上)番号	
		大	小		底径 重量	器厚 底厚		粒度 含量	石英	角 礫石	赤 色 粒	白 色 粒	砂 粒		そ の 他	外面 内面		外面 内面
第67図 図版23	168	aフ		くびれより明瞭、底径大 底厚やや薄い、内底中央やや 盛り上がる(上げ底)	6.8 15.8	0.5 0.8	泥砂	細粒 少量	△		△		△		両:灰茶褐色	外:ハケ目、ナデ 内:ナデ	I9 Vb(包砂) 台3984	
	169	bフ		くびれ明瞭、底径やや小 底厚やや薄い	5.2 38.1	0.5 0.9	砂泥	細粒 少量	△				△		両:茶褐色	両:ナデ、指頭痕	I15 Ⅲ下(1962P) 台2677	
	170	bエ		くびれ明瞭、底径やや大 底厚薄い	5.6 17.3	0.4 0.5	砂泥	細粒 少量	△				△		両:灰橙褐色	外:ナデ、指頭痕 内:ハケ目明瞭	H9 Ⅲa(包1) 台2372	
	171	bフ		くびれ明瞭、底径大 底厚薄い	6.2 11.8	0.4 0.6	砂泥	細粒 少量	△		△		△		外:赤褐色 内:茶褐色	外:ナデ、指頭痕 内:ハケ目	J10 Vb(包砂) 取214 台4267	
	172	bフ		くびれ明瞭、底径やや大 底厚やや薄い	6.2 17.2	0.3 0.6	泥砂	中粒 中量	△		○		△		外:暗茶褐色 内:灰茶褐色	外:ナデ、指頭痕 内:ハケ目	I7K6'9 IV(3507SD) 台2268	
第68図 図版24	173	bフ	く び れ 平	くびれ明瞭、底径やや大 底厚やや薄い、摩耗	6.4 25.8	0.5 0.7	砂泥	細粒 少量	△		△		△		両:橙灰褐色	両:指頭痕	J18 Ⅲa(包1) 台2355	
	174	bフ		くびれ明瞭、底径やや大 底厚やや薄い	6.4 55.9	0.6 0.8	砂泥	粗粒 多量			◎		△		両:灰茶褐色	外:外底ナデ丁寧 内:雑仕上げ	I8 Vb(砂1) 取203 台4189	
	175	bフ		くびれ明瞭、底径やや大 底厚やや薄い、摩耗	6.4 26.9	0.4 0.8	不明	中粒 中量	△		○		△		外:灰褐色 内:赤褐色	摩耗で不明	L10 Vb(砂) 台4004	
	176	bフ		くびれ明瞭、底径大 底厚やや薄い、外-煤付着	6.4 21.9	0.6 0.8	泥	細粒 少量	△				△		両:灰茶褐色	外:ナデ、指頭痕 内:指頭痕	J10 Vb(包砂) 取215 台4294	
	177	bフ		くびれ明瞭、底径大 底厚やや薄い	6.6 19.3	0.5 0.6	泥	中粒 中量	△		○		△		両:淡橙褐色	両:ナデ、指頭痕	G13 Ⅲb(包2) 台2297	
	178	bエ		くびれ明瞭、底径より大 底厚薄い、上げ底	7.0 11.3	0.6 0.5	泥	細粒 中量	△		○		△		両:灰褐色	外:ハケ目 内:ハラナデ?	F13 Ⅲa(包1) 台2212	
	179	bイ		くびれ明瞭、底径大、外反強 底厚やや厚い	7.2 23.4	0.9 1.0	砂泥	細粒 少量	△					△		外:橙褐色 内:灰褐色	両:ナデ	I13 Ⅲa(包1) 台2244
	180	cフ		くびれ弱、底径小 底厚やや薄い	4.4 17.7	0.5 0.7	砂泥	細粒 少量	△					△		両:茶褐色	両:ナデ、指頭痕	G14 Ⅲb(包2) 台2271
	181	cフ		くびれより弱、底径小 底厚やや薄い	4.8 15.2	0.4 0.9	泥	中粒 中量	△		○			△		両:灰橙褐色	外:ナデ、指頭痕 内:ハラ?	H9 Vb(砂1混軽石) 取225 台4445
	182	cフ		くびれ弱、底径やや小(楕円) 底厚やや薄い	5.1×4.7 32.0	0.4 0.8	泥	細粒 少量	△					△		外:茶褐色 内:灰褐色	外:ナデ丁寧 内:雑仕上げ	I14 Ⅲ下(2111P) 台2619
	183	cイ		くびれ弱、底径やや大(楕円) 底厚やや厚い	5.4×5.8 59.9	0.6 1.0	砂	中粒 中量	△		△			黒色 粒○		両:暗茶褐色	外:ナデ丁寧、ハケ目 内:指頭痕明瞭	I8 Ⅲ下(3629P) 台3550
	184	cフ		くびれ弱、底径やや小 底厚やや薄い	5.4 22.6	0.4 0.6	砂泥	細粒 少量	△		△			△		両:灰茶褐色	外:ナデ 内:ハケ目明瞭	I9 Vb(包砂) 台3984
	185	c一		くびれ弱、底径やや小 底厚やや薄い、外底ハカレ?	5.4 18.5	0.3 0.4 (現存)	泥	中粒 中量	△		○			△		量:灰茶褐色	両:ナデ、指頭痕	M9 Vc(下砂) 取266 台14679
	186	cフ		くびれ弱、底径やや大 底厚やや薄い	6.4 16.5	— 0.9	泥	細粒 少量	△					△		外:橙褐色 内:灰褐色	両:ナデ	F14 Ⅲa(包1) 台2241
	187	cフ		くびれ弱、底径大 底厚やや薄い	6.6 19.8	0.5 0.7	泥砂	細粒 少量	△		△			△		両:灰茶褐色	外:ナデ、指頭痕 内:ハケ目	G10 Ⅲ下(3633SK) 台3804
	188	cフ		くびれ弱、底径やや大 底厚やや薄い	6.0 17.8	0.6 0.8	泥	細粒 少量	△					△		外:灰桃色 内:灰褐色	両:ナデ	F14 Ⅲa(包1) 台2202
	189	cエ		くびれ弱、底径大 底厚薄い	6.4 12.7	0.4 0.5	泥	細粒 少量	△		△			△		外:灰褐色 内:橙褐色	外:ナデ、指頭痕 内:ハケ目明瞭	H9 Ⅲ下(4085P) 台3711
	190	cイ		くびれ弱、底径大 底厚やや厚い	7.0 41.2	— 1.0	泥	細粒 少量	△		△			△		両:橙茶褐色	両:ナデ丁寧	I9 Ⅲ下(3741P) 台3668
	191	cフ		くびれ弱、底径より大 底厚やや薄い	7.2 11.9	0.6 0.8	砂泥	細粒 少量	△					△		外:茶褐色 内:灰褐色	両:ナデ丁寧、指頭痕	H9 Vb(混軽石) 台4442
	192	dイ		くびれより弱、底径やや大、底厚 やや厚い(内底中央盛り上がる)	5.8 54.3	0.6 1.1	泥	細粒 少量			△			△	黒色 粒△	両:灰橙褐色	両:ナデ、指頭痕	J10 Ⅲ下(3537P) 取156 台3692
193	dイ	くびれより弱、底径大 底厚やや厚い	7.0 40.8	0.5 1.0	砂泥	粗粒 中量	○					△		外:赤褐色 内:灰褐色	両:ナデ、指頭痕	L10 Ⅲa(包1) 台2317		
194	dフ	くびれより弱、底径小 底厚やや薄い	5.0 15.0	0.4 0.6	泥	中粒 中量	△		○					外:暗灰褐色 内:茶灰褐色	外:ハケ目明瞭 内:ハケ目	I7'10 Ⅲa(包1) 台2277		
195	dフ	くびれより弱、底径やや小 底厚やや薄い、摩耗	5.6 16.9	0.4 0.6	泥	中粒 中量	△		○			灰色 粒○		外:橙灰褐色 内:暗褐色	両:指頭痕	J9 Vc(下砂) 取261 台14604		
196	dフ	くびれより弱、底径羽やや小 底厚やや薄い、摩耗	5.8 29.0	0.3 0.7	砂	中粒 中量	○					△		両:茶褐色	摩耗で不明	L18 Vc(下砂) 台4865		
197	dイ	くびれより弱、底径やや大 底厚やや厚い	6.4 27.8	0.6 1.0	泥砂	中粒 中量	△		○			△		外:灰茶褐色 内:灰褐色	外:ナデ、指頭痕 内:ハケ目	G14 Ⅲb(包2) 台2210		
198	dフ	くびれより弱、底径大 底厚やや薄い	6.6 24.6	0.5 0.8	泥	細粒 少量			△			△		外:灰橙褐色 内:茶橙褐色	外:ハケ目明瞭 内:ナデ、指頭痕	I14 Ⅲ下(2158P) 台2712		
199	dイ	くびれより弱、底径やや小 底厚やや厚い	5.6 15.5	0.4 1.0	泥	細粒 少量	△					△		両:灰橙褐色	外:ナデ、指頭痕 内:ハケ目	K12 Vb(包砂) 台3999		
200	dフ	くびれより弱、底厚薄い	— 10.3	0.5 0.6	泥	細粒 少量	△		△			△		両:灰橙褐色	両:ナデ、指頭痕	M16 Ⅲa(包1) 台2059		

凡例(◎=非常に多い、○=多い、△=少ない、△=僅少)

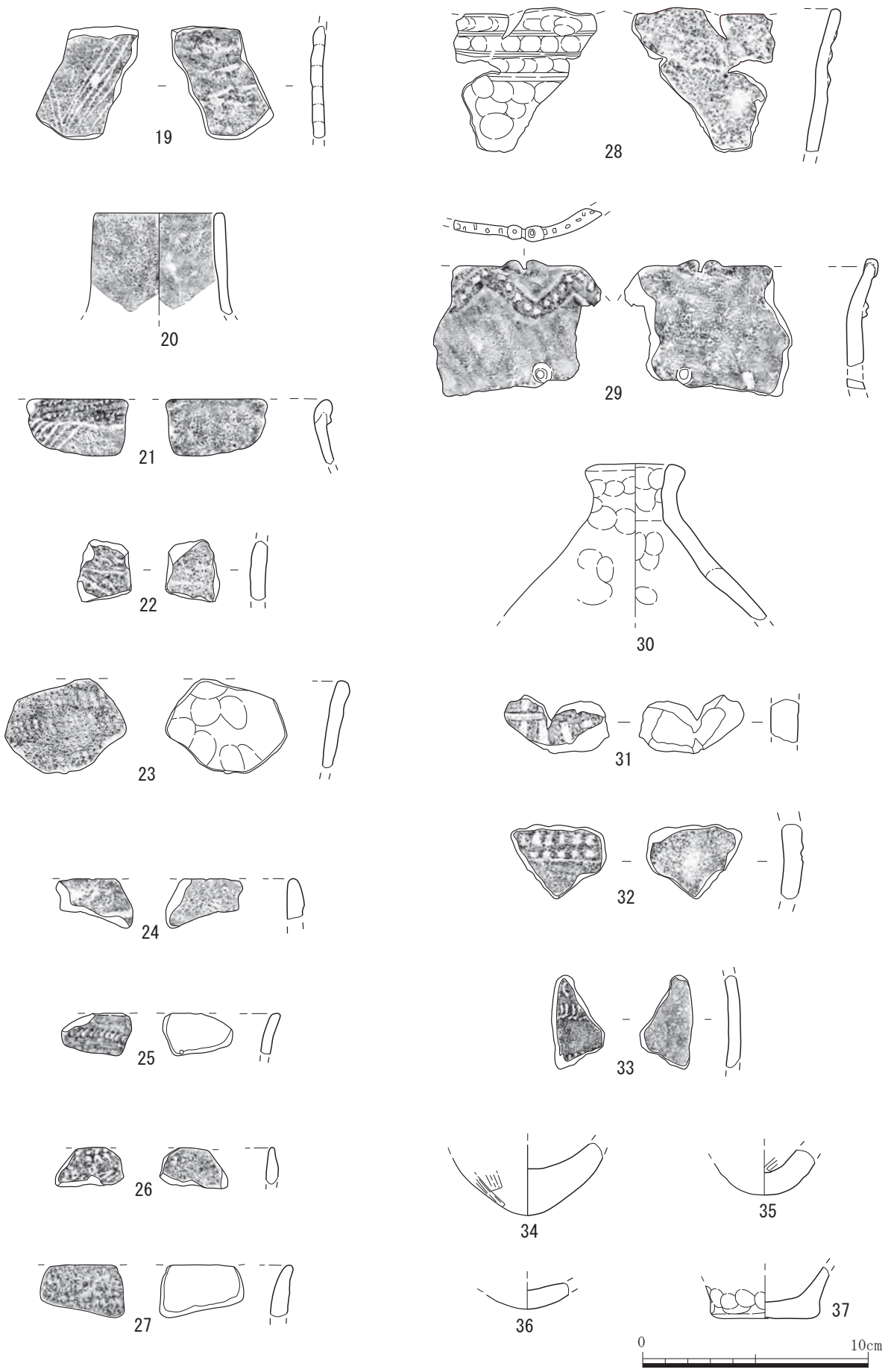


第 57 图 土器 1

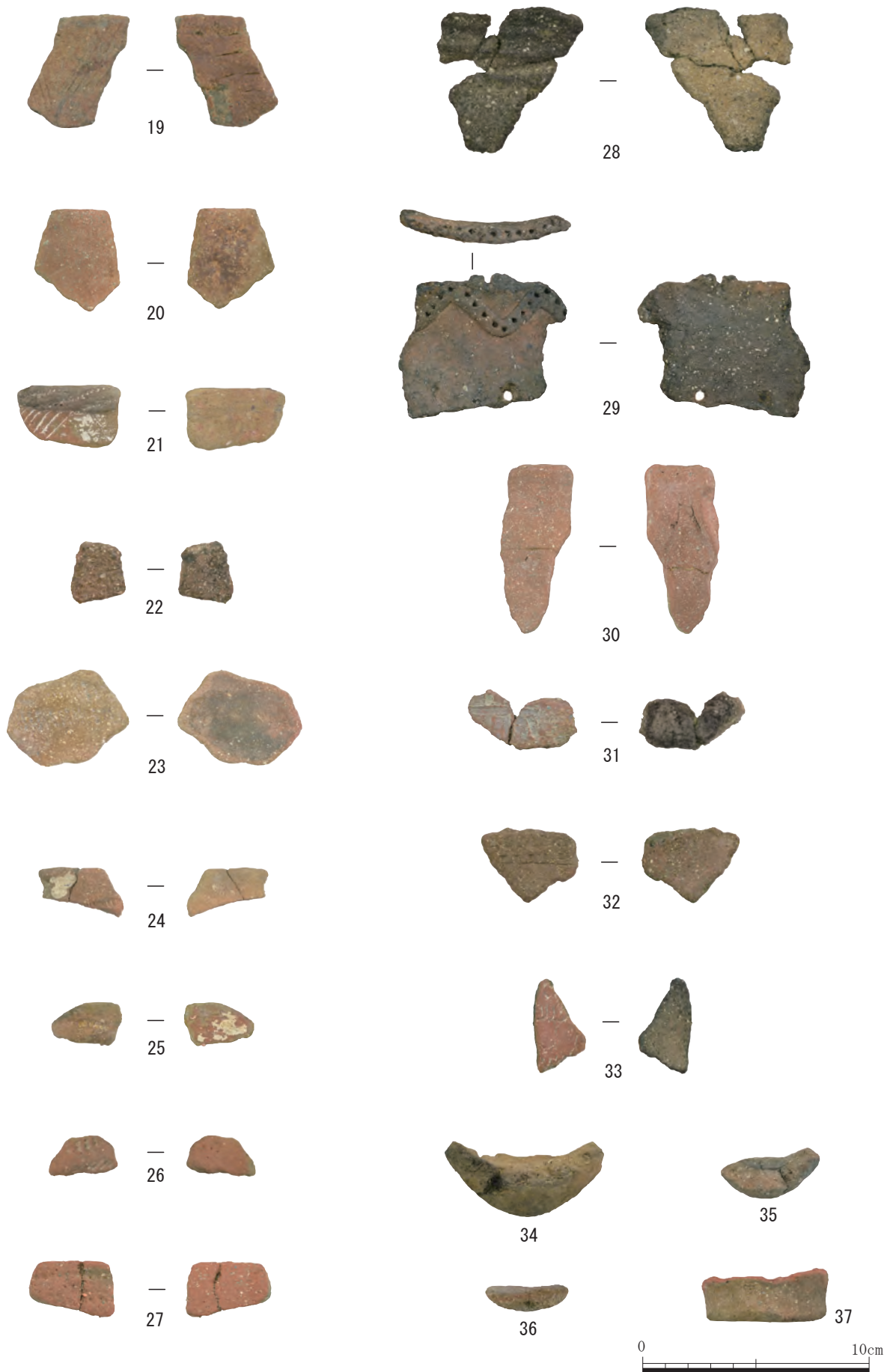


图版 13 土器 1

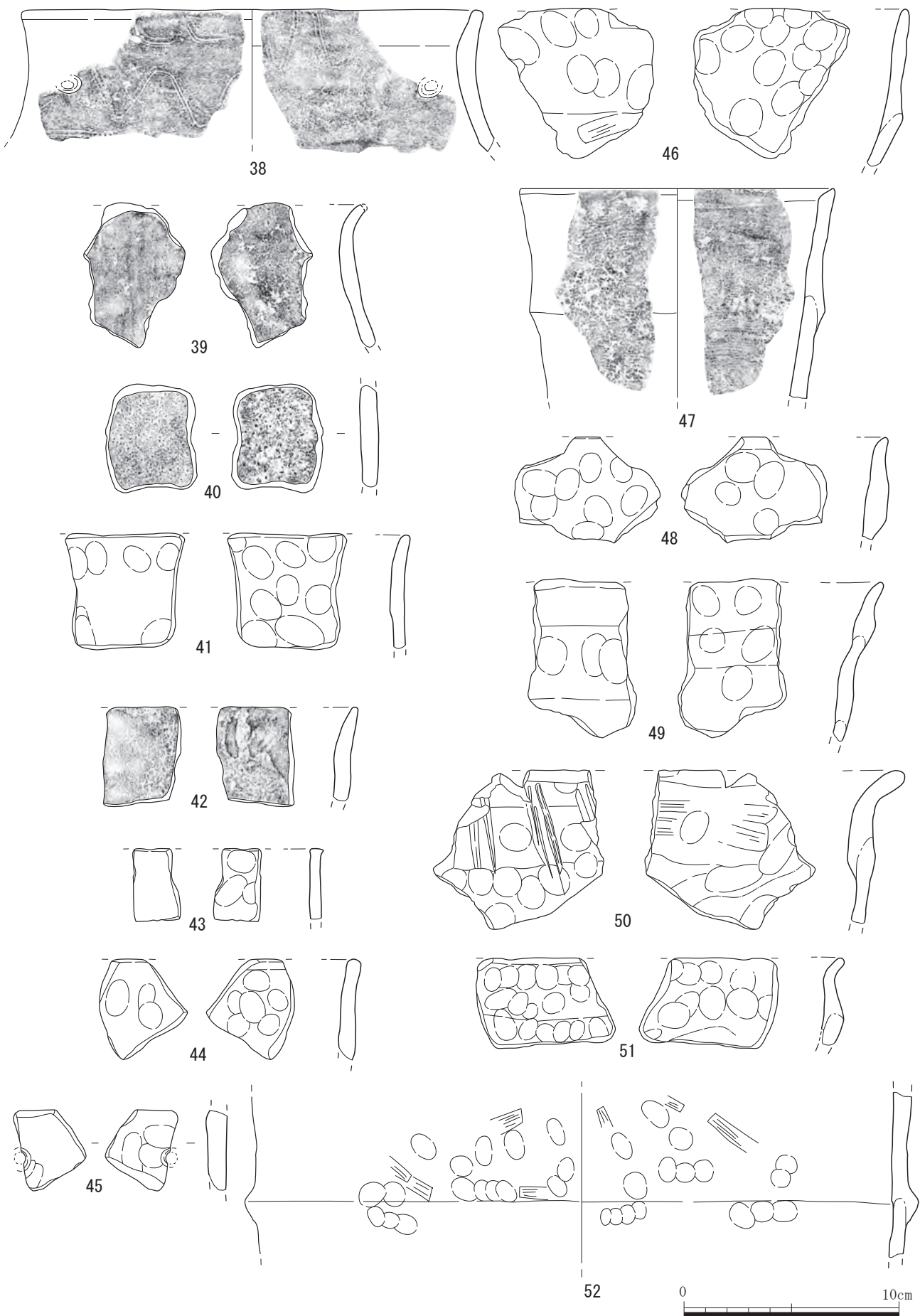




第58图 土器2



图版 14 土器 2

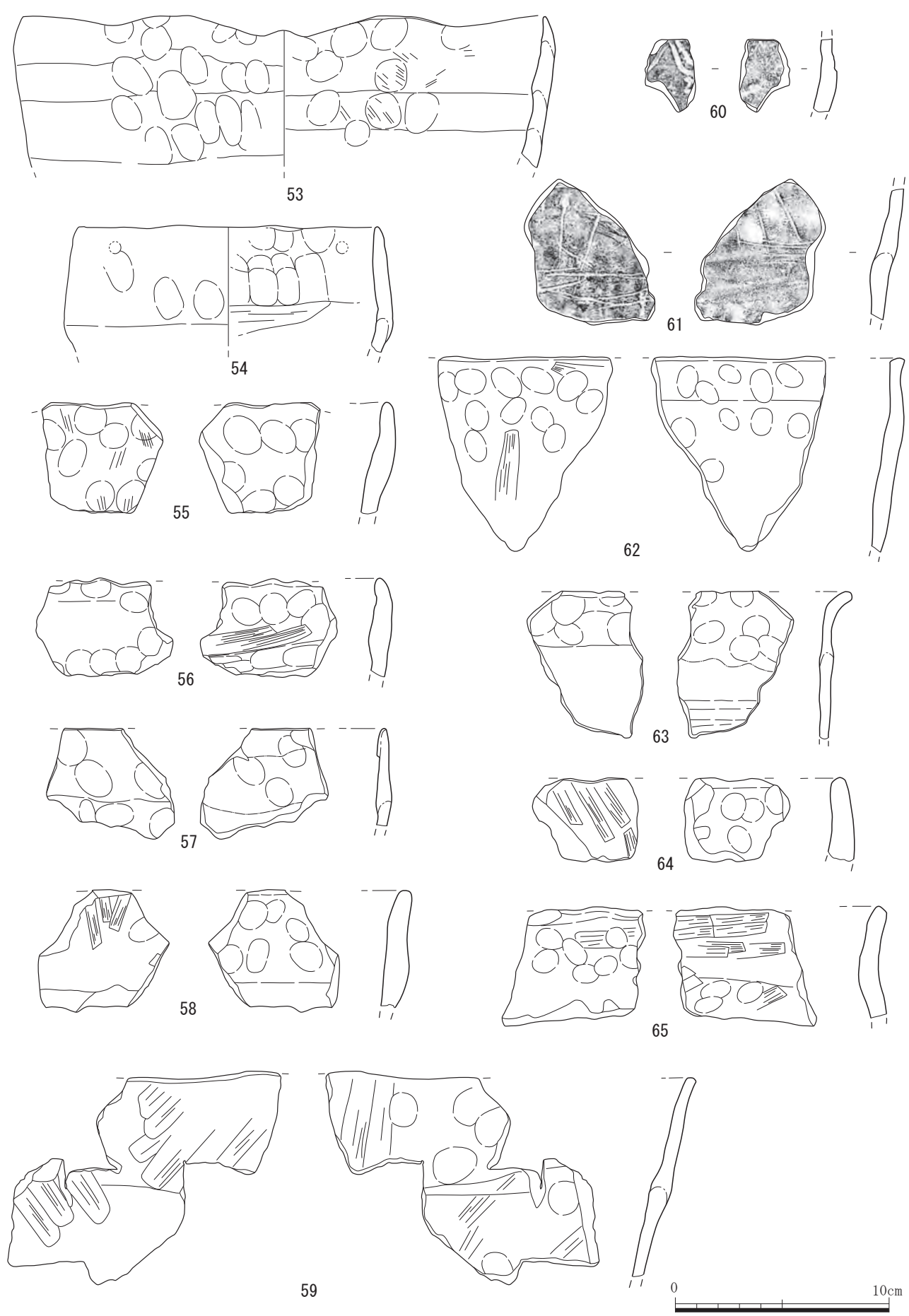


第59图 土器3

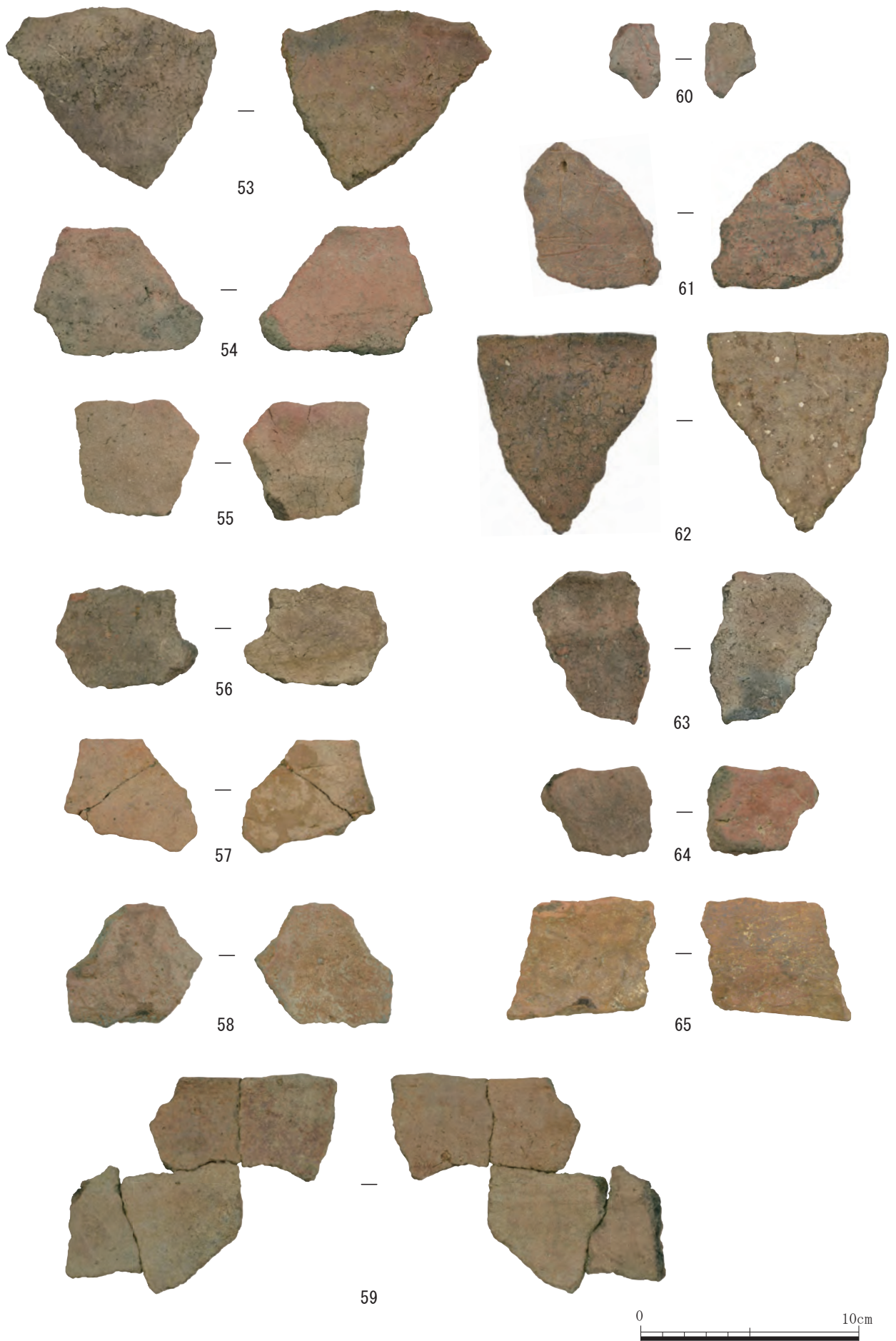




图版 15 土器 3

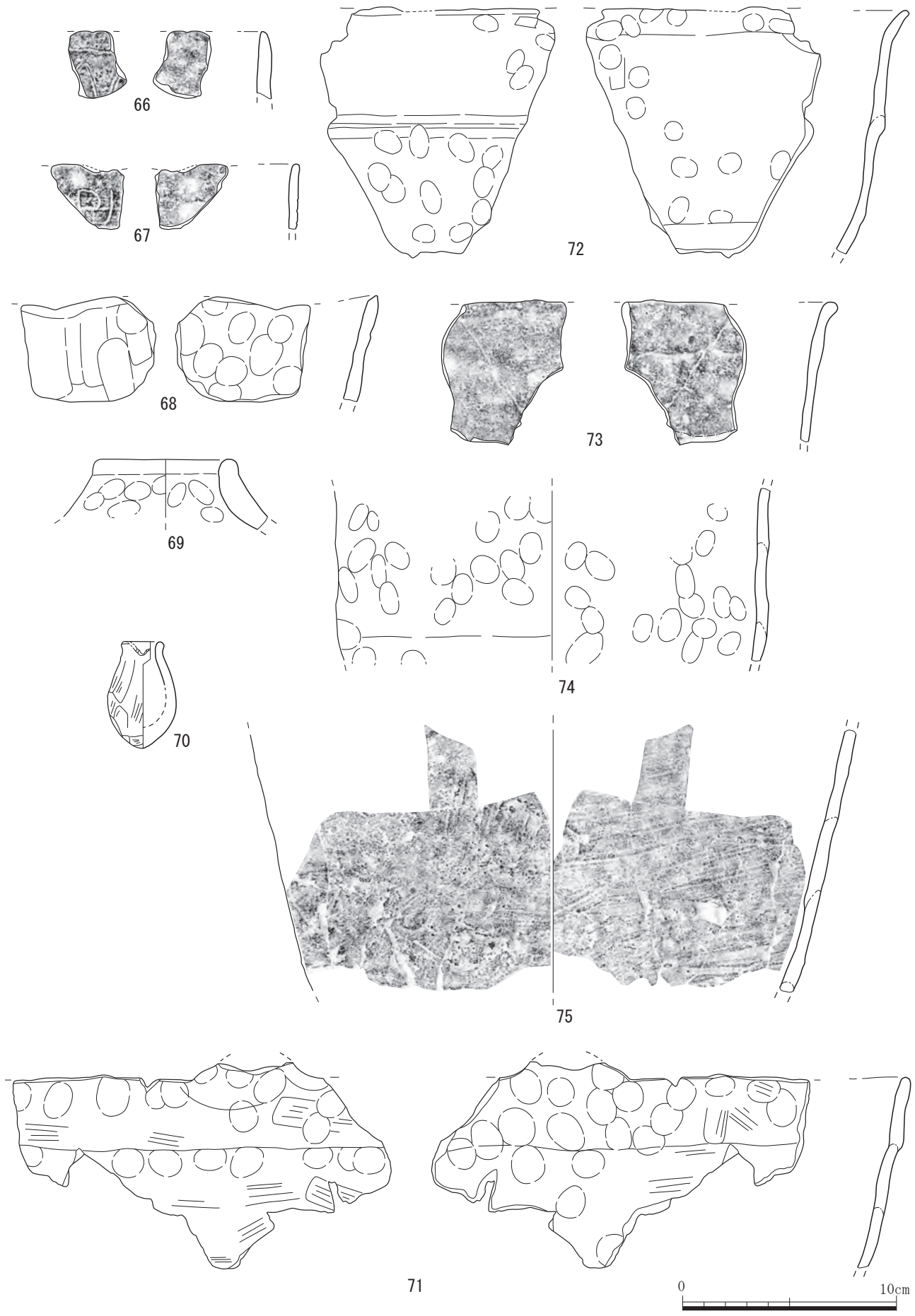


第60图 土器4

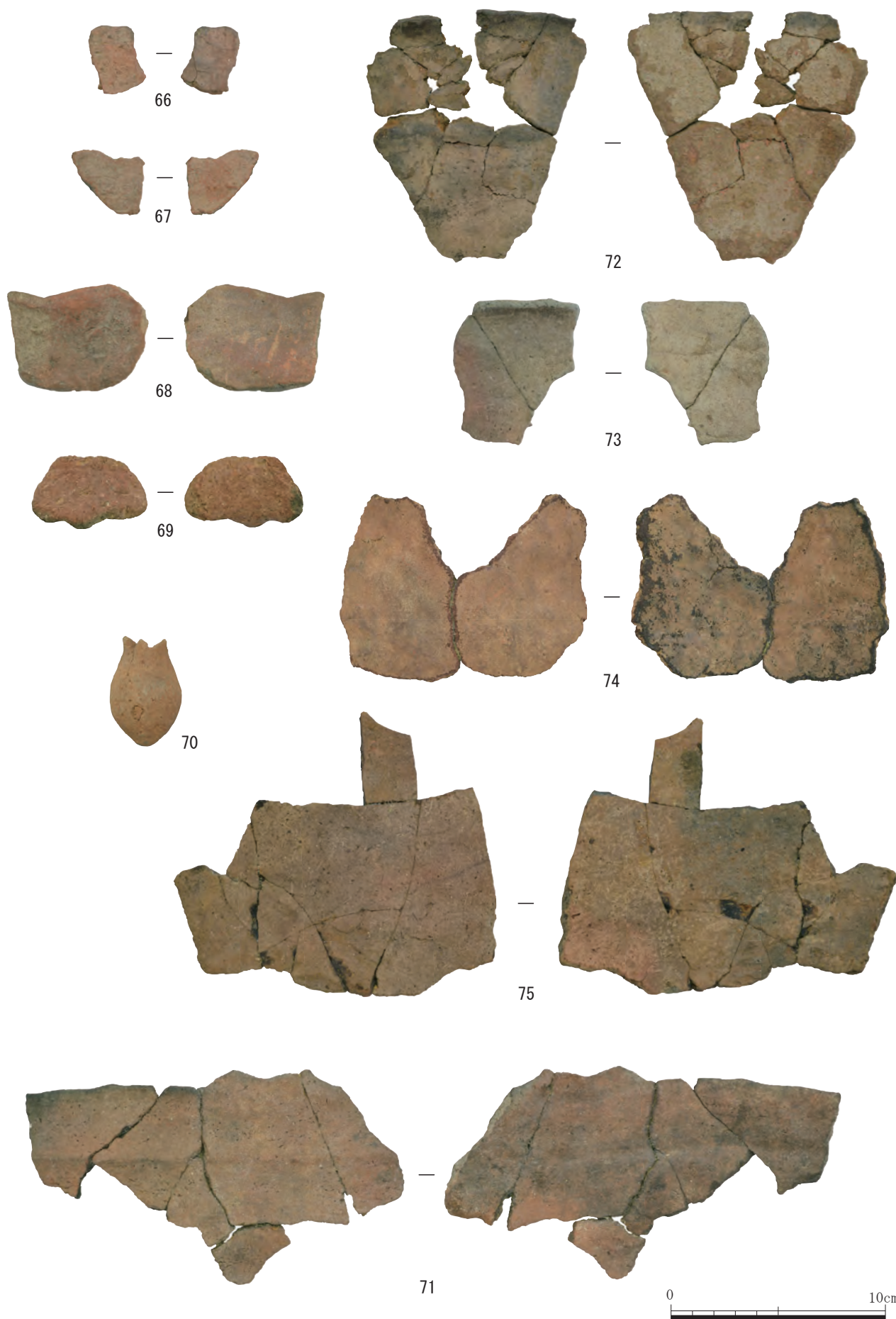


图版 16 土器 4

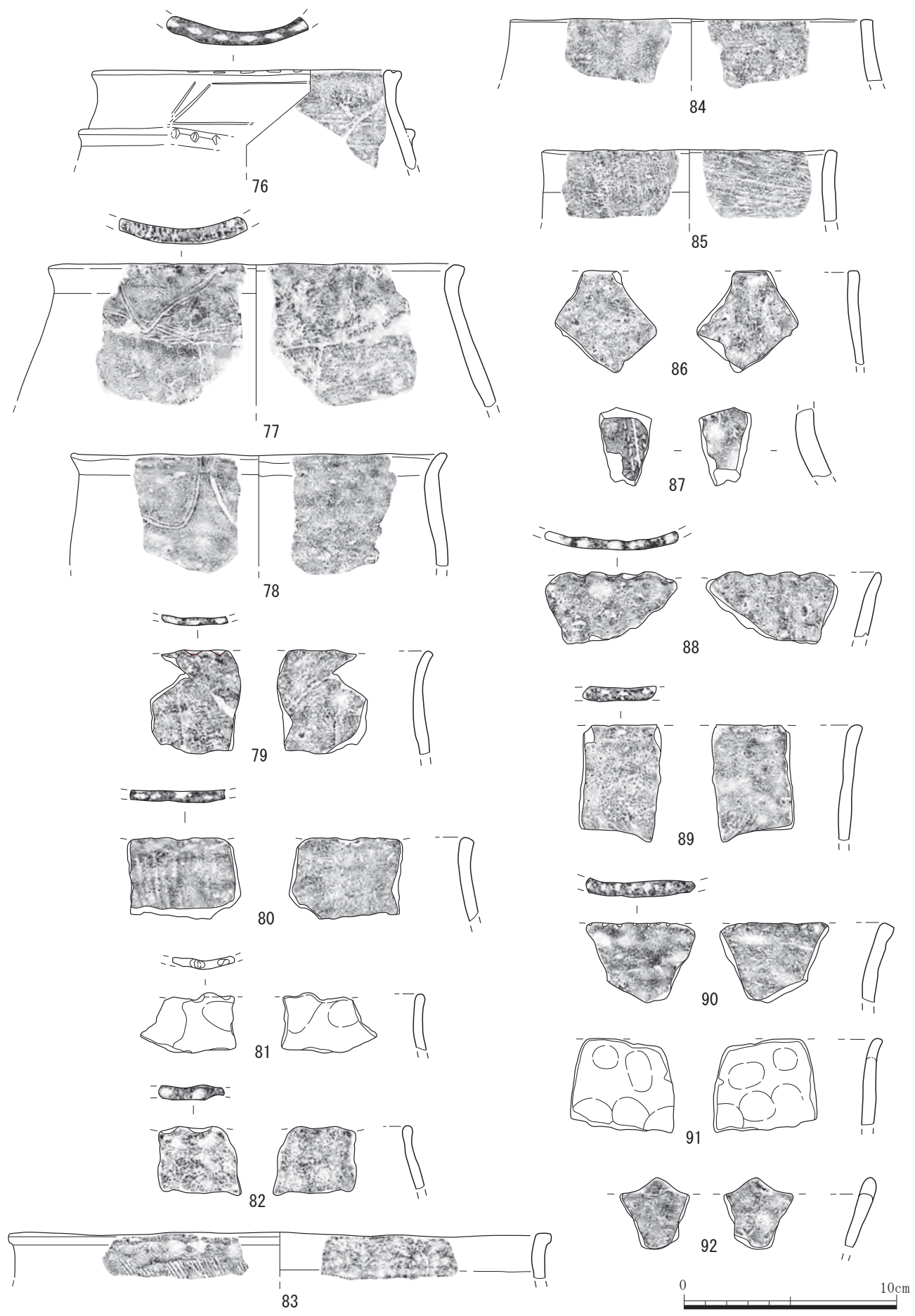




第61图 土器5

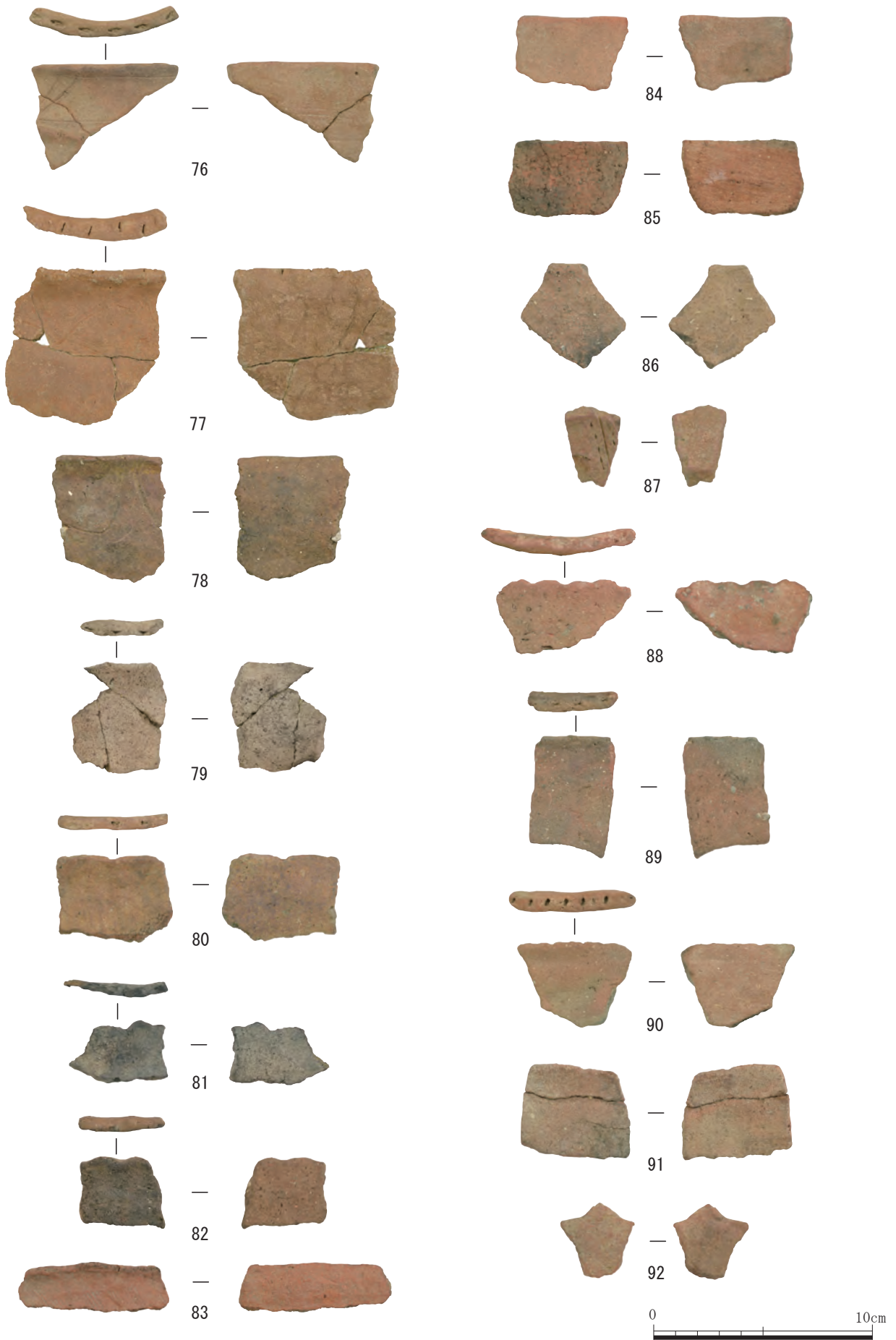


图版 17 土器 5

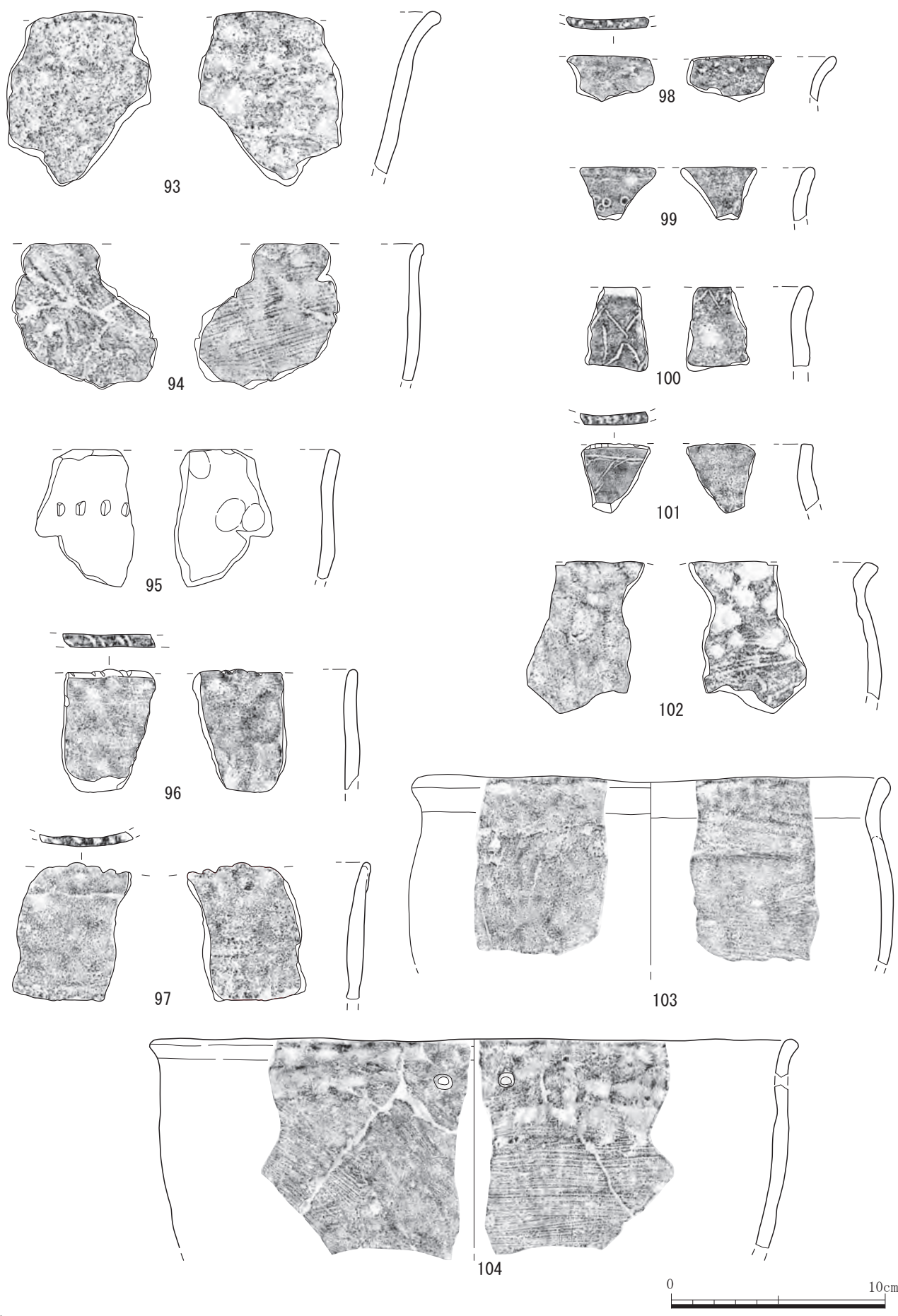


第62图 土器6

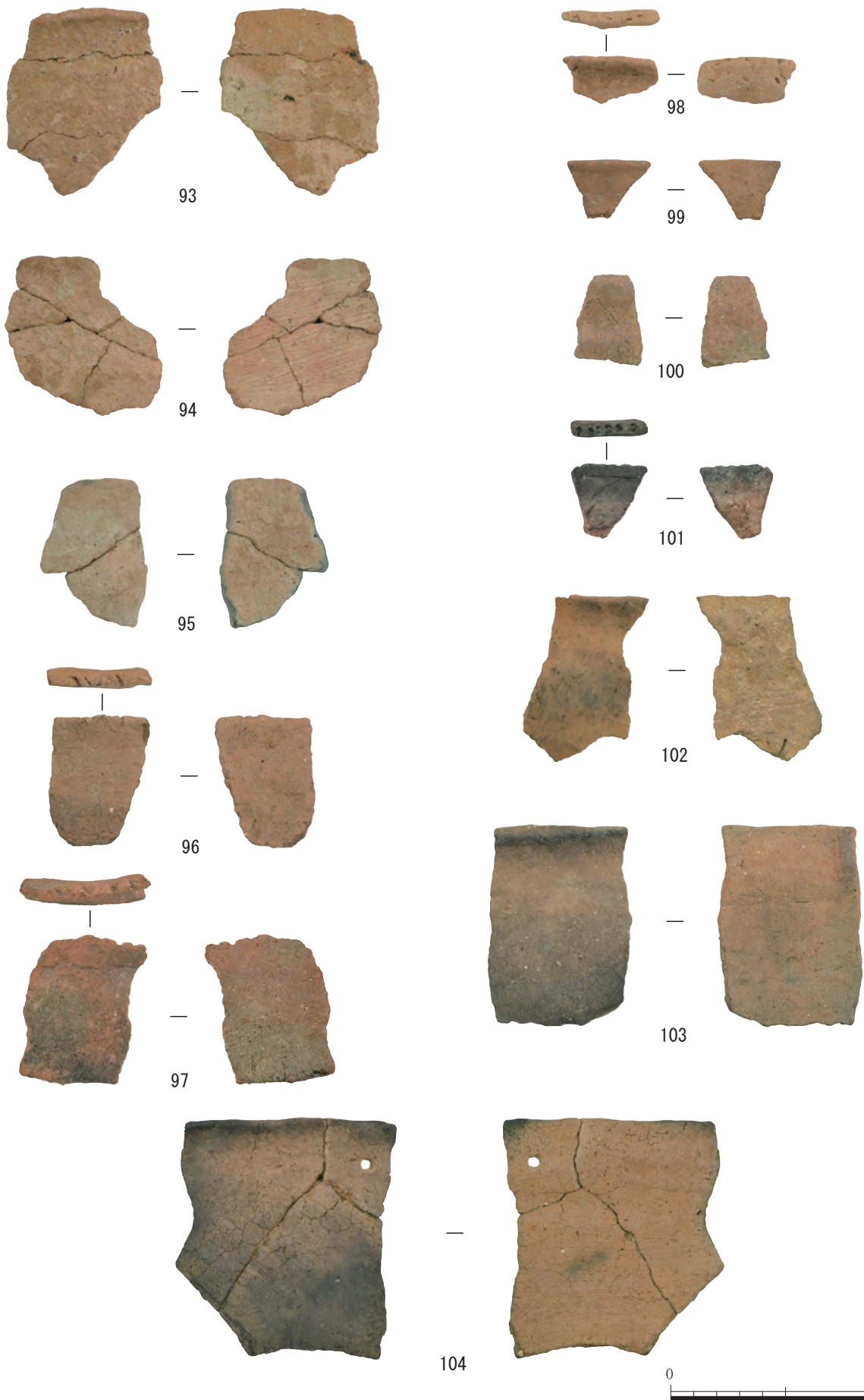




图版 18 土器 6

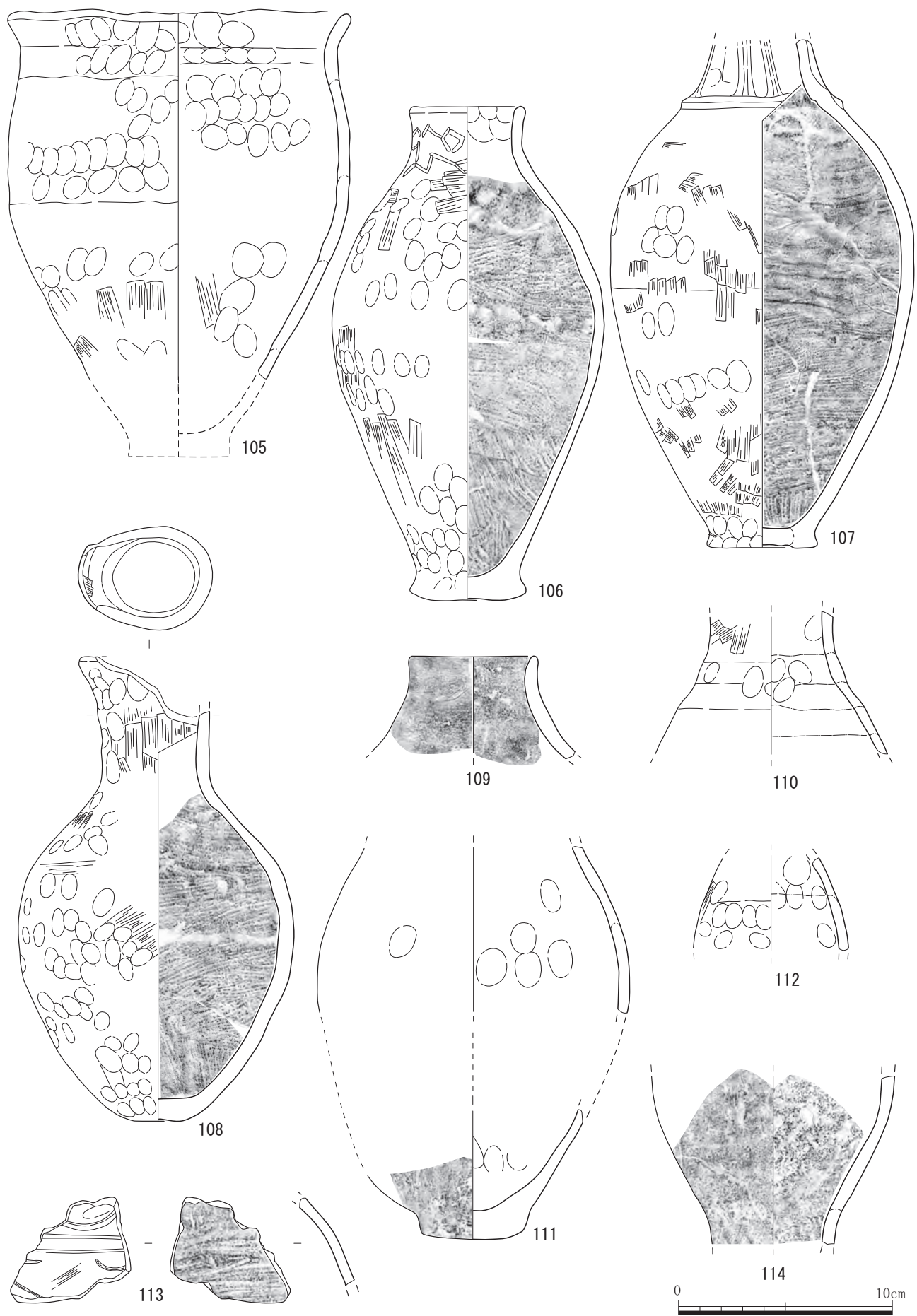


第 63 图 土器 7



图版 19 土器 7



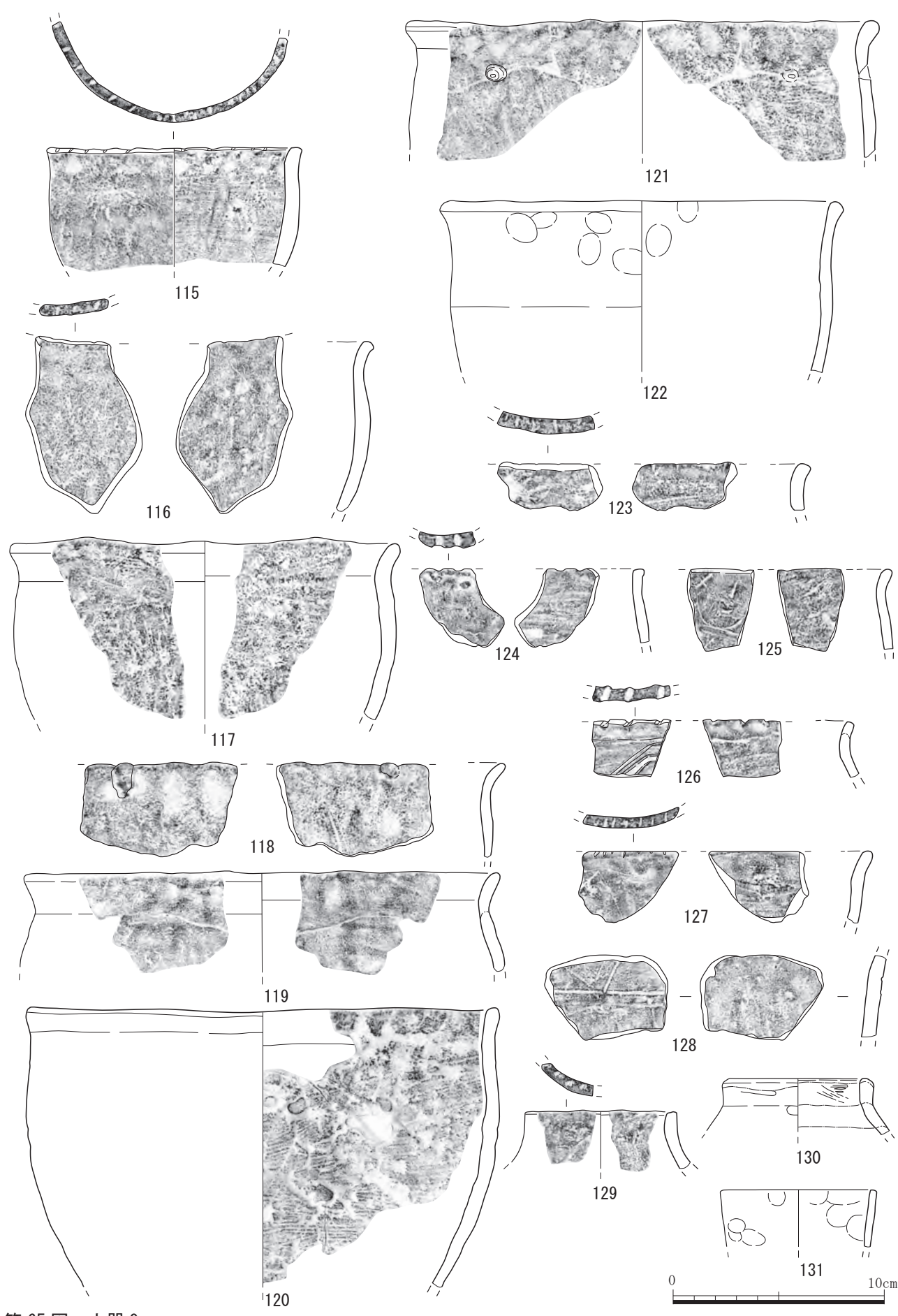


第64图 土器8



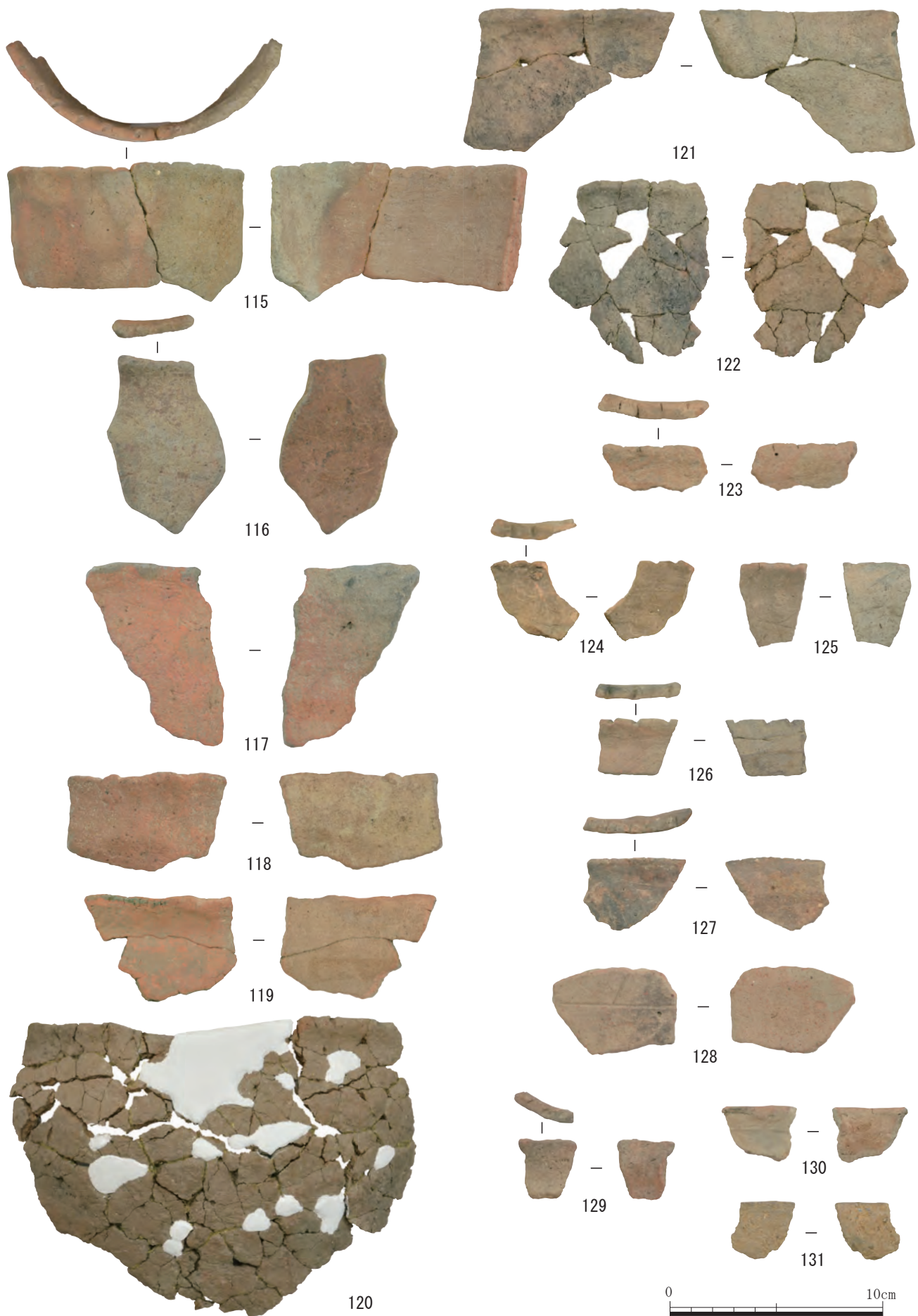
图版 20 土器 8



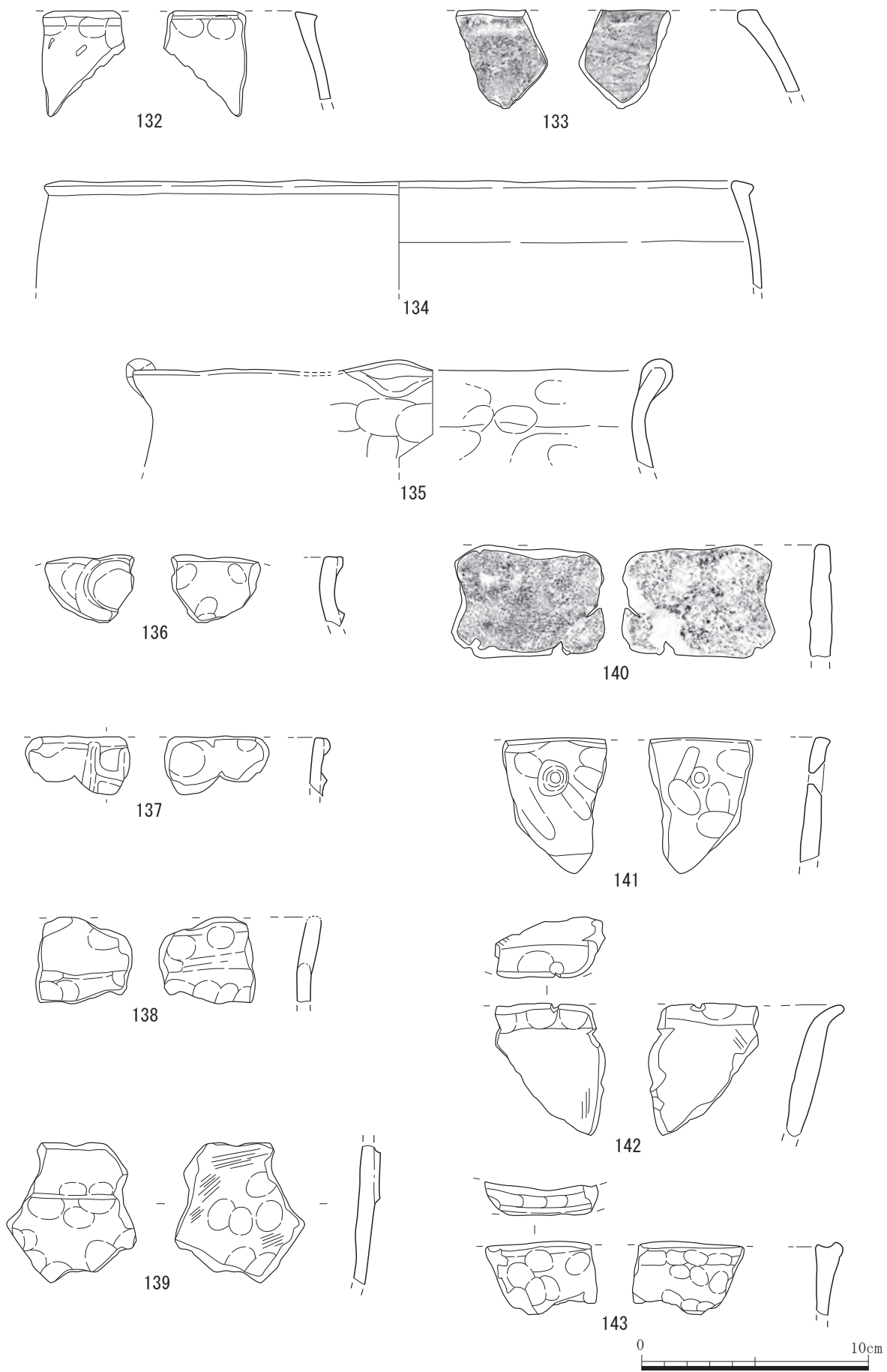


第65图 土器9

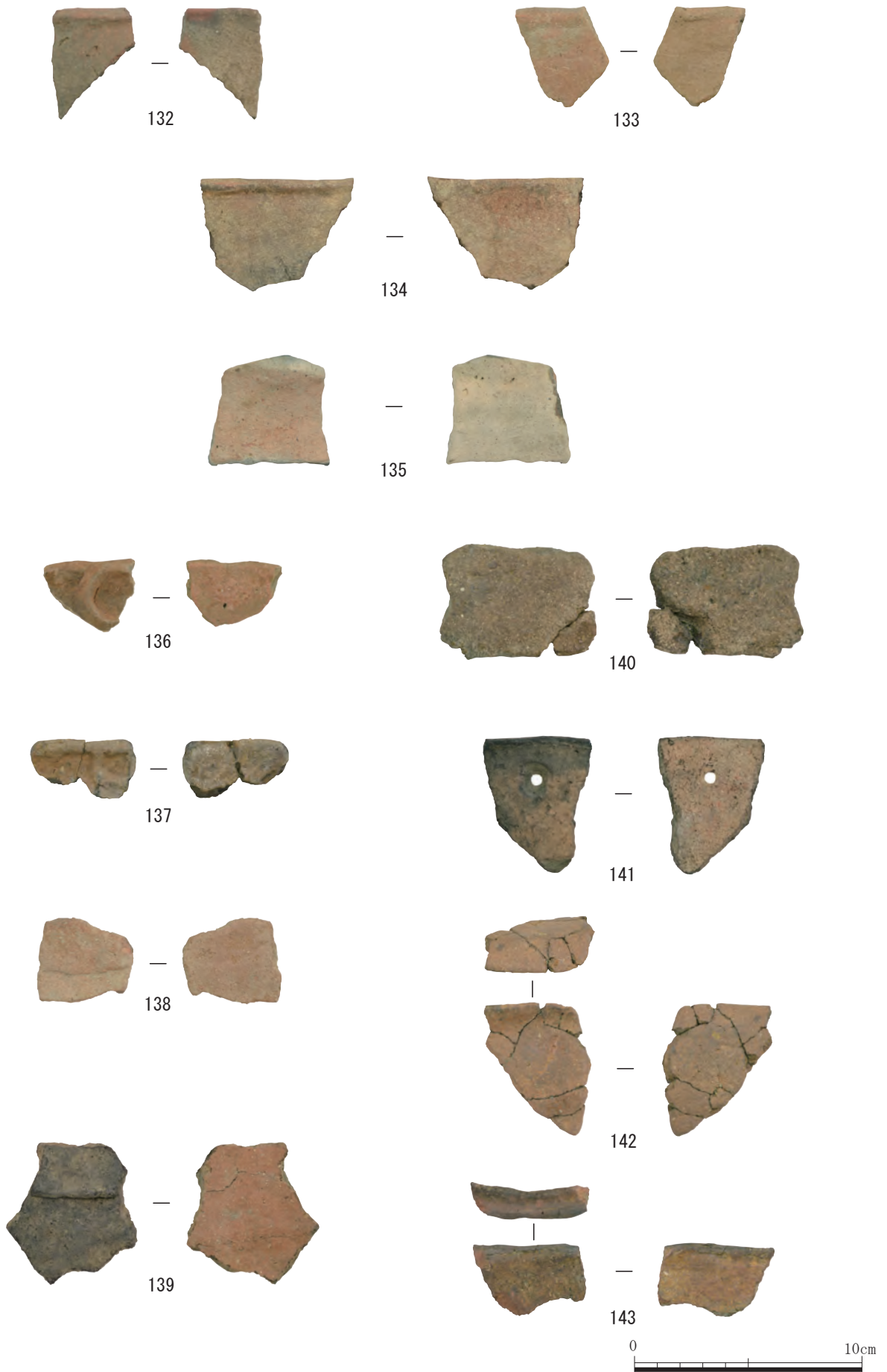




图版 21 土器 9

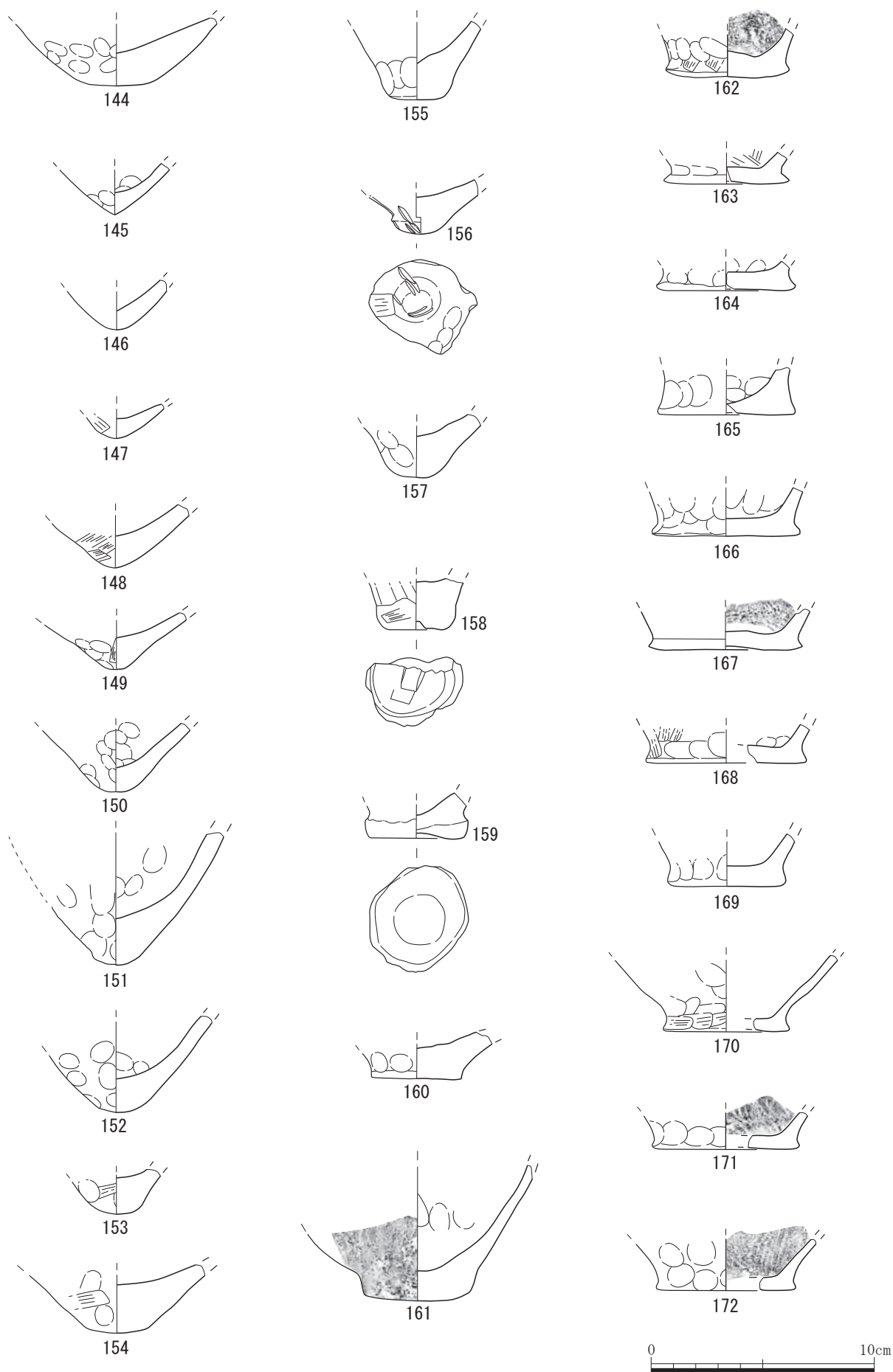


第 66 图 土器 10



图版 22 土器 10

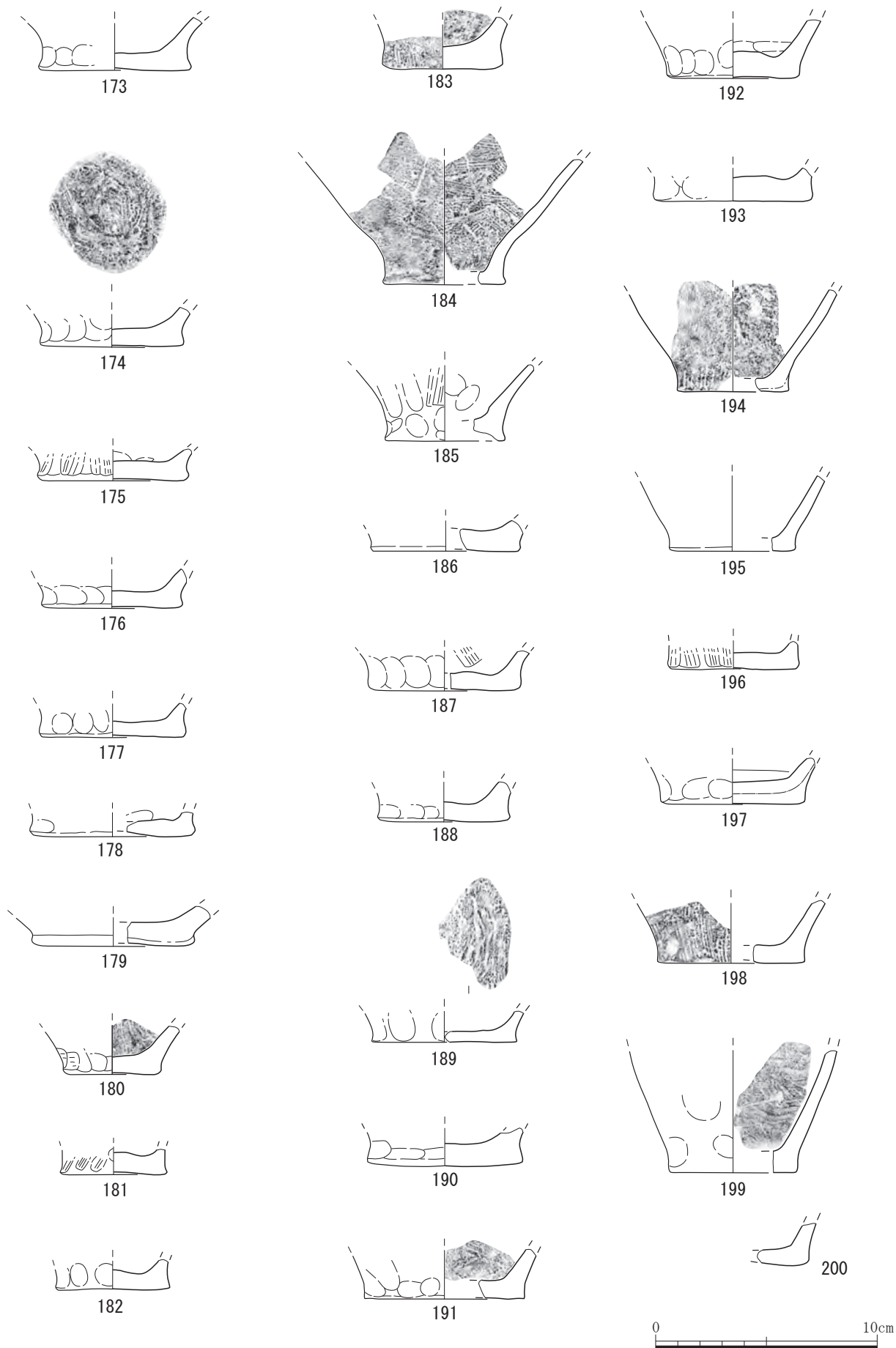




第 67 图 土器 11 (底部)

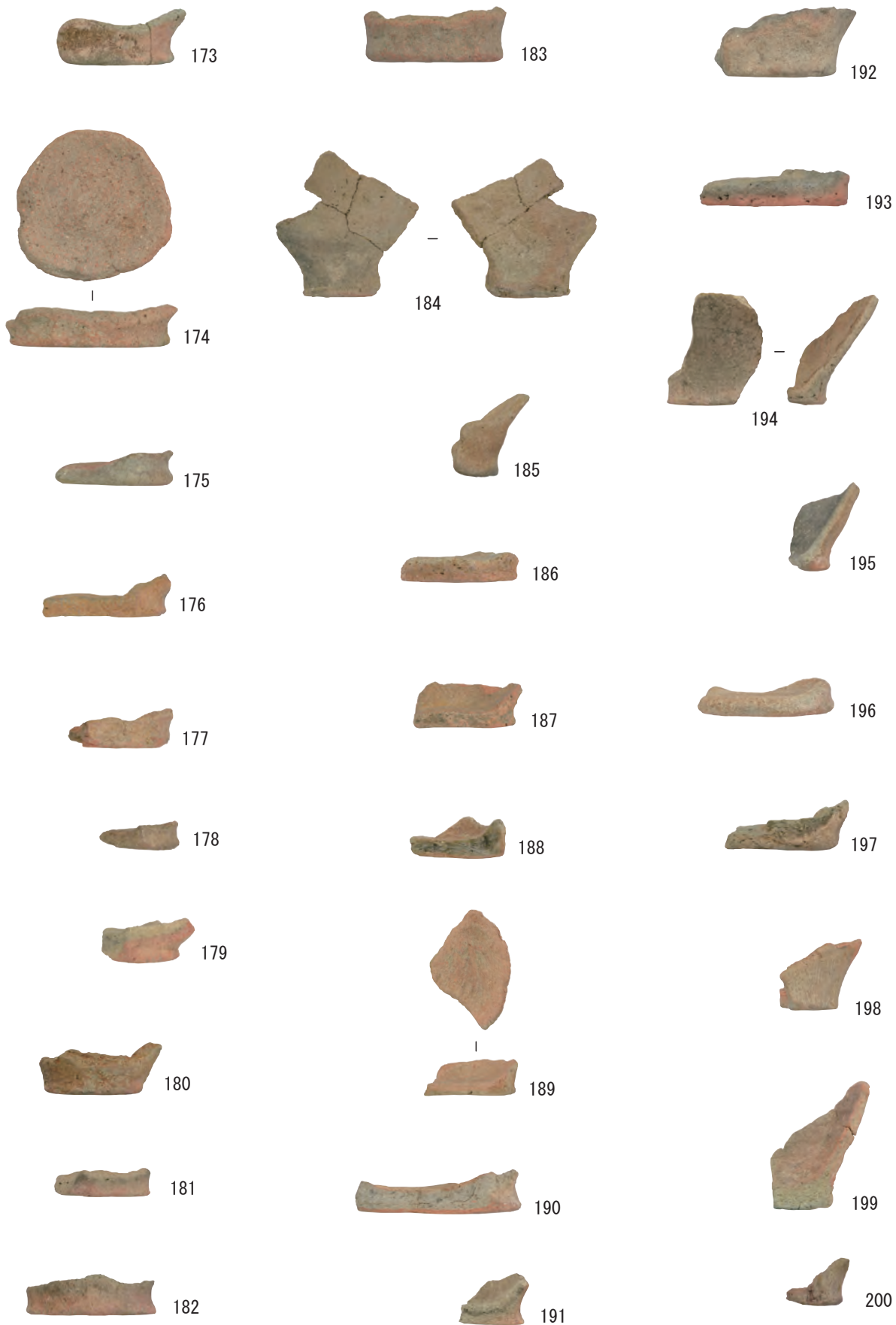


图版 23 土器 11 (底部)



第 68 图 土器 12 (底部)





图版 24 土器 12 (底部)

## (2) 石器

石器は石斧、敲石、敲石兼磨石、磨石、二次製品、台石、石皿、砥石、クガニ石、チャート粗加工品、石錘、有孔石製品、石臼が認められ、総数 89 点得られた。既報告の油分無し地区 (2013) と比較し油分地区の調査は広範囲に及び、それに伴い石器も一定量出土するものと想定されたが相反して少ない。しかし、遺構出土の石器は総数の 3 割と比較的多数確認されている。

層序別では I 層が戦後の造成土、II 層は戦前までの層だが、僅かに石器が出土した。III a 層は近世耕作土で 14 点、III b 層 (グスク時代) は 11 点、III 下遺構で 22 点確認された。内訳をみると敲打器類が多く、又、III 下遺構では陶磁器類も混在して出土する。V b 層は 13 点で主に貝塚時代後期に属すと捉えられるが、一部に後世の攪乱による紛れ込みも含まれる。VI 層では 14 点確認された。

器種別に見ると敲石兼磨石が最も多く 28 点で III a 層～VI 層にかけて出土し、その中で若干多いのは III a 層 7 点、III 下遺構 6 点である。次いで磨石が多く 27 点で III 下遺構・VI 層から各々 7 点、その他の層からも少量ずつ確認される。石斧は 12 点で、III 下遺構・V b 層で各 4 点認められる。砥石は 10 点で、層単位では III 下遺構・VI 層で各 3 点出土する。

第17表 石器 出土量

層	分類	石斧	敲石	敲石兼磨石	磨石	二次製品	台石	石皿	砥石	クガニ石	チャート粗加工品	石錘	有孔石製品	石臼	合計
I		1		5	1					1					8
II												1			1
IIIa			1	7	4		1		1						14
IIIb		1		4	3		1		1					1	11
III下遺構		4	1	6	7				3				1		22
IV		1		1	3	1									6
Vb		4		4	2			1	2						13
VI		1	1	1	7				3		1				14
合計		12	3	28	27	1	2	1	10	1	1	1	1	1	89

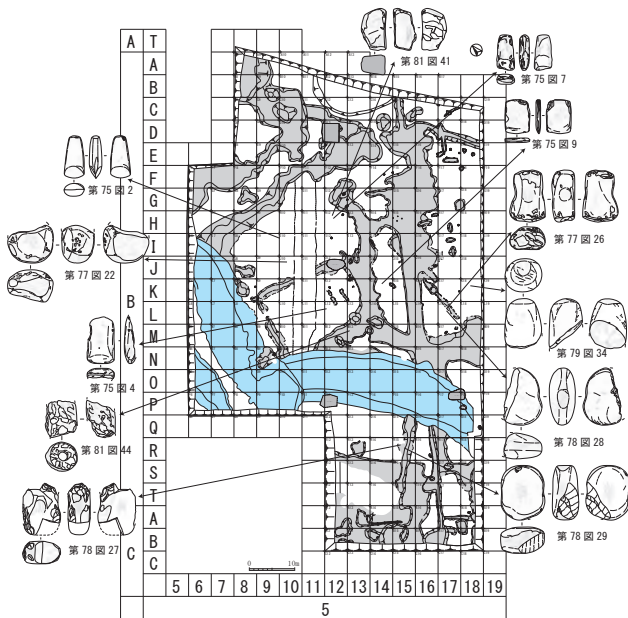
### 遺構出土の石器

遺構から出土した石器は 29 点で器種は各々第 18 表に示した。最も多く出土した器種は磨石が 10 点、次いで、敲石兼磨石 8 点、石斧 5 点、砥石 3 点、敲石、二次製品、有孔石製品は各々 1 点の出土である。III 下遺構では 19 基の遺構が検出され、土坑 (SK) 5 基、柱穴 (P) 12 基、不明 (SX) 2 基から石斧 4 点、敲石 1 点、敲石兼磨石 6 点、磨石 7 点、砥石 3 点、有孔石製品が 1 点の計 22 点が出土した。IV 層遺構からは溝状 (SD)、1510SD が I15、N～P12～16、O・P17、Q18 グリッドに跨がり検出された。

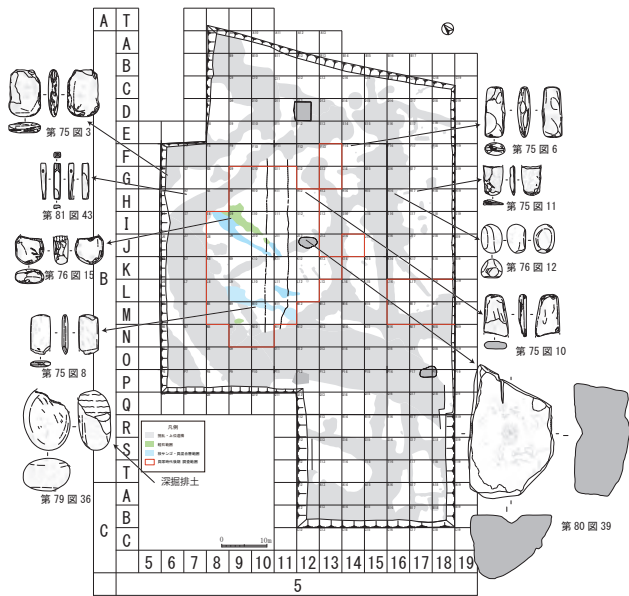
器種は石斧・敲石兼磨石が各 1 点、磨石 2 点、二次製品 1 点の計 5 点出土した。不明遺構 4409SX は既に第 35 集 (2013) で報告済だが未集計の磨石資料を 1 点追加した。V b 層からは土坑、4318SK が 1 基検出され、敲石兼磨石が 1 点出土している。III 下遺構は III b 層 (グスク時代) の下部に該当するもので IV 層の流路、V a 層に挟まれ多くの遺構が検出されている。V b 層は浜堤砂層に当たり縄文後期面の遺構として捉えられる。

第18表 遺構出土石器 出土量

層	遺構番号	器種		石斧	敲石	敲石兼磨石	磨石	二次製品	砥石	有孔石製品	合計
		グリッド									
III 下遺構	0191SK	K・L18				1	1				2
	1407P	L17			1						1
	1634SX	M13								1	1
	1719P	L12		1							1
	1880P	K14		1							1
	2654P	H12		1							1
	2655P	H12								1	1
	2667P	H11・12				1					1
	2994P	M10				1					1
	3248SK	K9					1				1
	3317SK	K9				1					1
	3536P	J10				1					1
	3701P	I10		1							1
	4031P	I8								1	1
	4215P	I8				1					1
	4627SK	R15				1					1
	4639SK	R15				1				1	2
	4656P	R14				1					1
	4681SX	S12・T13			1		1				2
IV	1510SD	I15				1					1
		N <sup>~</sup> P12 <sup>~</sup> 16				1					1
		P17				1					1
		Q18						1			1
		不明		1							1
4409SX	B13				1					1	
Vb	4318SK	H16				1				1	
合計			5	1	8	10	1	3	1	29	



第69図 III下遺構出土の石器



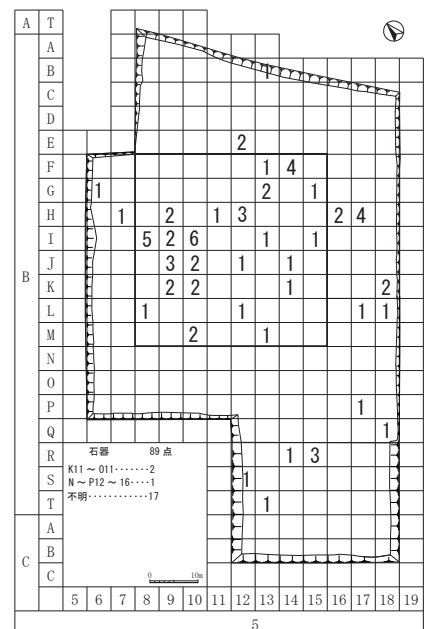
第70図 貝塚時代後期出土の石器

第69・70図に時期別で出土した主な石器を示した。層序ではIII a層を近世耕作土（包含層1）、III b層をグスク時代（包含層2）としている。第69図のIII下遺構はその下層に当たり、無数の柱穴・土坑・溝状遺構・不明遺構が検出された。第70図は第69図に比較して遺構は激減し土壌墓が数基検出された。

第69図のIII下遺構面に作図のある石器は、前述の遺構出土石器（第18表）に示したように、石斧は撥形や短冊形のもの認められる。敲打器類も多く、敲打兼磨石・磨石などの他、砥石や有孔石製品の出土もあり、グスク時代とその上層の近世耕作土の遺物として捉えられるものも混じる。

第70図の貝塚時代後期面の図にV b層（浜堤砂層）・VI層（枝サンゴ層・ビーチロック・深掘排土を含む）から出土した石器を示した。この調査面に於いても流路の底面には達しておらず、一部では流路に因る攪乱が起こったと考えられる。石斧は5点の出土で破損資料が多い中、短冊形の石斧も出土、大型の石皿も確認された。全体の出土量（第17表）で示すとおりIII下遺構からの出土が多い。しかしV b層から13点、VI層から14点の石器が出土し、当該時期のものと考えられるが、多くは破損資料や破片のため、資料は少ない。

第71図に石器の出土量を平面分布で示し、油分無し地区（2013）の報告から漏れた資料も含めた。範囲としてはF～M8～15の範囲に若干まとまり出土する。上図の第69図と比較すると、流路の検出された範囲では石器の出土は殆ど確認されていない。グリッド単位の出土ではF14で4点、I8から5点、I10から6点の出土が多く、その他のグリッドでは1～3点の出土である。グリッド不明の石器が17点と、その多くが表採資料と深掘排土からの出土である。VI層（海砂層）は枝サンゴ層としており、石斧（図11）やチャート粗加工品、敲打石、磨石の破片が出土している。



第71図 石器 平面分布



第19表 石斧形態分類 凡例

<b>形態</b> <正面> I類:撥形、基端小さく刃部に向かい幅広 II類:短冊形、基部～刃部まで身幅が直線的 III類:不定形、撥形・短冊形の範疇にないもの 分類不可:基部・刃部破損・形態不明  <b>刃部形態</b> <正面> A類:円刃、正面の形状が両端に向かい丸い B類:直刃、刃が直線的、両端に角ができる 分類不可:刃部破損・形態不明  <b>サイズ分類</b> 1類:大型、長さ13cm以上、或いは重量400g以上を示す資料 2類:中型、長さ13～10cm、又は重量400～200gの範疇 3類:小型、長さ10cm以下、又は重量200g以下を示す資料	<側面> イ:基部が肉厚、両刃に多い ロ:基部が均一、薄手 分類不可:表裏面の一方が破損  <側面> a:両刃、表裏から刃を付ける b:片刃、片面の刃の研ぎ出しが強い 分類不可:刃部破損・基部形態不明
--	--

1. 石斧

石斧は12点出土した。全体の二分の一以上残存する資料を完形として捉え、基準とした。完形・破損に関わらず部分的に側面・刃部など各部位から判断可能なものはできる限り分類を試みた。

第20表は層序別に形態分類したものを示した。形態ではII類としたものが僅かに多く、III類・I類とそれに次ぐ。サイズでは1類の石斧は1点で、既報告の油分無し地区も2点と少ない。油分無し地区に14.5cmの石斧も出土しており同一遺跡である為、今回も、それに則って大型・中型・小型の基準は共通のものに統一した。分類では2類・3類が4点と同数で分類不可の資料が3点である。

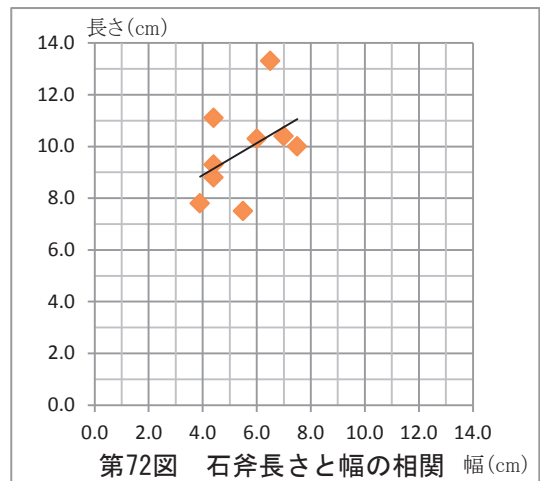
層序ではI層、IIIb層、III下遺構、IV層、Vb層、VI層から出土しており、III下遺構とVb層から各4点出土している。III下遺構はIIIb層、グスク時代の下層と捉えられ、検出された柱穴(P)4基から各々1点出土している。平面分布で調査区の中心部F～M8～15にまとまり出土する。遺物はIII下遺構に多く集中する為である。石斧は使用後に廃棄した可能性が高く、凶化した資料も刃毀れ、刃の潰れが多く資料で認められ、別の用途に転用したものと考えられる。

第72図は石斧の完形資料を長さとの幅の数値で比較した。石斧の長さは最も大型のもので13.3cm、小型は7.5cmのサイズが確認された。幅は最大が7.5cmで、最小が3.9cmの資料である。形態は異なるが幅4.4cmの石斧が4点認められる。この図で集中するのは、長さ7～11cm、幅は4～8cmの範囲に限られる。そのなかで長さ10cm以下の小型のものと、10～13cmの中型が認められる。幅は3.9cm～7.5cmの範囲だが、これも4cm台と7cm前後のものに分けられる。

図1の石斧のみサイズが他の資料と異なり、やや大きく、分類では大型に含め、それ以外は中型・小型に分類した。一般的な石斧と比較し、大型とした資料では、明確な撥形・両刃の石斧はこの1点のみである。その他、中型・小型のサイズは同数で認められる。

第20表 石斧 層序別形態分類

層	遺構	形態 サイズ 完/破	I類		II類		III類		分類 不可	小計	合計
			1類 完形	3類 完形	2類 完形	3類 破損	2類 完形	3類 完形			
I	—		1							1	1
IIIb	—								1	1	1
III下 遺構	3701P			1						1	4
	1719P				1				1		
	1880P					1			1		
	2654P						1		1		
IV	1510SD						1		1	1	
Vb	—			1		1	1	1	1	4	4
VI	—								1	1	1
小計			1	1	1	1	2	2	1		
合計			2		4		3		3		12



第21表に刃部形態の正面と側面で分類した。刃縁の破損の激しい資料が多く判断し難い点もあるが、基部形態と側面の厚みも合わせて判断した。正面からの形態はA類(円刃)が6点で、B類(直刃)は2点のみである。図8は当初、偏刃と考えられたが、側刃角が欠けており基部の形態から直刃とした。側面形態ではa(両刃)が7点で、b(片刃)3点、分類不可2点である。分類不可の2点は基部資料で、刃部のみの残存資料は判断のつく範囲で点数に含めた。

第21表 石斧 刃部形態

正面 側面	A類	B類	分類不可	合計
a	5		2	7
b	1	2		3
不明			2	2
合計	6	2	4	12

**基部厚手タイプ：**図1～図7を第19表にあるとおり形態〈側面〉イタイプとしてまとめた。基部が厚手の場合、一般的に撥形の形態で両刃が付く事が多く側面観の形態も考慮にいれ分類を行った。

図1はI類の形態とし輪郭は直線的で全体に成形されるが、基部は窪みの深い部分までは研磨が至らない。側面は刃部近くまで徐々に厚みを増す。刃の部分は表裏、両面から大きく破損、刃部は正面からみて円刃と思われる。側面は表裏面から刃の部分を欠き、復元すると大凡で両刃と捉えられる。図2もI類の側面は厚手を呈す。基部・基端ともかなり丁寧に成形し研磨される。刃部は正面が円刃、側面は両刃である。刃部の一部に刃の研ぎ直しが確認され、小型のサイズを呈す事は研ぎ直しが要因の可能性もある。図3は幅広でI類の範疇から外れるためII類に含めた。又、側面は均一な厚手を呈す。刃部は正面が円刃だが、研磨の方向が斜位からも研ぎ直しされ機能し辛い印象を受ける。側面は両刃で表面から強く研いだ為、下面からみた刃線の歪みが確認される。図4は破損資料で、輪郭は直線的な幅広でII類とした。裏面は基部～刃部近くまで大きく破損、全体の厚さは不明。刃部は正面が円刃、側面はおそらく両刃と推測され分類も両刃に含めた。図5は転石を未成形のまま使用したと思われ、自然面の観られる箇所も多く残る。刃部のみ刃を付けたと考えられ左右で厚みが異なる。形態はIII類に含め、側面は厚手を呈す。刃部は正面が円刃、側面は片刃を呈す。刃は中央の一部のみ研磨が鋭く左右は鈍る。又、刃面が広い範囲で破損するが、破損箇所を利用し刃物を研いだ痕跡が数箇所認められる。溝状遺構 1510SD から出土、グスク時代以降、砥石代わりに再利用した可能性が考えられる。図6は細身を呈すが、II類と異なり側面からみて厚手を成す為、III類に含めた。刃を研いだ痕跡はあるものの、部分的に窪みが認められ刃部形態は正面から判断し難く分類不可とした。側面は全体を観察、両刃と判断した。刃先は潰れており別の用途に転用したと考えられる。図7はI類の側面は厚手を呈す。刃部は一部破損、正面からは判断が困難なため分類不可とし、側面は両刃に含めた。

**基部薄手タイプ：**第19表の形態〈側面〉ロタイプとして図8～図11を前者と比較し分類した。基部が薄手の場合、短冊形で片刃が多い。

図8は側面が薄手を呈し均一な厚みを成す。基部の成形、研磨も良好で基端まで研磨される。刃部は一部欠けるが、正面から観察して直刃、側面は片刃を成す。図9は小型で幅広のII類、側面は、かなり薄手を成し均一な厚みである。刃部は正面が直刃、側面は片刃を呈す。成形も良く研磨は表裏面・両側面・基端頭部まで認められ、特に表面刃部及び、裏面の基部中央～刃部にかけて明瞭である。図10は破損資料で基部のみ残存、全体に歪な形態を示し分類不可とした。表面は突出部分を研磨し平坦にしている。裏面は全面平坦で、浅い窪みの箇所は僅かに研磨が至らない。側面は薄く、厚さは均一で研磨も認められ、研磨時の稜線が窺える。基端頭部は丸味を持つが、雑な仕上がりとなる。刃部形態は不明。図11は刃部資料で基部の途中から基端にかけて破損、全体の長さは不明。偏平で僅かに残る基部は表裏面・側面とも自然面を呈す。刃部のみ研磨され、刃は薄く円刃の片刃を成す。VI層から出土、VI層は枝サンゴ層に該当する土層である。表裏面に貝片や石灰分の付着が多く確認され、長期間、海水に浸かった痕跡と考えられる。

第22表 石斧 観察一覧

(法量単位:cm, g)

第図版	図番号	基部形態		刃部形態		サイズ	残存部位	計測値(残存部最大値)				基端の有無	基部 研磨状態					刃部	石質	グリッド・層・遺構台帳(取上)番号	
		正面	側面	正面	側面			縦	横	厚さ	重量		上面	表面	裏面	右側面	左側面				下面
第25図・図版75	1	I類	イ	A	a	1類	完形	—	13.3	6.5	3.2	391.0	○	△	○	△	△	研磨:△ 状態:d	斑レイ岩	I (表採 排土中) 台5113	
	2			A	a	3類	完形	—	9.3	4.4	2.8	180.0	○	○	○	○	○	研磨:○ 状態:a	斑レイ岩	II0 III下(3701P) 台2456(取117)	
	3	II類	イ	A	a	2類	完形	—	10.4	7.0	2.3	290.0	×	○	○	×	×	研磨:○ 状態:a	片状砂岩	G6 Vb(砂1) 台2300(取108)	
	4			A	a	2類	破損	表側	10.3	6.0	2.3	202.0	×	△	×	×	×	研磨:△ 状態:c	斑レイ岩	L12 III下(1719P) 台3090	
	5	III類	イ	A	a	2類	完形	—	10.0	7.5	3.8	370.0	○	◎	◎	△	△	研磨:△ 状態:d	砂岩	O17 IV(1510SD) 台5092	
	6			分類不可	a	2類	完形	—	11.1	4.4	2.8	225.5	△	△	△	△	△	研磨:△ 状態:c	輝緑岩	J14 Vb(砂1) 台2233(取105)	
	7	I類	イ	分類不可	a	3類	完形	—	7.8	3.9	2.2	121.0	○	◎	◎	×	×	研磨:△ 状態:d	輝緑岩	H12 III下(2654P) 台3046	
	8	II類	ロ	B	b	3類	完形	—	8.8	4.4	1.3	95.0	○	○	○	◎	○	研磨:○ 状態:b	変斑レイ岩	M10 Vb(砂1) 台4106(取197)	
	9			B	b	3類	完形	—	7.5	5.5	1.0	82.0	○	△	○	△	△	研磨:○ 状態:a	緑色岩	K14 III下(1880P) 台2549	
	10	分類不可	ロ	—	—	—	破損	基部	9.3	5.4	1.7	148.0	○	○	○	△	△	研磨:— 状態:d	変斑レイ岩	H12 Vb(砂1) 台14660(取260)	
	11			A	b	—	破損	刃部	6.5	4.4	1.0	37.0	×	△	△	△	×	研磨:△ 状態:b	砂岩	H17 VI(海砂層) 台739	
図なし	—	—	—	—	—	破損	基部	5.1	4.3	2.3	45.0	×	△	×	△	×	研磨:— 状態:d	砂岩	II0 IIIb(包2) 台2343		

基端有り:○・欠け△・基端なし×  
基部研磨:滑沢◎・明瞭○・良好△・なし×  
刃部:刃鋭れ:a・刃欠け:b・刃潰れ:c・刃破損:d

2. 敲石

敲石は3点で形態は球形2点、楕円形1点が認められた。球形は小型のみで完形と破損資料が各1点、楕円形は中型の完形が1点である。

3点のうち2点は、角閃石安山岩でどちらも風化が激しく、鉋物の角閃石が抜け落ち現状は多孔質な状態である。もう1点は細粒砂岩で全面に敲打らしき痕跡は確認されるものの脆く崩れやすい為、図化を省略した。

第23表 敲石 層序別形態分類

層	形態 サイズ 完/破	球形		楕円形	合計
		小型		中型	
		完形	破損	完形	
IIIa			1		1
III下遺構				1	1
VI		1			1
合計		2		1	3

小型:長軸10cm以下、又は重量500g以下  
中型:長軸10~14cm以下、又は重量500~1,000g以下

3. 敲石兼磨石

敲石兼磨石は28点の出土で石器全体の31.5%に当たる。第24表に層序別の形態分類を示した。形態では円形・楕円形・長楕円形・不定形・形態不明のものが認められ、楕円形が9点である。サイズでは大型3点、中型14点、小型6点で中型が最も多い。完形は11点、破損資料は17点

第24表 敲石兼磨石 層序別形態分類

層	形態 サイズ 完/破	円形		楕円形			円柱形・長楕円形		不定形		形態不明	合計
		中型	小型	大型	中型	小型	中型	中型	小型			
		完形	破損	破損	完形	破損	完形	完形	破損	完形		
I				1				1			3	5
IIIa			1	1	2		1		1	2		8
IIIb	1	1				1				1		4
III下遺構				1	3				1		1	6
IV							1					1
Vb			1						1	1	1	4
合計		4			9		3		7		5	28

小型:長軸10cm以下、又は重量500g以下  
中型:長軸10cm以上~14cm以下、又は重量500g以上~1,000g以下  
大型:長軸14cm以上、又は重量1,000g

である。層序別ではIIIa層からの出土が8点、III下遺構出土が6点と他の層に比べ多い。

図12~16は、小型に属す資料である。平面形態は図12・14が楕円形、図13は多面形で、図15・16は歪な円形を呈す。下面からの形態は図12・13が、やや丸味を帯びた三角形を示す。他3点は



縦・横のサイズに比例し適度に均一な厚みを成すが、図 16 は、さらに厚くなると思われる。使用痕はどの資料も表裏面に研磨が認められ、図 12 の裏面は研磨により平坦面を作る。図 15 は表裏面とも研磨が明瞭で滑沢な部分が顕著である。5 点とも擦痕の認められる箇所は側面周縁と下面に限られ、図 12・14・16 は下面に擦痕が僅かに確認され小さい範囲で使用痕が残る。図 16 は、裏面が大きく破損し自然面を呈す。下面に擦痕が確認できる。又、側面周囲全面にも浅い擦痕がみられ面を成す。個々の使用頻度によるが図 14 の研磨は表裏面に、図 16 は裏面が破損する為、表面のみに研磨が窺える。敲打は図 13 では側面に浅く小さい範囲で確認され側面・裏面ともに平坦な面を持ち、研磨は 4 面に見られる。図 14 は裏面中央に浅く小さい範囲で敲打が認められる。

図 17～19 の 3 点は**円柱形・長楕円形**を呈す資料で、全体に縦長の資料をこのタイプに含めた。図 17 は形態が縦長円柱形を呈す。表面には部分的に歪みやへこみが確認される。横断面は丸い。使用痕は全体の外面が剥離しており明瞭でない。下面は平坦な面を成し、僅かに敲きの痕跡が残る。花崗岩を使用しており剥離した外面から鉱物の粒が粗く認められ、風化が進んでいると思われる。図 18 は縦方向に上面、裏面が破損する。原形は不明瞭だが下面の状態から復元すると円柱形の形態を示すと推測される。使用痕は下面に敲打が窺え、表面・側面は一周して浅い研磨が認められる。図 19 は形態が平たい長楕円形を呈す。側面の形状は均一で、全体的に一定の厚みを成す。転石を利用した資料で、表裏面は全体に研磨が窺える。使用痕は下部に小さい範囲で敲打が認められる。

図 20～22 は形態が円形で、**表裏面に敲打痕が顕著なタイプ**である。側面が厚手な点も共通する。図 20 は形態がほぼ円形を呈す資料である。使用痕は表裏面中央に 3 cm 台のやや深い敲打痕が認められる。研磨は表裏面敲打の周囲に良好に認められる。側面から下面にかけ周縁には擦痕が一周する。図 21 は上下・両側面・裏面が大きく破損した資料である。形態・サイズは不明だが、使用痕の残り具合から同じ部類に属すものと推測される。唯一使用時の痕跡が残るのは表面のみである。使用痕は表面中央に 2 cm 台の浅い敲打痕が残る。敲打の周囲には滑沢な研磨が認められる。図 22 は形態がやや歪な丸味を呈し、残存部から推測し円形の資料と考えられる。側面の状態は、正面横幅に対して厚みをもつ。使用痕は表面中央に浅い敲打が認められる。研磨は表面の敲打周辺全体に残る。裏面と上面は破損し若干自然面を呈すが、破損後もこの面を再度利用した痕跡が窺える。部分的に手慣れと思われ、角の取れた箇所が幾つも残る。側面、下面には擦痕が僅かに見られる。

図 23・24 は**楕円形で敲打痕が明瞭でないタイプ**として、前者に比べ形態は円形にならないもの。図 23 の資料は縦方向に破損、原形の約二分の一が残存する。形態は楕円形で小型の範疇に含まれる。残存状態から厚手資料と推測される。表面は膨らみをもち、裏面は平坦な面を成す。使用痕は研磨が表裏面に認められ、擦痕も側面、上下面に観察される。裏面の中心部に 4 cm 台の浅い敲打と上下面にも小さな敲打の痕跡が残る。図 24 も破損資料で原形の二分の一が残存する。形態がやや楕円形を呈し、側面観は他の敲打器類と同様に厚い。裏面は表面と比較して平坦な面を成す。使用痕は表裏面に研磨が明瞭で、側面・下面には擦痕が認められる。

図 25 は**不定形タイプ**とした。破損資料で原形を留めず、元の形態は推測できない。側面は厚く残存部は三角形を呈す。使用痕は三面に残り、表面中央に約 3 cm の範囲で浅い敲打が見られる。研磨も表裏面・下面にある程度残り、下面の研磨は特に顕著に窺えられ再利用の資料と考えられる。

図 26～31 は**両側面にノッチを呈すタイプ**で、ノッチは浅いものと深いものの両者がみられる。図 26 は形態が多少異なるが、この後、述べる図 27～31 と同様の両側面にノッチを呈すタイプである。使用痕の残る箇所は共通で同範疇に含めた。形態は不定形で側面から観た形状は厚い。表面中央に 3 cm 程度の範囲で敲打が確認され、両側面に深いノッチ状の窪みも認められる。左右で敲打に

よる窪みの深さ・範囲は異なり左側面がより深くアンバランスな形状を呈す。上面は擦痕、下面には大きく打割の痕跡が認められる。研磨は表裏・側面にみられ明瞭である。図 27 は上下の一部が欠損する。形態は楕円形で側面は長さ、幅に比例して厚手資料である。使用痕は表裏面、右側面に 3 cm 台の浅い敲打痕が認められる。研磨も同様に表裏面、側面に確認できる。この資料も角閃石安山岩を用いており、研磨の滑沢さが他の資料と異なりかなり顕著に窺える。図 28 も破損資料で、斜め上部が破損する。形態は残存箇所から楕円形と考えられる。側面は厚く、丸味を成し 4 cm 台の窪みを有す。左側面が破損するが、同様の窪みがあったものと推測される。使用痕は研磨がほぼ全面にみられ、表裏面は特に顕著である。擦痕は側面・下面に僅かに窺える。図 29 も角が一部破損するが形態が判断できるため完形とした。側面の厚みは図 28 と同様に厚い。使用痕は表裏面中央に浅い敲打が認められ、両側面・上下にも同様に確認できる。両側面の窪みの状態は僅かである。擦痕は上・下面に浅く確認できる。研磨は表裏全体にみられ部分的に滑沢である。図 30 は破損資料で、裏面が節理面から大きく剥離する。側面からみた状態は、これも厚手を成す。使用痕は敲打が表面・左側面・下面に認められる。側面の窪みは浅く、左側に僅かに残るが、破損した右側にもあったものと推測される。研磨は表面の敲打の周囲に認められる。図 31 は完形で長さ・幅・厚み・重量とも図 29・30 より 2 割程度大きく、重量からも大型と判断した。使用痕は研磨がほぼ表裏面全体に認められ、裏面は軽く平坦な面を成す。両側面は周縁に研磨が至らず浅い敲打が確認され、僅かにノッチ状の窪みを呈す。下面にも擦痕が小さく認められる。

#### 4. 磨石

磨石は総数 27 点で石器全体の 30.3% に当たる。形態は楕円形 3 点・長楕円形 1 点・円柱形 1 点・不定形が 3 点認められた。サイズは大型・中型・小型に分類し、大型が 1 点、中型 6 点、小型 1 点である。完形は 2 点、破損資料は 6 点、破片が 19 点認められた。形態が想定不可のものはこれに含めた。油分無し地区の資料も含め大型は少ない。破損資料と破片が大半を占め、形態的な傾向は掴めなかった。第 25 表に層序別の形態分類を示した。

第25表 磨石 層序別形態分類

層	形態 サイズ 完/破	形態					破片	合計
		楕円形		長楕円形	円柱形	不定形		
		大型	中型	小型	中型	中型		
I						1	1	
IIIa			1			1	3	
IIIb			1			1	3	
III下遺構				1	1	5	7	
IV						3	3	
Vb						2	2	
VI		1				1	6	
合計		3		1	1	3	19	

小型:長軸10cm以下、又は重量500g以下

中型:長軸10cm以上~14cm以下、又は重量500g以上~1,000g以下

大型:長軸14cm以上、又は重量1,000g以上

図 32 ~ 36 は主に**研磨痕が顕著**に認められるものを磨石に分類、図化した資料である。形態では楕円形が一般的であるが、第 25 表で示すように破片が多く形態の把握できるものは少ない。楕円形以外の形態は、明確な傾向は把握できなかった。

図 32 は破損資料で原形の二分の一程度が残存する。形態は楕円形と推測され、側面は大きさに比例した厚さを成す。使用痕は表裏面・両側面に研磨が顕著である。表面両端には研磨とまでは至らない擦痕も認められる。下面の一部には小さい範囲で敲打が認められる。硬質な角閃石安山岩を使用している為、他の資料に比べ研磨の滑沢さが異なり顕著である。図 33 も破損資料で、原形の二分の一の大きさで推測される。形態は不定形を成し、側面からみた形状は厚手である。残存部を復元すると側面の形状は三角形を示す。使用痕は表面と側面に研磨が認められ平坦な面をつくる。下面の中央には 2 cm 台の浅い敲打が僅かに認められる。図 34 は形態が円柱形を呈し一部破損する。使用痕は研磨が表裏面から側面にかけて一周し顕著に認められる。上面は擦痕により大小の使用面が重なり面を成す。又、破損面も再度利用しており、完形として扱い、この面も研磨は滑沢に残る。

図 35 は破損資料で、正面の形態は楕円形を呈す。裏面は節理面から剥離しており、平坦な自然面を成す。使用痕は表面の研磨が明瞭で、特に中央部は滑沢である。側面の縁に擦痕の痕跡が残る。図 36 は形態が楕円形で、側面はかなり厚手を呈す。上端は四分の一程度欠けを生じる。重量から大型に分類し約 1,2kg と重い。使用痕は表裏面に研磨が確認される。特に中央は顕著で、自然の筋目が斜めに走り、研磨の方向が推測される。

### 5. 二次製品

二次製品は 1 点のみ出土した。図 37 は形態が小判形を呈す。破損した磨石の一部を再利用しており、二次的資料と考えられる。表面は磨石に使用した際の研磨面が部分的に残り、大部分は自然面を成す。裏面は全て自然面で中央部分は厚く、稜線を作り縁辺部にかけて徐々に薄くなる。側面の形態はレンズ状を呈す。表裏両面から縁辺を加工、スクレイパー状に打割調整した痕跡が窺える。

### 6. 台石

台石は 2 点出土し、1 点はⅢ a 層、もう 1 点はⅢ b 層出土である。そのうち使用痕の明瞭な 1 点を図化した。図 38 は、形態が不定形を成し側面は右側が厚く左は若干薄い。使用痕は表面中央に、縦 5 cm、横 4 cm 台の窪みを有し、敲打痕が明瞭である。窪みの周囲に研磨は認められない。右側面にも浅い敲打痕が確認できる。裏面の使用痕は不明瞭だが、浅い敲打が認められる。K10 Ⅲ a 層出土である。作図のない 1 点も形態は不定形を成す。表面は平坦で中央に小さい敲打が多く認められ、敲打の周囲には研磨がみられる。側面が板状で均一な厚みを呈し、裏面・上下面は自然面を成す。

### 7. 石皿

石皿は 1 点の出土で前回の調査に比べ少ない。図 39 は形態が不定形を成し、縦断面は厚く大型である。横断面は片側に突出部分が偏った三角形を呈し、据え置き型と考えるには不安定な形状を示す。しかし、砂地などに据わらせ使用する事は可能である。使用痕は表面のみ認められ、中央に縦・横 4 cm の範囲で深さ 1.8 cm の敲打痕が窺える。表面の使用痕以外の部分は平坦で、側面、裏面は自然面を呈す。前回報告の油分無し地区では、使用痕の明瞭な大型の石皿を含め 5 点出土している。

### 8. 砥石

砥石は 10 点出土した。第 26 表に使用面の詳細について出土した全ての資料を示した。貝塚時代後期の砥石が 6 点、グスク時代が 4 点である。グスク時代の砥石は、手持ち型 2 点、懸垂型が 2 点確認され、ほとんど破損資料である。図 40 は手持ち砥石と想定され、形態は不定形の小型を呈す。上面から見て判断

第26表 砥石 使用面一覧

時期	完/破	タイプ	層	使用面						挿図・図番号 (台帳番号)
				表面	裏面	右側面	左側面	上面	下面	
貝塚時代後期	破損	不明	Ⅲ下遺構	○	—	—	—	—	—	図なし/台3407
	破損	置き砥石	Ⅵ	○	—	—	—	—	—	図なし/台5050
	破損	不明	Ⅵ	○	—	—	—	—	—	図なし/台5050
	破損	不明	Ⅵ	○	—	—	—	—	—	図なし/台4897
	破損	置き砥石	Ⅲ下遺構	○	—	—	—	—	—	図なし/台14671
	破損	不明	Vb	○	—	—	—	—	—	図なし/台4186
グスク時代	完形	手持ち型	Ⅲa	○	○	—	—	○	○	第31図-40
	完形	手持ち型	Ⅲ下遺構	○	○	○	—	—	—	第31図-41
	破損	懸垂型	Ⅲb	○	○	○	○	○	—	第31図-42
	破損	懸垂型	Vb	○	○	○	○	○	○	第31図-43

使用痕有り:○

されるが、使用により表裏面とも片面が反る形状を示す。石質が砂岩・シルト岩の互層を成す為か、どの面も使用痕は片側のシルト質の部分のみに認められる。シルト質の部分が目的に応じた砥石に適していたと推測され、微細な線状痕が残り金物や刃物類を研いだ痕跡と考えられる。

図 41 は前述の資料と同様の手持ち砥石と想定され、形態は不定形を成す。側面・横断面どちらも厚く使用面は 3 面で、やはり図 40 と同じく微細な切り傷状の線状痕が様々な方向に確認できる。この資料もシルト岩を用いており、質感が粘質で仕上げ砥石に適したと推測される。



図 42 は形態が細身で短冊形を呈す懸垂型の砥石である。下部が破損しており全体の長さは不明、側面の一部も欠ける。上面近くは幅が僅かに細く厚みも薄い、下部にいくにつれ幅をもつ。研磨は滑沢で表裏面・両側面・頭部上面は丁寧に研磨される。上面中央に縦、横 5 mm の孔を表面から穿つ。形態や用途からグスク時代に帰属する資料と考えられ、出土した層序とも一致する。図 43 は正面からの形態は幅がなく角柱形を呈す懸垂型の砥石である。前者の資料と比較し、原形の長さも図のとおりと判断されるが、裏面の大半に欠けが認められる。研磨痕は表裏・両側面・上下に確認される。穿孔位置は、両側面上部から上面に向かい斜位方向に穿たれる。V b 層出土だが、グリッド H7 は流路のへりに当たり上層からの紛れ込みとも捉えられる。

グスク時代と考えられる砥石が 2 種類確認された。手持ち砥石は、それ以前の砥石と比較し、複数箇所を多面的に使用したものが多い。平安山原 A 遺跡 (2016) でも、類似の砥石が出土した。石質もシルト質の岩石を選択したのか、この時期から頻繁に認められる。多面的に使用した砥石は、鍛冶関連遺構が検出される遺跡などで出土している。類例が浦添ようどれ II (2007) で確認されている。

又、懸垂型の砥石は、図 42 の表面～裏面に貫通するタイプ、図 43 の両側面～上面に孔を穿つタイプどちらも県内遺跡で確認されている。類例資料が今帰仁城跡 (1983)、勝連城跡 (1990) で出土している。穿孔痕のあるこのタイプの資料も平安山原 A 遺跡で 5 点確認されている。

## 9. 有孔石製品

図 44 は形状が轆の羽口に類似する資料である。素材は凝灰岩で円筒形を呈し、中心に直径 2 cm の孔が開けられ貫通する。孔は意図的に開けられた痕跡を示し、内面は滑らかで相反して外面は一周自然面を呈す。形態、サイズとも類似のものが民俗資料として確認されている。

### 10. クガニ石

図 45 は形態が長楕円形を呈す。上端に 1 cm 幅で稜線が残り、下面には敲打痕が確認される。表裏面には一部研磨が認められ、上部は細かい敲きの成形痕が認められる。平安山原 A 遺跡 (2016) で 8 点出土した中に横幅 12 cm 台の資料も確認される事から、本資料は大型とした。出土量が少ない為、分類には至らないが、白木原氏の分類では断面が B 形：倒卵形のタイプに属す形態である。

### 11. 石錘

石錘が 1 点出土しており、図 46 は形態が台形を呈す。外面は自然面を成し、中央に自然穴を利用した横長で不定形な孔が開けられている。主な加工痕はなく、裏面に 3mm ~ 1.5 cm の小穴が無数に残り又、貝破片などが多く付着する。I-10 II 層出土、舟・サバニ等の錘に使用されたと推測される。

### 12. チャート粗加工品

粗割り・粗加工を行った痕跡が認められる。素材はチャートを用いるが、石英脈が走り破損しやすく良質でない為、剥離調整など細かい痕跡はない。油分無し地区 (2013) でもチャート剥片が 1 点出土しているが、今回の資料は加工が粗い。H-17 VI 層出土で、貝塚時代後期以前に属す資料と考えられる。使用痕は見られず、図化していない。計測値 縦 3.6 cm、横 3.2 cm、厚み 1.1 cm、重量 12.6 g

### 13. 石臼

石臼の破損資料が 1 点出土し、残存部は全体の四分の一程度である。上臼の一部と思われるが、中心棒を差す孔の貫通箇所も破損する。下臼と接する噛み合わせの面に区画の溝は彫られていない。

平安山原 A 遺跡 (2016) でも石臼は 9 点出土し、様々なサイズが確認された。今回の石臼はサイズが特定できない。出土地 G-13 III b 層はグスク時代の層序で上層の近世耕作土の攪乱箇所の紛れ込みと考えられる。残存部計測値：縦 22.3 cm、横 20.4 cm、厚さ 10.9 cm、重量 6,600 g 作図はない。

第27表 石器 観察一覧

(質量単位: cm, g)

第図 図版	図番 号	器種	形態分類	残存	サイズ 分類	計測値				観察事項	石質	グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号	
						縦	横	厚さ	重量				
第26図・ 図版76	12	蔽石兼磨石	楕円形	完形	小型	6.3	4.5	4.2	200.0	敲打:下面中央 研磨:左側面・裏面	輝緑岩	H16 Vb(4318SK) 台5083	
	13		多面形	完形	小型	6.6	5.3	5.2	243.5	敲打:左右・側面に小さい範囲 研磨:側面・裏面に有り、平坦	角閃石安山岩	F14 IIIa(包1) 台2203	
	14		楕円形	完形	小型	6.4	5.0	3.1	140.0	敲打:表裏面中央、小さい範囲 擦痕:下面中央 研磨:表裏面明瞭	砂岩	I10 IIIb(包2) 台2343	
	15		円形	破損	小型	6.3	6.3	3.2	222.0	擦痕:側面周縁・下部三方向 研磨:表裏面、かなり明瞭	斑レイ岩	I9 Vb(砂1) 台4368	
	16		円形	破損	小型	6.8	6.4	4.3	287.0	敲打:側面周縁 研磨:表面平坦、研磨明瞭	斑レイ岩	F14 IIIa(包1) 台2203	
	17		円柱形	完形	中型	11.4	5.2	5.2	549.0	敲打:下面中央 研磨:表裏・側面一周研磨有	花崗岩	K11~O11 IIIa(包1) 台2226	
	18		円柱形	破損	中型	9.6	5.5	6.0	390.0	敲打:下面全体 研磨:表裏・右側面	斜長はん岩	I (表採 排土中) 台5104	
	19		長楕円形	完形	中型	11.6	5.6	3.4	412.5	擦痕:下面に浅く有り 研磨:全面、裏面特に明瞭	石英はん岩	I15 IV(1510SD)(砂1) 台2682(取122)	
	第27図・ 図版77		20	蔽石兼磨石	円形	完形	中型	9.1	8.8	4.9	645.0	敲打:表裏中央に3cm台の敲き 研磨:表裏面、明瞭	砂岩
21		形態不明	破損		—	7.8	5.1	4.4	264.0	敲打:中央に有り、2cm台の範囲 研磨:表面のみ	斑レイ岩	I (表採 排土中) 台5104	
22		円形	破損		中型	8.3	10.0	7.1	746.0	敲打:中央・側面・下面に有り 研磨:表面中心部	輝緑岩	J10 III下(3536P) 台3640(取152)	
23		楕円形	破損		中型	9.8	5.6	3.6	284.0	敲打:上下面・裏面中央 研磨:表裏面に有り	砂岩	I9 IIIb(包2) 台5168	
24		楕円形	破損		中型	11.7	6.2	5.8	438.5	敲打:側面周縁 研磨:表裏面明瞭、裏面平坦	砂岩	L8 IIIa(包1) 台2332	
25		不定形	破損		中型	9.2	7.8	6.3	659.0	敲打:表面中央一面に有り 研磨:裏面・下面	砂岩	K11~O11 IIIa (包1)台2226	
第28図・ 図版78	26	蔽石兼磨石	不定形	完形	中型	11.4	7.8	5.0	799.0	敲打:表面・両側面 研磨:表裏面・両側面	斑レイ岩	L17 III下(1407P) 台2581	
	27		楕円形	破損	中型	9.7	5.1	5.7	622.0	敲打:表裏面中央・側面・下面の一部 研磨:表裏面、かなり明瞭	角閃石安山岩	R15 III下(4639SK) 台14671	
	28		楕円形	破損	中型	12.6	7.6	5.9	762.0	敲打:側面周縁・中央 研磨:表裏面全体、研磨明瞭	砂岩	K・L18 III下(0191SK) 台2429	
	29		楕円形	完形	大型	12.0	9.6	5.8	1,066	敲打:表裏面中央・両側面・上下面 研磨:表裏面全体	砂岩	R15 III下(4627SK) 台14615(取407)	
	30		楕円形	破損	中型	12.7	9.6	6.0	879.5	敲打:表面中央・左側面・下面に有り 研磨:表面全体明瞭	斑レイ岩	H9 IIIa(包1) 台2373	
第29図・ 図版79	31	磨石	楕円形	完形	大型	14.5	10.1	6.5	1,676	敲打:両側面中央 研磨:表裏面、かなり明瞭	斑レイ岩	G15 IIIa(包1) 台2206	
	32		楕円形	破損	中型	9.4	6.0	6.9	595.5	敲打:下面中央 擦痕:左側面 研磨:表裏面特に明瞭	角閃石安山岩	I13 IIIa(包1) 台2249	
	33		不定形	破損	中型	9.1	7.5	6.8	802.0	擦痕:下面中央 研磨:全面あり明瞭	斑レイ岩	F14 IIIa(包1) 台2203	
	34		円柱形	完形	中型	10.9	7.7	7.1	935.0	擦痕:上面 研磨:表裏・側面・下面に有り	斑レイ岩	K・L18 III下(0191SK) 台2429	
	35		楕円形	破損	中型	12.6	9.9	3.5	588.0	擦痕:側面縁の一部 研磨:表面全体	砂岩	J9 IIIb(包2) 台3870	
第30図・ 図版80	36	二次 製品	楕円形	破損	大型	13.2	10.3	7.2	1,201	敲打:裏面中央、小さい範囲 研磨:表裏面	片状砂岩	VI(深掘排土中) 台5059	
	37		小判形	完形	—	9.7	5.8	2.6	193.0	状態:磨石破損品再加工、表裏面剥離 研磨:表面、部分的	砂岩	Q18 IV(1510SD) 台4021	
	38		台石	不定形	完形	—	17.2	12.8	6.0	1,640	状態:使用箇所以外自然面 敲打:表面中央に敲打、側面・裏面同様	細粒砂岩	K10 IIIa(包1) 台2324
第31図・ 図版81	39	石製品	石皿	不定形	完形	大型	29.0	18.5	14.7	9,200	状態:横断面三角、不安定 使用:表面中央4cm台の敲打	砂岩	J12 Vb(砂1) 台3242
	40		方形	完形	小型	5.7	5.1	4.5	214.5	状態:両側面、自然面 研磨:表裏・上下面、微細な刃物跡	砂岩・シルト岩 の互層	J10 IIIa(包1) 台5129	
	41		不定形	完形	中型	9.1	5.5	4.8	324.0	使用痕:表裏・右側面、 右側面、特に刃物状の微細な切り傷痕	シルト岩	H12 III下(2655P) 台3241(取125)	
	42		短冊形	破損	小型	8.0	2.1	1.1	34.1	加工痕:穿孔、上部中央に5ミリ程の紐通 し用の孔を穿つ	砂岩	K10 IIIb(包2) 台2308(取110)	
	43		角柱形	破損	小型	8.1	1.5	1.2	25.3	加工痕:孔は上部・両側面三方向から穿 つ、貫通	砂岩	H7 Vb(砂1) 台2510(取119)	
	44		円筒形	破損	—	8.2	7.0	6.4	315.5	状態:外面、周囲は自然面 加工痕:中心に穿孔有、貫通	凝灰岩	M13 III下(1634SX) 台3475	
	45		クガニ石	長楕円形	完形	大型	17.3	13.2	6.2	2,000	敲打:下面、細かい敲き 研磨:表裏面、明瞭	砂岩	I (表採 排土中) 台5112
46	石錘	台形	完形	大型	22.8	28.2	6.0	5,300	状態:表面、加工なし自然面 加工痕:中央に穿孔、自然穴を利用?	細粒砂岩	I10 Vb(砂1) 台3810		

<石質>

今回の調査で確認された石器・石材・自然礫は総数 310 点である。石器は量的に少なく、これらの傾向を確認するため、石材・自然礫に仕分けた資料も同定を依頼した。石器の素材として、岩塊がある程度大きく粗加工が可能なものを石材、脆く耐久性のないものや小破片を自然礫とした。その際、点数は接合資料を一個体、岩塊、破片は大小の大きさに関わらず 1 点として集計した。

第 73 図に総出土量に対する個々の割合を重量比で示した。系統別では火成岩系 9、変成岩系 10、堆積岩系 17 の 36 種類確認された。

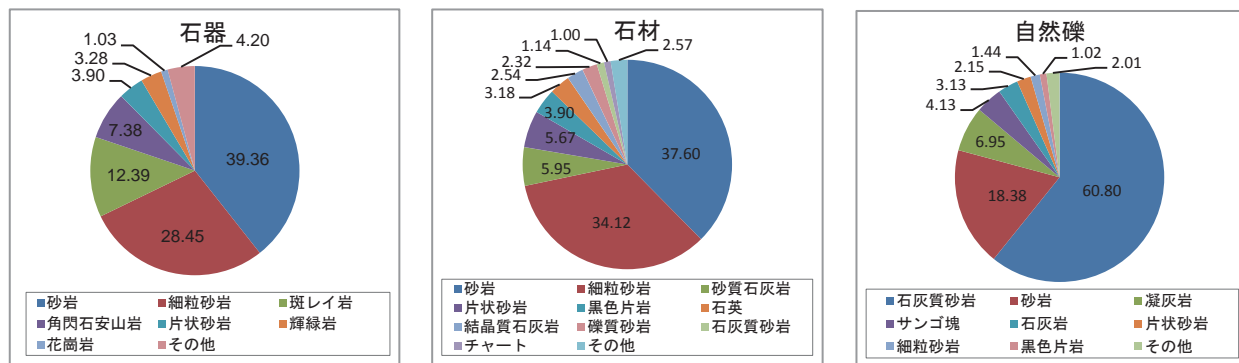
石器に使用されたものは総重量 53,560.70g、89 点で火成岩系 7、変成岩系 6、堆積岩系 5 の 18 種類認められた。最も多いのは砂岩で 37 点、39.36%、次いで細粒砂岩 7 点の 28.45%と、どちらも堆積岩系である。重量比では堆積岩系が多くを占め火成岩系・変成岩系は少ないが、火成岩系に限定すると斑レイ岩が多い。石器に適した火成岩は岩石の種類としては多いが重量比では少ない。

石材も 18 種類で火成岩系 2、変成岩系 5、堆積岩系 10 である。石英は岩石ではなく鉱物の為省いた。最も多いのは砂岩で 24 点、37.60%、細粒砂岩 14 点、34.12%と点数の違いはあるものの、重量比では 2 種類とも全体の 3 割を占める。全体では堆積岩系が多いが、そのなかで石器の素材となる安山岩・斜長はん岩が各 1 点、200g 程度の資料と僅かではあるが認められた。

自然礫は 12 種類で火成岩系 1、変成岩系 2、堆積岩系 9 である。石灰質砂岩が最も多く 36 点で 60.80%と全体の過半数を占め、これに次ぐ砂岩は 11 点、18.38%である。石材に向かない石灰岩が多く意図的に除外した部分もあり、自然礫は圧倒的に堆積岩が多い。

総体的に石器・石材・自然礫どちらも砂岩が上位を占め堆積岩系の種類が多く、又、堆積岩系の多くが沖縄本島で産出可能な在地産の種類であり、大半の構成を成す。

石器 89 点のうち、量的に多い石斧・敲石兼磨石・磨石・砥石 4 器種の、点数・重量を第 30・31



第73図 石器・石材・自然礫 岩石組成

第28表 石器・石材・自然礫 組成

石器 (89点)	
石質	重量(g)
砂岩	21083.4
細粒砂岩	15239.0
斑レイ岩	6637.5
角閃石安山岩	3952.5
片状砂岩	2090.0
輝緑砂岩	1758.5
花崗岩	549.0
石英はん岩	412.5
斜長はん岩	390.0
凝灰岩	331.0
シルト岩	324.0
変斑レイ岩	243.0
砂岩・シルト岩の互層	214.5
花崗閃緑岩	133.2
砂質片岩	46.0
緑色片岩	82.0
黒色片岩	62.0
チャート	12.6
合計	53560.7

石材 (152点)	
石質	重量(g)
砂岩	13893.1
細粒砂岩	12607.0
砂質石灰岩	2200.0
片状砂岩	2096.0
黒色片岩	1441.4
石英	1176.9
結晶質石灰岩	939.0
礫質砂岩	857.5
石灰質砂岩	422.0
チャート	370.2
赤鉄片岩	211.5
安山岩	195.0
サンゴ石灰岩	138.0
砂質片岩	128.6
石灰岩	110.0
斜長斑岩	76.0
輝緑岩	72.5
ケイホル	17.0
合計	36951.7

自然礫 (69点)	
石質	重量(g)
石灰質砂岩	7850.55
砂岩	2373.40
凝灰岩	897.00
サンゴ塊	533.00
石灰岩	403.77
片状砂岩	278.00
細粒砂岩	186.40
黒色片岩	131.40
砂質石灰岩	123.80
フローストーン	79.50
礫質砂岩	42.00
泥	14.00
合計	12912.82

第29表 岩石凡例

系統	岩石名	系統	岩石名
火成岩	斑レイ岩	堆積岩	砂岩
	角閃石安山岩		細粒砂岩
	花崗岩		シルト岩
	石英はん岩		砂岩・シルト岩の互層
	斜長はん岩		サンゴ石灰岩
	凝灰岩		チャート
	花崗閃緑岩		砂質石灰岩
変成岩	安山岩		石英
	凝灰岩		結晶質石灰岩
	片状砂岩		礫質砂岩
	輝緑岩		石灰質砂岩
	変斑レイ岩		石灰岩
	砂質片岩		ケイホル・石灰分の多い堆積物
	緑色岩		サンゴ塊
	黒色片岩		砂質石灰岩
	片状砂岩		フローストーン
	黒色片岩		鍾乳石の一種
赤鉄片岩	泥岩		
輝緑岩			



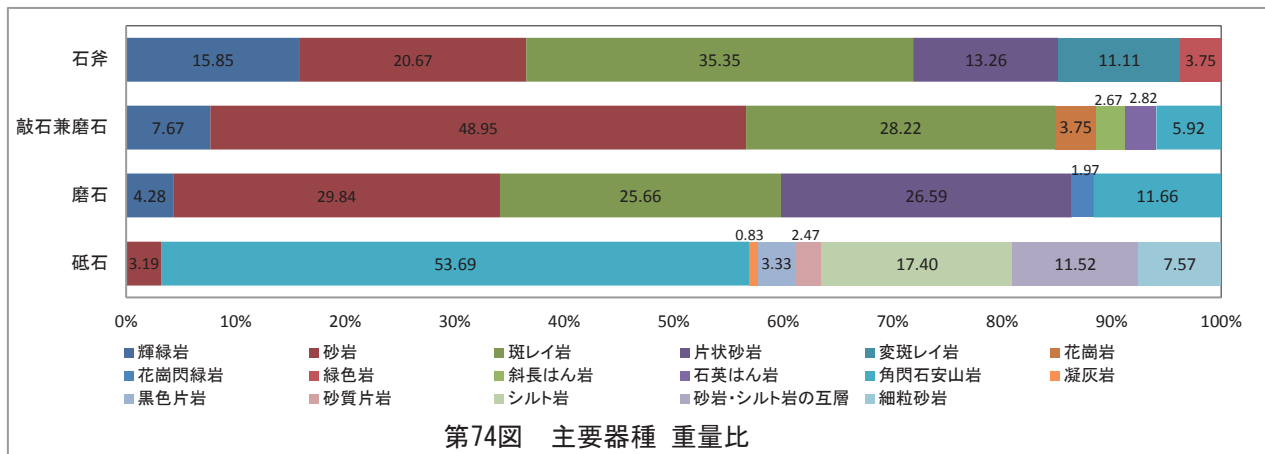
表、第74図に示した。石斧は12点のうち斑レイ岩の石斧は35.35%、次いで砂岩が20.67%である。石斧のサイズや重量に自ずと比例するが、基部、刃部など破損資料もあり一概に判断できない。火成岩系の石斧は1、変成岩系4、堆積岩系1の6種類が認められた。敲石兼磨石は28点で砂岩が最も多く48.95%と5割近くを占め、次いで斑レイ岩が28.22%である。火成岩系は5、変成岩系1、堆積岩系1種類の7種類が認められた。敲石兼磨石のなかで割合として少ないが、火成岩系の種類は多く、花崗岩、斜長はん岩、角閃石安山岩などが認められた。磨石は27点で砂岩は29.84%、次いで片状砂岩が26.59%と多い。火成岩系は3、変成岩系2、堆積岩系1の6種類が認められた。磨石は破片が多いこともあり、砂岩・片状砂岩・斑レイ岩の3種類で多くの比率を占める。砥石は10点で、図化していない資料だが角閃石安山岩が1点確認され53.69%と5割を占める。火成岩系は2、変成岩系2、堆積岩系4の8種類が認められた。4器種のうちで火成岩系のは斑レイ岩・角閃石安山岩が多く、石斧、敲石兼磨石、磨石、砥石に各々使用されたことが判る。遺跡周辺に産地は求められない為、沖縄本島から近い徳之島が推測され、持ち込みの可能性が考えられる。

第30表 主要器種 重量

器種	輝緑岩	砂岩	斑レイ岩	片状砂岩	変斑レイ岩	花崗岩	花崗閃緑岩	緑色岩	斜長はん岩	石英はん岩	角閃石安山岩	凝灰岩	黒色片岩	砂質片岩	シルト岩	砂岩・シルト岩の互層	細粒砂岩	合計
石斧	346.5	452.0	773.0	290.0	243.0			82.0										2,186.5
敲石兼磨石	1,122.0	7,158.5	4,127.5			549.0			390.0	412.5	865.5							14,625.0
磨石	290.0	2,020.5	1,737.0	1,800.0			133.2				789.5							6,770.2
砥石		59.4									1,000.0	15.5	62.0	46.0	324.0	214.5	141.0	1,862.4
合計	1,758.5	9,690.4	6,637.5	2,090.0	243.0	549.0	133.2	82.0	390.0	412.5	2,655.0	15.5	62.0	46.0	324.0	214.5	141.0	25,444.1

第31表 主要器種 出土量

器種	輝緑岩	砂岩	斑レイ岩	片状砂岩	変斑レイ岩	花崗岩	花崗閃緑岩	緑色岩	斜長はん岩	石英はん岩	角閃石安山岩	凝灰岩	黒色片岩	砂質片岩	シルト岩	砂岩・シルト岩の互層	細粒砂岩	合計
石斧	2	3	3	1	2			1										12
敲石兼磨石	3	14	6			1			1	1	2							28
磨石	2	15	2	3			1				4							27
砥石		2									1	1	1	1	1	1	2	10
合計	7	34	11	4	2	1	1	1	1	1	7	1	1	1	1	1	2	77



<特殊石材>

遺跡周辺の地質から産出しない赤鉄片岩が出土、加工はなく石材に含めた。暗赤褐色を呈し、層状に縞模様が認められ石英脈が走る。重量があり鉄分を多く含む。同定結果を第V章第3節に掲載する。長さ6.9 cm、幅6.1 cm、厚さ3.5 cm、重量211.5 g、G 12 III a層（近世耕作土）台2291

<小結>

油分無し地区（2013）と今回の油分地区のどちらも石器の量は少ない。石斧は破損資料が多く、状態の良い石斧は図2の撥形、図8・9の短冊形石斧である。油分無し地区には今回の石斧と比べサイズの大きなものや搬入品と思われる石斧が認められたが、層序の攪乱に因りII層・III層出土である。

特筆する点は砥石が揚げられ、手持ち型・懸垂型が確認された。油分地区・油分無し地区ともに同様の砥石が確認されるが、両側面～上面に孔を穿つタイプの懸垂型砥石は今回初めて出土した。

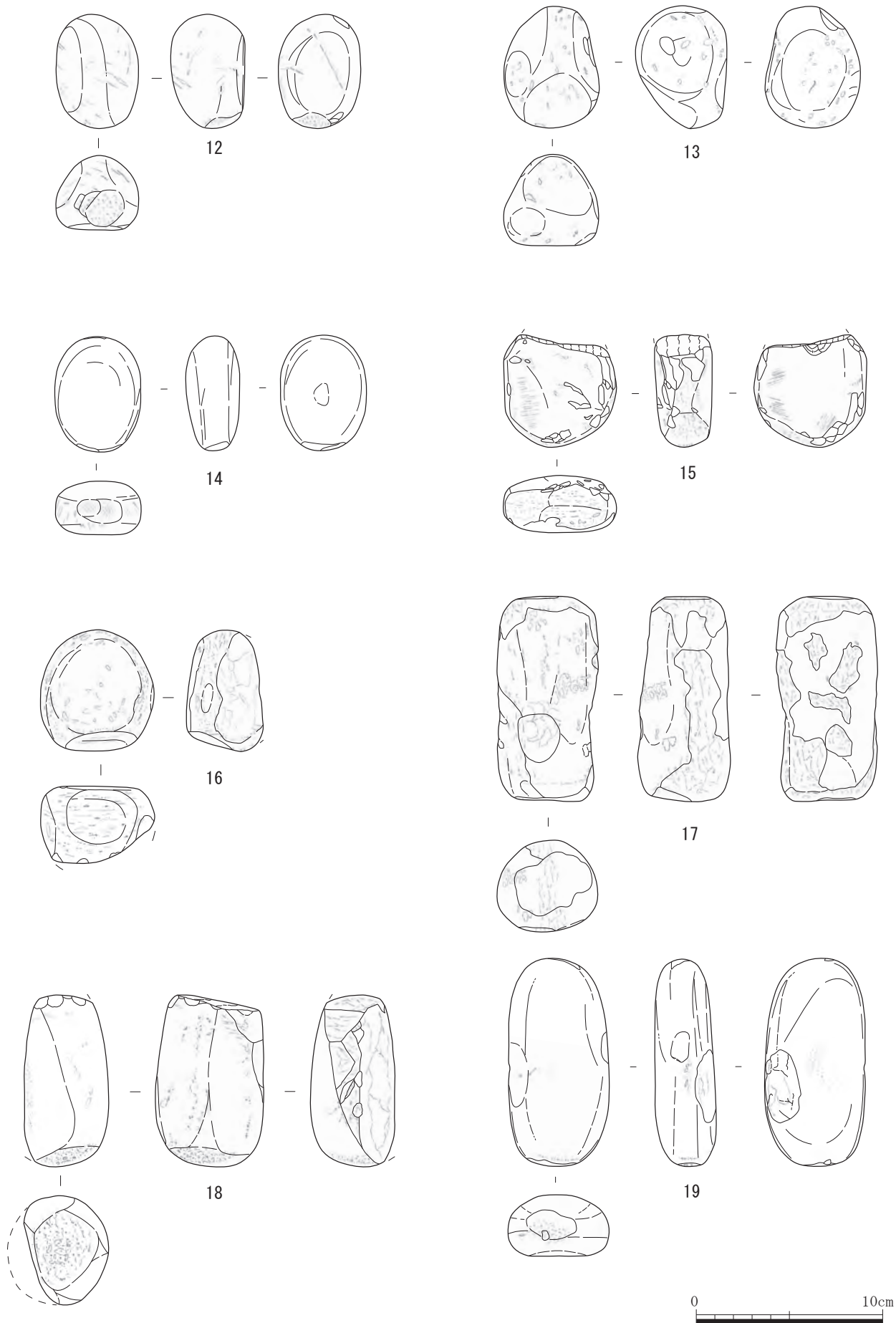


第75图 石器1

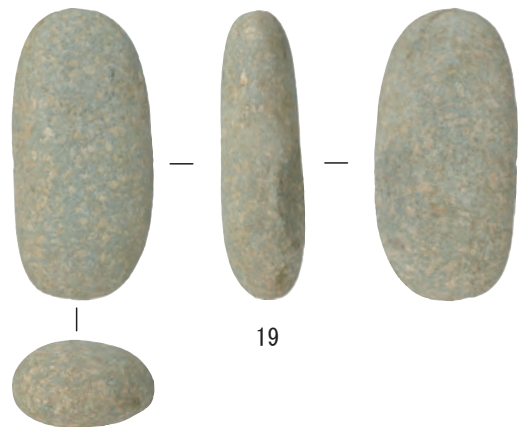
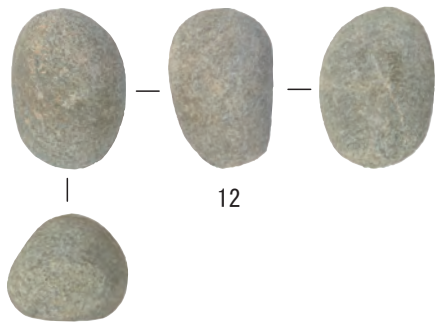


图版 25 石器 1





第76图 石器2

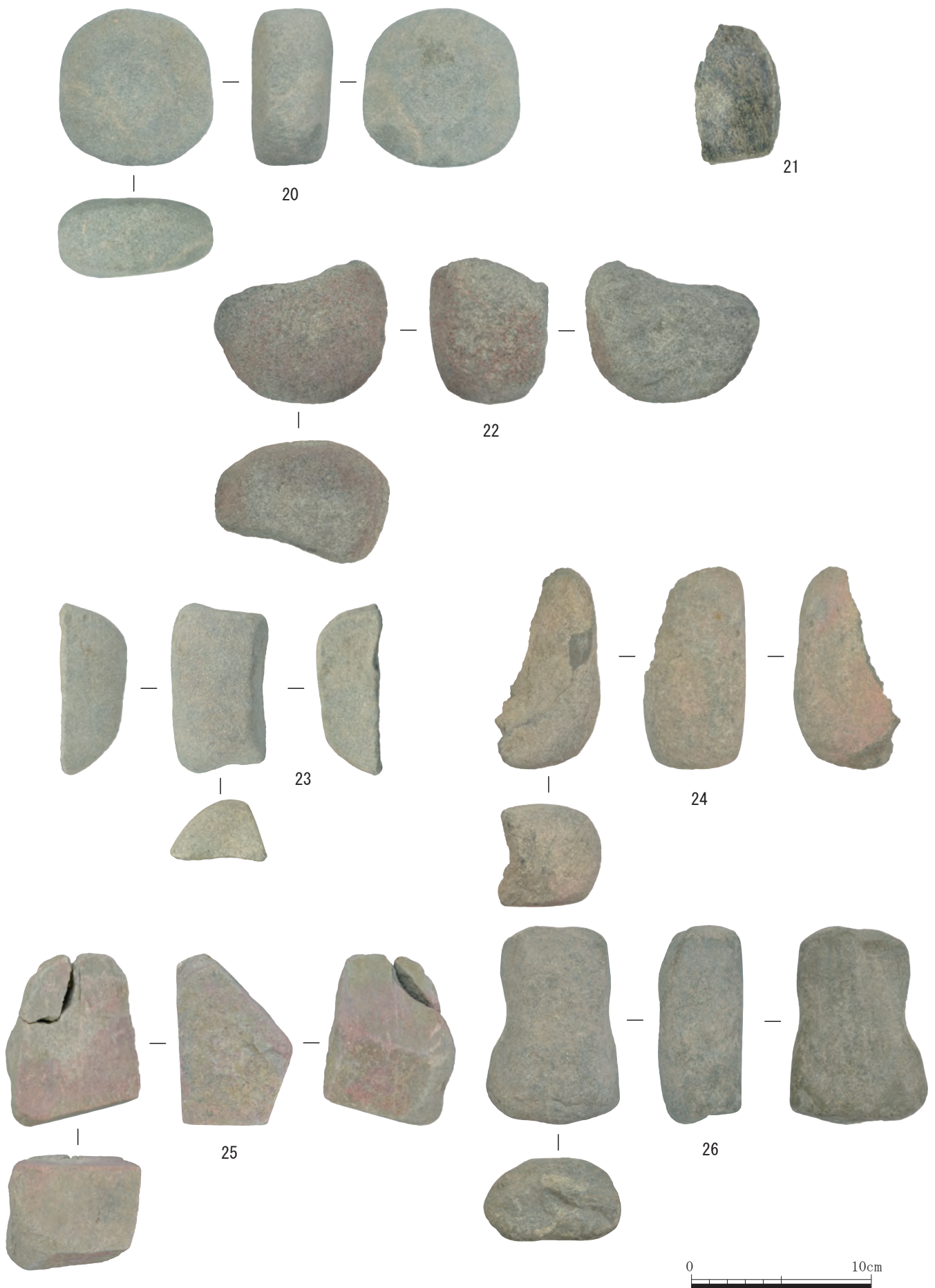


图版 26 石器 2

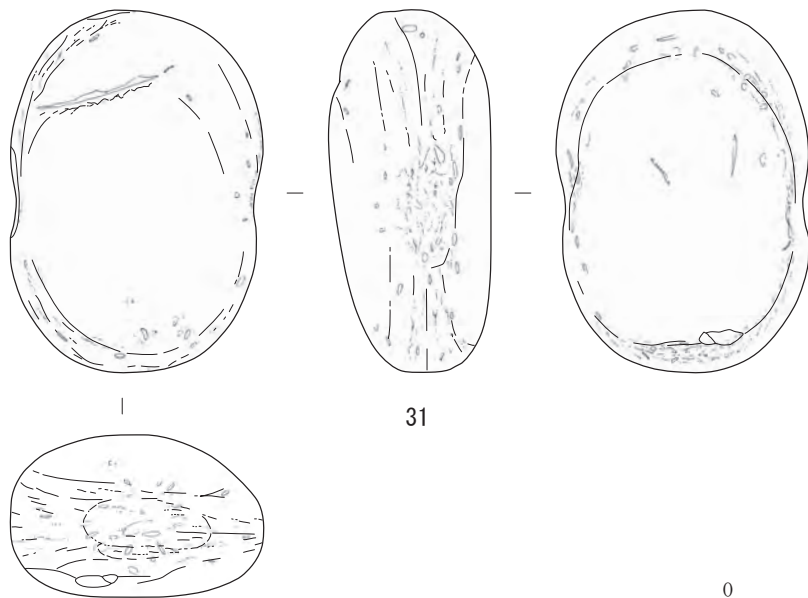
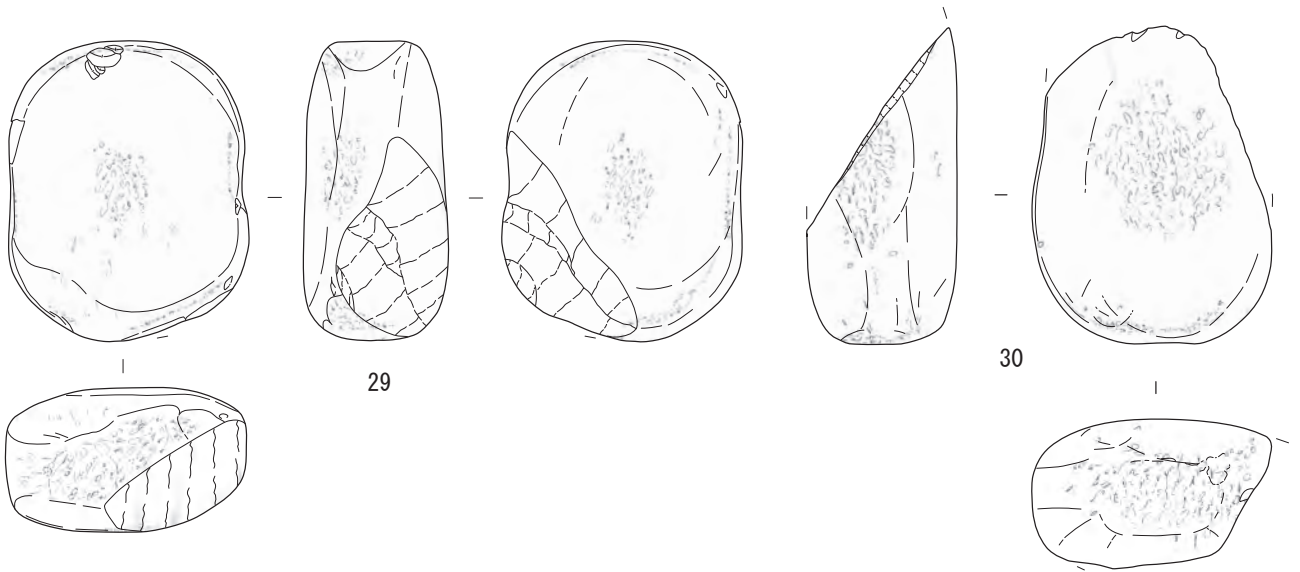
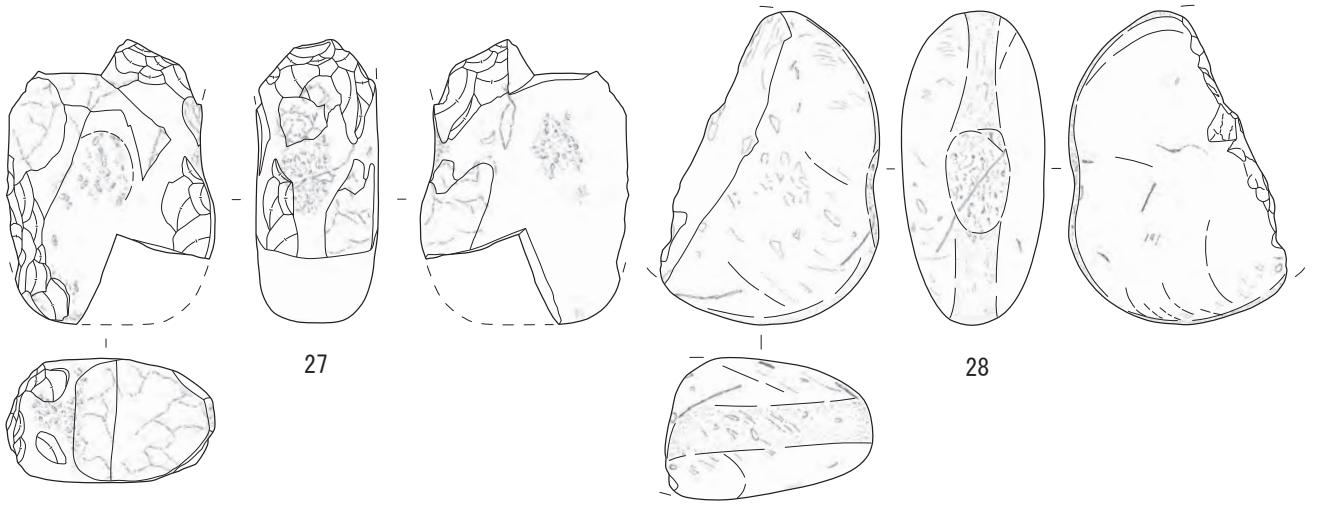


第77图 石器3

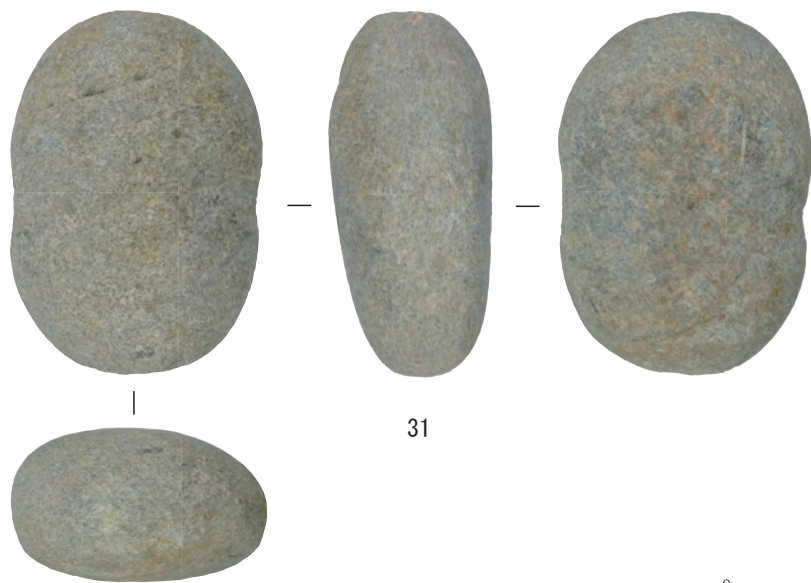




图版 27 石器 3

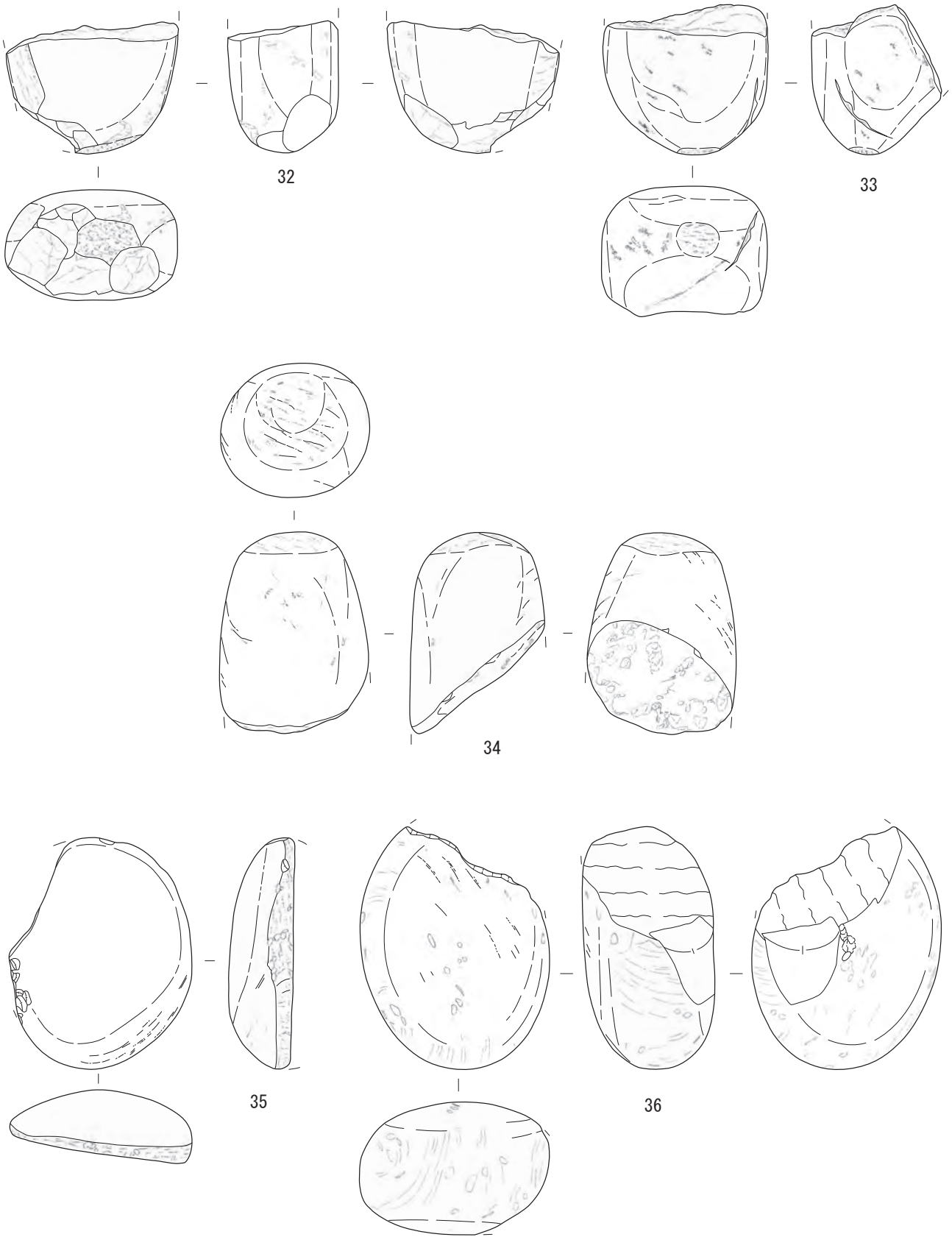


第78图 石器4

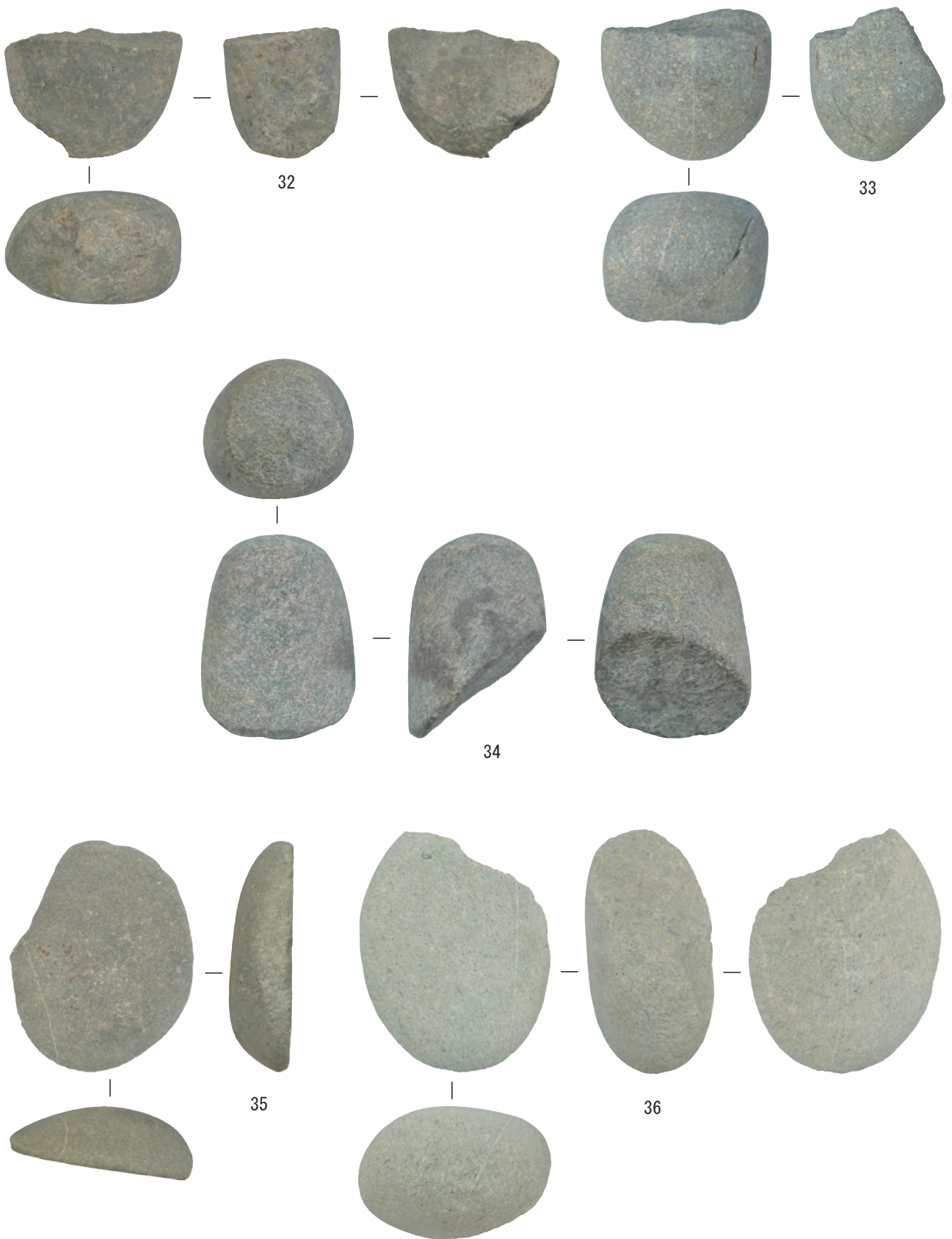


图版 28 石器 4





第79图 石器5



图版 29 石器 5

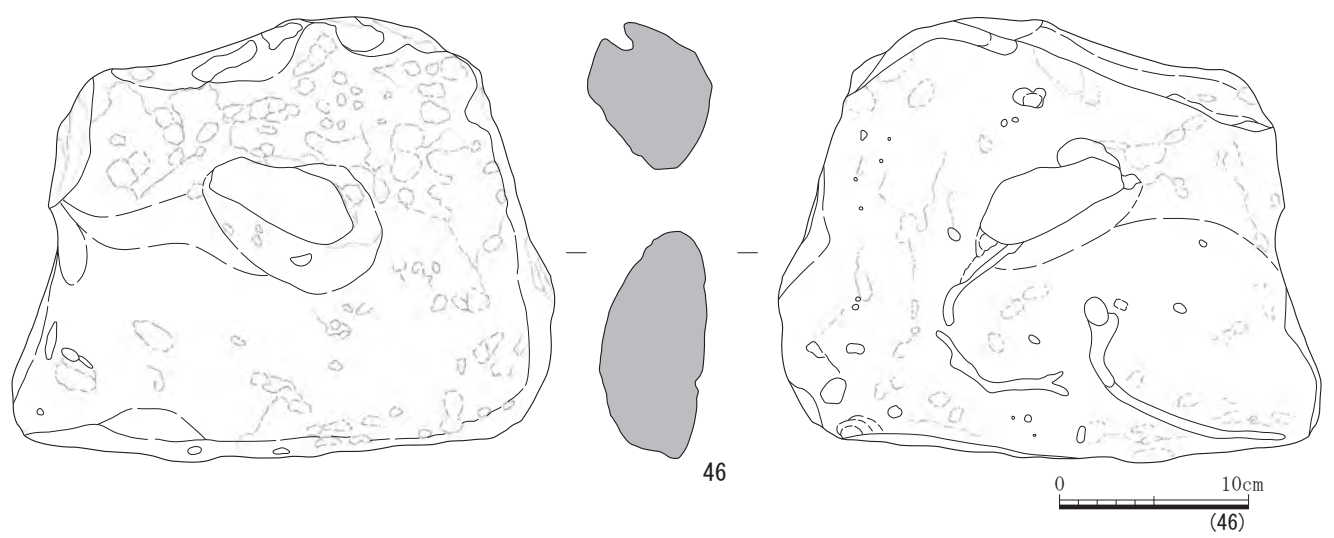
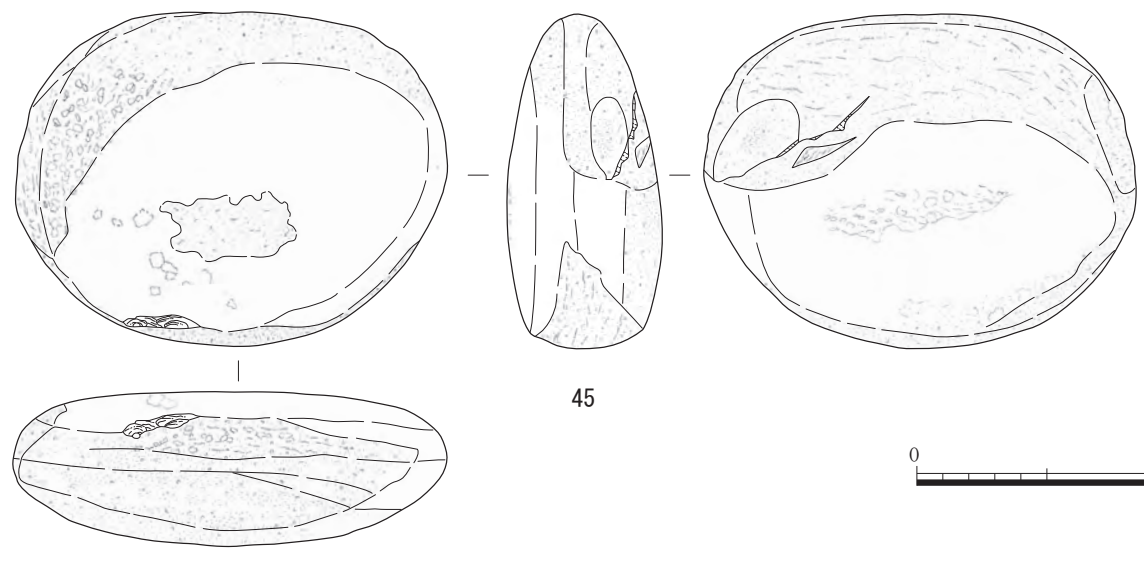
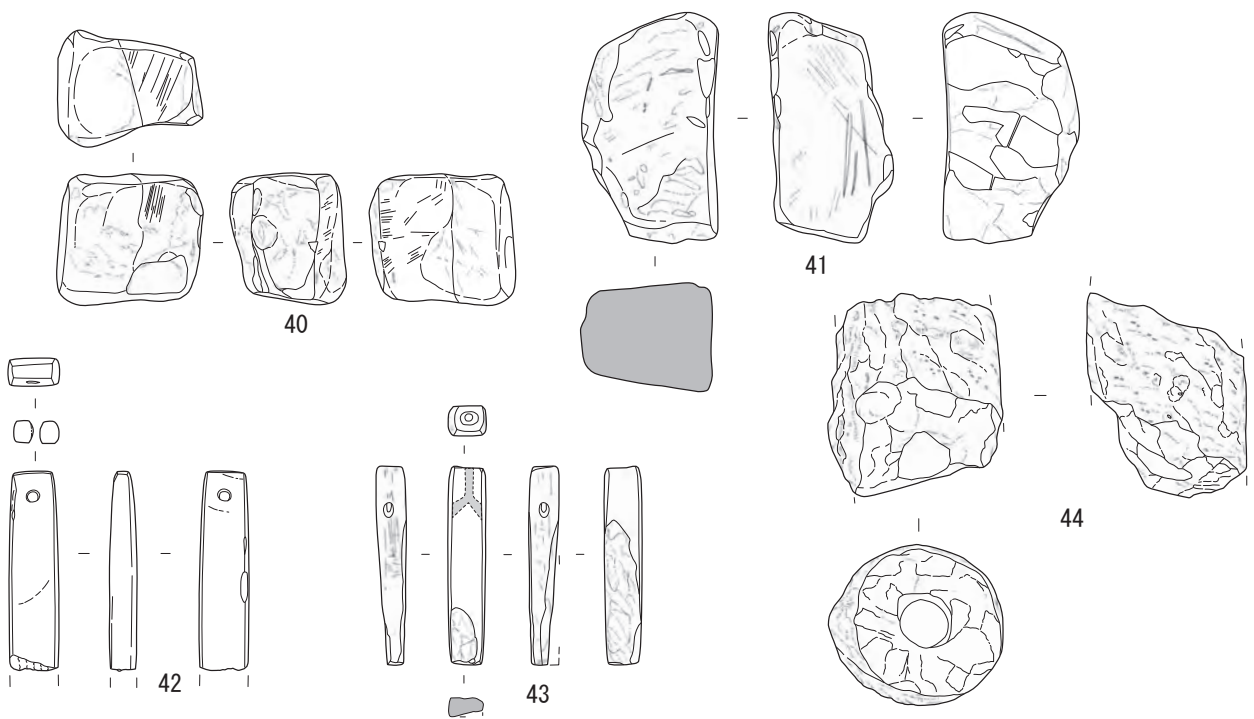


第80图 石器6





图版 30 石器 6



第81图 石器7



图版 31 石器 7



### (3) 貝製品

今回報告する貝製品は354点である。貝塚時代後期292点、グスク時代62点の出土で、そのほとんどは貝塚時代後期に属する。以下時期ごとに報告する。種類別に観察一覧、平面分布を示し、必要に応じて個別の集計を行った。

第32表 貝製品 出土量

時期 製品 層	貝塚時代後期											グスク時代以降							素材・自然貝								
	装飾品		実用品									装飾品		実用品					大形イモガイ	ゴホウラ・アツソデガイ	ヤコウガイ	合計					
	貝輪 (オオベッコウガサ)	貝符 (イモガイ)	貝刃 (シレナシジミ)	スライガイ製利器	螺蓋製利器	ホラガイ有孔製品	貝皿 (ヒレジャコ)	貝匙 (ホシダカラ)	貝匙 (ヤコウガイ)	ヤコウガイ有孔製品	ヤコウガイ加工品	二枚貝有孔製品	合計	タケノコガイ製品	貝玉 (マガキガイ)	研磨 (マガキガイ)	ヤコウガイ貝匙	ヤコウガイ杯					ヤコウガイ切取部	タカラガイ製品	タカラガイチップ	合計	総合計
I											4	4									0	4	2		2	4	
II											4	4							1		1	5	2	2	3	7	
IIIa		1			3	1	1		2		33	41							4		4	45	13		7	20	
IIIb			1					1			13	15							4		4	19	1	1	1	3	
III下遺構								3			147	150	1	2	1	2			40	2	48	198	1	1	8	10	
IV					2						2	4							3		3	7	4	1	2	7	
V												0										0		1		1	
Va										1	1										0	1				0	
Vb	2			1	4	1		1	3	1	1	26	40				1	1			2	42	1		10	11	
Vc				1	1	1		1			12	16									0	16			4	4	
VI											1	1									0	1			2	2	
不明					3						13	16									0	16			0	0	
合計	2	1	1	2	13	3	1	1	10	1	1	256	292	1	2	1	2	1	1	52	2	62	354	24	6	39	69

#### <貝塚時代後期>

層別（第32表）にはIII下遺構の出土が51.4%を占めるが、土器や石器と同様、後世の攪乱により掻き混ぜられたものと判断される。これまでの遺物の出土状況から貝塚時代後期と判断されるものを扱った。

A. 装飾品と考えられるものと、B. 実用品と考えられるものに大別される。

#### A. 装飾品と考えられるもの

貝輪2点、貝符1点の出土で全体の1.0%と少ない。

**貝輪：**図1・2はオオベッコウガサを輪状にしたもので、内縁の打割が明瞭である。いずれもG14 V b層の出土で、重なった状態（取106・107）で検出された。油分無し地区（2013）では貝輪3点が出土しているが、大きさを比べると今回出土のものが大きい。

**貝符：**図3は大形のイモガイを方形に加工し、上縁よりの中程に穿孔する。平面形は角をとり、隅丸状を呈する。厚さ0.4cmと厚みがあり、孔は外径0.7cmと内径0.5cmを測り、これまで貝符としたものの中では最も厚い。穿孔方向は平安山原B・C遺跡（2016）と同じく内殻面からの穿孔である。

第33表 貝輪・貝符 観察一覧

(質量単位:cm, g)

第図版	図番号	製品番号	分類	貝種	完破	縦	横	孔縦	孔横	重さ	観察事項	残存	アバタ	ヘビ	風化	グリッド・層・遺構台帳(取上)番号
第89図版・34	1	1002	貝輪	オオベッコウガサ	完	6.9	5.7	5.5	5	9.2	内縁摩耗、打割部分。色残。	○	×	×	×	G14 V b(砂) 台2234(取上106)
	2	685		オオベッコウガサ	完②	(6.9)	(5.8)	(5.6)	(3.8)	5.0	内縁打割、輪状に加工。色残。	○	×	×	×	G14 V b(砂) 台2235(取上107)
	3	-	貝符	イモガイ	完	4.1	3.6	0.5	0.5	4.0	方形、上は隅丸。縁は研磨顕著。特に裏面が大きい。内殻から穿孔、外径0.7cm、内径は0.5cm。厚さ0.4cm。研磨面は三面あり。	○	×	×	×	H13 IIIa(包1) 台2236

凡例:( )は推定 ○:普通 ×:なし

大形イモガイ：貝符の素材である。今回の調査では貝集積遺構は検出されていないが、アンボンクロザメ・クロフモドキの殻径を計測し、これまで報告した近隣の遺跡と比較した（第34表）。「南海産貝輪交易」の対象とされる貝であるため、計測は完形のみで、自然貝の34.8%を占める。アンボンクロザメ21点、クロフモドキ3点、計24点である。これによると3.0～6.9cmの範囲で4.5～4.9cmに多い。

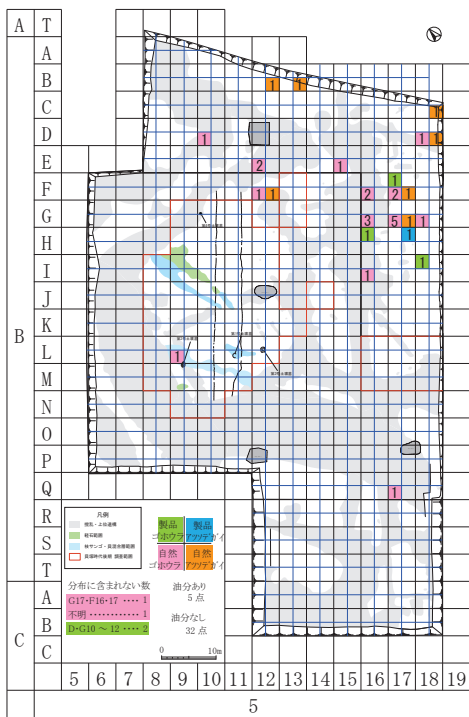
第34表 大形イモガイ大きさ(殻径)別 出土量

遺跡 殻径(cm)	伊礼原D(油分地区)			伊礼原D 油分無し (2013)	平安山原B (2015)	伊礼原 (2014)	平安山原A (2016)	平安山原C (2016)	平安山原B (2016)
	アンボン クロザメ	クロフ モドキ	合計						
3.0～3.4	1		1			1	5		2
3.5～3.9	2		2		1	1	1		3
4.0～4.4	3		3		4		4	5	7
4.5～4.9	6		6		8	8	7	13	7
5.0～5.4	3		3	1	31	11	4	13	4
5.5～5.9	4	1	5	4	17	8	1	6	4
6.0～6.4	2	1	3	8	8	7	1	6	5
6.5～6.9		1	1	9	3	5		1	2
7.0～7.4				8	2	2			2
7.5～7.9				3					1
8.0～8.4				1					
8.5～8.9				1					
合計	21	3	24	35	74	43	23	44	37

油分無し地区(2013)貝集積遺構(4317SS)では5.0cm～8.9cmまでの範囲で得られているが特に6.5～6.9cmに集中する。これまで報告した遺跡と比較すると本遺跡のものは小さいことから食用として採集された可能性が高い。

ゴホウラ・アツソデガイ：加工されたものは出土していないが「南海産貝輪交易」の対象とされる貝であるため、ここに報告する。ゴホウラ5点、アツソデガイ1点が出土した。

油分無し地区(2013)では製品のゴホウラ4点、アツソデガイ1点、素材・自然貝のゴホウラ21点、アツソデガイ6点が出土している。これらを含め平面分布(第82図)で示すと大当原式土器主体の陸側に多く、くびれ平底土器を主体とする海岸側には稀である。同様な状況はくびれ平底土器を主体とする熱田貝塚(1979)でもみられ、貝交易の対象貝としては機能してなかったことが証左される。



第82図 ゴホウラ・アツソデガイ 平面分布



アツソデガイ

ゴホウラ 1



ゴホウラ 2

(番号は第35表と一致)

図版32 ゴホウラ・アツソデガイ

B. 実用品と考えられるもの

貝刃1点、スイジガイ製利器2点、螺蓋製利器13点、ホラガイ有孔製品3点、貝皿1点、ホシダカラ製貝匙1点、ヤコウガイ製貝匙10点、ヤコウガイ有孔製品1点、ヤコウガイ加工品1点、二枚貝有孔製品256点の出土で、二枚貝有孔製品が88.6%と大半を占める。

**貝刃**：シレナシジミの腹縁に押圧剥離で附刃したものである。図4の1点得られた。幅1.1cmの腹縁のみ残る。I9 III b層の出土であるが、本品はV層に属するものと思われる。

**スイジガイ製利器**：スイジガイの突起に研磨を施し、附刃したもので2点出土した。図6は突起①のみで、被熱の為、灰色を呈する。刃の研磨痕は外殻が横、内殻が縦に認められる。図5は突起①に若干の加工が認

第35表 ゴホウラ・アツソデガイ 観察一覧

(法量単位:g)

図版	製品番号	貝種	中分類	重さ	製品ランク	備考	油分	グリッド・層・遺構台帳(取上)番号
図版32	91	ゴホウラ	体層のみ	112.0	▲	幼児か・殻頂・殻軸残	アリ	Q17 IV (1510SD) 台4011
	93	ゴホウラ	袖部半欠	64.6	×		アリ	不明 V (深掘排土) 台5053
—	94	ゴホウラ	体層破片	26.0	×	色残	アリ	L9 III下 (3158SK) 台3190
図版32	256	ゴホウラ	袖のみ	228.5	▲	大きな割	アリ	F12.13 II (0586SZ) 台978
	260	ゴホウラ	腹部	242.0	▲	アハタ	アリ	E12 II (0586SZ) 台905
—	267	アツソデガイ	側面欠	146.5	▲	側面から割る	アリ	F12.13 IIIb(包2) 台1071
—	353	ゴホウラ	貝輪(背面)	9.8	◎		ナシ	F17 IIIa(包1) 台436
—	355	ゴホウラ	貝輪(背面)	15.0	◎		ナシ	D・G10~12 II (0008SF) 台4542
—	248	ゴホウラ	貝輪(背面)	19.2	◎		ナシ	I18 Vb(砂1) 台2044
—	354	ゴホウラ	貝輪(腹面)	35.8	◎		ナシ	H16 IIIa(包1) 台214
—	257	ゴホウラ	未製品(完)	632.0	▲	へび貝全面	ナシ	F・G16・17 Vb(0656SS) 台1068
—	252	ゴホウラ	完	612.0	▲	アハタ	ナシ	D18 IIIb(包2) 台4545
—	255	ゴホウラ	完	659.0	▲	食用?	ナシ	G17 IIIa(包1) 台不明
図版32	243	ゴホウラ	腹面穿孔	18.5	▲	幼貝	ナシ	G17 IIIa(包1) 台306
	351	ゴホウラ	袖上部	35.0	×		ナシ	E12 II (0586SZ) 台905
	253	ゴホウラ	袖上部・側欠	212.0	×		ナシ	G17 IIIb(包2) 台不明
	251	ゴホウラ	袖部	48.0	×	軽い→幼児か	ナシ	G16 IIIa(包1) 台218
図版32	245	ゴホウラ	袖部	150.0	×	アハタ多し	ナシ	I16 IIIa(包1) 台178
	258	ゴホウラ	袖部	323.0	×	小さいへび・アハタ有り	ナシ	G17 IIIb(包2) 台不明
—	254	ゴホウラ	袖部	623.0	▲	へび貝付着(多)	ナシ	G17・F16.17 Vb(0656SS) 台1023
図版32	241	ゴホウラ	背面欠	946.0	×	アハタ・へび貝・貝付着	ナシ	G16 I (0350SZ) 台979
	246	ゴホウラ	腹部	25.0	▲	打割かも	ナシ	E15 IIIa(包1) 台746
	356	ゴホウラ	腹部	32.0	×		ナシ	F17 IIIb(包2) 台907
	250	ゴホウラ	腹部	45.0	▲	裏面に打割か	ナシ	F16 IIIa(包1) 台475
	259	ゴホウラ	腹部	209.0	×	体層	ナシ	G17 IIIb(包2) 台不明
	242	ゴホウラ	腹部	134.0	×	幼児・色残り	ナシ	G18 IIIb(包2) 台589
—	249	ゴホウラ	破片	23.0	×		ナシ	G16 IIIa(包1) 台346
—	247	ゴホウラ	破片	25.0	×	アハタ	ナシ	F16 IIIa(包1) 台358
図版32	263	ゴホウラ	破片	42.0	×	風化・破損	ナシ	F17 III下 (0870SK) 台1558
	244	ゴホウラ	破片	131.0	×	幼貝	ナシ	D10 II (0586SZ) 台908
—	352	アツソデガイ	垂飾品(背面)	20.3	◎	済写	ナシ	H17 IIIb(包2) 台974
図版32	261	アツソデガイ	完	218.0	×	死貝かなり進む	ナシ	C18 IIIa(包1) 台4058
	262	アツソデガイ	孔	173.0	×	背面へび貝全面付着	ナシ	D18 IIIa(包1) 台4048
	265	アツソデガイ	袖部	22.0	×	摩耗	ナシ	B13 IV (4409SX) 台4568
	266	アツソデガイ	袖部	43.0	×		ナシ	F17 IIIa(包1) 台571
	268	アツソデガイ	袖部	62.0	×	アハタ無	ナシ	G17 Vb(砂) 台4675
	264	アツソデガイ	袖部	76.0	×	へびガイ	ナシ	B12 IV (4409SX) 台4581

◎:製品 ▲:制作途中 ×:自然貝

第36表 貝刃・利器 観察一覧

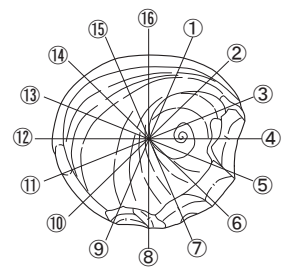
(法量単位:cm, g)

第図版	図番号	製品番号	分類	貝種	完破	縦	横	重さ	観察事項	色残	アハタ	へび	風化	グリッド・層・遺構台帳(取上)番号
第図版34	4	681	貝刃	シレナシジミ	1/3	-	-	3.7	幅1.1cmで割れる。腹縁押す圧剥離で附刃	△	×	×	×	I9 IIIb(包2) 台3376
	5	103	利器	スイジガイ	完形	13.2	8.5	400.0	突起①研磨、剥離あり。突起②④半欠	×	○	×	○	H10 V(砂) 台4140
	6	1001		スイジガイ	突起①	5.4	1.1	9.8	刃幅0.9cm。外殻はココ、内殻はタテに研磨痕。灰色、被熱?	×	△	×	△	不明 Vc(深掘排土) 台5052

○:普通 △:少 △:僅少 ×:なし

められる。前者がV c (深掘排土中)、後者がH10 V層の出土でいずれも貝塚時代後期及びそれ以前に属する。

**螺蓋製利器**：ヤコウガイの蓋の縁に複数の剥離を施し、刃状をなすものである。製品は完形7点、破片6点の計13点出土した。大きさをみると7.2~8.7cmで平均8.1cmを測る。平安山原B・C (2016) と同じような傾向を示す。大きさ、附刃の範囲を観察一覧 (第37表) に示し、図7・8に2点を



『シノグ堂遺跡』(1985)

第83図 ヤコウガイの蓋附刃分布

第37表 螺蓋製利器 観察一覧

(法量単位:cm, g)

第図版	図番号	製品番号	完破	縦	横	重さ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	観察	グリッド・層・遺構台帳(取上)台帳
第図版34	7	11	完形	8.2	8.8	224					●	●	●	☆	●	●	●	●					B	出土地不明
	8	51	完形	7.5	8.2	168		●	●	●	●	☆	●	●	●	●	☆	●	●				B	G13 Vc(下砂) 台4221
	—	32	半欠	-	-	39										~	●	●					-	Q17 IV (1510SD) 台3932
	—	35	破片	-	-	29			~	●	●	~											-	I10 IIIb(包2) 台2344
	—	16	完形	7.3	8.1	174	●	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	A	G13 IIIb(包2) 台2299
	—	32	1/5	-	-	39										~	●	●	~				-	Q17 IV (1510SD) 台3932
	—	35	1/5	-	-	29					~	●	●	~									-	I10 IIIb(包2) 台2344
	—	42	半欠	-	7.2	125									●	●	●	~					A	F15 IIIa(包1) 台2219
	—	22	完形	6.1	-	109			●	●	●	●		●	●	●							C	H9 IIIa(包1) 台5213
	—	16	半欠	-	-	120	●								●	●	●	●	●	●	●	●	C	F12-13 IIIb(包2) 台1071
	—	41	完形	7.4	7.4	164			●	●	●				●	●	●	●	●	●	●		C	C13 IV (4409SX) 台4576
	—	284	完形	7.9	8.7	218			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		A	石灰付着 不明 I(表採) 台5114
	—	285	完形	7.5	8.7	188			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		A	内→外に剥離 不明 I(表採) 台5114

凡例●:剥離有、「☆」:剥離、方向変換箇所、「~」:破損不明



第38表 ホラガイ有孔・貝皿・貝匙 観察一覧

(質量単位:cm, g)

第図 図版	図 番号	製品 番号	製品	貝種	完破	縦	横	孔縦	孔横	重さ	観察事項	色 残	ア バ タ	ヘ ビ	風 化	グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号
第 89 図 版 34	9	111	有孔	ホラガイ	完	23.0	9.9	2.7	2.9	262.0	内唇に1孔。殻頂は丸味。外唇は破損。	○	△	×	×	G13 Vb 台4164
	10	114	双孔	ホラガイ	完	11.6	5.5	①0.6	②0.55	30.1	外唇瘤の下に径0.6cmの孔、両面穿孔石灰付着原貝は大きい。	×	×	×	○	C17 Vc(海砂層)台14717
	—	—	112	有孔	ホラガイ	完	—	—	2.8	3.4	148.0	内唇に1孔。体層部破損。	△	×	×	○
第 36 図 版 91	35	1000	貝皿	ヒレジャコ	完	15.9	24.7	—	—	1,293.0	外殻のヒレをすべて除去。腹縁の突起も取り、整える。	×	△	×	○	I17 IIIa(包1)台—
第 34 図 版 89	11	153	貝匙	ホシダカラ	完	6.2	5.5	—	—	24.8	ホシダカラの背面。周縁打割後、研磨するが不揃い。容量25cc。	△	△	×	△	J11 Vb 台5159

○:普通 △:少 △:僅少 ×:なし -:不明

図示した。附刃の分布をみると伊礼原E遺跡で示した分類に従うと、A:連続して施すものが2点、B:途中で方向を変えるもの2点、C:附刃の範囲が分かれるもの3点、不明4点である。Aのうち1点(製285)は打割の方向が「内→外」とほかの製品と逆の方向で、類例は今のところなく、製品かどうかを含め、今後検討を要する資料である。Cについては奄美市長浜金久遺跡(1985)で敲打器に分類されている。

**ホラガイ有孔製品:** ホラガイの内唇に2cm前後の孔を打割で施すもので、2点出土した。図9を図化した。背面の欠損は使用によるものと思われるが、明瞭な被熱の痕跡は認められない。他1点は内唇の穿孔が認められる破損品である。貝は前者より大きい。

**ホラガイ2孔製品:** 図10はホラガイの外唇瘤の下に径0.6cmの孔を2個施すものである。殻口のみで全体の形状がわからないが、残存部からみると大きめ貝を用いている。類例はなく、用途は不明。海砂層からの出土で貝塚時代後期以前の可能性も考えられる。

**貝皿:** 図35はヒレジャコの外殻のヒレと腹縁を打割し、器状にしたものである。容量は400cc、1.29kgを量り、容器として使用した可能性が考えられる。

平安山原B遺跡(2016)ではシャコガイの集積(SS01・02)があり、大きさも本品と近いことから、貝皿の素材を集めた可能性も考えられる。

**ホシダカラ製貝匙:** ホシダカラの背面を切り取り、周縁を打割後、研磨を施し、スプーン状にしたものである(図11)。外殻の殻頂側に若干の研磨痕が見られる。J11 V b層の出土で、同様な製品は平安山原B遺跡(2015)で13点、平安山原C遺跡(2016)の貝層III群5層で1点得られている。類例は古座間味貝塚(1982)にあり、貝塚時代後期に属する。

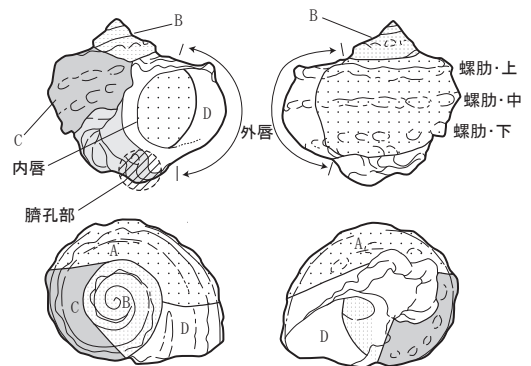
**ヤコウガイ製貝匙:** ヤコウガイ製貝匙は10点出土した。背面を割とり匙状にしたもので、完形はなく、柄が3点、身が5点、未成品2点が得られた。出土層位はIIIa層で2点、IIIb層で1点、III下遺構で3点、Vb層で3点、Vc層1点の出土である。割れ方をみると平安山原B・C遺跡(2016)で分類した背面型(A)の殻口方向に柄を配する(a)タイプのみ出土で、匙の大きさは中と大がある。

中は図12・13でいずれも身の部分である。図12は全面に真珠層が露出し、丁寧な作りである。図13は周縁の調整がややラフで、外殻に表層を部分的に残す。内殻は殻が小さいため、貝の成長線が明瞭に見られる。

大は身が図14~18、その未成品が図19である。

第39表 ヤコウガイ製品(貝匙・杯・有孔) 出土量

分類 層	貝匙-背面(A)			有孔	加工品	合計
	柄	身	未			
IIIa	1	1				2
IIIb	1					1
III下遺構		1	2			3
Vb	1	2		1	1	5
Vc		1				1
合計	3	5	2	1	1	12



●: A 体層背面 ●: B 螺塔部 ●: C 体層腹面 □: D 殻口部  
□: E 殻軸 □: F 内唇~臍孔部  
木下(1996)一部改変 部位名称: 黒住教示

第84図 ヤコウガイの部位名称と割れ方

第40表 ヤコウガイ製品 観察一覧

(法量単位:cm, g)

第図 図版	図 番号	製品 番号	製品	残存	縦	横	重さ	観察事項 (サイズ・使用部位・調整)	色 残	ア バタ	ヘ ビ	風 化	グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号
第 90 図 ・ 図 版 35	12	318	貝匙	1/3	-	-	16.9	中。背面、身の先端。螺肋上・中:研磨。全面研磨で真珠層露出。	×	×	×	×	K13 Vb(砂)台2146(取上102)
	13	330		1/2 (高)2.1	5.1	20.7	中。背面、身。貝殻が小さい。周縁打割後、研磨。外表わずかに残る。	-	-	-	△	I11 Vb(包砂)台4311	
	14	323		1/4	-	-	29.1	大。背面、身殻は大きい。螺肋上:研磨、中:部分、研磨下:自然。周縁:打割後、研磨。	△	△	-	△	I8 Vc(下砂)台4257
	15	333		1/6	-	-	9.1	大。背面、身。真珠層露出。周縁研磨。	○	×	×	×	L18 IIIa(包1)台2144(取上100)
	16	314		1/3	-	9.0	54.0	大。背面。身。外表:研磨ほとんど無し。螺肋上:研磨顕著、中:研磨、下:研磨。厚さ0.3cm。縁は丸味、研磨顕著。	-	△	-	-	L18 IIIa(包1)台2052
	17	327		1/6	7.5	4.2	24.8	大。背面。身。真珠層、全面研磨。螺肋上:削り顕著。周縁:研磨で丸味。	-	○	-	-	K11 III下 (2322P)台3126
	18	325		1/8	-	-	15.0	大。背面。身の部分?縁研磨、真珠層。螺肋中:加工無。	-	△	-	-	J11 Vb(包砂)台4318
	19	316		1/3	7.2	7.1	40.0	大。背面、製作途中。螺肋上:打割、中:自然。外表:残。	△	△	△	×	I10 III下(4285SK)台3776(取上161)
	20	307		1/2	8.5	5.6	72.9	大。背面、身大きい周縁:打割後研磨。外表残。	△	×	×	×	J8 IIIb(包2)台3880
	21	328		1/4	6.0	6.7	29.0	大。背面。柄、未製品、外表残。周縁:打割。	×	△	×	×	S13 III下 (4681SX)台4847
	22	305		有孔	完	7.8	7.4	47.8	大。内外縁、および螺肋上:打割後摩耗。孔:打割後摩耗。外殻は孔上剥離、真珠層。孔:3.7×2.5cm方形。	△	×	×	△
36 図版 第 91	23	229	未製品	完	14.5	17.1	736.0	大。殻頂欠。殻口・臍部打割。螺肋上:打割。	×	◎	○	△	H14 Vb(砂)台2232(取上104)

○普通 ◎顕著 △少ない △僅少 ×:なし

未成品以外はいずれも表層も研磨し、丁寧に仕上げている。特に図14~16は螺肋上を深く削り、貝の成長線を露出する。図17は柄の立ち上がり部分がわずかに確認できる。図19は未成品で螺肋上を打割調整、および表層を残す。

柄が図20・21で後者は未成品である。図20は殻口がわかるもので周縁を切り取り、柄を成す。出土した匙の中では最も大きい貝を用いているようである。外殻の表層もそのまま残る。図21は殻口で螺肋上が残り、打割がわずかに見られ、外殻は真珠層の割合が高い。

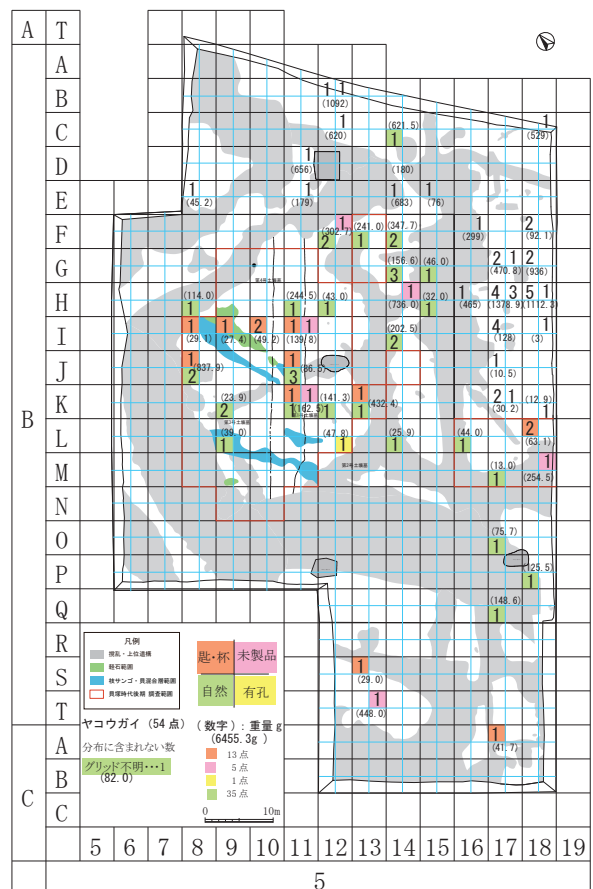
**ヤコウガイ有孔製品:** 図22はヤコウガイの殻口近くの背面を割取り、ほぼ中央に方形の孔を施したものである。螺肋上・中に研磨を施し、孔縁および外縁は打割後、摩耗する。外殻は表層が剥がれ、使用によるものと思われる。類例は熱田貝塚(1979)など貝塚時代後期後半に見られる。

**ヤコウガイ加工品:** 図23は殻頂部を欠損し、臍部および外唇の一部を打割調整、さらに螺肋上を打割する。匙製作の第一段階の加工かあるいは平安山原B・C遺跡(2016)で出土した容器の可能性も考えられる。人工的な加工があるため図示した。ヘビガイ付着やアバタも顕著なのはC12 VI(海砂)、深掘りの出土で後世の付着によるものであろう。

**ヤコウガイの割れ方:** 製品とされないものと素材貝

第41表 ヤコウガイ分類(加工痕有り・自然貝)出土量

加工 分類 層	加工痕有り						自然貝					合計	
	A	B	B+D	B+E	D	D+A	F	B	D	D+F	E		細片
I		1						1					2
II		1											2
IIIa			1					1			2		3
IIIb												1	1
III下遺構					1		1	1					5
IV							2						2
Vb	2		1	1	2			1	1		1		10
Vc	1			1				1	1				4
VI								1		1			2
合計	3	2	2	3	2	1	3	6	1	1	3	12	39



第85図 ヤコウガイ製品 平面分布

をまとめた。

第41表によると自然貝23点、部分的に打割がみられるもの16点である。総重量は5162.6g、平均132.4gを量り、平安山原B・C遺跡(2016)に比べると出土量は約10分の1の出土で、平均85.8gと本遺跡の方が大きいようである。貝の残存はほぼ同じでB(殻頂)の部分が多く、加工痕のある部位は各部位ともほぼ同じ割合である。平安山原B・C遺跡(2016)ではD(殻口)とF(臍孔部)が多く、本遺跡とは若干異なる。出土量も少ないことからヤコウガイは貝匙を製作する為に採取した可能性が高いようである。

**二枚貝有孔製品：**二枚貝の殻頂近くに1.0～2.0cm前後の粗孔を施すものを扱う。次頁の条件に当てはまるのを製品の基準として扱った。全体の出土量は256点で、貝種別にはリュウキュウサルボオ15点、メンガイ類27点、シャコガイ科(ヒメジャコ・シラナミ)42点、リュウキュウシラトリ46点、リュウキュウマスオ52点、マスオガイ57点、リュウキュウザルガイ3点、カワラガイ4点、ヌノメガイ4点、ヒメアサリ・ハイガイ・エガイ・キクザルガイ科・アラスジケマン・ユウカゲハマグリは各々1点の出土である。層別にはI層4点、II層4点、IIIa層33点(12.9%)・IIIb層13点(5.1%)・III下遺構147点(57.4%)、IV層2点、V層39点(15.2%)、VI層1点、不明13点の出土である。最も多く出土したのはIII下遺構である。その中でも2352SK(J12)でリュウキュウマスオ・マスオガイ・リュウキュウシラトリが113点出土した(第86図)。第46表に示した様に本品は試掘(2008)・油分無し地区(2013)を含めると565点で平安山原C遺跡(2016)に次いで多い出土である。

**<二枚貝有孔製品の条件>**

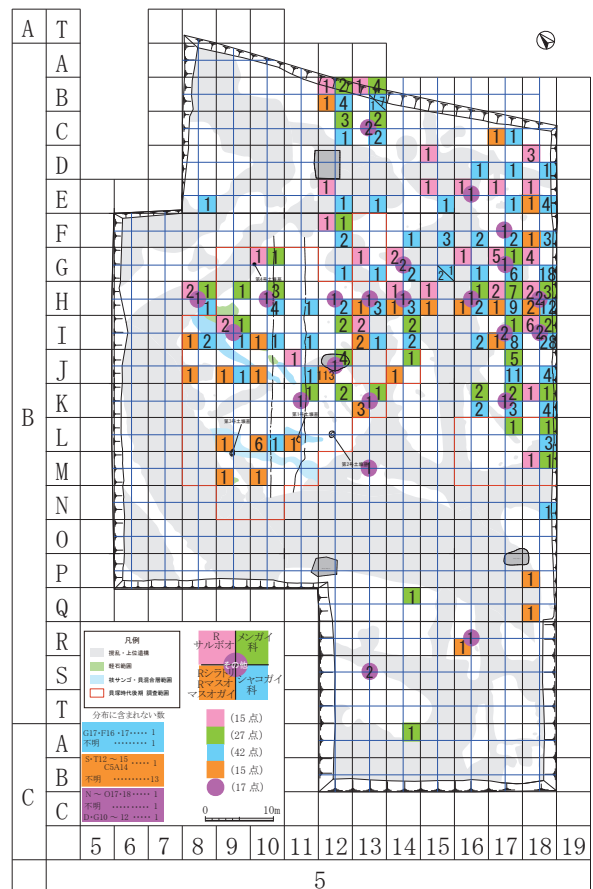
- 二枚貝の殻頂に1.0～2.0cmの粗孔を施すものである。
- ①孔の穿孔に複数の打割が見られるもの
  - ②孔に複数の切り合いが見られるもの
  - ③腹縁に複数の剥離あるいは摩耗(使用痕)が見られるもの
- 2個以上の条件を満たすものを製品として扱った。

重量でみると全体の合計では0～9gが全体の68.4%を示す。リュウキュウマスオ・マスオガイ・リュウキュウシラトリが多いのに起因する。しかし、この3種を外すと10～19gの出土が多い。重量の調整が認められるシャコガイ科について、平安山原B・C遺跡(2016)と本遺跡で比較すると(第87図)、いずれの遺跡も10～19gが30%台と多いが、その中でも本遺跡の割合は高く、それに次ぐ出土量を比較

第42表 二枚貝有孔製品 出土量

層	具種	Rサルボオ	メンガイ類	シャコガイ科	Rザルガイ	カワラガイ	Rシラトリ	Rマスオガイ	マスオガイ	ヌノメガイ	ヒメアサリ	ハイガイ	エガイ	キクザルガイ科	アラスジケマン	ユウカゲハマグリ	合計
I		1	1	2													4
II		1	1	2													4
IIIa		6	5	15		1	3		1					1			33
IIIb		3	2	6		1									1		13
III下遺構		3	14	6	1		10	51	55	4	1	1			1		147
IV				1			1										2
Va							1										1
Vb		1	3	9		2	10		1								26
Vc		1	1	1	1		8	1									12
VI					1												1
不明							13										13
合計		15	27	42	3	4	46	52	57	4	1	1	1	1	1	1	256

R-リュウキュウの略

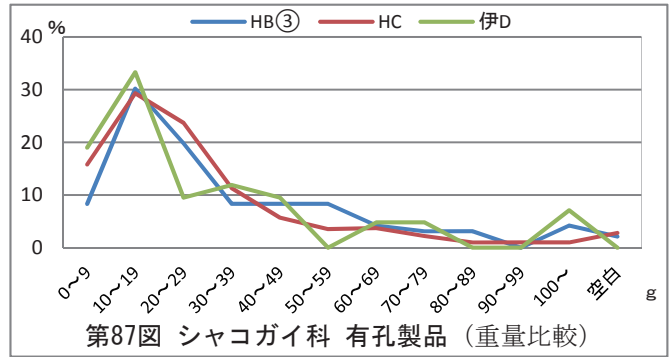


第86図 二枚貝有孔製品(貝種別)平面分布



すると他に遺跡では20～29gであるのに対し、本遺跡は0～9gの割合が高くなり、小形化する。シャコガイ科の腹縁を打割し、重量を調整する例も多いことから意図的に加工したことは明らかである。

平安山原C遺跡(2016)で提示した示数(平均の大きさ÷平均重量)を第45表(比較)に示した。これらを比較すると、漁網錘とされているリュウキュウサルボオ、メンガイ類、シャコガイ科は平安山原B・C遺跡同様、示数が1.1～1.5にほぼ収まる。今回出土量が多く、2352SKを中心に出土するマスオガイ、リュウキュウマスオ、リュウキュウシラトリは示数が3.5～4.9を示すことから、用途としては漁網錘の範疇から外れると思われる。しかし、孔をみると内殻→外殻に穿孔することや複数の打割が見られるなど、人工の可能性が認められるが、孔位置は「中・中」で、自然の穿孔の可能性も否定できない。出土が近世遺構(2532SK)に集中することなどを含め、用途は今後の課題である。これらの貝種をのぞいても663個で、出土量は平安山原C遺跡(2016)に次いで多く、本製品のほとんどは貝塚時代後期に属するものとした。



第43表 二枚貝有孔製品(孔位置・重量別)出土量 (法量単位:g)

孔位置	貝種													合計		
	Rサルボオ	メンガイ(類)	シャコガイ科	Rザルガイ	カワラガイ	Rシラトリ	Rマスオ	マスオガイ	ヌノメガイ	ヒメアサリ	ハイガイ	エガイ	キクザルガイ科		アラスジケマン	ユウカゲハマグリ
上後						3		9								12
上前	1		17													18
上中	4	27	23	2	2	21	3	14				1	1		98	
下後						1									1	
下中							1								1	
下前								1							1	
中中				1		17	39	29	4	1				1	93	
中後						1	2	4							7	
中前						6	4								12	
殻長	10				2						1				13	
合計	15	27	42	3	4	49	49	57	4	1	1	1	1	1	256	
重量別	0～9	1	7	8	2	3	46	46	57	1	1	1	1	1	175	
	10～19	3	9	14	1	1		6		3		1		1	39	
	20～29	7	7	4											18	
	30～39	4	1	5											10	
	40～49		1	4											5	
	50～59														0	
	60～69				2										2	
	70～79				2										2	
	80～89														0	
	90～99														0	
	100～				3										3	
空白														2		
合計	15	27	42	3	4	46	52	57	4	1	1	1	1	1	256	

R:リュウキュウの略

第44表 二枚貝有孔製品 観察一覧

(法量単位:cm,g)

第図版	図番号	製品番号	貝種	完	左右	殻高縦	殻長横	孔縦	孔コ	重さ	孔位置	孔形	穿孔方向	腹縁	グリッド・層・遺構台帳(取上)番号
第91図・図版36	24	398	シラナミ	完	右	6.9	10.0	1.6	1.6	77.0	上/前	不定形	内→外	前後マヨ	B13 IV (4409SX)台5089
	25	532	R・サルガイ	完	右	4.6	4.3	1.7	1.7	10.0	中/中	不定形(複)	内→外	前中	不明 VI (深掘排土中)台5060
	26	684	アラスジケマン	完	右	3.2	3.8	1	1.4	7.3	中/中	円	内→外	×	H12 III下(2644P)台2835
	27	530	ハイガイ	完	右	3.6	4.2	0.5	0.8	17.0	殻頂	ヨコ楕円	内→外	×	N～O17・18 III下(1505SX)台2737
	28	538	カワラガイ	完	右	4.4	3.8	1.7	0.8	8.0	上/中	方形	内→外	×	H13 Vb (砂)台3996
	29	501	R・サルボオ	完	右	4.5	6.1	1.6	2	28.0	上/中	楕円	内→外	×	G13 IIIb (包2)台2227
	30	447	メンガイ	完	右	5.2	5.7	0.9	1	19.2	上/中	円	内→外	×	L18 Vb (包砂)台4286
	31	435	キクザル	完	右	4.6	3.9	1.2	1.2	17.0	上/中	斜楕円	内→外	左中右マヨ	G14 IIIb (包1)台2273
	32	441	メンガイ	完	左	5	4.5	1.5	1.5	7.0	上/左	不定形	内→外	×	H10 III下 (3655P)台3789
	33	682	エガイ	完	右	2.3	4.1	1.1	1.4	3.5	上/中	ヨコ楕円	内→外	全摩耗	H8 IIIa (包1)台2390
	34	673	ヌノメガイ	完	右	4.4	4.9	1.3	1.6	15.0	中/中	円	内→外	×	H10 III下 (3689P)台3861

完:ほぼ完形

第45表 二枚貝有孔製品の属性

(法量単位:g)

遺跡名	貝種	属性																						
		Rサルボオ	メンガイ類	シャコガイ科	Rザルガイ	カワラガイ	Rシラトリ	Rマスオ	ヌノメガイ	アラスジケマン	ホソスジイナミン	スタレハマグリ	クロチヨウガイ	ハイガイ	シレナシジミ	マスオガイ	Rアサリ	ウチワガイ	エガイ	キクザルガイ科	クチベニツキガイ	ソメワケグリ	イソハマグリ	ハナマルユキ
伊礼原D遺跡	平均重量	15.0	17.0	31.5	7.8	8.0	2.0	4.7	12.0	7.3	—	—	17.0	—	3.0	3.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	示数	1.8	1.3	1.0	2.6	2.1	4.9	3.5	1.6	1.6	—	—	0.6	—	3.0	1.6	—	—	—	—	—	—	—	
	可能性	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	—	—	—	—	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平安山原C遺跡	平均重量	21.6	22.4	30.6	6.1	11.8	2.7	8.6	23.6	2.4	4.05	18.44	25.1	22.7	2.5	12.6	4.8	6	23.5	23.5	5.7	0.8	6.4	
	示数	1.1	1.5	1.4	2.5	1.7	5.0	2.5	1.3	3.0	3.1	2.5	0.8	1.6	5.4	3.2	2.4	2.7	1.0	1.4	2.2	5.0	1.2	
	可能性	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	—	—	—	—	▲	—	—	—	●	▲	▲	—	●	

R:リュウキュウの略 ●:可能性 ▲:可能性ややあり 示数:平均の大きさ÷平均重量

第46表 二枚貝有孔製品遺跡別 出土比較

遺跡・立地	発行年	貝種														合計									
		Rサルボオ	メンガイ類	シヤコガイ科	Rザルガイ	カワラガイ	Rシラトリ	Rマスオ	マスオガイ	ヌノメガイ	アラスジケマン	ホソスジイナミ	スタレハマグリ	クロチョウガイ	ハイガイ		シレナシジミ	Rアサリ	ウチワガイ	エガイ	キクザルガイ科	クチベニツキガイ	ソメワケグリ	イソハマグリ	その他
小堀原遺跡(試掘)	2009		3	1		2																			6
小堀原遺跡	2012	4	4	18	1	2		1																	30
伊礼原D遺跡(試掘)	2008	15	22	28	1	1		3															1	1	72
伊礼原D遺跡(油分無し)	2013	32	38	147		6	1	6			1				3		1	1					1		237
伊礼原D遺跡(油分あり)	2016	15	27	42	3	4	49	49	57	4	1	1		1		1		1	1						256
伊礼原遺跡(国指定外)	2014	74	17	219	2	16	8	11							2								1	1	351
平安山原B遺跡①②④	2015	15		17		2	6	3						1	2										46
平安山原A遺跡	2016	11	20	46	2	10	16	17		2	2	1	2											6	135
平安山原C遺跡	2016	270	105	683	3	46	14	10	5	4	6	1	9	4	5	1	3	1	2	1	5	1	2		1,181
平安山原B遺跡③	2016	123	11	96		3	5	6			1														245
合計		559	247	1,297	12	92	99	106	62	10	11	3	11	6	12	2	4	3	3	1	8	1	10		2,559

①②③④:調査順 R:リュウキュウの略

<グスク時代以降>

A. 装飾品の可能性の高いもの(タケノコガイ製品、マガキガイの貝玉および研磨)とB. 実用品の可能性が高いもの(ヤコウガイ貝匙、杯、タカラガイ製品)がある(第32表)。

A・装飾品の可能性の高いもの

タケノコガイ製品: 図36はベニタケの螺塔部の中程に穿孔するものである。貝色が明瞭に残り、孔はやや方形で中の殻軸を避ける様に穿孔する。紐を通してみる(図版33)とほぼ水平に保つ。垂飾よりは実用の可能性が推定される。A17、4533SKの出土で遺構に関連するかは不明。



図版33 タケノコガイ製品(紐着装例)

マガキガイ製品: マガキガイを玉状あるいは螺塔部を研磨したのものがある。

- ・貝玉: 図37はマガキガイの体層を除去し、螺塔部を玉状にしたもので、体層側は殻口から打割で囲繞し、殻頂は打割で穿孔するもので、未成品と思われる。2点得られた。平安山原A遺跡(2016)や平安山原B・C遺跡(2016)の状況からグスク時代~近世に属するものと思われる。
- ・螺塔部研磨: 図38はマガキガイの螺塔部を研磨したもので、前者とは異なる加工で、用途が異なる可能性がある。螺塔部を研磨するものは油分無し地区(2013)ではクロミナシ(第59図14)、平安山原B・C遺跡(2016)ではクロザメモドキ(第128図3)、平安山原A遺跡(2016・第184図68)など中形イモガイに同様な加工が見られる。制作途中の可能性が高い。

第47表 タケノコガイ・マガキガイ製品 観察一覧

(法量単位:cm,g)

第図版	図番号	製品番号	分類	貝種	残存	縦	横	孔径	重さ	観察事項 (使用部位・加工・貝状態)	グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号
第92版 図37	36	-	有孔	ベニタケ	完	8.2	1.9	0.5	15.0	外層、殻頂は破損。螺塔部の中位に殻軸を残し穿孔。孔は方形。色残○。	A17 III下(4533SK) 台5207
	37	692	貝玉	マガキガイ	完	2.8	2.7	0.5	11.5	殻頂・体層打割。殻頂を打割穿孔。色残○。	H12 III下(2641P) 台2880
	38	691	研磨	マガキガイ	完	3.2	2.6	0.7	4.8	殻頂を研磨のみ。色残○。	I10 III下(3572P) 台5146
-	-	693	貝玉	マガキガイ	完	2.9	2.7	0.5	10.6	殻頂・体層打割。殻頂打割穿孔。色残○。	H12 III下(2641P) 台2880

○:色残有り

B・実用品の可能性が高いもの

ヤコウガイ製貝匙: ヤコウガイの腹面を割取り、匙状に加工したものである(図39)。表層をはぎとり、真珠層を露呈し、周縁の研磨も顕著で、前出の貝塚時代後期の匙とは異なる。平安山原A遺跡(2016)でCに分類した。製品(図39)と未成品(図40)の2点で、いずれもIII下遺構の出土。図39は完形で、柄に「V」字状の抉りを施すものである。図40はヤコウガイの腹面を割取り、周縁および外面の螺肋上・中・下の研磨は特に顕著である。外壳のほぼ全面に表層を残す。殻口方向に

第48表 ヤコウガイ製品 観察一覧

(法量単位:cm, g)

第図 図版	図 番号	製品 番号	分類	貝種	残存	縦	横	重さ	観察事項 (使用部位・加工)	色 残	ア バ タ	ヘ ビ	風 化	グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号
第 92 図 ・ 図 版 37	39	80	貝匙	ヤコウガイ	完形	7.0	3.2	9.2	腹面利用。殻口に身、殻頂に柄を配す。外表除去、周縁および表裏面研磨顕著、真珠層露出。10cc。	○	×	×	×	I10 III下(3772SK) 台3689(取上153)
	40	317	貝匙	ヤコウガイ	完形	7.1	4.4	27.4	腹面利用。殻口に身、殻頂に柄を配す。周縁研磨顕著、柄に打割痕。螺肋上・中・下:研磨顕著。表層残。15cc。	○	×	×	×	I9 III下(3830P) 台3690(取上154)
	41	79	杯	ヤコウガイ	完形	6.4	6.2	41.7	小形貝、殻頂を残し、縦に半裁。切口は研磨顕著、外殻は光沢有。28cc。	◎	×	×	×	A17 Vb(砂)台4410
	42	236	切取残存	ヤコウガイ	完形	9.7	6.4	119.1	小形貝、腹面タイプ貝匙の切り取り残存部。打割調整あり。	○	×	×	○	I11 Vb(包砂)台4312

○:普通 ◎:顕著 ×:なし

身、殻頂方向に柄を配する取り方である。前者の未成品(註1)かあるいは完成品かは不明。

杯: 図41は完形で、小形のヤコウガイの縦位に半裁し、器状にしたものである。殻軸に対して、水平に研磨するものである。製品の作り方が貝塚時代後期には見られない。A17 V b層(下砂)の出土であるが、加工がシャープなことや形状から近世以降の製品と思われる。

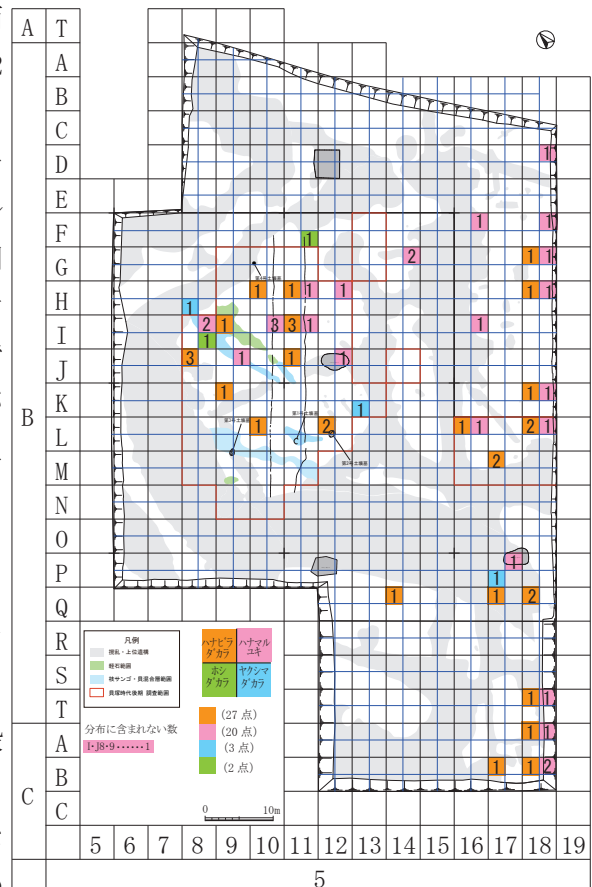
切り取り残存部(図42): やや小形の貝を利用。腹面に打割が残し、腹面型匙の形状と一致することからその切り取り残存部と考えられる。図39や40の近くで出土。

タカラガイ製品: タカラガイの背面を割取り、周縁を整えたもので、民俗事例から漁網錘(第96図・図版39)とされるものである(岸上1971・上江洲1973)。貝種別にはハナビラダカラ26点、ハナマルユキ21点、ヤクシマダカラ3点、ホシダカラ2点の計52点の出土である。層別にはII層で1点、III aとIII b層で各々4点、III下遺構で40点、IV層で3点である。第88図に油分無し地区(2013)も含めた平面分布を示した。これによるとH10~12からJ8~12の方に多いようである。殻軸についてみる(第95図)と貝種別に異なる。ハナビラダカラはA(殻軸有-図50)が38%、B(殻軸無-図49)が62%、ハナマルユキはA(殻軸有-図43)が10%、B(殻軸無-図48、44、46、軸半欠-図45・47)が90%と占め、ヤクシマダカラ・ホシダカラはB(殻軸無)が100%である。重量についてみるとハナビラダカラの平均が2.7g、ハナマルユキ6.3gを量り、第94図で示したように前者は軽い。貝色についてみる(図版38)とハナビラダカラ・ハナマルユキは貝色の残りがよく、中には光沢があるものも多いが、図48は風化する。いずれも縁は整えてられているが、特に図47は明瞭である。

図52のヤクシマダカラと図53ホシダカラはB(殻軸無)で、周縁も打割で整えられている。ハナビラダカラは2~3gが主体で殻軸があることなど他のタカラガイ製品と異なる部分があり、従来いわれている漁網錘の範疇には含まれない可能性が高

第49表 タカラガイ製品 出土量

層	ハナマルユキ		ハナビラダカラ		ホシダカラ		ヤクシマダカラ		合計
	A	B	A	B	A	B	A	B	
II						1			1
IIIa		1		2				1	4
IIIb		4							4
III下遺構	2	13	10	13		1		1	40
IV		1		1				1	3
合計	2	19	10	16	0	2	0	3	52
貝種別計	21		26		2		3		



第88図 タカラガイ製品 平面分布



いが、I11 - 2467P (Ⅲ下遺構) でハナマルユキとハナビラダカラが一括で出土している。同様な製品は勝連城跡 (1990) でも得られ、面縄貝塚 (2014) の模式図から推すと人工品の可能性が高いが、ハナマルユキと同じような用途かは今後の検討課題である。

**タカラガイチップ**：勝連城跡 (1990) で「タカラガイのチップ」で報告されているもので、本遺跡では、2点出土した。

図 54 の大きさは 1.9 × 1.8cm でハナビラダカラの殻頂から 1 回で打割したもので他に加工は認められない。L12 と L16 のⅢ下遺構 (1719P・1205p) で出土である。いずれもハナビラダカラの背面の様子は残す。同様なものは勝連城跡 (1990) では 294 点出土している。前出のタカラガイ製品 (ハナビラダカラ) の残存部分と一致する。そのため、資料の提示にとどめた。

註 1：製品がより完成品に近いものを「未成品」とする。

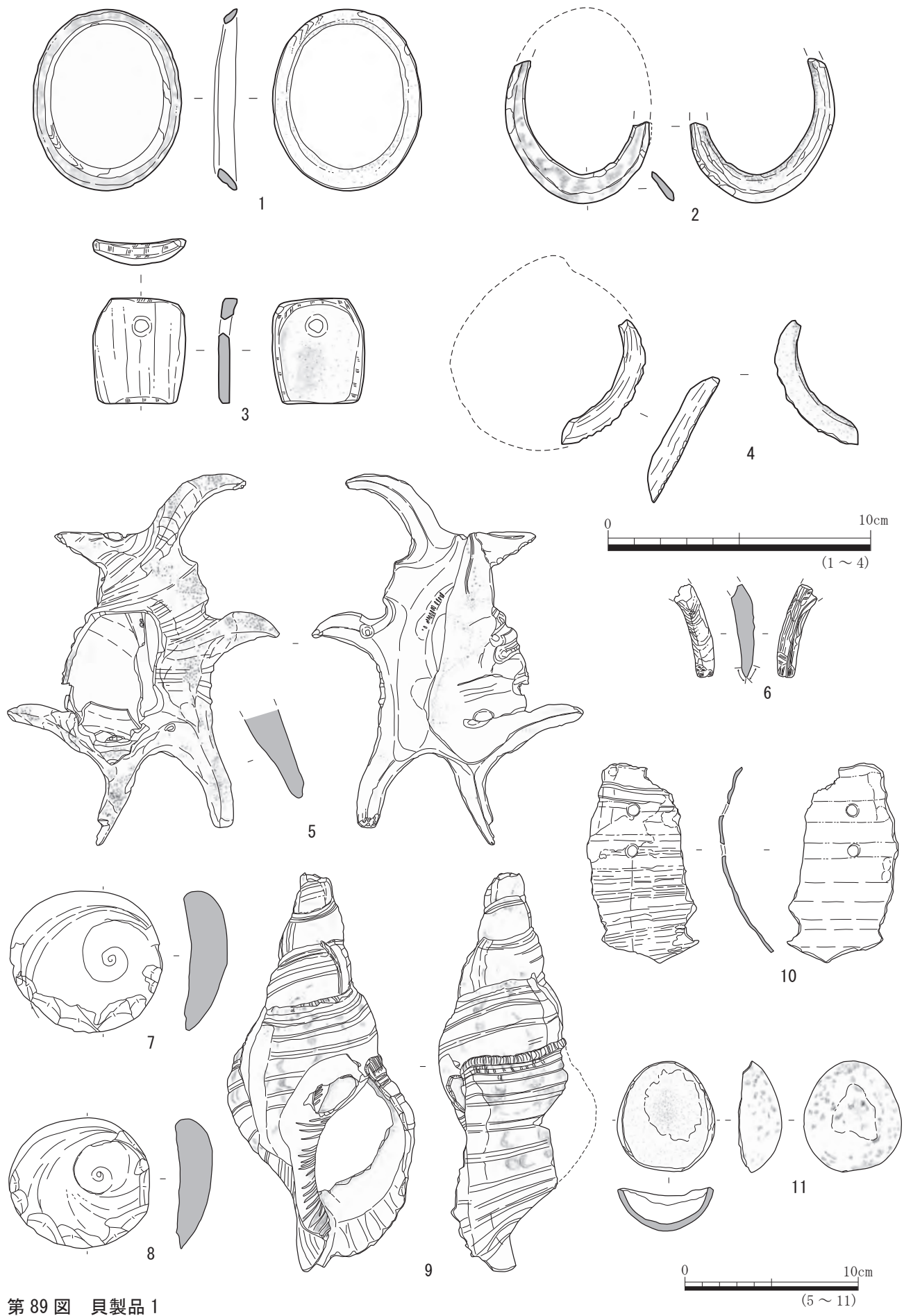
第50表 タカラガイ製品 観察一覧

(質量単位: cm, g)

第図 図版	図番 号	製品 番号	貝種	分類	残存	縦	横	高さ	観察事項 (縁・調整・貝色など)	グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号
第 93 図 ・ 図 版 38	43	161	ハナマルユキ	A	完	3.1	2.3	6.2	揃・打○摩○、色◎	A18 Ⅲ下(4528KS)台4395
	44	162	ハナマルユキ	B	完	2.9	2.1	5.1	揃・打△研○、色△	J12 Ⅲ下(2356P)台3148
	-	163	ハナマルユキ	B	完	3.3	2.3	6.8	揃・打△研○、色残△	I10 Ⅲ下(3782P)台3369
	45	164	ハナマルユキ	B	完	3.3	2.5	7.4	揃△・打△摩○、色○	G14 Ⅲb(包2)台2214
	-	165	ハナマルユキ	B	完	3.0	2.2	5.2	揃・打△・風化○	H11 Ⅲ下(2587P)台3026
	-	166	ハナマルユキ	B	完	2.5	1.8	3.3	不揃・打△・研△、風○	I8 Ⅲa(包1)台3740
	46	167	ハナマルユキ	B	完	3.3	2.3	7.1	揃・打○摩○、色△	I8 Ⅲ下(4027P)台3289
	-	168	ハナマルユキ	B	完	3.0	2.2	6.1	揃・打△研○、色△	P17 IV(1510SD)台3955
	-	169	ハナマルユキ	B	完	3.3	2.5	7.8	揃・打△、色△	L16 Ⅲ下(1240P)台2747
	-	170	ハナマルユキ	B	完	3.1	2.4	6.3	揃・打△研△、色△	H11 Ⅲ下(2467SK)台3130
	-	171	ハナマルユキ	B	完	3.1	2.4	7.4	揃・打△研○、色○	B18 Ⅲ下(4500SK)台4413
	-	172	ハナマルユキ	B	完	3.2	2.3	6.9	揃・打と研○	H12 Ⅲ下(2642P)台2887
	-	173	ハナマルユキ	A	完	2.7	1.9	4.8	やや揃・打△研△、色◎	B18 Ⅲ下(4500SK)台4413
	47	174	ハナマルユキ	B	完	3.5	2.8	8.6	揃・打○摩△、色△	T18 Ⅲ下(4565SK)台14522
	-	175	ハナマルユキ	B	完	3.5	2.4	7.0	揃・打△、鉄◎	I10 Ⅲ下(3701P)台3752
	-	176	ハナマルユキ	B	完	3.3	2.5	7.7	揃・打△、風○	J9 Ⅲb(包2)台2361
	-	177	ハナマルユキ	B	完	3.2	2.3	6.8	揃・打△、風△	I・J8・9 Ⅲ下(4002SK)台3564
	-	233	ハナマルユキ	B	完	2.9	2.2	5.6	揃・打△研○、色△	I10 Ⅲb(包2)台2344
	-	237	ハナマルユキ	B	完	2.7	2.0	2.7	揃・打△、風△	L18 Ⅲ下(1442P)台2572
	48	238	ハナマルユキ	B	完	3.2	2.4	6.7	揃・打△摩○、風○	G14 Ⅲb(包2)台2214
	-	246	ハナマルユキ	B	完	2.7	1.9	3.0	揃・打△、摩○、色△	B17 Ⅲ下(4511SK)台5209
	-	241	ハナビラダカラ	B	完	2.2	1.6	2.0	揃・打△・摩、色△	L18 Ⅲ下(1473P)台2514
	49	242	ハナビラダカラ	B	完	2.3	1.6	2.0	揃・研◎、色○	I11 Ⅲ下(2466P)台3097
	-	243	ハナビラダカラ	B	完	2.3	1.6	2.0	揃・打△、摩○、色△	M17 Ⅲ下(1316SX)台2669
	-	244	ハナビラダカラ	B	完	2.6	2.0	3.0	揃・打△研○、色△	J8 Ⅲ下(3987P)台3292
	-	245	ハナビラダカラ	B	完	2.5	1.9	3.0	揃・打△、色△	Q17 IV(1510SD)台4011
	-	247	ハナビラダカラ	B	完	2.5	1.8	3.0	揃・打○、摩○、色△	J11 Ⅲ下(2462P)台3165
	-	248	ハナビラダカラ	B	完	2.6	1.8	2.0	揃・打△摩△、色◎	L12 Ⅲ下(1719P)台3090
	-	249	ハナビラダカラ	A	完	2.0	1.4	1.0	揃・打△、色△、焼△	I9 Ⅲ下(3817P)台3682
	-	250	ハナビラダカラ	A	完	2.3	1.6	2.0	揃・打△摩○、色○	L18 Ⅲ下(1470P)台2438
	-	251	ハナビラダカラ	B	完	2.1	1.4	1.0	揃・打○摩○、色△	I11 Ⅲ下(2467SK)台3130
	-	252	ハナビラダカラ	A	完	2.6	2.0	4.0	揃・打○殻頂剥離痕、色○	L12 Ⅲ下(1737P)台3093
	-	253	ハナビラダカラ	B	完	2.1	1.5	2.0	揃・打△摩○、色△	I11 Ⅲ下(2467SK)台3130
	-	254	ハナビラダカラ	A	完	2.0	1.5	2.0	揃・打△、色○	H10 Ⅲ下(3665SK)台3815
	50	255	ハナビラダカラ	A	完	2.6	2.0	4.0	揃・打△、色○	L16・17 Ⅲ下(1255SK)台2580
	-	256	ハナビラダカラ	B	完	2.7	2.1	4.0	揃・打△、風△	J8 Ⅲa(包1)台2354
	-	257	ハナビラダカラ	A	完	2.3	1.7	3.0	揃・打△研、色◎	A18 Ⅲ下(4528KS)台4395
	-	258	ハナビラダカラ	B	完	2.5	1.9	3.0	揃・打△研○、色△	Q18 Ⅲ下(1549P)台2450
	-	259	ハナビラダカラ	B	完	2.4	1.7	3.0	揃・打△、色△	Q18 Ⅲa(包1)台2114
	-	260	ハナビラダカラ	B	完	2.5	1.8	3.0	揃・打△、色◎	T・A18 Ⅲ下(4532SK)台4477
	-	261	ハナビラダカラ	B	完	2.3	1.6	2.0	揃・打○摩○、色○	I8・9 Ⅲ下(3938P)台3418
	-	262	ハナビラダカラ	B	完	2.3	1.5	2.0	揃△・打△、色◎	B18 Ⅲ下(4502P)台4352
	-	263	ハナビラダカラ	A	完	2.6	1.9	4.0	揃・打△、色△	M17 Ⅲ下(1314SK)台2498
	-	264	ハナビラダカラ	A	完	2.6	2.0	4.0	揃・打△、摩○、色△	J8 Ⅲ下(3999P)台3580
-	265	ハナビラダカラ	A	完	2.4	1.8	3.0	揃△・打△、色◎	K9 Ⅲ下(3146P)台3316	
-	266	ハナビラダカラ	A	完	2.4	1.8	3.0	揃・打△摩△、色○	H11 Ⅲ下(2590P)台3066	
51	484	ハナビラダカラ	B	完	2.5	1.6	1.8	揃・打△摩○、色△	Q14 Ⅲ下(1585SK)台3750	
-	306	ヤクシマダカラ	B	完	6.7	4.0	29.0	揃△・打△摩△、色△	H8 Ⅲa(包1)台2367	
-	307	ヤクシマダカラ	B	完	5.0	3.2	18.0	揃・打△摩△、色○	K・L13 Ⅲ下(1776SK)台3078	
51	308	ヤクシマダカラ	B	完	5.5	3.8	23.0	揃・打○摩△、色△	P17 IV(1510SD)台3955	
-	154	ホシダカラ	B	完	7.5	5.1	63.0	揃・打○摩△、色△	I8 Ⅲ下(3942P)台3329	
53	444	ホシダカラ	B	完	7.6	5.4	64.0	揃・打○摩○、風○	F12.13 II(0586SZ)台978	

図番号 - は図・図版なし

○:普通 ◎:顕著 △:少ない △:僅少 -:不明

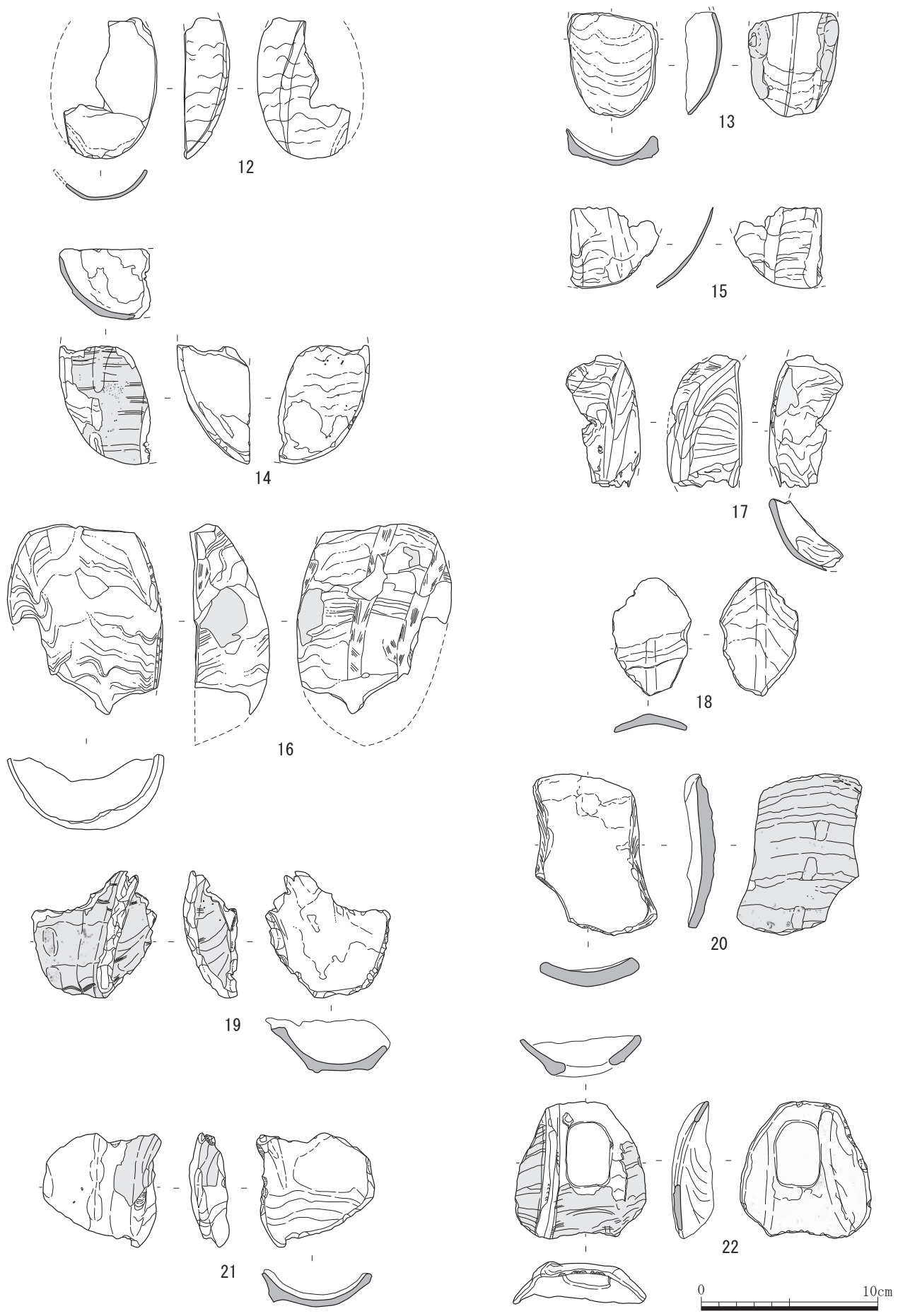


第89图 貝製品1

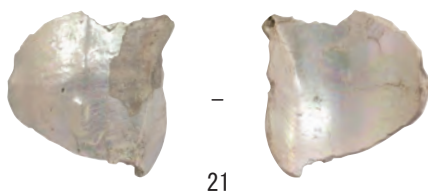
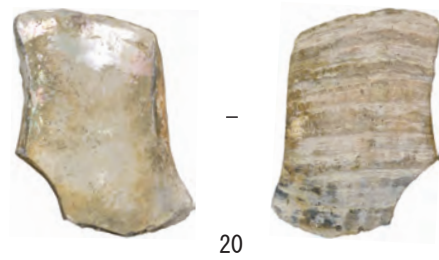
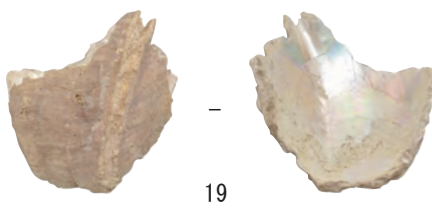
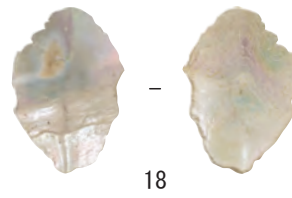
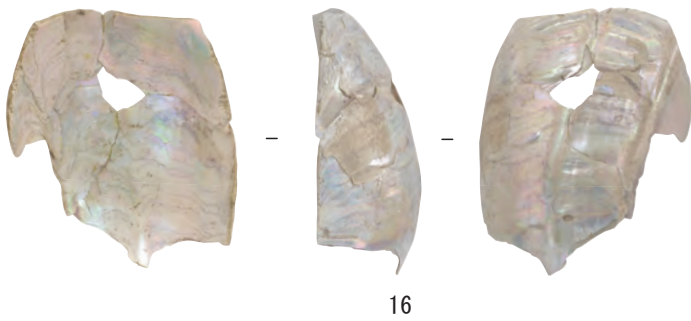
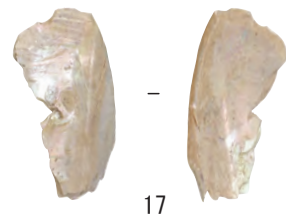
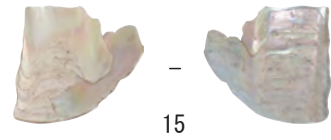
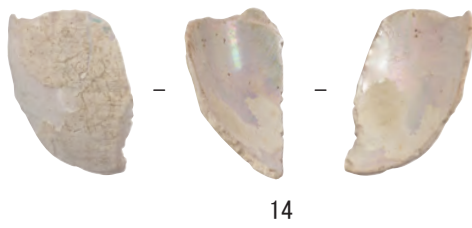
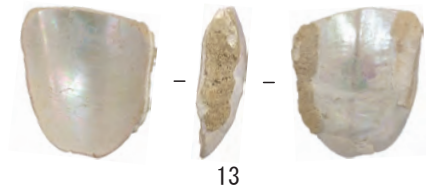
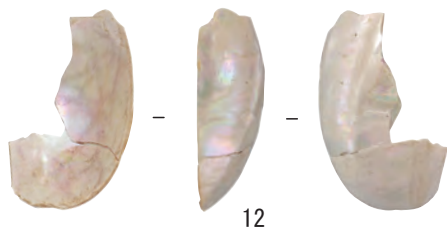


图版 34 貝製品 1

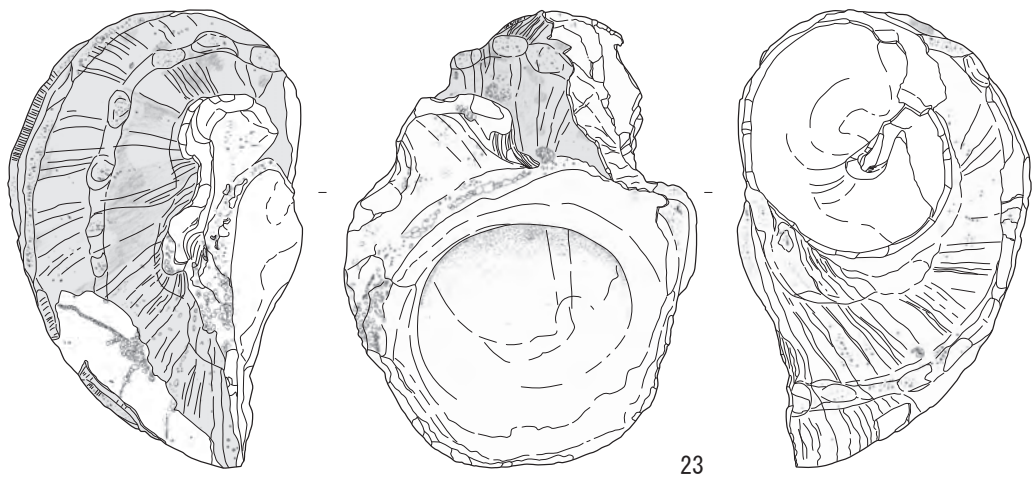




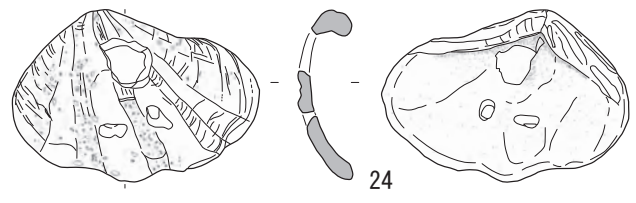
第90図 貝製品2



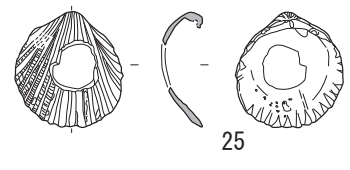
图版 35 貝製品 2



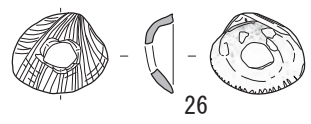
23



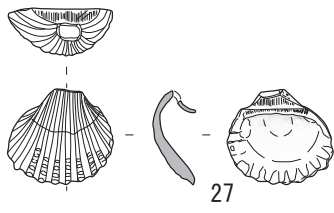
24



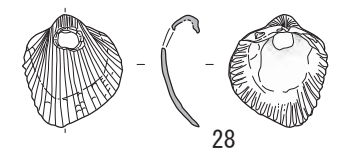
25



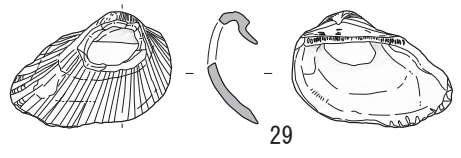
26



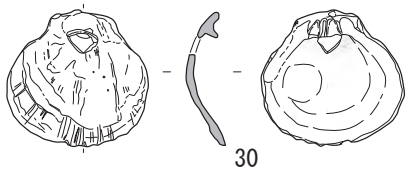
27



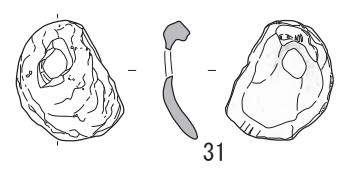
28



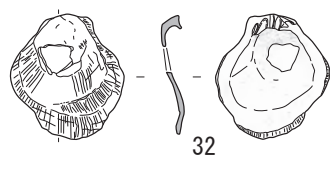
29



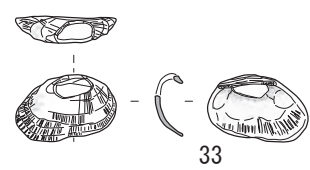
30



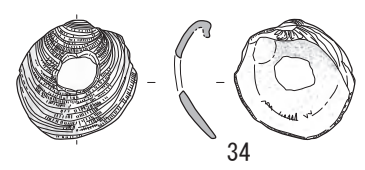
31



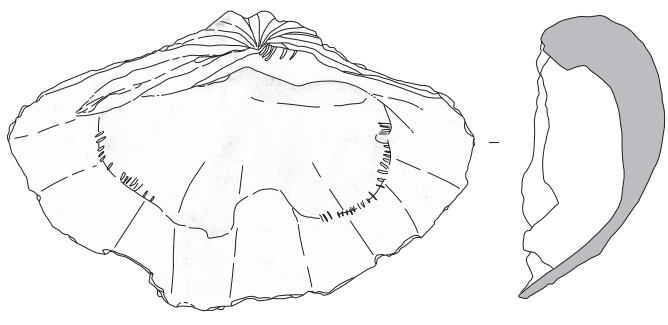
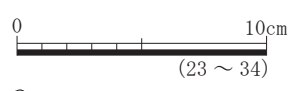
32



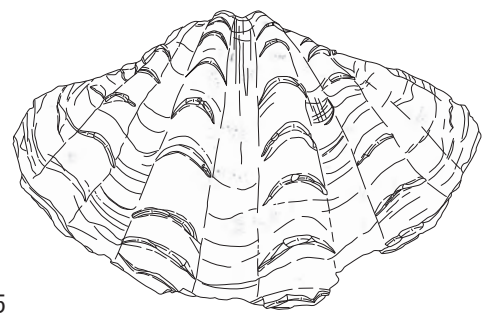
33



34

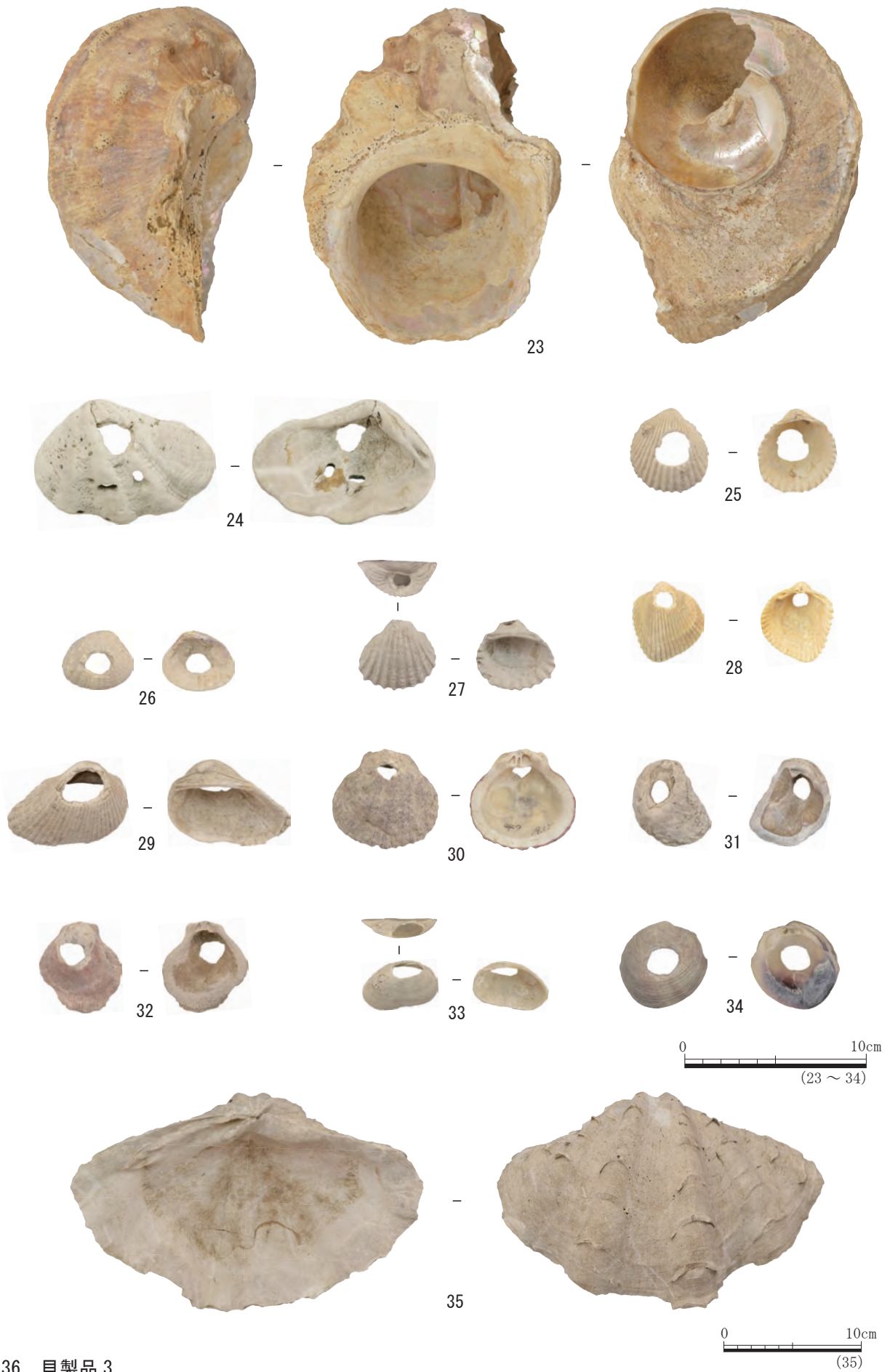


35

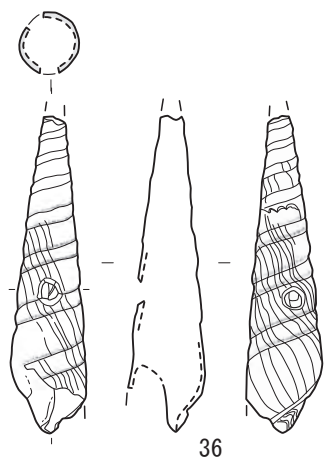


第91図 貝製品3

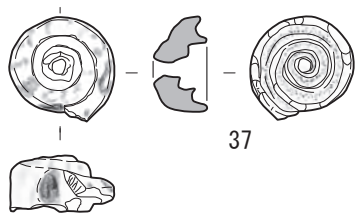




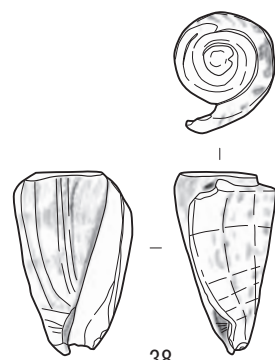
図版 36 貝製品 3



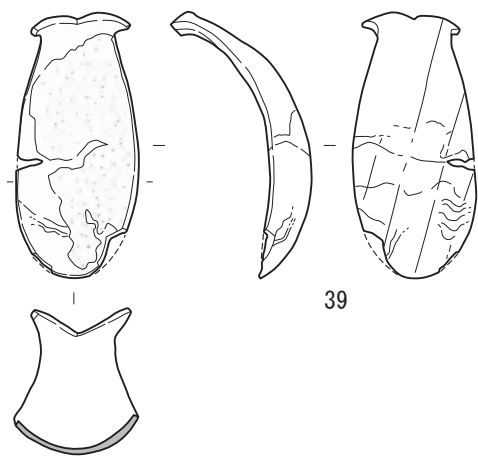
36



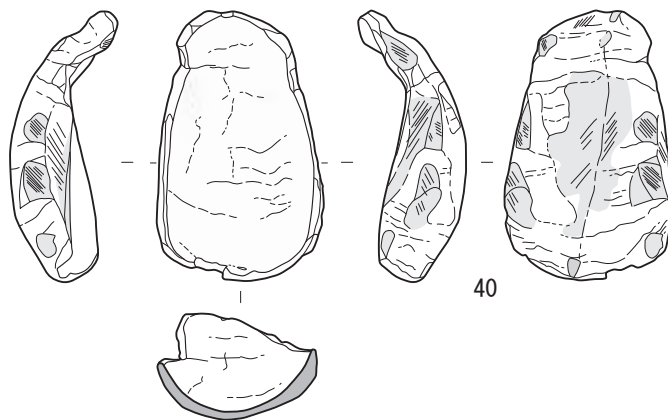
37



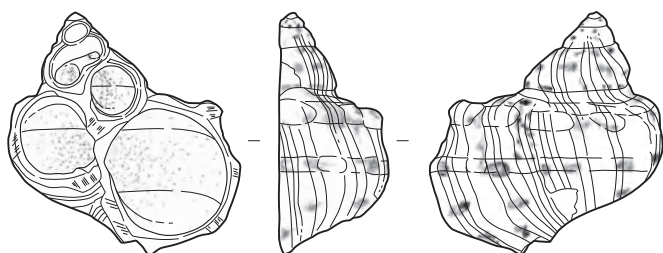
38



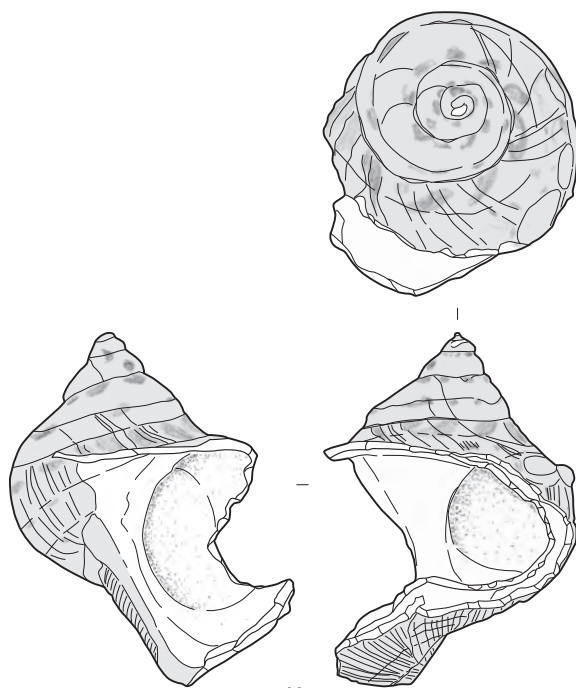
39



40



41



42

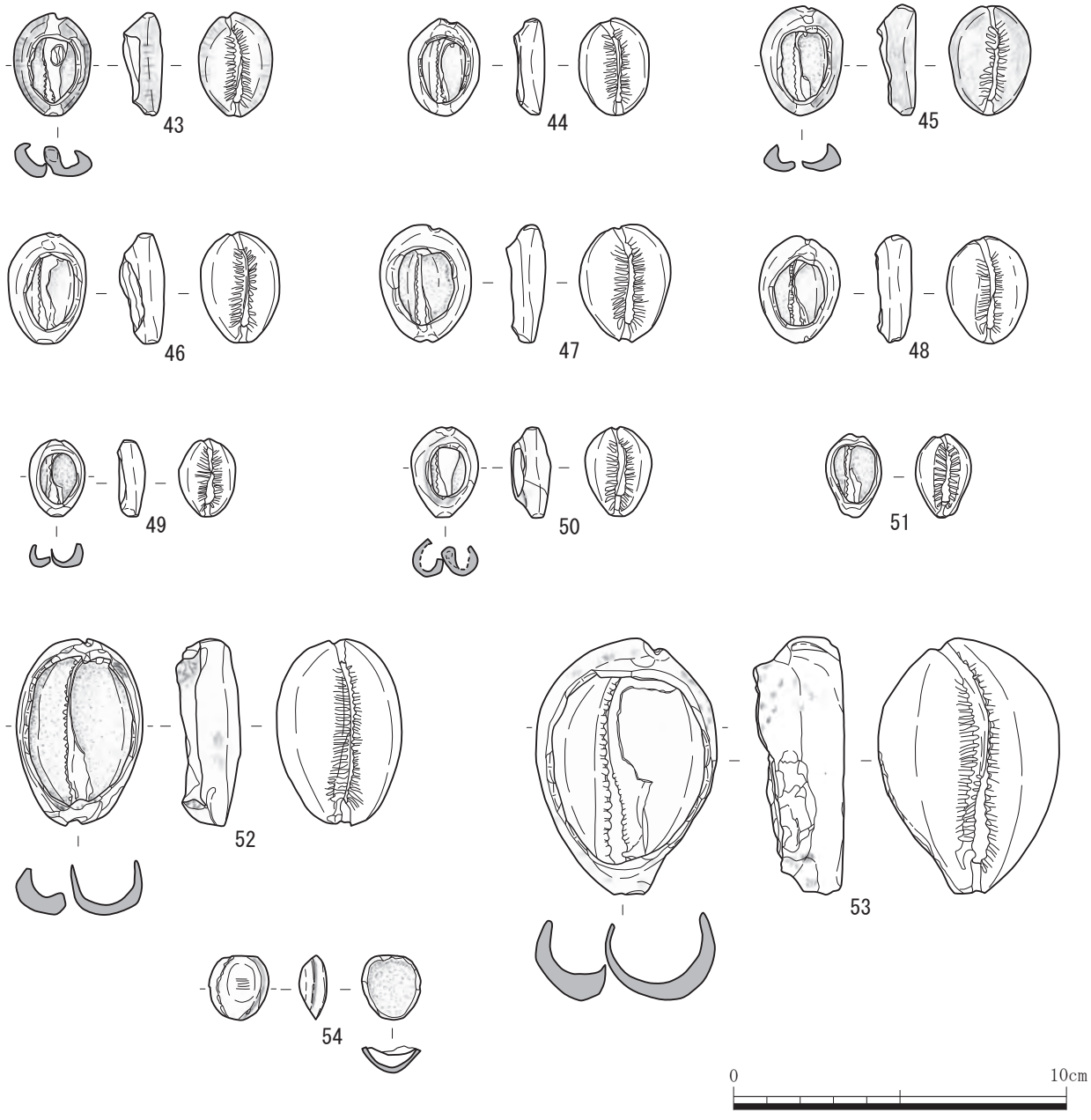


第92図 貝製品4

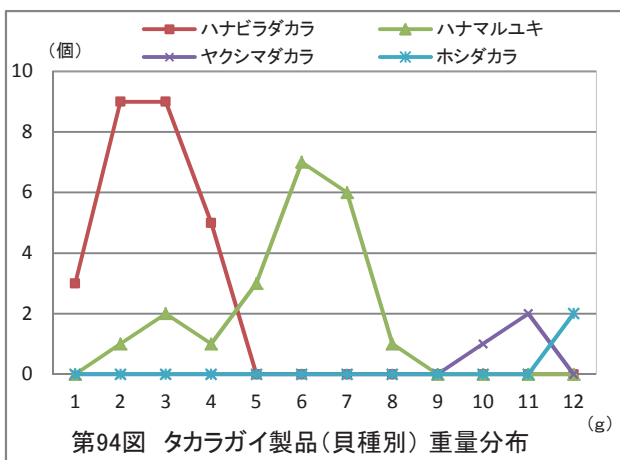


图版 37 貝製品 4

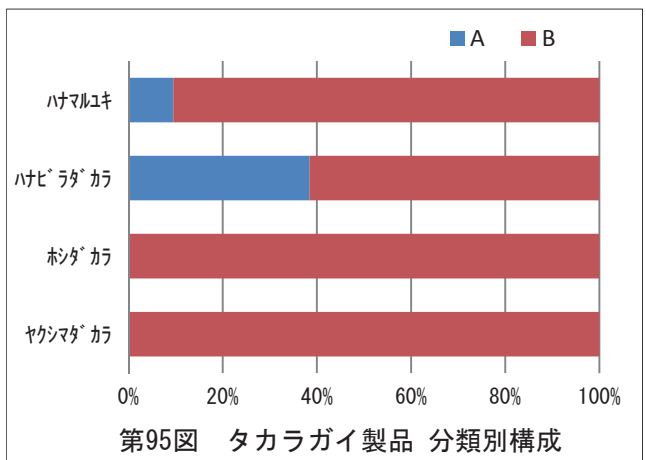




第93図 貝製品5



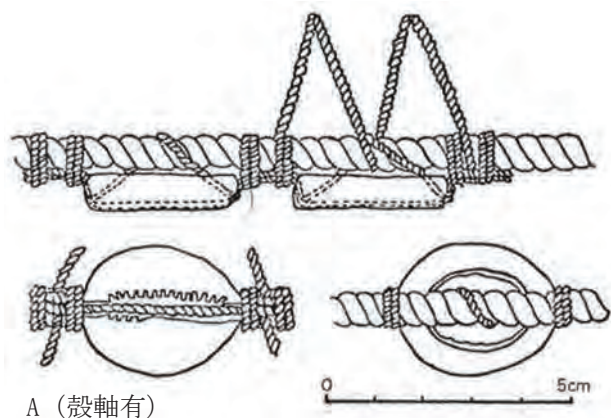
第94図 タカラガイ製品(貝種別)重量分布 (g)



第95図 タカラガイ製品 分類別構成



図版 38 貝製品 5



A (殻軸有)  
第 96 図 タカラガイ製錘装着例 (岸上・1972)



B (殻軸無) うるま市歴史民俗資料館  
図版 39 タカラガイ製錘 民俗例

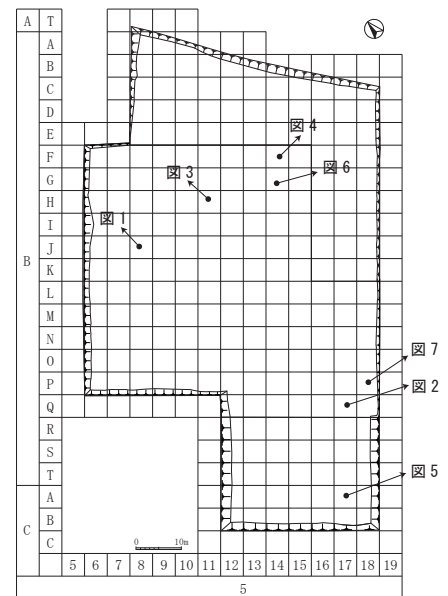
## (4) 土製品

土製品が7点得られた。陶磁器や瓦類を二次加工した円盤状製品と形状は類似するが、素材が土器であることから円盤状製品とは別に扱った。県内における土製品の出土状況を見ると、城跡や貝塚時代後期の遺跡から数点が出土する。

土製品は、土器と同じ粘土を利用した一次製品と、土器を転用した二次製品に大別できる。前者は図1の1点のみで、他は後者である。二次製品は全て貝塚時代後期の尖底系土器（大当原式土器など）やくびれ平底系土器（アカジャンガー式土器やフェンサ下層式土器）が使用されている。使用頻度は後者が若干多く、今回の土器の出土状況とほぼ一致する。使用部位は全て胴部で、平安山原A遺跡（2016）や伊礼原D遺跡（2013）のように底部を利用する二次製品は出土していない。形状をみると、一次製品は円形、二次製品には円形と方形が見られる。後者は円形が殆どで、方形は図2の1点のみである。層位的にはくびれ平底系の胴部を利用した資料はV層（砂層1・2）、尖底系のはⅢ層（包含層1・2）出土と、古い方が上層で出土していることから、グスク期において攪乱があったものと考えられる。詳細は第51表の観察一覧に示し、一次製品から順に記述する。

一次製品は図1の1点である。胎土は砂質で、石英を主体に角閃石や砂粒が含まれる。粘土塊を円形にしたものと想定され、外面の半分程は器色や器厚等から剥がれた可能性が考えられる。内面には溝状の凹みが見られるが、人工か自然か判然としない。J8 Ⅲb層出土である。

図2～7は二次製品で、貝塚時代後期の土器を転用したものである。図2の平面形は上下の幅が異なることからやや台形となる。器厚は0.5cmと均一で、側面が丁寧に研磨される。胎土からフェンサ下層式土器の胴部を利用したものと考えられる。図3・4は打割により楕円形を呈する。大きさ及び器厚、胎土等が異なるが、土器の型式の違いによるものと考えられる。前者は摩滅が著しいが、周縁を数回打割し、研磨は行われずに角が残る。後者は、打割調整後に研磨によって四隅の角の面取りが行われ、周縁は滑らかである。図5～7は現存形が半円であるが、割れ口等から本来は円形が想定される。図5は全体的に摩滅が著しいが、数回の打割を行っているものと考えられる。図6・7は円形を意識したのか、周縁に数回の打割が見られる。打割後の調整をみると、研磨等は行われず、周縁には角が残る。

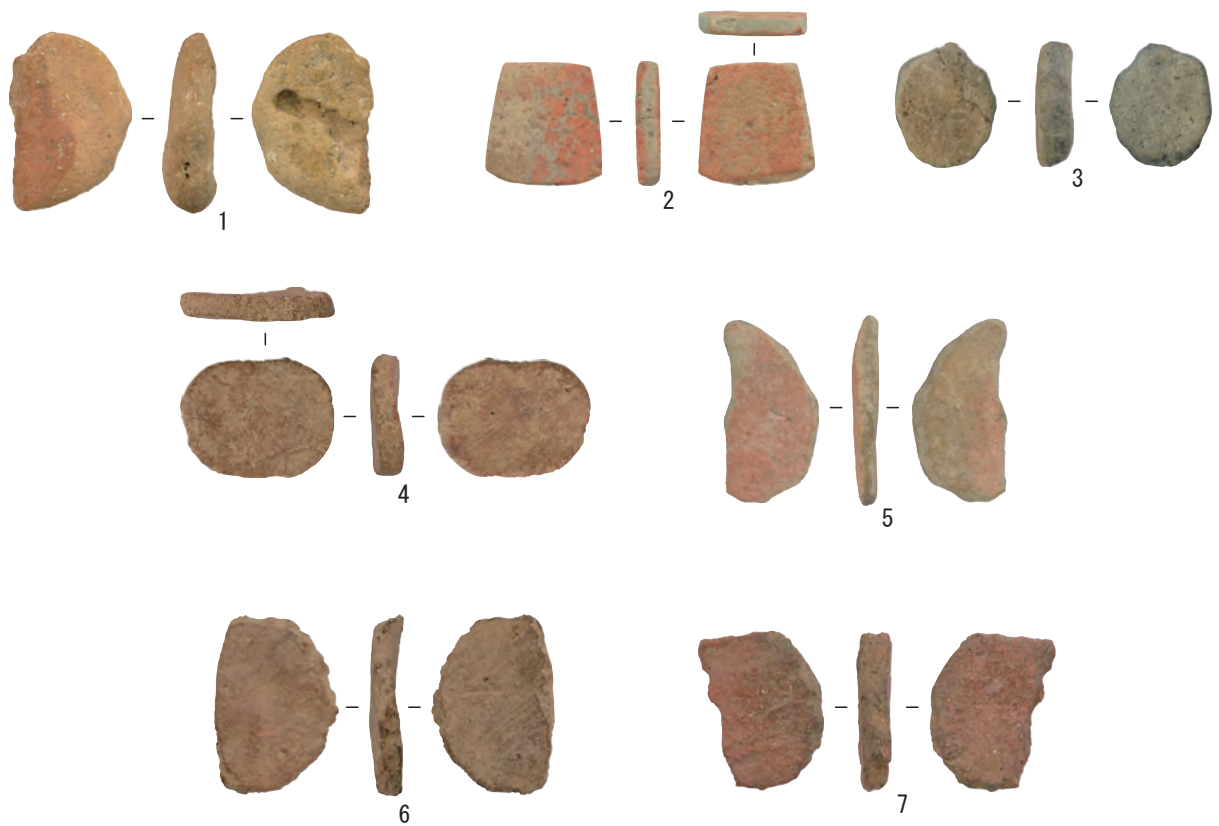
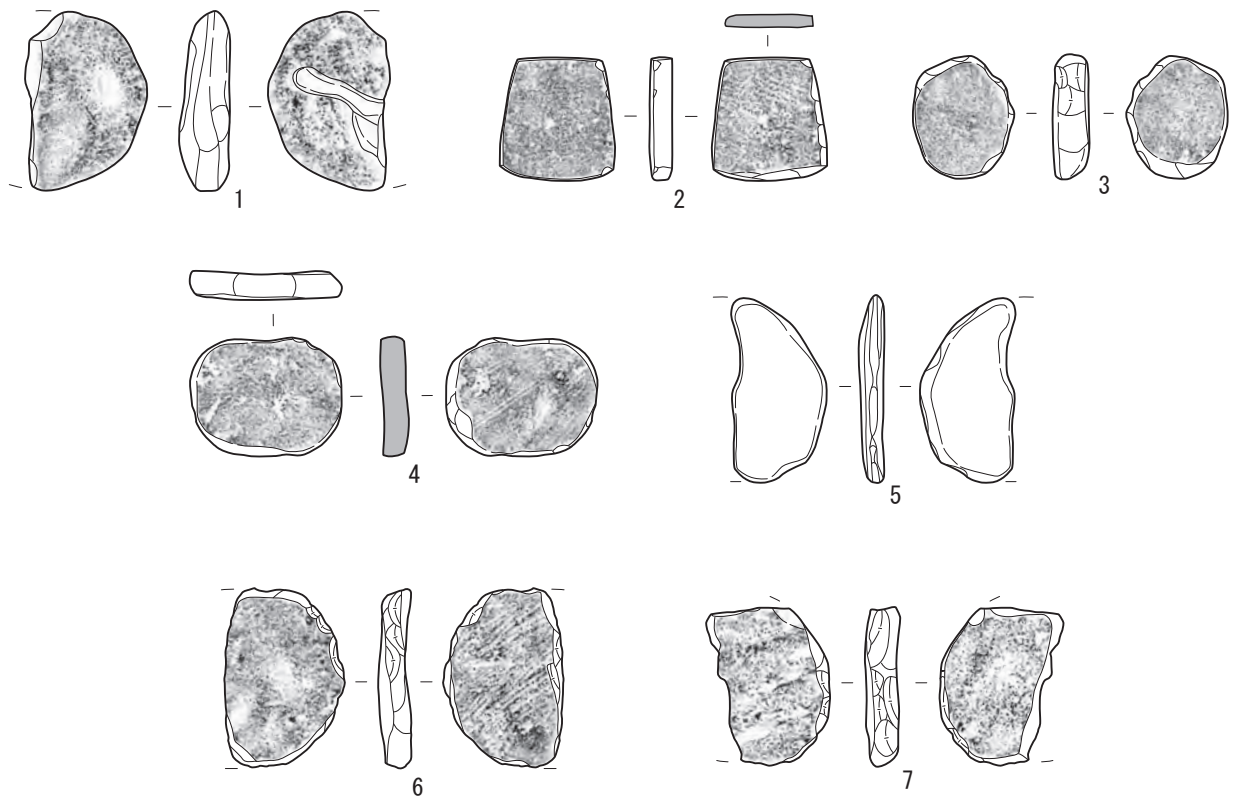


第97図 土製品 平面分布

第51表 土製品 観察一覧

第図 図版	図 番号	分類	素材	使用 部位	平面形	断面形	大きさ(現存) 縦×横(cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	胎土	観察事項	グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号
第98 図版 40	1	一次 製品	粘土使用	—	半円形(本来 は円形?)	円筒形	4.6×3.1	0.7~1.1	15.1	砂質	粘土には石英・角閃石・砂粒を混和、厚さ異なる(ハカレ?)、内面に幅5~7mm・長さ2.5cm・深さ2mm程の溝状の凹み有り(自然?)	J8 Ⅲb(包2) 台3883
	2	二次 製品	後期土器 (フェンサ下層)	胴部	方形(台形)	長方形	3.3×2.2(上) 3.0(下)	0.5	8.3	泥質	胴部を台形に加工(四側面を丁寧に研磨)	Q17 IV (1510SD) 台14621
	3		後期土器 (フェンサ下層)	胴部	楕円形	円筒形 (やや湾曲)	3.2×2.6	0.9	10.0	泥質	周縁は摩滅、数回打割(楕円形・研磨無し) 胴部を横方向に利用	H11 Vc (下砂) 台14698
	4		後期土器 (アカジャンガー)	胴部	楕円形	円筒形 (やや湾曲)	4.0×3.1	0.7	11.9	砂泥質	胴部を斜位方向に利用、楕円に粗割後、 角を面取り(研磨で周縁全体が滑らか)	F14 Ⅲa (包1) 台2202
	5		後期土器 (フェンサ下層)	胴部	半円形(本来 は円形?)	円筒形	4.9×2.5	0.5	7.5	泥質	全体的に摩滅が著しい。胴部の周縁を数 回打割?	A17 Vc (下砂) 台4919
	6		後期土器 (大当原?)	胴部	半円形(本来 は円形?)	円筒形	4.6×3.2	0.5~0.7	12.8	砂泥質	胴部を斜位方向に利用、周縁を数回打割 (研磨無し・角残る)	G14 Ⅲb (包2) 台2271
	7		後期土器 (型式不明)	胴部	半円形(本来 は円形?)	円筒形 (やや湾曲)	4.2×2.7	0.6	12.3	砂質	胴部の周縁を数回打割(研磨無し・角残る)	P18 Ⅲa (包1) 台2077





第98图・图版40 土製品

## (5) グスク・先島系土器

貝塚時代後期以降の土器をここにまとめた。第52・55表に示したように本遺跡ではグスク土器・先島土器とも出土量は少ない。しかし、先島土器はキャンプ桑江地区の中では平安山原A遺跡(2016)について多く、グスク期～近世の遺物としては一定量出土している。

### 1. グスク土器

出土総数は42点と少なく、これまでの調査をみると試掘(2008)では鍋形2点(第24図1・2)、壺形(同図3)の計3点得られ、油分無し地区(2013)では検出されてない。また、キャンプ桑江調査区の中で比較(第53表)しても少ない方である。平面分布(第102図)に同じ時期のカムイヤキや白磁玉縁口縁碗も含めて示した。これによるといずれも出土数は少なく、調査区全体に散見され、この時期の包含層は平面分布からも確認できない。層別の出土をみるとⅢ下遺構で9点、Vb層で8点、Ⅲa層6点の順で得られ、他の遺物同様、グスク期の攪乱により混ざり込んだものと思われる。

グスク土器はすべて破片であるが、口縁部は内湾・直口・外反、底部は丸底と平底に大きく分けられる。胎土によりA砂質、B砂泥質、C泥質に分類した。主なものを図示し、観察一覧(第54表)に示した。

**口縁部：**内湾口縁3点、直口口縁1点、外反口縁2点の計6点と少ない。以下、分類ごとに略述する。

**<内湾口縁>**図1は唯一完形土器で、口径15.8cm、高さ12.9cm、底部7.5cmと小ぶりである。内外面とも橙～茶褐色を呈し、粗めの砂粒を多量混入し、焼成は悪い。外面の1/4および内面の底部に煤が残ることから鍋として使用されたものであろう。本品は第5号土壌墓(第27図)の横臥位の顔を隠すように検出されたもので、その周辺から得られた土器と接合され、完形に近い。検出時の状況をみると大きな破片は顔を隠すように縦位に検出され、残りは頭骨取り上げ後に検出された。頭骨の下から検出されたものは顔面側から検出したものより器面の残りが悪い。グスク土器が人骨に伴って出土した例としては宜野湾市伊佐前原第一遺跡(2001)がある。同遺跡の土器は口縁のみで、口径22.2cmと本品より大きい。糸数城跡(1991)や銘苅原遺跡(2001)の口径と器高のあるものと比較しても小ぶりである(第99図)。なお、糸数城跡の図18と図75は碗とされているもので、鍋とされる中では本品は最も小さい。

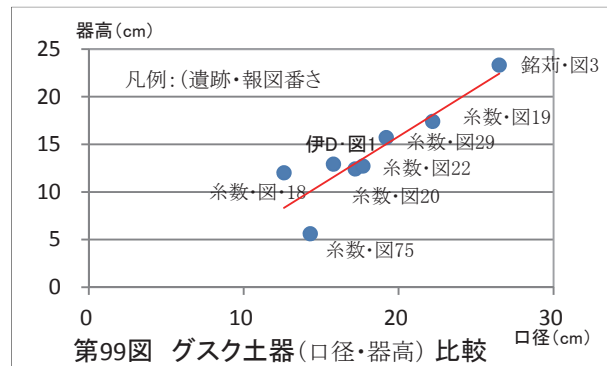
図2は口縁断面が舌状を呈するもので、砂質で黒褐色を呈する。小片ではあるが、鍋形に類

第52表 グスク土器 出土量

部位 口 層	口～底			口縁部				胴部			底部		合計
	内湾 胎土	内湾 砂	不明	直口 泥	外反 砂泥	泥	砂	砂泥	泥	砂	砂泥	泥	
I							3		1				4
II					1		1	2					4
Ⅲa							4	1		1			6
Ⅲb									1				1
Ⅲ下遺構		1					1	5	1		1		9
IV							1	1	3				5
Vb	1			1		1	2	1	2				8
Vc			1				1		1			1	4
不明							1						1
合計	1	1	1	1	1	1	14	10	9	1	1	1	42

第53表 キャンプ桑江地区グスク・先島系土器 出土一覧

遺跡	調査	グスク	先島	報告(巻・年)	
伊礼原遺跡(国指定外)		-	91	2014	第36集
伊礼原B遺跡	試掘	2	-	2008	第27集
伊礼原E遺跡	試掘	2	1	2008	第27集
伊礼原E遺跡		-	-	2010	第31集
伊礼原D遺跡	試掘	3	-	2008	第28集
伊礼原D遺跡	油分なし	-	38	2013	第35集
<b>伊礼原D遺跡</b>	<b>油分</b>	<b>42</b>	<b>44</b>	<b>2016</b>	<b>第41集</b>
平安山原B遺跡	試掘	2	2	2008	第29集
平安山原B遺跡		147	-	2015	第37集
平安山原A遺跡		865	117	2016	第38集
小堀原遺跡	試掘	-	-	2009	第30集
小堀原遺跡	油分無し	50	-	2012	第34集
後兼久原遺跡		19,515	-	2004	第21集
平安山原B遺跡		147	-	2016	第40集
平安山原C遺跡		180	-	2016	第40集



第99図 グスク土器(口径・器高)比較

するものと思われる。

＜直口口縁＞ 図3は口径19.4cmを測り、口縁部断面が方形をなす直口の口縁で、滑石模倣土器に口縁の形状は類似する。図4は前者よりは薄手である。口縁の作りは手づくねで、不定形である。

＜外反口縁＞ 図5は緩やかに外反するが、口縁部は指頭痕があり、泥質で貝塚時代後期の土器にも類似する。図6は「く」字状に屈曲するもので、屈曲部の幅が1.6cmを測り、後兼久原遺跡(2003)の第69図94と形状が類似する。土師器の影響を受けた器形と思われる。図7は胴部ではあるが、形状から外反すると思われる。胴径は20.8cmを測る。

底部：図8は丸底、図9～11は平底である。

＜丸底＞：図8は厚さ0.6cmと薄手でボール状をなす。器厚は均一で図1に作りが類似するが、本品の方が丁寧である。

＜平底＞：図9は底部で底厚0.8cm、胴部にややくびれながら薄くなり、器厚は0.6cmを測る。立ち上がりは角をなし、内面にハケの痕が残る。図10は胴部と底部の境が厚く底部は角を呈し、開き気味。底厚0.6cmと前者に比べて薄い。図11はやや大きめの底部で、立ち上がり部は丸味を帯びる。底部と胴部はほぼ同じ厚さで0.8cmを測る。外面は縦位にハケ目痕が見られ、胎土に0.6cmの円礫混入が含まれ、粘土の精練は低い。

胴部：33点出土した。砂質14点、砂泥質10点、泥質9点の出土である。口縁部、底部を含めた胎土別の出土割合は砂質40.5%、砂泥質と泥質はともに28.6%、不明2.4%で、総じて砂質が多いようである。破片の大きい図12と図13を示した。前者が砂質で後者が泥質を呈する。

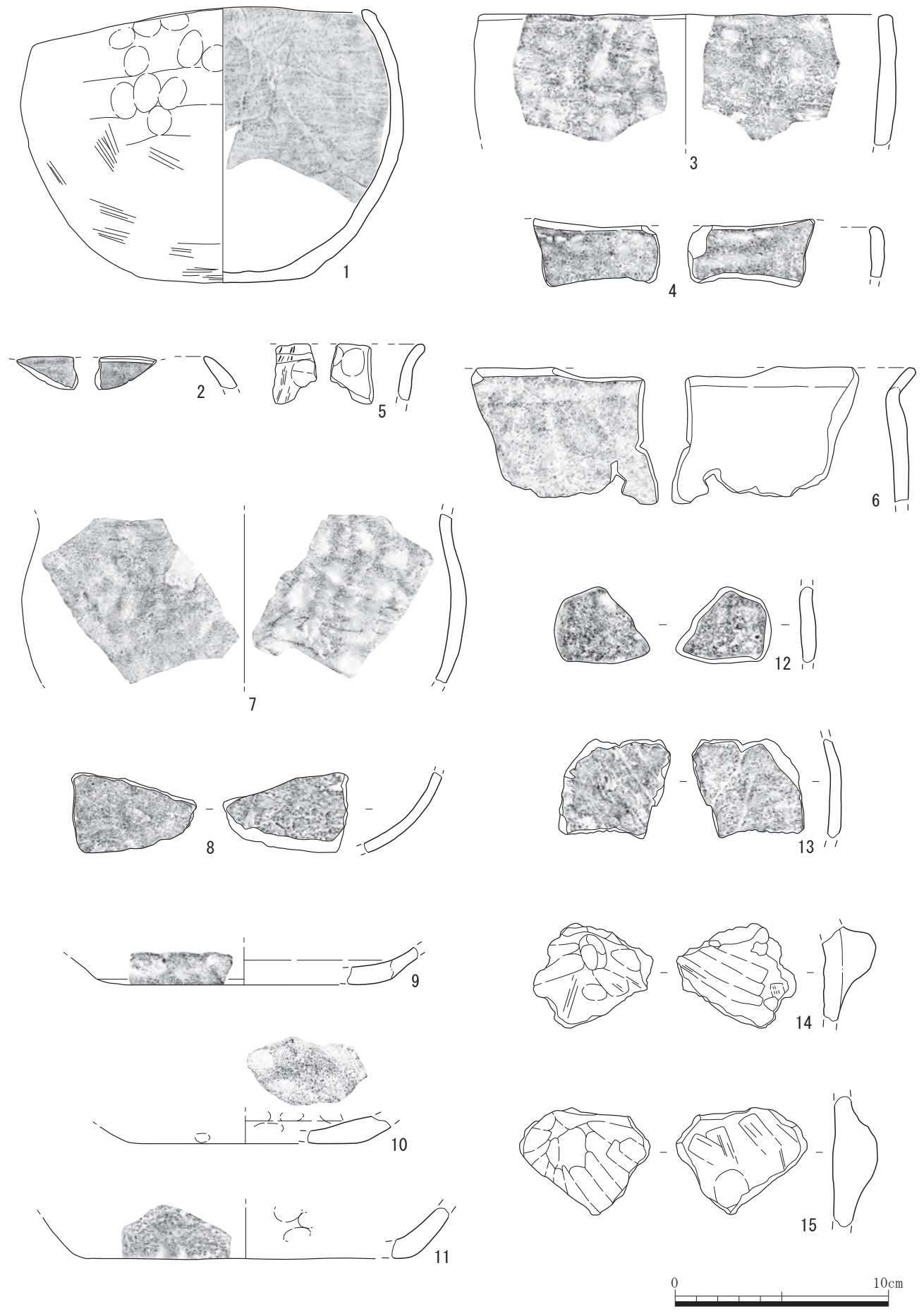
＜瘤状突起＞図14と図15は瘤状の突起で、いずれもへら状の工具で下から上に持ち上げるような形状をなす。後者の方が突起は緩やかである。図14は砂泥質、図15は砂質を呈する。後兼久原遺跡(2003)、平安山原A遺跡(2016)では横耳のタイプは出土しているが、瘤状突起は初めての出土である。

第54表 グスク土器 観察一覧

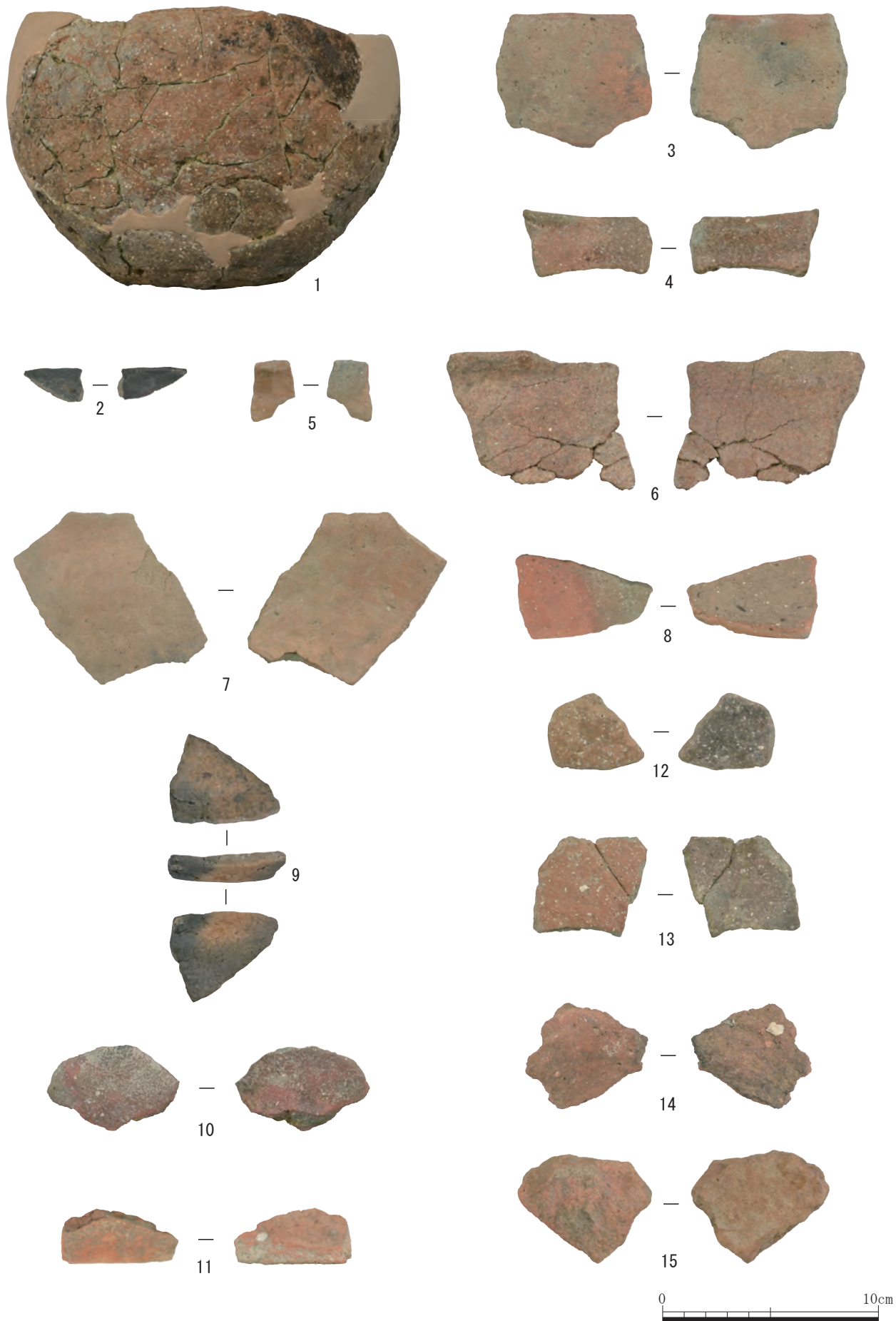
第図 図版	図番 号	部位	分類	形態 形状・器厚・底厚	法量(cm)			胎土	混和材					器色 外面・内面	器面調整 外面・内面	焼成	グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号	
					口径	器高	底径		粒度 含量	白粒	石英	赤	砂粒					他
第100 図・ 図版 41	1	内湾		口断:丸。器厚0.5cm。底厚0.4cm。	15.8	12.9	7.5	砂	中・粗 ◎	○			○	外:橙・茶褐色 内:橙褐色	外:指頭痕	良	A15 Vb(4700SG) 台5184	
	2	内湾		口断:舌状。器厚0.7cm。	-	-	-	砂	細 ○				○	内外:黒褐色	内外:へら	良	I10 III下(3744P) 台3723	
	3	直口	口	口断:角。器厚0.8cm。底厚0.8cm。	19.4	-	-	砂泥	細 △				△	内外:赤～明茶褐色	内外:ユビナデ	良	M9 Vb(砂) 台3209(取上127)	
	4	直口		口断:角。器厚0.5cm。口唇は部分的に厚い、耳?全体的に摩耗。	-	-	-	摩耗で不明	中・粗 ○				○	内外:明茶褐色	外:ナデ 内:へらナデ	良	S14 Vc(下砂) 台4948	
	5	外反		口断:丸と角。器厚0.5cm。	-	-	-	泥	細 △	△		△		外:橙褐色 内:灰～明橙	外:へらナデ 内:ユビ	やや良	K10 Vb(包砂) 台4373	
	6	外反		「く」字状。土師?口断:丸。器厚0.6cm。	-	-	-	砂泥	中 ○		△	○	△	石△ 内外:暗茶褐色	内外:ユビ?	良	T18 II(4525SZ) 台4872	
	7	外反	胴	器厚0.6cm。	-	-	-	砂泥	細 △		△	△	△	内外:暗橙褐色	外:丁・ユビ 内:へらナデ、指頭痕	良 堅微	I9 Vb(包砂) 台3963(取上189)	
	8	-		丸底。器厚0.6cm。底厚0.6cm	-	-	13.7	泥	中・粗 ○	○				黒△ 内外:暗灰～橙褐色	外:ナデ 内:ユビナデ	良	Q17 IV(1510SD) 台4015	
	9	-		平底。底面厚く丸味。器厚0.6cm。底厚0.8cm。	-	-	-	泥	細 ○	△		◎		内外:暗茶褐色	磨耗不明	良	G13 Vc(下砂) 台4239(取上206)	
	10	-	底	平底。底厚0.6cm。	-	-	-	砂	細・粗 ◎				◎	○	内外:明赤褐色 中:灰褐色褐色	外:へらナデ 内:指+へらナデ	やや良	O・P 9・10 IIIa(包1) 台2222
	11	-		平底(直)。器厚0.7cm。底厚0.8cm。	-	-	-	やや砂	細・粗 △	△	△	△	△	外:明橙褐色 内:橙褐色	外:縦にハケ目 内:ユビ	良	N9 III下(2952SK) 台3238	
	12	-		胴部。器厚0.7cm	-	-	-	砂		○貝				外:明橙褐色 内:明灰褐色	内外:磨耗不明	良	H12 Vb(砂1) 台14648	
	13	-	胴	胴部。器厚0.6cm	-	-	-	泥		○貝				黒△ 外:橙褐色 内:暗黄褐色	内外:ナデ	良	A17 III下(4517SK) 台4423	
	14	-		瘤状突起 胴部。上部押上げタイプ。器厚0.9cm。瘤厚:2.1cm。	-	-	-	砂泥	細 ○				△	外:橙褐色 内:明茶褐色	外:へらナデ 内:ユビ	良	F12・13 II(0586SZ) 台976	
	15	-		瘤状突起 胴部。やや饅頭タイプ。器厚1.1cm。瘤厚:2.1cm。	-	-	-	砂	粗 △		△	△		外:橙褐色 内:明茶褐色	外:へら削り 内:ナデ	良	F14 Vb(包1) 台744	

◎:非常に多い ○:多い △:少ない △:僅少

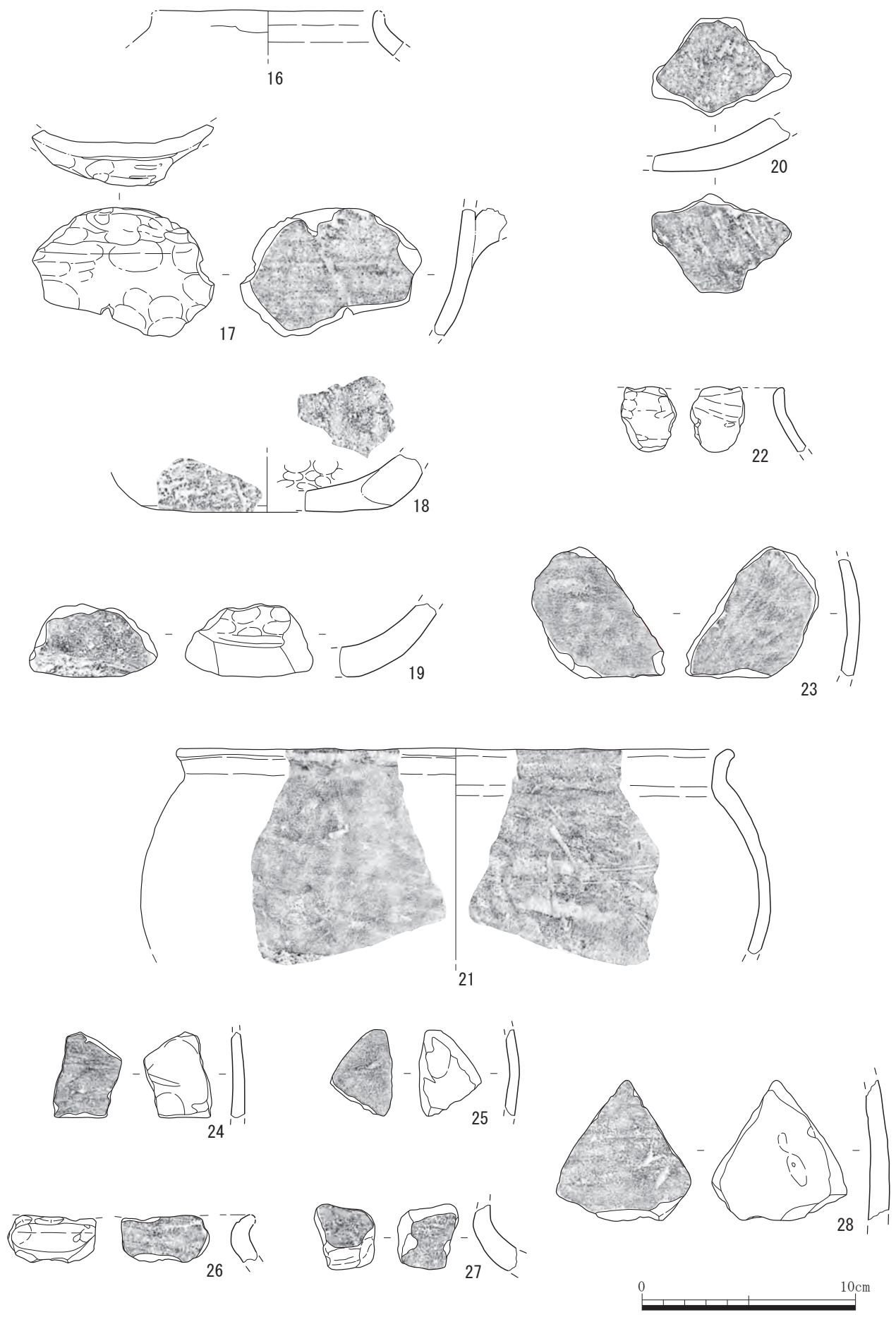




第100図 グスク土器



図版 41 グスク土器



第101図 先島系土器





図版 42 先島系土器

## 2. 先島系土器

先島系土器は胎土が八重山系土器に類似するもの (A)、宮古式土器に類似するもの (B) に大きく分けられる。前者が23点、後者が21点の計44点の出土である。平面分布をみると出土量も少ないが、T17の7点を中心に流路を隔てた海岸側に多いようである。AとBの分布の差は認められない。

**先島A:** 胴部22点、底部1点の計23点の出土である。そのうち5点を図示した。図16は口唇部が欠けるが、口径11.0cmを測り、形状から壺と思われる。0008SF(ビーチロック道)の出土である、図17は胴部の傾きから鉢と考えられるが、口縁の形状ははっきりしない。残存部の形から、横耳の可能性が高い。図18～20は底部あるいは底部付近である。

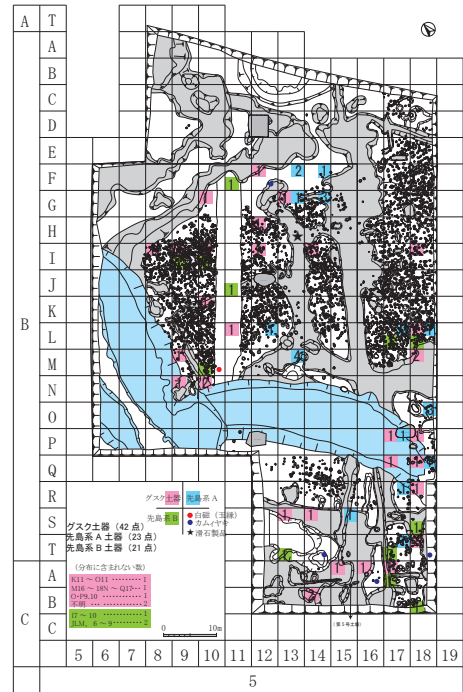
図18は底径12.0cmを測る。底面からの立ち上がり部分で積み痕が確認できる。器面調整をみると内面は細かく、外面は粗い。図19と図20も前者と同様の器面調整を呈するが、図20は混和材が0.1～0.5cmの不揃いの白色粒が目立つ。

**先島B:** 細かい白色粒とやや粗い赤色粒を多量に含むもので、宮古式土器の範疇に含まれるものと思われる。口縁部4点、胴部17点の計21点の出土である。器厚が薄い(0.5～0.7cm)タイプと厚い(0.8～1.0cm)タイプに分けられる。**<薄手>** 図21～25で、図21は唯一の復元可能土器である。口径26.2cm。胴径29.2cmを測る。外面は黒色を呈し、ヘラ磨きにより光沢を呈する。図22は口縁で内傾する。図22～図25も図21と同様な胎土を示す。

**<厚手>** 図26～28は厚手である。図26は外反の強い口縁で、図16と同様に口唇は薄く、灰褐色を呈する。図27は口縁部が破損し、口唇の形態は不明であるが、前者に類似するが、器色は赤褐色を呈し異なる。図28は破片が大きい形状は不明である。

第55表 先島系土器 出土量

分類 層	先島A		先島B		合計
	胴部	底部	口縁部	胴部	
I				2	2
II			1		1
IIIa	11			1	12
IIIb	2	1			3
III下遺構	5		3	12	20
IV	1			2	3
Vb	2				2
Vc	1				1
合計	22	1	4	17	44



第102図 グスク・先島系土器・カムイヤキ・白磁玉縁口縁碗 平面分布

第56表 先島系土器 観察一覧

第図 図版	図番 号	分類 部位	形態 形状・器厚・底厚	法量(cm)		胎土	混和材				器色 内外(色)	器面調整 器調(内外)	焼成	グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号
				口径	底径		白粒	石英	赤	砂粒				
第101 図版 42	16	先島系A	口 口唇欠。器厚0.8cm	11.0	—	砂泥	粗 ○	○	○		内外:暗赤褐色 内:暗灰褐色	内:ユビナデ	良	F11 III下(0008SF) 台57
	17		胴 外耳幅6.7cm。器厚0.8cm。	—	—	砂	中・粗 ○	○	△		内外:暗黄褐色	外:ナデ 内:トユビ	良	S15 Vc(下砂) 台4950
	18		底 平底。器厚1.6cm。底厚1.4cm。	—	12.0	砂泥	粗 ○	○			外:暗茶褐色 内:茶褐色?	外:ユビ・削 内:ユビ	良	G14 Vb(包2)台2271
	19		底 丸底。器厚1.0cm	—	—	砂	粗 ◎	○			外:黒灰褐色 内:茶褐色	外:ユビ・ハケ横 内:ユビ	良	G14 Vb(包2)台2271
	20		底 平底、丸味。器厚1.2cm。底厚0.8cm。	—	—	砂泥	粗 ○	○	○		内外:橙褐色褐色	外:削りヨコ 内:ユビ	良	JLM、6～9 IV 台2251
	21	先島系B	口 外反、立頸。口:丸。器厚0.5cm。	26.2	—	砂	細・粗 ◎	◎	△		外:暗灰褐色 内:明茶褐色	外:丁・ユビ+ヘラミカキ 内:ユビ	良	I10 III下(4285SK) 台3809
	22		口 外反。口断:丸。器厚0.5cm。	—	—	砂	細・粗 ◎	◎	△		外:暗灰褐色 内:明灰褐色	外:ヘラナデ 内:ユビ	良	T13 III下(4681SX) 台14723
	23		胴 器厚0.6cm。	—	—	砂	細・粗 ◎	◎	△		外:暗灰褐色 内:明茶褐色	外:丁・ユビ、ミカキ 内:ユビ	良	I9 III下(3746P) 台3774
	24		胴 器厚0.5cm	—	—	砂	細・粗 ◎	◎	△		外:暗灰褐色 内:明茶褐色	外:丁・ユビ、ミカキ 内:ユビ	良	L17 III下(1409P) 台2593
	25		胴 器厚0.5cm	—	—	砂	細・粗 ◎	◎	△		外:暗灰褐色 内:明茶褐色	外:丁・ユビ、ミカキ 内:ユビ	良	M10 III下(3058SK) 台3230
	26		口 外反(強)。口唇破損。器厚0.8cm。	26.8	—	砂	細・粗 ◎	◎	△		外:明灰褐色 内:橙褐色	外:ナデ 内:ヘラナデ	良	L18 III下(1456SK) 台2406
	27		頸 外反(強)。厚手1.1cm	—	—	砂	細・粗 ◎	◎	△		内外:暗赤褐色	外:ナデ 内:ヘラナデ	良	T17 III下(4581P) 台4475
28	胴 底部近く器厚0.7～0.9cm		—	—	砂	細・粗 ◎	◎	△		内外:暗赤褐色	外:ヘラナデ 内:雑ユビ	良◎	T17 III下(4581P) 台4475	

◎:非常に多い ○:多い △:少ない ◻:僅少

## (6) カムイヤキ

カムイヤキは徳之島伊仙町に在すカムイヤキ古窯跡群において出土した陶質土器を標識するもので、総数4点が得られた。口縁部1点、胴部が3点である(第57表)。確認できる器種は総て壺である。器色が灰色で素地に細かい白色細粒を混入し、小型の薄手なもの図1～3と、器色が橙色で素地に雲母細粒や白色細粒が混入した厚手なもの図4とがある。いずれも焼成は良好である。1は小型で口縁形態は新里分類のI式a・II式aに属すると考えられ、生産年代は概ね11～12cと考えられる。2は外面に細かい平行叩文があり、内面は轆轤のへら削りがみられる。3は外面に格子状圧痕がみられる。4は器色が橙色を呈し、外面に条痕の平行叩き痕をそれぞれ有し、内面はどちらも圧痕とへら削り痕が認められる。これらの層位別の出土はVc層2点、III層下遺構が1点、IIIa層が1点である。平面的な出土分布をみると2はグスク時代の埋葬遺構4700SG(第5号土墳墓)と隣接する位置にあり供献の可能性もある。(第102図)

第57表 カムイヤキ 観察一覧

第図 図版	図 番号	器種	大きさ	部位	口径 (cm)	器厚 (mm)	器形観察事項	素地:色・混入	器表	器裏	グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号
第103 図・ 図版 43	1	壺	小	口	9.4	5	口縁部を外側上方にラップ状に開きながら引き上げる。更に圏線状のへら削りが口縁の上面と外面の下端部を横方向と下方から上に押し上げるようであるが、結果隆起文状に突起している。また口縁上面に羽状(網状)の圧痕がみられる。	灰色、白色細粒混入	ロクロ・叩	ナデ	T18 Vc(下砂) 台4922
	2	壺	中	胴	—	5	外面格子状叩き痕	灰色、白色細粒混入	ロクロ・叩	ロクロ	A16 Vc(下砂) 台4941
	3	壺	中	胴	—	5	外面格子状叩き痕、内面は不明圧痕とへら削り痕	灰色、白色細粒混入	ロクロ・叩	ロクロ・叩	T14 III下(4681SX) 台14722
	4	壺	中	胴	—	6～10	外面に条痕平行叩き痕、内面不明圧痕とへら削り痕	橙色で雲母細粒・白色細粒	ロクロ	ロクロ	F12 IIIa(包1) 台92



第103図・図版43 カムイヤキ



## (7) 白磁

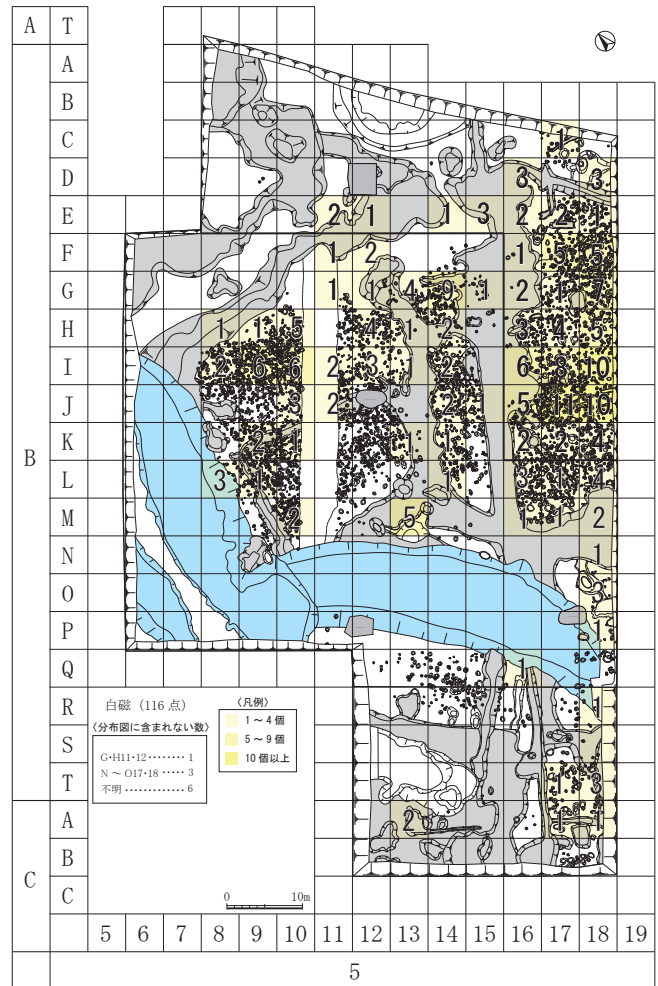
総数 116 点、器種は碗、小碗、皿、杯、瓶、蓋が得られ、碗は出土量において他を凌駕することが多いが、今回碗は皿に次ぐ出土であった。

生産地は中国の景德鎮窯系と福建・広東系があり、生産年代は明時代を中心に 12c の元時代から 17c 初の明時代末までみられた。出土量は皿下遺構に多く出土し、平面分布では西側に集中する傾向にある。また K13・1928P、K14・1918P より被熱の白磁片が検出され、1928P は 15～16c、1918P が 16c ものであることから、16c に火事などの被災があったことが窺える。報告にあたり遺物の分類は、基本的に太宰府分類（森田勉・横田健次郎 1978）、森田（1982）に準拠するが、出土が少量で系統的な分類が行えなかった。器種、形態、文様、釉色と範囲、素地質と混入物により分類した。主なものを第 105・106 図、図版 44・45 に、観察一覧を第 59 表に示した。

**碗**：47 点のうち、16c 代の景德鎮窯系の薄手の碗が 7 点得られ、残りはほぼ福建・広東系である。生産年代は 12c～14c の元時代から 15c～16c の明時代にまたがる。以下生産地別に記述する。

### 福建・広東系

玉縁口縁：図 1 は玉縁口縁を持ち胴部は内湾気味に立つ形態を持ち、外面に轆轤痕を多く残す。玉縁の肥厚部が破損していることか



第 104 図 白磁 平面分布

第 58 表 白磁 出土量

器種 時代 産地 層	碗										小碗	皿										杯	瓶	蓋	合計
	元・明初		明代						不明		明代	明代						不明		明代	明代	明代			
	福建・広東系		景德鎮窯系			福建・広東系			不明		福建・広東系	景德鎮窯系			福建・広東系			景德鎮窯 or 徳化窯	景德鎮窯系	景德鎮窯系	福建系	福建・広東系			
	底	口	胴	底	口	胴	底	口	口	胴	口～底	口	胴	底	口～底	口	胴	底	口	胴	底	甲			
I							1																	3	
II							1																	1	
III																		1						1	
IIIa		1	3	1	4	6			1	1	1	4	2	1	5	2	2		1					35	
IIIb	1						2	1	1					1	1	5		3		1				16	
皿下遺構				1	5	10	3	1		1	1	1	1	4	1	12	4	2	1	2	1		1	53	
IV																		1						1	
Vb				1														1						2	
不明					2	1														1				4	
合計	1	1	4	2	11	20	5	2	1	2	2	6	1	7	3	24	6	9	1	3	2	1	1	116	
器種別計	47									2	62									3	1	1	116		

ら口縁の形態の詳細が不明である。今回1点のみの出土であった。生産年代は12c～14cに位置付けられる。

直口口縁（無文）：図2は口縁が外に開き、口唇は三角状に肥厚させ、上面を水平に切っている。生産年代は明代に位置付けられる。

外反口縁：図3、4は外反口縁の碗で、胴部は直線的な逆「八」の字状に外に開く。3は口縁の外反が弱く、口唇の内側をへら削りし平坦面を持つ、口唇は先端の尖った舌状を成す。4は口縁の上位で外反した端反である。口唇は舌状を成す。生産年代は明代に位置付けられる。

直口口縁（有文）：図6、7は内湾気味の口縁が直口する碗である。6は口縁が直口し小形で浅い、口唇は四角い。外面に線彫蓮弁文を施文している。弁先は弧状で独立している。内面は無文。7は直口内湾気味に立つ口縁で僅かに内に寄る。外面に幅広の圏線と楡描の波状雷文帯を描く。生産年代は6が15～16c、7は16cに位置付けられる。

図5は福建・広東系の底部で高台径（4.4cm）は比較的小さく高台の削りも浅い。高台からの立ち上がりは丸味を持ち、外面は轆轤痕が顕著である。生産年代は明時代に位置付けられる。

### 景德鎮窯系

図8は腰部から逆「八」の字状に開く底部で、高台は断面形態が三角状に削り出している。景德鎮窯系の薄手のものである。

小碗は明時代の景德鎮系、胴部片が2点得られたが作図していない。

皿：総数62点である。福建・広東系と景德鎮窯系があり、福建・広東系は皿全体の67%を占める。生産年代は14～15cから17cの明時代が95%で残りは年代不明の小片のみである。

### 福建・広東系

直口口縁：図9～12は小型の皿である。図13～20は身部の深い皿である。9～13は胴部に丸味を持ち逆「八」の字状に外に開くものが比較的多く、口縁は直口になる。9は口唇の先端が平坦になる四角状。器壁が厚く、高台は低めで外削りの断面形態は台形状である。10は器壁が厚く、口唇は丸い。口唇に煤が付着し、灯明皿と考えられる。いずれも生産年代は14～15cに位置付けられる。11やや内湾気味の直口で口唇は尖っている。生産年代は明代。12は、高台が低い切り高台である。13、14は口唇の上面が平坦になり胎土は内側にはみ出し、14は内湾気味に立つ。16、17は腰部から緩やかに立ち口縁は一旦内に寄り、僅かに反る。口唇部は先端で膨らむ舌状を成す。

図16、20～22は低めの幅の広い高台を持ち、断面形態は台形状、15は内底面を露胎させ円に「堂」字の印花文を施している。生産年代は15cに位置付けられる。16と20は内底を蛇の目状に釉剥ぎし、高台は幅広のやや薄型で畳付けの外側から斜めに削り出す。断面形態が台形状になり、外面は轆轤痕が顕著である。図18、19は口唇が撥形に肥厚する直口で、胴部は逆「八」の字状に外に開き立つ。外面は轆轤痕が認められるが、図18は特に顕著である。図13～22の生産年代は15～16cに位置付けられる。

図23～25は低く幅の小さい高台を持ち、いずれも外削りで断面形態は三角に近い台形状、高台内は兜巾状に削られ中心が尖る。25は重ね焼きの溶着痕を認め、畳付けに目砂が付着している。生産年代は24が16c、23、25は明代である。

外反口縁：図32は薄手の小皿で、胴部にやや丸味を持ち口縁は外反、内面に稜線を残す。

稜花口縁：図33は口縁が口折れに近い形状の外反で口唇に抉りを入れた薄手の稜花皿である。口胴部は直線的な立ち上がりである。生産年代は33が16c、32が16c後半から17c初めに位置付けられる。

## 景德鎮窯系

外反口縁：図 26～31 は景德鎮窯系の薄手で、形態は腰に緩やかな丸味を持ち、口縁に向かい広がり立ち上がる。口縁は外反し、口唇は丸い。胎土は密で、黒色細粒が僅かに混入している。

26、27、31 は高台の断面形態が三角状。26 は畳付けに目砂を多く認める。29 はやや身の深いものである。生産地は景德鎮窯、生産年代は 16c に位置付けられる

**杯**：総数 3 点が得られた。図 34 は逆「八」の字状に外に直線的に伸び先端で反る。端反杯である。口唇は丸い。生産地は景德鎮窯、生産年代は 16c 後半に位置付けられる。

**瓶**：総数 1 点が得られた。図 35 は平底から逆「八」の字状に外に開き立ち上がる。内面に轆轤痕が顕著である。生産地は福建系で生産年代は明代ある。

**蓋**：1 点が得られ、壺の蓋と考えられる。図 36 は甲部、上面観が円形状の蓋で側面観は台形状をなし内面に筒状の突起を有する。突起の内面はドーム状である。突起の先端の断面形態は四角状である。生産地は福建系で生産年代は明代ある。

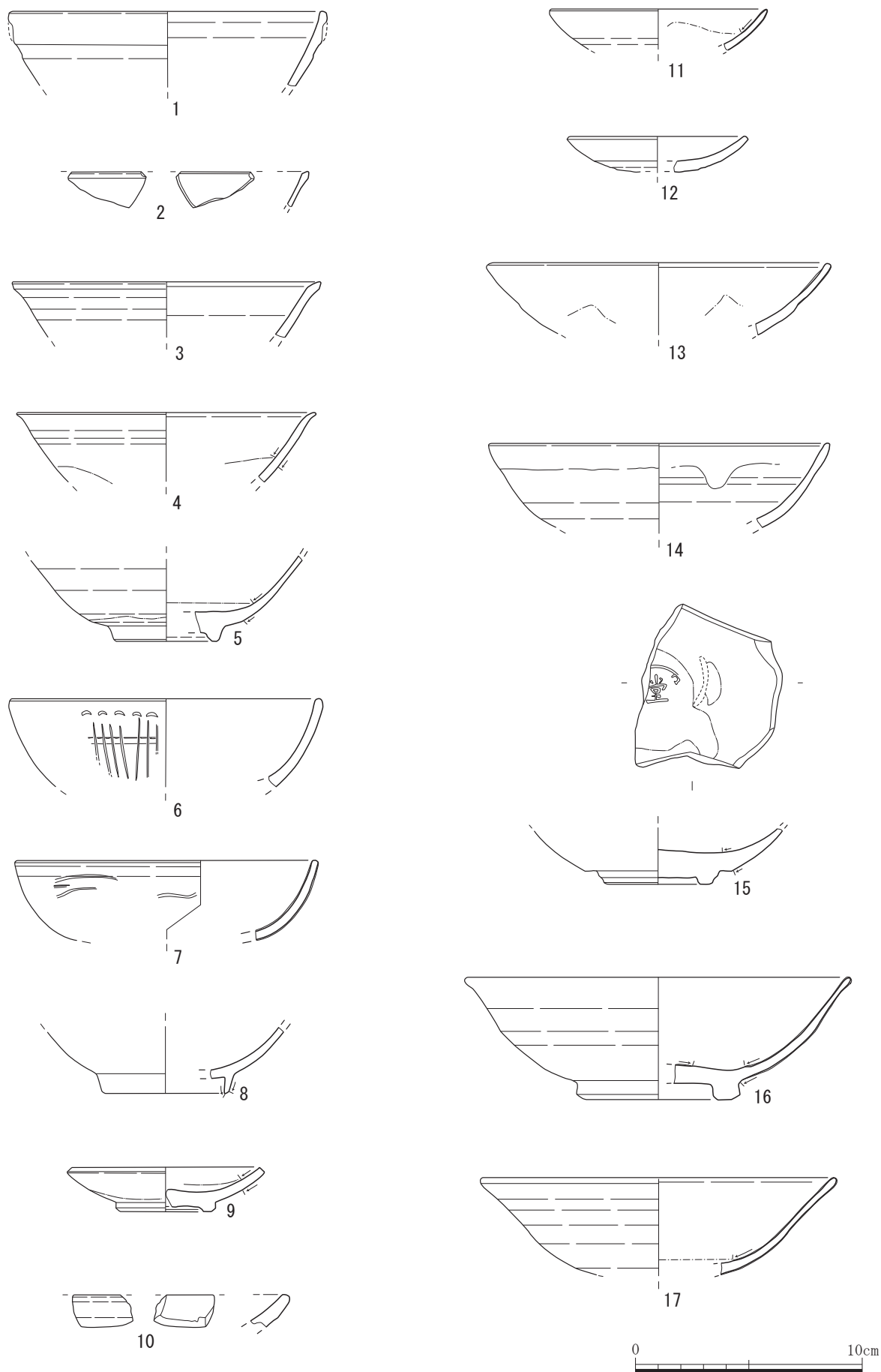
第59表-1 白磁 観察一覧

第図 図版	図 番号	器種	部位	口径 底径 (cm)	器高 (cm)	器形・文様構成	釉色・範囲	素地質・混入物	生産年代 生産地・その他	グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号
第 105 図・ 図版 44	1	碗	口	14.0 —	—	口縁:玉縁である。口縁の肥厚部破損。 外面に轆轤痕が多い。	釉色:灰白色。	胎土は粗い。黒色細粒 混入。	12c～14c前 福建・広東系	M10 IIIa(包1) 台 2312
	2		口	— —	—	口縁:逆「八」の字状。口唇:上面を平坦 に肥厚。	釉色:灰白色。	胎土はやや粗く、僅か に黒色細粒が混入。	明代 福建・広東系	I9 III下 (3842P) 台3453
	3		口	13.6 —	—	口縁:直線的な逆「八」の字状に外反。 口唇:尖った舌状。	釉色:乳白色。	胎土はやや粗く、黒色 細粒が混入。	明代 福建・広東系	I9 III下 (3908P) 台3579
	4		口	13.2 —	—	口縁:逆「八」の字に外反。口唇は舌 状。	釉色:灰白色。 範囲:内外腰まで。	胎土は粗く、黒色細粒 が混入。	明代 福建・広東系	N～O17・18 III下 (1505SX) 台2736
	5		底	— 4.4	—	高台:断面形態台形。外面:轆轤痕顕 著。	釉色:青白色。	胎土はやや粗く、黒色 細粒が僅かに混入。	明代 福建・広東系	G14 IIIb(包2) 台 2271
	6		口	13.8 —	—	口縁:直口。口唇:四角。外面:弁先を 別に描く線彫蓮弁文を施文。弁先は弧 状、内面は無文。	釉色:淡い青灰色。	灰白色・白色、黒色細 粒子を混入。質は細か い。	15c後～16c前 福建・広東系	G・H11・12 III下 (2626P) F13 IIIa(包1) 台2923・2212
	7		口	13.4 —	—	口縁:直口。外面:幅広の圏線と楡描の 波状雷文帯を施文。	釉色:淡黄灰色。	白色・黒色細粒子を混 入。質は緻密である。	16c 福建・広東系	J14 III下 (2086SK) 台2625
	8		底	— 3.4	—	高台:断面形態が三角状。	釉色:青白色。 範囲:畳付露胎。	胎土は密で、黒色細粒 が僅かに混入。	16c代 景德鎮窯系	P18 IIIa(包1) 台 2125
	9	皿	口～ 底	8.7 4.4	1.95	胴部:やや丸味い。口縁:逆「八」の字状 直口。口唇は四角状。高台:断面形態 台形状。	釉色:乳白色。 範囲:内外底露胎。	胎土は細かく、黒色細 粒が僅かに混入。	14c後～15c 福建・広東系	J10 IIIb(包2) 台 2349
	10		口	— —	—	胴部:やや丸味い。口縁:逆「八」の字状 直口。口唇:丸、口禿、煤付着。灯明 皿。	釉色:灰白色。 範囲:口唇露胎。	胎土は細かいが気泡 が多い。黒色細粒を 僅かに混入。	14c～15c 福建・広東系	H・I10 III下 (3679P) 台3773
	11		口	9.6 —	—	胴部:やや丸味。口縁:逆「八」の字状内 湾気味の直口。口唇は尖る。	釉色:灰白色。 露胎:内外底露胎。	胎土は密で、黒色細粒 が僅かに混入。	明代 福建・広東系	L16 IIIa(包1) 台2065
	12		口～ 底	8.0 —	—	口縁:逆「八」の字状直口。口唇は舌 状。高台:抉り出し高台。	釉色:灰白色。 範囲:全面。	胎土は密で、黒色細粒 が僅かに混入。	15c～16c前 福建・広東系	J11 III下 (2337SK) 台3127
	13		口	15.2 —	—	口縁:逆「八」の字状直口。口唇:平坦、 胎土は内側に出る。	釉色:淡緑灰色。 範囲:内外腰まで。	胎土はやや粗く気泡が 多い。僅かに黒色細粒 が混入。	15c～16c 福建・広東系	G14 IIIb(包2) 台2271
	14		口	15.0 —	—	口縁:内湾気味直口。口唇:先端平坦、 角状。器面:轆轤痕を多い。	釉色:緑がかる灰白色 範囲:内底露胎、畳付 け臍	胎土はやや粗く、僅か に黒色細粒が混入。	15c～16c 福建・広東系	H12 IIIa(包1) 台2253
	15		底	— 4.8	—	高台:断面形態は台形。内底:「堂」印花 文。	釉色:灰白色。 範囲:内外底露胎。	胎土はやや細かい。黒 色細粒が僅かに混入。	15cか 福建・広東系	Q16 IV (1510SD) 台3926

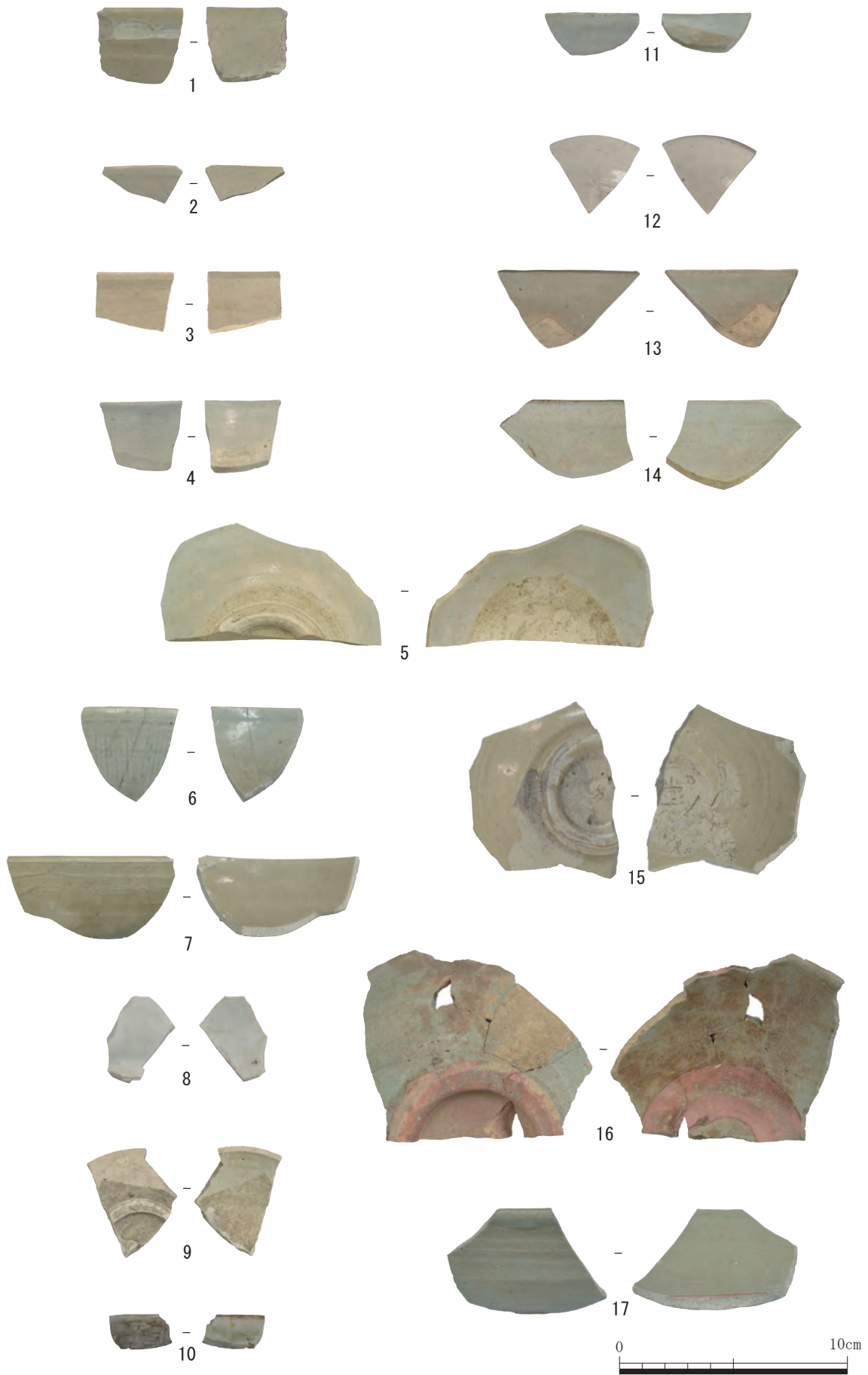


第59表-2 白磁 観察一覽

第図 図版	図 番号	器種	部位	口径 底径 (cm)	器高 (cm)	器形・文様構成	釉色・範囲	素地質・混入物	生産年代 生産地・その他	グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号	
第105 図・ 図版 44	16		口～ 底	17.0 7.2	5.4	胴部:丸味。口縁:外側は僅かに反る。直口。口唇:舌状。高台:幅広、薄型、台形状。外面:轆轤痕、顕著。	釉色:青緑色。 範囲:内底蛇の目剥、高台脇	褐灰色・黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c～16c 福建・広東系	H14 IIIa(包1) 台2190	
	17		口	15.8 —	—	胴部:下部丸味口縁:逆「八」の字状直口。口唇:舌状。外面:轆轤痕、顕著。	釉色:緑灰色。 範囲:内底露胎	灰白色・黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c～16c 福建・広東系	N18 IIIa(包1) 台2128	
第106 図・ 図版 45	18	皿	口	17.4 —	—	口縁:逆「八」の字状。直口。口唇は撥状。外面:轆轤痕。	釉色:淡緑灰色で薄い 範囲:全面	褐灰色・黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c～16c 福建・広東系	L18 III下(1467SK) 台2449	
	19		口	18.4 —	—	口縁:逆「八」の字状。直口。口唇は撥状。外面:轆轤痕。	釉色:淡緑灰色。 範囲:全面	灰白色・黒色細粒子を僅かに混入。質は細かい。	15c～16c 福建・広東系	G14 IIIb(包2) 台2271	
	20		底	— 7.0	—	高台:幅広、台形状。器面は轆轤痕。	釉色:青緑色。 範囲:内底蛇の目釉剥、外面高台脇まで。	褐灰色・黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c～16c 福建・広東系	J10 IIIb(包2) 台2349	
	21		底	— 8.6	—	内底:饅頭心。高台:幅広。	釉色:緑灰白色。 範囲:内底幅広蛇の目剥、外面高台脇まで	胎土はやや細かい。黒色細粒が僅かに混入。	15c～16c 福建・広東系	G12 IIIa(包1) 台114	
	22		底	— 7.0	—	高台:有段状、幅広、台形状。内底:平坦一条圏線。	釉色:灰白色。 範囲:内面見込、外面高台脇まで。	胎土は気泡が目立ちやや粗い。僅かに黒色細粒が混入。	15c～16c 福建・広東系	J15 III下(2012P) 台2759	
	23		底	— 4.7	—	高台:断面形態台形。高台内:兜巾状削り。	釉色乳白色。 範囲:内外底露胎。	胎土はやや細かいが気泡が認められ、黒色細粒が僅かに混入。	明代 福建・広東系	M10 IIIa(包1) 台2312	
	24		底	— 5.4	—	高台:断面形態は台形。高台内:兜巾状削り。	釉色:不明。 範囲:内外底露胎。	胎土は気泡が認められるがやや細かい。黒色細粒が僅かに混入。	16c 福建・広東系	G14 IIIb(包2) 台2271	
	25		底	— 4.6	—	内底:溶着痕。高台:断面形態は台形。高台内:兜巾状削り。畳付:目砂。	釉色:青白色。 範囲:内底蛇の目剥、畳付露胎。	胎土はやや粗く白色細粒と黒色細粒が混入。	明代 福建・広東系	Q14 III 台3905	
	26		口～ 底	10.8 6.0	2.45	腰:膨らみない。口縁:外反。口唇:丸。高台:断面形態、三角状。畳付、目砂。	釉色:灰白色。 範囲:畳付露胎。	胎土は密で、黒色細粒が僅かに混入。	16c 景德鎮窯系	M13 IIIa(包1) 台2130	
	27		口～ 底	12.2 6.2	2.65	腰:緩やか。口縁:外反。口唇:丸。内底面:平坦。高台:断面形態、三角状。	釉色:青灰色。 範囲:畳付露胎。	胎土は密で、黒色細粒が僅かに混入。	16c 景德鎮窯系	H12 III下(2629P) 台3002	
	28		口	11.8 —	—	胴部:丸味。口縁:外反。口唇:丸。	釉色:青灰色。 範囲:全面。	胎土は密で、黒色細粒が僅かに混入。	16c 景德鎮窯系	L9 IIIa(包1) 台2336	
	29		口	13.2 —	—	胴部:緩やか。口縁:外反、口唇舌状。	釉色:青灰色。 範囲:全面。	胎土は密で、黒色細粒が僅かに混入。	16c 景德鎮窯系	K9 III下(3321P) 台3350	
	30		口	— —	—	口縁:外反。口唇:丸。	釉色:青灰色。 範囲:全面。	胎土は密で、黒色細粒が僅かに混入。	16c 景德鎮窯系	F12 IIIa(包1) 台92	
	31		底	— 7.8	—	内底面:平坦。高台:断面形態、三角状。	釉色:青灰色。 範囲:畳付露胎。	胎土は密で、黒色細粒が僅かに混入。	16c 景德鎮窯系	I10 III下(3681P) 台3732	
	32		口	9.2 —	—	胴部:丸味。口縁:外反、内面に稜線。口唇:丸。	釉色淡青灰色。 範囲:全面。	胎土は密で、黒色細粒が僅かに混入。	16c後～17c初め 景德鎮窯系	H10 III下(3686SK) 台3819	
	33		口	— —	—	胴部:直線的。口縁:外反。口唇:折り稜花。口唇:四角状。	釉色淡青灰色。 範囲:全面。	胎土は密で、黒色細粒が僅かに混入。	16c 福建・広東系	A13 I(表土) 台4345	
	34		杯	口	6.6 —	—	胴部:逆「八」字状。口縁:端反り。口唇:丸。	釉色:灰白色。 範囲:全面。	胎土は密で、黒色細粒が僅かに混入。	16c後 景德鎮窯系	I10 III下(3790SK) 台3385
	35		瓶	底	— 4.0	—	胴部:逆「八」の字状。底部:平底。内底:轆轤痕顕著	釉色:灰色。 範囲:内面、外面は腰まで。	胎土は細かい。気泡、黒色細粒が僅かに混入。	明代 福建系	R18 III下(4596P) 台14525
36	蓋	甲～ 突起	5.0 2.5	1.5	甲部上面観:円状。断面形態が台形。内面:筒状突起。突起:断面形態が四角状、内面はドーム状。	釉色:灰色。 範囲:甲表面。	胎土はやや細かい。気泡や黒色細粒が僅かに混入。	明代 福建系	I10 III下(3764P) 台3834		

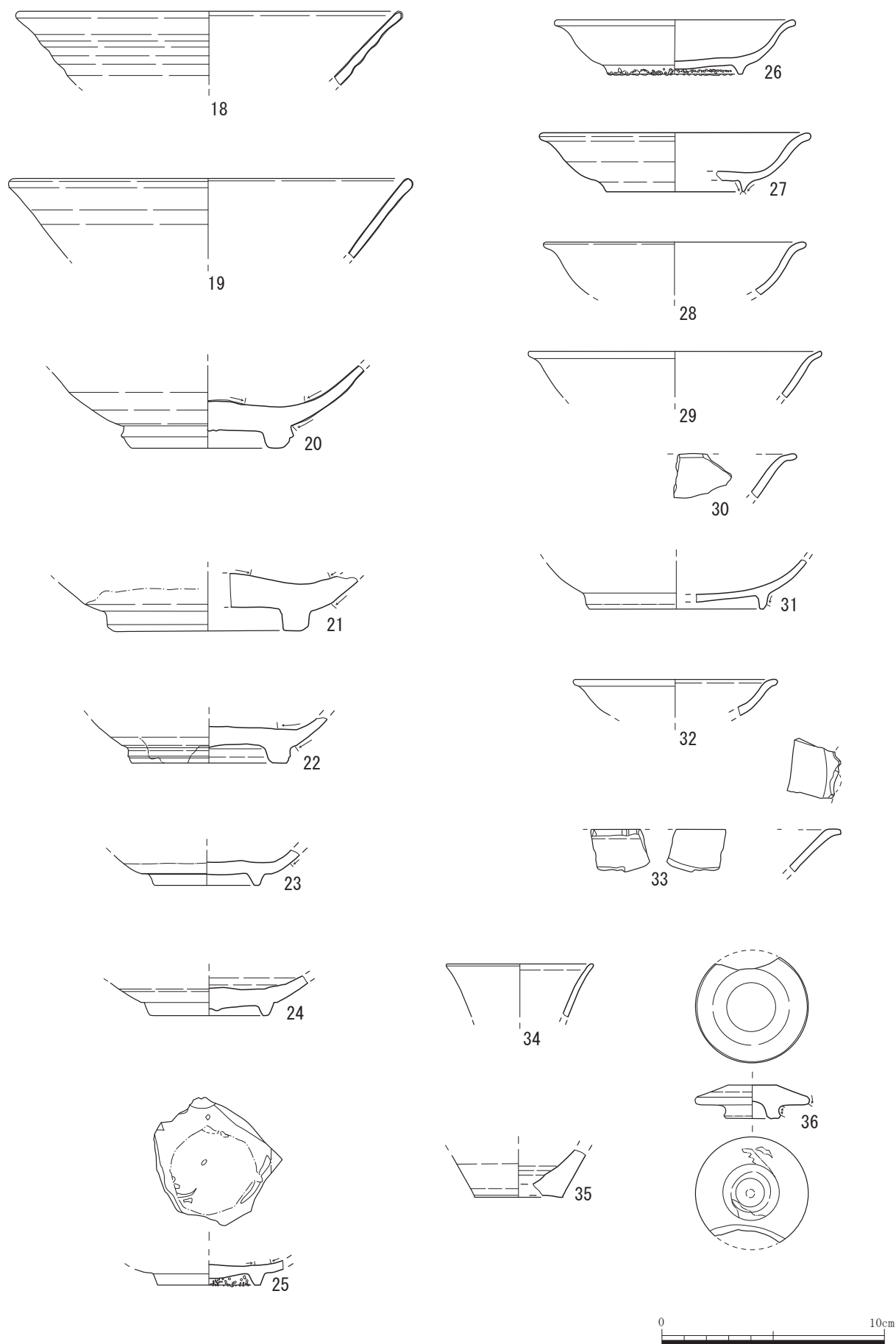


第 105 图 白磁 1

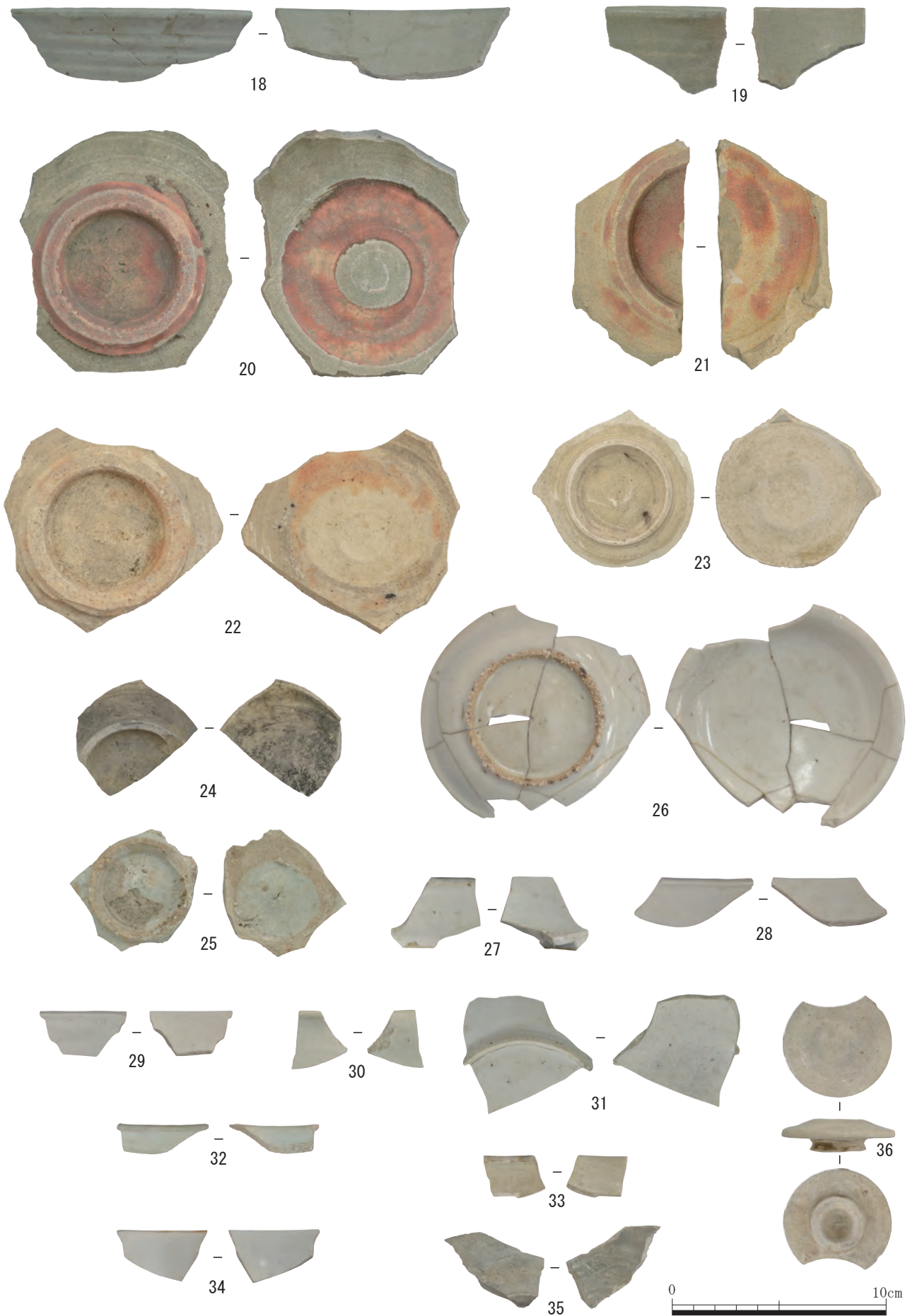


图版 44 白磁 1





第106图 白磁2



图版 45 白磁 2

## (8) 青磁

総数 431 点、器種の内訳は碗、皿、大皿、盤、鉢、香炉、壺、瓶、蓋類の 9 種である (第 60 表)。生産地には龍泉窯系、景德鎮窯、福建・広東系があり、生産年代は 14c ~ 17c の明代が 98% と最も多く、清代は福建・広東系が僅かに得られている。層位別出土量はⅢ層下遺構が多くⅢ a、Ⅲ b と続く。平面分布は F ~ M を縦軸に横軸は 8 ~ 14 に遺物の集中がみられた (第 107 図)。分類と年代観は形態、施文技法、文様構成、釉調、胎土により行い (第 65 表)、明代の碗分類は基本的に上田 (1982) に準拠するものである。

第60表 青磁(年代別) 出土量

層	時代 器種	元・明初		明代									清代			不明				合計		
		碗	皿	碗	皿	大皿	盤	香炉	壺	瓶	蓋	大皿・ 大鉢or盤	壺or瓶	碗	壺	鉢	碗	皿	香炉		大皿・ 大鉢or盤	
I				13	3	1			2													19
II				6									1									7
III				6																		6
IIIa		1	1	72	20	1	3			1	1	3	1									104
IIIb		1		43	17	1	1			5	2			1								71
III下遺構		1		123	41	1	1	1			2	1	1	1	1	2		1	1			177
IV				21	8													1				30
Vb				3	4	1																8
—				5	3																	8
不明				1																		1
合計		3	1	292	97	5	5	1	2	6	3	5	2	2	1	1	2	1	1	1	1	431
年代別計		4		418									4			5						

## 碗

総数 299 点が得られた。生産地は龍泉窯系、福建・広東系、景德鎮窯がある。口縁の形態は A 外反、B 直口、C 玉縁、があり、底部は高台の断面形態が D 三角状、E 四角状、F 台形状に分かれる。文様は主に I 蓮弁文、II 雷文で構成される。III は無文である。施文技法は I の蓮弁文は a へら描き蓮弁文、b 丸彫り蓮弁文、c へら先で描く線描き蓮弁文に分かれる。II の雷文は a へら描きの雷文、b 印花雷文、c は雷文と内面に型押し技法の所謂人形手、d は線描きの波状雷文である。分類は生産地の 3 種と口縁が 12 類、底部が 5 類である (第 61 表)。

生産年代は明代から清代があり、殆どは明代であった。

### 1. 龍泉窯系

#### A 外反 I 蓮弁文

口縁が外反し外面に幅の広いへら描き蓮弁文を施文する。図 1 は胴下部にやや丸味を持ち、外に開く、口縁は「く」の字状に外反している。

第61表 青磁(碗) 出土量

層	年代 産地	元・明初		明代									清代			不明		合計			
		泉州窯	龍泉窯系	景德鎮窯	龍泉窯系			福建・広東系			不明			福建・ 広東系	景德鎮窯	龍泉窯系	福建・ 広東系				
					口	胴	底	口~底	口	胴	底	口	胴						底		
I						4	5	2	2												13
II							1	3			1		1			1					7
III						3			1	1	3	1									9
IIIa		1		1	1	18	23	4	10	11		1									70
IIIb			1			19	7	5	4	4	2	2						1	1		46
III下遺構			1			35	33	8	14	18	4	6	3	2	1						125
IV						9	7	2		3											21
Vb						1	1		1												3
—								3				1									4
不明						1															1
合計		1	2	1	1	90	80	24	32	37	10	11	4	2	1	1	1	1	1	1	299



### B 直口 I 蓮弁文

口縁が直口で外面に施文法の異なる蓮弁文を描いている。

#### a: 片切彫かへら描き蓮弁文

外面に幅の広いへら描き蓮弁文を施文する。図2は胴下部に丸味を持ち直線的に立ち上がる。口縁は口唇の先端が丸く太い。図3は外面に二条圏に幅の広い片切彫かへら描き蓮弁文を施文し、内面にへら描き唐草文を描いている。

**b: 丸彫り蓮弁文** 外面に丸彫の蓮弁文を施文する。図14は胴部が逆「八」の字状に外に開く。外面に丸彫の蓮弁文を描くが、弁先は丸い。

**c: へら先で描く線描き蓮弁文** 外面にへら先で描く線描きの蓮弁文を施文する。弁先を別々に描くものと弁先を失ったものとある。図16～18があり、17は腰部に丸味を持ち胴部で直線的に立つが、口縁は内湾気味の直口を呈する。口唇は丸い。外面に弁先が山の連なる様に別に描く、線描蓮弁文を施文している。

#### 底部 I 蓮弁文

**a: へら描き蓮弁文** 高台の断面形態がF台形状で、外面に幅の広い片切彫かへら描き蓮弁文を施文する。図6は内面にへら描き草花文を描き、内底に圏線と印花文を施文している。図7は内面が無文。内底面に圏線と印花の草花文を施文している。

**c: へら先で描く線描き蓮弁文** 高台の断面形態はD三角状。外面にへら先で描く線描きの蓮弁文を施文する。図25は高台からの立ち上がりが逆「八」の字状に外に開き腰部の張りが無い。外面に線彫蓮弁文、内底面に捻子花の印花文を施文している。

### B 直口 II 雷文

**a: へら描き雷文** 図4は胴下部に丸味を持ち内湾気味に立ち上がる。外面にへら描き雷文とラマ式蓮弁文を描き、内面にへら描きの唐草文を施文している。図5は胴部にやや丸味を持ち直線的に立ち上がる。口縁は口唇の先端がやや太くなる。外面にへら描き雷文の帯文と幅の広い蓮弁文を描いている。内面は無文。図8は外面にへら描き雷文帯のみを巡らしている。内面は無文で幅広の圏縁を施している。

**b: 印花雷文とへら描き蓮弁文** 図9は胴部から口縁までやや開きながら直線的に立つ形態で、口唇は先端に向かい徐々に厚みを増す舌状。外面に印花雷文とへら描きの、ラマ式蓮弁を施文している。内面に印花雷文帯とへら描き草花文を施文している。

**c: 印花雷文と内面に型押し文(人形手)** 型押し文に唐草文、草花文、故事題材の人物文などの文様がみられる。図10は外面に印花雷文帯を巡らし、内面に型押しの唐草文を施す。図11は胴部にやや丸味を持ち内湾気味に口縁に至る。外面に印花雷文帯を施文し、内面に雷文帯と故事題材の文様を施文している。図13は胴部のみの資料で内面に古事題材と思われる馬と人物を施文している。

**d: 線描き波状雷文** 図20は内湾に近い直口で、口唇は丸く内向きである。身部は浅く、外面に線描波状雷文を施文している。

第62表 碗(口縁部)文様別 出土量

口縁 文様 施文 層	A外反		B直口							C玉縁		合計
	I 蓮弁	III 無文	I 蓮弁			II 雷文				III 無文	III 無文	
	a	—	a	b	c	a	b	c	d	—	—	
I		1				2			1	2		6
III			1		2					2		5
IIIa		1			10	5	2	1	1	10	1	31
IIIb					8	4	4			9		25
III下遺構	1	4	1		17	4	2	2	3	22		56
IV				1	3		1	1		3		9
Vb			1							1		2
-							1			1		2
合計	1	6	3	1	40	15	10	4	5	50	1	136

### B 直口Ⅲ無文

龍泉窯系の直口口縁で、無文である。図 22 は胴部が直線的に立つ。口唇は先端が平坦で断面は隅丸方形。外面に幅の広い圈線を一条巡らしている。

### C 玉縁Ⅲ無文

龍泉窯系の玉縁口縁で、無文である。図 21 は胴部が直線的に立ち、口縁でやや一旦内に寄り外に開き玉縁を成す。口唇は丸い。

### 底部Ⅲ無文

**D 三角状** 龍泉窯系の底部である。高台の断面形態は三角状。内外体面は無文である。図 29 腰部にやや丸味をもち逆「八」の字状に外に開く、高台は畳付けの外側を斜めに削り出している。器面は轆轤痕がみられる無文である。内底面は圈線内に梵字文の印花文を施している。

## 2. 福建・広東系

### B 直口Ⅰ蓮弁文

**c: へら先で描く線描き蓮弁文** 図 15 は胴部に轆轤痕が残り、口縁は内湾気味の直口を呈する。口唇は丸く外面に圈線とへら先による線描の蓮弁を巡らしている。内面は無文。

### B 直口Ⅱ雷文

**d: 線描き波状雷文** 図 19 は胴下部に丸味を持つ。外面にへら先による線描の波状文帯と圈線で区画した縦線の蓮弁文を施文している。

### 底部Ⅲ無文

**D 三角状** 高台の断面形態は三角状を成す。体面は無文である。図 30 は腰部から逆「八」の字状に外に開く。外面と内底面に轆轤痕が認められる。

**E 四角状** 図 31 は内外体面が無文で内底は轆轤痕が顕著である。

## 3. 景德鎮窯

### 底部Ⅲ無文

**E 四角状** 内外体面は無文である。図 32 は腰部の立ち上がり逆「八」の字状に外に開き、高台は畳付けの内側を斜めに削り出した外削りで、畳付け内側に砂目がみられる。

## Ⅲ

総数 99 点、生産地は龍泉窯系 76 点 (77%)、景德鎮窯 3 点 (3%)、福建・広東系 16 点 (16%) がある。生産年代は 14c ~ 17c 中葉に位置づけられる。分類は形態、施文技法、文様構成で分類し VI 類に分かれた。

### I 類：鏢縁口縁 へら描き蓮弁文

図 33 は腰に丸味を持ち、胴は直線的に開き、口縁は鏢縁を成す。外面にへら描き蓮弁文を巡らしている。図 34 は幅の異なるへらで二重の蓮弁文を描いている。図 35、36 は I 類の底部と考えられる。腰部の張りがあり高台は畳付けの両側から削り出している。断面形態は三角状、台形状がある。外面にへら描き蓮弁文を施文している。内底は陽刻と陰刻の圈線に印花を施文する。生産地 龍泉窯系 生産年代 14c 後~15c 前

第63表 青磁(Ⅲ) 出土量

年代 産地 層	元・明初		明代									不明	不明	合計
	龍泉窯系	景德鎮窯	龍泉窯系			福建・広東系			不明	不明				
			胴	口~底	口	口	胴	底			口			
I				1	1	1								3
Ⅲa	1		1		6	5	4	3	1					21
Ⅲb				1	7	1	4	2	1	1				17
Ⅲ下遺構		1	1	1	18	10	4	1	1	3	1			41
IV					1	1	3	1		2		1		9
Vb					2	1	1							4
-					1						2			3
不明					1									1
合計	1	1	2	2	37	19	17	7	3	6	3	1		99

## II類：外反口縁（有文）

図 37 は口縁が外に開き、口唇は挟りを入れ、上面観は菊花状の輪花を成す。外面は無文で内面に丸彫りの菊花弁を描く。生産地 龍泉窯系 生産年代 14c 後～15c 中

## III類：外反口縁（無文）

腰が丸く、口縁に向かい大きく開き、外反する。図 38 は高台の畳付けの両面を削り出し、断面形態は三形状である。図 38～40 生産地 龍泉窯系 生産年代 14c 後～15c 中

## IV類：腰折稜花

腰折れ、口縁部はラッパ状に外に開き、口唇部に挟りを入れ稜花を成す。外面は無文で、基本的に内面に楡描きやへら描きの唐草文や流水文を描くものと無文がある。図 43～48 生産地 龍泉窯系 生産年代 15c 代

図 44 は生産地 福建・広東系 生産年代 15c 中～16c 前 図 49～52 は腰折の底部である。胴部は外に向かい開く、稜花皿になると考えられる。高台の断面形態は三角ないし台形状。外底畳付け内に兜巾絞り切り痕が認められる。内面にへら描き草花文を施文するものと無文がある。内底は印花文を施す物と無文、円形露胎とある。生産地 龍泉窯系 生産年代 15c 代

## V類：直口口縁

口縁部が直口で a：外面に線描き蓮弁文を描くものと、b：内面に楡描き蓮弁文を描く有文と c：無文の三タイプがある。a：図 53 は腰部に丸味を持つ。碗形である。外面に弁頭の略された線描きの蓮弁文を描く、生産地は龍泉窯系、生産年代は 15c～16c 初である。b：図 54 は腰部に丸味を持ち口縁に向かいやや開き、外面は無文で内面に幅のことなる楡描き蓮弁文を施文している。生産地は龍泉窯系、生産年代は 15c に位置付けられる。c：図 55、56 は腰部に丸味を持つ無文である。56 は外面の轆轤痕が顕著である。生産地 福建・広東系 生産年代 15c～16c 前

## VI類：型打ち整形

体面は型打ち整形で蓮弁文を施文。上面観が菊花状を成す。図 57、58 は腰部にやや丸味を持ち外に逆「八」の字状に開く、内外面蓮弁文を型打ち施文し上面観は菊花状を成すものである。高台の断面形態は三角状。生産地 景德鎮窯 生産年代 16c 後～17c 初

## 底部無文

図 41、42 は底径が小さく、見込みはやや広い。内底に双魚、草花の印花文を施こしている。生産地 龍泉窯系 生産年代 14c～15c。図 59 は高台の外面を有段状に削る。一見腰折れ様である。畳付けは両側から削り出し断面形態は三角状。外底は露胎、内底面は露胎し重ね焼き時の釉の溶着痕がみられる。生産地 福建・広東系 生産年代 16c～17c

## 大皿

5点得られている。口径が 20 cm 前後の大ぶりの皿が 3 点得られた。図 60 は口折れの鏢状稜花皿

第64表 青磁（大皿・盤・香炉・壺・瓶・蓋・鉢）出土量

器種 年代 産地 層	大皿		盤			香炉		壺		瓶		蓋	鉢		大皿・大鉢or盤		壺or瓶	合計	
	明代		明代			明代		明代	清代	明代		明代	清代	明代		不明	明代		
	龍泉窯系		龍泉窯系			龍泉窯系		龍泉窯系	龍泉窯系	龍泉窯系		龍泉窯系	福建・広東系	龍泉窯系		不明	龍泉窯系		
	口	胴	口	胴	底	口	底	胴	底	口	胴	甲部	底		胴	底	底	胴	
I		1						2											3
IIIa	1		1		2						1	1			2	1		1	10
IIIb	1			1					1	1	4	2							10
III下遺構	1		1			1	1						1		1	1	1	1	9
Vb	1																		1
合計	4	1	2	1	2	1	1	2	1	1	5	3	1		3	2	1	2	33



である。鏢上面と内面にへら彫りの草花文を描いている。口唇の断面形態は四角状の稜花を成す。

図 61 は腰折れの角皿である。外面は腰部と胴部の二段にへら描きの蓮弁文を巡らしている。内面はへら描きの唐草文を描いている。図 62 は外面に楡描を縦位に、内面は青海波に楡描きの斜刻み文を加えた施文をする小片である。平安山原A遺跡 (2016) で同様の文様を持つ、輪花、腰折れの大皿が得られている (第 111 図 参考資料)。文様や予想できる形態から同様なものと考えられる。

生産地 龍泉窯系 生産年代 14c ~ 15c

### 盤

総数 5 点 が得られた。口縁は鏢状を成し鏢の断面形態が L 字状に肥厚するタイプと匙状に窪むものがある。図 63 は鏢の断面形態が、略「L」字状に肥厚するものである。胴部内面に幅の広い丸彫の連弁を施している。図 64 は胴部が逆「八」の字状に外に開き、鏢は先端を上方に引き上げ断面形態は匙状に窪む。胴部内面に間隔を開けた幅広の連弁文を施文している。図 65、66 の高台は畳付けの外側から斜めに削り出し、断面形態は台形状である。図 63 ~ 66 生産地 龍泉窯系 生産年代 14c ~ 15c

### 香炉

2 点得られた。図 67 に 1 点示す。頸部は一旦内に寄り円筒状に上に伸びる。口縁は逆「L」字状の鏢状を成し、口唇は舌状。外面の頸下部に陽圏線を巡らしている。被熱している。

### 壺

壺が 3 点得られている。図 68 は短頸の直口口縁で肩部は丸い。外面にへら描きの唐草文を描いている。酒会壺と考えられる。

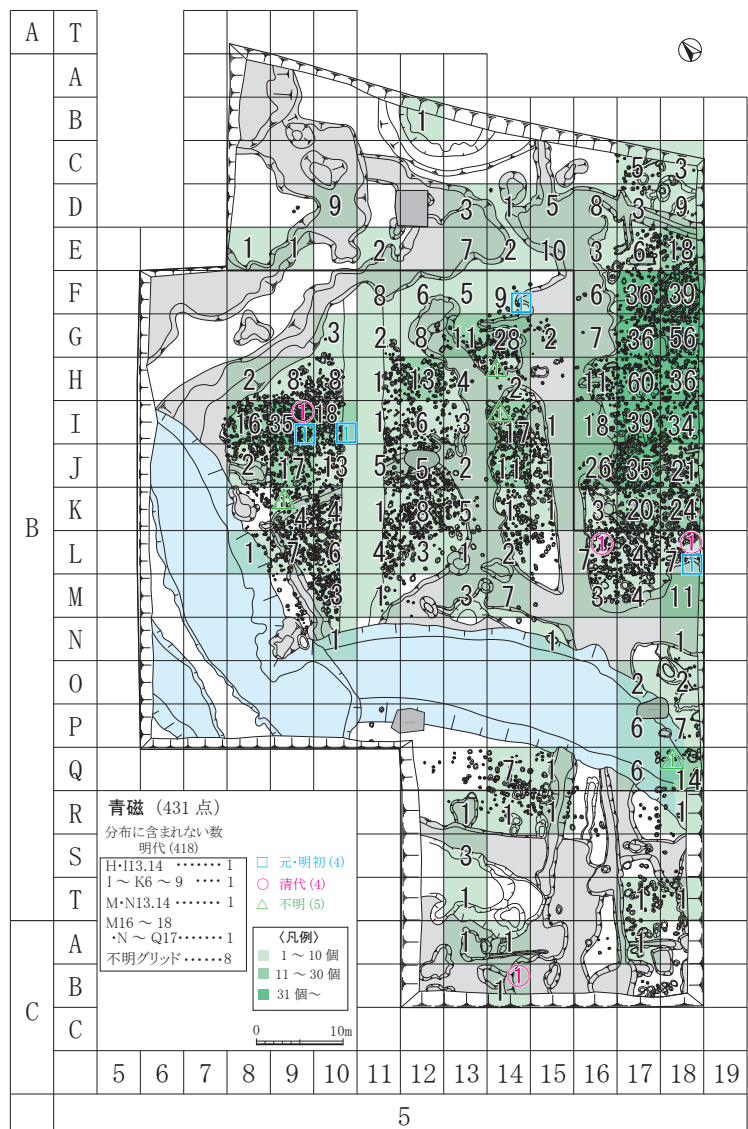
### 瓶

総数 6 点得られた。図 69 ~ 72 は玉壺春瓶である。図 69 は口縁部が外にラッパ状に大きく開く、無文である。図 70・71 は頸部にむかい細長く収束する胴上部が考えられる。70 は外面に圏線とへら描き草花文を巡らしている。71 は外面に圏線を挟みへら描き唐草文と蓮弁文を描く。

図 72 は胴下部が下膨れ状の小型壺である。外面腰部にへら描き蓮弁文を巡らし胴部に唐草文を描いている。生産地 龍泉窯系 生産年代 14c ~ 15c

### 蓋類

3 点得られている。図 73 は甲上面部と考えられる破片で上面に魚か龍と考えられる貼り付け文が貼付され、文様の胴体の表面は鱗が細かく描かれている。裏面は平坦で露胎している。生産地 龍泉窯系 生産年代 14c ~ 15c



第 107 図 青磁 平面分布

第65表-1 青磁 観察一覽

(法量単位: cm)

第図 図版	図 番号	器種	分類	部位	口径 底径 器高	器形・文様構成	釉 色・範囲・貫入	素地 色・混和材・質	生産年代 生産地	グリッド・層・遺構 台(取)番号
第108 図・ 図版 46	1	碗	1A I a	口縁	14.4 — —	胴部に丸味を持ち、口縁で外側に折るよう外反させる。外面にヘラ描きの蓮弁文を施文するが、蓮弁の間隔が広く、弁先が揃わず変則的である。	淡青緑灰色で薄い。全面に貫入あり。	灰白色・黒色細粒子を混入。気泡孔がみられる。質は細かい。	14c後～15c前 龍泉窯系	I14 III下(2205P) 台2678
	2		1B I a	口縁	11.6 — —	口縁は内湾気味に立ち上がる。口唇は先端がやや膨らむ丸状である。外面に幅の広いヘラ描き蓮弁文を施している。	淡青緑灰色	灰白色・黒色細粒子を混入。気泡孔がみられ、質は緻密。	14c後～15c前 龍泉窯系	I8 III下(4215P) 台3508
	3			口縁	— — —	口縁部が逆「八」の字状に開く、口唇は丸い。外面に圏線とヘラ描きの蓮弁文を施文し、内面はヘラ描きの唐草文を描いている。	青緑灰色	灰白色・黒色細粒子がみられる。質は緻密。	14c～15c 龍泉窯系	J9 Vb(下層前清掃) 台4133
	4	1B II a	口縁	— — —	腰部が張り口縁はやや内湾する直口である。外面にヘラ描きの雷文帯とラマ式蓮弁文を施し、内面はヘラ描きの唐草文を施文している。上田分類C- II b	オリーブ色	灰色・僅かに黒色細粒子と気泡孔がみられる。質は緻密。	14c後～15c前 龍泉窯系	I10 IIIb(包2) 台2340	
	5		口縁	14.6 — —	胴部にやや丸味を持ち、口縁は内湾気味の直口になる。口唇はやや角ばり丸状。外面にヘラ描きの雷文帯を巡らし幅の広い蓮弁を施文している。上田分類C- II a	淡青緑灰色で薄い。内面に貫入あり。	灰色・黒色細粒子を混入。気泡孔僅かにみられる。質は細かい。	14c末～15c前 龍泉窯系	I9、J9 IIIb(包2) 台2377.2358	
	6	1F I a	底部	— — 5.7	高台は畳付の内側を斜めに削り出した外削りである。断面形態は台形状。外面にヘラ描きの幅広蓮弁文を描き、内面は草花文、内底に圏線と印花文を施す。	オリーブ色、外底畳付けの内側を蛇の目軸刺ぎ。	灰白色・黒色細粒子を混入。気泡孔がみられる。質は細かい。	14c～15c 龍泉窯系	I9 IIIb(包2) 台2377 I・J9 III下(3961P) 台3568	
	7		底部	— — 5.6	腰部に丸味を持ち、高台は畳付の外側を斜めに削り出し、断面形態は台形状を成す。外面にヘラ描きの幅広蓮弁文を施文。内底面に圏線と印花の草花文を施す。	青緑灰色	灰白色・黒色細粒子を混入。質は緻密。	14c後～15c中 龍泉窯系	F12.13 II(0586SZ) 台976	
	8	1B II a	口縁	— — —	腰部が張り出し口縁は直口になる。外面にヘラ描きの雷文帯を巡らしている。内面に幅広の圏線を施している。	淡青緑灰色でやや薄い。内面にあり。	灰色・黒色細粒子を混入。気泡孔僅かにみられる。質は細かい。	14c末～15c前 龍泉窯系	A13 I(表土掘削後) 台4345	
	9	1B II b	口縁	19.6 — —	胴部から口縁まで直線的に立つ。口唇は先端に向かい徐々に厚みが増す。断面形態は舌形状。外面に印花雷文とヘラ描きのラマ蓮弁を施文している。内面に印花の雷文帯とヘラ描きの草花文を施す。	淡青緑灰色	灰白色・黒色細粒子を混入。質は緻密。	15c 龍泉窯系	P17 IV(1510SD) 台3957	
	10	1B II c	口縁	— — —	胴部は外に開き口縁まで直線的に立つ。口縁は先端に向かい徐々に厚みが増し口唇は丸い。外面に型押雷文帯を巡らし、内面型押し唐草文を施す。いわゆる人形手である。	淡青灰色	灰色・黒色細粒子を混入し質は密である。	14c末～15c前 龍泉窯系	Q17 IV(1510SD) 台14622	
	11		口縁	16.9 — —	口縁は直口し口唇は丸状。外面に型押の雷文帯とヘラ描きのラマ蓮弁文を施文。内面に雷文帯(古事題材)人物の型押し文を施文。(人形手)	灰オリーブ色	灰色・黒色細粒子を混入。質は緻密。	15c 龍泉窯系	H12 III下(2660P) 台2874	
	12		口縁	16.0 — —	口縁は直口し口唇は丸状。外面に印花の雷文と鋸歯状文を帯状に施文している。内面に型押し草花文(牡丹)を施文。(人形手)	淡青灰色	灰白色・黒色細粒子を混入。質は緻密。	14c～15c 龍泉窯系	I10 III下(3772SK) 台3718	
	13	1c	胴部	— — —	内面に古事題材と思われる馬と人物の型押し文を施文している。(人形手)外面は無文。	オリーブ色	灰色・黒色細粒子を混入。質は緻密。	14c～15c 龍泉窯系	M18 I(0350SZ) 台2089	
	14	1B I b	口縁	15.8 — —	胴部は逆「八」の字状に開き、口縁は直口。口唇は丸い。外面に丸彫の蓮弁文を描くが、弁頭は丸く描き、弁の横線は片側のみ描き連ねている。	青灰オリーブ色	灰色・黒色細粒子を混入。質は細かい。	15～16c 龍泉窯系	O17 IV(1510SD) 台3976	
	15	2B I c	口縁	— — —	胴部は轆轤痕がありやや開く口縁は内湾気味の直口を呈する。口唇は丸い。外面に圏線とヘラ先による線描の蓮弁を巡らしている。内面は無文。	青緑色。	灰色・黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c 福建・広東系	K15 III下(1864SK) 台2651	
第109 図・ 図版 47	16	1B I c	口縁	— — —	胴部から口縁は内湾気味の直口、口唇は舌状である。外面に線描の蓮弁文を施文するが、弁頭を別に描き一対の花弁をなさない。弁先は弧状、内面は無文。	青灰オリーブ色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c中～16c前 龍泉窯系	J14 III下(2035P) 台5190	
	17		口縁	12.8 — —	腰部に丸味を持ち胴部で直線的に立ち口縁は内湾気味の直口を呈する。口唇は丸い。外面に弁頭を別に描く線描蓮弁文を施文。弁先は弧状、内面は無文。	淡緑灰色。内面に貫入あり。	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c中～末 龍泉窯系	I8 III下(3593SK) 台3573	
	18		口縁	11.7 — —	腰部に丸味を持ち胴部で直線的に立ち口縁は内湾気味の直口を呈する。口唇は丸い。外面に弁頭を別に描く線描蓮弁文を施文。弁頭は尖り、三角状。内面は無文。	灰オリーブ色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c中～末 龍泉窯系	G14 IIIb(包2) 台2271	
	19	2B II d	口縁	11.4 — —	腰部に丸味を持ち胴部で直線的に立ち口縁は内湾気味の直口。口唇は丸い。外面にヘラ先による線描の波状文帯を巡らし、圏線で区画、下位に線描の縦線のみ蓮弁文を施している。内面は無文。上田分類C-III	淡緑灰色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c～16c 福建・広東系	M18 I(0350SZ) 台2089	
	20	1B II d	口縁	12.0 — —	口縁は内湾に近い直口、口唇は丸い。外面に線影波状雷文を施文した浅い碗である。上田分類C-III	淡緑灰色	灰白色・白色粗粒子、黒色細粒子を混入。質は緻密。	15c～16c前 龍泉窯系	L12 IIIa(包1) 台2138	
	21	1C III	口縁	18.1 — —	胴部が直線的に立ち、口縁でやや一旦内に寄り外に開き玉縁を成す。口唇は丸い。無文。	淡緑灰色	灰白色・白色粗粒子、黒色細粒子を混入。質は緻密。	15c～16c 龍泉窯系	F14 IIIa(包1) 台2241	
	22	1B III	口縁	13.1 — —	胴部は直線的に立つ。口縁直口。口唇は先端が平坦で断面形態は隅丸方形。外面に幅の広い圏線を巡らしている。無文。	緑灰色。内面に貫入があり。	灰白色・黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c 龍泉窯系	F14 III下(2728P) 台2778	
	23		口縁	13.0 — —	胴下部にやや丸味を持ち口縁は直口である。口唇は丸い。外面に圏線を巡らしている。無文。	灰オリーブ色	灰白色・黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c 龍泉窯系	I8 III下(3931P) (3936P) I9 IIIb(包2) 台3413台3328台2358	
	24		口縁	14.0 — —	胴部に丸味を持ち、口縁は内湾気味の直口である。口唇は丸い。無文。	灰オリーブ色	灰白色・黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c 龍泉窯系	J14 IIIa(包1) 台2231	

第65表-2 青磁 観察一覧

(法量単位: cm)

第図版	図番号	器種	分類	部位	口径 底径 器高	器形・文様構成	釉 色・範囲・貫入	素地 色・混和材・質	生産年代 生産地	グリッド・層・遺構 台(取)番号	
第109 図・ 図版 47	25	碗	1D I c	底部	— — 5.6	腰部に張りがなく、高台から逆「八」の字状に外に開き立ち上がる。胴部は直線的。高台は外割りで畳付の外側を斜めに削り出した断面形態は三角状を成す。外面に線描き蓮弁文、内底面に捺子花の印花文を施文。	オリーブ色で厚い。全面に貫入あり。・外底は蛇の目釉剥ぎ。	灰色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c代 龍泉窯系	I10 IIIb (包2) 台2340 I9 IIIb (包2) 台2377	
	26			底部	— — 5.0	高台は畳付の外側を斜めに削り出し、断面形態は三角状を成す高台の内縁が片方に寄り、三日月高台状になる。外面に線描き蓮弁文、内面にへら描きの捺子花文を描き中心に卍の印花文を施している。	オリーブ色。高台内の釉を掻き取る。	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c代 龍泉窯系	H9・10 III下 (3676P) 台3777	
	27		1D I c	底部	— — 4.8	高台は外割りで高台の内側を斜めに削り出した、断面形態は三角状を成す。外面に線描きの蓮弁文を施し内底面に線描きの捺子花文を施文。	オリーブ色。・外底は蛇の目釉剥ぎ。	灰白色・黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c代 龍泉窯系	M16~18N~Q17 IIIa (包1) 台2306	
	28		底部	— — 5.2	腰部は逆「八」の字状に外に開き、高台は畳付の外側を斜めに削り出し、断面形態は三角状を成す。外面に線描き蓮弁文を施す。内底面に轆轤痕がある。	釉は青緑色	灰色・黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c中~16c初 龍泉窯系	I12 III下 (2529P) 台2871		
	29		1D III	底部	— — 5.8	腰部は逆「八」の字状に外に開き、胴部は直線的に立つ。高台は畳付の外側を斜めに削り出し、断面形態は三角状を成す外面に轆轤痕があり、内底面に圏線内に梵字文の印花文を施文。	青緑灰色・高台脇まで施釉	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c代 龍泉窯系	I~K、6~9 IV (3507SD) 台2268	
	30		2D III	底部	— — 4.6	腰部は逆「八」の字状に外に開き、高台は畳付の外側を斜めに削り出し、断面形態は三角状を成す。内底面に轆轤痕がある。	青緑色	褐灰色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c中葉~16c前 福建・広東系	I9 III下 (4080SK) 台3808	
	31		2E III	底部	— — 5.0	腰部は逆「八」の字状に外に開き、高台は断面形態は四角状を成す。外面と内底面に轆轤痕が認められる。	青緑色	灰色・黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c中~16c前 福建・広東系	F12.13 II (0586SZ) 台976	
	32		3E III	底部	— — 4.4	腰部は逆「八」の字状に外に開き、高台は畳付の内側を斜めに削り出した外割りで、断面形態は四角状を成す。畳付け内側砂目が付着。	青緑色。内底面まで施釉。	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は密である。	18c~19c 景德鎮窯	B14 II (4722SZ) 台4853	
第110 図・ 図版 48	33	皿	I 鏤線 へら描き 蓮弁文	口縁	12.8 — —	腰に丸味を持ち、胴は直線的に開き、口縁は鏤線を成す。外面にへら描きの蓮弁文を巡らしている。	灰オリーブ色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は密である。	14c~15c 龍泉窯系	L18 Vb (砂) 台3240 取上116	
	34			口縁	11.6 — —	腰は丸味を持つ胴は直線的に開く、口縁で外に折り返し鏤線を成す。外面にへら幅の異なる二重描で蓮弁文を施文している。	灰オリーブ色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は密である。	14c~15c 龍泉窯系	L17 IIIa (包1) 台2067	
	35		I へら描き 蓮弁文 高台 A三角	底部	— — 5.5	高台は外側へ斜めに削り出し、断面形態は三角状。外面にへら描き蓮弁文を描き、内底面に双魚の印花文を施す。	青緑色。高台内蛇の目釉剥ぎしている。	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は密。	14c後~15c前 龍泉窯系	不明 I (表採) 不明	
	36			底部	— — 6.3	高台は外割りの、断面形態は台形状。外面にへら描き蓮弁文を描き、内底面に印花の草花文を施す。	青緑色。高台内蛇の目釉剥ぎ。	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は密。	14c後~15c前 龍泉窯系	I9 IIIb (包2) 台2377	
	37		II 輪花 (菊花)内、丸彫 蓮弁文	口縁	11.6 — —	口縁はラッパ状に開く、口唇に丸いへら削りを施し上面縁は軽い輪花状を成す。断面形態は丸い。内面に丸彫の蓮弁文を施文。	青オリーブ色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は密。	14c後~15c中 龍泉窯系	G14 IIIb (包2) 台2210	
	38		III 外反 無文	口~ 底	11.6 6.4 3.7	腰部は丸く張りだし胴部は逆「八」の字状に外に開き口縁は外反している。口唇は舌状である。高台は両測から削られる。断面形態は三角状。	オリーブ色。内底の釉と畳付け内側の釉を削りとっている。	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	14c後~15c中 龍泉窯系	I9 IIIb (包2) 台2377 I8 III下 (4006P) 台3571	
	39			口縁	13.8 — —	胴部は逆「八」の字状に外に開き口縁は外反している。口唇は舌状である。器壁が厚い。	青緑色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は密である。	14c後~15c中 龍泉窯系	M18 I (0350SZ) S12 III下 (4681SX) 台2089.台4771 取上416	
	40		口縁	11.0 — —	胴部は逆「八」の字状に外に開き口縁は外反。口唇は丸い。	青緑色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は密である。	14c後~15c中 龍泉窯系	H12 III下 (2636P) 台2955		
	41		無文 高台 A三角	底部	— — 5.0	高台は畳付の外側へお斜めに削り出し、断面形態は三角状。内底面に陽圏線と双魚の印花文を施す。	青緑色。高台内を釉剥ぎ。	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	14~15c 龍泉窯系	I8 IIIa (包1) 台5169	
	42		無文 高台 B台形	底部	— — 6.2	高台は外割りの、断面形態は台形状。内底面は平坦で見込みは広めである。菊花の印花文を施す。	オリーブ色・畳付から内側は露胎。	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は密である。	14c後~15c中 龍泉窯系	I9 III下 (3915P) 台3596 取上150	
	43		IV 輪花 (稜花) 腰折	a 櫛描 流水文	口縁	11.0 — —	腰折れで口唇をへら削りし口縁は稜花を成す。内面に櫛描きの流水文を描く。	淡青緑色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は密である。	15c 龍泉窯系	I14 IIIa (包1) 台2194 F13 IIIa (包1) 台2212
	44				口縁	11.6 — —	腰折れで口唇をへら削りし口縁は稜花を成す。口縁内面に櫛描きの流水文を描く。	オリーブ色	灰白色・黒色細粒子が僅かに混入。質は細かい。	15c中~16c前 福建・広東系	Q17 IV (1510SD) 台4015
	45			b へら描 流水文	口縁	10.6 — —	腰折れで口唇をへら削りし口縁は稜花を成す。内面にへら描流水文を施す。	淡青緑色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c 龍泉窯系	J9 IIIb (包2) 台2358
	46				口縁	11.8 — —	腰折れで口唇をへら削りし口縁は稜花を成す。口縁内面に幅に異なるへらで流水文を描く。	青灰色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c 龍泉窯系	K12 III下 (2254P) 台3092
	47			c へら描 唐草文	口縁	15.0 — —	腰折れで口唇をへら削りし口縁は稜花を成す。内面に幅の異なるへらで流水文を描く。	淡青オリーブ色	白色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c 龍泉窯系	T13 III下 (4681SX) 台4804 取上417
	48			d 無文	口縁	11.0 — —	腰折れで口唇をへら削りし口縁は稜花を成す。	淡青緑色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は密である。	15c 龍泉窯系	H12 III下 (2657P) 台2919

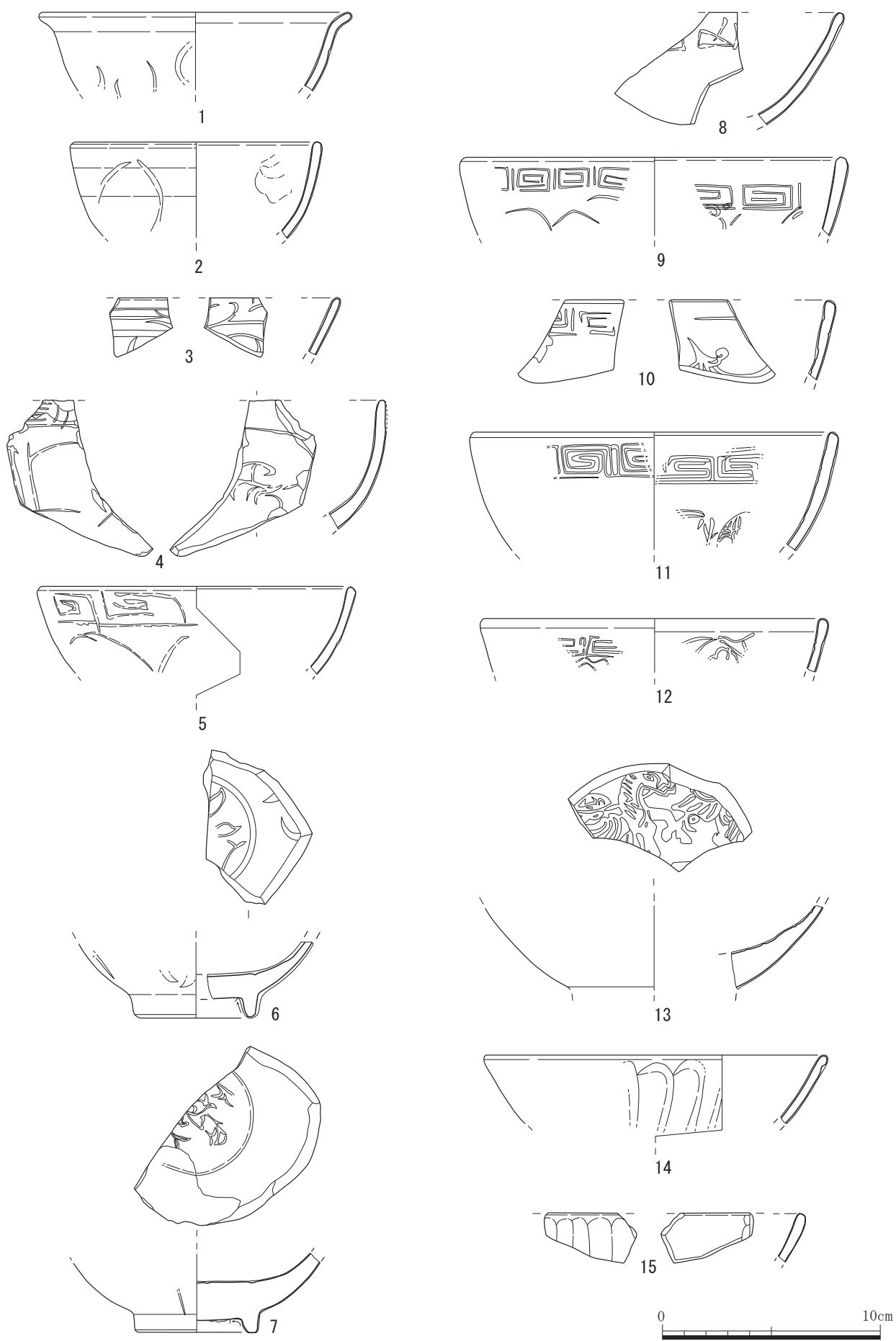
第IV章 3(8)



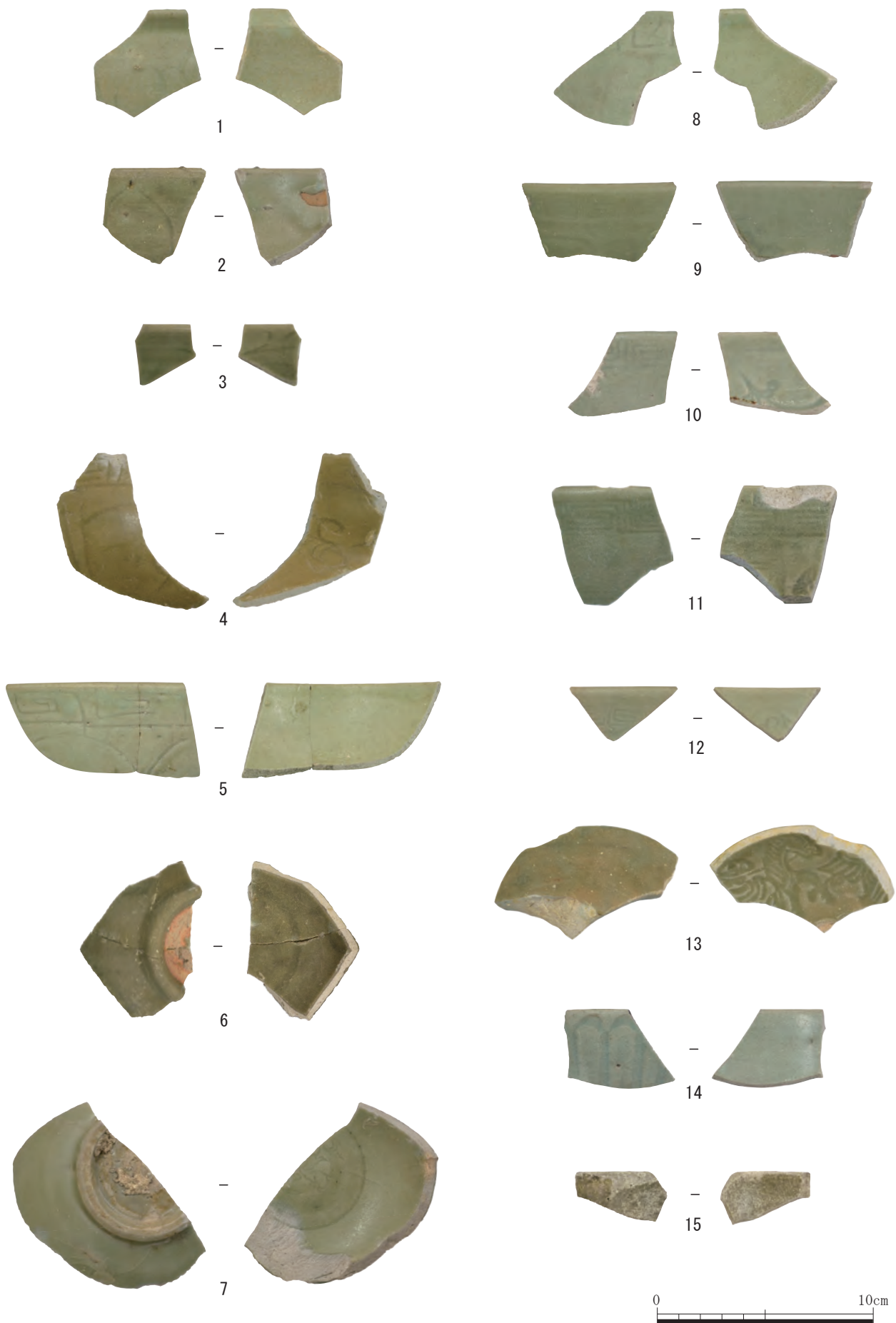
第65表-3 青磁 観察一覧

(法量単位: cm)

第図 図版	図 番号	器種	分類	部位	口径 底径 器高	器形・文様構成	釉 色・範囲・貫入	素地 色・混和材・質	生産年代 生産地	グリッド・層・遺構 台(取)番号	
第110図・ 図版48	49	皿	IV 腰折 高台 A三角	c へら描 唐草文	底部	— — 5.0	腰折れ、胴部は逆「八」の字状に開く。高台は畳付の外側から斜めに削りだした断面形態は三角状をなす。内面にへら描の唐草文を施文し、内底に菊花の印花文を施す。	淡青オリーブ色畳付から内側は露胎。	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c 龍泉窯系	I10 IIIb (包2) 台2340
	50		IV 腰折 高台 A三角	c へら描 唐草文	底部	— — 5.4	腰折れ、胴部は逆「八」の字状に開く。高台は畳付の外側から斜めに削りだした断面形態は三角状をなす。内面にへら描の草花文を描き、内底を円状に釉剥ぎしている。	淡青緑灰色。内底円形露、外底は胎畳付から内側露胎。	灰色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c 龍泉窯系	J9 III下 (3514P) 台3527
	51		IV 腰折 高台 A三角	d 無文	底部	— — 5.6	腰折れ、胴部は一旦内側に寄ってラッパ状に開く。高台は畳付の外側から斜めに削りだした断面形態は三角状をなす。内底に印花の草花文を施している。	淡青緑色。畳付け内側を蛇の目釉剥ぎ。	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c 龍泉窯系	P18 IV (1510SD) 台4018
	52		IV 腰折 高台 B台形	d 無文	底部	— — 6.6	腰折れ、高台は畳付の内側と外側から斜めに削りだした断面形態は台形状をなす。内底に圏線を巡らす。	淡青オリーブ色畳付から内側は露胎。	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	14c末～15c中 龍泉窯系	P17 IV (1510SD) 台3957
	53		V 直口	a 線描 蓮弁文	口縁	7.2 — —	腰部が丸碗状、口唇は舌状を成す。外面に圏線と弁頭のない線彫蓮弁文を施している。	淡青緑色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。気泡があり、質は細かい。	15c～16c初 龍泉窯系	R14 III下 (4662P) 台14549
	54			b 櫛描 蓮弁文	口縁	8.4 — —	腰部が丸碗状、口唇は舌状を成す内面に幅の異なる櫛目の蓮弁を施している。	淡青緑色。貫入あり。	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。気泡があり、質は細かい。	15c 龍泉窯系	M14 IIIa (包1) 台2134
	55			C無文	口縁	10.0 — —	腰部が丸い碗状、口唇は舌状を成す。外面の中位に陽圏線を施している。	オリーブ色。内面に貫入あり。	灰色・黒色細粒子を混入。気泡があり、質は細かい。	15～16c 福建・広東系	G14 IIIb (包2) 台2281
56	C無文	口縁		10.6 — —	腰折れで胴部はやや「八」の字に外に開き口縁は直口口唇はやや肥厚した舌状である。	淡青緑色	灰色・黒色細粒子を混入。気泡があり、質は細かい。	15～16c 福建・広東系	L8 IIIa (包1) 台2330		
第111図・ 図版49	57	VI 輪花 (菊花) 型打 施文	口縁	— — —	口唇は菊花状の輪花である。器面に型押し蓮弁文を巡らしている。型打ち整形。	変色	白色・白色、黒色微粒子を混入。質は細かい。	16c後～17c初 景德鎮窯	M14 IIIa (包1) 台2134		
	58			口縁 ～底	11.6 5.4 3.0	胴部は逆「八」の字状に外に開く。口縁は直口し、口唇は菊花の輪花である。底部は高台断面形態が三角、畳付に砂目付着。器面は型押し蓮弁文を巡らしている。型打ち整形。	淡エメラルドグリーン。畳付け露胎。	灰白色・白色、黒色微粒子を混入。質は細かい。	16c後～17c初 景德鎮窯	H10 III下 (3684P) 台不明	
	59			無文 高台 A三角	底部	— — 6.2	腰折れで高台は畳付の両側から削りだした断面形態は三角状をなす。	淡青緑灰色。内底と外底は露胎。	生成色・黒色細粒子が僅かに混入。質は細かい。	16c～17c 福建・広東系	A17 III下 (4517SK) 台4430
	60	大皿	口縁	— — —	口折れの鏝状稜花で、鏝上面と内面にへら彫りの草花文を描いている。口唇は断面形態は四角状。	淡青緑色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。気泡があり、質は細かい。	14c～15c 龍泉窯系	G14 IIIb (包2) 台2271		
	61			— — —	18.7 — —	外面にへら描き蓮弁文内面に唐草文。内面に唐草文	淡青緑色。貫入あり。	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	14c後～15c前 龍泉窯系	H13 IIIa (包1) 台2237	
	62			— — —	— — —	外面にへら描きの蓮弁文を描き中に櫛描きでコントラストを加える。内面は青海波を描く。なかみに櫛描きの刻み文。	淡青緑色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	15c 龍泉窯系	M18 I (0350SZ) 台2089	
	63			— — —	— — —	口縁部が厚みのある鏝状をなす。内面に丸彫の蓮弁文を施文。	オリーブ色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	14c～15c 龍泉窯系	F14 IIIa (包1) 台2202	
	64	盤	口縁	— — —	18.6 — —	胴部は逆「八」の字状に外に開き鏝は窪み先端を上面に引き上げる。内面に丸彫りの蓮弁文を描いている。	淡青緑色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	14c後～15c前 龍泉窯系	M10 III下 (3632SK) 台3644	
	65			— — —	8.4	逆「八」の字状に外に開く。高台は畳付の外側から斜めに削り出す。高台断面形態は台形状である。	淡青緑色。高台内露胎。	灰色・白色、褐色の色ムラ。黒色細粒子を混入。質は細かい。	14c～15c 龍泉窯系	F14 IIIa (包1) 台2202	
	66			— — —	9.6	逆「八」の字状に外に開く。高台は畳付の外側から斜めに削り出す。高台断面形態は台形状である。	淡青緑色。高台内釉剥ぎ。	灰色・白色、褐色の色ムラ。黒色細粒子を混入。質は細かい。	14c～15c 龍泉窯系	G14 IIIa (包1) 台2182 G13 IIIb (包2) 台2217	
	67	香炉	口縁	15.4 — —	胴はやや丸く頸部で一旦窄み円筒状に上に伸びる。口縁は逆「L」字状の鏝状を成す。口唇は舌状。頸下部に陽圏線を巡らしている。被熱している。	釉色は不明。	灰色・白色、褐色の色ムラ。黒色細粒子を混入。質は細かい。	14c後～15c 龍泉窯系	J10 III下 (3565P) 台3716		
	68	壺	胴部	14.4 — —	口縁は短頸の直口状で肩部は丸い、外面に片切彫(へら)の唐草文を描く。酒会子が考えられる。	青オリーブ色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は密である。	14c後～15c前 龍泉窯系	不明 I (表土) 台4269		
	69	瓶	口縁	10.6 — —	口縁はラッパ状に外に開く玉壺春瓶か	青オリーブ色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は密である。	14c～15c 龍泉窯系	I10 IIIb (包2) 台3867		
70	胴部		— — —	玉壺春瓶で外面に圏線とへら描き唐草文を描く。	青オリーブ色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は密である。	14c後～15c中 龍泉窯系	F14 IIIa (包1) 台2202			
71	胴部		— — —	玉壺春瓶で外面に圏線を挟みへら描き蓮弁文と唐草文を描いている。	青オリーブ色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は密である。	14c～15c 龍泉窯系	J10 IIIb (包2) 台2349			
72	胴部		— — —	玉壺春瓶で外面にへら描き唐草文描き腰下部に蓮弁文を描いている。	青オリーブ色	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は密である。	14c後～15c前 龍泉窯系	I9 IIIb (包2) 台2377 I9 III下 (3894SK) 台3652			
73	蓋		甲部	— — —	甲上面にのみの破片で上面に魚か龍の胴体部と思われる形象物が貼付され、上面はうろこが細かく描かれている。	淡青オリーブ色。畳付から内側は露胎。裏面は平坦で露胎。	灰白色・白色、黒色細粒子を混入。質は細かい。	14c～15c 龍泉窯系	G14 IIIb (包2) 台2281		



第108图 青磁1

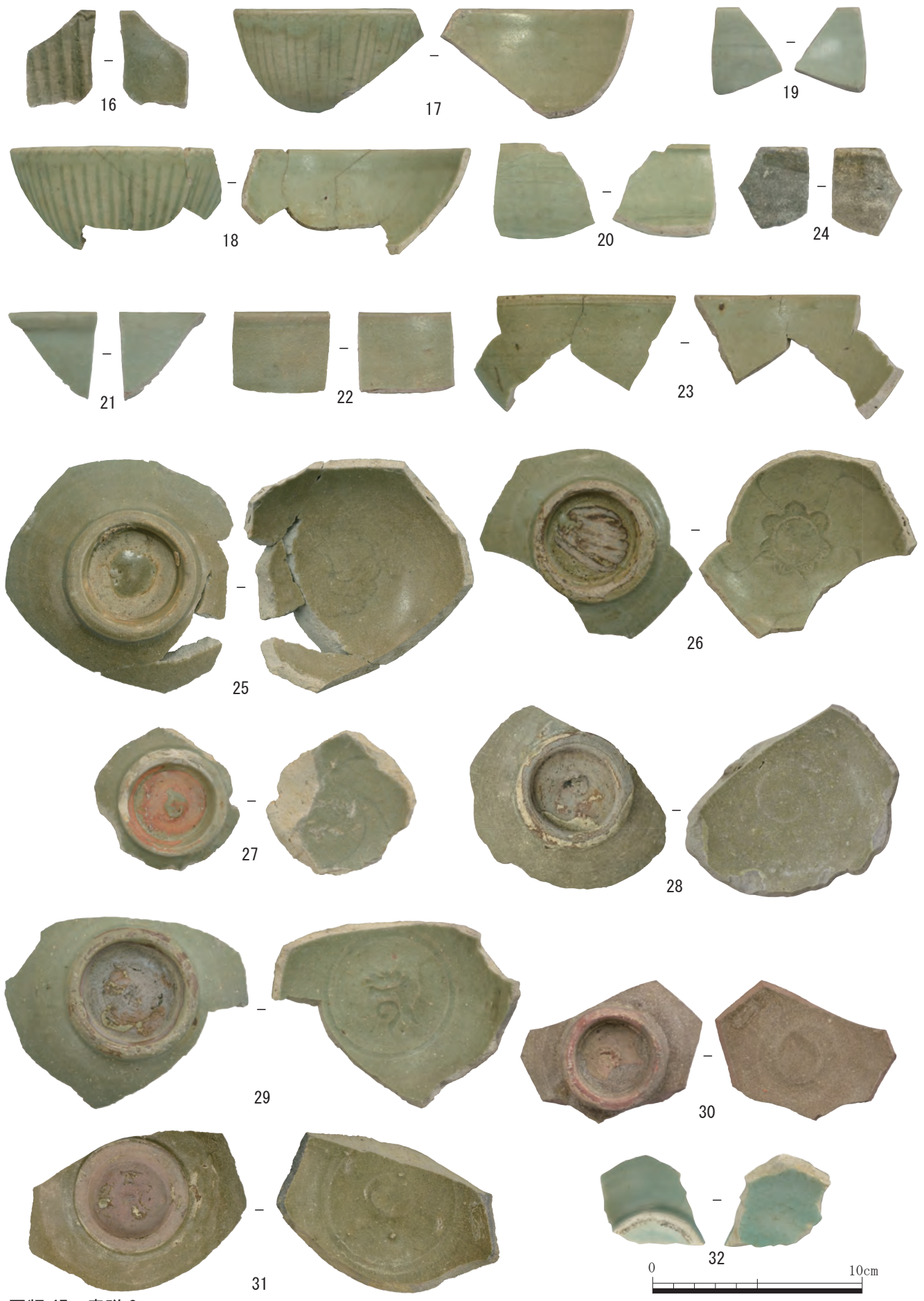


图版 46 青磁 1

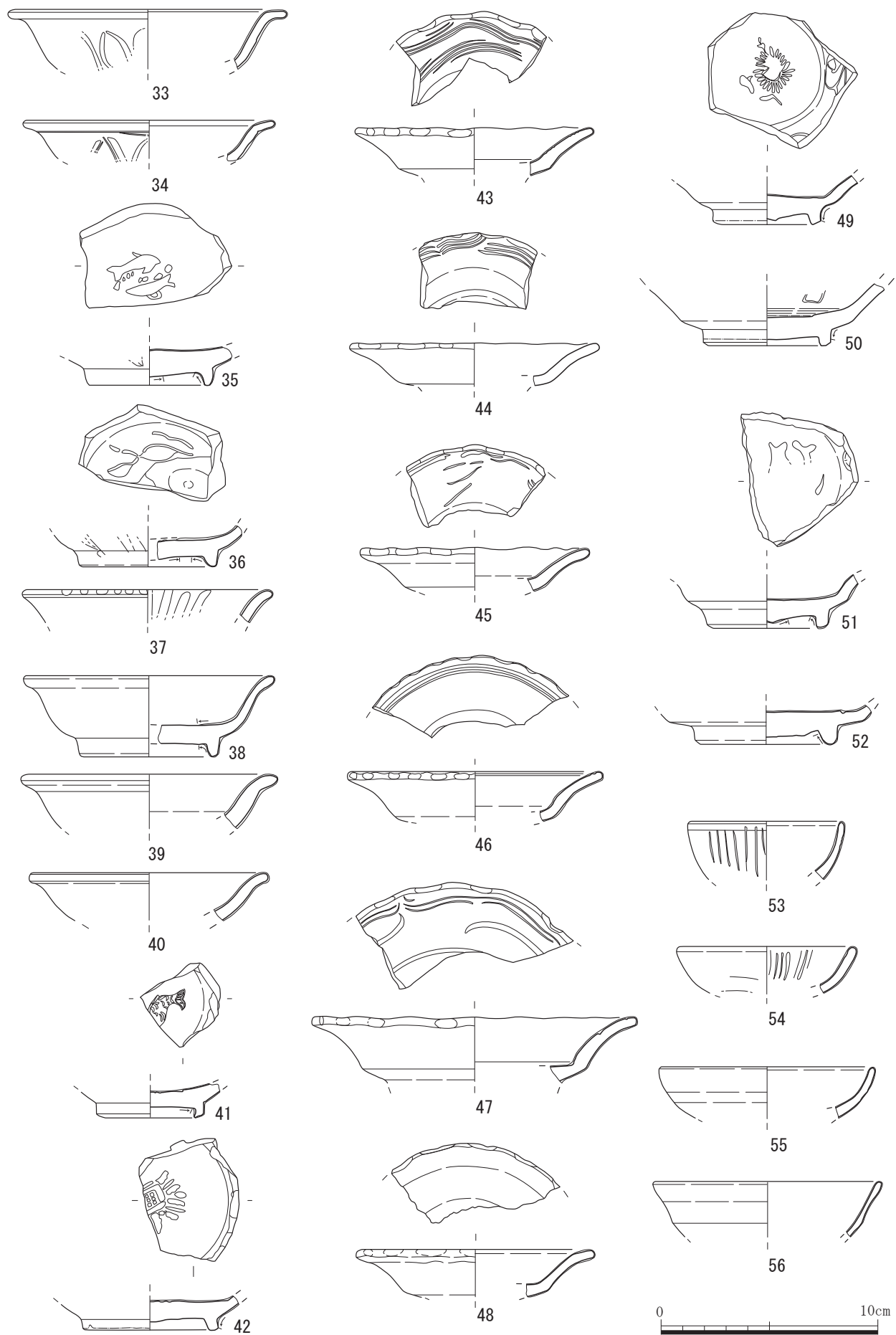




第109图 青磁2

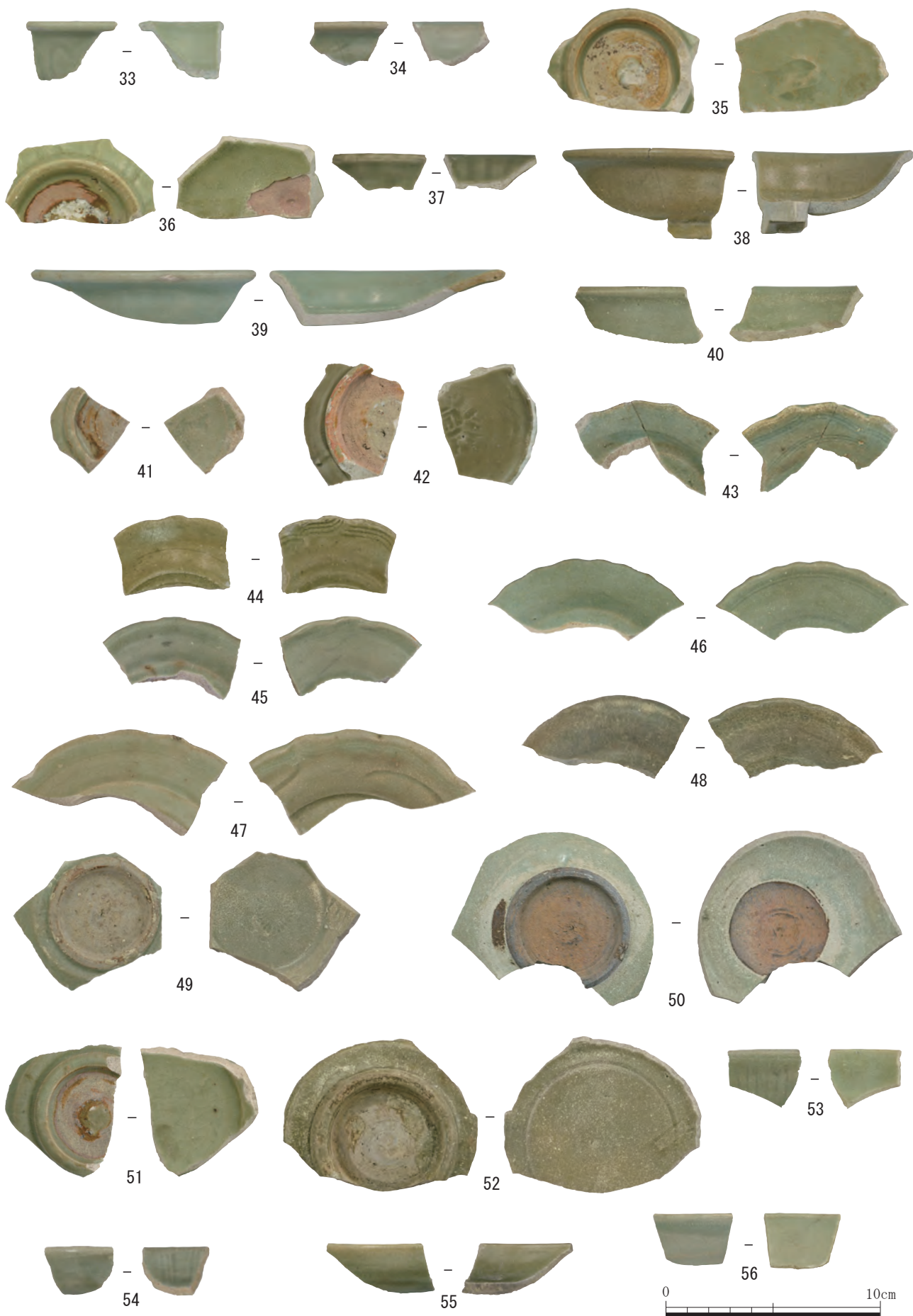


图版 47 青磁 2

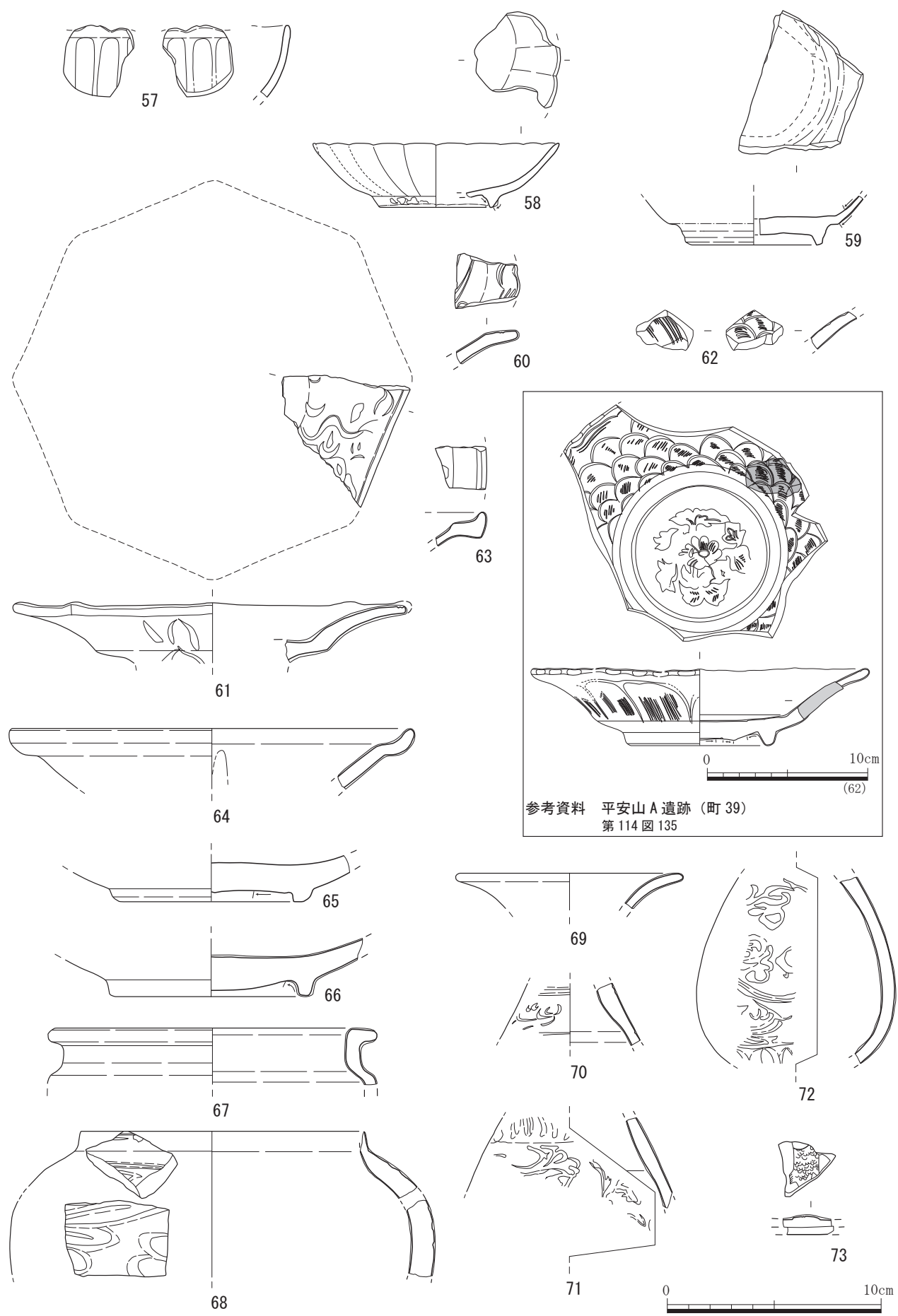


第110图 青磁3





图版 48 青磁 3



参考資料 平安山A遺跡(町39)  
第114図135

第111図 青磁4



图版 49 青磁 4



## (9) 染付

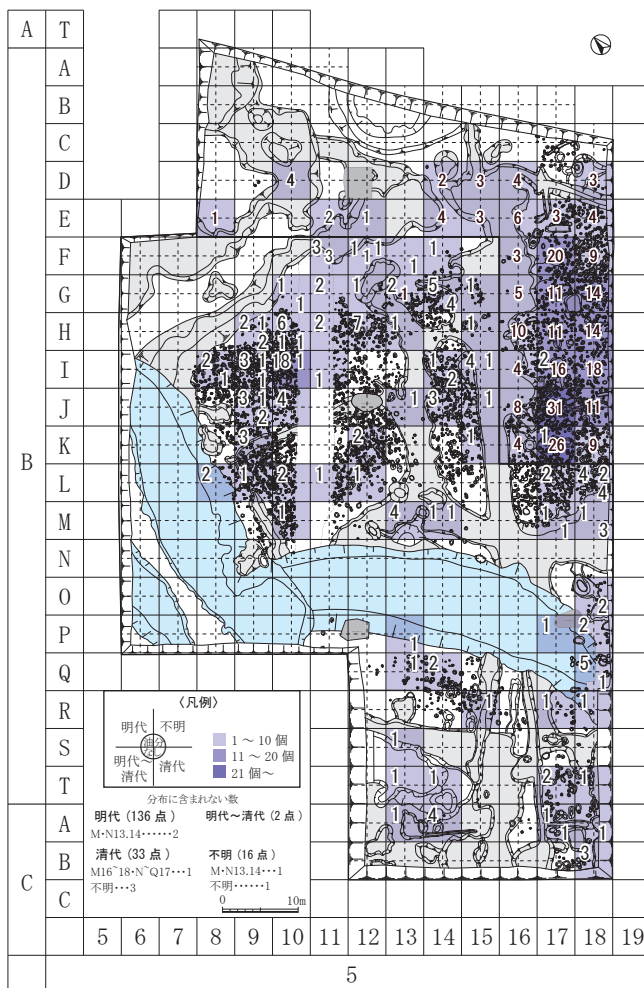
総数 187 点が得られ器種は碗、小碗、小鉢、皿、杯、瓶、蓋物の 7 種がある。(第 66～68 表) 生産地は景德鎮窯、福建・広東系があり景德鎮窯が多数を占める。生産年代は 15c～17c の明代から 17c 後半～19c の清代があり、不明 8.7%、清代 19.0%、明代のものが 72.3% で圧倒的な量であった。層位別の出土量はⅢ下遺構に明代の遺物の出土は集中している(第 113 図)。出土平面分布をみると明代が調査区中央と西南よりにやや集中し、清代は南北の周辺に分布をみせる(第 112 図)。分類は形態、成形方法、文様構成、施文範囲、釉調、素地により行い明代の編年は基本的に小野正敏(1982)に準拠する。以下に主なものを第 114・115 図、図版 50・51 に観察一覧を第 69 表に示した。

### 碗

総数 124 点が得られている。口縁から底部まで揃った資料は一点のみで、残りの分類は部位別に行った。口縁部が 7 類、底部が 5 類に分類できた。生産年代は明代に位置付けられるものと清代があり、明代が多い。

### 口縁部

**I 類:** 口縁が強い外反を示す。胴部は逆「八」の字状に外に開き立つ。外面に唐草文、亀甲文、雲堂手風の風景文、暗花文などを描き、口縁内面に四方櫛文、唐草文、雷文帯を施文している。図 1～4 生産地、景德鎮窯、1 は小



第 112 図 染付 平面分布

第 66 表 染付(碗) 出土量

年代 部位 分類 層	明代													清代							不明				合計													
	口~ 底	口							胴				底					口			胴	底																
		IVa	I	II	III	IVa	IVb	V <sub>a</sub>	V <sub>b</sub>	II or III	不明	II	III	V <sub>a</sub>	V <sub>b</sub>	不明	1 類	2 類	3 類	4 類	5 類	不明	I	V <sub>a</sub>		V <sub>b</sub>	VI <sub>b</sub>	VII	不明	V <sub>b</sub>	不明	4 類	5 類	IV <sub>a</sub>	IV <sub>b</sub>	VII	不明	不明
	層																																					
I																																			1	1	4	
II												2								1												1				1	5	
III <sub>a</sub>			1					1	2	1	1	2			2	1				1	1		5	1	1						2	1				1	1	25
III <sub>b</sub>			4	1	3					3						2				1	1	1	1						1		2						1	21
Ⅲ下遺構	1	5	1	3	1	2	1	5	6	2	5	1	1	5	1	4	2	1	1	1		1	1	1	2				2					1	1		6	63
IV															1																						1	1
V <sub>b</sub>				1						1																												2
不明																1													1									2
合計	1	10	2	7	1	2	2	8	11	1	4	7	1	4	8	1	4	2	3	3	1	2	1	8	2	2	3	1	7	1	1	1	1	1	1	9	1	124
年代別計										83										28							13				124							

野分類B群XVに、2は小野分類B群XIVに属すると考えられる。

**II類**：口縁は僅かに内湾した直口を示す。胴部は逆「八」の字状に外に開きながら立つ。口縁外面に波濤帯文、胴部に芭蕉葉文を施文している。口縁内面は圏線を巡らしている。生産地、景德鎮窯、小野分類C群Iに属する。図5、6

**III類**：口縁は直口を示す。胴部は直線的に外に開き立ち上がる。外面の文様は口縁の帯文と胴部文に分かれ施文され、口縁外面は波濤文などの帯文、胴部にアラベスク文やアラベスク崩文を描く、内面は圏線を巡らしている。生産地、景德鎮窯、小野分類D群IV、図7～9

**IV類**：口縁は直口で身部が浅い。口縁の外面の上位に圏線のみを巡らす無文aと草花文などを描く有文bとがある。生産地、福建・広東系、図15、16

**V類**：口縁は内湾気味の直口である。口縁の外面の上位に圏線のみを巡らす無文aと帯文の唐草文や草花文などを描く有文bとがある。生産地、福建・広東系、図17、18

**VI類**：口縁部は大きく外反する。腰、胴部に丸味を持ちながら立ち上がる。外面胴部に草花文や花唐草を描いている。生産地、福建・広東系、図19、22

**VII類**：口縁は直口し口唇は舌状。外面に一条圏線と花唐草文を描き、内面は口縁に二条圏線を配する。やや小型、生産地、福建・広東系、図23

#### 底部

**1類**：内底見込みは平坦で小さい内削りの高台である。畳付けの両測をへら削りされる。断面形態は細長い四角状である。見込みに捻子花文を描いている。高台内に施釉している。生産地、景德鎮窯、図10

**2類**：見込みがやや凹む形で高台は低く小さい。畳付けの両面から削り出し断面形態は三角状である。見込みに芙蓉や法螺貝、花卉を施文している。高台内は施釉される。生産地、景德鎮窯、図11、12

**3類**：腰折れで、高台は見込みを広くとり、径が大きい。内削りで畳付けの外側をへら削りし断面形態は細長く先端は三角状である。見込みに二条圏線と草花文を描いている。生産地、景德鎮窯、図13、14

**4類**：高台は外削りで断面形態は三角状を成す。見込みに花卉を施文している。生産地、福建・広東系、図20

**5類**：高台は外削りの断面形態が四角である。内、外底は共に露胎している。生産地、福建・広東系、図21

#### 小碗

口縁部1点、胴部1点、底部1点の3点が得られている。作図はない。殆は生産年代が18c～19cに位置付けられ、景德鎮窯であった。

#### 皿

総数39点が得られている。生産地は景德鎮窯産が殆どを占め、福建・広東系は僅かである。生産年代は15c後半～17c前半の明代から17c後半～19c代の清代がある。分類は4類に分類できII類は更に文様構成で三つに分かれた。

**I類**：腰に僅かな丸味を持ち外に開く口縁は外反。内底は平坦で、高台はへら削りで斜めに面が取られ、断面形態が三角状を成す。外面は唐草文を描き、高台に圏線。見込みに十字花文、玉取獅子、楼閣人物文等を描く。生産地、景德鎮窯。小野分類B1群VIに属すると考えられる。図24、25

第67表 染付(皿) 出土量

年代 部位 層 分類	明代																		明代~ 清代	清代			不明	合 計	
	口~底			口					胴				底						底	口	胴	底	底		
	IIA	IIB	IIC	I	IIA	IIC	IV	不明	I	IIA	IV	不明	I	II	IIA	IIB	IIC	4類	不明	III	不明	不明	不明		不明
I								1		1								1							3
IIIa		1		2				1	1				1		1								1	1	10
IIIb														1										1	
III下遺構	1	1	1		1	3	1	1				1	3	1	1	1		1	3	2				22	
不明												1	1								1			3	
合計	1	2	1	2	1	3	1	3	1	1	1	1	4	2	3	1	1	1	3	2	1	1	1	1	
年代別計	29																		2	3			1	39	

II類：「碁笥底」をもち口縁がかかるく内湾気味の直口を示す。生産地、景德鎮窯。

A：外面に波濤文帯、芭蕉葉文。内面に簡略の唐草文を描き、見込は捻子花を施文している。

小野分類C群I属すると考えられる。図29

B：外面に略化した字のような文様。見込は人形化した「寿」などの吉祥の字を描く。

小野分類C群III属すると考えられる。図30、31

C：外面は無文。見込み中央には釉の上に鉄分の多い土で魚形の貼り付け文を付している。

小野分類C群IV属すると考えられる。図32

III類：外面唐草文見込みに花卉樹石を描き、高台内に字款「富貴桂器」がみられる。生産地は景德鎮窯が考えられる。小野分類E群VIII類属すると考えられる。図35

IV類：口縁部が鏢状になる。胴部は丸味があり立ち上がる。器壁はやや厚い。外面に圈線と唐草文を施文し、口縁の鏢の上面に斜線の組み合わせの帯文（芝垣文）と胴部内面に唐草文を描いている。生産地は景德鎮窯が考えられる。小野分類F群属すると考えられる。図34

その他

図33は口縁が直口を成し外面に幅広の圈線、内面に四方禳文を描いている。底部形態は不明である。図26～28は内底面のみで全体の形態が不明な資料である。26は内底面がほぼ平坦で、見込みに桃果枝文を描く。27は内底面の中心がやや窪む、見込みに玉取獅子が描かれている。28は内底がやや窪み、見込みに人物文を外底に二条圈線に字款の大明が認められる。「大明年造」の可能性はある。いずれも生産地、景德鎮窯。28は小野分類B2群VIII属する可能性がある。

小鉢

小鉢1点が得られている。図36は腰折れの高台はへら削りで斜めに面が取られ、断面形態は三角

第68表 染付(小碗・小鉢・杯・瓶・蓋) 出土量

器種 年代 産地 層	小碗			小鉢	杯				瓶		蓋	合 計		
	明代		不明	明代	明代			清代	明代		不明		明代	
	景德鎮窯		不明	景德鎮窯	景德鎮窯		福建	景德鎮窯	景德鎮窯	景德鎮窯	不明		福建・広東系	
	口	胴	底	底	口~底	口	底	口	胴	胴	底	胴	亀甲	
I			1											1
IIIa							1			2				3
IIIb						1	1							2
III下遺構			1	1	2			2	1	4	1	1	1	14
不明	1									3				4
合計	1	1	1	1	2	1	2	2	1	9	1	1	1	24
器種別計	3			1	8				11		1			

状。外面に如意頭繫文を巡らしている。見込みに蓮華文を描いている。生産地は景德鎮窯、生産年代は16c前半～中葉に位置付けられる。

**杯**

総数8点が得られている。生産地に景德鎮窯と福建があり、生産年代は明代と清代があり、明代が多数である。図37は胴部が徐々に広がり立ち、口縁は外に折り返すような外反を示す。

図39～41は口縁が直口を示すもので。外面は39が蛟龍文を40、41は花唐草文や草花文を描いている。内底の見込み文には38の三神山文や40、41の花弁や葉文がみられる。景德鎮窯で生産年代は16c後～17c前の幅で位置付けられる。図42、43は福建の外反口縁はである。生産年代は16c～17c前に位置付けられる。

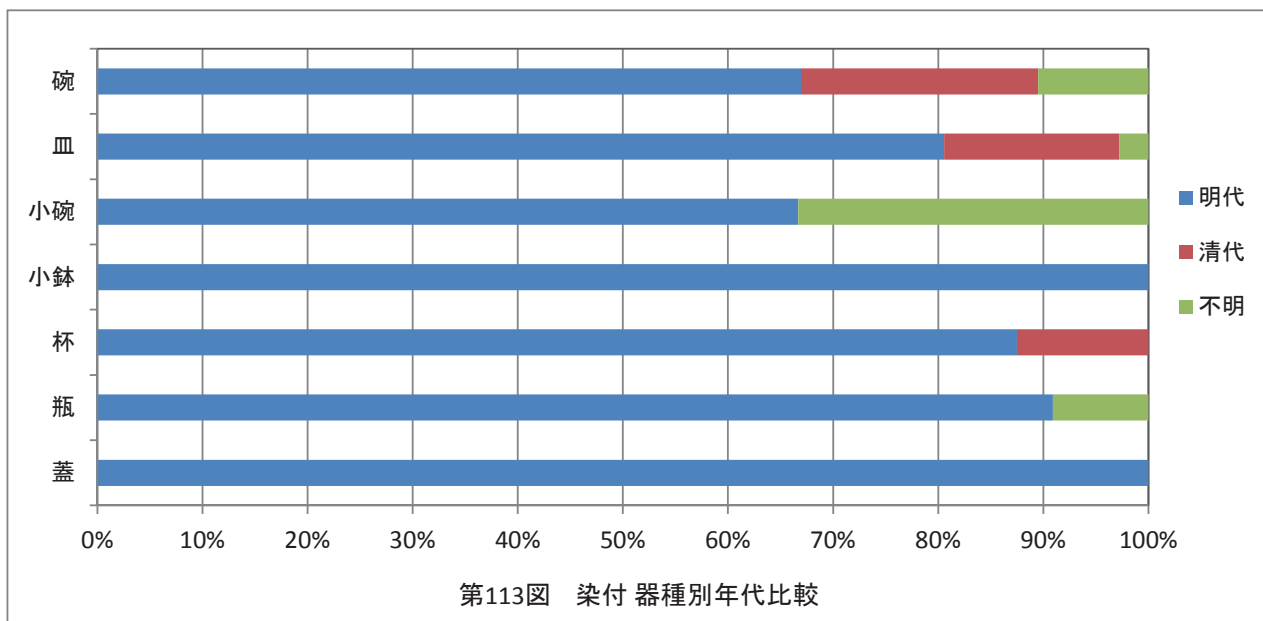
**瓶**

総数11点出土した。生産地は景德鎮窯があり、生産年代はおもに明代である。図44～46は玉壺春瓶が考えられる。44は口縁の先端を失ったものであるがラップ状に外に開き外反する形態になると考えられる。外面は蕉葉文を描き頸部に雷文帯巡らしている。45は頸部に向かい「八」の字状に窄む肩を有する。外面に二種類の唐草文を圏線で挟み描いている。46は胴部が下部膨れ状の形態で、外面に圏線と牡丹唐草文を描いている。

47は腰部に丸味を持ち、高台は外削りで断面形態は三角状である。外面に如意頭繫文を巡らしている。いずれも生産年代は16c。生産地は景德鎮窯である。

**蓋物**

1点得られている。図48は鏝付きの亀甲状の形態で甲部中央に摘まみを取りつき裏面に輪状の突起(かかり)を有する。裏面は露胎している。外面は摘まみ部を取り巻き蓮弁文を描いている。瓶の蓋が考えられる。生産年代は16c後半～17c初め。生産地は福建・広東系である。





第69表-1 染付 観察一覧

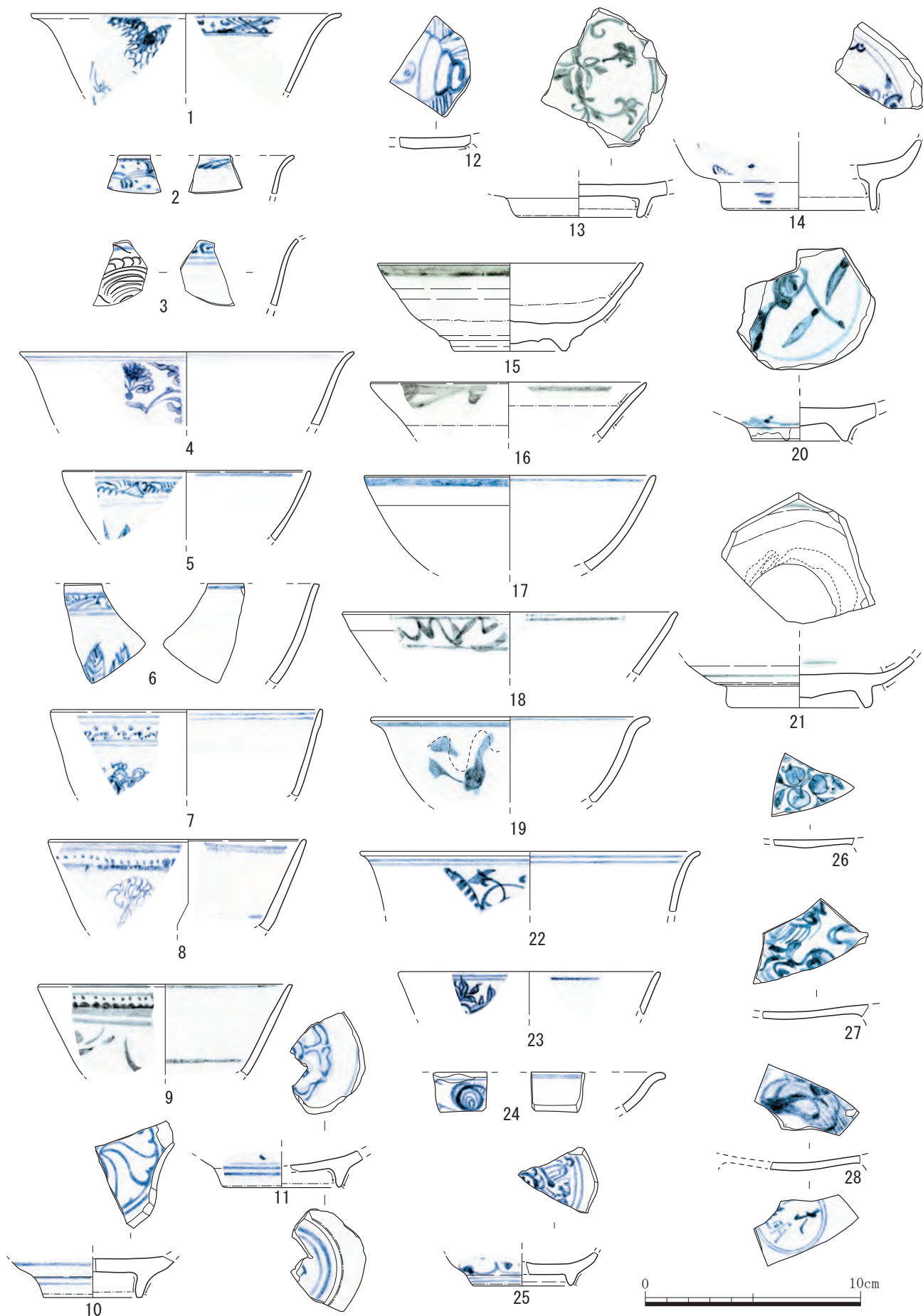
(法量単位:cm)

第図 図版	図 番号	分類	器種	部位	口径 底径 器高	器形 文様構成	釉・呉須・貫入	素地 色・質	年代 産地	グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号
第 114 図・ 図版 50	1	I	碗	口	14.4 — —	胴部は逆「八」の字状に開き、口縁部は大きく外反する。口唇は舌状を成す。外面に雲堂手風の風景文、口縁内面に四方樺文を施文している。小野分類B群X V	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	15c中葉～16c初め 景德鎮窯	J10 IIIb(包2) 台2349
	2		碗	口	— — —	口縁部は大きく外反する。口唇は破損のため不明。外面に亀甲繫ぎ文を描き、口縁内面に四方樺文を施文している。小野分類B群X IV	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	15c～16c 景德鎮窯	G14 IIIb(包2) 台2271
	3		碗	口	— — —	口縁部は大きく外反する。口唇は舌状を成す。外面に圏線と波濤文状の暗花文を描き、口縁内面に雷文帯と圏線を施文している。	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	15c～16c 景德鎮窯	H11 III下(2597P) 台2989
	4		碗	口	15.6 — —	胴部直線的、口縁部は大きく外反する。口唇は舌状を成す。外面に花唐草文を描く。	淡灰白色 呉須の発色は薄い	灰色 黒色微粒混入 細	15c～16c 景德鎮窯	L8 IIIa(包1) 台2330
	5	II	碗	口	11.6 — —	胴部は逆「八」の字状に開き、口縁で僅かに内湾し立つ。口唇は丸い。外面に波濤文帯と芭蕉葉文を描き、口縁内面は圏線を巡らしている。小野分類C群 I	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c前～中葉 景德鎮窯	G14 IIIb(包2) 台2271
	6		碗	口	— — —	胴部は逆「八」の字状に開き、口縁で僅かに内湾し立つ。口唇は四角状。外面に波濤文帯とアラベスク文を描く。口縁内面は圏線を巡らしている。小野分類C群 I	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c初～中 景德鎮窯	H12 III下(2658P) 台2924
	7	III	碗	口	12.6 — —	胴は僅かに開き直線的に立つ、口縁は直口し僅かに肥厚している。口唇はやや尖る。外面に波濤文帯とアラベスク文を描く、内面口縁は圏線を巡らす。小野分類D群IV	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	15c～16c前 景德鎮窯	H10 IIIb(包2) 台2340
	8		碗	口	12.0 — —	胴は直線的に外開き立ちあがる。口縁は直口。口唇は舌状を成す。外面に波濤文帯とアラベスク文を描く、内面は口縁と見込みに圏線を巡らす。小野分類D群IV	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c前～中葉 景德鎮窯	H10 IIIb(包2) 台2340
	9		碗	口	11.8 — —	胴は直線的に外に開く、口縁は直口。口唇は舌状を成す。外面に波濤文帯とアラベスク文を描く、内面は口縁と見込みに圏線を巡らす。小野分類D群IV	灰白色 呉須の発色は濃い	灰白色 黒色微粒混入 密	16c前～中葉 景德鎮窯	H10 III下(4285SK) 台3813
	10	1	碗	底	— 4.6 —	高台は内割りでやや小さい、畳付けの両測をへら削りされる。断面形態は四角。高台内にも施軸されている。外面に圏線、内底見込みに二条圏線と捺子花文を描いている。	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	15c中葉～16c初め 景德鎮窯	L9 III下(3069P) 台3298
	11	2	碗	底	— 5.2 —	見込みややや凹む形で高台は低く小さい。畳付けはへらで面取りされ、断面形態は三角。高台内にも施軸されている。見込みに芙蓉を施文。	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c 景德鎮窯	H10 III下(3579P) 台3797
	12		碗	底	— — —	内底はやや丸味を持ち、見込みに法螺貝文を施文。	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c前～中葉 景德鎮窯	T13 III下(4681SX) 台4800
	13	3	碗	底	— 6.4 —	見込みを広くとった径の大きな高台を持つ、高台は内割りで畳付けの外側にへら削りし、細長く先端は三角。内底見込みに二条圏線と草花文を描いている。	灰白色 呉須の発色は濃い	白色 黒色微粒混入 密	15c中葉～16c初め 景德鎮窯	K12 III下(2215P) 台3008
	14		碗	底	— 7.2 —	腰折れ。見込みが広く高台径が大きく、高台は細長く先端は三角。外面は圏線、見込みに草花文を描く。	淡青白色 呉須の発色は濃い	白色 黒色微粒混入 密	15c中葉～16c初め 景德鎮窯	L11 III下(1689SK) 台3279
	15	IVa	碗	口～底	12.4 5.2 4.1	口縁が直口の浅い碗。口唇は角状、外面の上位に圏線を巡らす。轆轤痕が顕著で軸は外面は腰まで、内面は見込みまで施している。高台は外割りで断面形態は三角状、外底は兜巾状に削り出し中心が尖る。	淡灰白色 呉須の発色は普通	灰色 黒色微粒混入 細	16c 福建・広東系	Q18 III下(1543SK) 取115 台3329
	16	IVb	碗	口	12.8 — —	口縁が直口の癩形碗。口唇は舌状、外面の上位に圏線を巡らす。内面は圏線を口縁と見込みに配し、軸は外面は腰まで、内面は見込みまで施している。	淡灰白色 呉須の発色は普通	灰色 黒色微粒混入 細	16c後～17c 福建・広東系	L18 III下(1461P) 台2497
	17	Va	碗	口	13.6 — —	口縁が直口の碗。口唇は丸状、外面の上位に圏線を巡らす。	淡灰白色 呉須の発色は薄い	灰色 黒色微粒混入 細	16c～17c 福建・広東系	F14 IIIa(包1) 台2202
	18	Vb	碗	口	15.6 — —	口縁は直口し、口唇は舌状。外面に唐草帯文を巡らし、内面は圏線のみ。軸は外面は腰まで内面は見込みまで施している。	淡灰白色 呉須の発色は普通	灰色 黒色微粒混入 細	16c～17c 福建・広東系	R17 III下(4602P) 台4457
	19	VIb	碗	口	13.0 — —	口縁部は大きく外反する。外面胴部に草花文。	淡灰白色 呉須の発色は薄い	灰色 黒色微粒混入 細	18c 福建・広東系	G14 III下(2916P) 台2864
	20	4	碗	底	— 4.4 —	高台は外割りで断面形態は三角状。見込みに花卉を施文している。	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c後 福建・広東系	M13 IIIa(包1) 台2130
	21	5	碗	底	— 6.8 —	高台は断面形態が四角状を成し、軸は外面は腰まで内面は見込みまで施している。	淡灰白色 呉須の発色は普通	灰色 黒色微粒混入 細	16c後～17c 福建・広東系	R18 III下(4597P) 台14540
	22	IV	碗	口	15.8 — —	口縁は外反し口唇は舌状。外面に二条圏線と花唐草文を描き、内面は口縁に二条圏線を配する。	淡灰白色 呉須の発色は薄い	灰色 黒色微粒混入 細	不明 福建・広東系	J13 IIIa(包1) 台2175
	23	VII	碗	口	12.2 — —	口縁は直口し、口唇は舌状。外面に花唐草を施文している。やや小型	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	18c～19c 福建・広東系	不明 III下 台14772
	24	I	皿	口	— — —	胴部に丸味を持ち口縁部は外反する。外面胴部に宝珠唐草文を描いている。	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 細	15c～16c 景德鎮窯	G14 IIIa(包1) 台2182
	25		皿	底	— 5.0 —	高台はへら削りで斜めに面が取られる。外面は唐草文を描き、高台に圏線。見込みに十字花文を描く。小野分類B1群VI	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 細	15c末～16c前 景德鎮窯	M10 III下(2990P) 台3218

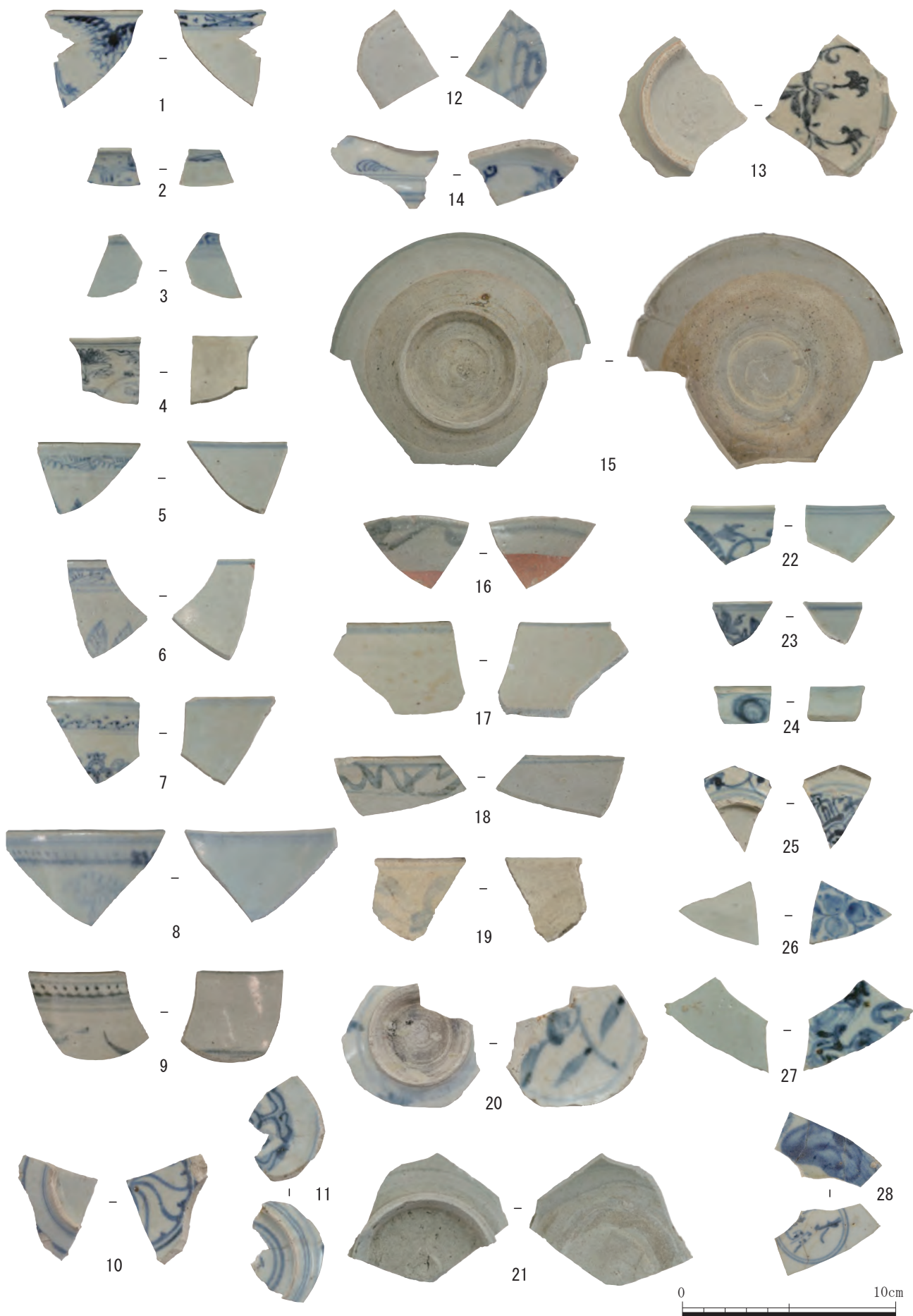
第69表-2 染付 観察一覧

(質量単位:cm)

第図 図版	図 番号	分類	器種	部位	口径 底径 器高	器形 文様構成	釉・呉須・貫入	素地 色・質	年代 産地	グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号
第 114 図・ 図版 50	26	—	皿	底	— — —	内底面のみで全体の形態が不明な資料である。内底面がほぼ平坦で、見込みに桃果枝文を描く。	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	15c後~16c前 景德鎮窯	K12 Ⅲ下 (4150P)
	27		皿	底	— — —	内底面のみで全体の形態が不明な資料である。内底面の中心がやや窪む、見込みに玉取獅子が描かれている。I類に属する可能性が高い。	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	15c後~16c前 景德鎮窯	J14 Ⅲ下(2096P) 台2706
	28		皿	底	— — —	内底は蓮通心。内底面見込みに人物文を、外底に二条圏線に「大明年造」の字款の内大明が認められる。小野分類B2群Ⅶ	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c 景德鎮窯	I10 Ⅲ下 (3681P) 台3732
第 115 図・ 図版 51	29	II A	皿	口~底	10.6 3.0 2.4	「基筋底」をもち口縁がかかる内湾気味直口。外面に波濤文帯、芭蕉葉文。内面に簡略の唐草文を描き、見込みは捻子花を施文している。小野分類C群 I	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c前~中葉 景德鎮窯	I9 Ⅲ下 (4080SK) 台3808
	30	II B	皿	口~底	11.8 2.8 2.8	口縁がやや内湾気味の直口で底部は基筋底。外面に略化した字のような文様。見込みは人形化した「寿」などの吉祥の字を描く。小野分類C群Ⅲ	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c前~中葉 景德鎮窯	M14 Ⅲa (包1) 台2135
	31		皿	口~底	12.4 4.0 3.2	口縁が僅かに内湾気味の直口で底部は基筋底。外面は無文。見込みは人形化した「寿」の字を描く。小野分類C群Ⅲ	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c第2・3 第四半期 1525年~1575年 景德鎮窯	K8+I11+L8+S13 Ⅲ下 Ⅲa I 3356SK 2491P 包1 表土 台3560.3112.2330.4347
	32	II C	皿	口~底	10.8 2.8 3.0	口縁が内湾気味の直口。底部は基筋底。外面は無文。見込み中央には釉の上に鉄分の多い土で魚形の貼り付け文を付している。小野分類C群Ⅳ	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c第2・3 第四半期 1525年~1575年 景德鎮窯	A14 Ⅲ下 (4681SX) 台4767
	33	—	皿	口	— — —	口縁がやや内湾気味直口。外面無文、内面に四方標文を描く。器壁は厚目。	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c~17c 福建・広東系	J9 Ⅲ下(3516P) 台3525
	34	IV	皿	口	21.4 — —	胴部は丸味があり立ち上がる。口縁は斜めの鏝を成す。器壁はやや厚い。外面に圏線と唐草文を施文し、口縁の内面に綾杉帯文と唐草文を描いている。小野分類F群中皿	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	15c後~16c前 景德鎮窯	L17 Ⅲ下 (1392SK) 台2427
	35	III	皿	底	— 10.8 —	外面に唐草文、見込みに花卉樹石を描き、高台内に字款「富貴柱器」がみられる。小野分類E群Ⅶ類中皿	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c後~清 景德鎮窯	H・I10+T14 Ⅲ下 (3680SK) (4681SX) 台3775・4834
	36	—	小鉢	底	— 3.6 —	腰折れで胴は筒型。高台は外側からヘラ削りし、断面形態は三角状で華奢な作りである。高台内側の付根に輪状の窪みがあり、露胎。外面は高台、腰部に圏線と蓮弁文を巡らす。内底見込みに二条の圏線と蓮華東文を描いている。	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c前~中葉 景德鎮窯	H12 Ⅲ下 (2665P) 台2839
	37		杯	口	5.4 — —	胴部は直線的に立ち上がり、口縁は上位で外に折るような外反。口唇は舌状である。外面に蛟龍を描く。口縁内外圏線。薄手。	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c後~17c前 景德鎮窯	I10 Ⅲb (包2) 台3867
	38		杯	底	— 4.4 —	高台は外側から三角状にヘラ削りし、内底に三神山文、外底に「福」の字款を施している。	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c後 景德鎮窯	J10 Ⅲb (包2) 台2349
	39		杯	口~底	5.2 2.4 2.9	胴部は内湾気味に立ち上がり口縁は直口。口唇は舌状である。口唇は舌状。外面に蛟龍を描き、内底は折れ枝外底に梵字文を描く。	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c末~17c前 景德鎮窯	M・N13・14 Ⅲ下 (1634SX) 取146 台3561
	40		杯	口~底	5.6 2.4 3.35	腰部に丸味を持ち口縁は直で立つ。口唇は尖る。高台は畳付けをヘラで削る。外面に花唐草を描き、見込みに山水文を描く。	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	17c前 景德鎮窯	I10 Ⅲ下 (3572P) 台3691 取155
	41		杯	底	2.0	腰部は丸味を持つ。高台の外側に斜めに削り出し、畳付けは内側に向かい斜めに削り取る。外底は露胎する。外面に草花文を描き、見込みに圏線と葉文を描く。	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	17c前半頃 景德鎮窯	M13 Ⅲa (包1) 台2171
	42		杯	口	5.8	胴部は内湾気味に立ち上がり口縁は直口。口唇は丸い。外面に花文を描く。口縁内外圏線。薄手。	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c~17c前 福建	Q14 Ⅲ下 (4646SK) 台14524
	43		杯	口	7.9	胴部は内湾気味に立ち上がり口縁は直口。口唇は丸い。外面に花文を描く。口縁に圏線を描くが内側は軸垂れしている。	淡青白色 呉須の発色は濃	灰色 黒色微粒混入 細	16c後~17c前 福建	K15 Ⅲ下 (1867SK) 台2611
	44		瓶	胴	— — —	口縁は外側にラッパ状に開く瓶と考えられる。口唇は破損のため不明である。外面は頸部に雷文帯を巡らし、口縁に向かい芭蕉葉文を描く。	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c 景德鎮窯	F11 II (0008SF) 台57
	45		瓶	胴	— — —	外面に二種の唐草文を圏線を挟み描いている。肩部内面に繋ぎ痕。	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c 景德鎮窯	L8 Ⅲa (包1) 台2330
	46	瓶	胴	— — —	胴部が下膨れに丸味を持ち、胴部外面の上下段に二条圏線を描き、中に牡丹唐草文を描いている。	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	15c~16c 景德鎮窯	T14+K9 Ⅲ下+表土 (4681SX)(3385P) 台4832.3536.4269	
47	瓶	底	8.4	断面形態は台形。高台は畳付けを露胎し内底は薄く施釉される。腰部外面に宝珠帯文を描いている。	淡青白色 呉須の発色は普通	白色 黒色微粒混入 密	16c 景德鎮窯	不明 II (4710SZ) 台14612		
48	蓋	蓋	3.8	鏝付きの亀甲状の形態で、甲部中央に摘まみがりつき、裏面に管状の突起を有する。裏面は露胎している。外面は摘まみから同心円状に蓮弁文を描いている。瓶の蓋が考えられる。	淡青白色 呉須の発色は普通	灰色 黒色微粒混入 細	16c後~17c初め 福建・広東系	Q14 Ⅲ下 (1587SK) 台3905		

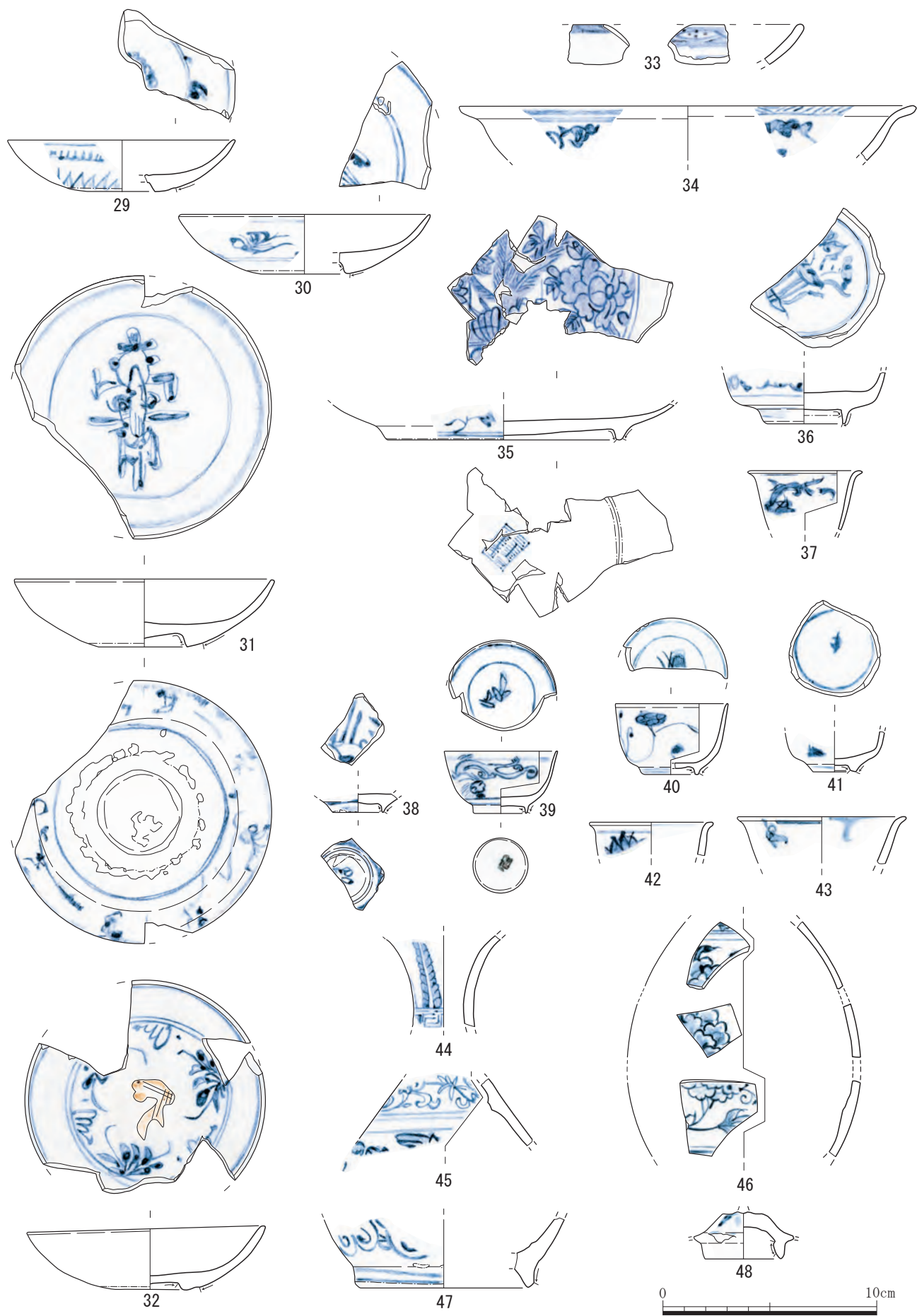


第114图 染付1

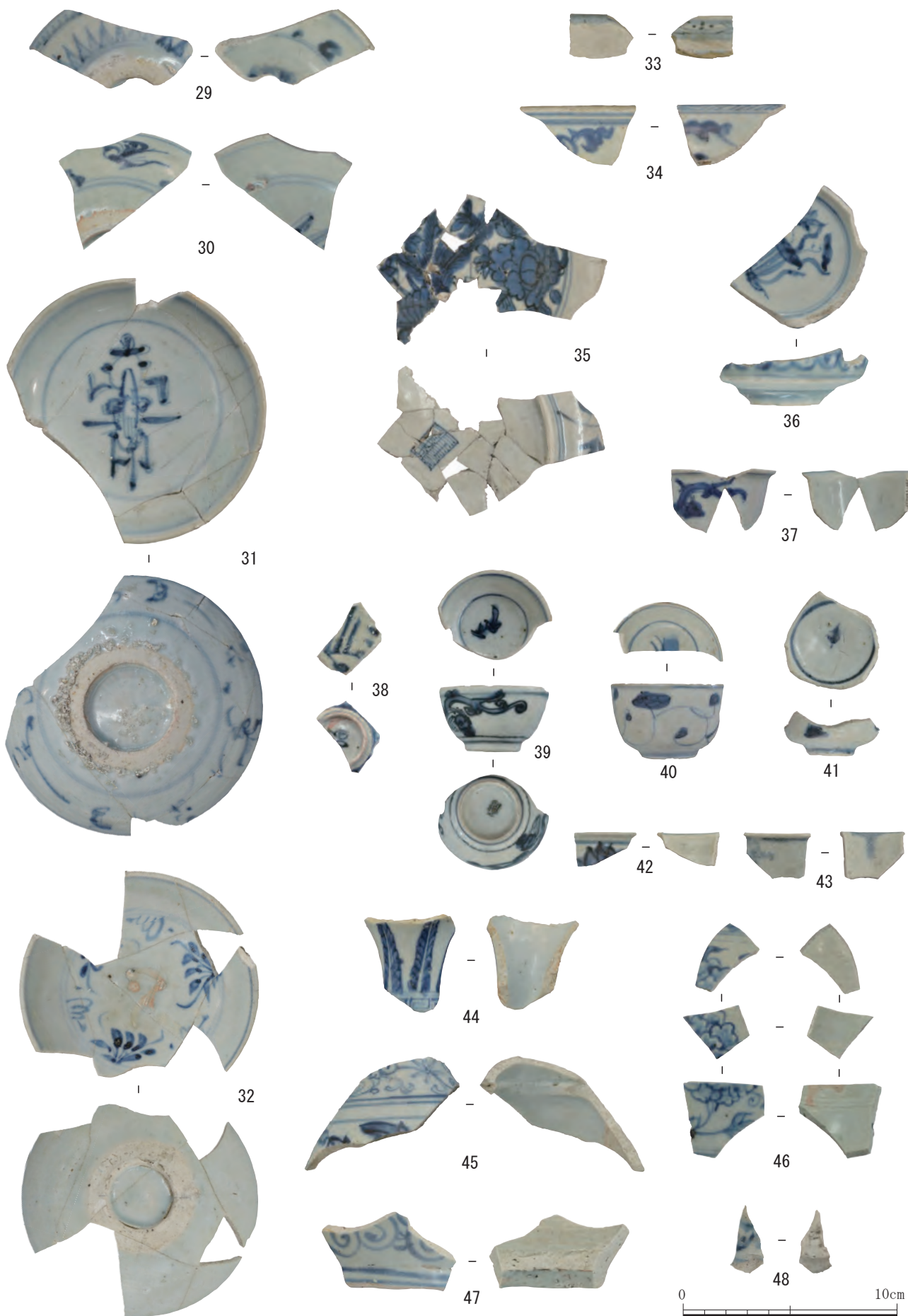


图版 50 染付 1





第115图 染付2



图版 51 染付 2

## (10) 褐釉陶器・半練土器

総数 450 点、中国産は壺、瓶、水注、袋物、壺 or 鉢 or 甕が 352 点、タイ産は壺、瓶、壺 or 甕が 93 点、東南アジア産の壺が 1 点、タイ産半練土器の壺の胴部 1 点と蓋が 2 点、生産地不明の壺が 1 点得られている。層位別出土量はⅢ層下遺構が多くⅢ a、Ⅲ b 層と続く（第 70・72 表）。平面分布は中国産、タイ産共に北と南が少なく西と東に遺物の集中がみられたが、タイ産は強いて言えば西側にやや集中している（第 116 図）。壺・甕類の分類は形態、釉、素地から行ったが全形を窺える資料が得られていないことから、形態分類は首里城京の内（1998）、首里城御内原（2010）の資料を参考に行った。生産年代は京の内倉庫跡出土の褐釉陶器が 15c 前半から 15c 中葉以前に搬入されたことを示していることから、ほぼ同様の 14c～16c を中心とした明代に収まる。

褐釉陶器の壺・甕は単独に商品としてと、容器そのものが輸入品ではなく茶葉、胡椒などの香料、タイ産の香花酒などの輸入物資の容器として使われたと考えられている。タイ産の大型壺に内面施釉がほぼないことと中国産の大型壺の施釉率が高いことは容器として考えると、内容物の違いに起因するものかと考えるが、輸入物資（内容物）の違いだけではなく、例えば同じ酒類でも醸造酒（紹興酒）等の貯蔵型の酒類など貯蔵方法の違いによる可能性はないだろうか。

### 中国産褐釉陶器

総数 352 点得られ、器種別に壺 348 点、瓶 1 点、水注 1 点、袋物 1 点、壺 or 鉢 or 甕 1 点があった。壺 343 中 82 点はサイズ不明であった。壺の法量と内面の釉薬の有無は輸入物資（内容物）の違いが関係している可能性を考え、法量と共に分類の判断材料に加えた。大型壺が 97%、中型は 46%、小型は 60% となり中型に内面施釉率がやや低いことが分かる（第 70 表）。

#### 壺・甕類

##### I 類：大型（14c～16c）

総数 192 点得られた。形態が a・b に分かれる。

a：は肩が張り、器の最大径が胴上部にある。頸部は内向し、口縁は外側に折り返し外に張り出す鏝を持つ。口縁部の断面形態は方形状。底部は全面釉、全体の大きさに対して比較的底径が小さい、上げ底である。器面は轆轤痕が顕著である。

第70表 褐釉陶器(中国産) 出土量

器種 大きさ 部位	壺												瓶	水注	袋物	壺or鉢 or甕	合計
	大				中			小			大or中or小						
	口	胴	底	耳	口	胴	底	口	胴	底	胴	底					
I		11			1	2						4					18
II		2	1			1			1			1					6
III		1															1
IIIa	1	55	2		1	10		1	4	1	18			1			95
IIIb	3	35	1		3	3	1		4		16						66
III下遺構	1	60	3	1	6	18	4		3	2	29	2	1				130
IV		6				3	1				9				1		20
Vb		6				1					2						9
Vc												1					1
不明		3				2			1								6
合計	5	179	7	1	11	40	6	1	13	3	79	3	1	1	1	1	352
器種別計	348												1	1	1	1	352

図1～3は頸部が内向し、斜め上面に引き上げ、口縁を外側に折り返し、鏝縁を成す。鏝の上面が平坦になり先端は丸い。図4～7は立ち上がりで一旦くびれ、逆「八」の字状に外に開く。6の外底は上げ底、外面はいずれも轆轤痕が顕著である。

**b:** は全形がハート型に近い形態で器の最大径が胴上部にある短頸の大型四耳壺である。図27は水平の肩に貼付される縦耳が考えられる、外面に白釉なのか変色か白色釉を施し、内面に泥釉を塗布している。図8、9は底部資料で、9は内外面が露胎し、底面はやや上げ底、立ち上がって急激に広がる。内面に轆轤痕が認められる。

図26は壺か甕の不明胴部片で、肩より下あたりにひだ状の粘土帯を巡らしている。

**II類：中型 (14c～16c)**

総数58点が得られた。無頸と短頸があり、口縁部の上端部を外側に折返し鏝縁状を成すものと玉縁状がある。口径は10cm前後が多数を占め、殆どが器面は良く調整されるが、轆轤痕を多く残すものもみられた。内面は泥釉を塗布していることが多い。

**A：短頸 (図10～15)**

頸部が内向し、口縁を外側に折り返す。口縁断面形態 a：菱形状、b：三角形状、c：台形状。

図10は肩が張り頸部は内向し引き上げ口縁部は外に折り返して断面形態は菱形状である。肩部に横耳を貼付している。図11～12は頸部を上面に引き上げ筒状に立つもので、11の口縁は上面に平坦面を持つ鏝状。断面形態は三角形状を成す。図13～15は肩が張り頸部は短頸で内向し引き上げ口縁部は外に折り返して鏝状を成す。断面形態は三角形状である。

**B：無頸 (図16～18)**

胴部が窄まり口縁に至る。口縁断面形態は a：玉縁状、b：三角形状、c：楕円形状。

図16は口縁が内向し外に折り返す、鏝縁状で断面形態は三角形状である。図17の口縁は内向し先端を外側に折り返し玉縁状に成形、肩部に横耳を貼付している。図18は胴部に丸味があり口縁は内向し外に折り返す。鏝縁状を成し、口縁の断面形態は楕円形状である。

図19～25は器の最大径が中位よりやや上にくるタイプの中型の底部と考えられる。器面は比較的薄く内面は泥釉を掛けるものがある。23～25は底部無釉、19～22は底部の内面に泥釉を掛けている。

**第71表 褐釉陶器(中国産・壺釉) 出土量**

大きさ 部位 層	大								中								小						大or中or小				合計		
	口		胴		底		耳		口		胴		底		口		胴		底		胴		底						
	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×					
I			10	1					1			1		1									1	3			18		
II			2		1							1						1					1				6		
III			1						3																		4		
IIIa	1	55				2				1	3	4	1	2			1	2	1	1		1	12	3	3		93		
IIIb	3	35			1							1				1	1	3					15	1			63		
III下遺構	1	60			1	2		1	4	2	8	10			1	2	2		2	1		1	18	11		2	129		
IV			6									1	2										9				19		
Vb			6											1									1		1		9		
Vc																										1	1		
不明			3								1	1							1								6		
合計	5	178	1	3	2	2	1		8	3	15	20	1	4	1	3	3		2	7	4	1	1	1	57	18	4	3	348
分類別計	192								58								16						82						

※○：施釉、×：無釉(左：外面・右：内面)



図 26、28 は胴頸部片で、28 は短頸の肩に横耳を貼付している。26 は胴部が砲弾状になることが考えられる。

### Ⅲ類：小型 (14c ~ 16c)

総数 15 点が得られた。図 31 は肩が丸く無頸である口縁は外側に丸める様に折り曲げる。断面形態は逆「し」の字状を成す。図 32 は底径が 6 cm の小型壺と考えられる。外面に轆轤痕を多く残す。

図 24 は底径が 8 cm で底面はやや平坦で、立ち上がりはくびれて外に開く。器壁はやや薄い。図 29 は肩が張り、外面は轆轤痕の様な段を有するが、上に掛けた釉の厚薄で色の濃淡が変わり同心円の縞模様をみせている。

### 水注

1 点得られ、図 33 は肩が張り、口縁の断面形態は逆向きの「F」字状になり上面は平坦で内面は蓋受けの鏝を有する。

## タイ産褐釉陶器

タイ産褐釉陶器は総数 93 点得られた。壺は大型 67 点、中型 20 点、小型が 4 点、壺 or 甕の大型と考えられる破片が 1 点、瓶 (小) が 1 点得られている。いずれも明代に位置付けられる。

### 大型壺

図 38 は肩が張り頸部の付け根に陽圏線を巡らしている。口縁部がラップ状に外に大きく開くタイプで、今回このタイプの口縁資料の出土はなかったが、口縁部上端部を鏝縁状に摘み上げラップ状に大きく外に開く、シーサッチャナライ窯の長頸四耳壺と考えられる。

図 34 は口縁が肩部から大きくラップ状に外反する。頸部の最小径の位置が中央部にあるものと、中央よりやや上にあるものとある。図 42 はなで肩で上面に横耳を貼付している。図 39 は底径が大きくフラットである。

### 中型壺

図 35 は口縁の先端を外側から内側に折り曲げている。楕円形の玉縁。図 40 は胴部が砲弾状で、最大径は胴上位にあり、横耳を貼付している。図 41 は肩に丸味を持ち胴上位に付く横耳で、四耳壺と考えられる。

図 36、37 に示すものは底部資料である。36 は立ち上がりにやや丸味を持ち、緩やかである。37 の立ち上がりはやや開き直線的である。

第72表 褐釉陶器(タイ産・東南アジア産・不明)・タイ産半練土器 出土量

産地 器種 大きさ 部位	タイ産										東南アジア	不明	合計	半練		
	壺					壺or甕	瓶	壺	壺	壺				壺		
	口	胴	底	胴	底	外耳	口	胴	底	胴	胴	胴		胴	胴	胴
I		4		2										6		
II		2							1					3		
IIIa		12	1	3			1			1				18		
IIIb		9		1				1			1			12		
III下遺構	1	24	3	7	2	1		1				1	1	41		1
IV		8		1										9		1
Vb		3												3		
不明				2		1								3	1	
合計	1	62	4	16	2	2	1	2	1	1	1	1	1	95	1	2
産地別計	93										1	1	95	3		

### 小型瓶

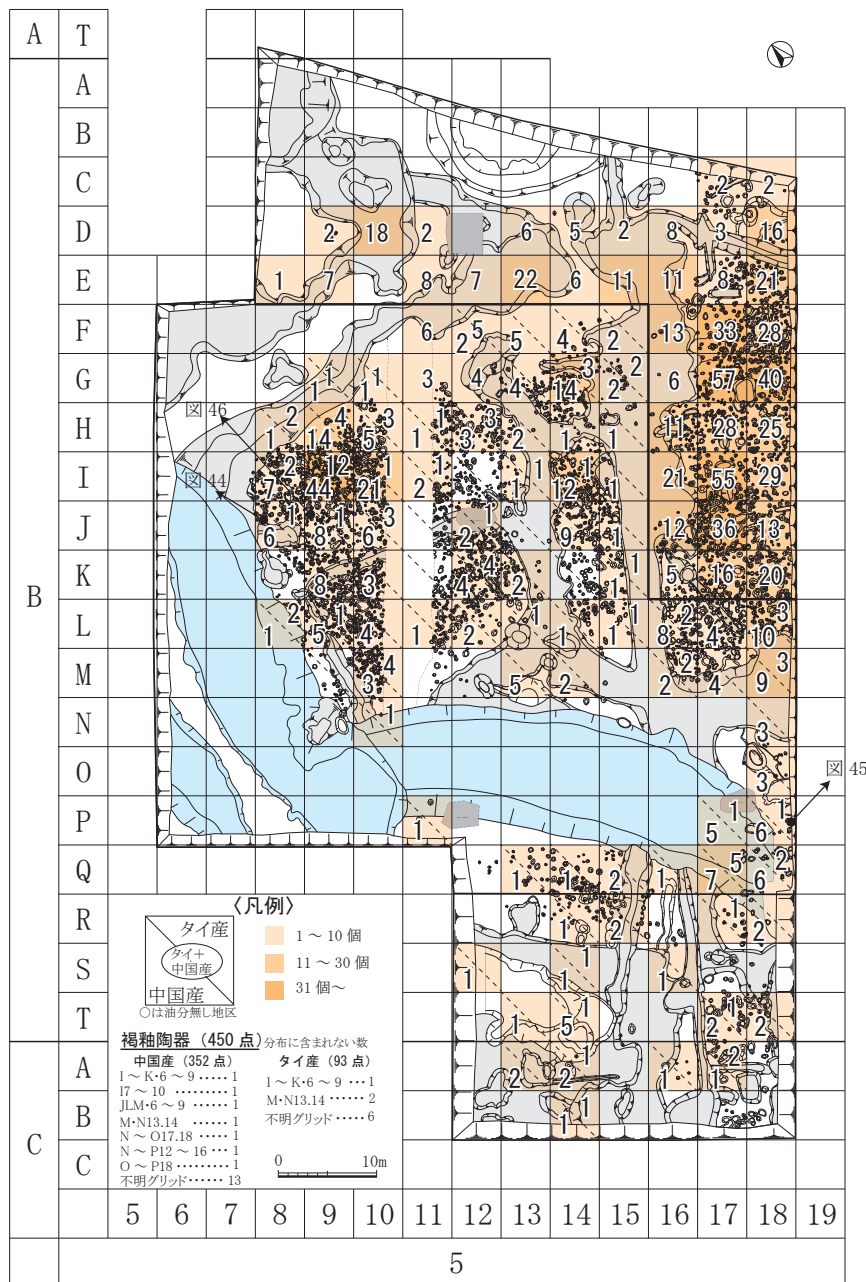
図 43 は小型の双耳瓶である。口唇部を僅かに欠くが口縁は内湾する例が報告されている。頸部で「く」の字状に縮まり、肩部に丸味を持ち胴に至る。肩の外面に横線を二条巡らし、縦耳を両肩に貼付。生産年代は 15c に位置づけられる。

### タイ産半練土器

半練土器は壺の胴部 1 点と蓋が 2 点の計 3 が得られている。図 44、45 は底面が丸底状で縁部は内側に折り返し、断面形態は錨状の落とし蓋である。44 は底面にヘラにより面取りしている。生産年代は明代に位置づけられる。

### 東南アジア産無釉陶器

図 46 はなで肩で、頸部は円筒状に真上に引き上げ、口縁で外に折り、先端は下向きになる。肩部に横耳を貼付している。16c ~ 17c に位置づけられる。



第 116 図 褐釉陶器 平面分布

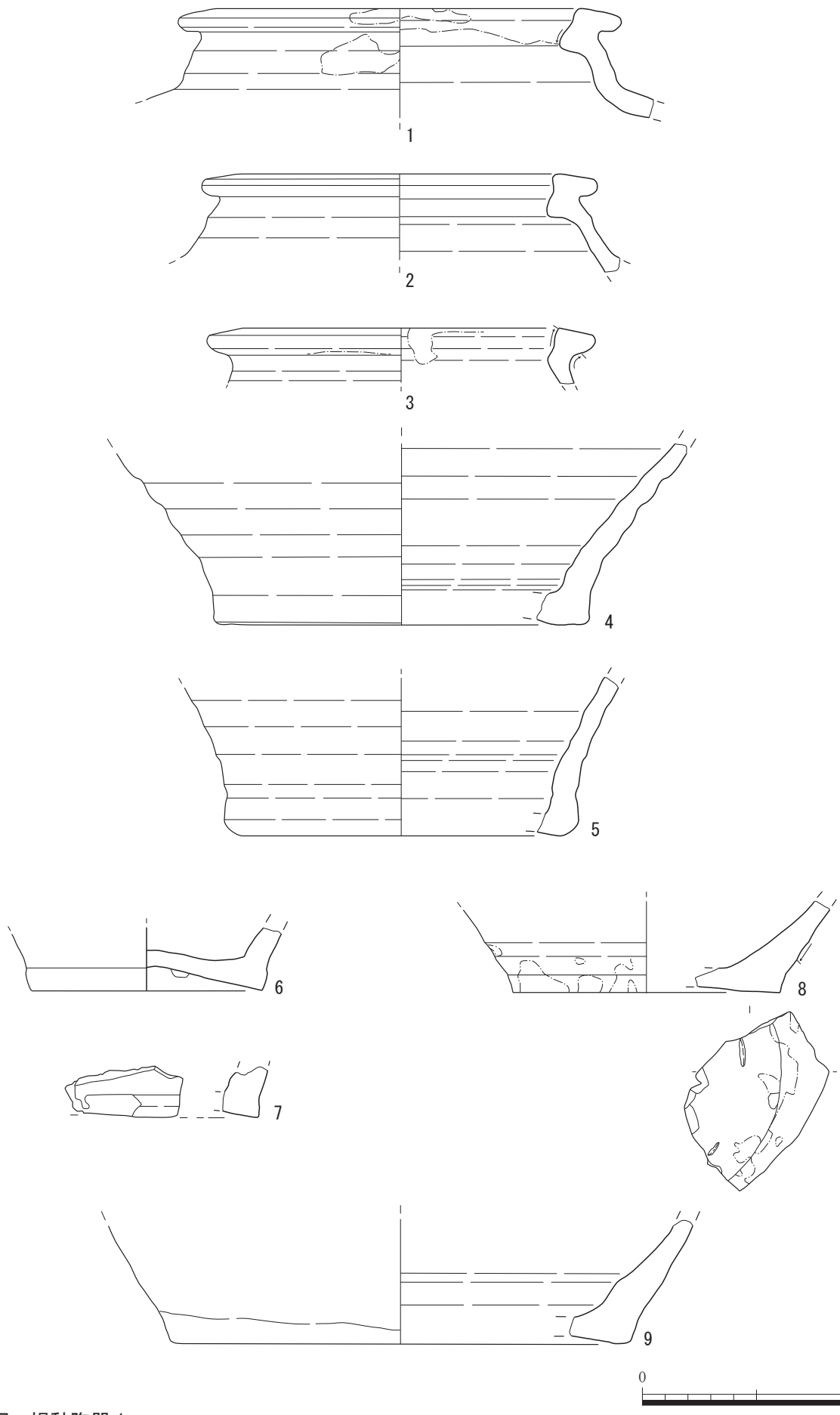
第73表-1 褐釉陶器 観察一覧

第図 図版	図 番号	器種	部位	分類	口径 底径 (cm)	器形・特徴	釉 (色・範囲)	素地 (色・質・混和材)	生産年代 生産地	グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号
第117 図・ 図版 52	1	壺	口	I 大 a	19.4 —	頸部は内向し、斜め上面に引き上げる。口縁は外側に折り返し、鏝線を成す。鏝の上面が平坦になり先端は丸い。	暗褐色 全面	色:褐灰色、質:細かい 混和材:黒色、白色細粒	明代 中国	G14 IIIb(包2) 台 2281
	2	壺	口	I 大 a	17.3 —	頸部は内向し、斜め上面に引き上げる。口縁は外側に折り返し、鏝線を成す。鏝の上面が平坦になり先端は丸い。	暗褐色 全面	色:灰色、質:細かい 混和材:黒色、白色細粒	明代 中国	19 IIIb(包2) 台 3865
	3	壺	口	I 大 a	16.9 —	張り出した肩から頸部は一旦内に寄り、口縁は上に引き上げ外に折り返す。口縁上面に平坦面を作る。	黒褐色 外面、口縁内面	色:褐灰色、質:細かい 混和材:黒色、白色細粒	明代 中国	G14 IIIb(包2) 台 2210
	4	壺	底	I 大 a	— 16.5	一旦くびれ逆「八」の字状に外に開く。外底は上げ底。外面は轆轤痕が顕著である。	褐色 全面	色:灰色、質:細かい 混和材:黒色、白色細粒	明代 中国	F12.13 II (0586SZ) 台976 K・L13 III下 (1776SK) 台3078
	5	壺	底	I 大 a	— 15.6	立ち上がりは一旦くびれ逆「八」の字状に外に開く。外底は上げ底になることが考えられる。外面は轆轤痕が顕著である。	褐色 全面、外底露胎	色:灰色、質:細かい 混和材:黒色、白色細粒	明代 中国	J8 III下 (3993P) 台3317
	6	壺	底	I 大 a	— 10.2	底部は上げ底を成し、立ち上がりはくびれて外に開く。	黒褐色 外面	色:灰色 質:やや細かい気泡がみられる 混和材:黒色白色細粒	明代 中国	S12 III下 (4681SX) 台4856
	7	壺	底	I 大 a	— —	一旦くびれて立ち上がる。外底は上げ底。器面に轆轤痕が顕著である。	褐色 外面	色:灰色、質:細かい 混和材:黒色、白色、褐釉細粒	明代 中国か	110 III下 (3696P) 台3821
	8	壺	底	I 大 b	— 11.8	底面は平坦な平底内底は中心に向かい丸くなる。	褐色 外面、内面、外底露胎	色:灰色、質:細かい 混和材:黒色細粒	明代 中国	J9 IIIb(包2) 台 3871
	9	壺	底	I 大 b	— 20.2	底面はやや上げ底、立ち上がって急激に広がる。内面に轆轤痕が認められる。焙器か?	無釉	色:灰色、質:細かい 混和材:黒色、白色細粒が多量に混入	明代 中国	113 IIIa(包1) 台 2244 D~P10・11 I (0001SZ) 台13
第118 図・ 図版 53	10	壺	口	II 中Aa	11.6 —	肩が張り、頸部は内向し引き上げる。口縁部は外に折り返して断面形態は菱形である。肩部に横耳を貼付している。	黒褐色 外面、内面	色:青灰色、質:細かい、気泡が僅かにみられる 混和材:黒色、白色細粒	明代 中国	F12・13 IIIb(包2) 台 1059
	11	壺	口	II 中Ab	10.8 —	頸部は内向し上に引き上げ、口縁は外側に折り返す。口縁の断面形態は三角形。	外面内面に泥釉塗布	色:橙色、質:細かい 混和材:白色、赤褐色細粒	明代 中国	A16 I (表土・掘削後) 台4307
	12	壺	胴 (頸)	II 中A	— —	肩が張り、頸部は内向し上に引き上げる。	暗褐色 外面	色:褐灰色、質:細かい 混和材:黒色、白色、赤褐色細粒	明代 中国	K10 IIIa(包1) 台 2321
	13	壺	口	II 中Ab	10.2 —	なで肩で口縁は頸部で外に折り返す短頸である。口縁上面は平坦面を成し、砂目の付着がみられる。	暗褐色 外面、口縁内面	色:灰色、質:細かい 混和材:黒色白色細粒	明代 中国	K12 III下 (2292P) 台3087
	14	壺	口	II 中Ab	9.6 —	肩がやや張り頸部は内向し引き上げる。口縁部は外に折り返して断面形態は三角形である。	褐色 外面、口縁内面	色:褐灰色、質:細かい 混和材:黒色、白色細粒多く混入	明代 中国	110 IIIb(包2) 台 3867
	15	壺	口	II 中Ab	8.4 —	肩が張り頸部は内向し引き上げる。口縁部は外に折り返して断面形態は三角形である。	黒褐色 外面、内面に鉄の泥 釉塗布している。	色:青灰色 質:細かい、気泡が僅かにみられる 混和材:黒色、白色細粒	明代 中国	19 III下 (3892P) 台3636
	16	壺	口	II 中Bb	11.0 —	頸部は内向し、斜め上面に引き上げる。口縁は外側に折り返し断面形態は三角形。	黒褐色 鏝上面露帯	色:黒褐色、質:細かい 混和材:白色細粒	明代 中国	19 IIIb(包2) 台 3865
	17	壺	口	II 中Ba	11.4 —	頸部は内向し上に引き上げ、口縁は外側に折り返し玉縁状に成形している。肩に横耳を貼付している。	鉛色 外面	色:橙色 質:細かい気泡が認められる 混和材:黒色細粒が僅かに混入	明代 中国	F13 IIIa(包1) 台 2212
	18	壺	口	II 中Bc	11.0 —	胴部に丸味を持ち、なで肩を成し口縁に向かい内向している。口縁は外に折り返し断面形態が楕円形状の鏝線を成す。海面に轆轤痕顕著である。	黒褐色 外面、口縁内面	色:褐色、質:細かい 混和材:黒色、白色細粒	明代 中国	114 III下(2107P)台2606 I・J14 III下(2082SK)台2675
	19	壺	底	II 中	— 13.7	底面平坦で、直線的の外に開き、立ち上がる。	外面無釉内面泥釉を 塗布している。	色:灰白色、質:やや細かい 混和材:黒色、白色細粒	明代 中国	I~K・6~9 IV (3507SD) 台2268
	20	壺	底	中	— 15.8	底部は平底で、やや外に広がり真っ直ぐ立ち上がる。外底に煤が付着している。	底部無釉	色:橙色と灰色のサンド、質:細かい 混和材:黒色、白色、赤褐色細粒 多量に混入	明代 中国	H8 III下 (3863P) 台3409
	21	壺	底	II 中	— 13.2	底面は平坦、な平底。内底面に泥釉を塗布している。	褐色 外底露胎	色:灰色、質:細かい 混和材:黒色細粒	明代 中国	J9 IIIb(包2) 台 2358
	22	壺	底	II 中	— 12.6	底面は平坦、な平底。内底面に泥釉を塗布している。外底に砂目の付着。	褐色 外面、内面	色:灰色、質:細かい 混和材:黒色、白色、赤褐色、細粒 多く混入	15c~16c 中国?	111・12 III下 (2496P) 台3121
	23	壺	底	II 中	— 10.6	底面は上げ底で、直線的に外に開き、立ち上がる。外面に轆轤痕が認められる。	底部無釉	色:灰色、質:やや細かい 混和材:黒色、白色細粒	明代 中国	L10 IIIa(包1) 台 2317
	24	壺	底	III 小	— 8.0	底面はやや平坦で、立ち上がりはくびれて外に開く。器壁はやや薄い。	底部無釉	色:灰色、質:やや細かい 混和材:黒色、白色細粒	明代 中国	T14 III下 (4681SX) 台4832

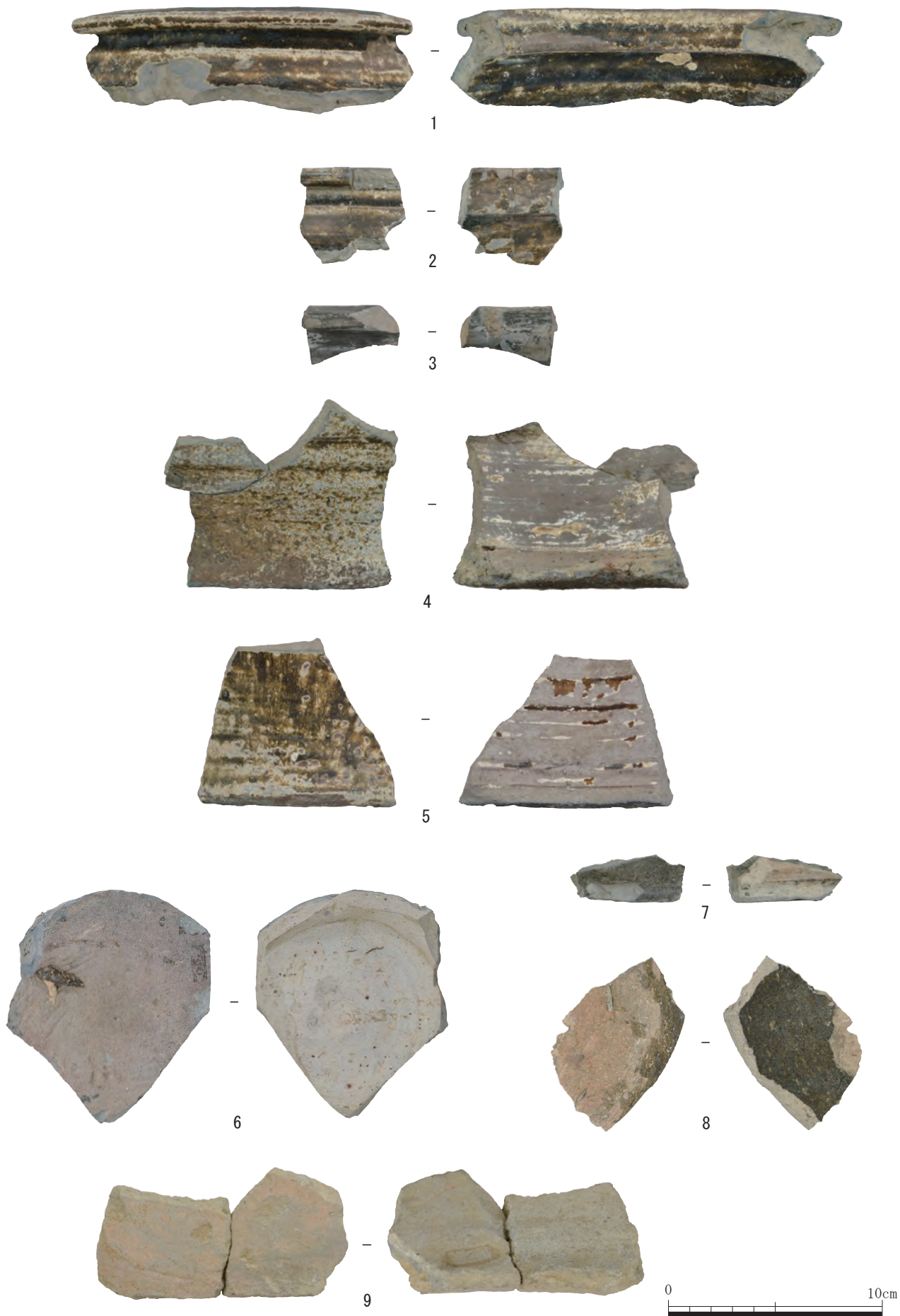
第73表-2 褐釉陶器 観察一覧

第図 図版	図 番号	器種	部位	分類	口径 底径 (cm)	器形・特徴	釉 (色・範囲)	素地 (色・質・混和材)	生産年代 生産地	グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号
第 118 図 版 53	25	壺	底	中	— —	底部は平底で、外に向かいやや広がって真つ直ぐ立ち上がる。内面にへら痕がみられる。	黒褐色 外面	色: 灰褐色、質: やや細かい 混和材: 黒色、白色、赤褐色細粒	明代 中国	A14 III下 (4681SX) 台4839
	26	壺	胴	中	— —	やや開き立ち上がる。砲弾形の壺胴部である。	黒褐色 腰下部、内面無釉	色: 褐灰色、質: 細かい 混和材: 黒色、白色、赤褐色細粒	明代 中国	R17 III下 (4603P) 台14535
	27	壺	耳	I 大 b	— —	ほぼ水平に貼付される縦耳が考えられる。内面泥釉を塗布している。	変色か白釉 外面、内面に泥釉	橙色、質: 細かい 混和材: 黒色白色、褐色細粒	明代 中国	Q・R15 III下 (4713SK) 台14731
第 119 図 版 54	28	壺	耳	II 中	— —	頸部は内向上に引き上げる。肩に横耳を貼付している。	褐色 外面、内面に泥釉を 塗布している	色: 橙色と灰色のサンド、質: 細かい 混和材: 黒色、白色細粒	明代 中国	T14 III下 (4681SX) 台14722
	29	壺	胴 (頸)	小	— —	肩部は同心円状に広がる段を複数有し、上に掛かる釉の薄厚で色が変わり縞模様になる。	黒褐色 外面	色: 褐灰色、質: 細かい 混和材: 黒色、白色細粒	明代 中国	A17・18 II (4519SZ) 台4476
	30	不明	胴	-	— —	胴部にリボン状の帯を貼付している。内面は泥釉を塗布している。	暗褐色 外面	色: 灰色、質: 細かい 混和材: 黒色白色細粒	明代 中国	H13 IIIa(包1) 台 2237
	31	壺	口	III 小	8.0 —	胴部は丸味を持ち、頸部を一旦上に引き上げ口縁は外側に折り曲げる。	黒褐色 外面、内面頸部露胎	色: 灰色、質: 密 混和材: 黒色、白色細粒	明代 中国	M13 IIIa(包1) 台 2171
	32	壺	底	III 小	— 6.0	底部平坦で、立ち上がりは外に緩やかに開く。外面に轆轤痕顕著である。	褐色 外面	色: 灰色、質: 細かい 混和材: 黒色、白色細粒	明代 中国	T18 III下 (4563SK) 台4429
	33	水注	口	-	9.8 —	肩が張り口縁は上に引き上げ、折り返す。口縁の断面形態は「F」字状である。肩部に横耳を貼付している。	暗褐色 外面	色: 灰色、質: 細かい 混和材: 黒色白色細粒	明代 中国	H9 IIIa(包1) 台 2372
	34	壺	口	大	26.6 —	口縁部はラップ状に外に大きく開き折り返す、口唇は肥厚している。口縁の内面は轆轤痕が認められる。	暗褐色 外面、口縁内面	色: 灰色、質: 細かい 混和材: 黒色白色細粒	明代 タイ	T14 III下 (4681SX) 台4832
	35	壺	口	中	12.8 —	口縁部がラップ状に外に開き、外に丸く折り返している。	黒褐色 外面、口縁内面	色: 褐色、質: 細かい 混和材: 黒色白色細粒	15c~16c タイ	L16 IIIa(包1) 台 2065
	36	壺	底	中	— 9.4	底部は平坦。立ち上がりに丸味を持ち、外底に砂目が認められる。	底部無釉	色: 灰色、質: 細かい 混和材: 黒色、白色、赤褐色、細粒 多く混入	15c~16c タイか、	A17・18 II (4519SZ) 台4476
	37	壺	底	中	— 11.6	底部は平底で、やや外に広がり真つ直ぐ立ち上がる。外底に砂目痕がみられる。	底部無釉	色: 褐色、質: 細かい 混和材: 黒色白色細粒	明代 タイ	L18 III下 (1477P) 台2517
	38	壺	胴 (頸)	大	— —	肩が張り、口縁部はラップ状に外に大きく開くタイプと同一の資料である。頸部の付け根に陽圏線を巡らしている。	暗褐色 外面	色: 灰色、質: 細かい 混和材: 黒色白色細粒	15c~16c タイ	I13 IIIa(包1) 台 2244
	39	壺	底	大	— 25.6	底部平坦で、直線的に外に開き立つと考えられる。外底に砂目痕が認められる。	黒褐色 底部は無釉内底に釉 だれがみられる	色: 橙色と灰色のサンド、質: 細かい 混和材: 黒色、白色、褐色細粒	15c~16c タイ	S14 III下 (4681SX) 台14734
	40	壺	胴	中	— —	砲弾形の壺の胴部が考えられる。肩部に横耳を貼付している。	変色 外面、口縁内面	色: 暗灰色、質: 細かい 混和材: 黒色白色細粒	明代 タイ	I9 IIIb(包2) 台 2377 JLM・6~9 IV (3507SD) 台2251
	41	壺	外耳	中	— —	丸味を持つ胴に外耳を貼付する。四耳壺が考えられる。	暗褐色 外面	色: 褐灰色、質: 細かい 混和材: 黒色、白色細粒	15c~16c タイ	L18 III下遺構(1467SK) 台2449
	42	壺	胴 (頸)	大	— —	なで肩で上面に横耳を貼付している。	暗褐色 外面	色: 灰色橙色のサンド、質: 細かい 混和材: 黒色白色細粒	明代 タイ	M18 I (0350SZ) 台2089
	43	瓶	胴 (頸)	小	— —	胴部は丸味を持ち、頸部が「く」の字状に屈曲し、口縁は外側に広がる。胴上面の外面に横線を巡らし、縦耳が貼付される。	黒褐色 外面	色: 灰色、質: 細かい 混和材: 黒色白色細粒	明代 タイ	J10 IIIb(包2) 台 5123
	44	壺	蓋	-	10.0 —	半練の壺の落とし蓋である。裏面は丸底状で、縁部は表面側に折り返す。断面形態は罽マーク状。へら面取り。	無釉	色: 橙色と灰色のサンド、質: 細かい 混和材: 黒色、灰白色半透明、赤褐色砂粒	明代 タイ	J8 III下 (3600SK) 台不明
	45	蓋	蓋	-	10.4 —	半練の壺の落とし蓋である。裏面は丸底状、縁部は表面側に折り返し断面形態は罽マーク状。表面剥落。	無釉	色: 橙色と灰色のサンド、質: 細かい 混和材: 黒色白色赤褐色砂粒	明代 タイ	P18 IV (1510SD) 台4018
46	壺	口	-	10.6 —	なで肩から頸部は円筒状に真上に向かい口縁は外に折り曲げるような外反である。肩部に横耳を貼付している。無釉陶器で焼成が不良である。	無釉	色: 橙色と灰色サンド、質: 細かい 混和材: 黒色、白色細粒	16c~17c 東南アジア	J9 IIIb(包2) 台 2358	

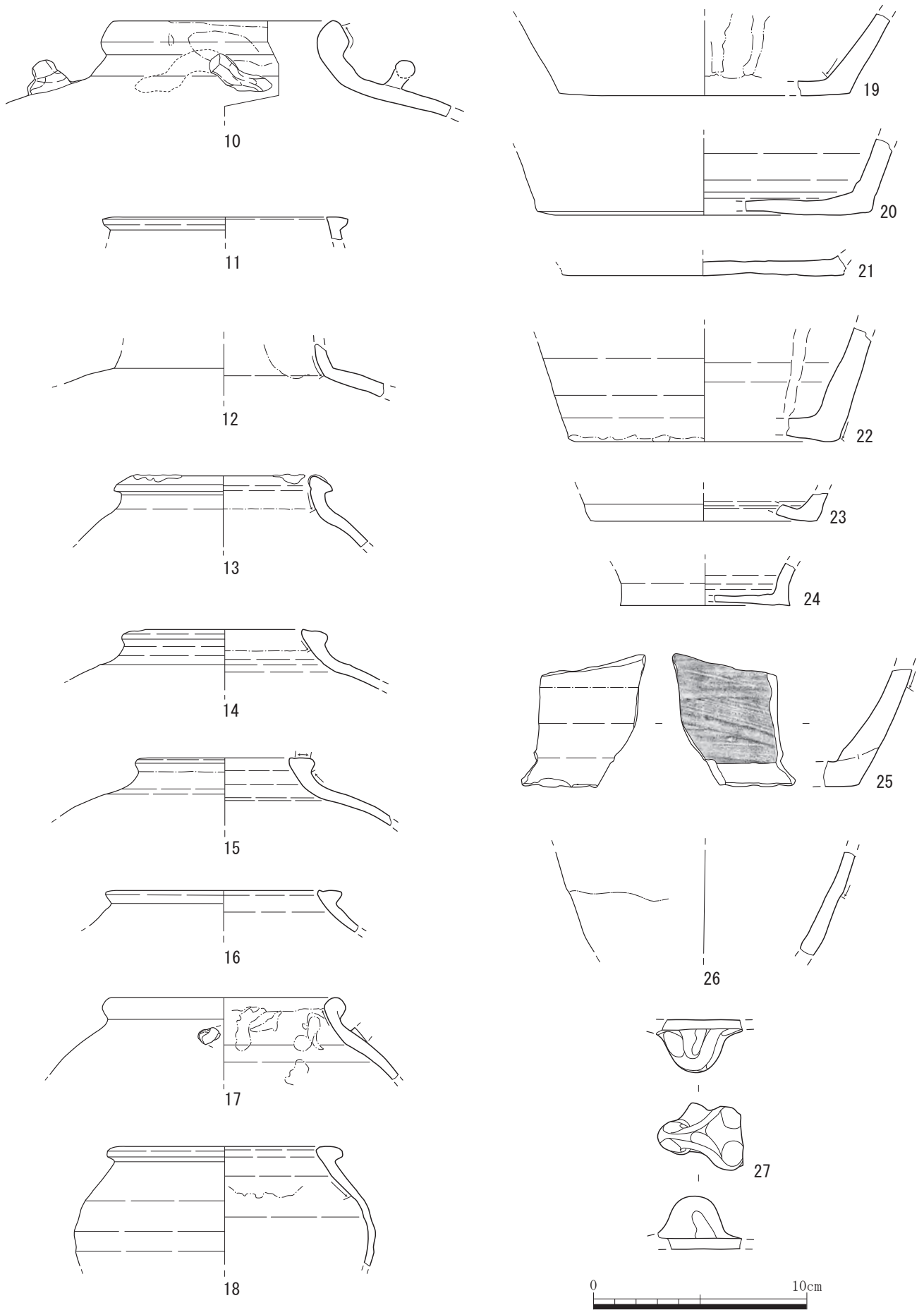




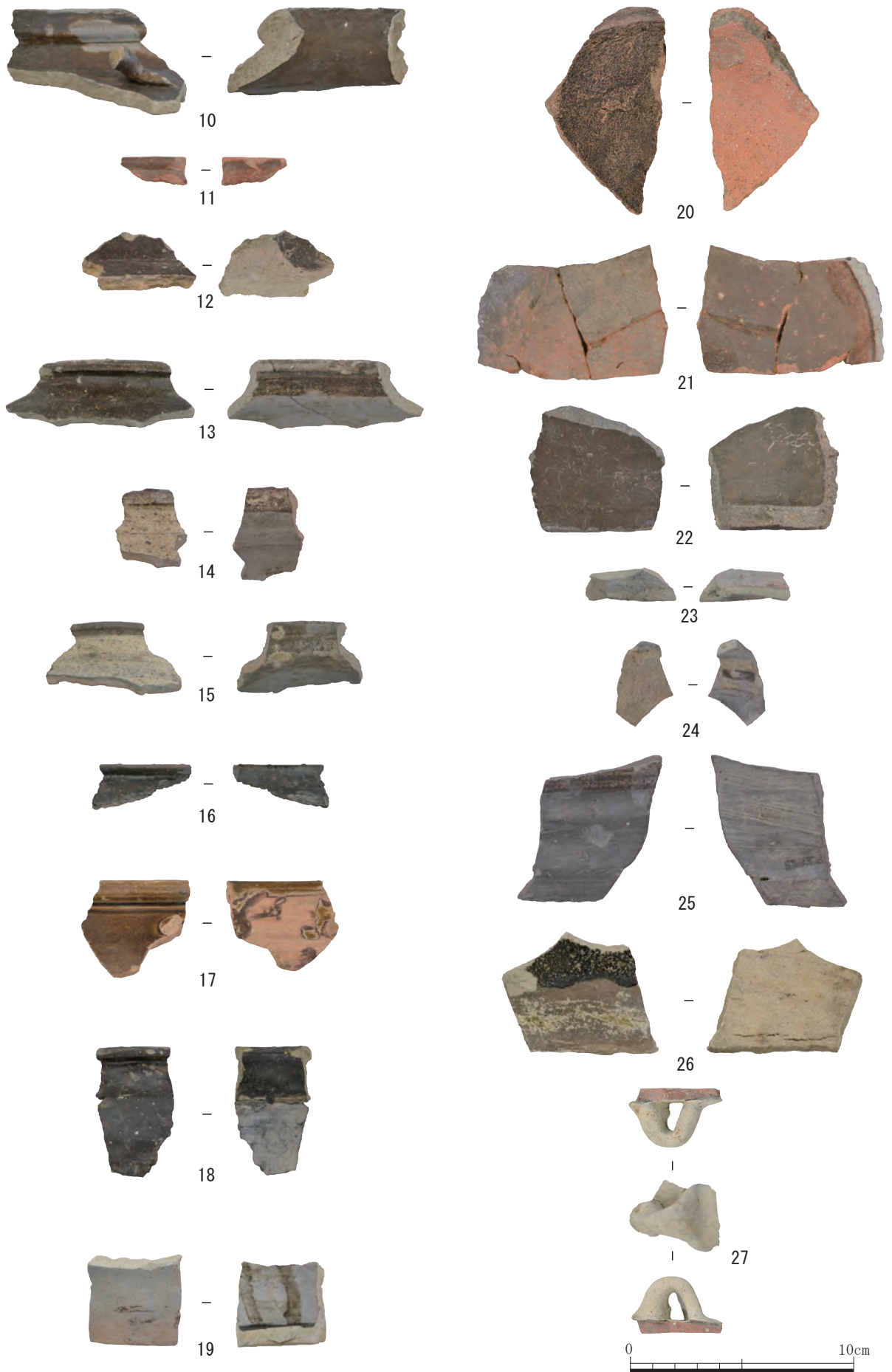
第117图 褐釉陶器 1



图版 52 褐釉陶器 1

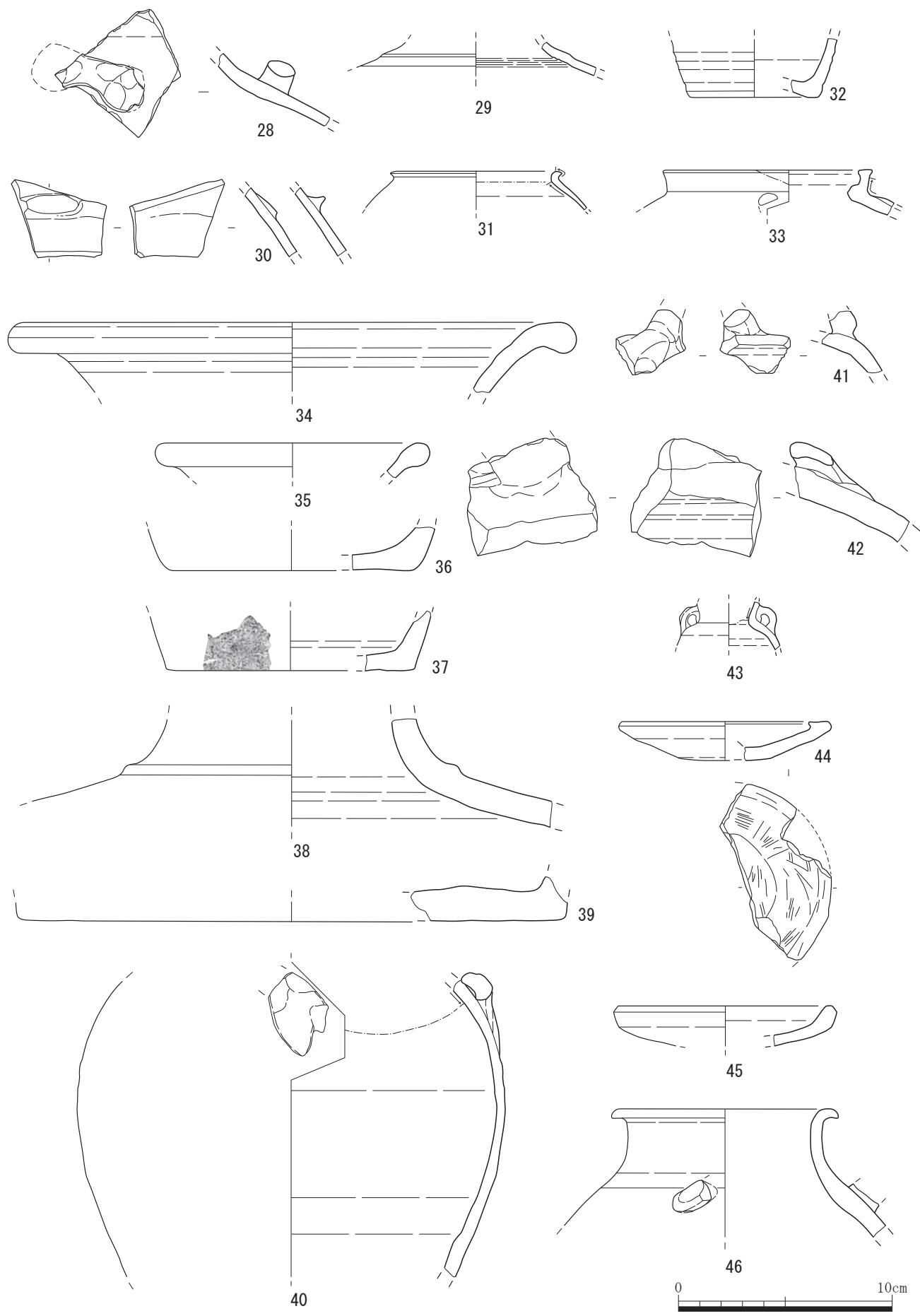


第118图 褐釉陶器 2



图版 53 褐釉陶器 2





第119图 褐釉陶器 3



图版 54 褐釉陶器 3

## (11) その他の輸入陶磁器

その他の輸入陶磁器に中国産色絵5点、彩釉陶3点、タイ産の鉄絵2点、がある。いずれも明代の範疇に収まる。層位別出土量はⅢa層とⅢ下遺構が最も多く出土し（第74表）、平面分布は北西に遺物の集中がみられる（第120図）。

### 中国産色絵

碗3点と皿2点が得られている。

**碗：**図1は細めの高い高台を持ち、内底面は饅頭心を成す。外面腰部に上絵の草花文と染付の圏線、高台の外側、外底と内底に染付の圏線を巡らし高台外面と内底に赤の上釉を重ねている。生産地 景德鎮窯、生産年代16c後半に位置付けられる。

図2、3は外内面に草花文を描くが釉色は剥落のため不明。いずれも生産地 景德鎮窯、生産年代16c後半に位置付けられる。

**皿：**図4、5は皿の底部で、4は外面の腰部や高台と内底面見込みに黒色の圏線と草花文を描いている。5は外面の高台脇と内底に圏線を巡らし内底面は草花文を描いているが釉色は剥落し不明である。いずれも生産地 景德鎮窯、生産年代16cに位置付けられる。

### 中国産彩釉陶

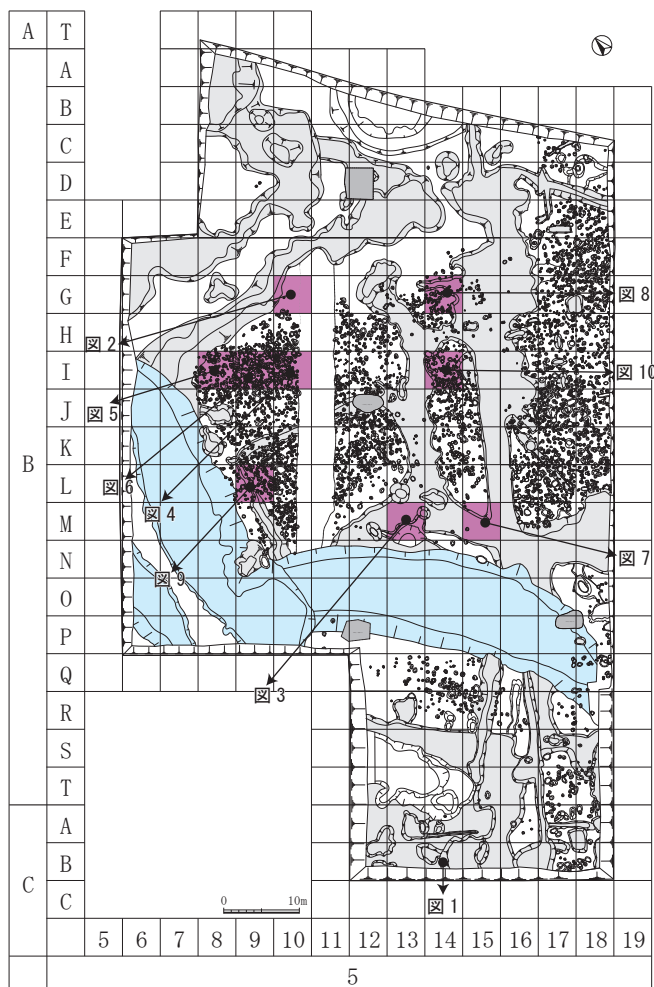
緑釉の瓶・水注が3点得られている。

**瓶・水注：**図6～8は緑釉の瓶か水注が考えられ、いずれも型押し成形である。6は上げ底の腰は直線的に開く、外面に二条の線刻による蓮弁文を描く。7は胴下部に丸味のある形態である。8外面はドーナツを縦に重ねた様な縞状の型押し文を施す。いずれも生産地 福建・広東系 生産年代明代に位置付けられる。

### タイ産鉄絵

袋物1点と合子の蓋が1点得られた。

図9は器面に白化粧を施し、内面は露胎した、袋物と考えられる。外面に格子文を二条縦線で区画し、1組として描くことが多い。生産年代15c～16c



第120図 その他の輸入陶磁器 平面分布

第74表 その他の輸入陶磁器 出土量

生産地 種類 器種 生産年代 生産地 層 部位	中国産					タイ産		合計
	色絵		彩釉陶			鉄絵		
			緑釉			袋物	合子(蓋)	
	碗	皿	瓶・水注					
	16c後半	16c	明代		明代			
景德鎮窯		福建・広東系		福建・広東系				
	底部	胴部	底部	底部	胴部	胴部	甲部	
I	1							1
Ⅲa		1				1	1	3
Ⅲb			1		1			2
Ⅲ下遺構			1	1	1			3
不明		1						1
合計	1	2	2	1	2	1	1	10

図10は甲部がドーム状の合子蓋である。中央からつまみが伸びる形態であるがつまみは破損しているため不明。外面に白化粧しつまみ基部に陽圏線を巡らし、同心円状に幅の異なる円を描く、側面は縦線縞で区画し中に渦巻き文や波濤文を交互に配置している。生産地はシーサッチャナライ窯か？ 生産年代は15cに位置付けられる。

第75表 その他の輸入陶磁器 観察一覧

(法量単位:cm、g)

第図 図版	図 番号	種類	器種	部 位	口径 底径	重さ	器形:釉色:その他	年代 産地	グリッド・層・遺構 取上(台帳)番号
第121 図・ 図版 55	1	色絵	碗	底	— 6.8	17.5	細めの高い高台を持ち、内底面は饅頭心を成す。外面腰部に上絵の草花文と染付の圏線、高台の外側、外底と内底に染付の圏線を巡らし高台外面と内底に赤の上釉を重ねている。	16c後半 景德鎮窯	B14 I (表土掘削後精査) 台4303
	2			胴	— —	9.0	外内面に草花文を描くが釉色は剥落のため不明。	16c後半か 景德鎮窯	G10 不明(サブトレンチ) 台354
	3			胴	— —	3.7	外内面に草花文を描くが釉色は剥落のため不明。	16c後半か 景德鎮窯	M13 IIIa(包1) 台2130
	4	皿	底	— 7.5	4.6	外面の腰や高台と内底面見込みに黒色の圏線と草花文を描いている。	16c 景德鎮窯	I10 IIIb(包2) 台2340	
	5		底	— 8.0	8.4	外面は高台脇と内底に圏線を巡らし内底面は草花文を描いているが釉色は剥落し不明である。	16c 景德鎮窯	I8 III下(3939SK) 台3446	
	6	緑釉か	瓶・水注	底	— 7.3	39.1	上げ底の腰は直線的に開く、外面に二条の線刻による蓮弁文を描く。型押し成形である。	明代 福建・広東系	I9 III下(3412P)取149 台3595
	7	緑釉	瓶・水注	胴	— —	10.3	胴下部に丸味のある形態である。型押し成形である。	明代 福建・広東系 か	M15 III下(1780P) 台 2488
	8			胴	— —	8.2	外面はドーナツを縦に重ねた様な縞状の型押し文を施す。型押し成形である。	明代 福建・広東系	G14 IIIb(包2) 台2210
	9	鉄絵	袋物	胴	— —	4.9	器面は白化粧され外面に格子文を二条縦線で区画しているが一般的に何タイプかの文を繰り返し描くことが多い。	15c~16c タイ産	L9 IIIa(包1) 台2336
	10		合子	蓋	11.0	59.8	甲部断面形態は半月状で、中央につまみが付くが破損のため形態は不明。外面につまみから同心円状に幅の異なる円を描き側面は縦線縞を区画文に渦巻き文や波濤文を交互に配置している。	15c頃 タイ産	I14 IIIa(包1) 台2194

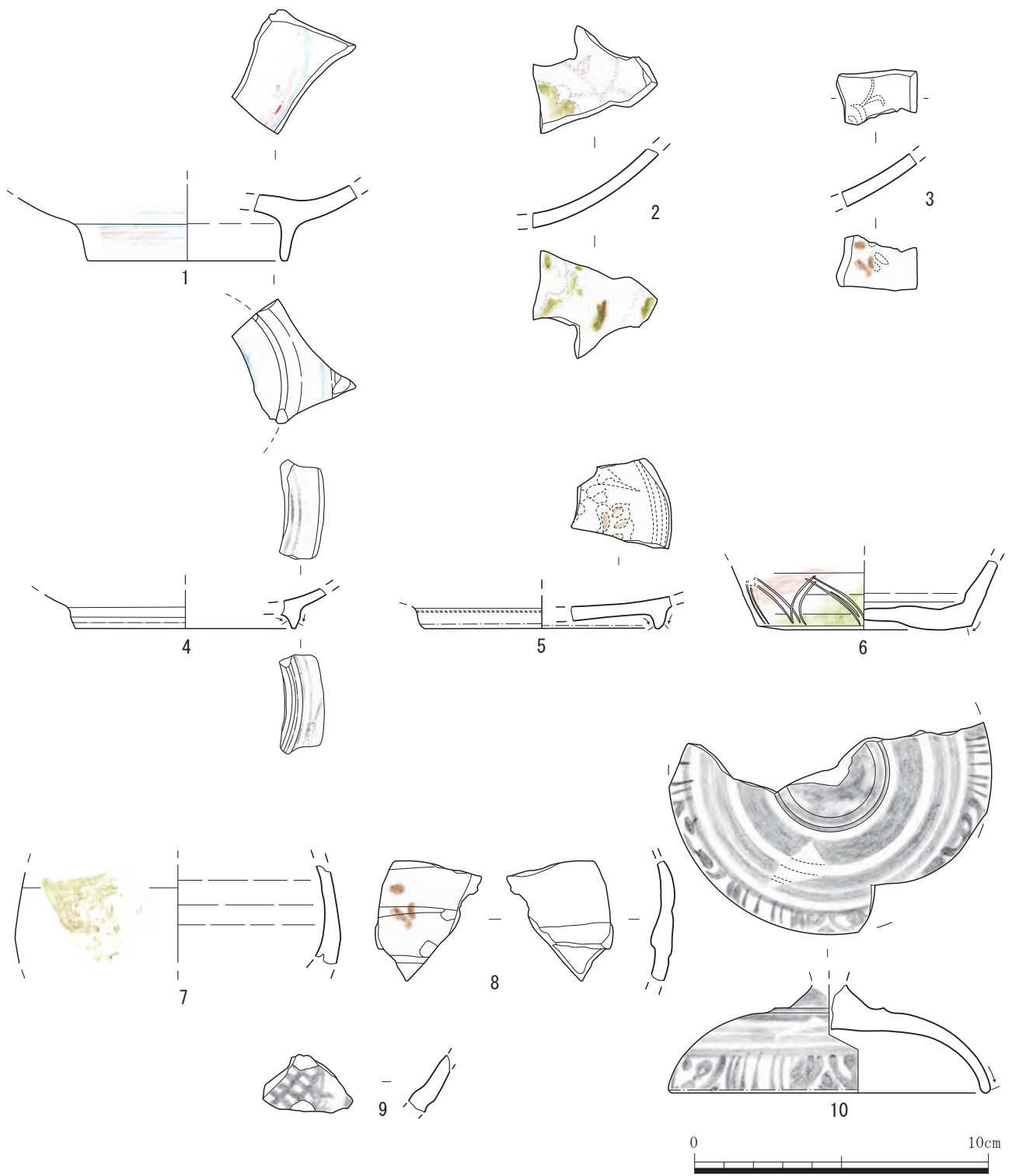
<補遺1>

今回、伊礼原D遺跡の試掘調査(2008)と油分無し地区(2013)の一部資料を大橋先生に同定をいただいた。遺構内の資料と当該遺跡の上限の資料を示すもので再掲載した。

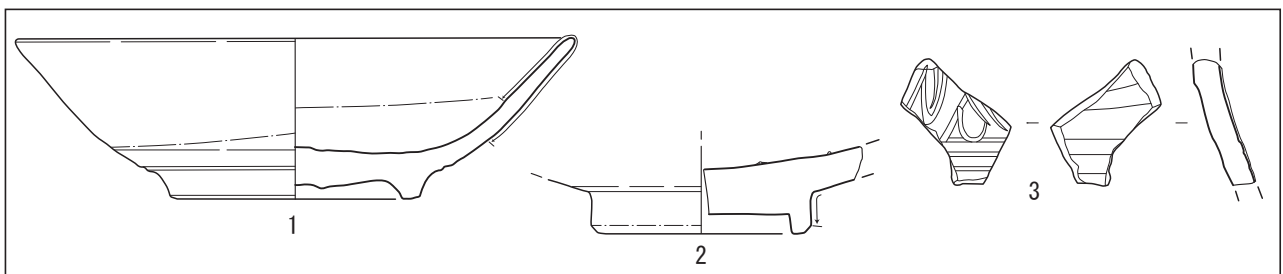
第122図1は試掘の1号炉より検出、報告された白磁の皿である。出土地:4-5 1号炉、生産地:福建・広東系、生産年代:明代

図2・3は油分無し地区の青磁資料である。2は碗の底部で、内底の中心がやや窪み、焼成時の細かい砂状溶着痕が認められる。内底は無文である。高台は畳付けの外側から僅かに斜めの削り出しが認められる。断面形態は略四角状を成す。高台の畳付け及び外底は露胎している。底部の器肉は厚く1.2cm、底径5.8cm、出土地:F17 III a、生産地:龍泉窯系、生産年代:12c~13c 3は筒型の袋物である。外面に線彫りの横位線と草花文を施文している。出土地:F17 III a、生産年代:龍泉窯系、生産年代:15c





第 121 図 その他の輸入陶磁器



第 122 図 試掘 (町 28)・油分無し地区 (町 35) 白磁・青磁



図版 55 その他の輸入陶磁器



図版 56 試掘 (町 28)・油分無し地区 (町 35) 白磁・青磁

## (12) 青銅製品

グスク～近世の遺構内から2点の青銅製品が得られ、共に図示掲載した。

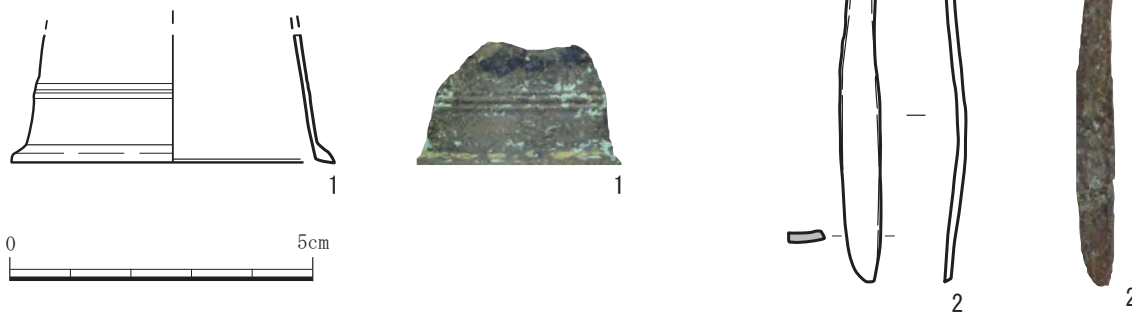
図1は、開口部径5.3cmの器状を呈するものの破片である。第二浜堤の建物址SB01を構成する4528SKからの出土であるため、17c以降の産物と考えられる。開口部分が口縁部であるならば盃とも考えられるが、口縁端部が強く外側に張り出すため、飲み口には適さない感がある。開口部が着底するものとして考えた場合、燭台・瓶・徳利等の脚部であれば朝顔形であるものが多いため、風鈴のようなものを想定するに至った。胴部には2条1対の隆起線が巡る。

本品類例を探したところ、与那国島比川集落クチマ（後間）家に伝わる祭具に、「鉦（かね）」と呼ばれるものがあつた（2016 沖縄県教委）。報告書中に特に記載はないが、呼称・掲載写真・文脈等から金属製だと思われる。撥付とのことなので単独でも成立するが、ビーズ製装身具の途中に、勾玉や金属片と一緒に連なって保管されていた。「タマハティ」（与那国の「旧家」で披露される即興的な歌舞）の際、鉦と金属片が触れ合つて金属音を発するようになっており、単なる装身具ではなく楽器としての性格も併せ持っていると言える。ただし、「鉦」は底の浅い鑄造鼓を指すことが多いため、本品は「鈴（れい）」とした方が妥当かも知れない。また、釣鐘状を呈する銅鈴の出土例として、浦添市拝山遺跡（2007 浦添市教委）のものがあるが、本品とは形態的な異なりをみせる。



図版 57 クチマ家の鉦（2016 沖縄県教委から転載）

図2は、細長い板状製品である。片方の端部は丸みを帯び、他方は角張っている。折れたのかもしれない。用途は不明。第一浜堤3820Pからの出土で、本ピットは周辺遺構との切り合い関係では最も新しい。



第123図・図版58 青銅製品 (S=4/5)

第76表 青銅製品 観察一覧

第図 図版	図番号	種別	規格(cm)	観察事項	重量 (g)	地区・グリッド・層 遺構・台(取)番号
第123図 図版58	1	鈴?	復元着底部径5.3、残存高2.1	欠損品。外面に2条隆起圏線。	5.3	伊D A18 4528SK 台4402
	2	不明	長5.8×最大幅0.7×厚0.1	少し折れ曲がっている。	2.6	伊D 19 3820P 取114 台2363

### (13) 鉄製品

計 27 点が得られた。このうち保存状態が良く、グスク～近世に帰属すると考えられるものを図示掲載した。以下、器種ごとに記述する。

#### 1. 斧

図 1 は、柄装着部が袋状を呈し肩をもつタイプの斧で、山崎真治氏の分類（2010 山崎）におけるⅡ類（ティーン型）に該当する。県内での出土事例は決して多くなく、鉄製品である故か帰属時期がはっきりせず、「ヘラ」として報告されているのも数例あった。また、損耗による形態変化も考えられるため、出土品による細かな形態分類は難しいことが考えられる。本品は第一浜堤の遺構 4053P からの出土であり、グスク時代に帰属する可能性が高く、貴重な出土事例となる。X線撮影の結果、袋部には木質が残存していることが分かった。図 2 も同じく第一浜堤上の遺構である 2815P からの



第 124 図・図版 59 鉄製品 1 (S=1/2)



出土である。平面形は扇状であるが、横断面ではC字状を呈しているため、俄かには器種を断じ難い。ここでは斧として掲載するが、今後の検討を要する。

## 2. 刀子

図3は、ほぼ完品となる刀子である。流路3(1510SD)からの出土であるため、17c以前のものと思われる。劣化により身は薄くなっているが、銹化はそれほど進んでいなかった。X線撮影の結果、棟区(むねまち)の段は明瞭であった。北谷町内で出土する刀子は大型のものが多いが、本品の刃長も約16cmと割合大型である。図4は破損品で、茎部分と思われる。3559Pからの出土である。

## 3. 鍬

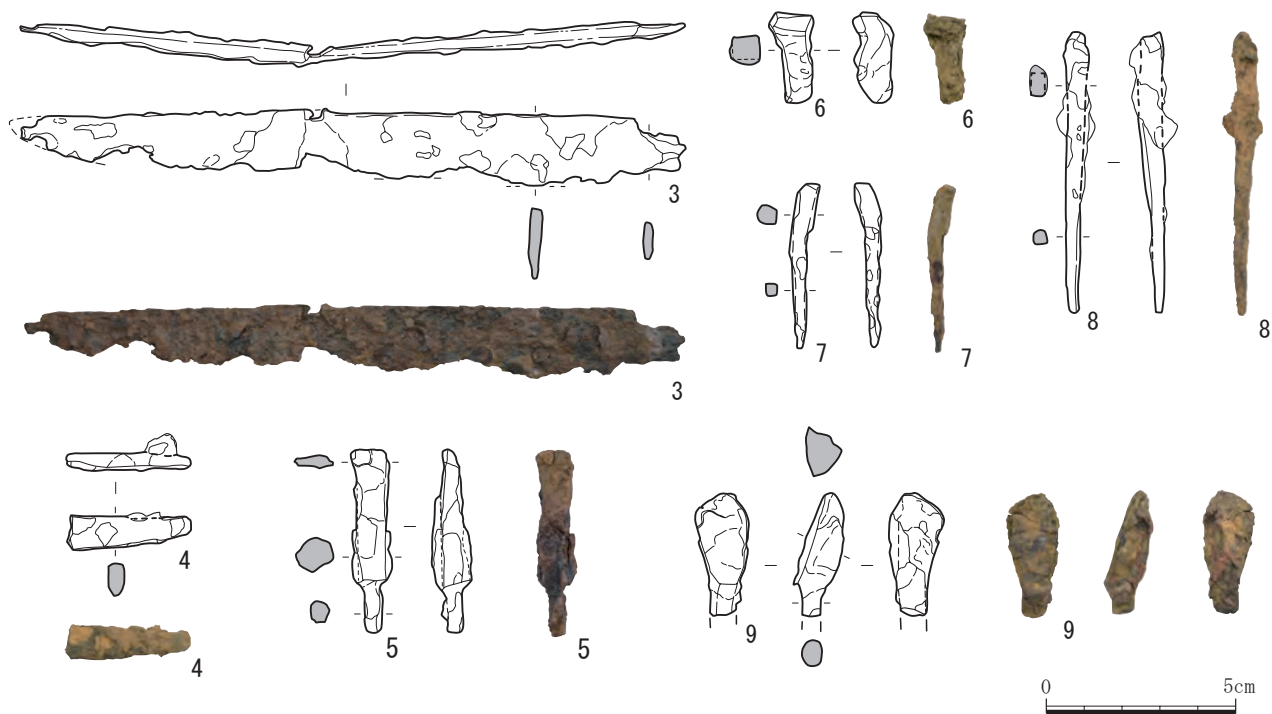
図5は、第一浜堤3667Pからの出土である。銹化がかなり進んでいる。

## 4. 釘

釘は11点得られ、うち1点は近現代の丸釘である。元の形状が想定できるものを選び出し、3点を図示した(図6~8)。いずれも角釘で、頭部は片方に折れている。得られた角釘10点中7点は、第一浜堤中央部の20×15m範囲内の遺構から出土しており、釘以外にも図4・5・9が同様であった。

## 5. 不明品

図9は、棒状胴部に頭部がくっついた格好となっており、ちょうど如雨露(じょうろ)の蓮口のような形状である。類例も探せず、用途は不明である。工具の類であろうか。



第125図・図版60 鉄製品2 (S=1/2)

第77表 鉄製品 観察一覧

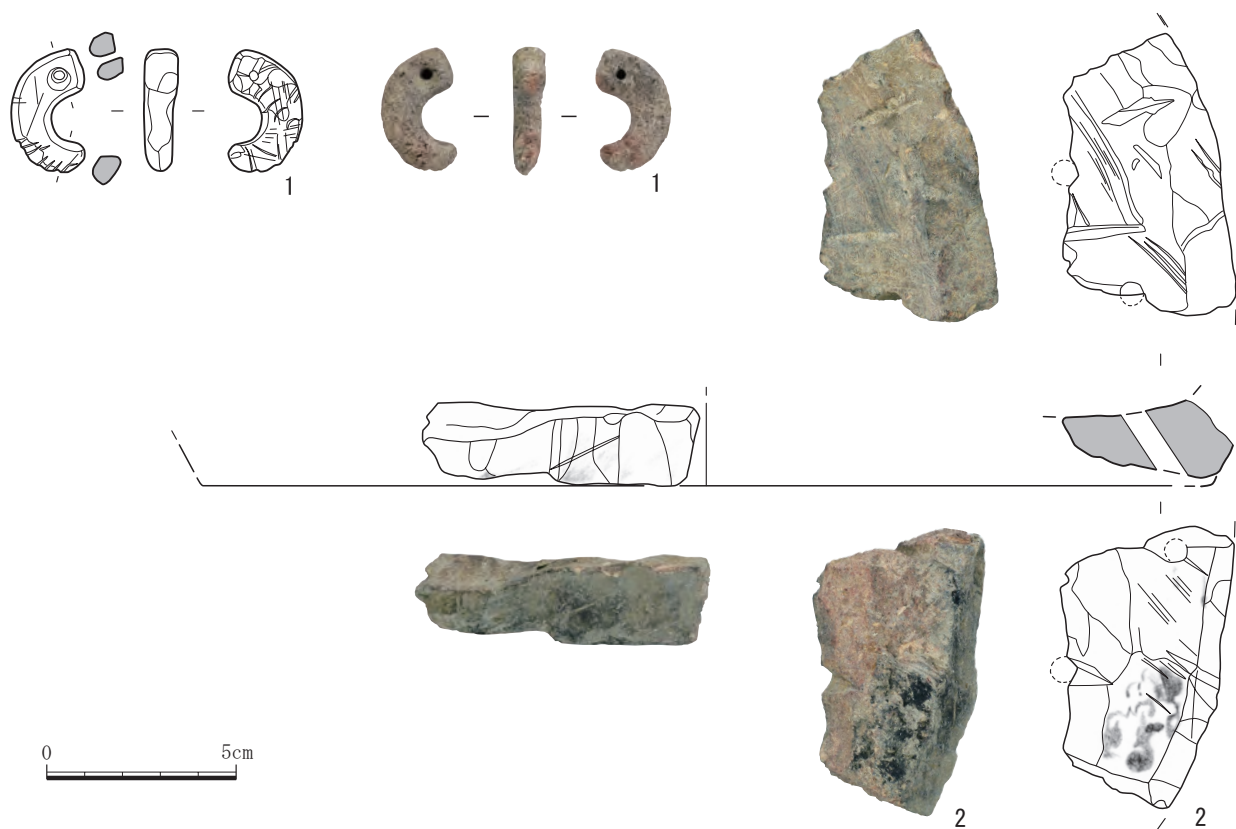
第図 図版	図番号	種別	規格(cm)	観察事項	重量 (g)	地区・グリッド・層 遺構・台(取)番号
59 図版・124	1	斧	全長15.4、刃幅8.8、袋幅4.3	緩やかな肩あり。袋部内に木質残存。	237.0	伊D L17 4053P 取121 台2681
	2	斧?	全長(7.6)、刃幅6.9、袋幅約5	欠損品か。	183.3	伊D H14 2815P 台5128
第 125 図 ・ 図 版 60	3	刀子	全長(17.6)、刃長(16.2)、刃幅(1.9)	長さは折れ曲がった状態での値。腐食顕著。	23.6	伊D P15 1510SD 取123 台2683
	4	刀子	長(3.3)×幅0.9×0.4	破損品、茎のみ。	2.4	伊D I10 3559P 台5132
	5	鍬	長4.8、刃幅0.9、基部径0.5	銹化顕著。	6.4	伊D H10 3667SK 台5201
	6	釘	長(2.4)×0.8×0.6	胴部欠損、胴部断面方形	2.6	伊D J8 3991P 台5131
	7	釘	長(4.3)×0.5×0.5	頭部欠損、胴部断面方形	2.4	伊D T13 4681SX-1層 台4801
	8	釘	長(7.4)×0.6×0.4	頭部欠損、胴部断面長方形	4.9	伊D I10 3744P 台5202
	9	不明	長(3.3)×最大幅1.5×厚1.3、棒部径0.7×0.5	棒部で破損。	6.9	伊D I10 3790SK 台5130

### (14) 滑石製品

2点の製品が得られ、共に図示掲載した。

図1は滑石製の勾玉である。全面を研磨成形しているにも関わらず、片面の肌理が粗い。穿孔は片側から行われており、裏側にのみ紐ズレのような溝状の痕跡が認められる。第一浜堤 K9 グリッドの 3320SK からの出土で、この土坑は他の遺構との切り合い関係が認められず、他にこれといった遺物も出土していない。色調や質感からは石鍋に使われた長崎産滑石と変わらないように思えるが、明代に比定される遺構の帰属時期と沖縄での石鍋盛行時期との間に乖離が生じており、一考を要する。散布していた前代の滑石片をたまたま拾得した者が、加工しやすい石材として勾玉を作ったのであろうか。

図2は、滑石製石鍋の底部付近を分割したものである。破断面の2箇所には径6mmほどの孔痕が残っており、石鍋分割の際に穿たれたものと考えられる。7.2×4.6cm程度、92.7gを量る大ぶりの材であり、破断面は分割後に研磨された可能性もある。本品はⅢa層（近世）からの出土であるが、グスク時代初期に帰属する遺物であることは間違いない。明代に盛行期をもつ本遺跡において、石鍋に関連する滑石製品は過去に1点得られているのみであり、伊礼原全体を合わせても16点と僅少である（2016北谷町教委）。南方に位置する小堀原遺跡の529点、後兼久原遺跡の115点に対比すると、当該期における滑石製品の意図的集約、或いは拡散への制限が想像される。



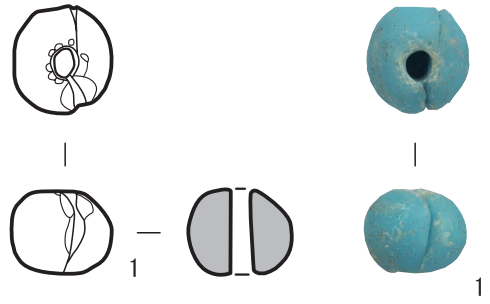
第126図・図版61 滑石製品 (S=1/2)

第78表 滑石製品 観察一覧

第図 図版	図番号	種別	寸法 (cm)	重量 (g)	観察事項	地区・グリッド・層序 遺構・台帳番号
第126図 図版61	1	勾玉	3.2×2.0×最大厚0.9、孔径0.2	6.1	片面の肌理が粗い、片面から穿孔、紐ズレ?	伊D K9 3320SK 台5152
	2	石鍋分割材	石鍋底径約27、材7.2×4.6×2.0、孔径0.6	92.7	石鍋底部付近を利用、破断面を研磨?	伊D H12 Ⅲa 台2262

### (15) ガラス玉

第一浜堤 I10 グリッドの 3797SK から、1 点出土した。図 1 は歪ではあるが球形に近く、比較的大型のガラス玉である。水色であり透明感はなく、表面はやや風化している。気泡や巻き上げ痕は認められず、孔から僅かにずれたところに半割痕が残るため、鋳型による成形であろうか。沖縄県内では各期を通じてガラス玉の出土例が豊富であるが、その殆どは巻き上げ手法によるものであり、本品類例は北谷町大作原古墓群（2003 北谷町）以外には探せなかった。



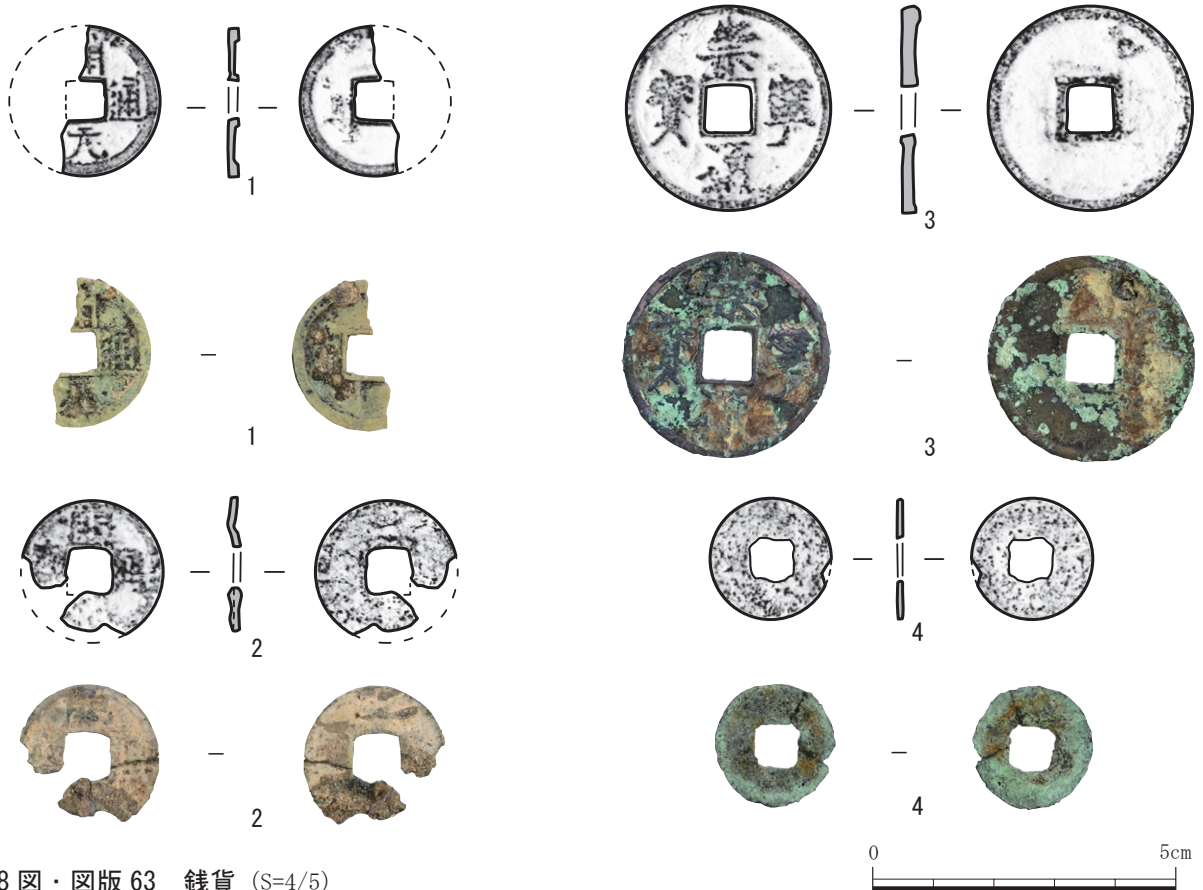
第 127 図・図版 62 ガラス玉（等倍）

第 79 表 ガラス玉 観察一覧

第図 図版	図番号	種別	色	寸法 (cm)	重量 (g)	観察事項	地区・グリッド・層序 遺構・台帳番号
第127図 図版62	1	ガラス玉	水色(不透明)	長1.1×幅1.4、孔径0.4×0.3	2.5	外面風化、半割痕(?)、僅かに欠損。	伊D I10 3797SK 取160 台3735

### (16) 銭貨

計 4 点が得られ、うち 3 点が中国銭、1 点が無文銭である。



第 128 図・図版 63 銭貨 (S=4/5)

第 80 表 銭貨 観察一覧

第図 図版	図番号	銭貨名	背文字	初鋳造年	残存	外径 (cm)	内径 (cm)	縁幅 (mm)	縁厚 (mm)	重量 (g)	内縁・観察	地区・グリッド・層 遺構・台(取)番号
第128図 図版63	1	開元通寶	-	621	唐	3/5	2.5	0.6	0.2	1.8	縁・字明瞭。	伊D I8 Vb 取201
	2	開元通寶	-	621	唐	3/4	2.4	0.8	0.2	1.6	劣化・歪みあり。	伊D I9 3919P 台5135
	3	崇寧通寶	無	1103	北宋	完	3.4	0.7	0.2	8.0	当十銭。縁・字明瞭。緑青。	伊D H12 2681P 台3015
	4	無文銭	-	-	-	完	2.0	0.8	-	0.1	緑青。	伊D H・I10 3680SK 台5187

**唐銭：開元通宝**（図1・2）は2点得られており、いずれも欠損品である。図1はV b層砂層から、図2はグスク期の遺構3919Pからの出土であるが、出土グリッドはそれぞれI8・I9と近い。唐銭が良質な中国銭の1つとしてグスク時代に流通していたことは大いに考えられるが、その流入を唐代に求めることは可能である。この2点が出土した第一浜堤では、アカジャンガー式に比定できる土器や、同時期頃の埋葬遺構も見つかっている。

**北宋銭：崇寧通宝**（図3）は、前年の小平銭に続いて1103年に鑄造された当十銭である。北谷町内では、北谷城跡（1992北谷町教委）に次ぐ、2例目の出土となる。第一浜堤2681Pからの出土で、このピットは、平面切り合い上は古手のものとなる。

**無文銭**（図4）は、1点のみ得られた。3680SKからの出土で、染付・褐釉陶器・鉄釘等と共出した。遺構の平面切り合い上は古手のものである。宮城弘樹氏によるV期後半の事例（2008宮城）に充てて15c後半以降のものと考えたいが、重量は0.6gと非常に軽く、近世鳩目銭の類である可能性もある。

**小結**

これまで北谷町内の遺跡から出土した銭貨のうち、中国銭（清銭と無文銭は除く）に限って集成を行い、計69点を集めた。表仮2においては、これらの出土遺跡を町内小字ごとにまとめ、南から順に並べて表した。北宋銭が29点と最も多く、次いで明銭22点、唐銭・南宋銭が8点と続く。北宋・南宋銭については、折二銭等の大銭と当一銭となる小平銭で構成されており、前者32%・後者68%の比率となる。各銭出土点数の順位は、上位のものは北谷町内と沖縄県内ではほぼ変わらない。しかし、比較的南宋銭の比率及び大銭の比率が高いように思われる。

更に、比較的大きな規模で発掘調査が実施された4小字（後兼久原・小堀原・伊礼原・平安山原）に限って検討する。これらに所在する遺跡は、特にグスク期における遺跡内容に異なりをみせており、対比しやすいからである。第仮1表では、それぞれの遺跡内容を略示した。表中E期に盛期を持つ小堀原については、次代F期まで存続せず、忽然とその痕跡を消してしまう。つまりグスク期に限って言うならば、小堀原はE単独期の遺跡であることになる。その小堀原における銭貨の出土数は唐銭2点のみである。非常に点数が少ない中での推論とはなるが、以下のような仮説を導き出すことができる。

- ・ 北谷町内における北宋銭や南宋銭は、小堀原から出土していない。→これらの銭鑄造年に近いE期には流通していなかった可能性が高く、F期になってから盛行した。
- ・ E期に流通していた可能性があるものは唐銭しかないことになる。しかしながら、E期に最も盛行した小堀原に格段の突出状況は認められない。→一部唐銭の流入はC・D期であった蓋然性は高いと言える。

**第81表 小字ごとの遺跡内容**

小字名(上段)・遺跡内容(下段)	後兼久原					小堀原					伊礼原					平安山原									
	時期	居住	廃棄	埋葬	耕作	鍛冶	居住	廃棄	埋葬	耕作	鍛冶	居住	廃棄	埋葬	耕作	鍛冶	居住	廃棄	埋葬	耕作	鍛冶				
A 貝塚時代後期前半① 阿波連浦下層・浜屋原式							○					○					○								
B 貝塚時代後期前半② 大当原式								○				○						◎						?	
C 貝塚時代後期後半① アカジャンガー式								○										◎							
D 貝塚時代後期後半② フェンサ下層式													◎	4										1	○
E グスク時代初期 石鍋・玉縁白磁・カムイヤキ	◎		4	○	○	◎		6			○			1										1	
F グスク時代 主に明代	○				○							◎					◎							1	○



第82表 北谷町小字ごとの出土銭貨数集計

町内原名(上段)・報告書(下段)	城原(北谷城)			伊礼原				平安山原				出土数順位													
	玉代勢原 町13	町1	町2	町12	町32	町21	七22	小堀原 町34	町28	町31	町35	町36	町41	町29	町37	町38	町40	計	北谷	沖繩	博多	全国			
王朝 唐						1		2				2				1		7	3	3	3	5			
	規格	年代																							
	開元通宝	621											2						1						
	乾元重宝	758																1							
<b>唐銭合計</b>			<b>0</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>		<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>				<b>2</b>			<b>8</b>								
<b>北宋</b>																									
	景德元宝	1004											1									14	14	13	
	天禧通宝	1017																				18	13	14	
	天聖元宝	1023					1								1						10	7	7		
	皇宋通宝	1039				1															5	4	2	1	
	熙寧元宝	1068				1		2													5	5	4	3	
	熙寧重宝	1071																				27			
	元豐通宝	1078				1									2	1					4	6	1	2	
	元豐通宝	1078																				23			
	元祐通宝	1086										1										8	5	4	
	元祐通宝	1093																				40			
	紹聖元宝	1094																				11	11	8	
	聖宋元宝	1101											1									-			
	崇寧通宝	1103				1																31			
	崇寧重宝	1103																				19	27	40	
	大觀通宝	1107																				12	17	23	
	政和通宝	1111																				7	8	9	
	政和通宝	1111																				34			
	宣和通宝	1119																				28			
<b>北宋銭合計</b>			<b>0</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>15</b>		<b>0</b>	<b>4</b>	<b>9</b>							<b>29</b>								
<b>南宋</b>																									
	建炎通宝	1127																							
	紹興通宝	1131																							
	淳熙元宝	1174																							
	大宋元宝	1225																							
	端平元宝	1234																							
	景定元宝	1260																							
<b>南宋銭合計</b>			<b>0</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>4</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>2</b>							<b>8</b>								
<b>明</b>																									
	洪武通宝	1368				1																12	1	6	11
	永樂通宝	1408																				10	2	9	6
<b>明銭合計</b>			<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>7</b>		<b>0</b>	<b>4</b>	<b>7</b>							<b>22</b>								
<b>不明</b>																									
<b>総計</b>			<b>3</b>	<b>6</b>	<b>6</b>	<b>28</b>		<b>2</b>	<b>10</b>	<b>20</b>							<b>69</b>								

※表中上段の「町○」は北谷町文化財調査報告書第○集を、「セ○」は沖繩県立埋蔵文化財センター調査報告書第○集を、それぞれ表している。

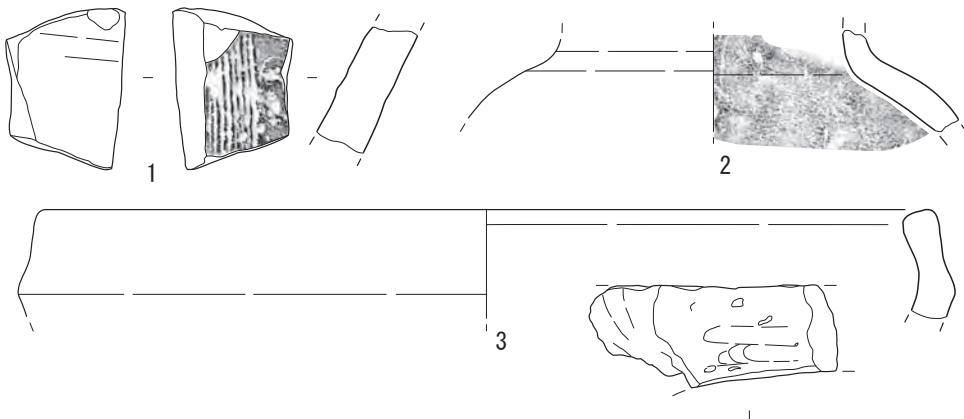
(17) 瓦質土器

出土数は非常に少なく8点のみであった。いずれも泥質で灰色と赤～橙色に分けられた。前者は本土産及び湧田産（瓦質b）と考えられ、後者は近世以降の生産で産地は明確でない（瓦質a）註。瓦質bは播鉢・鉢・壺等の5点、瓦質aが壺・蔵骨器等3点確認できた。瓦質bの5点はいずれも胎土に大～小の黒色粒を含む。今回は瓦質bより3点を図示するが、2点（図1・2）が017グリッドIV層1510SDより出土した。図1は播鉢の胴部で8本の櫛目が残り、器厚は1.3cmを測る。

図2は有頸タイプの壺頸部で、器厚が1.0cmあり小型ではないと思われる。沖縄産無釉陶器の可能性あり。図3はL10グリッドVb層より出土した深鉢の口縁部で「く」字状に屈曲し口径29.6cmを測る。器面は劣化のせいかアバタ状を呈す。図4は瓦質aに分類される蔵骨器の身の口部分で、器面に多数の粗殻の痕が残る。0001SZより出土。註：2016 平安山原A遺跡の分類に準ずる（2016）

第83表 瓦質土器 出土量

層	遺構	灰色系(瓦質b)				赤色系(瓦質a)			合計
		播鉢	鉢	壺	不明	壺	蔵骨器	不	
I	0001SZ						1		1
IIIb						1		1	2
III下	3450P			1					1
	3801SK				1				1
IV	1510SD	1		1					2
Vb			1						1
部位別合計		1	1	2	1	1	1	1	8
系統別合計		5				3			



第129図 瓦質土器平面分布



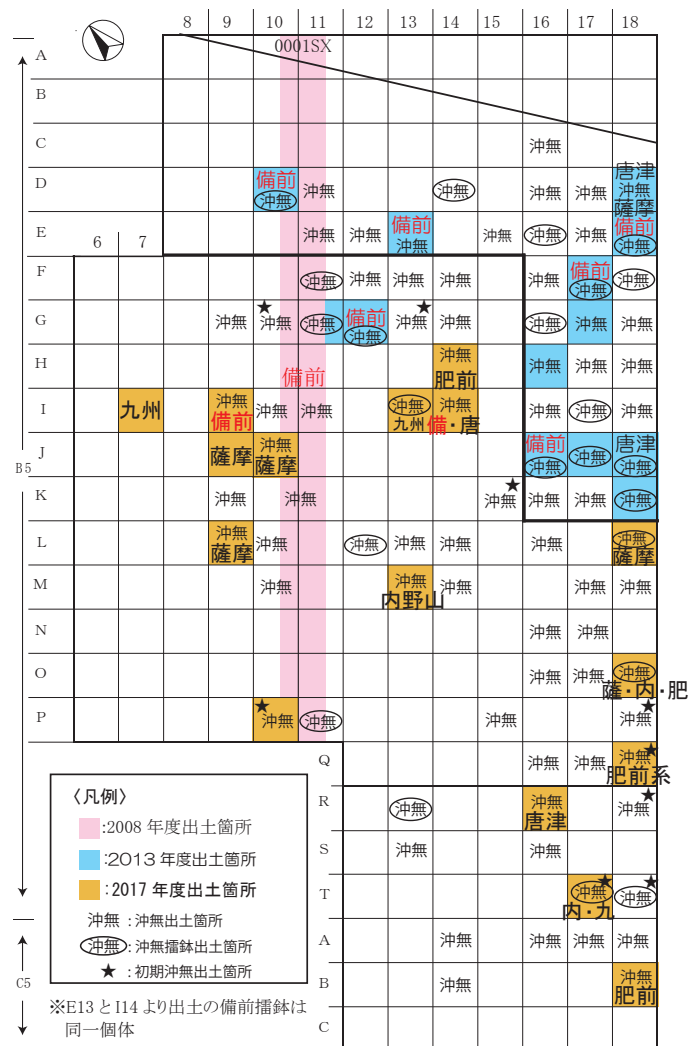
第130図・図版64 瓦質土器

## (18) 本土産陶器

今回は近世以前に生産されたと考えられる本土産陶器 25 点が確認できた。内訳は瀬戸と思われる壺、備前産播鉢、唐津産皿、内野山産碗・皿、福岡産碗・皿、薩摩産土瓶や袋物等であった（第 84 表）。全体的に出土数が少なく目立った傾向等を見出す事は難しかったので、これまでの調査成果と合わせて分布図を作り、伊礼原D遺跡での本土産陶器と沖縄産無釉陶器との出土状況の比較や産地別の傾向等を検討した（第 131 図）。本土産陶器は遺跡の中央～東側に比較的多く出土し、沖縄産無釉陶器は遺跡全体から出土している。また、産地別では備前産が北側に集中している。既報告の遺物を集計したところ最も多く出土した本土産陶器は備前産播鉢で本土産陶器中 27% 近い出土率であった。それに対して沖縄産無釉陶器製播鉢は沖縄産無釉陶器中 10% 前後の出土率であるが遺跡全体で見受けられる。また、時代と共に居住域が北から南へ広がったので、南の方からは備前産播鉢が出土しないと推測される。これらの事から古い時期には備前産播鉢が使用され、その後沖縄産播鉢との併用が始まり、時代が新しくなるに従い沖縄産播鉢のみが使用されたと想定できないだろうか。以下、主な遺物について第 85 表で詳細を記し、第 132 図及び図版 65 に示した。

図 1 は瀬戸産と思われる壺の胴部で腰部まで鉄釉が掛かる。焼成良好で堅緻である。図 2 は備前産の播鉢胴部で 2013 年報告資料（第 98 図 1）と同一個体の可能性がある。天界寺 I・II（沖縄県立埋蔵文化財センター 2001・2002）を参考に、口径 31cm 底径 12cm 高さ 10cm と推測した。図 3・4 は肥前産碗の口縁部で天目を意識した二段の口造りとなっている。図 5 は肥前系と考えられる瓶で、頸部が締め胴部は膨らむ玉壺春形。胴部の 3ヶ所に鉄絵（笹文）が描かれる。肥前系ではあるが唐津の様相は見られないので、あるいは唐津の影響を受けて 17 世紀初頭に薩摩で焼かれた可能性もあるとのことである（註）。図 6 は唐津産の二彩絵の大皿で白土による刷毛目文様を描いた上に砂目痕が残る。図 7・8 は内野山産の碗と皿で、7 は内面に黄色釉か透明釉、外面に銅緑釉の掛分け碗で外面の銅緑釉は焼成時にはじけて縮れ、一部斑点を呈する。8 は内面に鉄釉、外面に透明釉の掛分け皿で外面に透明釉が施されるのは珍しいとのことであった（註）。図 9 は瓶の口縁部で、口唇に向かって釉薬が垂れているので、伏せ焼きであったことが窺える資料である。図 10・11 は福岡産の可能性の高い碗と皿で 10 は内外面共に灰釉が掛けられるが、掛け方が雑でまだら状を呈する。11 は焼成不良のため釉が発色せず白色を呈する。図 12 は九州産の直口碗。磁器のように胎土が締まっている。図 9 は鳥型置物の一部で尾羽の部分だと思われる。鉄釉が施されるが削りの部分に釉が

頸部が締め胴部は膨らむ玉壺春形。胴部の 3ヶ所に鉄絵（笹文）が描かれる。肥前系ではあるが唐津の様相は見られないので、あるいは唐津の影響を受けて 17 世紀初頭に薩摩で焼かれた可能性もあるとのことである（註）。図 6 は唐津産の二彩絵の大皿で白土による刷毛目文様を描いた上に砂目痕が残る。図 7・8 は内野山産の碗と皿で、7 は内面に黄色釉か透明釉、外面に銅緑釉の掛分け碗で外面の銅緑釉は焼成時にはじけて縮れ、一部斑点を呈する。8 は内面に鉄釉、外面に透明釉の掛分け皿で外面に透明釉が施されるのは珍しいとのことであった（註）。図 9 は瓶の口縁部で、口唇に向かって釉薬が垂れているので、伏せ焼きであったことが窺える資料である。図 10・11 は福岡産の可能性の高い碗と皿で 10 は内外面共に灰釉が掛けられるが、掛け方が雑でまだら状を呈する。11 は焼成不良のため釉が発色せず白色を呈する。図 12 は九州産の直口碗。磁器のように胎土が締まっている。図 9 は鳥型置物の一部で尾羽の部分だと思われる。鉄釉が施されるが削りの部分に釉が



溜まる事で濃淡を呈する。

註：大橋康二先生のご教示による。

第84表 本土産陶器 出土量

層	産地 器種 遺構	瀬戸か			備前			肥前系			唐津		内野山		福岡		薩摩				九州		不明	合計
		壺	播鉢	碗	皿	瓶	皿	碗	皿	碗	皿	土瓶	瓶	壺or甕	不明	碗	置物	風炉						
I	0001SZ							1		1													1	2
IIIa		1	1				1						1	1	1						1			6
IIIb			1															1						2
III下	1515P			1																				1
	2859P				1																			1
	3053P			1																				1
	3495P													1										1
	3584P																	1						1
	3842P												1											1
	4136P																			1				1
	1545SK					1																		1
	4500SK					1																		1
	4572SK							1																1
4580SK																			1				1	
1506SX											1												1	
IV	1510SD					1																		1
部位別合計		1	2	2	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	25
産地別合計		1	2			6			2			3	1	1							5		3	1

第85表 本土産陶器 観察一覧

(質量単位：cm)

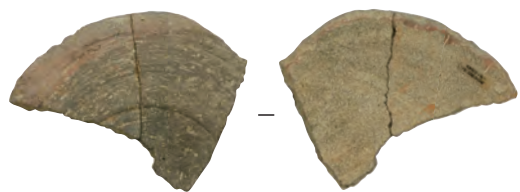
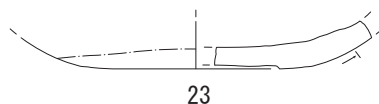
第図版	番号	産地	器種	部位	口径 胴径	底径	器厚	器形	文様/施釉/器色	素地 混和材	成形	生産 年代	地区 グリッド 層 遺構 (取上)台帳番号
第132 図・ 図版 65	1	瀬戸か	壺	胴	最大胴径 14.0	-	0.5 ~ 0.8	胴部で膨らむタイプ	鉄釉/こげ茶	白 (精良)	ロクロ	14c後~15c	L8IIIa台2330
	2	備前	播鉢	胴	口31.0 底(12.0) 高(10.0)		0.65	口縁部の断面形は逆「く」字を呈し、縁帯は直口で2.5cm幅	楯目7本残(下から上へ掻く)/灰	砂粒 (小△)	ロクロ	16~17c	I14IIIa台2194
	3	肥前	碗	口縁	-	-	0.4	天目を意識した作り 二段の口作り	鉄釉	灰 (精良)	ロクロ	17c前半	M10III下3053P 台3343
	4				10.0	-	0.4	天目を意識した作り 二段の口作り	鉄釉	灰 (精良)	ロクロ	17c前半	O18III下1515P 台2483
	5	肥前系	瓶	頸~胴	最大胴径 7.6	-	0.6 ~ 0.3	頸部が縮まり、胴部が膨らむ玉壺春形	鉄絵で雀?(3か所)/ 暗茶	白色粒 (極小△)	ロクロ	17c始め	Q18IV1510SD 取191台3988
	6	唐津	皿	底	-	11.7	0.9	高台は整形が雑でやや凸凹している	刷毛目文((白土)) 砂胎土目痕	白色粒 (微細△)	ロクロ	17c後半	R16 I 台4296
	7	内野山	碗	胴	最大胴径 11.6	-	0.4	腰部は丸味を帯び、胴部は斜め上方向け緩やかに伸び口縁部に至る	無/腰部まで/外:銅緑釉、内:黄か透明	白(精良)	ロクロ	1675~1725	M13 I 台2170
	8				皿	口縁	-	-	0.43	細片のため不明	無/外:透明、内:鉄	白(精良)	ロクロ
	9	福岡	碗	口縁	12.0	-	0.3	外に開き直線状に立ち上がる。口縁で内側に屈曲させる。	灰釉/びわ色	砂粒 (△)	ロクロ	1590~1610	I9III下3842P 台3453
	10				皿	口縁	20.9	-	0.55	口縁は罫縁をなし先端を上方に引き上げる。口唇は三角状に尖がる	藁灰釉/白(焼成不良)	砂粒 (△)	ロクロ
	11	薩摩	瓶	口縁	5.0	-	0.25	頸部が縮まり口部が開く 伏せ焼き(接地面のみ無釉)	無/土灰釉/暗茶・暗茶	砂粒 (極小△)	ロクロ	17c初	J-K10III下3495P 台3600
	12	九州	碗	口縁	11.4	-	0.25	直口碗	無/透明釉/白灰 (内外面:貫入)	黒色粒 (極小△)	ロクロ	江戸時代	T17III下4580SK 台4424
	13				置物(鳥型)	長さ3.8 幅2.2 高0.85	尾羽?				羽の様子/鉄釉/茶	淡茶 (精良)	型

( ):推定

混和材凡例 ◎:非常に多い ○:多い △:少ない ▲:僅少

<補遺 2>

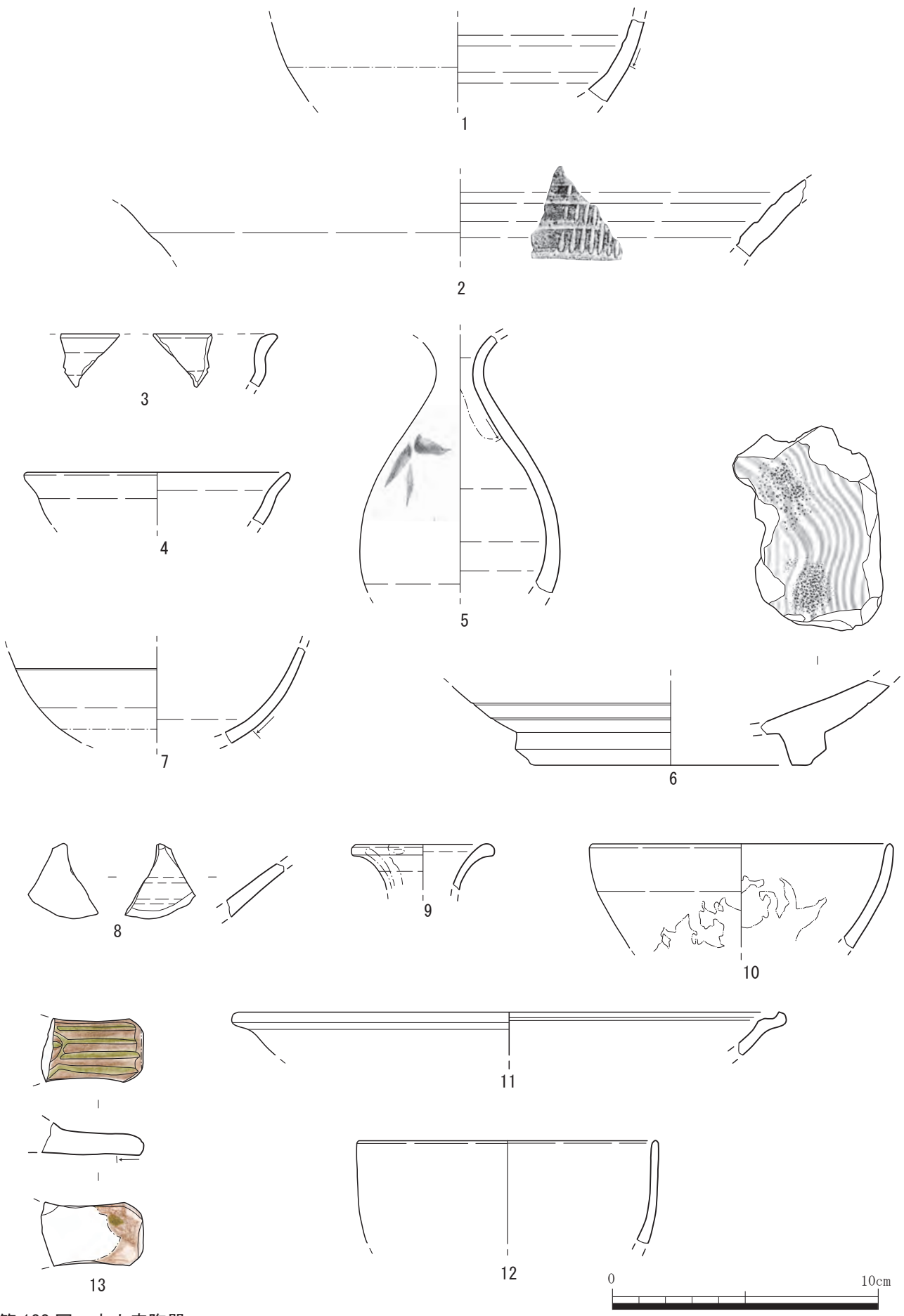
「伊礼原 D 遺跡」  
(町 35) で報告した褐釉  
陶器急須底部 (E18 II  
出土) について、後日、  
大橋康二先生に同定し  
て頂いた結果、薩摩産  
土瓶底部と訂正します。



23







第132図 本土産陶器



图版 65 本土産陶器

# (19) 本土産磁器

近世磁器が15点、近代磁器が24点出土した。近世磁器は肥前系のみで染付14点、鉄釉と透明釉の掛分け1点が確認できた。近代磁器では手描き2点・型紙刷り9点・銅版転写4点・ゴム判2点・クロム青磁2点・国民食器1点が確認でき、産地は砥部と瀬戸美濃であった。出土傾向として、近世磁器はⅢ層下からの出土が多く、近代磁器はⅢa層より上から多く確認できた。分布図(第140図)からは遺跡の東側に多く出土している様子が窺える。以下、特徴的な遺物について第88表に詳細を記し、第133図、図版66に示した。

図1～6は近世期に肥前で生産された碗・皿・蓋で蓋以外は17世紀後半に生産されたものである。1～3はいずれも口径14～16cmを測り、外面に山水文(図1)鳳凰(図2)龍(図3)を描くが、1の山水はくずし文で見込みの文様(草か笹)も簡略化されている。「見込み荒磯文の碗は山水文などの碗類と供判する例がよく見られる」(註)とのことである。図4は碗の底部で、焼成の際に素地まで鉄分が入り茶色を呈する部分が見られる。図5は小皿で全形が窺える資料で、内面に山水と千鳥の絵付けがされる。図6は青磁染付の蓋で、内面縁際に二重圏線が巡る。図7～9は近代の型紙刷り碗と銅版転写皿である。 註：九州近世陶磁学会「九州陶磁の編年」2000年P89

第86表 本土産磁器(近世)出土量

第87表 本土産磁器(近代)出土量

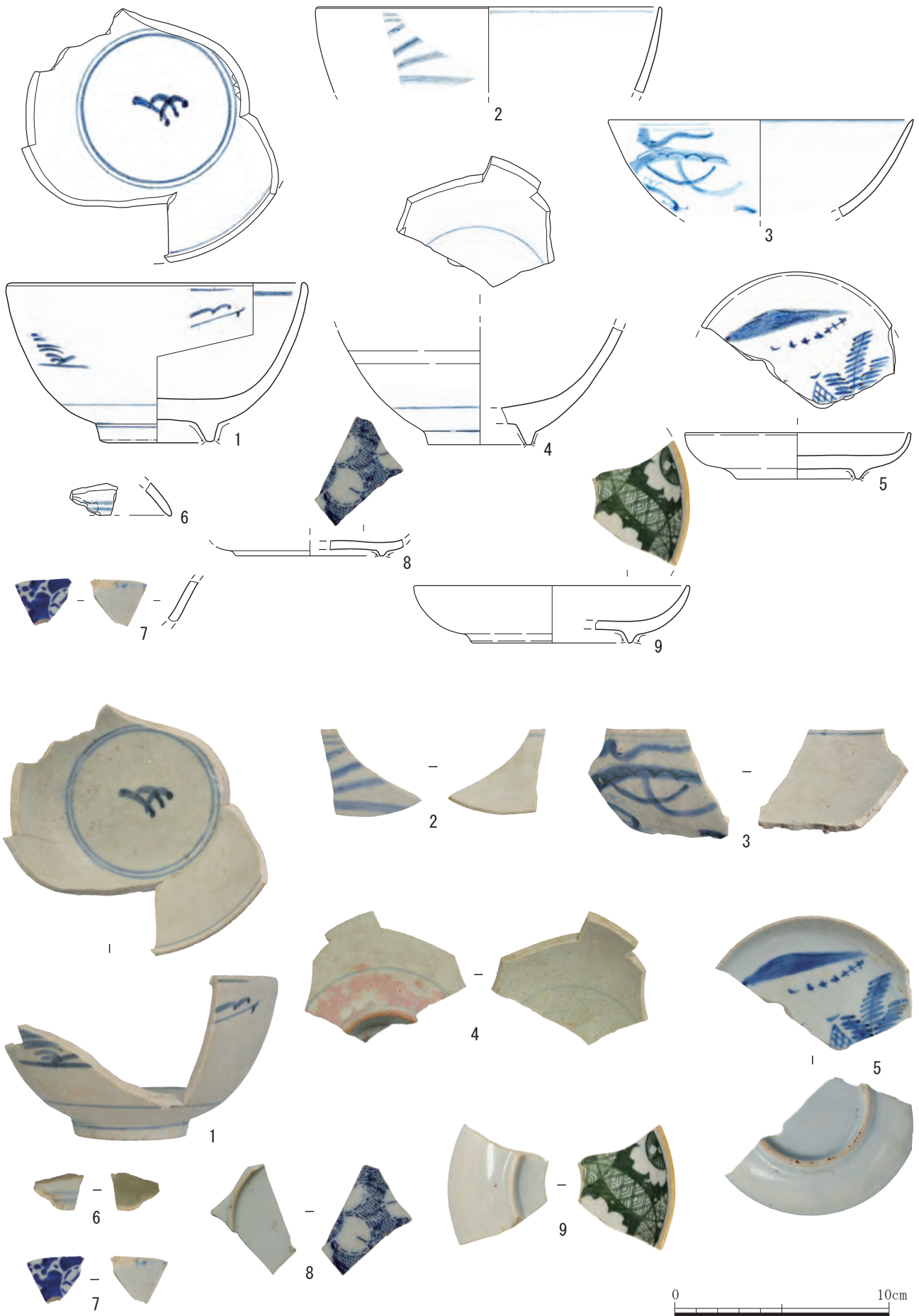
層	遺構	肥前系						合計	層	遺構	技法		型紙		銅版転写		ゴム判		クロム		国民食器		不明		合計
		中碗	大碗	碗	碗(筒)	小皿	蓋				手描き	急須	碗	皿	碗	小皿	小皿	皿	小碗	小碗	香炉	小碗	碗	小碗	
I			1				1	2	I							1	1					1	3		
II	0586SZ	1						1	0001SZ				1			1							2		
III				1				1	0002SZ	1													1		
IIIa		1	1				1	4	0012SK		1												1		
III下	1878P			1				1	0019SL						1								1		
	4505P		1					1	IIIa		1	1	1	2		1			1	1		1	9		
	4517SK	1						1	III下	3573P												1	1		
	4563SK			1				1	IV	1510SD				1									1		
	4577P	1						1	不明			1	1			1							5		
	1316SX	1						1	部位別合計	1	1	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2		
	1506SX	1						1	器種別合計	1	1		7	2	1	1	1	1	1	1	1	1	24		
部位別合計		5	1	3	1	2	1	1	技法別合計		2			9		4		2	2		1		4		
器種別合計		6		4		2	1	1																	

第88表 本土産磁器 観察一覧

(質量単位:g・cm)

第図	番号	時代	技法	産地	器種	サイズ	部位	口径	器高	底径	器厚	器重量	釉色	観察事項 (文様/高台等/年代)	口唇/器形	成形	地区	グリッド	層	遺構
第133図・図版66	1	近世	手描き	肥前	碗	大	口～底	14	7.4	5.2	0.5	207	呉須濃青	外面:山水くずし文、腰部と高台脇に圏線、見込み:草か笹、口唇下:圏線/畳付け無軸	舌状/直口	ロクロ	T18Ⅲ下4563SK			台4431(取404)
	口						16	-	-	0.3	6.81	呉須薄青	外面:二重圏線・鳳凰、内面:圏線	舌状/直口	B18Ⅲ下4505P				台4392	
	口						14	-	-	0.3	22.17	呉須青	外面:二重圏線・龍、内面:圏線/貫入あり	舌状/直口	P18Ⅲa台2743					
	中					底	-	-	4.8	0.5	51.82	呉須にぶい	外面:腰部と高台脇に圏線、見込み:圏線/畳付け無軸、焼成時:素地に鉄分が入り込み茶色の部分有り	高台脇から緩やかなカーブ	F12・13Ⅱ0586SZ				台976	
						口～底	10.4	2.1	5.8	0.2	42.18	呉須明瞭	内面:山水に千鳥/畳付け無軸	舌状/内湾	A16Ⅰ台4307					
						縁	-	-	-	0.4	2.08	呉須にぶい	青磁染付:内面縁際に二重圏線が巡る	舌状/庇は直線状	G9Ⅲa台357					
	7	近代	型紙刷り	不明	碗	中	胴	-	-	-	0.4	3.1	青	外面:花唐草を主文様とする	細片のため不明	ロクロ	G10Ⅲa台121			
	底						-	-	6.8	0.4	9.63	青	内面:桜花の間を点描で埋める/畳付け無軸	細片のため不明	D～P10・11Ⅰ				0001SZ 台13	
	口～底						12.9	2.7	7.4	0.4	21.18	緑	桜花や四菱等・口鏽/畳付け無軸	舌状/内湾	D～P10・11Ⅰ				0001SZ 台13	

※皿のサイズについては江戸考古学研究会を参考に口径から小1:8.5～9.4cm、小2:10.4～11.6cm、小3:12.5～13.6cm、中1:14～15.4cm、中2:21cmとした。



第133图·图版66 本土産磁器



## (20) 沖縄産施釉陶器

全部で22点が出土した。器種別には碗8点、碗か鉢1点、大鉢3点、鉢1点、急須3点、瓶2点、小壺1点、壺1点、不明2点(第89表)が確認できた。平安山原A遺跡(北谷町2016)に準じて分類したところ、鉄・飴釉の全面施釉(Ⅱ類)が最も多く9点、次に灰釉の直掛け(いわゆる灰釉碗)(Ⅰ類)5点、白化粧+透明釉(以下白化粧と表記)(Ⅳ類)4点、外面に鉄釉・黒釉、内面に透明釉を掛ける(Ⅲ類)2点で白化粧との掛分けは1点であった。Ⅱ類では碗や大鉢だけでなく急須や瓶・壺などの袋物も確認できた。既刊の伊礼原D遺跡で沖縄産施釉陶器は無釉陶器に対して約70%の割合で出土していたが、今回は13%であった。以下、特徴的な遺物について第90表に詳細を記し、第134図、図版67に示す。

図1はいわゆる灰釉碗の底部で高台を外側から内側下がり斜めに切っており、安定感にやや欠ける。見込みにうっすらと溶着痕が残るので重ね焼きを行ったと思われる。図2は掛分け碗の底部で内面は白化粧後蛇の目釉剥ぎ(溶着痕有り)を行い、外面は鉄釉を全面に掛けて乾燥させた後、高台にアルミナを浸掛けし畳付けを鉄釉ごと釉剥ぎしている。高台にアルミナを浸掛けしたのに畳付けの釉剥ぎしたのはなぜか、類似資料の増加を待ちたい。図3は鉄釉掛けの鉢の口縁部で逆「L」字状を呈する。図4は鉄釉掛け大鉢の底部で、内面は全面施釉後蛇の目釉剥ぎ(溶着痕有り)外面は腰部まで施釉し露胎部は焼成により赤くなっている。図5は重ね焼きの際に2枚が溶着した皿の口縁部。図6は小型の壺の口縁部で外面から口縁部内面まで鉄釉を掛ける。

第89表 沖縄産施釉陶器 出土量

層	遺構	器種			碗			碗か鉢			鉢			大鉢			急須			小壺		壺(耳付)		瓶		不明		合計
		口	胴	底	胴	口	胴	底	胴	耳	肩	口	胴	頸	肩	胴	頸	肩	胴									
I				2	1						1	1	1														6	
II	4710SZ																					1					1	
IIIa		1		1								1									1				1		7	
IIIb		1	1																								2	
III下	4017P											1															1	
	3616P																										1	
	4535SK											1															1	
	1559SD																										1	
	3741P																										1	
不明																											1	
部位別合計		2	2	4	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	22	
器種別合計		8			1	1	3			3			1	1		2	2											

第90表 沖縄産施釉陶器 観察一覧

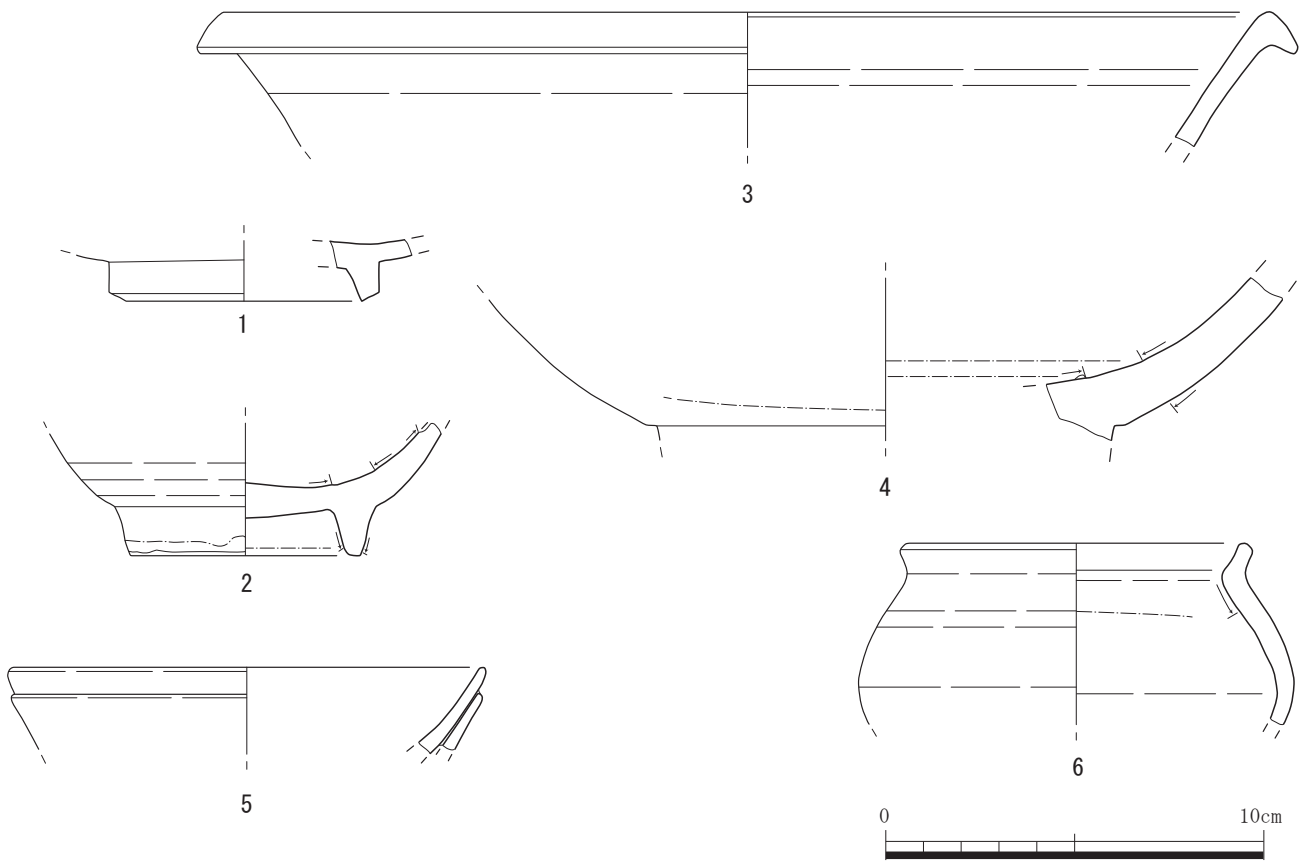
(質量単位: cm)

第134図・図版67	図番号	器種	分類	施釉	部位	器形	口唇	腰	畳付	口(縁)径・器高・底径	器厚(底厚)	器面調整(外・内)	露胎部	特記事項	貫入	素地色	遺跡・グリッド・層位・遺構・台帳(取)番号	
第134図・図版67	1	碗	不明	(灰)	底	高台	-	-	斜	-/-/7.2	0.5	ロ・ロ	見込(溶着痕)・高台(焼成により畳付外側は赤い)	畳付:外側から内側へ斜めに切られる	不明	淡灰	A17Ⅲ下4535SK台5210	
	2	碗	Ⅲ	外:鉄 内:白	底	-	-	丸み	丸	-/-/6.1	0.4	ロ・ナ	蛇の目釉剥ぎ(溶着痕)畳付(アルミナ)	高台にアルミナを浸掛けした後、畳付のみ釉剥ぎ	透・有	淡白	表土 台4269	
	3	鉢	Ⅱ	鉄	口	L	-	-	-	-	29.1/-/-	0.5	ロ・ロ	ナシ	ロクロ目に若干厚く釉が溜まり、圏線状を呈する	無	淡灰	M13Ⅲa台2130
	4	大鉢	Ⅱ	鉄	底	-	-	-	丸み	-/-/12.0	1.0	ナ・ナ	蛇の目釉剥ぎ(溶着痕)外面:腰部下(焼成により赤い)	見込みに重ね焼きによるアルミナ付着	無	淡橙	M16~18、N~Q17Ⅲa台2306	
	5	皿	Ⅰ	灰	口	直	-	-	-	-	a:12.6 b:12.4	0.3	ロ・ロ	ナシ	重ね焼きで2枚が溶着	不明	淡灰	A17Ⅲb 4535SK台5210
	6	小壺	Ⅱ	鉄	口	外反	丸	-	-	-	9.2/-/-	0.4	ロ・ロ	内面(口縁以外)	焼成により釉薬が斑状を呈する(ガラス化の有無)	有	灰	M16~18、N~Q17Ⅲa台2306

※分類は平安山原A遺跡に準じる

施釉凡例 灰:灰釉 鉄:鉄釉 白:白化粧+透明釉

器面調整凡例 ロ:ロクロ ナ:ナデ



第134图・图版67 沖縄産施釉陶器

## (21) 沖縄産無釉陶器

「荒焼（アラヤチ）」と称される沖縄産の無釉陶器が139点出土した。基本的に無釉であるが、マンガン釉・泥釉を施すものも含めている。第91表に器種ごとの出土量、第139図に平面分布を示す。数点ずつ遺跡全体に広がるが西側よりも東側に多く出土している。全体の割合としては調理容器（播鉢等）10.9%、食膳容器（急須）2.2%、貯蔵容器（壺や甕）49.3%、火炉・香炉・風炉3.6%、器種不明破片が34.1%を占めた。胎土と成形技法から初期無釉陶器と考えられるのは16点で碗（第135図1）・播鉢・風炉（第136図13）・壺（第136図20）・壺or甕（第136図22・23）が得られた。また、マンガン釉もしくは泥釉掛けは9点確認でき、碗・瓶・袋物・壺・香炉で見られた。

2008年度の試掘調査において0001SZ から205点の沖縄産無釉陶器が出土しており、2013（油分無し地区）の報告では281点、今回は139点が出土している。褐釉陶器は前掲の報告でいずれも沖縄産無釉陶器の2倍前後出土しており、今回は3倍を越す量であった（第139図）。本土産陶器の容器類についてはほとんど出土していない。周辺のⅢ層面では多数のピットが検出（北谷町教育委員会2013）されており、グスク時代から近世末までは継続した生活空間であったが、本土産陶器や沖縄産無釉陶器が必要とされずに生活していたことが窺える。以下、特徴的な遺物については第92表に詳細を記し、第135・136図、図版68・69に示した。なお分類は平安山原A遺跡（北谷町2016）に準じて行った。

第91表 沖縄産無釉陶器 出土量

器種	碗				播鉢				水鉢		鉢		急須		香炉		火炉		風炉		瓶			瓶or壺		壺			壺or甕		甕		不明			合計	
	層	遺構	底	口	頸	胴	胴~底	底付近	口	口~底	口	胴	口	底	口	口	口	頸	胴	底	胴	底	口	頸	胴	底	頸	胴	胴	底	口	胴	底				
I			1			1								1											1								5			12	
		0001SZ				1								1																						7	
		0002SZ					1																													1	
		0350SZ																							1		3	1								5	
II		4519SZ																																	1		1
		4588SZ																																	1		1
		4710SZ																																	3		3
		4722SZ																							1										1		2
IIIa			1		2	1			1					1		2		1				3	1	1	1	3	2	20		1		20	2	63			
IIIb										1																		1				3		5			
III下		1316SX																																1		2	
		1505SX																																1		1	
		1545SK																																1		1	
		1861P																																1		1	
		2461SK																																1		1	
		3467P																																1		1	
		3579P																																1		1	
		3746P																																1		1	
		4056P																																1		1	
		4134P																																	1		1
		4503SK																																	1		1
		4529P																																1		1	
		4532SK																																	1		1
		4533SK																																1		1	
		4534SK																																1		1	
		4546SK																																1		2	
		4563SK																																1		1	
		4569SK																																1		1	
		4570SK																																	1		1
		4575P																																		1	
	4579SK																																	1		2	
	4584P																																	1		1	
	4681SX																																	1		2	
	不明SK																																1		1		
IV		1510SD																																1		5	
		3507SD																																1		1	
Vb																																		1		4	
Vc																																			1		1
部位別合計		1	1	1	7	2	1	1	1	1	1	2	1	1	3	1	2	1	1	1	1	4	1	5	1	8	4	1	36	1	2	1	44	2	139		
器種別合計		1					12			2	1	2		2	3	1						5	5			18		37		3			47				

図1は碗の底部（高台のみ）で円盤状製品のように縁辺部が打ち欠かれるが、破損しているため碗底部として報告する。外面には泥釉が施される。挿鉢は12点確認のうち、口縁部と頸部にI類とII類が見られた。他は胴部や底部で隙間無く櫛目が施されていたため分類は難しかったが、いずれも向かって左上から右下へ櫛目を引くようであった。図2はI類の頸部で破損しているが口縁部は逆「L」字状を呈し2本の稜を持つと想定できる。図3はII類の口縁部で逆「L」字状を呈する。図4は見込み手前まで単位間が開く唯一の底部であったが、櫛目が非常に浅く単位の計数は難しかった。図5は櫛目上に珊瑚目痕が残る資料である。図6は櫛目が非常に浅く挿鉢としての機能を果たすのか疑問が残る。水鉢は2点でいずれもI類であった。図7は全形が窺える資料で肩部に複数の波状文が入る。外面は上半分と内面に釉か若しくは塗料が塗られている。図8は鉢の口縁部で1点のみ出土。逆「L」字状に折れ曲がるタイプであった。図9は急須の胴部で1点のみ出土。小片のため詳細は不明。図10・11は香炉で10は泥釉の掛かる筒型香炉の口縁部。11は施釉された筒型香

第92表 沖縄産無釉陶器 観察一覧

(質量単位:cm)

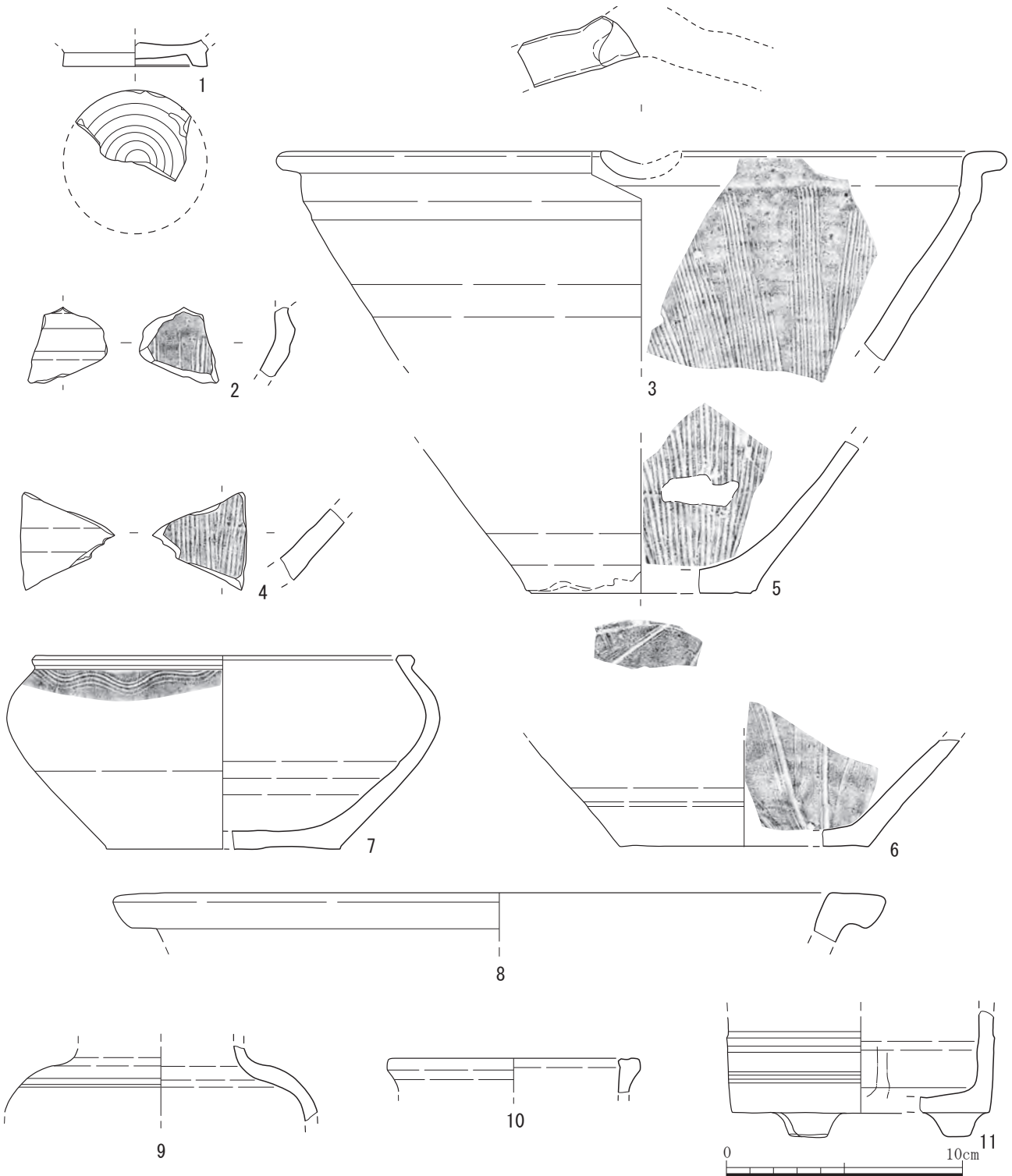
第図 図版	図 番号	器 種	分 類	部 位	口径 残存口径	底径 器厚	形状・特徴 (口・胴・底・高台・器厚・文様)	器色 (外、内、サンド)	器面調整	混和材	焼 成	地区・グリッド・層位 遺構・台帳(取)番号
第135 図・ 図版 68	1	碗	-	底	-	6.2 0.5	初期沖無。高台低く、畳付け幅は0.5cmで 方形、内外面ともに泥釉が掛かる	暗茶、茶、橙	外-回転 内-ナデ	石英(小)△	良	T18 I (表土)台4275
	2		I	頸	-	0.6	口縁部の稜は2本と想定できる。櫛目:5本 一単位か(左→右)。単位の間隔:0.5	暗灰、暗灰、暗紫	回転による	石英(小)△	良	D~P10・11 I (埋 土)0001SZ台10
	3		II	口	31.0	0.8~1.0	逆「L」字状(幅:1.9)、先端:丸、櫛目:11 本一単位(左→右)、単位の間隔:1.8~1.1	暗灰、暗赤、赤茶	回転による	赤色粒(大)◎	良	M16~18,N~Q17 IIIa(包1)台2306
	4	挿 鉢	-	胴	-	0.9	隙間無く櫛目	暗赤、赤、赤	回転による	赤色粒(大)○	良	P11・12 I (埋土) 0002SZ 台36
	5		I or II	胴 or 底	-	9.4 0.9	初期沖無。直底・胴部に向け逆「ハ」字状に 広がる。珊瑚目痕、底面に回転台の痕。櫛目 は4本単位、単位間空く	茶、暗赤茶、暗赤 茶	回転による	砂粒(○) 石英粒(○) 底面に線?	良	I13 IIIa台2244
	6		-	口 or 底	18.2	10.6 0.9	櫛目:非常に細く浅く計数不可(左→右)。 一単位の幅は1.4 17c後半	暗茶、暗紫、暗紫	外-ナデ 内-回転	白(小)△ 黒(大・小)△	良	L12 Vb(砂1) 台3285
	7	水 鉢	I	口 or 底	16.0	9.8 0.4~0.5	内湾・口唇三角(上面平坦・幅:0.55)直下く びれ胴膨らむ・文様:外面に波状文(複)	こげ茶(施釉)、こげ 茶(施釉)、灰褐色	外-ナデ 内-回転	石英(中)△	良	K10 IIIb(包2) 台2307
	8	鉢	I or II	口	32.8	1.0	逆「L」字状(幅:2.3)、先端:角	淡茶、橙、淡茶	ナデ	赤色粒(中)△ 黒色粒(細)△	やや 軟	D~P10・11 I (埋 土)0001SZ台9
	9	急 須	-	胴	13.2	0.5	頸がくびれ、口縁は直だと思われる。肩部に 圏線が巡る	暗茶(施釉)、暗茶 (施釉)、暗紫	回転による	紫色粒(中)△	良	III 下不明SK台5209
	10	香 炉	-	口	10.8		口縁部は筒状に立ち上面に平坦面を持 つ。口唇外面はやや玉縁状を呈する	黒褐色(施釉)	ナデ	黒色粒(小)△ 白色粒(細)○	良	P18 IIIa(包1) 台1225
	11		-	底	11.2	11.0 0.6	筒型・三脚(円形・径1.0×高さ1.0) 内面に釉垂れ、外面釉の発色に差あり	暗灰(施釉)、灰、 暗紫	回転による	白色鉱物 (中)△	良	A14 III下4681SX 台4767
第136 図・ 図版 69	12	火 炉	-	口	18.1	0.9	肩部「く」字状屈曲・口唇平坦・外面口縁下 に圏線	明橙、明(橙)	回転による	赤色粒(中)△ 黒色粒(細)△	やや 軟	M14 IIIa(包1) 台2135
	13	風 炉	-	口	23.6	0.5	初期沖無。内側に逆「L」字状(幅3.4)で胴 部はすぼみながら底部に向かう	暗茶、暗茶、紫	ナデ	砂粒(極小)△ 気泡◎	良	P10 I (埋土) 0001SZ 台37
	14		-	口	9.2	0.6	外反、先端:角(0.8)	茶、茶、茶	回転による	-	良	F12 IIIa(包1)台92
	15		-	底	-	5.1 1.0	外底:やや上げ底・立ち上がり直	暗灰、茶、暗赤	内-ロクロ痕 顕著	赤色粒(大)○	良	D~P10・11 I (埋 土)0001SZ台13
	16		IV	底	12.2	10.0 0.6	外底:やや上げ底(底厚:0.3) 焼成温度が高過ぎ器面が変色	灰、暗灰、暗赤	内-ロクロ痕 顕著	砂粒(極小)△	良	M13 IIIa(包1) 台2130
	17		I A	口	12.4	0.6	直状・口唇玉縁、焼き膨れがはげしい	明灰、明灰、明灰	不明	赤(小)△ 白(小)△	悪	F13 IIIa(包1) 台2212
	18		II	口	17.0	0.8~1.0	口縁部:外反、口唇:カマゴコ状、伊礼原D 遺跡(2008)第43図16と類似	暗灰、暗茶、暗赤	ナデ	黒色粒(中~ 小)△	良	M16~18・N~Q17 IIIa(包1)台2306
	19	壺	I	口	8.1	0.4	初期沖無。玉縁状の口唇を持ち、口縁部は 直状。外面:口縁部下より泥釉掻取	淡茶、暗茶(施釉)、 灰	回転による	石英(大)△	良	T17 III下4575P 台4421
	20		-	底	18.0	11.2 0.75	初期沖無。底面周縁が若干盛り上がる。	暗紫、暗茶、暗紫	外-ナデ、内- ロクロ痕顕著	砂粒△ 白(小)△	良	p18 IIIa(包1) 台2125
	21		-	底	-	11.0 1.1	初期沖無。直底、底面に播り目の痕が残る、 挿鉢に重ねたか?珊瑚に載った箇所が赤く 焼成	暗灰、明紫、明紫	粘土積み 回転擦痕	白(微細)△	良	G10 IIIa台2345
	22	壺 or 甕	-	胴	-	0.7	初期沖無。内面には波状の当て具(薩摩か ら伝播)で叩いた痕が顕著	暗茶、青灰、暗紫	外-ナデ 内-叩き	赤色粒(小)△	良	P18 IIIa(包1)台2743
	23		-	胴	21.5	0.4	初期沖無。外面:線彫りで文様、内面:焼き 膨れあり	暗茶、茶、暗赤茶	ナデ	赤色粒(微小) △	良	JLM6~9IV3507SD 台2251
	24	甕	-	底	-	19.5 1.6	ベタ底、断面に明瞭ではないが底部から胴 部への粘土の積み上げ痕残る	暗茶、暗赤、暗赤	内-ナデ痕顕 著	黒色粒(小)△ 雲母(小)△	良	G10 IIIa(包1) 台2345
	25	不 明	-	底	-	11.0 0.8	ベタ底(底厚:0.5)・外面:縞状に施釉、内 面:全釉	暗赤、暗茶(施釉)、 紫	ナデ	砂粒(極小)△	良	M17 IIIa(包1) 台2108

施釉(マンガン釉か泥釉)

混和材凡例 ◎:非常に多い ○:多い △:少ない △:僅少



炉の底部で半円状の3脚を持つ。火炉は口縁部が3点のうち2点がA類に属するものであった（図12）。図13は初期無釉陶器と考えられる風炉で1点のみ出土。瓶は5点が出土し口縁部はいずれも外反していたが、細片のため詳細は不明（図14）。図15は瓶底部でやや上げ底状であった。瓶か壺と考えられる小型の袋物は5点確認でき、うちIV類と想定できる1点を図示した。図16は底厚が0.3cmと非常に薄い。壺は18点が出土し、口縁部からI類（1点）IA類（1点）II類（4点）が確認できた。図17はIA類で口唇部は玉縁状を呈する。図18はII類で口唇部がカマボコ状を呈する。図19～23は初期無釉陶器と思われる資料で、図19は壺の口縁部で口唇のみ泥釉を残し他は釉を掻き



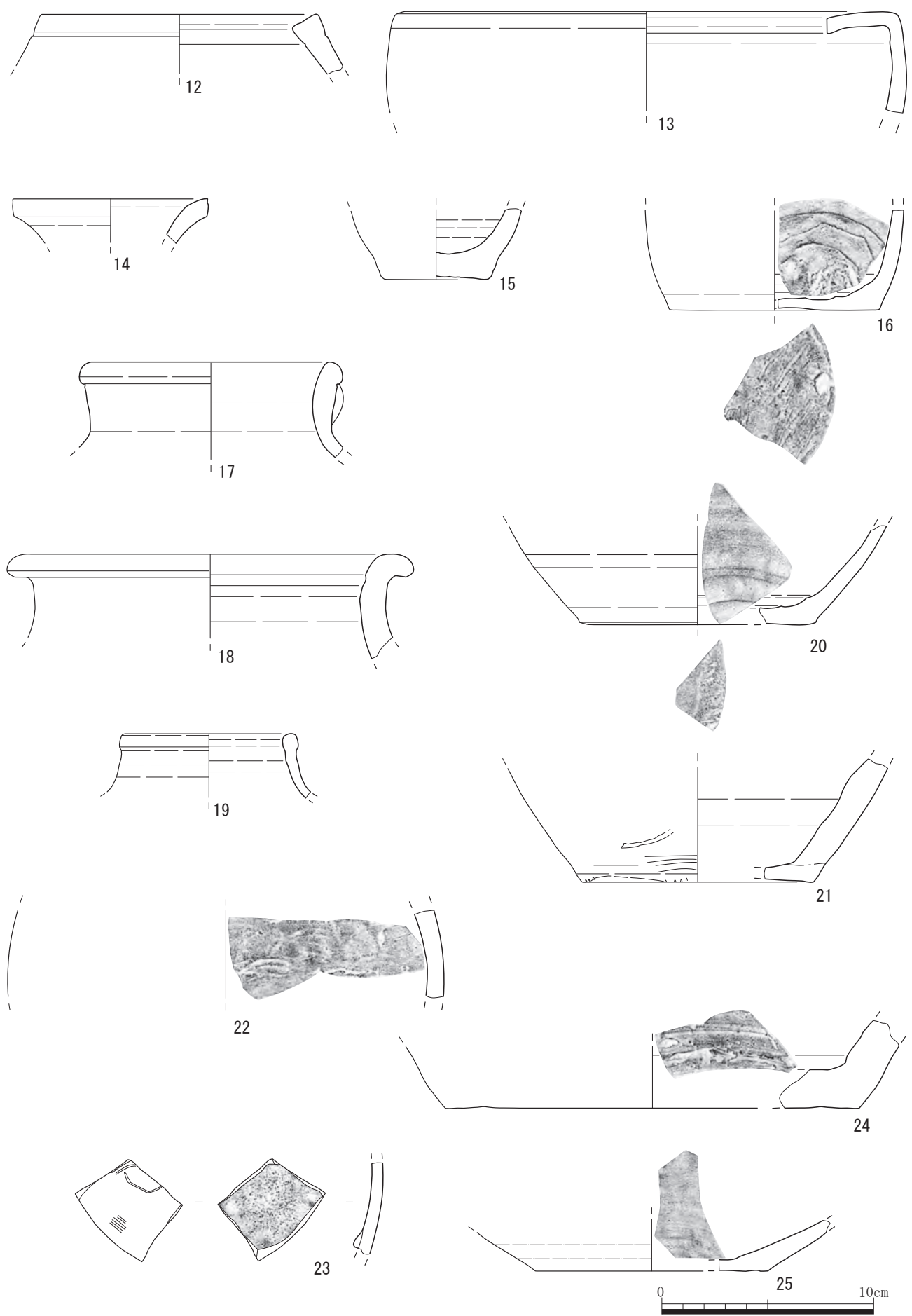
第135図 沖縄産無釉陶器 1

取る。図 20・21 は壺の底部でいずれも内面に調整痕が明瞭に残る。20 は須恵器に近い焼成、21 は底部に楕円状の線が数本残ることと、底面の焼きムラ（色の違い）が珊瑚上に置かれたためと考えられるので、珊瑚を利用した播鉢との重ね焼きの様子が窺える資料である。図 22・23 は壺か甕か判然としない資料の胴部で、22 は内面に叩きの痕が明瞭に残り、23 は外面に線彫りの文様が残る。図 24 は甕の底部で粘土積み上げ痕が明瞭に残る。

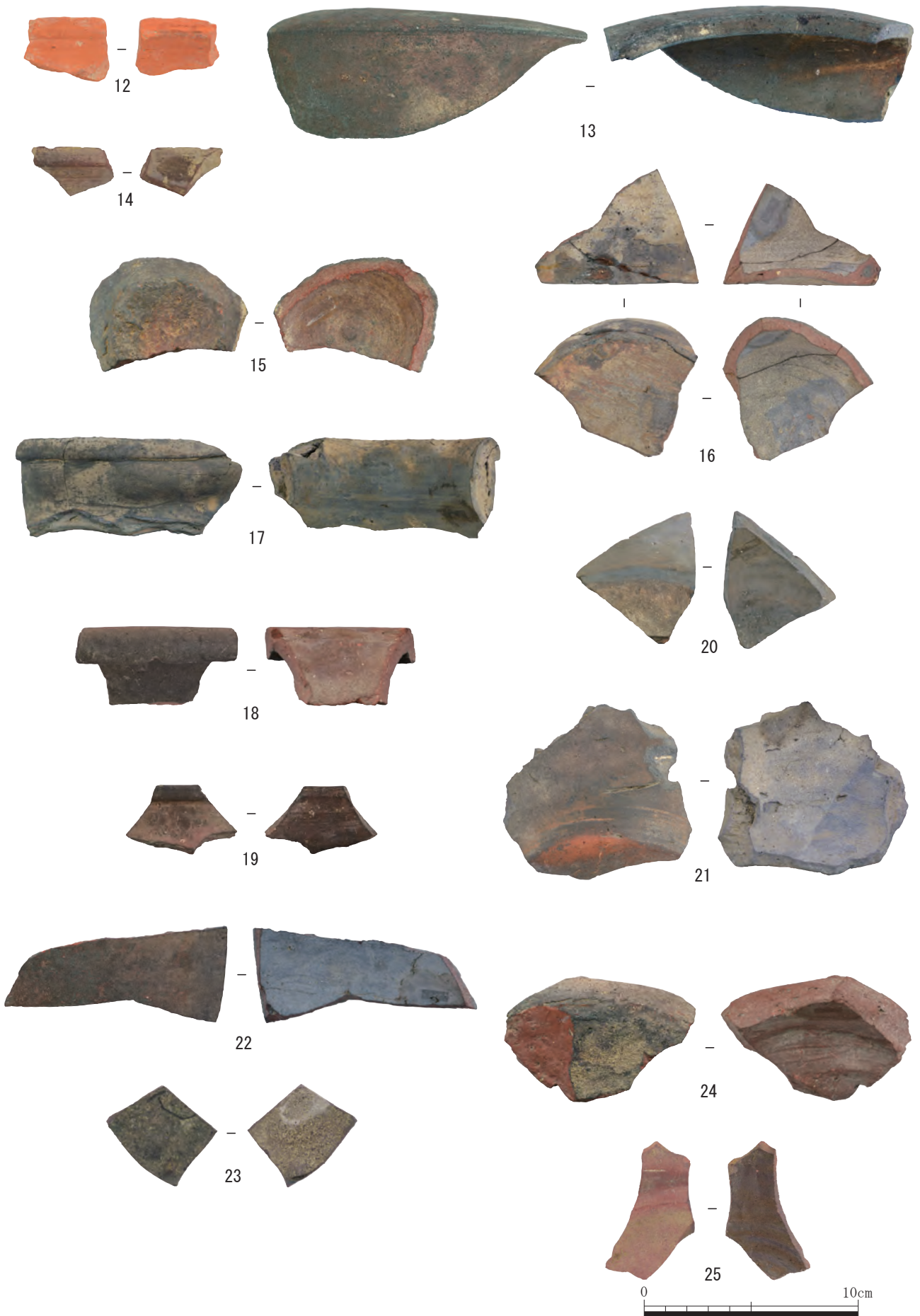
今回、器種不明が 47 点と最も多いが、厚めの胴部片が多く、貯蔵容器の範疇に入ると思われる。器種不明胴部片を加えると全体の 80% 近くを貯蔵容器が占める事となった。



図版 68 沖縄産無釉陶器 1



第136図 沖縄産無釉陶器 2



図版 69 沖縄産無釉陶器 2



## (22) 陶質土器

陶質土器が4種14点出土した。軟質や硬質な物が混在するが、雲母の混入があり、厚みに関わらず触れると粒子が付着し、水分を含むと色落ちする物を陶質土器と捉えた。混和材（雲母・白色粒・赤色粒・黒色粒等）を含み、轆轤成形後ナデ消しを行うものが多数を占める。混和材のサイズには極微細から砂粒まで幅が見られた。今回は鍋2点、火炉2点、土瓶3点、壺or甕1点、不明6点が確認できた（第93表）。2008年度報告において0001SZから鍋17点、火炉8点、土瓶14点、壺1点が出土。また、2013年度報告では83点が得られており器種構成は変わらない。陶質土器が単独で出土することはなく、種別に伴出率を見てみると、瓦質土器・沖縄産施釉陶器・本土産磁器（近代）各22%、本土産陶器33%、本土産磁器（近世）44%、沖縄産無釉陶器100%となっていたが、初期沖縄産無釉陶器との伴出は一例のみであった。今回の調査では沖縄産施釉陶器との伴出が91%（沖縄産無釉陶器とは83%）となった。また、沖縄産無釉陶器に対する陶質土器の出土量を周辺遺跡と比較を試みたところ周辺遺跡ではおよそ30%前後であるが、当調査区では10%と非常に少なかった（第94表）。

図1は鍋の口～耳部で内面にはごく薄く茶色塗料の痕が残る。図2は壺か甕と思われる底部で胴部へ逆「ハ」字状に延びる。器厚が1.0cm以上あるので小型ではないと思われる。

第93表 陶質土器 出土量

層	遺構	器種		鍋		火炉		土瓶			壺or甕	不	合計
		耳	胴	口	胴	注口	胴	底	底	胴			
I	0001SZ				1							1	1
	350SZ											2	3
II	0010SD							1				1	1
	0010SD									1		1	1
IIIa		1	1	1		1			1	1	1	1	7
III下	4535SK											1	1
部位別合計		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	14
器種別合計			2		2			3			1	6	

第94表 沖縄産陶器 遺跡別出土量比較

遺跡名	無釉陶器	施釉陶器	%	陶質土器	%
伊礼原D(2008)	205	123	60.0	68	33.2
伊礼原D(2013)	281	162	57.7	83	29.5
伊礼原D(2017)	125	18	14.4	13	10.4
伊礼原D(合計)	611	303	49.5	164	26.8
伊礼原E	236	205	86.9	59	25.0
平安山原A	13,640	10,491	76.9	3,721	27.3
平安山原B	594	635	106.9	175	29.5
平安山原C	30	20	66.7	34	113.3

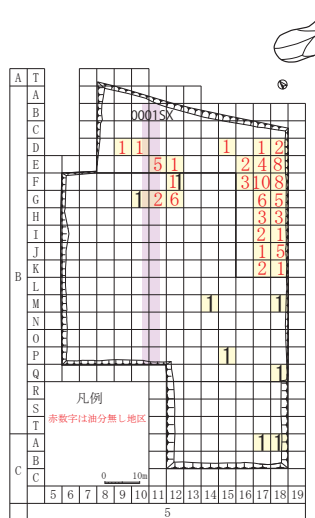
※無釉陶器を100%として比較

第95表 陶質土器 観察一覧

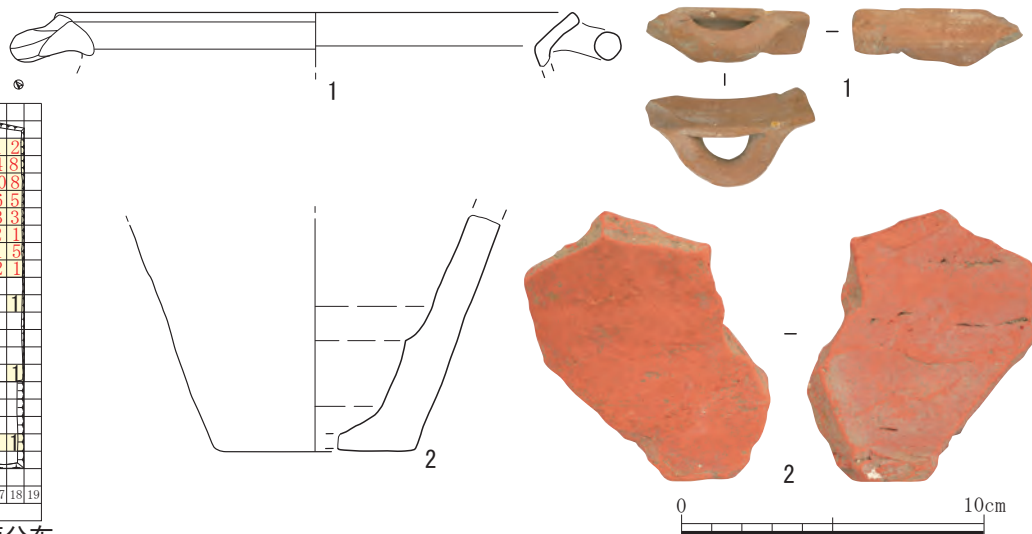
(法量単位:cm)

第図版	番号	器種	部位	口径/胴径/底径	器厚	底厚	観察事項(器形等)	器色	混和材	器面調整(外/内)	質	地区グリッド層遺構(取上)台帳番号
第38図版70	1	鍋	口～耳	17.4/-/-	0.3	-	内面に剥げているが茶色塗装	茶・橙	黒色粒△・石英△・雲母△	ナデ	良	L16～18M～Q18IIIa台5119
	2	壺or甕	底	-/-/6.6	0.9	0.5	細身で肩に向かってストレートに延びる	橙	砂粒・雲母(微細)○	ナデ/粘土積み→ナデ	良	M18IIIa台2063

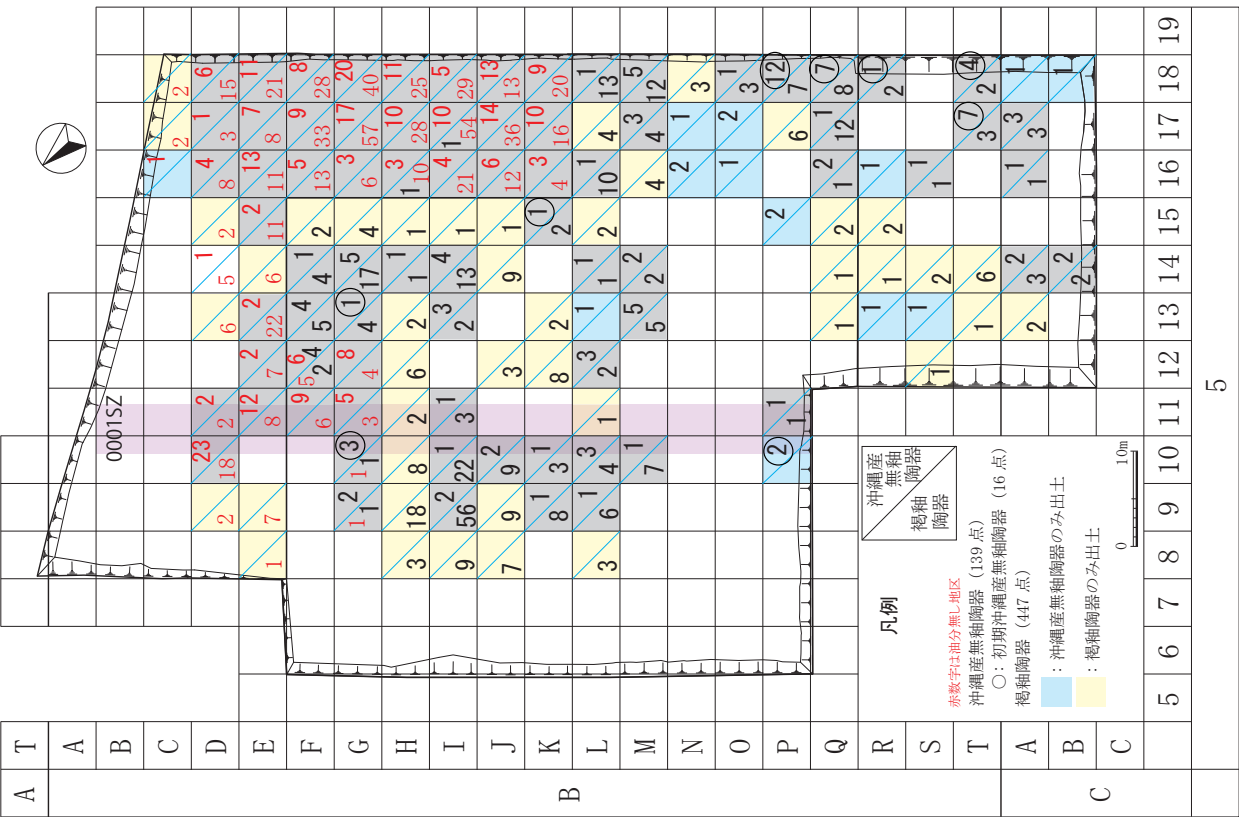
混和材凡例 ○:非常に多い ○:多い △:少ない △:僅少



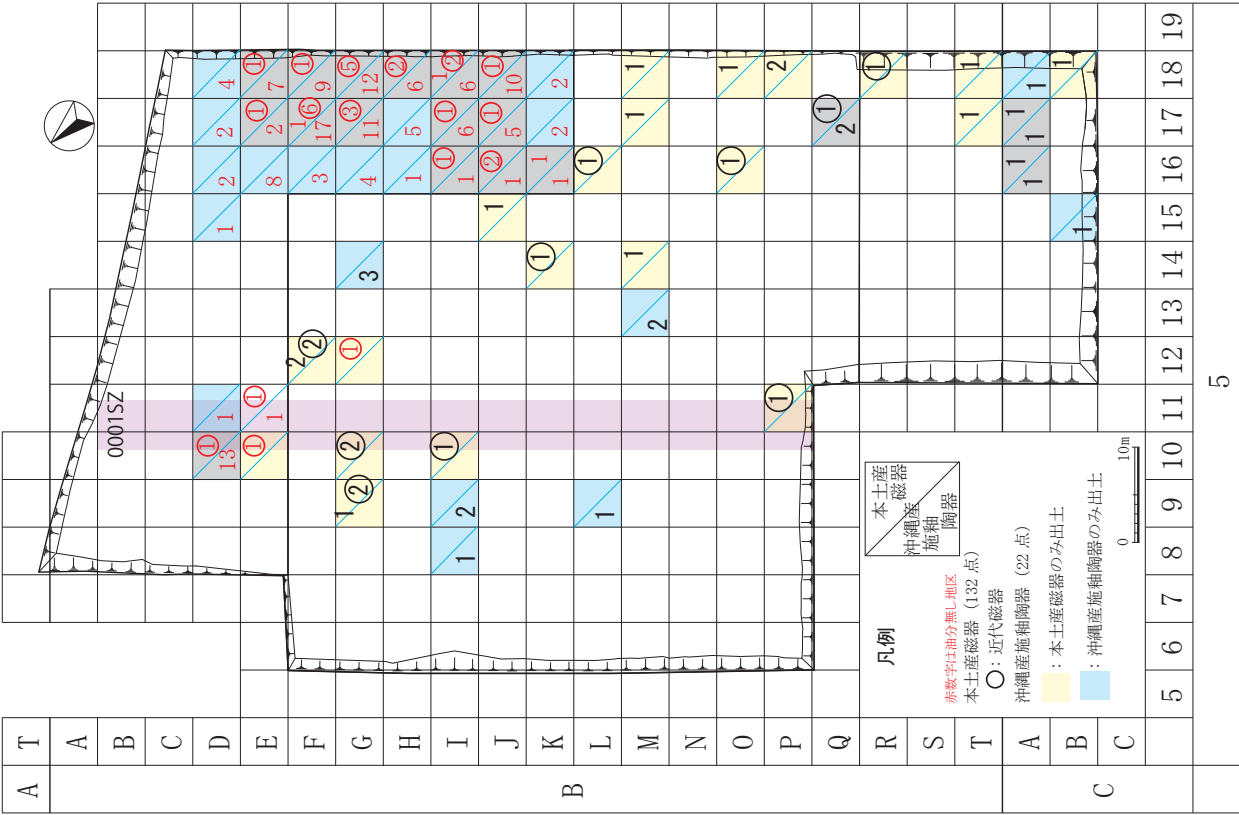
第137図 陶質土器 平面分布



第138図・図版70 陶質土器



第139図 沖繩産無軸陶器と褐軸陶器 分布比較



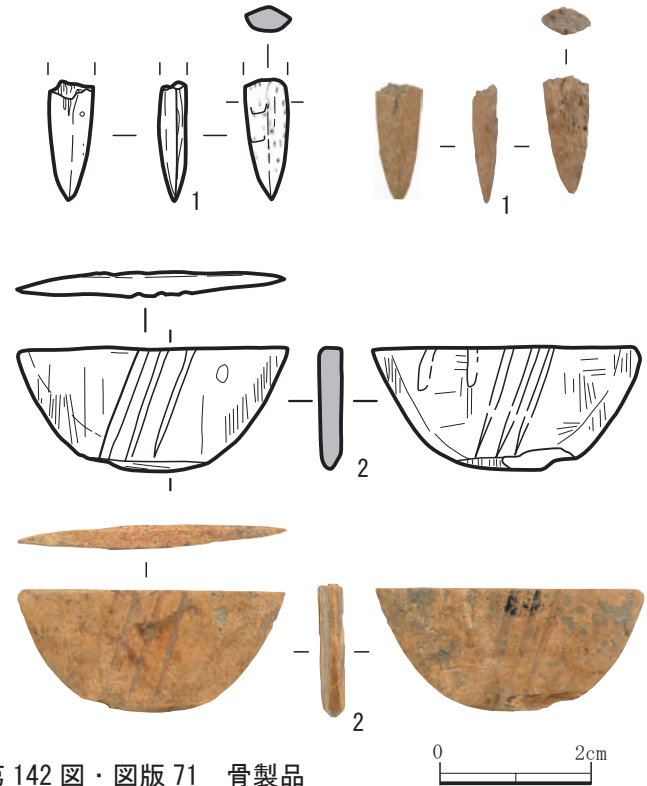
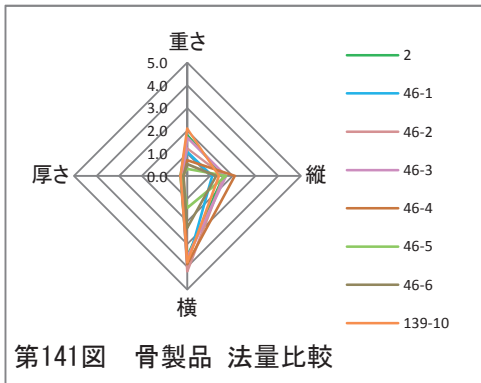
第140図 本土産磁器と沖繩産施釉陶器 分布比較

## (23) 骨製品

2点出土した。第142図1は破損品で平面が柳葉状を呈し、表裏面とも両側縁から中央に研磨、稜をなし、横断面はソロバン玉状をなす。裏面は研磨が粗で、海綿組織を残す。ウシカウマの四肢骨を加工したものと考えられる。この時期にはジュゴンやウシ四肢骨を用いた骨鏃が出土するが、本品は先端部が細く、骨鏃とは異なるようである。出土地は不明。

図2は完形品で、ウシ or ウマの四肢骨を半月状に加工し、弧状の部分をも両面から研磨し、刃状にしたものである。また、表裏面に幅0.1cmの浅い沈線文を斜めに施し、逆方向となることから何らかの機能を持つものと思われる。また、弧状の部分には研磨痕が縦位に顕著に見られる。H9 III a層の出土である。本品と同様な板状製品は北谷町では試掘時(2008)で6点、伊礼原遺跡(国指定外2014)で3点、後兼久原遺跡(2004)で1点出土している。これらの出土状況から本品はグスク期～近世の範疇に収まるものと思われる。

形状をみると、本品は後兼久原遺跡のものと同様、表裏面に斜沈線文が施されており酷似する。このタイプは斜沈線文を施すためか、骨が厚く、ウシ or ウマの四肢骨の骨幹を使用しているようである。試掘(2008)のものは半月状と方形状があり、裏面に海綿組織が残り、やや薄手で、骨端に近い部分を用いている。これらの板状骨製品はほぼ定型化(第141図)しているが、本品と、後兼久原遺跡のような骨幹を用い、沈線を施す厚毛タイプと、試掘出土のように骨端を用いる薄手のタイプがあり、薄手はさらに半月状と方形状に分かれる。本品の用途は明瞭でないが、少なくとも、前述したような違いが見られる。



第96表 骨製品 観察一覧

第図 図版	図番号	分類	種別	状態	法量(cm/g)				観察一覧	グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号	
					重さ	縦	横	厚さ			
第142 図版71	1	骨鏃	ウシorウマ四肢骨	完形	0.3	(0.5)	0.6	0.35	鉞状、平面形は柳葉状、両縁から研磨、中心で稜をなす。	出土地不明	
	2	半月状	ウシorウマ四肢骨	完形	1.8	1.6	3.6	0.3	弧状部は全縁研磨。表面5条、裏面3条の斜沈線文。	H9 III a (包1) 台5122	
	-	46-1	半月状	ウシorウマ四肢骨・骨端	完形	1.1	1.1	3.9	0.3	弧状部は両縁薄く、研磨。中央に孔0.1cm。表面研磨。海綿組織残。	伊D試(2008)4-6黒砂砂質落ち込み
	-	46-2	半月状	ウシorウマ四肢骨・骨端	完形	1.2	1.6	4.2	0.3	弧状部は両縁薄く、研磨。中央に孔0.1cm。表面タテに研磨。海綿組織残。	伊D試(2008)4-6柱穴6052
	-	46-3	半月状	ウシorウマ四肢骨・骨端	完形	1.7	1.7	3.6	0.2	弧状部は両縁薄く、研磨。表面タテに研磨。海綿組織残。	伊D試(2008)4-8
	-	46-4	半月状	ウシorウマ四肢骨・骨端	破片	0.7	2.1	3.9	0.2	弧状部は全縁研磨。海綿組織残。	伊D試(2008)4-5・6灰黒砂質土層
	-	46-5	半月状	ウシorウマ四肢骨・骨端	破片	0.3	1.7	1.4	0.2	隅丸状、全縁研磨。海綿組織残。	伊D試(2008)4-8、
	-	46-6	方形状	ウシorウマ四肢骨・骨端	破片	0.5	1.3	2.3	0.2	隅丸状、両縁研磨。海綿組織残。	伊D試(2008)4-5・6柱穴5209
	-	124-4	半月状	ウシorウマ肋骨	半欠	-	-	4.1	0.3	弧状部券面研磨。裏面は海綿組織残。	伊(2014)O-14,SK02,III層
	-	124-5	方形状	ウシorウマ肋骨	半欠	-	-	3.0	1.3	0.1mmの孔。裏面は海綿組織残。	伊(2014)T12,III層
	-	124-6	方形状	ウシorウマ肋骨	半欠	-	-	2.5	1.3	0.1mmの孔。裏面は海綿組織残。裏面は海綿組織残。	伊(2014)C12,III層
	-	139-10	半月状	ウシorウマ四肢骨	完形	2.1	1.4	3.8	0.3	弧状部の全縁研磨。表裏面3条の斜沈線。	後兼久原(2003)R-26

## (24) 円盤状製品

円盤状製品が7点出土している(第97表)。いずれも中国産の青磁や白磁の碗と皿類を素材に、打割や剥離などの二次的加工を加え円盤状に成形するもので、本地区は底部のみを利用している。平面径は5.3cm～8.6cmを測り、素材である器の高台径にほぼ等しい。側面高は1.3cm～2.7cmで素材の内底から高台の畳付けまでの高と等しい。円盤状製品の用途は色々な説があるが遊具と考えるのが一般的と言える。また素材に陶磁器、瓦などを主に利用するが、近現代では板ガラス、ガラス瓶などの利用例があり(上原静2004)素材は時代で多岐に及ぶ。以下に第143図、図版72に出土量を第97表、観察一覧を第98表に示した。

図1～6は中国産の青磁及び白磁の碗や皿の底部を素材にした円盤状製品である。いずれも内底と高台から内側を残し、高台側から内底側に向け力を加え剥離している。平面観は円形に剥離成形し、胴部分は完全に取り除いている。1、2、5、6は高台の際まで剥離が及び径は高台径にほぼ等しい。1、2は剥離痕が扇状に残るものである。6は繰り返し剥離を加えたため剥離痕が長細く、細かい剥離整形が成されている。

図7は中国産の青磁碗、底部を利用し内底部を打割により粗加工するが高台側から内底側に力が加わる剥離と内底側から力が加わる打割がある。平面形は円形にならず、加工途上の製品と考えられる。扇状剥離

加工の行程は7にみられる底部の高台周縁の打割などの粗加工と図1～6の細かい剥離の仕上げの工程が考えられ、粗加工は内底側と高台側の両側から打割や剥離を繰り返し、仕上げ加工は高台側から内底側に剥離し胴部部分を完全に取り除くことが分かる。

当該資料については平安山原B・C遺跡(2016)において出土した製品と、首里城正殿(上原静2004)と首里城右掖門(県埋文センター2003)出土の青磁製、中国象棋駒を比較し、中国産の磁器素材の特に青磁碗底部利用の円盤状製品と相似する部分があることから、中国象棋駒を模倣し作られたとも推察できるとした。また首里城出土の中国象棋駒の一つは正殿Ⅱ期基壇に伴うことから15世紀中葉の頃(上原2004)に将棋の文化が沖縄に伝来していたことがわかる資料と言え円盤状製品の素材の年代とも合致する。

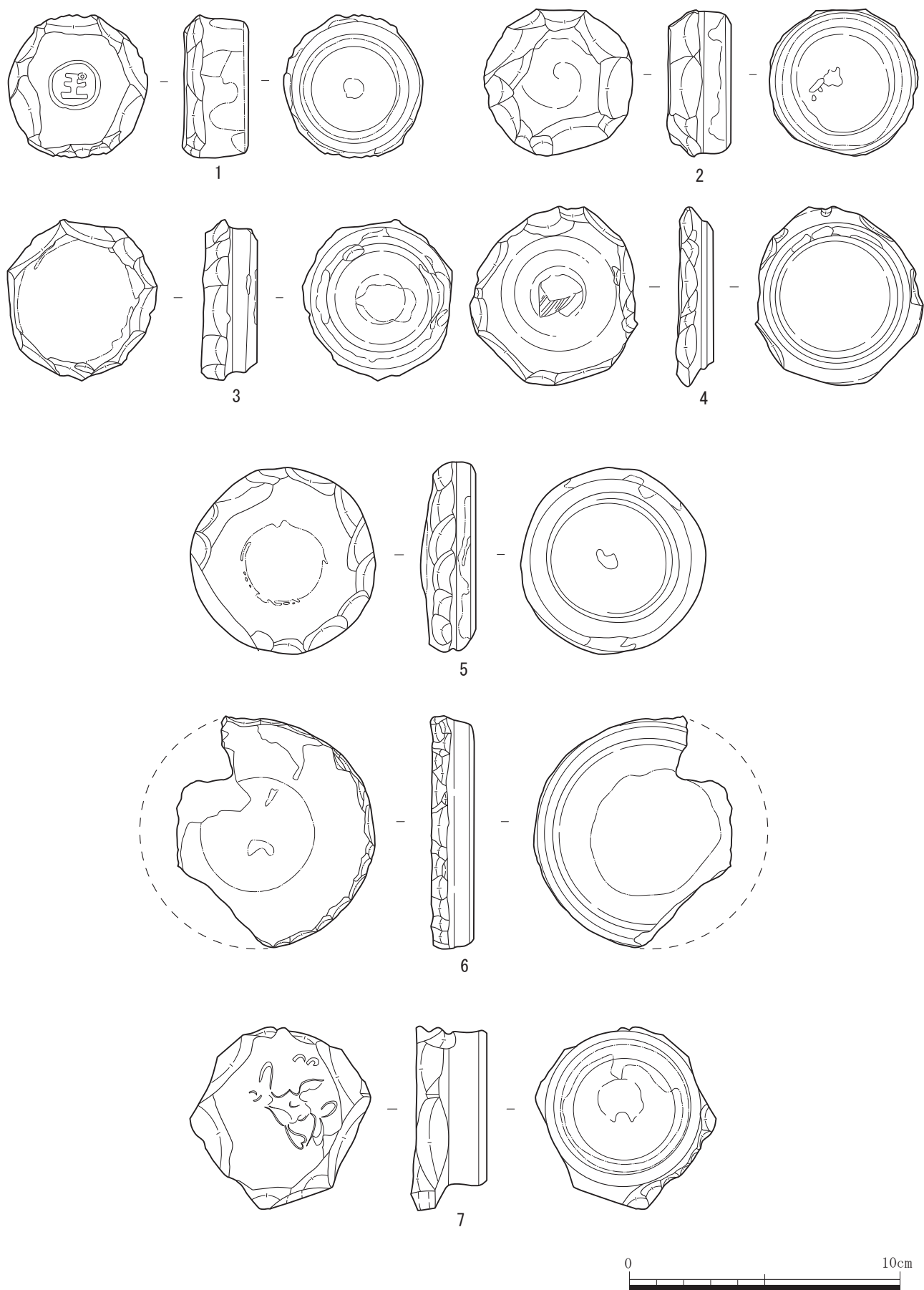
第97表 円盤状製品 出土量

素材 器種 産地 層	白磁		青磁		合計
	碗	皿	碗	皿	
	福建・ 広東系	福建・ 広東系	龍泉 窯系	不明	
Ⅲa	1		1	1	3
Ⅲ下遺構		1	3		4
合計	1	1	4	1	7

第98表 円盤状製品 観察一覧

第98 表 図版 72	図番 号	素材	器種	部位	平面形	完破	計測値(cm, g)				観察事項	生産年代 生産地	グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号
							縦	横	底厚	重さ			
第 143 図 ・ 図 版 72	1	青磁	碗	底部	円形	完形	5.3	5.1	2.4	64.7	高台側から内底側に力が加える剥離。内底部と高台部は残し、胴部部分を完全に取り除く。上面の中央に丸の中に「玉」の印花文がみられる。	15c 龍泉窯系	I10 Ⅲ下(3572P) 台3772
	2	青磁	碗	底部	円形	完形	5.5	5.4	2.3	73.0	高台側から内底側に力が加える剥離。器の胴部部分を完全に取り除き、底部を残している。	15c～16c 龍泉窯系	H14 Ⅲa(包1) 台2260
	3	青磁	碗	底部	円形	完形	5.9	5.5	2.0	70.0	高台側から内底側に力が加える剥離。剥離はやや細かい。器の胴部部分を取り除き、底部のみ残す。	15c～16c 龍泉窯系	L・M11 Ⅲ下(1669SK) 台3267
	4	白磁	皿	底部	円形	完形	6.6	6.0	1.3	44.8	高台側から内底側に力が加える剥離。剥離はやや細かい。器の胴部部分を取り除く。	14c～15c 福建・広東系	K14 Ⅲ下(1880P) 台2549
	5	白磁	碗	底部	円形	完形	6.9	6.8	2.0	85.7	一部打割と高台側から内底側に力が加える剥離。剥離は細かい。器の胴部部分を完全に取り除き、内底部から高台内までを残す。	16c～17c 福建・広東系	K11～O11 Ⅲa(包1) 台5167
	6	青磁	皿	底部	円形	破損	8.6	—	1.6	92.7	殆どは高台側から内底側に力が加える剥離。剥離は細かく、器の底部部分を残し、胴部部分を丁寧に取り除いている。	15c 龍泉窯系	G13 Ⅲa(包1) 台2173
	7	青磁	碗	底部	略円形	完形	6.0	6.0	2.7	115.0	器の胴部部分を打割や剥離し高台部を残している。剥離は高台側から内底側に力が加わる剥離と内底側から力が加わる打割がある。加工途中なのか平面形は円形になりきっていない。	15c 龍泉窯系	I9.10 Ⅲ下(3793P) 台3597





第 143 図 円盤状製品



图版 72 円盤状製品

## (25) 煙管

羅宇煙管の雁首が3点得られた。石製が2点、陶器製が1点で、Vb層（時期はIV層）・III層下・IIIa層からの出土である。3点とも後に近世～近代陶磁器が多く出土する範囲から出土し、羅宇煙管吸口の出土はなかった。図1・2はいずれもシルト岩製で火皿の部分が黒く煤け特に左側が濃くなっている。火皿の縁がやや凸凹しているのは灰落しの口縁部に打ち付けて煙草灰を捨てるためだと考えられる。図3は沖縄産無釉陶器と思われ、雁首全体を八面に面取りし、やや小ぶりの火皿を持つ。火皿縁は大部分が欠損し被熱により火皿全体が灰色に変色している。火皿周辺部には煤の付着が見られる。

これまでの伊礼原D遺跡の調査では、石製雁首1・陶製雁首3・金属製雁首1・金属製吸口1が得られている。また、報告済みの北谷町内遺跡からは合計73点が出土しており、うち15点が石製雁首で羅宇煙管では22%を占めた（第99表）。刻みの粗い煙草を詰めるためには大きな火皿が必要であり、裁断の進歩で髪の毛ほど細い細刻みが主流になるに従い、煙管の火皿は小さくなった<sup>(註)</sup>。石製雁首は火皿としては大きめであり、粗く刻んだ煙草を詰めたのではないかと考えられる。

註：たばこと塩の博物館・江戸遺跡研究会 2010「シンポジウム VOCと日蘭交流－VOC遺跡の調査と嗜好品－発表要旨」

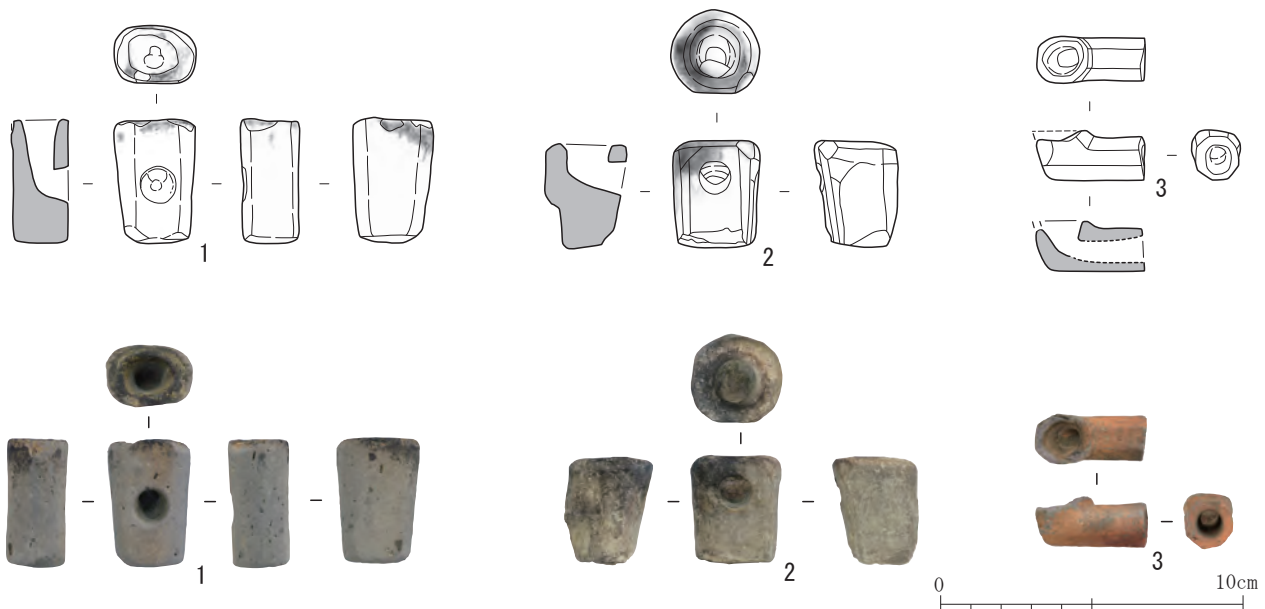
第99表 キャンプ桑江北側 煙管 出土量

地区名	種類 素材 部位	羅宇煙管						延べ煙管	合計	
		石		陶製		磁器		金属		
		雁首	雁首	吸口	吸口	雁首	吸口	金属		
伊礼原		8	8	1		1	2		20	
平安山原		6	24	2	2	4	8	5	51	
小堀原		1							1	
後兼久原			1						1	
部位別合計		15	33	3	2	5	10			
素材別合計		15		36	2		15	5	73	
合計								68		

第100表 羅宇煙管(雁首) 観察一覧

(法量単位: cm, g)

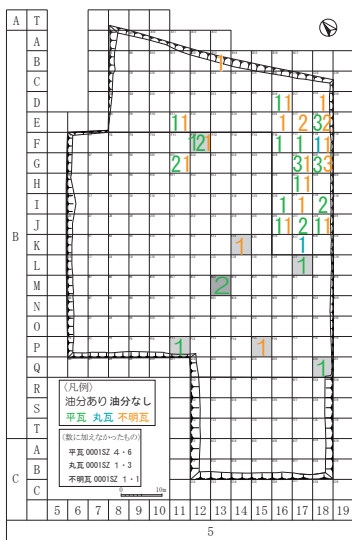
第図 図版	図 番号	素材	部位	形状	種類	完/破	火皿		小口		長さ 高さ	残存 重量	観察事項	グリッド・層序 遺構・台(取)番号
							外径	内径	外径	内径				
第144 図・ 図版 73	1	石製 (シルト岩)	雁首	円筒形	陶器製	完	2.7 1.9	1.6 1.28	1.15 1.22	1.15 1.22	1.9 4.0	20.4	上面と下面は扁平で全体に滑らかな器面。火皿縁に煤が付着	J10Vb台4266 取213
	2	石製 (シルト岩)	雁首	円筒形	磁器製	完	2.9 2.7	1.63 1.7	1.02	1.02	3.5 2.7	39.3	上面は扁平。他面は丸みを持つよう研磨される	T17III下4575P 台14543
	3	沖縄産 無釉陶器	雁首	金属製 模倣	金属製	完	1.8 1.5	1.4 1.14	0.82 0.96	1.4 1.5	3.55 1.6	8.9	全体が八面に面取りされ、滑らかな器面及び小口面。火皿縁は大部分が欠損	Q18IIIa台2112



第144図・図版73 煙管

(26) 瓦

瓦は平瓦 10 点、丸瓦 1 点、不明 5 点の合計 16 点が得られたが、全形の窺える資料の出土は無かった。灰色瓦が 2 点、赤色瓦が 14 点であった。灰色瓦には茶色粒の混入が見られ、赤色瓦の 3 点は硬質で、うち 1 点（平瓦）には漆喰の痕が残る。また赤色瓦の胎土には赤色粒の混ざるものがほとんどで、数点で砂粒や小型巻貝・靱殻・石粒が見られた。全体の 62% が遺構からの出土であるが、攪乱がほとんどである。第 101 表に出土状況を示し、第 102 表では伊礼と平安山での瓦の出土量を比較した。圧倒的に平安山からの出土が多い。『絵図郷村帳』（1649）には平安山、『琉球国由来記』（1713）には伊礼の記載があり、平安山には第二尚氏王統時代よりノロが置かれていた。瓦葺き禁止令が解除されるのは 1884 年<sup>(註)</sup> のことであるが、ノロ殿内には早い段階で瓦葺きが行われていたことは想像できる。また、「北谷町の地名」（2006）によると伊礼の戸数は 21 軒のうち瓦屋が 2 軒、平安山は戸数 41 軒で瓦屋の軒数は不明であるが平安山原 A 遺跡（北谷町 2016）によると、瓦の出土量は平安山原 B 遺跡より 40 倍にも上ることやその出土位置から数軒の瓦屋が示唆されている。



第 145 図 瓦 平面分布

第 101 表 瓦 出土量

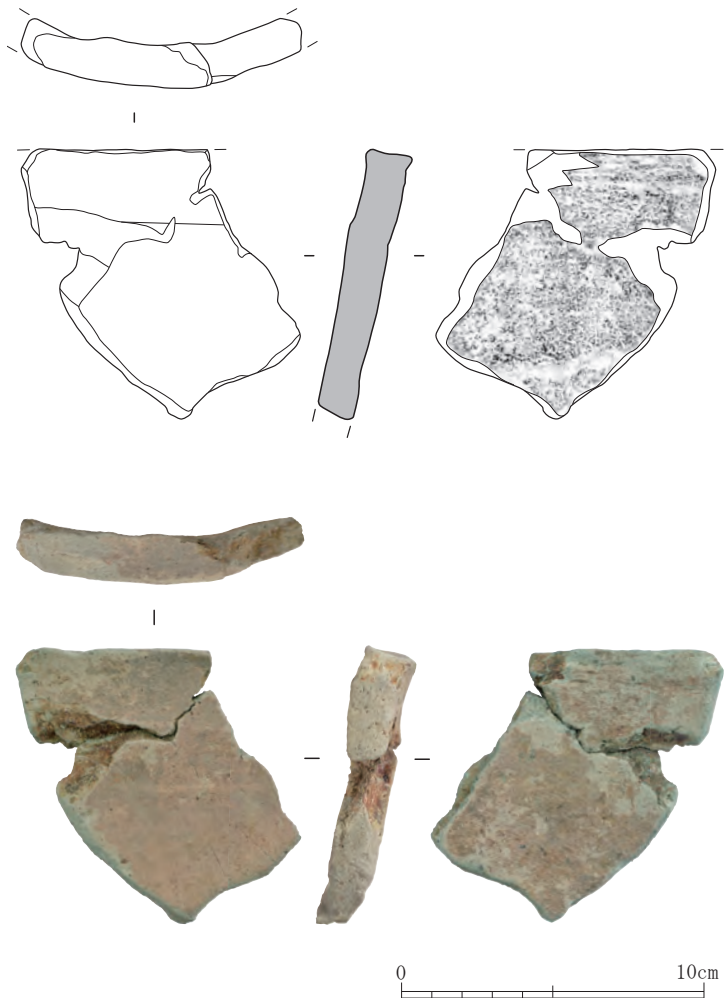
層	遺構	分類		平瓦		丸瓦		不明		合計
		灰	赤	灰	赤	灰	赤			
I	0001SZ		4	1				1		6
	0002SZ		1							1
II	0160SZ		1							1
	4588SZ							1		1
IIIa	—	1	2		1	1			5	
不明	—		1							1
	1884SK							1		1
合計		1	9	1	1	1	4			16

第 102 表 遺跡別瓦 出土量比較

遺跡名	分類	平瓦		丸瓦		不明		合計
		灰	赤	灰	赤	灰	赤	
伊礼原D		58	12	27				97
伊礼原B		19	9	20				48
伊礼原E		41	48	44				133
伊礼原								180
伊礼原(指定外)		32	4	27				63
伊礼原合計		150	73	118				521
平安山原A		6795	1684	155				8634
平安山原B		174	87	119				380
平安山原C		93	0	104				197
平安山原合計		7062	1771	378				9211

図 1 は M13 グリッド III a 層より出土した桶巻き作りの平瓦で、胎土は灰色、器面は茶色を呈する。茶色粒が含まれる。内面に布目痕、外面と側面にナデ痕が残リ、外面に滑り止めのラインが見える。

註：仲吉朝助『杣山制度論』『沖縄県農林水産行政史』第 15 巻 1983



第 146 図・図版 74 瓦



## (27) 鍛冶関連遺物

鉄滓以外に鍛冶を示す資料は出土していない。第103表に鉄滓出土量、第104表に焼土出土量、鉄滓、焼土の特徴的なものを第148図、図版75、第105表に焼土の観察表、第147図に焼土平面分布を示す。

### 1) 鉄滓

本調査区ではI層、III a層、III下遺構、層不明から各1点64.9gと出土量は僅かである。

第148図12は椀形滓で、平面形は半円を呈し長径5.5cm、短幅3.5cm、厚1.5cm。重さ38.5g、I8 3942P III下遺構(台帳番号5203)出土。図示を割愛した資料は、不定形の小粒や粘板岩片に溶着物が付着するものである。

第103表 鉄滓 出土量

層	グリッド	遺構名	種類	個数	重さ(g)
I	G15	0350SZ	鉄滓	1	3.3
IIIa	H14	—	鉄滓	1	7.2
III下遺構	I8	3942P	椀形滓	1	38.5
不明	F12	0008SF	鉄滓	1	15.9
合計				4	64.9

### 2) 焼土

368点(4689.6g)が出土した。層序別の出土数は、III下遺構で208点(56.5%)と最も多く、III a層92点(25%)、III b層25点(6.8%)と続き、その他の層出土は僅かである。

平面分布(第147図)を油分無し地区を除いて見るとJ14(42点)が最も多く、I10(36点)、Q18(28点)、I9(25点)で重量も同様に多い。J14はIII下遺構で40点(872.2g)である。

焼土の殆どには、粘土を作る際に混ぜた草痕と思われる幅約2mmのスジ状痕や

第104表 焼土 出土量

(法量単位:g)

層	遺構	I類		II類		III類		IV類		V類		合計	
		個数	重量	個数	重量	個数	重量	個数	重量	個数	重量	個数	重量
I	—									2	7.6	4	20.2
	SZ									2	12.6		
II	SZ									2	18.2	2	18.2
III	SK									2	95.6	4	171.0
		2	75.4										
IIIa	—	2	19.3				3	23.0		87	625.5	92	667.8
IIIb	—	1	9.5			1	443.5	12	210.2	11	155.1	25	818.3
III下遺構	P	16	544.7	1	6.5			35	806.8	107	903.5	208	2790.5
	SK							8	169.8	36	325.1		
	SZ									1	10.4		
	SX									4	23.7		
IV	SD									3	23.2	3	23.2
Vb	—									1	3.4	1	3.4
Vc	—							1	6.9			1	6.9
不明	P									1	2.5	28	170.1
	SK	1	7.7							8	98.4		
	SF									3	9.1		
	SL							1	9.6				
	SS									1	10.3		
	—									13	32.5		
合計		22	656.6	1	6.5	1	443.5	60	1226.3	284	2356.7	368	4689.6

直径約1.5mmの小穴が不規則な方向にある。土質は泥質、砂質、砂泥質があり砂泥質が主である。焼土に含まれる石英や白色粒には多寡があり、貝殻小片が表面に付着するものも見られる。土色は、基本的には褐色であるが、橙褐色、赤褐色、暗灰褐色などもみられる。色調は一様でなく、被熱の程度による違いが見られ茶褐色や灰褐色を呈する部分も見られる。

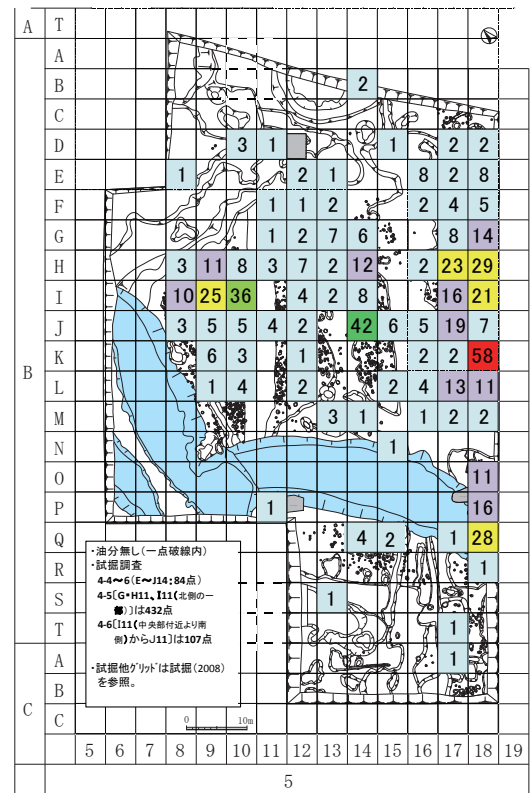
焼土は5類に大別され、I類：棒状圧痕を有するもの(図1~6)、II類：細い圧痕が放射状となるもの(図7)、III類：大型の略楕円状が想定される塊(図11)、IV類：平坦面を1面または2面を有するもの(図8~10)。V類：平坦面が無いものに分けられる。

I類はIII下遺構のピットで出土し、他に比して大きな破片である。これらの棒状圧痕の幅は、約0.4~1.4cm、並列する圧痕の間隔約0.3~0.5cmである。図2・3では、並列する圧痕とは別側面に方向を異にするものが見られ、さらに、図3では、右側面の圧痕に加え、左側面に棒状刺突痕、右下角に抉れとなる雑な成形面が見られる。これらの類例は「焼土塊」(今帰仁城跡周辺遺跡2007)で、建物の壁もしくはその一部を構成していた可能性が指摘されている。II類はIII下遺構のみで出土。細い圧痕が放射状に広がることから葉脈痕と考えられる。III類はIII b層で出土。被熱した大型の粘土塊で、表面に屈曲する草痕が見られ、その性格は不明、形状から他類とは性格を異にすると考えられる。IV類はIII a・III b層、III下遺構、V c層で出土、平坦面を有するもので、図9は溝状部分の立ち上がりの様相を呈する。図10は2面の連続する平坦面が、やや湾曲し被熱の色調は羽口に類似

するが風道孔が見られないことから焼土に含めた。また、図5はI類としたが全体が暗灰色を呈し、棒状圧痕とした湾曲面の推定径2.5cmで光沢があり、強く被熱し焼き締まっており羽口の可能性も考えられる。V類は全層で出土した。

試掘、油分無し地区、伊礼原遺跡（国指定外）を含む出土状況を見ると、試掘では羽口はII層（大型石列）15点とIII層13点、鉄滓は前述したI・IIIa層、III下遺構の僅か3点、焼土はIII下遺構とIII層遺構（油分無し地区）をまとめると283点である。

焼土は遺構の密度と同様な出土傾向が見られ、油分地区での出土量が多いI 9・10やJ14は、試掘で焼土の60%が出土した3基の炉跡(H11)（15～16cと考えられている。）周辺のまとめ、Q18は流路3上であることから、同グリッド出土は17c頃以後（第四章第1節を参照）となる。さらに、油分無し地区東側のK 18とH17・18、I 18は、隣地の伊礼原遺跡（国指定外）のニ地区西端での焼土集中の一部となり、出土分布は3つのまとめがあるものと見られる。



第147図 焼土 平面分布

第105表 焼土 観察一覧

(質量単位:cm, g)

第図 図版	図番 号	分類	長さ 幅厚	重量	観察事項	グリッド・層・遺構 台帳(取上)番号
第148 図・ 図版 75	1	I 類	7.5 3.1 3.6	119.0	棒状圧痕は6列確認できる。圧痕の幅は0.5～1cm。圧痕の反対側の面は一部が屈曲する平坦面。橙褐色が主、部分的に灰色、圧痕面は淡褐色。砂粒微量。	H9 III下 (3722P) 台2362
	2		5.5 2.2 1.2	18.7	棒状圧痕5列確認できる。上側面にも同様な圧痕がある。圧痕の反対側の面は僅かに端が反る平坦面。褐色から茶褐色。石英、白色粒やや目立つ。厚い部分は1.5cm。	T17 III下(4688P) 台4469
	3		11.2 8.3 2.7	221.5	棒状圧痕は2列。圧痕の幅は0.5cmと1cm。同一面には成形面があるが、幅約0.5cmのナデ痕?が斜めに並列し、異なる向きのナデの交差も見られる。左側面に圧痕、右側面に刺突痕、左上角に雑な成形面。淡褐色が主、橙褐色も見られる。石英、白色粒微量。	J14 III下(2093P) 台2680
	4		4.7 4.6 2.5	46.9	棒状圧痕は1列、圧痕の幅は直径が1.4cmの棒状圧痕。草痕見られない。橙褐色。白色粒微量。	J14 III下(2095P) 台2632
	5		3.0 2.2 1.5	8.7	棒状圧痕に含めた光沢を有する湾曲面が1列。その反対面は平坦面。圧痕の推定径は2.2cm。草痕有り。暗灰褐色。羽口の可能性も考えられる。石英、白色粒微量。	I9 III下(4012P) 台3798
	6		3.2 2.8 1.6	10.2	棒状圧痕2列、圧痕幅0.5cm。草痕あり。茶褐色。石英目立つ。	H12 IIIb層 台2253
	7	II 類	2.5 2.0 1.6	6.5	表面に葉脈痕。草痕なし。橙褐色。石英目立つ。	J15 III下(1997P) 台2592
	8	IV 類	3.8 2.3 3.0	24.49	平坦面を有する。側面や裏面に草痕。茶褐色。石英微量。	G14 IIIb 台5205
	9		3.1 2.2 1.1	9.5	隅丸の角で平坦面が2面連続する。裏面のスジに沿って細い面は圧痕?。草痕有り。灰褐色から淡褐色。石英微量。厚い部分は1.6cm。	I9 III下(4219P) 台2253
	10		3.8 3.5 1.6	22.1	平坦面が2面連続する隅丸の角を成し、方形を想起する破片。色調は暗灰褐色、茶褐色、橙褐色で、羽口の色調に類似する。風道孔痕は見られないが羽口の可能性も考えられる。石英、白色粒が見られ、黒色粒微量。	L12 III下(1729P) 台3186
	11		III 類	10.5 7.8 7.4	443.5	大型塊の破損品。内外面に草痕あり、屈曲する草痕もある。表面は茶褐色、橙褐色、赤褐色。内面は淡褐色が主。石英、砂岩粒?。

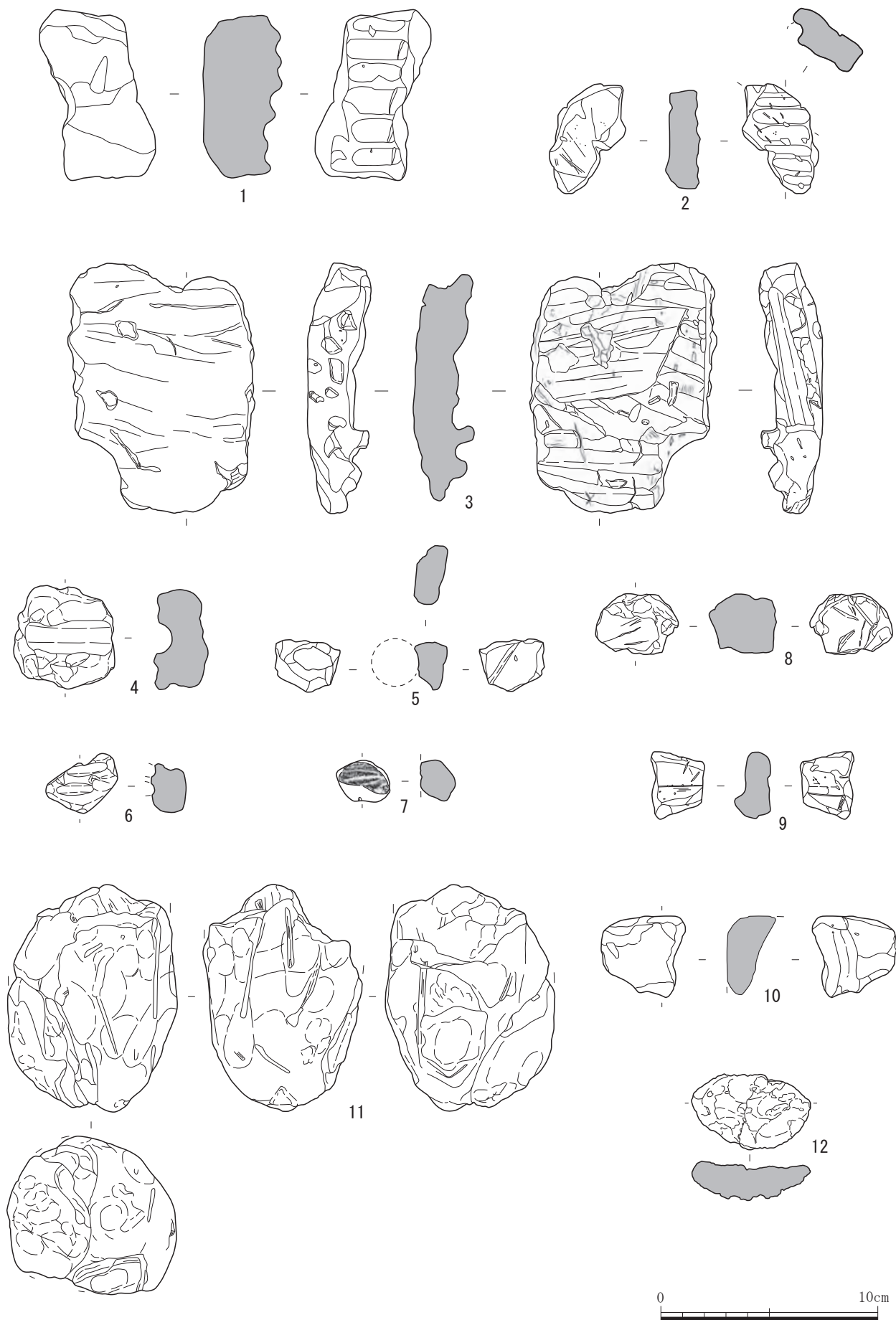
鍛冶の痕跡について見ると、ナガサ川南側の本遺跡と伊礼原遺跡（国指定外）を対岸の平安山原A・B・C遺跡とで比べると、鉄滓は前者が3点、後者は193点である。

羽口で見ると前者が31点（註）、本遺跡の試掘以外では3点である。後者は16点である。

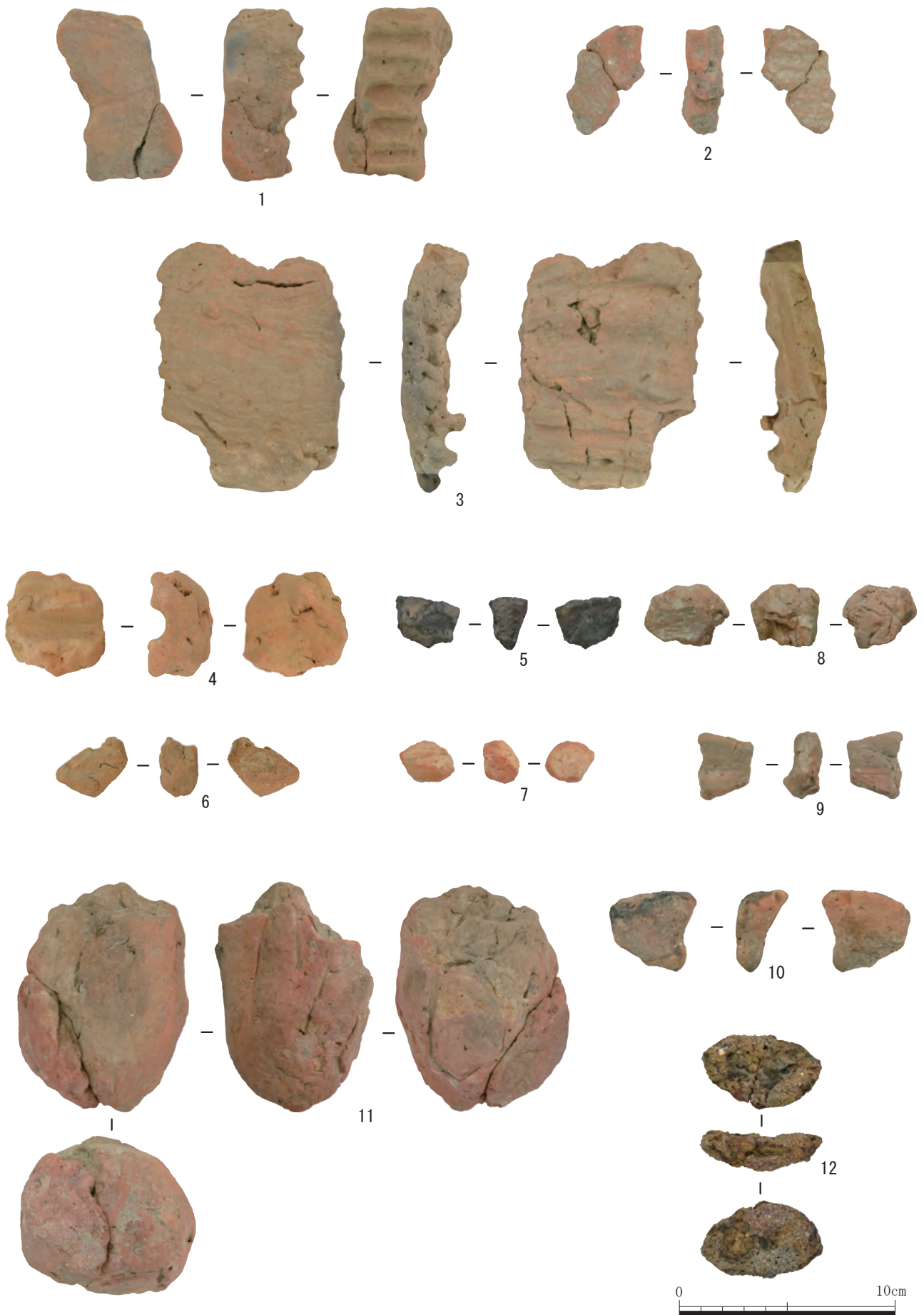
焼土で見ると前者

が約7kg、後者は約16kgである。焼土I類は、複数の面に並列する圧痕が異なる方向に向き、圧痕の間隔が狭い特徴から、炉に伴う孔状の性格は考えにくいと思われ、棒状材を骨材にした被熱した構造物の一部としての検討が必要と考える。IV類は平坦面を有する特徴からI類と同様または方形状となる可能性があるものと思われる。伊礼原D遺跡の鍛冶関連遺物とした資料のうち、焼土はその可能性は低いと考えられる。

註：試掘で報告した羽口（試掘第45図3）は焼土I類に分類されることから再検討が必要である



第148図 鍛冶関連遺物 (1～11: 焼土、12: 鉄滓)



図版 75 鍛冶関連遺物 (1 ~ 11: 焼土、12: 鉄滓)



# 第V章 科学的分析

## 第1節 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体

樋泉岳二（早稲田大学）

### はじめに

沖縄県北谷町の海岸平野に立地する伊礼原D遺跡では、2007年度に実施された発掘調査において、貝塚時代から近現代にいたる各時代の層準から多数の脊椎動物遺体（魚骨・獣骨など）が出土した。ここではその概要について報告する。ただし現時点では組成、産状、形質・年齢・部位組成など、多くの点で詳細な検討が未了であるため、以下で述べる所見は予察的なものである。

### 1. 資料と分析方法

骨類を出土した層準と主要な年代は、下位からVI層（面縄前庭式・船元系土器などが出土）、V層（貝塚時代後期）、IV層（4409SX埋積土）、III層（グスク時代～近世）、II層（近現代）、I層（戦後）である。

V層については、Va層、Vb層、Vc層に細分されている。Va層は4409SX底面直上に部分的に堆積する土層で、くびれ平底土器が主体、Vb層は尖底土器とくびれ平底土器が得られ、地区によってその主体は異なる。

IV層は、層位的には4409SX内部においてVa層の上位を埋積する土層だが、出土遺物は尖底土器・くびれ平底土器などが混在していることから再堆積物と考えられる。

III層はIIIa層とIIIb層に細分されているが、出土遺物の年代はいずれも15～17世紀が主体的である（ただし遺構掘削などに伴って下層から混入したと考えられる貝塚時代後期の遺物も多く含まれる）。またIII層下面からは夥しい数の柱穴群などの遺構（ここでは「III下遺構」と表記した）が検出されている。これらの遺構の年代はIII層期に属するものと考えられる。

なお、層序と年代の詳細については本書の当該項目を参照されたい。

分析資料はすべて発掘現場において手で拾い上げられたもの（ピックアップ資料）である。分析方法は、基本的に樋泉（2007）の方法を踏襲した。なお哺乳類の四肢骨については、骨幹の全周を残さない破片は原則として同定対象から除外した。遺体の予備的な同定は島袋春美氏の指導のもとに整理作業員諸氏が行い、筆者（樋泉）が同定結果の確認と集計・図表作成を行った。

### 2. 分析結果

同定結果の詳細を第107表に示した。組成の集計については、資料数が膨大であるため、時間の制約からここでは同定標本数（NISP）による組成のみを第108表に示すにとどめ、最小個体数（MNI）の集計は見送った。なお、第107表の「集計単位」欄に示した各層の平面的な集計区分については、まず出土数の多い（ $NISP \geq 5$ ）遺構を個別に集計し、次いで資料数の少ない遺構および包含層出土資料については一括し、各層の分布状況に応じてまとまりのみられる範囲をグリッド単位でまとめた（たとえば「C-E/17-18」は東西C-Eグリッド×南北17～18グリッドの範囲を示す）。

#### (1) 脊椎動物遺体の出土数

同定対象となった資料の総数（NISP）は3086点である（第108表）。このうちIII層が1718点（III

a層 358点, III b層 609点, III下遺構 751点)と最も多く, V層が 868点 (V b層が 769点と大半を占め, V c層は 87点, V a層は 9点と少ない)でこれに次ぎ, これら両層で全体の 84%を占める. IV層も 208点とやや多いが, 上記のとおり再堆積物と考えられる. これら以外の層準では, VI層 77点, II層 59点, I層 94点と少数である.

## (2) 脊椎動物遺体の内容

**脊椎動物遺体の概要:** 脊椎動物遺体全体の NISP 比による組成 (第 149 図) をみると, VI層と V c層では魚類とイノシシが大半を占めており, 他にウミガメ類とイヌ, VI層ではリクガメ類もやや多い. V b層はイヌがとくに多い点で特異的だが (産状の詳細は後述), それ以外は V c層と類似傾向である. VI層~V層ではその他に, ジュゴン, クジラ類, ウシ, ウマも確認されているが, いずれも少数であり, ウシ・ウマは上層からの混入と思われる. なお V a層では脊椎動物遺体の出土が少なく, イノシシ 8点とジュゴン 1点が検出されたのみである.

IV層では魚類が少なく, イノシシとウシが主体となる点で他の層準と傾向がかなり異なるが, 上記のとおり本層は再堆積層と思われ, 出土資料の年代の特定も困難なため, これをどう解釈するかは判断が難しい.

III層~II層ではウシ・ウマが加わる点で V層とは明確に区別されるが, この点を除けば, 魚類とイノシシが大半を占め, ウミガメ類とイヌがこれに次ぎ, 他にジュゴン, イルカ・クジラ類などが少数加わる点で V層と基本的に同傾向である. ただし III b層では魚類とウミガメが多く, ウシ・ウマが少ない点でやや傾向が異なる. II層では魚類が少ないが, 資料数が少ないため意味のある変化といえるかは明確でない.

I層も主要種の構成は大差ないが, ウミガメとジュゴンがみられなくなる.

**魚類:** VI層では資料数が少ないが, フェフキダイ科・ブダイ科・ハリセンボン科・ハタ科・サメ類が同程度の比率で混在する点で上位の層とは傾向が異なるように思われる.

V層ではフェフキダイ科が増加して圧倒的に優占し, これにブダイ科・ベラ科・ハリセンボン科・クロダイ属・ハタ科・アジ科 (大型種)・サメ類などが加わる.

IV層ではハリセンボン科が突出して多い点で他の層準と大きく異なるが, 上記のとおり本層は再堆積層と思われ, また出土数もごく少ないことから, 再堆積の過程で頑丈なハリセンボン科の顎骨が選択的に残存した可能性も考えられる.

III層では, フェフキダイ科を最多種として, ブダイ科・ベラ科・ハリセンボン科・クロダイ属・ハタ科・アジ科 (大型種)・サメ類などが加わる点では V層と基本的に同傾向だが, フェフキダイ科はやや減少し, 代わってブダイ科とハリセンボン科が増加するほか, III a層ではクロダイ属も多い.

I層も基本的に同傾向であり, とくにクロダイ属が多い点で III a層に類似する.

**爬虫類・鳥類:** 爬虫類ではヘビ類, ウミガメ類, リクガメ類 (おそらくリュウキュウヤマガメ) が確認された. ヘビ類はハブの可能性が高いものとそれ以外の 2つのタイプがみられた. 鳥類はニワトリ 1点, それ以外の種類 (未同定) 2点が確認されたのみである.

**イヌ:** V b層からはイヌの遺体がまとまって検出される例が多数確認された. 以下のその概要を記載する. 各出土骨の内容詳細は第 107 表を参照されたい.

第 4 号土壙墓 (4315SG): V b層 G10 グリッドから頭部を除く全身骨格 (一部の部位を欠く) が交連状態で検出された (第 24 図).

4800SG: V b層 G12 グリッドから前後肢骨の一部がまとまって採集されている (台帳番号 758). 幼獣である.

0586SZ : V b 層 J11 グリッドから頭骨・左右上顎骨・左下顎骨がまとまって採集されている (台帳番号 3811・3812)。老獣である。

V b 層 G14 グリッド : 同一個体と思われる成獣の頭骨の一部, 左上下顎骨, 腰椎, 後肢骨の一部がまとまって採集されている (台帳番号 3940)。

V b 層 H12 グリッド : 成獣の左右下顎骨 (完存) がそろって採集されている (台帳番号 3463)。

V b 層 H17 グリッド : 幼獣の上・下顎遊離歯がまとまって採集されている (台帳番号 694)。幼獣である。

V b 層 H18 グリッド : 右下顎骨, 前後肢骨の一部および肋骨 (台帳番号 632), 左下顎骨, 前肢骨・後肢骨の一部および肋骨 (台帳番号 636. 632 と同一個体か), 2 個体分を含む前頭骨・上顎骨・下顎骨 (台帳番号 634) がまとまって採集されている。いずれも幼獣である。

V b 層 J09 グリッド : 後頭骨と左右上顎骨などがまとまって採集されている (台帳番号 4090)。

V b 層 K12 グリッド : 同一個体の可能性のある後頭骨と椎骨の一部 (台帳番号 3949), 前後肢骨の一部 (台帳番号 3284) がまとまって採集されている。

なお, III b 層においても G18 グリッドから同一個体の左右上顎骨・下顎骨がまとまって採集されている (台帳番号 652)。

**イノシシ/ブタ** : 詳細な形質学的検討を行っていないが, V 層の資料はおそらく野生のイノシシとみて問題ないかと思われる。現生リュウキュウイノシシに類する小型のイノシシである。いっぽう III 層~I 層の資料についても, 表では「イノシシ」としたが, 年代的にみてブタが含まれる可能性は十分に考えられる (とくに II 層~I 層の資料の多くはブタと思われる)。ただし形態的には野生種との判別が難しいものが大半であり, 明確な家畜化 (ブタ化) の特徴を示すもの (表で「ブタ」とした) はごく少ない。

部位組成についても詳細な検討が未了だが, 頭部骨格 (頭骨・顎歯) とそれ以外の比率をみると (第108表・第149図), 各層の合計値で見ると, 両者ともに多くの資料が出土しており, 極端な偏りを示すケースは認められない。なお特殊な産状が確認された例として, V b 層 F13 グリッドの 4311SX では椎骨の一部, 左肩甲骨, 右脛骨~踵骨 (台帳番号 4069~4077. 図版 7), V b 層 H18 グリッドでは上腕~尺骨と脛骨・腓骨 (骨 No. 16. 台帳番号 586), 下顎骨・上腕骨・橈骨・大腿骨・脛骨など (骨 34. 台帳番号 777 など) が集積状態で検出されている。

なお, イノシシ・ウシ・ウマの年齢構成・性比・解体痕については詳細な検討が未了である。

**海獣類** : ジュゴンの肋骨破片, イルカ類の歯と椎骨, クジラ類の頭骨・椎骨・肋骨破片が採集されている。いずれも散乱状態で検出されており, 特殊な産状を示唆する例は認められないようである。

**謝辞** : 分析作業に際しては, 島袋春美氏・山城安生氏・東門研治氏・松原哲志氏ほか北谷町教育委員会の皆様より多大なるご教示・ご協力を賜った。黒住耐二氏 (千葉中央博物館) には多くのご教示を賜った。記して厚く御礼申し上げる。

## 参考文献

- ・樋泉岳二 (2007) 「伊礼原遺跡から出土した脊椎動物遺体群」, 『伊礼原遺跡-伊礼原B遺跡ほか発掘調査事業-』 (北谷町教育委員会編), 沖縄県北谷町教育委員会, pp480-534.

第106表. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の種名一覧

軟骨魚綱	CHONDRICHTHYES
サメ類	Carcharhinidae?
エイ目	Rajiformes
硬骨魚綱	OSTEICHTHYES
アナゴ科	Congridae
ウツボ科	Muraenidae
ダツ科	Belonidae
ボラ科	Mugilidae
ハタ科(マハタ型)	Serranidae cf. <i>Epinephelus</i>
ハタ科(スジアラ型)	Serranidae cf. <i>Plectropomus</i>
アジ科(大型種)	Carangidae (large)
フエダイ科	Lutjanidae
コショウダイ類	<i>Plectorhinchus</i> / <i>Diagramma</i> sp.
クロダイ属	<i>Acanthopagrus</i> sp.
ヨコシマクロダイ	<i>Monotaxis grandoculis</i>
フエフキダイ属(ハマフエフキ型)	<i>Lethrinus</i> cf. <i>L. nebulosus</i>
ベラ科(シロクラベラ型)	Labridae cf. " <i>Cherodon shoenleinii</i> "
ベラ科(タキベラ型)	Labridae cf. " <i>Bodianus perditio</i> "
ベラ科A	Labridae A
イロブダイ属	<i>Balbometopon</i> sp.
アオブダイ属	<i>Scarus</i> sp.
オニオコゼ科?	Synanceiidae ?
コチ科	Platycephalidae
モンガラカワハギ科	Balistidae
フグ科	Tetraodontidae
ハリセンボン科	Diodontidae
爬虫綱	REPTILIA
ヘビ類	Serpentes
リクガメ類(リュウキュウヤマガメ)	<i>Geoemyda spengleri japonica</i>
ウミガメ科	Cheloniidae
鳥綱	AVES
ニワトリ	<i>Gallus gallus domesticus</i>
哺乳綱	MAMMALIA
ネズミ科	Muridae
ネコ	<i>Felis catus</i>
イヌ	<i>Canis familiaris</i>
ウマ	<i>Equus ferus</i>
イノシシ/ブタ	<i>Sus scrofa</i>
ウシ	<i>Bos taurus</i>
ジュゴン	<i>Dugong dugon</i>
イルカ類	Cetacea (large)
クジラ類	Cetacea (small)



第107表-1. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インデントしたものはブタの可能性のあるものを含む.  
 \* 残存位置凡例: w: 残存, p: 近位端, m: 骨端, d: 遠位端, f: 破片, (p)・(d)は剥離合の骨端のみ, (p)・(d)は骨端のみ欠損, 破片については, [ ] : 頸骨残存範囲, ( ) : 萌出中の歯, < > : 未萌出歯, × : 脱落.

層 単	大 クワッド	小 クワッド	遺標名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 (後) 番号	骨 番 号	種類*1	部位	残存位置*2	左 右	数	咬 耗 状 況	咬 耗 段 階 (mm)	備 考
I	B5	D11	0001SZ	-	07.03.23	39	606	ウマ	下顎臼歯			R	1			
I	B5	E11	0001SZ	-	07.03.23	31	2633	ウシ	中足骨	p		L	1			
I	B5	P10	0001SZ	-	07.03.23	37	2212	イノシシ	肩甲骨	d		R	1			
I	B5	D16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	966	2017	イノシシ	第2中手骨	p-d		L	1			
I	B5	D16	0350SZ	0350SZ	07.04.19	1024	2255	イノシシ	第3中手骨	p		R	1			
I	B5	D16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	966	2246	イノシシ	本脚骨	<d>		L	1			
I	B5	E16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	938	2949	ウマカウ類	縁骨板			?	1			
I	B5	E16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	945	2412	ウシ	上腕骨	d		L	1			カットマーク・破
I	B5	F16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	942	1363	フェウキダイ科	前上顎骨			L	1			
I	B5	F16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	942	3198	イノシシ	下顎C			L	1			
I	B5	F16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	942	706	イノシシ	下顎C			L	1			
I	B5	F16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	942	707	イノシシ	下顎C			L	1			
I	B5	F16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	942	2206	イノシシ	肩甲骨	d		L	1			
I	B5	F16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	942	1951	イノシシ	第3中手骨	p-d		L	1			
I	B5	F16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	942	1784	イノシシ	次腕骨	m		R	1			フルイ
I	B5	G15	0350SZ	0350SZ	07.04.19	1038	5133	真骨類(同定不可)	椎骨			-	1			
I	B5	G15	0350SZ	0350SZ	07.04.19	1032	1639	イノシシ	尺骨	m		?	1			
I	B5	G16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	981	1325	フェウキダイ科?	前上顎骨			R	1			
I	B5	G16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	981	906	アジ科(大型種)	椎骨			-	1			
I	B5	G16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	981	1198	クロダイル	前上顎骨			L	1			
I	B5	G16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	981	1887	クロダイル	前上顎骨			L	1			
I	B5	G16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	981	1886	フェウキダイル	口蓋骨			L	1			
I	B5	G16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	981	1833	フェウキダイル	主上顎骨			L	1			
I	B5	G16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	981	1325	フェウキダイル	主上顎骨			L	1			
I	B5	G16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	981	947	フェウキダイル	腕椎			-	1			
I	B5	G16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	981	1889	タイ狸	椎骨			-	1			
I	B5	G16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	981	886	シロクワバシ型	下咽頭骨			-	1			
I	B5	G16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	981	1888	真骨類(同定不可)	主腕蓋骨			R	1			
I	B5	G16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	981	2940	ウミガメ類	腹甲板			?	1			
I	B5	G16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	981	1798	鳥類(同定不可)	四肢骨	m		?	1			
I	B5	G16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	981	2210	イノシシ	肩甲骨	d		R	1			
I	B5	G16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	981	2049	イノシシ	距骨			R	1			
I	B5	G16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	981	2260	イノシシ	中手/中足骨	(d)		?	1			破
I	B5	G16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	981	2261	イノシシ	中手/中足骨	(d)		?	1			破
I	B5	H16	0350SZ	0350SZ	07.04.19	1034	1044	フェウキダイル	主上顎骨	[M1 x M2]		L	1			
I	B5	H16	0350SZ	0350SZ	07.04.19	1034	650	イノシシ	下顎骨			L	1			f
I	B5	H16	0350SZ	0350SZ	07.04.19	1034	637	イノシシ	下顎M1			L	1			f
I	B5	H16	0350SZ	0350SZ	07.04.19	1034	670	イノシシ	下顎M3			R	1			f
I	B5	H16	0350SZ	0350SZ	07.04.20	1074	2033	イノシシ	距骨	<p>		L	1			破
I	B5	I17	0350SZ	0350SZ	07.05.08	1709	1001	モンガラカワハキ科	背棘椎			-	1			
I	B5	I17	0350SZ	0350SZ	07.05.08	1709	1593	イノシシ	踵骨			L	1			
I	B5	I16	0350SZ	0350SZ	07.04.17	964	788	ハシセソコ科	前上顎/唇骨			-	1			
I	B5	I17	0350SZ	0350SZ	07.05.07	1507	1842	真骨類(未同定)	歯骨			L	1			オニオニゼにやみ類似
I	B5	M18	0350SZ	0350SZ	07.05.17	2091	1854	フェウキダイル	主上顎骨			L	1			
I	B5	M18	0350SZ	0350SZ	07.05.17	2091	2364	ウシ	下顎			R	1			
I	B5	M18	0350SZ	0350SZ	07.05.17	2091	2372	ウマ	上顎/下顎			*	1			
I	B5	M18	0350SZ	0350SZ	07.05.17	2091	2594	ウマ	膝蓋骨			L	1			
I	B5	M18	0350SZ	0350SZ	07.12.27	5110	474	ウツ科	手/足根骨			*	1			
I	B5	M18	0350SZ	0350SZ	07.12.27	5110	474	ウツ科	椎骨			-	1			
I	B5	M18	0350SZ	0350SZ	07.12.27	5110	470	クロダイル	前上顎骨			L	1			
I	B5	M18	0350SZ	0350SZ	07.12.27	5107	1036	クロダイル	前上顎骨			L	1			
I	B5	M18	0350SZ	0350SZ	07.12.27	5110	1706	フェウキダイル	口蓋骨			L	1			
I	B5	M18	0350SZ	0350SZ	07.12.27	5110	421	フェウキダイル	主上顎骨			R	1			
I	B5	M18	0350SZ	0350SZ	07.12.27	5110	1846	フェウキダイル	主上顎骨			L	1			
I	B5	M18	0350SZ	0350SZ	07.12.27	5110	1346	フェウキダイル	前上顎骨			L	1			
I	B5	M18	0350SZ	0350SZ	07.12.27	5110	856	アオブダイ	歯骨			L	1			
I	B5	M18	0350SZ	0350SZ	07.12.27	5110	473	真骨類(同定不可)	椎骨			-	1			
I	B5	M18	0350SZ	0350SZ	07.09.19	4083	139	イヌ	上腕骨	d		R	1			
I	B5	M18	0350SZ	0350SZ	07.09.19	4083	63	イヌ	次腕骨	d		R	1			

第107表-2. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インデックスしたものはワタの可能性があるものを含む.  
 \* 現存位置凡例: w=完存, n=近位端, m=骨幹, d=遠位端, r=破片, (p),(d)は未癒合の骨端のみ, (p>)(d>)は未癒合の骨端のみ欠損, 骨端については, [ ]: 頸骨残存範囲, ( ): 前出中の骨, < >: 前出中の骨, < >: 未前出骨, x: 脱落.

層群	大 クリッド	小 クリッド	遺構名	集計 単位	取上 番号	取上日	右側 (袋) 番号	骨番 号	種類#1	部位	残存位置#2	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考	
I	-	-	-	-	07.12.27	2784	イヌ	腕骨	m-d	R	1						
I	-	-	-	-	07.09.19	4083	イノシシ	下顎骨	[P2×F3PAMI×M2M3]	L	1	M2++++/M3++++/++++	i/k				
I	-	-	-	-	07.12.27	5107	イノシシ	下顎M3		L	1	--	a				
I	-	-	-	-	07.12.27	5107	イノシシ	下顎M3		R	1	--	a				
I	-	-	-	-	07.12.27	5110	イノシシ	腕骨		-	1						
I	-	-	-	-	07.12.27	5107	イノシシ	上腕骨	m	L	1						
I	-	-	-	-	07.11.09	4269	イノシシ	上腕骨	m-(d>)	R	1			10.8			
I	-	-	-	-	07.12.27	5107	イノシシ	尺骨	p	L	1						
I	-	-	-	-	07.12.27	5110	イノシシ	第4中手骨	p	L	1						
I	-	-	-	-	07.12.27	5107	イノシシ	腕骨	白	L	1					幼獣	
I	-	-	-	-	07.12.27	5107	イノシシ	腕骨	白	R	1						
I	-	-	-	-	07.09.19	4083	イノシシ	大腕骨	m-(d>)	R	1						
I	-	-	-	-	07.11.09	4269	イノシシ	腕骨	m-(d>)	L	1			12.7			
I	-	-	-	-	07.12.27	5107	イノシシ	腕骨	m-(d>)	R	1			13.3			
I	-	-	-	-	07.09.19	4083	イノシシ	腕骨	d	L	1						
I	-	-	-	-	07.12.27	5110	イノシシ	腕骨		L	1						
I	-	-	-	-	07.12.27	5107	イノシシ	腕骨		L	1						
I	-	-	-	-	07.09.19	4083	イノシシ	第4中足骨	p	R	1						
I	-	-	-	-	07.12.27	5110	イノシシ	末節骨	p	?	1						
I	-	-	-	-	07.09.19	4083	イノシシ?	肋骨		?	1						
I	-	-	-	-	07.09.19	4083	イノシシ?	肋骨		?	1						
I	-	-	-	-	07.09.19	4083	イノシシ?	肋骨		?	1						
I	-	-	-	-	07.09.19	4083	イノシシ?	肋骨		?	1						
I	-	-	-	-	07.12.27	5107	ウシ	中手骨	p	R	1						
I	-	-	-	-	07.12.27	5107	ウシ	基節骨	p-d	?	1						
I	-	-	-	-	07.12.27	5107	ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1						
I	B5	B17	-	-	07.11.14	4280	ウマ	上顎P2		L	1						
I	B5	B17	-	-	07.11.14	4281	ウシ/ウマ	手/足根骨		L	1						
I	B5	F13	-	-	07.11.06	4138	イノシシ	下顎骨	[M3]	L	1						
I	B5	F13	-	-	07.11.06	4138	イノシシ	腕骨	m	R	1						
I	B5	J12	-	-	07.11.12	4233	イヌ	下顎C		R	1						
I	B5	K13	-	-	07.11.07	4162	イノシシ	腕骨	p	R	1						
I	B5	S13	-	-	07.11.16	4346	イヌ	寛骨	白	L	1						
I	B5	S13	-	-	07.11.16	4346	イノシシ	腕骨	(p>)(d>)	L	1			12.2			
I	B5	T17	-	-	07.11.13	4273	イノシシ	腕骨	d	R	1						
II	B5	D-G/10-12	0008SF	0008SF	07.09.26	4535	ウミガメ類	大腕骨	m-(d>)	R	1			13.6			
II	B5	D-G/10-12	0008SF	0008SF	07.10.04	4656	イノシシ	下顎骨	[CP2×P3×P4×]	R	1						
II	B5	D-G/10-12	0008SF	0008SF	07.10.04	4656	イノシシ	下顎骨	[M1×M2M3]	L	1						
II	B5	D-G/10-12	0008SF	0008SF	07.09.26	4555	イノシシ	下顎骨	[M2×M3×]	R	1						
II	B5	D-G/10-12	0008SF	0008SF	07.10.04	4656	イノシシ	下顎C		L	1					♂ <sup>a</sup>	
II	B5	D-G/10-12	0008SF	0008SF	07.09.26	4534	イノシシ	下顎C		R	1					♂ <sup>a</sup>	
II	B5	D-G/10-12	0008SF	0008SF	07.09.26	4535	イノシシ	上顎/下顎M		?	1						
II	B5	D-G/10-12	0008SF	0008SF	07.09.26	4535	イノシシ	上顎/下顎M	fr	?	1						
II	B5	D-G/10-12	0008SF	0008SF	07.09.26	4535	イノシシ	上顎/下顎M	fr	?	1						
II	B5	D-G/10-12	0008SF	0008SF	07.09.26	4535	イノシシ	肩甲骨	d	R	1						
II	B5	D-G/10-12	0008SF	0008SF	07.10.04	4656	イノシシ	尺骨	p	L	1						
II	B5	D-G/10-12	0008SF	0008SF	07.10.04	4656	イノシシ	尺骨	p	R	1						
II	B5	D-G/10-12	0008SF	0008SF	07.10.04	4656	イノシシ	腕骨	(p>)	R	1						
II	B5	D-G/10-12	0008SF	0008SF	07.10.04	4656	イノシシ	腕骨	d	R	1			13.2			
II	B5	D-G/10-12	0008SF	0008SF	07.09.26	4535	イノシシ	腕骨		L	1						
II	B5	D-G/10-12	0008SF	0008SF	07.09.26	4535	イノシシ	腕骨		L	1						
II	B5	D-G/10-12	0008SF	0008SF	07.09.26	4535	イノシシ	中足骨	m	*	1						
II	B5	D-G/10-12	0008SF	0008SF	07.09.26	4535	ウマ	基節骨	p-d	R	1						
II	B5	D-G/10-12	0008SF	0008SF	07.09.26	4535	ウマ	下顎臼歯		?	1						
II	B5	D-G/10-12	0008SF	0008SF	07.09.26	4535	イノシシ	不明	fr	?	1						
II	B5	F11	0008SF	0008SF	07.03.30	111	イノシシ	上顎骨	[PAMI×M2×M3×]	R	1						
II	B5	F12	0008SF	0008SF	07.03.29	104	アジ科(大型種)	椎骨	m	-	1						
II	B5	F12	0008SF	0008SF	07.03.29	104	アジ科(大型種)	四肢骨	m	?	1						

第107表-3. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インドシロヒメのブタの可能性のあるものを含む.

\* 残存位置凡例: w:完存, p:近位端, m:骨幹, q:遠位端, f:破片, (p)-(q):未総合の骨塊のみ, (p)-(+)は骨塊のみ欠損, 骨骨については, [ ]:頭骨残存範囲 ( ) : 萌出中の歯, <>:未萌出歯, ×:脱落.

層序	大 グループ	小 グループ	遺体名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 番号	骨番 号	種類*1	部位	残存位置*2	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
II	B5	G11	0008SF	0008SF	73	2564	ウシ	頭骨				L 1				
II	B5	G11	0008SF	0008SF	73	2536	ウマ	下顎M3				R 1				
II	B5	I17	0410SZ	-	1567	5034	イノシシ	尺骨		p-m		R 1				
II	B5	F-17	0410SZ	-	1568	834	アオブダイノ	歯骨				R 1				
II	B5	F-17	0410SZ	-	1568	1508	イノシシ	上腕骨		<d>		L 1				
II	B5	F-17	0410SZ	-	1568	1898	イノシシ	楯骨		p		L 1				
II	B5	D10	0586SZ	-	908	1432	イノシシ	尺骨		p		R 1				
II	B5	D13	0586SZ	0586SZ	898	2540	ウシ	頭骨				R 1				
II	B5	D13	0586SZ	0586SZ	898	2632	ウシ	中足骨		p		L 1				
II	B5	D13	0586SZ	0586SZ	898	2467	ウシ/ウマ	肋骨		m		? 1				
II	B5	E12	0586SZ	0586SZ	834	105	イノシシ	下顎骨			L-R	1				♀
II	B5	E13	0586SZ	0586SZ	864	2944	ウシ/ウマ	腹中板				? 1				
II	B5	E13	0586SZ	0586SZ	864	1778	イノシシ	上腕骨		m		R 1				
II	B5	E13	0586SZ	0586SZ	864	1401	イノシシ	上腕骨		(d)		R 1				
II	B5	E13	0586SZ	0586SZ	864	2502	ウマ	肩甲骨		d		L 1				
II	B5	E13	0586SZ	0586SZ	864	2567	ウマ	中節骨		p-d		? 1				
II	B5	E13	0586SZ	0586SZ	864	2331	ウシ/ウマ	腕骨				- 1				
II	B5	F12-13	0586SZ	0586SZ	975	1744	イノシシ	上腕骨		m		L 1				
II	B5	F12-13	0586SZ	0586SZ	975	1425	イノシシ	大脚骨		(p)-(d+)		L 1				14.3
II	B5	F12-13	0586SZ	0586SZ	975	1550	イノシシ	頭骨				R 1				
II	B5	F12-13	0586SZ	0586SZ	975	2414	ウシ	上腕骨		m		L 1				
II	B5	H17	1095SZ	-	1592	2230	フェウキヤイ科	前上顎骨				L 1				
II	B5	H17	1095SZ	-	1587	887	ペウキヤイ科	前上顎/歯骨		f		? 1				
II	B5	H17	1095SZ	-	1109	ハリスンボソ科	歯					- 1				
II	B5	G18	4607SZ	-	1938	5138	イノシシ?	肋骨		m		? 1				
II	-	-	4607SZ	-	2617	201	イヌ	肋骨		m		L 1				
II	-	-	4607SZ	-	2617	41	イヌ	肋骨		m<d+>		R 1				10.0
II	C5	-	4710SZ	-	14612	2386	ウシ	下顎P4				R 1				
II	C5	-	4710SZ	-	14612	2358	ウマ	下顎M3				R 1				
II	B5	B13	4721SZ	-	4844	931	ウシ	椎骨				- 1				
II	B5	B13	4721SZ	-	4844	3228	ウシ	椎骨		[1]×12×13×C×P2×P3P4M1]		L 1				c
II	B5	B13	4721SZ	-	4844	2321	ウシ	椎骨				- 1				
II	B5	B13	4721SZ	-	4844	2536	ウシ	椎骨				- 1				
II	B5	D-G/10-12	0008SF東脚隆乱	-	4540	1357	フェウキヤイ科	歯骨				L 1				
II	B5	D-G/10-12	0008SF東脚隆乱	-	4540	651	イノシシ	下顎骨				R 1				
II	B5	D-G/10-12	0008SF東脚隆乱	-	4540	3089	イノシシ	下顎P4				R 1				
II	B5	D-G/10-12	0008SF東脚隆乱	-	4540	2258	イノシシ	肋骨				L 1				12.9
II	B5	D-G/10-12	0008SF東脚隆乱	-	4540	1531	イノシシ	頭骨		<p>><d+>		R 1				
II	B5	D-G/10-12	0008SF東脚隆乱	-	4540	2083	哺乳類(同定不可)	肋骨		m		? 1				
IIIa	B5	G10	0019SL	-	98	1998	イノシシ	第3中手骨		(p)-(d-)		L 1				幼獣
IIIa	B5	G10	0019SL	-	98	1999	イノシシ	第4中手骨		(p)-(d-)		L 1				幼獣
IIIa	B5	C17	-	C-E/17-18	4052	1837	フェウキヤイ科	口蓋骨				R 1				
IIIa	B5	C17	-	C-E/17-18	4052	2620	ウシ/ウマ	指骨				? 1				
IIIa	B5	C17	-	C-E/17-18	4052	657	イノシシ	上顎骨		[M3]		L 1				c
IIIa	B5	C17	-	C-E/17-18	4052	3073	イノシシ	下顎骨		腕節突起		L 1				
IIIa	B5	C17	-	C-E/17-18	4052	688	イノシシ	上顎/下顎M		f		? 1				
IIIa	B5	C18	-	C-E/17-18	4503	1830	ウシ	椎骨				- 1				
IIIa	B5	C18	-	C-E/17-18	4503	420	ウシ	椎骨				L 1				
IIIa	B5	C18	-	C-E/17-18	4503	1042	フェウキヤイ科	主上顎骨				L 1				
IIIa	B5	C18	-	C-E/17-18	4503	1681	フェウキヤイ科	歯骨				R 1				
IIIa	B5	C18	-	C-E/17-18	4049	-	ウシ/ウマ	鳥口骨		m		L 1				
IIIa	B5	C18	-	C-E/17-18	4049	-	ウシ/ウマ	楯骨		<p>>d		R 1				
IIIa	B5	C18	-	C-E/17-18	4049	3081	ウシ/ウマ	指骨				? 1				
IIIa	B5	C18	-	C-E/17-18	4049	2110	イノシシ	肋骨		m		? 1				
IIIa	B5	C18	-	C-E/17-18	4049	3048	イノシシ	中手/中足骨		d		? 1				
IIIa	B5	D13	-	D-E/13-16	791	1426	イノシシ	大脚骨		(p)-(d+)		L 1				12.0
IIIa	B5	D14	-	D-E/13-16	671	752	ハリスンボソ科	前上顎/歯骨				- 1				
IIIa	B5	D14	-	D-E/13-16	671	793	ハリスンボソ科	前上顎/歯骨				- 1				
IIIa	B5	D14	-	D-E/13-16	527	688	イノシシ	下顎M1				R 1				g

第107表-4. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インジキルしたものはブタの可能性のあるものを示す.

\* 残存位置凡例: v(穿孔), p(近位端), r(破片), (p)-(r)は骨端未整合脱離, <p>-<r>は骨端のみ欠損, 頸骨については, [ ]: 頸骨残存範囲, ( ): 萌出中の歯, <>: 未萌出歯, x: 脱落.

種別	大	小	遺構名	集計	取上	取上	台帳	骨番	種別#1	部位	残存位置*2	数	咬耗	咬耗	SD	備考	
	クワッド	クワッド		単位	番号	日	(袋)	号				左右	状況	長径	(mm)		
IIIa	B5	D14	-	D-E/13-16	07.04.10	527	3110	インジ	上顎/下顎M	fr		?					
IIIa	B5	D14	-	D-E/13-16	07.04.10	527	3156	インジ	上顎/下顎M	fr		?					
IIIa	B5	D14	-	D-E/13-16	07.04.12	671	2411	ウシ	上顎骨	<d>		R					
IIIa	B5	D14	-	D-E/13-16	07.04.10	527	2855	ウシ	中足骨	m		?					
IIIa	B5	D15	-	D-E/13-16	07.04.12	762	2224	インジ	脛骨	p-d		R				台帳No.763,764含む	
IIIa	B5	D15	-	D-E/13-16	07.04.12	761	2015	インジ	脛骨	m		?				台帳No.759に統合	
IIIa	B5	D15	-	D-E/13-16	07.04.12	760	2043	インジ	距骨			R				台帳No.760,761含む	
IIIa	B5	D15	-	D-E/13-16	07.04.12	759	1533	インジ	脛骨			R					
IIIa	B5	D17	-	C-E/17-18	07.04.10	567	1011	クロタイ鳳	脛骨			R					
IIIa	B5	D17	-	C-E/17-18	07.09.13	4056	1696	フェウキダイ科	前上顎骨	[MM2]		L					
IIIa	B5	D17	-	C-E/17-18	07.04.10	567	585	インジ	上顎骨			R				b/b	
IIIa	B5	D17	-	C-E/17-18	07.04.10	567	1758	インジ	犬歯骨	<d>		R					
IIIa	B5	D17	-	C-E/17-18	07.09.13	4056	1985	インジ	第4中足骨	p		L					
IIIa	B5	D17	-	C-E/17-18	07.04.10	569	1878	インジ	中足骨			?					
IIIa	B5	D17	-	C-E/17-18	07.04.10	567	2694	ウシ/ウマ	手/足根骨			*					
IIIa	B5	D18	-	C-E/17-18	07.09.13	4047	2941	ウシ/ウマ	脛骨			?					
IIIa	B5	D18	-	C-E/17-18	07.09.13	4047	2040	インジ	脛骨	m<d>		L				13.9	
IIIa	B5	D18	-	C-E/17-18	07.09.13	4047	610	ウシ	上顎mm2	dm3		L					
IIIa	B5	D18	-	C-E/17-18	07.04.10	632	2717	ウシ	中手骨	p		R					
IIIa	B5	D18	-	C-E/17-18	07.04.10	632	2689	ウシ/ウマ	手/足根骨			*					
IIIa	B5	E11	-	-	07.03.30	119	747	ハリセンボン科	前上顎/脛骨			-					
IIIa	B5	E11	-	-	07.03.30	119	2698	ウシ/ウマ	手/足根骨			*					
IIIa	B5	E13	-	D-E/13-16	07.04.10	517	900	シロクワスラ型	上顎頭骨			L					
IIIa	B5	E14	-	D-E/13-16	07.04.10	531	1924	イルカ	椎骨			-					
IIIa	B5	E14	-	D-E/13-16	07.04.10	531	1599	イルカ	椎骨	fr		-					
IIIa	B5	E15	-	D-E/13-16	07.04.12	749	870	アオゾウ科	前上顎骨	[M3]		L				台帳No.748に統合	
IIIa	B5	E15	-	D-E/13-16	07.04.10	538	666	インジ	下顎骨			R				c	
IIIa	B5	E15	-	D-E/13-16	07.04.10	538	3077	インジ	上顎骨	p		L					
IIIa	B5	E15	-	D-E/13-16	07.04.10	538	1566	インジ	脛骨			L					
IIIa	B5	E15	-	D-E/13-16	07.04.12	742	2410	ウシ	上顎骨	<d>		R					
IIIa	B5	E15	-	D-E/13-16	07.04.12	742	2521	ウシ	尺骨	p		R					
IIIa	B5	E15	-	D-E/13-16	07.04.12	742	2628	ウシ	中足骨	p-m		L					
IIIa	B5	E15	-	D-E/13-16	07.04.12	742	2643	ウシ	中手/中足骨	d		?					
IIIa	B5	E15	-	D-E/13-16	07.04.12	742	2674	ウシ/ウマ	上顎骨	m		?					
IIIa	B5	E16	-	D-E/13-16	07.04.10	529	742	ハリセンボン科	前上顎/脛骨			-					
IIIa	B5	E16	-	D-E/13-16	07.04.10	529	504	インジ	上顎骨	[P2×P3P4M]		R				b	
IIIa	B5	E16	-	D-E/13-16	07.04.09	442	2236	インジ	脛骨	m		R					
IIIa	B5	E17	-	C-E/17-18	07.04.09	506	1547	インジ	脛骨			R					
IIIa	B5	E18	-	C-E/17-18	07.04.16	849	2142	インジ	脛骨	d		R					
IIIa	B5	F13	-	F-/12-15	07.04.12	789	2241	インジ	脛骨	d		R					
IIIa	B5	F14	-	F-/12-15	07.05.25	2199	5089	クロタイ鳳	前上顎骨			L					
IIIa	B5	F14	-	F-/12-15	07.05.25	2199	5156	ウシ/ウマ	中/下腹板			?					
IIIa	B5	F14	-	F-/12-15	07.05.25	2201	3277	インジ	切歯骨	[112×13×]		R					
IIIa	B5	F14	-	F-/12-15	07.05.25	2201	3225	インジ	上顎骨	[PM1]		R				R	
IIIa	B5	F14	-	F-/12-15	07.05.25	2201	3125	インジ	上顎骨	[PM1MM3]		L				f/g/a	
IIIa	B5	F14	-	F-/12-15	07.05.25	2201	3197	インジ	下顎2			L					
IIIa	B5	F14	-	F-/12-15	07.05.25	2201	76	インジ	上顎骨	m<d>		L				14.0	
IIIa	B5	F14	-	F-/12-15	07.05.25	2201	1447	インジ	上顎骨	m<d>		R				12.9	
IIIa	B5	F14	-	F-/12-15	07.05.25	2201	2608	ウシ	中足骨	p		R					
IIIa	B5	F15	-	F-/12-15	07.05.25	2224	5073	ウシ	椎骨			-				椎体径20mm	
IIIa	B5	F15	-	F-/12-15	07.05.25	2220	6	インジ	下顎M3			L				d	
IIIa	B5	F15	-	F-/12-15	07.05.25	2220	160	インジ	脛骨	p<d>		R				11.6	
IIIa	B5	F16	-	F-/16-18	07.04.06	364	1034	クロタイ鳳	前上顎骨			L					台帳No.365,367含む
IIIa	B5	F16	-	F-/16-18	07.04.06	364	1800	クロタイ鳳	前上顎骨			L					台帳No.365,367含む
IIIa	B5	F16	-	F-/16-18	07.04.06	362	2211	インジ	肩甲骨	d		R					
IIIa	B5	F17	-	F-/16-18	07.04.06	425	1027	クロタイ鳳	前上顎骨			L					
IIIa	B5	F17	-	F-/16-18	07.04.06	395	833	アオゾウ科	脛骨			R					台帳No.382に統合
IIIa	B5	F17	-	F-/16-18	07.04.06	425	864	アオゾウ科	脛骨			R					
IIIa	B5	F17	-	F-/16-18	07.04.10	568	780	ハリセンボン科	前上顎/脛骨			-					
IIIa	B5	F17	-	F-/16-18	07.04.12	680	795	ハリセンボン科	前上顎/脛骨			-					



第107表-5. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* イonsinとしたものはブタの可能性のあるものを含む.

\* 残存位置凡例: w:完存, p:近位端, m:骨幹, a:遠位端, f:破片, (p)-(a)は骨端総合脱落, <p>-<a>は骨端のみ欠損, 頸骨については, [ ]:頸骨残存範囲 ( ) :前出中の鹿, <\*>:未前出鹿, x:脱落.

種別	大 クワッド	小 クワッド	遺構名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 番号 (後)	骨番 号	種類*1	部位	残存位置*2	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
IIIa	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.06	425	799	ハリスン	前上顎/脛骨		-	1				
IIIa	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.12	680	654	イonsin	上顎骨	[p]	R	1				
IIIa	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.12	680	674	イonsin	下顎M3		L	1				
IIIa	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.10	568	687	イonsin	上顎/下顎M	f	L	1	++-	d		
IIIa	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.12	680	1520	イonsin	上腕骨	m+d	L	1			13.8	
IIIa	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.12	680	1514	イonsin	上腕骨	m+d	L	1			15.1	
IIIa	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.12	680	2981	イonsin	上腕骨	d	L	1				
IIIa	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.10	568	1973	イonsin	脛骨	(d-)	R	1				
IIIa	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.10	568	1577	イonsin	脛骨		L	1				
IIIa	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.06	425	1553	イonsin	脛骨		L	1				
IIIa	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.12	680	3080	イonsin	基節骨	p+d	L	1				
IIIa	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.06	425	2576	ウシ/ウマ	四肢骨	m	?	1				
IIIa	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	777	1223	フェウキヤイ科	脛骨		R	1				
IIIa	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.10	555	790	ハリスン	前上顎/脛骨		-	1				
IIIa	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	780	964	ヘビ類	椎骨		-	1				
IIIa	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	777	1867	ヘビ類	椎骨		-	1				
IIIa	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	777	1867	ヘビ類	椎骨		-	1				
IIIa	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	780	2223	イonsin	下顎M3		R	1	+++	f		
IIIa	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	780	2293	イonsin	脛骨		L	1				
IIIa	B5	G12	-	F-1/12-15	07.05.30	2293	1006	ハタ科	前額蓋骨		L	1				
IIIa	B5	G12	-	F-1/12-15	07.05.30	2293	1270	クロタテノコ	脛骨		L	1				
IIIa	B5	G12	-	F-1/12-15	07.05.30	2293	2154	イonsin	脛骨	<p>->m	R	1			12.7	
IIIa	B5	G12	-	F-1/12-15	07.05.30	2293	1903	イonsin?	肋骨	m	?	1				
IIIa	B5	G12	-	F-1/12-15	07.05.30	2293	2343	ウマ	上顎白歯		R	1				
IIIa	B5	G13	-	F-1/12-15	07.05.25	2216	2894	ウミガメ類	大腸骨	p+m	L	1				
IIIa	B5	G13	-	F-1/12-15	07.05.25	2216	2829	ウミガメ類	腹甲板		?	1				
IIIa	B5	G13	-	F-1/12-15	07.05.25	2216	3209	イonsin	下顎1		R	1				
IIIa	B5	G13	-	F-1/12-15	07.05.25	2216	3263	イonsin	下顎C		R	1				♂
IIIa	B5	G13	-	F-1/12-15	07.05.25	2216	3070	イonsin	椎骨	椎体	-	1				
IIIa	B5	G13	-	F-1/12-15	07.05.25	2216	2067	イonsin	肩甲骨	<d>	L	1				
IIIa	B5	G13	-	F-1/12-15	07.05.25	2216	2161	イonsin	脛骨	m	L	1				
IIIa	B5	G13	-	F-1/12-15	07.05.25	2216	1785	イonsin	大腸骨	m	R	1			12.5	
IIIa	B5	G13	-	F-1/12-15	07.05.25	2216	2146	イonsin	脛骨	<p>	R	1				
IIIa	B5	G13	-	F-1/12-15	07.05.25	2216	2573	ウシ	脛骨		L	1				
IIIa	B5	G13	-	F-1/12-15	07.05.25	2216	2384	ウシ/ウマ	頸椎	f	-	1				
IIIa	B5	G13	-	F-1/12-15	07.05.25	2216	2334	ウシ/ウマ	脛骨		-	1				
IIIa	B5	G13	-	F-1/12-15	07.05.25	2216	2339	ウシ/ウマ	脛骨		-	1				
IIIa	B5	G13	-	F-1/12-15	07.05.25	2216	2340	ウシ/ウマ	脛骨		-	1				
IIIa	B5	G14	-	F-1/12-15	07.05.24	2181	-	ネコ?			-	1				
IIIa	B5	G14	-	F-1/12-15	07.05.24	2181	171	イonsin	脛骨	d	R	1				
IIIa	B5	G14	-	F-1/12-15	07.05.24	2181	286	イonsin	脛骨		●	1				
IIIa	B5	G14	-	F-1/12-15	07.05.24	2181	2669	ウマ	中足骨	p	R	1				
IIIa	B5	G15	-	F-1/12-15	07.05.25	2207	247	イonsin	基節骨		?	1				
IIIa	B5	G16	-	F-1/16-18	07.04.04	223	907	サメ類	椎骨		-	1				
IIIa	B5	G16	-	F-1/16-18	07.04.04	223	1851	サメ類	椎骨		-	1				
IIIa	B5	G16	-	F-1/16-18	07.04.04	228	1016	クロタテノコ	脛骨		L	1				
IIIa	B5	G16	-	F-1/16-18	07.04.04	229	1682	フェウキヤイ科	脛骨		L	1				
IIIa	B5	G16	-	F-1/16-18	07.04.04	223	807	アオバダイ属	上脛骨	d	R	1				台帳No.218に統合 台帳No.231,233,250含む
IIIa	B5	G16	-	F-1/16-18	07.04.05	343	2119	イonsin	肩甲骨		R	1				
IIIa	B5	G16	-	F-1/16-18	07.04.04	223	1916	イonsin	脛骨	<p>	L	1				
IIIa	B5	G16	-	F-1/16-18	07.04.09	440	612	イonsin	基節骨	p+d	?	1				
IIIa	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.09	454	1722	フェウキヤイ科	前上顎骨		L	1				
IIIa	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.05	276	641	イonsin	上顎M1		R	1	+++	f		
IIIa	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.05	276	1494	イonsin	上腕骨	<d>	L	1			9.9	
IIIa	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.09	453	1477	イonsin	上腕骨	<d>	L	1				
IIIa	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.05	272	1385	イonsin	上腕骨	<d>	R	1				
IIIa	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.09	454	3053	イonsin	第4中足骨	p	L	1				
IIIa	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.05	272	1166	ジエゾシ	肋骨		?	1				
IIIa	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.09	450	1562	フェウキヤイ科	前上顎骨		L	1				
IIIa	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.09	450	760	ハリスン	脛骨		-	1				

第107表-6. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インジシしたものはブタの可能性のあるものを示す.

\* 残存位置凡例: w:完存, p:近位端, m:骨幹, o:遠位端, f:破片, (p)・(d)は未整合の骨端のみ, (p)・(d)は骨端のみ欠損, 頭骨については, [ ] :頭骨残存範囲 ( ) :萌出中の歯, <> :未萌出歯, × :脱落.

層様	大 クワッド	小 クワッド	遺構名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 番号	骨番 号	種類*1	部位	残存位置*2	左右	数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
IIIa	B5	G18	-	F-/16-18	07.04.09	1775	1468	1775	インジシ	上腕骨	m	R	1				
IIIa	B5	G18	-	F-/16-18	07.04.09	450	1485	450	インジシ	上腕骨	m<d>	L	1			13.1	
IIIa	B5	G18	-	F-/16-18	07.04.09	450	2246	450	インジシ	尺骨	p	L	1				
IIIa	B5	G18	-	F-/16-18	07.04.09	450	2254	450	インジシ	尺骨	m-d	L	1			13.5	
IIIa	B5	G18	-	F-/16-18	07.04.09	450	2287	450	インジシ	距骨		L	1				
IIIa	B5	G18	-	F-/16-18	07.04.09	450	2096	450	インジシ	趾骨		?	1				
IIIa	B5	H08	-	F-/08-10	07.06.20	2389	1021	2389	クロコイ属	前骨		L	1				
IIIa	B5	H08	-	F-/08-10	07.06.15	2371	88	2371	インジシ	上腕骨	<d>	L	1				
IIIa	B5	H08	-	F-/08-10	07.06.15	2371	272	2371	インジシ	尺骨	p	L	1				
IIIa	B5	H08	-	F-/08-10	07.06.15	2371	1672	2371	インジシ	距骨	m-d	L	1				
IIIa	B5	H08	-	F-/08-10	07.06.15	2371	1688	2371	インジシ	距骨	p	R	1				
IIIa	B5	H08	-	F-/08-10	07.06.20	2389	3057	2389	インジシ	第1中足骨	d	L	1				
IIIa	B5	H09	-	F-/08-10	07.06.15	2382	1705	2382	フェウキギイ科	口蓋骨		L	1				
IIIa	B5	H09	-	F-/08-10	07.06.15	2382	1114	2382	フェウキギイ科	前上顎骨		L	1				
IIIa	B5	H09	-	F-/08-10	07.06.15	2382	1282	2382	フェウキギイ科	前上顎骨		R	1				
IIIa	B5	H09	-	F-/08-10	07.06.15	2382	3151	2382	インジシ	下顎M2		R	1				
IIIa	B5	H09	-	F-/08-10	07.06.15	2382	1463	2382	インジシ	上腕骨	<d>	R	1				
IIIa	B5	H09	-	F-/08-10	07.06.15	2382	1890	2382	インジシ	尺骨	p	L	1				
IIIa	B5	H09	-	F-/08-10	07.06.20	2386	1613	2386	インジシ	尺骨	p	L	1				
IIIa	B5	H09	-	F-/08-10	07.06.15	2382	1917	2382	インジシ	距骨	sp>	L	1				
IIIa	B5	H09	-	F-/08-10	07.06.20	2386	2160	2386	インジシ	距骨	sp>	R	1				
IIIa	B5	H09	-	F-/08-10	07.06.15	2382	3054	2382	インジシ	第3中足骨	p	L	1				
IIIa	B5	H10	-	F-/08-10	07.06.15	2374	3157	2374	インジシ	下顎骨	[mm2×mm3M1]	R	1			b	
IIIa	B5	H10	-	F-/08-10	07.06.15	2374	1487	2374	インジシ	上腕骨	<d>	L	1			16.5	
IIIa	B5	H10	-	F-/08-10	07.06.15	2374	1383	2374	インジシ	上腕骨	<d>	R	1				
IIIa	B5	H10	-	F-/08-10	07.06.15	2374	2233	2374	インジシ	距骨	m	R	1				
IIIa	B5	H12	-	F-/12-15	07.05.29	2257	917	2257	フェウキギイ科	履維		-	1				
IIIa	B5	H12	-	F-/12-15	07.05.29	2257	3143	2257	インジシ	下顎M3		L	1			a	
IIIa	B5	H12	-	F-/12-15	07.05.29	2257	3098	2257	インジシ	上顎骨	[M3]	R	1			a	
IIIa	B5	H12	-	F-/12-15	07.05.29	2257	237	2257	尺骨	p		L	1				
IIIa	B5	H12	-	F-/12-15	07.05.29	2257	2231	2257	インジシ	距骨	m	R	1				
IIIa	B5	H12	-	F-/12-15	07.05.29	2257	3085	2257	インジシ	中手/中足骨	(d)	?	1				
IIIa	B5	H13	-	F-/12-15	07.05.28	2240	207	2240	インジシ	肩甲骨	d	L	1				
IIIa	B5	H13	-	F-/12-15	07.05.28	2240	5053	2240	ウシノマ	助骨	d	?	1				
IIIa	B5	H14	-	F-/12-15	07.05.29	2260	1843	2260	クロコイ属	前上顎骨		R	1				
IIIa	B5	H14	-	F-/12-15	07.05.29	2259	1310	2259	フェウキギイ科	前上顎骨		R	1				
IIIa	B5	H14	-	F-/12-15	07.05.29	2259	1347	2259	フェウキギイ科	歯骨		L	1				
IIIa	B5	H14	-	F-/12-15	07.05.29	2259	949	2259	フェウキギイ科	履維		-	1				
IIIa	B5	H14	-	F-/12-15	07.05.29	2259	877	2259	シロクワヘラ型	下咽頭骨		-	1				
IIIa	B5	H14	-	F-/12-15	07.05.29	2259	2319	2259	ウシノマ	指骨		?	1				
IIIa	B5	H14	-	F-/12-15	07.05.29	2259	3226	2259	インジシ	下顎骨	[P3×P4M1]	L	1				c
IIIa	B5	H14	-	F-/12-15	07.05.29	2259	3174	2259	インジシ	下顎*3		L	1				
IIIa	B5	H14	-	F-/12-15	07.05.29	2259	2137	2259	インジシ	肩甲骨	d	R	1				
IIIa	B5	H14	-	F-/12-15	07.05.29	2259	1450	2259	インジシ	上腕骨	<d>	L	1				
IIIa	B5	H14	-	F-/12-15	07.05.29	2259	1453	2259	インジシ	上腕骨	<d>	R	1				
IIIa	B5	H14	-	F-/12-15	07.05.29	2259	1457	2259	インジシ	上腕骨	p-m	R	1				
IIIa	B5	H14	-	F-/12-15	07.05.25	2193	2271	2193	インジシ	腕骨	p	R	1				
IIIa	B5	H14	-	F-/12-15	07.05.29	2259	1632	2259	インジシ	尺骨	p	R	1				
IIIa	B5	H14	-	F-/12-15	07.05.29	2259	2090	2259	インジシ	距骨	(d)	R	1				
IIIa	B5	H14	-	F-/12-15	07.05.29	2259	1912	2259	インジシ	距骨	d	R	1				13.8
IIIa	B5	H16	-	F-/16-18	07.04.04	241	764	241	ハリセンボソ科	前上顎骨		-	1				
IIIa	B5	H16	-	F-/16-18	07.04.04	241	761	241	ハリセンボソ科	歯骨		-	1				
IIIa	B5	H16	-	F-/16-18	07.04.04	241	792	241	ハリセンボソ科	前上顎/歯骨		?	1				
IIIa	B5	H16	-	F-/16-18	07.04.04	241	1906	241	インジシ?	助骨	m	?	1				
IIIa	B5	H17	-	F-/16-18	07.04.06	378	62	378	インジシ	下顎骨	[P3×P4M1×]	R	1				
IIIa	B5	H17	-	F-/16-18	07.04.04	255	1488	255	インジシ	上腕骨	m<d>	L	1			15.1	
IIIa	B5	H17	-	F-/16-18	07.04.04	255	1420	255	インジシ	尺骨	p	R	1				
IIIa	B5	H17	-	F-/16-18	07.04.05	337	1943	337	インジシ	大腸骨	m	L	1				
IIIa	B5	H17	-	F-/16-18	07.04.04	255	2028	255	インジシ	距骨	(p)	L	1				
IIIa	B5	H17	-	F-/16-18	07.04.04	219	2044	219	インジシ	距骨		R	1				

第107表-7. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インジキとしたものはブタの可能性のあるものを含む.  
 \* 残存位置凡例: w=残存, p=近位端, m=骨幹, a=遠位端, f=破片, (p)-(d)は未鑑定の骨端のみ, (p)-(d)は骨端のみ欠損, 頭骨については: [ ]:頭骨残存範囲, ( ):萌出中の歯, <>:未萌出歯, x:脱落.

層準	大 クワッド	小 クワッド	遺体名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 (後) 番号	骨 番号	種類 <sup>1)</sup>	部位	残存位置 <sup>2)</sup>	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
IIIa	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.04	232	2637	ウシ	ウシ	中足骨	m	R	1			台帳No.217に統合
IIIa	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.05	337	2613	ウシ	ウシ	末節骨	p-d	?	1			
IIIa	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.05	337	2652	ウシ	ウシ	中足骨	p	L	1			
IIIa	B5	H08	-	H-1/08-10	07.08.08	3738	1481	イノシシ	イノシシ	上腕骨	<d>	L	1		13.7	
IIIa	B5	H08	-	H-1/08-10	07.08.08	3738	3038	イノシシ	イノシシ	第4中足骨	p-(d+)	L	1			
IIIa	B5	H12	-	F-1/12-15	07.05.30	2303	1041	クロガシメ	クロガシメ	前上顎骨		L	1			
IIIa	B5	H12	-	F-1/12-15	07.05.30	2303	1038	クロガシメ	クロガシメ	前上顎骨	d	L	1			
IIIa	B5	H12	-	F-1/12-15	07.05.30	2303	2117	イノシシ	イノシシ	肩甲骨	m	R	1			
IIIa	B5	H12	-	F-1/12-15	07.05.30	2303	1504	イノシシ	イノシシ	上腕骨	m<d>	L	1			
IIIa	B5	H12	-	F-1/12-15	07.05.30	2303	1761	イノシシ	イノシシ	大腕骨	<d>	R	1		8.4	切欠
IIIa	B5	H12	-	F-1/12-15	07.05.30	2303	3084	イノシシ	イノシシ	中手/中足骨	(d+)	?	1			
IIIa	B5	H13	-	F-1/12-15	07.05.28	2244	5090	タイヌ	タイヌ	椎骨		-	1			
IIIa	B5	H13	-	F-1/12-15	07.05.28	2247	151	イノシシ	イノシシ	大腕骨	<d>	R	1			
IIIa	B5	H13	-	F-1/12-15	07.05.30	2285	289	イノシシ	イノシシ	腕骨		●	1			
IIIa	B5	H13	-	F-1/12-15	07.05.28	2247	228	イノシシ	イノシシ	中手/中足骨	d	?	1			
IIIa	B5	H14	-	F-1/12-15	07.05.25	2195	3026	イノシシ	イノシシ	脚頭骨		L	1			
IIIa	B5	H14	-	F-1/12-15	07.05.25	2195	1741	イノシシ	イノシシ	上腕骨	m	R	1			
IIIa	B5	H14	-	F-1/12-15	07.05.25	2195	1489	イノシシ	イノシシ	上腕骨	<d>	L	1			
IIIa	B5	H14	-	F-1/12-15	07.05.25	2195	1523	イノシシ	イノシシ	上腕骨	d	L	1		15.0	
IIIa	B5	H14	-	F-1/12-15	07.05.25	2195	1418	イノシシ	イノシシ	尺骨	p	R	1			
IIIa	B5	H14	-	F-1/12-15	07.05.25	2195	1675	イノシシ	イノシシ	尺骨	p	R	1			
IIIa	B5	H14	-	F-1/12-15	07.05.25	2195	1783	イノシシ	イノシシ	尺骨	m	L	1			
IIIa	B5	H14	-	F-1/12-15	07.05.25	2195	1783	イノシシ	イノシシ	大腕骨	m	R	1			
IIIa	B5	H14	-	F-1/12-15	07.05.25	2195	2226	イノシシ	イノシシ	腕骨	m	L	1		13.8	
IIIa	B5	H14	-	F-1/12-15	07.05.25	2195	1978	イノシシ	イノシシ	腕骨	(d+)	R	1			
IIIa	B5	H14	-	F-1/12-15	07.05.25	2195	2999	イノシシ	イノシシ	第3中足骨	p-(d+)	L	1			
IIIa	B5	H14	-	F-1/12-15	07.05.25	2195	2651	ウマ	ウマ	中足骨	p	R	1			
IIIa	B5	H16	-	F-1/16-18	07.04.02	143	1953	イノシシ	イノシシ	胸椎	f	-	1			
IIIa	B5	H16	-	F-1/16-18	07.04.02	143	2519	イノシシ	イノシシ	肩甲骨	<d>	L	1			
IIIa	B5	H16	-	F-1/16-18	07.04.02	143	2972	イノシシ	イノシシ	肩甲骨	<d>	L	1			
IIIa	B5	H16	-	F-1/16-18	07.04.02	143	2201	イノシシ	イノシシ	肩甲骨	d	L	1			
IIIa	B5	H16	-	F-1/16-18	07.04.02	143	2101	イノシシ	イノシシ	腕骨	p-d	R	1			
IIIa	B5	H16	-	F-1/16-18	07.03.30	136	2232	イノシシ	イノシシ	腕骨	m	R	1		15.2	
IIIa	B5	H16	-	F-1/16-18	2	07.04.02	158	2381	ウシ/ウマ	頸椎		-	1			
IIIa	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.05	263	798	ハクセキ	ハクセキ	前上顎/肩骨		-	1			
IIIa	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.06	376	636	イノシシ	イノシシ	上顎M1	f	R	1			
IIIa	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.05	283	594	イノシシ	イノシシ	下顎C		R	1			♂
IIIa	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.06	376	1398	イノシシ	イノシシ	上腕骨	m<d>	R	1			
IIIa	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.06	376	3046	イノシシ	イノシシ	中手/中足骨	d	?	1			
IIIa	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.06	403	2116	イノシシ	イノシシ	肩甲骨	d	L	1			
IIIa	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.01	239	1399	イノシシ	イノシシ	上腕骨	<d>	L	1			
IIIa	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.06	403	1456	イノシシ	イノシシ	上腕骨	<d>	R	1			
IIIa	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.06	403	1637	イノシシ	イノシシ	尺骨	m	?	1			
IIIa	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.05	321	2496	ウシ	ウシ	腕骨	d	L	1			
IIIa	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.06	403	2512	ウシ/ウマ	ウシ/ウマ	腕骨	m	?	1			
IIIa	B5	H08	-	H-1/08-10	07.06.05	2356	5065	ベツ科	ベツ科	前上顎骨	m	L	1			
IIIa	B5	H08	-	H-1/08-10	07.06.05	2356	2732	イヌ	イヌ	下顎M1	<d>	L	1			
IIIa	B5	H08	-	H-1/08-10	07.06.05	2356	116	イヌ	イヌ	上腕骨	<d>	R	1			
IIIa	B5	H08	-	H-1/08-10	07.06.05	2356	45	イノシシ	イノシシ	上腕骨	<d>	R	1			
IIIa	B5	H08	-	H-1/08-10	07.06.05	2356	135	イノシシ	イノシシ	脚骨	●	?	1			
IIIa	B5	H08	-	H-1/08-10	07.06.05	2356	223	イノシシ	イノシシ	腕骨		L	1			
IIIa	B5	H08	-	H-1/08-10	07.06.05	2356	287	イノシシ	イノシシ	第4中足骨	p	L	1			
IIIa	B5	H08	-	H-1/08-10	07.06.05	2356	391	イノシシ	イノシシ	脚骨		?	1			
IIIa	B5	H08	-	H-1/08-10	07.06.05	2356	378	ウシ	ウシ	下顎M1/2		R	1			
IIIa	B5	H08	-	H-1/08-10	07.06.05	2356	186	哺乳類	哺乳類	四肢骨	m	?	1			
IIIa	B5	H13	-	F-1/12-15	07.05.24	2176	46	イヌ	イヌ	上腕骨	d	L	1			
IIIa	B5	H13	-	F-1/12-15	07.05.24	2176	323	イノシシ	イノシシ	腕椎		-	1			
IIIa	B5	H13	-	F-1/12-15	07.05.30	2294	125	イノシシ	イノシシ	腕骨	p-m	R	1		13.8	切欠
IIIa	B5	H13	-	F-1/12-15	07.05.24	2176	243	イノシシ	イノシシ	腕骨	m<d>	R	1		9.3	切欠

第107表-8. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* イングシとしたものはブタの可能性のあるものを含む.

\*\* 残存位置凡例: w残存, p近位端, m骨幹, a遠位端, f破片, (p)・(d)は未鑑定の骨端のみ, (p)・(d)は骨端のみ火損, 頭骨については: [ ] 頭骨残存範囲, ( ) 萌出中の歯, < > 未萌出歯, x: 肥強.

標準	大	小	遺体名	集計	取上	取上日	骨	種別1	部位	残存位置*	左右	数	咬耗	咬耗	SD	備考
	フリント	フリント		単位	番号		番号						段階	状況	(mm)	
IIIa	B5	J13	-	F-/J/12-15	2176	07.05.24	212	イナシ	第3中手骨	p-(d)	R	1				
IIIa	B5	J13	-	F-/J/12-15	2176	07.05.24	216	イナシ	腕骨	f	?	1				
IIIa	B5	J13	-	F-/J/12-15	2157	07.05.22	77	イナシ	脛骨	m	R	1				
IIIa	B5	J14	-	F-/J/12-15	2177	07.05.24	1419	イナシ	尺骨	p	L	1				
IIIa	B5	J14	-	F-/J/12-15	1579	07.05.24	2177	イナシ	踵骨	m	L	1				
IIIa	B5	J14	-	F-/J/12-15	1551	07.05.24	2179	イナシ	踵骨	m	R	1				
IIIa	B5	J14	-	F-/J/12-15	2468	07.05.24	2177	ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1				
IIIa	B5	J16	-	F-/J/12-15	2298	07.05.24	2187	ウシ	頭骨	f	?	1				
IIIa	B5	J16	-	F-/J/12-15	850	07.04.09	491	アオブダイ	前上顎骨	R	1	1				
IIIa	B5	J16	-	F-/M/16-18	2002	07.04.09	491	ゾウ	肋骨	?	?	1				
IIIa	B5	J17	-	F-/M/16-18	1692	07.05.08	1692	タイ	椎骨	-	?	1				
IIIa	B5	J17	-	F-/M/16-18	323	07.04.05	323	ハシ	椎骨	-	?	1				
IIIa	B5	J17	-	F-/M/16-18	1961	07.04.05	323	イナシ	椎骨	-	?	1				
IIIa	B5	J17	-	F-/M/16-18	1692	07.05.08	1692	イナシ	肋骨	m	?	1				
IIIa	B5	J18	-	F-/M/16-18	325	07.04.05	325	ウマ	椎骨	m	-	1				
IIIa	B5	J18	-	F-/M/16-18	1446	07.04.05	325	イナシ	上腕骨	m<(d)>	R	1			14.8	
IIIa	B5	J18	-	F-/M/16-18	1462	07.04.05	325	イナシ	上腕骨	d	R	1				
IIIa	B5	J18	-	F-/M/16-18	1417	07.04.05	325	イナシ	尺骨	p	L	1				
IIIa	B5	J18	-	F-/M/16-18	1821	07.04.05	325	イナシ	尺骨	p	L	1				
IIIa	B5	J18	-	F-/M/16-18	1656	07.04.05	325	イナシ	尺骨	p	R	1				
IIIa	B5	J18	-	F-/M/16-18	1671	07.04.03	269	イナシ	尺骨	p	R	1				
IIIa	B5	J18	-	F-/M/16-18	1546	07.04.05	325	イナシ	腕骨	p	R	1				
IIIa	B5	J18	-	F-/M/16-18	2599	07.04.05	326	ウシ	基節骨	p-d	?	1				
IIIa	B5	K09	-	K-L/09-10	2619	07.06.05	2352	ウマ	末節骨	p-d	?	1				
IIIa	B5	K10	-	K-L/09-10	5130	07.06.01	2323	ウマ	末節骨	p-d	?	1				
IIIa	B5	K10	-	K-L/09-10	2322	07.06.01	2322	ウシ	前上顎骨	p	L	1				
IIIa	B5	K10	-	K-L/09-10	2672	07.06.01	2322	ウシ	尺骨	p	L	1				
IIIa	B5	K10	-	K-L/09-10	2665	07.06.01	2322	ウシ	中足骨	<d>	?	1				
IIIa	B5	K17	-	F-/M/16-18	274	07.04.05	274	イナシ	中足骨	d	R	1				
IIIa	B5	K17	-	F-/M/16-18	2111	07.04.05	274	イナシ	肩甲骨	m	?	1				
IIIa	B5	K18	-	F-/M/16-18	339	07.04.05	339	イナシ	腕骨	m	?	1				
IIIa	B5	K18	-	F-/M/16-18	339	07.04.05	339	イナシ	上顎骨	[MIME]	R	1				d/c
IIIa	B5	K18	-	F-/M/16-18	2229	07.04.05	339	イナシ	上顎骨	m	?	1				
IIIa	B5	K18	-	F-/M/16-18	1905	07.04.03	192	ウシ	肋骨	m	L	1				
IIIa	B5	L09	-	K-L/09-10	2388	07.06.01	2388	ウシ	上顎M3	m	?	1				
IIIa	B5	L10	-	K-L/09-10	2315	07.05.31	2315	イナシ	肋骨	m	?	1				
IIIa	B5	L10	-	K-L/09-10	2315	07.05.31	2315	イナシ	中手/中足骨	(d)	?	1				
IIIa	B5	L10	-	K-L/09-10	2315	07.05.31	2315	イナシ	肋骨	m	?	1				
IIIa	B5	L16	-	F-/M/16-18	5120	07.05.15	5120	ウマ	脛骨	m	R	1				
IIIa	B5	L17	-	F-/M/16-18	2069	07.05.16	2069	ウシ	肋骨	m	?	1				
IIIa	B5	L18	-	F-/M/16-18	2056	07.05.16	2056	ウシ	肋骨	m	?	1				
IIIa	B5	L18	-	F-/M/16-18	308	07.05.16	2056	イナシ	椎骨	椎体	-	1				
IIIa	B5	L18	-	F-/M/16-18	2098	07.05.17	2098	ウシ/ウマ	手/足根骨	m	*	1				
IIIa	B5	L18	-	F-/M/16-18	5149	07.05.16	2053	ウシ	肋骨	m	?	1				
IIIa	B5	M13	-	M13-14	2132	07.05.21	2132	ウシ	中手骨	m	?	1				
IIIa	B5	M13	-	M13-14	2345	07.05.21	2132	ウシ	上顎臼歯	m	?	1				
IIIa	B5	M13	-	M13-14	2517	07.05.21	2132	ウシ/ウマ	脛骨	m	R	1				
IIIa	B5	M14	-	M13-14	2469	07.05.21	2143	ウシ/ウマ	肋骨	m	L	1				32.4
IIIa	B5	M16	-	F-/M/16-18	5161	07.05.16	2058	イナシ	肋骨	m	?	1				
IIIa	B5	M18	-	F-/M/16-18	2630	07.05.16	2062	ウシ	中足骨	p-m	?	1				
IIIa	B5	N10	-	N-P/09-10	301	07.05.31	2318	イナシ	上腕骨	(p)→d	R	1				12.5
IIIa	B5	N10	-	N-P/09-10	389	07.05.31	2318	ウシ	中手骨	p-m	R	1				
IIIa	B5	N18	-	O-Q/18	2084	07.05.17	2082	ウシ	肋骨	p	R	1				
IIIa	B5	N18	-	O-Q/18	3021	07.05.17	2082	ウシ	肋骨	m	?	1				
IIIa	B5	N18	-	O-Q/18	2606	07.05.17	2082	ウシ	頭頂骨	p	-	1				
IIIa	B5	N18	-	O-Q/18	2377	07.05.17	2082	ウシ	中足骨	p	R	1				
IIIa	B5	N18	-	O-Q/18	2438	07.05.17	2082	ウシ/ウマ	上顎臼歯	m	L	1				
IIIa	B5	O-P/09-10	-	N-P/09-10	383	07.05.25	2222	ウシ	肋骨	p-m	L	1				
IIIa	B5	O-P/09-10	-	N-P/09-10	391	07.05.25	2222	ウシ	大腸骨	m	R	1				33.7
IIIa	B5	O-P/09-10	-	N-P/09-10	384	07.05.25	2222	ウマ	腕骨	p-m	L	1				
IIIa	B5	O-P/09-10	-	N-P/09-10	387	07.05.25	2222	ウマ	中手骨	p-d	L	1				32.0



第107表-9. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インジックとしたものはワタの可能性があるものを含む.  
 \* 残存位置凡例: w:残存, p:近位端, m:骨幹, d:遠位端. (p)-(d)は本標合の骨端のみ, (p)-(d)は骨端のみ欠損. 頭骨については, [ ]:頭骨残存範囲, ( ):萌出中の歯, <>:未萌出歯, ×:脱落.

層序	大 グループ	小 グループ	遺体名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 (袋) 番号	骨 番号	種類*1	部位	残存位置*2	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
IIIa	B5	P13	-	-	07.05.21	2341	ウシ/ウマ	椎骨				-	1			
IIIa	B5	P18	-	O-Q/18	07.05.17	2076	フェエフキダイ科	口蓋骨				L	1			
IIIa	B5	P18	-	O-Q/18	07.05.18	2126	フェエフキダイ科	歯骨				R	1			
IIIa	B5	P18	-	O-Q/18	07.05.18	2126	フェエフキダイ科	前上顎/歯骨			fr	?	1			
IIIa	B5	P18	-	O-Q/18	07.05.18	2126	フェエフキダイ科	肋骨				R	1			
IIIa	B5	P18	-	O-Q/18	07.05.17	2076	フェエフキダイ科	側頭骨				R	1			焼
IIIa	B5	P18	-	O-Q/18	07.05.18	2126	フェエフキダイ科	第2中手骨			p-d	R	1			
IIIa	B5	P18	-	O-Q/18	07.05.18	2126	フェエフキダイ科	第4中手骨			p-(d)	R	1			
IIIa	B5	P18	-	O-Q/18	07.05.18	2126	フェエフキダイ科	大趾骨			(d)	L	1			
IIIa	B5	P18	-	O-Q/18	07.05.17	2076	ウシ	中手/中足骨			d	?	1			
IIIa	B5	P18	-	O-Q/18	07.05.18	2126	ウシ	基節骨			p-d	?	1			
IIIa	B5	P18	-	O-Q/18	07.05.29	2742	ウマ	後頭骨			後頭額	R	1			
IIIa	B5	P18	-	O-Q/18	07.05.18	2126	ウマ	下顎臼歯			(p)	L	1			
IIIa	B5	P18	-	O-Q/18	07.05.18	2126	ウシ/ウマ	胸椎				-	1			
IIIa	B5	P18	-	O-Q/18	07.05.18	2126	ウシ/ウマ	肋骨			m	?	1			
IIIa	B5	Q14	-	-	07.05.18	2116	フェエフキダイ科	肋骨			m	?	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.17	2093	フェエフキダイ科	前上顎骨				L	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.17	2093	フェエフキダイ科	前上顎骨				R	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.18	2113	フェエフキダイ科	前上顎/歯骨				-	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.17	2093	ウマ/ウシ	腹甲板			p	?	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.18	2113	ウシ	上脛骨			p	*	1			焼・幼獣
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.20	2381	ウシ	基節骨			[C×2]B3P4×	?	1			♂
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.18	2113	ウシ	上脛骨				R	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.18	2113	ウシ	上顎C				R	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.17	2093	ウシ	下顎D1				R	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.17	2093	ウシ	下顎D2				R	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.17	2093	ウシ	下顎M2				R	1	f		
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.17	2093	ウシ	大趾骨			m	R	1			幼獣
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.17	2093	ウシ	大趾骨			<d>	R	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.18	2113	ウシ	脛骨			m	R	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.17	2093	ウシ	脛骨			d	R	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.17	2093	ウシ	腓骨			●	?	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.20	2381	ウシ	腓骨			m	?	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.17	2093	ウシ	踵骨				L	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.18	2113	ウシ	上顎P2				R	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.18	2113	ウシ	距骨			p-d	?	1			焼
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.18	2113	ウシ	中跗骨			p	R	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.17	2093	ウシ	中足骨			p	L	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.18	2113	ウシ	中跗骨			(p)-d	?	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.18	2113	ウシ/ウマ	胸椎			fr	-	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.05.17	2093	ウシ/ウマ	手/足根骨			fr	*	1			
IIIa	B5	Q18	-	O-Q/18	07.06.20	2381	ウシ/ウマ	肋骨			m	?	1			
IIIb	B5	C16	-	C-E/16-18	07.10.09	4658	フェエフキダイ科	歯骨				L	1			
IIIb	B5	C16	-	C-E/16-18	07.10.09	4658	フェエフキダイ科	歯骨				*	1			
IIIb	B5	C16	-	C-E/16-18	07.10.09	4658	ウシ	上顎下顎1			m-d	R	1			
IIIb	B5	C16	-	C-E/16-18	07.10.09	4658	ウシ	上脛骨			p	L	1			
IIIb	B5	C16	-	C-E/16-18	07.10.09	4658	ウシ	腕骨			p	?	1			
IIIb	B5	C16	-	C-E/16-18	07.10.09	4658	ウシ	腕骨			m	L	1			
IIIb	B5	C16	-	C-E/16-18	07.10.09	4658	ウシ	尺骨			p	L	1			
IIIb	B5	C16	-	C-E/16-18	07.10.09	4658	ウシ	尺骨			m	L	1			
IIIb	B5	C16	-	C-E/16-18	07.10.09	4658	ウシ	大趾骨			m	R	1			
IIIb	B5	C16	-	C-E/16-18	07.10.09	4658	ウシ	距骨			p	L	1			
IIIb	B5	C16	-	C-E/16-18	07.10.09	4658	ウシ	肋骨			m	R	1			
IIIb	B5	C16	-	C-E/16-18	07.10.09	4658	ウシ	肋骨			d	?	1			
IIIb	B5	C17	-	C-E/16-18	07.09.26	4527	ウシ	肋骨			p	L	1			
IIIb	B5	C18	-	C-E/16-18	07.09.26	4527	ウシ	肋骨			d	L	1			
IIIb	B5	C18	-	C-E/16-18	07.10.09	4659	ウシ	肋骨			m	R	1			
IIIb	B5	C18	-	C-E/16-18	07.09.26	4532	ウシ	肋骨			p	-	1			
IIIb	B5	C18	-	C-E/16-18	07.10.02	4595	ウシ	肋骨			p	L	1			♂

第107表-10. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インデックスしたものはブタの可能性のあるものを含む.

\*\* 残存位置凡例: w: 発生, n: 近位端, m: 骨幹, c: 遠位端, f: 破片, (p) <(d)> は未定, (p) <(d)> は骨端のみ欠損, 破骨については, [ ] : 顕骨残存範囲, ( ) : 萌出中の歯, <> : 未萌出歯, \* : 脱落.

層序	大 クワッド	小 クワッド	遺構名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 (袋) 番号	骨番号	種類*1	部位	残存位置*2	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
IIIb	B5	C18	-	C-E/16-18	301	07.09.20	4659	591	インデックス	下顎骨	[PAM1M2]	R 1	M1+++//M2++++	f/f		
IIIb	B5	C18	-	C-E/16-18	301	07.09.20	4514	3173	インデックス	下顎P4		R 1				
IIIb	B5	C18	-	C-E/16-18	301	07.09.20	4514	3168	インデックス	下顎M1		R 1	++++	g		
IIIb	B5	C18	-	C-E/16-18	301	07.09.20	4514	667	インデックス	下顎M3		L 1	+++	f		
IIIb	B5	C18	-	C-E/16-18	301	07.10.09	4659	668	インデックス	下顎M3		L 1	(+)(+)(+)	n		
IIIb	B5	C18	-	C-E/16-18	301	07.09.20	4514	1445	インデックス	上脛骨	m<(d)>	R 1			14.2	
IIIb	B5	C18	-	C-E/16-18	301	07.10.09	4659	1650	インデックス	尺骨	p	R 1				
IIIb	B5	C18	-	C-E/16-18	301	07.10.09	4659	1865	インデックス	尺骨	p	R 1				
IIIb	B5	C18	-	C-E/16-18	301	07.10.09	4659	2984	インデックス	尺骨	m	L 1				
IIIb	B5	C18	-	C-E/16-18	301	07.09.26	4532	3033	インデックス	第3中手骨	p	R 1				
IIIb	B5	C18	-	C-E/16-18	301	07.10.09	4659	1433	インデックス	大趾骨	(d-)	L 1				
IIIb	B5	C18	-	C-E/16-18	301	07.10.02	4586	1641	インデックス	踵骨		L 1				
IIIb	B5	C18	-	C-E/16-18	301	07.10.09	4659	1578	インデックス	踵骨		L 1				
IIIb	B5	C18	-	C-E/16-18	301	07.10.09	4659	3045	インデックス	中手/中足骨	d	L 1				
IIIb	B5	D17	-	C-E/16-18	305	07.09.26	4530	1144	フェウキタイ科	角骨		R 1				
IIIb	B5	D17	-	C-E/16-18	305	07.09.26	4530	892	べつ科	前上顎/歯骨	fr	R 1				
IIIb	B5	D17	-	C-E/16-18	305	07.10.09	4661	810	アオゾクタイ属	上頰頭骨		R 1				
IIIb	B5	D17	-	C-E/16-18	305	07.09.26	4530	740	ハリセンボク科	前上顎骨		- 1				
IIIb	B5	D17	-	C-E/16-18	305	07.10.09	4664	797	ハリセンボク科	前上顎/歯骨		- 1				
IIIb	B5	D17	-	C-E/16-18	305	07.04.16	887	2967	ワカガシ類	肋骨板		? 1				
IIIb	B5	D17	-	C-E/16-18	305	07.10.09	4667	2938	ウズガシ類	肋骨板		? 1				
IIIb	B5	D17	-	C-E/16-18	305	07.10.09	4661	671	インデックス	下顎M3		L 1				
IIIb	B5	D17	-	C-E/16-18	305	07.10.09	4664	630	インデックス	上顎/下顎P	fr	? 1				
IIIb	B5	D17	-	C-E/16-18	305	07.10.09	4664	682	インデックス	上顎/下顎M		? 1				
IIIb	B5	D17	-	C-E/16-18	305	07.10.09	4664	2197	インデックス	肩甲骨	d	L 1				
IIIb	B5	D17	-	C-E/16-18	305	07.10.09	4667	2132	インデックス	肩甲骨	d	R 1				
IIIb	B5	D17	-	C-E/16-18	305	07.10.09	4661	1421	インデックス	尺骨	p	R 1				
IIIb	B5	D17	-	C-E/16-18	305	07.10.09	4664	1948	インデックス	第3中手骨	p	L 1				
IIIb	B5	D17	-	C-E/16-18	305	07.04.16	887	2253	インデックス	踵骨	(p-)	L 1				
IIIb	B5	D17	-	C-E/16-18	305	07.09.26	4530	2661	インデックス	踵骨	m-d	R 1				
IIIb	B5	D17	-	C-E/16-18	305	07.09.26	4530	1589	インデックス	踵骨		L 1				
IIIb	B5	D17	-	C-E/16-18	305	07.10.09	4664	1636	インデックス	踵骨		R 1				
IIIb	B5	D17	-	C-E/16-18	305	07.10.09	4664	3047	インデックス	中手/中足骨	d	? 1				
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.04.16	882	484	クロコク属	歯骨		R 1				
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.10.09	4661	487	ヨコシマクワコク属	前上顎骨		L 1				
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.10.09	4661	1836	フェウキタイ科	前上顎骨		L 1				
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.04.16	882	1218	フェウキタイ科	歯骨		R 1				
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.10.09	4661	835	アオゾクタイ属	歯骨		R 1				
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.09.26	4523	787	ハリセンボク科	前上顎/歯骨		- 1				
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.04.26	1151	3176	インデックス	上顎P3		R 1				
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.10.09	4661	656	インデックス	上顎M3		R 1	-,-,-	b		
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.04.26	1151	558	インデックス	下顎P3	[C×P2×P3×PAM1M2M3×R]	R 1	M1+++//M2++++	b/g		
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.10.09	4661	576	インデックス	下顎骨	[P1P2×]	R 1				
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.04.26	1151	2986	インデックス	下顎骨	[M3×]	R 1				
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.04.16	882	696	インデックス	下顎C		L 1				♀
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.04.26	1151	698	インデックス	下顎C		L 1				♀
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.09.26	4523	635	インデックス	下顎M1		R 1	+++	f		
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.04.26	1151	669	インデックス	下顎M3		L 1	+++	f		
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.10.09	4661	719	インデックス	上顎/下顎		* 1	+++	f		
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.09.26	4523	714	インデックス	上顎/下顎		* 1				
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.04.26	1151	632	インデックス	上顎/下顎	fr	? 1				
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.10.09	4661	2185	インデックス	頸椎	fr	- 1				
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.04.16	882	2666	インデックス	肩甲骨	(d-)	L 1				
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.04.17	952	2163	インデックス	楯骨	p	L 1				
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.04.26	1151	2292	インデックス	楯骨	(p-)	R 1				歯
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.09.26	4523	2009	インデックス	第5中手骨	p-d	R 1				
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.09.26	4523	1944	インデックス	大趾骨	m<(d)>	L 1				
IIIb	B5	D18	-	C-E/16-18	305	07.09.26	4523	1922	インデックス	趾骨	(p-)	L 1				



第107表-12. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インコンとしたものはブタの可能性のあるものを示す.

\*\* 現存位置凡例: w=残存, p=近位端, f=破片, (p)・(d)は未鑑定の骨端のみ, (p)・(d)は未鑑定の骨端のみ欠損, 骨骨については, [ ]: 頸骨残存範囲, ( ) : 萌出中の歯, <>: 未萌出歯, x: 脱落.

層位	大 クワッド	小 クワッド	遺構名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 (後) 番号	骨 号	種類*1	部位	残存位置*2	左 右	数	咬 耗 状 況	咬 耗 長 度 (mm)	備 考
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.12	679	862	アゾブダイ風	歯骨			L	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.12	679	869	アゾブダイ風	歯骨			L	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.19	1003	866	フゾ科	前上顎骨			R	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.19	1003	854	ハシセンボソ科	歯骨			-	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.16	894	738	ハシセンボソ科	前上顎/歯骨			-	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.16	894	743	ハシセンボソ科	前上顎/歯骨			-	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.16	894	767	ハシセンボソ科	前上顎/歯骨			-	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.16	894	948	眞骨類(同定不可)	椎骨			-	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.12	684	2823	ウミガメ類	椎骨板			-	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.16	894	2952	ウミガメ類	縁骨板			?	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.16	894	1869	インコン	頭骨	fr		-	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.16	894	708	インコン	下顎C			L	1			ひ
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.16	894	3102	インコン	下顎M3			R	1			a
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.13	822	626	インコン	上顎/下顎P	fr		?	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.16	894	690	インコン	上顎/下顎M			?	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.16	894	1564	インコン	上顎骨	<p>		L	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.13	822	1397	インコン	上顎骨	m-<d>		R	1			10.6
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.16	894	1517	インコン	上顎骨	m-d		L	1			13.4
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.16	894	1482	インコン	上顎骨	<d>		L	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.16	894	1378	インコン	上顎骨	d		R	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.13	822	1628	インコン	尺骨	p		L	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.16	894	1674	インコン	尺骨	p		L	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.19	1003	3064	インコン	脛蓋骨	p		L	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.16	895	3049	インコン	脛骨	(d-)		R	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.16	894	711	フタ	肋骨			?	1			
IIIb	B5	F17	-	F-1/16-18	07.04.16	894	1600	イルカ	歯			?	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.10	612	903	アジ科(大型種)	前上顎骨			R	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	721	905	アジ科(大型種)	椎骨			-	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.10	612	2899	フェニキダイ風	口蓋骨			L	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.16	841	1063	フェニキダイ科	主上顎骨			R	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.10	612	1241	フェニキダイ科	歯骨			L	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	721	1265	フェニキダイ科	歯骨			L	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	721	1345	フェニキダイ科	歯骨			L	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.10	612	1222	フェニキダイ科	歯骨			R	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	721	1718	フェニキダイ科	肋骨			L	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.13	818	1679	フェニキダイ科	肋骨			R	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.10	612	735	ハシセンボソ科	前上顎骨			-	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	721	1724	眞骨類(未同定)A	歯骨			L	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	720	-	ウミガメ類	縁骨板			?	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	721	2955	ウミガメ類	縁骨板			L	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.13	818	2138	鳥類	縁骨板			?	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.16	841	2783	イヌ	● 脛骨	<p>		R	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	721	2989	インコン	後頭骨	<p>		R	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.16	841	672	インコン	上顎M3			R	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.13	818	716	インコン	上顎/下顎			*	1			g
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.10	612	2213	インコン	肩甲骨	d		R	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.10	612	1505	インコン	上腕骨	<d>		L	1			幼獣
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.10	612	1452	インコン	上腕骨	<d>		R	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	721	2079	インコン	橈骨	p-am		R	1			12.5
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	721	1667	インコン	尺骨	p		R	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	721	2982	インコン	尺骨	m		R	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	721	2168	インコン	脛骨	<p>		R	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	720	2172	インコン	脛骨	<p>		R	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.10	612	1585	インコン	踵骨			L	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	721	1592	インコン	踵骨			L	1			
IIIb	B5	F18	-	F-1/16-18	07.04.12	721	1989	インコン	高跗骨			?	1			
IIIb	B5	G13	-	F-G/12-14	07.05.30	5217	1052	アジ科(大型種)	椎骨			-	1			台帳No.2298含む
IIIb	B5	G13	-	F-G/12-14	07.05.30	5217	-	ウミガメ類	腹甲板	fr		?	1			台帳No.2298含む
IIIb	B5	G13	-	F-G/12-14	07.05.30	5217	2828	ウミガメ類	腹甲板			?	1			台帳No.2298含む



第107表-13. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インドシヒタヒはブタの可能性のあるものを含む.

\* 残存位置凡例: w:完全, p:近位端, m:骨幹, o:遠位端, f:破片, (p)・(o)は未適合の骨端のみ, (p)・(o)は骨端のみ火損, 顎骨については: [ ]:顎骨残存範囲, ( ) :前出中の鹿, <>:未萌出歯, x:脱落.

大 フリット	小 フリット	連牌名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 番号	骨番 号	種類#1	部位	残存位置*2	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
Ilb	B5	G13	E-G/12-14	07.05.30	5217	3041	3041	インシ	第3中手骨	p	L	1			台帳No.2288含む
Ilb	B5	G13	E-G/12-14	07.05.25	5218	5140	5140	小型獣	肋骨	m	?	1			小型獣(イヌ?)
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.30	2279	1927		フェウキヤイ科	主観蓋骨		R	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.29	2272	813		フェウキヤイ科	上顎頭骨		L	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.29	2272	820		フェウキヤイ科	前上顎骨		L	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.29	2272	821		フェウキヤイ科	前上顎骨		L	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.29	2272	13		インシ	下顎骨	[P2×P3×14×MM2M3]	R	1	MI欠<(+)/M2+++/M3+++	h/g/6	
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.25	2209	23		インシ	下顎C		L	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.29	2272	3172		インシ	下顎P4		R	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.29	2272	3149		インシ	下顎M2		R	1	++	c	
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.25	2209	7		インシ	下顎M3		L	1	++-	d	
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.25	2209	7		インシ	下顎M3		L	1	+++	f	
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.25	2209	152		インシ	上腕骨	m	L	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.25	2209	152		インシ	上腕骨	m	L	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.29	2272	1981		インシ	橈骨	<p>m	R	1		12.0	
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.25	2209	292		インシ	第3中手骨	p	R	1			焼
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.29	2272	1793		インシ	大腕骨	m	L	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.29	2272	146		インシ	大腕骨	m<d>	L	1		10.9	
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.25	2209	131		インシ	腕骨	m	L	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.25	2209	2180		インシ	腕骨	d	L	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.29	2272	169		インシ	腕骨	d	R	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.25	2209	293		インシ	第3中足骨	p	L	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.29	2272	1904		インシ?	中手/中足骨	(d+)	?	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.29	2272	2644		ウシ	中手/中足骨	d	?	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.29	2272	2610		ウシ	中節骨	p+d	?	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.25	2209	2615		ウシ	末節骨	p+d	?	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.25	2209	2376		ウマ	上顎臼歯		R	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.29	2272	2693		ウシ/ウマ	手/足根骨		*	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.25	2209	2975		ウシ/ウマ	手/足根骨		*	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.29	2272	2487		ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.29	2272	169		哺乳類(同定不可)	四肢骨	m	?	1			
Ilb	B5	G14	E-G/12-14	07.05.25	2209	2189		ジエゾ	肋骨	m	?	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.16	914	1899		アジ科(未種)	主上顎骨		R	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.16	914	1040		クロダク	前上顎骨		L	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.16	914	1708		フェウキヤイ科	口蓋骨		L	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.16	914	1716		フェウキヤイ科	口蓋骨		L	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.13	827	1684		フェウキヤイ科	主上顎骨		L	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.12	646	1373		フェウキヤイ科	前上顎骨		L	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.17	926	1289		フェウキヤイ科	前上顎骨	f	L	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.16	914	1366		フェウキヤイ科	歯骨		R	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.16	914	1680		フェウキヤイ科	歯骨		R	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.16	914	1840		フェウキヤイ科	歯骨		R	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.16	914	1288		フェウキヤイ科	歯骨	f	L	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.16	914	1127		フェウキヤイ科	角骨		L	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.13	827	1133		フェウキヤイ科	角骨		R	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.16	914	1146		フェウキヤイ科	角骨		R	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.16	914	912		フェウキヤイ科	腕椎		-	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.13	827	919		フェウキヤイ科	腕椎		-	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.16	914	575		ベソ科	前上顎/歯骨	f	?	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.12	646	829		フェウキヤイ科	前上顎骨		L	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.12	643	830		フェウキヤイ科	前上顎骨		L	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.16	914	1857		フェウキヤイ科	前上顎骨		R	1			台帳No.650,676含む
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.16	914	827		フェウキヤイ科	歯骨		L	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.16	914	838		フェウキヤイ科	歯骨		R	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.13	827	745		ハリセンボシ科	歯骨		-	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.16	914	769		ハリセンボシ科	歯骨		-	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.16	914	757		ハリセンボシ科	前上顎/歯骨		-	1			
Ilb	B5	G17	F-1/16-18	07.04.13	830	774		ハリセンボシ科	前上顎/歯骨		-	1			

第107表-14. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インデントしたものはブタの可能性のあるものを示す.

\* 残存位置凡例: w: 完存, p: 近位端, m: 骨幹, o: 遠位端, r: 破片, (p)・(o)は未整合の骨端のみ, (p)・(o)・(r)は骨端のみ欠損, 頭骨については, [ ]: 頭骨残存範囲, ( ): 萌出中の歯, < >: 未萌出歯, ×: 脱落

層準	大 クワッド	小 クワッド	遺構名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 (後) 番号	骨番 号	種類*1	部位	残存位置*2	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	備考
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	911	-	-	ウミガメ類	肋骨		R	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	-	-	ウミガメ類	中脛骨		R	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	-	-	ウミガメ類	下脛骨		L	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2901	-	ウミガメ類	肋骨		?	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2902	-	ウミガメ類	肋骨		?	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2903	-	ウミガメ類	肋骨		?	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2904	-	ウミガメ類	肋骨		?	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2905	-	ウミガメ類	肋骨		?	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2922	-	ウミガメ類	肋骨		?	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2923	-	ウミガメ類	肋骨		?	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2924	-	ウミガメ類	肋骨		?	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2925	-	ウミガメ類	肋骨		?	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2827	-	ウミガメ類	腰甲板		?	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2939	-	ウミガメ類	腰甲板		?	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2942	-	ウミガメ類	腰甲板		?	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2943	-	ウミガメ類	腰甲板		?	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	3013	-	イノシシ	上顎骨	[C×P1×P2×]	L	1		♀
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	505	-	イノシシ	上顎骨	[P3P4]	R	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	704	-	イノシシ	上顎1		R	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.13	827	552	-	イノシシ	下顎骨	[P2×P4×M1M2×M3]	L	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	563	-	イノシシ	下顎骨		R	1	M1+++/M2+/M30	f/g/a
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.12	646	563	-	イノシシ	下顎骨	[P4M1M2]	R	1	d(m)(0),+++/M2++	f/t
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.17	926	584	-	イノシシ	下顎骨	[M1×M2]	R	1	+++	f
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.13	827	3194	-	イノシシ	下顎1		R	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.13	827	695	-	イノシシ	下顎C		L	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.13	827	721	-	イノシシ	上顎/下顎1		R	1	+,+	d
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.12	646	673	-	イノシシ	下顎M3		R	1	+,+	d
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.12	646	680	-	イノシシ	上顎/下顎M	fr	?	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.12	646	681	-	イノシシ	上顎/下顎M	fr	?	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.17	926	692	-	イノシシ	上顎/下顎M	fr	?	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2071	-	イノシシ	肩甲骨	<d>	L	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.12	646	2200	-	イノシシ	肩甲骨	d	L	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2971	-	イノシシ	肩甲骨	d	L	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2214	-	イノシシ	肩甲骨	d	L	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.12	646	1780	-	イノシシ	上脛骨	m	L	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.17	926	1473	-	イノシシ	上脛骨	<d>	L	1		12.0
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2075	-	イノシシ	腕骨	p	R	1		14.0
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.12	646	2073	-	イノシシ	腕骨	p	R	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.12	646	2109	-	イノシシ	腕骨	m	?	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.12	646	2076	-	イノシシ	腕骨	(d)	R	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.12	646	1644	-	イノシシ	尺骨	p	L	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.12	646	1652	-	イノシシ	尺骨	p	R	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2148	-	イノシシ	脛骨	<p>	R	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2089	-	イノシシ	脛骨	m<d>	L	1		13.4
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.12	646	2174	-	イノシシ	脛骨	m<d>	R	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2289	-	イノシシ	腓骨		L	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	1530	-	イノシシ	踵骨		L	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.12	646	1573	-	イノシシ	踵骨		L	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	1991	-	イノシシ	基節骨		?	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	1996	-	イノシシ	中節骨		?	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.16	914	2551	-	ウシ	中節骨	pr-d	?	1		
IIIb	B5	G17	-	F-1/16-18	07.04.12	646	2326	-	ウシ/ウマ	胸椎		-	1		
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1003	-	タヌキ	前上顎骨		R	1		
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1712	-	ハタ科	主上顎骨		R	1		
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1302	-	フエダイ科?	前上顎骨		R	1		
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1829	-	アシ科(大型種)?	方骨		L	1		
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	914	-	アシ科(大型種)	椎骨		-	1		

第107表-15. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* イタジキとしたものはブタの可能性のあるものを含む.

\* 残存位置凡例: w残存, p近位端, m背脊, a遠位端, f破片, (p)・(d)は未鑑定の骨端のみ, (p)・(d)は骨端のみ脱落, <p>・<d>は骨端のみの欠損, 頭骨については: [ ] 頭骨残存範囲, ( ) 萌出中の歯, <v> 未萌出歯, x: 脱落.

層準	大 グリッド	小 グリッド	遺体名	集計 単位	取上 番号	取上日	有機 体番号	骨番号	種類 <sup>1)</sup>	部位	残存位置 <sup>2)</sup>	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1302	コシウグサイ頷	角骨			L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.13	811	1014	クロタダイ頷	歯骨			L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1015	クロタダイ頷	歯骨			L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1812	クロタダイ頷	歯骨			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1705	フェフキダイ頷	口蓋骨			L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1730	フェフキダイ頷	口蓋骨			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	811	1080	フェフキダイ頷	主上顎骨			L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1832	フェフキダイ頷	主上顎骨			L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	629	1691	フェフキダイ頷	主上顎骨			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1726	フェフキダイ頷	主上顎骨			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1928	フェフキダイ頷	主上顎骨			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1279	フェフキダイ頷	前上顎骨			L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1733	フェフキダイ頷	前上顎骨			L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	629	1283	フェフキダイ頷	前上顎骨			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1295	フェフキダイ頷	前上顎骨			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1300	フェフキダイ頷	前上顎骨			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	629	1340	フェフキダイ頷	前上顎骨			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1261	フェフキダイ頷	前上顎骨			L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1360	フェフキダイ頷	歯骨			L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1312	フェフキダイ頷	歯骨			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	587	1335	フェフキダイ頷	歯骨			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1688	フェフキダイ頷	角骨			L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1715	フェフキダイ頷	角骨			L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1717	フェフキダイ頷	角骨			L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1820	フェフキダイ頷	角骨			L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	587	1131	フェフキダイ頷	角骨			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1132	フェフキダイ頷	角骨			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	891	ペウ科	前上顎骨			L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	587	823	イロブダイ頷	前上顎骨			L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	801	アオブダイ頷	上顎頭骨			L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	804	アオブダイ頷	上顎頭骨			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	824	アオブダイ頷	前上顎骨			L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	837	アオブダイ頷	歯骨			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	840	アオブダイ頷	歯骨			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	667	841	アオブダイ頷	歯骨			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	845	アオブダイ頷	歯骨			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	861	アオブダイ頷	歯骨			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1693	コチ科	前上顎骨			L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	759	ハリセンボン科	前上顎骨			- 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	587	765	ハリセンボン科	歯骨			- 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.13	811	748	ハリセンボン科	前上顎/歯骨			- 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	629	791	ハリセンボン科	前上顎/歯骨			- 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	629	800	ハリセンボン科	前上顎/歯骨			- 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	667	2960	ウミガメ類	腹甲板			? 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	2908	ウミガメ類	肋骨板			? 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	2909	ウミガメ類	肋骨板			? 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	2919	ウミガメ類	縁骨板			? 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	2920	ウミガメ類	縁骨板			? 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	2921	ウミガメ類	縁骨板			? 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	773	2954	ウミガメ類	縁骨板			? 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	3011	イヌ	上顎骨	[C×P1×P2×X]		L 1				台帳番号652は同一個体
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	662	イヌ	上顎骨	[P3×P4×M2×X]		L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	602	イヌ	上顎骨	[P3×P4×M1M2]		R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	702	イヌ	上顎C			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	2909	イヌ	上顎P3			R 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	966	イヌ	下顎骨	[1~13×P1×P2P3P4M1M2×M3×T顎科]		R 1				完存
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	661	イヌ	下顎骨	[C×P1×P2P3P4×X]		L 1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	2991	イヌ	下顎骨	関節突起		L 1				

第107表-16. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インデントしたものはブタの可能性のあるものを含む.

\*\* 残存位置凡例: w=穿孔, p=近位端, m=骨幹, d=遠位端, f=破片, (p)・(d)は未鑑定の骨端のみ, (p)・(d)・(f)は骨端のみ欠損, 頸骨については, [ ]:頸骨残存範囲, ( ) : 萌出中の歯, < > : 未萌出歯, ×: 脱落.

層序	大 クラッド	小 クラッド	遺体名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 (後) 番号	骨 番号	種類 <sup>1)</sup>	部位	残存位置 <sup>2)</sup>	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	700	イヌ	下顎C		L	1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	701	イヌ	下顎C		R	1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	2808	イヌ	下顎P4		L	1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	664	イヌ	下顎M1		L	1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	3186	イヌ	上顎/下顎		*	1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	3187	イヌ	上顎/下顎		*	1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	3188	イヌ	上顎/下顎		*	1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	3189	イヌ	上顎/下顎		*	1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	629	2988	イノシシ	後頭骨	後頭額		R	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	587	582	イノシシ	上顎骨	[M2×M3]		R	1			d
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.13	811	597	イノシシ	上顎C		L	1				♀
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	3162	イノシシ	上顎6m3	6m4		R	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	693	イノシシ	上顎M2		R	1				c
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	387	イノシシ	下顎骨	[dm3]		R	1			e
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	634	イノシシ	下顎骨	[M1]		R	1			b
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	667	567	イノシシ	下顎骨	[M2×M3]		R	1			c
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	3148	イノシシ	下顎M2		R	1				c
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	2894	イノシシ	頸椎		-	1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1957	イノシシ	軸椎		-	1				
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	2196	イノシシ	肩甲骨	d		L	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	2198	イノシシ	肩甲骨	d		L	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	629	2205	イノシシ	肩甲骨	d		L	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	587	1975	イノシシ	肩甲骨	d		R	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	587	2084	イノシシ	肩甲骨	d		R	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1493	イノシシ	上腕骨	<d>		L	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	772	2078	イノシシ	上腕骨	<d>		R	1			11.1 台帳No.662に統合
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	2113	イノシシ	脛骨	p-d		R	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.13	811	1676	イノシシ	尺骨	m		?	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1668	イノシシ	尺骨	p		R	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	587	1563	イノシシ	大腿骨	<d>		L	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	587	1908	イノシシ	脛骨	<p>		L	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1921	イノシシ	脛骨	<p>		L	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	2225	イノシシ	脛骨	m		L	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	587	2039	イノシシ	脛骨	m<d>		L	1			13.2
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	667	2115	イノシシ	脛骨	d		L	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	587	2018	イノシシ	腓骨	m		?	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	2795	イノシシ	踵骨	m		R	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	587	2291	イノシシ	第3中足骨	p		R	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	629	1994	イノシシ?	肋骨			?	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	629	1962	イノシシ?	肋骨			-	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	2588	ウマ	中新骨	p-d		?	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	2352	ウシ/ウマ	胸椎	f		-	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	2474	ウシ/ウマ	肋骨	m		?	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	629	1979	ジューン	肋骨	m		?	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.10	629	1526	ジューン	肋骨	m		?	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	2181	イルカ	椎骨	f		-	1			
IIIb	B5	G18	-	F-1/16-18	07.04.12	652	1866	ウツク	椎骨	f		-	1			
IIIb	B5	H10	-	F+K/09-10	07.08.15	5216	1272	フェウキダイ科	前上顎骨		L	1				台帳No.3891含む
IIIb	B5	H10	-	F+K/09-10	07.08.15	5216	1318	フェウキダイ科	前上顎骨		R	1				台帳No.3891含む
IIIb	B5	H10	-	F+K/09-10	07.08.15	5216	170	イノシシ	脛骨	<p>m		R	1			13.0
IIIb	B5	H10	-	F+K/09-10	07.08.15	5216	1875	イノシシ	脛骨	d		L	1			台帳No.3891含む
IIIb	B5	H10	-	F+K/09-10	07.08.15	5216	110	イノシシ	脛骨	d		?	1			台帳No.3891含む
IIIb	B5	H10	-	F+K/09-10	07.08.15	5216	2187	ジューン	肋骨			?	1			台帳No.3891含む
IIIb	B5	H16	-	F-1/16-18	07.04.19	999	1208	フェウキダイ科	椎骨			R	1			
IIIb	B5	H16	-	F-1/16-18	07.04.19	999	1677	フェウキダイ科	方骨			R	1			
IIIb	B5	H16	-	F-1/16-18	07.04.19	999	815	イロブダイ属	上咽頭骨			L	1			
IIIb	B5	H16	-	F-1/16-18	07.04.19	999	2906	ウミガメ類	肋骨板			?	1			
IIIb	B5	H16	-	F-1/16-18	07.04.19	999	1660	イノシシ	尺骨	p		R	1			
IIIb	B5	H16	-	F-1/16-18	07.04.19	999	2085	イノシシ	趾骨			L	1			



第107表-17. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* イonsinとしたものはブタの可能性のあるものを含む.

\* 残存位置凡例: w=骨, p=近位端, m=骨幹, a=遠位端, fr=破片, (○)・(◇)は未鑑定の骨端のみ, (□)・(△)は骨端のみ火損, 頭骨については: [ ]:頭骨残存範囲, ( ) : 萌出中の歯, < >: 未萌出歯, ×: 脱落.

種別	大 クワッド	小 クワッド	遺体名	集計 単位	取上 番号	取上 日	台帳 (後) 番号	骨 番 号	種類 <sup>1)</sup>	部位	残存位置 <sup>2)</sup>	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考	
Urb	B5	H16	-	F-1/16-18	07.04.19	986	5052	中型獣	四肢骨	m		?					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.19	1041	1839	タヌク	前上顎骨			L					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.17	931	1030	クロダイ属	前上顎骨			L					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.19	1041	1031	クロダイ属	前上顎骨			L					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.19	1041	1039	クロダイ属	前上顎骨			L					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.16	919	1025	クロダイ属	前上顎骨			R					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.17	931	1697	フェウキダ科	前上顎骨			L					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.16	919	1255	フェウキダ科	前上顎骨			R					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.17	931	1321	フェウキダ科	前上顎骨			R					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.17	931	1249	フェウキダ科	歯骨			R					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.16	919	489	シロクマシラ型	下顎頭骨			-					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.16	919	893	ベク	歯骨			R					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.17	931	802	アオゾダイ属	上顎頭骨			L					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.16	919	819	アオゾダイ属	下顎頭骨			-					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.19	1043	1007	モンガクワハギ科	前上顎骨			R					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.17	931	465	ハルセンボシ科	前上顎骨			-					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.16	919	786	ハルセンボシ科	前上顎/歯骨			-					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.17	931	2886	ウミガメ類	歯骨	m-d		L		9.5			
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.17	931	2907	ウミガメ類	肋骨板			?					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.16	919	2917	ウミガメ類	肋骨板			?					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.17	931	2926	ウミガメ類	肋骨板			?					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.17	931	2927	ウミガメ類	肋骨板			?					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.17	931	2766	イヌ	寛骨	臼		R					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.17	931	2776	イヌ	第2中足骨	p		L					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.19	1041	1871	イノシシ	頭骨	fr		-					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.16	919	653	イノシシ	上顎骨	[M3]		R		d			
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.16	919	628	イノシシ	上顎/下顎P			?					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.19	1041	2266	イノシシ	歯骨	p		R					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.17	931	1766	イノシシ	大腿骨	<d>		L					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.17	931	2230	イノシシ	脛骨	m		R					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.17	931	2059	イノシシ	脛骨	d		L					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.16	919	2240	イノシシ	脛骨	d		R					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.17	931	1574	イノシシ	脛骨	p		L					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.19	1031	3015	イノシシ	第4中足骨	p		R					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.19	1031	3051	イノシシ	第4中足骨	p-(d+)		L				焼	
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.17	931	1952	イノシシ	中手/中足骨	m		?					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.19	1041	2000	イノシシ	中手/中足骨	(d+)		?					焼
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.16	919	2596	ウシ	前頭骨	角		?					切断
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.19	1041	2654	ウシ	中手骨	m		?					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.17	931	2479	ウシ/ウマ	肋骨	m		?					
Urb	B5	H17	-	F-1/16-18	07.04.17	931	2898	イルカ	頸椎			-					
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.12	733	944	アジ科(大型種)	椎骨			-					
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.12	733	485	クロダイ属	歯骨			R					
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.12	733	491	ハマフエウ科	前上顎骨			R					
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.12	733	1081	フェウキダ科	主上顎骨			L					
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.12	733	1931	フェウキダ科	主上顎骨			L					
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.12	733	1351	フェウキダ科	前上顎骨			L					
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.12	699	1115	フェウキダ科	前上顎骨			R					
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.12	733	1285	フェウキダ科	前上顎骨			R					
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.12	733	1334	フェウキダ科	前上顎骨			R					
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.12	699	1224	フェウキダ科	歯骨			R					
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.12	733	1228	フェウキダ科	歯骨			R					
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.12	733	1251	フェウキダ科	歯骨			R					
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.12	733	1256	フェウキダ科	歯骨			R					
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.12	733	883	シロクマシラ型	下顎頭骨			-					
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.12	733	812	アオゾダイ属	上顎頭骨			L					
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.12	733	822	アオゾダイ属	前上顎骨			L					
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.12	733	1092	モンガクワハギ科	新椎體			-					
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.10	618	894	フク科	前上顎骨			L					
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.12	733	603	ハルセンボシ科	前上顎骨			-					

第107表-18. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* イジシとしたものはブタの可能性のあるものを含む.

\* 残存位置凡例: w=骨, p=近位端, m=骨幹, a=遠位端, fr=破片, (○)・(◇)は未鑑定の骨端のみ, (□)・(△)は骨端のみ火損, 頭骨については[ ]:頭骨残存範囲, ( ) : 萌出中の歯, < > : 未萌出歯, ×: 脱落.

種名	大 クワッド	小 クワッド	遺構名	集計 単位	取上 番号	取上日	台機 (機) 番号	骨 番 号	種類 <sup>1</sup>	部位	残存位置 <sup>2</sup>	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	784	ハリセンボク科	歯骨			-	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	699	07.04.12	928	真骨類(向定不可)	椎骨			-	1			台帳No.698に統合
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	733	ウミガメ類	上腕板			L	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	618	07.04.10	618	ウミガメ類	椎骨	m		L	1			上とは別個体
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	2913	ウミガメ類	肋骨板	m		R	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	2928	ウミガメ類	肋骨板	m		?	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	2929	ウミガメ類	肋骨板	m		?	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	2930	ウミガメ類	肋骨板	m		?	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	618	07.04.10	1588	イヌ	頭骨	m		L	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	2775	イヌ?	犬頭骨	m		?	1	9.5		
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	506	イノシシ	上顎骨	[PAM]		R	1	M1+++	f	
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	577	イノシシ	上顎骨	[M2M3×]		R	1	r+	d	
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	618	07.04.10	596	イノシシ	上顎C			L	1			♂
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	659	イノシシ	上顎M3			R	1	r+-	b	
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	571	イノシシ	下顎骨	[CP2P3P4M1M2M3]		L	1	M1+++/M2+/M3-/-	f/p	♂
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	715	イノシシ	上顎/下顎	fr		L	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	718	イノシシ	上顎/下顎	fr		*	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	726	イノシシ	上顎/下顎	fr		*	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	727	イノシシ	上顎/下顎	fr		*	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	1774	イノシシ	上顎骨	m		R	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	618	07.04.10	1469	イノシシ	上顎骨	m		L	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	618	07.04.10	1480	イノシシ	上顎骨	m		L	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	618	07.04.10	1491	イノシシ	上顎骨	m		L	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	1627	イノシシ	尺骨	p		L	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	1641	イノシシ	尺骨	p		L	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	618	07.04.10	1642	イノシシ	尺骨	p		L	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	618	07.04.10	1673	イノシシ	尺骨	p		R	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	1983	イノシシ	尺骨	m		L	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	2011	イノシシ	第2中手骨	p+d		R	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	1942	イノシシ	犬頭骨	m		R	1		11.0	
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	2150	イノシシ	脛骨	m		R	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	2151	イノシシ	脛骨	m		R	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	618	07.04.10	2029	イノシシ	脛骨	m		R	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	1586	イノシシ	踵骨	m		L	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	1552	イノシシ	踵骨	m		R	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	623	イノシシ?	肋骨			R	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	618	ウシ	下顎			R	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	2667	ウシ	中手骨	p		R	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	2635	ウシ	中足骨	m		R	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	2440	ウシ/ウマ	肋骨	m		?	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	1175	ウシ/ウマ	肋骨	m		?	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	1598	イノシシ?	肋骨			R	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	733	07.04.12	1601	ウシ?	肋骨?			R	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	3380	07.06.26	3380	ウシ?	肋骨?			?	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	3376	07.06.26	1850	フェウフキイ属	口蓋骨			L	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	2379	07.06.15	65	ヘビ類	椎骨			-	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	2379	07.06.15	2987	ウミガメ類	肋骨板			?	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	3380	07.06.26	5042	ニワトリ	中足骨	d		L	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	3378	07.06.26	3378	イノシシ	肩甲骨	d		L	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	3869	07.08.15	2379	イノシシ	上顎骨	m		L	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	3869	07.08.15	117	イノシシ	上顎骨	m		L	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	3869	07.08.15	2014	イノシシ	肋骨	d		L	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	2379	07.06.15	1863	イノシシ	尺骨	p		R	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	3378	07.06.26	3378	イノシシ	尺骨	p		R	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	2379	07.06.15	1984	イノシシ	第3中手骨	p		R	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	2379	07.06.15	1788	イノシシ	犬頭骨	m		R	1		14.4	
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	3378	07.06.26	3378	イノシシ	脛骨	m		L	1			
Urb	B5	H18	-	F-1/16-18	3378	07.06.26	1381	イノシシ	踵骨	m		L	1			

第107表-19. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インドシタとしたものはブタの可能性のあるものを含む.

\* 残存位置凡例: w=残存, p=近位端, m=骨幹, d=遠位端, (p-)は骨端のみ脱落, (p-)は骨端のみ欠損, 頭骨については: [ ]:頭骨残存範囲, ( ):萌出中の歯, < >:未萌出歯, x:脱落.

層準	大 クワッド	小 クワッド	遺体名	集計 単位	取上 番号	取上日	右機 (後) 番号	骨 番 号	種類 <sup>1)</sup>	部位	残存位置 <sup>2)</sup>	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
IIIb	B5	109	-	H-K/09-10	07.06.26	1880	3378	1880	インゲン	中脛骨		?				
IIIb	B5	109	-	H-K/09-10	07.06.15	2379	2894	2379	ウシ	上顎/下顎臼歯	f	?				
IIIb	B5	109	-	H-K/09-10	07.06.15	2379	2976	2976	ウシ/ウマ	手/足根骨		*				
IIIb	B5	110	-	H-K/09-10	07.06.05	2341	806	806	アオブダイ鳳	上脛頭骨		R	1			
IIIb	B5	110	-	H-K/09-10	07.06.05	2341	1966	1966	インゲン	椎骨		-	1			
IIIb	B5	110	-	H-K/09-10	07.06.05	2341	118	118	インゲン	上脛骨		R	1			
IIIb	B5	110	-	H-K/09-10	07.06.05	2341	148	148	インゲン	上脛骨		R	1		11.7	
IIIb	B5	117	-	F-/16-18	07.04.12	688	1826	1826	フェウキタイ科	主上顎骨		L	1			
IIIb	B5	117	-	F-/16-18	07.04.12	688	1814	1814	フェウキタイ科	主上顎骨		L	1			
IIIb	B5	117	-	F-/16-18	07.04.12	688	1859	1859	タイ狸	椎骨		-	1			
IIIb	B5	117	-	F-/16-18	07.04.12	688	814	814	アオブダイ鳳	上脛頭骨		R	1			
IIIb	B5	117	-	F-/16-18	07.04.12	688	753	753	ハシゼンボウ科	前上顎/歯骨		-	1			
IIIb	B5	117	-	F-/16-18	07.04.12	694	2786	2786	イヌ	脛骨	m	L	1	9.7		
IIIb	B5	117	-	F-/16-18	07.04.12	694	1513	1513	インゲン	上脛骨	m-d	L	1	14.0		
IIIb	B5	117	-	F-/16-18	07.04.12	694	2525	2525	インゲン	尺骨+橈骨	p-m	L	1			
IIIb	B5	117	-	F-/16-18	07.04.12	694	1786	1786	インゲン	大腿骨	m	R	1			
IIIb	B5	117	-	F-/16-18	07.04.12	694	1914	1914	インゲン	脛骨	<d>	R	1			
IIIb	B5	117	-	F-/16-18	07.04.12	694	2704	2704	ウシ	大腿骨	p	R	1			複合
IIIb	B5	117	-	F-/16-18	07.04.12	694	1193	1193	ジェズン	肋骨		?	1			
IIIb	B5	117	-	F-/16-18	07.04.12	694	1176	1176	ジェズン	肋骨		?	1			
IIIb	B5	117	-	F-/16-18	07.04.12	694	1186	1186	ジェズン	肋骨		?	1			
IIIb	B5	118	-	F-/16-18	07.04.12	756	828	828	アオブダイ鳳	前上顎骨		L	1			台帳No.758Iに統合
IIIb	B5	118	-	F-/16-18	07.04.12	691	2951	2951	ウシ/カ類	緑骨板		?	1			台帳No.758Iに統合
IIIb	B5	118	-	F-/16-18	07.04.10	573	703	703	イヌ	下顎C		R	1			
IIIb	B5	118	-	F-/16-18	07.04.12	691	1483	1483	インゲン	上脛骨	m<d>	L	1	13.1		
IIIb	B5	118	-	F-/16-18	07.04.12	691	1408	1408	インゲン	上脛骨	<d>	R	1			
IIIb	B5	118	-	F-/16-18	07.04.12	691	1856	1856	インゲン	脛骨	p	R	1			
IIIb	B5	118	-	F-/16-18	07.04.12	691	2177	2177	インゲン	脛骨	p-m	R	1	12.5		
IIIb	B5	118	-	F-/16-18	07.04.12	691	2108	2108	インゲン	脛骨	m	?	1			
IIIb	B5	118	-	F-/16-18	07.04.12	691	1936	1936	インゲン	大腿骨	p	L	1			
IIIb	B5	118	-	F-/16-18	07.04.12	691	2081	2081	インゲン	大腿骨	(d)	L	1			
IIIb	B5	118	-	F-/16-18	07.04.10	575	2237	2237	インゲン	脛骨	m	R	1			
IIIb	B5	118	-	F-/16-18	07.04.12	691	2051	2051	インゲン	脛骨		R	1			
IIIb	B5	118	-	F-/16-18	07.04.10	573	2998	2998	インゲン	第3中足骨	p<d>	L	1			
IIIb	B5	118	-	F-/16-18	07.04.12	683	1993	1993	インゲン	基節骨		?	1			
IIIb	B5	118	-	F-/16-18	07.04.12	691	2580	2580	ウシ	中脛骨	p-d	?	1			
IIIb	B5	109	-	H-K/09-10	07.06.05	2360	1051	1051	ウシ	肩甲骨	<d>	R	1			
IIIb	B5	109	-	H-K/09-10	07.06.05	2360	259	259	インゲン	肩甲骨	<d>	R	1			
IIIb	B5	109	-	H-K/09-10	07.06.05	2360	142	142	インゲン	大腿骨	(d)	R	1			
IIIb	B5	109	-	H-K/09-10	07.06.05	2360	2405	2405	ウシ	上顎P3		L	1			
IIIb	B5	109	-	H-K/09-10	07.06.05	2360	2403	2403	ウシ	上顎M1		L	1			
IIIb	B5	109	-	H-K/09-10	07.06.05	2360	2388	2388	ウシ	上顎M3		L	1			
IIIb	B5	109	-	H-K/09-10	07.06.05	2360	2400	2400	ウシ	下顎M2		L	1			
IIIb	B5	109	-	H-K/09-10	07.06.05	2360	2524	2524	ウシ	尺骨	p	L	1			
IIIb	B5	109	-	H-K/09-10	07.06.05	2360	2627	2627	ウシ	中足骨	p-m	L	1			
IIIb	B5	109	-	H-K/09-10	07.06.05	2360	2319	2319	ウシ	軸椎		-	1			
IIIb	B5	109	-	H-K/09-10	07.06.05	2360	2320	2320	ウシ	軸椎		-	1			
IIIb	B5	109	-	H-K/09-10	07.06.05	2360	2720	2720	ウシ/ウマ	椎骨		-	1			
IIIb	B5	109	-	H-K/09-10	07.06.05	2360	2303	2303	ウシ/ウマ	尺骨	p	L	1			
IIIb	B5	109	-	H-K/09-10	07.06.05	2360	2449	2449	ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1			
IIIb	B5	109	-	H-K/09-10	07.06.05	2360	2484	2484	ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1			
IIIb	B5	109	-	H-K/09-10	07.06.05	2360	2485	2485	ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1			
IIIb	B5	110	-	H-K/09-10	07.06.05	2350	3066	3066	インゲン	大腿骨	m<d>	L	1			
IIIb	B5	110	-	H-K/09-10	07.06.05	2350	2978	2978	インゲン	脛骨		L	1			
IIIb	B5	110	-	H-K/09-10	07.06.05	2350	2391	2391	ウシ	上顎P2		L	1			
IIIb	B5	110	-	H-K/09-10	07.06.05	2350	2430	2430	ウシ	脛骨	m	L	1			
IIIb	B5	110	-	H-K/09-10	07.06.05	2350	2191	2191	ジェズン	肋骨		?	1			骨折治癒

# 第107表-20. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インジキとしたものはブタの可能性のあるものを含む.

\*\* 保存位置記号例: w保存, p近位端, m骨端, a遠位端, f破片, (p)<(a)<(f)は未整合の骨端のみ, (p)>>>(a)>>>(f)は骨端のみ欠損, 骨端については: [ ]: 顎骨保存範囲, ( ): 萌出中の歯, <>: 未萌出歯, x: 脱落.

層準	大 グループ	小 グループ	遺体名	集計 単位	取上 番号	取上日	骨 番号 (後) 番号	種類 <sup>1)</sup>	部位	保存位置 <sup>2)</sup>	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
IIIb	B5	J18	-	F-/J16-18	07.08.15	3888	2969	ウミガメ類	縁骨板		?				
IIIb	B5	J18	-	F-/J16-18	07.08.15	3888	1742	イノシシ	上脛骨	m	L		12.9		
IIIb	B5	J18	-	F-/J16-18	07.08.15	3888	3065	イノシシ	脛骨	p	L				
IIIb	B5	K10	-	F-/K09-10	07.07.19	3207	2328	ウシ	頸椎		-	I		幼獣	
IIIb	B5	K10	-	F-/K09-10	07.07.19	3207	-	ウマ	後頭部		L	I			
IIIb	B5	K10	-	F-/K09-10	07.05.31	2309	2344	ウマ	上顎臼歯		R	I			
IIIb	B5	K10	-	F-/K09-10	07.05.31	2309	2349	ウマ	上顎臼歯		R	I			
IIIb	B5	K10	-	F-/K09-10	07.07.19	3207	-	ウマ	頸椎		-	I			
IIIb	B5	K10	-	F-/K09-10	07.07.19	3208	2714	ウマ	頸椎		-	I			
IIIb	B5	M11	-	M11	07.06.26	3575	5070	フカギ科	主上顎骨		L	I			
IIIb	B5	M11	-	M11	07.06.26	3575	5069	モンガワハギ科	背椎板		-	I			
IIIb	B5	M11	-	M11	07.06.26	3579	168	イノシシ?	肋骨		?	I			
IIIb	B5	K17	0048P	J-/J16-18	07.05.02	1391	1618	イノシシ	尺骨	p-d	L	I			
IIIb	B5	J17	0107P	J-/J16-18	07.05.02	1387	5051	イノシシ	第2中手骨	p	R	I		変形	
IIIb	B5	J18	0158P	J-/J16-18	07.04.26	1225	5018	イノシシ	下顎C		L	I		♂	
IIIb	B5	K18	0190P	J-/J16-18	07.04.26	1215	5098	イノシシ?	肋骨	m	?	I			
IIIb	B5	K18	0207P	J-/J16-18	07.04.19	1014	5032	イノシシ	第3中足骨	p	L	I			
IIIb	B5	K18	0223P	J-/J16-18	07.04.20	1089	5003	鳥類(前定不可)	頸骨	m<(d->	-	I		小型種	
IIIb	B5	K18	0230P	J-/J16-18	07.04.27	1310	5147	イノシシ	肋骨		R	I			
IIIb	B5	J18	0237P	J-/J16-18	07.04.20	1096	844	アオブダイ属	歯骨		R	I			
IIIb	B5	J18	0237P	J-/J16-18	07.04.20	1096	844	アオブダイ属	歯骨		R	I			
IIIb	B5	J17	0256P	J-/J16-18	07.04.27	1260	2495	ウシ	上脛骨	m<(d->	L	I		22.0	
IIIb	B5	J18	0262P	J-/J16-18	07.04.26	1240	873	エイ目	尾椎		-	I			
IIIb	B5	J17	0309P	F-/J16-18	07.05.08	1750	5086	フェウキダイ科	歯骨		R	I			
IIIb	B5	J16	0338P	J-/J16-18	07.05.07	1570	5124	タイ狸	椎骨		-	I			
IIIb	B5	J16	0338P	J-/J16-18	07.05.07	1570	5123	イノシシ	軸椎		-	I			
IIIb	B5	J17	0355P	F-/J16-18	07.05.07	1570	5016	イノシシ	上顎骨	[P3P4M]	L	I		k	
IIIb	B5	J17	0355P	F-/J16-18	07.05.09	1889	5017	イノシシ	上顎骨	[M3]	L	I		c	
IIIb	B5	J17	0355P	F-/J16-18	07.05.09	1889	5022	イノシシ	下顎P4		R	I			
IIIb	B5	J17	0355P	F-/J16-18	07.05.09	1889	5025	イノシシ	下顎M1		R	I		k	
IIIb	B5	H17	0379P	F-/J16-18	07.05.09	1905	2649	ウシ	中手/中足骨	d	?	I			
IIIb	B5	H17	0411P	F-/J16-18	07.05.02	1400	1516	イノシシ	上脛骨	m<(d->	L	I			
IIIb	B5	H17	0411P	F-/J16-18	07.05.02	1400	1522	イノシシ	上脛骨	d	L	I			
IIIb	B5	H17	0418P	F-/J16-18	07.05.02	1434	1455	イノシシ	上脛骨	<(d->	L	I			
IIIb	B5	H17-18	0420P	F-/J16-18	07.04.27	1306	1053	フェウキダイ科	腹椎		-	I			
IIIb	B5	H16	0425P	F-/J16-18	07.05.09	1900	867	フタ科	前上顎骨		R	I			
IIIb	B5	H16	0427P	F-/J16-18	07.05.09	1831	2993	イノシシ	前頭骨		L	I			
IIIb	B5	H17	0461P	F-/J16-18	07.05.09	1920	1330	フェウキダイ科	前上顎骨		R	I			
IIIb	B5	H16	0465P	F-/J16-18	07.05.08	1674	796	ホルセンボン科	前上顎/歯骨		-	I			
IIIb	B5	H16	0478P	F-/J16-18	07.05.08	1639	2821	ウミガメ類	椎骨板		-	I			
IIIb	B5	H16	0480P	F-/J16-18	07.05.08	1635	1872	イノシシ	下顎M3		L	I		+++,++	
IIIb	B5	H16	0480P	F-/J16-18	07.05.08	1635	569	イノシシ	上顎骨	連合部 <sup>3)</sup>	L+R	I		f	
IIIb	B5	H16	0480P	F-/J16-18	07.05.08	1635	570	イノシシ	下顎骨	[P2×P3×P4M2×]	L	I			
IIIb	B5	H16	0480P	F-/J16-18	07.05.08	1635	684	イノシシ	上顎/下顎M	[P2×P3×P4M2×]	L	I			
IIIb	B5	H16	0480P	F-/J16-18	07.05.08	1635	684	イノシシ	上顎/下顎M	f	?	I			
IIIb	B5	H18	0503P	F-/J16-18	07.04.26	1168	2948	ウミガメ類	縁骨板		?	I			
IIIb	B5	F-17	0514P	F-/J16-18	07.04.27	1272	1191	ジュゴン	肋骨		?	I			
IIIb	B5	J17	0514P	J-/J16-18	07.04.27	1273	1704	フェウキダイ属	口蓋骨		L	I			
IIIb	B5	J17	0514P	J-/J16-18	07.04.27	1294	1071	フェウキダイ科	主上顎骨		R	I			
IIIb	B5	J17	0514P	J-/J16-18	07.04.27	1273	966	フェウキダイ科?	腹椎		-	I			
IIIb	B5	H18	0529P	F-/J16-18	07.05.02	1407	2731	ウシ	頸骨		L	I			
IIIb	B5	H18	0542P	F-/J16-18	07.04.27	1361	5006	ウシ	歯骨		-	I			
IIIb	B5	H18	0542P	F-/J16-18	07.04.27	1361	5005	小型獣	本頸骨	-	?	I			
IIIb	B5	H18	0555P	F-/J16-18	07.04.20	1118	751	ホルセンボン科	前上顎/歯骨		?	I			ネズミではない?
IIIb	B5	H18	0561P	F-/J16-18	07.04.26	1167	1183	ジュゴン	肋骨		-	I			
IIIb	B5	H18	0566P	F-/J16-18	07.04.27	1339	1926	ハタ科	主上顎骨		R	I			
IIIb	B5	H18	0578P	F-/J16-18	07.04.27	1250	865	アオブダイ属	歯骨		R	I			
IIIb	B5	H18	0590P	F-/J16-18	07.04.20	1101	383	ホルセンボン科	前上顎/歯骨		-	I			
IIIb	B5	H18	0602P	F-/J16-18	07.04.20	1128	5096	イノシシ?	肋骨	m	?	I			
IIIb	B5	H18	0612P	F-/J16-18	07.05.07	1548	2661	ウシ	歯骨	(d)	R	I			カットマーク



第107表-21. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果。

\* イonsinとしたものはフタの可能性のあるものを含む。

\*\* 残存位置凡例: w:完全, p:近位端, m:骨幹, o:遠位端, fr:破片, (p)・(d)は未整合の骨端のみ, (p)・(d)・(p+d)は骨端のみ脱落, <p>・<d>は骨端のみ欠損, 顎骨については[ ]:顎骨残存範囲, ( ):萌出中の歯, <?>:未萌出歯, x:脱落。

種準	大 フリント	小 フリント	遺構名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 (巻) 番号	骨番 号	種類 <sup>o1</sup>	部位	残存位置 <sup>o2</sup>	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考	
III上遺構	B5	H18	0619P	F-1/16-18		07.05.02	1886	1871	イonsin	腭骨		L 1					
III上遺構	B5	H18	0621P	F-1/16-18		07.05.09	1901	1895	イonsin	楯骨	p	L 1					
III上遺構	B5	G18	0628P	F-1/16-18		07.05.02	1484	1074	フェウキヤイ科	主上顎骨		L 1					
III上遺構	B5	G18	0628P	F-1/16-18		07.05.02	1484	851	フェウキヤイ科	歯骨		R 1					
III上遺構	B5	G18	0633P	F-1/16-18		07.05.02	1413	969	異骨類(前庭系)	椎骨	<p>><d>	- 1					
III上遺構	B5	G18	0633P	F-1/16-18		07.05.02	1413	2103	イonsin	楯骨		R 1		15.2			
III上遺構	B5	G18	0642P	F-1/16-18		07.04.27	1290	2616	ウシ	末脚骨	p+d	? 1					
III上遺構	B5	G18	0645P	F-1/16-18		07.04.26	1201	2048	イonsin	前上顎骨		R 1					
III上遺構	B5	G18	0648P	F-1/16-18		07.05.08	1781	1292	フェウキヤイ科	前上顎骨		R 1					
III上遺構	B5	G18	0648P	F-1/16-18		07.05.08	1781	1304	フェウキヤイ科	歯骨		L 1					
III上遺構	B5	G18	0666P	F-1/16-18		07.05.08	1769	1139	フェウキヤイ科	角骨		L 1					
III上遺構	B5	G18	0666P	F-1/16-18		07.05.08	1769	-	ウシ	鳥口-肩甲骨	m	R 1					
III上遺構	B5	G18	0682P	F-1/16-18		07.05.07	1820	3212	イonsin	下顎1		L 1					
III上遺構	B5	F-G18	0693P	F-1/16-18		07.04.26	1216	5010	ボク科	尾椎		- 1					
III上遺構	B5	F-G18	0693P	F-1/16-18		07.04.26	1216	5001	タイ科	椎骨		- 1					
III上遺構	B5	F-G18	0718P	F-1/16-18		07.05.07	1810	3114	イonsin	下顎骨	[P4×M1×M2×]	R 1				台帳No.1541含む	
III上遺構	B5	F18	0734P	F-1/16-18		07.05.08	1690	1893	イonsin	楯骨	p	L 1					
III上遺構	B5	F18	0734P	F-1/16-18		07.05.08	1690	2105	イonsin	楯骨	m	? 1					
III上遺構	B5	F18	0734P	F-1/16-18		07.05.08	1690	1883	イonsin	中脚骨		? 1					
III上遺構	B5	F18	0734P	F-1/16-18		07.05.08	1690	5129	イonsin?	助骨	m	? 1					
III上遺構	B5	F18	0738P	F-1/16-18		07.05.07	1603	1192	シェウシ	助骨		? 1					
III上遺構	B5	F18	0739P	F-1/16-18		07.04.25	1142	868	アオバダイ科	前上顎骨		L 1					
III上遺構	B5	F18	0766P	F-1/16-18		07.05.08	1677	5021	イonsin	下顎C		R 1				♂	
III上遺構	B5	E18	0790P	C-E/17-18		07.04.26	1156	803	アオバダイ科	上顎頭骨		L 1					
III上遺構	B5	E18	0809P	C-E/17-18		07.04.27	1311	5035	イonsin	距骨		R 1					
III上遺構	B5	E17	0814P	C-E/17-18		07.04.27	1263	2493	ウシ/ウマ	助骨	m	? 1				台帳No.1278含む	
III上遺構	B5	E17	0830P	C-E/17-18		07.04.27	1287	1072	フェウキヤイ科	主上顎骨		R 1					
III上遺構	B5	E17	0837P	C-E/17-18		07.04.27	1325	2286	イonsin	距骨		L 1					
III上遺構	B5	F17	0845P	F-1/16-18		07.05.02	1380	5153	ハダ科	尾椎		- 1					
III上遺構	B5	F17	0855P	F-1/16-18		07.05.08	1701	1436	イonsin	大腿骨	<d>	L 1					
III上遺構	B5	F16	0894P	F-1/16-18		07.05.07	1824	1590	イonsin	楯骨		R 1					
III上遺構	B5	G17	0906P	F-1/16-18		07.05.09	1887	2003	イonsin	中手/中足骨	d	? 1				雄	
III上遺構	B5	F17	0922P	F-1/16-18		07.05.08	1744	578	イonsin	上顎骨	[PAM]	L 1					
III上遺構	B5	G17	0931P	F-1/16-18		07.05.09	1821	503	イonsin	上顎/下顎M	fr	? 1					
III上遺構	B5	G17	0936P	F-1/16-18		07.05.09	1812	1754	イonsin	上顎骨	[P3P4M]	L 1					
III上遺構	B5	G17	0936P	F-1/16-18		07.05.09	1812	1565	イonsin	大腿骨	<d>	R 1					
III上遺構	B5	G17	0936P	F-1/16-18		07.05.09	1812	2528	ウマ	楯骨	p	R 1					
III上遺構	B5	G17	0940P	F-1/16-18		07.05.09	1921	2024	イonsin	距骨	<p>><d>	R 1		12.7			
III上遺構	B5	G17	0956P	F-1/16-18		07.05.08	1752	1316	フェウキヤイ科	前上顎骨		R 1					
III上遺構	B5	G17	0959P	F-1/16-18		07.05.09	1922	1728	フェウキヤイ科	主上顎骨		L 1					
III上遺構	B5	G17	0959P	F-1/16-18		07.05.09	1922	744	ハリセンボ科	前上顎骨/唇骨		- 1					
III上遺構	B5	G17	0959P	F-1/16-18		07.05.09	1922	2686	ウシ/ウマ	手/足根骨		* 1					
III上遺構	B5	G17	0968P	F-1/16-18		07.05.08	1629	3214	イonsin	下顎 <sup>o2</sup>		R 1					
III上遺構	B5	G17	0974P	F-1/16-18		07.05.09	1828	5154	イonsin?	腭骨	m	? 1					
III上遺構	B5	H17	0987P	F-1/16-18		07.05.08	1640	2546	ウシ	基脚骨	m+d	? 1					
III上遺構	B5	H17	1009P	F-1/16-18		07.05.08	1675	663	イonsin	下顎M1		L 1					
III上遺構	B5	H17	1009P	F-1/16-18		07.05.08	1675	644	イonsin	下顎M1		L 1					
III上遺構	B5	H17	1009P	F-1/16-18		07.05.08	1675	1496	イonsin	上顎骨	<d>	L 1					
III上遺構	B5	H17	1011P	F-1/16-18		07.05.08	1622	2453	ウシ/ウマ	助骨	m	? 1					
III上遺構	B5	H17	1016P	F-1/16-18		07.05.07	1532	1597	イonsin?	第4中手骨	p+m	L 1					
III上遺構	B5	H17-18	1025P	F-1/16-18		07.05.07	1580	758	ハリセンボ科	前上顎骨		- 1					
III上遺構	B5	H17	1030P	F-1/16-18		07.05.07	1595	1849	フェウキヤイ科	主上顎骨		R 1					
III上遺構	B5	H17	1043P	F-1/16-18		07.05.08	1695	1823	フェウキヤイ科	口蓋骨		R 1					
III上遺構	B5	H16	1046P	F-1/16-18		07.05.09	1833	1009	クロタ科	歯骨		R 1					
III上遺構	B5	H16	1049P	F-1/16-18		07.05.09	1929	1813	フェウキヤイ科	歯骨		L 1					
III上遺構	B5	H16	1050P	F-1/16-18	62	07.05.09	1796	5033	イonsin	中手/中足骨		? 1					
III上遺構	B5	H18	1070P	F-1/16-18		07.04.27	1343	1721	フェウキヤイ科	前上顎骨		L 1					
III上遺構	B5	L16	1239P	J-L/16-18		07.06.29	2750	194	イonsin	助骨	m	? 1					
III上遺構	B5	L16	1239P	J-L/16-18		07.06.29	2750	192	イonsin?	助骨		? 1					

第107表-22. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* イングリシ語名はブタの可能性のあるものを記す.

\* \* 残存位置: w=完片, n=近位端, m=骨幹, d=遠位端, fr=破片, (p)・(d)は系譜合致脱落, <p>・<d>は骨端のみ欠損, 頭骨については, [ ]:頭骨残存範囲, ( ):頭出中の歯, <v>:未萌出歯, ×:脱落.

層序	大 クワッド	小 クワッド	遺構名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 (機) 番号	骨 番号	種類 <sup>1)</sup>	部位	残存位置 <sup>2)</sup>	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
III下遺構	B5	L17	1365P	J-L/16-18	07.06.25	2543	5097		イヌ?	側頭骨		*	1			
III下遺構	B5	L17	1410P	J-L/16-18	07.06.25	2515	17		イノシシ	上顎骨	[PAMI×]	●	1	(+)	h	
III下遺構	B5	L17	1417P	J-L/16-18	07.06.22	2507	2407		ウシ	上顎P4		R	1			
III下遺構	B5	L18	1423P	J-L/16-18	07.06.20	2418	2000		イノシシ?	肋骨		?	1			
III下遺構	B5	K-17	1426P	J-L/16-18	07.06.20	2401	371		ウシ/ウマ	胸椎	fr	-	1			
III下遺構	B5	L18	1440P	J-L/16-18	07.06.26	2577	5083		小型獣	中手/中足骨	p	*	1			
III下遺構	B5	L18	1443P	J-L/16-18	07.06.27	2572	1128		フェネックイノシシ	角骨		L	1			
III下遺構	B5	L18	1463P	J-L/16-18	07.06.22	2469	5139		フタイノシシ	主観蓋骨		R	1			
III下遺構	B5	L18	1468P	J-L/16-18	07.06.21	2439	5050		マハタ型	歯骨		L	1			
III下遺構	B5	L18	1468P	J-L/16-18	07.06.21	2439	62		イヌ	上顎C		R	1			
III下遺構	B5	L18	1468P	J-L/16-18	07.06.21	2439	60		イノシシ	第4中足骨	p<d>	R	1			
III下遺構	B5	L18	1477P	J-L/16-18	07.06.25	2517	82		イノシシ	上腕骨	(p)	L	1			
III下遺構	B5	L18	1477P	J-L/16-18	07.06.25	2517	83		イノシシ	上腕骨	(d)	L	1			
III下遺構	B5	P18	1534P	P-Q/16-18	07.06.21	2441	244		イノシシ?	第3中手骨	p	?	1			
III下遺構	B5	P18	1536P	P-Q/16-18	07.06.21	2431	1980		イノシシ?	肋骨		R	1			
III下遺構	B5	Q18	1540P	1540P	07.06.20	2397	1331		フェネックイノシシ	肋骨		R	1			
III下遺構	B5	Q18	1540P	1540P	07.06.20	2397	2519		ウマ	距骨		R	1			
III下遺構	B5	Q18	1540P	1540P	07.06.20	2397	2575		ウマ	腕骨		R	1			
III下遺構	B5	Q18	1540P	1540P	07.06.20	2397	2443		ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1			
III下遺構	B5	Q18	1540P	1540P	07.06.20	2397	2444		ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1			
III下遺構	B5	Q18	1540P	1540P	07.06.20	2397	2490		ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1			
III下遺構	B5	Q18	1541P	P-Q/16-18	07.06.21	2437	2451		ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1			
III下遺構	B5	Q18	1549P	P-Q/16-18	07.06.21	2450	2139		鳥類?	●		?	1			
III下遺構	B5	Q18	1549P	P-Q/16-18	07.06.21	2450	2755		イヌ	肋骨	m	L	1			機
III下遺構	B5	Q17	1553P	P-Q/16-18	07.06.21	2453	2314		ウシ	下顎骨	[P2×P2P4M1M2M3×]	L	1			
III下遺構	B5	Q18	1558P	P-Q/16-18	07.06.20	2411	5059		フェネックイノシシ	主観蓋骨		R	1			
III下遺構	B5	Q14	1558P	Q-R/14-15	07.08.08	3743	3		イノシシ	下顎骨	[P2P4M1M2]	R	1	M1+++/M2++	e/d	
III下遺構	B5	Q14	1597P	Q-R/14-15	07.08.07	3698	48		イノシシ	上顎M1		L	1	--	b	
III下遺構	B5	L12	1719P	J-L/12	07.07.07	3090	212		イノシシ	尺骨	p	R	1			
III下遺構	B5	L12	1727P	J-L/12	07.07.07	3091	2082		哺乳類(同定不可)	肋骨	m	?	1			
III下遺構	B5	L12	1735P	J-L/12	07.07.07	3085	5128		ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1			
III下遺構	B5	L12	1737P	J-L/12	07.07.07	3093	5150		イノシシ	第4中手骨	p<d>	L	1			
III下遺構	B5	L12	1739P	J-L/12	07.07.04	2930	2666		ウシ	中足骨	d	?	1			
III下遺構	B5	L12	1762P	J-L/12	07.07.05	2949	2348		ウマ	上顎臼歯		R	1			
III下遺構	B5	L15	1826P	-	07.06.26	2587	5004		ヘビ類(ヘビ型)	椎骨		-	2			
III下遺構	B5	J15	1962P	G-/13-15	07.06.27	2677	2510		ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1			
III下遺構	B5	J15	1968P	G-/13-15	07.06.27	2666	2199		イノシシ	肩甲骨	d	L	1			
III下遺構	B5	J14	1982P	G-/13-15	07.06.28	2694	5061		ハタ科	主上顎骨		L	1			
III下遺構	B5	J14	1989P	G-/13-15	07.06.28	2702	5048		ウシ	肋骨		L	1			
III下遺構	B5	J14	1997P	G-/13-15	07.06.28	2702	5044		イノシシ	基部骨	p<d	?	1			
III下遺構	B5	J15	2012P	G-/13-15	07.06.26	2592	326		イノシシ	頸椎		-	1			
III下遺構	B5	J14	2023P	G-/13-15	07.06.27	2639	1760		イノシシ	第3中足骨	p	L	1			
III下遺構	B5	J14	2093P	G-/13-15	120	07.06.28	2680	5164	ハク型	尾椎	<d>	R	1			
III下遺構	B5	J14	2094P	G-/13-15	120	07.06.28	2680	5162	鳥類(未定)	上腕骨	p	L	1			
III下遺構	B5	J14	2093P	G-/13-15	120	07.06.28	2680	5163	鳥類(同定不可)	四肢骨		?	1			
III下遺構	B5	J14	2118P	G-/13-15	07.07.02	2789	1568		イノシシ	頭骨	m	L	1			
III下遺構	B5	J15	2118P	G-/13-15	124	07.06.29	2788	5127	フェネックイノシシ	前上顎骨		L	1			
III下遺構	B5	J14	2122P	G-/13-15	07.07.04	2960	5136		ダツ科	椎骨	m	-	1			
III下遺構	B5	J14	2202P	G-/13-15	07.06.27	2633	1440		イノシシ	上腕骨	m	R	1			
III下遺構	B5	K12	2271P	J-L/12	07.07.06	3079	5114		タイ型	椎骨	m<d>	-	1			
III下遺構	B5	K12	2282P	J-L/12	07.07.12	3196	1502		イヌ	上腕骨	m	L	1			
III下遺構	B5	K12	2288P	J-L/12	07.07.07	3096	2492		ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1			
III下遺構	B5	J12	2350P	J-/08-12	07.07.09	3131	374		ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1			
III下遺構	B5	J12	2359P	J-/08-12	07.07.10	3144	2557		ウシ	基部骨	d	?	1			
III下遺構	B5	J12	2365P	J-/08-12	07.07.10	3144	2553		ウシ	基部骨	p	?	1			
III下遺構	B5	J12	2365P	J-/08-12	07.07.07	3099	5007		ネズミ科	上顎/上顎<v>		?	2			小型
III下遺構	B5	J12	2384P	J-/08-12	07.07.05	3021	2715		ウマ	膝蓋骨		R	1			
III下遺構	B5	J12	2421P	J-/08-12	07.07.06	3068	2023		イノシシ	肋骨	<p>-<d>	R	1			
III下遺構	B5	J11	2452P	J-/08-12	07.07.07	3107	3107		イノシシ	下顎骨	[M3]	L	1	--	a	

第107表-23. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インジキとしたものはブタの可能性のあるものを含む.

\* 残存位置凡例: w:残存, p:近位端, m:骨幹, a:遠位端, f:破片, (p)-(d)は未整合の骨塊のみ, (p)-(d)は骨塊のみ欠損, 頭骨については: [ ], 頭骨残存範囲, (<) :前出中の種, <> :未萌出歯, x :脱落.

種別	大 グループ	小 グループ	遺体名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 番号	骨 番 号	種類#1	部位	残存位置*2	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
III 下道槽	B5	J11	2454P	I-J/08-12	07.07.07	3118	1634	イノシシ	尺骨	m		R	1			
III 下道槽	B5	J11	2457P	I-J/08-12	07.07.06	3075	5079	イノシシ	頭骨			-	1			
III 下道槽	B5	J11	2457P	I-J/08-12	07.07.06	3075	246	イノシシ	基部骨	p-d		?	1			
III 下道槽	B5	J11	2465P	I-J/08-12	07.07.11	3184	5028	イノシシ	第3中足骨	p<d>		L	1			
III 下道槽	B5	J11	2472P	I-J/08-12	07.07.05	3014	1227	フェウキギイ科	歯骨			R	1			
III 下道槽	B5	J11	2472P	I-J/08-12	07.07.05	3014	5023	イノシシ	側頭骨			L	1			
III 下道槽	B5	J11	2478P	I-J/08-12	07.07.04	2918	2614	ウシ	末節骨	p-d		?	1			
III 下道槽	B5	J11	2478P	I-J/08-12	07.07.04	2918	2436	ウシ/ウマ	椎骨	m		?	1			
III 下道槽	B5	J11	2489P	I-J/08-12	07.07.10	3167	1202	真骨鱗(同定不可)	椎骨			-	1			
III 下道槽	B5	J11	2489P	I-J/08-12	07.07.10	3167	5119	真骨鱗(同定不可)	椎骨			-	1			
III 下道槽	B5	J11	2496P	I-J/08-12	07.07.09	3121	248	イノシシ	椎骨	椎体p		-	1			
III 下道槽	B5	J12	2516P	I-J/08-12	07.07.03	2855	1500	イノシシ	上腕骨	d->		L	1			
III 下道槽	B5	J12	2516P	I-J/08-12	07.07.03	2855	3063	イノシシ	寛骨	臼		L	1			
III 下道槽	B5	J12	2528P	I-J/08-12	07.07.06	5193	1661	イノシシ	尺骨	p		R	1			
III 下道槽	B5	J13	2554P	G-I/13-15	07.07.02	2831	1986	イノシシ	基部骨			?	1			
III 下道槽	B5	J12-13	2559P	I-J/08-12	07.07.03	2842	1755	イノシシ	大腿骨	d->		R	1			
III 下道槽	B5	J13	2560P	G-I/13-15	07.07.02	2826	5060	ウシ	上顎MM3			R	1			
III 下道槽	B5	H11-12	2583P	G-H/9-12	07.07.06	3067	1611	イノシシ	尺骨	p		L	1			
III 下道槽	B5	H11-12	2583P	G-H/9-12	07.07.06	3067	1653	イノシシ	尺骨	p		R	1			
III 下道槽	B5	H11	2584P	G-H/9-12	07.07.06	3072	1968	イノシシ	大腿骨	m		R	1			
III 下道槽	B5	H11	2584P	G-H/9-12	07.07.06	3072	2483	ウシ/ウマ	肋骨	m		?	1			
III 下道槽	B5	H11	2587P	G-H/9-12	07.07.05	3026	5085	フェウキギイ科	肋骨			-	1			
III 下道槽	B5	H11	2589P	G-H/9-12	07.07.06	3038	1608	イノシシ	尺骨	p-m		L	1			
III 下道槽	B5	H11	2590P	G-H/9-12	07.07.06	3066	115	イノシシ?	肋骨			?	1			
III 下道槽	B5	H11	2595P	G-H/9-12	07.07.05	2900	3956	イノシシ	頭頂骨			-	1			
III 下道槽	B5	H11	2603P	G-H/9-12	07.07.06	3048	2242	イノシシ	脛骨	d		R	1			
III 下道槽	B5	H11	2606P	G-H/9-12	07.07.07	3114	2663	ウシ	中足骨	d		?	1			
III 下道槽	B5	H11	2614P	G-H/9-12	07.07.05	3013	5043	イノシシ	踵骨	p		L	1			
III 下道槽	B5	H11	2616P	G-H/9-12	07.07.05	3016	2423	ウシ/ウマ	肋骨	p		?	1			
III 下道槽	B5	H12	2629P	G-H/9-12	07.07.05	3002	1670	イノシシ	頭骨	f		-	1			
III 下道槽	B5	H12	2655P	G-H/9-12	07.07.06	3042	5020	イノシシ	下顎M2			R	1		e	
III 下道槽	B5	H12	2655P	G-H/9-12	07.07.06	3042	3000	イノシシ	第3中足骨	p-(d-)		L	1			
III 下道槽	B5	H12	2655P	G-H/9-12	125	07.07.06	3241	5110	イノシシ?	肋骨	m	?	1			
III 下道槽	B5	H12	2658P	G-H/9-12	07.07.04	2924	753	ハリセンボシ科	歯骨			-	1			
III 下道槽	B5	H12	2658P	G-H/9-12	07.07.04	2924	1913	イノシシ	脛骨	d->		R	1			
III 下道槽	B5	H11-12	2667P	G-H/9-12	07.07.05	2985	737	ハリセンボシ科	前上顎骨			-	1			
III 下道槽	B5	H11-12	2667P	G-H/9-12	07.07.05	2985	3167	イノシシ	下顎M1			R	1		j	
III 下道槽	B5	H11-12	2667P	G-H/9-12	07.07.05	2985	3020	イノシシ	第3中足骨	p-d		R	1		+++ ,+++	
III 下道槽	B5	H11-12	2667P	G-H/9-12	07.07.05	2985	296	イノシシ	中足/中足骨	(d)		?	1			
III 下道槽	B5	H12	2670P	G-H/9-12	07.07.05	2991	2589	ウマ	末節骨	p-d		?	1			
III 下道槽	B5	H12	2673P	G-H/9-12	07.07.05	2983	1583	イノシシ	踵骨			L	1			
III 下道槽	B5	H12	2674P	G-H/9-12	07.07.05	5195	363	イヌ	肩甲骨	d		L	1			
III 下道槽	B5	H12	2692P	G-H/9-12	07.07.09	3122	1629	イノシシ	尺骨	p		L	1			
III 下道槽	B5	H12	2692P	G-H/9-12	07.07.09	3122	1638	イノシシ	尺骨	m		?	1			
III 下道槽	B5	H12	2692P	G-H/9-12	07.07.09	3122	2584	ウシ	基部骨	d		?	1			
III 下道槽	B5	H12	2697P	G-H/9-12	07.07.05	3031	1569	イノシシ	踵骨	p		L	1			
III 下道槽	B5	H-12	2698P	G-H/9-12	07.07.04	2962	1940	イノシシ	大腿骨	p		L	1			
III 下道槽	B5	H12	2700P	G-H/9-12	07.07.04	2947	2754	イヌ	歯骨	d		R	1		10.7	
III 下道槽	B5	H12	2700P	G-H/9-12	07.07.04	2947	1609	イノシシ	尺骨	p		L	1			
III 下道槽	B5	H12	2709P	G-H/9-12	07.07.03	2865	1054	真骨鱗(同定不可)	椎骨			-	1			
III 下道槽	B5	H13	2718P	G-I/13-15	07.07.02	2823	-	ウシ/ウマ類	歯骨	m		L	1			
III 下道槽	B5	H13	2718P	G-I/13-15	07.07.02	2823	2621	ウシ	末節骨	p-d		?	1			
III 下道槽	B5	G13	2744P	G-I/13-15	07.06.28	2691	5012	マハタ親	前上顎骨			R	1			
III 下道槽	B5	G13	2753P	G-I/13-15	07.06.28	2705	3024	イノシシ	側頭骨			R	1			
III 下道槽	B5	G13	2753P	G-I/13-15	07.06.28	2705	3072	イノシシ	後頭骨			L	1			
III 下道槽	B5	G13	2753P	G-I/13-15	07.06.28	2705	1466	イノシシ	上腕骨	(p)-<d->		L	1		12.8	
III 下道槽	B5	G13	2753P	G-I/13-15	07.06.28	2705	1524	イノシシ	上腕骨	d		L	1			
III 下道槽	B5	G13	2759P	G-I/13-15	07.06.28	2688	5135	フェウキギイ科	肋骨			L	1			
III 下道槽	B5	G13	2762P	G-I/13-15	07.07.02	2802	1692	フェウキギイ科	角骨			R	1			
III 下道槽	B5	G13	2764P	G-I/13-15	07.06.29	2785	2021	イノシシ	脛骨	(p)-<d->		R	1		10.2	幼獣

第107表-24. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インデントしたものはブタの可能性のあるものを示す.

\*\* 残存位置凡例: w=残存, p=近位端, m=骨端, d=遠位端, f=破片, (p)-(d)は骨端の位置, <p>-<d>-<p>-<d>-は骨端のみ欠損, 頭骨については, [ ]:頭骨残存範囲, ( ):萌出中の歯, <\*>:未萌出歯, ×:脱落.

層位	大 クラッド	小 クラッド	遺構名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 (後) 番号	骨番 号	種類#1	部位	残存位置*2	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
III下遺構	B5	G13	2765P	G-1/13-15	07.07.02	2796	5008	ウシ	頰椎	第2中手骨	p-d	-	1			幼獣
III下遺構	B5	G13	2767P	G-1/13-15	07.06.29	2767	3019	イノシシ	イノシシ	肩甲骨		L	1			
III下遺構	B5	G14	2778P	G-1/13-15	07.06.29	2766		イノシシ	下顎C			R	1			♂
III下遺構	B5	H14	2834P	G-1/13-15	07.07.03	2877	5146	ウシ	基節骨		p-(d)	?	1			
III下遺構	B5	H14	2844P	G-1/13-15	07.06.29	2784	1393	イノシシ	上腕骨		<d>	R	1			
III下遺構	B5	H14	2846P	G-1/13-15	07.06.29	2783	5126	フェネックイノシシ	腕骨			-	1			
III下遺構	B5	H14	2852P	G-1/13-15	07.07.02	2798	5145	小型獣	肋骨		m	?	1			小型獣(イヌ?)
III下遺構	B5	H14	2860P	G-1/13-15	07.06.29	2765	863	アオブダイノシシ	肩骨			R	1			
III下遺構	B5	H14	2863P	G-1/13-15	07.06.29	2776	2068	イノシシ	肩甲骨		<d>	L	1			
III下遺構	B5	G14	2865P	G-1/13-15	07.07.03	2868	28	イノシシ	上顎/下顎			*	1			
III下遺構	B5	G14	2868P	G-1/13-15	07.07.02	2813	5142	フェネックイノシシ	主上顎骨			L	1			
III下遺構	B5	G14	2877P	G-1/13-15	07.07.03	2861	5037	アオブダイノシシ	前上顎骨			L	1			
III下遺構	B5	G14	2891P	G-1/13-15	07.07.04	2948	1544	イノシシ	頰骨			R	1			
III下遺構	B5	G14	2892P	G-1/13-15	07.07.04	2943	1498	イノシシ	上腕骨		<d>	L	1			
III下遺構	B5	G14	2897P	G-1/13-15	07.07.04	2943	2034	イノシシ	頰骨		<d>	L	1			
III下遺構	B5	G14	2907P	G-1/13-15	07.07.03	2872	1555	イノシシ	頰骨			R	1			
III下遺構	B5	G15	2930P	G-1/13-15	07.07.03	2860	491	ウズガシ	縁骨板			?	1			
III下遺構	B5	G15	2930P	G-1/13-15	07.07.03	2860	2194	イノシシ	肩甲骨		d	L	1			
III下遺構	B5	G15	2930P	G-1/13-15	07.07.03	2860	2397	イノシシ?	種子骨			*	1			
III下遺構	B5	G15	2935P	G-1/13-15	07.07.03	2881	5026	イノシシ	下顎M		f	?	1			
III下遺構	B5	G15	2938P	G-1/13-15	07.07.03	2883	1379	イノシシ	上腕骨		m<d>	R	1			17.5
III下遺構	B5	G15	2943P	G-1/13-15	07.07.03	2882	516	ウズガシ	縁骨板			?	1			
III下遺構	B5	G15	2943P	G-1/13-15	07.07.03	2882	2445	ウズガシ	肋骨		m	?	1			
III下遺構	B5	N09	2954P	M-N/09-10	07.07.10	3154	5082	マナヅメ	前上顎骨			L	1			フルイ
III下遺構	B5	N09	2954P	M-N/09-10	07.07.10	3154	5081	ハタ科	方骨			R	1			フルイ
III下遺構	B5	N09	2954P	M-N/09-10	07.07.10	3154	5080	イノシシ	下顎m/2			*	1			フルイ
III下遺構	B5	M-N/10	2979P	M-N/09-10	07.07.11	3174	2966	ウズガシ	四肢骨		m	?	1			
III下遺構	B5	M10	2986P	M-N/09-10	07.06.26	3428	50	イヌ	上顎/下顎			?	1			
III下遺構	B5	M10	3004P	M-N/09-10	07.07.18	3200	5155	小型獣	肋骨		m	*	1			小型獣(イヌ?)
III下遺構	B5	M10	3008P	M-N/09-10	07.06.21	3296	2708	ウズ	大顎骨		(p)	L	1			
III下遺構	B5	M10	3016P	M-N/09-10	07.07.18	3201	5113	小型獣	肋骨		m	?	1			小型獣(イヌ?)
III下遺構	B5	M10	3054P	M-N/09-10	07.06.25	3360	5024	イノシシ	肋骨			*	1			
III下遺構	B5	L09	3092P	K-L/08-11	07.07.19	3233	2552	ウシ	基節骨		(p)-d	?	1			
III下遺構	B5	L09	3093P	K-L/08-11	07.07.19	3222	2552	ウシ	膝蓋骨			L	1			
III下遺構	B5	L09	3113P	K-L/08-11	07.06.25	3358	2379	ウズ	下顎M3			L	1			
III下遺構	B5	L10	3160P	K-L/08-11	07.06.20	3278	5039	ウズ	上顎/下顎			*	1			
III下遺構	B5	L10	3161P	K-L/08-11	07.06.20	3243	367	イヌ	上顎骨		[P4M1M2×M3×]	R	1			
III下遺構	B5	L10	3161P	K-L/08-11	07.06.20	3262	2027	イノシシ	肋骨		(p)	R	1			
III下遺構	B5	L10	3166P	K-L/08-11	07.06.26	3430	5137	小型獣	肋骨		m	?	1			小型獣(イヌ?)
III下遺構	B5	K09	3353P	K-L/08-11	07.06.24	3345	103	イノシシ	上腕骨		<d>	L	1			
III下遺構	B5	K09	3351P	K-L/08-11	07.06.26	3416	5047	イノシシ?	椎骨		椎体	-	1			
III下遺構	B5	K09	3351P	K-L/08-11	07.06.26	3416	5044	イノシシ?	肋骨		m	?	1			
III下遺構	B5	K08	3360P	K-L/08-11	07.07.27	3450	2351	ウズ/ウズ	胸椎		f	-	1			
III下遺構	B5	J09	3441P	I-J/08-12	07.07.30	3512	2422	ウズ/ウズ	肋骨		p	?	1			
III下遺構	B5	K09	3476P	K-L/08-11	07.07.31	3548	5115	小型獣	寛骨(肋骨)		臼	R	1			
III下遺構	B5	J10	3525P	I-J/08-12	07.08.06	3677	5116	イノシシ	頰椎			-	1			
III下遺構	B5	J10	3534P	I-J/08-12	07.08.02	3635	30	イヌ	下顎骨		[M1M2×M3×]	L	1			
III下遺構	B5	J10	3538P	I-J/08-12	07.08.06	3645	224	イノシシ	尺骨		(d)	*	1			
III下遺構	B5	J10	3540P	I-J/08-12	07.08.06	3649	2623	ウシ	中心窩(尺骨)			-	1			
III下遺構	B5	J10	3546P	I-J/08-12	07.08.06	3665	2342	ウズ/ウズ	椎骨			-	1			
III下遺構	B5	J10	3556P	I-J/08-12	07.08.07	3657	766	ハリセンボシ	前上顎/肩骨			-	1			
III下遺構	B5	J10	3565P	I-J/08-12	07.08.07	3716	1486	イノシシ	上腕骨		<d>	L	1			
III下遺構	B5	J10	3569P	I-J/08-12	07.08.09	3795	5002	ヘビ類(ハブ型)	椎骨			-	9			
III下遺構	B5	J10	3572P	I-J/08-12	07.08.07	3691	5084	真骨類(保形)	主髌蓋骨			L	1			
III下遺構	B5	J10	3574P	I-J/08-12	07.08.15	3846	-	ウズ	上腕骨			R	1			
III下遺構	B5	J10	3579P	I-J/08-12	07.08.09	3797	2722	ウズ	末節骨		p	?	1			
III下遺構	B5	J10	3580P	I-J/08-12	07.08.14	3818	853	アオブダイノシシ	肩骨			R	1			
III下遺構	B5	J10	3581P	I-J/08-12	07.08.02	3630	5112	小型獣	肋骨		m	?	1			小型獣(イヌ?)
III下遺構	B5	J08	3607P	I-J/08-12	07.06.24	3324	5072	フグ科	前上顎/椎骨			?	1			
III下遺構	B5	G-H10	3636P	G-H/9-12	07.08.14	3825	1655	イノシシ	尺骨		p	R	1			



第107表-25. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* イングシとしたものはブタの可能性のあるものを含む.

\*\* 残存位置凡例: w残存, p近位端, m骨幹, d遠位端, f破片, (p)-(d)は本標合の骨端のみ, (p)-(d)は骨端のみ欠損, 頭骨については: [ ]:頭骨残存範囲, ( ):萌出中の歯, <>:未萌出歯, x:脱落.

種別	大 クワッド	小 クワッド	遺標名	集計 単位	取上 番号	取上日	右側 骨番号 (後) 番号	種別#1	部位	残存位置#2	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	備考
哺乳類	B5	H10	3685P	G-H/9-12	07.08.09	3805	1252	フェロキタイ科	前上顎骨		R	1		
哺乳類	B5	H10	3688P	G-H/9-12	07.08.15	3861	880	シロクワスラ型	下顎頭骨		-	1		
哺乳類	B5	H10	3695P	I-/08-12	07.08.15	3855	21	インシ	下顎C		R	1		
哺乳類	B5	H09	3732P	G-H/9-12	07.08.15	3838	3101	インシ	下顎(M3)		R	1		
哺乳類	B5	H09	3739P	G-H/9-12	07.08.15	3838	1381	インシ	上顎骨	<d>	R	1		
哺乳類	B5	H10	3744P	I-/08-12	07.08.07	3723	2451	ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1		
哺乳類	B5	H10	3744P	I-/08-12	07.08.07	3723	2511	ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1		
哺乳類	B5	H09	3754P	G-H/9-12	07.08.08	3767	1643	インシ	尺骨	m	?	1		
哺乳類	B5	H09	3754P	G-H/9-12	07.08.08	3767	2973	インシ	脛骨	<p>	R	1		
哺乳類	B5	H10	3761P	I-/08-12	07.08.14	3817	1173	ジャコウ	肋骨		?	1		
哺乳類	B5	H10	3808P	I-/08-12	07.06.21	3320	3109	インシ	下顎骨	[M3]	L	1	b	
哺乳類	B5	109-10	3811P	I-/08-12	07.07.27	3452	1179	ジャコウ	肋骨		?	1		
哺乳類	B5	109	3824P	I-/08-12	07.07.27	3442	1033	クロタイル	前上顎骨		L	1		
哺乳類	B5	109	3841P	I-/08-12	07.06.26	3398	393	ウマ	肩甲骨	d	R	1		
哺乳類	B5	H08	3863P	-	07.06.26	3409	514	ウミガメ類	縁骨板		?	1		
哺乳類	B5	H08	3863P	-	07.06.26	3409	1756	インシ	大腿骨	<d>	R	1		
哺乳類	B5	108	3871P	I-/08-12	07.07.30	3496	2335	ウシ/ウマ	椎骨		-	1		
哺乳類	B5	109	3893P	I-/08-12	07.08.02	3831	5111	小型獣	肋骨	m	?	1		
哺乳類	B5	109	3910P	I-/08-12	07.08.09	3806	1384	インシ	上顎骨	<d>	R	1		
哺乳類	B5	109	4004P	I-/08-12	07.08.01	3566	1048	サメ類	椎骨		-	1		
哺乳類	B5	108	4038P	I-/08-12	07.06.24	3325	185	インシ?	肋骨		?	1		
哺乳類	B5	P11	4058P	-	07.08.08	3741	3069	インシ	寛骨	白	R	1		
哺乳類	B5	M18	4065P	-	07.06.28	2718	2550	ウシ	基節骨	p-d	?	1		
哺乳類	B5	H09	4084P	G-H/9-12	07.08.07	3726	122	インシ	脛骨	m-d	R	1		
哺乳類	B5	H09	4084P	G-H/9-12	07.08.07	5153	79	ウマ	楯骨		R	1		
哺乳類	B5	H09	4088P	G-H/9-12	07.08.07	3711	476	ウミガメ類	縁骨板		?	1		
哺乳類	B5	H09	4088P	G-H/9-12	07.06.24	3337	1714	フェロキタイ科	前上顎骨		R	1		
哺乳類	B5	K12	4127P	I-/08-12	07.07.06	3052	2675	ウマ	中手骨	m	?	1		
哺乳類	B5	J11	4131P	I-/08-12	07.07.19	3213	209	インシ	大腿骨	(p)	L	1		
哺乳類	B5	L10	4142P	K-L/08-11	07.07.19	3214	5152	インシ	肋骨	(d)	R	1		
哺乳類	B5	K09	4152P	K-L/08-11	07.06.24	3355	2473	ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1		
哺乳類	B5	109	4162P	I-/08-12	07.07.30	5154	324	インシ	第3中足骨	p-(d)	R	1		
哺乳類	B5	109	4162P	I-/08-12	07.07.30	3497	5045	インシ	基節骨	p-d	?	1		
哺乳類	B5	108	4214P	I-/08-12	07.08.01	3570	87	インシ	上腕骨	m<d>	L	1		
哺乳類	B5	108	4214P	I-/08-12	07.08.01	3570	241	インシ	腕骨		L	1		
哺乳類	B5	108	4217P	I-/08-12	07.08.02	3622	5063	ペウ科A	上顎頭骨		R	1		
哺乳類	B5	109	4219P	I-/08-12	07.07.30	5205	2491	ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1		
哺乳類	B5	K09	4233P	K-L/08-11	07.08.01	3586	187	インシ?	肋骨		?	1		
哺乳類	B5	J10	4251P	I-/08-12	07.08.06	3659	5031	インシ	大腿骨	m	L	1		幼獣
哺乳類	B5	110	4252P	I-/08-12	07.08.06	3674	5086	インシ	腕突起		-	1		
哺乳類	B5	110	4259P	I-/08-12	07.08.06	3674	5087	インシ	腕骨		-	1		
哺乳類	B5	109	4263P	I-/08-12	07.08.08	3768	199	インシ?	肋骨	白	R	1		
哺乳類	B5	109	4268P	I-/08-12	07.08.08	3755	240	インシ	腕骨		R	1		
哺乳類	B5	110	4302P	I-/08-12	07.08.14	3823	1437	インシ	大腿骨	<d>	L	1		
哺乳類	B5	H09	4304P	G-H/9-12	07.08.15	3841	206	インシ	肩甲骨	<d>	L	1		
哺乳類	B5	H09	4305P	G-H/9-12	07.08.14	3827	1965	インシ	頸椎		-	1		
哺乳類	B5	H10	4308P	G-H/9-12	07.08.15	3845	1902	インシ?	肋骨	m	?	1		
哺乳類	B5	C17	4414P	C-E/17-18	07.09.27	4549	1617	インシ	尺骨	p-m	L	1		
哺乳類	B5	C17	4419P	C-E/17-18	07.09.27	4547	2006	インシ	中手/中足骨	d	?	1		
哺乳類	B5	T-A17	4544P	T-A/17-18	07.11.22	4459	2218	インシ	頸椎	f	-	1		
哺乳類	B5	T-A17	4544P	T-A/17-18	07.11.22	4459	1995	インシ	頸椎	f	-	1		
哺乳類	B5	T-A17	4545P	T-A/17-18	07.11.21	4412	2362	ウマ	下顎M3		L	1		
哺乳類	B5	T17	4582P	T-A/17-18	07.11.20	4389	2337	ウシ/ウマ	椎骨		-	1		
哺乳類	B5	S18	4591P	-	07.11.22	4455	59	イヌ	肋骨	d	L	1		
哺乳類	B5	S18	4591P	-	07.11.22	4455	908	イヌ	肋骨	m	?	1		
哺乳類	B5	R17	4603P	-	07.11.26	14555	3273	インシ	上顎C		L	1		
哺乳類	B5	Q-R15	4635P	Q-R/14-15	07.11.28	14548	93	インシ	上顎骨	m<d>	R	1		12.3

第107表-26. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インデントしたものはブタの可能性のあるものを示す.

\*\* 残存位置凡例: w(咬痕), v(咬痕), n(咬痕), m(骨質), d(遠位端), r(破片), (p)・(d)は未鑑定の骨端のみ, (p)・(d)は骨端のみ欠損, 頭骨については, [ ]:頭骨残存範囲, ( ):前出中の歯, <>:未前出歯, ×:脱落.

層	大	小	遺体名	集計	取上	取上日	骨番号	種別	部位	残存位置*2	左右	数	咬痕	咬痕	SD	備考	
群	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	
III上遺構	B5	R15	4714P	Q-R/14-15	07.12.03	14617	57	ネズミ科	大腿骨	-	*	1					
III上遺構	B5	J18	0485SD	J-L/16-18	07.04.20	1119	5040	フェウキダ科	角骨	<d>	R	1					
III上遺構	B5	Q16	1595SD	P-Q/16-18	07.11.26	14541	1769	インシ	大腿骨	<d>	L	1				台帳No.3779含む	
III上遺構	B5	Q16	1595SD	P-Q/16-18	07.11.26	14541	2537	ウシ	寛骨	臼	L	1				台帳No.3779含む	
III上遺構	B5	Q16	1595SD	P-Q/16-18	07.11.26	14541	2338	ウシ/ウマ	椎骨		-	1				台帳No.3779含む	
III上遺構	B5	J17	0101SK	J-L/16-18	07.05.02	1462	1497	インシ	上腕骨	<d>	L	1					
III上遺構	B5	K18	0128SK	J-L/16-18	07.04.20	1098	609	ウシ	下顎M1/2		R	1					
III上遺構	B5	K18	0137SK	J-L/16-18	07.05.02	1437	1977	アジ科(大型種)	前上顎骨		R	1					
III上遺構	B5	K-1/16-17	0187SK	J-L/16-18	07.06.21	2434	5088	フェウキダ科	方骨	m	L	1					
III上遺構	B5	K-1/16-17	0187SK	J-L/16-18	07.06.21	2434	2435	ウシ/ウマ	肋骨	m	L	1					
III上遺構	B5	J18	0250SK	J-L/16-18	07.04.27	1326	817	フグ科	前上顎骨		L	1					
III上遺構	B5	J17	0264SK	J-L/16-18	07.05.07	1604	1377	インシ	上腕骨	m-d	R	1				台帳No.1612含む	
III上遺構	B5	J17	0264SK	J-L/16-18	07.05.07	1604	2162	インシ	上腕骨	m-(d-)	R	1				台帳No.1612含む	
III上遺構	B5	J17	0265SK	J-L/16-18	07.05.02	1398	2054	インシ	距骨	R	L	1					
III上遺構	B5	J17	0265SK	J-L/16-18	07.05.02	1398	1165	ジュゴン	肋骨	m<d>	?	1				接合	
III上遺構	B5	J17-18	0294SK	J-L/16-18	07.05.08	1661	1409	インシ	上腕骨	m<d>	R	1				幼獣	
III上遺構	B5	J17-18	0294SK	J-L/16-18	07.05.08	1661	2778	インシ	寛骨	臼	R	1					
III上遺構	B5	J17-18	0294SK	J-L/16-18	07.05.08	1661	1762	インシ	大腿骨	<d>	R	1					
III上遺構	B5	J17-18	0294SK	J-L/16-18	07.05.08	1661	1532	インシ	腕骨		R	1					
III上遺構	B5	J17	0303SK	J-L/16-18	07.05.09	1841	2263	インシ?	肋骨		?	1					
III上遺構	B5	J17	0318SK	J-L/16-18	07.05.09	1864	2743	イヌ?	腕骨?	m	?	1				10.8	
III上遺構	B5	J16	0326SK	J-L/16-18	07.05.09	1886	1648	インシ	尺骨	p	R	1					
III上遺構	B5	I16	0360SK	F-1/16-18	07.05.09	1860	1240	クロタイル	歯骨		L	1					
III上遺構	B5	I17	0387SK	F-1/16-18	07.05.02	1472	2563	ウシ	腕骨	d	L	1				台帳No.1471に統合	
III上遺構	B5	I17	0387SK	F-1/16-18	07.05.02	1472	2513	ウマ	腕骨	d	L	1				台帳No.1471に統合	
III上遺構	B5	I17	0387SK	F-1/16-18	07.05.02	1472	2658	ウシ/ウマ	四肢骨	m	?	1				台帳No.1471に統合	
III上遺構	B5	H17	0464SK	F-1/16-18	07.05.09	1879	5151	モンガラカワハギ科	腕骨		-	1					
III上遺構	B5	H16	0484SK	F-1/16-18	07.05.08	1637	643	インシ	上顎M1		L	1	(+),+++			台帳No.1773含む	
III上遺構	B5	H16	0484SK	F-1/16-18	07.05.08	1637	624	インシ	上顎/下顎1		?	1				台帳No.1773含む	
III上遺構	B5	I18	0605SK	F-1/16-18	07.04.20	1108	1703	フェウキダ科	口蓋骨		L	1					
III上遺構	B5	I18	0605SK	F-1/16-18	07.04.20	1108	1690	フェウキダ科	肋骨		L	1					
III上遺構	B5	I18	0605SK	F-1/16-18	07.04.20	1108	1165	ジュゴン	肋骨		?	1				接合	
III上遺構	B5	I18	0510SK	F-1/16-18	07.04.27	1276	951	フェウキダ科	中腕骨	p-d	-	1				台帳No.1424を含む	
III上遺構	B5	J17	0513SK	J-L/16-18	07.04.27	1276	1616	インシ	腕骨	p	L	1					
III上遺構	B5	I17	0523SK	F-1/16-18	07.05.02	1482	1723	オニオニセ科	歯骨		L	1					
III上遺構	B5	I18	0547SK	F-1/16-18	07.04.20	1116	5125	インシ	下顎M2		L	1					
III上遺構	B5	H18	0593SK	F-1/16-18	07.04.20	1080	1475	インシ	上腕骨	m-(d+)	L	1	+++			10.6	
III上遺構	B5	H18	0615SK	F-1/16-18	07.05.02	1432	770	ハリセンボン科	歯骨		-	1					
III上遺構	B5	H18	0615SK	F-1/16-18	07.05.02	1432	1873	インシ	下顎M	臼	?	1					
III上遺構	B5	H18	0624SK	F-1/16-18	07.05.07	1528	2650	ウマ	中腕骨	d	?	1					
III上遺構	B5	G18	0627SK	F-1/16-18	07.05.08	1630	2681	ウシ/ウマ	手足根骨		*	1					
III上遺構	B5	G18	0649SK	F-1/16-18	07.05.08	1771	1315	フェウキダ科	歯骨		R	1					
III上遺構	B5	G18	0649SK	F-1/16-18	07.05.07	1518	1121	フェウキダ科	主観蓋骨		L	1					
III上遺構	B5	G18	0660SK	F-1/16-18	07.05.09	1884	1070	フェウキダ科	主上顎骨		R	1					台帳No.1614含む
III上遺構	B5	G18	0660SK	F-1/16-18	07.05.09	1884	782	ハリセンボン科	前上顎/歯骨		-	1					
III上遺構	B5	G18	0660SK	F-1/16-18	07.05.09	1884	1967	インシ	歯骨	臼	-	1					
III上遺構	B5	G18	0660SK	F-1/16-18	07.05.09	1884	2094	インシ	肩甲骨	<d>	R	1					
III上遺構	B5	F18	0674SK	F-1/16-18	07.05.08	1746	2977	ウシ/ウマ	手足根骨		*	1					
III上遺構	B5	F18	0675SK	F-1/16-18	07.05.08	1749	746	ハリセンボン科	前上顎/歯骨		-	1					
III上遺構	B5	G18	0680SK	F-1/16-18	07.05.08	1762	2284	イヌ	大腿骨	m	L	1					
III上遺構	B5	G18	0683SK	F-1/16-18	07.05.07	1563	1413	インシ	上腕骨	<d>	R	1					幼獣
III上遺構	B5	G18	0687SK	F-1/16-18	07.04.27	1453	492	クロガシメ	角骨		L	1					
III上遺構	B5	G18	0687SK	F-1/16-18	07.04.27	1453	1337	フェウキダ科	前上顎骨		R	1					
III上遺構	B5	G18	0687SK	F-1/16-18	07.04.27	1453	1237	フェウキダ科	歯骨		L	1					
III上遺構	B5	G18	0687SK	F-1/16-18	07.04.27	1453	854	アオゾライ科	前上顎骨		R	1					
III上遺構	B5	G18	0687SK	F-1/16-18	07.04.27	1453	5118	インシ	頭椎		-	1					
III上遺構	B5	G18	0687SK	F-1/16-18	07.04.27	1453	2429	ウシ	肋骨	<d>	R	1					小型獣(イヌ?)
III上遺構	B5	G18	0687SK	F-1/16-18	07.04.27	1453	5117	小型獣	基節骨	p-d	?	1					

第107表-27. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インジキとしたものはブタの可能性のあるものを含む.

\*\* 残存位置凡例: w残存, p近位端, m骨幹, d遠位端, fr破片, (p)・(d)は未適合の骨端のみ, (p)・(d)は骨端のみ欠損, 頭骨については: [ ] 頭骨残存範囲, ( ) 萌出中の歯, < > 未萌出歯, x: 脱落.

層準	大 グループ	小 グループ	遺体名	集計 単位	取上 番号	取上日	骨 番号 (後) 番号	種類 <sup>1)</sup>	部位	残存位置 <sup>2)</sup>	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
III上遺構	B5	F18	0698SK	F-/16-18	1300	07.04.27	885	ベゾ科A	下顎頭骨		-	1			
III上遺構	B5	F18	0699SK	F-/16-18	1300	07.04.27	2047	インシ	距骨		R	1			
III上遺構	B5	F18	0702SK	F-/16-18	1255	07.04.27	1255	イヌ	肋骨	m	?	1			
III上遺構	B5	F18	0704SK	F-/16-18	1760	07.05.08	1760	インシ	大腿骨	(p)	L	1			
III上遺構	B5	F18	0708SK	F-/16-18	2590	07.04.26	1165	ウマ	大腿骨	p-d	?	1			
III上遺構	B5	F18	0747SK	F-/16-18	1479	07.05.07	1521	インシ	上脛骨	m<d>	L	1	13.6		
III上遺構	B5	F18	0765SK	F-/16-18	1502	07.05.07	1502	インシ	基節骨	p-d	?	1			
III上遺構	B5	F18	0775SK	F-/16-18	1549	07.05.07	2252	インシ	脛骨	<p>(d-)	L	1	11.7		
III上遺構	B5	F18	0777SK	F-/16-18	1566	07.05.07	2509	ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1			
III上遺構	B5	F18	0778SK	F-/16-18	1470	07.05.02	1470	サメ類	椎骨		-	1			
III上遺構	B5	F18	0778SK	F-/16-18	1470	07.05.02	1470	フェウキザイ科	腰椎		-	1			
III上遺構	B5	F18	0778SK	F-/16-18	1470	07.05.02	1470	インシ	尺骨	p	L	1			
III上遺構	B5	F17	0861SK	F-/16-18	1455	07.05.02	1455	インシ	脛骨	<p>	L	1			
III上遺構	B5	F17	0871SK	F-/16-18	1529	07.05.07	1529	インシ	上脛骨	(d)	L	1			
III上遺構	B5	H17	0945SK	F-/16-18	1832	07.05.09	763	ハリセンボン科	歯骨		-	1			幼獣
III上遺構	B5	H17	0945SK	F-/16-18	1832	07.05.09	1832	ハリセンボン科	縁骨板		-	1			
III上遺構	B5	H17	1031SK	F-/16-18	1561	07.05.07	938	アジ科(大型種)	椎骨		-	1			
III上遺構	B5	D16	1061SK	C-/17-18	1210	07.04.26	1210	フェウキザイ科	角骨		L	1			
III上遺構	B5	D17-18	1068SK	C-/17-18	1243	07.04.26	1243	インシ	下顎骨	[M1×M2×M3]	L	1	c	4428SKと同一遺構	
III上遺構	B5	D17-18	1068SK	C-/17-18	1243	07.04.26	1243	インシ	肩甲骨	d	L	1			4428SKと同一遺構
III上遺構	B5	D17-18	1068SK	C-/17-18	1243	07.04.26	1243	インシ	肋骨	m-d	R	1	12.2		4428SKと同一遺構
III上遺構	B5	D17-18	1068SK	C-/17-18	1243	07.04.26	1243	インシ?	肋骨	m	?	1			4428SKと同一遺構
III上遺構	B5	D17	1061SK	C-/17-18	1210	07.04.26	1210	インシ	下顎C	L	1	1			♂, 4428SKと同一遺構
III上遺構	B5	D16	1062SK	F-/16-18	1606	07.05.07	908	ボゾ科	第1肋骨		-	1			
III上遺構	B5	C-H17	1122SK	F-/16-18	1865	07.05.09	1865	インシ	上脛骨	(d)	R	1			
III上遺構	B5	G-H17	1122SK	F-/16-18	1865	07.05.09	1865	インシ	上脛骨	(d)	R	1			
III上遺構	B5	G-H17	1122SK	F-/16-18	1865	07.05.09	1865	インシ	第4中手骨	p<d>	R	1			
III上遺構	B5	G17	1132SK	F-/16-18	1827	07.05.09	1827	フェウキザイ科	主上顎骨		R	1			
III上遺構	B5	G17	1164SK	F-/16-18	2007	07.05.15	2007	インシ	上脛骨	m	R	1			
III上遺構	B5	M16	1303SK	-	2470	07.06.22	2470	インシ	楯骨	(p)→m	L	1	13.7		
III上遺構	B5	M17	1314SK	-	2498	07.06.22	2498	インシ	楯骨	p<d>	R	1	14.0		
III上遺構	B5	L17	1404SK	J-/16-18	2466	07.06.22	2466	ウマ	末新骨	p-d	?	1			
III上遺構	B5	L18	1467SK	J-/16-18	2449	07.06.21	2449	イヌ	頭椎		-	1			
III上遺構	B5	L18	1467SK	J-/16-18	2449	07.06.21	2449	インシ	上脛骨	[M1M2]	L	1	d/e		
III上遺構	B5	L18	1467SK	J-/16-18	2449	07.06.21	2449	インシ	上顎/下顎M	fr	?	1			
III上遺構	B5	Q18	1528SK	P-Q/16-18	2508	07.06.22	2508	ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1			
III上遺構	B5	Q18	1543SK	1543SK	2509	07.06.22	2509	ハリセンボン科	前上顎骨		-	1			
III上遺構	B5	Q18	1543SK	1543SK	2509	07.06.22	2509	イヌ	脛骨	m-d	L	1	9.7		
III上遺構	B5	Q18	1543SK	1543SK	2509	07.06.22	2509	インシ	腕椎	fr	-	1			
III上遺構	B5	Q18	1543SK	1543SK	2509	07.06.22	2509	インシ	上脛骨	m-(d)	L	1	10.5		
III上遺構	B5	Q18	1543SK	1543SK	2574	07.06.22	2574	ウマ	基節骨	p-d	?	1			カットマーク
III上遺構	B5	Q18	1545SK	P-Q/16-18	2559	07.06.25	2559	ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1			
III上遺構	B5	Q18	1552SK	P-Q/16-18	2452	07.06.21	2452	ウシ	中心第4足根骨		*	1			
III上遺構	B5	Q18	1552SK	P-Q/16-18	2452	07.06.21	2452	ウシ	肩甲骨	d	L	1			
III上遺構	B5	Q17	1554SK	P-Q/16-18	2474	07.06.22	2474	フェウキザイ科	主腕蓋骨		R	1			
III上遺構	B5	Q17	1554SK	1554SK	2474	07.06.22	2474	ウシ?	肋骨	m	?	2			
III上遺構	B5	Q17	1554SK	1554SK	2474	07.06.22	2474	ウシ	寛骨	白	R	1			カットマーク
III上遺構	B5	Q17	1554SK	1554SK	2474	07.06.22	2474	ウシ	上顎/下顎		*	1			
III上遺構	B5	Q17	1554SK	1554SK	2474	07.06.22	2474	ウマ	楯骨	p-m	R	1			カットマーク
III上遺構	B5	Q17	1554SK	1554SK	2474	07.06.22	2474	ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1			
III上遺構	B5	L15	1825SK	-	2586	07.06.26	2586	ウシ	楯骨	m	R	1	20.2		幼獣
III上遺構	B5	K15	1864SK	-	2651	07.06.27	2651	イヌ	脛骨	m	R	1			
III上遺構	B5	K15	1864SK	-	2651	07.06.27	2651	ウシ/ウマ	手/足根骨		*	1			
III上遺構	B5	J14	2019SK	G-/13-15	2646	07.06.27	2646	イヌ	寛骨	白	R	1			
III上遺構	B5	J14	2019SK	G-/13-15	2646	07.06.27	2646	インシ	下顎骨	[dm]and×	L	1			
III上遺構	B5	J14	2019SK	G-/13-15	2646	07.06.27	2646	インシ	頭椎		-	1			
III上遺構	B5	J14	2019SK	G-/13-15	2646	07.06.27	2646	インシ	第2中手骨	p-d	R	1			
III上遺構	B5	F-H4	2082SK	F-/08-12	2675	07.06.27	2675	ウシ	基節骨	p-d	?	1			幼獣
III上遺構	B5	J14	2086SK	G-/13-15	2625	07.06.27	2625	インシ	大腿骨	(p)	L	1			
III上遺構	B5	J14	2086SK	G-/13-15	2625	07.06.27	2625	インシ	大腿骨	(p)→(d)	L	1	13.3		

第107表-28. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インデックスとしたものはプタの可能性があるものを含む.

\*\* 残存位置凡例: w(保存), p(近位端), m(骨端), d(遠位端), r(破片), (p)・(d)は未鑑定の骨端のみ, (p)・(d)・(r)は骨端のみ欠損. 頭骨については: [ ]:頭骨残存範囲, ( ):萌出中の歯, <>:未萌出歯, ×:脱落.

層	大	小	種名	集計	取上	取上	骨	種	部位	残	数	状	SD	備
群	ク	ク		単	日	番	番	群		存		況	(mm)	考
	ラ	ラ		位		号	号			位				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				
	ダ	ダ		置						置				
	イ	イ		置						置				



第107表-29. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* イタジキとしたものはブタの可能性のあるものを含む.

\* \* 残存位置: w: 完全, n: 近位端, m: 骨端, d: 遠位端, f: 破片, (p)・(d)は系群の骨端のみ, (p)・(d)・(p-d)は骨端のみ, 破片, 頭骨については, [ ]: 頭骨残存範囲, ( ): 頭出中の骨, < >: 未明出骨, ×: 脱落.

種別	大 グループ	小 グループ	遺体名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 (機) 番号	骨 番 号	種類 <sup>4)</sup>	部位	残存位置 <sup>4)</sup>	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
哺乳類	B5	I10	3790SK	I-/08-12	07.06.26	3412	2683		ウシ/ウマ	手足根骨		*				
哺乳類	B5	I09	3801SK	I-/08-12	07.07.31	3538	3068		インシ	膝蓋骨		R				
哺乳類	B5	I08	3826SK	I-/08-12	07.08.07	3727	1365		フェンキタイ科	歯骨		R				
哺乳類	B5	I09	3872SK	I-/08-12	07.08.01	3578	5055		インシ?	肋骨	p					
哺乳類	B5	I09	3917SK	I-/08-12	07.08.07	3728	5049		フェンキタイ科	方骨		R				
哺乳類	B5	I09	3917SK	I-/08-12	07.08.07	3728	5055		インシ?	肋骨	p					
哺乳類	B5	B08-9	3934SK	I-/08-12	07.07.30	3494	3265		インシ	下顎C		R				♂
哺乳類	B5	B08-9	3934SK	I-/08-12	07.07.30	3494	3056		インシ	第4中足骨	p	L				
哺乳類	B5	I09	3967SK	I-/08-12	07.07.27	3447	397		ウシ/ウマ	肋骨	m					
哺乳類	B5	I09	3967SK	I-/08-12	07.07.27	3447	2432		ウシ/ウマ	肋骨	m					
哺乳類	B5	I09	3967SK	I-/08-12	07.07.27	3447	2442		ウシ/ウマ	肋骨	m					
哺乳類	B5	I09	3967SK	I-/08-12	07.07.27	3447	2450		ウシ/ウマ	肋骨	m					
哺乳類	B5	I09	4080SK	I-/08-12	07.08.09	3808	1058		フェンキタイ科	主上顎骨		R				
哺乳類	B5	I10	4285SK	I-/08-12	07.08.14	3813	1374		フェンキタイ科	歯骨		R				
哺乳類	B5	I10	4285SK	I-/08-12	07.08.14	3813	1390		インシ	上腭骨	<d>	R				
哺乳類	B5	I10	4285SK	I-/08-12	07.08.14	3813	3037		インシ	第4中手骨	p<(d)>	L				
哺乳類	B5	I10	4285SK	I-/08-12	07.08.14	3813	1556		インシ	歯骨		L				
哺乳類	B5	C18	4402SK	C-E/17-18	07.10.02	4589	724		インシ	第3中足骨	p	L				
哺乳類	B5	C18	4402SK	C-E/17-18	07.10.02	4589	725		インシ	上顎/下顎1		*				
哺乳類	B5	C18	4402SK	C-E/17-18	07.10.02	4589	725		インシ	上顎/下顎1		*				
哺乳類	B5	C18	4402SK	C-E/17-18	07.10.02	4589	1557		インシ	踵骨		R				b
哺乳類	B5	C17	4403SK	4403SK	07.09.20	4517	679		インシ	尺骨	p	R				b
哺乳類	B5	C17	4403SK	4403SK	07.09.20	4517	1610		インシ	尺骨	p	R				g
哺乳類	B5	C17	4403SK	4403SK	07.09.20	4517	1946		インシ	第4中手骨	p<(d)>	R				
哺乳類	B5	C17	4403SK	4403SK	07.09.20	4517	1792		インシ	大腸骨	m	L				
哺乳類	B5	C17	4403SK	4403SK	07.09.20	4517	2251		インシ	脛骨	p	R				
哺乳類	B5	C17	4403SK	4403SK	07.09.20	4517	2238		インシ	脛骨	d	R				14.2
哺乳類	B5	C17	4403SK	4403SK	07.09.20	4517	2245		インシ	距骨		L				
哺乳類	B5	D18	4424SK	4424SK	07.10.02	4613	1120		真骨類(同定不可)	主髌蓋骨		L				1060SKと同一遺構, 1060SKに統一
哺乳類	B5	D18	4424SK	4424SK	07.10.02	4613	699		インシ	上顎1		R				1060SKと同一遺構, 1060SKに統一
哺乳類	B5	D18	4424SK	4424SK	07.10.02	4613	3195		インシ	下顎1		R				1060SKと同一遺構, 1060SKに統一
哺乳類	B5	D18	4424SK	4424SK	07.10.02	4613	2166		インシ	歯骨	<p>	L				1060SKと同一遺構, 1060SKに統一
哺乳類	B5	D18	4424SK	4424SK	07.10.02	4613	2186		インシ	末節骨		?				1060SKと同一遺構, 1060SKに統一
哺乳類	B5	D18	4424SK	4424SK	07.10.02	4613	2357		ウシ/ウマ	頸椎		-				1060SKと同一遺構, 1060SKに統一
哺乳類	B5	D18	4424SK	4424SK	07.10.02	4613	2275		哺乳類(同定不可)	四肢骨	m	?				1060SKと同一遺構, 1060SKに統一
哺乳類	B5	D17	4425SK	C-E/17-18	07.10.02	4593	756		ハルゼン科?	前上顎/脛骨		-				1060SKと同一遺構, 1060SKに統一
哺乳類	B5	C18	4426SK	C-E/17-18	07.10.02	4594	581		インシ	[P3PAMI ×]		R				
哺乳類	B5	C18	4426SK	C-E/17-18	07.10.02	4594	594		インシ	上顎/下顎M	ff	?				
哺乳類	B5	C18	4427SK	C-E/17-18	07.10.02	4591	1949		インシ	第4中足骨	p	L				
哺乳類	B5	C18	4503SK	-	07.11.21	4420	1464		インシ	上腕骨	m<(d)>	R				
哺乳類	B5	A18	4528SK	T-A/17-18	07.11.20	4395	267		インシ	肩甲骨	<d>	R				
哺乳類	B5	A18	4528SK	T-A/17-18	07.11.20	4395	267		インシ	肩甲骨	<d>	R				
哺乳類	B5	A18	4528SK	T-A/17-18	07.11.20	4395	273		インシ	距骨		L				
哺乳類	B5	T-A18	4529SK	T-A/17-18	07.11.20	4395	273		インシ	距骨		R				
哺乳類	B5	T-A18	4529SK	T-A/17-18	07.11.22	4477	1799		鳥類(同定不可)	四肢骨	m	?				
哺乳類	B5	T-A18	4529SK	T-A/17-18	07.11.22	4477	1478		インシ	上腕骨	m<(d)>	L				12.5
哺乳類	C5	A17	4533SK	4533SK	07.11.20	5206	588		<?>科	前上顎骨		R				
哺乳類	C5	A17	4533SK	4533SK	07.11.20	5206	176		インシ	脛骨	<p>-m	L				14.0
哺乳類	C5	A17	4533SK	4533SK	07.11.20	5206	2603		ウシ	基節骨	p<d	?				
哺乳類	C5	A17	4533SK	4533SK	07.11.20	5206	2678		ウシ/ウマ	手足根骨		*				
哺乳類	C5	A17	4533SK	4533SK	07.11.20	5206	2481		ウシ/ウマ	肋骨	m	?				
哺乳類	C5	A17	4533SK	T-A/17-18	07.11.20	5210	1129		フェンキタイ科	角骨		R				
哺乳類	C5	A17	4533SK	T-A/17-18	07.11.20	5210	2346		ウマ	上顎臼歯	<p>-m	R				
哺乳類	B5	T18	4563SK	T-A/17-18	07.11.21	4429	2167		インシ	歯骨	<p>-m	L				11.0
哺乳類	B5	T18	4563SK	T-A/17-18	07.11.21	4429	2313		ウシ	下顎骨	[物P2 ×]	L				
哺乳類	B5	T18	4563SK	T-A/17-18	07.11.21	4429	2700		ウシ/ウマ	手足根骨		*				
哺乳類	B5	T17-18	4569SK	4569SK	07.11.28	14565	5094		エイ目	椎骨		-				フルイ
哺乳類	B5	T17-18	4569SK	4569SK	07.11.28	14565	5093		ウマ科	主上顎骨		L				フルイ

第107表-30. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インデントしたものはブタの可能性のあるものを示す.

\*\* 残存位置: w=完全, p=近位端, m=骨端, e=遠位端, fr=破片, (p)・(q)は系群の骨端のみ, (g)・(d)・(e)・(h)は骨端系群の骨端のみ, 破片については, [ ]: 頭骨残存範囲, ( ): 頭出中の骨, <>: 未明出骨, ×: 脱落.

種別	大	小	種別名	集計	取上	取上	台帳	骨	種類	部位	残存位置	左右	数	咬耗	咬耗	備考
	グループ	グループ		単位	番号	日	(機)	番号	別		※			状況	(mm)	
哺乳類	B5	T17-18	45698K	45698K	07.11.28	14565	5092		フェンキダイ科	主上顎骨		L	1			フルイ
哺乳類	B5	T17-18	45698K	45698K	07.11.28	14565	5091		真骨類(保胎)	椎骨		-	1			フルイ
哺乳類	B5	T17-18	45698K	45698K	07.11.28	14565	5095		真骨類(同定不可)	椎骨		R	1			フルイ
哺乳類	B5	T18	45706K	T-A/17-18	07.11.26	14542	2730		ウシ	頰骨		-	1			
哺乳類	B5	T18	45706K	T-A/17-18	07.11.26	14542	2680		ウシ/足根骨	手/足根骨		*	1			
哺乳類	B5	T17	45725K	T-A/17-18	07.11.20	4390	1005		マハタ型	前腕蓋骨		R	1			
哺乳類	B5	T17	45798K	T-A/17-18	07.11.20	4408	1959		インシ	軸骨		-	1			
哺乳類	B5	T17	45818K	T-A/17-18	07.11.22	4475	2156		インシ	脛骨	Sp->m	R	1			
哺乳類	B5	R15	46278K	46278K	07.12.03	14618	1729		ダツ科	歯骨		L	1			
哺乳類	B5	R15	46278K	46278K	07.12.03	14618	3030		インシ	後頭骨	上部	-	1			
哺乳類	B5	R15	46278K	46278K	07.12.03	14618	3031		インシ	後頭骨	上部	-	1			
哺乳類	B5	R15	46278K	46278K	07.12.03	14618	2363		ウシ	下顎		R	1			
哺乳類	B5	R15	46278K	46278K	07.12.03	14618	2396		ウシ	上顎/下顎臼歯if		?	1			
哺乳類	B5	R15	46278K	46278K	07.12.03	14618	2684		ウシ/ウマ	手/足根骨	if	*	1			
哺乳類	B5	R15	46398K	Q-R/14-15	07.12.04	14671	3012		イヌ	上脛骨	dt>	R	1			
哺乳類	B5	R15	46398K	Q-R/14-15	07.12.04	14671	3012		イヌ	第5中足骨	Prm	R	1			
哺乳類	B5	R15	46398K	Q-R/14-15	07.12.04	14671	2323		ウシ	頸椎		-	1			
哺乳類	B5	R15	46398K	Q-R/14-15	07.12.04	14671	385		ウマ	腕骨	m-d	R	1			
哺乳類	B5	Q-R14	46518K	Q-R/14-15	07.12.03	14619	2679		ウシ/ウマ	手/足根骨		*	1			
哺乳類	B5	R14	46648K	Q-R/14-15	07.11.30	14614	2602		ウシ	基部骨	Prd	?	1			
哺乳類	B5	Q17-18	46948K	P-Q/16-18	07.11.28	14565	571		ヨロシマウマ科	前上顎骨		R	1			
哺乳類	B5	Q17-18	46948K	P-Q/16-18	07.11.28	14564	3121		インシ	上顎骨	[P4×M1×M2(M3)]	R	1			
哺乳類	B5	Q17-18	46948K	P-Q/16-18	07.11.28	14564	3201		インシ	上顎dm2	dm3	R	1			
哺乳類	B5	Q17-18	46948K	P-Q/16-18	07.11.28	14564	2393		ウシ	上顎if		R	1			
哺乳類	B5	R14	47088K	Q-R/14-15	07.12.04	14668	2577		ウシ	中節骨	Prd	?	1			
哺乳類	B5	R14	47088K	Q-R/14-15	07.12.04	14673	417		ウマ	腕骨	El	L	1			
哺乳類	B5	R18	02528P	J-L/16-18	07.04.26	1439	2155		インシ	脛骨	Sp->m	R	1			11.6
哺乳類	B5	R18	02528P	J-L/16-18	07.04.26	1439	2705		インシ	上脛骨	(p)	?	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	957		アジ科(大型種)	椎骨		-	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	1701		フェンキダイ科	口蓋骨		L	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	1831		フェンキダイ科	口蓋骨		L	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	1832		フェンキダイ科	主上顎骨		L	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	1067		フェンキダイ科	主上顎骨		R	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	1068		フェンキダイ科	主上顎骨		R	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	1738		フェンキダイ科	主上顎骨		R	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	1278		フェンキダイ科	前上顎骨		L	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	1358		フェンキダイ科	前上顎骨		L	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	1313		フェンキダイ科	前上顎骨	if	R	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	1247		フェンキダイ科	歯骨		L	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	1214		フェンキダイ科	歯骨		R	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	1225		フェンキダイ科	歯骨		R	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	1332		フェンキダイ科	歯骨		R	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	1262		フェンキダイ科	歯骨	if	L	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	1145		フェンキダイ科	角骨		R	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	1695		フェンキダイ科	角骨		R	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	1709		フェンキダイ科	方骨		L	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	1711		フェンキダイ科	方骨		L	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	857		アオブダイ科	歯骨		L	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	3027		インシ	側頭骨		L	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	3062		インシ	軸骨		-	1			
哺乳類	B5	H18	11605S	11605S	07.05.15	1995	710		ブタ	肋骨		?	1			
哺乳類	B5	G18	11635S	11635S	07.05.16	2045	1368		フェンキダイ科	前上顎骨		L	1			
哺乳類	B5	G18	11635S	11635S	07.05.16	2015	1319		フェンキダイ科	前上顎骨		R	1			
哺乳類	B5	G18	11635S	11635S	07.05.16	2045	1234		フェンキダイ科	前上顎骨	if	R	1			
哺乳類	B5	G18	11635S	11635S	07.05.16	2015	1336		フェンキダイ科	前上顎骨	if	R	1			
哺乳類	B5	G18	11635S	11635S	07.05.16	2015	1243		フェンキダイ科	歯骨		L	1			
哺乳類	B5	G18	11635S	11635S	07.05.16	2045	1055		フェンキダイ科?	歯骨		-	1			
哺乳類	B5	G18	11635S	11635S	07.05.16	2015	1751		真骨類(同定不可)	主腕蓋骨		L	1			
哺乳類	B5	G18	11635S	11635S	07.05.16	2015	929		真骨類(同定不可)	椎骨		-	1			

第107表-31. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* イソジンはオシロイの可能性があるものを含む。

\* \* 残存位置凡例: w完全, p近位端, m骨幹, d遠位端, f破片, (p)-(d)は柔骨合の骨端のみ, (g)-(d)は骨端のみ脱落, <p>-<d>は骨端のみ欠損, 頸骨については, [ ]:頸骨残存範囲, ( ):前出中の種, <g>:柔骨出歯, x:脱落。

種	大	小	連棒名	集計	取上	取上	骨番	種類1	部位	残存位置*2	左右	数	咬耗	咬耗	備考
	グリッド	番号		単位	番号	日	号						状況	段階	
血下連棒	B5	G18	1163SS	163SS	07.05.15	2015	3071	イソジン	後頭骨	後頭頂	L	1			
血下連棒	B5	G18	1163SS	163SS	07.05.15	2015	2970	イソジン	肩甲骨	d	R	1			
血下連棒	B5	D17-18	1062SX	1062SX	07.04.26	1205	1289	フェニキタイ料	前上顎骨		R	1			
血下連棒	B5	D17-18	1062SX	1062SX	07.04.26	1205	3262	イソジン	下顎骨		R	1			♂
血下連棒	B5	D17-18	1062SX	1062SX	07.04.26	1205	642	イソジン	下顎M1		L	1	+++	f	
血下連棒	B5	D17-18	1062SX	1062SX	07.04.26	1205	645	イソジン	下顎M1		R	1	+++	g	
血下連棒	B5	D17-18	1062SX	1062SX	07.04.26	1205	677	イソジン	下顎M3		L	1	---	b	
血下連棒	B5	D17-18	1062SX	1062SX	07.04.26	1205	676	イソジン	下顎M3		R	1	---	b	
血下連棒	B5	D17-18	1062SX	1062SX	07.04.26	1205	686	イソジン	上顎/下顎M	if	?	1	---		
血下連棒	B5	D17-18	1062SX	1062SX	07.04.26	1205	1501	イソジン	上腕骨	<d>	L	1			
血下連棒	B5	D17-18	1062SX	1062SX	07.04.26	1205	1511	イソジン	上腕骨	d	L	1			
血下連棒	B5	D17-18	1062SX	1062SX	07.04.26	1205	1525	イソジン	上腕骨	d	L	1			
血下連棒	B5	D17-18	1062SX	1062SX	07.04.26	1205	2026	イソジン	脛骨	<p>-<d>	R	1			12.4
血下連棒	B5	D18	1062SX	1062SX	07.04.26	1206	564	イソジン	下顎骨	[P2×P3P4×M1×]	R	1			
血下連棒	B5	N-O/17-18	1505SX	1062SX	07.04.26	1206	627	イソジン	上顎/下顎P		?	1			
血下連棒	B5	N-O/17-18	1505SX	1505SX	07.06.28	2739	2979	イソジン	脛骨	m	*	1			10.8
血下連棒	B5	N-O/17-18	1505SX	1505SX	07.06.28	2739	2380	ウシ	下顎M3		L	1			
血下連棒	B5	N-O/17-18	1505SX	1505SX	07.06.28	2739	2380	ウシ	後頭頂		R	1			
血下連棒	B5	N-O/17-18	1505SX	1505SX	07.06.28	2739	2725	ウシ	上顎臼歯		L	1			
血下連棒	B5	N-O/17-18	1505SX	1505SX	07.06.28	2739	2367	ウシ	脛骨		R	1			
血下連棒	B5	N-O/17-18	1505SX	1505SX	07.06.28	2739	2568	ウシ	距骨		L	1			
血下連棒	B5	N-O/17-18	1505SX	1505SX	07.06.28	2739	2500	ウシ/ウマ	大腿骨	m	?	1			幼獣
血下連棒	B5	O-PI8	1506SX	P-Q/16-18	07.06.28	2735	1958	イソジン	軸椎		-	1			成
血下連棒	B5	M13	1634SX	1634SX	07.07.27	3465	3090	ウシ	寛骨	臼	R	1			
血下連棒	B5	M-N/13-14	1634SX	1634SX	07.08.01	5137	2097	イソジン	頸骨	<p>-<m>	R	1			
血下連棒	B5	M-N/13-14	1634SX	1634SX	07.08.01	5137	2729	ウシ	頸骨		R	1			
血下連棒	B5	M-N/13-14	1634SX	1634SX	07.08.01	5137	2374	ウシ	下顎M1/2		L	1			
血下連棒	B5	M-N/13-14	1634SX	1634SX	07.08.01	3592	2399	ウシ	下顎M2		L	1			
血下連棒	B5	M-N/13-14	1634SX	1634SX	07.08.01	5137	2586	ウシ	基節骨	d	?	1			
血下連棒	B5	M-N/13-14	1634SX	1634SX	07.08.01	5137	2578	ウシ	中節骨	p-d	?	1			
血下連棒	B5	M-N/13-14	1634SX	1634SX	07.08.01	3592	2368	ウシ	上顎臼歯		L	1			
血下連棒	B5	S12	4681SX	4681SX	07.12.13	4850	150	イソジン	大腿骨	<p>-<d>	L	1			12.5
血下連棒	B5	S12	4681SX	4681SX	07.12.13	4850	2336	ウシ/ウマ	椎骨		-	1			
血下連棒	B5	S12	4681SX	4681SX	07.12.13	4850	2472	ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1			
血下連棒	B5	S13	4681SX	4681SX	07.12.13	4846	54	ウシ	下顎骨	[P1×P2×P3×]	L	1			
血下連棒	B5	S13	4681SX	4681SX	07.12.13	4846	11	ウシ	下顎骨	[P3P4M]	R	1	M1+++	f	
血下連棒	B5	S13	4681SX	4681SX	07.12.11	4817	2203	ウシ	肩甲骨	d	L	1			
血下連棒	B5	S13	4681SX	4681SX	07.12.11	4846	288	イソジン	脛骨	(d+)	L	1			
血下連棒	B5	S13	4681SX	4681SX	07.12.13	4846	2702	ウシ	脛骨		L	1			
血下連棒	B5	S13	4681SX	4681SX	07.12.07	4756	2572	ウシ	距骨	p	R	1			
血下連棒	B5	S13	4681SX	4681SX	07.12.13	4846	2609	ウシ	中足骨		R	1			
血下連棒	B5	S13	4681SX	4681SX	07.12.07	4756	2378	ウシ	上顎臼歯		R	1			
血下連棒	B5	S13	4681SX	4681SX	07.12.11	4817	3092	ウシ	脛骨	p-(d+)	R	1			
血下連棒	B5	S13	4681SX	4681SX	07.12.07	4756	2324	ウシ/ウマ	胸椎	if	-	1			カットマーク
血下連棒	B5	S13	4681SX	4681SX	07.12.13	4846	2515	ウシ/ウマ	椎骨		-	1			
血下連棒	B5	S14	4681SX	4681SX	07.12.05	14724	2794	ウシ	寛骨	臼	R	1			
血下連棒	B5	S14	4681SX	4681SX	07.12.05	14724	1428	イソジン	大腿骨	<p>-<d>	L	1			12.0
血下連棒	B5	S14	4681SX	4681SX	07.12.05	14724	1790	イソジン	大腿骨	m	L	1			
血下連棒	B5	S14	4681SX	4681SX	07.12.05	14724	1789	イソジン	大腿骨	m	R	1			
血下連棒	B5	S14	4681SX	4681SX	07.12.05	14724	2668	ウシ	中手骨	p	L	1			
血下連棒	B5	S14	4681SX	4681SX	07.12.05	14724	2559	ウシ	踵骨		R	1			
血下連棒	B5	S14	4681SX	4681SX	07.12.07	4757	2354	ウシ	下顎臼歯		L	1			
血下連棒	B5	S14	4681SX	4681SX	07.12.05	14724	2383	ウシ/ウマ	頸椎		-	1			
血下連棒	B5	T12	4681SX	4681SX	07.12.12	4838	3003	ウシ	下顎1		L	1			
血下連棒	B5	T12	4681SX	4681SX	07.12.12	4837	2520	ウシ	肩甲骨	<d>	R	1			幼獣
血下連棒	B5	T13	4681SX	4681SX	07.12.10	4799	3116	イソジン	上顎骨	[M1×M2]	L	1	++	c	
血下連棒	B5	T13	4681SX	4681SX	07.12.12	4836	3009	イソジン	下顎骨	[dm1×dm2×dm3×]	L	1			
血下連棒	B5	T13	4681SX	4681SX	07.12.10	4799	2290	ウシ	尺骨	p	R	1			
血下連棒	B5	T13	4681SX	4681SX	07.12.12	4836	2657	ウシ	中手骨	m<-<d>	L	1			幼獣
血下連棒	B5	T13	4681SX	4681SX	07.12.05	14721	2417	ウシ	大腿骨	(p->m)	R	1			幼獣
血下連棒	B5	T13	4681SX	4681SX	07.12.10	4799	2498	ウシ	脛骨	m	L	1			31.8 幼獣

第107表-32. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インシムとしたものはブタの可能性のあるものを含む.

\*\* 残存位置凡例: w:骨片, p:近位端, m:骨幹, d:遠位端, (g)-(d)は葉巻合の骨端のみ, (g)-(d)は骨端葉巻合形跡, <g>-(d)は骨端のみ欠損, 頸骨については, [ ]:頸骨残存範囲, ( ) : 萌出中の歯, < > : 萌出中の歯, < > : 未萌出歯, x : 脱落.

層群	大 クワッド	小 クワッド	遺構名	集計 単位	取上 番号	取上日	右標 (後) 番号	骨番 号	種類1	部位	残存位置*2	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	備考
III下遺構	B5	T13	4681SX	4681SX	422	07.12.11	4824	2516	ウシ	距骨	m	R 1			
III下遺構	B5	T13	4681SX	4681SX		07.12.10	4799	2571	ウシ	距骨		L 1			
III下遺構	B5	T13	4681SX	4681SX		07.12.05	14721	2571	ウシ	距骨		L 1			
III下遺構	B5	T13	4681SX	4681SX		07.12.10	4799	2543	ウシ	距骨		R 1			
III下遺構	B5	T13	4681SX	4681SX		07.12.10	4799	2064	ウシ	中足骨	<d>	? 1			
III下遺構	B5	T13	4681SX	4681SX		07.12.10	4799	2960	ウシ	上顎P2		L 1			
III下遺構	B5	T13	4681SX	4681SX		07.12.12	4836	2570	ウシ	踵骨		L 1			
III下遺構	B5	T14	4681SX	4681SX		07.12.10	4799	2719	ウシ/ウマ	椎骨		- 1			
III下遺構	B5	T14	4681SX	4681SX	420	07.12.10	4822	2312	ウシ	下顎骨	[吻P2×P3×P4M1M2M3]	L 1			
III下遺構	B5	T14	4681SX	4681SX		07.12.12	4833	3224	ウシ	下顎		* 1			
III下遺構	B5	T14	4681SX	4681SX	419	07.12.10	4821	418	ウシ	上腕骨	p	L 1			カットマーク
III下遺構	B5	T14	4681SX	4681SX	414	07.12.07	4769	416	ウシ	上腕骨	p-m	L 1			カットマーク
III下遺構	B5	T14	4681SX	4681SX		07.12.12	4833	2413	ウシ	上腕骨	d	R 1			カットマーク
III下遺構	B5	T14	4681SX	4681SX	418	07.12.10	4820	392	ウシ	上腕骨	d	R 1			
III下遺構	B5	T14	4681SX	4681SX		07.12.12	4833	2707	ウシ	中手/中足骨	臼	? 1			
III下遺構	B5	T14	4681SX	4681SX		07.12.12	4833	2648	ウシ	中手/中足骨	d	L 1			
III下遺構	B5	T14	4681SX	4681SX		07.12.12	4833	2385	ウシ	下顎臼歯		R 1			
III下遺構	B5	T14	4681SX	4681SX	421	07.12.10	4823	382	ウシ	椎骨	p	L 1			
III下遺構	B5	T14	4681SX	4681SX		07.12.12	4833	2504	ウシ	尺骨	p	R 1			
III下遺構	B5	T14	4681SX	4681SX		07.12.12	4833	2721	ウシ/ウマ	椎骨		- 1			
III下遺構	B5	T14	4681SX	4681SX		07.12.12	4833	2888	ウシ	連合頰椎		- 1			
III下遺構	B5	T14	4681SX	4681SX		07.12.12	4833	2892	ウシ	頰椎		- 1			
III下遺構	B5	T15	4681SX	4681SX		07.12.07	4764	2333	ウシ/ウマ	椎骨		- 1			
III下遺構	C5	A13	4681SX	4681SX		07.12.07	4761	89	ウシ/ウマ	大腿骨	m	R 1			16.8
III下遺構	C5	A14	4681SX	4681SX		07.12.12	4840	1562	ウシ	大腿骨	<p>-<d>	R 1			10.6
III下遺構	C5	A14	4681SX	4681SX		07.12.07	4766	2597	ウシ	前頭骨	角	? 1			
III下遺構	C5	A14	4681SX	4681SX	413	07.12.07	4768	381	ウシ	椎骨	p	R 1			31.6
III下遺構	C5	A14	4681SX	4681SX	413	07.12.07	4768	388	ウシ	尺骨	p	R 1			
III下遺構	C5	A14	4681SX	4681SX	412	07.12.06	4754	386	ウシ	中手骨	p+d	L 1			
III下遺構	C5	A14	4681SX	4681SX		07.12.07	4766	2671	ウシ	中手骨	<p>-<d>	R 1			
III下遺構	C5	A14	4681SX	4681SX		07.12.07	4766	2542	ウシ	踵骨		R 1			
III下遺構	C5	A14	4681SX	4681SX		07.12.07	4766	2807	ウシ	中足骨	p	? 1			
III下遺構	C5	A14	4681SX	4681SX		07.12.07	4766	2583	ウシ	中足骨	p	R 1			
III下遺構	C5	A14	4681SX	4681SX		07.12.07	4766	2415	ウシ	大腿骨	p	R 1			
III下遺構	C5	A14	4681SX	4681SX		07.12.07	4766	2327	ウシ/ウマ	胸椎		- 1			
IV	B5	N-P/12-16	1510SD	1510SD		07.05.22	2161	2638	ウシ	中手骨	p	R 1			
IV	B5	N-P/12-16	1510SD	1510SD		07.05.22	2161	2647	ウシ	中手/中足骨	d	? 1			
IV	B5	O17	1510SD	1510SD		07.08.30	3975	2373	ウシ	下顎M1/2		L 1			
IV	B5	O17	1510SD	1510SD		07.08.24	3939	2527	ウシ	椎骨	p	L 1			
IV	B5	O17	1510SD	1510SD		07.08.30	3975	2611	ウシ	中節骨	p+d	? 1			
IV	B5	O17	1510SD	1510SD		07.08.30	3975	2347	ウシ	上顎臼歯		R 1			
IV	B5	O17	1510SD	1510SD		07.08.30	3975	2534	ウシ	椎骨	m	L 1			
IV	B5	O17	1510SD	1510SD		07.08.24	3939	2523	ウシ	尺骨	p	L 1			
IV	B5	O17	1510SD	1510SD		07.08.24	3939	2507	ウシ/ウマ	肋骨	m	? 1			
IV	B5	P17	1510SD	1510SD		07.08.24	3956	778	ウシ/ウマ	椎骨		- 1			
IV	B5	P17	1510SD	1510SD		07.08.24	3956	3023	ウシ	後頭骨		R 1			16.2
IV	B5	P17	1510SD	1510SD		07.08.24	3956	3022	ウシ	後頭骨		L 1			13.0
IV	B5	P17	1510SD	1510SD		07.08.24	3956	1529	ウシ	後頭骨	m<d>	L 1			11.5
IV	B5	P17	1510SD	1510SD		07.08.24	3956	1521	ウシ	後頭骨	m-d	L 1			14.0
IV	B5	P17	1510SD	1510SD		07.08.24	3956	2098	ウシ	後頭骨	<p>-<m>	R 1			
IV	B5	P17	1510SD	1510SD		07.08.24	3956	2008	ウシ	後頭骨	p	L 1			
IV	B5	P17	1510SD	1510SD		07.08.24	3956	2727	ウシ	後頭骨	後頭頂	L 1			
IV	B5	P17	1510SD	1510SD		07.08.24	3956	2392	ウシ	上顎P2		L 1			
IV	B5	P17	1510SD	1510SD		07.08.24	3956	2406	ウシ	上顎P3		L 1			
IV	B5	P17	1510SD	1510SD		07.08.24	3956	2409	ウシ	上顎P3		R 1			
IV	B5	P17	1510SD	1510SD		07.08.24	3956	2408	ウシ	上顎M2		R 1			
IV	B5	P17	1510SD	1510SD		07.08.24	3956	2387	ウシ	下顎M1/2		R 1			
IV	B5	P17	1510SD	1510SD		07.08.24	3956	2505	ウシ	椎骨	p	L 1			





第107表-34. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インジシレたものはブタの可能性のあるものを含む.

\* 残存位置凡例: v残存, p近位置, m骨幹, o遠位置, \*破片 (p)・(d)は未整合の骨髄のみ, (p)・(d)は骨髄未整合脱落, <p>・<d>は骨髄のみ欠損, 頸骨については, [ ] : 頸骨残存範囲, ( ) : 萌出中の歯, <v> : 未萌出歯, × : 脱落.

層様	大 クワッド	小 クワッド	遺構名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 番号	骨番 号	種群*1	部位	残存位置*2	数	左右	咬耗 状況	咬耗 長(mm)	備考
IV	B5	Q17	1510SD	1510SD	07.09.05	4016	2471	ウシ/ウマ	ウシ/ウマ	肋骨	m	?	?			
IV	B5	Q17	1510SD	1510SD	07.08.24	3929	2482	ウシ/ウマ	ウシ/ウマ	肋骨	m	?	?			
IV	B5	Q18	1510SD	1510SD	07.09.05	4017	2748	イヌ	イヌ	肋骨	m	?	?			
IV	B5	Q18	1510SD	1510SD	07.08.24	3936	3278	イナシ	イナシ	切歯骨	[112×13×]	R	1			
IV	B5	Q18	1510SD	1510SD	07.09.05	4017	2178	イナシ	イナシ	肋骨	<p>・<d>	R	1		14.5	
IV	B5	Q18	1510SD	1510SD	07.09.06	4033	3078	イナシ?	イナシ?	四肢骨	m	?	?			
IV	B5	Q18	1510SD	1510SD	07.09.05	4017	2401	ウシ	ウシ	上顎M1	[物dml]×dm2×dm3×]	R	1			
IV	B5	Q18	1510SD	1510SD	07.09.05	4017	2315	ウシ	ウシ	下顎骨	L	1	1			
IV	B5	Q18	1510SD	1510SD	07.09.05	4017	3204	ウシ	ウシ	下顎dm	L	1	1			
IV	B5	Q18	1510SD	1510SD	07.09.05	4017	2398	ウシ	ウシ	上顎/下顎臼歯	fr	?	?			
IV	B5	Q18	1510SD	1510SD	07.09.05	4017	2199	ウシ	ウシ	肩甲骨	d	R	1			
IV	B5	Q18	1510SD	1510SD	07.09.06	4033	2670	ウシ	ウシ	牛手骨	<p>・<d>	R	1			
IV	B5	Q18	1510SD	1510SD	07.09.06	4033	3091	ウシ	ウシ	寛骨	臼	R	1			
IV	B5	Q18	1510SD	1510SD	07.09.05	4017	2595	ウシ	ウシ	趾蓋骨	臼	L	1			
IV	B5	Q18	1510SD	1510SD	07.08.24	3936	2353	ウシ/ウマ	ウシ/ウマ	頭椎	fr	-	1			
IV	B5	Q18	1510SD	1510SD	07.12.03	14623	2452	ウシ/ウマ	ウシ/ウマ	肋骨	m	?	?			
IV	B5	Q18	1510SD	1510SD	07.08.24	3936	2709	ウシ/ウマ	ウシ/ウマ	肋骨	p	?	?			
IV	B5	R18	1510SD	1510SD	07.12.03	14623	2761	イヌ	イヌ	下顎M1	p	L	1			
IV	B5	R18	1510SD	1510SD	07.12.03	14623	2980	イナシ	イナシ	機骨	(p)・m	R	1		13.1	
IV	B5	R18	1510SD	1510SD	07.12.03	14623	2375	ウシ	ウシ	上顎M1	L	1	1			
IV	B5	R18	1510SD	1510SD	07.12.03	14623	2402	ウシ	ウシ	上顎M1	L	1	1			
IV	B5	R18	1510SD	1510SD	07.12.03	14623	2398	ウシ	ウシ	上顎M3	L	1	1			
IV	B5	J-M/6-9	3507SD	-	07.12.03	14623	2446	ウシ/ウマ	ウシ/ウマ	肋骨	m	?	?		37.9	
IV	B5	B12	4409SX	4409SX	07.05.28	2251	2428	ウシ	ウシ	肋骨	m<d>	R	1			
IV	B5	B12	4409SX	4409SX	07.09.28	4561	2217	イナシ	イナシ	肩甲骨	d	R	1			
IV	B5	B12	4409SX	4409SX	07.10.02	4570	1395	イナシ	イナシ	上腕骨	<d>	R	1			
IV	B5	B12	4409SX	4409SX	07.10.02	4570	1635	イナシ	イナシ	尺骨	p	L	1			
IV	B5	B12	4409SX	4409SX	07.09.28	4561	1863	イナシ	イナシ	尺骨	p	R	1			
IV	B5	B12	4409SX	4409SX	07.09.28	4561	1982	イナシ	イナシ	尺骨	m	R	1			
IV	B5	B12	4409SX	4409SX	07.09.28	4561	2170	イナシ	イナシ	肋骨	<p>	R	1			
IV	B5	B12	4409SX	4409SX	07.10.02	4570	2100	イナシ	イナシ	肋骨	(d)	R	1			
IV	B5	B12	4409SX	4409SX	07.09.28	4561	2083	イナシ	イナシ	距骨	L	1	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	1045	フェウキギイ科	フェウキギイ科	主上顎骨	L	1	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	1294	フェウキギイ科	フェウキギイ科	前上顎骨	R	1	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	1268	フェウキギイ科	フェウキギイ科	歯骨	L	1	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	811	アオアタイ属	アオアタイ属	上顎頭骨	L	1	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	07.09.28	4733	741	ハリセンボソ科	ハリセンボソ科	前上顎/歯骨		-	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5088	768	ハリセンボソ科	ハリセンボソ科	前上顎/歯骨		-	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	07.10.04	4650	771	ハリセンボソ科	ハリセンボソ科	前上顎/歯骨		-	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	794	ハリセンボソ科	ハリセンボソ科	前上顎/歯骨		-	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	961	眞骨類(同定不可)	眞骨類(同定不可)	椎骨		-	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	544	ツツガノ類	ツツガノ類	縁骨板		?	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	2962	ツツガノ類	ツツガノ類	腹甲板		?	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	07.09.28	4567	3025	イナシ	イナシ	側頭骨		R	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	3145	イナシ	イナシ	上顎M3	d	R	1	+++,+,+		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	3185	イナシ	イナシ	下顎3	L	1	1			♂
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	3218	イナシ	イナシ	下顎3	L	1	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	07.10.02	4586	221	イナシ	イナシ	肩甲骨	d	L	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	222	イナシ	イナシ	肩甲骨	d	L	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	07.10.04	4649	2136	イナシ	イナシ	肩甲骨	d	R	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	268	イナシ	イナシ	肩甲骨	d	R	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	1743	イナシ	イナシ	上腕骨	m	L	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	07.09.28	4567	1503	イナシ	イナシ	上腕骨	m<d>	R	1		14.2	幼獣
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	95	イナシ	イナシ	上腕骨	<d>	L	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	100	イナシ	イナシ	上腕骨	<d>	L	1			
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	84	イナシ	イナシ	上腕骨	<d>	R	1			

第107表-35. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インジキとしたものはブタの可能性のあるものを含む.  
 \* 残存位置凡例: v=残存, p=近位端, m=背端, d=遠位端, f=破片, (p)-(d)=骨端未整合脱落, <p>-<d>は骨端のみ欠損, 頸骨については: [ ]:頸骨残存範圍, ( ):萌出中の歯, <>:未萌出歯, x:脱落.

標準 層位	大 クワッド	小 クワッド	遺体名	集計 単位	取上 番号	取上日	右機 (後) 番号	骨番号	種類#1	部位	残存位置*2	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	備考
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	06		インジキ	上腕骨	<d>	R	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	182		インジキ	腕骨	p	R	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	2106		インジキ	腕骨	m	?	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	232		インジキ	尺骨	p	L	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	270		インジキ	尺骨	p	L	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	271		インジキ	尺骨	p	L	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	07.10.02	4584	1422		インジキ	尺骨	p	L	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	07.09.28	4567	1666		インジキ	尺骨	p	R	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	261		インジキ	尺骨	p	R	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	263		インジキ	尺骨	p	R	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	300		インジキ	手根骨	p	*	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	3035		インジキ	第4中手骨	p	R	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	1431		インジキ	大腿骨	<p>-<m>	L	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	1765		インジキ	大腿骨	<d>	L	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	1560		インジキ	大腿骨	<d>	L	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	2144		インジキ	脛骨	<p>	R	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	07.09.28	4567	2228		インジキ	脛骨	m	L	1	10.2	
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	07.10.02	4584	2234		インジキ	脛骨	m	R	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	07.10.04	4650	2087		インジキ	脛骨	m-d	L	1	15.0	
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	07.10.04	4637	2055		インジキ	脛骨	d	L	1	14.5	
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	183		インジキ	脛骨	d	L	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	111		インジキ	脛骨	d	R	1		12.5 種
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	07.10.04	4637	2221		インジキ	距骨	p	L	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	07.09.28	4567	2052		インジキ	距骨	p	R	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	238		インジキ	踵骨	p	L	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	284		インジキ	踵骨	p	L	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	239		インジキ	踵骨	p	R	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	279		インジキ	踵骨	p	R	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	1559		インジキ	踵骨	p	R	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	07.10.04	4637	3005		インジキ	基節骨	p-d	?	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	2750		哺乳類(同定不可)	四肢骨	m	?	1		
IV	B5	B13	4409SX	4409SX	08.01.09	5090	1171		ジュモシ	肋骨	p	?	1		
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.10.04	4626	879		シロクワケラ類	下頰頭骨		-	1		
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.10.12	4698	-		ウツカス類	下頰板		R	1		
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.10.12	4698	2093		インジキ	肩甲骨	<d>	R	1		
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.10.11	4693	44		インジキ	上腕骨	m-<d>	L	1	8.6	幼獣
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.09.28	4552	1519		インジキ	上腕骨	m-d	L	1		
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.09.28	4552	1490		インジキ	上腕骨	<d>	L	1		
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.09.28	4552	1495		インジキ	上腕骨	<d>	L	1	11.0	
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.10.03	4624	2266		インジキ	上腕骨	<d>	L	1		
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.10.16	4714	1468		インジキ	上腕骨	<d>	L	1		
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.09.28	4552	1391		インジキ	上腕骨	<d>	R	1		
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.10.02	4578	1400		インジキ	上腕骨	<d>	R	1		
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.10.12	4698	1380		インジキ	上腕骨	d	R	1		
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.10.12	4698	2293		インジキ	腕骨	(p)	R	1	11.1	
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.10.03	4624	2114		インジキ	腕骨	m	?	1		
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.09.28	4552	1614		インジキ	尺骨	p	L	1		
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.09.28	4552	1619		インジキ	尺骨	p	L	1		
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.10.12	4698	1623		インジキ	尺骨	p	L	1		
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.09.28	4552	1654		インジキ	尺骨	p	R	1		
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.10.12	4698	2145		インジキ	脛骨	<p>	R	1		
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.10.16	4714	2248		インジキ	脛骨	m	L	1	13.2	
IV	B5	C12	4409SX	4409SX	07.09.28	4552	1591		インジキ	踵骨	p	R	1		
IV	B5	C13	4409SX	4409SX	07.09.28	4558	781		哺乳類(同定不可)	前上頰骨	m	-	1		
IV	B5	C13	4409SX	4409SX	07.10.16	4724	1776		インジキ	上腕骨	m	R	1		
IV	B5	C13	4409SX	4409SX	07.10.16	4724	1518		インジキ	上腕骨	m-d	L	1		
IV	B5	C13	4409SX	4409SX	07.10.02	4572	2112		インジキ	腕骨	m	?	1		
IV	B5	C13	4409SX	4409SX	07.09.28	4558	1669		インジキ	尺骨	p	R	1		
IV	B5	C13	4409SX	4409SX	07.09.28	4558	2086		インジキ	尺骨	p	L	1		

第107表-36. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インデックスとしたものはブタの可能性のあるものを含む.

\*\* 残存位置凡例: w(咬痕), v(咬痕), n(近位端), m(骨幹), d(遠位端), r(破片), (p)<(d)<は未鑑定合脱離, (p)<(d)<は骨端のみ欠損, 頸骨については, [ ]: 頸骨残存範囲, ( ): 萌出中の歯, <>: 萌出中の歯, <>: 未萌出歯, ×: 脱落.

種別	大 クラッド	小 クラッド	遺標名	集計 単位	取上 番号	取上日	右側 (後) 番号	骨 番号	種別1	部位	残存位置*2	左右 数	咬痕 状況	咬痕 段階	SD (mm)	備考
IV	B5	C13	4409SX	4409SX	07.09.28	4556	1892	インデックス	頤骨		L	1				
IV	B5	C13	4409SX	4409SX	07.09.28	4558	1548	インデックス	頤骨		R	1				
IV	B5	C13	4409SX	4409SX	07.10.02	4572	1558	インデックス	頤骨		R	1				
IV	B5	C13	4409SX	4409SX	07.10.02	4572	2005	インデックス	中手/中足骨	d	?	1				
IV	B5	C13	4409SX	4409SX	07.09.28	4556	1997	インデックス	中趾骨		?	1				
Va	B5	B12	4409SX	4409SX	07.10.04	4643	1389	インデックス	上腕骨	m	R	1				
Va	B5	B12	4409SX	4409SX	07.10.16	4709	2077	インデックス	腕骨	p-m	R	1		12.6		
Va	B5	B12	4409SX	4409SX	07.10.16	4709	1435	インデックス	大腿骨	p-m	L	1				
Va	B5	B12	4409SX	4409SX	07.10.16	4709	-	ジュゴン?	未確認		?	1				
Va	B5	C12	4409SX	4409SX	07.10.04	4630	1396	インデックス	上腕骨	m<d>	R	1		11.8		
Va	B5	C12	4409SX	4409SX	07.10.04	4630	1394	インデックス	上腕骨	<d>	L	1				
Va	B5	C12	4409SX	4409SX	07.10.04	4630	1441	インデックス	上腕骨	<d>	R	1				
Va	B5	C12	4409SX	4409SX	07.10.03	4631	2074	インデックス	腕骨	p	R	1				
Va	B5	C12	4409SX	4409SX	07.10.04	4630	2247	インデックス	大腿骨	m	R	1				
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	2816	イヌ	頸椎	m	-	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	2818	イヌ	頸椎		-	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	2815	イヌ	腕骨		-	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	253	イヌ	上腕骨	<p>->d	R	1		10.1		同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	327	イヌ	腕骨	p-d	R	1		10.5		同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	328	イヌ	腕骨	p-d	L	1		10.5		同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	333	イヌ	尺骨	p-d	L	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	346	イヌ	尺骨	p-d	R	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	2885	イヌ	第2中手骨	p-d	L	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	2880	イヌ	第2中手骨	p-m	L	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	2884	イヌ	第3中手骨	p-d	L	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	345	イヌ	寛骨	臼	L	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	353	イヌ	寛骨	臼	R	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	332	イヌ	大腿骨	p-d	L	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	331	イヌ	大腿骨	p-d	R	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	348	イヌ	膝蓋骨	p-d	*	1		10.7		同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	330	イヌ	脛骨	p-d	R	1		10.2		同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	329	イヌ	脛骨	<p>->d	L	1		10.2		同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	2817	イヌ	腓骨	d	R	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	343	イヌ	距骨		L	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	344	イヌ	踵骨		L	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	2883	イヌ	第3中足骨	p-d	L	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	2881	イヌ	第4中足骨	p-m	L	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	2882	イヌ	第5中足骨	p-m	L	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	351	イヌ	手/足根骨		*	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	352	イヌ	手/足根骨		*	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	337	イヌ	基節骨	p-d	?	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	339	イヌ	基節骨	p-d	?	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	340	イヌ	基節骨	p-d	?	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	341	イヌ	基節骨	p-d	?	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	342	イヌ	中趾骨	p-d	?	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	335	イヌ	末節骨	p-d	?	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	336	イヌ	末節骨	p-d	?	1				同一個体
Vb	B5	G10	4315SG	4315SG	07.12.17	4931	252	イヌ	肋骨	p	?	1				同一個体
Vb	B5	G12	4800SG	4800SG	08.03.06	758	2813	イヌ	上腕骨	(p)-(d)	R	1		7.5		幼獣
Vb	B5	G12	4800SG	4800SG	08.03.06	758	2812	イヌ	上腕骨	m<d>	L	1		7.7		同一個体
Vb	B5	G12	4800SG	4800SG	08.03.06	758	2712	イヌ	寛骨	臼	L	1				幼獣
Vb	B5	G12	4800SG	4800SG	08.03.06	758	2746	イヌ	寛骨	臼	L	1				幼獣
Vb	B5	G12	4800SG	4800SG	08.03.06	758	2793	イヌ	寛骨	臼	L	1				幼獣
Vb	B5	G12	4800SG	4800SG	08.03.06	758	2745	イヌ	大腿骨	(p)-m	R	1				幼獣
Vb	B5	G12	4800SG	4800SG	08.03.06	758	2814	イヌ	脛骨	(p)	L	1				幼獣
Vb	B5	G12	4800SG	4800SG	08.03.06	758	2262	インデックス	上腕骨	(p)	L	1		6.7		幼獣
Vb	B5	H16	4318SK	F-/16-18	07.12.27	5081	1205	アオブダイ鳳	下咽頭骨		-	1				
Vb	B5	H16	4318SK	F-/16-18	07.12.27	5081	2219	真骨類(未同定)	未確認		*	3				コバンアジ類咽頭骨?
Vb	B5	H16	4318SK	F-/16-18	07.12.27	5081	2985	インデックス	脛骨	(p)	R	1				
Vb	B5	F-/16-17	0658SS	0658SS	07.04.19	1062	1026	クロダク鳳	前上顎骨		R	1				



第107表-37. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インジシヒタヒの可能性があるものを含む.

\* 残存位置凡例: w=骨片, p=近位端, m=骨片, q=遠位端, fr=破片, (p)-(q)は未総合の骨端のみ, (p)-(q)は骨端を総合脱離, <p>-<q>は骨端のみ欠損, 骨片については, [ ], 骨片残存範囲, ( )=前出中の種, <\*>=未明出種, x=脱落.

種別	大 グループ	小 グループ	遺体名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 (機) 番号	骨番 号	種別#1	部位	残存位置#2	数	左右	咬耗 段階	咬耗 状況	SD (mm)	備考
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	1020		クロタノ属	歯骨		L	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	1022		クロタノ属	歯骨		L	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	1821		クロタノ属	歯骨		L	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	1010		クロタノ属	歯骨		R	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	1809		フェウキギノ属	口蓋骨		R	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	1263		フェウキギノ属	前上顎骨		L	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	1264		フェウキギノ属	前上顎骨		L	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	1297		フェウキギノ属	前上顎骨		R	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	1298		フェウキギノ属	前上顎骨		R	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	1683		フェウキギノ属	歯骨		L	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1068	1250		フェウキギノ属	歯骨		R	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	1123		フェウキギノ属	角骨		L	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	1827		フェウキギノ属	方骨		L	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	915		フェウキギノ属	腹椎		-	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1072	1201		タイ狸	椎骨		-	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	816		アオブダイ属	下咽頭骨		-	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	825		アオブダイ属	前上顎骨		L	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	826		アオブダイ属	前上顎骨		L	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	832		アオブダイ属	歯骨		R	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	2506		真骨鱗(同定不可)	角骨		R	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	909		真骨鱗(同定不可)	椎骨		-	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	2900		ウミガメ類	尺骨		R	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	572		インシ	上顎骨	[P2×P3×P4×M1×M2]	L	1	(+)	+++		
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	653		インシ	上顎骨	[C×P2×P3×P4×X]	R	1	M2(+),++/M3+++,+++,+++			
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	550		インシ	上顎骨	[M2M3]	R	1		i/k		
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	3129		インシ	下顎骨	fr	?	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	647		インシ	下顎C		L	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	697		インシ	下顎C		L	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	639		インシ	下顎M1		R	1	++	++	f	
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	675		インシ	下顎M3		L	1	++	++	e	
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	625		インシ	上顎/下顎D		?	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	631		インシ	上顎/下顎D		?	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1022	3095		インシ	上顎/下顎M	fr	?	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	691		インシ	肩甲骨	<d>	R	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	2092		インシ	大腸骨	(d-)	R	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	1753		インシ	脛骨	<p>	L	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	1918		インシ	脛骨	<p>	L	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1022	3093		インシ	中手/中足骨	d	?	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	3043		インシ	前上顎/歯骨	d	?	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	796		ハリセンボノ科	角骨		L	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1068	5067		フェウキギノ属	歯骨		L	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1048	5068		フェウキギノ属	歯骨		R	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	779		ハリセンボノ科	歯骨		L	1				
Vb	B5	F-G/16-17	0656S5	0656S5	07.04.19	1062	2257		インシ	第4中手骨	p	L	1				
Vb	B5	F13	431SX	431SX	195-3	07.09.19	4071	311	インシ	胸椎		-	1				
Vb	B5	F13	431SX	431SX	195-7	07.09.19	4075	312	インシ	胸椎		-	1				
Vb	B5	F13	431SX	431SX	195-1	07.09.19	4069	303	インシ	腰椎		-	1				
Vb	B5	F13	431SX	431SX	195-2	07.09.19	4070	305	インシ	腰椎		-	1				
Vb	B5	F13	431SX	431SX	195-5	07.09.19	4073	68	インシ	肩甲骨	d	L	1				
Vb	B5	F13	431SX	431SX	195-6	07.09.19	4074	184	インシ	歯骨	p-d	R	1				
Vb	B5	F13	431SX	431SX	195-4	07.09.19	4072	193	インシ	歯骨	d	R	1				
Vb	B5	F13	431SX	431SX	195-9	07.09.19	4076	277	インシ	距骨		R	1				
Vb	B5	F13	431SX	431SX	195-8	07.09.19	4077	2192	インシ	踵骨		R	1				
Vb	B5	009	0586SZ	0586SZ	190	07.08.29	3864	1194	ジュゴン	肋骨		?	1				
Vb	B5	J11	0586SZ	0586SZ	165	07.08.14	3811	413	イヌ	頭頂骨		-	1				
Vb	B5	J11	0586SZ	0586SZ	165	07.08.14	3811	413	イヌ	歯頭骨+後頭骨		L-R	1				
Vb	B5	J11	0586SZ	0586SZ	165	07.08.14	3811	412	イヌ	[PPMIM2]		R	1				
Vb	B5	J11	0586SZ	0586SZ	165	07.08.14	3811	410	イヌ	上顎骨+頬骨	[PM]	L	1				
Vb	B5	J11	0586SZ	0586SZ	166	07.08.14	3812	401*	イヌ	上顎骨	[C×P1P2×PPMIM2×MB×關節突起]	L	1				
Vb	B5	J11	0586SZ	0586SZ	165	07.08.14	3811	72.73	イヌ?	頭骨		?	1				
Vb	B5	-	-	-	08.02.13	749	1079	1079	フェウキギノ属	主上顎骨		L	1				

第107表-38. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インデントしたものはブタの可能性のあるものを示す.

\* 現存位置凡例: w(穿孔), p(近位端), m(背脊), o(遠位端), fr(破片), (p)-(d)は未整合の骨量のみ, (p)-(d)は骨量のみ次項, 頭骨については, [ ]:頭骨残存範囲, ( ):萌出中の歯, <>:未萌出歯, x:脱落.

種別	大	小	遺構名	集計	取上	台帳	骨	種別	部位	残存位置*2	数	状況	咬	SD	備考
	クワッド	クワッド		単位	番号	(袋)	番号	1			左右		痕	(mm)	
V.b	-	-	-	-	08.02.13	749	1807	フェウキヤイ科	前上顎骨		R	1			
V.b	-	-	-	-	08.02.13	749	1808	フェウキヤイ科	歯骨		L	1			
V.b	B5	C17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	946	タウ科	歯骨		-	1			
V.b	B5	C17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	2215	イナシ	肩甲骨	d	R	1			
V.b	B5	C17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	3088	イナシ	中手/中足骨	(d)	?	1			
V.b	B5	D17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	2013	イナシ	中指骨	p	?	1			焼
V.b	B5	D17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	1037	クロダ科	前上顎骨		L	1			
V.b	B5	D17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	1732	フェウキヤイ科	口蓋骨		R	1			
V.b	B5	D17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	1811	フェウキヤイ科	主上顎骨		R	1			
V.b	B5	D17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	1818	フェウキヤイ科	歯骨		R	1			
V.b	B5	D17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	881	シロクラハク科	下咽頭骨		-	1			
V.b	B5	D17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	775	ハクセンボシ科	歯骨		-	1			
V.b	B5	D17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	773	ハクセンボシ科	前上顎/歯骨		-	1			
V.b	B5	D17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	586	イナシ	上顎骨	[P&PAMI x]	R	1			♀
V.b	B5	D17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	573	イナシ	下顎骨	[CP2xP3xP4xM1x]	L	1			♂
V.b	B5	D17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	592	イナシ	下顎C		R	1			
V.b	B5	D17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	1960	イナシ	軸椎		-	1			
V.b	B5	D17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	2070	イナシ	肩甲骨	<d->	L	1			
V.b	B5	D17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	2135	イナシ	肩甲骨	d	R	1			
V.b	B5	D17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	1509	イナシ	上腕骨	<d->	L	1			
V.b	B5	D17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	1907	イナシ	腕骨	p	L	1			
V.b	B5	D17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	2176	イナシ	腕骨	p	R	1			
V.b	B5	D17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	1603	イナシ	尺骨	p	L	1			
V.b	B5	D17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	1651	イナシ	尺骨	p	R	1			
V.b	B5	D17	-	C-D/17-18	07.10.15	4701	3087	イナシ	中手/中足骨	(d)	?	1			
V.b	B5	D18	-	C-D/17-18	07.10.15	4699	1545	イナシ	腕骨		R	1			
V.b	B5	F17	-	F-4/16-18	07.12.25	5008	1317	フェウキヤイ科	歯骨		R	1			
V.b	B5	F17	-	F-4/16-18	07.12.25	5008	462	フェウキヤイ科	前上顎/歯骨	fr	?	1			
V.b	B5	F17	-	F-4/16-18	07.12.25	5008	477	ウミガメ類	寛骨		*	1			
V.b	B5	F17	-	F-4/16-18	07.12.25	5008	515	ウミガメ類	寛骨		*	1			
V.b	B5	F17	-	F-4/16-18	07.12.25	5008	38	イナシ	上顎/下顎P		?	1			
V.b	B5	F17	-	F-4/16-18	07.12.25	5008	39	イナシ	上顎/下顎P		?	1			
V.b	B5	F17	-	F-4/16-18	07.12.25	5008	36	イナシ	上顎/下顎M	fr	?	1			
V.b	B5	F17	-	F-4/16-18	07.12.25	5008	37	イナシ	上顎/下顎M	fr	?	1			
V.b	B5	F17	-	F-4/16-18	07.12.25	5008	81	イナシ	上腕骨	m<d->	R	1			12.2
V.b	B5	F17	-	F-4/16-18	07.12.25	5008	85	イナシ	次腕骨	<p->-<d->	R	1			13.2
V.b	B5	F17	-	F-4/16-18	07.12.25	5008	225	イナシ	種子骨		*	1			
V.b	B5	F17	-	F-4/16-18	07.12.25	5008	190	イナシ?	肋骨		?	1			
V.b	B5	G10	-	G-H/09-12	07.12.21	4979	1047	サメ類	椎骨		-	1			
V.b	B5	G10	-	G-H/09-12	07.12.21	4979	1720	フェウキヤイ科	前上顎骨		L	1			
V.b	B5	G10	-	G-H/09-12	07.11.30	14589	904	ハクセンボシ科	椎骨		-	1			
V.b	B5	G10	-	G-H/09-12	07.12.21	4979	913	真骨鱗(同定不可)	椎骨		-	1			
V.b	B5	G10	-	G-H/09-12	07.12.21	4979	5	イナシ	上顎/下顎M	fr	?	1			
V.b	B5	G10	-	G-H/09-12	07.12.21	4986	1626	イナシ	尺骨	p	L	1			
V.b	B5	G11	-	G-H/09-12	07.12.21	4982	1350	フェウキヤイ科	前上顎骨		L	1			
V.b	B5	G11	-	G-H/09-12	07.12.21	4982	1291	フェウキヤイ科	前上顎骨		R	1			
V.b	B5	G11	-	G-H/09-12	07.12.21	4982	1293	フェウキヤイ科	前上顎骨		R	1			
V.b	B5	G11	-	G-H/09-12	07.12.21	4982	1213	フェウキヤイ科	歯骨		R	1			
V.b	B5	G11	-	G-H/09-12	07.12.21	4982	198	イナシ?	肋骨		?	1			
V.b	B5	G13	-	G-H/13-15	07.11.08	4192	1203	タウ科	前上顎骨	m<d->	R	1			
V.b	B5	G13	-	G-H/13-15	07.11.07	4167	1259	フェウキヤイ科	前上顎骨		R	1			
V.b	B5	G13	-	G-H/13-15	07.11.08	4192	1220	フェウキヤイ科	歯骨		R	1			
V.b	B5	G13	-	G-H/13-15	07.11.08	4192	1299	フェウキヤイ科	歯骨		R	1			
V.b	B5	G13	-	G-H/13-15	07.11.08	4192	426	フェウキヤイ科	前上顎/歯骨	fr	?	1			
V.b	B5	G13	-	G-H/13-15	07.11.08	4192	808	アキアダイ属	上咽頭骨		L	1			
V.b	B5	G13	-	G-H/13-15	07.11.08	4192	467	アキアダイ属	前上顎骨		R	1			
V.b	B5	G13	-	G-H/13-15	07.11.08	4192	424	モンガワカワキ科	背棘線		-	1			
V.b	B5	G13	-	G-H/13-15	07.11.08	4192	1002	モンガワカワキ科	背棘線		-	1			
V.b	B5	G13	-	G-H/13-15	07.11.08	4192	1699	真骨鱗(未同定)	前上顎骨		R	1			無歯タイプ
V.b	B5	G13	-	G-H/13-15	07.11.07	4167	937	真骨鱗(同定不可)	椎骨		-	1			

第107表-39. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* イジシとしたものはブタの可能性のあるものを含む.

\* 残存位置凡例: w=骨, p=近位端, m=骨幹, a=遠位端, r=破片, (○)・(◇)は未鑑定の骨端のみ, (□)・(△)は骨端のみ火損, 骨端については[ ]: 頭骨残存範囲, ( ) : 萌出中の骨, < > : 未萌出骨, x: 脱落.

種別	大 クワッド	小 クワッド	遺構名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 (後) 番号	骨番 号	種類 <sup>1)</sup>	部位	残存位置 <sup>2)</sup>	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
Vh	B5	G13	-	G-H/13-15	07.11.07	4167	-	ウミガメ類	指骨			?				
Vh	B5	G13	-	G-H/13-15	07.11.08	4192	3161	イナシ	上顎骨	[dm3M1(M2)]		L	h-/--			b/a
Vh	B5	G13	-	G-H/13-15	07.11.06	4149	3191	イナシ	下顎骨	[11×12×13×CP2P1M1M2(M3)]		L	+++/+/-/-			d/c/a
Vh	B5	G13	-	G-H/13-15	07.11.07	4167	1781	イナシ	大腿骨	m		L	1			
Vh	B5	G13	-	G-H/13-15	07.11.08	4192	1556	イナシ	踵骨			L	1			
Vh	B5	G14	-	G-H/13-15	07.07.04	2971	1211	フェウキダイト	歯骨			R	1			
Vh	B5	G14	-	G-H/13-15	07.08.24	3940	409	イヌ	前頭骨			L+R	1			
Vh	B5	G14	-	G-H/13-15	07.08.24	3940	408	イヌ	上顎骨	[P.M1×M2×]		L	1			骨番号408と同一個体
Vh	B5	G14	-	G-H/13-15	07.08.24	3940	405	イヌ	前頭骨			R	1			骨番号409と同一個体
Vh	B5	G14	-	G-H/13-15	07.08.24	3940	403	イヌ	側頭骨			L	1			
Vh	B5	G14	-	G-H/13-15	07.08.24	3940	405-407	イヌ	下顎骨	[C×P1×P2×P3×P4M1]		L	1			
Vh	B5	G14	-	G-H/13-15	07.08.24	3940	3271	イヌ	上顎/下顎C			*	1			
Vh	B5	G14	-	G-H/13-15	07.08.24	3940	404	イヌ	腰椎			-	1			
Vh	B5	G14	-	G-H/13-15	07.08.24	3940	2780	イヌ	大腿骨	m		R	1			
Vh	B5	G14	-	G-H/13-15	07.08.29	3965	177	イヌ	脛骨	p		R	1			
Vh	B5	G14	-	G-H/13-15	07.08.24	3940	2785	イヌ	脛骨	m		L	1			
Vh	B5	G14	-	G-H/13-15	07.08.24	3940	2488	ウシ/ウマ	肋骨	m		L	1			
Vh	B5	G14	-	G-H/13-15	07.08.24	3940	2751	哺乳類(同定不可)	肋骨	m		?	1			
Vh	B5	G14	-	G-H/13-15	07.08.29	3965	2292	哺乳類(同定不可)	四肢骨	m		?	1			
Vh	B5	G15	-	G-H/13-15	07.08.15	3885	942	アジ科(大型種)	椎骨			-	1			
Vh	B5	G15	-	G-H/13-15	07.08.15	3885	1280	フェウキダイト	歯骨			R	1			
Vh	B5	G15	-	G-H/13-15	07.08.15	3885	855	フェウキダイト	歯骨			R	1			b/a
Vh	B5	G15	-	G-H/13-15	07.08.15	3885	3160	イナシ	上顎骨	[M2(M3)]		L	1			b/a
Vh	B5	G15	-	G-H/13-15	07.08.15	3885	3138	イナシ	上顎骨	[M2(M3)]		R	1			b
Vh	B5	G15	-	G-H/13-15	07.08.15	3873	2433	ウシ/ウマ	肋骨	m		?	1			
Vh	B5	G17	-	F-/16-18	07.12.20	4954	1748	フェウキダイト	口蓋骨			R	1			
Vh	B5	G17	-	F-/16-18	07.12.20	4954	1736	フェウキダイト	上顎骨			L	1			
Vh	B5	G17	-	F-/16-18	07.10.14	4673	1217	フェウキダイト	前上顎骨			R	1			
Vh	B5	G17	-	F-/16-18	07.12.20	4954	1284	フェウキダイト	前上顎骨			R	1			
Vh	B5	G17	-	F-/16-18	07.10.14	4673	1258	フェウキダイト	歯骨			R	1			
Vh	B5	G17	-	F-/16-18	07.12.20	4954	1136	フェウキダイト	角骨			L	1			
Vh	B5	G17	-	F-/16-18	07.12.20	4954	1140	フェウキダイト	角骨			L	1			
Vh	B5	G17	-	F-/16-18	07.10.14	4673	1337	フェウキダイト	角骨			R	1			
Vh	B5	G17	-	F-/16-18	07.12.20	4954	1824	フェウキダイト	角骨			R	1			
Vh	B5	G17	-	F-/16-18	07.12.20	4954	66	ヘビ類	椎骨			-	1			
Vh	B5	G17	-	F-/16-18	07.12.20	4951	3006	ヘビ類	椎骨			-	1			
Vh	B5	G17	-	F-/16-18	07.12.20	4954	556	リウガメ類	縁骨板			?	1			
Vh	B5	G17	-	F-/16-18	07.09.19	4509	2911	ウミガメ類	肋骨板			?	1			
Vh	B5	G17	-	F-/16-18	07.12.20	4954	530	ウミガメ類	縁骨板			?	1			
Vh	B5	G17	-	F-/16-18	07.12.20	4954	531	ウミガメ類	縁骨板			?	1			
Vh	B5	G17	-	F-/16-18	07.12.20	4954	307	イナシ	椎骨	椎体		-	1			
Vh	B5	G17	-	F-/16-18	07.12.20	4954	91	イナシ	大腿骨	(d)		R	1			14.0
Vh	B5	G17	-	F-/16-18	07.12.20	4954	189	イナシ	腓骨			?	1			
Vh	B5	G17	-	F-/16-18	07.12.20	4954	226	イナシ	基礎骨			?	1			
Vh	B5	G17	-	F-/16-18	07.12.20	4954	211	イナシ?	肋骨			?	1			
Vh	B5	G18	-	F-/16-18	07.12.20	4960	1929	フェウキダイト	主上顎骨			L	1			
Vh	B5	G18	-	F-/16-18	07.12.20	4960	1930	フェウキダイト	主上顎骨			L	1			
Vh	B5	G18	-	F-/16-18	07.12.20	4960	1341	フェウキダイト	前上顎骨			R	1			
Vh	B5	G18	-	F-/16-18	07.12.20	4960	1231	フェウキダイト	歯骨			L	1			
Vh	B5	G18	-	F-/16-18	07.12.20	4960	1207	フェウキダイト	歯骨			R	1			
Vh	B5	G18	-	F-/16-18	07.12.20	4957	1216	フェウキダイト	歯骨			R	1			
Vh	B5	G18	-	F-/16-18	07.12.20	4960	842	アオブダイ属	歯骨			R	1			
Vh	B5	G18	-	F-/16-18	07.12.20	4960	860	アオブダイ属	歯骨			R	1			
Vh	B5	G18	-	F-/16-18	07.05.02	1411	2331	ウミガメ類	縁骨板			?	1			
Vh	B5	G18	-	F-/16-18	07.09.19	4508	3028	イナシ	側頭骨			L	1			
Vh	B5	G18	-	F-/16-18	07.12.20	4960	3146	イナシ	上顎M3			L	1			b
Vh	B5	G18	-	F-/16-18	297	07.12.18	4916	3158	イナシ	[dm1×dm2×dm3M1(M2)]		L	1			a
Vh	B5	G18	-	F-/16-18	297	07.12.18	4916	3190	イナシ	[dm1×dm2×dm3×M1(M2)]		R	1			
Vh	B5	G18	-	F-/16-18	297	07.12.18	4916	3122	イナシ	[dm1×dm2×dm3×M1(M2)]		R	1			
Vh	B5	G18	-	F-/16-18	07.09.19	4508	2995	イナシ	下顎dm3			R	1			
Vh	B5	G18	-	F-/16-18	07.09.19	4508	2995	イナシ	頸椎			-	1			

第107表-40. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インデックスとしたものはブタの可能性のあるものを含む.

\*\* 残存位置凡例: w(残存), p(近位端), m(骨幹), d(遠位端), f(破片), (p)<d>は未鑑定合の骨端のみ, (p)<w><d>は骨端のみ欠損, 頭骨については: [ ], 頭骨残存範囲, ( ): 萌出中の歯, <>: 未萌出歯, ×: 脱落.

種名	小クラッド	大クラッド	遺構名	集計単位	取上番号	取上日	台帳(後)番号	骨番号	種類1	部位	残存位置*2	左右	数	咬耗状況	咬耗段階	SD (mm)	備考
Vb	B5	G18	-	F-/16-18	07.10.14	4677	2165	インデックス	肋骨	p<d>		L	1		14.4		
Vb	B5	G18	-	F-/16-18	07.04.26	1150	1757	インデックス	大腿骨			R	1				
Vb	B5	G18	-	F-/16-18	07.12.20	4960	1545	インデックス	肋骨	<d>		R	1				
Vb	B5	H09	-	G-/09-12	07.11.21	4441	1035	クロタイル	前上顎骨			L	1				
Vb	B5	H09	-	G-/09-12	07.11.22	4492	1339	フェフキタイ科	前上顎骨			R	1				
Vb	B5	H09	-	G-/09-12	07.11.21	4441	896	フェフキタイ科	肋骨			R	1				
Vb	B5	H09	-	G-/09-12	07.11.21	4441	1858	フェフキタイ科	角骨			R	1				
Vb	B5	H09	-	G-/09-12	07.11.22	4492	902	ベウ科A	上顎頭骨			R	1				
Vb	B5	H09	-	G-/09-12	07.11.21	4441	2945	ワマガタ類	縁骨板			R	1				
Vb	B5	H09	-	G-/09-12	07.11.22	4499	-	ワマガタ類	後眼窩骨			L	1				
Vb	B5	H09	-	G-/09-12	07.11.21	4441	2945	ワマガタ類	後眼窩骨			R	1				
Vb	B5	H09	-	G-/09-12	07.11.22	4496	493	ワマガタ類	後眼窩骨			R	1				
Vb	B5	H09	-	G-/09-12	07.11.20	4384	2887	ワマガタ類	末節骨			R	1				
Vb	B5	H09	-	G-/09-12	07.08.15	3835	368	イヌ	下顎骨	[1~]B×CP1×P2P3P4×MIM2×M3×下顎枝]		?	1			完存	
Vb	B5	H09	-	G-/09-12	07.11.22	4492	1499	イヌ	上顎骨	d		L	1				
Vb	B5	H09	-	G-/09-12	07.11.21	4441	2107	インデックス	縁骨	m		?	1				
Vb	B5	H09	-	G-/09-12	07.11.21	4441	1657	インデックス	肋骨	p		R	1				
Vb	B5	H09	-	G-/09-12	07.11.21	4441	1567	インデックス	肋骨	p		R	1				
Vb	B5	H09	-	G-/09-12	07.11.21	4441	1367	インデックス	肋骨	p		R	1				
Vb	B5	H09	-	G-/09-12	07.11.21	4441	3082	インデックス	中手/中足骨	(d)		?	1				
Vb	B5	H09	-	G-/09-12	07.11.21	4441	3079	インデックス	中蓋骨	p+d		?	1				
Vb	B5	H10	-	G-/09-12	07.11.21	4436	1749	フェフキタイ科	口蓋骨			R	1				
Vb	B5	H11	-	G-/09-12	07.11.22	4481	1848	フェフキタイ科	前上顎骨			R	1				
Vb	B5	H11	-	G-/09-12	07.11.22	4481	2822	ワマガタ類	縁骨板			R	1				
Vb	B5	H11	-	G-/09-12	07.11.22	4498	147	イヌ	上顎骨	(p)-(d)		L	1				
Vb	B5	H11	-	G-/09-12	07.11.20	4385	178	インデックス	肋骨	(p)>		R	1				
Vb	B5	H11	-	G-/09-12	07.11.22	4481	1911	インデックス	肋骨	p		R	1				
Vb	B5	H11	-	G-/09-12	07.11.20	4385	290	インデックス	第3中足骨	d		L	1				
Vb	B5	H12	-	G-/09-12	07.07.27	3463	2811	イヌ	前上顎骨			L	1				
Vb	B5	H12	-	G-/09-12	07.12.03	14647	1750	アジ科(大型種)	主観蓋骨			L	1				
Vb	B5	H12	-	G-/09-12	07.07.27	3463	64	イヌ	下顎骨	[1~]B×CP1×P2P3P4×MIM2×M3×下顎枝]		L	1			完存同一個体	
Vb	B5	H12	-	G-/09-12	07.07.27	3463	31	イヌ	肋骨	p		?	1			完存同一個体	
Vb	B5	H13	-	G-/13-15	07.12.03	14647	1506	インデックス	上顎骨	<d>		L	1				幼獣
Vb	B5	H13	-	G-/13-15	07.09.05	3997	1311	フェフキタイ科	歯骨			R	1				
Vb	B5	H13	-	G-/13-15	07.09.05	3997	3216	インデックス	下顎2			R	1				
Vb	B5	H13	-	G-/13-15	07.09.05	3997	2208	インデックス	肩甲骨	d		R	1				
Vb	B5	H14	-	G-/13-15	07.09.05	4002	959	フェフキタイ科?	腹椎			-	1				
Vb	B5	H14	-	G-/13-15	07.09.05	4002	1847	ベウ科	前上顎骨			L	1				
Vb	B5	H14	-	G-/13-15	07.09.05	4002	2329	ウシ/ウマ	腰椎	f		-	1				
Vb	B5	H14	-	G-/13-15	07.09.05	4002	2330	ウシ/ウマ	腰椎	f		-	1				
Vb	B5	H15	-	G-/13-15	07.05.29	2255	5099	ハリセンボン科	前上顎/歯骨			-	1				
Vb	B5	H15	-	G-/13-15	07.05.29	2255	419	ワマガタ類	側頭骨			L	1				
Vb	B5	H15	-	G-/13-15	07.05.29	2255	2855	ワマガタ類	指骨			?	1				
Vb	B5	H15	-	G-/13-15	07.05.29	2255	5100	インデックス	縁骨	(p)		L	1				
Vb	B5	H16	-	F-/16-18	07.12.26	5035	1057	クロタイル	主上顎骨			R	1				
Vb	B5	H16	-	F-/16-18	07.12.26	5035	1024	クロタイル	前上顎骨			L	1				
Vb	B5	H16	-	F-/16-18	07.12.26	5035	1012	クロタイル	歯骨			R	1				
Vb	B5	H16	-	F-/16-18	07.12.26	5035	1013	フェフキタイ科	前上顎骨			L	1				
Vb	B5	H16	-	F-/16-18	08.02.26	674	1342	フェフキタイ科	前上顎骨			R	1				
Vb	B5	H16	-	F-/16-18	07.12.26	5035	1023	フェフキタイ科	歯骨			L	1				
Vb	B5	H16	-	F-/16-18	07.12.26	5035	1023	フェフキタイ科	歯骨			R	1				
Vb	B5	H16	-	F-/16-18	07.12.26	5035	933	フェフキタイ科	腹椎			-	1				
Vb	B5	H16	-	F-/16-18	07.12.26	5035	899	シロクマシラ型	上顎頭骨			L	1				
Vb	B5	H16	-	F-/16-18	07.12.26	5035	817	アオブダイ科	下顎頭骨			-	1				
Vb	B5	H16	-	F-/16-18	07.12.26	5041	859	アオブダイ科	歯骨			R	1				
Vb	B5	H16	-	F-/16-18	07.12.26	5035	922	フタイ科	椎骨			-	1				
Vb	B5	H16	-	F-/16-18	08.02.25	579	734	ハリセンボン科	前上顎骨			-	1				
Vb	B5	H16	-	F-/16-18	07.12.26	5035	926	真骨類(同定不可)	椎骨			-	1				
Vb	B5	H16	-	F-/16-18	08.02.25	580	2992	インデックス	前頭骨	[PAMIM2]		R	1				
Vb	B5	H16	-	F-/16-18	07.12.26	5035	3139	インデックス	上顎骨			L	1				p/c



第107表-41. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* イonsinとしたものはプタの可能性のあるものを含む.

\* 残存位置記号: w=完存, p=近位端, m=骨幹, d=遠位端, fr=破片, (p)・(d)は柔結合の骨端のみ, (p)・(d)・(p-d)は骨端のみ欠損, 頭骨については, [ ]:頭骨残存範囲, ( ) : 萌出中の歯, < > : 未萌出歯, \* : 脱臼.

層位	大 グリッド	小 グリッド	連棟名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 (巻) 番号	骨 番 号	種類 <sup>*)</sup>	部位	残存位置 <sup>*)</sup>	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
Vb	B5	H16	-	F-/16-18	500	07.12.21	4997	3192	イonsin	下顎骨	[C×P2B×P4M1M2M3]	R	1			♂
Vb	B5	H16	-	F-/16-18		07.12.26	5035	3113	イonsin	下顎骨	[P2×P3×P4×M1×]	L	1			
Vb	B5	H16	-	F-/16-18		07.12.26	5035	3124	イonsin	下顎骨	[P2×P3×P4M1×]	R	1			
Vb	B5	H16	-	F-/16-18		07.12.26	5035	3123	イonsin	下顎骨	[P3×P4×M1×M2]	L	1			
Vb	B5	H16	-	F-/16-18		07.12.26	5035	3211	イonsin	下顎1		L	1			
Vb	B5	H16	-	F-/16-18		07.12.26	5035	3199	イonsin	下顎2		L	1			
Vb	B5	H16	-	F-/16-18		07.12.26	5035	3221	イonsin	下顎C		R	1			♀
Vb	B5	H16	-	F-/16-18		07.12.26	5044	15	イonsin	下顎M3		R	1			
Vb	B5	H16	-	F-/16-18		08.02.20	600	3042	イonsin	第4中手骨	p-d	R	1			b
Vb	B5	H16	-	F-/16-18		07.12.26	5035	1939	イonsin	大趾骨	p	?	1			
Vb	B5	H16	-	F-/16-18		07.12.26	5035	2158	イonsin	脛骨	(p)→m	R	1			
Vb	B5	H16	-	F-/16-18		07.12.26	5035	2025	イonsin	脛骨	(p)→(d)	R	1			11.7
Vb	B5	H16	-	F-/16-18		08.02.25	581	2088	イonsin	脛骨	(p)→(d)	L	1			11.6
Vb	B5	H16	-	F-/16-18		07.12.26	5035	1542	イonsin	踵骨		L	1			
Vb	B5	H16	-	F-/16-18		07.05.08	1733	1990	イonsin?	基節骨		?	1			
Vb	B5	H16	-	F-/16-18		08.02.26	676	3007	イonsin?	肋骨	p	?	1			
Vb	B5	H16	-	F-/16-18		07.12.26	5035	1188	ジュゴン	肋骨		?	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		08.02.29	692	1017	クロダク	前上顎骨		L	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		07.12.14	4864	874	ハタク	前上顎骨		L	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		08.02.29	692	2306	ハマフエウキ型	前上顎骨		L	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		08.02.27	723	2308	ハマフエウキ型	前上顎骨		L	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		07.12.14	4864	1073	フェフキダク	主上顎骨		L	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		07.12.14	4864	1077	フェフキダク	主上顎骨		L	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		07.12.14	4864	1078	フェフキダク	主上顎骨		L	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		07.12.14	4864	1069	フェフキダク	主上顎骨		R	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		07.12.14	4864	1066	フェフキダク	主上顎骨		R	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		07.12.14	4864	1069	フェフキダク	主上顎骨		R	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		07.12.14	4864	1116	フェフキダク	前上顎骨		R	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		08.03.03	693	1248	フェフキダク	前上顎骨		R	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		08.02.29	692	1323	フェフキダク	前上顎骨		R	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		08.03.04	694	1328	フェフキダク	前上顎骨		R	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		07.12.14	4864	1245	フェフキダク	歯骨		L	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		07.12.14	4864	1287	フェフキダク	歯骨		L	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		07.12.14	4864	1344	フェフキダク	歯骨		L	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		07.12.14	4864	1349	フェフキダク	歯骨		L	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		08.02.29	692	1370	フェフキダク	歯骨		L	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		07.12.14	4864	1354	フェフキダク	歯骨		R	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		07.12.14	4864	1143	フェフキダク	角骨		R	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		08.02.20	663	2307	フェフキダク	方骨		L	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		07.12.14	4864	921	フェフキダク?	腕椎		-	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		07.12.14	4864	884	シロクワヘウ型	下咽頭骨		-	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	71	07.09.19	4689	422	ベウ科A	下咽頭骨		-	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		07.12.14	4864	831	アオブダク	前上顎骨		R	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		07.12.14	4864	843	アオブダク	歯骨		R	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		08.02.27	723	2309	ブダク	椎骨		-	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		07.12.14	4864	1713	モンガクワハキ科	前上顎骨		R	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		08.03.04	623	2304	ハルセウボコ科	歯骨		-	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		08.02.26	583	-	ウマガノ類	前烏口骨	m	R	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		08.02.26	584	-	ウマガノ類	前烏口骨	m	R	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		08.02.21	573	-	ウマガノ類	指骨		?	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		07.10.14	4669	2947	ウマガノ類	趾骨		?	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		08.03.04	694	2860	イヌ	上顎dm1		L	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		08.03.04	694	2859	イヌ	上顎dm1		R	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		08.03.04	694	2806	イヌ	上顎dm2		R	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		08.03.04	694	2878	イヌ	上顎dm2	dm3	R	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		08.03.04	694	2803	イヌ	下顎dm1>		L	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		08.03.04	694	2804	イヌ	下顎dm1>		R	1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18		08.03.04	694	2807	イヌ	下顎dm2		L	1			

第107表-42. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インデントしたものはブタの可能性のあるものを示す.

\*\* 残存位置凡例: w:完存, p:近位端, m:骨幹, d:遠位端, fr:破片, (p)・(d)は柔骨結合の骨端のみ, (p)・(d)・(p+d)は骨端のみ欠損, 骨骨については, [ ]:頭骨残存範囲, ( ) : 萌出中の歯, <>: 未萌出歯, ×: 脱落.

層準	大 クワッド	小 クワッド	遺構名	集計 単位	取上 番号	取上日	右側 (後) 番号	骨 番 号	種類*1	部位	残存位置*2	左右 数	咬 耗 状 況	咬 耗 段 階	備 考
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	694	08.03.04	694	2805	イヌ	下顎<dm>		R 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	694	08.03.04	694	2802	イヌ	下顎dm2		R 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	694	08.03.04	694	2871	イヌ	下顎CMD		L 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	694	08.03.04	694	2869	イヌ	下顎CMD		R 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	694	08.03.04	694	2870	イヌ	下顎CMD		R 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	694	08.03.04	694	2866	イヌ	上顎/下顎1		*			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	694	08.03.04	694	2873	イヌ	上顎/下顎(d)		* 4			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	694	08.03.04	694	2861	イヌ	上顎/下顎c		* 5			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	694	08.03.04	694	2872	イヌ	上顎/下顎(c)		* 7			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	4864	07.12.14	4864	2787	イヌ	上腕骨 p		R 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	4864	07.12.14	4864	2741	イヌ	上腕骨 m		R 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	4864	07.12.14	4864	3093	イヌ	上腕骨 m-(d)		R 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	624	08.03.04	624	1972	イノシシ	側頭骨		L 1			9.0 5.6 幼獣 骨No.54 骨No.12
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	582	08.02.26	582	1974	イノシシ	側頭骨		R 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	694	08.03.04	694	3178	イノシシ	上顎P3		R 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	4864	07.12.14	4864	3165	イノシシ	下顎骨	[dm × dm2 × dm3M1 ×]	L 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	4864	07.12.14	4864	3147	イノシシ	下顎骨	[M1 × M2M3 ×]	R 1			b
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	4864	07.12.14	4864	3108	イノシシ	下顎骨 [M3]		R 1			a
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	4864	07.12.14	4864	3220	イノシシ	下顎C		L 1			c
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	4864	07.12.14	4864	3163	イノシシ	下顎M3		R 1			n
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	4669	07.10.14	4669	585	イノシシ	上顎/下顎M	fr	? 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	4864	07.12.14	4864	3184	イノシシ	上顎/下顎M	fr	? 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	214	07.12.10	4794	214	イノシシ	肩甲骨	d	R 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	4864	07.12.14	4864	1442	イノシシ	上腕骨	m-(d)	R 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	620	08.02.29	620	2270	イノシシ	脛骨	m	R 1			13.0 骨No.50
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	1659	07.05.08	1659	1664	イノシシ	尺骨 p		R 1			幼獣・産 接合
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	575	08.02.22	575	1752	イノシシ	大腿骨 d		R 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	4864	07.12.14	4864	2152	イノシシ	腓骨 (p+)		R 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	4864	07.12.14	4864	2001	イノシシ	腓骨 (d-)		? 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	748	08.02.15	748	2050	イノシシ	距骨		R 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	585	08.02.26	585	1537	イノシシ	距骨 fr		? 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	4669	07.10.14	4669	1534	イノシシ	踵骨		R 1			骨No.15
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	4864	07.12.14	4864	1539	イノシシ	踵骨		R 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	1659	07.05.08	1659	2997	イノシシ	第3中足骨 p		R 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	4864	07.12.14	4864	1950	イノシシ	第3中足骨 p		R 1			
Vb	B5	H17	-	F-/16-18	1999	07.05.15	1999	1000	マハタ型	唐骨		L 1			
Vb	B5	H18	-	F-/16-18	4901	07.12.18	4901	1308	アジ科(大型種)	前上顎骨		L 1			小ヒキアジ近似
Vb	B5	H18	-	F-/16-18	4685	07.10.14	4685	1725	アジ科(大型種)	唐骨		L 1			小ヒキアジ近似
Vb	B5	H18	-	F-/16-18	1426	07.05.02	1426	945	アジ科(大型種)	椎骨		- 1			
Vb	B5	H18	-	F-/16-18	2037	07.05.16	2037	1707	フェフキタイ科	口蓋骨		R 1			
Vb	B5	H18	-	F-/16-18	679	08.02.29	679	1747	フェフキタイ科	口蓋骨		R 1			
Vb	B5	H18	-	F-/16-18	5024	07.12.26	5024	365	フェフキタイ科	主上顎骨		L 1			
Vb	B5	H18	-	F-/16-18	587	08.02.27	587	1828	フェフキタイ科	主上顎骨		R 1			
Vb	B5	H18	-	F-/16-18	2037	07.05.16	2037	1235	フェフキタイ科	唐骨		L 1			
Vb	B5	H18	-	F-/16-18	587	08.02.27	587	1242	フェフキタイ科	唐骨		L 1			
Vb	B5	H18	-	F-/16-18	1244	08.02.27	1244	1244	フェフキタイ科	唐骨		L 1			
Vb	B5	H18	-	F-/16-18	587	08.02.27	587	1240	フェフキタイ科	唐骨		L 1			
Vb	B5	H18	-	F-/16-18	5024	07.12.26	5024	1296	フェフキタイ科	唐骨		L 1			
Vb	B5	H18	-	F-/16-18	696	08.03.03	696	1309	フェフキタイ科	唐骨		L 1			
Vb	B5	H18	-	F-/16-18	696	08.03.03	696	1219	フェフキタイ科	唐骨		R 1			
Vb	B5	H18	-	F-/16-18	718	08.02.22	718	1226	フェフキタイ科	唐骨		R 1			
Vb	B5	H18	-	F-/16-18	4685	07.10.14	4685	1320	フェフキタイ科	唐骨		R 1			
Vb	B5	H18	-	F-/16-18	679	08.02.29	679	1689	フェフキタイ科	前上顎/唐骨 fr		? 1			
Vb	B5	H18	-	F-/16-18	4685	07.10.14	4685	1844	フェフキタイ科	角骨		L 1			
Vb	B5	H18	-	F-/16-18	591	08.02.27	591	1124	フェフキタイ科	角骨		R 1			
Vb	B5	H18	-	F-/16-18	2037	07.05.16	2037	953	フェフキタイ科	第1椎骨		- 1			

第107表-43. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果。

\* イジシとしたものはブタの可能性のあるものを含む。

\* 残存位置凡例: w残存, p近位置, m骨幹, a遠位置, fr破片, (p)・(d)は未鑑定の骨端のみ, (p)・(d)は骨端を総合脱落, (p)・(d)は骨端のみ欠損, 骨幹については: [ ] 頸骨残存範囲, ( ) 萌出中の歯, < > 未萌出歯, x: 脱落。

種別	大 クワッド	小 クワッド	遺構名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 (後) 番号	種別#1	部位	残存位置#2	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.02.29	679	923	フェエキヤイ科	腹椎	-	-	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.02.29	679	924	フェエキヤイ科	腹椎	-	-	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	07.05.16	2037	901	シロクラベスラ型	上顎頭骨	R	1	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	07.10.14	4685	954	シロクラベスラ型	椎骨	-	-	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	07.05.16	2037	955	シロクラベスラ型	椎骨	-	-	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	631	839	アオゾガイ属	歯骨	R	1	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.03	696	934	真骨類(同定不可)	椎骨	-	-	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.02.27	583	2961	ワマガメ類	腹甲板	-	-	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.02.27	595	-	ワマガメ類	前烏口骨	L	1	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	07.04.27	1309	-	ワマガメ類	前烏口骨	L	1	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	07.05.16	2037	2889	ワマガメ類	尺骨	L	1	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	07.05.15	1999	2890	ワマガメ類	中手骨	?	1	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	07.05.15	1999	-	ワマガメ類	四肢骨	?	1	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	07.12.18	4910	3075	ワマガメ類	指骨	?	1	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	07.10.14	4685	2914	ワマガメ類	肋骨板	?	1	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.02.27	598	2918	ワマガメ類	肋骨板	?	1	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	07.12.18	4910	2932	ワマガメ類	線骨板	?	1	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	07.12.18	4910	2933	ワマガメ類	線骨板	?	1	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	07.12.18	4910	2934	ワマガメ類	線骨板	?	1	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	07.10.14	4685	2953	ワマガメ類	線骨板	?	1	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.02.29	679	2937	ワマガメ類	線骨板	?	1	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.02.27	596	2956	ワマガメ類	線骨板	?	1	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.02.27	596	2968	ワマガメ類	線骨板	?	1	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	07.05.08	1794	599	ワマガメ類	中/下腹板	?	1	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	07.05.15	1999	-	ワマガメ類	胸状腹板	R	1	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	634	2798	イヌ	前脛骨	R	2	-	-	台帳番号634:幼獣・同一個体2体分
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	634	2840	イヌ	上脛骨	L	1	-	-	台帳番号634:幼獣・同一個体2体分
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	634	2841	イヌ	下脛骨	L	1	-	-	台帳番号634:幼獣・同一個体2体分
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	634	2800	イヌ	中手骨	*	1	-	-	台帳番号634:幼獣・同一個体2体分
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	632	2831	イヌ	寛骨	白	-	-	-	台帳番号634:幼獣・同一個体2体分
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	632	2832	イヌ	寛骨	白	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	632	2833	イヌ	大脛骨	(p)・(d)	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	632	2835	イヌ	大脛骨	(p)・(d)	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	632	2837	イヌ	肋骨	(p)・(d)	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	632	2838	イヌ	肋骨	(p)・(d)	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	632	2839	イヌ	肋骨	[P]×dm1dm2×	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	636	2801	イヌ	下脛骨	[dm3]	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	636	2834	イヌ	下脛骨	[dm3]	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	632	2833	イヌ	上脛骨	(p)・(d)	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	632	2836	イヌ	中手骨	(p)・(d)	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	632	2831	イヌ	寛骨	白	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	632	2832	イヌ	寛骨	白	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	632	2835	イヌ	大脛骨	(p)・(d)	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	632	2837	イヌ	肋骨	(p)・(d)	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	632	2838	イヌ	肋骨	(p)・(d)	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	636	2846	イヌ	下脛骨	[dm2×dm3]	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	636	2842	イヌ	肩甲骨	d	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	636	2845	イヌ	肩甲骨	d	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	636	2857	イヌ	上脛骨	(d)	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	636	2849	イヌ	上脛骨	(d)	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	636	2849	イヌ	線骨	(p)・m	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	636	2845	イヌ	寛骨	白	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	636	2845	イヌ	寛骨	白	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	636	2848	イヌ	脛骨	(p)	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	636	2845	イヌ	肋骨	p	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	637	2847	イヌ	下脛骨	[dm1×dm2dm3]	-	-	-	台帳番号632・636同一個体(複数個体), 幼獣
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	07.12.18	4910	1416	イノシシ	切歯骨	[11×12×13×]	-	-	-	♂
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	07.12.18	4904	3208	イノシシ	下顎C	-	-	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.02.27	590	3261	イノシシ	下顎C	-	-	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.02.29	770	3183	イノシシ	上顎/下顎M	fr	-	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.02.27	597	2207	イノシシ	肩甲骨	d	-	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.03.04	751	1636	イノシシ	肩甲骨	d	-	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	08.02.29	777	2216	イノシシ	肩甲骨	d	-	-	-	
Vh	B5	H18	-	F-1/16-18	07.10.14	4685	2118	イノシシ	肩甲骨	d	-	-	-	

第107表-44. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インデックスとされたものはプタの可能性のあるものを含む.

\* 残存位置凡例: w=穿孔, p=近位端, m=骨幹, d=遠位端, fr=破片, (p)-(d)=骨端のみ欠損, 顎骨については: [ ]: 顎骨残存範圍, ( ): 萌出中の歯, < >: 未萌出歯, ×: 脱落.

大 クワッド	小 クワッド	遺標名	集計 単位	取上 番号	取上日	右側 (後) 番号	種類#1	部位	残存位置*2	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
Vh	B5	-	F-/16-18	08.02.29	775	1375	インデックス	上腕骨	p-d	R	1	10.9		
Vh	B5	-	F-/16-18	08.02.26	586	1467	インデックス	上腕骨	p<d>	L	1	11.4		骨No.16(後番1~7)
Vh	B5	-	F-/16-18	07.10.14	4685	1745	インデックス	上腕骨	m	L	1			
Vh	B5	-	F-/16-18	08.02.29	777	1476	インデックス	上腕骨	<d>	L	1	13.0		骨34の骨片
Vh	B5	-	F-/16-18	08.02.26	586	2297	インデックス	腕骨	p-m	R	1	13.0		骨No.16(後番1~7)
Vh	B5	-	F-/16-18	08.02.26	586	2164	インデックス	腕骨	(p->(d-)	L	1	12.4		骨No.16(後番1~7)
Vh	B5	-	F-/16-18	08.02.29	773	1647	インデックス	尺骨	p-d	R	1			
Vh	B5	-	F-/16-18	08.02.26	586	1624	インデックス	尺骨	p-m	L	1			骨No.16(後番1~7)
Vh	B5	-	F-/16-18	08.02.27	588	1658	インデックス	尺骨	p-m	R	1			
Vh	B5	-	F-/16-18	08.02.29	777	1465	インデックス	尺骨	(p->d	L	1	11.1		骨34の骨片
Vh	B5	-	F-/16-18	08.03.04	625	1427	インデックス	尺骨	(p->(d-)	L	1	14.2		骨No.55
Vh	B5	-	F-/16-18	08.02.27	589	1434	インデックス	尺骨	<d>	L	1			骨No.19
Vh	B5	-	F-/16-18	08.03.04	628	1752	インデックス	尺骨	d	R	1			融合
Vh	B5	-	F-/16-18	08.03.04	625	1439	インデックス	尺骨	(d)	L	1			骨No.55
Vh	B5	-	F-/16-18	08.02.26	586	2038	インデックス	腕骨	(p)-(d-)	L	1	13.8		骨No.16(後番1~7)
Vh	B5	-	F-/16-18	07.10.14	4685	2147	インデックス	腕骨	(p->	R	1			骨34の骨片
Vh	B5	-	F-/16-18	08.02.29	777	2056	インデックス	腕骨	d	L	1			骨No.16(後番1~7)
Vh	B5	-	F-/16-18	08.02.26	588	2020	インデックス	腕骨	m	L	1			骨No.55
Vh	B5	-	F-/16-18	07.10.14	4685	1594	インデックス	腕骨		L	1			
Vh	B5	-	F-/16-18	08.03.04	625	1535	インデックス	腕骨		R	1			
Vh	B5	-	F-/16-18	08.02.29	679	2010	インデックス	中手/中足骨	(p->>d	L	1			
Vh	B5	-	F-/16-18	07.10.14	4685	2265	インデックス?	肋骨		?	1			
Vh	B5	-	F-/16-18	07.04.26	1157	1167	シェボン	肋骨		?	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.11.08	4187	1816	フェフキタイ科	主上顎骨		L	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.11.08	4187	1687	フェフキタイ科	角骨		L	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	202	07.11.06	4152	4	下顎M3		R	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	202	07.11.06	4152	1	上顎/下顎M	fr	R	1			k
Vh	B5	-	F-/08-12	07.10.02	4097	106	インデックス	脛骨	(p->	?	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.10.02	4097	255	インデックス?	肋骨		R	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.10.02	4095	1833	フェフキタイ科	主上顎骨		L	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.11.08	4195	1281	フェフキタイ科	歯骨		R	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.10.02	4095	1138	フェフキタイ科	角骨		R	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.08.30	3985	1147	フェフキタイ科	角骨	(p->	R	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.10.02	4095	-	ワガノ類	縁骨板		?	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.10.02	4095	2958	ワガノ類	縁骨板		?	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.10.02	4095	2964	ワガノ類	内腹板		?	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.11.08	4195	2959	ワガノ類	腹甲板		?	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.11.08	4195	2773	IX	寛骨	臼	L	1			幼獣
Vh	B5	-	F-/08-12	07.10.02	4095	3276	インデックス	上顎骨	[PAM1]	L	1			e
Vh	B5	-	F-/08-12	07.08.30	3985	3142	インデックス	上顎M3		L	1			e
Vh	B5	-	F-/08-12	07.08.30	3985	2069	インデックス	肩甲骨	<d->	L	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.10.02	4095	2072	インデックス	肩甲骨	<d->	L	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.11.20	4369	269	インデックス	肩甲骨	d	L	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.08.16	3906	257	インデックス	肩甲骨	d	R	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.08.30	3985	1510	インデックス	上腕骨	m<(d-)	L	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.08.30	3985	1512	インデックス	上腕骨	m-d	L	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.11.20	4369	162	インデックス	腕骨	m	R	1	12.8		
Vh	B5	-	F-/08-12	07.08.30	3985	2294	インデックス	腕骨	(d)	R	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.10.02	4095	1737	インデックス	腕骨	(d)	L	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.08.30	3985	2295	インデックス	腕骨	(d)	R	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.08.30	3985	1620	インデックス	尺骨	p	L	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.08.30	3985	1604	インデックス	尺骨	p	L	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.11.20	4369	138	インデックス	尺骨	p-m	L	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.08.30	3985	1646	インデックス	尺骨	p-m	R	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.08.30	3985	2771	インデックス	尺骨	(d)	R	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.10.02	4095	3036	インデックス	第4中手骨	p	R	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.11.08	4195	1561	インデックス	大腕骨	m<(d-)	L	1			
Vh	B5	-	F-/08-12	07.08.30	3985	-	インデックス	大腕骨	d	L	1	12.7		
Vh	B5	-	F-/08-12	07.08.30	3985	2157	インデックス	大腕骨	(p->>m	R	1			焼
Vh	B5	-	F-/08-12	07.08.30	3985	2041	インデックス	腕骨	m-(d-)	L	1	13.9		



第107表-45. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* イアンシとしたものはブタの可能性のあるものを含む.

\* 残存位置凡例: w:完全, p:近位端, m:骨幹, a:遠位端, f:破片, (p)・(d)は未適合の骨端のみ, (p)・(d)は骨端のみ欠損, 頭骨については: [ ], 頭骨残存範囲, ( ) : 前出中の種, < > : 未萌出歯, x : 脱落.

大 クワッド	小 クワッド	連牌名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 番号	骨番 号	種類#1	部位	残存位置*2	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
Vb	B5	009	-	07.08.16	3806	2062		イアンシ	肋骨	m+d	R	1			
Vb	B5	009	-	07.11.20	4069	246		イアンシ	第3中足骨	p	L	1			
Vb	B5	009	-	07.10.02	4095	3086		イアンシ	中手/中足骨	(d)	?	1			
Vb	B5	009	-	07.10.02	4095	1414		イアンシ	末新骨		?	1			
Vb	B5	009	-	07.08.30	3985	2188		イアンシ	末新骨		?	1			
Vb	B5	110	-	07.11.13	4242	1204		クロダク属	歯骨		R	1			
Vb	B5	110	-	07.10.02	4093	1246		フェウキダク科	前上顎骨		R	1			
Vb	B5	110	-	07.11.16	4332	1142		フェウキダク科	角骨		R	1			
Vb	B5	110	-	07.11.13	4242	2764		イヌ	歯骨		R	1			
Vb	B5	110	-	07.11.16	4332	3182		イアンシ	上顎P2		R	1			
Vb	B5	110	-	07.11.13	4242	3118		イアンシ	下顎M2		L	1	++	d	
Vb	B5	110	-	07.11.16	4332	3119		イアンシ	下顎M2		L	1	+++	f	
Vb	B5	110	-	07.11.13	4242	1882		イアンシ	基新骨		L	1			
Vb	B5	111	-	07.11.16	4309	2448		ウシ/ウマ	肋骨	m	?	1			
Vb	B5	112	-	07.07.27	3460	14		イアンシ	下顎骨	[M2M3]	L	1	M2(+),+++/M3++++,++++	f/k	
Vb	B5	112	-	07.08.15	5218	2279		哺乳類(同定不可)	四肢骨	m	?	1			
Vb	B5	112	-	07.08.15	5218	2281		哺乳類(同定不可)	四肢骨	m	?	1			
Vb	B5	114	-	07.09.03	3990	1050		サメ類	椎骨	m	-	1			
Vb	B5	114	-	07.09.03	3990	1274		フェウキダク科	前上顎骨		L	1			
Vb	B5	114	-	07.09.03	3990	1367		フェウキダク科	前上顎骨		L	1			
Vb	B5	114	-	07.09.03	3990	1371		フェウキダク科	前上顎骨		L	1			
Vb	B5	114	-	07.08.15	3893	1834		フェウキダク科	前上顎骨		R	1			
Vb	B5	114	-	07.08.15	3893	1343		フェウキダク科	歯骨		L	1			
Vb	B5	114	-	07.08.15	3893	1322		フェウキダク科	歯骨		R	1			
Vb	B5	114	-	07.08.15	3893	875		シロクワスワ型	下咽頭骨		-	1			
Vb	B5	114	-	07.09.03	3990	920		真骨類(同定不可)	椎骨		-	1			
Vb	B5	114	-	07.09.03	3990	399		イヌ	上顎骨	[C×P1×P2×]	L	1			
Vb	B5	114	-	07.08.15	3893	3227		イアンシ	下顎骨	[11×12×13×CP1×P2×P3×P4×]	R	1		♂	
Vb	B5	114	-	07.09.03	3990	249		イアンシ	椎骨	椎体	-	1			
Vb	B5	114	-	07.09.03	3990	250		イアンシ	椎骨	椎体	-	1			
Vb	B5	114	-	07.09.03	3990	158		イアンシ	肋骨	p	L	1			
Vb	B5	114	-	07.09.03	3990	78		イアンシ	大腸骨	(p)→(d)	L	1		13.3	
Vb	B5	114	-	07.09.03	3990	2250		イアンシ	肋骨		L	1			
Vb	B5	114	-	07.09.03	3990	276		イアンシ	新骨		R	1			
Vb	B5	114	-	07.09.03	3990	285		イアンシ	歯骨		R	1			
Vb	B5	114	-	07.08.15	3893	1874		イアンシ	中手/中足骨	m	?	1			
Vb	B5	114	-	07.09.03	3990	245		イアンシ	中新骨	(p)→d	?	1			
Vb	B5	114	-	07.09.03	3990	1877		イアンシ	末新骨		?	1			
Vb	B5	115	-	07.07.04	2970	35		イアンシ	上腕骨	m+d	L	1			
Vb	B5	115	-	07.07.04	2970	80		イアンシ	上腕骨	(d)→	R	1			
Vb	B5	117	-	07.05.16	2049	939		アジ科(大型種)	椎骨		-	1			
Vb	B5	117	-	07.05.16	2049	943		アジ科(大型種)	椎骨		-	1			
Vb	B5	117	-	07.05.16	2049	580		イアンシ	上顎/下顎M	f	?	1			
Vb	B5	117	-	07.05.02	1405	1438		イアンシ	大腸骨	(d)→	L	1			
Vb	B5	118	-	08.02.27	450	1118		アジ科(大型種)	椎骨		R	1			
Vb	B5	118	-	07.05.15	1986	1698		アジ科(大型種)	角骨		R	1			
Vb	B5	118	-	07.12.25	5006	1098		クロダク属	歯骨		R	1			
Vb	B5	118	-	08.02.22	665	1740		フェウキダク科	口蓋骨		R	1			
Vb	B5	118	-	08.02.29	688	1746		フェウキダク科	口蓋骨		R	1			
Vb	B5	118	-	07.12.25	5006	1286		フェウキダク科	前上顎骨		R	1			
Vb	B5	118	-	08.02.22	665	1314		フェウキダク科	前上顎骨		R	1			
Vb	B5	118	-	07.05.15	1986	1233		フェウキダク科	歯骨		L	1			
Vb	B5	118	-	08.02.22	665	1266		フェウキダク科	歯骨		L	1			
Vb	B5	118	-	08.02.25	104	1810		フェウキダク科	方骨		L	1			
Vb	B5	118	-	08.02.22	665	986		フェウキダク科?	下咽頭骨		-	1			
Vb	B5	118	-	07.05.15	1986	878		シロクワスワ型	下咽頭骨		-	1			
Vb	B5	118	-	08.02.27	492	882		タキベツ型	下咽頭骨		-	1			
Vb	B5	118	-	08.02.22	665	868		アオアブダイ属	歯骨		L	1			
Vb	B5	118	-	08.02.25	576	712		ハリセンボク科	前上顎骨		-	1			

第107表-46. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インデントしたものはブタの可能性のあるものを示す.

\* 残存位置凡例: w: 残存, p: 近位端, m: 骨幹, o: 遠位端, f: 破片, (p)・(d)は骨端未適合脱落, <g>・<d>は骨端のみ欠損, 頸骨については, [ ]: 頸骨残存範囲, ( ) : 萌出中の歯, <v>: 未萌出歯, ×: 脱落

種別	大	小	遺構名	集計	取上	取上日	台帳	骨番	種別	部位	残存位置*2	左右	数	咬耗	咬耗	備考
	クワッド	クワッド		単位	番号		(後)	号	頭1					段階	(mm)	
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	613	2303	ハリスエンボシ科			歯骨		-	1			
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	665		ウミガメ類			方骨		L	1			
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	611		ウミガメ類			大腸骨	m	R	1			
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	617	2896	ウミガメ類			指骨		?	1			
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	616	2897	ウミガメ類			指骨		?	1			
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	577	2910	ウミガメ類			肋骨板		?	1			
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	572	2946	ウミガメ類			線骨板		?	1			
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	606		ウミガメ類			腹甲板	f	?	1			
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	607		ウミガメ類			腹甲板	f	?	1			606と接合
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	608		ウミガメ類			腹甲板	f	?	1			606と接合
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	609		ウミガメ類			腹甲板	f	?	1			606と接合
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	517	2770	イヌ			肋骨	d	R	1			骨No.49
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	619	2064	イナシ			肩甲骨	<d>	L	1			
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	2041	2065	イナシ			肩甲骨	<d>	L	1			
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	1986	1507	イナシ			上腕骨	p=d	L	1			
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	665	1631	イナシ			尺骨	p	L	1			
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	602	1659	イナシ			尺骨	p=m	R	1			骨No.32
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	665	1973	イナシ			大腸骨	p	R	1			
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	1986	2058	イナシ			肋骨	d	L	1			
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	615	1909	イナシ			肋骨	d	R	1			骨No.45
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	1153	1540	イナシ			踵骨		L	1			
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	688	2946	イナシ			第3中足骨	p=d	L	1			
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	600	3058	イナシ			第4中足骨	p	L	1			骨No.30
Vb	B5	I18	-	F-1/16-18	1193	1193	ジメシ			肋骨	?	?	1			接合
Vb	B5	I08	-	-	4153	3061	サメ類			椎骨		-	1			
Vb	B5	I09	-	1/1-08-12	4174	1845	フェウキギイ科			主上顎骨		R	1			
Vb	B5	I09	-	1/1-08-12	4174	1845	フェウキギイ科			線骨板		?	1			
Vb	B5	I09	-	1/1-08-12	4174	1845	フェウキギイ科			後頭		L	1			同一個体
Vb	B5	I09	-	1/1-08-12	196	07.09.28	4090	2760	イヌ	上顎骨	P23×PAM12×	L	1			同一個体
Vb	B5	I09	-	1/1-08-12	196	07.09.28	4090	359	イヌ	上顎骨	P23×PAM12×	L	1			同一個体
Vb	B5	I09	-	1/1-08-12	196	07.09.28	4090	358	イヌ	上顎骨	P23×PAM1×M2	R	1			同一個体
Vb	B5	I09	-	1/1-08-12	196	07.09.28	4090	33	イヌ	下顎骨		L	1			同一個体
Vb	B5	I09	-	1/1-08-12	196	07.09.28	4090	61	イヌ	上顎/下顎		*	1			同一個体
Vb	B5	I09	-	1/1-08-12	4174	382	イヌ			上顎骨	P23×PAM1	R	1			
Vb	B5	I09	-	1/1-08-12	4174	361	イヌ			上顎C		R	1			
Vb	B5	I09	-	1/1-08-12	4174	34	イヌ			下顎P3		L	1			
Vb	B5	I09	-	1/1-08-12	4174	1935	イヌ			大腸骨	p<d>	L	1			
Vb	B5	I09	-	1/1-08-12	4174	3040	イナシ			第3中手骨	p	L	1			
Vb	B5	I10	-	1/1-08-12	4103	1221	フェウキギイ科			前上顎骨		R	1			
Vb	B5	I10	-	1/1-08-12	4321	886	アオブダイ属			歯骨		R	1			骨No.42
Vb	B5	I10	-	1/1-08-12	4321	846	フグ科			歯骨		L	1			
Vb	B5	I10	-	1/1-08-12	4104	2826	ウミガメ類			腹甲板		?	1			
Vb	B5	I10	-	1/1-08-12	4321	8	イナシ			下顎骨	[M3]	R	1			g
Vb	B5	I10	-	1/1-08-12	3879	3210	イナシ			下顎1		R	1			
Vb	B5	I10	-	1/1-08-12	4103	140	イナシ			上腕骨	d	R	1			
Vb	B5	I10	-	1/1-08-12	4103	1891	イナシ			腕骨	p	L	1			
Vb	B5	I10	-	1/1-08-12	4103	1645	イナシ			尺骨	p	R	1			
Vb	B5	I10	-	1/1-08-12	3879	1392	イナシ			大腸骨	<d>	L	1			
Vb	B5	I10	-	1/1-08-12	4103	2016	イナシ			肋骨	m	?	1			
Vb	B5	I11	-	1/1-08-12	4181	1359	フェウキギイ科			前上顎骨		L	1			
Vb	B5	I11	-	1/1-08-12	4181	1206	フェウキギイ科			主上顎骨		L	1			
Vb	B5	I11	-	1/1-08-12	4181	876	シロウバシラ型			線骨板		-	1			
Vb	B5	I11	-	1/1-08-12	4117	2797	イヌ			上顎骨	[MIM2×]	R	1			
Vb	B5	I11	-	1/1-08-12	4181	3103	イナシ			上顎骨	[M3]	L	1			d
Vb	B5	I11	-	1/1-08-12	4181	3177	イナシ			下顎骨	[P3]	R	1			
Vb	B5	I11	-	1/1-08-12	4181	3132	イナシ			下顎骨	f	?	1			
Vb	B5	I11	-	1/1-08-12	4114	16	イナシ			下顎C		R	1			
Vb	B5	I11	-	1/1-08-12	4181	3171	イナシ			下顎P4		R	1			
Vb	B5	I11	-	1/1-08-12	4181	3150	イナシ			下顎M2		R	1			
Vb	B5	I11	-	1/1-08-12	4181	3166	イナシ			上顎/下顎M	f	?	1			

第107表-47. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インジツとしたものはブタの可能性のあるものを含む.

\* 残存位置凡例: w:残存, p:近位端, m:背脊, d:遠位端. <p>(p)</p>は本結合の骨端のみ, <p>(p)</p>(d)</p>は骨端のみ火損. 頭骨については, [ ]:頭骨残存範囲, ( ):萌出中の歯, <p>(p)</p>:未萌出歯, \* :脱臼.

層序	大 グループ	小 グループ	遺構名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 (袋) 番号	骨番 号	種類*1	部位	残存位置*2	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考											
Vb	B5	J11	-	I/J-08-12	07.11.05	4114	304	I/J-08-12	椎骨	椎骨	椎体	-	1														
Vb	B5	J11	-	I/J-08-12	07.11.05	4114	92	I/J-08-12	上腕骨	上腕骨	m-<d>	L	1	10.6													
Vb	B5	J11	-	I/J-08-12	07.11.07	4181	2222	I/J-08-12	距骨	距骨	m-<d>	L	1														
Vb	B5	J11	-	I/J-08-12	07.09.19	4078	390	w-m	上腕骨	上腕骨	(p)	L	1														
Vb	B5	J12	-	I/J-08-12	07.10.04	4092	251	I/J-08-12	椎骨	椎骨	椎体	-	1														
Vb	B5	J12	-	I/J-08-12	07.10.04	4092	2965	I/J-08-12	距骨	距骨	p	R	1														
Vb	B5	J12	-	I/J-08-12	07.11.16	4336	2046	I/J-08-12	距骨	距骨	p	R	1														
Vb	B5	J14	-	I-K/13-15	07.08.15	3898	963	フェウキタイ科	腕骨	腕骨	腕骨	-	1														
Vb	B5	J14	-	I-K/13-15	07.12.26	5019	2830	フェウキタイ科	腕骨	腕骨	腕骨	L	1														
Vb	B5	J14	-	I-K/13-15	07.12.26	5019	2765	フェウキタイ科	頭頂骨	頭頂骨	後頭頂	-	1		幼獣												
Vb	B5	J14	-	I-K/13-15	07.12.26	5019	2796	フェウキタイ科	後頭頂	後頭頂	後頭頂	L	1														
Vb	B5	J14	-	I-K/13-15	07.12.26	5019	2780	フェウキタイ科	大腕骨	大腕骨	<p>->m	R	1	11.8													
Vb	B5	J14	-	I-K/13-15	07.08.15	3898	53	フェウキタイ科	腕骨	腕骨	m	L	1	8.5													
Vb	B5	J14	-	I-K/13-15	07.08.15	3898	583	フェウキタイ科	上顎M3	上顎M3	m	L	1	+、+、欠	d												
Vb	B5	J14	-	I-K/13-15	07.08.15	3898	218	フェウキタイ科	肩甲骨	肩甲骨	d	R	1														
Vb	B5	J14	-	I-K/13-15	07.12.26	5019	1382	フェウキタイ科	上腕骨	上腕骨	m-<d>	R	1	15.0													
Vb	B5	J14	-	I-K/13-15	07.08.15	3898	120	フェウキタイ科	上腕骨	上腕骨	<d>	L	1														
Vb	B5	J14	-	I-K/13-15	07.12.26	5019	1612	フェウキタイ科	尺骨	尺骨	p+m	L	1														
Vb	B5	J14	-	I-K/13-15	07.05.28	2233	5034	フェウキタイ科	尺骨	尺骨	p+m	R	1														
Vb	B5	J14	-	I-K/13-15	07.12.26	5019	1988	フェウキタイ科	基節骨	基節骨	基節骨	?	1														
Vb	B5	J16	-	J-L/16-18	07.05.09	1802	5046	フェウキタイ科	胸骨	胸骨	胸骨	-	1		半蝕												
Vb	B5	J17	-	J-L/16-18	07.10.14	4681	1835	フェウキタイ科	背骨	背骨	背骨	R	1														
Vb	B5	J17	-	J-L/16-18	07.10.14	4681	911	フェウキタイ科	腕骨	腕骨	[C×P1]×P2×P3×P4×P5×P6×P7×P8×P9×P10×P11×P12×P13×P14×P15×P16×P17×P18×P19×P20×P21×P22×P23×P24×P25×P26×P27×P28×P29×P30×P31×P32×P33×P34×P35×P36×P37×P38×P39×P40×P41×P42×P43×P44×P45×P46×P47×P48×P49×P50×P51×P52×P53×P54×P55×P56×P57×P58×P59×P60×P61×P62×P63×P64×P65×P66×P67×P68×P69×P70×P71×P72×P73×P74×P75×P76×P77×P78×P79×P80×P81×P82×P83×P84×P85×P86×P87×P88×P89×P90×P91×P92×P93×P94×P95×P96×P97×P98×P99×P100×P101×P102×P103×P104×P105×P106×P107×P108×P109×P110×P111×P112×P113×P114×P115×P116×P117×P118×P119×P120×P121×P122×P123×P124×P125×P126×P127×P128×P129×P130×P131×P132×P133×P134×P135×P136×P137×P138×P139×P140×P141×P142×P143×P144×P145×P146×P147×P148×P149×P150×P151×P152×P153×P154×P155×P156×P157×P158×P159×P160×P161×P162×P163×P164×P165×P166×P167×P168×P169×P170×P171×P172×P173×P174×P175×P176×P177×P178×P179×P180×P181×P182×P183×P184×P185×P186×P187×P188×P189×P190×P191×P192×P193×P194×P195×P196×P197×P198×P199×P200×P201×P202×P203×P204×P205×P206×P207×P208×P209×P210×P211×P212×P213×P214×P215×P216×P217×P218×P219×P220×P221×P222×P223×P224×P225×P226×P227×P228×P229×P230×P231×P232×P233×P234×P235×P236×P237×P238×P239×P240×P241×P242×P243×P244×P245×P246×P247×P248×P249×P250×P251×P252×P253×P254×P255×P256×P257×P258×P259×P260×P261×P262×P263×P264×P265×P266×P267×P268×P269×P270×P271×P272×P273×P274×P275×P276×P277×P278×P279×P280×P281×P282×P283×P284×P285×P286×P287×P288×P289×P290×P291×P292×P293×P294×P295×P296×P297×P298×P299×P300×P301×P302×P303×P304×P305×P306×P307×P308×P309×P310×P311×P312×P313×P314×P315×P316×P317×P318×P319×P320×P321×P322×P323×P324×P325×P326×P327×P328×P329×P330×P331×P332×P333×P334×P335×P336×P337×P338×P339×P340×P341×P342×P343×P344×P345×P346×P347×P348×P349×P350×P351×P352×P353×P354×P355×P356×P357×P358×P359×P360×P361×P362×P363×P364×P365×P366×P367×P368×P369×P370×P371×P372×P373×P374×P375×P376×P377×P378×P379×P380×P381×P382×P383×P384×P385×P386×P387×P388×P389×P390×P391×P392×P393×P394×P395×P396×P397×P398×P399×P400×P401×P402×P403×P404×P405×P406×P407×P408×P409×P410×P411×P412×P413×P414×P415×P416×P417×P418×P419×P420×P421×P422×P423×P424×P425×P426×P427×P428×P429×P430×P431×P432×P433×P434×P435×P436×P437×P438×P439×P440×P441×P442×P443×P444×P445×P446×P447×P448×P449×P450×P451×P452×P453×P454×P455×P456×P457×P458×P459×P460×P461×P462×P463×P464×P465×P466×P467×P468×P469×P470×P471×P472×P473×P474×P475×P476×P477×P478×P479×P480×P481×P482×P483×P484×P485×P486×P487×P488×P489×P490×P491×P492×P493×P494×P495×P496×P497×P498×P499×P500×P501×P502×P503×P504×P505×P506×P507×P508×P509×P510×P511×P512×P513×P514×P515×P516×P517×P518×P519×P520×P521×P522×P523×P524×P525×P526×P527×P528×P529×P530×P531×P532×P533×P534×P535×P536×P537×P538×P539×P540×P541×P542×P543×P544×P545×P546×P547×P548×P549×P550×P551×P552×P553×P554×P555×P556×P557×P558×P559×P560×P561×P562×P563×P564×P565×P566×P567×P568×P569×P570×P571×P572×P573×P574×P575×P576×P577×P578×P579×P580×P581×P582×P583×P584×P585×P586×P587×P588×P589×P590×P591×P592×P593×P594×P595×P596×P597×P598×P599×P600×P601×P602×P603×P604×P605×P606×P607×P608×P609×P610×P611×P612×P613×P614×P615×P616×P617×P618×P619×P620×P621×P622×P623×P624×P625×P626×P627×P628×P629×P630×P631×P632×P633×P634×P635×P636×P637×P638×P639×P640×P641×P642×P643×P644×P645×P646×P647×P648×P649×P650×P651×P652×P653×P654×P655×P656×P657×P658×P659×P660×P661×P662×P663×P664×P665×P666×P667×P668×P669×P670×P671×P672×P673×P674×P675×P676×P677×P678×P679×P680×P681×P682×P683×P684×P685×P686×P687×P688×P689×P690×P691×P692×P693×P694×P695×P696×P697×P698×P699×P700×P701×P702×P703×P704×P705×P706×P707×P708×P709×P710×P711×P712×P713×P714×P715×P716×P717×P718×P719×P720×P721×P722×P723×P724×P725×P726×P727×P728×P729×P730×P731×P732×P733×P734×P735×P736×P737×P738×P739×P740×P741×P742×P743×P744×P745×P746×P747×P748×P749×P750×P751×P752×P753×P754×P755×P756×P757×P758×P759×P760×P761×P762×P763×P764×P765×P766×P767×P768×P769×P770×P771×P772×P773×P774×P775×P776×P777×P778×P779×P780×P781×P782×P783×P784×P785×P786×P787×P788×P789×P790×P791×P792×P793×P794×P795×P796×P797×P798×P799×P800×P801×P802×P803×P804×P805×P806×P807×P808×P809×P810×P811×P812×P813×P814×P815×P816×P817×P818×P819×P820×P821×P822×P823×P824×P825×P826×P827×P828×P829×P830×P831×P832×P833×P834×P835×P836×P837×P838×P839×P840×P841×P842×P843×P844×P845×P846×P847×P848×P849×P850×P851×P852×P853×P854×P855×P856×P857×P858×P859×P860×P861×P862×P863×P864×P865×P866×P867×P868×P869×P870×P871×P872×P873×P874×P875×P876×P877×P878×P879×P880×P881×P882×P883×P884×P885×P886×P887×P888×P889×P890×P891×P892×P893×P894×P895×P896×P897×P898×P899×P900×P901×P902×P903×P904×P905×P906×P907×P908×P909×P910×P911×P912×P913×P914×P915×P916×P917×P918×P919×P920×P921×P922×P923×P924×P925×P926×P927×P928×P929×P930×P931×P932×P933×P934×P935×P936×P937×P938×P939×P940×P941×P942×P943×P944×P945×P946×P947×P948×P949×P950×P951×P952×P953×P954×P955×P956×P957×P958×P959×P960×P961×P962×P963×P964×P965×P966×P967×P968×P969×P970×P971×P972×P973×P974×P975×P976×P977×P978×P979×P980×P981×P982×P983×P984×P985×P986×P987×P988×P989×P990×P991×P992×P993×P994×P995×P996×P997×P998×P999×P1000																

第107表-48. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* インジシとしたものはブタの可能性のあるものを含む.

\* 残存位置凡例: w:残存, p:近位端, m:骨幹, d:遠位端, fr:破片, (p)・(d)は本標合の骨端のみ, (p)・(d)・(p+d)は骨端のみ欠損, 頭骨については, [ ]:頭骨残存範囲, ( ) : 萌出中の歯, < > : 萌出中の歯, < > : 未萌出歯, \* : 脱臼.

大 クワッド	小 クワッド	遺構名	集計 単位	取上 番号	取上日	右標 (後) 番号	骨 番 号	種類*1	部位	残存位置*2	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
Vb	B5	L12	-	K-L12	07.06.20	3286	395	w	頭骨		R	1			
Vb	B5	L12	-	K-L12	07.07.19	3210	2190	ジュモン	肋骨		?	1			
Vb	B5	L16	-	J-L/16-18	07.12.07	4774	2274	w	四肢骨	m	?	1			
Vb	B5	L16	-	J-L/16-18	07.11.14	4290	3180	イヌ	下顎M1		L	1			
Vb	B5	L17	-	J-L/16-18	07.08.24	3953	3269	イヌ	上顎/下顎C		*	1			
Vb	B5	L17	-	J-L/16-18	07.12.06	4748	3270	イヌ	上顎/下顎C		*	1			
Vb	B5	L18	-	J-L/16-18	07.09.19	4081	2912	w	肋骨		?	1			
Vb	B5	L18	-	J-L/16-18	07.12.06	14737	55	イヌ	上顎C		L	1			
Vb	B5	L18	-	J-L/16-18	07.09.19	4081	179	イヌ	肋骨	m	L	1			
Vb	B5	L18	-	J-L/16-18	07.09.19	4081	129	イヌ	肋骨	m+d	L	1			
Vb	B5	L18	-	J-L/16-18	07.09.19	4081	147	イヌ	上顎/下顎M	fr	?	1			
Vb	B5	L18	-	J-L/16-18	07.09.19	4081	164	イヌ	肋骨	fr	R	1		14.2	
Vb	B5	L18	-	J-L/16-18	07.09.19	4081	266	イヌ	肋骨	p	R	1			
Vb	B5	L18	-	J-L/16-18	07.09.19	4081	1672	イヌ	肋骨	m	?	1			
Vb	B5	L18	-	J-L/16-18	07.09.19	4081	154	イヌ	本脚骨	<p>・(d)>	R	1			
Vb	B5	L18	-	J-L/16-18	07.09.19	4081	157	イヌ	大腿骨	<d>	L	1			
Vb	B5	L18	-	J-L/16-18	07.11.14	4284	2285	哺乳類(同定不可)	四肢骨	m	?	1			
Vb	B5	L-M16	-	J-L/16-18	07.12.21	4991	1941	イヌ	大腿骨	m	?	1		12.7	
Vb	B5	M09	-	M09	07.12.18	4901	1685	ハタ科	角骨	m	R	1			
Vb	B5	M09	-	M09	07.12.18	4901	1815	ハタ科	角骨	m	R	1			
Vb	B5	M09	-	M09	07.12.18	4901	1043	アジ科(大型種)	梅脚骨		R	1			
Vb	B5	M09	-	M09	07.12.18	4901	9116	アジ科(大型種)	主上顎骨		L	1			
Vb	B5	M09	-	M09	07.12.18	4901	9116	アジ科(大型種)	椎骨		-	1			
Vb	B5	M09	-	M09	07.12.18	4901	1232	クロダク属	前上顎骨		L	1			
Vb	B5	M09	-	M09	07.12.18	4901	1806	フェフキダク属	口蓋骨		L	1			
Vb	B5	M09	-	M09	07.12.18	4901	1805	フェフキダク属	口蓋骨		L	1			
Vb	B5	M09	-	M09	07.12.18	4901	1076	フェフキダク属	主上顎骨		R	1			
Vb	B5	M09	-	M09	07.12.18	4901	1734	フェフキダク属	主上顎骨		L	1			
Vb	B5	M09	-	M09	07.12.18	4901	1273	フェフキダク属	前上顎骨		L	1			
Vb	B5	M09	-	M09	07.12.18	4901	1303	フェフキダク属	前上顎骨		R	1			
Vb	B5	M09	-	M09	07.12.18	4901	1210	フェフキダク属	歯骨		R	1			
Vb	B5	M09	-	M09	07.12.18	4901	1126	フェフキダク属	角骨		L	1			
Vb	B5	M09	-	M09	07.12.18	4901	1134	フェフキダク属	角骨		R	1			
Vb	B5	M09	-	M09	07.12.18	4901	1710	フェフキダク属	方骨		L	1			
Vb	B5	M09	-	M09	07.12.18	4901	1694	フェフキダク属	主脚蓋骨		R	1			
Vb	B5	M09	-	M09	07.12.18	4901	9118	フェフキダク属	腹椎		-	1			
Vb	B5	M09	-	M09	07.12.18	4901	9110	シロクラヘラ型	椎骨		-	1			
Vb	B5	M09	-	M09	07.12.18	4901	818	アオブダイ属	下咽頭骨		-	1			
Vc	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	1702	イヌ	中脳骨		?	1			焼
Vc	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	1739	フェフキダク属	口蓋骨		L	1			
Vc	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	1662	フェフキダク属	口蓋骨		R	1			
Vc	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	1356	フェフキダク属	前上顎骨		R	1			
Vc	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	1329	フェフキダク属	歯骨		R	1			
Vc	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	468	フェフキダク属	主脚蓋骨		L	1			
Vc	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	430	ハリセンボノ科	棘		-	1			
Vc	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	431	ハリセンボノ科	棘		-	1			
Vc	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	432	ハリセンボノ科	棘		-	1			
Vc	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	433	ハリセンボノ科	棘		-	1			
Vc	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	434	ハリセンボノ科	棘		-	1			
Vc	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	435	ハリセンボノ科	棘		-	1			
Vc	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	436	ハリセンボノ科	棘		-	1			
Vc	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	437	ハリセンボノ科	棘		-	1			
Vc	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	453	ハリセンボノ科	棘		-	1			
Vc	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	454	ハリセンボノ科	棘		-	1			
Vc	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	455	ハリセンボノ科	棘		-	1			
Vc	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	456	ハリセンボノ科	棘		-	1			
Vc	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	457	ハリセンボノ科	棘		-	1			
Vc	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	458	ハリセンボノ科	棘		-	1			



第107表-49. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* イングリッシュ語の付いたものはブタの可能性のあるものを含む.

\* 残存位置記号: w(左), v(右), p(近位), n(遠位), m(背脊), a(遠位), r(破片), (g)・(d)は未鑑定の骨端のみ, (g)・(d)は骨端を総合脱落, <g>・<d>は骨端のみ欠損, 骨端については: [ ]: 骨端残存範囲, ( ): 前出中の骨, < >: 未前出骨, x: 脱落.

種別	大 タイプ	小 タイプ	遺体名	集計 単位	取上 番号	取上日	右側 (後) 番号	骨番号	種別1	部位	残存位置*2	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
Ve	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	459	ハリスンボシ科	椎			-	1			
Ve	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	1108	ハリスンボシ科	椎			-	1			
Ve	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	227	ウミガメ類	指骨			?	1			
Ve	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	2935	ウミガメ類	縁骨板			?	1			
Ve	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	2936	ウミガメ類	縁骨板			?	1			
Ve	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	2209	イナシ	肩甲骨	d		R	1			
Ve	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	274	イナシ	距骨			L	1			
Ve	B5	G13	-	G13	07.11.12	4222	274	イナシ	距骨			L	1			
Ve	B5	H09	-	H+J/08-12	07.12.05	14693	1046	サメ類	椎骨			-	1			
Ve	B5	H09	-	H+J/08-12	07.12.05	14693	1817	フェウキギイ科	肋骨	m		L	1			
Ve	B5	H09	-	H+J/08-12	07.12.05	14693	119	イヌ	上腕骨	m		L	1			
Ve	B5	H09	-	H+J/08-12	07.12.05	14693	310	イナシ	腕骨			-	1			
Ve	B5	H09	-	H+J/08-12	07.12.05	14693	1387	イナシ	上腕骨	<d>		R	1			
Ve	B5	H09	-	H+J/08-12	07.12.05	14693	166	イナシ	腕骨	p		L	1			
Ve	B5	H09	-	H+J/08-12	07.12.05	14693	2179	イナシ	腕骨	<p>・<d>		R	1			
Ve	B5	H09	-	H+J/08-12	07.12.05	14693	127	イナシ	腕骨	<p>・<d>		L	1			
Ve	B5	H09	-	H+J/08-12	07.12.05	14693	282	イナシ	腕骨			R	1			
Ve	B5	H10	-	H+J/08-12	07.12.05	14689	940	アジ科(大型種)	椎骨			-	1			
Ve	B5	H10	-	H+J/08-12	07.12.05	14689	956	アジ科(大型種)	椎骨			-	1			
Ve	B5	H10	-	H+J/08-12	2689	07.12.04	14681	539	ウミガメ類	縁骨板		?	1			
Ve	B5	H10	-	H+J/08-12	07.12.05	14689	19	イナシ	下顎M			L	1			d
Ve	B5	H10	-	H+J/08-12	07.12.05	14689	18	イナシ	上顎/下顎M	r		?	1			b
Ve	B5	H10	-	H+J/08-12	07.12.05	14689	313	イナシ	椎骨	椎体r		-	1			
Ve	B5	H10	-	H+J/08-12	07.12.05	14689	314	イナシ	椎骨	椎体r		-	1			
Ve	B5	H10	-	H+J/08-12	07.12.05	14689	315	イナシ	椎骨	椎体r		-	1			
Ve	B5	H10	-	H+J/08-12	07.12.05	14689	316	イナシ	椎骨	椎体r		-	1			
Ve	B5	H10	-	H+J/08-12	07.12.05	14689	104	イナシ	上腕骨	椎体r		-	1			
Ve	B5	H10	-	H+J/08-12	07.12.05	14688	1605	イナシ	尺骨	p<d>		L	1			幼獣
Ve	B5	H10	-	H+J/08-12	07.12.05	14689	2753	イナシ	大腸骨	p<d>		L	1			幼獣
Ve	B5	H10	-	H+J/08-12	07.12.05	14689	3067	イナシ	膝蓋骨	(p)・<d>		R	1			
Ve	B5	H10	-	H+J/08-12	07.12.05	14689	1387	イナシ	踵骨			L	1			
Ve	B5	H10	-	H+J/08-12	07.12.05	14689	302	イナシ	基節骨	p		?	1			
Ve	B5	H10	-	H+J/08-12	07.12.05	14689	195	イナシ?	肋骨	m		?	1			
Ve	B5	H10	-	H+J/08-12	07.12.05	14689	196	イナシ?	肋骨	m		?	1			
Ve	B5	H10	-	H+J/08-12	07.12.05	14689	197	イナシ?	肋骨	m		?	1			
Ve	B5	H11	-	H+J/08-12	07.12.05	14700	1361	アジ科(大型種)	前上顎骨			L	1			
Ve	B5	H11	-	H+J/08-12	07.12.05	14696	451	クロダイ属	前上顎骨			L	1			
Ve	B5	H11	-	H+J/08-12	07.12.05	14700	1738	フェウキギイ属	口蓋骨			R	1			
Ve	B5	H11	-	H+J/08-12	07.12.05	14700	3275	イナシ	上顎骨	[PAMI]		R	1			k
Ve	B5	H11	-	H+J/08-12	07.12.05	14700	2017	イナシ	腭骨	m		?	1			
Ve	B5	H12	-	H+J/08-12	07.12.10	4789	1327	フェウキギイ科	前上顎骨			R	1			
Ve	B5	H12	-	H+J/08-12	07.12.10	4789	2891	ウミガメ類	中手骨			?	1			
Ve	B5	H12	-	H+J/08-12	07.12.10	4789	540	ウミガメ類	縁骨板			?	1			
Ve	B5	H12	-	H+J/08-12	07.12.10	4789	309	イナシ	胸椎			-	1			
Ve	B5	H12	-	H+J/08-12	282	07.12.10	4791	ウツウ	椎骨			-	1			
Ve	B5	108	-	H+J/08-12	07.11.13	4258	1238	フェウキギイ科	前上顎骨			R	1			
Ve	B5	108	-	H+J/08-12	08.02.29	711	1686	フェウキギイ科	主観蓋骨			L	1			
Ve	B5	108	-	H+J/08-12	07.11.13	4258	1772	イナシ	上腕骨	<p>		R	1			
Ve	B5	108	-	H+J/08-12	07.11.13	4258	1451	イナシ	上腕骨	<d>		R	1			
Ve	B5	108	-	H+J/08-12	07.11.13	4258	2030	イナシ	距骨	<p>・<d>		L	1			11.4
Ve	B5	108	-	H+J/08-12	07.11.13	4258	1967	イナシ	基節骨			L	1			
Ve	B5	109	-	H+J/08-12	07.11.30	14586	1853	ハタ科	縁骨板			L	1			
Ve	B5	109	-	H+J/08-12	07.11.30	14586	950	アジ科(大型種)	椎骨			-	1			
Ve	B5	109	-	H+J/08-12	07.11.30	14586	1852	フェウキギイ属	口蓋骨			R	1			
Ve	B5	109	-	H+J/08-12	07.11.30	14586	1838	フェウキギイ科	主上顎骨			L	1			
Ve	B5	109	-	H+J/08-12	07.11.30	14586	1364	フェウキギイ科	前上顎骨			L	1			
Ve	B5	109	-	H+J/08-12	07.11.30	14586	510	ウミガメ類	縁骨板			?	1			
Ve	B5	109	-	H+J/08-12	07.11.30	14586	3264	イナシ	下顎C			R	1			
Ve	B5	109	-	H+J/08-12	07.11.30	14586	144	イナシ	上腕骨	m		R	1			
Ve	B5	109	-	H+J/08-12	07.11.30	14586	123	イナシ	腕骨	p		L	1			

第107表-50. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果.

\* イノシシとしたものはブタの可能性のあるものを示す.

\*\* 残存位置凡例: w(残存), p(近位端), m(骨幹), d(遠位端), r(破片), (p)・(d)は未鑑定の骨端のみ, (p)・(d)は骨端のみ欠損, 頭骨については, [ ]:頭骨残存範囲, ( ) : 萌出中の歯, < >: 未萌出歯, ×: 脱臼.

層	大 タリット	小 タリット	遺構名	集計 単位	取上 番号	取上日	台帳 (後) 番号	骨番 号	種類 <sup>1)</sup>	部位	残存位置*2	左右	数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
Yc	B5	109	-	H+/08-12	07.11.30	14586	124	イノシシ	頰骨	p+m		R	1		12.2		
Yc	B5	109	-	H+/08-12	07.11.30	14586	236	イノシシ	尺骨	p		R	1				
Yc	B5	109	-	H+/08-12	07.11.30	14586	172	イノシシ	脛骨	(d)		R	1				
Yc	B5	109	-	H+/08-12	07.11.30	14586	229	イノシシ	基礎骨			-	1				
Yc	B5	110	-	H+/08-12	07.11.30	14574	968	真骨類(同定不可)	椎骨			-	1				
Yc	B5	110	-	H+/08-12	07.11.30	14574	962	真骨類(同定不可)	椎骨			-	1				
Yc	B5	112	-	H+/08-12	07.12.10	4781	3112	イノシシ	上顎M2			L	1	a			
Yc	B5	109	-	H+/08-12	07.12.03	14637	739	ハシロネ科	前上顎/脛骨			-	1				
Yc	B5	109	-	H+/08-12	07.12.03	14637	1665	イノシシ	尺骨	p		R	1			幼獣・産	
Yc	B5	109	-	H+/08-12	07.11.26	14503	1335	ハタ科	角骨			L	1				
Yc	B5	109	-	H+/08-12	07.12.03	14644	3159	イノシシ	上顎骨	[M1M2]		L	1	h+/h-			
Yc	B5	K09	-	K-M/09-10	07.12.03	14644	1458	イノシシ	上脛骨	<d>		L	1				
Yc	B5	K12	-	-	07.12.06	14739	1484	イノシシ	上脛骨	<d>		L	1				
Yc	B5	L09	-	K-M/09-10	07.11.09	4207	2227	イノシシ	脛骨	m		L	1		10.8		
Yc	B5	L10	-	K-M/09-10	07.11.30	14573	1515	イノシシ	上脛骨	d		L	1				
Yc	B5	L18	-	L18	290	07.12.14	4870	52	イノシシ	下脛骨	[C×P2P3M1M2×M3×]	L	1				
Yc	B5	L18	-	L18	290	07.12.14	4870	49	イノシシ	下脛骨	[M]	R	1				
Yc	B5	L18	-	L18	07.12.14	4867	2781	イノシシ	上脛骨	m		R	1		10.5		
Yc	B5	L18	-	L18	07.12.14	4868	1992	イノシシ	基礎骨	m		R	1				
Yc	B5	M09	-	K-M/09-10	07.11.09	4200	3217	イノシシ	下顎C			L	1				
Yc	B5	M10	-	K-M/09-10	07.11.12	4227	2779	イノシシ?	肋骨	m		L	1			e <sup>3</sup>	
Yc	B5	S16	-	-	07.12.18	4929	2395	ウシ	上顎/下顎臼歯	fr		?	1				
Yc	B5	A16	-	-	428	07.12.18	4928	2317	ウシ	軸椎		-	1				
V	B5	H18	05678K	-	07.04.24	1136	-	ウミガメ類	尺骨	p+m		R	1				
V	B5	H18	05678K	-	07.04.24	1136	-	ウミガメ類	四指骨	m		?	2				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	423	サメ類	椎骨			-	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	1049	サメ類	椎骨			-	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	1209	タツ科	前上顎骨			L	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	897	マハダ型	歯骨			R	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	1267	スジウロ科	前上顎骨			L	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	872	ヨロシマクロガメ	前上顎骨			L	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	1199	フェフキイカ	口蓋骨			R	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	1290	フェフキイカ	前上顎骨			R	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	460	アオブダイ属	歯骨			L	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	733	ハシセンペン科	前上顎骨			-	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	547	ウミガメ類	縁骨板			?	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	548	ウミガメ類	縁骨板			?	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	549	ウミガメ類	縁骨板			?	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	566	ウミガメ類	縁骨板			?	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	561	ウミガメ類	内腹板			?	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	2963	ウミガメ類	腹甲板	m		?	2				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	-	ウミガメ類	鳥口-肩甲骨	m		L	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	482	ウミガメ類	縁骨板			?	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	517	ウミガメ類	縁骨板			?	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	2950	ウミガメ類	縁骨板			?	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	361	イノシシ	下顎C			L	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	67	イノシシ	下顎M1			L	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	3029	イノシシ	後頭骨	上部		-	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	3126	イノシシ	上顎骨	[P1M1M2]		R	1	a			
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	3207	イノシシ	上顎1			R	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	10	イノシシ	上顎1			●	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	3222	イノシシ	上顎C			L	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	3111	イノシシ	上顎M2			R	1	h+h,+++			
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	3141	イノシシ	上顎M3			L	1	h+h,+++			
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	9	イノシシ	下顎骨	連合部[1123×]		L	1	g			
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	10	イノシシ	下顎骨	連合部[123×]		L	1	g			
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	3196	イノシシ	下顎1			R	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	3200	イノシシ	下顎2			R	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	25	イノシシ	下顎2	fr		R	1				
VI	-	-	-	-	07.12.27	5049	3120	イノシシ	下顎M2			L	1	h+			

第107表-51. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の同定結果。

\* イonsinとはたものはブタの可能性のあるものを含む。  
 \* 残存位置凡例: w:完全, p:近位端, m:骨幹, o:遠位端, fr:破片, (p)・(d)は未鑑定の骨端のみ, (p)・(d)は骨端のみ火損, 顎骨については[ ]:顎骨残存範囲, ( ) :前出中の歯, <>:未萌出歯, x:脱落。  
 \* 残存位置記号: fr:破片, (p)・(d)は未鑑定の骨端のみ, (p)・(d)は骨端のみ火損, 顎骨については[ ]:顎骨残存範囲, ( ) :前出中の歯, <>:未萌出歯, x:脱落。

種別	大 クワッド	小 クワッド	遺構名	集計 単位	取上 番号	取上日	登録 番号	骨 番 号	種類別	部位	残存位置記号	左右 数	咬耗 状況	咬耗 段階	SD (mm)	備考
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	26	Ionsin	上顎/下顎	fr	*	1			産
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	27	Ionsin	上顎/下顎	fr	*	1			産
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	2	Ionsin	上顎/下顎M	fr	?	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	1955	Ionsin	腰椎	fr	-	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	265	Ionsin	肩甲骨	<d>	R	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	265	Ionsin	肩甲骨	<d>	R	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	258	Ionsin	肩甲骨	d	L	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	2195	Ionsin	肩甲骨	d	L	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	219	Ionsin	肩甲骨	d	R	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	262	Ionsin	肩甲骨	d	R	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	155	Ionsin	上腕骨	m-<d>	L	1		11.4	
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	1443	Ionsin	上腕骨	m-(d)	R	1		11.0	
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	1388	Ionsin	上腕骨	d	R	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	165	Ionsin	椎骨	p-m	L	1		15.7	
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5077	1630	Ionsin	尺骨	p	L	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	234	Ionsin	尺骨	p	R	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	1670	Ionsin	尺骨	m	R	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	2193	Ionsin	尺骨	m	R	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	1900	Ionsin	大腿骨	m	L	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	86	Ionsin	大腿骨	(d)	R	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	1920	Ionsin	脛骨	<p>	L	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	181	Ionsin	脛骨	<p>	R	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	2249	Ionsin	脛骨	d	L	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	2035	Ionsin	脛骨	d	L	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	2060	Ionsin	脛骨	d	L	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	283	Ionsin	踵骨		L	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	280	Ionsin	踵骨		R	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	1885	Ionsin	第5中足骨	p	R	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	290	Ionsin	基礎骨		?	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	298	Ionsin	末節骨		?	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5065	2369	ウシ	下顎M3		R	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5049	1195	ジュゴン	肋骨		R	1			
VI	-	-	-	-	-	07.12.27	5065	1196	ジュゴン	肋骨		?	1			
VI	B5	C12	-	-	-	07.12.05	14710	3104	Ionsin	下顎M3		L	1			
VI	B5	C14	-	-	-	07.12.27	5066	805	アオブダイ属	上顎頭骨		R	1			a
VI	B5	C14	-	-	-	07.12.27	5066	809	アオブダイ属	上顎頭骨		R	1			
VI	B5	C14	-	-	-	07.12.27	5066	935	真骨魚(同定不可)	椎骨		-	1			
VI	B5	C14	-	-	-	07.12.27	5066	156	Ionsin	上腕骨	m-<d>	R	1			
VI	B5	C14	-	-	-	07.12.27	5066	97	Ionsin	上腕骨	<d>	L	1			
VI	B5	C14	-	-	-	07.12.27	5066	163	Ionsin	椎骨	p	R	1			
VI	B5	C14	-	-	-	07.12.27	5066	2311	ウシ	頭骨	fr	?	1			
VI	B5	E12	-	-	-	07.12.18	4896	108	Ionsin	脛骨	d	R	1			
VI	B5	H17	-	-	-	08.03.05	735	2302	ハリセンボソ科	前上顎骨		-	1			
VI	B5	H17	-	-	-	08.03.05	735	2305	ハリセンボソ科	前上顎/歯骨		-	1			
VI	B5	H17	-	-	-	08.03.05	735	2769	イヌ	下顎骨	[M1M2M3]	R	1			
不明	-	-	-	-	-	08.03.05	741	2277	哺乳類(同定不可)	肋骨	p	?	1			フルイ
不明	-	-	-	-	-	-	-	5076	アオブダイ科	椎骨		-	1			フルイ
不明	-	-	-	-	-	-	-	5104	ウシ科	椎骨		-	1			フルイ
不明	-	-	-	-	-	-	-	5078	ウシ科	椎骨		-	1			
不明	-	-	-	-	-	-	-	1277	クロダク属	椎骨		R	1			
不明	-	-	-	-	-	-	-	466	ハヤブエフキ型	前上顎骨		L	1			
不明	-	-	-	-	-	-	-	446	ハヤブエフキ型	前上顎骨		R	1			
不明	-	-	-	-	-	-	-	1276	フェフキタイプ	前上顎骨		L	1			
不明	-	-	-	-	-	-	-	448	フェフキタイプ	前上顎骨		R	1			
不明	-	-	-	-	-	-	-	450	フェフキタイプ	歯骨		L	1			
不明	-	-	-	-	-	-	-	1275	フェフキタイプ	歯骨		L	1			
不明	-	-	-	-	-	-	-	895	フェフキタイプ	角骨		R	1			
不明	-	-	-	-	-	-	-	1855	フェフキタイプ	腰椎		-	1			
不明	-	-	-	-	-	-	-	5075	フェフキタイプ	腰椎		-	1			フルイ
不明	-	-	-	-	-	-	-	852	アオブダイ属	前上顎骨		R	1			





第108表-1. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の組成(NISP).

\*ハリセンボン科の棘, カメ類の詳細不明甲板破片および哺乳類の歯の破片は除外した。イノシシとしたものはブタの可能性のあるものを含む。

種類	I			II				IIIa										
	0350SZ	他	合計	0008SF	0586SZ	他	合計	C-E/ 17-18	D-E/ 13-16	F-J/ 12-15	F-I/ 16-18	J-M/ 16-18	H-J/ 08-10	K-L/ 09-10	M13-14	N-P/ 09-10	O- Q/18	
サメ類			0				0	1		1	2	1						
エイ目			0				0											
アナゴ科			0				0											
ウツボ科			0				0											
ダツ科		1	1			1	1											
ボラ科			0				0											
マハタ型			0				0											
スジアラ型			0				0											
ハタ科			0				0			1								
ハタ型			0				0											
フエダイ科	1		1				0											
アジ科(大型種)	1		1	1			1											
コショウダイ類			0				0											
クロダイ属	2	2	4				0	2		5	4		1	1				
ヨコシマクロダイ			0				0											
ハマフエフキ型			0				0											
フエフキダイ属	1	1	2				0	1					1					1
フエフキダイ科	6	3	9			2	2	3		4	4		2					5
タイ型	1		1				0			1		1						
シロクラベラ型	1		1				0		1	1								
タキベラ型			0				0											
ベラ科A			0				0											
ベラ科			0			1	1						1					
イロブダイ属			0				0											
アオブダイ属		2	2			1	1		1		3	1						
ブダイ科			0				0											
オニオコゼ科			0				0											
コチ科			0				0											
モンガラカワハギ科	1		1				0											
フグ科			0				0											
ハリセンボン科	1		1				0		3		9	2						1
真骨類(未同定)	1		1				0											
真骨類(保留)			0				0											
真骨類(同定不可)	2	1	3				0											
ヘビ類			0				0				3							
リクガメ類			0				0			1								
ウミガメ類			0	1			1	4		2								
ニワトリ			0				0											
鳥類(未同定)			0				0											1
鳥類(同定不可)	1		1				0											
ネズミ科			0				0											
イヌ		5	5			2	2			1			2					1
ネコ?			0				0			1								
イノシシ(頭・顎骨)	6	4	10	6	1	2	9	3	3	12	7	2	2					7
イノシシ(頭類以外)	13	24	37	7	5	7	19	8	8	53	39	15	21	3		1		10
ブタ			0			1	1											
ウシ	2	4	6	4	4	3	11	2	5	2	3	2	1	3	1	3		6
ウマ	2	2	4	2	2	1	5		1	3	1	1		1	1	2		7
ウシ/ウマ	1	2	3	1	2		3	2	1	6	3	1			2			7
小型獣(同定不可)			0				0					1						
陸獣類(同定不可)			0			1	1						1					
ジュゴン			0	1			1				2	1						
イルカ			0				0		2									
クジラ			0				0			1								
海獣類?			0				0											
合計	43	51	94	23	14	22	59	26	25	95	80	28	32	8	4	6		46

他	合計	IIIb							III下遺構										
		C-E/ 16-18	F-J/ 16-18	E-G/ 12-14	H-K/ 09-10	M11	他	合計	0480P	1540P	0660SK	0687SK	1543SK	1554SK	2210SK	4403SK	4424SK	4533SK	4569SK
	5				1			1											
	0							0											1
	0							0											
	0							0											
	0		2		1			3											
	0							0											
	0							0											
	0							0											
	1		2					2											1
	0							0											
	0		1					1											
	0		6	1				7											
	0		1					1											
	13	2	15					17				1							
	0	1						1											
	0		1					1											
	3		5		1			6											
	18	6	75	1	2			84		1	1	2							1
	2		2				1	3											
	2		2					2											
	0							0											
	0							0											
	1	1	5					6										1	
	0		3					3											
	5	2	21	3	1			27				1							
	0						1	1											
	0							0											
	0		1					1											
	0		2				1	3											
	0		2					2											
1	16	5	20					25			1		1						
	0		1					1											
	0							0											1
	0		2					2									1		1
	3				1			1											
	1	1	6		1			8											
	6	3	32	1				36											
	0				1			1											
	1							0											
	0							0											
	0							0											
	4		24					24				1							
	1							0											
	36	21	38	6				65	4						2	2			
3	161	51	111	18	23	1		204			2	1	2	2		6	2	1	
1	1		1					1											
	28		8	5	10		3	26				1		1	1			1	
	17		1	1	7			9		2	1		1	2	2				
3	25	1	5	3	6			15		3				1	3			1	2
	1			1				1				1							
	1		1	1				2									1		
	3		7	1	2			10											
	2		4					4											
	1		2					2											
	0							0											
8	358	94	409	42	57	3	4	609	4	6	5	7	5	6	6	8	7	5	5

第108表-2. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の組成(NISP).

\* ハリセンボン科の棘、カメ類の詳細不明甲板破片および哺乳類の歯の破片は除外した。イノシシとしたものはブタの可能性のあるものを含む。

種類	III 下遺構																
	4627SK	1160SS	1163SS	1062SX	1505SX	1634SX	4681SX	C-E/ 17-18	F-I/ 16-18	J-L/ 16-18	G-I/ 13-15	G-H/ 9-12	I-J/ 08-12	J-L12	K-L/ 08-11	M-N/ 09-10	Q-R/ 14-15
サメ類									1				1				
エイ目										1							
アナゴ科																	
ウツボ科																	
ダツ科	1								1		1						
ボラ科									1	1							
マハタ型										1	1					1	
スジアラ型																	
ハタ科									1		1					1	
ハタ型									1		2						
フェダイ科											1						
アジ科(大型種)		1							1	1							
コショウダイ類																	
クロダイ属									2		1	2	1				
ヨコシマクロダイ																	
ハマフエフキ型																	
フエフキダイ属		2							2	1							
フエフキダイ科		16	7	1				1	17	7	4	5	5				
タイ型									1	1				1			
シロクラベラ型												1					
タキベラ型																	
ベラ科A									1				1				
ベラ科																	
イロブダイ属																	
アオブダイ属		1						1	3	1	2		1				
ブダイ科										1					1		
オニオコゼ科									1								
コチ科																	
モンガラカワハギ科									1								
フグ科									1	1			1				
ハリセンボン科								1	8			2	1				
真骨類(未同定)																	
真骨類(保留)													1				
真骨類(同定不可)			2						1			1	2				
ヘビ類													9		3		
リクガメ類													1				
ウミガメ類									4		3	2	1				
ニワトリ																	
鳥類(未同定)											1						
鳥類(同定不可)										1	1						
ネズミ科													2				1
イヌ							2	1	4	5	1	2	1	1	1	1	2
ネコ?							1										
イノシシ(頭・顎骨)	2	1	1	7			3	5	16	4	5	11	6		3	2	2
イノシシ(頭類以外)		1	1	4	1	1	8	9	34	24	24	37	39	4	9		1
ブタ		1															
ウシ	2				1	6	32		7	3	4	2	8	3	3		3
ウマ					3	1	9		4	1	1	2	3	2	1	1	2
ウシ/ウマ	1				1		9	1	6	3	3	4	13	3	4	1	1
小型獣(同定不可)									1	1	1		2		2	2	
陸獣類(同定不可)													1	1			
ジュゴン									3	1	1	3	3				
イルカ																	
クジラ							2										
海獣類?																	
合計	6	23	11	12	6	8	66	19	123	59	58	74	103	15	27	9	12

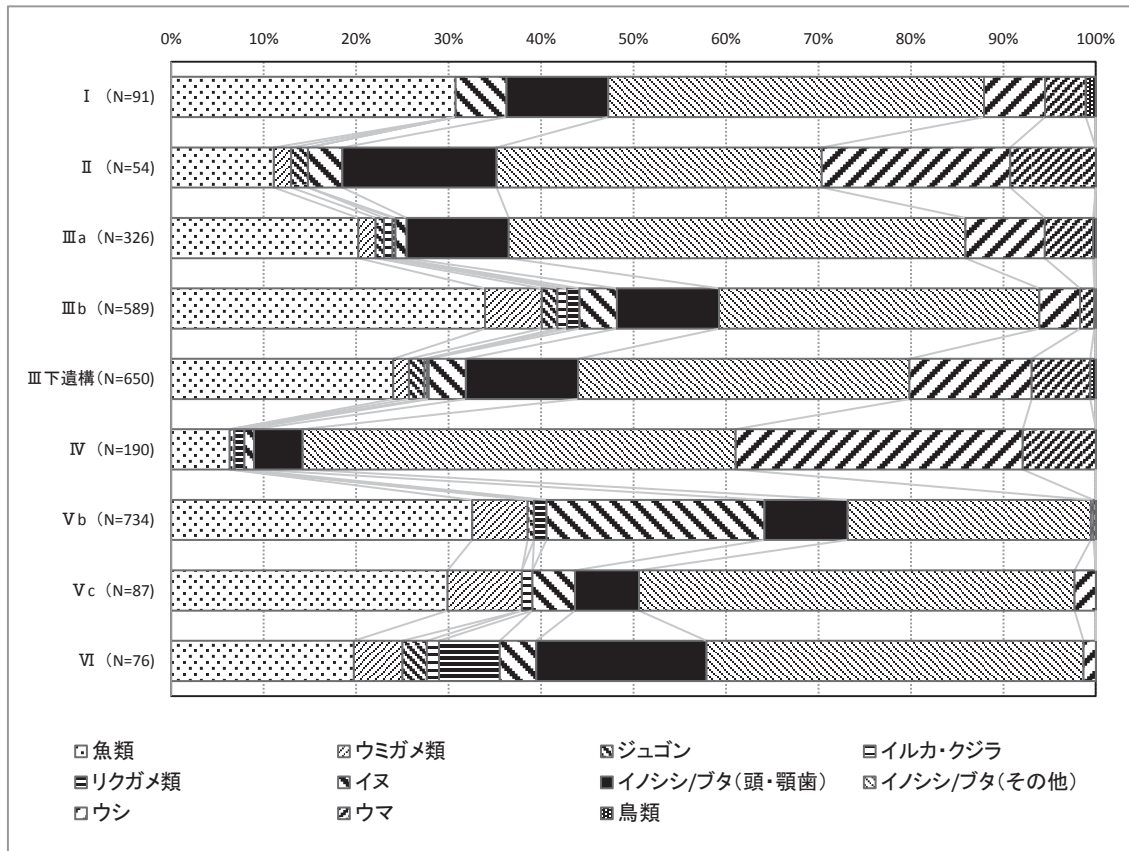
P-Q/ 16-18	T-A/ 17-18	他	IV				Va		Vb													
			合計	4409SX	1510SD	他	合計	4409SX	0586SZ	0656SS	4311SX	4315SG	4800SG	C-D/ 17-18	F-I/ 16-18	J-L/ 16-18	G-H/ 09-12	G-H/ 13-15	I-J/ 08-12			
			2				0											1				
			2				0															
			0				0															
			0				0															
			3				0							1					1			
			2				0															
	1		4				0							1								
			0				0															
			4				0							2								
			3				0															
			1				0															
			3				0							7			1	1				
			0				0															
			7				0							1	5		1			1		
1			1				0															
			0				0								2							
			5				0							1	5		1					
2	1		71	3			3							2	67	2	10	8		12		
			3				0															
			1	1			1							1	6					1		
			0				0								1							
			2				0								1		1					
			1				0												1			
			0				0															
			10	1			1								9			3		1		
			2				0								3							
			1				0															
			0				0															
			1				0								1			2				
			3				0													1		
			14	5	1		6							2	5		1	1				
			0				0								3			1				
			2				0															
			8	1			1								2		1	1				
		2	14				0								2							
			1	2			2								2		1			5		
		1	11				0								33	2	5	3				
			0				0															
			1				0															
	1		3				0															
			3				0															
1		3	26		2		2					6			34	7		68	7	6	10	12
			1				0															
2		1	79	6	4		10						10		3	29	2		5		15	
4	10	6	233	79	10		89	8					5	9	1	13	76	9	11	4	40	
			1				0															
4	2	2	86		58	1	59															
1	2		41		15		15															1
4	3	2	69		17		17											1		4		1
			10				0															
			3	1			1										1		2		2	
			11	1			1	1	1							3						
			0				0															
			2				0															
			0				0															
19	20	17	751	100	107	1	208	9	7	38	9	34	8	24	333	24	40	47				92



第108表-3. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体の組成(NISP).

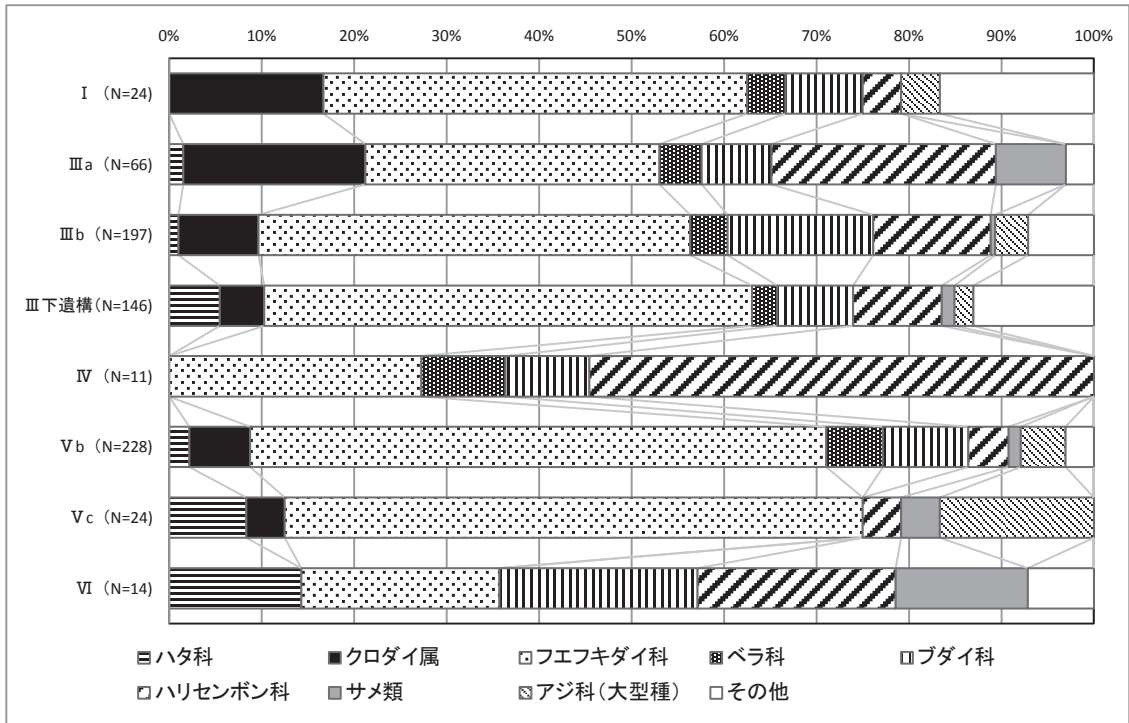
\* ハリセンボン科の棘、カメ類の詳細不明甲板破片および哺乳類の歯の破片は除外した。イノシシとしたものはブタの可能性のあるものを含む。

種類	Vb						Vc						V	VI	不明
	K-L/ 09-11	K-L12	I-K/ 13-15	M09	他	合計	G13	H-J/ 08-12	K-M/ 09-10	L18	他	合計			
サメ類			1		1	3		1				1		2	
エイ目						0						0			
アナゴ科						0						0			2
ウツボ科						0						0			1
ダツ科						2						0		1	
ボラ科						0						0			
マハタ型						1						0		1	
スジアラ型						0						0		1	
ハタ科				2		4		2				2			
ハタ型						0									
フエダイ科						0						0			
アジ科(大型種)				2		11		4				4			
コショウダイ類						0						0			
クロダイ属				2		15		1				1			1
ヨコシマクロダイ						0						0		1	
ハマフエフキ型						2						0			2
フエフキダイ属				2		10	2	2				4		1	
フエフキダイ科			7	10	3	130	5	6				11		1	7
タイ型						1						0			
シロクラベラ型			1	1		10						0			
タキベラ型						1						0			
ベラ科A						2						0			
ベラ科						1						0			
イロブダイ属						0						0			
アオブダイ属				1		18						0		3	2
ブダイ科						3						0			
オニオコゼ科						0						0			
コチ科						0						0			
モンガラカワハギ科						3						0			
フグ科						1						0			1
ハリセンボン科					1	10		1				1		3	1
真骨類(未同定)						4						0			
真骨類(保留)						0						0			1
真骨類(同定不可)			1			7		2				2		1	3
ヘビ類			19			21						0			1
リクガメ類	2					10						0		5	6
ウミガメ類						44	3	4				7	3	4	1
ニトリ						0						0			
鳥類(未同定)						0						0			
鳥類(同定不可)						0						0			
ネズミ科						0						0			
イス	5	10	8			173		1		3		4		3	5
ネコ?	1					1						0			
イノシシ(頭・顎骨)			2			66		4	2			6		14	17
イノシシ(頭類以外)	2	2	20	1		193	3	32	4	1	1	41		31	5
ブタ						0						0			
ウシ	2					2					2	2		1	1
ウマ		1				2						0			1
ウシ/ウマ						6						0			4
小型獣(同定不可)						0						0			
陸獣類(同定不可)			1			6						0		1	
ジュゴン		1				5						0		2	
イルカ						0						0			
クジラ						0		1				1		1	
海獣類?	1					1						0			
合計	13	14	60	21	5	769	13	61	6	4	3	87	3	77	62



第149図. 伊礼原D遺跡から採集された脊椎動物遺体組成の層位的変遷(NISP比).

\* ヘビ・ネズミを除く。V a層は資料数が少ないため表示していない。

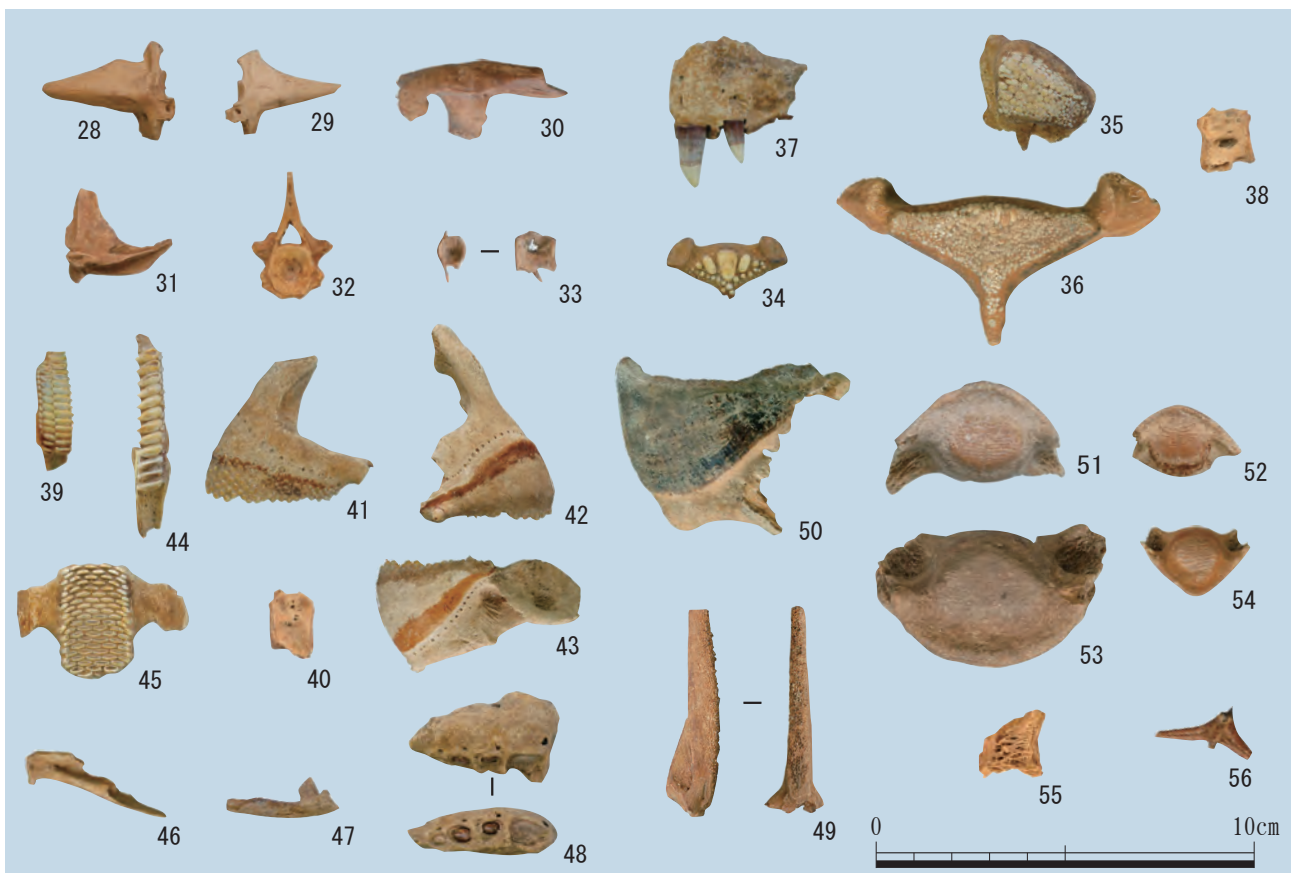


第150図. 伊礼原D遺跡から採集された魚類遺体組成の層位的変遷(NISP比).

\* II層・V a層は資料数が少ないため表示していない。

メジロザメ科 1 椎骨  
 エイ目 2 尾棘  
 ダツ科 3 前上顎骨(L) 4 前上顎骨(R) 5 歯骨(L) 6 椎骨  
 ボラ科 7 第1椎骨  
 ハタ科 (マハタ型) 8 前上顎骨(L)  
 ハタ科 (スジアラ型) 10 前上顎骨(L・焼)  
 ハタ科 9 角骨(L)  
 アジ科 (大型種) 11 主上顎骨(L) 12 前上顎骨(L) 13 椎骨  
 クロダイ属 14 前上顎骨(L) 15 前上顎骨(R) 16 主上顎骨(L) 17 歯骨(L) 18 角骨(L) 19 口蓋骨(L)  
 ヨコシマクロダイ 20 前上顎骨(R) 21 前上顎骨(L)  
 フエフキダイ属 (ハマフエフキ型) 22 前上顎骨(L)  
 フエフキダイ属 23 前上顎骨(L) 24 前上顎骨(R) 30 口蓋骨 31 方骨(R)  
 フエフキダイ科 25 主上顎骨(L) 26 歯骨(L) 27 歯骨(R) 28 角骨(L) 29 角骨(R) 32 腹椎  
 タイ型 33 尾椎  
 ベラ科 (タキベラ型) 34 下咽頭骨  
 ベラ科 (シロクラベラ型) 35 上咽頭骨(L) 36 下咽頭骨  
 ベラ科 37 前上顎骨(L)  
 イロブダイ属 39 上咽頭骨(L) 41 前上顎骨(L)  
 アオブダイ属 42 前上顎骨(R) 43 歯骨(L) 44 上咽頭骨(R) 45 下咽頭骨  
 ブダイ科 38・40 椎骨  
 オニオコゼ科 46 歯骨(L)  
 コチ科 47 前上顎骨(R)  
 モンガラカワハギ科 48 前上顎骨(R) 49 背鱗棘  
 フグ科 50 歯骨(L)  
 ハリセンボン科 51・52 前上顎骨 53・54 歯骨 55 椎骨 56 棘

## 図版 76 の説明



图版 76 脊椎動物遺体 1 (魚類)

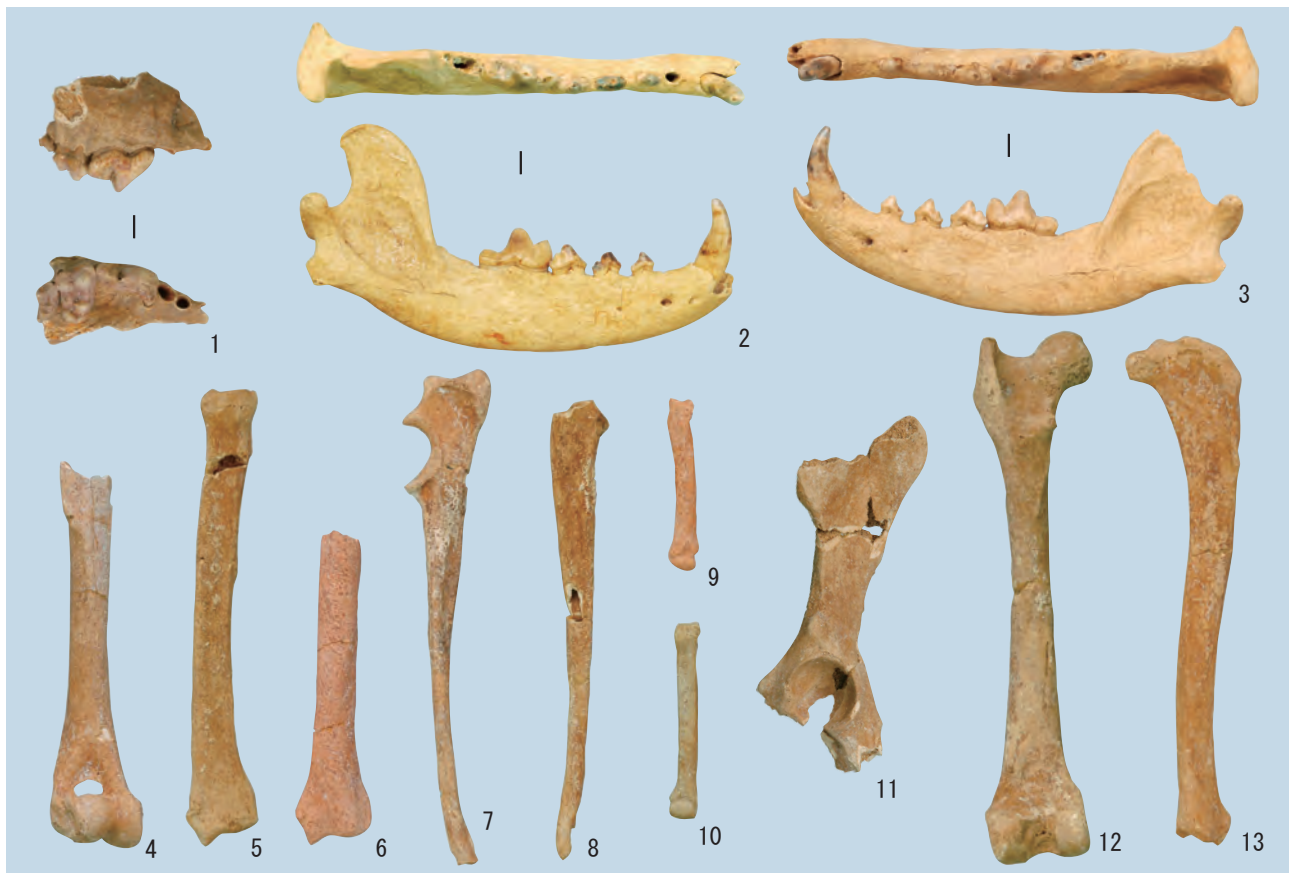




イルカ類 1 歯 2 椎骨  
 ウミガメ類 3 上腕骨(R) 4 大腿骨(L) 5 中・下腹板 6 橈骨(L) 7 尺骨(L) 8 末節骨



ジュゴン 9 肋骨 クジラ類 10 椎骨 11 椎骨(連合頸椎) ヘビ類 12 椎骨  
 図版 77 脊椎動物遺体 2 (上:イルカ、ウミガメ 下:ジュゴン、クジラ、ヘビ類)



1 上顎骨 (R) 2 下顎骨 (R) 3 下顎骨 (L) 4 上腕骨 (R) 5 橈骨 (R) 6 橈骨 (L) 7 尺骨 (R) 8 尺骨 (L)  
9 第2中手骨 (L) 10 第3中手骨 (L) 11 寛骨 (L) 12 大腿骨 (L) 13 脛骨 (R)



イヌ 14 脛骨 (L) 15 距骨 (L) 16 踵骨 (L) 17 第2中足骨 (L) 18 第3中足骨 (L) 19 第4中足骨 20 第5中足骨 (L)  
ネコ 1 頭骨 2 肩甲骨 (L) 3 肩甲骨 (R) 4 上腕骨 (L) 5 上腕骨 (R) 6 橈骨 (R) 7 脛骨 (L) 8 脛骨 (R)  
ネズミ 1 大腿骨  
図版 78 脊椎動物遺体 3 (上: イヌ 下: イヌ、ネコ、ネズミ)



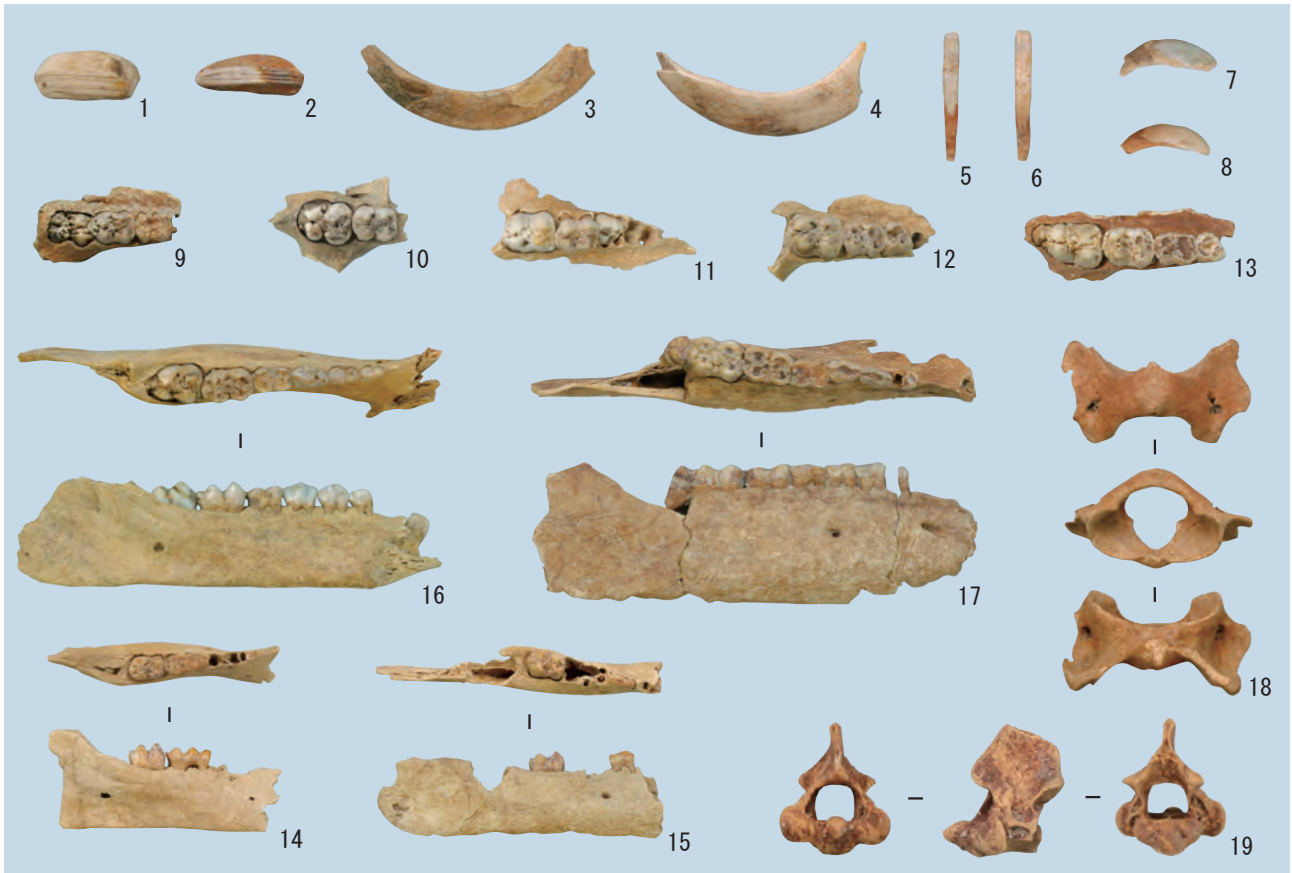
1 上顎切歯 (R) 2 下顎切歯 (R) 3 肩甲骨 (R) 4 上腕骨 5 橈骨 (R) 6 橈骨 (L)  
7 尺骨 (R) 8 寛骨 (R) 9 寛骨 (L)



10 大腿骨 (L) 11 脛骨 (L) 12 脛骨 (L) 13 踵骨 (L) 14 距骨 (R) 15 膝蓋骨 (L)  
16 中足骨 17 中足骨 (R) 18 基節骨 19 中節骨 20 末節骨

図版 79 脊椎動物遺体 4 (ウマ)





1・2 上顎犬歯 (オス) 3・4 下顎犬歯 (R・オス) 5 下顎 I1 (L) 6 下顎 I2 (L) 7・8 上顎 I1 (R)  
9～10・12～13 上顎骨 (L) 11 上顎骨 (R) 14・16 下顎骨 (L) 15・17 下顎骨 (R) 18 環椎 19 軸椎

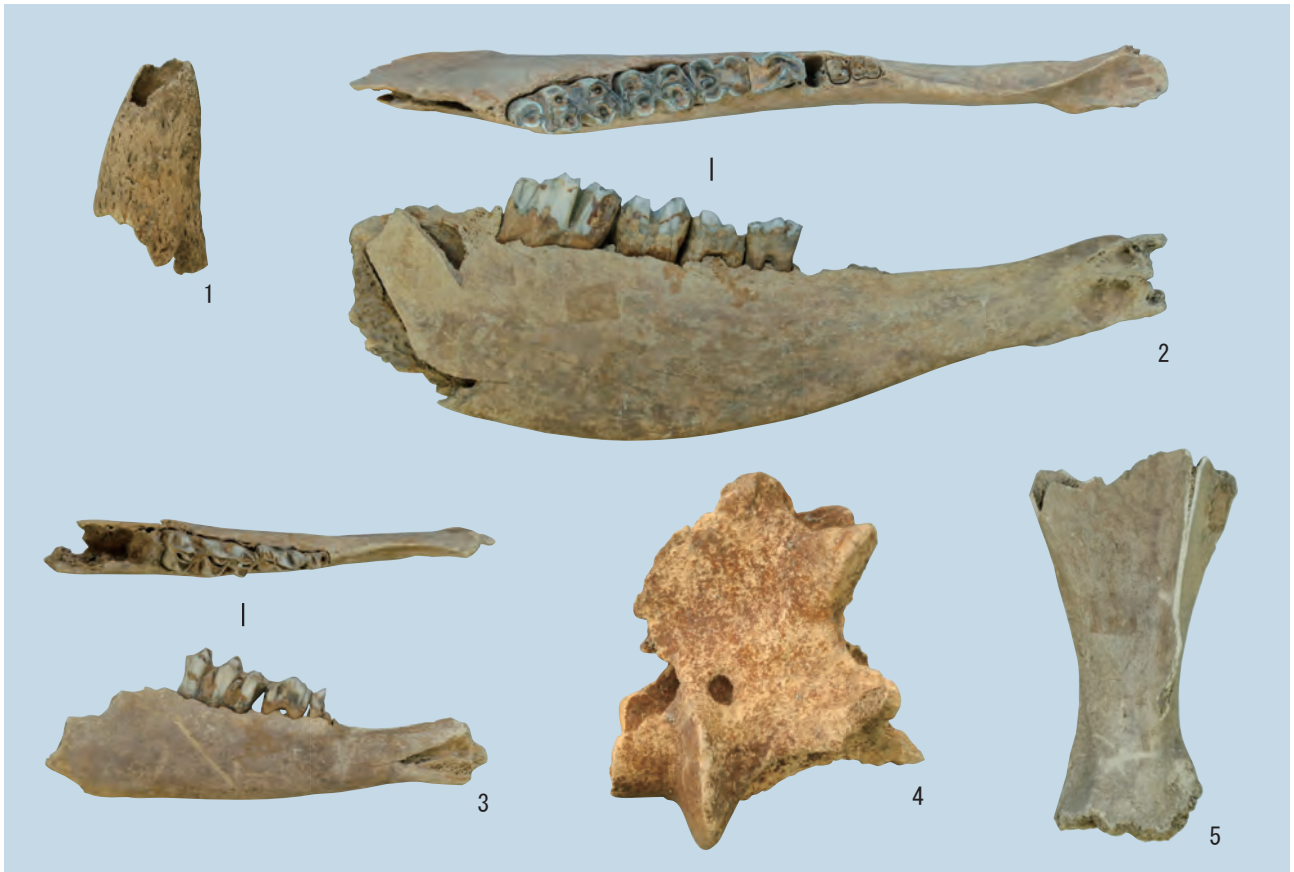


20 肋骨 21 肩甲骨 (R) 22 上腕骨 (R) 23 橈骨 (R) 24 尺骨 (R) 25 寛骨 (L) 26 大腿骨 (R) 27 脛骨 (R)  
28 大腿骨 (L・骨折治癒) 29 腓骨 30 踵骨 (R) 31 距骨 (R) 32 基節骨 33 中節骨 34 末節骨

ブタ 1 上腕骨 (R) 2 第4中手骨 3 基節骨

図版 80 脊椎動物遺体 5 (イノシシ、ブタ)





1 前頭骨（角芯） 2 下顎骨（L） 3 下顎骨（R） 4 軸椎 5 肩甲骨（R）



6 橈骨（L） 7 尺骨（R） 8 中手骨（R） 9 寛骨（R） 10 大腿骨（R） 11 膝蓋骨（L） 12 中足骨（L） 13 中足骨  
14 踵骨（R） 15 距骨（L） 16 基節骨 17 末節骨

図版 81 脊椎動物遺体 6（ウシ）

## 第2節 伊礼原D遺跡から得られた貝類遺体（第2報）

黒住耐二（千葉県立中央博物館）

伊礼原D遺跡は沖縄島中部西岸・北谷町に位置する遺跡で、主に沖縄貝塚時代後期から近世期までの遺跡であり、本遺跡の貝類遺体に関しては、黒住（2008）の報告がある。今回、その後の調査で出土した貝類遺体を検討する機会を与えて頂いたので、ここに簡単にではあるが結果を報告したい。報告に先立ち、種々お世話になった島袋春美氏をはじめとする北谷町教育委員会の各氏、大量の貝類遺体の同定・集計・入力を行って頂いた資料室の方々に御礼申し上げる。

### 対象サンプルと調査地点について

今回の報告対象サンプルは、ピックアップ法によって得られたもので、土壌サンプルから抽出された遺体は含まれていない。得られた貝類は種の同定・出土部位・生死等を記録して、各グリッドの包含層および遺構ごとに集計したが、第111表には示していない。報告者は、大部分の種の同定を行い、一部の誤同定と考えられる種に関しては沖縄の類似種に修正したが、一部には未確認のものも残ってしまった。データが膨大であったため、これまでと同様に（黒住，2015，2016）、出土数は同定標本数（NISP）として処理した。

各時代の土器や他の人工遺物等で分布集中域が認められており、貝類でもグリッドを単位として、第151図に示したように、①～⑥の地区に区分した。その出土詳細を第111表に示した。今回は主に時間的都合から、各地区の層序ごとに検討せず、一括して示した。各地区の考古代は、御教示による。なお、これらの分析対象以外からも当然貝類は出土しており、第111表及び図版には分析対象の地区以外から出土した種も掲載している。

### 結果及び考察

#### 今回の結果

今回、全ての総合計として166,393個体と膨大な数の貝類遺体が出土しており、海産腹足類46科218種、海産二枚貝類24科94種、淡水産腹足類4科7種、陸産腹足類4科11種、その他の分類群4種が確認された。一部には、オカヤドカリの宿貝であり、非食用の者も含まれている。

今回報告の6地区の貝類で、いずれかの地区で全体の1%以上を占めるものを優占種として、第109表に示した。なお、この30分類群で全体の85%（⑥）から92%（④）とほとんど全てを占めていた。

貝塚時代後1期後半の大当原式期（①）は、少し山手側の中央部に位置し、サンゴ礁域のマガキガイ・イソハマグリが多く、河口干潟のアラスジケマンも高率で、リュウキュウシラトリ等の内湾域の二枚貝類も目立った。

人骨が出土した貝塚時代後2期前半のアカジャンガー式期（⑥）も、①に近い位置に存在していたが、サンゴ礁域のものが比較的少なく、内湾域の二枚貝がかなり多く、河口干潟のアラスジケマンは低率で、陸域のパンダナマイマイも高率であった。

貝塚時代後2期後半のフェンサ下層式期は、①・⑥と同様な中央部の②と、丘陵側の③の2地区が集中域として抽出された。同時期とされる②と③の組成では、マガキガイが40%を占めサンゴ礁のもののみが卓越する③と、内湾域の二枚貝および陸産貝類の多い②と、大きく異なっていた（第

109 表)。

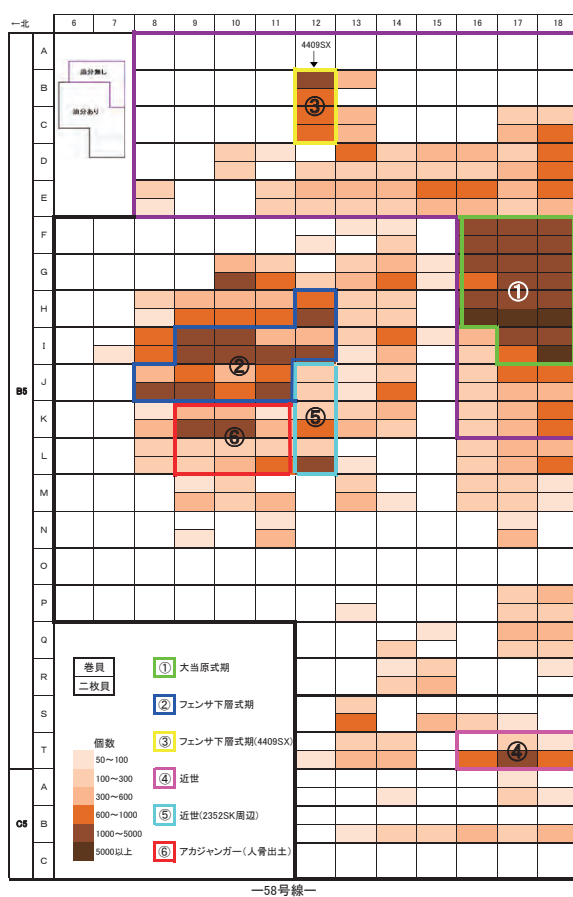
近世期では海岸に近い④と、②に隣接した SK2352 周辺の⑤の 2 地区が認められた。⑤でイソハマグリがやや多いものの、両者とも内湾域の二枚貝が高率を占めていた。

#### これまでの報告との比較

前回の本遺跡 4 トレンチの結果 (黒住, 2008) との対応では、山側の貝塚時代後期の③でサンゴ礁域のものが優占する傾向は同様であったが、マガキガイの割合が低い等の違いも認められた。逆に近世期の④・⑤では内湾の二枚貝が多かったが、前回の結果では他の時期よりも内湾の種が増加するものの、その割合は低く、やはりサンゴ礁の種が卓越していた。

また、本地域の遺跡出土貝類遺体の時代別変遷 (黒住, 2016, 第 104 表) と今回の結果を比較すると、大当原式期と近世では前述のようにおよそ同様な傾向を示していた。一方、今回の貝塚時代後 2 期のアカジャンガー式期とフェンサ下層式期の結果は、これまでと大きく異なっており、また上述のようにフェンサ下層式期の 2 つの地区の組成も相違していた。特に、これまで貝類遺体の少なかったフェンサ下層式期で、今回はかなり多くの出土個体数が確認されている。様々な面からの詳細な再検討が必要であるが、現時点で筆者は③はむしろアカジャンガー式期の、⑥と②はグスク時代から近世にかけての貝類遺体群ではないかと考えている。

また、油分アリ／ナシに区分して主要種のサイズ組成を第 152 図に示した。全ての時期を一括したものであるが、これまでの本地域のサイズ組成と比較して、1) シャコガイ類 2 種ではピークが明瞭で、シラナミ類では油分アリ／ナシでサイズが異なっていたり、2) 油分ナシのサラサバテイラでは 5.5cm の小形の群と 11cm の大形の群に分かれる傾向にあり、これは黒住 (2002) でも示したように、前者はグスク時代～近世の、後者は貝塚時代後期のものの可能性も想定され、3) 個体数は少ないが、油分アリのチョウセンサザエでは大形のものが多いなどのことが読み取れる。他の種はこれまでのサイズと類似しており、ある種の安定した乱獲の生じていない貝類採集を示すもののように思われる。



第151図 伊礼原D遺跡 貝類遺体分析地区

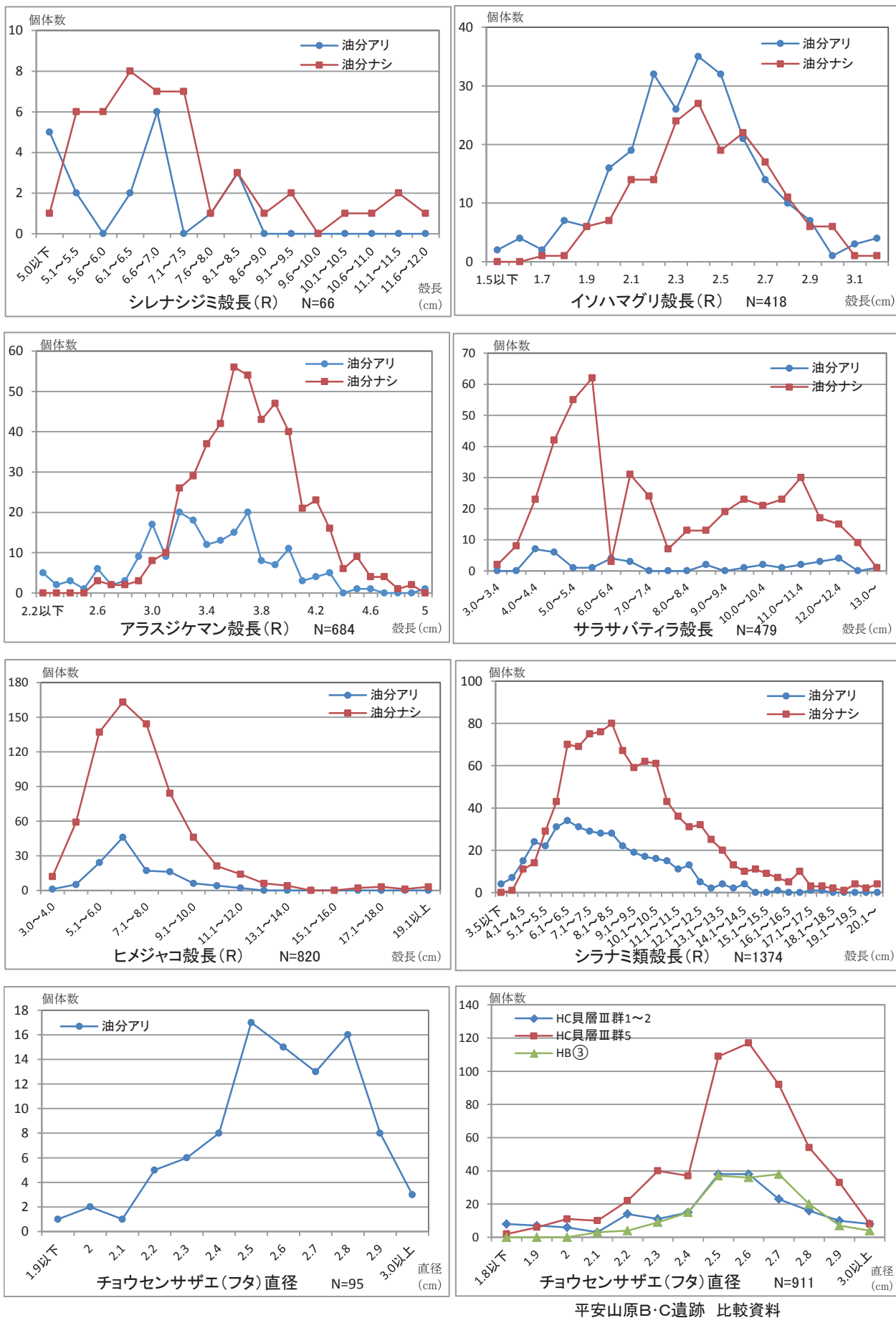
#### <引用文献>

- 黒住耐二. 2002. 貝類遺体からみた奄美・沖縄の自然環境と生活. In 木下尚子 (編), 先史琉球の生業と交易—奄美・沖縄の発掘調査から—, pp. 67-86. 熊本大学.
- 黒住耐二. 2008. 伊礼原D遺跡から出土した貝類遺体. 伊礼原D遺跡, 北谷町文化財調査報告書, (28): 168-183, 197-200.
- 黒住耐二. 2015. 平安山原B遺跡の調査で得られた貝類遺体. 平安山原B遺跡, 北谷町文化財調査報告書, (37): 338-404.
- 黒住耐二. 2016. 平安山原B遺跡と同C遺跡の貝類遺体および本地域の遺跡出土貝類のまとめ. 平安山原B・C遺跡, 北谷町文化財調査報告書, (40): 372-401.

第109表 伊礼原D遺跡出土貝類遺体の優占種出土状況

優占種	時期	①地区 大当原式期		⑥地区 アカジャンガー式期		③地区 フェンサ下層式期		②地区 フェンサ下層式期		⑤地区 近世		④地区 近世	
		NISP	%	NISP	%	NISP	%	NISP	%	NISP	%	NISP	%
<b>サンゴ礁域</b>													
マガキガイ		9054	12.3	239	3.4	1659	41.4	689	3.6	119	3.4	21	0.6
シラナミ類		3971	5.4	203	2.9	542	13.5	490	2.6	83	2.3	23	0.6
ヒレジャコ		292	0.4	7	0.1	40	1.0	42	0.2	3	0.1	0	
ヒメジャコ		1469	2.0	25	0.4	209	5.2	160	0.8	14	0.4	0	
イソハマグリ		10830	14.7	313	4.5	130	3.2	1690	8.9	214	6.0	63	1.7
オニツノガイ		908	1.2	33	0.5	30	0.7	118	0.6	19	0.5	10	0.3
クモガイ		3535	4.8	43	0.6	99	2.4	188	1.0	51	1.4	16	0.4
チョウセンサザエ		1399	1.9	87	1.2	18	0.4	348	1.8	36	1.0	29	0.8
サラサバテイラ		3155	4.3	123	1.8	117	2.9	498	2.6	77	2.2	18	0.5
<b>内湾域</b>													
リュウキュウシラトリ		3691	5.0	1440	20.5	41	1.0	2447	12.9	717	20.3	758	20.6
マスオガイ		1386	1.9	809	11.5	51	1.3	1132	6.0	370	10.5	328	8.9
イオウハマグリ		790	1.1	488	7.0	6	0.1	697	3.7	230	6.5	497	13.5
カワラガイ		2916	4.0	351	5.0	78	1.9	1332	7.0	257	7.3	158	4.3
ホソスジイナミガイ		3112	4.2	160	2.3	11	0.3	531	2.8	89	2.5	144	3.9
ウラキツキガイ		1013	1.4	178	2.5	13	0.3	339	1.8	48	1.4	251	6.8
ヒメツキガイ		551	0.7	60	0.9	3	0.1	232	1.2	57	1.6	201	5.5
カブラツキガイ		960	1.3	169	2.4	2	0.0	473	2.5	134	3.8	433	11.8
スダレハマグリ		308	0.4	150	2.1	43	1.1	242	1.3	77	2.2	25	0.7
リュウキュウマスオ		658	0.9	139	2.0	18	0.4	337	1.8	90	2.5	66	1.8
ヌノメガイ		518	0.7	81	1.2	31	0.8	260	1.4	56	1.6	24	0.7
リュウキュウザルガイ		624	0.8	68	1.0	5	0.1	220	1.2	38	1.1	32	0.9
カンギク		449	0.6	44	0.6	6	0.1	213	1.1	14	0.4	1	0.0
リュウキュウサルボオ		448	0.6	33	0.5	146	3.6	109	0.6	16	0.5	12	0.3
リュウキュウバカガイ		53	0.1	38	0.5	1	0.0	52	0.3	52	1.5	25	0.7
オイノカガミ		478	0.7	33	0.5	1	0.0	127	0.7	14	0.4	98	2.7
ヒメアサリ		62	0.1	34	0.5	1	0.0	48	0.3	19	0.5	52	1.4
<b>河口干潟</b>													
アラスジケマンガイ		5816	7.9	105	1.5	71	1.8	426	2.2	67	1.9	58	1.6
シレナシジミ		313	0.4	8	0.1	126	3.1	58	0.3	8	0.2	6	0.2
<b>陸域</b>													
オキナワヤマタニシ		2302	3.1	119	1.7	22	0.5	1306	6.9	41	1.2	4	0.1
パンダナマイマイ		1600	2.2	383	5.5	90	2.2	1375	7.2	70	2.0	30	0.8
巻貝合計		29866	40.6	1723	24.6	2324	57.9	6568	34.5	650	18.4	254	6.9
二枚貝合計		43608	59.4	5295	75.4	1688	42.1	12446	65.5	2889	81.6	3418	93.1
地区別合計		73474	100.0	7018	100.0	4012	100.0	19014	100.0	3539	100.0	3672	100.0





第152図 伊礼原D遺跡から得られた優占種のサイズ組成変化

第110表-1 伊礼原D遺跡出土貝類遺体の分類学的位置と生息場所類型

和名	学名	生息場所 類型	図版 番号	和名	学名	生息場所 類型	図版 番号
軟体動物門 Mollusca				センニンガイ	Telescopium telescopium	III-0-c	66
<b>腹足綱 Gastropoda</b>				<b>ウミニナ科 Batillariidae</b>			
<b>ツタノハ科 Patellidae</b>				リュウキュウウミニナ	Batillaria flectosiphonata	II-1-c	67
ツタノハ	Scutellastra flexuosa	I-3-a		イボウミニナ	Batillaria zonalis	III-1-c	68
<b>ヨメガカサ科 Nacellidae</b>				<b>ゴマフニナ科 Planaxidae</b>			
オオベッコウガサ	Cellana testudinaria	I-1-a	2	ゴマフニナ	Planaxis sulcatus	I-0-a	69
ベッコウガサ	Cellana grata	I-0-a	3	コゲニナ	Fissilabia decollata	I-0-b	
<b>ユキノカサ科 Lottiidae</b>				<b>トウガタカワニナ科 Thiaridae</b>			
リュウキュウウノアシ	Patelloida saccharina	I-1-a		トウガタカワニナ	Thiara scabra	IV-5,6	246
<b>リュウテン科 Turbinidae</b>				ヌノメカワニナ	Melanoides tuberculata	IV-6	247
リュウテン	Turbo (Turbo) petholatus	I-4-b		ヨシカワニナ	Stenomelania plicaria	IV-6	248
コンダカサザエ	Turbo (Marma.) stenogyrum	I-2-a	6	スゲカワニナ	Stenomelania uniformis	IV-6	249
チョウセンサザエ	Turbo (Marma.) angyrostomus	I-3-a	7,8	<b>カワニナ科 Pleuroceridae</b>			
ヤコウガイ	Turbo (Lunatia) marmoratus	I-4-a	9,10	カワニナ	Semisulcospira bensoni	IV-5,6	250
カンギク	Lunella moniliformis	II-1-b	12,13	<b>タマキビ科 Littorinidae</b>			
オオウラウス	Astraliium rhodostoma	I-2-a	14	ホソスジウズラタマキビ	Littoraria (s.s.) undulata	I-0-a	71
<b>ニシキウス科 Trochidae</b>				テリタマキビ	Littoraria (s.s.) coccinea	I-0-a	
ニシキウス	Trochus (Trochus) maculatus	I-2-a	15	<b>スイショウガイ科 Strombidae</b>			
ムラサキウス	Trochus (Trochus) stellatus	I-3-a	16	ムカシタモト	Strombus (Canarium) mutabilis	I-2-c	73
ギンタカハマ	Trochus (Tectus) pyramis	I-4-a	17	オハグロガイ	Strombus (Canarium) urceum	II-2-c	75-a-b
コンダカギンタカハマ	Trochus (Tectus) triserialis	I-4-a	18	フトスジムカシタモト(ヒダトリ)	Strombus (Canarium) labiatum	II-2-c	76-a-b
サラサバテイラ	Trochus (Rochia) niloticus	I-4-a	19	ネジマガキ	Strombus (Gibberulus) g. gibbosus	II-1-c	77
オキナフイシダタミ	Mondonta labio	II-1-b	20	マダキガイ	Strombus (Conomurex) luhuanus	I-2-c	78
クマノコガイ	Tegula (Chlorostoma) xanthostigma	I-1-a	21	イボソデガイ	Strombus (Lentigo) lentiginosus	I-2-c	79
サラサダマ	Chrysostoma paradoxum	II-2-c	22	スイショウガイ	Strombus (Laevistrombus) turturella	II-2-c	80
フルヤガイ	Stomatia phymotis	I-2-b	23	マイノソデガイ	Strombus (Euprotomus) aurisdianae	I-4-c	81
<b>アマオブネ科 Neritidae</b>				アツソデガイ	Strombus (Tricornis) thersites	I-4-c	82
イシダミアアマオブネ	Nerita (Ritena) helicinoides	I-0-a	24	ゴホウラ	Strombus (Tricornis) latissimus	I-4-c	83
ヒメイシダミアアマオブネ	Nerita (Ritena) tristis	I-0-a	25	クモガイ	Lambis lambis	I-2-c	84-a-b
コンダカアマガイ	Nerita (Ritena) striata	I-1-b	26	ラクダガイ	Lambis truncata sebae	I-4-c	86-a-b
マングルーブアマガイ	Nerita (Ritena) undulata	III-0-a	27	スイジガイ	Harpago chiragra	I-2-c	87
キバアマガイ	Nerita (Ritena) plicata	I-0-a	28	<b>ムカデガイ科 Vermetidae</b>			
フトスジアマガイ	Nerita (Ritena) costata	I-0-a		リュウキュウヒビガイ	Serpulorbis trimeresurus	I-2-b	
リュウキュウアマガイ	Nerita (Ritena) insculpta	I-0-a	30	タツノコヘビガイ	Dendropoma dragonella	I-1-a	
アマオブネ	Nerita (Thelyostyla) albicilla	I-1-b	31	ムカデガイ科	Vermetidae sp.		92
マルアマオブネ	Nerita (Thelyostyla) squamulata	II-1-b	32	<b>スズメガイ科 Hipponicidae</b>			
オオマルアマオブネ	Nerita (Thelyostyla) chamaeleon	I-1-b	33	カワチドリ	Antisabia foliacea	I-3-a	88
ヒラマキオアマオブネ	Nerita (Thelyostyla) planospira	III-0-d	34	<b>シロネズミガイ科 Vanikoridae</b>			
ニシキアマオブネ	Nerita (Amphinerita) polita	I-1-c	35	マルシロネズミ	Vanikoro helicoide	I-2-b	89
アマオブネ類	Neritidae sp.		36	<b>タカラガイ科 Cypraeidae</b>			
シマカノコ	Neritina (Vittina) turrita	III-0-e	37	キヨロダカラ	Cypraea (Monetaria) moneta	I-1-a	94
ムラクモカノコ	Neritina variegata	IV-5	38	ハナヒラダカラ	Cypraea (Monetaria) annulus	I-1-a	95
ツバサカノコ	Neritina auriculata	III-0-e	39	ナツメドキ	Cypraea (Erorea) erronea	I-2-b	96
シマ(ベニ)オカイシマキ	Neritodryas dubia	IV-6	40	コモシダカラ	Cypraea (Erosaria) erosa	I-2-b	97
カノコガイ	Clithon sowerbianus	III-0-e	41	ハナマルユキ	Cypraea (Rav.) caputserpentis	I-3-a	98
カノコガイ類	Clithon sp.		42	エダカラ	Cypraea (Talostolides) teres	I-2-a	
フネアマガイ	Septaria porcellana	IV-5	43	マメシボリダカラ	Cypraea (Blasicurra) interrupta	I-2-b	
<b>アマガイモドキ科 Neritopsidae</b>				カノコダカラ	Cypraea (Cribraria) cribraria	I-4-a	
アマガイモドキ	Nertopsis radula	I-4-a		ヤナギシボリダカラ	Cypraea (Luria) isabella	I-4-a	102
<b>ユキスズメ科 Phenacolepadidae</b>				ヤクシマダカラ	Cypraea (Arabica) arabica	I-2-a	103
オキナフユキスズメ	Phenacolepas galathea	I-2-b	45	ホソヤクシマダカラ	Cypraea (Arabica) eglantina	II-2-a	104
<b>タニシ科 Viviparidae</b>				ハチジョウダカラ	Cypraea (Mauritia) mauritiana	I-1-a	105
マルタニシ	Chipangopaludina chinensis	IV-6	243	ホシダカラ	Cypraea (s.s.) tigris	I-2-c	106
<b>ヤマタニシ科 Cyclophoridae</b>				ヒメホシダカラ	Cypraea (Lyncina) lynx	I-2-b	107
オキナフヤマタニシ	Cyclophorus turgidus	V-8	244	ホシキヌタ	Cypraea (Mystaponda) vitellus	I-2-a	108
アオミオカタンシ	Leptopoma vitreum taivanum	V-8		タカラガイ類	Cypraea sp.		109
<b>オニツノガイ科 Cerithiidae</b>				<b>ウミウサギ科 Ovulidae</b>			
オニツノガイ	Cerithium (Cerithium) modulosum	I-2-c	46	ウミウサギ	Ovula ovum	I-2-a	93
メオニツノガイ	Cerithium (Cerithium) echinatum	I-4-b		<b>タマガイ科 Naticidae</b>			
コオニツノガイ	Cerithium (Cerithium) columnum	I-2-a	48	トミガイ	Polinices tumidus	I-2-c	110
ハシナガツノブエ	Cerithium rostratum	II-2-c	49	ヘソアキトミガイ	Polinices flemingianus	I-2-c	
コゲツノブエ	Cerithium coralium	III-1-c		シロヘソアキトミガイ	Polinices vabaosi	I-2-c	
ヒメクワノミカニモリ	Clypeomorus zonatus	II-2-c		ロウイロトミガイ	Polinices mellosus	I-2-c	113
クリムシカニモリ	Cerithium (Semivertagus) nesioticum	I-2-c		リスガイ	Mammilla melanostoma	I-2-c	114
ゴマフカニモリ	Cerithium (Semivertagus) punctatum	I-2-c		ホウシュノタマ	Notochochlis gualtieriana	II-1-c	115
トウガタカニモリ	Rhinoclavis sinensis	I-2-c		トラダマ	Natica vitellus	II-2-c	116
カヤノミカニモリ	Clypeomorus bifasciata	I-1-b	55	アラゴマフダマ	Naticarius onca	II-2-c	117
オオシマカニモリ	Clypeomorus subbreviculus	II-1-b		<b>ヤツシロガイ科 Tonnidae</b>			
イフ(ウミ)カニモリ	Clypeomorus batillariaeformis	II-1-b	57	ウズラガイ	Tonna perdax	I-2-c	
クワノミカニモリ	Clypeomorus chemnitziana	I-1-b	58	スクミウズラ	Tonna cepa	I-2-c	120
マダラケシ(ヒ)カニモリ	Cerithium variegatum	I-2-b		イワカワトキワ	Malea (Quimalea) pomum	II-2-c	121
<b>ヘナタリ科 Cerithiidae</b>				<b>トウカムリ科 Cassidae</b>			
カワアイ	Cerithidea (Cerithideopsis) djadjariensis	III-1-c	61	ヒナツル	Casmaria erinaceus	I-4-c	123
ヘナタリ	Cerithidea (Cerithideopsis) cingulata	III-1-c	62	<b>フジツガイ科 Ranellidae</b>			
フトヘナタリ(トカケ)	Cerithidea (Cerithidea) moerchii	III-0-d	63	ミツカドボラ	Cymatium (Mon.) nicobaricum	I-2-a	124
キノバウミニナ	Terebralia parstris	III-1-c		サツマボラ	Cymatium (Monoplex) aquatile	I-2-a	
マドモチウミニナ	Terebralia sulcata	III-1-c	65	シオボラ	Cymatium (Gut.) muricinum	I-2-a	126

第110表-2 伊礼原D遺跡出土具類遺体の分類学的位置と生息場所類型

和名	学名	生息場所 類型	図版 番号	和名	学名	生息場所 類型	図版 番号
ヒメミツカドボラ	<i>Cymatium (Turritriton) labiosum</i>	I-4-a		<b>クダマキガイ科 Turridae</b>			
トウマキボラ	<i>Cymatium (Gelagna) succincta</i>	I-4-a		クダボラ	<i>Turris crispa</i>	I-2-c	194
オオソウガイ	<i>Cymatium (Ranularia) pyrum</i> (Linnaeus, 1758)	I-4-a	129	<b>イモガイ科 Conidae</b>			
シノマキ	<i>Cymatium (Monoplex) pileare</i>	I-4-a	130-a-b	マダライモ	<i>Conus (Virroconus) ebraeus</i>	I-1-a	195
フジツガイ	<i>Cymatium (Lotoria) lotorium</i>	I-4-a	131	コマダライモ	<i>Conus (Virroconus) chaldaeus</i>	I-1-a	196
ホラガイ	<i>Charonia tritonis</i>	I-4-a	132	サヤガタイモ	<i>Conus (Virroconus) fulgetrum</i>	I-1-a	197
<b>オキニシ科 Bursidae</b>				ジュズガケサヤガタイモ	<i>Conus (Virroconus) coronatus</i>	I-1-a	198
イワカワウネボラ	<i>Bursa (Colubrellina) granularis</i>	I-2-a	133	シロセイロンイモ	<i>Conus (Virroconus) nanus</i>	I-1-a	
オキニシ	<i>Bursa (s.s.) bufonis dunkeri</i>	I-3-a	134	キヌカツギイモ	<i>Conus (Virgiconus) flavidus</i>	I-2-a	200-a-b
シロナルトボラ	<i>Tutufa bufo</i>	I-4-a	135	イボシマイモ	<i>Conus (Virgiconus) lividus</i>	I-2-a	201
シワクチナルトボラ	<i>Tutufa rebeta</i>	I-4-a		ヤセイモ	<i>Conus (Virgiconus) emaciatus</i>	I-2-c	202
オオナルトボラ	<i>Tutufa bufo</i>	I-4-a	137	イボカバイモ	<i>Conus (Virgiconus) distans</i>	I-2-c	
<b>アツキガイ科 Muricidae</b>				ヤナギシボライモ	<i>Conus (Rhizoconus) miles</i>	I-3-a	204
ガンゼキホラ	<i>Chicoreus burunneus</i>	I-2-a	138	ハイロミナシ	<i>Conus (Rhizoconus) rattus</i>	I-2-a	
コイワニシ	<i>Thais (Semiricinula) squamosa</i>	II-1-a	139	サラサミナシ	<i>Conus (Rhizoconus) capitaneus</i>	I-4-b	206
シラクモガイ	<i>Thais (Stramonita) armigera</i>	I-3-a	140	イタチイモ	<i>Conus (Rhizoconus) mustelinus</i>	I-4-b	207
テツレイシ	<i>Thais (Stramonita) savignyi</i>	I-1-a	141	カバミナシ	<i>Conus (Rhizoconus) vexillum</i>	I-4-b	
ツノレイシ	<i>Mancinella tuberosa</i>	I-3-a	142	サラサモドキ	<i>Conus (Dauciconus) vitulinus</i>	I-2-c	209
ツノテツレイシ	<i>Mancinella hippocastanum</i>	I-1-a	143	ヤキイモ	<i>Conus (Pinoconus) magus</i>	I-2-c	※-7
コイボテツレイシ	<i>Mancinella intermedia</i>	I-3-a	144	ユキゲイモ	<i>Conus (Dauciconus) striatellus</i>	I-2-c	※-3
クチベニレイシダマシ	<i>Drupella concatenata</i>	II-2-a	145	ヒラマキイモ	<i>Conus (Dauciconus) virnorbis</i>	I-2-c	
レイシダマシ	<i>Morula granulata</i>	I-1-a	146	アジロイモ	<i>Conus (Darioconus) pennaceus</i>	II-2-c	211
ウネレイシダマシ	<i>Cronia margariticola</i>	I-1-b	※-1	タガヤサンミナシ	<i>Conus (Darioconus) textile</i>	I-2-c	212
コマドボラ	<i>Muricodrupa cariosa</i>	I-1-a		ニシキミナシ	<i>Conus (Strioconus) striatus</i>	I-2-c	213
レイシダマシモドキ	<i>Muricodrupa fusca</i>	I-1-b		アンボイナ	<i>Conus (Gastridium) geographus</i>	I-2-c	214
ハナワレイシ	<i>Nassa vexillum</i>	I-3-a	149	ナンヨウクロミナシ	<i>Conus (s.s.) marmoreus</i>	II-2-c	215
シロイガレイシ	<i>Drupa (s.s.) albolabris</i>	I-3-a		ミカドミナシ	<i>Conus (Rhombus) imperialis</i>	I-2-c	216
ムラサキイガレイシ	<i>Drupa (s.s.) morum</i>	I-3-a	151	アカシマミナシ	<i>Conus (Leptoconus) generalis</i>	I-2-c	217
アカイガレイシ	<i>Drupa (Ricinella) rubusidaeus</i>	I-3-a	152	ナガサラサミナシ	<i>Conus (Leptoconus) litoglyphus</i>	I-2-c	218
<b>オニコブシ科 Vasidae</b>				ゴマフイモ	<i>Conus (Puncticulis) pulicarius</i>	I-2-c	219
オニコブシ	<i>Vasum ceramicum</i>	I-3-a	154	コモシイモ	<i>Conus (Puncticulis) arenatus</i>	I-2-c	220
コオニコブシ	<i>Vasum turbinellum</i>	I-2-a	155	ロウソクガイ	<i>Conus (Cleobula) quercina</i>	I-2-c	
<b>フトコロガイ科 Columbellidae</b>				スジイモ	<i>Conus (Cleobula) figulinus</i>	II-2-c	
フトコロガイ	<i>Euplica vesicolor</i>	II-2-d	156	ダイミウイモ	<i>Conus (Cleobula) betulinus</i>	II-2-c	
オビニナ	<i>Pyrene testudinaria</i>	I-2-b		クロザメモドキ	<i>Conus (Lithoconus) eburneus</i>	I-2-c	224
<b>エソバイ科 Buccinidae</b>				アンボンクロザメ	<i>Conus (Lithoconus) litteratus</i>	I-2-c	225
シガイ	<i>Engina (Pusiosoma) mendicaria</i>	I-1-a	158	クロフモドキ	<i>Conus (Lithoconus) leopardas</i>	I-2-c	226
シマベッコウバイ	<i>Japeuthria cingulata</i>	II-1-b	159	<b>タケノコガイ科 Terebridae</b>			
<b>オリレイヨフバイ科 Nassariidae</b>				タケノコガイ	<i>Terebra subulata</i>	I-2-c	232
イボヨウバイ	<i>Nassarius coronatus</i>	II-1-c	161	シロフタケ	<i>Terebra guttata</i>	I-2-c	
ヒメオリレイシ	<i>Nassarius sp. cf. nodifer</i>	II-2-c	162	<b>クルマガイ科 Architectonicidae</b>			
オリレイシ	<i>Nassarius arcularia</i>	II-2-c	163	ヒクナワグルマ	<i>Heliacus (s.s.) variegatus</i>	I-3-a	235
アツムシロ	<i>Niotha semisulcata</i>	I-1-b	164	<b>トウガタガイ科 Pyramidellidae</b>			
カニノテムシロ	<i>Pliarularia bellula</i>	III-1-c	165	オオクチキレ	<i>Longchaeus sulcatus</i>	II-2-c	236
リュウキュウムシロ	<i>Zeuxis margaritifera</i>	II-1-b		<b>キジビキガイ科 Acteonidae</b>			
ヨフバイモドキ	<i>Telasco limnaeiformis</i>	II-2-c	167	カヤノミガイ	<i>Pupa sulcata</i>	II-2-c	
ミナミキンシバイ	<i>Alectrion glans glans</i>	II-2-c		<b>ナツメガイ科 Bullidae</b>			
<b>イトマキボラ科 Fasciolaridae</b>				ナツメガイ	<i>Bulla vernicosa</i>	I-2-c	237-a-b
イトマキボラ	<i>Pleuroploca trapezium</i>	I-2-b	169	コナツメガイ	<i>Bulla punctulata</i>	I-2-c	
ナガイトマキボラ	<i>Pleuroploca filamentosa</i>	I-2-a	170	<b>タマゴガイ科 Atyidae</b>			
リュウキュウツノマタ	<i>Latirus polygonus</i>	I-3-a	171	カイコガイ	<i>Aliculastrum cylindricum</i>	II-2-c	239
ツノマタモドキ	<i>Latirus belcheri</i>	I-3-a	172	<b>オカミミガイ科 Ellobiidae</b>			
マルニシ	<i>Leucozonia smaragdula</i>	I-3-a	173	クロヒラシノミ	<i>Pythia pachyodon</i>	III-0-a	240
チトセボラ	<i>Fusinus nicobaricus</i>	I-2-c	174	ツヤハマシノミ	<i>Melampus flavus</i>	V-10	241
<b>バイ科 Babylonidae</b>				<b>モノアラガイ科 Lymnaeidae</b>			
ウスイロバイ	<i>Babylonia kirana</i>	II-2-c		タイワンモノアラガイ	<i>Radix swinhoei</i>	IV-6	259
<b>マクラガイ科 Olividae</b>				<b>キセルガイ科 Clausiliidae</b>			
ジュドウマクラ	<i>Oliva miniacea</i>	II-2-c	176	ノギセル類	"Zaptyx" sp.	V	
サツマナビ	<i>Oliva annulata</i>	I-2-c	177	<b>ナンバンマイマイ科 Camaenidae</b>			
<b>ショッコウラ科 Harpidae</b>				シュリマイマイ	<i>Satsuma (s.s.) m. mercatoria var.</i>	V-8	252
ショッコウラ	<i>Harpa major</i>	I-2-c	179	カツレンマイマイ	<i>Satsuma (s.s.) m. katsurenensis</i>	V-7	253
<b>フデガイ科 Mitridae</b>				ヒメユリ(シラキ)ヤマタカマイマイ	<i>Satsuma (Luchuhadara) largiillierti</i>	V-8	254
チョウセンフデ	<i>Mitra mitra</i>	I-2-c	180	オキナフ島ヤマタカマイマイ	<i>Satsuma (Luchu.) eucosmia</i>	V-8	※-4
ヒメチョウセンフデ	<i>Mitra episcopalis</i>	I-2-c	※-2	アマノヤマタカマイマイ	<i>Satsuma (Luchuhadara) amanoi</i>	V-8	255
キバフデ	<i>Nebularia puncticulata</i>	I-3-a	181	<b>オナジマイマイ科 Bradybaenidae</b>			
オオンマヤタテ	<i>Strigatella retusa</i>	I-1-a	182	バンダナマイマイ	<i>Bradybaena circulus</i>	V-8	256
ナガシマヤタテ	<i>Strigatella paupercula</i>	I-1-a	183	オキナフウスカワマイマイ	<i>Acusta d. despecta</i>	V-8	257
コシマヤタテ	<i>Strigatella zebra</i>	I-1-a	184	イトマンマイマイ	<i>Aegista scepasma</i>	V-7	258
シロオビヤタテ	<i>Strigatella amphorella</i>	I-2-b	185	<b>二枚貝綱 Bivalvia</b>			
イモフデ	<i>Pterygia dactylus</i>	I-1-b	186	<b>フネガイ科 Arcoidae</b>			
チリメンイモフデ	<i>Pterygia crenulata</i>	I-2-b		オオタカノハ	<i>Arca ventricosa</i>	I-2-a	1
<b>ミノムシガイ科 Costellariidae</b>				エガイ	<i>Barbatia (Abarbatia) trapezina</i>	I-1-a	2
ミノムシガイ	<i>Vexillum balteolatum</i>	II-2-c		ベニエガイ	<i>Barbatia (Ust.) amygdaloumstostum</i>	I-2-a	3
オオミノムシガイ	<i>Vexillum plicarium</i>	II-2-c	190	リュウキュウサルボオ	<i>Anadana (Anadana) antiquata</i>	II-2-b	5
シワミノムシガイ	<i>Vexillum rugosum</i>	II-2-c		ハイガイ(セイ舾型)	<i>Tegillarca granosa f. obessa</i>	III-1-c	4
チビツクシ	<i>Costellaria rufomaculatus</i>	I-4-c		<b>タマキガイ科 Glycymerididae</b>			
イトカケツクシ	<i>Costellaria semifasciata</i>	II-2-c	193	サメザラモドキ	<i>Semele carnicolor</i>	II-1-c	72
ソメワケグリ	<i>Glycymeris reevei</i>	II-2-c	7				

第110表-3 伊礼原D遺跡出土貝類遺体の分類学的位置と生息場所類型

和名	学名	生息場所 類型	図版 番号	和名	学名	生息場所 類型	図版 番号
<b>イガイ科 Mytilidae</b>				<b>イソシジミ科 Psammobiidae</b>			
リュウキュウヒバリ	<i>Modiolus auriculatus</i>	I-1-a	8	リュウキュウマスオ	<i>Asaphis violacens</i>	II-1-c	73
ヒバリガイモドキ類	" <i>Brachidontes</i> " <i>variabilis</i>	III-1-a		マスオガイ	<i>Psammonaea elongata</i>	II-1-c	74
シロインコ	<i>Septifer excisus</i>	I-2-a	10	<b>シジミ科 Cyrenidae</b>			
クジャクガイ	<i>Septifer bilocularis</i>	I-2-a	11	<i>Geloina erosa</i>		III-0-c	75
<b>ウグイスガイ科 Pteridae</b>				<b>マルスダレガイ科 Veneridae</b>			
ミドリアオリ	<i>Pinctada panasesae</i>	I-1-a		ヌノメガイ	<i>Periglypta puerpera</i>	II-2-c	76
アコヤガイ	<i>Pinctada fucata</i>	II-2-b	14	アラヌノメガイ	<i>Periglypta reticulata</i>	I-2-b	77
クロチョウガイ	<i>Pinctada margaritifera</i>	I-4-a	15	カノコアサリ	<i>Glycydonta marica</i>	I-2-c	78
<b>シュモクアオリ科 Isognomonidae</b>				チリメンカノコアサリ	<i>Veremolpa costellifera</i>	I-4-c	
シュモクアオリ	<i>Isognomon isognonum</i>	II-2-b	16	タイワンシラオ	<i>Circe tumefacta</i>	II-2-c	
カイシアオリの一種	<i>Isognomon sp.cf. perna</i>	I-1-a	17	ホロスジイナミ	<i>Gafrarium pectinatum</i>	II-1-c	81
<b>ミノガイ科 Limidae</b>				アラスジケマン	<i>Gafrarium tumidum</i>	III-1-c	82
ミノガイ	<i>Lima vulgaris</i>	I-2-a	21	ヒメイナミ	<i>Gafrarium dispar</i>	I-1-c	
オオユキミノ	<i>Limaria sp. cf. basilanica</i>	I-2-b	22-a,b	マルオミナエシ	<i>Lioconcha castrensis</i>	I-2-c	
ヒラユキミノ	<i>Limaria fragilis</i>	I-2-b	23	サラサガイ	<i>Lioconcha fastigiata</i>	I-2-c	85
<b>イタヤガイ科 Pectinidae</b>				ケショウオミナエシ	<i>Pitar obliquatum</i>	II-2-c	
チサラガイ	<i>Glorippallium pallium</i>	I-2-b		ユウカケハマグリ	<i>Pitar striatum</i>	II-2-c	
リュウキュウオウギ	<i>Comptopallium radula</i>	II-2-c	19	イオウハマグリ	<i>Pitar sulfureum</i>	II-1-c	88
<b>ウミギク科 Spondyliidae</b>				ウスハマグリ類	<i>Pitar sp.</i>	II-2-c	※-6
メンガイ類	<i>Spondylus spp.</i>	I-2-a	24	オイノカガミ	<i>Bonartemis histrio</i>	II-2-c	89
<b>ベッコウガイ科 Ptenodonteidae</b>				リュウキュウアサリ	<i>Tapes literatus</i>	II-2-c	90
シヤコガキ	<i>Hytotissa hyotis</i>	I-2-c	25	ヒメリュウキュウアサリ	<i>Tapes belcheri</i>	II-2-a	91
<b>イタボガキ科 Ostreidae</b>				ヒメアサリ	<i>Ruditapes variegata</i>	II-1-c	
オハグロガキ?	<i>Saccostrea mardox?</i>	I-1-a	26	スダレハマグリ	<i>Katelysia japonica</i>	II-1-c	93
ニセマガキ	<i>Saccostrea echinata</i>	II-1-b	27	ヤエヤマスダレ	<i>Katelysia hiantina</i>	II-1-c	※-5
シマ(シマ)ガキ	<i>Crassostrea bilineata</i>	III-1-a	28	トドムマリハマグリ	<i>Meretrix sp. cf. lamarcki</i>	II-2-c	94
ワニガキ	<i>Dendrostrea folium</i>	II-2-a		ハマグリ類似種	<i>Meretrix sp. cf. lusoria</i>	II-2-c	
ノコギリガキ	<i>Dendrostrea sandwichensis</i>	II-2-a	30	ハネマツカゼ	<i>Irus macrophyllus</i>	II-1-b	96
シロヒメガキ	<i>Ostrea fluctigera</i>	II-2-b	31	ダテオキシジミ	<i>Cyclina orientalis</i>	III-1-c	97
<b>ツキガイ科 Lucinidae</b>				<b>多板綱 Polyplacophola</b>			
ツキガイ	<i>Codakia tigerna</i>	I-2-c	33	<b>ヒザラガイ科</b>			
クチベニツキガイ	<i>Codakia punctata</i>	I-2-c	34	ヒザラガイ類	<i>Acanthopleura sp.</i>	I-1-a	99
ウラキツキガイ	<i>Codakia paytenorum</i>	II-2-c	35	<b>頭足綱 Cephalopoda</b>			
ヒメツキガイ	<i>epicodakia bella</i>	I-2-c		<b>コウイカ科 Sepiidae</b>			
ウメノハナガイ類	<i>Pillucina sp. cf. pisidium</i>	II-2-c		コブシメ?	<i>Sepia latimanus?</i>	I-2	
ナシノハナガイ	<i>Fimafitoa levukana</i>	II-2-c		筋足動物門 Arthropoda			
カブラツキガイ	<i>Anodontia edentula</i>	II-2-c	40	<b>十脚類 Decapoda</b>			
<b>カゴガイ科 Fimbriidae</b>				カニ類	crabs		
カゴガイ	<i>Fimbria soverbii</i>	II-2-c	41	棘皮動物門 Echinodermata			
<b>トマヤガイ科 Carditidae</b>				<b>ウニ綱 Echinoidea</b>			
クロフトマヤガイ	<i>Cardita variegata</i>	I-2-a	42	パイブウニ(棘)	<i>Heterocentrotus mammillatus (spine)</i>		
<b>キクザル科 Chamidae</b>				<b>生息場所類型 (Habitat)</b>			
シロザル	<i>Chama brassica</i>	I-4-a	43	I: 外洋-サンゴ礁域			
キクザル	<i>Chama sp.</i>	II-2-a	44	II: 内湾-転石域			
ヒレインコ	<i>Chama lazarus</i>	II-2-b	45	III: 河口干潟-マングローブ域			
<b>ザルガイ科 Cardiidae</b>				IV: 淡水域			
リュウキュウザルガイ	<i>Vasticardium flavum</i>	II-2-c	47	V: 陸域			
カワラガイ	<i>Fragum unedo</i>	II-2-c	48	VI: その他			
オキナフヒンガイ	<i>Fragum loochooanum</i>	II-2-c		0: 潮間帯上部(1ではノッチ, IIIではマングローフ)			
オオヒンガイ	<i>Fragum fragum</i>	I-2-c	50-a,b	1: 潮間帯中・下部			
リュウキュウアオイ	<i>Corculum cardissa</i>	I-2-b	51	2: 亜潮間帯上縁部(1ではイノー)			
<b>シヤコガイ科 Tridacnidae</b>				3: 干瀬(IIにのみ適用)			
シラナミ類	<i>Tridacna maxima &amp; noae</i>	I-2-a	53	4: 礁斜面及びその下部			
ヒレジャコ	<i>Tridacna squamosa</i>	I-2-c	54	5: 止水			
ヒメジャコ	<i>Tridacna crocea</i>	I-2-a	55	6: 流水			
シヤゴウ	<i>Hippopus hippopus</i>	I-2-c	57	7: 林内			
<b>バカガイ科 Mactridae</b>				8: 林内・林縁部			
リュウキュウバカガイ	<i>Mactra maculata</i>	II-2-c	58	9: 林縁部			
タママキ	<i>Mactra cuneata</i>	II-1-c	59	10: 海浜部			
リュウキュウアリソガイ	<i>Mactra mera</i>	II-2-c		11: 打ち上げ物			
ユキガイ	<i>Meropesta nicobarica</i>	II-2-c	61	12: 化石			
<b>テドリマスオガイ科 Mesodematidae</b>				a: 岩礁/岩盤			
イソハマグリ	<i>Atactodea striata</i>	I-1-c	62	b: 転石			
ナミノマスオ	<i>Davila plana</i>	I-1-c	63	c: 礫/砂/泥底			
<b>フジノハナガイ科 Donacidae</b>				d: 植物上			
リュウキュウナミノ	<i>Latona faba</i>	I-1-c	64	e: 淡水の流入する礫底			
<b>ニッコウガイ科 Tellinidae</b>							
ニッコウガイ	<i>Tellinella virgata</i>	II-2-c	65				
ヒメニッコウガイ	<i>Tellinella staurella</i>	II-2-c	66				
リュウキュウシラトリ	<i>Quidnipayis palatum</i>	II-1-c	67				
ヌノメイチョウシラトリ	<i>Pistris capsoides</i>	III-1-c	68				
モチヅキザラ	<i>Cyclotellina remies</i>	I-2-c	69				
アマサギ	<i>Macalia bruguieri</i>	II-2-c	70				
サメザラ	<i>Scutarcopagia scobinata</i>	I-2-c	71				
<b>アサザガイ科 Semelidae</b>							



第111表-1 伊礼原D遺跡出土 貝類遺体の詳細

地区	層	①地区							②地区					③地区			④地区			⑤地区						
		I	II	IIIa	IIIb	III下遺構	Vb	VI	計	IIIa	IIIb	III下遺構	Vb	Vc	計	IV	Va	VI	計	I	III下遺構	Vc	計	IIIa	III下遺構	Vb
1	ツタノハ							0		1					1				0				0			
2	オオベッコウガサ				1			1							0				0				0			
3	ベッコウガサ				1			1							0				0				0			
4	リュウキュウノアシ							0				1			1				0				0			
5	リュウテン							1							0				0				0			
6	コシダカサザエ					1	2	3			3	1			4				0				0			2
7	チョウセンサザエ	22	11	193	202	105	408	6	947	10	21	69	143	54	297	11	4		15	8	5	10	23	6	13	10
8	チョウセンサザエ(蓋)	2		121	41	54	227	7	452	5	3	32	6	5	51	3			3	2	4		6		3	
9	ヤコウガイ		1	33	31	13	34		112			2	5	1	8	2	1	1	4				0			1
10	ヤコウガイ(蓋)		3	21	16	4	24		68		2				2	2	5		7				0		3	
11	サザエ類不明								0				1	1	2				0				0			
12	カンギク	1	1	12	6	27	402		449	3		42	93	75	213	6			6	1			1		5	4
13	カンギク(蓋)								0						0				0				0			
14	オオウラウズ								0						0	1			1				0			
15	ニシキウズ		2	19	51	38	104	1	215	1		18	23	12	54	7			7		6	2	8	2	5	4
16	ムラサキウズ								0						0				0				0			
17	ギンタカハマ	1		8	31	10	25		75	1		2	8	2	13	3	2		5		1		1			2
18	コシダカギンタカハマ								0						0				0				0			
19	サラサバテイル	72	11	729	949	326	1049	19	3155	9	26	99	231	133	498	80	37		117	6	6	6	18	6	29	35
20	オキナワイシダタミ		1	1		4	83		89			1	14	3	18				0				0			
21	クマノコガイ								0						0				0				0			
22	サラサダマ							1	1						0				0				0			
23	フルヤガイ							1	1						0				0				0			
24	イシダタミアマオブネ							5	5				2		2				0				0			
25	ヒメイシダミアマオブネ								0						0				0				0			
26	コシダカアマガイ					3	10		13			1	1	3	5				0				0			
27	マングローブアマガイ					1	6		7			3	1		4				0				0			
28	キバアマガイ								0						0				0				0			
29	フトスジアマガイ								0			1			1				0				0			
30	リュウキュウアマガイ					1	2		3			1			1				0				0			
31	アマオブネ	1			1	2	30	1	35	1		7	7	10	25				0		2	1	3			4
32	マルアマオブネ				1	1	31		33			6			6				0				0			2
33	オオマルオアマオブネ			1		1	18		20			3	1	4	8				0			1	1			
34	ヒアラマキアマオブネ					1	5		6	1		2	4	2	9				0			1	1	1		
35	ニシキアマオブネ					3	74		77			3	18	14	35	1			1				0			1
36	アマオブネ類				1	3	6		10			2	4	1	7	1			1				0			
37	シマカノ						2		2				3		3				0				0			
38	ムラクモカノ						1		1				2		2				0				0			
39	ツバサカノ								0						0				0				0			
40	シマ(ベニ)オカイシマキ					1	2		3						0				0				0			
41	カノガイ						2		2				4	3	7				0				0			
42	カノコガイ類								0				2		2				0				0			
43	フネアマガイ								0						0				0				0			
44	アマガイモドキ						2		2						0				0				0			
45	オキナワユキスズメ								0						0				0				0			
46	オニノツノガイ	10	3	331	219	99	244	2	908	8	15	29	49	17	118	26	4		30	1	6	3	10	3	8	5
47	メオニノツノガイ						1		1						0				0				0			
48	コオニノツノガイ					1	1		2		1	1		1	3				0				0			
49	ハシナガツノブエ								0				1		1				0				0			
50	コゲツノブエ								0						0				0				0			
51	ヒメクワノミカニモリ								0			2		1	3				0				0			
52	クリムシカニモリ								0				1		1				0				0			
53	ゴマフカニモリ						6		6				1		1				0				0			
54	トウガタカニモリ								0				2		2				0				0			
55	カヤノミカニモリ				2		5		7			15	10	4	29	1			1		3		3		3	2
56	オオシマカニモリ						2		2						0				0				0			
57	イワ(ウミナ)カニモリ			3	1	5	5		14			4			4				0				0			1
58	クワノミカニモリ			1	11	1	1		14			14		4	18				0				0		1	
59	マダラチビカニモリ								0						0				0				0			
60	オニノツノガイ科					1			1																	
61	カワアイ				1				1			4			4				0				0			2
62	ヘナタリ								0				2		2				0				0			
63	フトヘナタリ								0			1			1				0				0			
64	キバウミナ						4		4						0				0				0			
65	マドモチウミナ	2		17	7	1	1		28			5			5				0				0			
66	センニンガイ						1		1						0				0				0			
67	リュウキュウウミナ				1	3	4		8			47			47				0				0			2
68	イボウミナ			3			1		4			3			3	1			1				0			
69	ゴマフニナ								0			1			1				0				0			
70	コゲニナ								0						0				0				0			
71	ホソスジウズラタマキビ								0						0				0				0			
230	テリタマキビ								0						0				0				0			
72	タマキビ科						3		3						0				0				0			
73	ムカシタモト				2	1	1		4			2			2				0				0			
74	ヤサガタムカシタモト								0			1			1				0				0			1
75	オハグロガイ			1			1		2					1	1				0				0			

Vc	計	⑥地区					地区外(油分無し)										地区外(油分有)										合計		
		Ⅲa	Ⅲ下 遺構	Vb	Vc	計	I	II	Ⅲa	Ⅲb	Ⅲ下 遺構	IV	Vb	VI	-	計	I	II	III	Ⅲa	Ⅲb	Ⅲ下 遺構	IV	Vb	Vc	VI (B.R.)		-	計
0	0					0										0												0	1
0	0					0		1						1	2													0	3
0	0					0									0													0	1
0	0					0									0								1					1	2
0	0					0									0													0	1
2	2			1		1							1	1								1			1			2	13
4	33	3	17	53	2	75	30	43	194	80	117	16	62	4	546	6	2		160	42	172	46	158	16			602	2538	
	3	2	8	2		12	5	12	97	36	41	8	1	5	205				8	17	47	3	9	2			86	818	
	1	3		1	1	5	3	5	16	13	3	4	5	3	52	1	2		5	1	10	2	6	2			29	211	
2	5					0	4	6	16	2	3	5		4	40				11	11	15	9	3				49	171	
0	0		1			1									0						1						1	4	
5	14	1	15	22	6	44			15	2	20			33	2	72	2		1	19	6	149	2	159	14		352	1151	
0	0					0									0							1					1	1	
0	0		1			1					1				1	2			1	1	1	1	1	1			5	9	
1	12	2	5	10	2	19	3	5	16	10	31	3	3	5	76	1	1		25	3	66	31	31	4			162	553	
0	0					0					1				1						3						3	4	
2	4		1	2		3		5	6	3	6			1	21				4		12	12	3				31	153	
0	0		5	5	1	11								1	1												0	12	
7	77	16	16	80	11	123	54	159	498	256	220	48	64	9	1308	19	6		232	73	274	53	268	39	2		966	6262	
0	0			1		1				2	1			6	9					1	6		20				27	144	
0	0					0									1	1											0	1	
0	0					0									0												0	1	
1	1				1	1									0												0	3	
0	0					0									0							2	2				4	11	
0	0					0									0									1			1	1	
0	0			1	1	2							2		2				2		1	2					5	27	
0	0		5		1	6					2				2		1			1	10	1	1				14	33	
0	0					0									0								1				1	1	
0	0		5			5									0						2	1					3	9	
0	0		4			4									0						4	1					5	13	
1	5		5	1	1	7		1			4		3	1	9						16	1	13	4			34	118	
2	2		1	1		2			1		1		4		6				1	1			2	2			6	55	
1	1		1	1		1		1		1		5	1		8						3	5	2				10	49	
1	1		5	3	1	9									0				4		18	1	1				24	50	
1	2			3		3			4		2		1		7				1	2	5	12	1				21	146	
0	0					0			1		2				3						2	3					5	26	
0	0			1		1				2	1				3												0	8	
0	0					0									0					1			2	2			5	9	
0	0					0									0								1				1	1	
0	0					0					2				2												0	5	
1	1		2			2									0						2	2					4	16	
0	0					0									0												0	2	
0	0					0									0									1			1	1	
0	0					0									0												0	2	
0	0					0									0						1						1	1	
3	19	10	13	7	3	33	18	54	194	52	45	17	9	3	392	7	6		77	41	143	79	56	6			415	1925	
0	0					0									0												0	1	
0	0				1	1									0				2			2					4	10	
0	0					0									0												0	1	
0	0					0									0							1					1	1	
0	0					0							1		1									1			1	5	
0	0					0									0									1			0	1	
0	0					0									0								1	1			2	9	
0	0					0								1	1												0	3	
3	8	1	3	2	3	9		1			1				2		1		7	2	40		5	1			56	115	
0	0					0									0												0	2	
1	1		7			7					3				3						2	1	1				4	33	
3	4		5	1		6					1				1				2	130	12		1				145	188	
0	0					0									0						1						1	1	
0	0					0									1								1				1	3	
2	2		2			2					1				1						1						1	11	
0	0					0									0												0	2	
0	0					0									0						1						1	2	
0	0					0								1	1								1				1	6	
0	0		4		1	5		2	8	2	4				16						3						3	57	
0	0					0								4	4												0	5	
2	4		59			59			2		5		3		10				2	1	40	1		1			45	173	
0	0		3	1	1	5	1		3	1	3				8								1				1	22	
0	0					0					1				1						1		1				2	4	
0	0					0									0							1					1	1	
0	0					0									0												1	1	
0	0					0					1				1					1							0	4	
0	1	1	1	1		3			1		1				2						8	2					10	21	
1	1					0					1				1						1		2	1			4	7	
0	0					0			2						2						2	2					4	9	

第111表-2 伊礼原D遺跡出土 貝類遺体の詳細

地区	層	①地区							②地区					③地区			④地区				⑤地区						
		I	II	IIIa	IIIb	III下遺構	Vb	VI	計	IIIa	IIIb	III下遺構	Vb	Vc	計	IV	Va	VI	計	I	III下遺構	Vc	計	IIIa	III下遺構	Vb	
76	フトスジムカシタモト					1			1			1							0			1	1				
77	ネジマガキカイ	2		87	25	49	19		182	2	2	28	4	3	39	17	3		20		1	1	2		4	1	
78	マガキガイ	97	55	3613	3018	1086	1175	10	9054	33	86	369	136	65	689	1299	360		1659	4	16	1	21	13	71	26	
79	イボソデガイ	1		37	34	8	13		93	1	2	2	8	5	18	8	1		9				0				
80	スイショウガイ								0						0				0				0				
81	マイノソデガイ			1					1						0				0				0				
82	アツソデガイ			2			1		3						0	1			1				0				
83	ゴホウラ	1		5	7	1	3		17			1			1				0				0				
84	クモガイ	72	13	1216	1156	348	726	4	3535	4	9	41	98	36	188	63	34		97	1	6	9	16	4	12	25	
85	クモガイ幼貝				2	1			3						0	1	1		2				0				
86	ラクダガイ			3	2	1			6						0	1			1				0				
87	スイジガイ	9	1	29	18	9	36		102	1	2	1	2	6	3	5		8			1	1		2			
88	カワチドリ						1		1						0				0				0				
89	マルシロネズミ								0				1	1					0				0				
90	リュウキュウヘビガイ								0				1		1				0				0				
91	タツノコヘビガイ								0						0				0				0				
92	ムカデガイ科								0					1	1				0				0				
93	ウミウサギ								0						0				0				0				
94	キイロダカラ				3	3	16		22	1	1	4	3	2	11				0			3	3	1	1		
95	ハナヒラダカラ			9	8	14	39		70	5	2	53	20	11	91				0		3	1	4		14	2	
96	ナツメドキ			3	4		3		10			3	2		5				0			1	1		2	1	
97	コモンダカラ		1	2		1	1		5			4			4				0				0				
98	ハナマルユキ			53	17	25	14		109	2	4	41	1	1	49	2			2		2	1	3		10		
99	エダカラ			1					1			1			1				0				0				
100	マメシボリダカラ								0			1			1				0				0				
101	カノコダカラ								0						0				0				0				
102	ヤナギシボリダカラ				4		2		6			1			1				0				0				
103	ヤクシマダカラ			17	8	8	9		42	2	18	5	2	27	4			4	1			1		2	1		
104	ホソヤクシマダカラ			1	4	2	3		10		3	4	1	1	9				0			1	1				
105	ハチジョウダカラ								0						0				0				0				
106	ホシダカラ	1	3	55	34	16	33	5	147	1	6	9	1	17	9	6		15	1			1		1	1	2	
107	ヒメホシダカラ						2		2						0				0				0				
108	ホシキヌタ			2	4		1		7		2	3			5	1		1	1	2	3	6			2		
109	タカラガイ類			13	8	7	2		30		1	4			5	2		2		1	2	3			1		
110	トミガイ			2	6		11		19		1	6	1	8	1			1			1	1					
111	ヘソアキトミガイ					1	3		4		2	1	2	5				0				0					
112	シロヘソアキトミガイ								0						0				0				0				
113	ロウイトミガイ					1	3		4				2	2				0		1		1					
114	リスガイ		1	10	2	4	54	1	72	1	3	12	30	12	58	1		1		3	5	8		1	1		
115	ホウシュノタマ				1		56		57	5	15	30	10	60	1			1		1	1	2		2	1		
116	トラダマ								0						0				0				0			1	
117	アラゴマフダマ								0						0				0				0				
118	タマガイ科				1	4	2		7			5			5				0			1	1				
119	ウズラガイ				3		4		7		1	2			3				0				0				
120	スクミズラ				6	3	4		13		2	1			3				0				0		1	1	
121	イワカワキワガイ				1		1		2						0				0				0				
122	ヤツシロガイ科								0						0				0				0				
123	ヒナヅル								0						0				0				0				
124	ミツカドボラ			10	6	1	6		23		2	6		4	12	1		1				0		1			
125	サツマボラ			1	1				2						0				0				0				
126	シオボラ			1	2	2	11		16				5		5				0				0				
127	ヒメミツカドボラ						2		2						0				0				0				
128	トウマキボラ								0	1				1	2				0				0				
129	オオゾウガイ								0						0				0				0				
130	シノマキ				1				1						0				0				0				
131	フジツガイ				2				2						0				0				0				
132	ホラガイ	2	1	18	26	4	15		66		3	2	5	1	11				0				0				
133	イワカワウネボラ								0						0				0				0				
134	オキニシ	3	1	21	26	6	36		93	2		9	19	4	34	4		4							1		
135	シロナルトボラ								0						0		1		1				0				
136	シワクチナルトボラ								0						0				0				0				
137	オオナルトボラ								0						0				0				0				
138	ガンゼキボラ	2	1	47	38	28	42		158	5	10	14	15	7	51	13		13		1		1		4	1		
139	コイワニシ				1				1			1		1	2				0				0				
140	シラクモガイ	1		15	8	2	7		33				1		1	2		2				0			1		
141	テツレイシ				1	3	3	119	126			4	6	9	19				0				0				
142	ツルレイシ	5	1	32	52	20	134	1	245	5	7	20	89	44	165	7		7				0		3	4		
143	ツノテツレイシ	2		10	2	9	22		45		2	4	11	7	24	1		1				0					
144	コイボテツレイシ								0						0				0				0				
145	クチベニレイシダマシ								0					1	1				0				0				
146	レイシダマシ					1			1						0				0				0				
147	コマドボラ								0						0				0				0				
148	レイシダマシモドキ								0						0				0		1		1				
149	ハナワレイシ					1			1						0				0				0				
150	シロイガレイシ								0					1	1				0				0				
151	ムラサキイガレイシ			4	1				5		1	1	3		5				0				0				





第111表-3 伊礼原D遺跡出土 貝類遺体の詳細

地区	層	①地区							②地区					③地区				④地区				⑤地区				
		I	II	IIIa	IIIb	III下遺構	Vb	VI	計	IIIa	IIIb	III下遺構	Vb	Vc	計	IV	Va	VI	計	I	III下遺構	Vc	計	IIIa	III下遺構	Vb
152	アカイガレイシガイ			38	9	6	11	64			1			1	3	1		4					0			
153	アツキガイ科		1	1	2			4						0				0					0		1	
154	オニコブシ	1		4	10		2	17			1			1				0					0	1		
155	コオニコブシ	1	1	48	44	24	34	153	1	1	18	5	4	29	6	1		7		2		2			3	
156	フトコロガイ				1		1	2					1	1				0					0			
157	オビニナ						1	1						0				0					0			
158	ノシガイ							0						0				0					0			
159	シマベッコウバイ			1	2	2	13	18			7	2		9				0	1	1		2			1	
160	エソバイ科							0						0				0					0			
161	イボヨウバイ						1	1						0				0					0			
162	ヒメオリレムシロ						7	7			2	1	1	4				0					0			
163	オリレムシロ																					1		1		
164	アツムシロ			1			4	5			1	1		2				0					0			
165	カニノテムシロ							0						0				0					0			
166	リュウキュウムシロ							0			1			1				0					0			
167	ヨフバイモドキ					1		1						0				0					0			
168	ミナミキンシバイ							0						1				0					0			
169	イトマキボラ	7	5	139	133	70	245	1	600	8	12	32	35	27	114	22	6	28	1	1	2	4	2	3	5	
170	ナガイトマキボラ	1			1			2	1			1		2				0					0			
171	リュウキュウツノマタ				1			1			1			1				0					0			
172	ツノマタモドキ			1				1			1		1	2				0					0			
173	マルニシ				1		2	3						0				0					0			
174	チトセボラ			14	14	5	6	39	1	5	2	3		11	2			2					0			
175	ウスイロバイ						2	2						0				0					0			
176	ジウドウマクラ			1				1						0				0					0			
177	サツマヒナ							0						0				0					0			
178	マクラガイ科							0						0				0					0			
179	ショッコウラ							0						0				0					0			
180	チョウセンフデ			1				1						0				0					0			
181	キバフデ				1	1		2						0				0					0			
182	オオシマヤタテ							0						0				0					0			
183	ナガシマヤタテ							0						0				0					0			
184	コシマヤタテ							0					1	1				0					0			
185	シロオビヤタテ							0						0				0					0			
186	イモフデ			1			2	3				2		2				0					0		1	1
187	チリメンイモフデ						2	2				1		1				0					0			
188	フデガイ科				1			1						0				0					0			
189	ミノムシガイ						1	1						0				0					0			
190	オオミノムシ						1	1						0				0			1	1				
191	シワミノムシガイ							0						0				0					0			
192	チビツクシ							0						0				0					0			
193	イトカケツクシガイ							0						0				0					0			
194	クダボラ							0						0				0					0			
195	マダライモ	2		53	21	12	33	1	122	8	5	9	22	1			1				2	2		1	1	
196	コマダライモ						1	1				2		2				0				1	1			
197	サヤガタイモ			6	2	1	5	14			1	2		3				0				2	2		1	
198	ジュズカケサヤガタイモ			3	1	2	10	1	17			2		1	3			0					0			
199	シロセイロンイモ							0						0				0					0			
200	キヌカツギイモ				2			2						0				0					0			
201	イボシマイモ			11	2	4	6	23			3			3				0		1		1		1		
202	ヤセイモ			5	3	3		11	1		1	1		3				0					0			
203	イボカバイモ			4	4	4		12			1	1		2				0					0			
204	ヤナギンボライモ	1	3	126	104	39	71	344			7	8	1	16	15	2		17					0		1	
205	ハイロミナシ							0						0				0					0			
206	サラサミナシ	1		15	16	6	5	43			1	4	1	1	7	4		4		1		1				
207	イタチイモ					1	1	2						0				0					0			
208	カバミナシ			7	7		7	21			2			2				0					0			
209	サラサモドキ			2	1	3	9	15			3			3	2			2		2		2				
210	ヒアラマキイモ				4		1	5	1	1	1	1		4				0		2		2				
211	アジロイモ			2		4	9	15				7		7				0				1	1			
212	タガヤサンミナシ			1	2			3			1		2	3				0					0			1
213	ニシキミナシ			2	2	1		5						0	1			1					0			
214	アンボイナ							0						0				0					0			
215	ナンヨウクロミナシ	1		28	12	21	14	76			9	1	4	15	2			2	1			1	2		1	
216	ミカドミナシ	1		13	6	2	11	33			1			1				0					0			1
217	アカシマミナシ	1	1	12	27	7	12	60			1	1		2	2			2					0			
218	ナガサラサミナシ			1	1	4		6				1		1				0					0			
219	ゴマフイモ	2		18	12	7	13	52			3	1		4	2	1		3		1		1				
220	コモンイモ				1			1						0	1			1					0			
221	ロウソクガイ	1		6	9	3	1	20					1	1				0					0			1
222	スジイモ							0	1					1				0					0			
223	ダイミョウイモ			2	1			3			1		2	3	1			1					0			
224	クロザメモドキ			7	5	5	2	1	20			1	1		2	3	2		5				0			1
225	アンボンクロザメ	9	1	222	176	63	143	1	615	4	1	8	9	5	27	14	8		22				0		1	2
226	クロフモドキ	1		7	13	6	14	41			1	1		2	1			1					0			
227	小形イモガイ科			43	26	9	19	97			1		6	3	1	11		3	2	4	13	19	1	1	1	

Vc	計	㊦地区				地区外(油分無し)										地区外(油分アリ)										合計		
		Ⅲa	Ⅲ下 遺構	Vb	Vc	計	I	II	Ⅲa	Ⅲb	Ⅲ下 遺構	IV	Vb	VI	-	計	I	II	III	Ⅲa	Ⅲb	Ⅲ下 遺構	IV	Vb	Vc		VI (B.R.)	-
	0			3	3			16	2	2		1			21				3	2	6	6	3	1			21	114
	1				0			3							3								2				2	10
1	2	1			1	1	2	7	4	4	1				19						2	4					6	46
	3	3	5		1	9	1	4	41	12	9	8	2		77	4			21	8	32	19	13				97	377
	0			1	1										0									3			3	7
	0				0										0												0	1
	0				0								1		1												0	1
	1	1	6	1	8			1		2		1		4				1		17		4	2			24	66	
	0				0									0					1							1	1	
	0				0									0						1				1		2	3	
	0				0									0										1		1	12	
																											1	
	0				0					1				1				1								1	9	
	0				0									0									1			1	1	
	0				0									0									1			1	2	
	0				0									0												0	1	
	0				0									0												0	1	
	10	7	5	7	3	22	22	48	141	47	59	35	24	3	379	4	4		68	13	71	25	67	8		260	1417	
	0	1			1				1				1		2					1	1	1				3	10	
	0	1			1										0											0	3	
	0	1		1	2					1					1						1		2			3	9	
	0				0				1						1					1						1	5	
	0	1		1	2		1	13		5	1	2		22				10	1	4	1	7			23	99		
	0				0										0											0	2	
	0				0										0											0	1	
	0				0				2					2												0	2	
	0				0										0						1					1	1	
	0				0										0								1			1	1	
	0				0										0											0	1	
	0				0										0											0	2	
	0		1		1										0											0	1	
	0				0										0								1			1	1	
	0				0										0											1	2	
	0				0										0								1			1	1	
	2	1			1										0							1	1			2	10	
	0				0										0											0	3	
	0				0										0											0	1	
	0				0										0							4				4	5	
	0				0							1			1											0	3	
	0				0										0						1					1	1	
	0				0										0								1			1	1	
	0				0										0											3	3	
1	3		2	2	4		3	33	14	11	3	2	3	69				3	2	11	2	6	1		25	248		
	0				0										0											0	4	
	1	1	2		3			1		5		1		7				3	4	12		1	1		21	51		
	0		1		1		1	4		1		1		7						3		1			4	32		
	0				0					1				0							1					1	1	
	0				0					1	1			2				1								1	5	
	1		1		1			7		1				8	1			1		7	5				14	51		
	0			1	1			1	2	1			1	5						2	1	1			5	25		
	0				0			2	2	1				5				3		1					4	23		
1	2		2		2	4	12	64	13	18	8	2		121	1			7	1	9	5	5			28	530		
	0				0			1						1												0	1	
	0	1		1	2	1	4	6	4	1	6			22	1			3	1	11	5				21	100		
	0				0									0												0	2	
	0				0			1	3	2	3	1		10				1		2	1				4	37		
	0			1	1			5		4		1		10						4	1				8	41		
	0				0					1				1				3	1	2		1			7	19		
	0		1		1		1	1	1	1				4				3		10			1		14	42		
	1			1	1		1							1				1		2					3	12		
	0				0	1	2	2				1		6								1			1	13		
	0				0								1		5						1	2			3	8		
2	3		1	1	2		3	20	3	9			1	36				4		15	1		1		22	158		
	1				0		5	11	2	5	1			24				1	1	2	3	1			8	67		
	0		1		1		2	7	3	1	1	2		16	1			1		4		1			7	88		
	0				0									0						1						1	8	
	0				0		2	5	1	5	1			14	1			2	2	5	1				11	85		
	0				0									0				1		2					3	5		
	1		2		2	1	1	2	1	2				7						2					2	33		
	0				0									0												0	1	
	0				0			8	1	1				10												0	17	
	1		1		1	1	1	5	2	1	1			11						9	2	1	1		13	53		
1	4			2	2	17	37	112	48	29	43	7	12	305	1	1		23	6	17	13	14	1	1	77	1052		
	0				0	2	1	8	5	3	1	1		21				3	1	1		1			6	71		
	3	3	1	7	11	2	1	39	16	13	2			73				7	2	28		13	6		56	273		



Vc	計	⑥地区					地区外(油分無し)										地区外(油分有)										合計		
		Ⅲa	Ⅲ下遺構	Vb	Vc	計	I	II	Ⅲa	Ⅲb	Ⅲ下遺構	IV	Vb	VI	-	計	I	II	III	Ⅲa	Ⅲb	Ⅲ下遺構	IV	Vb	Vc	VI(B.R.)		-	計
3	10	2	7	15	1	25	4	14	191	50	43	27		2	331		2		52	20	50	10	39	8	1	182	1205		
	0					0	4	2	16	4	1	1		1	29	1		1	5	1	2	2	2	1		15	105		
	9		1	4		5	6	51	136	18	72	5	4		292				1	29	3	3	2			38	1162		
	1					0						1			1				1	1	1			1		4	8		
	0					0									0						1					1	1		
	0					0							1		1											0	1		
	1					0									0											0	1		
	0					0									0											0	2		
2	2		2	1		3			3		1		1		5				4		13	3	2			22	45		
	0			1		1									0								1			1	2		
	0					0									0											0	2		
	1					0									0											0	1		
	0			2	1	3							1	1	2							2				2	12		
	0					0									0											0	1		
	0		3			3	1	9	43	3	17		3		76						2					2	229		
	0		1			1			1						1	1					6			1		8	14		
13	41	3	37	70	9	119	4	3	149	12	279	5	130	1	583		1		31	9	195	2	624	39		901	5278		
	0			1		1		1	1						2						1	1	1			3	8		
	0		4			4			1	1					2						4		3	1		8	22		
	0		2			2									0				2	2	16		2			22	30		
	1	2				2				1					1			1	3		3		1			5	18		
	0					0									0				1		5	3	4			13	15		
1	2		6	6		12			5		5	2	1	7	20				2		21		11			34	117		
	0					0									0											0	1		
3	7	1	28	30	1	60	2		93	2	86		20	3	206		2		13		90	5	53	2		165	792		
1	7	2	1	9	1	13		2	20	18	27	3	12		82				1	2	15		29	6		53	373		
	0					0					2		3		5								2	3		5	11		
	0					0									0											0	1		
9	70	7	170	197	9	383	12	5	111	9	257	1	116		511	1	3		55	6	607	15	658	273		1618	5677		
	1		6	5		11			13		15		2		30		1		1		60	2	25	3		92	315		
	0					1	1								0											0	1		
	0			1		1									0											0	2		
108	650	182	774	685	82	1723	592	1531	6147	2157	2510	894	685	125	2	14643	109	67	9	1945	740	4118	1167	2994	543	4	2	11698	67726
	0			2		2		1	1						1	3			1	1	1					3	10		
5	30		13	52	10	75		4	19	2	13	1	6	1	1	47		2		12	4	74	7	62	21		182	843	
	0					0									0						1					1	14		
2	2			2		2						1			2											0	25		
2	16	7	7	18	1	33	10	40	149	43	35	58	11	3	349	5	9		70	22	122	31	40	10		309	1422		
	0					0									0											0	1		
	0					0			1		1				2											0	2		
	0		1			1					2				2						2	1	1			4	73		
	0					0									0						1					1	1		
	0					0									0											0	1		
	0					0									0											0	2		
1	7			13	5	18			4					1	5		3		1		22		13	7		46	136		
	0					0			5		4				9						2		1			3	85		
	0					0				7	1		1	1	10						1					1	20		
5	8			5		5			17	1	12		12	2	2	46			6	6	28	1	12	4		57	347		
9	28		24	16	5	45	1	9	21	52	43		78	8	212	1	1		28	6	126	1	97	14		274	1115		
	0					0									0								1			1	4		
	0					0									0				1							1	1		
	0					0									0											0	1		
	0					0									0											0	2		
	0			1		1									0											0	1		
	0					0									0										1	1	2		
	0					0									0									1		1	1		
2	9	1	9	21		31	9	27	90	33	43	32	22	7	8	271	11	3		54	13	79	17	33	16		226	1152	
	0					0				2					2												0	6	
	0					0							1		1												0	1	
	0					0				1	1		1		3						1					1	5		
	0					0			2						2								1			1	13		
	0					0									0				2							2	2		
1	1					0									0											0	6		
	0					0									0											0	1		
	3			6	1	7		1		2	3		1		7						1		7	1		9	63		
	15					0									0						1	1	2			4	66		
	0				1	2									0						2					2	7		
24	48	3	29	137	9	178		2	27	2	11		9	1	52	14	17	1	30	9	353	9	213	134		780	2674		
15	57	1	3	51	5	60		3	9	1	4		15		32		26		14	1	159	3	116	145		464	1600		
	33		4			4	1			7		2			10						8		71	27		106	529		
	0					0									0											1	3		
3	3					0		1							1						1					1	11		
58	134	2	19	118	30	169		3	30	1	8		9		51	8	10	1	13	3	277	2	181	195		690	2912		
	0					0									0								1			1	3		
	0					0									0											0	1		
	0		1			1						3			3					1	1					2	9		
	0					0			8	1	2				11						2	1				3	62		



第111表-5 伊礼原D遺跡出土 貝類遺体の詳細

地区 層	①地区								②地区					③地区			④地区				⑤地区							
	番号	和名	I	II	IIIa	IIIb	III下 遺構	Vb	VI	計	IIIa	IIIb	III下 遺構	Vb	Vc	計	IV	Va	VI	計	I	III下 遺構	Vc	計	IIIa	III下 遺構	Vb	
45	ヒレインコ														0					0								
46	キクザルガイ科			1					1						0		2			2								
47	リュウキュウザルガイ	7	9	17	30	29	519	13	624	2	2	31	109	76	220	3	2			5	4	5	23	32	1	7	21	
48	カワラガイ	15	8	166	224	188	2297	18	2916	16	21	168	715	412	1332	69	9			78	19	26	113	158	4	39	147	
49	オキナワヒシガイ						5		5						0					0								
50	オオヒシガイ														0					0						1	1	
51	リュウキュウアオイ														0					0			1					
52	ザルガイ科				8	12	5		25						0					0								
53	シラナミ類	65	17	1445	1145	487	798	14	3971	18	30	102	195	145	490	347	195			542	5	10	8	23	3	32	37	
54	ヒレジャコ	3		62	106	35	86		292		3	11	16	12	42	27	13			40				0		2	1	
55	ヒメジャコ	26	8	244	545	214	428	4	1469	2	6	42	69	41	160	153	56			209				0		6	6	
56	シャコガイ不明(シャコウを除く)			1	1	2	37		41	1	11	10	7	7	36					0		1	1	2	1	7	3	
57	シャゴウ	11	2	244	187	53	117		614	1	5	12	16	2	36	22	16			38		1		1		1	4	
58	リュウキュウバカガイ	1		6	9	7	28	2	53	1	3	11	21	16	52	1				1	2	5	18	25	1	4	45	
59	タマキ						127		127			9	81	79	169	2				2		3	3	6		1		
60	リュウキュウアリソガイ														0					0	4		26	30				
61	ユキガイ						2		2			4			4					0				0				
62	イソハマグリ	7	4	405	258	721	9424	11	10830	2	1	227	677	783	1690	127	3			130	1	16	46	63		33	114	
63	ナミノコマスオ						25		25			4	2	21	27					0			1	1			1	
64	リュウキュウナミノコ			1			67		68			3	15	20	38	3				3			1	1		1	2	
65	ニッコウガイ	1		2	2	2	42		49			6	9	1	16	1				1	1	3	9	13			6	
66	ヒメニッコウガイ			1		2	17	1	21			5	39	44	1					1			5	5			5	
67	リュウキュウシラトリ	7	8	25	50	126	3256	219	3691	14	3	179	1110	1141	2447	40	1			41	73	84	601	758	5	46	506	
68	ヌノメイチョウシラトリ						1		1						0					0				0				
69	モチツキザラ					1	2		3		1				1					0				0		1		
70	アマサギ						1		1						0					0				0				
71	サメザラ				2	1	10		13	1	1	1	2	3	8	1				1				0			1	
72	サメザラモドキ		2		2	6	44		54			1	5	2	8					0				0				
73	リュウキュウマスオ	6	1	85	92	96	370	8	658	4	12	61	126	134	337	17	1			18	4	15	47	66	1	18	58	
74	マスオガイ	7	8	44	87	99	1123	18	1386	8	32	151	484	457	1132	39	12			51	25	37	266	328	7	39	273	
75	シレナシジミ	10		60	84	51	105	3	313	2	6	14	28	8	58	79	47			126		1	5	6	1	3	4	
76	ヌノメガイ	4	1	188	147	92	86		518	13	49	142	31	25	260	20	11			31	4	13	7	24	7	38	9	
77	アラヌメガイ			13	5	8			26	1	3	2			6					0		2		2		3		
78	カノコアサリ						2		2						0					0			2	2			1	
79	チリメンカノコアサリ														0					0				0				
80	タイワンシラオ						1		1						0					0				0				
81	ホソスジイナミガイ	6	1	113	51	162	2777	2	3112	3	41	70	179	238	531	11				11	11	10	123	144		21	41	
82	アラスジケマンガイ	26	4	798	778	1048	3147	15	5816	7	7	99	156	157	426	60	11			71	3	10	45	58	1	10	39	
83	ヒメイナミ						2		2						0					0		1		1				
84	マルオミナエシ														0					0				0				
85	サラサガイ								0						0					0				0				
86	ケショウオミナエシ														0					0				0				
87	ユウカゲハマグリ	2	3	12	19	32	717	5	790	4	2	71	365	254	696	4	2			6	40	74	383	497	3	16	158	
88	イオウハマグリ						1		1			1			1					0				0				
89	オイノカガミ			2	4	8	464		478	1	1	9	47	69	127	1				1	2	19	77	98		11		
90	リュウキュウアサリ			1	2	3	11	1	18		1	3	3	4	11					0		1	1	2				
91	ヒメリュウキュウアサリ						10		10						0					0				0				
92	ヒメアサリ			1	1	1	59		62			11	16	21	48	1				1	6	5	41	52		1	13	
93	スダレハマグリ	3		16	37	44	197	11	308		1	27	101	113	242	35	8			43	1	4	20	25	3	6	53	
94	トウドユマリハマグリ								0						0					0				0				
95	ハマグリ類似種			1			3		4						0					0				0				
96	ハネマツカゼ						1		1						0					0				0				
97	ダテオキシジミ			1			5		6				1		1					0				0				
98	マルスダレガイ科						1		1						0					0				0				
99	ヒザラガイ類								0						0					0				0				
100	二枚貝不明	2		24	12	17	205		260			18		2	20	2				2				0			13	
二枚貝合計		222	83	4328	4214	3867	30519	375	43608	110	267	1718	5316	5035	12446	1213	475	0	1688	252	503	2663	3418	40	382	1792		
巻貝類・二枚貝合計		576	218	12790	11432	7313	40704	441	73474	281	509	3821	8180	6223	19014	3033	978	1	4012	288	624	2760	3672	80	632	2044		
地区別合計		73474								19014					4012			3672				3539						
バイブウニ		12		33	28	37	120	2	232	1		7	8	5	21													
カニ		2		1	8		17		28																			
クブシミ						2			2			2			2												1	

第V章 2

		⑥地区					地区外(油分無L)										地区外(油分7)										合計			
Vc	計	Ⅲa	Ⅲ下 遺構	Vb	Vc	計	I	II	Ⅲa	Ⅲb	Ⅲ下 遺構	IV	Vb	VI	-	計	I	II	III	Ⅲa	Ⅲb	Ⅲ下 遺構	IV	Vb	Vc	VI (B.R.)	-	計	合計	
	0					0										0													1	1
	0					0						2				2													0	5
9	38	2	6	49	11	68	3	4	15	10	28	6	8	1	2	77	2	3		37	11	93	7	121	20			294	1358	
67	257	15	70	220	46	351	17	23	203	70	182	20	68		2	585	13	48	2	232	54	578	44	625	139			1735	7412	
	0					0										0								1				1	6	
1	3					0										0							1					1	4	
	0					0										0	1											1	2	
	0					0			1		3		7			11												0	36	
11	83	22	42	131	8	203	97	262	1011	363	350	408	50	31	12	2584	17	1	1	281	113	263	74	239	32	1	1022	8918		
	3			7		7			13	42	24	24	17	7		4	131	1		38	11	39	5	16	2			112	627	
2	14		9	14	2	25	19	65	174	180	148	116	41		1	744	12		1	50	30	66	23	62	10			254	2875	
	11		2	11		13			3	2					1	6			3	37	15	56		8	2			121	230	
1	6	1	4	6	1	12	17	49	150	58	50	42	12			378	2	1		13	9	33	17	20	2			97	1182	
2	52	6	11	20	1	38	2	1	11	2	22		3		1	42	2	4		30	1	103	13	23	11			187	450	
26	27	1	1	88	23	113			13	1	3		2	4	2	25	1		1	3		22		60	25			112	581	
	0		2	12	1	15										0	1			7		5	1	3	8			25	70	
	0	1		4		5			1							1				3		5		4	2			14	26	
67	214	3	83	197	30	313	3	40	197	110	258	20	253	7	6	894		2	2	43	69	480	4	888	199	2	1689	15823		
5	6			1	1	2							1			1						1		7	1			9	71	
4	7		1	9	3	13					1		4	1		6						5		14	2			21	157	
2	8		1	6	1	8		2					2			4				2		13		17	4			37	136	
2	7			14		14			7							7						1	4		9	10			24	123
160	717	25	146	1179	90	1440	4	25	145	38	118	5	131	68	12	546	19	48		231	29	1179	62	1255	536	80	3439	13079		
	0			1		1										0						1						1	3	
	1					0					4				2	6												0	11	
	0					0										0												0	1	
1	2			1		1		1		1					1	3				1	1	3		1	1			7	35	
2	2			1		1		3	1		4		9			17						3	4	4	1			12	94	
13	90	7	31	93	8	139	7	11	59	45	48	7	14	4	8	203	4	12		68	22	256	16	134	50			562	2073	
51	370	23	101	652	33	809	9	20	109	36	89	7	44	28	10	352	12	20	3	182	32	708	35	547	250			1789	6217	
	8		1	6	1	8	9	18	68	28	26	19	7	6	7	188	1	1		28	16	33	4	15	4			102	809	
2	56	18	53	10		81	11	38	107	48	63	10	4		3	284	8	13		134	65	314	70	37	6			647	1901	
	3		1			1			9	4	7	1				21				7	1	10	3	2				23	82	
	1		1	1		2										0										1			1	8
	0					0										0										2			2	2
	0	1		1		2										0						1						1	4	
27	89	8	21	112	19	160	2	7	67	15	54	3	10	1		159	2	14		74	59	409	6	414	74			1052	5258	
17	67	8	41	50	6	105	18	44	334	181	160	59	34	1	4	835	2	2		74	98	280	42	276	70			844	8222	
	0					0										0		1								1			2	5
	0					0										0						1							1	1
	0					0							1			1													0	1
	0					0										0				2	1								3	3
53	230	10	57	386	35	488	3	5	44	10	34	6	30		3	135	16	47		128	12	728	47	335	280			1593	4435	
	0					0										0													0	2
3	14		11	21	1	33		2	6	4	12	1	6	1	3	35	2	5		14	1	135	2	63	44			266	1052	
	0		1	1		2			1		2				1	2	6				4	4	11	1	3	3			26	65
	0					0			1							1													0	11
5	19	1	9	21	3	34		3	2		3		1			9	1	4		4	1	56		16	34			116	341	
15	77	2	22	114	12	150	1	5	33	13	23	8	6	1	4	94	1			20	11	64	3	114	29			242	1181	
	0					0				1	1		1			3													0	3
	0					0			1							1													0	5
	0					0										0													0	1
	0					0	1									1								1					1	9
	0					0										0				1									1	2
	0					0										1													0	1
	13		4			4	2	1	22	1	17		9			52		1		3		51	2	13	1			71	422	
675	2889	168	843	3881	403	5295	246	733	3220	1392	1923	854	933	168	115	9584	159	303	12	1983	734	7275	558	6197	2435	83	19739	<b>98667</b>		
783	3539	350	1617	4566	485	7018	838	2264	9367	3549	4433	1748	1618	293	117	24227	268	370	21	3928	1474	11393	1725	9191	2978	87	2	31437	<b>166393</b>	
						7018					24227											31437							166393	
		1	6	1		8		2	2	2	7	1		1		15	1			7	3	6	2	11	1			31	307	
								1	1	4	1		2	6		15													43	
	1									1						1				1									1	7

## ＜巻貝＞

**ヨメガカサ科** (2 オオベッコウガサ 3 ベッコウガサ) **リュウテン科** (6 コシダカサザエ 7 チョウセンサザエ 8 チョウセンサザエ (蓋) 9 ヤコウガイ 10 ヤコウガイ (蓋) 12 カンギク 13 カンギク (蓋) 14 オオウラウズ) **ニシキウズ科** (15 ニシキウズ 16 ムラサキウズ 17 ギンタカハマ 18 コシダカギンタカハマ 19 サラサバテイラ 20 オキナワイシダタミ 21 クマノコガイ 22 サラサダマ 23 フルヤガイ) **アマオブネ科** (24 イシダタミアマオブネ 25 ヒメイシダタミアマオブネ 26 コシダカアマガイ 27 マングローブアマガイ 28 キバアマガイ 30 リュウキュウアマガイ 31 アマオブネ 32 マルアマオブネ 33 オオマルアマオブネ 34 ヒラマキアマオブネ 35 ニシキアマオブネ 36 アマオブネ類 37 シマカノコ 38 ムラクモカノコ 39 ツバサカノコ 40 シマ (ベニ) オカイシマキ 41 カノコガイ 42 カノコガイ類 43 フネアマガイ) **ユキスズメガイ科** (45 オキナワユキスズメ) **オニノツノガイ科** (46 オニノツノガイ 48 コオニノツノガイ 49 ハシナガツノブエ 55 カヤノミカニモリ 57 イワ (ウミニナ) カニモリ 58 クワノミカニモリ) **ヘナタリ科** (61 カワアイ 62 ヘナタリ 63 フトヘナタリ 65 マドモチウミニナ 66 センニンガイ) **ウミニナ科** (67 リュウキュウウミニナ 68 イボウミニナ) **ゴマフニナ科** (69 ゴマフニナ) **タマキビ科** (71 ホソスジウズラタマキビ) **スイショウガイ科** (75-a オハグロガイ 73 ムカシタモト 75-b オハグロガイ 76-a・b フトスジムカシタモト 77 ネジマガキ 78 マガキガイ 79 イボソデガイ 80 スイショウガイ 81 マイノソデガイ 82 アツソデガイ 83 ゴホウラ 84-a・b クモガイ 86-a・b ラクダガイ 87 スイジガイ) **スズメガイ科** (88 カワチドリ) **シロネズミガイ科** (89 マルシロネズミ) **ムカデガイ科** (92 ムカデガイ科) **ウミウサギ科** (93 ウミウサギ) **タカラガイ科** (94 キイロダカラ 95 ハナビラダカラ 96 ナツメモドキ 97 コモンダカラ 98 ハナマルユキ 102 ヤナギシボリダカラ 103 ヤクシマダカラ 104 ホソヤクシマダカラ 105 ハチジョウダカラ 106 ホシダカラ 107 ヒメホシダカラ 108 ホシキヌタ 109 タカラガイ類) **タマガイ科** (110 トミガイ 113 ロウイロトミガイ 114 リスガイ 115 ホウシュノタマ 116 トラダマガイ 117 アラゴマフダマ) **ヤツシロガイ科** (120 スクミウズラ 121 イワカワトキワガイ) **トウカムリ科** (123 ヒナヅル) **フジツガイ科** (124 ミツカドボラ 130-a シノマキ 126 シオボラ 129 オオゾウガイ 130-b シノマキ 131 フジツガイ 132 ホラガイ) **オキニシ科** (133 イワカワウネボラ 134 オキニシ 135 シロナルトボラ 137 オオナルトボラ) **アッキガイ科** (138 ガンゼキボラ 140 シラクモガイ 141 テツレイシ 139 コイワニシ 142 ツノレイシ 143 ツノテツレイシ 144 コイボテツレイシ 145 クチベニレイシダマシ 146 レイシダマシ 149 ハナワレイシ 151 ムラサキイガレイシ 152 アカイガレイシガイ ※-1 ウネレイシダマシ) **オニコブシ科** (154 オニコブシ 155 コオニコブシ) **フトコロガイ科** (156 フトコロガイ) **エゾバイ科** (158 ノシガイ 159 シマベッコウバイ) **オリイレヨフバイ科** (161 イボヨフバイ 162 ヒメオリイレムシロ 164 アツムシロ 165 カニノテムシロ 167 ヨフバイモドキ 163 オリイレムシロ) **イトマキボラ科** (169 イトマキボラ 170 ナガイトマキボラ 171 リュウキュウツノマタ 172 ツノマタモドキ 173 マルニシ 174 チトセボラ) **マクラガイ科** (176 ジュドウマクラ 177 サツマビナ) **ショッコウラ科** (179 ショッコウラ) **フデガイ科** (180 チョウセンフデ 181 キバフデ 182 オオシマヤタテ 183 ナガシマヤタテ 184 コシマヤタテ 185 シロオビヤタテ 186 イモフデ ※-2 ヒメチョウセンフデ) **ミノムシガイ科** (190 オオミノムシ 193 イトカケツクシガイ) **クダマキガイ科** (194 クダボラ) **イモガイ科** (195 マダライモ 196 コマダライモ 197 サヤガタイモ 198 ジュズカケサヤガタイモ 200-a キヌカツギイモ 201 イボシマイモ 202 ヤセイモ ※-7 ヤキイモ 204 ヤナギシボリイモ 206 サラサミナシ 207 イタチイモ ※-3 ユキゲイモ 209 サラサモドキ 228 中形イモガイ 211 アジロイモ 212 タガヤサンミナシ 213 ニシキミナシ 214 アンボイナ 215 ナンヨウクロミナシ 216 ミカドミナシ 217 アカシマミナシ 218 ナガサラサミナシ 219 ゴマフイモ 220 コモンイモ 200-b キヌカツギイモ 224 クロザメモドキ 225 アンボンクロザメ 226 クロフモドキ 227 小形イモガイ 228 中形イモガイ) **タケノコガイ科** (232 タケノコガイ) **クルマガイ科** (235 ヒクナワグルマ) **トウガタガイ科** (236 オオクチキレガイ) **ナツメガイ科** (237-a・b ナツメガイ) **タマゴガイ科** (239 カイコガイ) **オカミミガイ科** (240 クロヒラシイノミ 241 ツヤハヤシイノミ) **タニシ科** (243 マルタニシ)

ヤマタニシ科 (244 オキナワヤマタニシ) トウガタカワニナ科 (246 トウガタカワニナ 247 ヌノメカワニナ 248 ヨシカワニナ 249 スグカワニナ) カワニナ科 (250 カワニナ) ナンバンマイマイ科 (252 シュリマイマイ 253 カツレンマイマイ 254 ヒメユリ (シラユキ) ヤマタカマイマイ 255 アマノヤマタカマイマイ 254 ヒメユリヤマタカマイマイ ※-4 オキナワヤマタカマイマイ) オナジマイマイ科 (256 パンダナマイマイ 257 オキナワウスカワマイマイ 258 イトマンマイマイ) モノアラガイ科 (259 タイワンモノアラガイ)

### <二枚貝>

フネガイ科 (1 オオタカノハ 3 ベニエガイ 2 エガイ 4 ハイガイ 5 リュウキュウサルボオ) タマキガイ科 (7 ソメワケグリ) イガイ科 (8 リュウキュウヒバリ 10 シロインコ 11 クジャクガイ) ウグイスガイ科 (14 アコヤガイ 15 クロチョウガイ) シュモクアオリ科 (16 シュモクアオリ 17 カイシアオリの一種) イタヤガイ科 (19 リュウキュウオウギ) ミノガイ科 (21 ミノガイ 22-a・b オオユキミノ 23 ヒラユキミノガイ) ウミギク科 (24 メンガイ類) ベッコウガキ科 (25 シャコガキ) イタボガキ科 (26 オハグログキ? 27 ニセマガキ 28 シマガキ 30 ノコギリガキ 31 シロヒメガキ 32 イタボガキ科) ツキガイ科 (33 ツキガイ 34 クチベニツキガイ 35 ウラキツキガイ 40 カブラツキガイ) カゴガイ科 (41 カゴガイ) トマヤガイ科 (42 クロフトマヤガイ) キクザル科 (43 シロザル 44 キクザル 45 ヒレインコ) ザルガイ科 (47 リュウキュウザルガイ 48 カワラガイ 50-a・b オオヒシガイ 51 リュウキュウアオイ) シャコガイ科 (53 オオシラナミ 54 ヒレジャコ 55 ヒメジャコ 57 シャゴウ) バカガイ科 (58 リュウキュウバカガイ 59 タママキ 61 ユキガイ) チドリマスオ科 (62 イソハマグリ 63 ナミノコマスオ) ナミノコガイ科 (64 リュウキュウナミノコ) ニッコウガイ科 (65 ニッコウガイ 66 ヒメニッコウガイ 67 リュウキュウシラトリ 68 ヌノメイチョウシラトリ 69 モチヅキザラ 70 アマサギ 71 サメザラ) アサジガイ科 (72 サメザラモドキ) イソシジミ科 (73 リュウキュウマスオ 74 マスオガイ) シジミ科 (75 シレナシジミ) マルスダレガイ科 (76 ヌノメガイ 77 アラヌメガイ 78 カノコアサリ 81 ホソスジイナミガイ 82 アラスジケマンガイ 85 サラサガイ 88 イオウハマグリ 89 オイノカガミ 90 リュウキュウアサリ 91 ヒメリュウキュウアサリ ※-5 ヤエヤマスダレ 93 スダレハマグリ ※-6 ウスハマグリ類 94 トユドマリハマグリ 96 ハネマツカゼ 97 ダテオキシジミ) ヒザラガイ科 (99 ヒザラガイ類)

貝類遺体名称 (図版 82 ~ 87)





図版 82 貝類遺体 1 (巻貝)

(番号は第 110 表と一致)



図版 83 貝類遺体 2 (巻貝)

(番号は第110表と一致)





図版 84 貝類遺体 3 (巻貝)

(番号は第 110 表と一致 ※はサンプルのみ)



図版 85 貝類遺体 4 (巻貝)

(番号は第110表と一致 ※はサンプルのみ)





図版 86 貝類遺体 5 (二枚貝)

(番号は第110表と一致)



図版 87 貝類遺体 6 (二枚貝)

(番号は第110表と一致 ※はサンプルのみ)



### 第3節 異質岩片「赤鉄片岩」に関するコメント

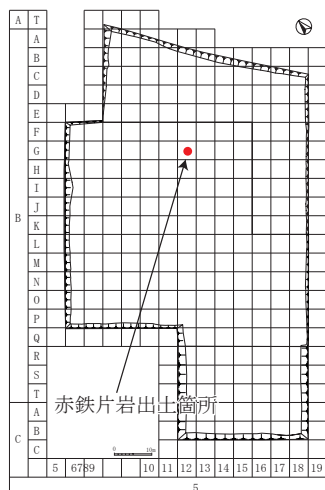
「おきなわ石の会」 大城逸朗

標本（伊D 2291 B 5 G 12-包 1-070530）の鑑定所見は以下のとおりである。

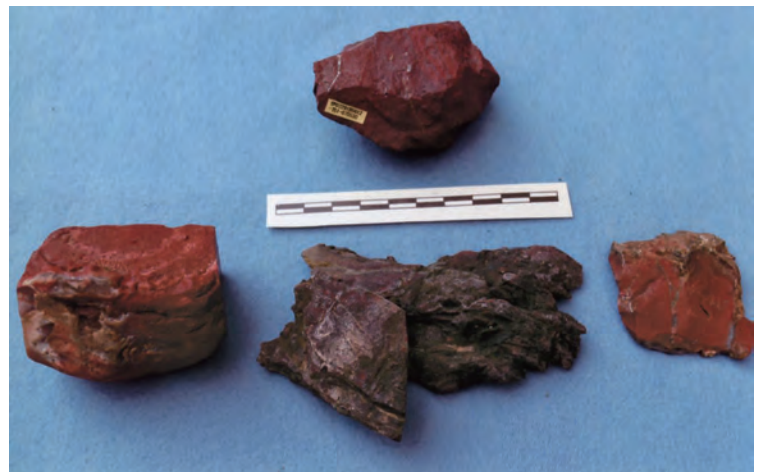
標本は、短軸の上下にやや平坦な面があり、長軸方向へは、それぞれの面をかち割ったように不定形に角張った手の平に収まるほどの大きさである（写真）。短径の上下平坦面は、人工的というよりは、むしろ自然面を思わせ片理面、あるいは節理面の可能性がある。基質部の色は、極暗赤褐色（very dark reddish brown）を示し、それに暗赤色（dark red）～赤色（red）のやや縞状になった部分を含み、全体としては、暗赤色をした岩塊である。岩塊の表面には幅1mm以下の数条の方解石脈が認められ、露頭の一部からもたらされたことを一層強調している。石英片で引っ掻くと、傷はつかず硬度は7以上で、条痕色は赤褐色である。

標本の肉眼、およびルーペと双眼実態顕微鏡による観察では、基質は石英、赤い縞状物質は赤鉄鉱（ヘマタイト）の可能性が高い。試料標本を含む地層は、遺跡周辺では確認できない。しかし県内で入手した標本に類似の試料が存在する。1点は、南城市（旧玉城村）垣花に所在する洞口付近から採取された赤鉄片岩の破片（当時琉球大学の学生米田善治さん採取）である。ただし、これは遺跡周辺からの採取で出土遺物ではなく、そのため遺跡との関わりは不明である。また周辺は、類似の岩片を供給できる地質環境ではない。他の1点は、国頭村の「佐手の赤石」である。赤石は、佐手川の川の中にある巨レキであるが、数個の巨レキの配置から判断すると、厚さ1mほどの脈石として発達していたことが推測できる。この一帯は、名護層からなる変成岩類が分布し、赤石は名護層の形成に関わる脈石としての赤鉄片岩である。脈石は、全体に暗褐色を示し、緻密堅固である。岩石顕微鏡による薄片観察では、基質は石英からなり、50%以上の不透明鉱物として赤鉄鉱が認められる（琉球大学馬場壮太郎教授よりの私信）赤鉄質石英、あるいは赤鉄片岩である。

遺跡出土の標本が、前述したような特徴を有し、さらに標本を含む原岩と考えられる地層が遺跡周辺に存在しないことから持ち込まれた異質岩片であることは確かである。標本を鑑定する中で、「佐手の赤石」および南城市の洞穴産と類似することで比較検討した。しかし肉眼観察による類似性は、見かけ上の可能性もあり、佐手の原岩地域からの供給と断定はできない。いずれにしろ標本の岩片がどこで産し、どのようなルートでもたらされたか今後の課題であり、問題提起するにとどめる。なお、赤鉄鉱（ヘマタイト）は、粉末にしたものをベンガラといい、重要な赤色顔料となる。



第153図 赤鉄片岩 平面分布



図版 88 赤鉄片岩（上：本標本、下左・中：佐手の赤石、右：米田標本  
スケールの1目盛りは1cm）

## 第4節 沖縄県北谷町伊礼原D遺跡出土の貝塚時代後期人骨

松下孝幸\*・松下真実\*\*

【キーワード】：沖縄県、貝塚時代後期人骨、土壙墓、女性、短頭型、低・広顔

### はじめに

沖縄県北谷町字伊平伊礼原に所在する伊礼原D遺跡の発掘調査が区画整理事業に伴って2007(平成19)年におこなわれ、1基の土壙墓(第1号土壙墓)から人骨が検出された。この土壙墓は後世の土坑によって一部が切られており、左側上肢は前腕の遠位部から先が切り取られてしまっている。また、左側下肢骨は全く残存していなかったが、遺存していた人骨は硬く、保存状態は比較的良好である。

伊礼原遺跡からはこれまで度々人骨が出土している。伊礼原遺跡から出土した人骨のうち、これまで筆者らが報告した人骨は、①縄文時代人骨、②グスク時代人骨(11世紀～15世紀前半)、③15世紀以前(7～8世紀の可能性が高い)の人骨である。縄文人骨は1988(昭和63)年に出土した脛骨(伊礼原B遺跡出土、右側)、2004(平成16)年に出土した頭蓋と大腿骨および脛骨(頭蓋は縄文晩期、大腿骨と脛骨は縄文中期)、2001(平成13)年に伊礼原E遺跡から出土した1体と頭蓋片、大腿骨2点である。そのうち1体(A3-Y-1)は貝塚時代早期(縄文早期～縄文中期相当)に、残りの3点(A2-FE-1、A3-SK-1、A3-FE-1)は縄文後期に属する人骨である。

グスク時代人骨は、1988(昭和63)年に伊礼原B遺跡から出土した頭蓋片で、頭型も顔面の形態も不明である(松下・他、1989b)。

今回報告する人骨とほぼ同時期(7～8世紀)の人骨は2000(平成12)年に伊礼原D遺跡から出土している。検出されたのは頭蓋片のみで、頭型も顔面の特徴も明らかにできなかったが、男性下顎骨は径が大きく頑丈なものであった(松下、2008b)。

今回、出土した人骨は1体のみであるが、後述しているように特異な埋葬姿勢をしており、沖縄県はもとより九州・本州などでもこのような埋葬姿勢はみられない。また、保存状態は比較的良好である。計測や人類学的観察をおこない、興味ある所見を得たので、その結果を報告しておきたい。

### 資料

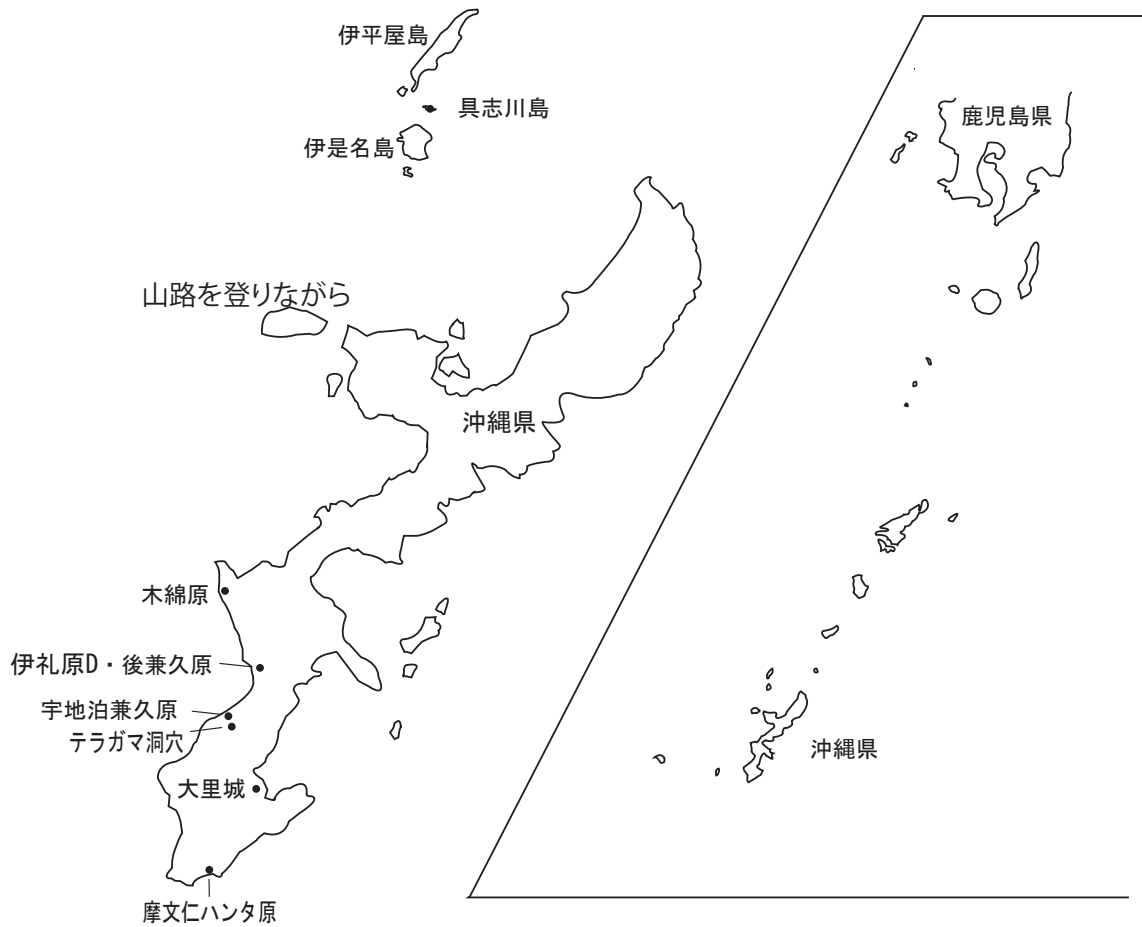
今回の調査で第1号土壙墓から1体の人骨が検出された(表112、113)。この人骨は後述している所見から壮年の女性人骨である。なお、年齢区分を表3に示した。

この1体の人骨は、考古学的所見より、7世紀～8世紀(貝塚時代後期)(古墳時代～奈良時代相当)に属する人骨と推測されている。

第112表 出土人骨一覧 (Table 1. List of skeletons)

人骨番号	性別	年齢	備考(頭位、埋葬姿勢)
第1号土壙墓人骨	女性	壮年	北東頭位、顔の向きは南西 仰臥(骨盤)、上半身立位





第154図 遺跡の位置 (1/25,000)

(Fig.1 Location of the place Ireibaru D site, Chatan-cho, Okinawa Prefecture)

第 113 表 資料数 (Table 2. Number of materials)

成人			幼小児	合計
男性	女性	不明		
0	1	0	0	1

第 114 表 年齢区分 (Table 3. Division of age)

年齢区分		年 齢
未成人	乳児	1 歳未満
	幼児	1 歳～ 5 歳 (第一大臼歯萌出直前まで)
	小児	6 歳～ 15 歳 (第一大臼歯萌出から第二大臼歯歯根完成まで)
	成年	16 歳～ 20 歳 (蝶後頭軟骨結合癒合まで)
成人	壮年	21 歳～ 39 歳 (40 歳未満)
	熟年	40 歳～ 59 歳 (60 歳未満)
	老年	60 歳以上

注) 成年という用語については土井ヶ浜遺跡第 14 次発掘調査報告書 (1996) を参照されたい。

## 所 見

### I 第 1 号土壙墓人骨 (女性・壮年)

#### A. 埋葬姿勢

埋葬遺構は円形の土壙墓で、大きさは直径が約 80cm である。被葬者の埋葬姿勢はきわめて特異である。下肢は強く曲げられており、上半身は立った状態で検出されている。頭蓋は顔面をやや下に向けて椎骨の上部にのっている。顔の向きは南西である。一見すると坐葬にみえる。しかし、骨盤は寝た状態で、立っていない。仙骨から腰椎は仰臥状態で、胸椎から上部が立ち上がっている。右側の膝関節は強屈し、大腿骨が腹部にのり、脛骨が大腿骨の上になるほど股関節と膝関節が強く曲げられている。左右の肘関節はほぼ伸展状態で体の両脇に添えられた状態であった。



図版 89 人骨出土状況

このような埋葬姿勢はこれまでみたことがない。上半身が立っているので坐葬にみえるが、坐葬の定義は骨盤が立っていることである。具体的にいえば、左右の寛骨と仙骨が立った状態で検出されることである。本例の場合、本来は坐葬にしようとした、すなわち座らせる姿勢を取らせようとした可能性もある。本例は同時に膝関節を強屈している。膝を強く曲げるだけでなく、大腿骨を腹部の上に乗せるように曲げている。このような姿勢を取らせる場合は骨盤を寝せる必要がある。膝を立てて膝関節を曲げる方法もある。この場合は骨盤は立たせても寝せても立て膝にすることは可能であるが、膝を曲げたまま、大腿骨を腹部の上に乗せるためには、どうしても骨盤を寝せなくてはこのような姿勢にはならないのである。

直径約 80cm の円形土坑は坐葬するにはやや大きすぎる大きさである。本来遺体を仰臥で埋葬するつもりで墓坑を掘ったが、下肢を強屈し、さらに大腿骨を腹部にのせるような姿勢を取らせても上半身を仰臥にするスペースを確保できず、上半身を立てざるを得なかったと解釈したい。すなわち埋葬姿勢は、仰臥で、上半身立位である。

## B. 人骨の形質

ほぼ全身の人骨が残存していたが、前述しているように後世に掘られた土坑によって、墓坑の一部が切られたために、左側の下肢骨が残存していない。また、椎骨は椎弓のみが、右側寛骨は腸骨の一部のみが残存していたに過ぎない。

各骨の残存部は図 155 に示すとおりである。また、各骨の計測値は文末に一括して掲げた。

### 1. 頭蓋

#### (1) 脳頭蓋

頭蓋底を欠損している以外はほぼ完全である。骨壁はそれほど厚くはないが、堅牢である。外後頭隆起の発達は見られない。乳様突起も小さい。三主縫合の観察ができたが、三主縫合とも内外両板は開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が 166mm、頭蓋最大幅は 140mm で、頭蓋長幅示数は 84.34 となり、頭型は短頭型 (brachykran) に属している。バジオン・ブレグマ高は計測できないが、高径は著しく低くはない。また、頭蓋水平周は 491mm、横弧長は 309mm、正中矢状弧長は 353mm である。

#### (2) 顔面頭蓋

顔面頭蓋は上顎骨の大部分と頬骨弓を欠損しているが、その他はよく残っている。前頭鱗は丸く膨隆し、眉上弓の隆起はほとんどみられない。鼻根部は狭く、鼻骨はやや隆起しており、鼻根部は扁平ではない。頬骨はやや外側へ張り出している。

顔面頭蓋の計測値は、中顔幅が [46mm × 2 = 92mm]、顔高は 108mm、上顔高は (58)mm で、顔示数は [117.39] (V)、上顔示数は [63.04] (V) となり、顔面には著しい低・広顔傾向が認められる。頬骨弓幅は計測できないが、おおよそ 121mm 程度である。

眼窩幅は (39)mm (右)、41mm (左)、眼窩高は 33mm (右)、33mm (左) で、眼窩示数は (84.62) (右)、80.49 (左) となり、両側とも中眼窩 (mesokonch) に属している。

鼻幅は 28mm、鼻高は 49mm で、鼻示数は 57.14 となり、低鼻 (chamaerrhin) に属している。

鼻根部の計測値は、前眼窩間幅が 16mm、鼻根横弧長は 19mm、鼻根彎曲示数は 84.21 となり、鼻根部は扁平ではない。両眼窩幅は 91mm で、眼窩間示数は 17.58 となり、顔の幅に対して、眼窩間幅が狭い。鼻骨最小幅は 9mm で、前頭突起水平傾斜角は 92 度を示し、前頭突起の向きは矢状方向である。鼻頬骨角は 145 度で、この角度は大きく、顔面扁平示数は 15.96 で、顔面は扁平である。

側面角は計測できないが、弱い齒槽性突顎の傾向が認められる。

下顎骨は両側の関節突起と左側齒槽部を欠損している。咬筋粗面はやや発達している。下顎枝は後傾しており、下顎枝はそれほど幅広くないが、下顎切痕は浅い。

### 2. 歯

上下両顎には歯が釘植していた。残存歯と齒槽の状態を齒式で示すと、次のとおりである。

／／	6	5	4	3	2	1		1	2	3	4	5	／／／			
8	7	6	／	4	3	2	1		1	2	3	4	5	6	7	8

[／：不明(破損)、番号は齒種]

[1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小臼歯、5：第二小臼歯、6：第一大臼歯、7：第二大臼歯、8：第三大臼歯]



咬耗度は、切歯群は Broca の 3 度（咬耗が象牙質まで及ぶ）で、その他は Broca の 2 度（咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ）である。歯の咬合形式は上下の切歯が咬耗していることから鉗子状咬合であったと思われる。また、風習的抜歯は認められない。

### 3. 四肢骨

#### (1) 上肢骨

肩甲骨、鎖骨、上腕骨、橈骨、尺骨が残存していた。

##### ①鎖骨

両側とも残存していた。径は著しく細い。

##### ②上腕骨

両側とも両端を欠損している。骨体は細いが、三角筋粗面の発達はきわめて良好である。

計測値は、中央最大径が 20mm（右）、21mm（左）、中央最小径は 14mm（右）、14mm（左）で、骨体断面示数は 70.00（右）、66.67（左）となり、骨体には強い扁平性が認められる。骨体最小周は 54mm（右）、53mm（左）、中央周は 59mm（右）、58mm（左）で、骨体は細い。

##### ③橈骨

右側は骨体が、左側は骨体近位半が残存していた。骨体はかなり細い。

##### ④尺骨

左右の骨体が残存していた。骨体は細く、左側はかなり扁平である。

#### (2) 下肢骨

右側の寛骨、大腿骨、脛骨および腓骨が残存していた。

##### ①寛骨

腸骨のごく一部が残存していたに過ぎない。

##### ②大腿骨

右側骨体が残存していた。骨体は細く、粗線の発達も悪い。

計測値は、骨体中央矢状径が 23mm（右）、横径は 22mm（右）で、骨体中央断面示数は 104.55（右）となり、横径よりも矢状径の方がやや大きく、骨体の両側面はやや後方へ伸びている。骨体中央周は 71mm（右）で、骨体はきわめて細い。また、骨体上横径は 25mm（右）、骨体上矢状径は 20mm（右）で、上骨体断面示数は 80.00（右）となり、骨体上部の扁平性は弱い。

##### ③脛骨

右側骨体が残存していた。骨体の両側面は細い。ヒラメ筋線の様態は不明である。骨体の断面形はヘリチカの V 型（後面が卵円形）を呈している。

計測値は、中央最大径が 23mm（右）、中央横径は 16mm（右）で、中央断面示数は 69.57（右）となり、骨体にはほとんど扁平性は認められない。骨体周は 64mm（右）、最小周は 60mm（右）で、骨体は細い。

##### ④腓骨

右側骨体が残存していた。骨体は細く、溝も浅い。

### 4. 性別・年齢

前頭鱗は丸く膨隆し、眉上弓の隆起もほとんどみられないことから、性別を女性と推定した。年齢は三主縫合とも内外両板が開離していることから壮年と思われる。南西諸島では頭蓋や四肢骨の性差が小さいことがこれまでの研究経験からわかっている。従って、寛骨で性別を推定しなければ性別の推定を誤る恐れがある。本例は寛骨の残存状態が悪く、大坐骨切痕の観察ができなかったので、やむなく頭蓋と四肢骨のサイズと形態的特徴から、女性と推定したが、南西諸島では性別判別が





ウィルヒョウの顔示数は〔117.39〕となり、表5では最大値を示している。一方、ウィルヒョウの上顔示数は〔63.04〕で、広田(66.5)よりは小さいが、具志川島(58.96)、鳥ノ峯(61.7)よりは大きく、真志喜安座間原(64.16)、宇宿(63.64)、摩文仁ハンタ原(62.33)、面縄(62.24)と大差ない。

第116表は鼻根部の計測値比較表である。鼻根彎曲示数は84.21となり、真志喜安座間原(78.03)よりも大きく、摩文仁ハンタ原(84.66)とほぼ一致する。前頭突起水平傾斜角は92度で、この角度は真志喜安座間原(73.00度)、摩文仁ハンタ原(75度)よりも大きい、向きは矢状方向である。

### 3. 四肢骨

#### (1) 上肢骨

##### ①上腕骨

第118表は上腕骨(右)の計測値比較表である。中央周は59mmで、宇宿(54mm)、摩文仁ハンタ原(54.82mm)、鳥ノ峯(56mm)よりは大きい、面縄(63mm)より小さく、木綿原(59.67mm)、広田(59.5mm)、真志喜安座間原(57.73mm)と大差ない。骨体断面示数は70.00で、真志喜安座間原(68.34)に次いで小さく、上腕骨体はかなり扁平である。

##### ②尺骨

第119表は尺骨(右)の計測値比較表である。中央周は41mm(左)で、面縄(46mm)よりは小さい、木綿原(41.00mm)と同値で、真志喜安座間原(40.33mm)、摩文仁ハンタ原(42.67mm)とも大差ない。骨体断面示数は130.00(左)で、第8表では最大値を示しているが、この示数値が100を超えることは滅多にないことで、100を超えるということは、骨体のやや近位部が著しく扁平であることを表している。中央断面示数は71.43(左)で、面縄(64.71)に次いで小さく、この値も骨体が扁平であることを示している。

#### (2) 下肢骨

##### ①大腿骨

第120表は大腿骨(右)の計測値比較表である。骨体中央周は71mmで宇宿と同値で、木綿原(67.00mm)、真志喜安座間原(68.72mm)、摩文仁ハンタ原(68.38mm)よりは大きく、面縄(73mm)よりもわずかに小さく、広田(72.2mm)、鳥ノ峯(71.3mm)と大差ない。骨体中央断面示数は104.55で、第9表では最大値となり、他の大腿骨よりも骨体両側面は後方へ発達している。上骨体断面示数は80.00で、第120表では最大値を示しており、骨体上部の扁平性は弱い。

##### ②脛骨

第121表は脛骨(右)の計測値比較表である。骨体周は64mmで、木綿原(61.33mm)に次いで小さい、真志喜安座間原(64.92mm)、摩文仁ハンタ原(64.74mm)、宇宿(65mm)に近い。中央断面示数は69.57で、第127表では最小値となり、他の資料が76.00を超えているのと対称的である。

## 要 約

沖縄県北谷町字伊平伊礼原に所在する伊礼原D遺跡の2007(平成19)年におこなわれた発掘調査で、第1号土壇墓から人骨が出土した。保存状態は比較的良好で、計測や観察が可能であった。本人骨は沖縄県では比較的資料数が少ない時期(貝塚時代後期)の人骨であることから、沖縄県人の形質変化を明らかにする上では貴重である。観察と計測をおこない以下の結果を得た。

1. 埋葬遺構は土壇墓で、埋葬姿勢は骨盤の状態からは仰臥であるが、上半身をおこし、墓坑壁にもたれかからせた状態であった。坐位で埋葬しようとしたのではなく、仰臥で埋葬しようとしたが、

上半身が墓坑内に納まらず、上半身を墓坑の壁に沿わせたものと推測した。両肘は伸展状態で、残存していた右側膝関節は強屈していた。

2. この人骨は、壮年の女性骨で、考古学的所見から、貝塚時代後期（7世紀～8世紀）に属する人骨である。
3. 脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長 166mm、頭蓋最大幅 140mm で、頭蓋長幅示数は 84.34 となり、頭型は短頭型 (brachykran) に属している。バジオン・ブレグマ高は計測できないが、高径は著しく 低くはない。
4. 顔面頭蓋の計測値は、中顔幅 [46mm × 2 = 92mm]、顔高 108mm、上顔高 (58)mm で、顔示数 [117.39] (V)、上顔示数 [63.04] (V) となり、顔面には著しい低・広顔傾向が認められる。眼窩示数は 84.62(右)、80.49(左) となり、両側とも中眼窩に属している。鼻示数は 57.14 となり、低鼻に属している。また、鼻根彎曲示数は 84.21 となり、鼻根部は扁平ではない。
5. 上腕骨は細いが、三角筋粗面の発達はきわめて良好で、骨体には強い扁平性が認められる。尺骨も細いが、左側はかなり扁平である。
6. 大腿骨も細く、粗線の発達も悪いが、骨体中央断面示数は 104.55(右) となり、骨体はやや後方へ伸びている。骨体上部の扁平性は弱い。
7. 脛骨も細く、骨体には扁平性は認められない。
8. 本女性は、短頭型で、低・広顔である。この特徴は沖縄県の縄文人・弥生人の特徴であり、本女性は沖縄県の縄文・弥生人の子孫と考えるに支えられないと思われる。一方、四肢骨は細いが、上腕骨には扁平性が認められ、大腿骨も粗線や両側面の後方への発達がみられる。体格は小さいが、手足の筋をしっかりと駆使する生活様式や生業形態が推測される。本遺跡からは第1号土壇墓出土人骨のほかに、3体の人骨(第2・3・5号土壇墓)が出土しているので、残り3体を含めて、この時期の人骨形質に関する検討が必要である。

## 謝辞

攔筆するにあたり、本研究と発表の機会を与えていただいた沖縄県北谷町教育委員会の皆様に感謝致します。

### 《参考文献》

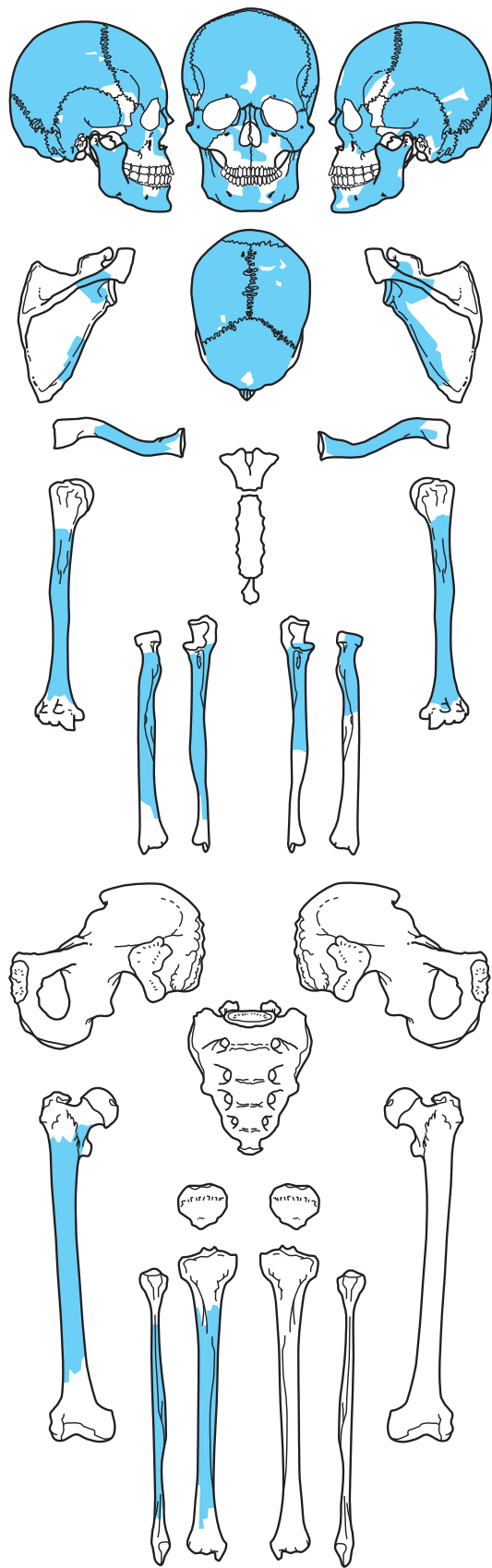
1. Baba, H., b. Endo, 1982 : Postcranial Skeleton of the Minatogawa Man. The Minatogawa Man (The university Tokyo, bulletin, 19) : 61-195.
2. 金関丈夫、1929 : 沖縄県那覇市外城嶽貝塚より発見せる人類大腿骨に就いて。人類学雑誌、44 : 217-230.
3. 九州大学医学部第二講座、1988、日本民族・文化の生成 2 九州大学医学部解剖学第二講座所蔵古人骨資料集成、六興出版
4. Martin-Saller, 1957 : Lehrbuch der Anthropologie. Bd. 1. Gustav Fischer Verlag, Stuttgart : 429-597.
5. 松下孝幸、1979 : 宇宿貝塚出土の人骨。宇宿貝塚、鹿児島考古、13 : 210-220.
6. 松下孝幸・他、1983a : 鹿児島県成川遺跡出土の古墳時代人骨。成川遺跡 (鹿児島県埋蔵文化財調査報告書 24) : 236 -261.
7. 松下孝幸・他、1983b : 鹿児島県伊仙町面縄第1貝塚出土の弥生時代人骨。面縄第1・第2貝塚 (伊仙町埋蔵文化財調査報告書 1) : 51-64.
8. 松下孝幸・他、1989a : 沖縄県北谷町クマヤー洞穴出土の古人骨 (縄文時代晩期相当期人骨) (会)。解剖学雑誌、64 : 362.

9. 松下孝幸・他、1989b：沖縄県北谷町伊礼原B遺跡出土の人骨。伊礼原B遺跡－旧メイモスカラー地区雨水排水施設工事に係る発掘調査－（北谷町文化財調査報告書第8集）：39-48.
10. 松下孝幸・他、1992：沖縄県宜野湾市真志喜安座間原遺跡出土の縄文・弥生時代人骨。謝名Ⅱ（真志喜土地区画整理事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書〔1〕）（宜野湾市文化財調査報告書第15集）：第5章：1-99.
11. 松下孝幸・他、1993：沖縄県具志川島遺跡群出土の古人骨。具志川島遺跡群（伊是名村文化財調査報告書第9集）：215-244.
12. 松下孝幸、2001：シャレコウベが語る、日本人のルーツと未来、長崎新聞社（長崎新聞社新書）。
13. 松下孝幸、2003：沖縄県読谷村木綿原遺跡出土の弥生時代人骨。南島考古、No. 22：67-108.
14. 松下孝幸、2004：「自然人類学」『環境考古学ハンドブック』：444-454. 朝倉書店
15. 松下孝幸、2006：宜野湾市嘉和テラガマ洞穴遺跡出土の縄文・グスク時代人骨。嘉和テラガマ洞穴遺跡（宜野湾市文化財調査報告書第35集）：81-102.
16. 松下孝幸、2007a：沖縄県北谷町伊礼原遺跡出土の縄文人骨。伊礼原遺跡（北谷町文化財調査報告書第26集）：467-479.
17. 松下孝幸、2007b：沖縄県具志頭村ガルマンドウ原洞穴遺跡出土の人骨。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第2号：38-62.
18. 松下孝幸・他、2008a：沖縄県北谷町伊礼原E遺跡出土の縄文人骨。伊礼原B遺跡 伊礼原E遺跡（北谷町文化財調査報告書第27集）：214-223.
19. 松下孝幸・他、2008b：沖縄県北谷町伊礼原D遺跡出土の古人骨（1）。伊礼原D遺跡（北谷町文化財調査報告書第28集）：212-220.
20. 中橋孝博、1996：鹿児島県種子島・鳥ノ峯遺跡出土の弥生時代人骨。種子島鳥ノ峯遺跡（中種子町埋蔵文化財調査報告書（2））：72-88.

\* Takayuki MATSUSHITA、\*\* Masami MATSUSHITA

The Organization of Anthropological Research〔特定非営利活動法人・人類学研究機構〕

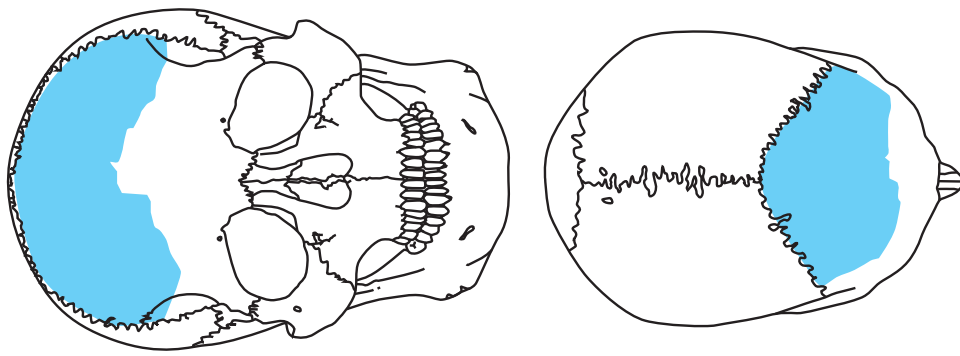




伊礼原D 第1号土壙墓人骨（女性・壮年）

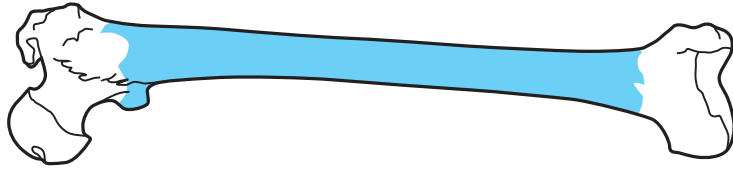
第155図-1 人骨の残存図（色塗り部分）

(Fig.2 Regions of Preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.)



伊礼原 D SK-1 (3619 B5L10, 取り上げ番号 178 (女性・成年～壮年))

第 155 図 -2 人骨の残存図 (色塗り部分)



伊礼原 D FE-1 (B5J10, HB-2 (男性・年齢不明))

(Fig. 2 Regions of Preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.)

第115表 脳頭蓋計測値(女性、mm)(Table 4. Comparison of female calvarial measurements and indices)

	伊礼原D		摩文仁ハンタ原		具志川島		真志喜安座間原		木綿原		面縄		宇宿貝塚		鳥ノ峯		広田		
	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	
1. 頭蓋最大長	166	173.00	3	167.00	15	165.87	2	166.50	2	166.50	165	170	4	168.8	18	157.7	弥生~古墳人	鹿兒島県	
8. 頭蓋最大幅	140	141.00	3	141.67	14	143.86	2	147.00	2	147.00	136	149	6	146.2	17	143.7	弥生人	鹿兒島県	
17. バジオン・ブレグマ高	-	132	2	134.50	5	132.00	-	-	-	-	130	130	1	126.0	7	127.7	鹿兒島県	中種子町	
8/1 頭蓋長幅示数	84.34	82.61	3	84.83	14	86.78	2	88.28	2	88.28	82.42	87.65	3	86.7	15	90.9	伊仙町	(松下・他)	
17/1 頭蓋長高示数	-	79.04	2	81.77	5	78.94	-	-	-	-	78.79	76.47	1	76.8	6	80.5	笠利町	(松下)	
17/8 頭蓋幅高示数	-	96.35	2	97.21	5	91.28	-	-	-	-	95.59	87.25	1	90.7	7	90.4	(中橋)	(九州大学)	
1+8+17/3 頭蓋モズルス	-	145.33	2	145.84	5	148.07	-	-	-	-	143.67	149.67	-	-	-	-	-	-	-
23. 頭蓋水平周	491	495.00	3	496.67	10	493.40	1	492	1	492	486	506	-	-	9	483.6	弥生人	鹿兒島県	
24. 横弧長	309	312.50	3	319.00	13	314.00	1	313	1	313	304	317	-	-	11	310.2	中種子町	(中橋)	
25. 正中矢状弧長	353	349	1	352	6	353.50	-	-	-	-	352	368	-	-	7	336.0	弥生人	鹿兒島県	

第117表 鼻根部(女性、mm、度)(Table 6. Comparison of female nasal root measurements and indices)

	伊礼原D		摩文仁ハンタ原		真志喜安座間原		木綿原		繩文晩期~弥生人		繩文晩期~弥生人		繩文晩期~弥生人		繩文晩期~弥生人				
	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M			
50. 前眼窩間幅	16	19.50	2	19.50	5	18.40	-	-	5	18.40	-	-	5	18.40	-	-	真志喜安座間原	繩文晩期~弥生人	
50A. 鼻根横弧長	19	23.00	2	23.00	2	23.00	-	-	2	23.00	-	-	2	23.00	-	-	繩文晩期~弥生人	沖繩県	
50/50A 鼻根彎曲示数	84.21	84.66	2	84.66	2	84.66	-	-	2	84.66	-	-	2	84.66	-	-	繩文晩期~弥生人	沖繩県	
57. 鼻骨最小幅	9	11.50	2	11.50	1	11.50	10	9	1	9	9	9	1	9	9	9	繩文晩期~弥生人	沖繩県	
44. 両眼窩幅	91	98.00	1	98.00	5	96.60	-	-	5	96.60	-	-	5	96.60	-	-	繩文晩期~弥生人	沖繩県	
50/44 眼窩間示数	17.58	21.43	1	21.43	4	19.54	-	-	4	19.54	-	-	4	19.54	-	-	繩文晩期~弥生人	沖繩県	
a. 前頭突起上幅(右)	-	11.50	2	11.50	1	11.50	12	9.20	1	9.20	9.20	9.20	5	9.20	5	9.20	繩文晩期~弥生人	沖繩県	
(左)	8	10.00	2	10.00	2	8.50	-	-	2	8.50	-	-	2	8.50	-	-	繩文晩期~弥生人	沖繩県	
b. 前頭突起水平傾斜角	92	75	1	75	2	73.00	-	-	2	73.00	-	-	2	73.00	-	-	繩文晩期~弥生人	沖繩県	
c. G-N投影距離	1	3.00	2	3.00	3	2.67	-	-	3	2.67	-	-	3	2.67	-	-	繩文晩期~弥生人	沖繩県	
d. 鼻根角	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	繩文晩期~弥生人	沖繩県
e. G-R距離	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	繩文晩期~弥生人	沖繩県
f. 垂線高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	繩文晩期~弥生人	沖繩県
f/e 鼻根陷凹示数	145	150.00	2	150.00	2	150.00	-	-	2	150.00	-	-	2	150.00	-	-	繩文晩期~弥生人	沖繩県	
77. 鼻頬骨角	94	94.00	2	94.00	2	94.00	-	-	2	94.00	-	-	2	94.00	-	-	繩文晩期~弥生人	沖繩県	
Fa fmo間距離	15	12.50	2	12.50	2	12.50	-	-	2	12.50	-	-	2	12.50	-	-	繩文晩期~弥生人	沖繩県	
Fh 垂線高	15.96	13.29	2	13.29	2	13.29	-	-	2	13.29	-	-	2	13.29	-	-	繩文晩期~弥生人	沖繩県	
Fh/Fa 顔面扁平示数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	繩文晩期~弥生人	沖繩県

第116表 顔面頭蓋(女性、mm、度)(Table 5. Comparison of female facial measurements and indices)

	伊礼原D		摩文仁ハタ原		具志川島		真志喜安座間原		木綿原		面 繩		宇 宿		鳥ノ峯		広 田		
	貝塚後期人 沖繩県 北谷町	n	縄文後期人 沖繩県 糸満市 (松下・他)	M	縄文～弥生人 沖繩県 伊是名村 (松下・他)	n	M	縄文晚期～弥生人 沖繩県 宜野湾市 (松下・他)	n	M	弥生人 沖繩県 読谷村 (松下・他)	1号	弥生人 鹿兒島県 笠利町 (松下・他)	1号	弥生人 鹿兒島県 中種子町 (九州大学)	n	M	弥生～古墳人 鹿兒島県 南種子町 (九州大学)	n
40. 顔長	-	1	96	-	2	97.50	94.00	-	-	100	93	-	-	4	94.0				
45. 頬骨弓幅	-	2	[121.00]	-	6	[131.67]	131.33	[138]	-	-	[135]	1	126	3	126.0				
46. 中顔幅	[92]	4	[95.00]	-	4	[100.67]	95.75	[94]	98	99	94	5	91.4						
47. 顔高	108	4	-	-	4	-	106.50	109	96	112	-	3	107.0						
48. 上顔高	(58)	4	[59.00]	-	4	59.33	61.50	-	61	63	1	58	3	63.3					
47/45 顔示数(K)	-	2	[47.51]	-	2	-	78.16	[78.99]	-	-	[82.96]	-	-	2	81.9				
48/45 上顔示数(K)	-	2	[47.51]	-	2	[45.17]	45.45	-	-	-	[46.67]	1	46.0	2	48.8				
47/46 顔示数(V)	[117.39]	4	-	-	3	-	112.36	[115.96]	97.96	113.13	-	-	-	3	112.3				
48/46 上顔示数(V)	[63.04]	4	[62.33]	-	4	[58.96]	64.16	-	62.24	63.64	1	61.7	3	66.5					
40+45+47/3 顔面モズルス	-	2	-	-	2	-	110.33	-	-	-	[113.33]	-	-	-	-				
50. 前眼窩間幅	16	2	19.50	-	5	23.00	18.40	-	18	16	-	-	-	-	-				
44. 両眼窩間幅	91	2	96.50	-	5	99.00	96.60	-	97	94	-	-	-	-	-				
50/44 眼窩間示数	17.58	2	20.19	-	4	23.23	19.54	-	-	17.02	-	-	-	-	-				
51. 眼窩幅(右)	39	2	41.50	-	5	40.00	40.20	40	42	41	-	-	-	-	-				
51. 眼窩幅(左)	41	3	40.33	-	7	41.50	39.43	-	41	43	1	40	3	39.0					
52. 眼窩高(右)	33	2	30.50	-	3	32.00	30.67	30	30	34	-	-	-	-	-				
52. 眼窩高(左)	33	3	30.33	-	4	32.33	31.00	-	33	33	1	29	3	30.7					
52/51 眼窩示数(右)	84.62	2	73.49	-	3	80.10	74.81	75.00	71.43	82.93	-	-	-	-	-				
52/51 眼窩示数(左)	80.49	2	77.21	-	3	77.15	77.66	-	80.49	76.74	1	72.5	3	78.9					
54. 鼻幅	28	3	23.67	-	4	26.33	25.75	-	29	26	1	25	4	24.8					
55. 鼻高	52	4	45.00	-	3	45.00	45.00	-	47	50	1	42	3	44.7					
54/55 鼻示数	53.85	3	53.43	-	3	58.67	55.51	-	61.70	52.00	1	59.2	3	57.5					
72. 全側面角	-	2	83.00	-	4	85.33	84.50	-	76	79	-	-	3	84.7					
73. 鼻側面角	-	2	83.50	-	3	87.67	86.00	-	76	82	-	-	3	92.3					
74. 齒槽側面角	-	2	82.00	-	3	77.67	85.00	-	77	69	-	-	3	65.7					



第118表 上腕骨計測値(女性、右、mm) (Table 7. Comparison of measurements and indices of female right humeri)

	伊礼原D		摩文仁ハシタ原		木綿原		真志喜安座間原		面縄		宇宿		鳥ノ峯		広田	
	n	M	n	M	n	M	n	M	1号	n	M	1号	n	M	n	M
貝塚後期人																
沖縄県	11	19.09	(左)	3	21.00	15	20.53	21	18	21.0	2	21.0	2	21.0	2	21.1
北谷町	12	13.64	(左)	3	15.33	15	14.00	16	15	16.0	2	16.0	2	15.5	2	15.5
5.	13	50.28	(左)	2	52.50	14	54.50	57	50	55.1	7	55.1	13	54.1	13	54.1
6.	14	54.82	(左)	3	59.67	15	57.73	63	54	56	1	56	2	59.5	2	59.5
7(a).	15	71.82	(左)	3	73.05	15	68.34	76.19	83.33	76.4	2	76.4	2	73.3	2	73.3
6/5	20															
第1号土壙墓																
中央最大径	11	19.09	(左)	3	21.00	15	20.53	21	18	21.0	2	21.0	2	21.0	2	21.1
中央最小径	12	13.64	(左)	3	15.33	15	14.00	16	15	16.0	2	16.0	2	15.5	2	15.5
骨体最小周	13	50.28	(左)	2	52.50	14	54.50	57	50	55.1	7	55.1	13	54.1	13	54.1
中央周	14	54.82	(左)	3	59.67	15	57.73	63	54	56	1	56	2	59.5	2	59.5
骨体断面示数	15	71.82	(左)	3	73.05	15	68.34	76.19	83.33	76.4	2	76.4	2	73.3	2	73.3

第119表 尺骨(女性、右、mm) (Table 8. Comparison of measurements and indices of female ulnae)

	伊礼原D		摩文仁ハシタ原		真志喜安座間原		木綿原		面縄		鳥ノ峯		広田	
	n	M	n	M	n	M	n	M	1号	n	M	1号	n	M
貝塚後期人														
沖縄県	16	12.31	(左)	15	12.33	2	12.50	12	12	11.5	4	11.5	9	11.2
北谷町	15	13.47	(左)	15	12.93	2	12.50	16	16	15.0	4	15.0	9	15.8
第1号土壙墓														
右	10	11.94	(左)	15	10.33	2	10.50	11	11	-	-	-	-	-
左	18	13.61	(左)	15	14.20	2	13.50	17	17	-	-	-	-	-
11/12	41	42.67	(左)	15	40.33	2	41.00	46	46	-	-	-	-	-
骨体断面示数	15	92.82	(左)	15	95.92	2	100.32	75.00	75.00	77.6	4	77.6	9	71.5
S/L	18	87.95	(左)	15	73.23	2	78.03	64.71	64.71	-	-	-	-	-

第120表 大腿骨(女性、右、mm) (Table 9. Comparison of measurements and indices female right femora)

	伊礼原D		摩文仁ハシタ原		木綿原		真志喜安座間原		面縄		宇宿		鳥ノ峯		広田	
	貝塚後期人	沖繩県	沖繩県	糸満市	糸満市	読谷村	読谷村	読谷村	読谷村	伊仙町	伊仙町	奄美市	奄美市	弥生人	鹿兒島県	南種子町
	n	M	n	M	n	M	n	M	1号	1号	1号	1号	n	M	n	M
6. 骨体中央矢状径	23	16	22.06	2	20.50	19	22.05	23	22	23	22	22	7	22.1	20	22.5 (左)
7. 骨体中央横径	22	17	21.25	2	21.00	18	21.72	23	24	23	24	24	7	22.7	20	23.0 (左)
8. 骨体中央周	71	18	68.38	1	67.00	18	68.72	73	71	73	71	71	7	71.3	18	72.2 (左)
9. 骨体上横径	25	14	25.29	2	25.00	18	26.39	28	28	28	28	28	8	27.5	18	27.3 (左)
10. 骨体上矢状径	20	15	18.79	2	19.50	18	19.61	21	20	21	20	20	8	19.8	18	20.2 (左)
6/7 骨体中央断面示数	104.55	16	103.87	2	97.96	18	101.78	100.00	91.67	100.00	91.67	91.67	7	97.4	20	97.8 (左)
10/9 上骨体断面示数	80.00	14	74.46	2	78.00	18	74.47	75.00	71.43	75.00	71.43	71.43	8	71.9	18	73.9 (左)

第121表 脛骨(女性、右、mm) (Table 10. Comparison of measurements and indices of female right tibiae)

	伊礼原D		摩文仁ハシタ原		真志喜安座間原		木綿原		面縄		宇宿		鳥ノ峯		広田		成川	
	貝塚後期人	沖繩県	沖繩県	糸満市	糸満市	読谷村	読谷村	読谷村	伊仙町	伊仙町	笠利町	笠利町	中種子町	中種子町	南種子町	南種子町	南種子町	山川町
	n	M	n	M	n	M	n	M	1号	1号	1号	1号	n	M	n	M	n	M
8. 中央最大径	23	19	22.68	13	23.15	3	21.67	24	23	23	23	23	3	23.7	6	24.7	6	24.7 (25)
9. 中央横径	16	19	17.79	14	17.57	3	16.67	19	18	18	18	18	3	18.3	6	19.2	6	19.2 (20)
10. 骨体周	64	19	64.74	13	64.92	3	61.33	68	65	65	65	65	3	67.3	6	70.3	6	70.3 69
10b. 最小周	60	16	60.88	10	62.00	3	58.33	65	61	61	61	61	5	61.6	11	63.3	11	63.3 -
9/8. 中央断面示数	69.57	19	78.60	13	76.33	3	76.91	79.17	78.26	78.26	78.26	78.26	3	78.0	6	77.8	6	77.8 (80.00)

第122表 脳頭蓋(mm)(Calvaria)

		伊礼原D 第1号土壙墓	
		女	女
1.	頭蓋最大長	166	
8.	頭蓋最大幅	140	
17.	ハジオン・ブレグマ高	-	
8/1	頭蓋長幅示数	84.34	
17/1	頭蓋長高示数	-	
17/8	頭蓋幅高示数	-	
1+8+17/3	頭蓋モズルス	-	
5.	頭蓋底長	-	
9.	最小前頭幅	93	
10.	最大前頭幅	103	
11.	両耳幅	120	
12.	最大後頭幅	109	
13.	乳突幅	-	
7.	大後頭孔長	-	
16.	大後頭孔幅	-	
16/7	大後頭示数	-	
23.	頭蓋水平周	491	
24.	橫弧長	309	
25.	正中矢状弧長	353	
26.	正中矢状前頭弧長	121	
27.	正中矢状後頭弧長	121	
28.	正中矢状前頭弦長	111	
29.	正中矢状後頭弦長	106	
30.	正中矢状前頭弦長	107	
31.	正中矢状後頭弦長	98	
29/26	矢状前頭示数	87.60	
30/27	矢状後頭示数	88.43	
31/28	矢状後頭示数	88.29	

第123表 顔面頭蓋(mm,度)(Facial skeleton)

		伊礼原D 第1号土壙墓	
		女	女
40.	顔長	-	
41.	側顔長	65	
42.	上顔長	-	
43.	下顔長	98	
44.	頬骨弓幅	-	
45.	中顔幅	[92]	
46.	顔高	108	
47.	上顔高	(58)	
48.	顔示数(K)	-	
47/45	上顔示数(K)	-	
48/45	上顔示数(K)	-	
47/46	上顔示数(V)	[117.39]	
48/46	上顔示数(V)	[63.04]	
40+45+47/3	顔面モズルス	-	
50.	前眼窩間幅	16	
44.	両眼窩幅	91	
50/44	眼窩間示数	17.58	
51.	眼窩幅(右)	39	
52.	眼窩幅(左)	41	
52/51	眼窩高(右)	33	
54.	眼窩高(左)	33	
55.	眼窩示数(右)	84.62	
54/55	眼窩示数(左)	80.49	
55(1).	鼻幅	28	
56.	鼻高	52	
57.	鼻示数	53.85	
57(1).	梨状口高	(48)	
60.	鼻骨最小幅	-	
61.	鼻骨最大幅	-	
62.	上顎齒槽長	-	
63.	上顎齒槽幅	-	
64.	口蓋長	-	
61/60	口蓋幅	-	
63/62	口蓋高	-	
64/63	上顎齒槽示数	-	
72.	口蓋示数	-	
73.	口蓋高示数	-	
74.	全側面角	-	
	鼻側面角	-	
	齒槽側面角	-	

第124表 鼻根部(mm,度)(Nasal root)

		伊礼原D 第1号土壙墓	
		女	女
50.	前眼窩間幅	16	
50A.	鼻根橫弧長	19	
50/50A	鼻根彎曲示数	84.21	
57.	鼻骨最小幅	9	
44.	両眼窩幅	91	
50/44	眼窩間示数	17.58	
a.	前頭突起上幅(右)	-	
	(左)	8	
b.	前頭突起水平傾斜角	92	
c.	G-N投影距離	1	
d.	鼻根角	-	
e.	G-R距離	-	
f.	垂線高	-	
f/e	鼻根陷凹示数	-	
77.	鼻頬骨角	145	
Fa	fmo間距離	94	
Fh	垂線高	15	
Fh/Fa	顔面扁平示数	15.96	

第125表 下顎骨(mm,度)(Mandibula)

		伊礼原D 第1号土壙墓	
		女	女
65	下顎關節突起幅	-	
65(1).	下顎筋突起幅	93	
66	下顎角幅	91	
67	前下顎幅	46	
68	下顎長	54	
68(1).	下顎長	-	
69	オトガイ高	-	
69(1).	下顎体高(右)	29	
	(左)	-	
69(2).	下顎体高(右)	25	
	(左)	-	
70	枝高(右)	-	
	(左)	-	
70(1).	前枝高(右)	52	
	(左)	51	
70(2).	最小枝高(右)	-	
	(左)	49	
70(3).	下顎切痕高(右)	-	
	(左)	-	
71(1).	下顎切痕幅(右)	-	
	(左)	-	
71	枝幅(右)	30	
	(左)	30	
71a.	最小枝幅(右)	-	
	(左)	-	
79	下顎枝角(右)	-	
	(左)	-	
66/65	下顎幅示数	-	
68/65	幅長示数	-	
68(1)/65	幅長示数(右)	-	
69(2)/69	下顎高示数(右)	-	
	(左)	-	
71/70	下顎枝示数(右)	-	
	(左)	-	
71a/70(2)	下顎枝示数(右)	-	
	(左)	-	
70(3)/71(1)	下顎切痕示数(右)	-	
	(左)	-	

第126表 鎖骨(mm)(Clavicula)

伊礼原D 第1号土壙墓 女	
1.	鎖骨最大長(右) (左)
2a	骨体彎曲高(右) (左)
2(1)	肩峰彎曲高(右) (左)
4.	中央垂直径(右) (左)
5.	中央矢状径(右) (左)
6.	中央周(右) (左)
6/1	長厚示数(右) (左)
2a/1	彎曲示数(右) (左)
4/5	鎖骨断面示数(右) (左)
2(1)/1	肩峰端彎曲示数(右) (左)

第127表 上腕骨 (mm)(Humerus)

伊礼原D 第1号土壙墓 女	
1.	上腕骨最大長(右) (左)
2.	上腕骨全長(右) (左)
3.	上端幅(右) (左)
3(1).	横上径(右) (左)
4.	下端幅(右) (左)
5.	中央最大径(右) (左)
6.	中央最小径(右) (左)
7.	骨体最小周(右) (左)
7(a).	中央周(右) (左)
8.	頭周(右) (左)
9.	頭最大横径(右) (左)
10.	頭最大矢状径(右) (左)
11.	滑車幅(右) (左)
12.	小頭幅(右) (左)
12(a).	滑車幅および小頭幅(右) (左)
13.	滑車深(右) (左)
14.	肘頭窩幅(右) (左)
15.	肘頭窩深(右) (左)
6/5	骨体断面示数(右) (左)
7/1	長厚示数(右) (左)

第128表 橈骨(mm)(Radius)

伊礼原D 第1号土壙墓 女	
1.	最大長(右) (左)
1b.	平行長(右) (左)
2.	機能長(右) (左)
3.	最小周(右) (左)
4.	骨体横径(右) (左)
4a.	骨体中央横径(右) (左)
4(1).	小頭横径(右) (左)
4(2).	頸横径(右) (左)
5.	骨体矢状径(右) (左)
5a.	骨体中央矢状径(右) (左)
5(1).	小頭矢状径(右) (左)
5(2).	頸矢状径(右) (左)
5(3).	小頭周(右) (左)
5(4).	頸周(右) (左)
5(5).	骨体中央周(右) (左)
5(6).	骨下端幅(右) (左)
3/2	長厚示数(右) (左)
5/4	骨体断面示数(右) (左)
5a/4a	中央断面示数(右) (左)

第129表 尺骨(mm)(Ulna)

伊礼原D 第1号土壙墓 女	
1.	最大長(右) (左)
2.	機能長(右) (左)
2(1).	肘頭尺骨頭長(右) (左)
3.	最小周(右) (左)
6.	肘頭幅(右) (左)
6(1).	上幅(右) (左)
7.	肘頭深(右) (左)
8.	肘頭高(右) (左)
11.	尺骨矢状径(右) (左)
12.	尺骨横径(右) (左)
S	中央最小径(右) (左)
L	中央最大径(右) (左)
C	中央周(右) (左)
3/2	長厚示数(右) (左)
11/12	骨体断面示数(右) (左)
S/L	中央断面示数(右) (左)



第130表 大腿骨(mm)(Femur)

伊礼原D 伊礼原D		伊礼原D	
第1号土壙墓 包含層		第1号土壙墓 女	
	右	左	
1.	最大長(右)	-	-
	(左)	-	-
2.	自然位全長(右)	-	-
	(左)	-	-
3.	最大軀子長(右)	-	-
	(左)	-	-
4.	自然位軀子長(右)	-	-
	(左)	-	-
6.	骨体中央矢状径(右)	23	-
	(左)	-	-
7.	骨体中央横径(右)	22	25
	(左)	-	-
8.	骨体中央周(右)	71	-
	(左)	-	79
9.	骨体上横径(右)	25	-
	(左)	-	30
10.	骨体上矢状径(右)	20	-
	(左)	-	22
15.	頸垂直径(右)	-	-
	(左)	-	-
16.	頸矢状径(右)	-	-
	(左)	-	-
17.	頸周(右)	-	-
	(左)	-	-
18.	頭垂直径(右)	-	-
	(左)	-	-
19.	頭横径(右)	-	-
	(左)	-	-
20.	頭周(右)	-	-
	(左)	-	-
21.	上顆幅(右)	-	-
	(左)	-	-
8/2	長厚示数(右)	-	-
	(左)	-	-
6/7	骨体中央断面示数(右)	104.55	-
	(左)	-	100.00
10/9	上骨体断面示数(右)	80.00	-
	(左)	-	73.33

第131表 脛骨(mm)(Tibia)

伊礼原D 伊礼原D		伊礼原D	
第1号土壙墓 女		第1号土壙墓 女	
	右	左	
1.	脛骨全長(右)	-	-
	(左)	-	-
1a.	脛骨最大長(右)	-	-
	(左)	-	-
1b.	脛骨長(右)	-	-
	(左)	-	-
2.	顆距間距離(右)	-	-
	(左)	-	-
3.	最大上端幅(右)	-	-
	(左)	-	-
3a.	上内關節面幅(右)	-	-
	(左)	-	-
3b.	上外關節面幅(右)	-	-
	(左)	-	-
4a.	上内關節面深(右)	-	-
	(左)	-	-
4b.	上外關節面深(右)	-	-
	(左)	-	-
6.	最大下端幅(右)	-	-
	(左)	-	-
7.	下端矢状径(右)	-	-
	(左)	-	-
8.	中央最大径(右)	23	-
	(左)	-	-
8a.	栄養孔位最大径(右)	26	-
	(左)	-	-
9.	中央横径(右)	16	-
	(左)	-	-
9a.	栄養孔位横径(右)	19	-
	(左)	-	-
10.	骨体周(右)	64	-
	(左)	-	-
10a.	栄養孔位周(右)	73	-
	(左)	-	-
10b.	最小周(右)	60	-
	(左)	-	-
9/8.	中央断面示数(右)	-	69.57
	(左)	-	-
9a/8a	栄養孔位断面示数(右)	-	73.08
	(左)	-	-
10b/1	長厚示数(右)	-	-
	(左)	-	-

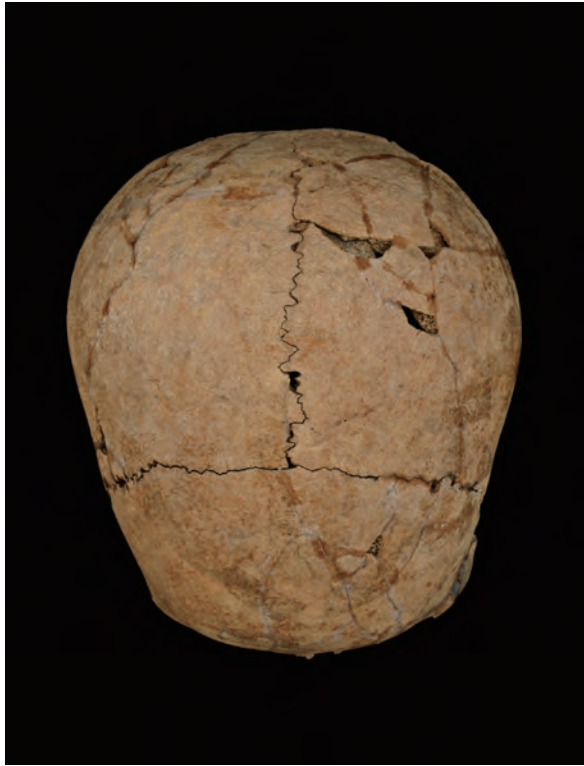
第132表 腓骨(mm)(Fibula)

伊礼原D 伊礼原D		伊礼原D	
第1号土壙墓 女		第1号土壙墓 女	
	右	左	
1.	最大長(右)	-	-
	(左)	-	-
2.	中央最大径(右)	12	-
	(左)	-	-
3.	中央最小径(右)	9	-
	(左)	-	-
4.	中央周(右)	36	-
	(左)	-	-
4a.	最小周(右)	30	-
	(左)	-	-
4b.	頸横径(右)	9	-
	(左)	-	-
4c.	頸矢状径(右)	10	-
	(左)	-	-
4(1).	上端幅(右)	-	-
	(左)	-	-
4(1a).	上端矢状幅(右)	-	-
	(左)	-	-
4(2).	下端幅(右)	-	-
	(左)	-	-
4(2a).	下端矢状幅(右)	-	-
	(左)	-	-
3/2	中央断面示数(右)	75.00	-
	(左)	-	-
4a/1	長厚示数(右)	-	-
	(左)	-	-

第133表 形態小変異(Non-metoric crania variants)

伊礼原D 伊礼原D		伊礼原D	
第1号土壙墓 女性		第1号土壙墓 女性	
	右	左	
1.	Medial palatine canal(内側口蓋管)	-	/
2.	Pterygospinous foramen(翼棘孔)	/	/
3.	Hypoglossal canal bridging(舌下神経管二分)	/	/
4.	Clinoal bridging(床状突起間骨橋)	/	/
5.	Condylar canal absent(顆間欠如)	/	/
6.	Tympanic dehiscence.Foramen of Huschke(>1mm)(フシユケ孔、鼓室骨裂孔)	/	/
7.	Jugular foramen bridging	/	-
8.	Precondylar tubercle	/	/
9.	Supra-orbital foramen(inci.frontal foramen)(眼窩上)	-	-
10.	Accessory infraorbital foramen(副眼窩下孔)	/	/
11.	Zygo-facial foramen absent	-	-
12.	Aural exostosis(外耳道骨腫)	/	-
13.	Metopism(前頭縫合)	-	-
14.	Os incae(インカ骨)	-	-
15.	Ossicle at the lambda(ラムダ小骨)	-	-
16.	Parietal notch bone(頭頂切痕骨)	-	-
17.	Transverse zygomatic suture(>5mm)	-	-
18.	Asterionic ossicle	-	-
19.	Occipitomastoid ossicle	-	-
20.	Epipteric ossicle	/	/
21.	Frontotemporal articulation	/	/
22.	Biasterionic suture(>10mm)	/	/
23.	Mylohyoid bridging(顎舌骨筋神経溝骨橋)	-	/
24.	Accessory mental foramen(副オトガイ孔)	-	-
25.	Mandibular torus(下顎隆起)	-	-
26.	滑車上孔(上腕骨)	/	+

[ present : +, absent : -, unobservale : / ]



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

図版 90-1 伊礼原D 第1号土墳墓人骨 (女性・壮年)  
(The skeleton No.1 from the Ireibaru D site, young adult female)



上肢骨 (Bones of the upper limb)



下肢骨 (Bones of the lower limb)

图版 90-2 伊礼原 D 第 1 号土壙墓人骨 (女性・壮年)  
 ( The skeleton No. 1 from the Ireibaru D site, young adult female )



頭蓋 (The skull)

図版 91 SK-1(3619 B5L10, 取り上げ番号 178 (女性・成年～壮年))  
( The skeleton SK-1 from the Ireibaru D site, young adult female )



大腿骨 (左) (The left Femur)

図版 92 FE-1(B5j10, HB-2 (男性・年齢不明))  
( The skeleton FE-1 from the Ireibaru D site, male unknown age )



## 第5節 伊礼原D遺跡2号、3号、5号土壙墓より出土した人骨について

藤田祐樹（沖縄県立博物館・美術館）

伊礼原D遺跡からは、4基の土壙墓（1号、2号、3号、5号）と断片的な散乱人骨が出土している。本稿では2号、3号、5号土壙墓と、散乱人骨について報告する。2、3、5号墓人骨は、概ね全身の骨が保存されていたため、クリーニングした後に、頭骨と主要な四肢骨を可能な限り接合した。計測可能な状態まで頭骨を復元できたものが2点（2号、5号）ある。椎骨や肋骨にも接合できそうな細片が認められたが、作業時間の都合で実現できなかった。復元した結果、性別や年齢を推定できる場合にはこうした情報と、病変等を記載した。

接合に際して、竹串や歯ブラシで砂を物理的に除去し、破断面にこびりついた砂はアルコールを少量塗布して洗浄した。破断面の接着には、アセトン可溶性の接着剤 Butvar (Polybinyll Butyral Resis, Eastman Chemical Company, USA) を用いた。馬場（1991）の定義に従って計測を行い、計測項目の番号（Martin No.）を表に記した。埋葬状態は、現場での観察と実測図、残存する骨片の状態に基づいて記載した。

### 2号人骨

楕円形の土壙に、仰臥位で埋葬されている。ほぼ全身の骨が保存されているが、骨端部が破損するなど、保存状態はあまりよくない。長管骨の表面の損傷が激しいものが認められ、幅1mmほどの線状傷が縦横無尽に認められるものが多い。土壙墓内では椎骨や肋骨が解剖学的位置を保って出土しており、主要な四肢骨、手部、足部など細かい骨も保存されていることから、基本的には一次葬と捉えられるが、頭骨が上下反転しており、左大腿骨、左右の腓骨、左脛骨などが大きく乱れた位置で出土している。そのため、部分的な攪乱を後世にうけたと推測される。

ピットの上部には石灰岩礫が遺体を覆うように配置されていたが、この石灰岩礫が墓に伴うものであれば、部分的な攪乱の際にこれらの礫が動かなかつたか、攪乱の後に再配置されたことになる。ピットの底部に位置する椎骨や肋骨が動いておらず、ピット上部に配置された礫も動かず、両者の間にある人骨の、それも頭骨や大腿骨などの大きな部位が動く自然のプロセスは想定できない。すると、考えうる仮説としては、攪乱の後に大腿骨や頭骨がピット内に戻され、その上に石灰岩礫が再配置されたという可能性だろう。

攪乱された要因が人為的な理由か自然の営為かを判断するのは難しいが、人為的な活動で露出したのであれば、気づいてすぐに墓を戻すという過程のほうが考えやすく、表面が損傷するまで放置する理由が説明できない。脛骨や大腿骨の表面に顕著な損傷があることは、これらの骨が地表面にある程度の期間、露出していたためと考えられる。そうだとすると、石灰岩礫も最初の埋葬段階で配置されていたかどうか、慎重に考える必要がある。本来は石灰岩礫がなく、自然の営為で骨の一部が露出して部分的に散乱したのを、見かねた後世の人物が人骨を戻し、再び乱れることのないよう石灰岩を配置した可能性もある。

被葬者は成人で、大坐骨切痕が広く、四肢骨が比較的華奢であることから、女性と判断される。四肢骨は骨端の破損により全長の計測が不可能だが、現場で左大腿骨の骨端部を含めた推定長は約37cmと記録されている。この計測値から藤井の式で身長を計算すると約144cm、右尺骨の推定最

大長から藤井の式で身長を求めると、約 147cm となり、やや小柄である。

なお、この人骨の頭骨は、クリーニング作業のために沖縄県立博物館・美術館に発掘後に搬送されたと日誌に記録されているが、本稿執筆段階で頭骨の所在が確認できていない。沖縄県立博物館・美術館内に所在する可能性があるため引き続き捜索を進めるが、本稿では形態の詳細を記述することができない。作業の不便をお詫びする次第である。現地の観察記録では、短頭型であった。

### 3号人骨

頭部が狭く下半身部が広い「だるま型」のピットに仰臥位で埋葬されている。脚は、膝を開いた屈曲姿勢で、両腕はゆるく伸展し、手部が腰の左右に位置している。ピットの形と埋葬姿勢があっているため、当初からあぐらをかいたような姿勢で仰臥位に埋葬することを意図してピットを掘り込んだものと推測される。

骨は解剖学的位置を保っており、一次葬で原位置と考えられる。それにも関わらず、脛骨や大腿骨の表面に線状の傷が部分的に認められる。げっ歯類の齧り痕のように見えるが、遺体が原位置を保っていることから、骨表面が一部露出するような状況に一時的になったのかもしれない。前頭部にも陥没の痕があるが、生前の損傷ではなく、白骨化してからの破損と認められる。前頭部や、四肢骨が解剖学的位置を保存しつつも、表面の一部が露出するような状況がありえれば、一連のこうした損傷がうまく説明できそうである。

なお、2号墓のように攪乱された人骨が整理された可能性を想定すると、遺骨を戻した人物はよほど解剖学的知識を持っていたと考えなければならず、この可能性はきわめて低いだろう。

四肢骨は骨端がほぼ失われており、全体的にキャシャである。第二大臼歯が萌出過程であることから 12～13 歳前後と推測される。顕著な歯槽性突顎が認められ、下顎骨はオトガイの発達が弱い。歯は全て残存しており、上顎第二大臼歯以後は上顎骨の破損により食率していないが、第三代臼歯は歯根がほぼ未形成で萌出前、第二大臼歯は歯根が一部未形成で萌出途中であったと判断される。切歯も全て残っており、風習の抜歯は認められない。下顎骨の左半付近から小型のシャコガイが出土した。副葬品であるかもしれないが、詳細は不明である。骨盤の保存が悪く性別は不明。

頭骨は、計測値で判断すれば頭蓋長幅示数 108 となり、超短頭である。ただし、これは頭蓋が土圧によって変形した影響がある可能性が高い。頭骨形状をみると、後頭部が横に広がっており、頭頂部が破損・細片化している。前頭骨内面にも隙間が認められ、頭骨全体が土圧で変形した状態で復元されている様子が見られる。頭骨の復元の過程で修正を試みたものの、全体のゆがみを解



図版 93 左から 3号人骨の正面、左側面、上面（上が前、下が後頭部）

消することは困難であった。そのため、計測値も本来の頭骨形態をどこまで反映しているのか疑問が残る。頭骨計測値は表1に示すとおりだが、頭骨のゆがみの影響を解消できていないため、参考値としてとらえていただきたい。

## 5号人骨

長方形のピットに、体の左全面を下にむけた伏臥位の屈葬である。腕と脚は非常に強く屈曲されており、いずれも体幹に密着するような状態で出土した。布などで包まれた状態で埋葬された可能性も考えられる。顔は体に対し右側に曲げられており、顔面を隠すように土器片が配置されていた。土器片は、顔面の下側に一部入り込んでいることから、先に土器片を配置し、後で遺体を埋葬したと推測される。

頭骨は、頭蓋長幅示数 75.0 で中頭、頭蓋長高示数 78.2 で高頭、頭蓋幅高示数 104.3 で狭頭である。1号、2号、3号が短頭であるのに比べて頭骨の特徴は異なる。歯槽性突顎が認められ、四肢骨も大柄で比較的しっかりしている。大腿骨最大長から藤井の式で身長を推定すると、約 160cm となる。こうした特徴は、沖縄では中世以後の人骨によく認められ、12～13世紀の土器が共伴していたことと矛盾しない。

## 散乱人骨

断片的な人骨片が多く、四肢骨、頭骨など、相対的に頑丈な部位が残存している。表面の磨滅や損傷が顕著なものも多く、散乱した産状と整合的である。切歯部の残存する下顎骨が1点含まれており、切歯は消失しているが歯槽が開放しており、風習的抜歯はなかったことが窺われる。形態学的に特筆すべき人骨は、特に認められない。

分類群が「不明」となっている資料は、ヒトではない哺乳類の骨と考えられるものである。人骨については、いちおう年齢を成人 (A) または未成人 (Y) で記載しておいたが、残存状態はおおむね悪いため、主にサイズと骨表面の状態から判断したにすぎない。参考データとしてとらえていただければ幸いである。

## 考察

2号墓はピットに仰臥位で埋葬されており、ピットのサイズと右大腿骨の位置からは脚は軽く屈曲していたと推測される。その



図版 94 5号人骨全身



図版 95 左から5号人骨の正面、左側面、上面 (上が前、下が後頭部)



上位に遺骨を覆うように石灰岩礫が配置されており、覆石墓と考えられる。ただし、右大腿骨や左右の脛骨、頭骨などが大きく動いており、また骨表面の損傷が顕著であることから、これらの骨が一定期間露出し、その配置が乱れたことを示唆する。覆石が動くことなくこれらの骨が位置を変えることは想定しにくいから、後世の人が攪乱された人骨をピット内に戻した際に、覆石を配置したと考えるのが妥当であろう。

攪乱の前に覆石があったかどうかは、周辺の地層には大型のサンゴ礫は存在せず、1号墓にも頭骨周辺に大型サンゴ礫の配石が認められるため、2号墓にももともと配石があった可能性は高い。しかしながら、発掘時にみとめた遺骨全体を覆うように配石されていたのか、頭骨など一部を覆っていたのかは判断できない。下位の原位置を保った体幹骨周辺には配石はないため、石棺や石囲ではなく、遺体上面の全体または一部を覆うように配石されていたことは間違いないだろう。土壇墓の上に1個または数個の礫を配石する墓制は、真志喜安座間原第一遺跡（呉屋，2012）やサキタリ洞遺跡の9千年前以前の埋葬人骨などで報告されており（沖縄県立博物館・美術館，2016）、こうした墓は沖縄では古くから存在すると考えられる。少なくとも攪乱を直した人々は、こうした覆石を施す葬法に親しんでいたことは確かだろう。

3号人骨も、やはり部分的に人骨が露出した時期があると考え、骨表面の損傷や頭骨の破損を理解しやすい。現場観察で前頭部の陥没を認め、生前の外傷によるものである可能性も考慮した。木綿原遺跡では、石棺墓から出土した人骨の前頭部に陥没骨折が認められ、その上に小型のシャコガイが配置されていた（松下2003）。3号人骨の頭骨周辺からも小柄のシャコガイが出土したため、同様の事例かと疑ったのである。しかしながら、クリーニングした後に観察すると、この陥没は生前のものではなく、白骨化した後に破損したものと判断された。

四肢骨の一部にも、表面の損傷が認められ、ネズミの齧り痕に似る線状傷も認められた。こうした傷は、いずれも土中でついたとは考えにくく、埋葬後に一部が露出した可能性を考慮するほうがよさそうである。しかしながら、四肢骨も頭骨も解剖学的位置を完全に保っているため、露出はごく部分的だったに過ぎないと推測される。頭部のレベルが四肢骨に比べてやや高い位置ではあるが、頭骨と四肢骨のレベル差はそれほど顕著ではなく、それぞれの表面が部分的に露出するような現象は、ありえたとしても不思議はなさそうである。

頭骨が超短頭であることは、若い個体であることと、頭骨に埋没後の変形の影響があることを考慮して割り引いて考える必要があるだろう。中顔～低顔で低眼窩であることは、短絡的には沖縄先史人の特徴であるものの、顕著な歯槽性突顎はむしろ中世以後の人骨によく認められ、人骨形態からどちらに所属する可能性が高いかを判断することは難しい。いずれの可能性もありうるため判断を保留するのが妥当であろう。

5号人骨は、中頭ながら狭頭、歯槽性突顎も明瞭で四肢もしっかりとしており、身長もやや大きめである。こうした特徴は、いずれも沖縄の中世以後の人骨に認められ、人骨形態からは中世に属すると推察される。顔面を覆うように配置されていた土器の年代とも整合的である。

この個体の特筆すべき特徴は、何よりも強く四肢を屈曲した埋葬姿勢と、顔面部を覆うように配置された土器片であろう。意図的に顔面を隠したと捉えられ、四肢の強屈は、埋葬段階で遺体が布かムシロのようなもので包まれていた可能性を示唆する。木製の棺の痕跡は認められず、楕円形のピットから出土したことも、小さな木棺に納められていたことはなさそうであり、やはり布状のものに包まれていたと考えるほうがよいだろう。

こうした埋葬方法にどのような意味を一例のみから推測することは難しいが、特徴的な埋葬方法



であることは確かであるので、今後、類似の例があるか注意する必要があるだろう。

周辺の散乱人骨は、断片的で損傷が著しいものが多く、比較的頑丈な部位のみが回収されていることから、埋没の段階でかなり攪乱されたものであることは間違いない。1～5号墓のほかにも、周辺に埋葬がかつては多く存在し、そうした墓が相当に攪乱されて、周辺に散乱して埋没したことをうかがわせる。形態的には、特筆すべき特徴は見受けられなかった。

<参考・引用文献>

沖縄県立博物館・美術館. 2016. 沖縄県南城市サキタリ洞遺跡発掘調査概要報告書 III.

呉屋義勝. 2012. 真志喜安座間原第一遺跡の墓が定期する問題点. 沖縄考古学会 2012 年度研究発表会「先史時代の墓と葬制」要旨集. 53～62.

馬場悠男 (1991) 人類学講座別巻 1 人体計測法 II 人骨計測法. 人類学講座編纂委員会編, 雄山閣出版.

藤井明 (1960) 四肢長骨の長さとの関係に就いて. 順天堂大学体育学部紀要 3: 49-61.

藤田恒太郎, 桐野忠大, 山下靖雄. (1995) 歯の解剖学 第 22 版. 金原出版株式会社.

松下孝幸 (2003) 沖縄県木綿原遺跡出土の弥生人骨. 南島考古 No22. 沖縄考古学会. 67-108.

松下孝幸 (2003) シャガイよ、癒やせ. 南島考古 No22. 沖縄考古学会. 109-110

Lovejoy C. O. (1985) Dental Wear in the Libben Population: Its Functional Pattern and Role in the Determination of Adult Skeletal Age at Death. American Journal of Physical Anthropology 68:47-56.

Massler M., Schour I., Poncher H. G. (1941) Developmental pattern of the child as reflected in the calcification pattern of the teeth. Am. J. Dis. Child., 62: 33-67.

Ubelaker D. H. (1978) Human skeletal remains: Excavation, analysis, interpretation. Chicago: Aldine.

William M Bass. (1987) Human Osteology -A laboratory and field manual- 3<sup>rd</sup> edition. Missouri Archaeological Society.

第134表. 伊礼原D遺跡出土頭骨の計測値

		4314G 3号土壙墓	4700SG 5号土壙墓		
脳 頭 蓋 計 測 値	1	頭蓋最大長 (144)	188		
	8	頭蓋最大幅 155	141		
	17	バジオン・プレグマ高 (148)	(147)		
	8/1	頭蓋長幅示数 107.6	75.0	長短頭	中頭
	17/1	頭蓋長高示数 102.8	78.2	高頭	高頭
	17/8	頭蓋幅高示数 95.5	104.3	中頭	狭頭
	(1+8+17)/3	頭蓋モズルス 149.0	158.7		
	23	頭蓋水平周 476	525		
	24	横弧長 (339)	334		
	25	正中矢状弧長 -	381		
	顔 面 部 計 測 値	50	前眼窩間幅 22	20.75	
57		鼻骨最小幅 11.99	9.23		
44		両眼窩間幅 94.76	103.98		
50/44		眼窩間示数 0.23	0.20		
40		顔長 (78)	109		
45		胸骨弓幅 (122)	(138)		
46		中顔幅 89.72	104.82		
47		顔高 104.23	119.57		
48		上顔高 (60.5)	69.85		
47/45		顔示数(K) 85.4	86.6	中顔	中顔
48/45		上顔示数(K) 49.6	50.6	低上顔 (広上顔)	中上顔
47/46		顔示数(V) 116.2	114.1	低顔	低顔
48/46		上顔示数(V) 67.4	66.6	低顔	低顔
(40+45+47)/3		顔面モズルス 54.7	122.2		
51		眼窩幅(右) 39.3	45.12		
51		眼窩幅(左) (39.8)	45.5		
52		眼窩高(右) 27.3	33.77		
52		眼窩高(左) 25.2	32.66		
52/51		眼窩示数(右) 69.5	74.8	低眼窩	低眼窩
52/51		眼窩示数(左) 63.3	71.8	低眼窩	低眼窩
54	鼻幅 24.18	26.04			
55	鼻高 45.16	53.28			
54/55	鼻示数 53.5	48.9	広鼻	中鼻	

括弧つきの数字は推定値

第135表. 伊礼原D遺跡出土人骨の四肢骨計測値

		Unit No.	2号土壌墓		3号土壌墓		5号土壌墓	
			右	左	右	左	右	左
上腕骨	1	最大長	-	-	-	-	(298)	298
	4	下端幅	(55)	-	-	-	59.19	59.63
	5	中央最大幅	20.35	19.14	16.68	16.81	22.44	21.96
	6	中央最小幅	15.24	15.65	12.67	12.75	16.01	16.93
	7	最小周	55	54	48	48	61	62
	7a	中央周	57	57	50	49	65	64
	6/5	体断面示数	0.75	0.82	0.76	0.76	0.71	0.77
	7/1	長厚示数					0.20	0.21
尺骨	1	最大長	(220)	-	-	-	262	259
	2	生理長	(195)	-	-	-	236	234
	3	最小周	36	34	-	-	39	36
	11	体矢状径	12.7	13.01	-	-	17.24	16.53
	12	体横径	14.58	13.54	-	-	12.44	12.04
	3/2	長厚示数	0.18				0.20	0.18
	11/12	体断面示数	0.87				1.39	1.37
橈骨	1	最大長	-	-	-	-	245	244
	2	生理長	-	-	-	-	233	232
	3	最小周	36	35	34	35	40	41
	4	体横径	16.79	15.4	12.42	12.62	15.89	16.05
	5	体矢状径	10.15	10.34	8.81	9.19	11.58	12.09
	5(6)	下端幅	-	-	-	-	33.4	(33.4)
	3/2	長厚示数					0.17	0.18
	5/4	体断面示数	0.60	0.67	0.71	0.73	0.73	0.75
大腿骨	1	最大長	-	-	-	-	424	428
	2	全長	-	-	-	-	418	425
	6	体中央矢状径	23.43	22.93	17.71	17.5	27.09	27.82
	7	体中央横径	22.71	21.94	20.07	18.94	25.53	16.01
	8	体中央周径	73	73	61	60	82	82
	9	体上横径	26.5	24.92	23.08	22.38	30.06	31.35
	10	体上矢状径	21.19	23.2	19.39	19.79	21.99	22.37
	18	頭垂直径	-	-	-	-	44.36	47.74
	19	頭矢状径	-	-	-	-	44.1	48.22
	20	頭周径	-	-	-	-	147	151
	8/2	長厚示数					0.20	0.19
	6/7	長厚示数	1.03	1.05	0.88	0.92	1.06	1.74
	10/9	体上断面示数	0.80	0.93	0.84	0.88	0.73	0.71
	(6+7)/2	頑丈示数	23.07	22.44	18.89	18.22	26.31	21.92
脛骨	1	最大長	-	-	-	-	358	353
	8	中央最大径	26.88	27.38	22.14	-	27.24	26.57
	8a	栄養孔位最大径	27.46	27.7	24.75	-	31.24	29.14
	9	中央横径	18.31	18.57	16.63	-	19.87	20.11
	9a	栄養孔位横径	19.78	19.33	18.27	-	21.31	2.86
	10	骨体周	71	73	62	-	75	76
	10a	栄養孔位周	75	75	69	-	21.31	21.86
	10b	最小周	68	68	60	-	75	76
	9/8	中央断面示数	0.68	0.68	0.75	-	0.73	0.76
	9a/8a	栄養孔位断面示数	0.72	0.70	0.74	-	0.68	0.10
腓骨	1	最大長	-	-	-	-	347	342
	2	中央最大径	-	-	11.39	-	14.89	14.64
	3	中央最小径	-	-	8.48	-	11.64	10.74
	4	中央周径	-	-	34	-	43	41
	3/2	中央断面示数			0.74		0.78	0.73

括弧つきの数字は推定値

最大長が計測不能の場合には、形態的特徴から中央位を推測して中央位での計測項目を参考値として計測した

第136表. 伊礼原D遺跡より出土した散乱人骨一覧

台帳No.	グリッド	層位・遺構	新層	人骨番号	取り上げ番号	部位	左右	分類群	年齢	Sex	残存部位					骨端癒合		点数	備考	
											近位端	近位骨幹	骨幹中央	遠位骨幹	遠位端	全体	近位			遠位
14598	L9	下砂	Vc	HB-8	245	尺骨	L	ヒト	A	ND	0	1	1	1	0	4	ND	ND	1	
14596	K8	包砂	Vb	HB-5	243	脛骨	R	ヒト	A	ND	0	1	1	1	0	3	ND	ND	1	骨表面の傷み激しい。線状の傷が縦横無尽に骨表面を損傷している。
3736	L18	砂	Vb	HB-12		下顎骨	L	ヒト	A	F?						3			1	左半分が残存。右P1、C、左C~M3が植立。咬耗強く、歯石が付着している。切歯部は破損しているが歯槽開放しており抜歯はなかった模様。
5093	L14	下砂	Vc	HB-11	501	上腕骨	R	ヒト	A	M	0	1	1	1	0	3	ND	ND	1	骨表面が損傷しザラザラしている。海岸で洗われて損傷したように見える。頑丈で男性的。
5121	L9	包含層1	IIIa	HB-14		頭頂骨片	ND	ヒト	A	ND						1			1	
5154	N9	2952SK	III下遺構	HB-16		頭頂骨片	R	ヒト	A	ND						2			2	
5154	N9	2952SK	III下遺構	HB-16		下顎骨	R	ヒト	A	F?						2			1	左M1,M2植立、M3未萌出。
14597	I9	下砂	Vc	HB-6		大腿骨	L	ヒト	A	F?	0	1	0	0	0	1	ND	ND	1	
5127	I14	深堀排土中	VI	HB-15		頭骨片		ヒト	A?	ND						1			1	
1651	F17	0904P				上顎切歯	R	ヒト	A	ND									1	咬耗わずか、歯石わずか
5047	—	深堀排土中	VI	H-13		頭骨片		ヒト	A?	ND						1			1	
情報なし						尺骨	L	ヒト	A	M	0	0	1	0	0	1			1	表面の傷み激しい。頑丈で男性的。
5171	L12	2号土坑墓	Vb			小骨片													50+	
	L-M9	3号土坑墓	Vb			小骨片													50+	
5172	L12	2号土坑墓	Vb			小骨片													20	
4753	L17	包砂	Vb	HB-9	276	大腿骨?	ND	ヒト	Y?	ND	0	1	1	1	0	2			1	表面の傷み激しいが、幼児大腿骨の骨幹部のよう。線状の傷が縦横無尽に骨表面を損傷している。
4293	—	排土中	I	HB-4		頭骨片		ヒト	A?										2	
14578	K8	包砂	Vb	HB-7		頭骨片		ヒト	A?										1	表面の傷み激しい
5173	L11	1号土坑墓	Vb			小骨片													100+	
5174	L-M9	3号土坑墓	Vb			小骨片													100+	
5175	A15	5号土坑墓	Vb			小骨片													100+	
14716	D12	海砂層	VI	HB-10		頭頂骨片	ND	ヒト											1	表面の傷み激しい、破断面摩滅。
ナ854	E17	包2	IIIb			側頭骨		ヒト?	Y?							1			1	
2259	H14	包1	IIIa			基節骨(手)	R	ヒト	A		1	1	1	1	1	5	F	F	1	
4006	L11	砂1	Vb			下顎骨	R	ヒト	A							2			1	臼歯2(M2、M3?)の歯槽開放するが、M1より前は歯槽閉鎖。ひどくキャンヤだが歯の脱落のための退縮と思われる。
3990	I14	砂	Vb			第一基節骨(手)	ND	ヒト	A		1	1	1	1	1	3	F	ND	1	
5151	L10	下層前	Vb			下顎骨	R	ヒト	A							2			1	臼歯列歯槽脱落閉鎖、切歯部も脱落歯槽閉鎖するが高齢と思われるため抜歯であるかどうか不明。
3960	K12	砂1	Vb			上顎切歯?	ND	ヒト	A										1	咬耗はげしく歯種不明。
情報なし						指骨													2	
ナ797	E15	包砂	IIIb			大腿骨	ND	ヒト	Y		0	1	1	1	0	2			1	幼児大腿骨の骨幹部
ミ603	I18	砂3	Vb	骨33		不明		不明											1	ヒト中足骨のようにも見えるが違和感あり
ミ665	I18	砂2	Vb			不明		不明											1	ヒト中足骨のようにも見えるが違和感あり
5218	I12	砂1	Vb			橈骨	L	ヒト	A?	ND	0	1	1	0	0	2			1	キャンヤなため女性か若い個体か?
5218	I12	砂1	Vb			尺骨	R	ヒト	A	ND	1	1	1	1	0	4			1	骨表面に線状の損傷が認められる
2379	L9	包2	IIIb			腓骨	ND	ヒト	A	ND	0	0	1	0	0	1			1	やや頑丈。骨表面に線状の損傷目立つ。
2588	L17	1470P	III下遺構			上腕骨	R	ヒト	A	M	0	0	1	1	1	2	ND	F	1	頑丈。骨表面に線状の損傷が縦横無尽に目立つ。
ナ1223	K18	砂1	Vb			尺骨	R	ヒト	A	M	0	1	1	0	0	2	ND	ND	1	頑丈。骨表面に線状の損傷が縦横無尽に目立つ。
3997	H13	砂1	Vb			基節骨(手)	ND	ヒト	A	M?	1	1	1	1	1	5	F	F	1	
4081	L18	砂1	Vb			腓骨	ND	ヒト	A?	M?	0	0	1	0	0	1	ND	ND	1	表面の著しい損傷、線状の傷が縦横無尽。
ナ612	F18	包2	IIIb			中節骨(手)	ND	ヒト	A?	ND	0	0	1	1	1	3	F	ND	1	
ナ648	E18	包2	IIIb			第一基節骨(足)	L?	ヒト	Y?	ND	0	1	1	1	1	4	U	F	1	近位端は未癒合のように見えるが病変か?
4103	J10	砂1	Vb			中足骨?	ND	ヒト	A?	ND	0	1	1	1	0	3	ND	ND	1	骨表面の傷み激しい。線状の傷が縦横無尽に骨表面を損傷している。
3096	K12	2288P	III下遺構			鎖骨	L	ヒト	Y?	ND	0	0	0	1	0	1	ND	ND	1	キャンヤなため女性か若い個体か?
2356	J8	包1	IIIa	骨135		上腕骨	R?	ヒト	J	ND	0	0	0	1	1	2	U	U	1	胎児または新生児
4258	I8	砂2	Vc			側頭骨	ND	不明											1	内耳部だがヒトにしては小さすぎるか?
ナ4535	D・G10 ~12	0008SF	II			橈骨?		イノシシ?											1	イノシシなど中型哺乳類の橈骨遠位に似るが多孔質で病変があるのか?

台帳No.ナ・ミ：油分無し地区

## 第6節 伊礼原D遺跡、平安山原A遺跡の人骨の年代測定

パリノ・サーヴェイ株式会社

### はじめに

伊礼原D遺跡と平安山原A遺跡は、沖縄県中頭郡北谷町に所在し、沖縄本島中部の東シナ海に臨む海岸低地に位置する。在沖米海兵隊基地の基地返還に先立つ予備調査で発見された。これまでの発掘調査において、伊礼原D遺跡からは沖縄貝塚時代後期とグスク時代、近世の遺構が確認されている。また、隣接する平安山原A遺跡は戦前の遺構や沖縄貝塚時代後期からグスク時代の遺物が確認されている。

本業務は人骨の年代を得る目的として、放射性炭素年代測定を行う。

### I. 伊礼原D遺跡の人骨の年代測定

#### 1. 試料

試料は、伊礼原D遺跡から出土した人骨3点で、試料名は第3号土壌墓No.14（肋骨）、第5号土壌墓No.14、19、22（左肋骨）、第1号土壌墓（脛骨）である。

#### 2. 分析方法

骨試料はコラーゲン抽出 (Collagen Extraction) を行う。試料を超純水の入ったガラスシャーレに入れ、ブラシ等を使い、根・土壌等の付着物を取り除く。試料をビーカー内で超純水に浸し、超音波洗浄を行う。

0.2Mの水酸化ナトリウム水溶液を試料の入ったビーカーに入れ、試料の着色がなくなるまで1時間ごとに水酸化ナトリウム水溶液を交換する。その後、超純水で溶液を中性に戻す。試料を凍結乾燥させ、凍結粉碎用セルに入れ、粉碎する。リン酸塩除去のため試料を透析膜に入れて1Mの塩酸で酸処理を行い、超純水で中性にする。透析膜の内容物を遠心分離し、得られた沈殿物に超純水を加え、90℃に加熱した後、濾過する。濾液を凍結乾燥させ、コラーゲンを得る。

抽出した試料を燃焼させ、二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) を発生させ、液体窒素とエタノール+ドライアイスの温度差を利用し、真空ラインでCO<sub>2</sub>を精製する。真空ラインにてバイコール管に精製したCO<sub>2</sub>と鉄・水素を投入し封じ切る。鉄のあるバイコール管底部のみを650℃で10時間以上加熱し、グラファイトを生成する。

化学処理後のグラファイト・鉄粉混合試料を内径1mmの孔にプレスして、タンデム加速器のイオン源に装着し、小型タンデム加速器にて測定する。AMS測定時に、標準試料である米国国立標準局 (NIST) から提供されるシュウ酸 (HOX- II) とバックグラウンド試料の測定も行う。また、測定中同時に<sup>13</sup>C/<sup>12</sup>Cの測定も行うため、この値を用いて $\delta^{13}\text{C}$ を算出する。

放射性炭素の半減期はLIBBYの半減期5,568年を使用する。また、測定年代は1950年を基点とした年代 (BP) であり、誤差は標準偏差 (One Sigma; 68%) に相当する年代である。なお、暦年較正は、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV7.1.0 (Copyright 1986-2016M Stuiver and PJ Reimer) を用い、誤差として標準偏差 (One Sigma) を用いる。

暦年較正とは、大気中の<sup>14</sup>C濃度が一定で半減期が5,568年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の<sup>14</sup>C濃度の変動、及び半減期の違い (<sup>14</sup>Cの半減



期 5,730 ± 40 年) を較正することである。暦年較正は、CALIB7.1.0 のマニュアルにしたがい、1 年単位まで表された同位体効果の補正を行った年代値を用いて行う。暦年較正は北半球の大気中炭素に由来する較正曲線を用い、測定誤差  $\sigma$ 、 $2\sigma$  双方の値を計算する。 $\sigma$  は統計的に真の値が 68% の確率で存在する範囲、 $2\sigma$  は真の値が 95% の確率で存在する範囲である。また、表中の相対比とは、 $\sigma$ 、 $2\sigma$  の範囲をそれぞれ 1 とした場合、その範囲内で真の値が存在する確率を相対的に示したものである。較正された暦年代は、将来的に暦年較正曲線等の改正があった場合の再計算、再検討に対応するため、1 年単位で表された値を記す。

### 3. 結果と考察

同位体効果による補正を行った測定結果を第 137 表に、暦年較正結果を第 138 表に示す。但し、第 1 号土壙墓 (脛骨) は、分析に必要なコラーゲンの回収量が得られなかったため、分析はおこなわなかった。以下、2 点について記す。

試料の測定年代 (補正年代) は、第 3 号土壙墓 No. 14 (肋骨) 1,260 ± 20BP、第 5 号土壙墓 No. 14、19、22 (左肋骨) 840 ± 20BP の値を示す。

測定誤差を  $\sigma$  として計算させた結果、第 3 号土壙墓 No. 14 (肋骨) が calAD 693-769、第 5 号土壙墓 No. 14、19、22 (左肋骨) が calAD 1,169-1,220 である。第 3 号土壙墓 No. 14 が 8 世紀、第 5 号土壙墓 No. 14、19、22 が 12 世紀後半から 13 世紀前半を示し、前者は沖縄貝塚時代後期後半、後者はグスク時代に相当する。

調査所見によると、第 3 号土壙墓 No. 14 はくびれ平底土器が共伴し、第 5 号土壙墓 No. 14、19、22 はグスク土器を被っていたとされる。今回の分析は調和する結果となった。

第137表. 放射性炭素年代測定結果

試料名	種類	補正年代 BP	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	測定年代 BP	Code No.
第3号土壙墓 No.14	骨(肋骨)	1,260±20	-18.77±0.26	1,160±20	IAAA-153363
第5号土壙墓 No.14、19、22	骨(左肋骨)	840±20	-19.73±0.42	760±20	IAAA-153364
第1号土壙墓	骨(脛骨)	—	—	—	測定不可

- 1) 年代値の算出には、Libbyの半減期5568年を使用。
- 2) BP年代値は、1950年を基点として何年前であるかを示す。
- 3) 付記した誤差は、測定誤差  $\sigma$  (測定値の68%が入る範囲) を年代値に換算した値。

第138表. 暦年較正結果

試料名	補正年代 (BP)	暦年較正年代(cal)						相対比	Code No.	
		$\sigma$	cal AD	—	cal AD	cal BP	—			cal BP
第3号土壙墓 No.14 肋骨	1,261±20	$\sigma$	cal AD 693	—	cal AD 730	cal BP 1,257	—	1,220	0.644	IAAA-153363
			cal AD 735	—	cal AD 748	cal BP 1,215	—	1,202	0.216	
			cal AD 762	—	cal AD 769	cal BP 1,188	—	1,181	0.139	
第5号土壙墓 No.14、19、22 左肋骨	844±22	$\sigma$	cal AD 1,169	—	cal AD 1,177	cal BP 781	—	773	0.141	IAAA-153364
			cal AD 1,181	—	cal AD 1,220	cal BP 769	—	730	0.859	
			cal AD 1,161	—	cal AD 1,250	cal BP 789	—	700	1.000	
第1号土壙墓 脛骨	—	$\sigma$	cal AD —	—	cal AD —	cal BP —	—	—	—	測定不可
			cal AD —	—	cal AD —	cal BP —	—	—	—	

- 1) 計算には、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV7.1.0(Copyright 1986-2016 M Stuiver and PJ Reimer)を使用。
- 2) 計算には表に示した丸める前の値を使用している。
- 3) 1桁目を丸めるのが慣例だが、暦年較正曲線や暦年較正プログラムが改正された場合の再計算や比較が行いやすいように、1桁目を丸めない。
- 4) 統計的に真の値が入る確率は  $\sigma$  は 68%、 $2\sigma$  は 95% である。
- 5) 相対比は、 $\sigma$ 、 $2\sigma$  のそれぞれを 1 とした場合、確率的に真の値が存在する比率を相対的に示したものである。

## II. 平安山原A遺跡の人骨の年代測定

### 1. 試料

試料は、平安山原A遺跡から出土した人骨1点（指骨）である。

### 2. 分析方法

分析方法はI-2で記載。

### 3. 結果と考察

同位体効果による補正を行った測定結果を第139表に、暦年較正結果を第140表に示す。試料の測定年代（補正年代）は、1,200 ± 20BPの値を示す。

測定誤差をσとして計算させた結果、calAD775-868であった。8世紀後半から9世紀半ばを示し、貝塚時代後期後半に相当する。

調査所見によると、試料は埋葬人骨で、他に複数の人骨が出土しており、概ね8世紀から15世紀の年代を示しているとされる。今回の結果は予見された年代幅の古い値であった。

本試料は抜歯人骨で、その年代資料の収集を目的に分析が行われた。これまで、沖縄県内でも抜歯人骨は複数の遺跡で確認されている。共伴遺物や埋葬法からおおよその年代は知られているが、骨そのものを対象とした今回の放射性炭素年代測定は大変意義あるものである。

第139表. 放射性炭素年代測定結果

遺跡名	遺構名・試料番号など	種類	補正年代 BP	δ 13C (‰)	測定年代 BP	Code No.
平安山原A遺跡	3号 No.1	人骨	1,200 ± 20	-11.42 ± 0.49	980 ± 20	IAAA-161043

- 1)年代値の算出には、Libbyの半減期5568年を使用。
- 2)BP年代値は、1950年を基点として何年前であるかを示す。
- 3)付記した誤差は、測定誤差σ(測定値の68%が入る範囲)を年代値に換算した値。

第140表. 暦年較正結果

試料名	補正年代 (BP)	暦年較正年代(cal)						相対比	Code No.	
		σ	cal AD 775	-	cal AD 779	cal BP 1,175	-			1,171
平安山原A遺跡 3号 No.1 指骨	1,197 ± 22	σ	cal AD 788	-	cal AD 830	cal BP 1,162	-	1,120	0.545	IAAA-161043
			cal AD 837	-	cal AD 868	cal BP 1,113	-	1,082	0.404	
		2σ	cal AD 770	-	cal AD 889	cal BP 1,180	-	1,061	1.000	

- 1)計算には、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV7.1.0(Copyright 1986-2016 M Stuiver and PJ Reimer)を使用。
- 2)計算には表に示した丸める前の値を使用している。
- 3)1桁目を丸めるのが慣例だが、暦年較正曲線や暦年較正プログラムが改正された場合の再計算や比較が行いやすいように、1桁目を丸めていない。
- 4)統計的に真の値が入る確率はσは68%、2σは95%である。
- 5)相対比は、σ、2σのそれぞれを1とした場合、確率的に真の値が存在する比率を相対的に示したものである。

## 第7節 金属製品成分結果

株式会社文化財サービス

### 1. はじめに

本業務は伊礼原D遺跡より出土した鉄製品の保存処理である。鋤先（鋤先？）、鉄斧、刀子、鉄鏝の4点でいずれも完形に近いが、錆で覆われており亀裂や剥離も著しい。遺物の情報を失わないためにも保存処理が急務とされた。

### 2. 保存処理工程

保存処理は以下の工程で行った。

第141表 保存処理工程

No.	作業内容
①	台帳作成
②	処理前調査
③	錆取り・洗浄
④	脱塩処理・錆の安定化处理
⑤	樹脂含浸
⑥	樹脂塗布
⑦	補填・接合

#### ①台帳作成

遺物は処理ナンバーを付し、法量を測定し台帳を作成した。

#### ②処理前調査

処理前に遺物の写真撮影を行い、詳細な観察記録を作成した。また、遺物の劣化状況や材質、形状を確認するためにX線透過撮影を行った。

装 置 : Rigaku Radioflex-100GSB  
X線管電圧 : 80kv・100kv・150kv  
X線管電流 : 5mA  
距 離 : 1m  
照射時間 : 1分～1.5分  
フィルム : FUJIFILM Industrial X-Ray FILM IX80

遺物は4点とも原型が確認できる状況であった。No.1 鋤先は大きい錆瘤が表面に生成されており、内部の空洞化も著しい。柄の装着部には木質の残存が認められるがほとんど錆と同化しており、木質そのものは確認できなかった。No.2 鉄斧は肉眼で見ると状態が悪く、刃先は層状剥離が進行している。触れるだけで表面が崩壊していく状態である。No.3 刀子は比較的良好で、刃先の欠落以外は形状を維持している。No.4 鉄鏝は亀裂があるものの剥離している箇所は少なく、ほぼ原状を維持している。

特にNo. 鋤先、No.2 鉄斧は取り扱いが困難なほど劣化が進行しており、慎重に作業を行うこととした。側面のX線撮影も試みたが特筆される情報は得られなかった。

### ③洗淨・錆取り

処理前調査の後、錆取りを行った。グラインダーやメス・ニッパ等で錆や固い土砂を落とし、遺物の状態を見ながら不要物を取り除いた。一部の硬い錆については、無理に除去すると遺物の形状を損なう恐れがあったため現状にとどめた。

No. 1 鋤先は土を落とすと表面はすべて細かい亀裂で剥離していることが確認できた。内部の洗淨を行うために仮接合をしたあと、表面を取り外して錆の除去を行った。

錆取り後、有機溶剤（エタノール 40%・キシレン 40%・酢酸エチル 20%の混合液）中でクリーニングを行い、余分な土砂や油脂分を除去した。

### ④脱塩処理・錆の安定化処理

アルカリ溶液（水酸化リチウム 0.1%水溶液）に遺物を浸漬して脱塩処理を行った。

1日経過すると錆だけではなく、暗オリーブ色の浮遊物が大量に沈殿していた。溶液を交換してさらに5日置いても浮遊物の溶出が認められた。土壤に起因するものか、素材に起因するものかは不明であるがアルカリ水溶液と何らかの反応をしていると考えられるため、遺物の汚染を避けるために水酸化リチウムの添加を中止し、脱アルカリ処理のため蒸留水に浸漬した。蒸留水のみだと溶液の変色は錆のみ（劣化要因の陰イオン）で落ち着いていた。

2日で蒸留水の交換を行い、さらに2日間浸漬したのちエタノール中で脱水を行い、錆の安定化処理のために4日間、BTA 1%エタノール溶液に浸漬した。

樹脂の浸透効率を上げるために脱アルカリ作業後、エタノールに1日間浸漬して脱水作業を行った。

この工程は21日間を要した。

第142表 脱塩処理・錆の安定化処理工程

	作業内容	特記事項	日数
1	水酸化リチウム 0.1%水溶液に浸漬	暗オリーブ色の浮遊物が溶出	1日
2	溶液交換	暗オリーブ色の浮遊物が溶出	5日
3	蒸留水に浸漬（脱アルカリ処理）	安定	2日
4	蒸留水交換	安定	2日
5	エタノールに浸漬（脱水処理）		4日
6	BTA 1%エタノール溶液に浸漬	溶液の変化なし	4日
7	エタノール浸漬	安定	3日

### ⑤樹脂含浸

強化・防錆処理のためにアクリル系樹脂（パラロイド NAD-10）40%ナフサ溶液に遺物を浸漬し、真空デシケータ内に設置して真空減圧含浸を行った。効果を万全にするために3～5日の自然乾燥日を設けて3度樹脂含浸を行った。

2度目の樹脂含浸後、ある程度遺物が強化された状態を見て2次クリーニングを行い、最初の工程で除去できなかった錆を除去した。

### ⑥樹脂塗布

アクリル系樹脂（パラロイド NAD-10）40%ナフサ溶液を2倍に希釈し、つや消し剤（無水ケイ酸）を添加した樹脂を用いて樹脂塗布を行った。固めの筆でムラの無いように遺物表面に塗布し、防錆



効果の強化と樹脂光沢の抑制を図った。3日間自然乾燥させて再度塗布を行う作業を3度実施した。樹脂塗布後は1週間自然乾燥させながら定期的に観察を行った。

### ⑦補填・接合

接合には2液混合型エポキシ系接着剤（コニシ製クイック5）を使用した。No.1とNo.2、No.3は空隙が多いため外気を遮断する目的でエポキシパテで補填作業を行い、アクリル絵の具で周囲になじむように着色を行った。

## 3. 保存処理作業まとめ

遺物の処理後の状態を観察し、写真撮影を行った。

処理前、触れると剥離片が落下していたが樹脂含浸によって強化され、剥離は解消された。

遺物は安定した状態であるが、今後温湿度の変化が少ない場所でユニパック等に納め、タッパーなどに保管することが望ましい。シリカゲルや脱脂綿の同梱は避けた方が良い。プラスチックケース等に納める際は薄葉紙を敷くと養生できる。

今後、保存処理の効果を持続させるためには手袋等を着用して遺物に触れることにされたい。

遺物1点ごとの観察事項と工程記録写真に関しては、「観察記録一覧」、「作業状況写真」を添付している。

## 4. 金属顕微鏡観察

### 1. 試料

試料は、4点で、No.1 鋤先（鋤）、No.2 鉄斧、No.3 刀子、No.4 鉄鏟である。分析は、日鉄住金テクノロジー株式会社、大澤正己氏、鈴木瑞穂氏の協力を得た。

### 2. 分析方法

分析は、試料断面の顕微鏡観察である。各鉄製品から採取された試料を樹脂に埋込み、断面を鏡面研磨した。観察には金属反射顕微鏡を用い、100倍および400倍（必要に応じてさらに25倍）写真を撮影した。

### 3. 結果

試料（No.1～4）断面の顕微鏡写真を図版101に示す。調査を実施した試料は4点とも錆化が進行しており、金属鉄部が残存していない。

このうち、No.2 鉄斧では、芯部に部分的に金属組織の痕跡が確認され、図版101の⑥は、その拡大である。素地の青灰色部はフェライト（Ferrite： $\alpha$ 鉄）、その内部に点在する黒灰色部はパーライト（Pearlite）で、この箇所の炭素含有率は0.3%程度の鋼と推定される。この鉄斧は、フェライトとパーライトの境界が不明瞭であり、この箇所の炭素含有率の推定は困難であるが、本来は亜共析組織（ $C < 0.77$ ）の鋼であったと推測される。

刀子（No.3）でも、部分的に金属組織の痕跡が残存する。図版102の③は、その拡大である。写

真中の微細な明白色部は、パーライト〔ごく薄いフェライトとセメンタイト (Cementite : Fe<sub>3</sub>C) が交互に並んだ層状の組織) を構成するセメンタイトと推定される。

鋤先 (No. 1) および鉄鍬 (No. 4) は、全体に金属組織の痕跡は不明瞭であった。

#### 4. 金属顕微鏡観察まとめ

No. 2 はフェライトとパーライトが存在する炭素 0.77% 以下の鋼である。鋼は柔らかいがねばりがあるため、農具や工具類の製作に使用されたと推定できる。No. 3 刀子はパーライトを構成するセメンタイトの残存が推定される。パーライトは製造工程で冷却速度によって厚みが変わる。ごく薄い層が確認されているため、速い速度で冷却を行って製作していると推定される。セメンタイトは比較的硬く、腐食しにくい性質があるため刀子の残存状態が良好であったと考えられる。



洗浄作業 1



脱塩処理 1 回目 \_1



脱塩処理後 1 回目 \_1



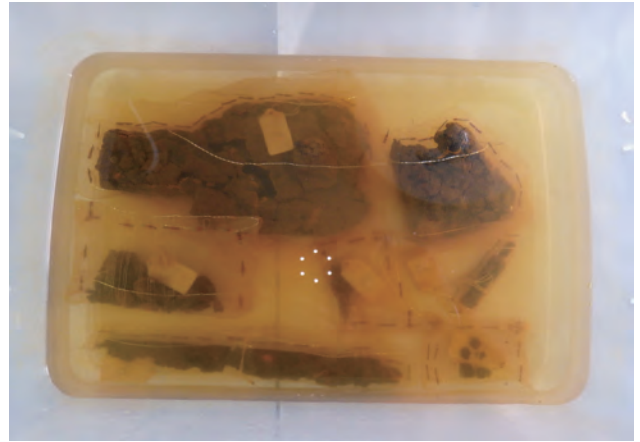
脱塩処理後 2 回目 \_2

図版 96 作業工程写真 1





脱塩処理後 3 回目 \_1



脱塩処理後 4 回目 \_1



X線撮影状況 1



X線撮影状況 5



遺物計測状況 1



遺物観察記録状況 2



クリーニング作業状況 1



クリーニング作業状況 4

図版 97 作業工程写真 2

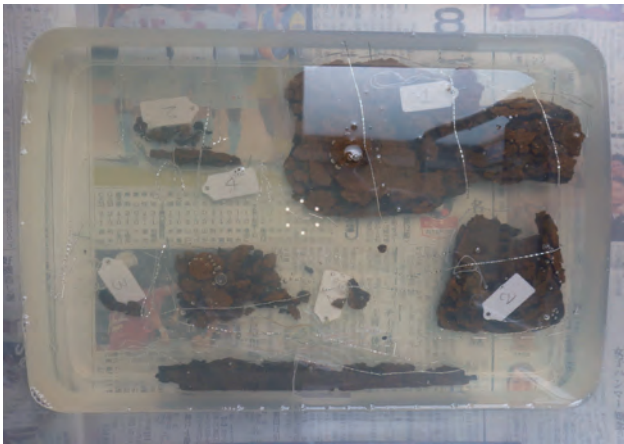




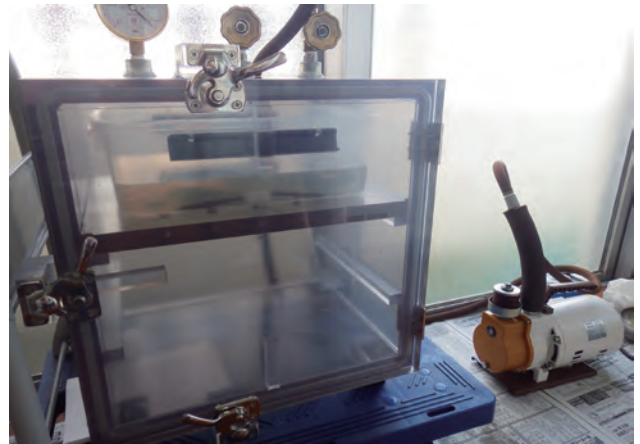
脱塩処理 5 回目 エタノール \_1



脱塩処理 6 回目 BTA1% \_1



含浸前 1 回目 \_1



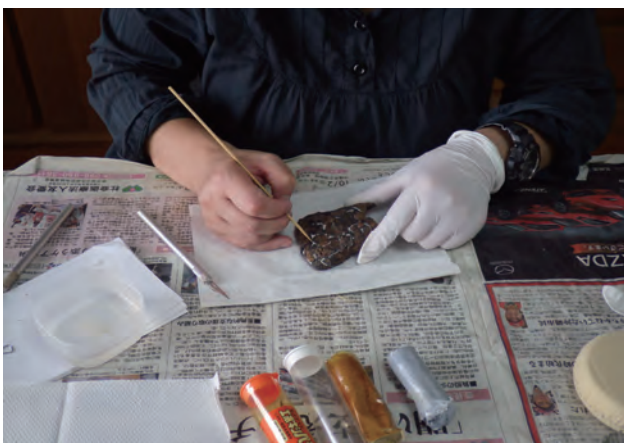
含浸前 1 回目 \_3



含浸後拭取り作業 1 回目 \_1



樹脂塗布 1 回目 \_2



パテ埋め作業 \_2



処理後写真撮影状況 \_1

図版 98 作業工程写真 3





No. 1 表面



No. 1 裏面



No. 2 表面



No. 2 裏面

図版 99 処理後写真 1



No. 3 表面



No. 3 裏面



No. 4 表面



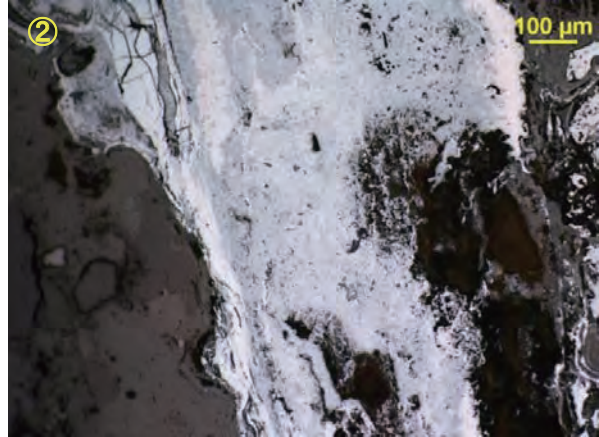
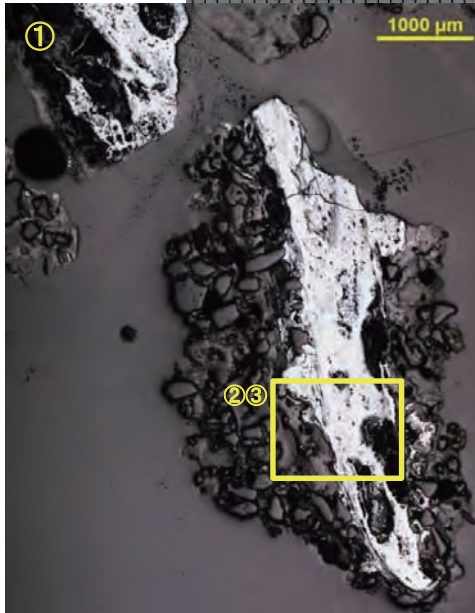
No. 4 裏面

図版 100 処理後写真 2



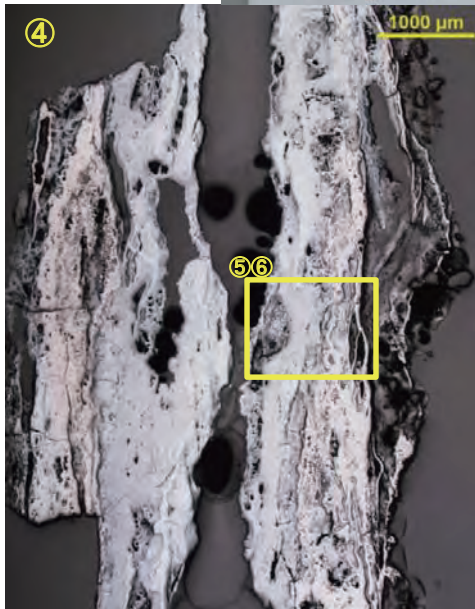
No.1 鋤先（鋏）  
 ①～③明灰色部、銹化鉄、金属組織痕跡：不明瞭

断面観察試料



No.2 鉄斧  
 ④～⑥明灰色部、銹化鉄、⑥内側拡大：亜共析組織痕跡

断面観察試料

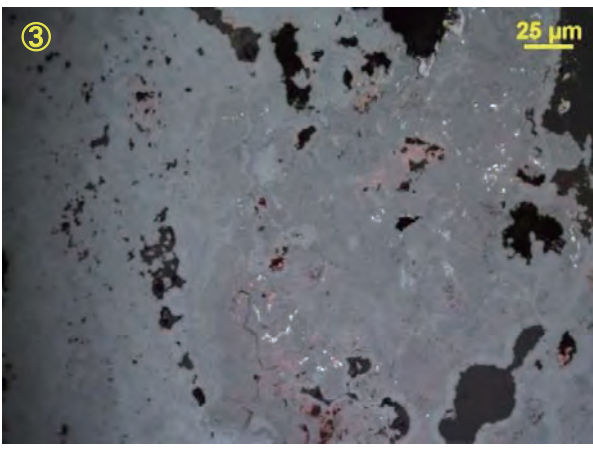
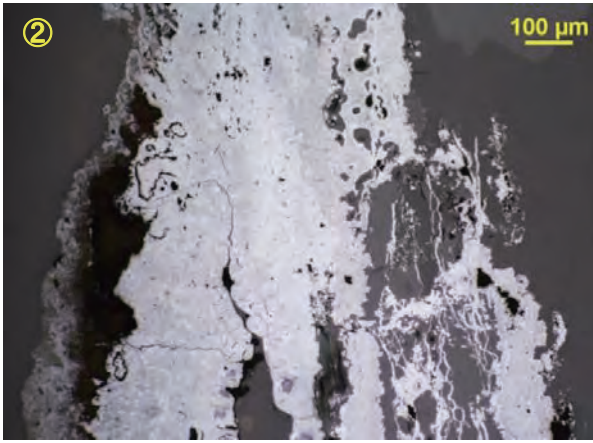
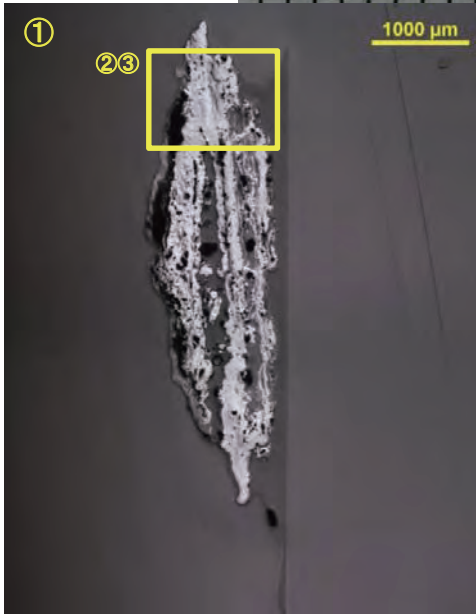
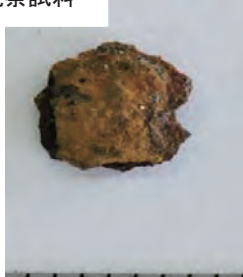


図版101 鉄製品の断面顕微鏡写真1



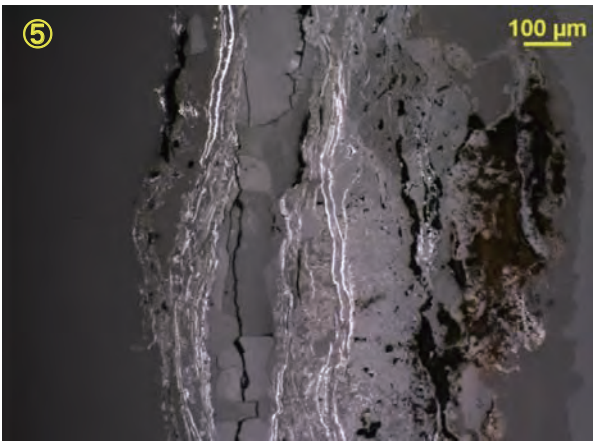
No.3 刀子  
①~③明灰色部、銹化鉄、金属組織痕跡：亜共析組織痕跡

断面観察試料



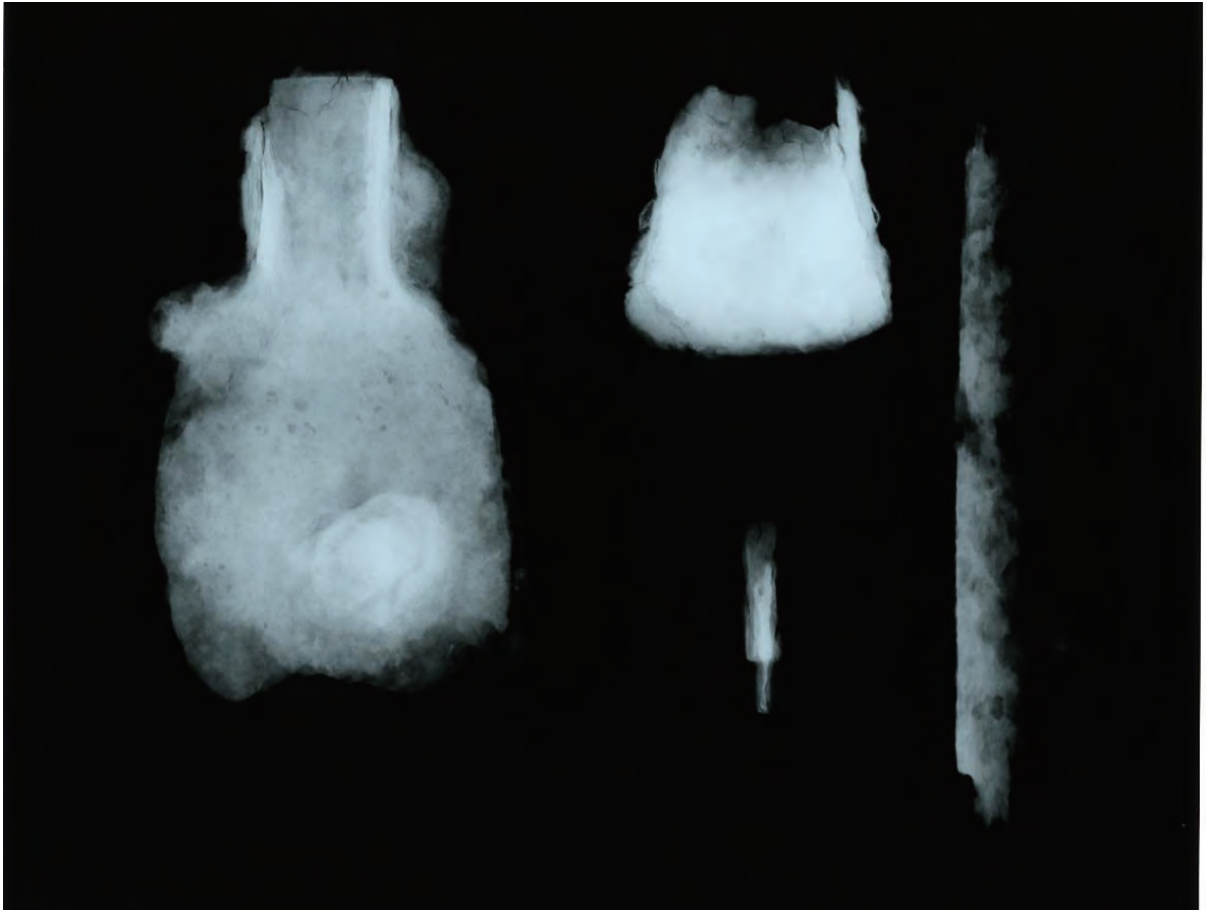
No.4 鉄鍬  
④~⑥明灰色部、銹化鉄、金属組織痕跡：不明瞭

断面観察試料

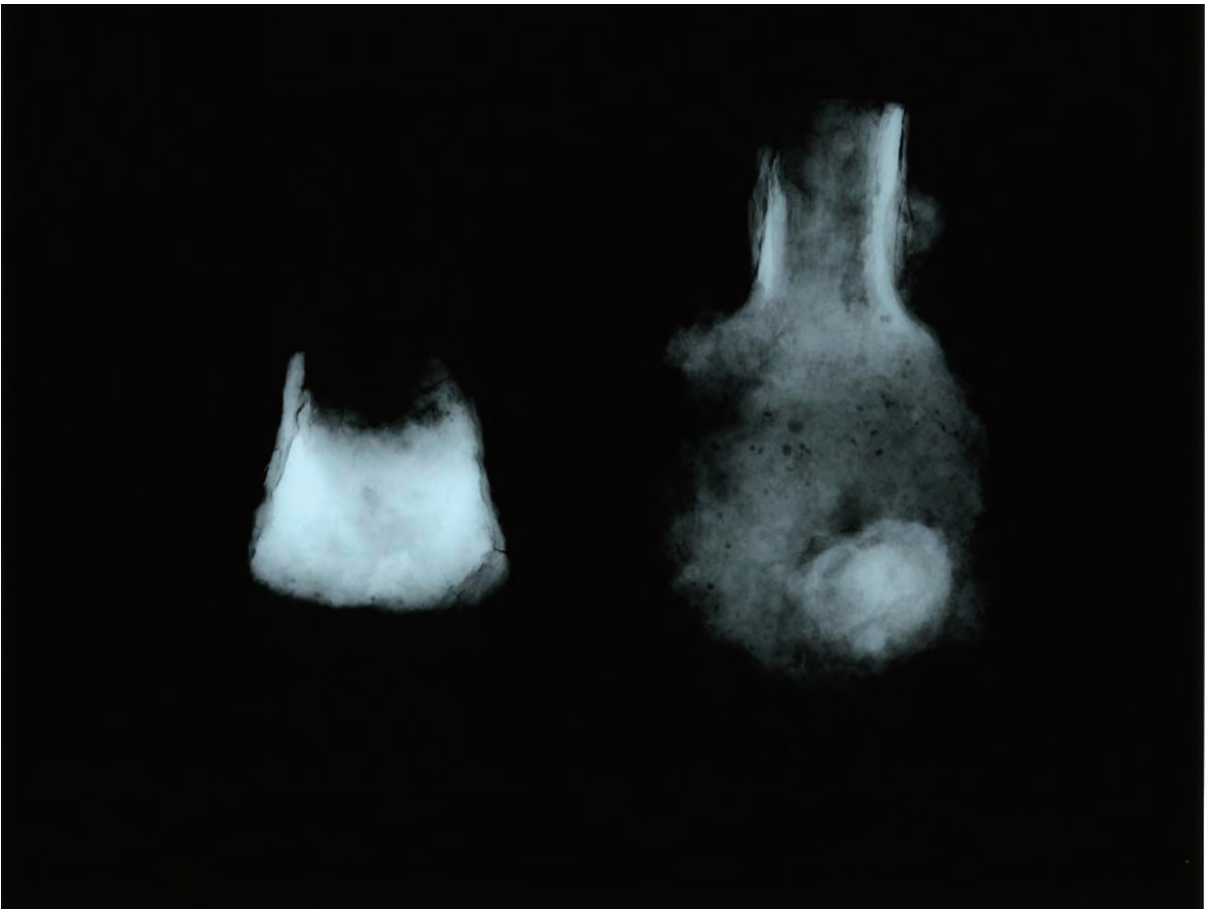


図版102 鉄製品の断面顕微鏡写真2



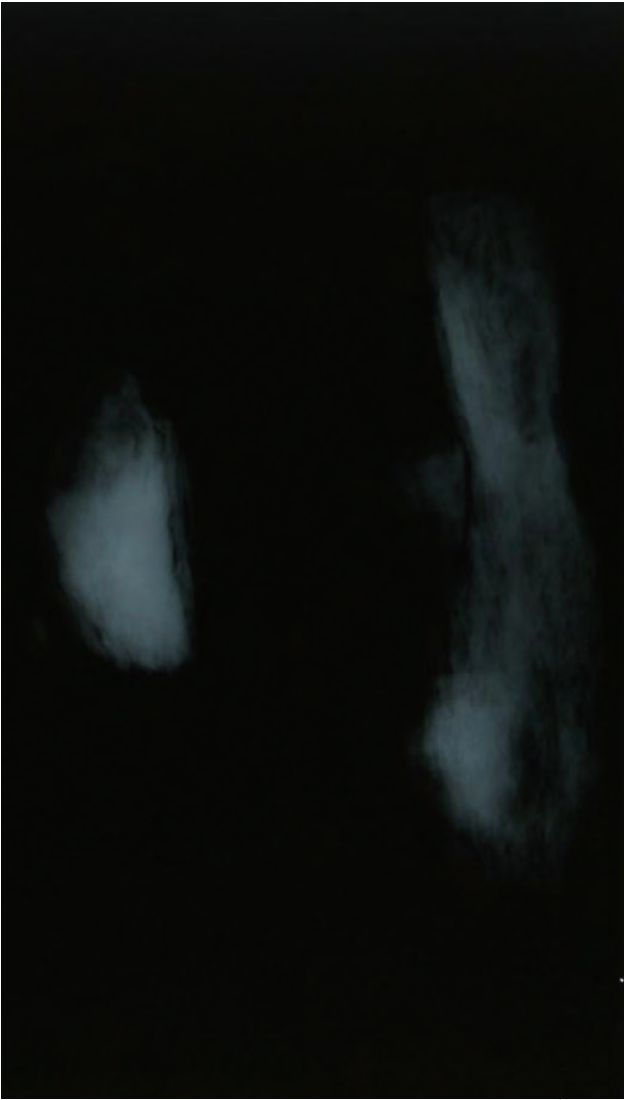


1-4

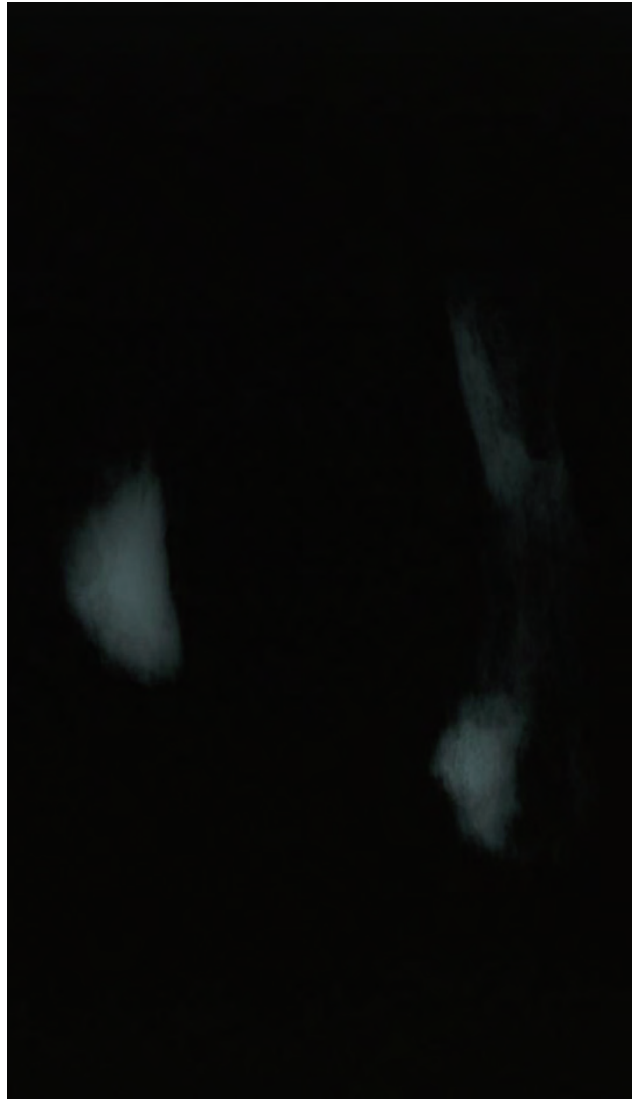


1-2

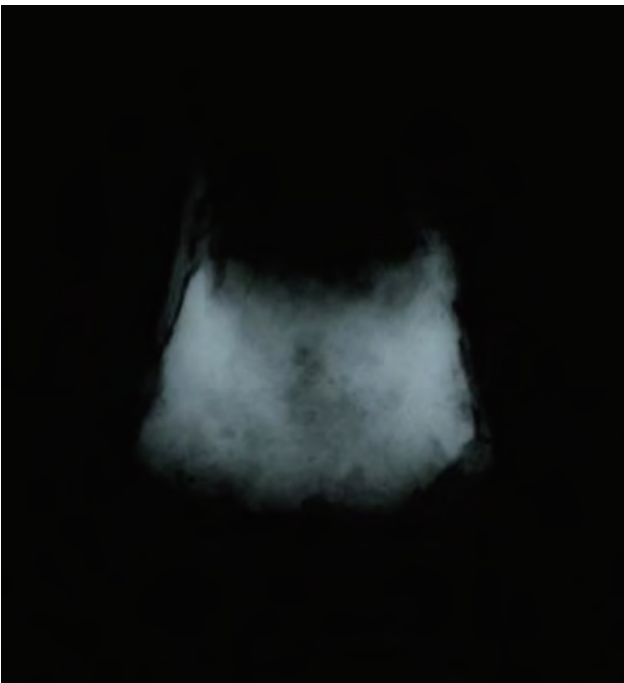
図版 103 X線画像 1



1-2 側面 1



1-2 側面 2



2

図版 104 X線画像 2

## 第VI章 まとめ

### 第1節 旧キャンプ桑江北側における年代測定結果

本遺跡が所在する旧キャンプ桑江北側では、平成7年度以降、試掘調査・範囲確認調査・本調査が断続的に実施されており、これまで刊行された調査報告書は本書を含めて17冊にのぼっている。個別に設定された遺跡は数多いが、これらを地勢の異なる小字ごとにまとめると、北から平安山原・伊礼原・小堀原・後兼久原の4つにほぼ集約できる。これらの報告においては、放射性炭素による年代測定が数多く行われており、これまでの発掘調査成果の意義を更に高めるような結果が得られている。本節においては、貝塚時代後期～グスク時代の範疇に入る測定値を再集成する。

#### 集成略表の作成

放射性炭素年代測定結果には、やや難解な条件が付された上で提示されるのが一般的である。これは、その分析・計算の過程を顕示する必要があり、また後年の暦年較正曲線・プログラムの改正に備えるためでもある。「測定年代 (BP)」・「補正年代 (BP)」・「暦年較正年代 (cal)」が示され、最後者には測定誤差 $\sigma$  (真の値68%)・ $2\sigma$  (真の値95%)の2パターンが、更に $\sigma$ ・ $2\sigma$ それぞれにおける相対比ごとの値が算出されることになり、1つの試料に対して多くの値を提示されることになる。ここでは単純に、その煩雑さを解消するために、やや恣意的ではあるが以下のような調整をして提示する (第143表)。

- ・「補正年代 (BP)」と「暦年較正年代 (cal)」のみを抜粋した。前者は基本的に1桁目をまるめていない。
- ・「暦年較正年代 (cal)」は $\sigma$ と $2\sigma$ を提示するが、それぞれ複数の値がある場合は、相対比が最も高いもののみを抜粋し、その相対比も併せて記載した。

#### 年表への反映

第143表に抜粋した個々の暦年較正年代を、年表形式のものに反映させたものが第156図である。実年代を投影したものを可視化することにより、遺跡内容の併行関係や変遷の理解の一助となることを企図したが、あくまでも相対的に高確率である値のみを図示しているということは十分に留保されたい。

#### 伊礼原・平安山原における様相

伊礼原・平安山原からは各期における試料が得られていることは、第156図に示す通りであり、北谷町における当該期の習俗変遷を考える上で、非常に有用と考える。これとは対照的に、貝塚時代後期後半に空白期をもつ小堀原・後兼久原で得られたデータを重ねることで、更に重層的・複眼的な考察が可能となろう。

第143表 旧キャンプ桑江北側における主な年代測定値一覧

番号	種類	試料	補正年代 (BP)	暦年較正年代 (cal)		相対比
				$\sigma$	$2\sigma$	
1	浜屋原式土器 『平安山原B遺跡』 (2015)	付着炭化物	2,345±26	$\sigma$	BC 410 — BC 390	1.000
				$2\sigma$	BC 486 — BC 377	1.000
2	燃焼遺構 『平安山原B遺跡』 (2015)	炭化材 (マツ属)	2,290±24	$\sigma$	BC 397 — BC 368	1.000
				$2\sigma$	BC 402 — BC 357	0.857
3	阿波連浦下層式土器 『平安山原B遺跡』 (2015)	付着炭化物	2,220±23	$\sigma$	BC 263 — BC 210	0.562
				$2\sigma$	BC 329 — BC 204	0.842
4	条痕土器 (大当原式?) 『平安山原B遺跡』 (2015)	付着炭化物	1,889±25	$\sigma$	AD 78 — AD 130	1.000
				$2\sigma$	AD 60 — AD 178	0.936
5	貝層Ⅲ群-5層 『平安山原B・C遺跡』 (2016)	イノシシ下顎骨	1,887±25	$\sigma$	AD 77 — AD 132	1.000
				$2\sigma$	AD 63 — AD 179	0.922
6	貝層Ⅲ群-5層土器 『平安山原B・C遺跡』 (2016)	付着炭化物	1,795±26	$\sigma$	AD 210 — AD 255	0.580
				$2\sigma$	AD 134 — AD 259	0.800
7	大当原式土器 『伊礼原A遺跡』 (2014)	付着炭化物	1,767±24	$\sigma$	AD 282 — AD 324	0.586
				$2\sigma$	AD 210 — AD 346	0.962
8	B流路泥炭層 『平安山原B遺跡』 (2015)	炭化材 (広葉樹)	1,598±22	$\sigma$	AD 488 — AD 533	0.651
				$2\sigma$	AD 407 — AD 536	1.000
9	貝層Ⅲ群-1層 『平安山原B・C遺跡』 (2016)	イノシシ下顎骨	1,340±25	$\sigma$	AD 655 — AD 679	1.000
				$2\sigma$	AD 647 — AD 695	0.903
10	第3号土壇墓 『伊礼原D遺跡』 (2016)	人骨 (肋骨)	1,261±20	$\sigma$	AD 693 — AD 730	0.644
				$2\sigma$	AD 679 — AD 773	1.000
11	人骨03 (平A、抜歯) 『伊礼原D遺跡』 (2016)	人骨 (指骨)	1,197±22	$\sigma$	AD 788 — AD 830	0.545
				$2\sigma$	AD 770 — AD 889	1.000
12	貝層Ⅲ群-1層 『平安山原B・C遺跡』 (2016)	イノシシ下顎骨	1,140±25	$\sigma$	AD 916 — AD 967	0.700
				$2\sigma$	AD 859 — AD 979	0.878
13	Ⅲe層 『平安山原B・C遺跡』 (2016)	炭化物 (D2201)	1,104±21	$\sigma$	AD 946 — AD 977	0.545
				$2\sigma$	AD 893 — AD 987	1.000
14	Ⅲe層 『平安山原B・C遺跡』 (2016)	炭化物 (D2200)	1,102±22	$\sigma$	AD 947 — AD 979	0.562
				$2\sigma$	AD 892 — AD 988	1.000
15	Ⅲe層 『平安山原B・C遺跡』 (2016)	炭化物 (D2323)	1,081±21	$\sigma$	AD 961 — AD 994	0.697
				$2\sigma$	AD 942 — AD 1015	0.734
16	人骨05 『平安山原A遺跡』 (2016)	人骨 (橈骨)	1,072±23	$\sigma$	AD 968 — AD 1014	0.916
				$2\sigma$	AD 944 — AD 1018	0.814
17	滑石製品 『小堀原遺跡』 (2012)	付着炭化物	1,067±24	$\sigma$	AD 971 — AD 1015	0.926
				$2\sigma$	AD 943 — AD 1020	0.824
18	Ⅲd層 (耕作土) 『平安山原B・C遺跡』 (2016)	炭化物 (D2219)	1,065±21	$\sigma$	AD 975 — AD 1013	1.000
				$2\sigma$	AD 951 — AD 1020	0.890
19	オオムギ 『小堀原遺跡』 (2012)	炭化種子	1,028±28	$\sigma$	AD 992 — AD 1022	1.000
				$2\sigma$	AD 967 — AD 1040	0.972
20	Ⅲe層 『平安山原B・C遺跡』 (2016)	炭化物 (D2199)	1,012±21	$\sigma$	AD 1011 — AD 1027	0.737
				$2\sigma$	AD 986 — AD 1038	1.000
21	Ⅲe層 『平安山原B・C遺跡』 (2016)	炭化物 (D2427)	973±21	$\sigma$	AD 1021 — AD 1045	0.581
				$2\sigma$	AD 1081 — AD 1151	0.530
22	3号土坑墓 『小堀原遺跡』 (2012)	出土炭化物	962±22	$\sigma$	AD 1091 — AD 1121	0.468
				$2\sigma$	AD 1076 — AD 1154	0.645
23	泥炭層埋没林 『伊礼原D遺跡』 (2013)	自然木 (サガリバナ)	950±30	$\sigma$	AD 1082 — AD 1125	0.532
				$2\sigma$	AD 1024 — AD 1156	1.000
24	イネ 『小堀原遺跡』 (2012)	炭化種子	948±25	$\sigma$	AD 1083 — AD 1124	0.553
				$2\sigma$	AD 1062 — AD 1155	0.735
25	カムイヤキ 『小堀原遺跡』 (2012)	内炭化物	944±22	$\sigma$	AD 1083 — AD 1125	0.575
				$2\sigma$	AD 1063 — AD 1155	0.754
26	5号土坑墓 『小堀原遺跡』 (2012)	出土炭化物	941±24	$\sigma$	AD 1081 — AD 1126	0.582
				$2\sigma$	AD 1029 — AD 1155	1.000
27	アワ 『小堀原遺跡』 (2012)	炭化種子	920±24	$\sigma$	AD 1045 — AD 1095	0.617
				$2\sigma$	AD 1030 — AD 1170	1.000
28	5号高床式建物 『後兼久原遺跡』 (2003)	出土炭化物	900±50	$\sigma$	AD 1040 — AD 1215	1.000
				$2\sigma$	AD 1020 — AD 1250	1.000
29	ダスク時代人骨 (平A) 『伊礼原D遺跡』 (2008)	人骨	852±28	$\sigma$	AD 1165 — AD 1218	1.000
				$2\sigma$	AD 1153 — AD 1259	0.950
30	第5号土壇墓 『伊礼原D遺跡』 (2016)	人骨 (肋骨)	844±22	$\sigma$	AD 1181 — AD 1220	0.859
				$2\sigma$	AD 1161 — AD 1250	1.000
31	人骨11 『平安山原A遺跡』 (2016)	人骨 (腓骨)	829±24	$\sigma$	AD 1204 — AD 1250	0.879
				$2\sigma$	AD 1167 — AD 1258	1.000
32	埋納土坑 『平安山原B・C遺跡』 (2016)	ウマ下顎骨	560±23	$\sigma$	AD 1394 — AD 1413	0.550
				$2\sigma$	AD 1388 — AD 1423	0.502



## 各期の考察

### 1) 貝塚時代後期前半① (阿波連浦下層式・浜屋原式期)

第143表-1～3を提示した。1「浜屋原式土器付着炭化物」と3「阿波連浦下層式土器付着炭化物」の値は、現在通説として考えられている土器型式の新古関係とは逆転している。阿波連浦貝塚でも炭化材を用いた同様の測定がなされているが、こちらの結果は阿波連浦下層式が $2480 \pm 100\text{BP}$ 、浜屋原式(新)が $2060 \pm 100\text{BP}$ であった(2008 小林)。こちらの結果が妥当なのであれば、1～3のうち何らかのエラーがあったと考えられるのは3であり、あと200年ほど古ければ調和する形となる。1と3はごく近くにて得られた試料であり、3の土器片に後代の炭化物が付着したことも考えられなくもない。

平安山原B遺跡における阿波連浦下層式土器については、別の留意事項が付帯する。同遺跡において、東日本縄文時代晩期の所産或いはその影響下のものと考えられる「大洞式土器」の出土が報告されている(2016 北谷町教委)。この縄文時代晩期土器と最も近い年代観を共有しているのが、平安山原地区で最も古い土器となる阿波連浦下層式土器なのである。

工字文をもつ前述の縄文土器は、大洞A式に比定される。小林(2008)において示されている大洞A式土器についての年代測定値では、高瀬山遺跡(大洞A2式)試料の $2490 \pm 40\text{BP}$ というのが最下値であり、阿波連浦貝塚での測定値と非常に近い。

科学的手法による測定結果はそれ自体、大いに尊重する必要がある、簡単に「エラー」などと言ってはならないことは自覚している。しかしその上で、平安山原での人々の活動開始時期が、年代的に更なる古くなるという可能性を秘めていることは、留保しておきたい。

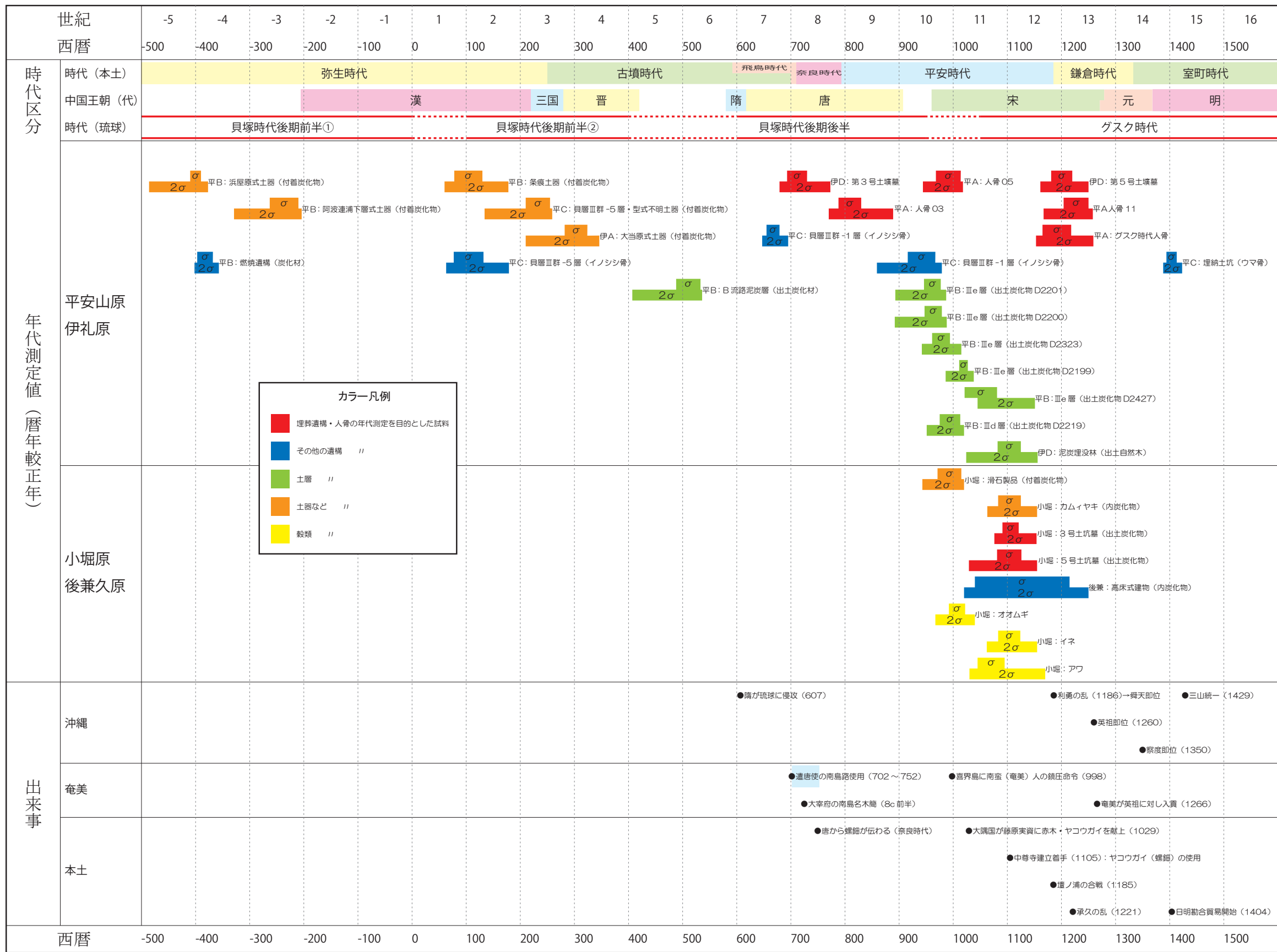
### 2) 貝塚時代後期前半② (大当原式期)

第143表-4～7が該当し、特に平安山原C遺跡で検出された貝層Ⅲ群5層の試料は当該期の良好な試料といえよう。測定結果からは、1～4世紀という年代観が与えられている。この後、海側への浜堤発達に伴って古い浜堤間の湿地埋没が進むことになるが、この埋没以降は大当原式期のプライマリーな土層が確認できなくなる。従って、この湿地埋没が1つの定点となるが、埋没直前の繁茂植物と考えられるのが第143表-8であり、5～6世紀の値を示している。

### 3) 貝塚時代後期後半 (アカジャンガー式・フェンサ下層式期)

この範疇のものとして差し支えないのは、第143表-9～12である。平安山原C遺跡の貝層Ⅲ群I層から出土したイノシシ下顎骨2点には、測定値に250年ほどの隔たりが認められるが、いわゆる「くびれ平底土器」に対して与えられた7～10世紀という値は、これまで考えられてきた年代観に概ね符合している。

当該期に該当する測定値が得られた人骨は2体あった。1つは、本書で報告した伊礼原D遺跡の第3号土壙墓である。被葬者は砂丘上に仰臥屈葬された少女で、肋骨試料から7～8世紀という値を示した。付近に同時期ではないかと思われる土壙墓がもう2基検出されており、いずれの被葬者にも抜歯は認められていない。もう1つは、平安山原A遺跡砂丘上で検出された人骨03である。こちらには下顎切歯の抜歯が認められたため、伊礼原D遺跡のものより古相を示すことが予想されたが、指骨試料から得られた測定値は8～9世紀であった。本地域における抜歯風習のあり方について、一石を投じる結果となっている。



第156図 年代測定結果と関係年表

#### 4) 貝塚時代～グスク時代の過渡的時期

非常に取扱いが難しい時期となるが、第143表-13～21の試料9点を対象として考えてみたい。21以外は10～11世紀の値が得られている。試料9点のうち6点は、平安山原B遺跡で出土した鉄製風呂鉢の上層土に含まれる炭化物である。この炭化物試料の年代をもって鉄鋏の帰属年代を確定させることに慎重さが求められることは、同書においても述べているが、沖縄における農耕開始或いは鉄鋏流入がこの時期であった「可能性」があることもまた、十分に留意しておきたい。

上記6点と近似した値を示したのが、小堀原遺跡における滑石製品付着炭化物(17)とオオムギ種子(19)である。前者は九州からの滑石流入、後者は(流入物でないとすれば)農耕開始という、グスク時代の定義に関わる重要な事象であり、これらの結果が妥当であるならば、鉄鋏に与えられる年代観にも大きな影響を及ぼすこととなるであろう。

16は、平安山原A遺跡の浜堤上で得られた人骨試料である。

#### 5) グスク時代前半

第143表-22～31が該当し、12～13世紀の値が得られている。10点のうち6点が、埋葬遺構或いは人骨に関わる試料となっている。小堀原遺跡の埋葬遺構2基が、伊礼原D遺跡・平安山原A遺跡の人骨3体よりもやや先行しており、前者のうち1基にはカムイヤキが、後者のうち1体にはグスク土器が副葬されていた。

また、小堀原遺跡から出土したイネ・アワの種子がこの年代値を示しており、農耕が行われていた可能性が高いことを窺わせている。

#### 6) グスク時代後半

第143表-32は、平安山原C遺跡で検出された土坑出土ウマ下顎骨を試料とした測定結果であり、14～15世紀の値を示している。南宋大銭が相伴していることから、宋銭の流通が明代であり、その中には磨輪されない大銭が含まれていた可能性が示唆される結果となった。

## 第2節 伊礼原D遺跡の遺物平面分布

今回調査区は、既刊『伊礼原D遺跡』(2013)の調査区と隣接している。この両調査区を合わせ、各遺物の平面分布図を作成し、伊礼原D遺跡全体における各期の様相を検討した。

平面分布図の作成方法については、『平安山原A遺跡』(2016)第V章第3節「各期遺物の平面分布の検討」、及び『平安山原B・C遺跡』(2016)第V章第1節「平安山原における遺物平面分布」を踏襲し、各出土遺物の点数(破片数)を基にした。器種や帰属時期によっては破片数の絶対量が大きく異なるため、平面的変遷を相対的に比較できるように、分布の疎密表示をするにあたっては、表計算ソフトMicrosoft Excelを用いて以下のような調整を行った。

- ① 各遺物の破片総数を、遺物が出土したグリッド数で除し、これを「中平均値」として設定。
- ② 中平均値を上回る点数が得られたグリッドに限り、その破片総数をグリッド数で除し、「上平均値」を設定。
- ③ 中平均値を下回る点数が得られたグリッドに限り、その破片総数をグリッド数で除し、「下平均値」を設定。

- ④ セルの書式スタイルに3色スケールを用い、得られた3値をそれぞれ最大値・中間値・最小値として入力。
- ⑤ この結果、上平均値が最濃に、中平均値が中間色に、下平均値が最淡に塗り潰されることになり、併せて突出した大小値が除外される。

伊礼原D遺跡からは、縄文時代（貝塚時代前期）～近代の遺物が得られている。このうち縄文時代の遺物については、局所的発掘調査によってのみ得られているため、この考察からは除外した。また、近代遺物については出土量が僅少であるため、同様に除外し、以下のように時期の分類を行った。

- 貝塚時代後期前半期 …………… 土器（主に大当原式）
- 貝塚時代後期後半期 …………… 土器（くびれ平底土器、①アカジャンガー式・②フェンサ下層式）
- グスク時代前半期（宋～明代初）… グスク土器・カムイヤキ・白磁・青磁
- グスク時代後半期（明代）…………… 白磁・青磁・褐釉・染付など
- 近世期（清代）…………… 白磁・青磁・褐釉・染付・本土産陶磁器

**貝塚時代後期前半期：破片数 6,753 点（大当原式 6,308、その他尖底 445）**

現海岸線及び旧ナガサ川から遠く、内陸的な印象を受けてしまうが、『伊礼原遺跡』（2013）でも報告されているように、当時の浜堤がここまでしか発達していなかったことを示している。遺物が出土するレベルは、海に向かって落ち込んでおり、その上に新たな砂が覆われ、第一浜堤は発達していく。

**貝塚時代後期後半期：破片数 4,422 点（アカジャンガー式 1,504、フェンサ下層式 2,511、その他 407）**

前代に比べて分布域が広がっていることが分かる。これは浜堤がさらに発達し、生活域もそれに伴って海側に前進したことを示している。今回報告された浜堤上の土壌墓群は、当該期に帰属することは明らかである。

今回区別を試みたアカジャンガー式土器とフェンサ下層式土器について見てみると、分布が重なるところと重ならないところがあることが分かる。両者の分離・区別は難作業であり、引き続いたの検討事項にはなるものの、今回の区別作業がある程度成果を挙げることができたとも言えよう。

**グスク時代前半期：破片数 57 点（グスク土器 47、カムイヤキ 5、白磁 1、青磁 4）**

対象遺物点数が57点と非常に少ないが、この少なさが他の時期との比較において有意義な結果となっている。この時期の人々の痕跡は、同じ返還地内に所在する小堀原遺跡・後兼久原遺跡に集約されており、当該期における本遺跡の在り様が窺われる。

遺構・遺物は第二浜堤にまで広がっており、少なくともこの時期までにこの第二浜堤が形成され、墓域としての利用が看取されるのである。

**グスク時代後半期：破片数 2,333 点（白磁 193、青磁 855、褐釉 999、染付 264、その他 22）**

再び第一浜堤にて、広くて強い分布を示す。建物を構成すべき多数のピット群とも分布域が重なっており、当該期の活動が活発であったことを示している。



近世期：破片数 727 点（白磁 11、青磁 10、褐釉 5、染付 61、先島土器 19、沖施 170、沖無 399、本磁 52）

17 世紀ごろに流路 3（1510SD）が埋没し、分布は第二浜堤にまで広がってくる。中央やや上方にも強い集中が認められるが、これは戦時中に構築された重機用道路、通称「ビーチロック道」に使われた盛土に含まれる遺物であり、かなり新しいものが多く含まれている。

## 脊椎動物骨の分布

### 1. 海生動物：同定点数 851 点（海獣類 178、魚類 673 点）

海獣類とはクジラ類・ジュゴン・ウミガメを指す。平面分布は貝塚時代後期遺物のそれに類似しており、出土層位も併せて考えると、前半期のもの、すなわち大当原式期に帰属するものが多いと考えられる。

### 2. イノシシ：同定点数 1,280 点

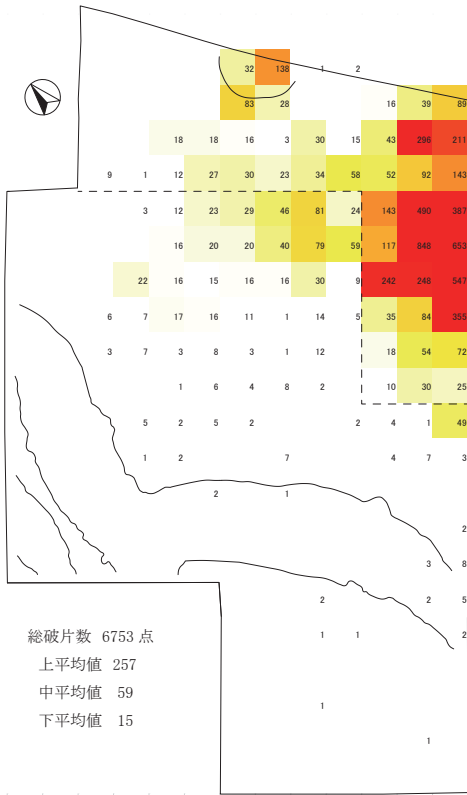
分布は海生動物に似るが、それより更に広い分布を示す。貝塚時代後期後半の一括廃棄場所である 4409SX 付近にも強い集中が認められるため、貝塚時代後期全体にわたって食用されたことが考えられる。

### 3. ウシ・ウマ：同定点数 434 点（ウシ 211、ウマ 87、ウシ or ウマ 136）

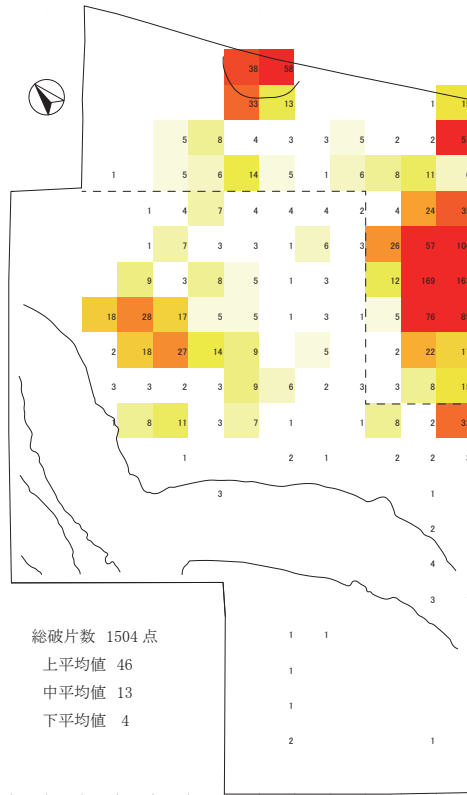
ウシとウマではほぼ同じ様相を示すが、前述した海生動物およびイノシシとは分布が大きく異なっている。第二浜堤にまで分布が及んでいることから、グスク時代前半～近世のものと考えられることができる。ただし、『平安山原 B・C 遺跡』におけるウシ・ウマの分布は、グスク時代前半との調和が強く認められたため、今回得られた資料も当該期に帰属する可能性は留保しておきたい。

### 4. イヌ：同定点数 209 点

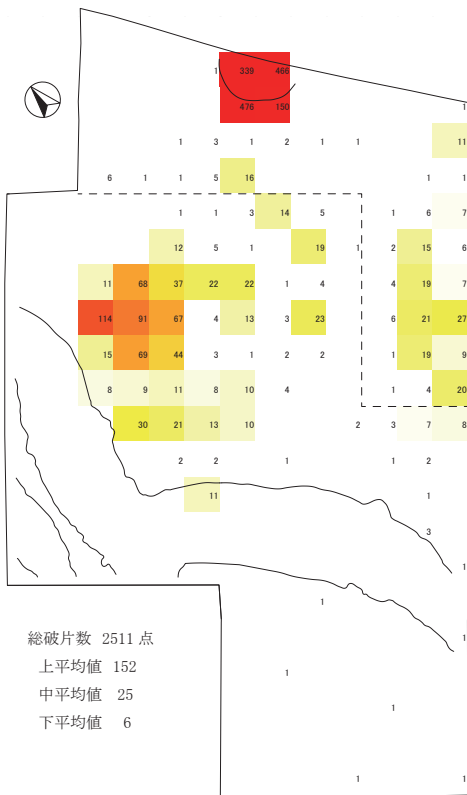
主に第一浜堤に分布しているということ以外、特異な傾向は認められなかった。これはイヌが伴侶動物であるために、他の食用動物とは異なった遺存過程を辿ったことによるものと考えられる。今回調査区では、貝塚時代後期の埋葬遺構も検出されている。



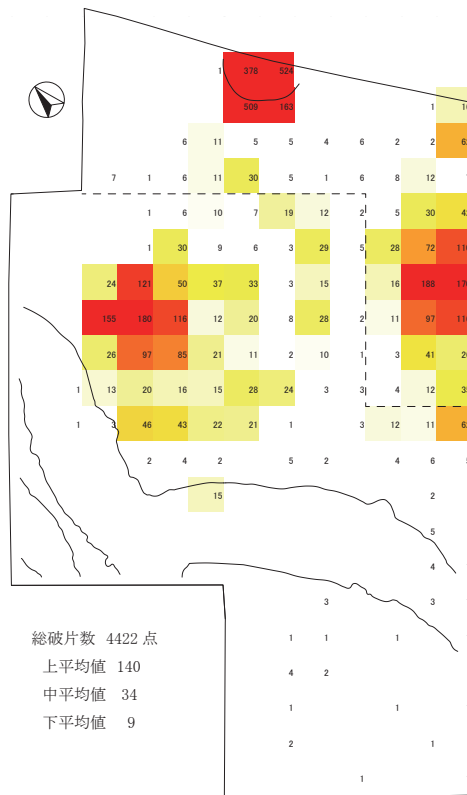
土器分布 (貝塚時代後期前半)



土器分布 (アカジャンガー式)

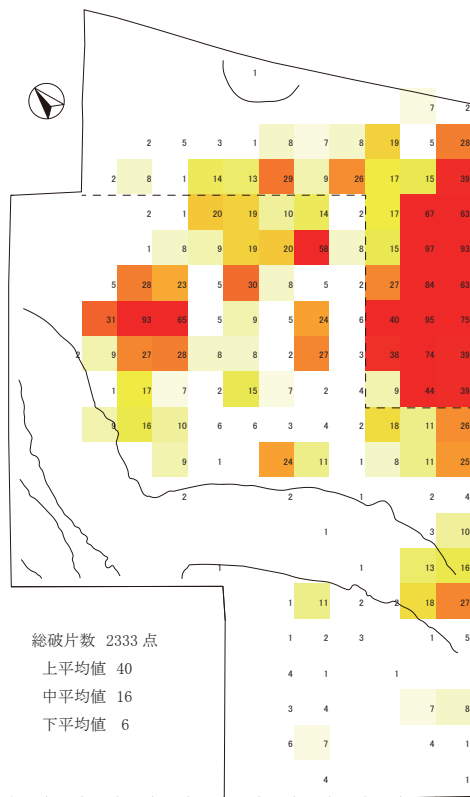
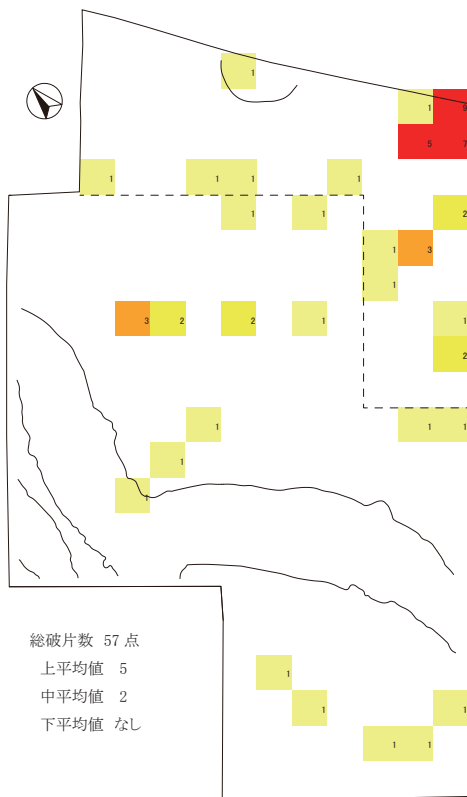


土器分布 (フェンサ下層式)



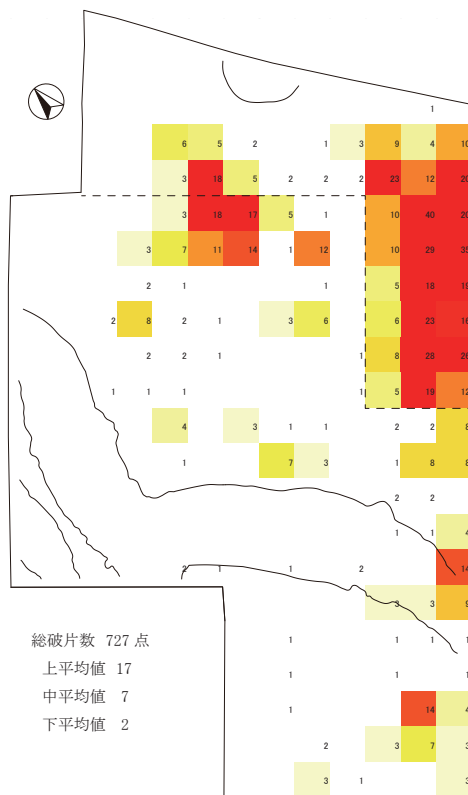
土器分布 (貝塚時代後期後半)

第 157 図 遺物平面分布 (貝塚時代後期)



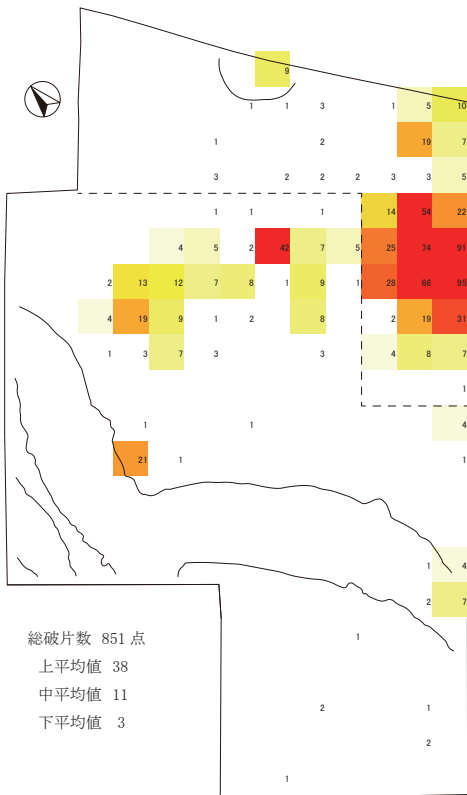
遺物分布 (グスク時代前半)

遺物分布 (グスク時代後半)

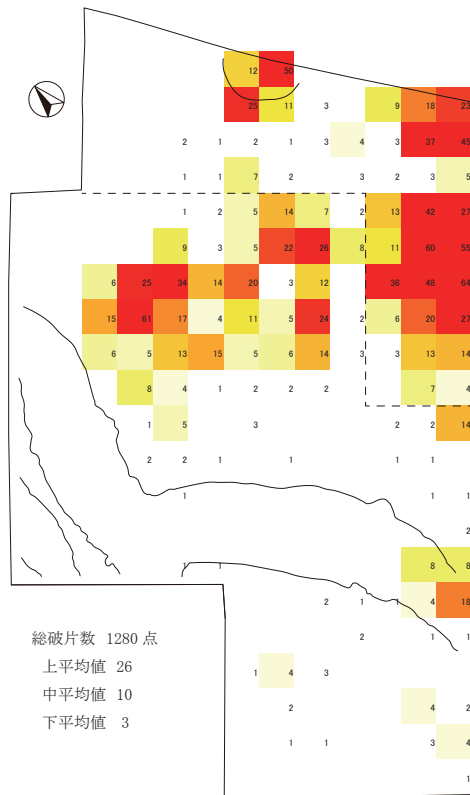


遺物分布 (近世)

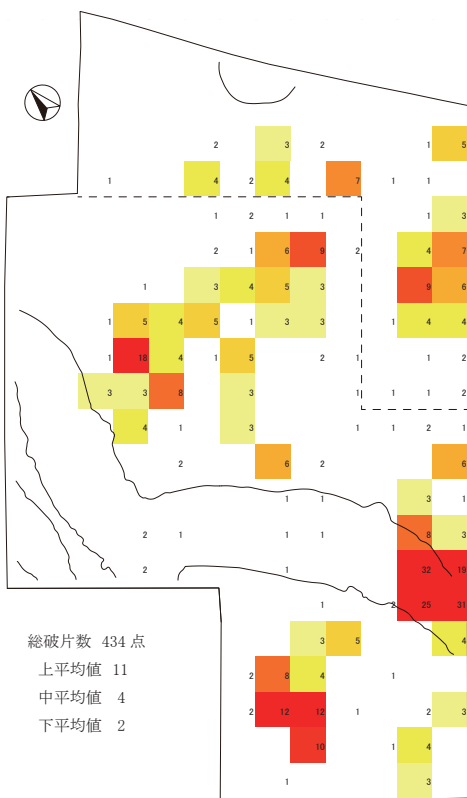
第 158 図 遺物平面分布 (グスク時代～近世)



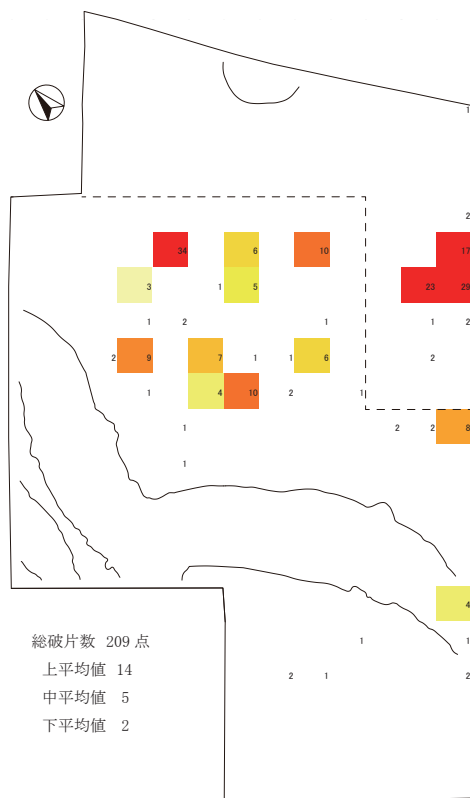
骨分布 (海生動物)



骨分布 (イノシシ)



骨分布 (ウシ・ウマ)



骨分布 (イヌ)

第 159 図 骨平面分布 (脊椎動物)



### 第3節 「伊礼原」の変遷

第I章で述べたように本報告書は伊礼原D遺跡（油分無し地区 町35）を含めた一連の遺跡であるが、調査原因が異なることから今回「油分地区」としてまとめたものである。

第1節では平安山原・伊礼原・小堀原・後兼久原の貝塚時代後期～グスク時代までの放射性炭素年代測定値を時系列で再集成してみた。第2節では伊礼原D遺跡の油分無し地区を含めて、貝塚時代後期前半から近世に属する遺物、食料となる脊椎動物遺体を平面分布に示した。

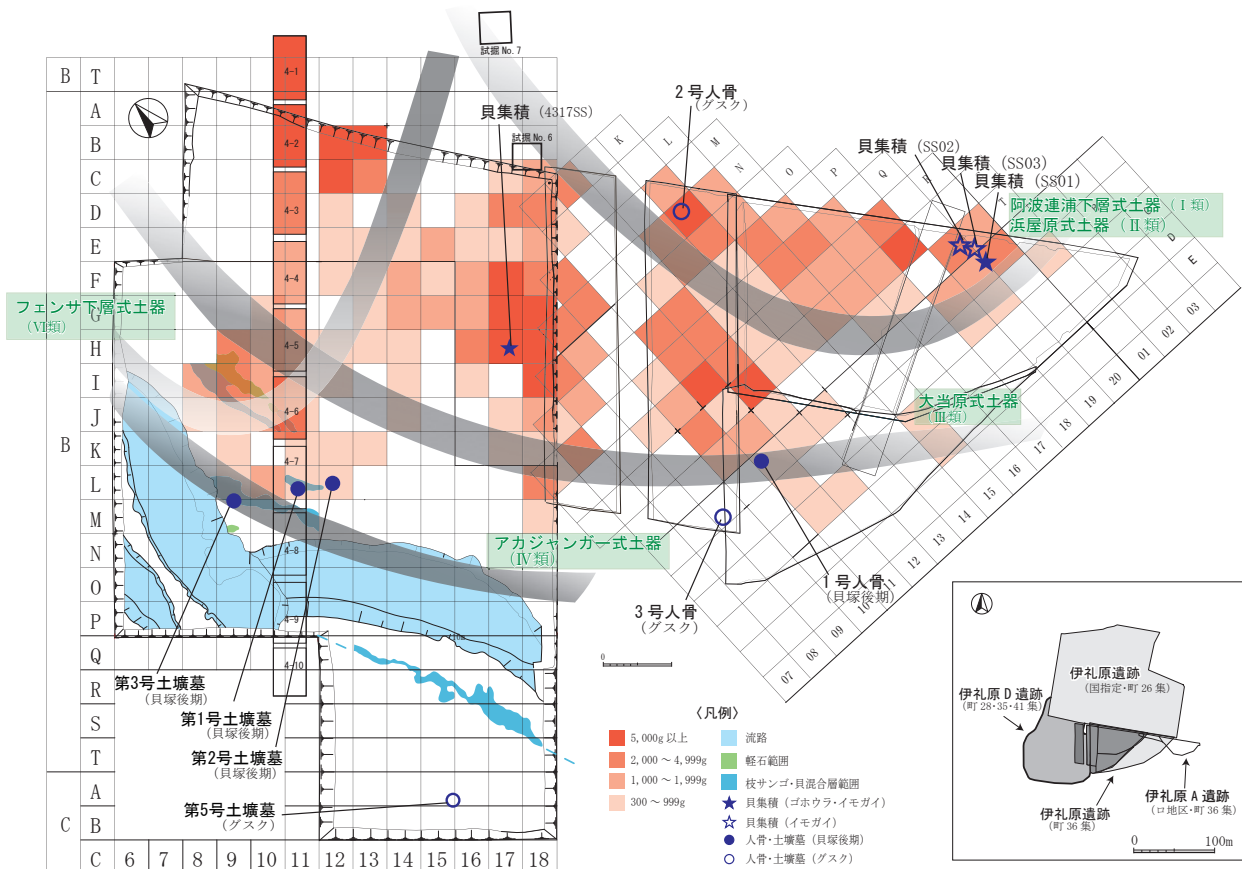
各時期の遺物の平面分布により、第一浜堤、第二浜堤の発達に伴い、生活の痕跡が海岸へ拡大して行く様子を垣間見ることが出来る。ここではひとつの砂丘を形成する油分無し地区（町35）、伊礼原遺跡（町36）を含めて、遺構・遺物からその変遷過程を再整理した。

#### 貝塚時代後期以前

遺物包含層はなく、遺物のほとんどは海砂層（VI層）からで、総数 3732 点の出土である。土器は縄文時代前期の曾畑式土器や中期の室川下層式土器、船元系土器、縄文時代中～後期の面縄前庭式土器、仲泊式土器、面縄東洞式土器、嘉徳Ⅱ式土器が確認できた。確認された土器片は割れ面が摩耗、器面が剥落しており、平安山原B・C遺跡同様、伊礼原遺跡（町26）や伊礼原E遺跡（町35）の縄文時代前期～後期に属す遺物が高波<sup>(註1)</sup>により、流れたものと思われる。

#### 貝塚時代後期：Ⅰ・Ⅱ期

第1節で述べたように、放射性炭素年代測定値を整理した結果、阿波連浦下層式（Ⅰ類）・浜屋原式土器（Ⅱ類）→大当原式土器（Ⅲ類）→アカジャンガー式土器（Ⅴ類）→フェンサ下層式土器



第160図 伊礼原D遺跡（町28・35・41）・伊礼原遺跡（町36）土器重量と分類別 平面分布

(VI類) が改めて確認された。本遺跡は伊礼原遺跡 (国指定外 町 36) と一連の砂丘と捉えられ<sup>(註2)</sup>、貝塚時代後期の様相を知ることができる。その方法としてまず、初めに両遺跡の土器重量分布図を結合し、次に各型式の平面分布を重ねてみた (第 160 図)。各々の土器の平面分布の標高をみると、阿波連浦下層式土器・浜屋原式土器は標高 3.8m 前後 (以下、阿波連浦下層式土器・浜屋原式土器領域)、大当原式土器はやや西よりに標高 3.0m 前後 (以下、大当原式土器領域)、アカジャンガー式土器は標高 2.5m 前後に広がりを示す (以下、アカジャンガー式土器領域)。フェンサ下層式土器は他の土器とは異なり、試掘 (町 28) 4-1、4-2 を中心に出土する。その重量が 5000g 以上を示し、同トレンチの混土貝層も 4409SX に連続するように南側に傾斜する。それから推すと 4 トレンチの北側にこの時期の包含層が想定されることから、この時期は内陸に移行していくようである (以下、フェンサ下層式土器領域)<sup>(註3)</sup>。年代の古い阿波連浦下層式土器・浜屋原式土器領域からアカジャンガー式土器領域までは内陸から海岸方向に、浜堤ラインにほぼ並行に展開していく様相が垣間見え、第 160 図に示したような一つの砂丘における土器の変遷=生活空間が浮き彫りになった。

遺構でみると南海産貝輪交易に関連する貝集積遺構が阿波連浦下層式土器・浜屋原式土器領域ではゴホウラ・アツソデガイ、イモガイ (SS01・SS02・SS03)、大当原式土器領域ではイモガイ (4317SS) が検出された。貝集積遺構の貝組成からも符合する<sup>(註4)</sup>。人骨についてみると大当原式土器領域で幼児の埋葬 (SX01)、アカジャンガー式土器領域で第 1～3 号土壇墓が近接して検出され、その周辺からは壺が数個出土している。この壺は定型化 (第 162 図) し、出土地を考慮すると土壇墓に関連

第144表 くびれ平底土器出土遺跡の立地

遺 跡	標高	発行年
伊礼原D遺跡	3m	2016
平安山原A遺跡	3.1m	2016
伊礼原遺跡(国指外)	3.5m	2014
小堀原遺跡	4m	2012
後兼久原遺跡	30m	2004
北谷城(3・4トレンチ)	12m	2010
大作原古墓群(試掘)	20m	2003
玉代勢原遺跡	4.5m	1993
伊礼伊森原遺跡	20m	1998

する遺構としては 4409SX がある。伊礼原D遺跡 B～C12～13 に跨がる大きさ 8m×2.5m、最下部が深さ 1.5m (標高 1.8m) の鍋底状の窪地で、立位に検出されたサガリバナや堆積の状況から自然の窪地の可能性が高い。4409SX の下層からはフェンサ下層式土器が主体をなし、試掘 (町 28) の 4-1、4-2、4-3 で貝塚時代後期の混土貝層が標高 3.0m 前後で確認され、同じくフェンサ下層式土器が主体をなすことから一連の層と判断される。北側地区でくびれ平底土器が出土する HA①、HA③の土器分布 (町 38) をみると HA① S-640 周辺の標高 3.0m 前後、平安山原C遺跡では 2.8m 前後、小堀原遺跡で標高 4.0m 前後、内陸ではあるが、阿波連浦下層式土器・浜屋原式



第 161 図 くびれ平底土器の出土遺跡

土器に比べて標高は低くなる傾向を示す。フェンサ下層式土器（V類）を放射性炭素年代測定値からみると平安山原C遺跡の貝層Ⅲ群-1層（イノシシ骨）最も近いようで、8～10c頃が想定される。

町内のくびれ平底土器を主体とする遺跡をみると（第a144表）、本遺跡と同じような標高が3～4mのグループと標高12～20mのグループに分けられる。この立地の差は8～12c初頭にかけてみられる海水面の変動「平安海進」<sup>（註5）</sup>に関連する可能性が考えられる。11cには現在の海水面より、0.5m下がり、12c初頭には現海水面より0.5m高くなると言われている。フェンサ下層式土器の領域が内陸移行する現象は「平安海進」の時期と重なる可能性を表しているのではなかろうか？この後の類例遺跡を待ちたい。

### ＜土器の再分類＞

前述した土器の平面分布も考慮しながら、土器の法量（口径と器高）も含め、特に有文を中心に再分類を試みた。なお土器分類記号は本文とは異なり新たに付した（第162・163図）。

貝塚時代後期の既分類の形式に則するが、各々の中間タイプは土器変遷を明瞭にするため、ここでは省略した。

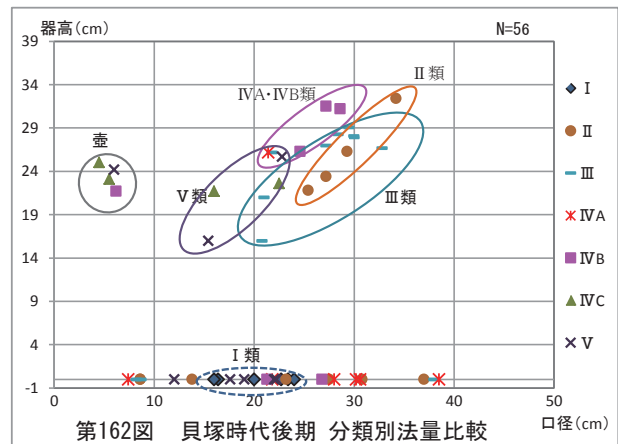
**阿波連浦下層式土器（I類）**は器高まで復元出来るものではなく、口径が17～25cmと小降りで、口縁で「く」字状に屈曲する。

**浜屋原式土器（II類）**は口径が25～35cmと大きくなり、外面は丁寧、内面は指頭痕が明瞭なのが特徴である。平安山原B遺跡や伊礼原遺跡（町26）で多く得られている。

**大当原式土器（III類）**は口径20～35cm前後、器高が10～30cmの大きさに分化される。器面調整からみると粘土積痕の明瞭なものと同明瞭なものがあり、前者は薄手と厚手がある。前者が大当原式土器式の古段階と思われる。本遺跡や小堀原遺跡（町34）ではこのタイプが多い。

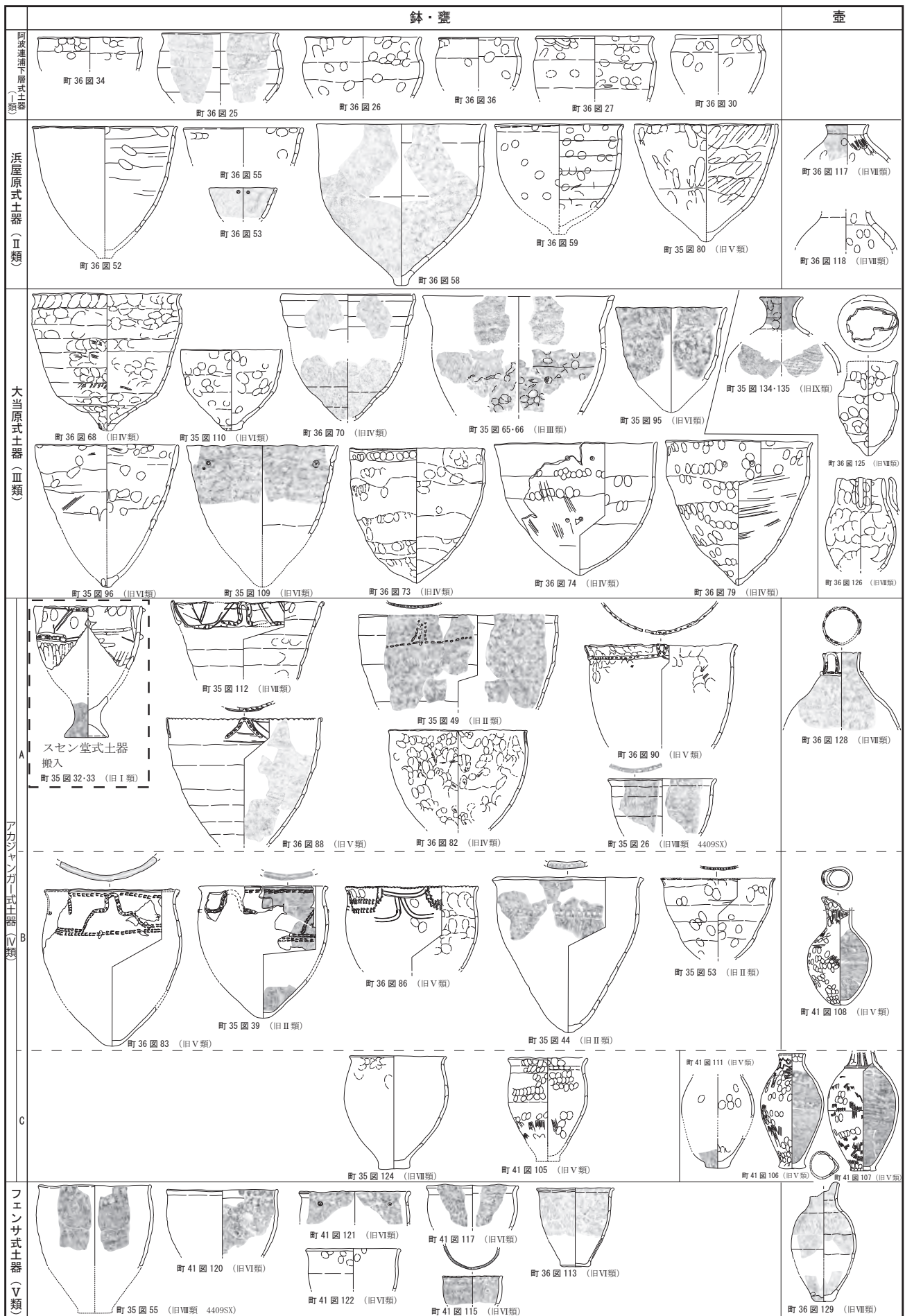
**アカジャンガー式土器（IV類）**は有文土器を主に提示した。そのほとんどは伊礼原遺跡と伊礼原D遺跡の境の土器が集中する場所で出土した。スセン當式土器（町35・32・33）の影響と考えられる凸帯文と沈線文の組み合わせと大当原式土器の形状を残し、主に刺突文を施すタイプ（町35図49）。また、口縁部が角、胴部が張り、丸平底を呈するもので文様の種類や構図はスセン當式土器に類似するタイプ（町35図112）<sup>（註6）</sup>、口縁部の形状が丁寧で胴部が張り、くびれ平底の器形で無文を成すタイプ（町35図124）がある。砂質で、法量はフェンサ下層式土器に近いことから、その移行タイプと思われる。**V類のフェンサ下層式土器**は全体的に土器の法量は小振りで泥質が多い。

壺形土器は口径が6～10cm前後で、II類以降で見られるが、大当原式土器では広口の壺（町36図126）、アカジャンガー式土器では有文（町36図128）があり、図106～107は器高が25cm前後とほぼ定型化する（第E図）。これらの壺形土器は土壌墓の近くから出土。図129は伊礼原遺跡（町36）での出土で、胎土からはフェンサ下層式土器に分類される。最も土器の集中するH18からK18の遺物の出土を垂直分布（町35第10図）でみるとH18で標高3.0m、その西、J18で2.0mと緩やかに海側に傾斜し、J18からK18にかけては3.0mで水平に検出されることから、大当原式土器期の遺物は砂丘の形成に合わせて下に潜り、H18～J18ではその上の標高3.0mに第一浜堤が堆積し、アカジャンガー式土器に再分類した有文土器などが包含されたと考えられる。



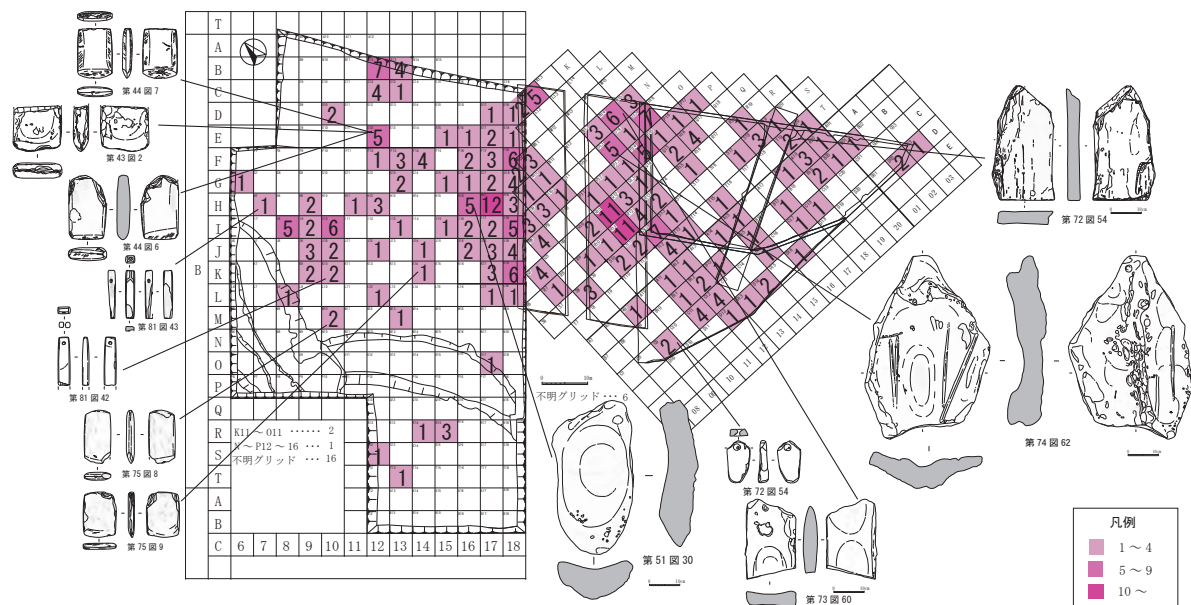
第162図 貝塚時代後期 分類別法量比較





第163図 伊礼原D遺跡 (町28・35・41)・伊礼原遺跡 (町36) 土器変遷 ( )は各々の報告書の土器分類記号を示す。





第164図 伊礼原D遺跡(町28・35・41)・伊礼原遺跡(町36) 石器平面分布

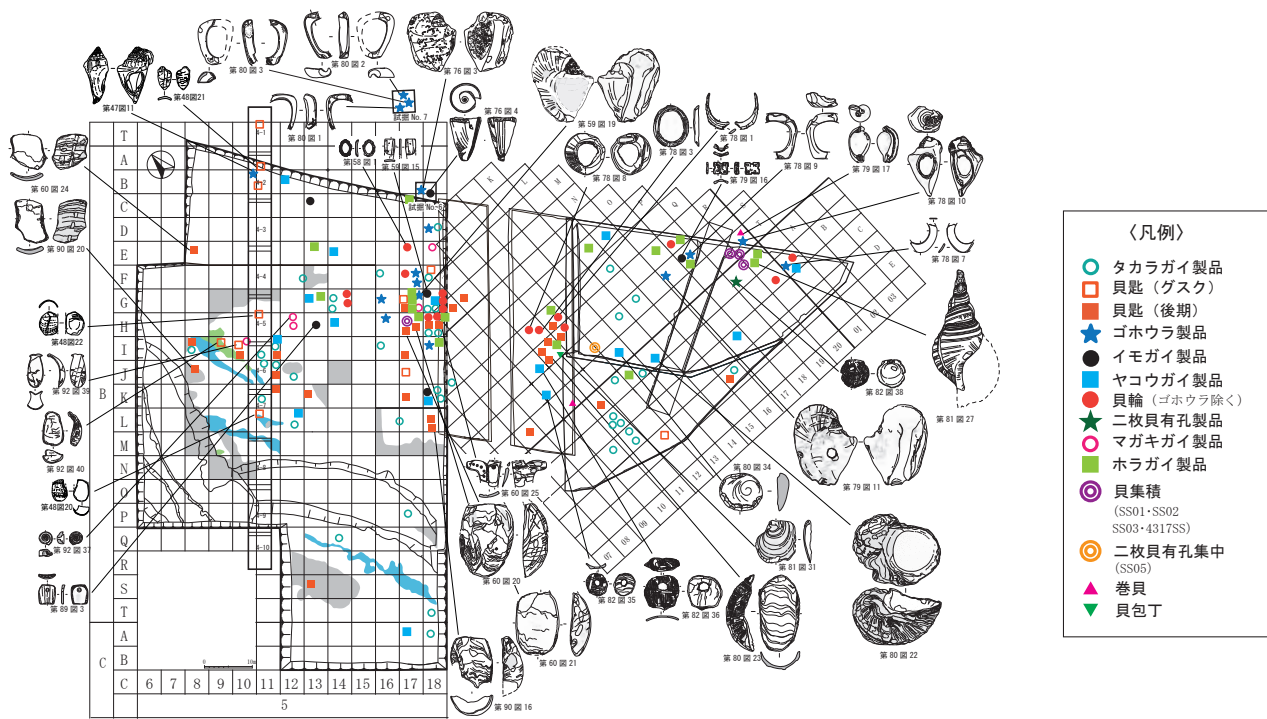
石器についてみると、器種では磨石などの敲打器類が特に多く、分布をみると第160図の土器出土量と重なる。石器が集中する箇所は、Q11では石斧・敲打器類・石皿等、R11は石斧・磨石が出土した。H17は石斧<sup>(註7)</sup>・敲打器類・砥石・石皿等が出土する。又、4317SSの貝集積遺構も検出されている。H16～18は遺物が集中する箇所を下層調査も行われた為、遺物の量も多い。石斧、石皿、砥石に絞り、気づいた点について述べる。

石斧はH17から出土した石斧(町41 第25図11)に、貝や石灰分が付着し長期間水に浸かった痕跡が認められた。VI層(海砂層)から出土しており、貝塚時代後期以前の資料と考えられる。E12では石斧が3点出土し、1点は貝塚時代中期に属する大型の石斧(町35 第43図2)である。しかし、阿波連浦下層式土器・浜屋原式土器が集中する範囲から外れる。貝塚時代中期の石斧は伊礼原E遺跡(町31)・小堀原遺跡(町34)でも稀に認められる。又、土器にも貝塚時代中期のものが少量出土することから、古手の遺物の存在が確認される。

石斧の大半が破損資料で完形は少量である。刃の潰れが激しいものは、多くが敲石に転用している。形態は撥形が主で短冊形は僅かに少なく、他に撥形と短冊形の間タイプ・不定形・丸鑿状異形資料も確認される。短冊形は幅広のものと幅の細いタイプもみられた。サイズは各形態とも中型～小型にかけて多く大型は僅かである。貝塚時代後期は石斧の減少が知られ、第D図の調査範囲でも磨石に比較すると少ない。

石皿は、使用痕が明瞭なものは、IV層、Vb層からの出土である。Aトレンチ下層白砂から大型の石皿(町36 第74図62)が出土している。相伴遺物は確認できないものの、この地点での包含層は標高3～3.5mである。石皿は標高2m以下からの出土で古手資料と捉えられる。又、N14から出土した石皿(町36 第73図60)に、先に述べた石斧と同様、カキ類の貝が付着、長期間海水に浸る状況にあったと想定される。

砥石はT19で大型砥石が出土している。内陸側のT・A19・20では、貝集積遺構SS01・SS02・SS03も検出されており、それに関連する砥石の可能性もある。グスク時代と想定される資料は鍛冶関連に関わる、使用痕が多面的に残る砥石が認められた。又、懸垂形の砥石が、H7(町40 第31図43)・K10(町40 第31図42)で出土している。



第165図 伊礼原D遺跡(町28・35・41)・伊礼原遺跡(町36) 貝製品平面分布

貝製品(第165図)についてみると阿波連浦下層式土器・浜屋原式土器領域では弥生時代前期～中期とされる諸岡型のゴホウラ貝輪(腹面)が伊礼原遺跡(町26)伊礼原D遺跡(町28)の試掘7で各々3点の計6点得られ、その周辺からは弥生系土器も出土している。試掘6(町28)ではゴホウラの背面中央に穿孔したものに前溝孔し、袖部を打割調整したものや大型イモガイを横位にすり切ったものなど、南海産貝輪交易の開始を示す遺物で、前出の貝集積遺構とも時期的一致する。出土する標高が3.4m前後で、本領域が試掘6・7まで及んでいたことわかった。

大当原式土器領域では背面型のゴホウラ、オオツタノハの貝輪、ヤコウガイ製匙・二枚貝有孔製品・貝符(札)などが得られている。ゴホウラ貝輪は背面型4点(町35)、オオツタノハ貝輪4点得られた(町35)。は伊礼原遺跡(町36)図16と平安山原B遺跡(町40)図36などの南島型(木下分類1996)の貝符、またヤコウガイ製貝匙は真珠層まで磨き込んだ身(町35図20・21)、丁寧な彫刻の柄(町35図25、町41図20)などは伊江島ナガラ原西貝塚(1979)と共通する。また、この時期には漁網錘とされる二枚貝有孔製品が平安山原C遺跡(町39)、伊礼原D遺跡(町28・35)多くなり、伊礼原遺跡(町36)では一括(SS05)して、大当原式土器(図70)と共伴して得られている。

アカジャンガー式土器領域ではヤコウガイ有孔製品などが出土する。前者に比べて貝製品の出土は少ない。フェンサ下層式土器領域では広田上層貝符の製品(伊礼原D町28図1)、未製品(町28図2)などが出土している。また、試掘(町28)ではシャコガイ製の二枚貝有孔製品が得られるが、貝殻の腹縁を調整し、小形化する傾向が顕著に見られる。類例はチヂフチャー洞窟遺跡(1988)がある。他に、この時期には「開元通宝」の出土が認められる。

第145表 遺跡別主な遺物出土量

番号	遺跡	土器	グスク土器	滑石	カムイヤキ	青磁	白磁	染付	褐釉陶器	先島系土器	瓦質土器	近世磁器	近世陶器	沖縄産施釉	沖縄産無釉	陶質土器	近代磁器	合計
1	平安山原A遺跡	1,940	856	3	118	2,802	1,065	2,507	1,779	117	176	428	620	10,491	13,640	3,721	7,104	47,367
2	平安山原B遺跡	14,183	147		15	98	78	256	53		4	83	33	930	930	260	281	17,351
3	平安山原B・C遺跡	30,162	327	2	23	160	30	60	86		1	69	21	152	194	39		31,326
4	伊礼原・D遺跡	28,716	89	4	13	2,160	459	998	2,132	129	25	121	68	432	901	201	157	36,605
5	小堀原遺跡	2,098	52	526	224	28	244	22	23			15	5	688	656	206	267	5,054
6	後兼久原遺跡	3,619	19,515	115	937	3,150	460	264	1,228				15	60	4	5	32	29,404

<凡例> 伊礼原遺跡(町26・町36)と伊礼原D遺跡(町28・町35・町41)は合算、後兼久原遺跡は町21と県22褐釉陶器と中国産褐釉陶器は合算。

### グスク時代前半

この時期に相当する遺構・遺物の出土は非常に少ない。遺構についてみると顔面を覆うようにグスク土器を伴う第5号土壙墓が流路を挟んで検出された。埋葬姿勢をみると伏臥屈葬で、同じような埋葬は平安山原A遺跡人骨11(町38)がある。本地区で遺物としてはグスク土器、滑石製石鍋、カムイヤキ、白磁玉縁口縁碗などがあるが、第145表に示したように非常に少なく、遺物の平面分布から見ても一定のまとまりは無く、生活面の可能性は低い。

また、滑石製の勾玉状製品(第126図1)が得られている。町内の後兼久原遺跡(町21)や小堀原遺跡(町30・34)は県内でも滑石製品の出土が多く、その中の二次加工品をみるとバレン状製品や小形の加工がほとんどで、装飾品的なものは見られない。そのため、勾玉状製品は製品としての完成度が高く、後続の時期のものと思われる。前述した後兼久原遺跡と小堀原遺跡はこの時期の遺跡で、土壙墓の埋葬姿勢や出土遺物の数などを比較すると本遺跡「伊礼原」や平安山原とは対照的である。一つの海岸低地におけるグスク時代前半の社会的関係を覗かせているようである。

### グスク時代後半から近世

柱穴が2777個検出され、柱穴は激しく斬り合い、その帰属年代は出土した中国陶磁器などから第一浜堤が14～17c代、第二浜堤が18c代と150棟を超えるプランを想定した。建築材と思われる大型の粘土痕(Ⅲ類)も得られており、建物の存在は明らかである。特異な遺構としては二枚貝有孔製品が一括して出土した土坑(2352SK)があるが、従来の漁網錘とされるものに比べると軽く、遺構を含め、今後の課題である。柱穴の多さはHA④(町38)と酷似し、14～17cの集落が流路を挟んで存在した。この時期の村落のあり様を窺うことが出来る。また、中国陶磁器が流路3の上位で出土することから、それより以前に埋没していたことが証左された。

近世の遺物としては16c代のタイ産四耳壺や備前播鉢・瓦質土器(湧田窯産)などが平安山原A遺跡・後兼久原遺跡などキャンプ桑江北側一帯に散在する。

この時期は第145表に示したようにグスク時代前半とは異なり、平安山原(平安山原A・B・C)・伊礼原(伊礼原・伊礼原D)・後兼久原ではほぼ同じような遺物組成を示すことから3つの集団のまとまりが想定される。また、平安山原ではHA④、伊礼原では伊礼原D遺跡に15c代の遺物が集中し、後続する近代の遺物はわずかで、近代には集落としての機能は無かったことが窺える。

貝製品(第165図)では腹面利用のヤコウガイやタカラガイ・マガキガイ製品など、平安山原地区と同じような傾向が見られる。タカラガイ製品のハナビラダカラやキイロダカラは研磨されており、同様な例は勝連城跡(1996)で確認されていることから別の用途の可能性が考えられる。グスク時代～近世の貝製品の組成が浮き彫りにされた。骨製品ではウシやウマを素材とした半月状の篋状製品がこの時期に得られているが用途がはっきりしない。

### 近代から戦前

遺構は0008SF(町35)のビーチロック道(図版2右上)、暗渠、水路(町28)などの石組、石敷が検出された。

出土遺物は沖縄産施釉・無釉陶器、陶質土器などが得られたが、少量で生活の様子は感じられない。暗渠の近くからは水田の可能性が高い木杭(町28)などが検出され、HA④(町38)と同じように耕作域と思われる。『北谷町の地名』(町24)で確認すると「伊礼」集落は南側の海岸に位置する。平安山原A遺跡に見られるように集落と耕作の領域が分かれ、近代の集落の形態を成し沖縄の集落史が窺える。



## まとめと課題

- ・縄文時代前期～中期の土器がVI層から出土。浜堤はそれ以後に形成されたことがわかった。
- ・土器は第E図で示したように阿波連浦下層式土器・浜屋原式土器・大当原式土器・アカジャンガー式土器・フェンサ下層式土器など貝塚時代後期土器が網羅され、砂丘の形成に従い海岸へ展開して行く様子が垣間見えた。しかし、くびれ平底系土器の新旧関係（アカジャンガー式土器・フェンサ下層式土器）が期待されたが、明瞭なラインは引けなかった<sup>(註8)</sup>。
- ・グスク時代前半における搬入遺物（滑石製石鍋・カムイヤキ・玉縁白磁口縁碗）と在地遺物（グスク土器）などの包有差は当時の社会関係を表しているようである。
- ・15～17cの頃、中国陶磁器の出土状況から平安山原、伊礼原、後兼久原の3箇所にグルーピングされ、近代の集落となる母体となる可能性が窺えた。
- ・中国陶磁器（青磁・白磁・染付）の生産年代から宋～明初、明代、清代の3時期に細分が可能でこの地域（キャンプ桑江北側）における集落の変遷をより細かく整理することが可能と思われる。
- ・北谷の海岸低地での先史遺跡のあり方は、中南部における先史時代から近代までの生活の変遷のモデルとなり、その母体はキャンプ桑江地区の調査で貝塚時代後期までさかのぼることができたのは大きな成果である。

### <註>

註1：松田順一郎によると縄文時代後期に波浪作用あるいは大きな津波の痕跡があった。（伊礼原遺跡 2007）

註2：北側の流路2と伊礼原A遺跡の低湿地の間で、一つの砂丘を形成、第一浜堤、第二浜堤と海側に発達。

註3：試掘（2008）で黒色混貝土層を4-1、4-2、4-3 トレンチで確認。4409SXと同じくくびれ平底土器が主体。

註4：貝集積遺構はⅠ類：ゴホウラのみ、Ⅱ類：ゴホウラとイモガイ、Ⅲ類：イモガイのみ、Ⅳ類：マガキガイ、Ⅴ類：シャコガイがあり、イモガイのみの集積が貝塚時代後期中葉で新しい（島袋 2004）。

註5：「平安海進」（ロットネスト海進）と呼ばれている。フェアブリッジ教授の海水準曲線によると、8世紀初頭の海水面は、現在の海水面より約1m低かった。10世紀初頭には現在の海水面まで上昇した。11世紀前半には現在の海水面より約0.5m低くなった。12世紀初頭に現在の海水面より約0.5m高くなった。（藤則雄 2002）

註6：伊礼原D遺跡（2013）、伊礼原遺跡（2014）では有文および口縁に作りなどからⅡ群Ⅱ類（縄文晩期）あるいはⅤ類としたが、今回遺物の平面分布や接合関係などから変更。

註7：油分無し地区（2013）に未掲載の為、今回の報告（2017）に含めた。

註8：安座間（2016）は尖底とくびれ平底の分布の差の可能性を①同一集団の型式の変化、②別集団の可能性を提示したが、本遺跡での土器の変遷の過程からは①の可能性が高いと思われる。

### <補遺 3>

大橋康二氏の同定により、試掘（町28）、油分無し地区（町35）で報告した遺物の中に間違っていたものがある。青磁、本土産陶器については各々の項で訂正した。他に下記のものがある。第35集（12）人形は「布袋像」と報告したが、大橋康二氏の指摘により米俵に乗り、袋を担いだ「大黒像」と判明した。0008SFの出土



層	遺構	出土遺物
I・II層	C14測定値	<p>土器 (F区) 第66図143</p> <p>土器 (I区) 第64図111</p> <p>貝製品 (F区) 第93図53</p> <p>第67図161</p> <p>本土産磁器 第133図4, 第133図8, 第133図9</p> <p>沖縄産施軸陶器 第134図2</p> <p>沖縄産無軸陶器 第136図13, 第135図1</p>
IIIa層		<p>土器 (F区) 第59図47, 第62図78, 第60図54, 第59図50</p> <p>貝製品 (F区) 第93図44, 第89図3</p> <p>白磁 第106図26, 第105図16</p> <p>青磁 第109図20, 第111図61, 第109図21, 第110図43, 第109図24, 第110図54, 第110図56, 第109図27</p> <p>染付 第114図4, 第114図17, 第114図7, 第114図8</p> <p>滑石 第126図2</p> <p>褐釉陶器 第118図17, 第119図31, 第119図33, 第119図35, 第119図43</p> <p>タイ産鉄絵 第121図10</p> <p>本土産磁器 第133図3, 第132図13</p> <p>沖縄産施軸陶器 第132図1, 第134図3, 第134図6, 第134図5</p> <p>沖縄産無軸陶器 第136図12, 第136図18, 第136図14, 第136図22, 第136図25</p> <p>骨製品 第142図1, 第142図2, 煙管 第144図3</p>
IIIb層		<p>土器 (G区) 第65図117</p> <p>貝製品 (F区) 第93図45, 第91図31</p> <p>貝製品 (G区) 第90図20</p> <p>青磁 第108図5, 第109図18, 第111図69, 第110図36, 第109図25</p> <p>染付 第114図1, 第114図5, 第115図37</p> <p>褐釉陶器 第117図1, 第118図10, 第117図8</p> <p>本土産磁器 第118図14, 第119図46</p> <p>その他の輸入陶磁器 第121図4</p> <p>沖縄産無軸陶器 第135図7</p>
III下層遺構	<p>土坑・ピット群 (掘立柱建物) 棚列</p> <p>廃棄土坑 (2210SK・2523P)</p> <p>第5号土壇墓 (840±20BP)</p>	<p>土器 (G区) 第65図122, 第64図112, 第65図121</p> <p>石器 第75図9, 第75図2</p> <p>貝製品 (G区) 第91図26, 第91図34, 第92図39, 第92図40, 第92図38, 第92図37</p> <p>白磁 第105図6, 第105図7, 第105図12, 第106図29, 第106図27, 第106図31, 第106図32</p> <p>青磁 第108図1, 第110図38, 第109図17, 第108図2, 第108図11, 第108図6, 第109図28</p> <p>染付 第114図9, 第114図10, 第114図13, 第114図14, 第114図15, 第114図18</p> <p>第114図19, 第115図29, 第115図40, 第115図42, 第115図32, 第115図36, 第115図46</p> <p>褐釉陶器 第117図4, 第117図6, 第118図22, 第118図24, 第119図34, 第119図37, 第118図19, 第119図44</p> <p>本土産磁器 第132図12, 第132図3, 第132図4, 第132図9</p> <p>本土産陶器 第133図1</p> <p>沖縄産施軸陶器 第134図1</p> <p>沖縄産無軸陶器 第135図11, 第136図19, 第123図2</p> <p>青銅製品 第123図1</p> <p>鉄製品 第124図1</p> <p>鉄貨 第125図5, 第125図6, 第125図8, 第128図3, 第128図2, 第128図4</p> <p>煙管 第144図2</p> <p>カムイヤキ 第103図4</p> <p>カミヤキ 第103図4</p> <p>滑石 第126図1</p> <p>ガラス玉 第127図1</p> <p>その他の輸入陶磁器 第121図6</p> <p>K9 第1浜提</p>
IV層		<p>石器 第75図5, 第80図37</p> <p>土器 (G区) 第75図5, 第80図37</p> <p>土器 (G+H区) 第109図26</p> <p>瓦質土器 第130図2, 第130図1</p> <p>本土産陶器 第132図5</p> <p>沖縄産無軸陶器 第136図23</p> <p>鉄貨 第128図1</p> <p>カムイヤキ 第103図1</p>
V層	<p>第1号土壇墓</p> <p>第2号土壇墓</p> <p>第3号土壇墓 (1260±20BP)</p> <p>第4号土壇墓 (イヌ)</p> <p>イノシシ骨集積遺構</p>	<p>土器 (F区) 第61図69, 第61図70</p> <p>土器 (G区) 第60図53</p> <p>土器 (H区) 第61図75, 第64図105, 第64図106, 第66図132, 第64図108, 第64図107</p> <p>土器 (I区) 第64図110, 第64図109</p> <p>石器 第75図3, 第75図11, 第75図8</p> <p>貝製品 (F区) 第91図23, 第89図1, 第89図8</p> <p>貝製品 (G区) 第89図5, 第89図11</p> <p>貝製品 (H区) 第89図9</p> <p>貝製品 (I区) 第91図30</p> <p>カムイヤキ 第103図2</p> <p>第79図36</p>
VI層	(補正年代)	<p>土器 第57図5, 第57図12, 第58図21</p>

第166図 時代別出土遺物変遷

0 10cm 0 10cm (銅製品・鉄製品・滑石・ガラス玉・鉄貨・骨製品・煙管)

# 第Ⅶ章 平安山原A遺跡の調査

## 第1節 層序

本調査区は概ねV字形を呈する。その西半は浜堤域となっており、東半では底面がビーチロックとなる浅い自然流路であった。近世中にこの流路域に石列が構築されたことにより、流路の埋没が進み、その上面において営農が展開された。東西南北の四壁において基本層序図を作成し、90層以上の分層がなされたが、整理・大別してそれぞれに性格付けを行った。なお、大別層名については、本書伊礼原D遺跡及び既刊である平安山原の諸遺跡と対応させたため、グスク時代遺物を包含するシルト層Ⅲ層は、今回調査区においては該当なしとなった。

### I層：戦後の造成土

土層の内容については、前章までの伊礼原D遺跡I層と全く同じであるため、割愛する。

### II層：近世～近代

- 1～8層：耕作土①
- 9・10層：耕作土②における畦畔
- 11～17層：耕作土②
- 18～23層：大畦畔（石列上）の盛り直し部分
- 24～26層：耕作土③における畦畔
- 27～32層：耕作土③
- 33～63層：石列構築後の堆積
- 64～76層：石列構成層

上記のように、石列の構築を契機として耕作域が形成され、少なくとも3時期の耕作面を設定することができた。ただしこれは図面上での想定であり、調査現場において各々を明確に把握できていた訳ではない。

### IV・V層：流路内堆積及び浜堤砂層

77～81層は流路内堆積であるため、IV層に該当する。しかし、流路はビーチロックによって深化を妨げられているため、大雨の際には埋土ごと洗い流してしまうこともあったであろうから、必ずしも古い堆積であるとは言えないことは留め書きしておきたい。91層は浜堤上面の砂層であり、V層に該当する。『平安山原B・C遺跡』（2016）における「第二浜堤」にあたるため、グスク期までには形成されていたことになる。82～90層については、IV或いはV層のどちらかにはっきりと区分できないが、自然堆積の無遺物層であることは間違いない。

### VI層：ビーチロック以下

今回の調査区範囲全面において、混枝サンゴ砂礫層が固結した「ビーチロック」が広がっている。詳細は前章までと同じである。

第146表 基本層序土層注記

大別層名	図中番号	土色・土性	含有・混入物他	旧層名	
I層	I		戦後の造成土。A～D層に細分可。		
耕作土①	1	5Y6/3	オリブ黄色砂質シルト	1	
	2	5Y6/3	オリブ黄色砂質シルト	2	
	3	5Y7/4	浅黄色砂質シルト	3	
	4	2.5Y5/4	黄褐色砂質シルト	貝・枝サンゴ。	
	5	2.5Y6/4	にぶい黄色砂質シルト	13	
	6	5Y5/2	灰オリブ色砂質シルト	貝。	
	7	2.5Y6/4	にぶい黄色砂質シルト	貝・枝サンゴ。	
	8	2.5Y5/3	黄褐色細砂質シルト	83	
	9	2.5Y5/2	暗灰黄色砂質シルト	貝。	
耕作土②畦	10	5Y5/2	灰オリブ色砂質土	貝・枝サンゴ。	
	11	2.5Y5/3	黄褐色砂質シルト	貝・枝サンゴ。	
耕作土②	12	5Y5/2	灰オリブ色砂質シルト	14	
	13	5Y5/2	灰オリブ色砂質シルト	貝・枝サンゴを多く含む。	
	14	5Y4/1	灰色砂質シルト	小礫。	
	15	5Y4/2	灰オリブ色シルト	貝。	
	16	7.5Y4/1	灰色砂質土	貝を多く含む。	
	17	10Y4/1	灰色砂質シルト	貝。	
	18	2.5Y5/2	暗灰黄色砂質シルト	貝。	
大畦畔盛り直し	19	2.5Y4/1	黄灰色砂質シルト	40	
	20	5Y6/3	オリブ黄色細砂～中砂	41	
	21	5Y7/2	灰白色細砂～粗砂	砂礫。	
耕作土③畦	22	2.5Y4/2	暗灰黄色砂質シルト	貝。	
	23	2.5Y4/1	黄灰色砂質シルト	貝。	
	24	2.5Y6/3	にぶい黄色砂質土	6	
耕作土③	25	5Y5/2	灰オリブ色砂質土	貝・枝サンゴ。	
	26	2.5Y5/4	黄褐色砂質土	84	
耕作土③	27	2.5Y4/1	黄灰色砂質シルト	貝。	
	28	7.5Y3/1	オリブ黒色砂質土	貝・砂礫。	
	29	5Y6/1	灰色砂質土	貝。	
	30	2.5Y5/3	黄褐色砂質土	81	
	31	2.5Y5/4	黄褐色砂質土	貝。	
	32	5Y4/1	灰色砂質土	貝・枝サンゴ。	
	33	2.5Y6/4	にぶい黄色砂質土	貝。	
	34	5Y5/1	灰色砂質土	貝。	
	35	2.5Y6/4	にぶい黄色砂質土	貝・枝サンゴを多く含む。	
	36	2.5Y4/2	暗灰黄色砂質シルト	貝・枝サンゴ。	
	37	10YR5/1	褐灰色砂質土	貝・枝サンゴ。	
	38	2.5Y6/3	にぶい黄色砂質シルト	貝。	
II層	39	10YR4/1	褐灰色砂質土	貝・砂礫。	
	40	2.5Y6/1	黄灰色細砂～粗砂	貝・枝サンゴ。	
	41	10Y4/1	灰色中砂～粗砂	貝・枝サンゴ・砂礫。	
	42	5Y4/1	灰色砂質シルト	貝。	
	43	5Y4/1	灰色砂質土	貝・枝サンゴ。	
	44	2.5Y3/2	黒褐色砂質シルト	貝。	
	45	2.5Y4/1	黄灰色砂質シルト	貝・枝サンゴ。	
	46	10YR4/1	褐灰色砂質シルト	貝・砂礫。	
	47	2.5Y5/1	黄灰色細砂～粗砂	貝・枝サンゴ。	
	48	7.5Y3/1	オリブ黒色砂質シルト	貝・枝サンゴ。	
	49	5Y4/1	灰色中砂～粗砂	貝・枝サンゴ。	
	50	10YR4/1	褐灰色砂質土	貝・枝サンゴ。	
	51	7.5Y5/1	灰色中砂～粗砂	貝・枝サンゴ・砂礫。	
	52	5Y4/1	灰色中砂～粗砂	貝・枝サンゴ。	
	53	2.5Y6/2	灰黄色細砂～粗砂	貝・枝サンゴ・砂礫。	
	54	10YR5/1	褐灰色細砂～粗砂	貝・枝サンゴ・砂礫。	
	55	7.5Y4/1	灰色砂質シルト	貝。	
	56	2.5Y6/2	灰黄色中砂～粗砂	貝・枝サンゴ。	
	57	10YR4/1	褐灰色砂質土	貝。	
	58	2.5Y7/2	灰黄色中砂～粗砂	貝・枝サンゴ・砂礫。	
	59	10YR5/2	灰黄褐色中砂～粗砂	貝・枝サンゴ・砂礫。	
	60	2.5Y4/1	黄灰色砂質シルト	貝・枝サンゴ・砂礫。	
	61	2.5Y3/2	黒褐色砂質シルト	貝。	
	62	7.5Y5/1	灰色中砂～粗砂	貝・枝サンゴ・砂礫。	
	63	7.5Y3/1	オリブ黒色砂質シルト	貝・枝サンゴ・砂礫。	
	石列構築後	64	10YR4/1	褐灰色砂質シルト	貝。
		65	10YR4/1	褐灰色砂質シルト	貝。
		66	2.5Y7/1	灰白色中砂～粗砂	貝・枝サンゴ・砂礫。
		67	10YR5/2	灰黄褐色中砂～粗砂	貝。
		68	10YR3/1	黒褐色砂質シルト	貝・枝サンゴ。
		69	2.5Y5/1	黄灰色中砂～粗砂	貝・枝サンゴ・砂礫。
		70	10YR3/1	黒褐色砂質シルト	貝・枝サンゴ・腐植土。
		71	2.5Y5/1	黄灰色砂質土	貝。
		72	5Y5/1	灰色砂質土	貝・枝サンゴを多く含む。
		73	5Y3/2	オリブ黒色砂質土	54
		74	5Y5/1	灰色砂質土	貝。
75		5Y4/1	灰色砂質土	貝・枝サンゴ・小礫。	
76		10Y3/1	オリブ黒色砂質土	貝・枝サンゴ。	
77		5Y4/1	灰色砂質土	貝・砂礫。	
IV	78	7.5Y4/1	灰色中砂～粗砂	貝・砂礫。	
	79	2.5Y3/1	黒褐色砂質シルト	貝・砂礫。	
	80	10YR3/1	黒褐色砂質シルト	貝・腐植土。	
	81	2.5Y3/2	黒褐色細砂～粗砂	貝・枝サンゴ・腐植土。	
	82	7.5Y6/1	灰色砂質シルト	貝。	
IVorV	83	10Y3/1	オリブ黒色シルト	貝。	
	84	5Y8/1	灰白色中砂～粗砂	74	
	85	5Y3/1	オリブ黒色シルト	貝・自然木片。	
	86	10YR4/1	褐灰色砂質土	貝。	
	87	10YR5/1	褐灰色砂質土	貝・枝サンゴを多く含む。	
	88	5Y4/1	灰色中砂～粗砂	貝・枝サンゴを多く含む。	
	89	2.5Y7/1	灰白色中砂～粗砂	貝。	
	90	2.5Y7/2	灰黄色細砂～粗砂	貝・枝サンゴ・小礫。	
	91	2.5Y6/2	灰黄色砂～粗砂	貝・枝サンゴ・砂礫。	
	V				92

<東壁>

EL=5.00m

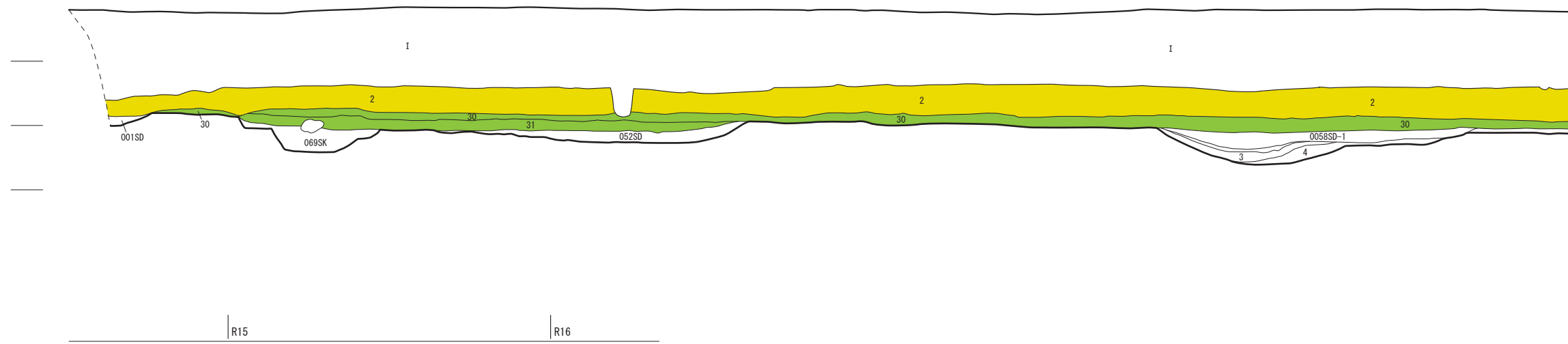
R11

R12

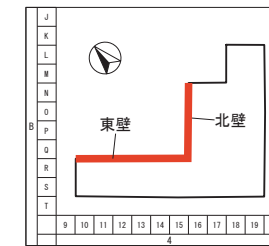
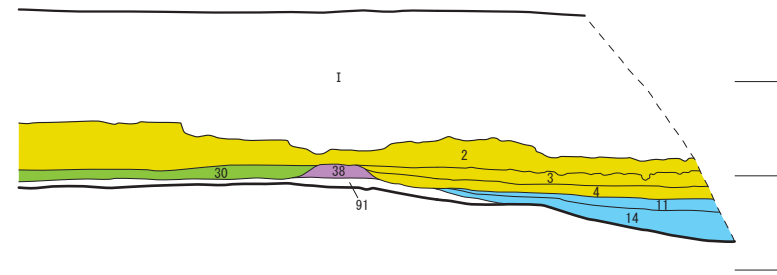
R13

R14

A (北西)



A' (南東)



<北壁>

EL=5.00m

R16

Q16

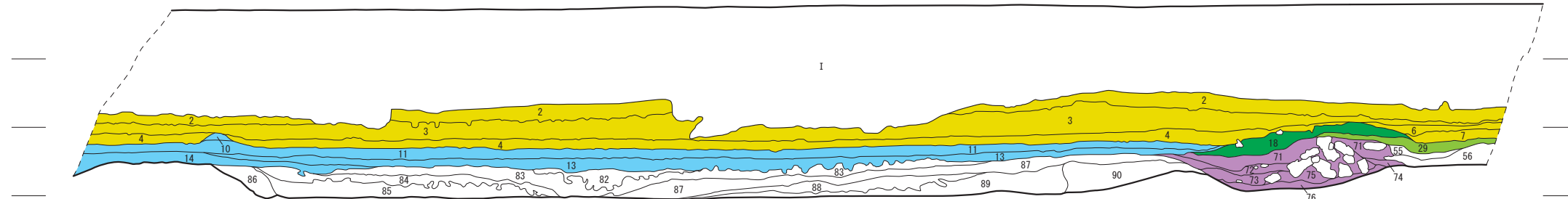
P16

O16

N16

A (南西)

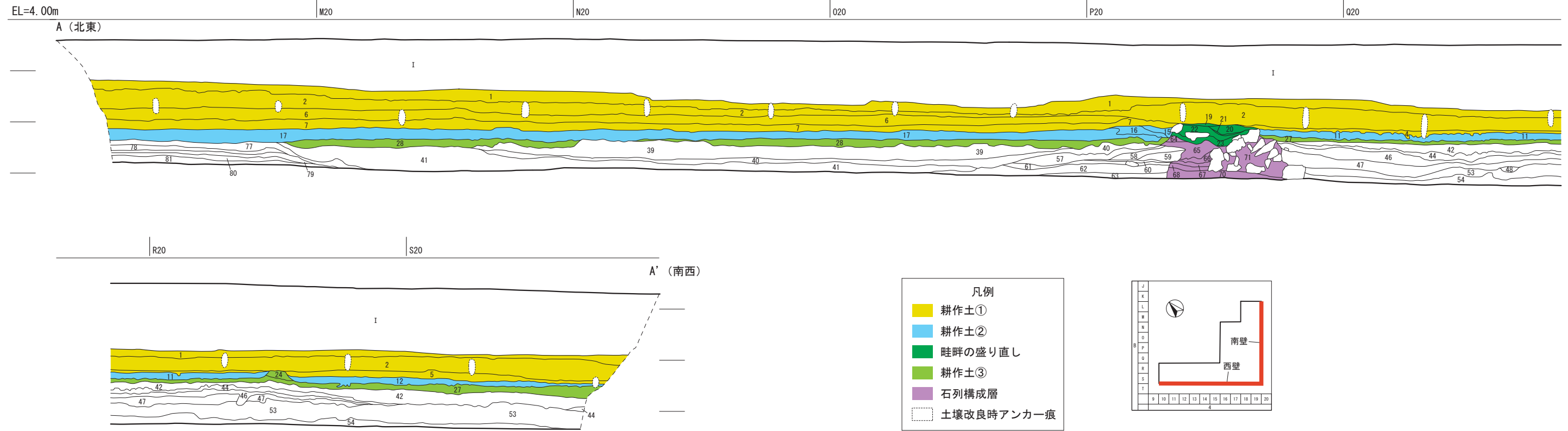
A' (北東)



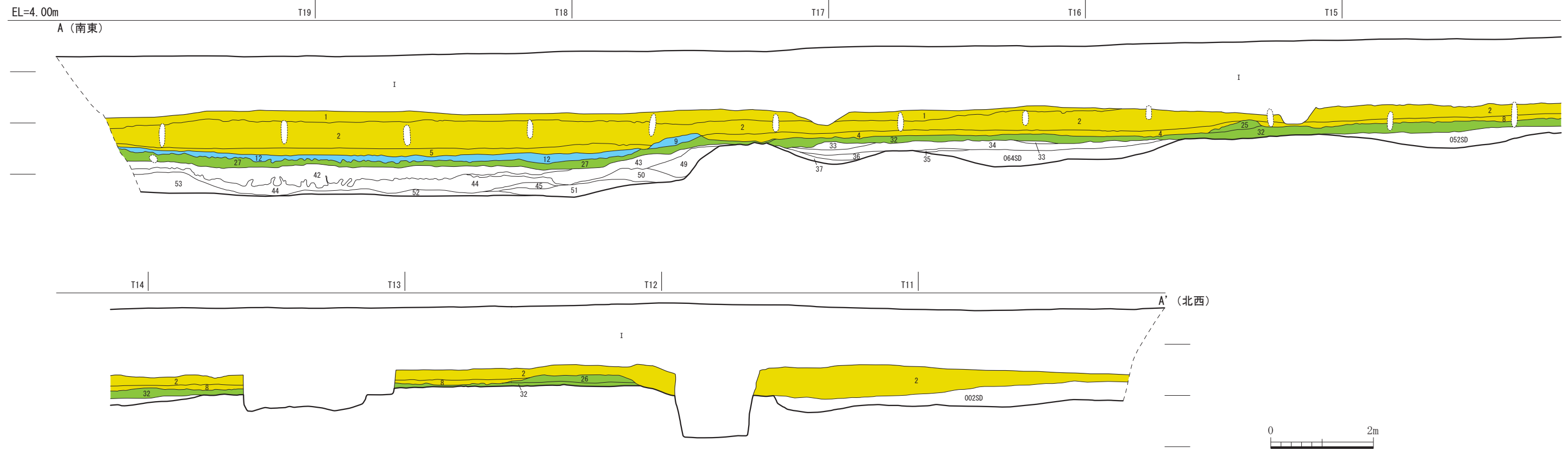
第 167 図 平安山原A遺跡 層序 1



〈南壁〉



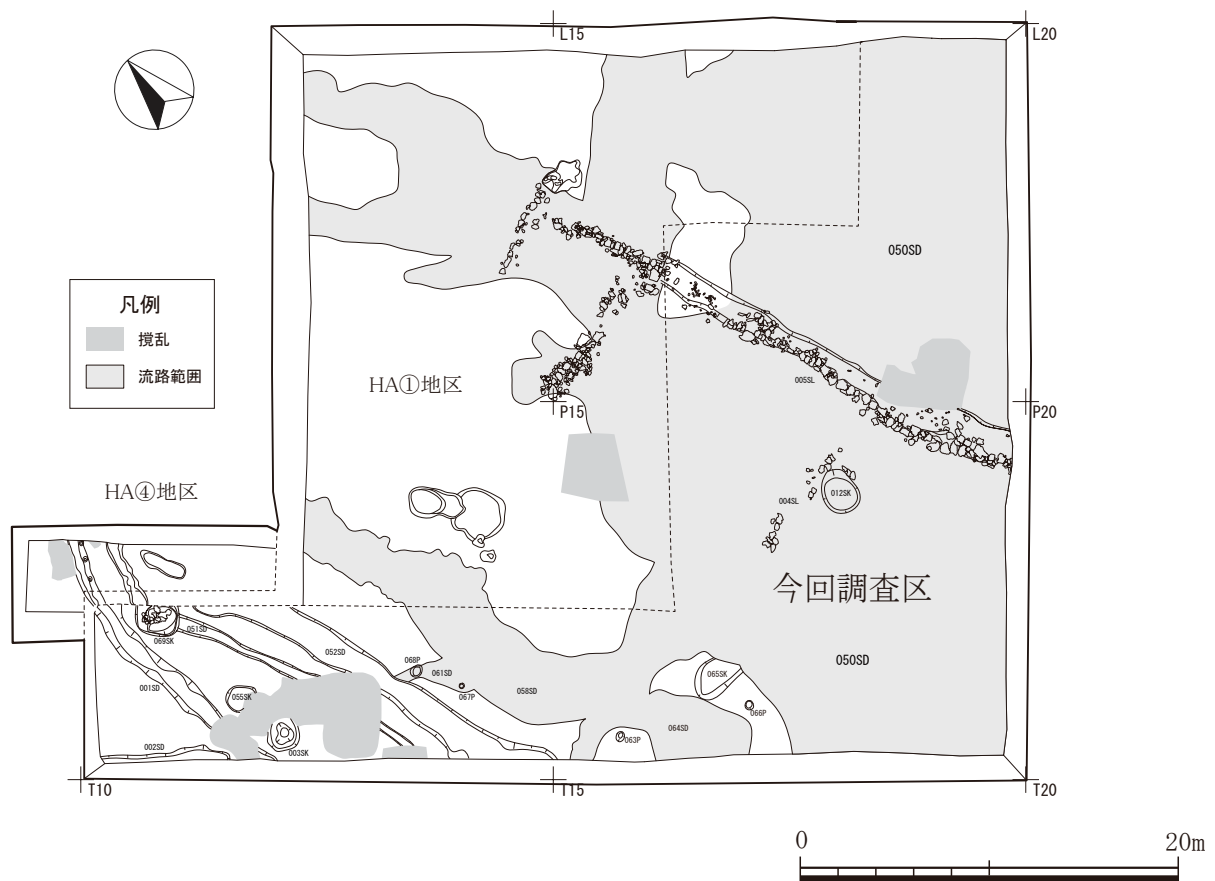
〈西壁〉



第168図 平安山原A遺跡 層序2

## 第2節 遺構

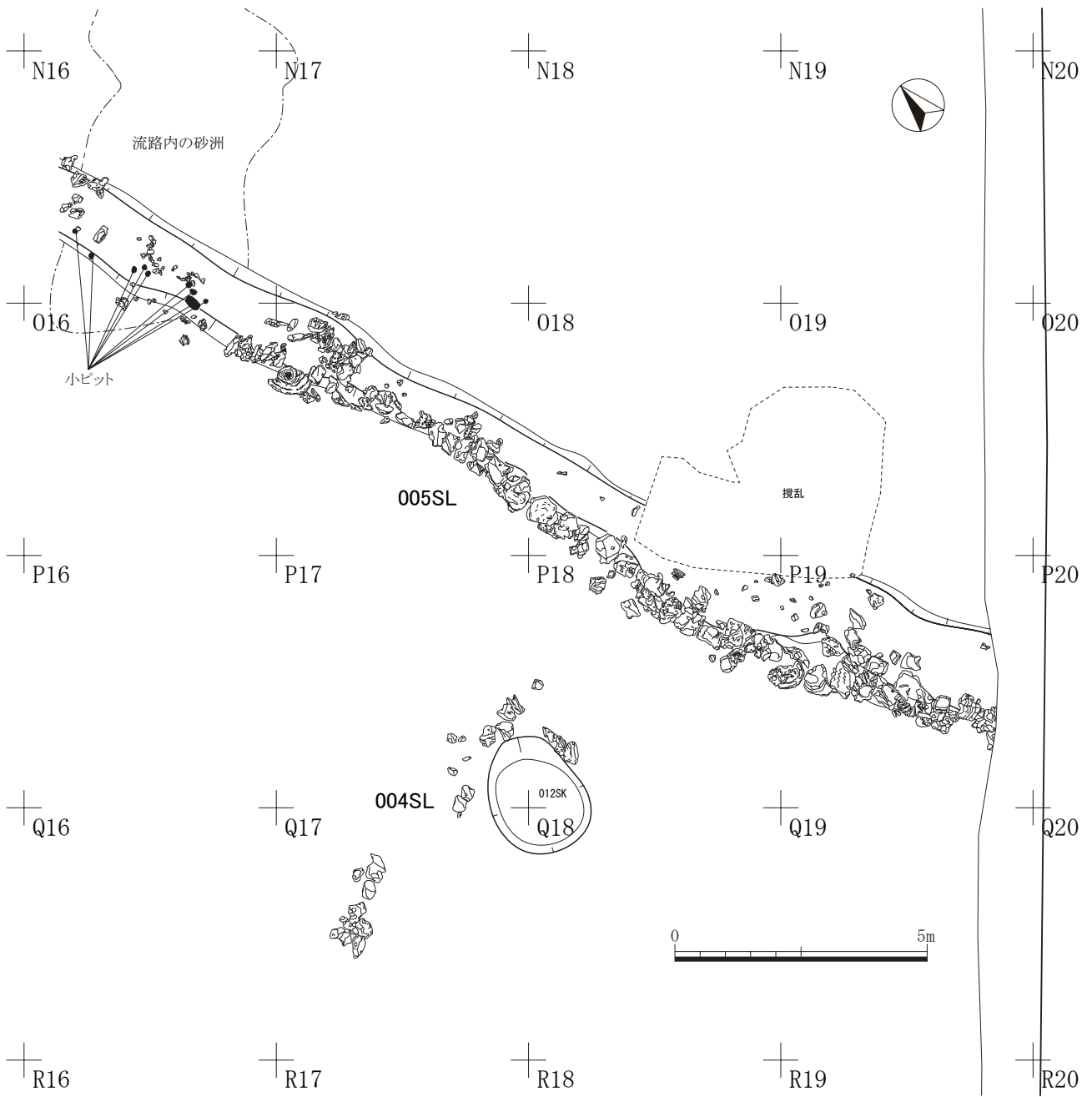
今回調査区は、『平安山原A遺跡』(2016)におけるHA①・HA④地区と隣接している。理解を助けるために、遺構配置図(第169図)においては両者の隣接部分を合成して示すこととした。北のHA①からの小流路が集まり、今回調査区の大半が流路内(050SD)となっている。この流路を堰き止めるように石列が構築されており、その後の堆積に大きな影響を与えることとなった。出土遺物から、小流路群はグスク時代には流水しており、石列構築は17cに入ってからのことと考えられる。今回調査区西半に残存する浜堤砂層上には、小規模な溝・土坑・ピットが散在している。



第169図 平安山原A遺跡 遺構配置 (S=1/400)

### 石列 004・005SL (第170図)

流路 050SD 内において、土盛りを伴う石列が検出された。005SL は『平安山原A遺跡』(2016)における「土留状石列遺構 005SL」と同一・一連のものであり、004SL は下流側で直角方向に走る。005SL について新たに得られた知見として、後代になってからの土の盛り直しが認められたことが挙げられる。恐らくは耕作域における大きな区界であり、大畦畔と言っても良いであろう。また、N16 グリッド付近では盛土上面にて小ピットが下流側に偏る格好で検出されている。構築土中からは沖縄産無釉陶器瓶の胴～底部破片が、SL004 と SL005 に挟まれた田域からは匙形の簪(ジーファー)が、それぞれ出土している。



第170図 石列004・005SL (S=1/125)



石列検出 (南西より)

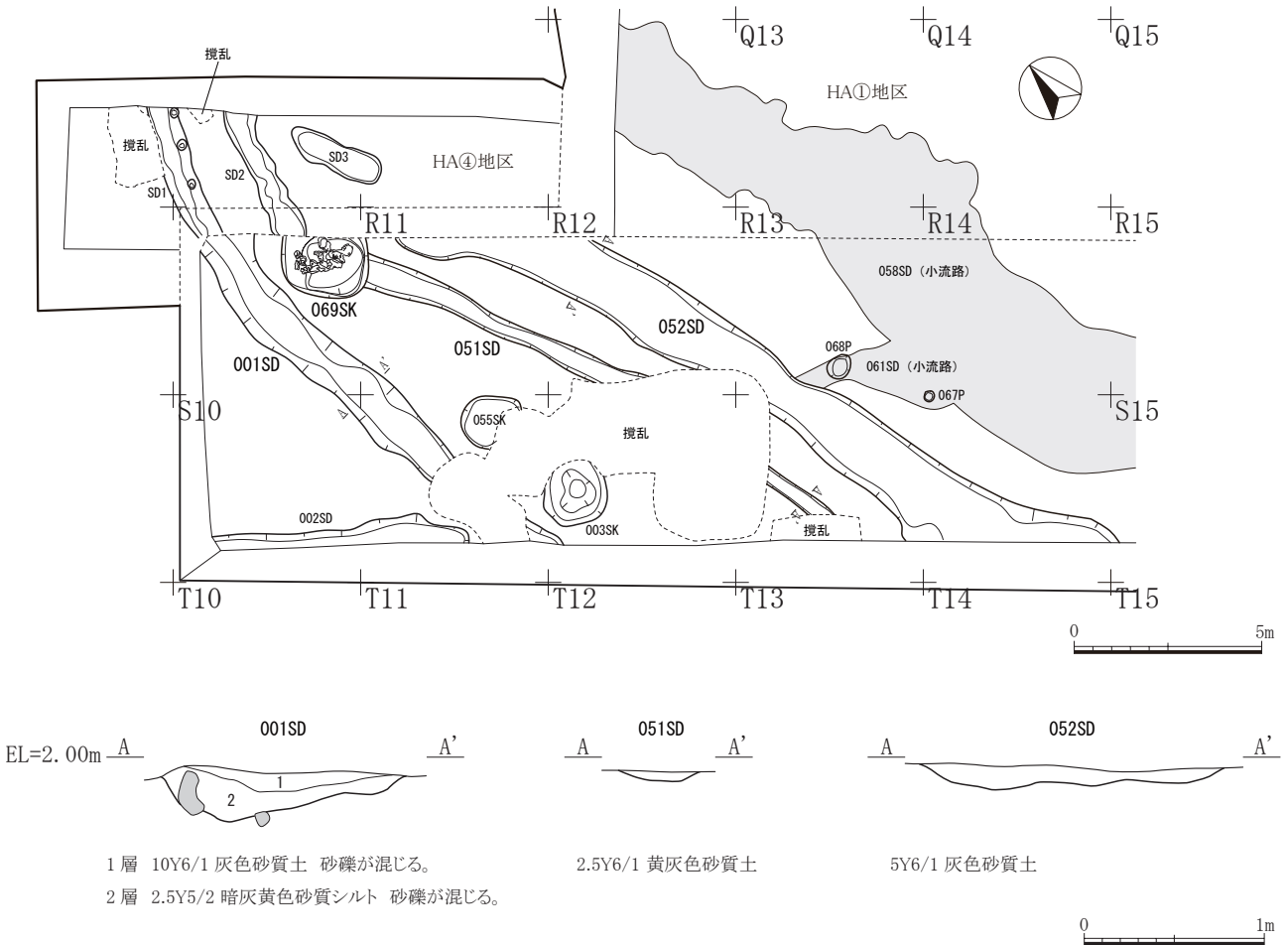


調査区南壁 石列断面 (北西より)

図版105 石列004・005SL

### 溝 001・051・052SD 及び土坑群（第 171 図）

調査区北西の浜堤上にて、3 条の溝と土坑が検出された。001SD は、『平安山原 A 遺跡』（2016）の HA ④地区で検出された SD1 と同一のものであり、051・052SD も HA ④地区 SD02・03 との関連が窺われる。前述の石列と走行方向が似ることから、耕作域を区画するといった関連性も考えられる。052SD を切る土坑 069SK には礫が詰められており、この土坑を基点として溝が僅かに方向を変えているようにも見える。或いは、001SD に沿って配置されている 003・055SK とはセット関係にあるのかもしれない。



第 171 図 浜堤上の溝・土坑（平面 S=1/200、断面 S=1/40）

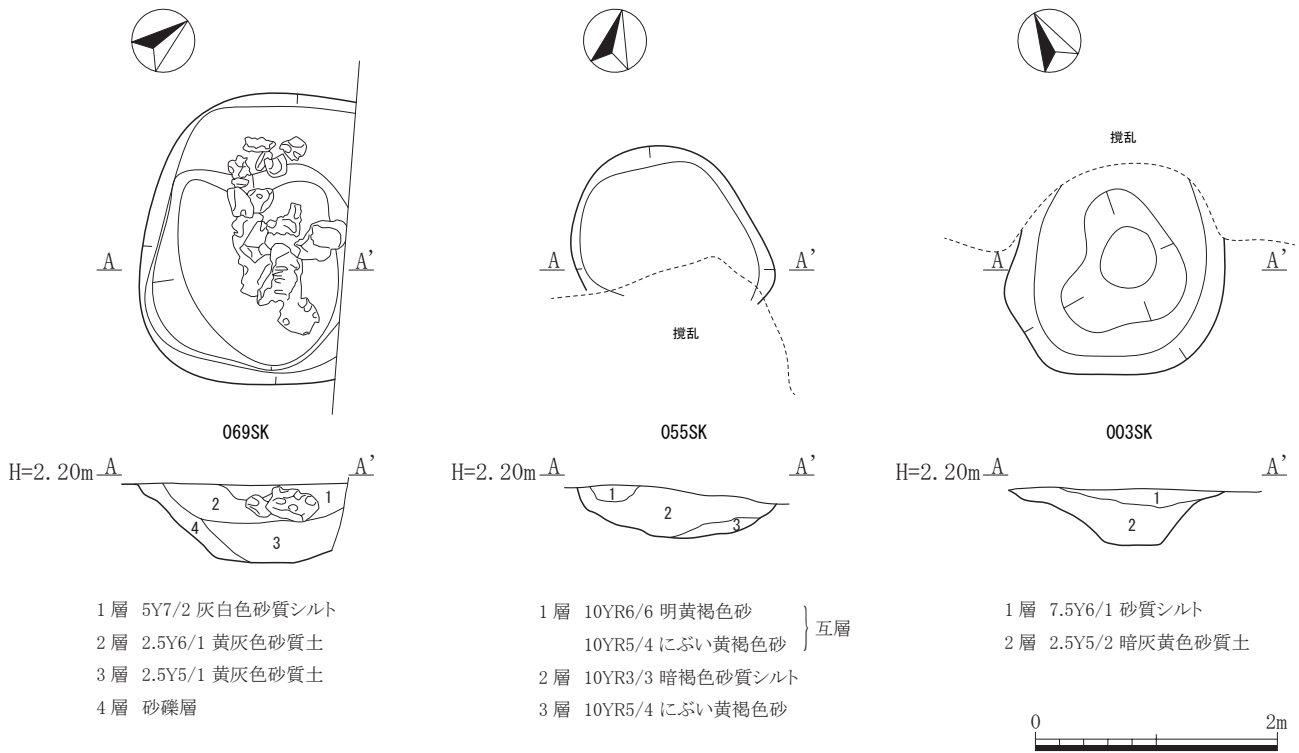


図版 106 溝 001SD 完掘（北西より）



図版 107 土坑 069SK 断面（南東より）





第172図 浜堤上の土坑 (S=1/60)

### 第3節 出土遺物

今回調査区にて得られた人工遺物は、3点にとどまった。これら以外に、小流路からイノシシ下顎骨も出土している。

#### 1. 青磁 (第173図、図版108)

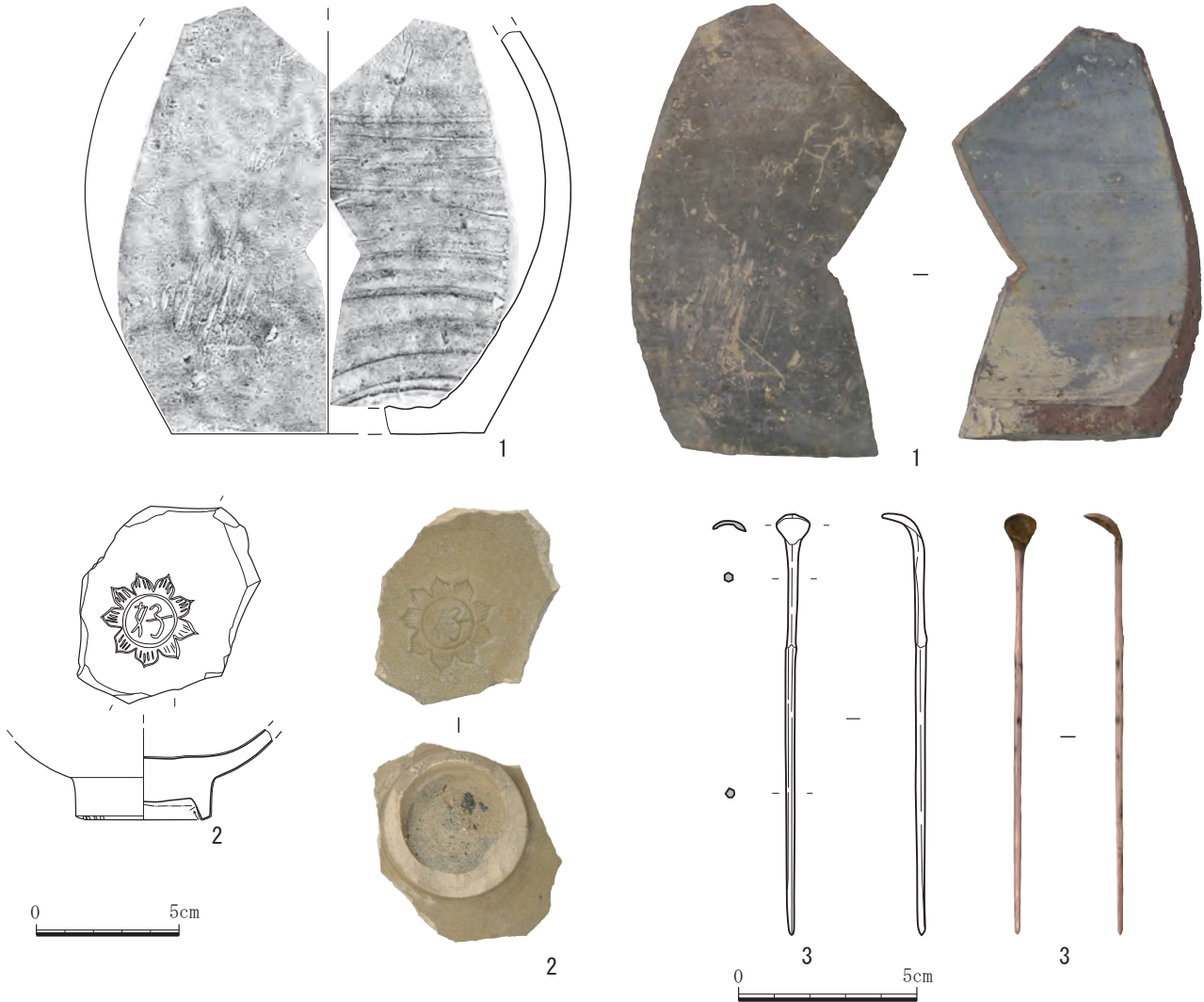
小流路050SDから、明代の青磁碗底部が1点出土した。石列構築以前の産物として捉えることができる。見込には印花好字が認められる。

#### 2. 沖縄産無釉陶器 (第173図、図版108)

石列005SLから、瓶の底部片が1点出土した。石列構築時に最も近い時期のものとして捉えることができる。底径は11cmを測る。

#### 3. 簪 (第173図、図版108)

石列004・005で囲まれた耕作土中より、匙形の簪が1点出土した。保存状態は良好で、赤茶色を呈する。カブは匙状。茎は六角形で、頸・竿の境目はそれぞれの六角が半分ずらしている。先端を六角錐状に作る。



第173図・図版108 平安山原A遺跡 出土遺物 (1・2 : S=2/5、3 : S=1/2)

第147表 沖縄産無釉陶器観察一覧

第図 図版	図 番号	器種	部位	胴径 (cm)	底径 (cm)	形状・特徴	器色 (外、内、サンド)	器面調整	混和材	焼 成	地区・グリッド・層 遺構・台(取)番号
第173図 図版108	1	瓶	胴～底	17.0	11.0	最大径を胴部に持ち、ほぼ丸形を呈する器形。頸部は窄まるタイプ。直底。	こげ茶、暗青灰、暗赤褐色	内:ロクロ 外:ナデ	砂粒(細)○ 白色粒(大)△	良	HA油 P19 005SL 取01

混和材凡例 ◎:非常に多い ○:多い △:少ない △:僅少

第148表 青磁観察一覧

第図 図版	図 番号	器種	部位	底径 (cm)	器形・文様構成	釉色・範囲	素地質・混入物	生産年代 生産地・その他	地区・グリッド・層 遺構・台(取)番号
第173図 図版108	2	碗	底	4.8	腰部に丸味を持ち高台は畳付の外側から削り出す。断面形態が三角状を示す。内底面に蓮弁に「好」の印花文を施す。	米色・畳付内側まで施釉。	細かく、黒色微細粒子を含む。	14c~15c 龍泉窯	HA油 S18 050SD 台24

第149表 簪観察一覧

第図 図版	図番号	種別	規格(cm)	観察事項	重量 (g)	地区・グリッド・層 遺構・台(取)番号
第173図 図版108	3	簪(匙形)	全長11.8、カブ長0.8×高1.2、頭長3.0	竿断面は六角形、先端は尖る。	4.0	HA油 P18 010SQ 取02

# 付篇 1 平安山原A遺跡 (HA ④) 出土のタカラガイ製品

平安山原A遺跡 (2016) でタカラガイ製品について報告したが、HA ④のタカラガイ製品は量が多く、自然の割れか、人工かという疑問があり、保留にしていた。今回、タカラガイの割れ方の実験を行ったところ、写真①～③のようになった。

## 図版 109 - ① : タカラガイを置き、上から打撃を加えた場合

外唇と内唇に割れる。このような出土例は徳之島の面縄貝塚 (2016) がある。貝類遺体を報告した黒住によると他に奄美大島の用見崎遺跡があるようで食用と捉えられている。

## 図版 109 - ② : タカラガイを置き、前端からほぼ水平に打撃を加えた場合

実験では直接たたくのではなく、ドライバーなどの当て具を間にいれて、石で打撃を加えた。その結果、貝殻の成長線に沿うように割れ、割れ口は外殻面より 90 度の面を成す。割痕は 1 回で、殻軸もそのまま残る。その後、研磨すると出土したタカラガイに近くなった。

## 図版 109 - ③ : タカラガイを置き、後端からほぼ水平に打撃を加えた場合

直接石でたたくと写真のように割れ、前者同様にドライバーなどの当て具を間にいれ、数回打撃を加える必要があり、製品にするのは困難であった。

HA ④で出土したタカラガイの割れ口を確認すると水平なものや研磨したもの、また、後端から割り、複数の割れ痕も見られ、人工的に加工した可能性が高いことがわかったので、ここに報告する。

HA ④で保留していたタカラガイはハナビラダカラ 22 点、キイロダカラ 4 点、ハナマルユキ 433 点の他、計 469 点である。層別にはⅡ層 129 点、Ⅱ層遺構で 39 点、Ⅱ～Ⅲ層で 8 点、Ⅲ層 214 点、

第150表 タカラガイ製品 出土量

種類 巻軸	ハナビラダカラ・キイロダカラ										ハナマルユキ										ヤクシマダカラ		ヒメホシダカラ ホシダカラ			合計							
	A①		A②		B①		B②		B③		A①		A②		B①		B②		A①	B①	A①	A②	B①										
	◎	○	△	○	△	×	○	△	○	◎	○	○	△	×	◎	○	△	×	○	×	△	○	○	△									
Ⅱ層		1		3	1					1		21	29		4		7	1	7	8	10	24	5	1	1	2	1	1					128
Ⅱ層 遺構												5	7	1			2	9	3			6	2		3					1			39
Ⅱ～Ⅲ層														1					2		1	2	1		1								8
Ⅲ層	1	5	1	1	3				1		1	27	43		10	1	20	5	17	7	15	38	7	2	4					2	3	214	
Ⅲ層 遺構		1				1	2	1				14	22		1		1	3	6	2	5	3			1							63	
Ⅳ層		2										1	5				2				2	4										16	
—												1																					1
合計	1	9	1	4	4	1	2	1	1	1	1	68	107	1	16	1	32	18	35	17	33	77	15	3	10	2	1	1	3	3		469	
種類別計	26										433										3		7										

凡例 巻有:A① 巻半欠:A② 軸有:B① 軸半欠:B② 軸欠:B③

第151表 タカラガイ製品 (重量) 出土量

(法量単位: g)

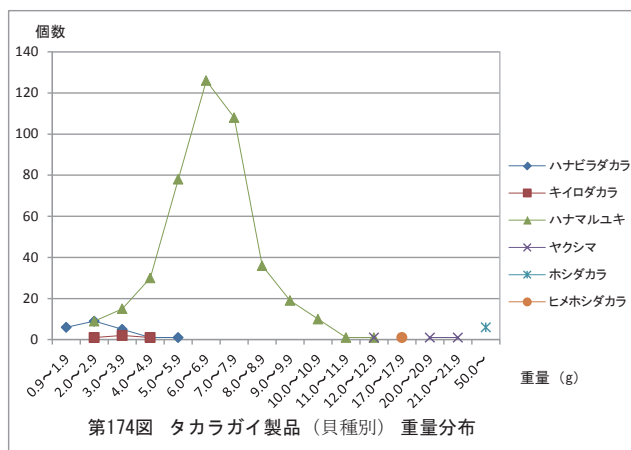
種類 巻軸	ハナビラダカラ					キイロダカラ			ハナマルユキ				ヤクシマダカラ		ホシダカラ			ヒメホシダカラ	合計															
	A①	A②	B①	B②	B③	A①	A②	B①	A①	A②	B①	B②	A①	B①	A①	A②	B①	A②																
0.9~1.9	1	4			1																												6	
2.0~2.9	5	2		1				1					8	1																			19	
3.0~3.9	3	1		1				1	1			2	10	2	1																		22	
4.0~4.9								1	1			4	8	14	4																		32	
5.0~5.9				1								28	19	28	3																		79	
6.0~6.9												60	22	44																			126	
7.0~7.9												56	25	25																			108	
8.0~8.9												21		6	9																		36	
9.0~9.9												14	3	2																			19	
10.0~10.9												7		3																			10	
11.0~11.9													1																					1
12.0~12.9													1						1															2
17.0~17.9																															1			1
20.0~20.9																										1								1
21.0~21.9																											1							1
50.0~																																		6
合計	9	8	2	1	2	2	1	1				192	103	128	10	2	1	1	1	2	3				1	2	3	1				469		
	22					4			433				3		6			1																

凡例 巻有:A① 巻半欠:A② 軸有:B① 軸半欠:B② 軸欠:B③

Ⅲ層遺構で63点、Ⅳ層で16点、不明1点の出土である。出土層位からするとⅢ層遺構のグスクⅡ期から近世とⅡ層の近代～戦前と考えられる。改めてタカラガイを観察した（第152表）。

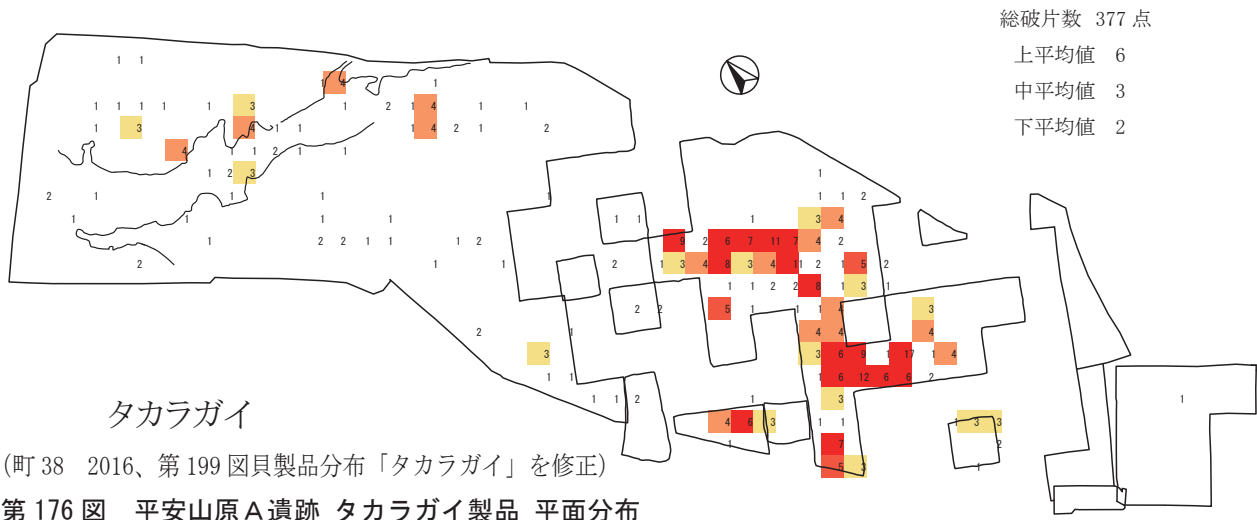
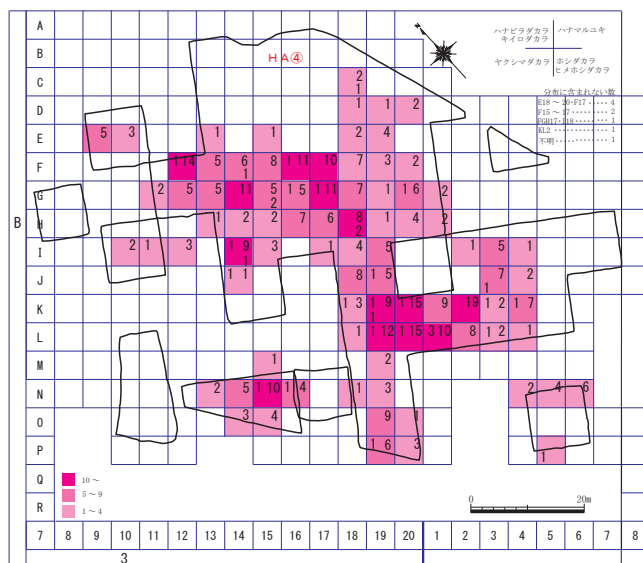
殻軸は、巻き有（A①）、巻き半欠（A②）、軸有（B①）、軸半欠（B②）、軸欠（B③）に分類。縁の部分は◎研磨、○：整う、△：縁不揃い、×：加工無に分類した。

その結果を第151表に示した。これによるとハナビラダカラ・キイロダカラは（A）が20点、（B）が6点、ハナマルユキは（A）が295点、（B）138点、ヤクシマダカラは（A）が2点、（B）1点、ホシダカラは（A）が3点、（B）が3点である。第174図に示した重量分布では最も多いハナマルユキは5.0～7.0g台が全体の72%、ハナビラダカラとキイロダカラを合わせると5.0g以下に収まり、ホシダカラは17.0～50.0g以上に分かれることから網の錘とした場合、網の大きさ、種類が異なることが想定される。

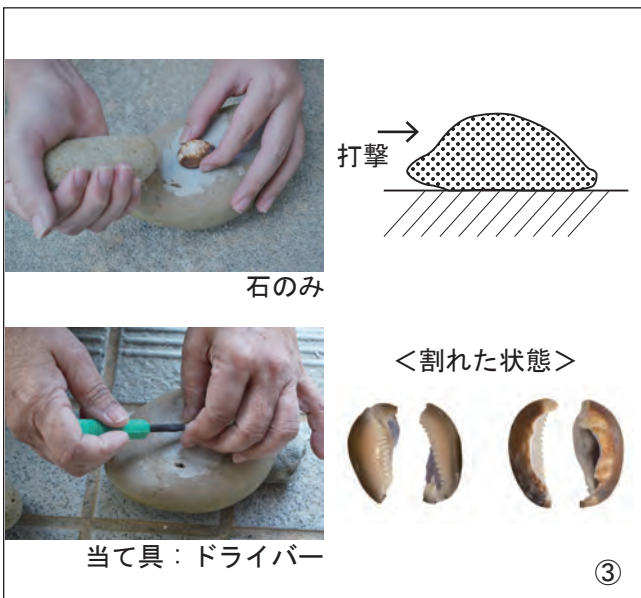
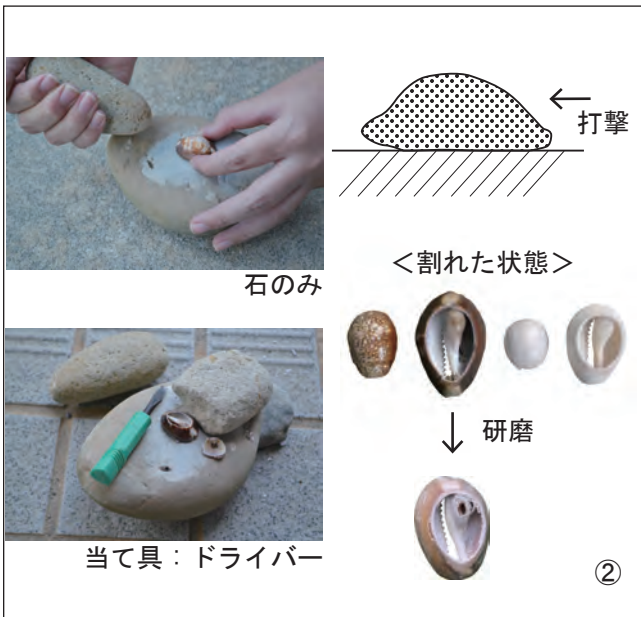


平安山原A遺跡（2016）でタカラガイの平面分布を示したが、今回の報告で分布が変わり、HA④に集中する。時期別の遺物分布（第176図）からみると平A-Ⅱ期（11～14c）と平A-Ⅲ期（14～17c）に遺物が多く、平A-V期（近代）には遺物が見られないことからタカラガイ製品の所属年代は平A-Ⅲ期（明代後半）の可能性が高い。

前述した様にHA④で密度が高くなり、グリッド別にみるとF16・17とKL19・20・21に特に多いようで、前者は明代後半、後者は近世の遺構が集中する。このことからタカラガイ製品は特に明代後半～近世にかけて使われていたようである。







図版 109 タカラガイの割れ方（実験）

第152表-1 タカラガイ製品 観察一覧

製品番号	貝種	縦 (cm)	横 (cm)	重さ (g)	巻軸	縁	地区・グリッド・層 遺構・台帳(取)番号
1	ハナマルユキ	2.3	3.0	5.9	3	◎	HA④ K2 III 台861
2	ハナマルユキ	2.4	3.2	6.4	3	◎	HA④ K2 III 台863
3	ハナマルユキ	2.2	2.9	5.2	3	◎	HA④ J18 II 台818
4	ハナマルユキ	2.4	3.1	6.0	3	◎	HA④ K2 III 台860
5	ハナビラダカラ	2.1	3.0	4.6	5	◎	HA④ J19 II 台836
6	ハナマルユキ	2.4	3.3	6.9	3	◎	HA④ I3 III 台646
7	ハナマルユキ	2.4	3.2	7.1	3	◎	HA④ H19 II 台615
8	ハナマルユキ	2.3	3.2	6.2	3	◎	HA④ K18 III 台894
9	ハナマルユキ	2.3	3.1	5.8	3	◎	HA④ K2 III 台861
10	ハナマルユキ	2.7	3.5	9.9	3	◎	HA④ L2 IV 台952
11	ハナマルユキ	2.6	3.3	7.9	3	◎	HA④ J3 II 台766
12	ハナマルユキ	2.2	3.0	4.4	2	○	HA④ I3 III 台646
13	ハナマルユキ	2.5	3.3	7.8	3	◎	HA④ K2 III (SP1082)台3965
14	ハナマルユキ	2.5	3.3	7.1	3	◎	HA④ K2 III 台861
15	ハナマルユキ	2.2	2.9	4.4	3	◎	HA④ K2 III 台860
16	ハナマルユキ	2.4	3.1	6.6	3	◎	HA④ H01 II 台513
17	ハナマルユキ	2.3	3.0	5.7	4	◎	HA④ F16 III 台262
18	ハナマルユキ	2.4	3.3	6.9	3	◎	HA④ P20 III 台1166
19	ハナマルユキ	2.4	3.4	6.3	3	◎	HA④ L2 III (SP1078)台3960
20	ハナマルユキ	2.6	3.5	8.2	3	◎	HA④ L19 III 台975
21	ハナマルユキ	2.3	3.0	6.5	3	◎	HA④ N16 III (SP277)台3560
22	ハナマルユキ	2.5	3.3	7.2	3	◎	HA④ N15 II 台1054
23	ハナマルユキ	2.3	3.2	5.0	3	◎	HA④ E18~20・F17 II~III 台4501
24	ハナマルユキ	2.4	3.3	6.9	3	◎	HA④ N15 II 台1053
25	ハナマルユキ	2.3	3.0	5.9	3	◎	HA④ N15 III (SP238)台3519
26	ハナマルユキ	1.8	2.4	2.4	2	◎	HA④ K18 III 台902
27	ハナマルユキ	2.4	3.1	7.0	3	◎	HA④ D20 II 台73
28	ハナマルユキ	2.2	2.9	5.1	3	○	HA④ E18 IV 台150
29	ハナマルユキ	2.5	3.4	7.3	3	○	HA④ E19 II 台160
30	ハナマルユキ	2.4	3.1	6.7	3	○	HA④ F12 II 台197
31	ハナマルユキ	2.3	3.1	6.3	3	○	HA④ F14 II 台217
32	ハナマルユキ	1.8	2.3	3.0	2	○	HA④ F15 III 台231
33	ハナマルユキ	2.3	3.2	6.0	2	△	HA④ F15 III 台234
34	ハナマルユキ	2.6	3.6	9.5	2	△	HA④ F15 III 台238
35	ハナマルユキ	2.7	3.6	8.0	3	○	HA④ F15 IV 台247
36	ハナマルユキ	2.3	3.5	5.8	3	○	HA④ F16 III 台265
37	ハナマルユキ	2.3	3.1	4.8	2	○	HA④ F17 III 台267
38	ハナマルユキ	2.5	3.2	6.9	3	○	HA④ F17 III 台288
39	ハナマルユキ	2.4	3.3	6.5	3	△	HA④ F17 III 台288
40	ハナマルユキ	2.2	3.0	5.5	3	○	HA④ G01 II 台356
41	ハナマルユキ	2.3	3.4	7.0	3	△	HA④ F19 III 台333
42	ハナマルユキ	2.2	3.2	6.1	3	○	HA④ G12 II 台367
43	ハナマルユキ	2.3	3.1	5.8	3	○	HA④ G11 III 台363
44	ハナマルユキ	2.3	3.0	6.4	3	○	HA④ G14 II 台397
45	ハナマルユキ	2.6	3.5	8.7	3	◎	HA④ G01 II 台357
46	ハナマルユキ	2.4	3.2	6.8	3	○	HA④ G14 III 台404
47	ハナマルユキ	2.4	3.2	5.5	3	○	HA④ G17 II 台449
48	ハナビラダカラ	1.6	2.2	2.1	5	○	HA④ G17 III 台457
49	ハナマルユキ	2.2	3.0	5.1	3	○	HA④ G17 III 台458
50	ハナマルユキ	1.9	2.7	3.2	3	△	HA④ G17 III 台458
51	ハナマルユキ	2.4	3.0	6.6	3	○	HA④ G17 III 台458
52	ハナマルユキ	2.3	3.1	5.7	3	○	HA④ G20 II 台506
53	ハナマルユキ	2.4	3.3	6.5	2	○	HA④ G19 III 台498
54	ハナマルユキ	2.3	3.1	6.5	3	○	HA④ G20 II 台506
55	ハナマルユキ	2.5	3.3	7.6	3	○	HA④ G20 II 台506
56	ハナマルユキ	2.3	3.3	7.0	3	×	HA④ H16 II 台553
57	ハナマルユキ	2.3	3.3	7.0	3	◎	HA④ H17 III 台565
58	ハナマルユキ	2.3	3.1	6.0	3	△	HA④ H18 II 台579
59	ハナマルユキ	2.2	3.0	4.5	3	○	HA④ H18 III 台586
60	ハナマルユキ	2.4	3.5	8.3	3	○	HA④ H18 III 台590
61	ハナマルユキ	2.5	3.3	7.4	3	○	HA④ H18 III 台597
62	ハナマルユキ	2.3	3.1	6.6	3	○	HA④ H18 III 台603
63	ハナマルユキ	2.2	2.9	4.9	3	△	HA④ I14 III 台688
64	ハナマルユキ	2.3	2.9	5.4	3	○	HA④ H20 II 台632
65	ハナマルユキ	2.8	3.9	10.7	3	○	HA④ I3 III 台646
66	ハナマルユキ	2.6	3.6	8.6	3	×	HA④ I4 III 台650
67	ハナマルユキ	2.2	3.0	5.2	3	○	HA④ I10 II 台666

第152表-2 タカラガイ製品 観察一覧

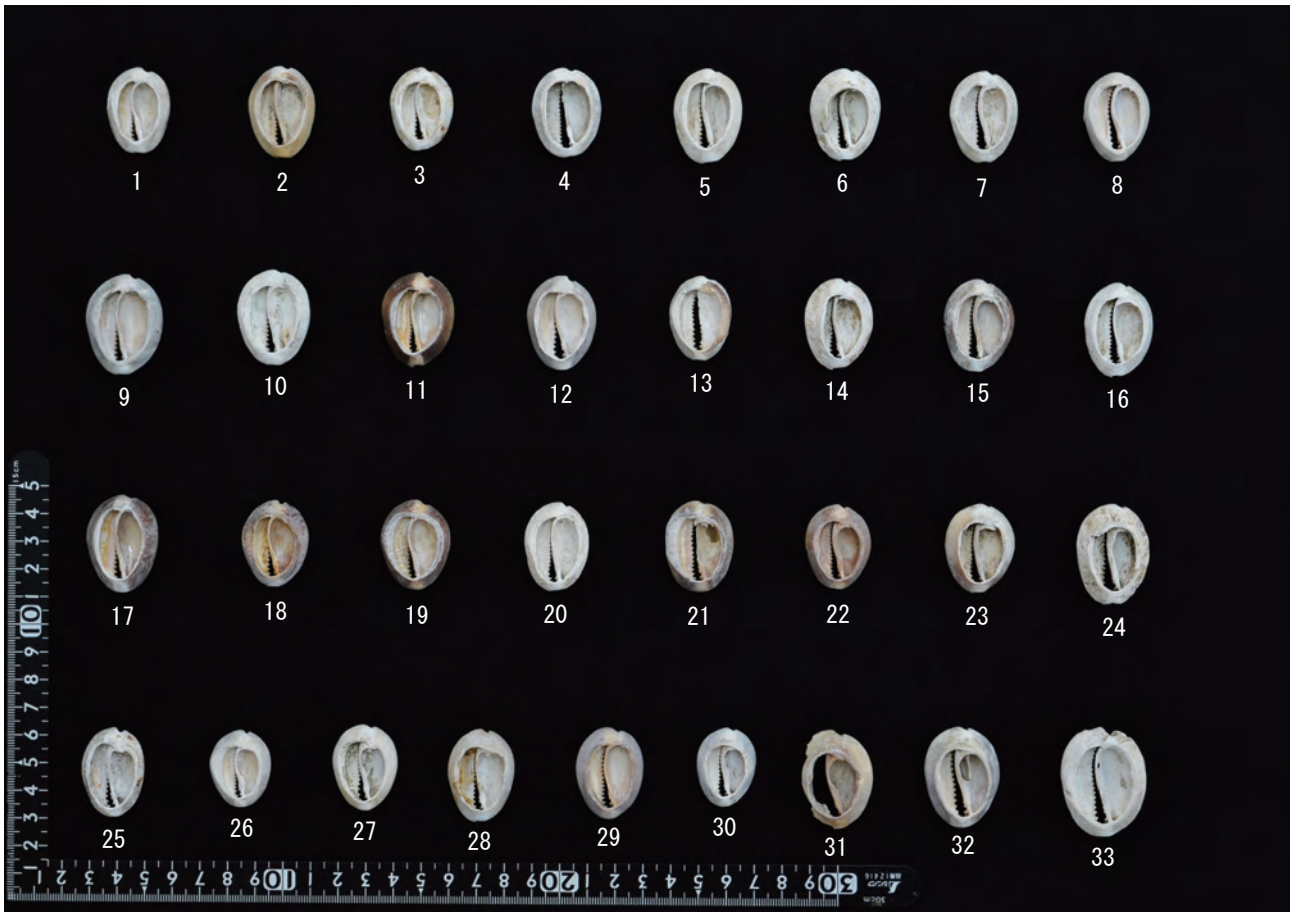
製品番号	貝種	縦 (cm)	横 (cm)	重さ (g)	巻軸	縁	地区・グリッド・層 遺構・台帳(取)番号	製品番号	貝種	縦 (cm)	横 (cm)	重さ (g)	巻軸	縁	地区・グリッド・層 遺構・台帳(取)番号
68	ハナマルユキ	2.2	3.0	5.4	3	○	HA④ I11 III 台681	135	ハナマルユキ	2.5	3.3	7.2	3	○	HA④ F14 II (SD42)台3175
69	ハナマルユキ	2.0	3.1	4.4	3	△	HA④ I18 III 台728	136	ハナマルユキ	2.0	2.5	3.6	2	△	HA④ N15 III (SK22)台3262
70	ハナマルユキ	2.3	3.1	5.7	2	○	HA④ I19 III 台738	138	ハナマルユキ	1.8	2.4	2.3	2	△	HA④ N16 III (SP276)台3558
71	ハナマルユキ	2.5	3.1	7.6	2	△	HA④ I19 III 台740	139	ハナマルユキ	2.2	2.8	4.8	3	○	HA④ K20 III (SP559)台3673
72	ハナマルユキ	2.4	3.5	6.6	3	○	HA④ I19 III 台751	140	ハナマルユキ	2.6	3.4	7.8	3	○	HA④ G13 III (SP890)台3861
73	ハナマルユキ	2.5	3.1	6.0	3	△	HA④ J3 II 台763	141	ハナマルユキ	2.4	3.2	6.8	3	◎	HA④ K3 III (SP1009)台3922
74	ハナマルユキ	2.5	3.3	7.5	3	○	HA④ J3 II 台766	142	ハナピラダカラ	2.0	2.6	3.7	3	○	HA④ K・L2 III (SP1108)台3975
75	ハナマルユキ	2.5	3.2	7.8	3	○	HA④ J3 II 台766	143	ハナマルユキ	2.6	3.5	9.7	1	△	HA④ C18 II 台16
76	ハナマルユキ	1.7	2.3	2.1	2	×	HA④ J4 II 台769	144	ハナマルユキ	2.3	3.0	5.2	2	△	HA④ C18 II 台34
77	ハナマルユキ	2.1	2.9	4.7	3	△	HA④ J14 II 台795	145	ハナマルユキ	2.2	2.9	5.9	2	○	HA④ D18 II 台145
78	ハナマルユキ	1.9	2.4	3.3	3	○	HA④ J19 III 台839	146	ハナマルユキ	2.4	3.0	5.1	3	○	HA④ D20 II 台69
79	ハナマルユキ	2.2	2.9	5.3	3	○	HA④ K1 II 台846	147	ハナマルユキ	2.5	3.2	7.8	2	△	HA④ E9 II 台91
80	ハナマルユキ	2.4	3.3	7.0	3	○	HA④ K1 III 台849	148	ハナマルユキ	2.3	2.8	5.9	1	○	HA④ E10 II 台107
81	ハナマルユキ	2.5	3.1	6.9	3	○	HA④ K1 III 台850	149	ハナマルユキ	2.2	3.1	6.7	1	△	HA④ E10 III 台112
82	ハナマルユキ	2.3	2.9	5.5	3	○	HA④ L1 III 台942	150	ハナマルユキ	2.6	3.4	8.4	1	○	HA④ E15 II 台134
83	ハナマルユキ	2.2	2.9	4.7	4	○	HA④ K1 III 台855	151	ハナマルユキ	2.3	3.0	5.8	1	○	HA④ E18 II 台148
84	ハナマルユキ	2.3	3.0	6.0	3	○	HA④ K2 III 台859	152	ハナマルユキ	2.8	3.6	10.3	1	△	HA④ E19 II 台163
85	ハナマルユキ	2.2	3.8	4.7	3	○	HA④ L1 III 台946	153	ハナマルユキ	2.1	2.8	4.6	3	◎	HA④ F12 II 台185
86	ハナマルユキ	2.3	3.1	6.5	2	○	HA④ K4 II 台876	154	ハナマルユキ	2.9	3.6	11.1	2	△	HA④ F12 II 台185
87	ハナマルユキ	2.4	3.1	6.3	3	△	HA④ K4 II 台876	155	ハナマルユキ	2.4	3.2	7.7	2	△	HA④ F12 II 台185
88	ハナマルユキ	2.5	3.4	7.2	3	○	HA④ F16 III 台265	156	ハナマルユキ	2.3	3.2	6.8	1	△	HA④ F12 II 台199
89	ハナマルユキ	2.8	3.7	10.5	3	○	HA④ K19 III 台914	157	ハナマルユキ	2.3	3.0	5.9	3	○	HA④ F12 III 台202
90	ハナマルユキ	2.2	2.7	5.1	3	○	HA④ K20 III 台925	158	ハナマルユキ	2.7	3.4	9.7	1	△	HA④ F13 III 台209
91	ハナマルユキ	2.5	3.4	7.7	3	×	HA④ K20 III 台927	159	ハナマルユキ	2.4	3.1	7.0	2	△	HA④ F13 III 台210
92	ハナマルユキ	2.2	2.8	5.5	3	○	HA④ K20 III 台928	160	ハナマルユキ	2.5	3.0	6.0	3	○	HA④ F15 III 台231
93	ハナマルユキ	2.4	3.2	7.1	3	○	HA④ K20 III 台932	161	ハナマルユキ	2.5	3.2	7.0	2	△	HA④ F15 III 台242
94	ハナピラダカラ	1.5	2.4	1.9	4	○	HA④ L1 III 台942	162	ハナマルユキ	2.4	3.1	7.0	1	○	HA④ F16 II 台253
95	ハナマルユキ	2.4	3.0	5.1	3	○	HA④ L1 III 台945	163	ハナマルユキ	2.4	3.2	7.5	2	△	HA④ F16 III 台257
96	ハナマルユキ	2.3	3.3	6.8	3	○	HA④ L2 II 台948	164	ハナマルユキ	2.3	3.0	6.5	2	○	HA④ F16 III 台265
97	ハナマルユキ	2.5	3.3	7.4	3	○	HA④ L2 III 台949	165	ハナマルユキ	2.2	3.0	5.5	2	△	HA④ F16 III 台266
98	ハナマルユキ	2.5	3.1	7.0	3	○	HA④ L2 III 台949	166	ハナマルユキ	2.1	2.8	5.0	2	○	HA④ F16 III 台266
99	ハナマルユキ	2.3	3.1	4.7	4	○	HA④ L20 III 台988	167	ハナマルユキ	2.5	3.3	7.0	1	△	HA④ F17 III 台267
100	ハナマルユキ	2.1	2.8	4.3	3	○	HA④ L20 III 台989	168	ハナマルユキ	2.6	3.3	8.0	2	○	HA④ F17 III 台267
101	ハナマルユキ	2.7	3.5	9.7	3	△	HA④ L20 III 台989	169	ハナマルユキ	2.4	3.2	6.5	3	○	HA④ F17 III 台269
102	ハナマルユキ	2.2	2.7	4.5	3	◎	HA④ L20 III 台989	170	ハナマルユキ	2.4	3.1	7.0	2	△	HA④ F17 III 台272
103	ハナマルユキ	2.3	3.1	6.4	2	○	HA④ L20 III 台989	171	ハナマルユキ	2.2	3.0	5.0	2	○	HA④ F17 III 台273
104	ハナマルユキ	1.9	2.4	3.1	2	○	HA④ M19 III 台1005	172	ハナマルユキ	2.3	3.0	6.0	1	×	HA④ F17 III 台273
105	ハナマルユキ	2.4	3.1	6.0	3	○	HA④ N4 II 台1013	173	ハナマルユキ	2.1	2.8	4.0	3	○	HA④ F17 III 台286
106	ハナマルユキ	2.2	3.0	4.6	3	○	HA④ N5 II~III 台1016	174	ハナマルユキ	2.5	3.3	8.0	1	○	HA④ F19 II 台327
107	ハナマルユキ	2.4	3.5	6.4	3	○	HA④ N5 II 台1018	175	ハナマルユキ	1.8	2.6	3.0	1	△	HA④ G11 III 台366
108	ハナマルユキ	2.2	2.9	4.7	4	○	HA④ N5 III 台1023	176	ハナマルユキ	2.4	3.1	6.5	1	○	HA④ G12 II 台367
109	ハナマルユキ	2.3	2.9	5.7	3	○	HA④ N6 II 台1024	177	ハナマルユキ	2.2	2.9	6.0	1	△	HA④ G12 II 台368
110	ハナマルユキ	2.6	3.3	8.1	3	△	HA④ N6 II 台1024	178	ハナマルユキ	2.5	3.1	7.0	1	△	HA④ G12 IV 台376
111	ハナマルユキ	2.2	3.0	4.7	3	○	HA④ N6 II 台1024	179	ハナマルユキ	2.6	3.3	7.1	4	○	HA④ E19 III (SP1514)台4205
112	ハナマルユキ	2.4	3.1	6.2	3	○	HA④ N6 III 台1026	180	ハナマルユキ	2.6	3.4	8.2	3	○	HA④ G15 III (SP1680)台4291
113	ハナマルユキ	1.9	2.6	3.3	2	○	HA④ N14 II 台1043	181	ハナマルユキ	1.8	2.5	2.6	2	△	HA④ L18 III (SP1936)台4433
114	ハナマルユキ	2.4	3.1	6.2	3	○	HA④ N14 II 台1045	182	ハナマルユキ	2.4	3.2	4.4	4	○	HA④ I10 II 台4460
115	ハナマルユキ	2.5	3.6	8.4	3	○	HA④ N15 IV 台1056	183	ハナマルユキ	1.8	2.6	2.5	3	○	HA④ E18~20・F17 II~III 台4501
116	ハナマルユキ	2.3	3.0	5.6	3	◎	HA④ O6 III 台1099	184	ハナマルユキ	2.1	2.6	3.4	4	○	HA④ E18~20・F17 II~III 台4501
117	ハナマルユキ	2.3	3.0	5.9	3	○	HA④ O14 II 台1104	185	ハナマルユキ	2.4	3.1	6.7	3	△	HA④ FGH17・118 II~III 台4526
118	ハナマルユキ	2.4	3.2	7.0	3	○	HA④ O19 III 台1130	186	ハナマルユキ	2.0	2.8	4.0	2	△	HA④ G15 III 台422
119	ハナマルユキ	2.5	3.2	6.8	3	△	HA④ O19 III 台1130	187	ハナマルユキ	2.4	3.2	7.0	2	△	HA④ G15 III 台433
120	ハナマルユキ	2.6	3.2	7.6	3	○	HA④ O19 II 台1122	188	ハナマルユキ	2.7	3.5	9.0	2	○	HA④ G16 II 台442
121	ハナマルユキ	2.3	3.1	5.7	3	○	HA④ O19 IV 台1132	189	ハナマルユキ	2.4	3.1	7.0	1	×	HA④ G16 III 台446
122	ハナマルユキ	2.4	3.3	6.4	3	○	HA④ P19 III 台1158	190	ハナマルユキ	2.6	3.3	9.0	1	○	HA④ G16 III 台446
123	ハナマルユキ	2.1	2.8	4.1	2	△	HA④ P19 III 台1158	191	ハナマルユキ	2.3	3.0	6.5	1	△	HA④ G16 III 台446
124	ハナマルユキ	2.4	3.3	6.6	3	◎	HA④ P19 III 台1158	192	ハナマルユキ	2.4	3.3	7.0	2	○	HA④ G17 III 台456
125	ハナマルユキ	2.7	3.4	7.9	4	○	HA④ F16 II (SD41)台2965	193	ハナマルユキ	2.5	3.2	8.0	1	×	HA④ G17 III 台456
126	ハナマルユキ	2.5	3.3	6.5	3	○	HA④ I14 II (SD41)台2980	194	ハナマルユキ	2.4	3.2	7.5	1	○	HA④ G17 III 台456
127	ハナマルユキ	2.3	3.1	5.0	3	○	HA④ F18 II (SD41)台2991	195	ハナマルユキ	2.4	3.1	5.5	2	○	HA④ G17 III 台456
128	ハナマルユキ	2.5	3.3	7.6	3	△	HA④ H18 II (SD41)台2996	196	ハナマルユキ	2.0	2.5	3.5	2	△	HA④ G17 III 台458
129	ハナマルユキ	2.5	3.3	6.4	3	○	HA④ G14 II (SD41)台3028	197	ハナマルユキ	2.0	2.5	3.5	2	○	HA④ G17 III 台458
130	ハナマルユキ	2.2	2.8	5.0	4	○	HA④ G14 II (SD41)台3096	198	ハナマルユキ	2.6	3.4	9.1	1	○	HA④ G17 III 台458
131	ハナマルユキ	2.4	3.1	6.4	3	△	HA④ F14 II (SD42)台3126	199	ハナマルユキ	1.9	2.7	2.8	2	○	HA④ G18 III 台476
132	ハナマルユキ	2.5	3.3	5.9	4	○	HA④ F14 II (SD42)台3127	200	ハナマルユキ	2.4	3.2	6.1	3	○	HA④ G18 III 台481
133	ハナマルユキ	2.1	2.8	4.4	3	○	HA④ G13 II (SD42)台3142	201	ハナマルユキ	2.5	3.3	7.0	2	△	HA④ G18 III 台476
134	ハナマルユキ	2.5	3.1	6.6	3	○	HA④ F14 II (SD42)台3152	202	ハナマルユキ	2.1	3.0	5.4	1	△	HA④ G18 III 台478

第152表-3 タカラガイ製品 観察一覧

製品番号	貝種	縦 (cm)	横 (cm)	重さ (g)	巻軸	縁	地区・グリッド・層 遺構・台帳(取)番号	製品番号	貝種	縦 (cm)	横 (cm)	重さ (g)	巻軸	縁	地区・グリッド・層 遺構・台帳(取)番号
203	ハナマルユキ	2.3	3.1	6.4	1	○	HA④ D19 II 台43	270	ハナマルユキ	2.6	3.4	8.2	1	○	HA④ J19 II 台837
204	ハナマルユキ	2.3	3.1	6.1	1	△	HA④ E9 II 台95	271	ハナマルユキ	2.1	2.7	4.6	1	×	HA④ J19 III 台839
205	ハナマルユキ	2.3	3.2	6.5	1	○	HA④ F12 II 台185	272	ハナマルユキ	2.4	3.1	7.1	1	○	HA④ K1 III 台850
206	ハナマルユキ	2.4	3.3	7.5	1	○	HA④ F12 II 台185	273	ハナマルユキ	2.2	3.2	6.1	1	△	HA④ K1 III 台853
207	ハナマルユキ	2.3	3.2	6.5	1	○	HA④ F12 III 台186	274	ハナマルユキ	2.4	3.3	6.5	2	○	HA④ K2 III 台859
208	ハナマルユキ	2.5	3.5	9.3	1	△	HA④ F12 III 台200	275	ハナマルユキ	2.6	3.3	9.1	1	△	HA④ K2 III 台859
209	ハナマルユキ	2.2	3.1	6.0	1	○	HA④ F12 III 台200	276	ハナマルユキ	2.3	3.1	5.6	2	○	HA④ K2 III 台863
210	ハナマルユキ	2.2	3.2	6.4	1	○	HA④ F13 III 台213	277	ハナマルユキ	2.4	3.1	6.5	1	○	HA④ K2 III 台863
211	ハナマルユキ	2.2	3.0	6.3	1	△	HA④ F16 III 台266	278	ハナマルユキ	2.8	3.5	10.4	1	○	HA④ K2 III 台863
212	ハナマルユキ	2.7	3.6	10.2	1	○	HA④ F18 III 台310	279	ハナマルユキ	2.4	3.5	6.7	3	◎	HA④ K2 III 台863
213	ハナマルユキ	2.4	3.2	6.5	2	△	HA④ F18 III 台320	280	ハナマルユキ	2.7	3.5	8.8	3	◎	HA④ K2 IV 台867
214	ハナマルユキ	2.3	3.0	5.4	3	○	HA④ F18 III 台321	281	ハナマルユキ	2.6	3.4	7.9	2	○	HA④ K4 II 台876
215	ハナマルユキ	2.5	3.3	7.9	2	○	HA④ F18 III 台321	282	ハナマルユキ	2.2	2.6	5.2	1	△	HA④ K4 II 台876
216	ハナマルユキ	2.2	2.7	5.0	2	×	HA④ F18 III 台321	283	ハナマルユキ	2.3	3.0	6.0	1	△	HA④ K4 II 台876
217	ハナマルユキ	2.4	3.1	5.5	2	○	HA④ F19 III 台331	284	ハナマルユキ	2.3	2.9	5.4	1	○	HA④ K4 II 台876
218	ハナマルユキ	2.6	3.3	8.5	1	△	HA④ F20 II 台342	285	ハナマルユキ	3.0	3.8	10.7	3	◎	HA④ K4 II 台876
219	ハナマルユキ	2.4	3.0	5.4	1	△	HA④ F20 II 台345	286	ハナピラダカラ	2.0	2.5	3.9	1	○	HA④ K18 III 台901
220	ハナマルユキ	2.4	3.2	7.1	1	○	HA④ G14 II 台397	287	ハナマルユキ	2.3	3.4	6.1	1	△	HA④ K18 III 台905
221	ハナマルユキ	2.2	3.0	6.2	1	×	HA④ G14 III 台408	288	ハナマルユキ	2.4	3.1	6.4	1	△	HA④ K19 II 台907
222	ハナマルユキ	2.4	3.2	5.9	2	×	HA④ G20 II 台506	289	ハナマルユキ	2.5	3.3	7.2	1	○	HA④ K19 II 台907
223	ハナマルユキ	2.2	3.0	5.5	1	○	HA④ G20 II 台506	290	ヤクシマダカラ	2.7	4.3	12.5	1	×	HA④ K19 II 台907
224	ハナマルユキ	2.3	3.3	5.7	2	○	HA④ G20 II 台507	291	ハナマルユキ	2.2	2.9	5.8	1	△	HA④ K19 III 台912
225	ハナマルユキ	2.5	3.1	7.9	1	×	HA④ H01 II 台513	292	ハナマルユキ	2.6	3.3	7.4	2	○	HA④ K19 III 台915
226	ハナマルユキ	2.4	2.9	6.2	1	△	HA④ H13 III 台532	293	ハナピラダカラ	1.9	2.6	2.9	1	○	HA④ K19 IV 台917
227	ハナマルユキ	2.4	3.1	6.3	2	×	HA④ H15 II 台543	294	ハナマルユキ	2.5	3.2	6.6	2	○	HA④ K20 III 台925
228	ハナマルユキ	2.5	3.2	5.7	2	○	HA④ H15 III 台547	295	ハナマルユキ	2.8	3.6	10.8	1	△	HA④ K20 III 台927
229	ハナマルユキ	2.2	2.9	5.4	2	×	HA④ H16 II 台554	296	ハナマルユキ	2.3	3.2	6.8	1	△	HA④ K20 III 台928
230	ハナマルユキ	2.1	3.0	5.1	1	×	HA④ H16 III 台555	297	ハナマルユキ	2.2	3.0	5.9	1	○	HA④ K20 III 台928
231	ハナマルユキ	2.5	3.1	7.2	1	△	HA④ H16 III 台555	298	ハナマルユキ	2.4	3.4	7.8	1	○	HA④ K20 III 台930
232	ハナマルユキ	2.4	3.2	7.0	1	△	HA④ H16 III 台556	299	ハナマルユキ	2.5	3.2	7.7	1	△	HA④ K20 III 台932
233	ハナマルユキ	2.4	3.0	7.0	1	△	HA④ H16 III 台556	300	ハナマルユキ	2.4	3.0	6.8	1	△	HA④ K20 III 台932
234	ハナマルユキ	2.4	3.1	6.9	1	○	HA④ H17 III 台565	301	ハナマルユキ	2.5	3.2	7.3	1	△	HA④ L1 II 台941
235	ハナマルユキ	2.7	3.3	8.9	1	△	HA④ H17 III 台565	302	ハナマルユキ	2.4	3.3	7.2	1	△	HA④ L1 III 台942
236	ハナマルユキ	2.5	3.4	7.9	1	△	HA④ H17 III 台566	303	ハナマルユキ	2.4	3.2	7.4	1	△	HA④ L1 III 台945
237	ハナマルユキ	2.4	3.0	6.6	1	△	HA④ H17 III 台568	304	ハナマルユキ	2.7	3.3	8.6	1	○	HA④ L1 III 台946
238	ハナマルユキ	2.5	3.2	7.8	1	○	HA④ H18 III 台590	305	ハナマルユキ	2.1	3.0	5.3	1	×	HA④ L2 II 台947
239	ハナマルユキ	2.3	2.9	5.5	2	○	HA④ H20 II 台627	306	ハナマルユキ	2.5	3.3	7.9	1	△	HA④ L2 II 台948
240	ハナマルユキ	2.6	3.3	7.4	1	△	HA④ H20 II 台629	307	ハナマルユキ	2.4	3.1	7.3	1	○	HA④ L2 III 台950
241	ハナマルユキ	2.5	3.2	6.6	2	○	HA④ H20 II 台632	308	ハナマルユキ	2.3	3.0	6.6	3	○	HA④ L3 III 台957
242	ハナマルユキ	2.1	2.8	4.4	2	△	HA④ I2 III 台638	309	ハナマルユキ	2.5	3.1	7.6	1	×	HA④ L4 III 台959
243	ハナマルユキ	2.5	3.3	8.2	1	×	HA④ I3 III 台645	310	ハナマルユキ	2.7	3.4	8.1	2	○	HA④ L3 IV 台961
244	ハナマルユキ	2.5	3.3	7.9	1	△	HA④ I3 III 台645	311	ハナマルユキ	2.4	3.0	6.1	2	○	HA④ L19 II 台968
245	ハナマルユキ	2.4	3.2	6.8	2	○	HA④ I11 III 台677	312	ハナマルユキ	2.9	3.7	12.1	2	×	HA④ L19 II 台968
246	ハナマルユキ	2.4	3.2	7.3	1	○	HA④ I14 III 台688	313	ハナマルユキ	2.5	3.2	8.4	1	×	HA④ L19 II 台968
247	ハナマルユキ	2.3	2.9	5.3	1	△	HA④ I14 III 台688	314	ハナマルユキ	2.7	3.2	9.4	1	△	HA④ L19 II 台968
248	ハナマルユキ	2.5	3.2	7.7	1	△	HA④ I14 III 台692	315	ハナマルユキ	2.4	3.0	6.4	1	○	HA④ L19 II 台970
249	ハナマルユキ	2.4	3.0	6.3	1	○	HA④ I14 III 台692	316	ハナマルユキ	2.7	3.3	9.2	1	△	HA④ L19 III 台973
250	ハナマルユキ	2.4	3.2	7.8	1	○	HA④ I17 II 台709	317	ハナマルユキ	2.5	3.1	6.5	2	○	HA④ L19 III 台973
251	ハナマルユキ	2.3	2.8	5.9	1	○	HA④ I18 III 台722	318	ハナマルユキ	2.5	3.2	7.5	1	△	HA④ L19 III 台975
252	ハナマルユキ	2.3	2.9	5.6	1	△	HA④ I18 III 台727	319	ハナマルユキ	2.3	3.1	6.2	1	○	HA④ L19 III 台975
253	ハナマルユキ	2.6	3.3	8.3	1	△	HA④ I19 II 台736	320	ハナマルユキ	2.4	3.1	6.7	1	△	HA④ L19 III 台975
254	ハナマルユキ	2.4	3.2	7.0	2	○	HA④ I19 II 台737	321	ハナマルユキ	2.5	3.5	7.3	2	○	HA④ L20 II 台984
255	ハナマルユキ	2.4	3.0	6.3	2	△	HA④ I18・19 III 台742	322	ハナマルユキ	1.8	2.3	2.9	2	△	HA④ L20 II 台984
256	ハナマルユキ	2.2	2.9	6.2	1	△	HA④ J3 II 台764	323	ハナマルユキ	2.4	3.0	7.1	2	○	HA④ L20 II 台984
257	ハナマルユキ	2.6	3.4	7.8	1	△	HA④ J3 II 台766	324	ハナピラダカラ	1.9	2.5	3.7	1	◎	HA④ L20 III 台989
258	ヤクシマダカラ	3.2	5.2	20.6	1	×	HA④ J3 II 台766	325	ハナマルユキ	2.4	2.9	6.3	1	△	HA④ L20 III 台989
259	ハナマルユキ	2.6	3.3	8.1	2	○	HA④ J3 II 台766	326	ハナマルユキ	2.6	3.4	9.1	1	△	HA④ L20 III 台989
260	ハナマルユキ	2.2	3.1	6.5	1	×	HA④ J4 II 台771	327	ハナマルユキ	2.3	3.0	6.1	1	△	HA④ L20 III 台989
261	ハナマルユキ	2.6	3.2	7.9	2	×	HA④ J18 II 台817	328	ハナマルユキ	2.7	3.5	8.6	1	○	HA④ L20 III 台989
262	ハナマルユキ	2.4	3.2	6.8	1	△	HA④ J18 II 台818	329	ハナマルユキ	2.3	3.1	6.1	2	○	HA④ L20 III 台989
263	ハナマルユキ	2.3	3.1	5.9	1	△	HA④ J18 II 台817	330	ハナマルユキ	2.5	3.3	7.8	1	○	HA④ L20 IV 台992
264	ハナマルユキ	2.6	3.2	8.2	2	○	HA④ J18 II 台817	331	ハナマルユキ	2.5	3.2	7.8	2	○	HA④ M19 II 台996
265	ハナマルユキ	2.5	3.3	7.5	2	○	HA④ J18 II 台822	332	ハナマルユキ	2.4	3.2	7.4	2	×	HA④ N5 III 台1019
266	ハナマルユキ	2.3	2.9	6.6	1	△	HA④ J18 III 台823	333	ハナマルユキ	2.4	3.3	7.5	1	△	HA④ N6 III 台1026
267	ハナマルユキ	2.5	3.1	7.6	1	△	HA④ J19 II 台835	334	ハナマルユキ	2.6	3.3	9.5	1	×	HA④ N6 III 台1026
268	ハナマルユキ	2.5	3.3	8.1	1	○	HA④ J18 III 台826	335	ハナマルユキ	2.2	3.0	5.5	1	○	HA④ N14 II 台1044
269	ハナマルユキ	2.5	3.3	7.6	1	○	HA④ J19 II 台836	336	ハナマルユキ	2.3	3.1	6.6	1	△	HA④ N14 II 台1047







図版 110 タカラガイ製品 Bタイプ(軸なし)・縁(加工有) (上:表面 下:裏面)

## 付篇 2 平安山原B遺跡・平安山原A遺跡 出土石器

ここでは追加資料として既報告で未報告の図・図版を掲載する。平安山原B遺跡イ地区はH21年度(2015)に、平安山原A遺跡HA③地区はH22年度・HA④地区はH23年度に調査を行い(2016)、遺跡の概要や層序の詳細は第37集・第38集に各々報告している。平安山原B遺跡では石皿、平安山原A遺跡から有孔製品・石製品が各1点出土した。

### 平安山原B遺跡イ地区出土 石皿

平安山原B遺跡の石器はHB①、HB②イ・ロ地区、HB④イ・ロ地区全体で177点出土した。HB②イ地区では77点で主な器種は、石斧16点・敲石兼磨石20点・磨石32点・石皿3点等である。石皿が出土したHB②イ地区L-10からは敲石兼磨石2点・磨石2点・石皿が1点出土し、今回の追加資料を含め2点である。第177図は破損資料である。全体の形態は不定形で表面は右側が大きく損壊するが、残存部からも大型と判断され、さらに10cm程度、大きくなる。側面は厚手を成す。使用痕は表面下部に長さ17cm、幅約10cmの範囲で窪みが確認される。又、上部には縦、横5cm程度のやや深い円形の敲打痕が認められる。上下・裏面は自然面を成す。計測値：最大長35.0cm、残存最大幅25.8cm、最大厚18.0cm、重量約19kg、石質：砂岩、出土地：イ地区L-10、V層、台.1341



第177図・図版111 平安山原B遺跡イ地区出土 石皿

## 平安山原A遺跡 HA ③地区出土 有孔製品

HA ③地区は191点の石器が出土した。主な器種として石斧28点・敲石22点・敲石兼磨石6点・磨石89点・砥石28点・クガニ石7点の出土である。この資料は既報告(2016)に敲石として集計に含まれている。類例資料が確認された為、改めて図・図版を掲載する。

第179図は、破損資料で後述するHA ④地区出土の未製品と同じ用途の石器か判断できない。形態は平面が長楕円形を呈し、側面からみた形状は砲弾形を成す。使用痕は表面上部中央に、開け口2.7cm前後、中心部9mmの孔が表裏面から穿孔される。穿孔箇所から上部が破損し貫通していたか、穿孔途中で破損したか判断できない。出土地：E11、遺構S-2、II層、台3259、計測値：残存最大長、13.6cm、最大幅8.6cm、最大厚7.0cm、重量1,181g、石質：角閃石安山岩

類例資料が伊礼原D遺跡(2008 第52図11)範囲確認調査で出土している。形態はこの資料と同じ長楕円形を示す。しかし、穿孔痕はあるものの孔は貫通しておらず、未製品のままとされている。

## 平安山原A遺跡 HA ④地区出土 石製品

HA ④地区では54点の石器が出土した。主な器種として石斧15点・敲石8点・敲石兼磨石3点・磨石17点・砥石が9点である。本資料は既報告に未集計である。

第180図は未製品で、平面が略三角形を呈し、側面は下部に向かい「八」の字状に広がり厚手を成す。表裏面に中央から稜が認められ僅かに研磨が窺える。下面には敲打痕が確認され面をつくる。表面上部中央に2cm台の孔を穿った痕跡が確認されるが貫通はしていない。裏面にも同様の痕跡が認められ、僅かにずれた位置に開け損じた痕跡が窺える。開け口の状態をみると両面から穿孔を施したと判断される。計測値：最大長12.3cm、最大幅13.8cm、最大厚10.5cm、重量2kg、石質：砂岩、出土地：E18～E20・F17 東西畦 東側上層 台4580

類例として民俗資料に、石に穴を開け錘とし、縄を通した「スルチカー石」と呼称される道具がある。追い込み漁には、磯辺での「パンタタカー」と沖での「アギヤー」漁に大別される。アギヤー漁は、各自スルチカーと呼ばれる石錘に縄をつけたものを持ち、海底を打ちながら魚を網に追い込む漁法である。出土した石製品層序や形態、サイズから民俗資料と同じ用途と考えられる。

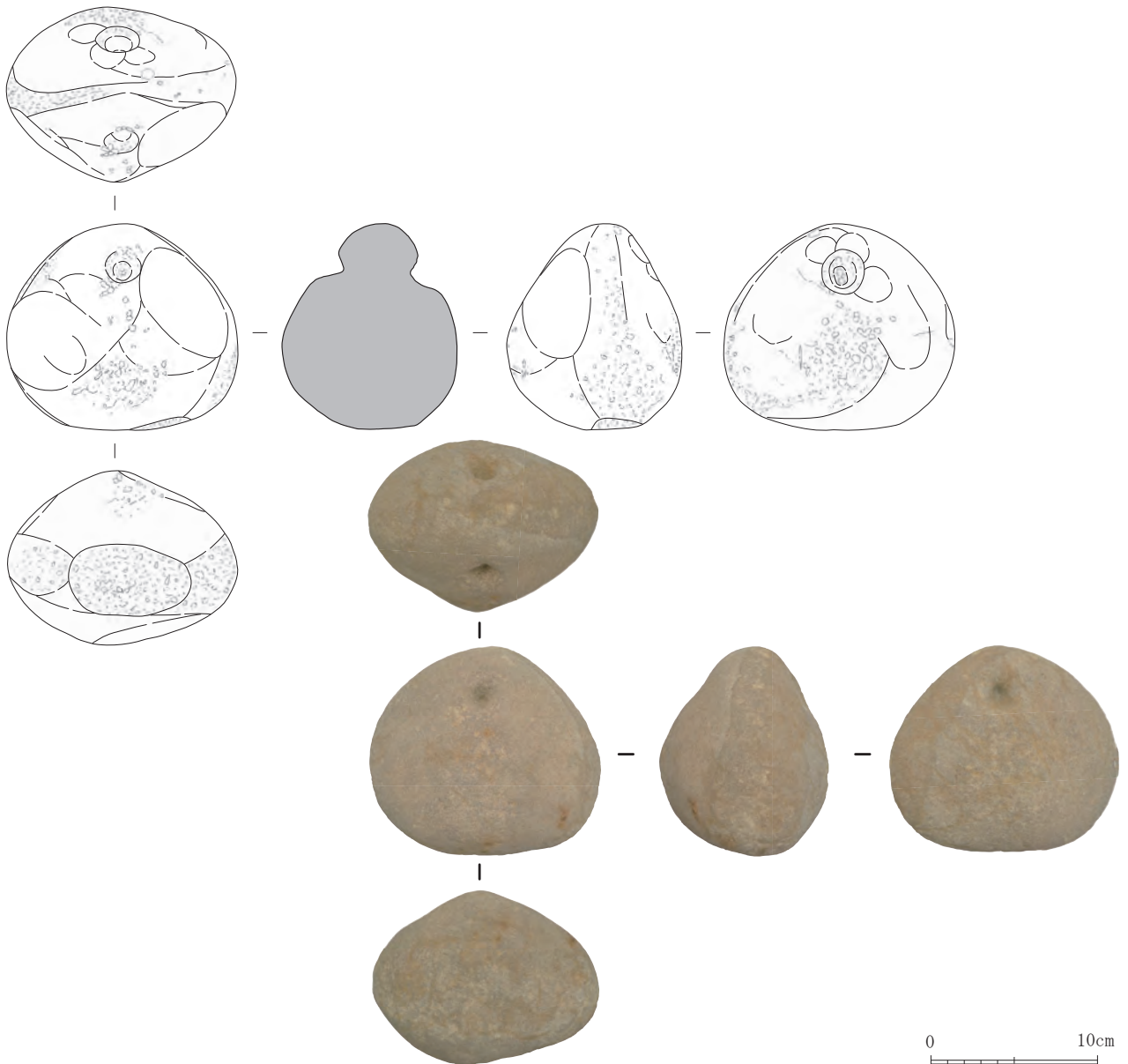


第178図 平安山原A遺跡石器平面分布





第 179 图 · 图版 112 平安山原 A 遺跡 HA③地区出土 有孔製品



第 180 图 · 图版 113 平安山原 A 遺跡 HA④地区出土 石製品



## 参考・引用文献

書名・稿名	発行年	編著者・発行機関・集号	参考・引用箇所
『北谷城』	1984	北谷町文化財調査報告書第1集	全般
『北谷城第7遺跡』	1985	北谷町文化財調査報告書第2集	全般
『伊礼原B遺跡』	1989	北谷町文化財調査報告書第8集	全般
『北谷城』	1991	北谷町文化財調査報告書第11集	全般
『玉代勢原遺跡』	1993	北谷町文化財調査報告書第13集	全般
『伊礼伊森原遺跡』	1998	北谷町文化財調査報告書第18集	全般
『後兼久原遺跡』	2003	北谷町文化財調査報告書第21集	全般
『大作原古墓群』	2003	北谷町文化財調査報告書第22集	全般
『キャンプ桑江返還に伴う試掘調査』	2005	北谷町文化財調査報告書第23集	全般
『北谷町の地名』	2006	北谷町文化財調査報告書第24集	全般
『伊礼原遺跡』	2007	北谷町文化財調査報告書第26集	全般
『伊礼原B遺跡・伊礼原E遺跡』	2008	北谷町文化財調査報告書第27集	全般
『伊礼原D遺跡』	2008	北谷町文化財調査報告書第28集	全般
『平安山原B遺跡』	2008	北谷町文化財調査報告書第29集	全般
『小堀原遺跡』	2009	北谷町文化財調査報告書第30集	全般
『伊礼原E遺跡』	2010	北谷町文化財調査報告書第31集	全般
『北谷城』	2010	北谷町文化財調査報告書第32集	全般
『平安山原地区試掘調査』	2011	北谷町文化財調査報告書第33集	全般
『小堀原遺跡』	2012	北谷町文化財調査報告書第34集	全般
『伊礼原D遺跡』	2013	北谷町文化財調査報告書第35集	全般
『伊礼原遺跡・伊礼原A遺跡』	2014	北谷町文化財調査報告書第36集	全般
『平安山原B遺跡』	2015	北谷町文化財調査報告書第37集	全般
『平安山原A遺跡』	2016	北谷町文化財調査報告書第38集	全般
『蔵森』	2016	北谷町文化財調査報告書第39集	全般
『平安山原B・C遺跡』	2017	北谷町文化財調査報告書第40集	全般
「沖縄編年の現状と諸問題」	1994	伊藤慎二 / 國學院大学史学研究第19号	土器
『九州の縄文時代中期土器を考える』	2010	第20回九州縄文研究会	土器
『先史時代の墓と墓制』	2012	沖縄考古学会	土器
『ナガラ原東貝塚の研究』	2013	木下尚子 / 熊本大学	土器
「渡名喜島遺跡群 発掘ニュース(1)」	1977	渡名喜村教育委員会	土器
「渡名喜の原始・古代展」	1981	沖縄県立博物館・渡名喜村教育委員会	土器
「鏡地箕隅原C遺跡」	2008	那覇市教育委員会埋蔵文化財発掘ニュースNo.15	土器
『恩納村熱田貝塚発掘調査報告書』	1979	沖縄県文化財調査報告書第23集	土器・貝製品
『喜如嘉貝塚』	1994	沖縄県文化財調査報告書第114集	土器
『米須貝塚』	1985	糸満市文化財調査報告書第5集	土器
『真栄里貝塚』	1999	糸満市文化財調査報告書第16集	土器
『具志川グスク I』	2006	うるま市文化財調査報告書第4集	土器
『勝連城跡』	2011	うるま市文化財調査報告書第14集	土器
『喜屋武グスク』	1988	具志川市教育委員会	土器
『津堅貝塚』	2005	勝連町の文化財第23集	土器
「クガニシ」	1978	白木原和美 / 熊本大学法文学会 / 法文論叢41号	石器
「木製品を作り出した石器」	1991	平口哲夫 / 雄山閣出版 / 季刊考古学第35号	石器
『奄美 沖縄 岩石鈎物図鑑』	1985	加藤祐三 / 新星図書出版	石器
『図説 石器入門事典 -縄文-』	1991	鈴木道之助 / 柏書房	石器
『縄文文化の研究 7 道具と技術』	1995	加藤晋平・小林達雄・藤本強編 / 雄山閣	石器
『考古資料大観 第9巻』	2002	北條芳隆・禰宜田佳男 / 小学館	石器
『考古資料の岩石学』	2006	五十嵐俊雄 / バリノ・サーヴェイ	石器
『名護・やんばるの地質』	2011	遅沢壮一・渡邊康志 / 名護博物館	石器
『浦添ようどれIII 金属工房跡編』	2007	浦添市教育委員会 / 浦添市文化財調査研究報告書	石器
『勝連城跡』	1990	勝連町の文化財第11集	石器・貝製品
『今帰仁城跡発掘調査報告 I』	1983	今帰仁村文化財調査報告第9集	石器
「寶貝の錘」	1971	岸上與一郎 / 『民俗学研究』35巻4号	貝製品
『長浜金久遺跡』	1985	鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書(32)	貝製品
「グスク時代・近世出土の円盤状製品」	1986	上原静 / 『読谷村立歴史民俗資料館紀要』第10集	土製品
「円盤状製品その後の資料」	1989	上原静 / 読谷村歴史民俗資料館紀要第13号	土製品
『草野貝塚』	1988	鹿児島市教育委員会	土製品
『犬布遺跡』	1984	伊仙町教育委員会	土製品

## 参考・引用文献

書名・稿名	発行年	編著者・発行機関・集号	参考・引用箇所
『銘苅直祿原遺跡・銘苅原南遺跡』	2001	那覇市文化財調査報告書第52集	グスク土器
『糸数城跡』	1991	玉城村文化財調査報告書第1集	グスク土器
「琉球列島における窯業生産の成立と発展」	2003	新里亮人 / 『考古学研究』49-1 / 考古学研究会	カムイヤキ
「カムイヤキとカムイヤキ古窯跡群」特集古代・中世の日本と奄美・沖縄諸島	2007	新里亮人 / 『東アジアの古代』130号 / 大和書房	カムイヤキ
「大宰府出土の輸入中国磁器について」	1978	森田勉・横田賢次郎 / 研究論集4 / 九州歴史資料館	白磁・青磁
「14～16世紀の白磁の分類と編年」	1982	森田勉・横田賢次郎 / 研究論集4 / 九州歴史資料館	白磁
『首里城跡－御内原北地区－』	2010	沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第54集	白磁・青磁・染付・褐釉・近世代陶磁器
「14～16世紀の青磁碗の分類」	1982	上田秀夫 / 貿易陶磁研究NO2 / 日本貿易陶磁研究会	青磁
「15、16世紀の染付碗、皿の分類とその年代」	1982	小野正敏 / 貿易陶磁研究NO2 / 日本貿易陶磁研究会	染付
「博多出土のタイ陶磁について－アマラ・スリサッチャ氏に聞く－」	1992	森本朝子 / 『法哈噠』第1号 / 博多遺跡研究会	褐釉半練土器
「陶磁器が語るグスク時代の酒器」『琉球・東アジアの人と文化 上』	2000	金武正紀 / 高宮廣衛先生古希喜念論集刊行会	褐釉半練土器
「いわゆる「呂宋壺」と貿易商品としての性格」『陶磁貿易史研究 上』	1987	三上次男 / 中央公論美術出版	褐釉・半練土器
『日本民具辞典』	1997	日本民具学会編 / ぎょうせい	銅製品・鉄製品
『沖縄の金工品関係資料調査報告書』	2008	沖縄県文化財調査報告書第146集	銅製品
『沖縄の信仰用具に関する総合調査報告書』	2016	沖縄県文化財調査報告書第151集	銅製品・滑石製品
「当博物館所蔵の斧について」	2010	山崎真治 / 沖縄県立博物館紀要第3集	鉄製品
『稲福遺跡発掘調査報告書(上御願地区)』	1983	沖縄県文化財調査報告書第50集	鉄製品
『新里村遺跡』	1990	沖縄県文化財調査報告書第97集	鉄製品
『慶来慶田城遺跡』	1997	沖縄県文化財調査報告書第131集	鉄製品
『沖縄のガラス・玉等製品関係調査報告書』	2011	沖縄県文化財調査報告書第149集	滑石製品・ガラス玉
『首里城跡－京の内跡発掘調査報告書(IV)－』	2012	沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第62集	ガラス玉
「琉球出土銭貨の研究」	2008	宮城弘樹 / 出土銭貨第28号 / 出土銭貨研究会	銭貨
『東恩納寛惇全集4』	1979	東恩納寛惇 / 琉球新報社	銭貨
『中世の出土銭-出土銭の調査と分類-』	1994	永井久美男編 / 兵庫埋蔵銭調査会 / ぎょうせい	銭貨
『中城城跡』	2002	中城村の文化財第4集	銭貨
「播鉢編年からみた近年琉球窯業の展開」	1987	安里進他 / 名護市博物館紀要『あじま』第3号	近世代陶磁器
「琉球陶器の来た道 合同企画展」	2011	沖縄県立博物館美術館・那覇市立壺屋焼物博物館	近世代陶磁器
『九州陶磁の編年』	2000	九州近世陶磁学会	近世代陶磁器
『図説江戸考古学研究事典』	2001	江戸遺跡研究会 / 柏書房	近世代陶磁器
『湧田古窯跡Ⅱ』	1995	沖縄県文化財調査報告書第121集	近世代陶磁器
『天界寺跡(Ⅰ)』	2001	沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第2集	近世代陶磁器・煙管
『天界寺跡(Ⅱ)』	2002	沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第8集	近世代陶磁器
『首里城跡』	2010	沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第54集	近世代陶磁器
『中城御殿跡(3)』	2012	沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第63集	近世代陶磁器
『壺屋古窯群Ⅰ』	1992	那覇市文化財調査報告書第23集	近世代陶磁器
『渡地村跡』	2012	那覇市文化財調査報告書第91集	近世代陶磁器
「考古学からみた沖縄諸島遊具史」	2004	上原静 / 『グスク文化を考える 世界遺産国際シンポジウム「東アジアの城郭遺跡を比較して」の記録 / 今帰仁村教育委員会	円盤状製品
『沖縄大百科事典』	1983	沖縄タイムス	煙管
『シンポジウム VOCと日蘭交流』	2010	たばこと塩の博物館・江戸遺跡研究会・東京都江戸東京博物館	煙管
『湧田古窯跡(Ⅰ)』	1993	沖縄県文化財調査報告書第111集	煙管
「杣山制度論」	1904	仲吉朝助	瓦
『島瓦の考古学－琉球と瓦の物語－』	2010	石井龍太 / 新典社選書39 / 新典社	瓦
『北谷町史 第一巻 通史編』	2005	北谷町教育委員会	瓦
『北谷町のノロ』	1997	北谷町文化財調査報告書第17集	瓦
『今帰仁城跡周辺遺跡Ⅲ』	2007	今帰仁村文化財調査報告書第24集	焼土
「北陸海退 the Hokuriku Regression -縄文後期～古墳期初頭の海水面低下-の提唱」	2002	藤則雄 / 金沢星陵大学論集第36巻第2号	まとめ
「貝塚時代後期・沖縄諸島の土器様式変化をめぐる理解」	2016	安座間充 / 『廣友会誌』第9号	まとめ
『チヂフチャー遺跡』	1988	浦添市文化財調査報告書第12集	まとめ
『面縄貝塚』	2016	伊仙町埋蔵文化財調査報告書(16)	付篇

## 参考webサイト

webサイトページ名	アドレス	参考箇所
『たばこと塩の博物館』	<a href="https://www.jti.co.jp/Culture/museum/index.html">https://www.jti.co.jp/Culture/museum/index.html</a>	煙管

# 報 告 書 抄 録

ふりがな	いれいばる いせき							
書 名	伊礼原D遺跡							
副 書 名	桑江伊平地区原状回復事業に伴う発掘調査事業（平成18年度）							
巻 次	-							
シリーズ名	北谷町教育委員会文化財調査報告書							
シリーズ番号	第41集							
編著者名	島袋春美・土岐耕司・山城安生・松原哲志・上地千賀子・呉屋広江・比嘉優子・北條真子 樋泉岳二・黒住耐二・松下孝幸・松下真実・藤田祐樹・大城逸朗 パリオ・サーヴェイ(株)・(株)文化財サービス							
編集機関	沖縄県北谷町教育委員会							
所在地	〒904-0192 沖縄県中頭郡北谷町字桑江226番地 TEL 098-936-3159							
発行年月日	2017年（平成29年）3月27日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° / ' "	° / ' "		m <sup>2</sup>	
いれいばる いせき 伊礼原D遺跡	沖縄県北谷町 字伊平	47326		26° 19' 27"	127° 45' 27"	20061212 ～ 20071227	4,175  1,000	原状回復事業に伴う 発掘調査
ほんざんばる いせき 平安山原A遺跡	小字伊礼原 平安山原							
所収遺跡名	種別	主な時代	主 な 遺 構		主 な 遺 物		特記事項	
いれいばる いせき 伊礼原D遺跡 ほんざんばる いせき 平安山原A遺跡		貝塚時代 後期	土壇墓（仰臥屈葬 イヌ埋葬遺構 獣骨集積遺構		土器・石器・貝製品・銭貨		第3号土壇墓人骨試料 ：1,261±20BP	
		グスク時代 前半	土壇墓（伏臥屈葬）		グスク土器・カムイヤキ 滑石製品		第5号土壇墓人骨試料 ：844±22BP	
		グスク時代 後半 ～近世前半	建物址・土坑・ピット 溝・廃棄土坑 石列群 自然流路		白磁・青磁・染付・色絵 褐釉陶器・瓦質土器 本土産陶磁器・沖縄産陶器 陶質土器・円盤状製品 銭貨・銅製品・鉄製品 貝製品・骨製品 瓦・鉄滓・焼土			
要 約	<p>伊礼原D遺跡・平安山原A遺跡は、旧ナガサ川を挟んで対岸の位置にあり、それぞれにおける浜堤及び流路の影響下に形成されている。今回報告されるのは、両遺跡内において米軍による土壌汚染の影響が大きかった範囲に対し、原状回復がなされた箇所を対象としている。</p> <p>伊礼原D遺跡では、貝塚時代後期・グスク時代前半・グスク時代後半～近世の遺構・遺物が見つかった。特記されるものとして、8世紀頃の埋葬遺構、12世紀頃の埋葬遺構、グスク時代～近世の2,700基を超える土坑・ピット群が挙げられる。また、浜堤の形成に連動して遺跡が海側へと移動する様相も認められた。</p> <p>平安山原A遺跡では、近世中に構築された流路内の石列が検出され、以後の戦前に至るまで続いた耕作域形成の基点となったことが観察された。</p>							





---

---

北谷町文化財調査報告書 第41集

伊<sup>い</sup>礼<sup>れい</sup>原<sup>ばる</sup> D 遺跡  
平<sup>は</sup>安<sup>ん</sup>山<sup>ざん</sup>原<sup>ばる</sup> A 遺跡

— 桑江伊平地区原状回復事業に伴う発掘調査事業（平成18年度） —

編集：北谷町教育委員会

発行年：2017年（平成29年）3月

〒904-0192 沖縄県北谷町字桑江226番地

TEL 098-936-3159

印刷：[合資]精印堂印刷

〒902-0072 沖縄県那覇市字真地399-3番地

TEL 098-832-1311

---

---





北 谷 町